

芳賀団地遺跡群 第3巻

芳賀東部団地遺跡III

——縄文・中近世編——

序

前橋市は関東平野の北西端部にあたり、市域西寄りを北から南東に貫流する利根川の、東は赤城山の南麓裾野に、西は榛名山東麓裾野にそれぞれあたります。これを標高でみると市街地から南東部にかけては100m前後の平坦地ですが、本遺跡の所在する赤城山南麓は北に向って著しく高度を増し、最北端では600mを越えます。

芳賀団地遺跡群は、前橋市工業団地造成組合による工業団地・住宅団地造成に先立ち明らかになったもので、昭和48年度から8年の期間をかけ約40haを対象に調査が実施されたものです。48・49年度には北部団地遺跡が、50年度には西部団地遺跡が、そして51～55年度に東部団地遺跡がそれぞれ調査されました。開発に伴うこうした大規模な埋蔵文化財調査は本市にとって初めての経験であり、調査にあたっては芳賀団地遺跡発掘調査団が組織され、各遺跡からは古代から中近世までの膨大な量の遺構・遺物が検出されました。そして引き続き56年度から報告書刊行に向けて整理作業が始まり、全5巻刊行計画のうち59年度に第1巻が、63年度に第2巻が、さらに今年度第3巻が上梓の運びとなりました。本報告書刊行ができますことは関係各位の長年の御尽力のたまものであることは申すまでもなく、ここに深く感謝の意を表す次第です。

平成2年3月31日

前橋市教育委員会

教育長 岡 本 信 正

例　　言

1. 本書は、前橋工業団地造成組合による、工業及び住宅団地の造成に伴い事前調査された、前橋市嶺町・勝沢町・小坂子町・鳥取町・小神明町・五代町の計約40haに及ぶ、芳賀団地遺跡の発掘調査報告書第3巻である。
2. 芳賀団地遺跡群は、北部団地遺跡（嶺・勝沢・小坂子町。昭和48・49年度調査、約3.6ha）、西部団地遺跡（鳥取・小神明・五代町。昭和50年度調査、約2.5ha）、東部団地遺跡（鳥取・小坂子・五代町。昭和51～55年度調査32.78ha）の3遺跡から成り立つ。
3. 調査の実施は、前橋工業団地造成組合の委託を受けて、芳賀団地造成地内埋蔵文化財発掘調査団が行なった。
4. 芳賀団地遺跡群の報告書は全5巻を予定しており、その内訳は、東部団地遺跡3巻、西部団地遺跡1巻、北部団地遺跡1巻で、記述の順に刊行を予定している。
5. 芳賀東部団地遺跡は、東西を各地にはさまれた2つの台地と、両台地間の谷地の北寄りに南端をのぞかせる台地の計3つの台地から成り立つ。本書は、東部団地遺跡全体の縄文時代と中・近世の構造・遺物を収録したものである。なお1、2巻（昭和59・63年に刊行）は、芳賀東部団地遺跡の古墳時代～平安時代の構造・遺物を、東側台地と中央台地・西側台地にわけて収録してある。
6. 調査の組織及び調査担当者、調査員については、第1巻を参照いただきたい。
7. 本書に係る遺物の整理は、井野誠一（担当者）、綿貫綾子（調査員）が中心となって行なった。
8. 本書の作成に係る整理作業は、昭和62年度から実施している。
9. 芳賀団地遺跡群の整理作業では、昭和58年度から発掘調査に直接携わった者を中心に作成委員会を組織し、編集委員・執筆委員を委嘱し、報告書の整理・刊行のための組織化を行なった。

〔昭和63年度組織〕

編集委員

松 島 栄 治	（県立前橋第二高等学校教諭）	松 本 浩 一	（県埋蔵文化財調査センター所長）
相 澤 貞 順	（前橋市立女子高等学校教諭）	中 澤 充 裕	（前橋市立芳賀中学校教諭）
中 村 富 夫	（月夜野町立月夜野中学校教諭）	前 原 照 子	（勢多郡東村立月夜野小学校教諭）
富 澤 敏 弘	（北橘村教育委員会文化財保護課長）	唐 沢 保 之	（群馬県立歴史博物館教育普及課主任）
福 田 紀 雄	（前橋市教育委員会文化財保護課長）	浜 出 博 一	（同 埋蔵文化財係長）
井 野 誠 一	（同 埋蔵文化財係主任）		

執筆委員

川 合 力	（利根教育事務所学校教育課指導主事）	木 部 日出雄	（前橋市教育委員会学校教育課指導主事）
石 川 克 功	（前橋市立箱田中学校教諭）	白 石 凌 海	（東福寺）
飯 塚 誠	（県埋蔵文化財調査センター指導主事）	川 崎 始	（伊勢崎市立第二中学校教諭）
田 口 正 美	（県埋蔵文化財調査センター指導主事）	杉 浦 つや子	（前橋市立下川瀬小学校教諭）
鵜 木 晋 一	（前橋市立第二中学校教諭）	唐 沢 裕 美	（渋川市立古巣小学校教諭）
江 原 清	（前橋市南橋公民館主任）	松 村 規 樹	（前橋市企画調整課主任）
近 藤 昭 一	（前橋市立図書館主事）		

9. 本書の編集は上記編集委員による。事務局側の編集は井野誠一が担当した。執筆は編集委員と執筆委員で行なった。
10. 石器について、整理・分類・実測トレース指導・考察の執筆は白石典之（筑波大学大学院生）が担当した。
11. 土器について、分類・考察執筆は前原豊（文化財保護課埋蔵文化財係主任）、富澤敏弘（前出）が担当した。縄文時代全体の考察は相澤貞順（前山）が担当した。
12. 中・近世遺物について、分類・考察執筆は大西雅広（県埋蔵文化財調査事業団）が担当した。中・近世の考察は唐沢保之（前出）が担当した。
13. 本書を作成するのにあたり、遺物・図面整理・図版作成等に対し、下記の方々の手をわざらわした。記して感謝の意を表すものである。
 - 綿貫綾子（調査員）、栗岡エミ子、阿部栄恵、大塚美智子、竹内敏江、塙越則子、神保千代子、渡辺良子
 - 松田富美子、戸丸澄江、鬼塚成子、柴崎まさ子、田野井和江、川端久子、湯浅たま江、湯浅道子、白井和子
 - 渡川則子、岩田年代、小林美香子、生形かほる、大澤まさ江
14. 関係図面及び出土遺物の整理・保管は、前橋市教育委員会文化財保護課で行なっている。

凡　例

1. 本書における遺構記号は次のように表わす。()は略称

J……縄文土器を伴う遺構

例 J 1号住居跡 (J 1)、J 1号土坑 (JP 1)、JS 1号配石遺構 (JS 1)

H……七輪器を伴う遺構

例 H 1号住居跡 (H 1)、H 1号土坑 (HP 1)、大H 1号土坑 (H 大 P 1)

K……掘立柱建物跡

I……井戸跡

例 K 1号掘立柱建物跡 (K 1)

例 I 1号井戸跡 (I 1)

T……鍛冶跡・製錬炉址

W……溝跡

例 T 1号鍛冶址 (T 1)

例 W 1号溝跡 (W 1)

F……B軽石下後の土坑

A……地下式土坑

例 F 1号土坑 (F 1)

例 A 1号地下式土坑 (A 1)

N……用途・性格不明遺構

例 N 1号遺構 (N 1)

2. 芳賀東部畠地遺跡では、西台地から調査をはじめている。遺構番号は西台地よりはじまる。また昭和55年度調査分については、各遺構の通算番号の後に、55年度遺構番号を()で表わした。

3. 遺構挿図中のセクション・エレベーションの基準線標高は、基準線下の数値である。

4. 本書における遺構の実測図は、堅穴住居跡%、土坑・配石遺構等が%を原則とする。遺物の実測図は遺物により異なる。付図は1/800である。

5. 本書で使用している堅穴住居跡の部位名称は第2巻に準じ、スクリーントーン及び記号は、以下の内容を示している。



6. 遺物実測図の表現方法は、土器については断面実測図に残存部の拓本を組み合わせるものとした。

7. 遺構の記述は、原則として下記の堅穴住居跡の記述方法に準じた。用語・表記は事務局の責任で本書として統一をはかった。

位置 調査区域及びグリッド上での位置。位置する場所の地形、周囲の遺構との関係。

形状 形・規模・壁・隅角・周溝・方位・張り出し等の施設。面積は%。図上で、プランメーターにより3回計測し、その平均値。方位は長軸方向で測定。

床面 踏み固め部分、床面の起伏具合、貼床、焼土の散布状況等。

ピット 位置・形状・傾き・柱痕の有無及び柱直径・規模・その他。

炉 位置・形態・規模・構造・焼土の厚さ等。

貯蔵穴 位置・形状・規模。

遺物 種類・出土位置・出土状況・床面とのレベル差等。

重複 重複している遺構名・重複箇所・新旧関係等。

その他 遺構の性格に係わること、または特記事項。

8. 遺構挿図中の方位は、磁北を表わす。

9. ピット番号は原則として、北東隅を P₁ として反時計回りに番号をつけている。

10. 遺物の記述は、観察表にまとめてある。

11. 遺物写真中の遺物番号は遺物挿図の番号と対応している。

12. 遺構は、遺構番号順に掲載してあるが、重複している場合には若い遺構番号の所で扱っている。

13. 卷末の遺構一覧表のデータは、1～2巻のデータを修正、補正、再計測したものである。遺構のデータとしてはこの一覧表のものを使用されたい。

石器の分類と分析の基準

ここでは、本報文中で用いる石器分類上の用語の定義と、属性表で用いた諸属性について解説する。

まず、第一に石器器種の分類基準と各器種の内容について述べたい。ここでは「石器」という用語は、遺跡より出土した石器の遺物すべてを対象として用いることとする。石器は本遺跡では、住居跡から3,499点、土坑から201点、配石から39点、遺構外から1,754点の合計5,493点が出土している。これらについては各遺構ごとに器種と石材を明示して、全点その組成を表に示してある。石器は次には高位レベルの分類基準であるところの「調整加工および使用痕の認められる石器」と「調整加工および使用痕の認められない石器」の二者に大別できる。そのなかで「調整加工および使用痕の認められるもの」は住居跡で916点、土坑で41点、配石で12点が検出されているが、これらすべては本書中に図示されている。中位レベルの分類としては、前者は「定形石器」・「不定形石器」に二分でき、後者は、この段階に対応するものはない。下位のレベルの分類として、定形石器・不定形石器とともに「調整加工のあるもの」・「使用痕のあるもの」にそれぞれ分類できる。さらに、それらの下位に器種レベルの分類がくる。(別表参照)。

次に前述の基準に従い、個々の器種について解説したい。その中で、定形石器に属する石鏸、石匙、石椎、打製石斧、磨製石斧、石棒等については、従来の慣習的に広く用いられている定義（鈴木 1981等）を踏襲することにしたい。そこではそれら以外のものについて触れない。

機器 摩擦形を呈するように形状を調整し、刃部は片面からの急角度（45度以上の角度）の剥離により作出されているもの

背付き石器、剣片を素材として、その一辺に刃遣し加工を施し、それに相応する刃を刃部としているもの。

尖頭器 調整加工によって二側縁の交刃からなる尖頭部を作出し、器長の長軸と短軸の比率が3対1よりも大きくなるもの。

楔形石器 方形を呈し、相対し平行する二辺に、平坦剝離状の調整加工の施されたものや、潰れ等の使用痕が観察されるもの。

削器 剥片素材で、各辺長あるいは幅長の2倍以上にわたって刃部が作出されているもの。刃部の形状により直刃、凸刃、凹刃、複刃、複刃の五形態に細分する。(白石、1987・1990参考)。

块石群、削り石材等、沼の一部に一ないし複数の块石が不連續に

伏入石器 剥片素材で、刃の一部に一ないし複数の伏入が連續的に施されたもの。

端縁石器 刺片素材で、辺の一部に複数の伏入が連続的に施されたもの。

剥離加工のあら刺片（RF）剥離加工によっては、被削材の強度が弱くなる場合がある。

使用機のある剥片（U.P.）剥片素材で、使用機が観察できるか調整加工の施されていないもの。

円錐石器、円・稍円形を呈する河原の転錐を用い、擦り、敲き等の作業によるとみられる擦痕、磨痕、敲打痕、凹みが表面に観察できるもの。長径20cm未満のものを対象とする。

敲石・磨石・凹石 線素材で、それぞれ敲痕、擦(磨)痕、凹みを有するもの。

石皿・台石 長径20cm以上の砾を用い、平面的に擦(磨)痕が認められるものを石皿、巣痕の認められるものを台石と呼ぶ。

多凹石 長径20cm以上の砾を用い、複数の凹みを表面に残すもの。

棒状石器 棒状あるいは偏平な礫を用いて、その端部および側面に敲打痕が認められるもの。多くの場合、片岩などの変成岩を用いている。

第二に、属性表について解説する。

表の番号で、左側のNo.は図版中の石器番号と共に、右側の遺物番号は元番号であり、この番号で遺物台帳に登録され、収蔵庫に保管されている。

表-166 出土石器遺構別一覽表

器種 遺構	石	打	磨	石	尖	石	接	削	背	凸	凹	爻	複	翫	抉	抉	櫛	櫛	R	U	剥	縫	内	石	神	行	多	凹	甃	剝	石	片	枚	櫛	其 他	計
住居跡	12	148	19	13	14	19	24	4	40	63	17	36	35	15	11	11	6	14	58	8	27	220	10	16	6	258	13	293	14	3567						
土坑		13	1								1	1	3	2	1							2	9		1	4		107	1	54						
配石			4																			2	1		2						18	5	3			
遺構外	10	230	9	5	6	7	13	46	34	28	23	13	26	9	8	13	49	70	5	22	57	1	2	14	7	6	1	109	21	4	6	175				
井	22	395	30	18	20	26	37	4	87	96	47	62	50	42	20	20	26	13	128	15	52	286	11	21	65	24	16	7	342	35	356	20	549			

石器計測値は、原則的には加藤晋平・鶴丸俊明両氏の方法（加藤・鶴丸 1980）に従う。また、刃部角は各刃部の中心を計測する。

石材は略号で示す。頁：頁岩、黒頁：黒色頁岩、珪頁：珪質頁岩、砂：砂岩、花：花崗岩、閃：閃綠岩、安：安山岩、黒安：黒色安山岩、浮安：浮石質安山岩、石安：石英安山岩、黒：黒曜石、珪：珪岩、赤珪：赤色珪質岩、流：流紋岩、斑：斑岩、ヒ：ヒン岩、蛇：蛇紋岩、輝：輝綠岩、片：片岩、綠片：綠泥片岩、結片：結晶片岩、黒片：黒色片岩、点片：点紋綠色片岩、凝：凝灰岩、珪凝：珪質凝灰岩を用い、その他についてはできるだけ元のまま使用する。

使用痕・装着痕の位置・程度では、図示したように A～d の各部位に分けて示すこととする。A、B が表裏それぞの面、a～d が上下左右の側面を示す。使用痕・装着痕の内容の略号と数字は、敲：敲打痕で、1：かろうじて観察できる、2：明瞭に観察できる、3：割れて剝離痕状になるものと三段階に細分する。擦：擦りまたは磨き痕で、1：かろうじて観察できる、2：明瞭に観察できるが粒子による凹凸が残る、3：粒子の凹凸は認められない、の三段階に細分する。凹：凹みで、0：明瞭な凹みを成さない、1～3：凹みの数、多：凹み数四ヶ所以上を表す。減：磨滅度で、1：若干観察できる、2：稜が明瞭でなくなる、3：磨かれたようになるものに細分する。潰：棱線または側縁の稜部が潰れているもので、1：若干観察できる、2：稜が明瞭でなくなる、3：敲き潰されたようになるものに細分する。刃：刃部の刃こぼれ。火：火受けによる赤化あるいは黒ずみ。欠：欠損を示す。また、「→」は前後関係を示す。

出土位置は床面よりの位置を示す。

実測図での縮尺は、石鎚などの比較的小さなものは 2 分の 1、打製石斧などは 3 分の 1、礫石器は 6 分の 1、大きな石器は 8 分の 1 で原則的には図示されているが、便宜的に異なるものも存在することから、それぞれにスケールを付した。

参考文献

- 加藤晋平・鶴丸俊明 1980 「図録 石器の基礎知識」 II 柏書房
 白石典之 1987 「縄文中期の石器に関する一試論」 「行幸田山遺跡」 PP.631～651 群馬県渋川市教育委員会
 // 1989 「石器の分類と分析の基準」 「城山遺跡」 PP.15～16 群馬県北橘村教育委員会
 銀木道之助 1981 「図録 石器の基礎知識」 III 柏書房

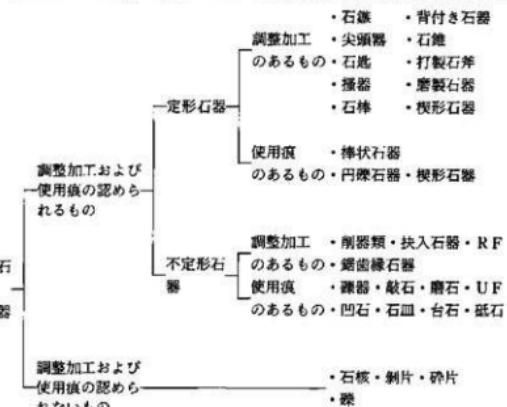


図-287 石器の分類樹状図

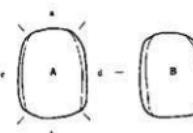
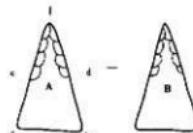
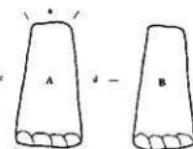


図-288 使用痕・装着痕の位置

目 次

序
例 言
凡 例

石器の分類と分析の基準

目 次

本文 目次

挿 図 目次

表 目次

図 版 目次

I 調査及び整理の経過	1
II 基本層序	3
III 遺構と遺物	3
1 概要	3
—縄文時代—	
2 穴式住居跡	4
3 土坑	285
4 配石遺構	340
—中・近世—	
5 遺構と遺物	344
6 中近世遺物について	345
IV 遺構一覧	375
結語	435

插 図 目 次

図- 1	地層対照図	3	図- 52	J 51号住居跡	60
図- 2	J 1号住居跡	4	図- 53	J 52号住居跡	61
図- 3	J 2号住居跡	5	図- 54	J 53号住居跡	62
図- 4	J 3号住居跡	6	図- 55	J 54号住居跡	63
図- 5	J 4号住居跡	7	図- 56	J 55号住居跡	64
図- 6	J 5号住居跡	8	図- 57	J 56号住居跡	65
図- 7	J 6号住居跡	9	図- 58	J 57号住居跡	65
図- 8	J 6号住居跡遺物分布図	10	図- 59	J 58号住居跡	66
図- 9	J 7号住居跡	11	図- 60	J 1号住居跡出土土器	67
図- 10	J 8号住居跡	12	図- 61	J 1号住居跡出土石器	68
図- 11	J 8号住居跡遺物分布図	13	図- 62	J 2号住居跡出土土器(1)	69
図- 12	J 9号住居跡	14	図- 63	J 2号住居跡出土土器(2)	70
図- 13	J 10号住居跡	15	図- 64	J 2号住居跡出土石器	71
図- 14	J 10号住居跡遺物分布図	16	図- 65	J 3号住居跡出土土器(1)	72
図- 15	J 11号住居跡	17	図- 66	J 3号住居跡出土土器(2)	73
図- 16	J 11号住居跡遺物分布図	18	図- 67	J 3号住居跡出土石器(1)	74
図- 17	J 12号住居跡	19	図- 68	J 3号住居跡出土石器(2)	75
図- 18	J 13号住居跡	20	図- 69	J 4号住居跡出土土器	76
図- 19	J 13号住居跡遺物分布図	21	図- 70	J 4号住居跡出土石器(1)	77
図- 20	J 14号住居跡	23	図- 71	J 4号住居跡出土石器(2)	78
図- 21	J 15号住居跡	24	図- 72	J 5号住居跡出土土器(1)	79
図- 22	J 16号住居跡	25	図- 73	J 5号住居跡出土土器(2)	80
図- 23	J 17号住居跡	26	図- 74	J 5号住居跡出土石器	81
図- 24	J 17号住居跡遺物分布図	27	図- 75	J 6号住居跡出土土器(1)	82
図- 25	J 18号住居跡	29	図- 76	J 6号住居跡出土土器(2)	83
図- 26	J 19・23号住居跡	30	図- 77	J 6号住居跡出土石器(1)	85
図- 27	J 20号住居跡	31	図- 78	J 6号住居跡出土石器(2)	86
図- 28	J 21号住居跡	32	図- 79	J 7号住居跡出土土器(1)	87
図- 29	J 22号住居跡	34	図- 80	J 7号住居跡出土土器(2)	88
図- 30	J 24号住居跡	35	図- 81	J 7号住居跡出土土器	89
図- 31	J 25号住居跡	36	図- 82	J 8号住居跡出土土器(1)	91
図- 32	J 26号住居跡	37	図- 83	J 8号住居跡出土土器(2)	92
図- 33	J 27・30号住居跡	38	図- 84	J 8号住居跡出土石器(1)	94
図- 34	J 29・39号住居跡。J P111号土坑	40	図- 85	J 8号住居跡出土石器(2)	95
図- 35	J 31・32号住居跡	41	図- 86	J 9号住居跡出土土器(1)	97
図- 36	J 33・60号住居跡	42	図- 87	J 9号住居跡出土土器(2)	98
図- 37	J 34号住居跡	43	図- 88	J 9号住居跡出土石器(1)	99
図- 38	J 35号住居跡	44	図- 89	J 9号住居跡出土石器(2)	100
図- 39	J 36号住居跡	46	図- 90	J 9号住居跡出土石器(3)	101
図- 40	J 37号住居跡	47	図- 91	J 10号住居跡出土土器(1)	102
図- 41	J 38号住居跡	48	図- 92	J 10号住居跡出土土器(2)	103
図- 42	J 39・61号住居跡	49	図- 93	J 10号住居跡出土石器(1)	105
図- 43	J 40・41号住居跡	51	図- 94	J 10号住居跡出土石器(2)	106
図- 44	J 42号住居跡	52	図- 95	J 10号住居跡出土石器(3)	107
図- 45	J 43号住居跡	53	図- 96	J 11号住居跡出土土器	109
図- 46	J 44号住居跡	54	図- 97	J 11号住居跡出土石器(1)	111
図- 47	J 46号住居跡	55	図- 98	J 11号住居跡出土石器(2)	112
図- 48	J 47号住居跡	56	図- 99	J 12号住居跡出土土器	113
図- 49	J 48号住居跡	57	図- 100	J 12号住居跡出土土器	115
図- 50	J 49号住居跡	58	図- 101	J 13号住居跡出土土器(1)	116
図- 51	J 50号住居跡	59	図- 102	J 13号住居跡出土土器(2)	117

图-103	J 13号住居跡出土石器.....	118	图-157	J 29・59号住居跡出土石器(1).....	189
图-104	J 14号住居跡出土石器.....	119	图-158	J 29・59号住居跡出土石器(2).....	190
图-105	J 14号住居跡出土石器.....	120	图-159	J 29・59号住居跡出土石器(1).....	192
图-106	J 15号住居跡出土石器.....	121	图-160	J 29・59号住居跡出土石器(2).....	193
图-107	J 15号住居跡出土石器.....	122	图-161	J 31・32号住居跡出土石器(1).....	194
图-108	J 16号住居跡出土石器.....	123	图-162	J 31・32号住居跡出土石器(2).....	195
图-109	J 16号住居跡出土石器.....	124	图-163	J 31・32号住居跡出土石器(1).....	197
图-110	J 17号住居跡出土石器(1).....	125	图-164	J 31・32号住居跡出土石器(2).....	198
图-111	J 17号住居跡出土石器(2).....	126	图-165	J 33・60号住居跡出土石器.....	199
图-112	J 17号住居跡出土石器(3).....	127	图-166	J 33・60号住居跡出土石器.....	201
图-113	J 17号住居跡出土石器(1).....	131	图-167	J 34号住居跡出土石器・石器.....	202
图-114	J 17号住居跡出土石器(2).....	132	图-168	J 35号住居跡出土石器.....	203
图-115	J 17号住居跡出土石器(3).....	133	图-169	J 35号住居跡出土石器(1).....	203
图-116	J 18号住居跡出土石器(1).....	134	图-170	J 35号住居跡出土石器(2).....	204
图-117	J 18号住居跡出土石器(2).....	135	图-171	J 36号住居跡出土石器(1).....	206
图-118	J 18号住居跡出土石器.....	137	图-172	J 36号住居跡出土石器(2).....	207
图-119	J 19・23号住居跡出土石器(1).....	138	图-173	J 36号住居跡出土石器(1).....	208
图-120	J 19・23号住居跡出土石器(2).....	139	图-174	J 36号住居跡出土石器(2).....	209
图-121	J 19・23号住居跡出土石器(3).....	140	图-175	J 36号住居跡出土石器(3).....	210
图-122	J 19・23号住居跡出土石器(1).....	142	图-176	J 37号住居跡出土石器.....	213
图-123	J 19・23号住居跡出土石器(2).....	143	图-177	J 37号住居跡出土石器.....	214
图-124	J 19・23号住居跡出土石器(3).....	144	图-178	J 38号住居跡出土石器(1).....	215
图-125	J 20号住居跡出土石器(1).....	146	图-179	J 38号住居跡出土石器(2).....	216
图-126	J 20号住居跡出土石器(2).....	147	图-180	J 38号住居跡出土石器(1).....	217
图-127	J 20号住居跡出土石器(1).....	148	图-181	J 38号住居跡出土石器(2).....	218
图-128	J 20号住居跡出土石器(2).....	149	图-182	J 38号住居跡出土石器(3).....	219
图-129	J 20号住居跡出土石器(3).....	150	图-183	J 39・61号住居跡出土石器(1).....	220
图-130	J 21号住居跡出土石器(1).....	151	图-184	J 39・61号住居跡出土石器(2).....	221
图-131	J 21号住居跡出土石器(2).....	152	图-185	J 39・61号住居跡出土石器(3).....	222
图-132	J 21号住居跡出土石器.....	154	图-186	J 39・61号住居跡出土石器.....	224
图-133	J 22号住居跡出土石器(1).....	155	图-187	J 40・41号住居跡出土石器(1).....	226
图-134	J 22号住居跡出土石器(2).....	156	图-188	J 40・41号住居跡出土石器(2).....	227
图-135	J 22号住居跡出土石器(3).....	157	图-189	J 40・41号住居跡出土石器(1).....	228
图-136	J 22号住居跡出土石器(1).....	159	图-190	J 40・41号住居跡出土石器(2).....	229
图-137	J 22号住居跡出土石器(2).....	160	图-191	J 42号住居跡出土石器.....	231
图-138	J 24号住居跡出土石器(1).....	162	图-192	J 42号住居跡出土石器.....	233
图-139	J 24号住居跡出土石器(2).....	163	图-193	J 43号住居跡出土石器.....	234
图-140	J 24号住居跡出土石器(1).....	165	图-194	J 43号住居跡出土石器.....	235
图-141	J 24号住居跡出土石器(2).....	166	图-195	J 44号住居跡出土石器(1).....	237
图-142	J 25号住居跡出土石器(1).....	168	图-196	J 44号住居跡出土石器(2).....	238
图-143	J 25号住居跡出土石器(2).....	169	图-197	J 44号住居跡出土石器(1).....	239
图-144	J 25号住居跡出土石器(1).....	172	图-198	J 44号住居跡出土石器(2).....	240
图-145	J 25号住居跡出土石器(2).....	173	图-199	J 44号住居跡出土石器(3).....	241
图-146	J 25号住居跡出土石器(3).....	174	图-200	J 46号住居跡出土石器(1).....	243
图-147	J 26号住居跡出土石器(1).....	174	图-201	J 46号住居跡出土石器(2).....	244
图-148	J 26号住居跡出土石器(2).....	175	图-202	J 46号住居跡出土石器.....	245
图-149	J 26号住居跡出土石器.....	177	图-203	J 47号住居跡出土石器.....	246
图-150	J 27・30号住居跡出土石器(1).....	179	图-204	J 47号住居跡出土石器(1).....	248
图-151	J 27・30号住居跡出土石器(2).....	180	图-205	J 47号住居跡出土石器(2).....	249
图-152	J 27・30号住居跡出土石器(3).....	181	图-206	J 48号住居跡出土石器.....	250
图-153	J 27・30号住居跡出土石器(4).....	182	图-207	J 48号住居跡出土石器(1).....	252
图-154	J 27・30号住居跡出土石器(1).....	186	图-208	J 48号住居跡出土石器(2).....	253
图-155	J 27・30号住居跡出土石器(2).....	187	图-209	J 48号住居跡出土石器(3).....	254
图-156	J 27・30号住居跡出土石器(3).....	188	图-210	J 48号住居跡出土石器(4).....	255

図-211	J 49号住居跡出土土器	257	図-264	J P 土坑出土土石器(3)	335
図-212	J 49号住居跡出土石器(1)	259	図-265	J P 土坑出土土石器(4)	336
図-213	J 49号住居跡出土石器(2)	260	図-266	J S 配石遺構	341
図-214	J 50号住居跡出土土器(1)	262	図-267	J S 配石遺構出土土石器	343
図-215	J 50号住居跡出土土器(2)	263	図-268	中央台地出土七陶磁器(1)	347
図-216	J 50号住居跡出土土石器(1)	264	図-269	中央台地出土陶磁器(2)	348
図-217	J 50号住居跡出土土石器(2)	265	図-270	中央台地出土陶磁器(3)	349
図-218	J 51号住居跡(5 J - 1) 出土土器	267	図-271	中央台地出土陶磁器(4)	350
図-219	J 51号住居跡(5 J - 1) 出土石器	268	図-272	中央台地出土七陶磁器(5)	351
図-220	J 52号住居跡(5 J - 2) 出土土器(1)	270	図-273	中央台地出土陶磁器(6)	352
図-221	J 52号住居跡(5 J - 2) 出土土器(2)	271	図-274	中央台地出土七陶磁器(7)	353
図-222	J 52号住居跡(5 J - 2) 出土石器(1)	273	図-275	中央台地出土陶磁器(8)	354
図-223	J 52号住居跡(5 J - 2) 出土石器(2)	274	図-276	中央台地・西側台地出土陶磁器(9)	355
図-224	J 53号住居跡(5 J - 3) 出土土器	275	図-277	西側台地出土陶磁器(10)	356
図-225	J 53号住居跡(5 J - 3) 出土石器	276	図-278	西側台地出土陶磁器(11)	357
図-226	J 54号住居跡(5 J - 4) 出土土器	278	図-279	西側台地出土陶磁器(12)	358
図-227	J 54号住居跡(5 J - 4) 出土石器	279	図-280	西側台地出土七陶磁器(13)	359
図-228	J 55号住居跡(5 J - 5) 出土土器	280	図-281	西側台地出土七陶磁器(14)	360
図-229	J 55号住居跡(5 J - 5) 出土石器	281	図-282	東側台地出土陶磁器(15)	361
図-230	J 56号住居跡(5 J - 6) 出土土器・石器	282	図-283	東側台地出土・表採陶磁器、中央台地出土石製品(1)	362
図-231	J 57号住居跡(5 J - 7) 出土土器	283	図-284	中央・西側台地出土石製品(2)	363
図-232	J 57号住居跡(5 J - 7) 出土石器	283	図-285	中央・西側台地出土石製品(3)、中央台地出土古鏡(1)	364
図-233	J 58号住居跡(5 J - 8) 出土土器	284	図-286	中央・西側台地出土古鏡(2)	365
図-234	J 58号住居跡(5 J - 8) 出土石器	284	図-287	石器の分類樹状図	石器凡例
図-235	J P 群-1 (J 28号住居跡)	285	図-288	使用痕・表着痕の位置	#
図-236	J P 群-1 出土土器(1)	287			
図-237	J P 群-1 出土七器(2)	288			
図-238	J P 群-1 出土土器(3)	289			
図-239	J P 群-1 出土石器	290			
図-240	J P 1~10号土坑	292			
図-241	J P 11~20号土坑	294			
図-242	J P 21~30号土坑	296			
図-243	J P 31~40号土坑	298			
図-244	J P 41~52号土坑	300			
図-245	J P 53~64号土坑	302			
図-246	J P 65~75号土坑	304			
図-247	J P 76~85号土坑	306			
図-248	J P 86~98号土坑	308			
図-249	J P 99~107号土坑	310			
図-250	J P 108~120・125~128号土坑	312			
図-251	J P 129~140号土坑	314			
図-252	J P 土坑出土土器(1)	315			
図-253	J P 土坑出土土器(2)	316			
図-254	J P 土坑出土土器(3)	317			
図-255	J P 土坑出土土器(4)	318			
図-256	J P 土坑出土土器(5)	319			
図-257	J P 土坑出土土器(6)	320			
図-258	J P 土坑出土土器(7)	321			
図-259	J P 土坑出土土器(8)	322			
図-260	J P 土坑出土土器(9)	323			
図-261	J P 土坑出土土器(10)	324			
図-262	J P 土坑出土土石器(1)	333			
図-263	J P 土坑出土土石器(2)	334			

表 目 次

表— 1	J 1号住居跡出土土器観察表	67	表— 52	J 18号住居跡出土土器観察表	135
表— 2	J 1号住居跡出土土器属性表	67	表— 53	J 18号住居跡出土土器属性表	136
表— 3	J 1号住居跡石器器種・石材別一覧表	69	表— 54	J 18号住居跡石器器種・石材別一覧表	137
表— 4	J 2号住居跡出土土器観察表	70	表— 55	J 19・23号住居跡出土土器観察表	140
表— 5	J 2号住居跡出土土器属性表	72	表— 56	J 19・23号住居跡出土土器属性表	145
表— 6	J 2号住居跡石器器種・石材別一覧表	72	表— 57	J 19・23号住居跡石器器種・石材別一覧表	146
表— 7	J 3号住居跡出土土器観察表	73	表— 58	J 20号住居跡出土土器観察表	147
表— 8	J 3号住居跡出土土器属性表	75	表— 59	J 20号住居跡出土土器属性表	150
表— 9	J 3号住居跡石器器種・石材別一覧表	75	表— 60	J 20号住居跡石器器種・石材別一覧表	151
表— 10	J 4号住居跡出土土器観察表	76	表— 61	J 21号住居跡出土土器観察表	152
表— 11	J 4号住居跡出土土器属性表	78	表— 62	J 21号住居跡出土土器属性表	154
表— 12	J 4号住居跡石器器種・石材別一覧表	79	表— 63	J 21号住居跡石器器種・石材別一覧表	155
表— 13	J 5号住居跡出土土器観察表	80	表— 64	J 22号住居跡出土土器観察表	155
表— 14	J 5号住居跡出土土器属性表	81	表— 65	J 22号住居跡出土土器属性表	161
表— 15	J 5号住居跡石器器種・石材別一覧表	81	表— 66	J 22号住居跡石器器種・石材別一覧表	162
表— 16	J 6号住居跡出土土器観察表	83	表— 67	J 24号住居跡出土土器観察表	163
表— 17	J 6号住居跡出土土器属性表	86	表— 68	J 24号住居跡出土土器属性表	164
表— 18	J 6号住居跡石器器種・石材別一覧表	86	表— 69	J 24号住居跡石器器種・石材別一覧表	167
表— 19	J 7号住居跡出土土器観察表	88	表— 70	J 25号住居跡出土土器観察表	167
表— 20	J 7号住居跡出土七石器属性表	90	表— 71	J 25号住居跡出土七石器属性表	170
表— 21	J 7号住居跡石器器種・石材別一覧表	90	表— 72	J 25号住居跡石器器種・石材別一覧表	171
表— 22	J 8号住居跡出土土器観察表	92	表— 73	J 26号住居跡出土土器観察表	175
表— 23	J 8号住居跡出土土器属性表	96	表— 74	J 26号住居跡出土土器属性表	176
表— 24	J 8号住居跡石器器種・石材別一覧表	96	表— 75	J 26号住居跡石器器種・石材別一覧表	178
表— 25	J 9号住居跡出土土器観察表	98	表— 76	J 27・30号住居跡出土土器観察表	178
表— 26	J 9号住居跡出土土器属性表	101	表— 77	J 27・30号住居跡出土土器属性表	184
表— 27	J 9号住居跡石器器種・石材別一覧表	102	表— 78	J 27・30号住居跡石器器種・石材別一覧表	185
表— 28	J 10号住居跡出土土器観察表	104	表— 79	J 29・59号住居跡出土土器観察表	191
表— 29	J 10号住居跡出土土器属性表	107	表— 80	J 29・59号住居跡出土土器属性表	193
表— 30	J 10号住居跡石器器種・石材別一覧表	108	表— 81	J 29・59号住居跡石器器種・石材別一覧表	194
表— 31	J 11号住居跡出土土器観察表	110	表— 82	J 31・32号住居跡出土土器観察表	195
表— 32	J 11号住居跡出土土器属性表	112	表— 83	J 31・32号住居跡出土土器属性表	196
表— 33	J 11号住居跡石器器種・石材別一覧表	112	表— 84	J 31・32号住居跡石器器種・石材別一覧表	198
表— 34	J 12号住居跡出土土器観察表	114	表— 85	J 33・60号住居跡出土土器観察表	200
表— 35	J 12号住居跡出土土器属性表	116	表— 86	J 33・60号住居跡出土土器属性表	200
表— 36	J 12号住居跡石器器種・石材別一覧表	116	表— 87	J 33・60号住居跡石器器種・石材別一覧表	201
表— 37	J 13号住居跡出土土器観察表	117	表— 88	J 34号住居跡出土土器観察表	201
表— 38	J 13号住居跡出土土器属性表	118	表— 89	J 34号住居跡出土土器属性表	201
表— 39	J 13号住居跡石器器種・石材別一覧表	119	表— 90	J 34号住居跡石器器種・石材別一覧表	202
表— 40	J 14号住居跡出土土器観察表	119	表— 91	J 35号住居跡出土土器観察表	202
表— 41	J 14号住居跡出土土器属性表	120	表— 92	J 35号住居跡出土土器属性表	205
表— 42	J 14号住居跡石器器種・石材別一覧表	121	表— 93	J 35号住居跡石器器種・石材別一覧表	205
表— 43	J 15号住居跡出土土器観察表	121	表— 94	J 36号住居跡出土土器観察表	205
表— 44	J 15号住居跡出土土器属性表	121	表— 95	J 36号住居跡出土土器属性表	211
表— 45	J 15号住居跡石器器種・石材別一覧表	122	表— 96	J 36号住居跡石器器種・石材別一覧表	212
表— 46	J 16号住居跡出土土器観察表	123	表— 97	J 37号住居跡出土土器観察表	212
表— 47	J 16号住居跡出土石器属性表	123	表— 98	J 37号住居跡出土土器属性表	214
表— 48	J 16号住居跡石器器種・石材別一覧表	123	表— 99	J 37号住居跡石器器種・石材別一覧表	214
表— 49	J 17号住居跡出土土器観察表	128	表— 100	J 38号住居跡出土土器観察表	216
表— 50	J 17号住居跡出土土器属性表	129	表— 101	J 38号住居跡出土土器属性表	219
表— 51	J 17号住居跡石器器種・石材別一覧表	130	表— 102	J 38号住居跡石器器種・石材別一覧表	220

表-103	J 39·61号住居跡出土七土器觀察表	222	表-151	J 57号住居跡（5 J - 7）出土七器觀察表	282
表-104	J 39·61号住居跡出土石器屬性表	223	表-152	J 57号住居跡（5 J - 7）出土石器屬性表	283
表-105	J 39·61号住居跡石器器種・石材別一覽表	225	表-153	J 57号住居跡（5 J - 7）石器器種・	
表-106	J 40·41号住居跡出土土器觀察表	225	石材別一覽表		283
表-107	J 40·41号住居跡出土石器屬性表	230	表-154	J 58号住居跡（5 J - 8）出土土器觀察表	284
表-108	J 40·41号住居跡出土石器器種・石材別一覽表	230	表-155	J 58号住居跡（5 J - 8）出土石器屬性表	284
表-109	J 42号住居跡出土土器觀察表	230	表-156	J 58号住居跡（5 J - 8）石器器種・	
表-110	J 42号住居跡出土石器屬性表	232	石材別一覽表		284
表-111	J 42号住居跡石器器種・石材別一覽表	234	表-157	J P群- I (J 28) 出土土器觀察表	286
表-112	J 43号住居跡出土土器觀察表	234	表-158	J P群- I (J 28) 出土石器屬性表	290
表-113	J 43号住居跡出土石器屬性表	236	表-159	J P群- I (J 28) 石器器種・石材別一覽表	291
表-114	J 43号住居跡石器器種・石材別一覽表	236	表-160	J P土坑出土土器觀察表	324
表-115	J 44号住居跡出土土器觀察表	236	表-161	J P土坑出土石器屬性表	336
表-116	J 44号住居跡出土石器屬性表	242	表-162	J P土坑石器器種・石材別一覽表	337
表-117	J 44号住居跡石器器種・石材別一覽表	243	表-163	J S配石遺構出土土器屬性表	342
表-118	J 46号住居跡出土土器觀察表	244	表-164	J S配石遺構石器器種・石材別一覽表	344
表-119	J 46号住居跡出土石器屬性表	246	表-165	中近世遺物觀察表	366
表-120	J 46号住居跡石器器種・石材別一覽表	246	表-166	出土石器遺構別一覽表	石器凡例
表-121	J 47号住居跡出土土器觀察表	247	表-167	古墳一覽表	376
表-122	J 47号住居跡出土石器屬性表	247	表-168	H型穴住居跡一覽表	376
表-123	J 47号住居跡石器器種・石材別一覽表	250	表-169	鍛冶跡・鍛冶開闢遺構一覽表	393
表-124	J 48号住居跡出土土器觀察表	251	表-170	圓柱建物跡一覽表	394
表-125	J 48号住居跡出土石器屬性表	251	表-171	豎穴遺構一覽表	401
表-126	J 48号住居跡石器器種・石材別一覽表	257	表-172	H P土坑・大H P土坑一覽表	402
表-127	J 49号住居跡出土土器觀察表	258	表-173	J 豎穴住居跡一覽表	407
表-128	J 49号住居跡出土石器屬性表	258	表-174	J P上坑一覽表	409
表-129	J 49号住居跡石器器種・石材別一覽表	261	表-175	J S配石遺構・J N道構一覽表	415
表-130	J 50号住居跡出土土器觀察表	263	表-176	F土坑一覽表	415
表-131	J 50号住居跡出土石器屬性表	265	表-177	I井戸跡一覽表	426
表-132	J 50号住居跡石器器種・石材別一覽表	266	表-178	W溝跡一覽表	427
表-133	J 51号住居跡（5 J - 1）出土土器觀察表	267	表-179	A地下式土坑一覽表	432
表-134	J 51号住居跡（5 J - 1）出土石器屬性表	267	表-180	N性格不明遺構一覽表	432
表-135	J 51号住居跡（5 J - 1）石器器種・				
	石材別一覽表	268			
表-136	J 52号住居跡（5 J - 2）出土土器觀察表	269			
表-137	J 52号住居跡（5 J - 2）出土石器屬性表	272			
表-138	J 52号住居跡（5 J - 2）石器器種・				
	石材別一覽表	274			
表-139	J 53号住居跡（5 J - 3）出土土器觀察表	274			
表-140	J 53号住居跡（5 J - 3）出土石器屬性表	275			
表-141	J 53号住居跡（5 J - 3）石器器種・				
	石材別一覽表	277			
表-142	J 54号住居跡（5 J - 4）出土土器觀察表	277			
表-143	J 54号住居跡（5 J - 4）出土石器屬性表	279			
表-144	J 54号住居跡（5 J - 4）石器器種・				
	石材別一覽表	279			
表-145	J 55号住居跡（5 J - 5）出土土器觀察表	279			
表-146	J 55号住居跡（5 J - 5）出土石器屬性表	280			
表-147	J 55号住居跡（5 J - 5）石器器種・				
	石材別一覽表	282			
表-148	J 56号住居跡（5 J - 6）出土土器觀察表	282			
表-149	J 56号住居跡（5 J - 6）出土石器屬性表	282			
表-150	J 56号住居跡（5 J - 6）石器器種・				
	石材別一覽表	282			

図版目次

- | | | | |
|--------|---|--------|--|
| 図版- 1 | J 1号住居跡（南より）
同遺物出土状態（北西より）
同炉跡 | 図版- 21 | J 27（外）・30号（内）住居・J P107号土坑
(東より)
同遺物出土状態 |
| 図版- 2 | J 2号住居跡（東より）
同遺物出土状態（南より） | 図版- 22 | J P群- I (J 28号住) (東より)
同遺物出土状態 |
| 図版- 3 | J 3号住居跡・J P122～124・F279
号土坑（北東より）
南西隅出土炭化材
同炉跡 | 図版- 23 | J 29・59号住居跡（南東より）・J P111号土坑（左上）
J 31・32号住居跡（北より）
同遺物出土状態 |
| 図版- 4 | J 4号住居跡（北東より）
同遺物出土状態 | 図版- 24 | J 33（中央）・60号（外）住居跡・J P118号土坑（左下）(東北より)
J 34号住居跡（北より） |
| 図版- 5 | J 5号住居跡（南西より）
同炉跡1（東側）
同炉跡2（西側） | 図版- 25 | J 35号住居跡（西より）
住居東側遺物出土状態 |
| 図版- 6 | J 6号住居跡（西より）
同炉跡 | 図版- 26 | J 36号住居跡（東より）
同遺物出土状態 |
| 図版- 7 | J 7号住居跡（北東より）
同遺物出土状態
同山土埋設土器 | 図版- 27 | J 37号住居跡（西南より）
同遺物出土状態 |
| 図版- 8 | J 8号住居跡（北西より）
同出土埋設土器 | 図版- 28 | J 38号住居跡（南東より）
同遺物出土状態 |
| 図版- 9 | J 9号住居跡（北東より）
同炉跡 | 図版- 29 | J 39・61号住居跡・J P60・112号土坑（東より）
同遺物出土状態 |
| 図版- 10 | J 10号住居跡（南西より）
同炉跡・土坑
同炉跡 | 図版- 30 | J 40（手前）・41号（奥）住居跡（北より）
J 40号住居跡 |
| 図版- 11 | J 11号住居跡（北東より）
同遺物出土状態
同炉跡 | 図版- 31 | J 41号住居跡
J 42号住居跡（南より）
同遺物出土状態 |
| 図版- 12 | J 12号住居跡（西より）
同遺物出土状態 | 図版- 32 | J 43号住居跡（東より）
同焼土分布状態 |
| 図版- 13 | J 13号住居跡（北西より）
同炉跡 | 図版- 33 | J 44号住居跡（西より）
J 46号住居跡（西より） |
| 図版- 14 | J 14号住居跡（西より）
J 15号住居跡（北より） | 図版- 34 | J 47号住居跡（北より）
同遺物出土状態 |
| 図版- 15 | J 16号住居跡（北西より）
J 17号住居跡（南より） | 図版- 35 | J 48号住居跡（西より）
同出土種子 |
| 図版- 16 | J 18号住居跡（西より）
J 19号住居跡（北より） | 図版- 36 | J 49号住居跡（東より）
同炉跡1（奥側）
同炉跡2（手前側） |
| 図版- 17 | J 20号住居跡（北より）
同遺物出土状態
J 21号住居跡（北より） | 図版- 37 | J 50号住居跡（西より）
同遺物出土状態 |
| 図版- 18 | J 22号住居跡（東より）
J 23号住居跡（外側窓穴）（北より）
J 24号住居跡（北より） | 図版- 38 | J 51号住居跡（南より）
同遺物出土状態 |
| 図版- 19 | J 25号住居跡（北より）
同遺物出土状態
同炉跡 | 図版- 39 | J 52号住居跡・J P138・139号土坑
(北西より)
同遺物出土状態 |
| 図版- 20 | J 26号住居跡（南より）
住居土壙断面（東西面）
住居土壙断面（南北面） | | |

図版一 40	J 53号住居跡（北より） 同炉跡	図版一 51	J P42号土坑 J P43号土坑 J P44号土坑 J P45号土坑 J P46（上）・110（下）号土坑
図版一 41	J 54号住居跡（東より） 同炉跡		J P47号土坑 J P48号土坑 J P49号土坑
図版一 42	J 55号住居跡（西より） 同遺物出土状態 同炉跡		J P50号土坑 J P51号土坑 J P52号土坑 J P53号土坑 J P54号土坑 J P55号土坑
図版一 43	J 56号住居跡（西北より） J 57号住居跡（西より）	図版一 52	J P56号土坑 J P57号土坑 J P59号土坑 J P60号土坑 J P61号土坑 J P58（下）・62（上）号土坑
図版一 44	J 58号住居跡（西より） JS 1号配石遺構（北より）		J P63号土坑 J P64号土坑
図版一 45	JS 2号配石遺構上面（北より） JS 3号配石遺構下面（東より） JS 7号配石遺構（南京より）		J P65（左）・104（中央）・105（右）号土坑 J P66号土坑
図版一 46	J P 1号土坑 J P 2号土坑 J P 3号土坑 J P 4号土坑 J P 5号土坑 J P 6号土坑 J P 7号土坑 J P 8号土坑	図版一 53	J P67号土坑 J P69号土坑 J P70号土坑 J P71号土坑 J P72号土坑 J P73号土坑 J P74号土坑 J P75号土坑 J P76号土坑 J P77号土坑 J P78号土坑
図版一 47	J P 9（左）・117（右）号土坑 J P10（左）・11（右）号土坑 J P12号土坑 J P13号土坑 J P14号土坑 J P15号土坑 J P16・1号土坑 J P17号七坑		同遺物出土状態 J P79号土坑 J P80号土坑 J P81号土坑 J P82（右）・83（左）号土坑
図版一 48	J P18（下）・108（上）号土坑 J P19号土坑 J P20号土坑 J P21号七坑 J P22号土坑 J P23号土坑 J P24号土坑 J P25号土坑	図版一 54	J P84号土坑 J P85号七坑 J P86号土坑 J P87号土坑 J P88号土坑 J P89号土坑
図版一 49	J P26号七坑 J P27号土坑 J P28号土坑 J P29号土坑 J P30号土坑 J P31号土坑 J P32号土坑 J P33号土坑	図版一 55	J P90号土坑 J P91号土坑 J P92号土坑 J P93号土坑 J P94号土坑 J P99号土坑
図版一 50	J P34号土坑 J P35（中央）・109（下）号土坑 J P36号土坑 J P37号土坑 J P38号土坑 J P39号土坑	図版一 56	J P100号土坑 J P101号土坑 J P113号土坑 J P114号土坑
図版一 50	J P40号土坑 J P41号土坑	図版一 57	

F13 (中央)・14 (左) 号土坑	F109号土坑
F16 (手前)・17 (奥) 号土坑	F112号土坑
圆版 - 58 F21 (右)・22 (左) 号土坑	F116号土坑
F23 (左)・24 (右) 号土坑	F117号土坑
F27 (右) 号土坑・122 (左) 号井戸跡	F118号土坑
同遗迹出土狀態	圆版 - 65 F121号土坑
F30 (右手前)・31 (右奥)・32 (左奥) 号土坑	F123号土坑
F33 (左)・37 (右奥) 号土坑	F134号土坑
F40 (右奥)・41 (左手前) 号土坑	F135号土坑
F42号土坑	F137号土坑
圆版 - 59 F43号土坑	F140号土坑
F44 (奥) 号土坑	F141号土坑
F45 (奥断面) 号土坑	F142号土坑
F46号土坑	圆版 - 66 F143号土坑
F47号土坑	F144号土坑
F48号土坑	F147号土坑
F49 (中央)・50 (左) 号土坑	F148号土坑
F51 (左奥)・52 (右手前) 号土坑	F149号土坑
圆版 - 60 F53号土坑	F150号土坑
F54 (左)・55 (中央)・56 (右) 号土坑	F152号土坑
F57 (左手前)・58 (左奥)・59 (右) 号土坑	F157号土坑
F60号土坑	圆版 - 67 F162号土坑
F61号土坑	F163号土坑
F62号土坑	F168号土坑
F63号土坑	F185号土坑
F64号土坑	F187号土坑
圆版 - 61 F60・61 (左)・62 (左奥)・63・64 (右) 号土坑	F195号土坑
F65号土坑	F200 (右)・201 (左) 号土坑
F66 (中央左)・66 (右手前) 号土坑	F202号土坑
W15 (中央) 号溝跡	圆版 - 68 F205号土坑
同遗迹出土狀態	F208号土坑
F66号土坑	F215号土坑
F67号土坑	F222号土坑
F68 (右)・69 (左) 号土坑	F224 (左)・225 (右) 号土坑
F70号土坑	F226号土坑
圆版 - 62 F71号土坑	F231号土坑
F72号土坑	F233号土坑
F39 (左)・73 (右) 号土坑	圆版 - 69 F234号土坑
F75号土坑	F235号土坑
F76号土壤 (人骨出土)	F236号土坑
F77号土壤 (人骨出土)	F241号土坑
同出土古錢	F244号土坑
F80号土坑	F245号土坑
圆版 - 63 F81号土坑	F246号土坑
F81号土坑土層斷面	F247号土坑
F83号土壤	圆版 - 70 F248号土坑
F85号土坑	F251号土坑
F86号土坑	F252号土坑
F87号土坑	F253号土坑
F93号土坑	F254 (上)・255 (左) 号土坑
F94号土坑	F256号土坑
圆版 - 64 F95号土坑	F257号土坑
F96 (右)・97 (左) 号土坑	F258号土坑
F98号土坑	圆版 - 71 F259号土坑

I 22号井戸跡	J 13・16・17号住居跡出土土器
I 5(奥)・11(手前) 号井戸跡	J 17号住居跡出土土器
I 6号井戸跡	J 17号住居跡出土土器
I 7号井戸跡	J 17・18号住居跡出土土器
I 10号井戸跡	J 17・18号住居跡出土土器
I 11号井戸跡	J 18号住居跡出土土器
I 13号井戸跡	J 18・19・23号住居跡出土土器
図版- 72 I 14号井戸跡	J 19・23号住居跡出土土器
I 16号井戸跡	J 19・23号住居跡出土土器
I 18号井戸跡	J 19・23号住居跡出土土器
I 19号井戸跡	J 19号溝跡遺物出土状態
W75号溝跡(犬走り)(ト-26西)	W75号溝跡(犬走り)(ト-26西)
W75号溝跡(ト-26区南より)	W75号溝跡(ト-26区南より)
同土層断面	同土層断面
図版- 73 W75号溝跡遺物出土状態	W75号溝跡遺物出土状態
W76号溝跡・A 1号地下式土坑	W76号溝跡・A 1号地下式土坑
(ニ-25区南より)	(ニ-25区南より)
W-76号溝跡(へ-26区東より)	W-76号溝跡(へ-26区東より)
W-75号溝跡(ホ-25区東より)	W-75号溝跡(ホ-25区東より)
W-77号溝跡(リ-29区南より)	W-77号溝跡(リ-29区南より)
A II号地下式土坑	A II号地下式土坑
A III号地下式土坑	A III号地下式土坑
図版- 74 7-3区北半部(東より)	7-3区北半部(東より)
7-3区南半部(東より)	7-3区南半部(東より)
7-3区南半部(西より)	7-3区南半部(西より)
7-3区北半部(北より)	7-3区北半部(北より)
7-3区北半部(東より)	7-3区北半部(東より)
7-3区北半部(東より)	7-3区北半部(東より)
13区(北より)	13区(北より)
14-2区(北より)	14-2区(北より)
図版- 75 14-3区(南より)	14-3区(南より)
14-4区(西より)	14-4区(西より)
14-5区(西より)	14-5区(西より)
14-5区(南東より)	14-5区(南東より)
19区調査風景	19区調査風景
19区W2・3・4号溝跡(南より)	19区W2・3・4号溝跡(南より)
20-1区M1号墳周溝(北より)	20-1区M1号墳周溝(北より)
調査風景	調査風景
図版- 76 J 1・2・3号住居跡出土土器	J 1・2・3号住居跡出土土器
J 2・3・4号住居跡出土土器	J 2・3・4号住居跡出土土器
図版- 77 J 4・5号住居跡出土土器	J 4・5号住居跡出土土器
J 5・6号住居跡出土土器	J 5・6号住居跡出土土器
図版- 78 J 6号住居跡出土土器	J 6号住居跡出土土器
J 6・7号住居跡出土土器	J 6・7号住居跡出土土器
図版- 79 J 7・8号住居跡出土土器	J 7・8号住居跡出土土器
J 8・9号住居跡出土土器	J 8・9号住居跡出土土器
図版- 80 J 9号住居跡出土土器	J 9号住居跡出土土器
J 10号住居跡出土土器	J 10号住居跡出土土器
図版- 81 J 10・11号住居跡出土土器	J 10・11号住居跡出土土器
J 11・12号住居跡出土土器	J 11・12号住居跡出土土器
図版- 82 J 12・14号住居跡出土土器	J 12・14号住居跡出土土器
J 13・15号住居跡出土土器	J 13・15号住居跡出土土器
図版- 83 J 13・15号住居跡出土土器	J 13・15号住居跡出土土器
図版- 84 J 17号住居跡出土土器	J 13・16・17号住居跡出土土器
J 17号住居跡出土土器	J 17号住居跡出土土器
図版- 85 J 17・18号住居跡出土土器	J 17・18号住居跡出土土器
J 17・18号住居跡出土土器	J 17・18号住居跡出土土器
図版- 86 J 18号住居跡出土土器	J 18号住居跡出土土器
J 18・19・23号住居跡出土土器	J 18・19・23号住居跡出土土器
図版- 87 J 19・23号住居跡出土土器	J 19・23号住居跡出土土器
J 19・23号住居跡出土土器	J 19・23号住居跡出土土器
図版- 88 J 19・23・20号住居跡出土土器	J 19・23・20号住居跡出土土器
J 20・21号住居跡出土土器	J 20・21号住居跡出土土器
図版- 89 J 21・22号住居跡出土土器	J 21・22号住居跡出土土器
J 22号住居跡出土土器	J 22号住居跡出土土器
図版- 90 J 22号住居跡出土土器	J 22・24号住居跡出土土器
J 22・24号住居跡出土土器	J 22・24号住居跡出土土器
図版- 91 J 24・25号住居跡出土土器	J 24・25号住居跡出土土器
J 25号住居跡出土土器	J 25号住居跡出土土器
図版- 92 J 25号住居跡出土土器	J 25号住居跡出土土器
J 25号住居跡出土土器	J 25号住居跡出土土器
図版- 93 J 25・26号住居跡出土土器	J 25・26号住居跡出土土器
J 26・27・30号住居跡出土土器	J 26・27・30号住居跡出土土器
図版- 94 J 27・30号住居跡出土土器	J 27・30号住居跡出土土器
J 27・30号住居跡出土土器	J 27・30号住居跡出土土器
図版- 95 J 27・30号住居跡出土土器	J 27・30号住居跡出土土器
J 27・30号住居跡出土土器	J 27・30号住居跡出土土器
図版- 96 J 27・30号住居跡出土土器	J 27・30号住居跡出土土器
J P群-I (J 28) 出土土器	J P群-I (J 28) 出土土器
図版- 97 J 29号住居跡出土土器	J 29号住居跡出土土器
J 29号住居跡出土土器	J 29号住居跡出土土器
図版- 98 J 29号住居跡出土土器	J 28・29号住居跡出土土器
J 28・29号住居跡出土土器	J 28・29号住居跡出土土器
図版- 99 J 31号住居跡出土土器	J 31号住居跡出土土器
J 33号住居跡出土土器	J 33号住居跡出土土器
図版- 100 J 34・35・36号住居跡出土土器	J 34・35・36号住居跡出土土器
J 36号住居跡出土土器	J 36号住居跡出土土器
図版- 101 J 36・37号住居跡出土土器	J 36・37号住居跡出土土器
J 37・38号住居跡出土土器	J 37・38号住居跡出土土器
図版- 102 J 38・39号住居跡出土土器	J 38・39号住居跡出土土器
J 39号住居跡出土土器	J 39号住居跡出土土器
図版- 103 J 39号住居跡出土土器	J 39号住居跡出土土器
J 40・41号住居跡出土土器	J 40・41号住居跡出土土器
図版- 104 J 40・41号住居跡出土土器	J 40・41号住居跡出土土器
J 42号住居跡出土土器	J 42号住居跡出土土器
図版- 105 J 43・44号住居跡出土土器	J 43・44号住居跡出土土器
J 44号住居跡出土土器	J 44・46号住居跡出土土器
図版- 106 J 44号住居跡出土土器	J 44・46号住居跡出土土器
J 46・47号住居跡出土土器	J 46・47号住居跡出土土器
図版- 107 J 48・49号住居跡出土土器	J 48・49号住居跡出土土器
J 49・50号住居跡出土土器	J 49・50号住居跡出土土器
図版- 108 J 50・51・52号住居跡出土土器	J 50・51・52号住居跡出土土器
J 52号住居跡出土土器	J 52号住居跡出土土器
図版- 109 J 52号住居跡出土土器	J 52号住居跡出土土器
J 52号住居跡出土土器	J 52号住居跡出土土器
図版- 110 J 52号住居跡出土土器	J 52号住居跡出土土器

	J 53・54号住居跡出土土器	J 40・41・42号住居跡出土石器
図版-111	J 53・54号住居跡出土土器	J 43・44号住居跡出土石器
	J 54号住居跡出土石器	J 44号住居跡出土石器
図版-112	J 34・55号住居跡出土土器	J 44号住居跡出土石器
	J 57・58号住居跡・J P.土坑出土土器	J 46号住居跡出土石器
図版-113	J P.土坑出土土器	J 47号住居跡出土石器
	J P.土坑出土土器	J 47・48号住居跡出土石器
図版-114	J P.土坑出土土器	J 48号住居跡出土石器
	J P.土坑出土土器	J 48号住居跡出土石器
図版-115	J P.土坑出土土器	J 48号住居跡出土石器
	J P.土坑出土土器	J 48・49号住居跡出土石器
図版-116	J P.土坑出土土器	J 49号住居跡出土石器
	J P.土坑出土土器	J 50号住居跡出土石器
図版-117	J P.土坑出土土器	J 50・51・56号住居跡出土石器
	J P.土坑出土土器	J 52号住居跡出土石器
図版-118	J P.土坑出土土器	J 53・54・55号住居跡出土石器
	J P.土坑出土土器	J 55・58号住居跡・J P.土坑出土土器
図版-119	J 1・2号住居跡出土石器	J P.土坑出土石器
	J 3・4号住居跡出土石器	J P.土坑・J S配石遺構出土石器
図版-120	J 4号住居跡出土石器	住居跡・土坑出土石器・石錐・石匙・削器
	J 5・6号住居跡出土石器	楔形石器・棒状石器・垂飾品・块状耳飾り
図版-121	J 6・7号住居跡出土石器	J 4~8号住居跡出土石器
	J 7・8号住居跡出土石器	J 9~11号住居跡出土石器
図版-122	J 8・9号住居跡出土石器	J 13・17・19~24・27号住居跡出土石器
	J 9号住居跡出土石器	J 13・17・19~24・27号住居跡出土石器
図版-123	J 10号住居跡出土石器	J 37・43・44・49・50号住居跡・J S配石遺構出土石器
	J 10号住居跡出土石器	J 37・43・44・49・50号住居跡出土石器
図版-124	J 11・12号住居跡出土石器	
	J 12・13号住居跡出土石器	
図版-125	J 14・15号住居跡出土石器	图版-150 J 34・35・39号住居跡・J P.土坑出土石器
	J 15・16号住居跡出土石器	J 37・53・55号住居跡出土石器
図版-126	J 17号住居跡出土石器	图版-151 陶磁器(1) 内面
	J 17号住居跡出土石器	陶磁器(1) 外面
図版-127	J 17・18・19・23号住居跡出土石器	图版-152 陶磁器(2)
	J 19・23号住居跡出土石器	陶磁器(3)
図版-128	J 19・23・20号住居跡出土石器	图版-153 陶磁器(4)
	J 20号住居跡出土石器	陶磁器(5)
図版-129	J 21・22号住居跡出土石器	图版-151 陶磁器(6)
	J 22号住居跡出土石器	
図版-130	J 24号住居跡出土石器	
	J 25号住居跡出土石器	
図版-131	J 25・26号住居跡出土石器	
	J 26・27号住居跡出土石器	
図版-132	J 27号住居跡出土石器	
	J 27号住居跡出土石器	
図版-133	J P.群-1 (J 28・29・59号住居跡出土石器)	
	J 29・59・31・32号住居跡出土石器	
図版-134	J 31・32・33号住居跡出土石器	
	J 34・35・37号住居跡出土石器	
図版-135	J 36号住居跡出土石器	
	J 36号住居跡出土石器	
図版-136	J 36・38号住居跡出土石器	
	J 38・39号住居跡出土石器	
図版-137	J 39・40・41号住居跡出土石器	

I 調査及び整理の経過

芳賀東部墳地遺跡は、昭和51年から昭和56年まで長期間の調査を行なってきた。調査の詳細な経過については1・2巻を参照されたい。第3巻で扱う縄文時代・中・近世は調査期間が1・2巻と重なるので、以下調査の簡単な経過と、3巻刊行までの整理の経過を記す。

昭和51年6月 7日。発掘調査事務所の整備と調査区のグリッド設定と試掘をはじめる。雨が多い。

7月 遺構(H-2・3、J-1など)の検出が続く。

8月 山王庵寺調査のため、トレーニング設定と写真・図版整理を主として行う。

9月 銅冶址検出。台風。

10月 土器部を伴う竪穴住居跡の検出が続く。(H-13~28)

11月 10月に同じく検出が続く。(H-29~53)

12月 住居跡はH-79・J-5まで検出される。27日に本年度の調査を終了し、整理作業に入る。

昭和52年5月 9日。本年度の調査開始。T-2検出。

6月 H-88、J-7まで検出。見学・視察が続く。

7月 中旬より山王庵寺調査で休み。

8月 下旬より調査再開。NHK取材。

9月 H-91、J-12まで検出。排土・精査を行う。

10月 縄文時代の遺構の検出が続く。

11月 試掘と遺構の検出が多い。

12月 23日まで調査を続ける。以後整理作業に入る。

昭和53年4月 24日より調査を開始。研修を実施する。調査区に地区名をつける。

5月 8日より本格的調査を開始する。

6月 相沢忠祥氏調査員に依頼。下旬より雨が多い。

7月 着さきびしい。表土排土に機械力導入検討。

8月 9区の表土除去に機械力導入。9区で墓壙の検出が多い。

9月 グランド区に入る。遺構の検出が多い。

10月 カマド内焼土の熱残留測定行なわれる。

11月 7-3区に入るが、ここも遺構の検出が多い。見学・視察が多い。

12月 引き続き7-3区の調査。28日に現地調査終了整理に入る。

昭和54年4月 23日、調査開始。研修実施。

5月 53年度に引き7-3区より本格的調査に入る。

6月 土器盗難。下旬より雨が多い。

7月 13区で掘立柱建物跡多く検出される。

8月 中学生体験学習を行う。

9月 作業員研修実施。

10月 標高点の再計測を実施。

11月 遺構の磁気探査実施。東側台地の調査に入る。

12月 東側台地にグリッド設定。28日現地調査終了。

昭和55年1月～3月 次年度予定区の表土除去を行う。

4月21日。現地調査開始。遺構番号を5H-1、5J-1のように55年度分についてつけることとする。

5月 現地調査に併行して遺物の接合、復元作業をはじめる。

6月 古墳。石田川期住居跡群調査、航空写真撮影。強風の日が多い。

7月 雨が多い。土層鑑定。見学・視察が多い。

8月 親子体験発掘を実施する。作業員研修。

9月 航空写真撮影実施。見学・視察が多い。

10月 強風や雨が多い。今後の整理計画について検討はじまる。

11月 航空写真撮影実施。撤収にそなえ器材の整理を行う。

12月 2日、現地より撤収。元総社の分室にて整理作業に入る。発掘成果説明会。

昭和56年2月 出土鉄製品の保存処理依託。

3月 調査団の解団式を行う。報告書の整理・刊行計画と写真集の刊行決定。

4月～12月 土器の復元を中心とする整理作業を続ける。

- 昭和57年 1月～6月 第1巻収録分の上器の復元を終了する。
7月～12月 遺物実測及び遺構図面の検討・トレース・版組。
10月 調査報告書作成のための作成委員会・編集委員会の発足にむけて準備会を開く。
- 昭和58年 1月～5月 遺構図版作成を続ける。
- 4月 第2回の準備会を開く。
5月 作成委員会発足。委員の委嘱を行う。執筆委員会開催。執筆を依頼する。
6月～12月 原稿依頼に伴う遺構データ一覧表の作成を行う。
- 10月 編集委員会開催。
11月 原稿完成。編集委員会開催、用語等の検討を行う。
12月 土器の胎土分析を行う。図版ほぼ完成する。
- 昭和59年 1月～12月 第2巻に収録の遺物の接合・復元を行う。
1月 遺物の化学分析を実施する。
3月 第1巻を刊行する。
- 昭和60年 1月～12月 第2巻に収録する遺物の接合・復元を行う。
- 6月 考察について編集委員会開催。
7月 执筆委員会、図面整理作業を実施。
- 昭和61年 1月～12月 第2巻に収録の遺物の実測と遺構のデータ表作成を行う。図版作成。
9月 編集委員会。考察について検討。
10月 执筆委員会。図面整理作業・原稿依頼。
- 昭和62年 1月～12月 第2巻に収録の図版作成。第3巻の遺構図面検討。
- 11月 編集委員会開催。整理・刊行計画について。
- 昭和63年 1月～3月 第2巻の校正と刊行。第3巻に収録の遺物の接合・復元。
4月～9月 第3巻に収録の遺構のデータ一覧表作成。遺物の実測・トレース。拓本作成。
9月 执筆委員会開催。第3巻の原稿依頼。
- 9月～12月 第3巻に収録の遺構のトレース、遺物のトレース。
- 12月 編集委員会開催。第3巻の考察について検討。
- 昭和64年 1月～平成元年 3月 第3巻用図版作成。遺物写真撮影準備。
- 平成元年 1月 編集委員会開催。第4巻以降の委員会の体制について検討。
- 5月 作成委員会開催。編集委員の委嘱を行う。
6月 編集委員会開催。第3巻の考察について検討。
7月～ 考察の執筆作業、編集作業。第4巻の遺物整理に入る。
- 平成2年 3月 編集委員会開催。第4巻の刊行計画について。
3月 第3巻刊行。

II 基本層序

I	
II	II-a
III	III-b
IV	IV
V	V
VI	VI
VII	VI-a
VIII	VIII-b
IX	IX
X	X
XI	XI

図-1 地層対照図

基本層序は第2巻と基本的に同じである。土層断面図中に表記されている土層の記号は、基本層序の記号と対応する。

第I層 耕作土・表土。粒子が荒く、さらさらしている。厚さ30cm前後。

第II-a層 B鉱石を多量に含む砂質土。厚さ10cm前後。

第II-b層 B鉱石純層。厚さ10cm前後。

第III層 黒褐色土。黒色土と褐色土がブロック状にまじりさらさらしている。F.P.・C鉱石を含む。厚さ20cm前後。

第IV層 黒色土。F.P.・C鉱石を含む。厚さ10~20cm前後。

第V層 FAの純層かFAブロック層。厚さ5cm前後。

第VI-a層 C鉱石を多量に含む黒色土。厚さ2~4cm前後。

第VI-b層 C鉱石純層。厚さ2~4cm前後。

第VII層 黒色土。浮石をふくまない。粘性がある。厚さ10cm前後。

第VIII層 漸移層Ⅰ。黒褐色土。粘性がある。厚さ20cm前後。

第IX層 漸移層Ⅱ。褐色土。厚さ10~15cm前後。

第X層 ローム層。

基本層序にあてはまらない土層については個々に説明を付している。

III 遺構と遺物

1. 概要

芳賀東部団地遺跡は、昭和51年から昭和55年にかけて、前橋市鳥取町、小坂子町、五代町にわたる32.78haの調査を行なってきている。遺跡内には、東と西の大きな台地と、その中间の小さな台地の大部分が含まれる。

各地の調査例をみても、台地のほとんどを調査した例は少なく、貴重な調査例となるものである。

芳賀東部団地遺跡は、全体で1500に近い遺構とパン箱670箱の遺物が検出・出土している。

縄文時代 穫穴式住居跡 60 土坑 140 配石遺構など 7 遺物 パン箱約130

古墳時代 古墳 4 穫穴式住居跡 75

奈良・平安時代 穫穴式住居跡 411 穫穴遺構 10 掘立柱建物跡 206 銀治址・製錬址 5

溝 83 土坑 125 井戸 3 遺物 パン箱約630

中・近世 地下式土坑 4 土坑 293 井戸 20 溝 23 遺物 パン箱約10

性格不明 37

第3巻では縄文時代と中・近世を扱うが、概要は以下の通りである。

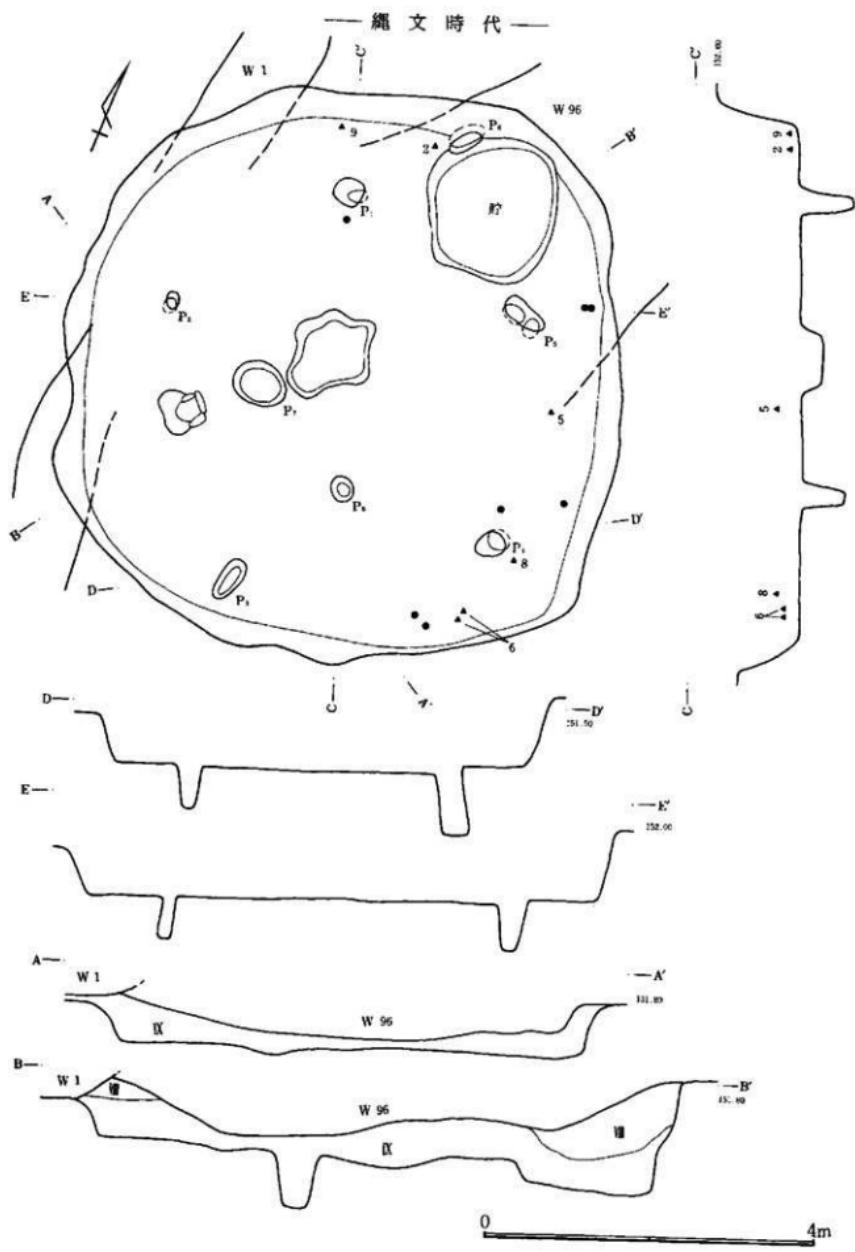
縄文時代の住居跡は、台地の全域に分布をしているが、その分布は奈良・平安時代の住居跡と同様の傾向があり、東側台地の調査区では全域に散在する。中央台地ではその南端。西側台地では南半に集中している。これは古代からの住居跡の遺地を示すものである。中期の敷石住居跡が一群として西側台地の南西端で検出されている。住居跡の占地については考察の項をみられたい。

縄文時代の土坑は140が住居跡と同様の傾向で分布が認められる。また、140の土坑には形態その他で、いくつかに分類ができる。用途ともあわせて考えられるものである。詳細は土坑の項を参照のこと。

その他の縄文時代の遺構には配石遺構などがあるが、その様相はさまざまである。

出土遺物は、土器は主たる文様を拓本で掲載し、石器のほとんどは実測図で掲載した。これらのほとんどは写真図版としても掲載したので、それぞれ資料として活用されたい。

中・近世の遺構は、台地全域から検出された土坑と、中央台地（9区）より検出された中世の地下式土坑と、方形に区分される溝・近世の墓域群から成る。墓壙は、他にも土葬のもの火葬と推定されるものがある。全体図と中央台地の（井野）



図・2 J 1号住居跡

2. 穹穴式住居跡

J 1号住居跡 (図-2・60・61、表-1~3、図版-1・76・119)

位置 西台地の東南寄りC-4区に位置する。形状 隅丸方形で、東壁側は直線的だが、西壁周辺は円形にちかい。主軸方位はN-24°-Wである。規模は南北6.30m、東西6.26m、面積34.6m²である。壇高は東99cm、西56cmで、周溝はない。ビット 主柱穴とみられるビットは5つある。 P_5 は下部で2つに分かれ、 P_2 も2つの長楕円形であるが、基本的には径20~30cm、深さ53~85cmあり、全体的に内側へ傾斜している。炉 炉は P_2 と P_3 の中間地点、西壁から1.3m離れてある石圓い炉で、細長い石で三辺を囲み、西南辺は石がなくゆるく傾斜する。炉内は全体に赤く焼けている。規模は38×27cm、深さ15cmである。東北隅の壁下には略円形の貯蔵穴とみられるビットがある。規模は155×175cm、深さ40cm前後である。住居の約中央で、炉と貯蔵穴との中間点に浅いビットがある。126×99cm、深さ20cmの不整形で、位置と大きさから推定すれば炉跡であったとも考えられる。他に、この浅いビットと炉との間には68×55cm、深さ54cmのしっかりしたビット P_1 がある。重複 溝W1とW96とが重複し、西南隅ちかくにW2がある。遺物 土器は諸磧b式が主体で、石器は石斧、削器、石核、石錐、凹石がある。

(相沢)

J 2号住居跡 (図-3・62~64、表4~6、図版-2・76・119)

位置 西台地南端近く、南への緩斜面のE-F-4区に位置する。40m北にJ 3号住、東40mにJ 1号住が位置するが、他の遺構とは離れている。形状 長方形。長軸・短軸は5.0×3.3mで、面積は16.2m²である。壁高は40~76cmを測る。ロームに掘り込まれ、立ち上がりは鋭角である。周溝・張り出し等の施設はない。長軸方向は推定でN-88°-Wである。床面はローム層でほぼ平坦であるが、西側はわずかに高くなっている。ビット 方形に配されたビット4基が確認される。径は30~40cm。深さの資料はない。炉 写真等では存在が確認されない。遺物 土器は諸磧b式が主体で、石器は黒色頁岩製の打製石斧、復刃削器、抉入石器や黒色安山岩の打製石斧などが出土している。

(井野)

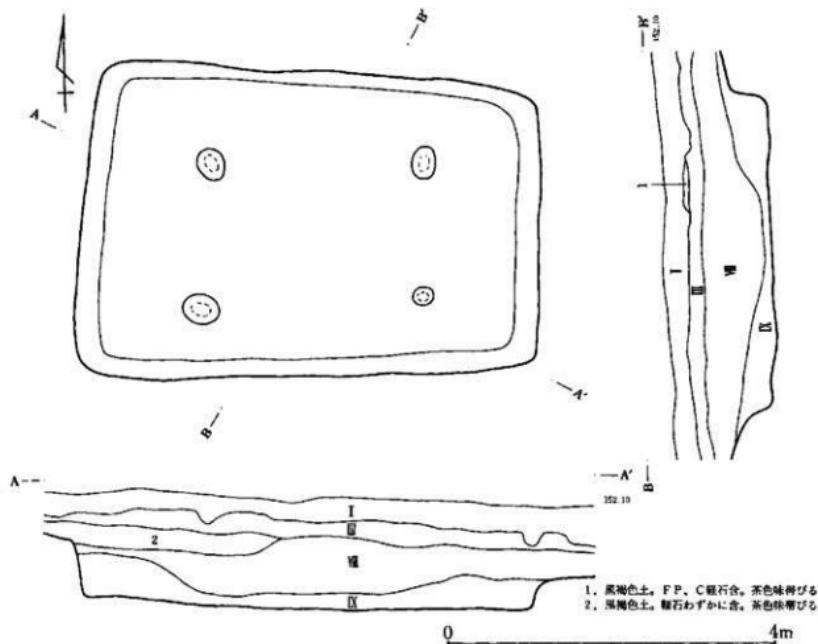


図-3 J 2号住居跡

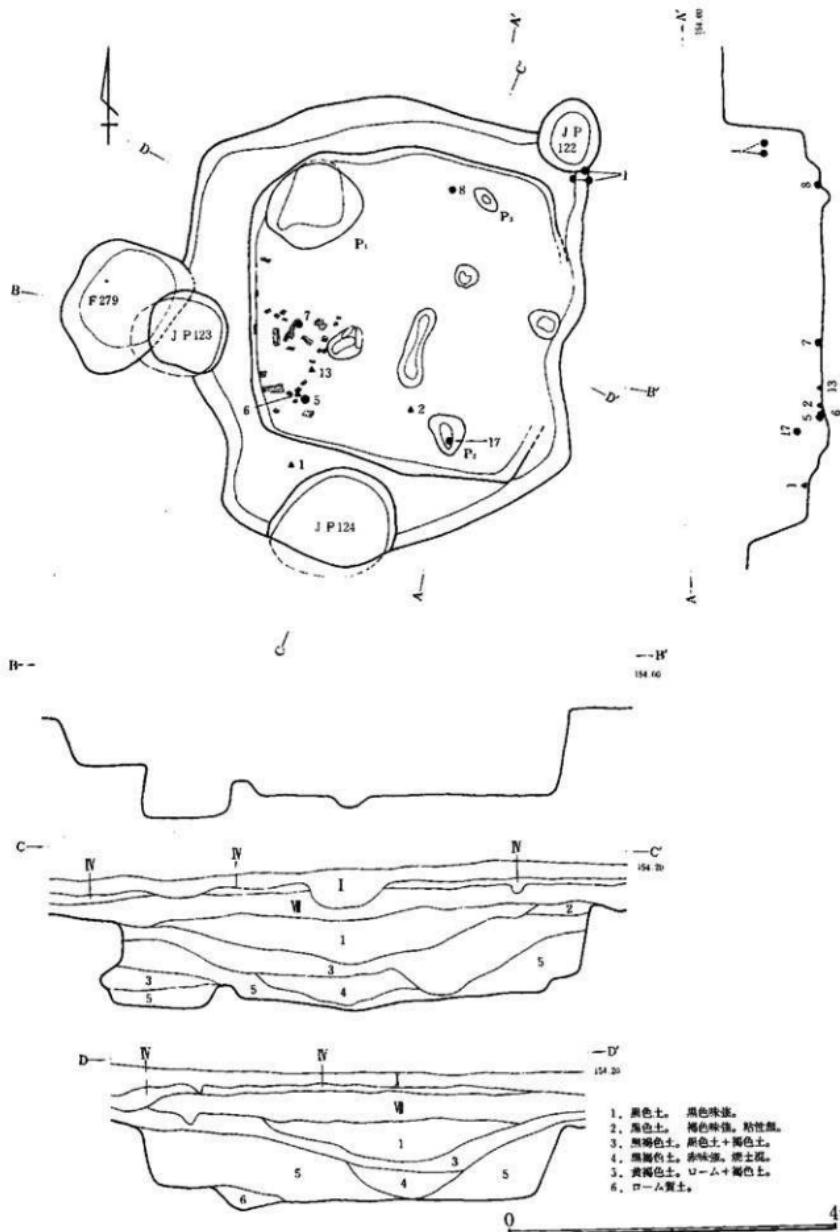


图-4 J 3号住居跡

J 3号住居跡 (図-4・65~68、表7~9、図版-3・76・119)

位置 西台地上F-5・6区に位置する。西60mにJ 1号住、北40mにJ 2号住がある。
形状 平面は矩形で南北5.0m、東西は推定4.5m、面積は推定19.6m²である。主軸はN-3°-Eを示す。壁高は88~106cmで、周溝は認められない。東壁に寄つて方形の落ち込みがみられ、東壁を除く三方が14~29cmの段状をなす。この段差は、地層断面で時間的差が認められないことから同時期と推定される。
ピット 柱穴状のものが東壁際と、それに平行して数ヶ所みられるが、いずれも浅い。P₁は96×69cm、深さ25cm、断面袋状をなす。P₂は53×42cm、深さ17cm。P₃は31×15cm、深さ17cmである。
炉 住居南西隅近くに2石をL字形に配し中が落ち込む形状で、周囲に炭化物が多く散布していた。規模は46×29cmである。又、地層断面で覆土中に焼土や炭化物の混入が多くみられ、焼失家屋の可能性がある。
重複 住居北東隅でJ P122、南壁でJ P124、西壁でJ P123、F279と重複する。前後関係は不明である。
遺物 土器は諸器b式が主体で、石器は搔器、石斧、石錐、敲き石が出土している。

(中村)

J 4号住居跡 (図-5・69~71、表-10~12、図版-4・77・119・120・147)

位置 西台地のはば中央部で、やや東に寄つたD-9区に位置する。北東へ14m離れてJ 5号住が、また南東へ28m離れてJ 34・35号住がある。さらにその中間に土坑4基が存在する。
形状 南隅が飛び出した不整の台形を呈する。床面上の中央付近で南北長5.1m、東西長5.5mを測る。面積は25.3m²である。周溝は存在せず、低い壁が緩い傾斜で立つ。壁高は確認面まで41cm残る。主軸はN-53°-Wに取る。
ピット 床面上には径10~20cm、床面よりの深さが10cm前後のくぼみが不規則に存在するが、柱穴とみられるものは確認されない。
炉 存在しない。
重複 北東隅でHP107と重複する。
遺物 土器は前期初頭の繩文尖底が主体で、石器は石斧、削器、抉入石器が出土している。

(富沢)

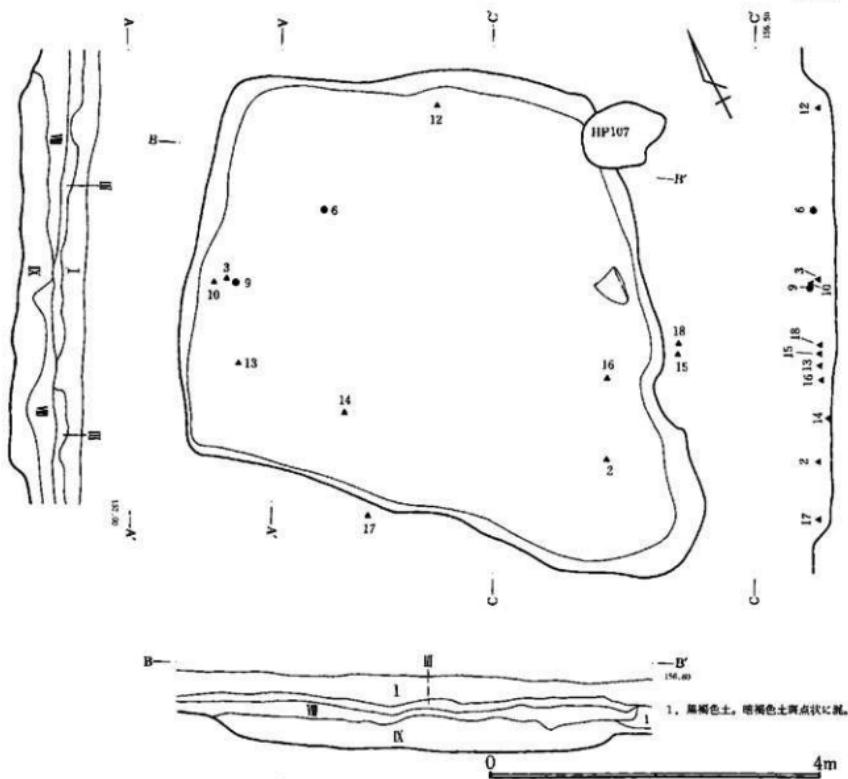
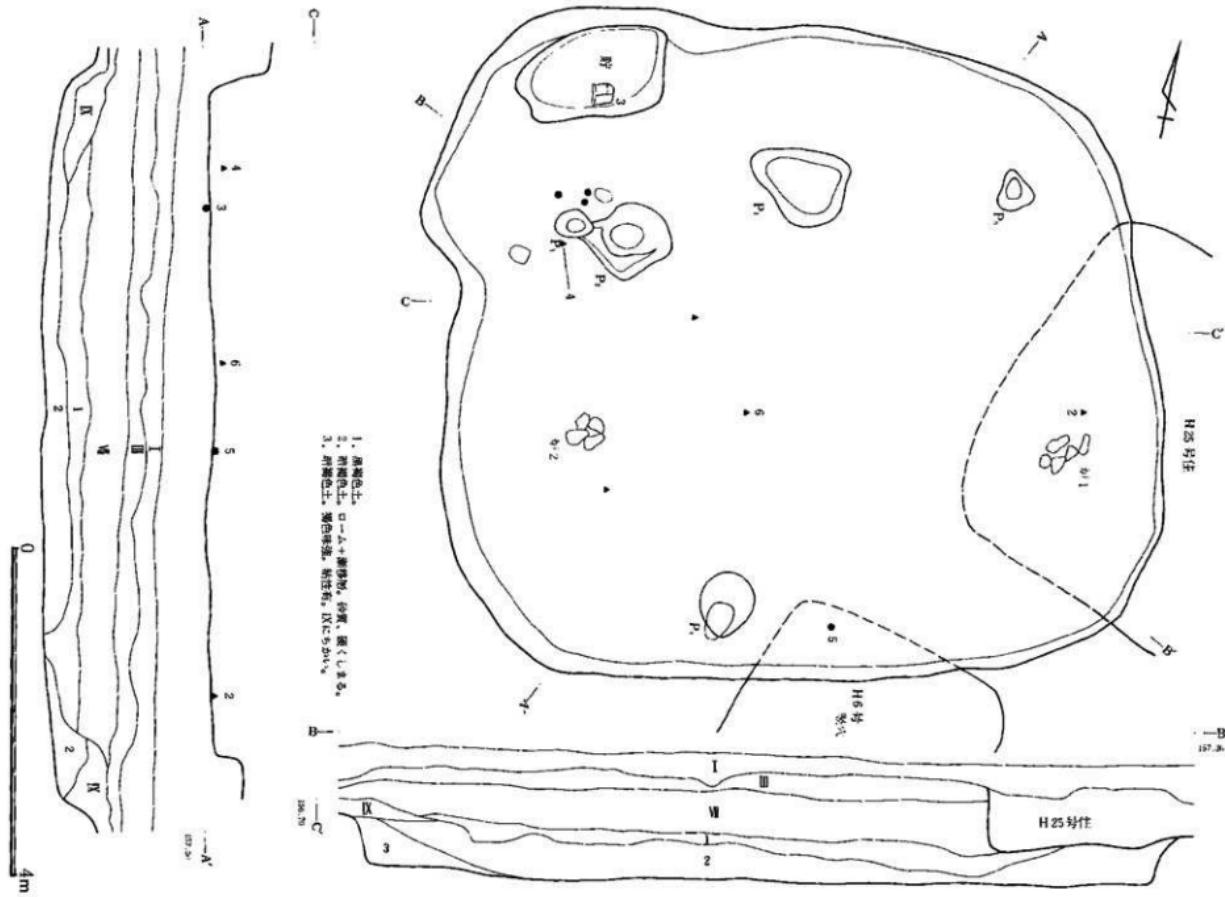


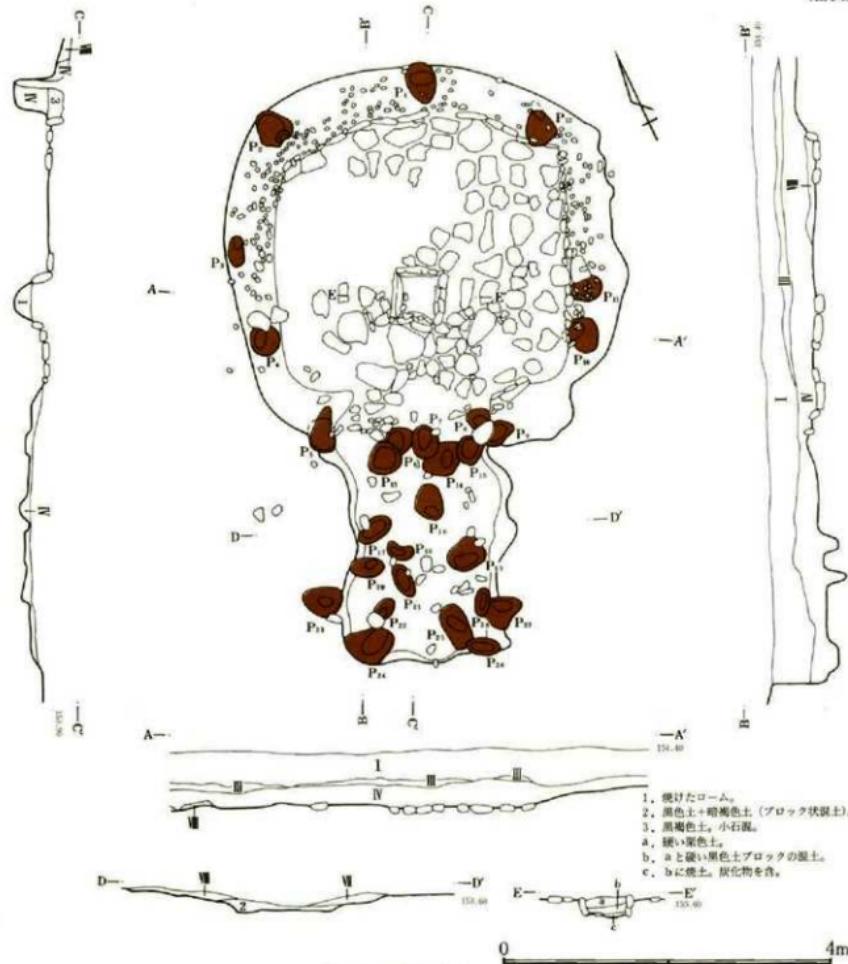
図-5 J 4号住居跡

図-6 J 5号柱断面



位置 西台地の中央部やや東寄り C-10区に位置する。南・南西方向25~30mに J 4、34、35号住及び J P 44~46、110号土坑がある。**形状** 主軸を N-77°-E に取る。隅丸長方形で、北西隅がやや張り出しがみを呈す。規模は床面上で南北7.7m、東西8.2mを測る。面積は張り出し部を含め57.5m²である。壁は直に立ち、壁高は北側で84cm、南側で64cmある。周溝はない。**ピット** 北壁より1.2m内側に、P₁~P₃、P₅ のピットが約2.40mの間隔で、主軸と並行するように並ぶ。P₁ が123×102cm、P₂ が96×90cm、P₃ が40×35cm、P₅ が43×42cmを測る。柱穴とみられる。またP₃ と対応する位置に P₄ が認められるが、他に柱穴とみられるピットはない。この他、北西隅に床面上で360×150cmの長楕円形を呈すピットがある。貯蔵穴であろう。**炉** 南壁より2.60m内側で、主軸にはほぼ平行して2つの石窯い炉がある。5.2mの間隔で、それぞれ4~5石の山石を斜めに差し込み、炉としている。**重複** 東壁及び南壁寄りでH25号住、H 6号壁穴と重複し、本跡より新しい。**遺物** 土器は諸種 b・c 式が主に出土している。石器は片刃器、砥石、円錐石器が出土している。

(富沢)



図一 7 J 6号住居跡

J 6号住居跡 (図-7・8・75~78、表-16~18、図版-6・77・78・120・121・147)

位置 西台地の南西端P-4区に位置する。南西方向への緩い傾斜地形で、西20mにJ 10号住がある。
形状 南西方向に張り出しをもつ柄鏡型(敷石)住居跡で、主軸をN-25°-Eに取る。主体部は南、北壁が弧を描いて張り出し、東西壁が直線的な方形を呈する。規模は、東西3.50m、南北も最大で6.50mを測る。面積は張り出し部を含め16.1m²を測る。床面は扁平な転石をまばらに敷いているが、西側半分の範囲は敷石の無い部分が認められる。敷石の周囲には範囲を区画するよう転石が一列並ぶ。特に奥壁は長さ30~40cm、径10cmの棒状の転石を並べ、高さ10cm程の低い壁を形造っている。東西壁もやや大振りの転石が一列並べられ、これらの石列の外側に径5cm前後の小石を主とした黒褐色土が帯状に囲んでいる。この周縁は、厚さ20cm・40~50cmの幅で、張り出し部分を除いた三壁の外側に認められる。住居は敷石の外側170cmの所より全体的に約30cm掘り込み、さらに周縁部は溝状に掘り込まれている。張り出し部は5~10cm全体的に掘り込み、幅1.5m、長さ2.5mの長方形を呈す。中には多数のビットが不規則に存在し、敷石はない。
炉 住居主軸線上にあり、主体部中心よりやや張り出し方向に寄った地点に、方形石壠い炉がある。細長い山石を1~2段積み囲んだもので、石の表面は熱を受け脆くなり、割れたりしている。石の外法で南北72cm、東西64cmを測る。
主体部と張り出し部の接続付近は浅く掘り込まれビットが存在するが、埋甕はない。
ビット 周縁と重複して、主体部の周囲に8個(P₁~P₅, P₉~P₁₂)の柱穴とみられるビットが存在する。いずれも径30~40cm、深さ50~70cmを測る。張り出し部には径20~30cm、深さ10~20cmの浅いビットがやや不規則に存在する。P₁₃, P₁₇, P₂₆, P₂₈とP₁₅, P₁₉, P₂₂は直線的に並ぶ傾向にある。
遺物 土器は加曾利E 4式が主体で、称名寺1・2、堀之内式も出土する。石器は石鏃、削器、礫石、凹石、石棒が出土している。

(富沢)

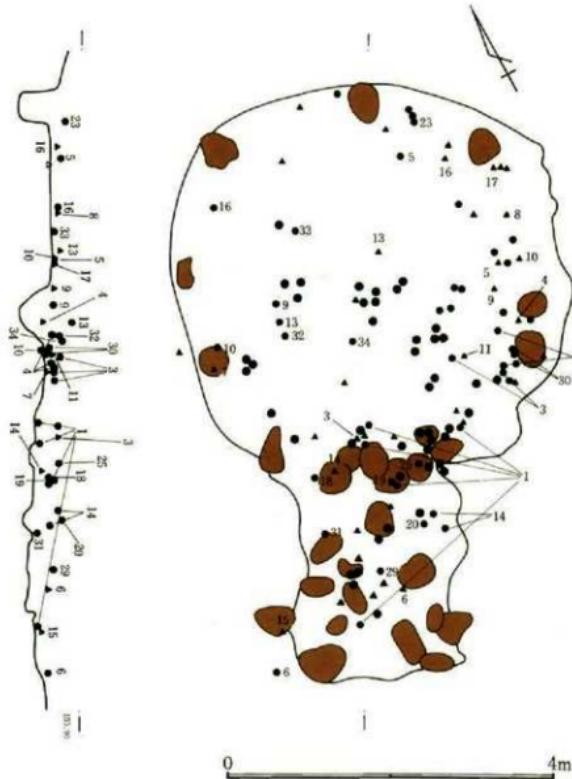


図-8 J 6号住居跡遺跡分布図

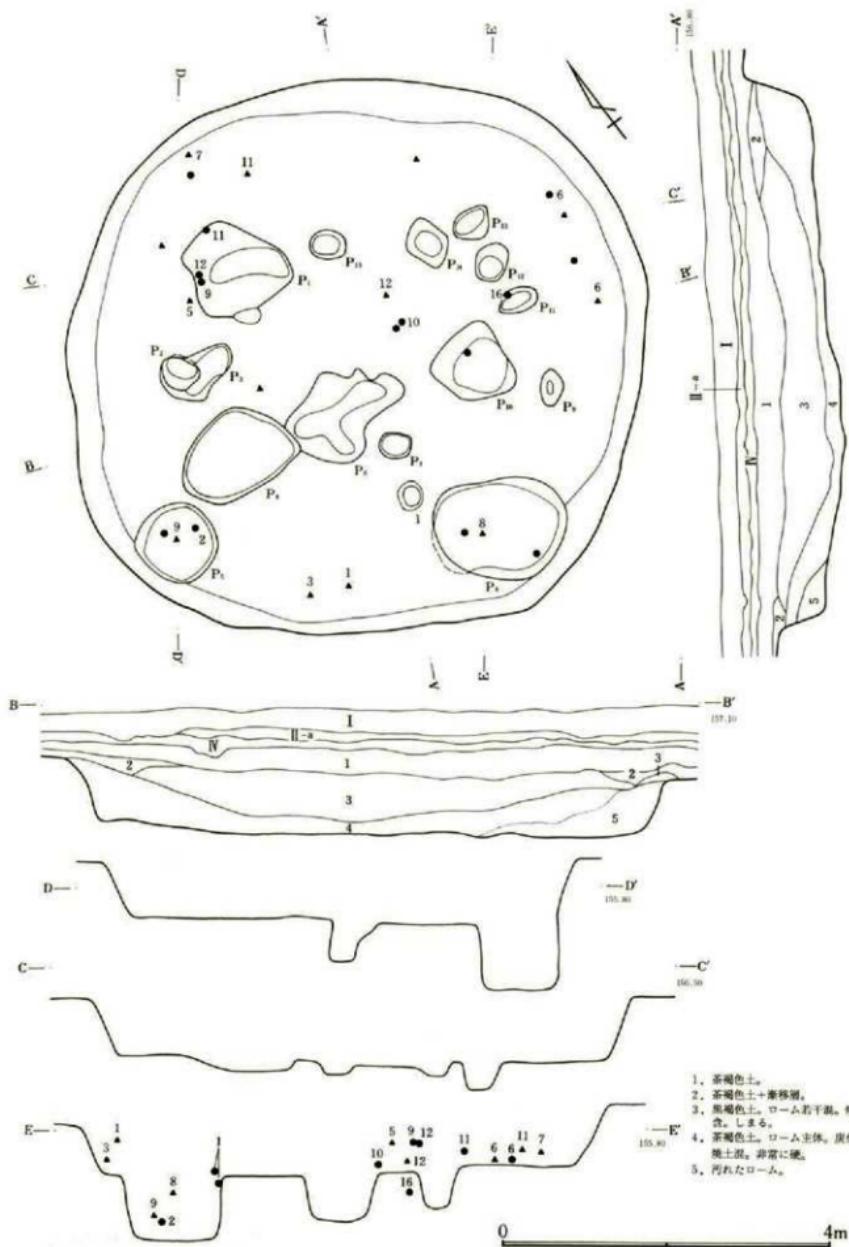


図-9 J-7号住居跡

J 7号住居跡 (図-9・79~81、表-19~21、図版-7・78・79・121・147)

位置 台地の西、等高線上で西への傾斜転換点あたりのP-8区に位置する。J 6号住居跡の北約70mに所在する。
形狀 平面は卵円方形で、南北6.1m、東西6.4m、面積32.9m²を測る。壁高は52~84cmで、壁下周溝は認められない。住居の中央は9~26cm凹んでいるが、段になる程明瞭なものではない。
ピット 住居内に15ヶ所認められるが、P₂・P₅・P₄の西隅ピット、P₁₀・P₁₂が深さ40~108cm、深さ50cm前後であることから主柱穴と考えられる。また、その位置もほぼ壁に平行している。
炉 炉は明瞭でないが、住居の南寄りP₆近くに埋設土器があり、また、住居中央南寄りに平面不整形の落ち込みP₃があり、さらに、P₃の近くでP₁に接し石が認められた。いずれも焼土や炭化物は認められず炉と断定しがたい。
遺物 土器は諸磯b式で、石器は黒色頁岩の石斧、削器や、結晶片岩の棒状石器、綠泥片岩製の敲き石、安山岩の円錐石器、凹石、多凹石、浮石質安山岩の石皿などが出土している。

(中村)

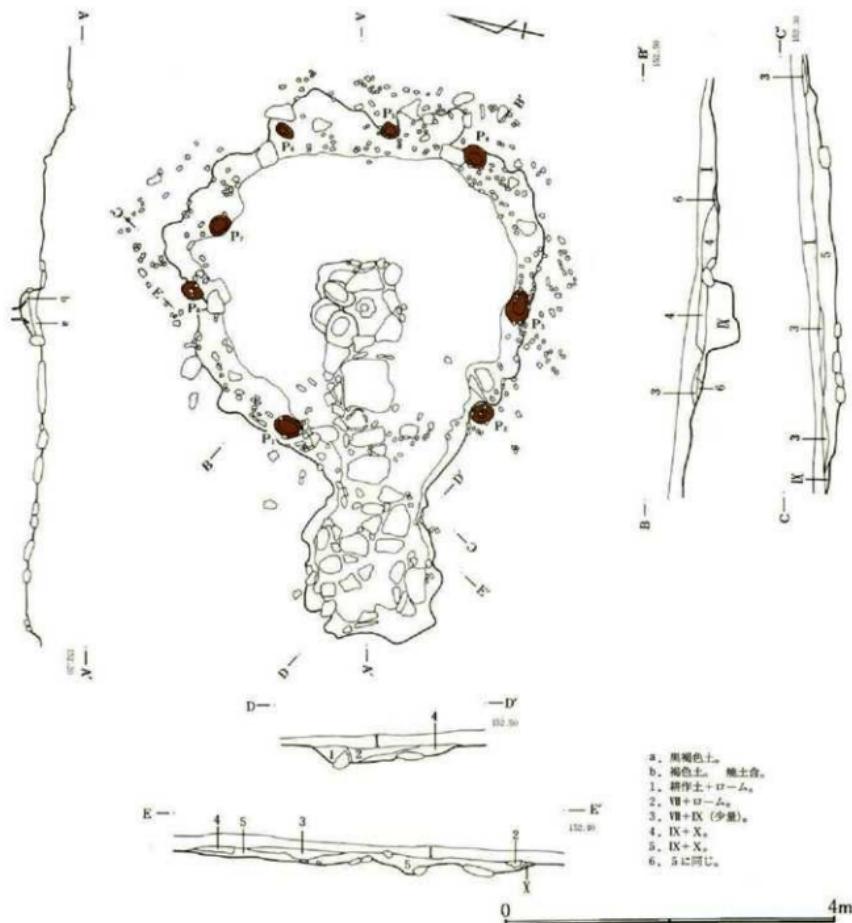


図-10 J 8号住居跡

J 8号住居跡 (図-10・11・82~85、表-22~24、図版-8・79・80・121・122・147)

位置 西台地の西南端に寄ったR-3区に位置している。
形状 住居は柄鏡型をなし、西やや南の傾斜の低い方へ張り出し部がある。住居のほぼ中央に石壇い炉があり、炉の周辺から張り出し部にかけて石敷がある。敷石は炉の北側にも敷かれていた可能性もあるが、床面の状態から全面に敷石があったとはみられない。住居は東やや北の傾斜の高い方を掘りさげ半堅穴状に構築され、周縁部には疊がある。周縁部には $25 \times 30\text{cm}$ 程の大きさの石が6個、周縁にたてかける状態で点在していた。床面の規模は南北3.75m、東西3.30m、面積 10.4m^2 。周縁を含む壁高は13~22cmである。張り出しは先端へゆるく傾斜し、幅は接合部接近が狭く、先端部が広い。長さ1.80m、最大幅1.50m、面積 2.4m^2 である。敷石本体と張り出しとの接合部には埋甃がある。
ピット ピットは炉の近くに3つあるが柱穴とは考えられない。周縁内あるいはそれに接して、8つのピットがある。位置的にはよいが、やや浅く多少疑問が残る。
炉 炉は偏平な石で円形に近く開いており、現状で6石あり、北側は何石か失なわれたようである。炉内には埋設土器がある。
遺物 遺物は土器と石器である。土器は称名寺1・2式が主体である。石器は打製石斧3、磨製石斧1があり、他に円窓8、敲石2、石棒1、石皿1、等あり豊富である。

(相沢)

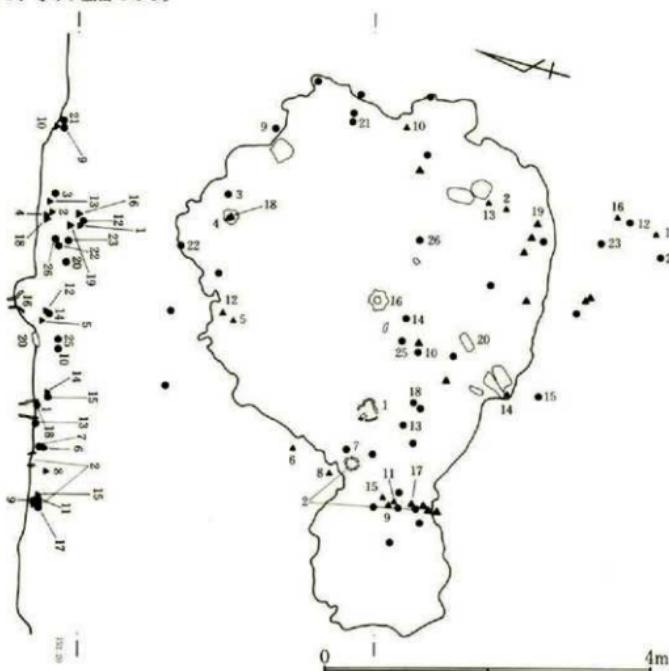
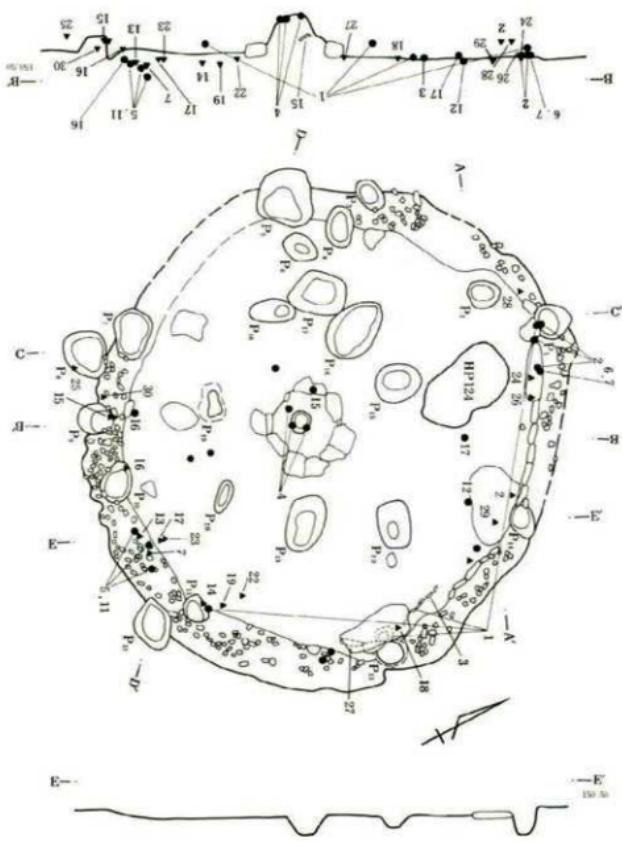
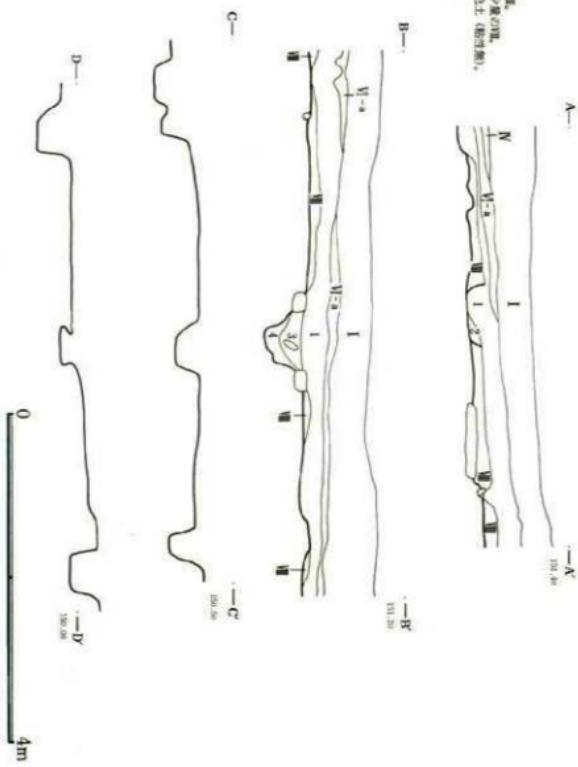


図-11 J 8号住居跡遺物分布図

J 9号住居跡 (図-12・86~90、表-25~27、図版-9・79・80・122・148)

位置 台地の西縁付近、S-2区に位置する。西20mにJ 8号住がある。
形状 幅20~75cm、厚さ10~15cmの周縁帶の内側に、平板な石が敷かれている。敷石と周縁帶との接点は、細長い石を横に使い区画している。南西部は周縁を欠いている。平面形は、円形とも橢円形ともとれ、周縁帶の内側で南北5.0m、東西5.2m、面積は推定で 20.3m^2 を測る。壁高は15~33cmである。また南、南北方向に張り出しがあったかどうかは不明である。
ピット 柱穴と推定されるのは、床面周辺に接し周縁帶内にあるものと、炉周辺にあるものとがある。前者は径30~85cm、深さ25~57cmの大きさである。後者もほぼ同様か平面規模がやや大きい。
炉 住居中心からやや南西にあり、山石10石が残存する石壇い炉である。内法は $1.20 \times 1.06\text{m}$ で、炉内には厚さ17cmの焼土が認められた。
重複 本住居より新しいHP124が炉の北にある。さらに、住居北の周縁帶に接してJP120がある。新旧関係は不明である。
遺物 土器は称名寺2式が主である。石器は石斧、削器、円窓石器、石棒等が多く出土している。

(中村)



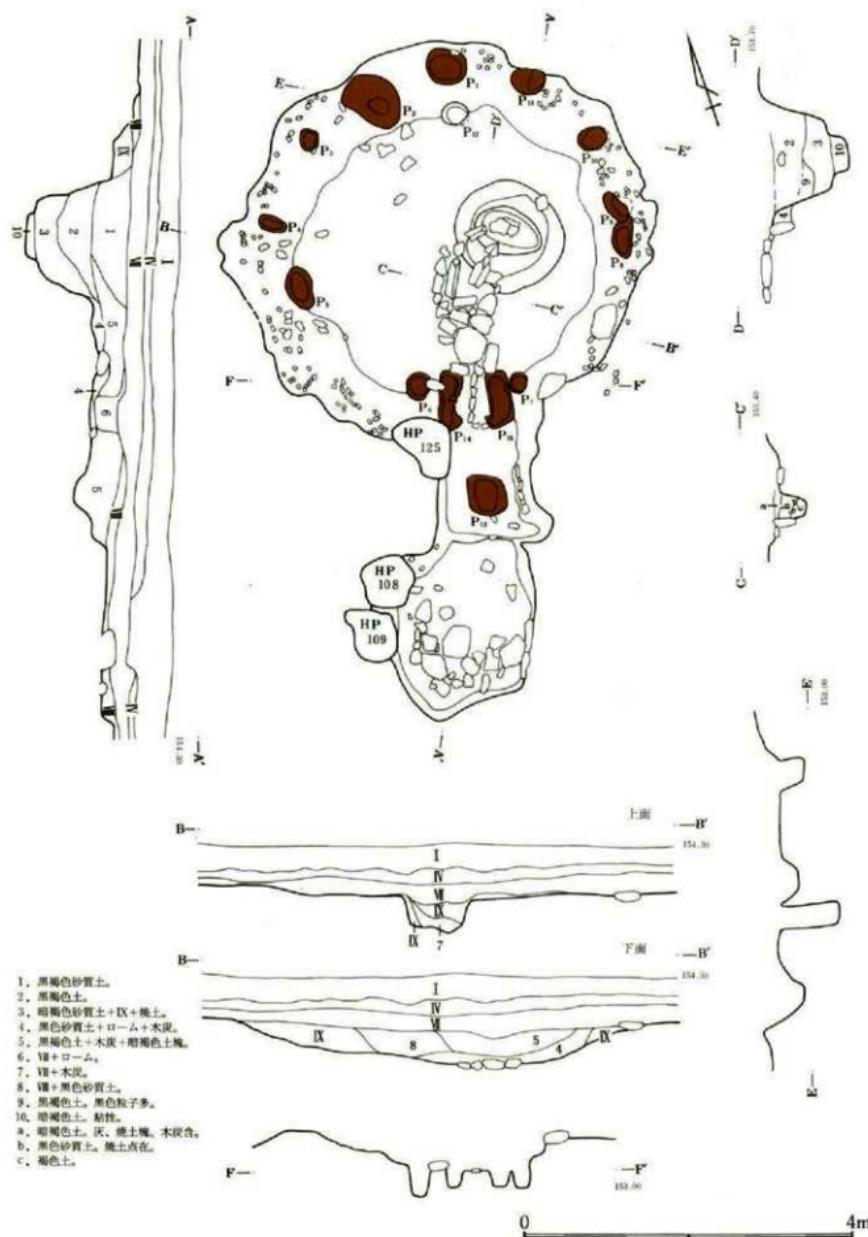


图-13 J10号住居跡

位置 西台地の西側部分R-4区に位置する。西40mで崖際となる。東・西20mにJ 6・11号住、南10mにJ 53号住がある。
形状 南側に張り出しへもつ柄鏡型(敷石)住居跡である。主体部は幅40cm程の周縁と重なるよう柱穴が巡る。この様子から主体部の平面形は円形を呈していると考えられる。主体部は周縁から40~50cm内側より一段低くなってしまっており、この面は張り出し部まで続く。主体部の規模は、柱穴間で東西3.6m、南北7.0m、面積は張り出し部を含め20.6m²を測る。主軸はN-18°-Eに取る。敷石は炉の周囲より張り出し部にかけて幅60cm、長さ160cmの範囲に認められる。さらに張り出し部との接続付近には、60cm伸びた後東へ直角に曲がる石列がある。この石列は張り出し部東壁ぞいの石列へ繋る。張り出し部は幅1.6m、長さ4.0mで、途中幅が狭くなるが、中間で20cmの段差があり、先端部分が高くなっている。
ピット 主体部の周縁と重なるよう11個のピットがある。径20~50cm、深さ20~77cmとばらつきがあるが、1.0m前後の間隔で開んでいる。主柱穴とみられる。張り出し部との接続部には、張り出し部に向かって「ハ」字形に開く深さ10cm程の長方形ピット(P_{14} , P_{15})があり、その間隔は30cmと狭い。張り出し部中央には46×50cm、深さ22cmの方形ピット(P_{13})があり、その他柱穴とみられるものは無い。また主体部中央には径1.34m、深さ1.2mで円形の土坑がある。埋土上部に、炉石とみられる石があり、土坑南縁が炉の下に入ることから、炉を築く以前に埋められた土坑と考えられる。
炉 住居主軸線上に乗り、主体部中央からやや南寄りに位置する。大振りの転石の、側面を出して囲んだ石囲い炉で、北側の石は土坑の中に崩れ落ちている。規模は石の内法で東西20cm、南北60cm以上の細長い形をなす。内部上面に灰が残り、その表面は良く焼け、底面より土器片が出土している。
重複 張り出し部西壁際でH P108・109・125と重複し、本跡より新しい。
遺物 土器は称名寺2式が主で、他に1式、堀之内式も出土する。石器は、石斧、削器、円礫、石皿、四石、石棒等が多種で大量に出土している。

(富沢)

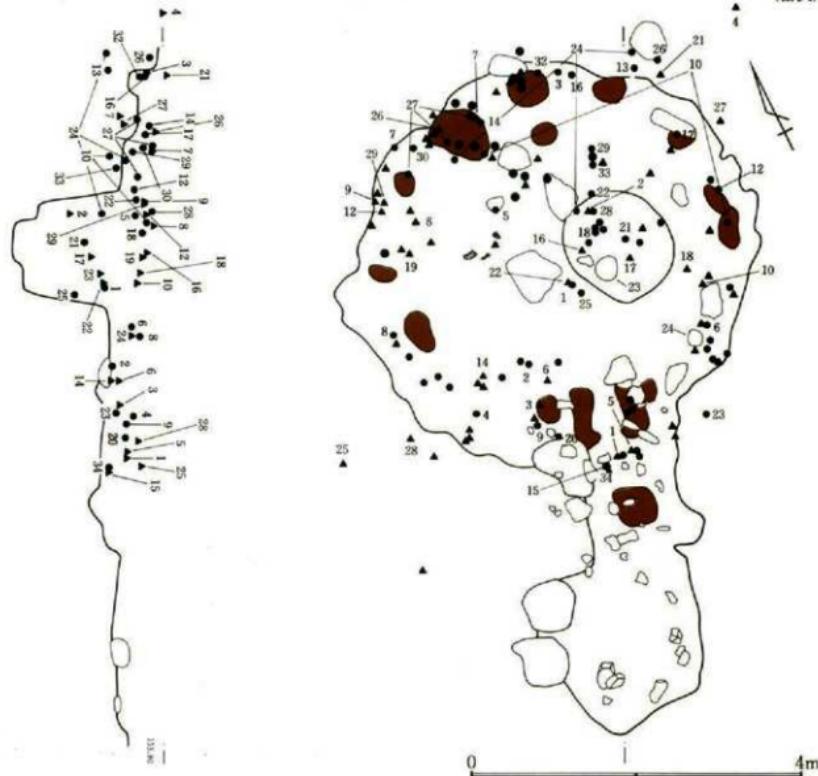


図-14 J 10号住居跡遺物分布図

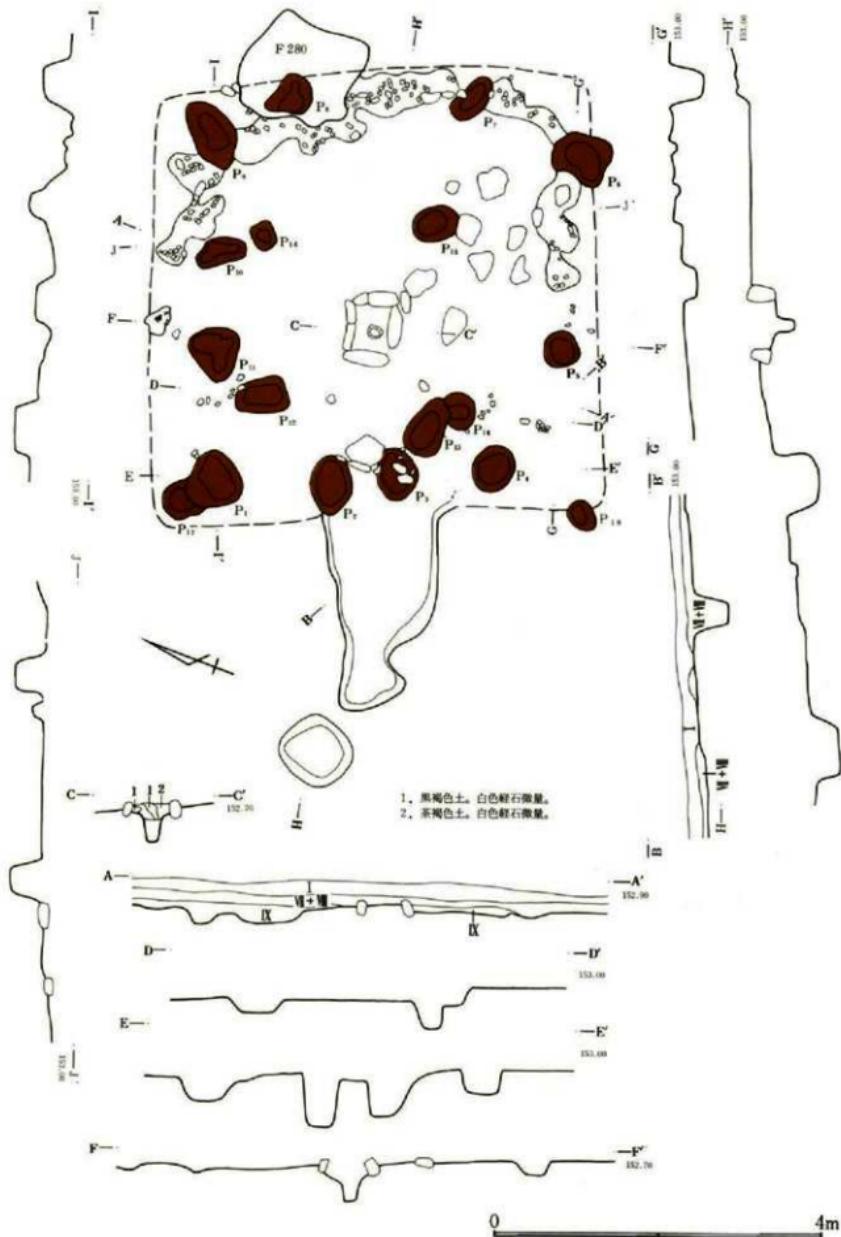


图-15 J 11号住居跡

J 11号住居跡 (図-15・16・96~98、表-31~33、図版-11・81・124・148)

位置 西台地の南西隅S-4区に位置する。西側25mで崖線となる。本跡南側には住居跡、土坑が多く、東側20~40mで同時期と考えられるJ 6、10号住居跡が並立する。
形状 南西側に張り出し部をもつ柄鏡型(數石)住居跡である。奥壁及び左右両壁寄りに残る周縁の状況から、主体部は方形を呈していたとみられる。規模は床面上で南北4.26m、東西4.4m、面積は張り出し部を含め推定で20.6m²である。床面は西側部分が擾乱を受け、全体的に残りが良くなない。東側床面に扁平な石が散在する。全面に敷石されていたか判然としないが、あたたとしてもまばらに存在していただけと考えられる。周縁は幅30~40cmで認められ、この部分は浅い溝となっている。住居主軸はN-67°Eに取る。張り出し部は幅11.2m、長さ2.6mの範囲が30cm程掘り込まれ、先端に行くにつれ幅狭となる。
炉 主体部中央で、板石からなる石囲い炉が存在する。外法で、南北93cm、東西68cmを測る。石表面は強く焼けている。また張り出し部との接続部分に扁平な石が置かれているが、埋造はない。
ピット 周縁と重なる部分を中心に12個のピットがある。深さ20~40cmで、柱穴とみられる。この他石囲い炉を囲む形でP₁₂~P₁₆の5個のピットがあり、15~39cmの深さでやや浅いが、主柱穴と考えられる。張り出し部には浅いピットが多数検出されたが、柱穴とは考えがたい。
重複 奥壁北寄りでF280号土坑と重複する。新旧関係は、J 11号住→F280号土坑の順で新しい。
遺物 土器は加曾利E 4式が主であるが、他に称名寺1・2式が出土する。石器は石斧、模形石器、石核、円礫、多凹石、石棒が出土している。

(富沢)

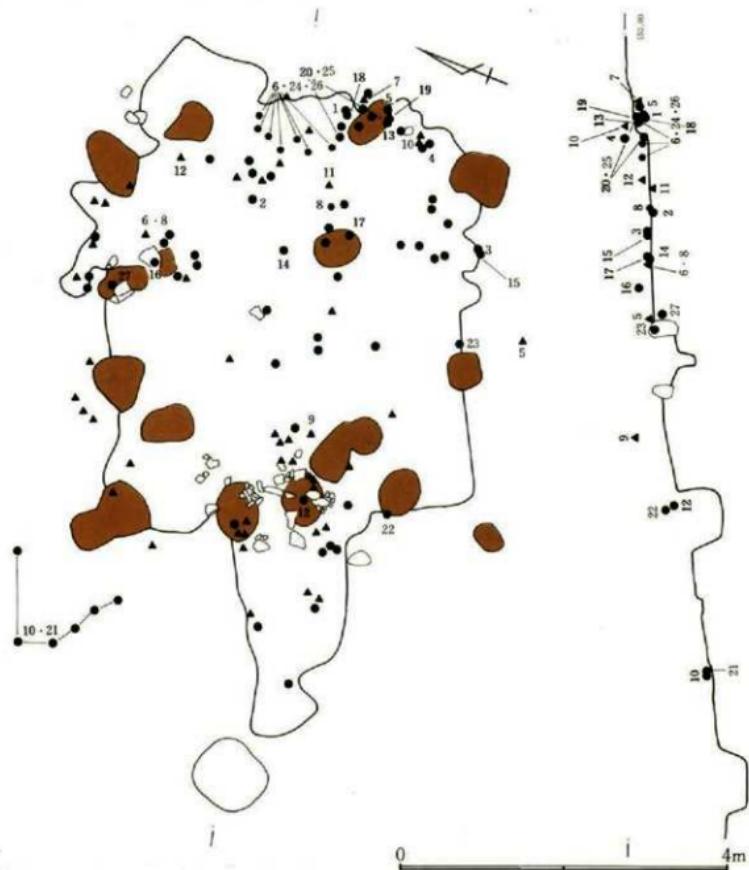
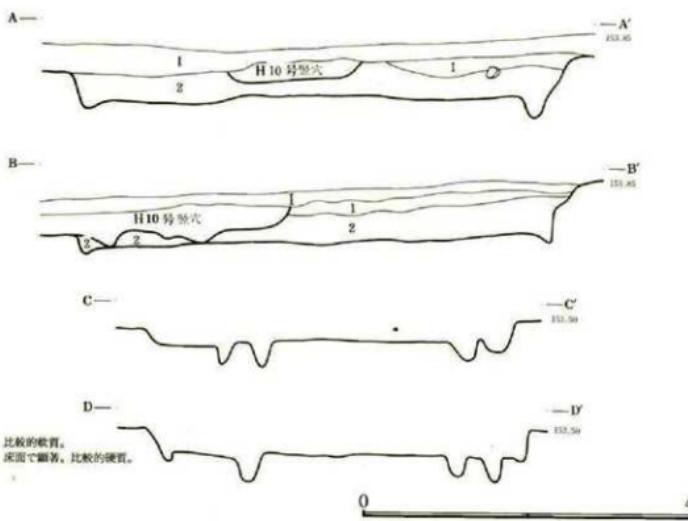
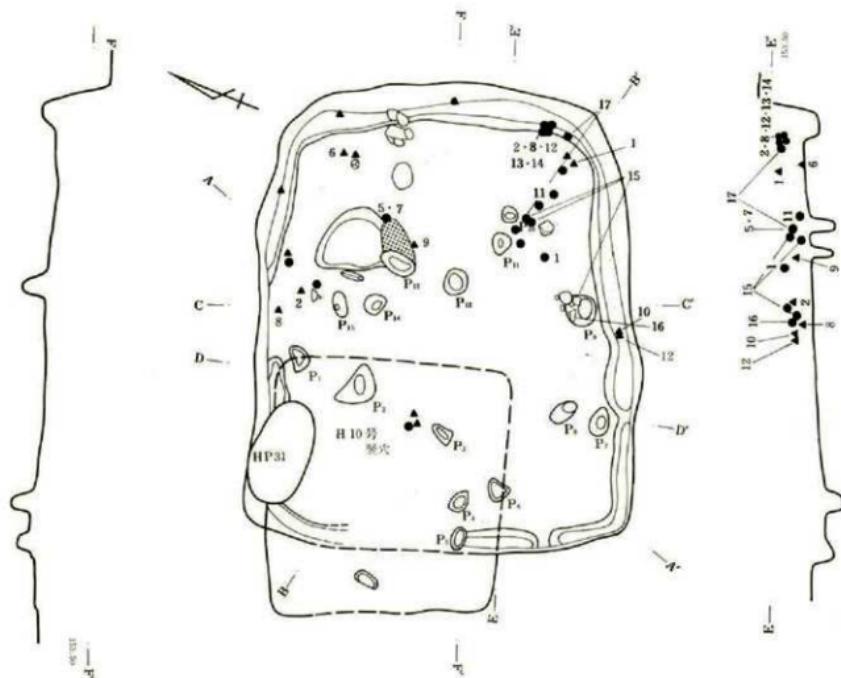


図-16 J 11号住居跡遺物分布図



1. 暗褐色土 ローム粘泥。比較的軟弱。
2. 暗褐色土 ローム粘泥。底面で顯著。比較的硬質。

図-17 J 12号住居跡

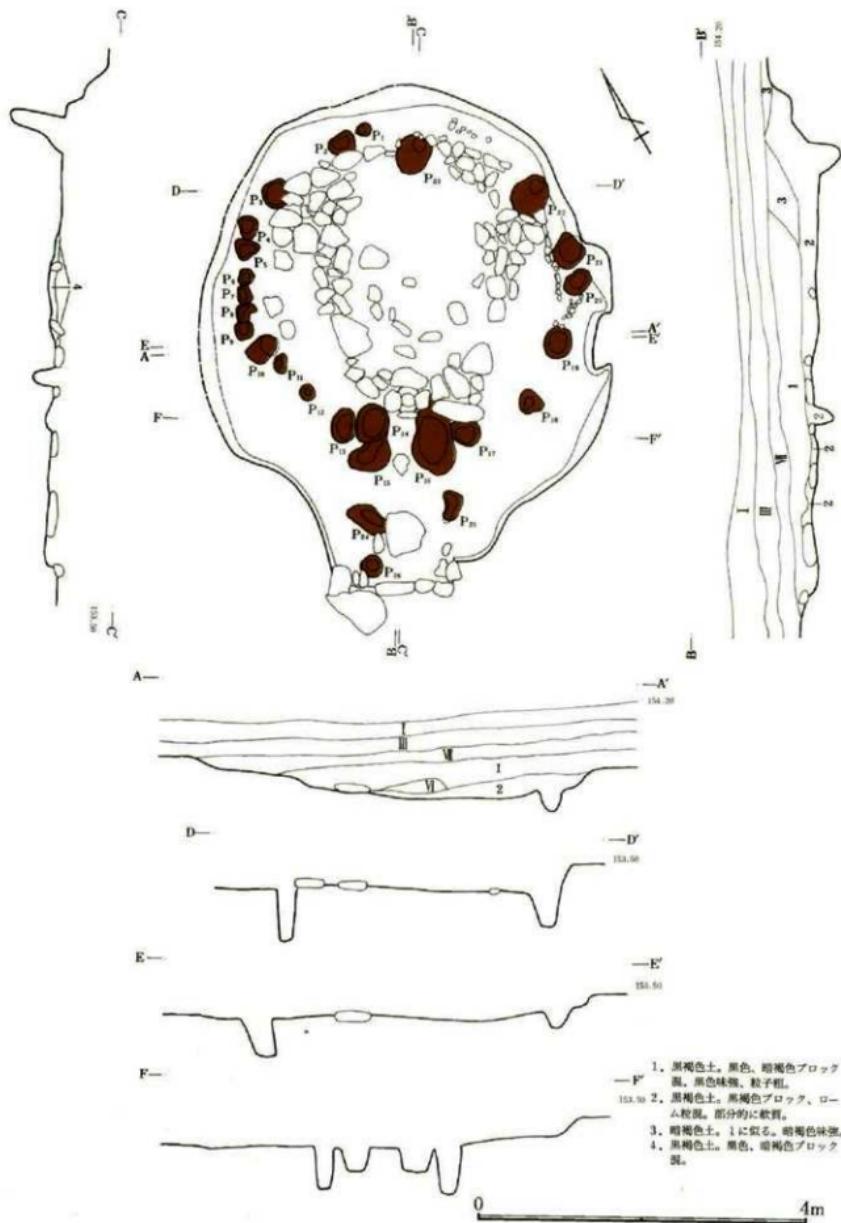


图-18 J 13号住居跡

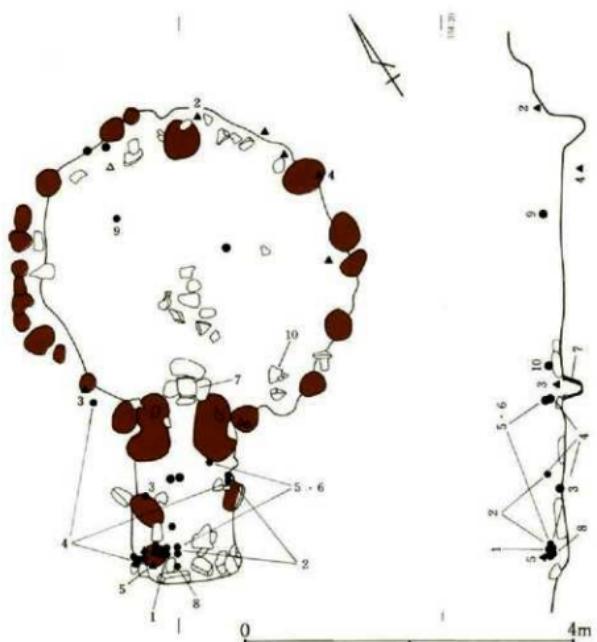


図-19 J13号住居跡遺物分布図

る遺構のようにみえる。重複 この住居の南西隅付近ではHP31とH10号竪穴とが重複している。これらは地層より、J12→H10号竪穴→H10号竪穴の順で新しくなる。遺物 土器は縄文を中心とする文様構成で黒浜式が主体である。石器は打製石斧、円礫石器、削器、尖頭器等が出土している。

(柏沢)

J13号住居跡 (図-18・19・101~103、表-37~39、図版-13・82・83・124・148)

位置 西台地先端、U・V・W・X・Y・Z区に位置する。北東30mにJ14号住居、南100mにJ6・10・11号住居跡が存在する。形状 南西側に張り出しを持つ柄鏡型(敷石)住居跡である。主体部は周辺が擾乱を受け残存状態が良くないが、敷石、柱穴の状態から西壁の一部が直線的に伸び、東、北、南壁が弧を描く形を呈するものとみられる。敷石の外側に巡る柱穴間で、東西4.7m、南北5.7m以上、面積は張り出し部も含め推定20.3m²以上であろうか。敷石は主体部中央、西端部、及び東端部を除く範囲に認められる。扁平な板石・亜角錐を敷いており、張り出し部との接続付近には大振りな石が散かれている。敷石の外側には幅20~30cmで周縁が巡っていたとみられ、北、東壁にその一部が残存する。張り出し部は幅1.2m、長さ2.0mの長方形を呈し、先端付近には大振りの扁平な石を敷き、縁泥片岩等の棒状の転石で縁を造っている。尚、周囲の地面(確認面)と敷石面との高差は10~60cmある。張り出し部を含め南北6.20m、東西4.80mの卵状に南北斜面を掘り込み、住居を構築している。従って北東部では高さ40~60cmの壁が周縁の外側に認められるが、南西側では段差はごくわずかである。ピット 周縁と重なって23個のピットがある。この内P₄~P₉を除いたP₁~P₃、P₁₀~P₁₂の各ピットは径20~50cm、深さ30cmで80~100cmの間隔で並ぶ。柱穴と考えられる。P₁~P₉は、P₁₃とP₁₄の間に接するよう直線的に並び、径20~30cm、深さ15cm前後と浅い。この付近は住居の掘り込みが浅く、ほとんど壁がなく、丸太等を接する形で立て、壁としたことも考えられる。張り出し部はP₁₁とP₁₆、P₂₄とP₂₅が対応する位置にあり、先端にはP₁₅がある。これらはいずれも深さ10cm前後と浅いが、柱穴とみられる。炉 主体部の中央より南寄りで住居の主軸線上に造られている。かなり擾乱を受けているが、残存する縁石から一辺が50cm程の方形石窯の炉であったことが分かる。25cm掘り込み、中には焼土、焼けたロームが厚く堆積していた。また主軸線に乗り、主体部と張り出し部の接続部に埋甕があり、周囲に大振りの転石が土器を囲むように敷かれている。遺物 土器は加曾利E4式が主である。石器は石斧、削器、円礫、石棒が出土している。

(富沢)

J12号住居跡

(図-17・99~100、表-34~36、図版-12・81・82・124)

位置 西台地の西南端に近いS-5区にあり、J11号住居の北に位置している。形状 住居の平面形はほぼ長方形で西南辺が少し広い。主軸方位はN-68°-Eで、規模は床面で長辺5.4m、短辺3.60~4.40m、面積は推定で21.6m²である。壁は北東が高く63cm、南西は自然傾斜でも低いのに、造構の重複があり、20cmの高さである。周溝はほぼ周囲しているが、北西壁の中央と南西壁の西半分では確認されなかった。周溝の幅は15~45cm、深さは7~17cmある。ピット 床面と周溝内には径20~50cm、深さ13cm以上のピットが15あるが、位置的対応をなすではなく、主柱穴と認める状態ではなかった。炉 炉は北東壁から1.16m、北壁から1.28mの位置にあり、地床炉である。焼土は76×40cm、厚さ8cmである。この焼土に接して北西壁との間に80×80cm、深さ6cmの浅い凹みがあり、この凹みの西端には26×6cmの細長い石が据えてあり、炉に関係する

J 14号住居跡 (図一20・104・105、表一40~42、図版一14・82・125)

位置 台地の西縁近くのU-9区に位置する。J 13号住の北東約28mに所在する。**形状** 平面は方形で南北5.0m、東西4.9mあるが、南壁がやや短い。面積は24.3m²である。壁高は地層断面図から55~70cmで、西、南壁が低い。壁下には周溝が深さ6~17cm、幅8~25cmの規模で全周している。床面はほぼ水平である。**ピット** 住居内に8ヶ所ある。西壁から1.3mの位置に壁と平行して4本並んでいる。P₄、P₅の間隔はP₁、P₇の間隔にくらべて狭く、P₁、P₄、P₅、P₇は台形を呈す。P₆、P₈は中央に寄っている。**炉** P₁とP₇の中間に川原石が南北に壁と平行して存在する。焼土、ピットは認められないが、炉の可能性もある。その他、住居内の北東及び東側に炭化物の出土があることから、焼失家屋の可能性もある。

遺物 土器片は少数で形態の判明するのはなく、文様は羽状繩文を主体として、黒浜式に比定される。石器は打製と磨製の石斧が2個づつ出土している。他に削器、円錐、敲き石が出土している。
(中村)

J 15号住居跡 (図一21・106・107、表一43~45、図版一14・82・83・125)

位置 西台地の西端縁際にあたるV-9区に位置する。付近には30m東に離れてJ 13・14・16号の各住居跡が存在する。**形状** 2軒の住居跡が重複する。規模が小さく、深く掘り込まれた住居をJ 15A号住居跡とし、規模が大きく、浅く掘り込まれている住居をJ 15B号住居跡と呼ぶこととする。平面的にはJ 15A号住居跡が、J 15B号住居跡の南西部分に重なっている。

J 15A号住居跡は、床面上で南北2.50m、東西2.30mの方形を呈し、面積5.6m²を測る。主軸はN-30°-Eに取る。壁は直に立ち、西及び南壁で42cm程ある。東及び北壁はJ 15B号住居跡と重複し、6~8cmと低くなっている。周溝は存在しない。また壁際には深さ10~20cm前後のピットP₁~P₅があるが、柱穴と考えられるものは見当たらない。北壁より内側に入った地点に埋蔵がある。明確な炉跡は存在しないが、この埋蔵付近が炉であった可能性がある。

J 15B号住居跡は、床面上で南北3.54m、東西3.50mの方形を呈し、面積10.0m²を測る。住居の主軸はN-55°-Wに取る。12~24cmの壁高が残り、壁は直に立っている。周溝は存在しない。また床面上には小ピットが存在するが、柱穴とみられるものは無い。**重複** 墓土の様子から、J 15A→J 15Bの前後関係が知れる。またH P 37がその後掘られ、その上をW 5号溝が東西方向に走行する。さらに北西壁上端で、N 40号遺構に重複する。**遺物** 土器は黒浜式を主とする。石器は尖頭器、搔器、凸刃削器が出土している。

(富沢)

J 16号住居跡 (図一22・108・109、表一46~48、図版一15・83・125・147)

位置 西台地の西端で、南北では中央からやや北寄りのR-11・12区に位置している。**形状** 住居の平面形はやや菱形状の長方形で、主軸方位はN-3°-Wである。北東隅と南西隅が鋭角であるが、南東隅は隅が切られたような調丸を呈している。規模は西辺5.60m、東辺6.80m、北辺6.17m、南辺5.55m、面積37.5m²である。壁は地層の状態から確定しにくい部分があり、全体に凹凸があり、急傾斜部分と緩傾斜部分とがみられた。壁高は自然地形に添って、東側が高く48cm、西側が低く23cmであった。南壁下東寄りには一部周溝状の凹みがあるが、浅くて部分的であり、周溝か否か疑問である。**ピット** ピットは直径20~100cm、深さ13~31cmの規模のが8つあるが、位置的にみて対をなすものはみあたらず、骨格となるような主柱穴は確認されなかった。**炉** 床面中央付近には浅い凹みはあるが、焼土ではなく、炉と認められるものは見い出せなかった。主柱穴、炉を欠くこの堅穴は住居か否かの疑問もあるが、遺物の出土状態、堅穴の状態はこの時期の住居と共通しており、炉の施設のない点がやや特異ではあるが、堅穴住居と推定される。**遺物** 遺物は土器と石器が出土している。土器の文様は繩文を中心とし、黒浜式である。石器には石錐、石匙、円錐石器、搔器がある。

(相沢)

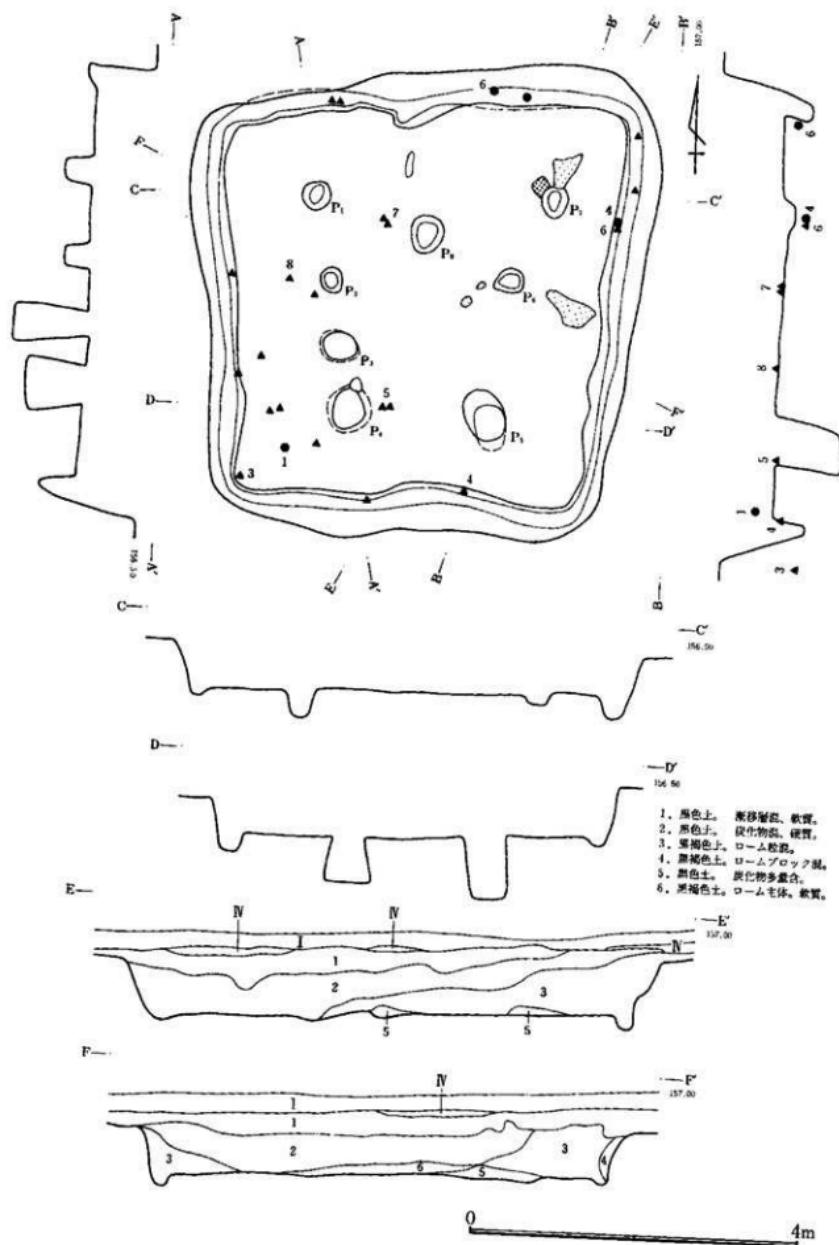
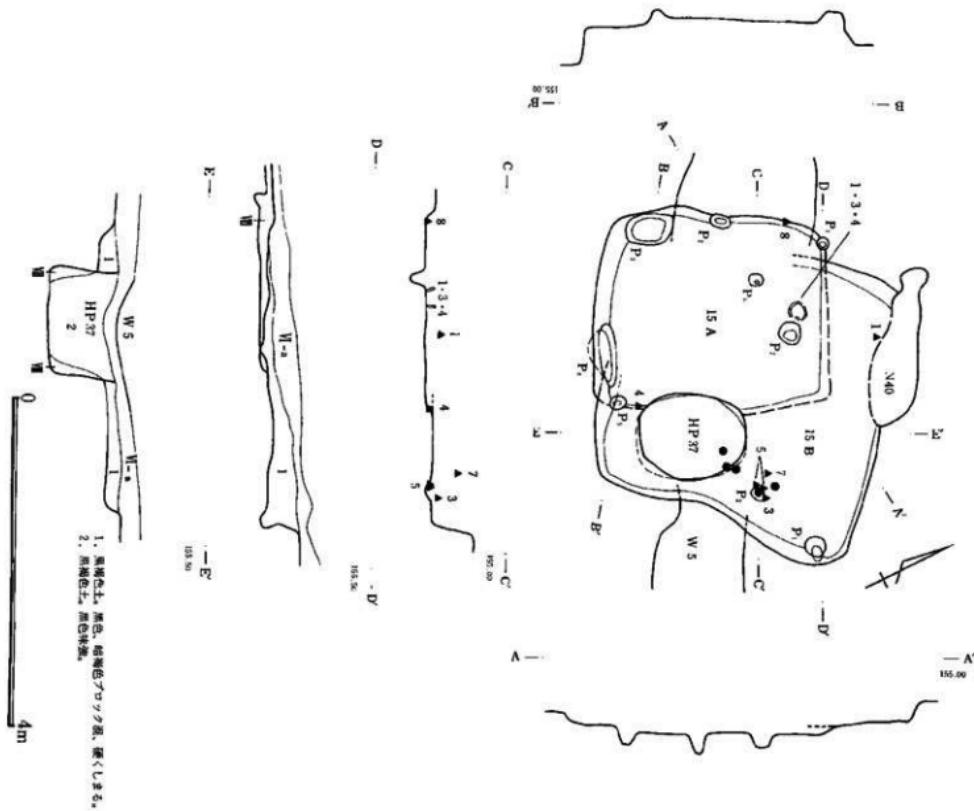


図-20 J 14号住居跡

図-21 J15号住居跡



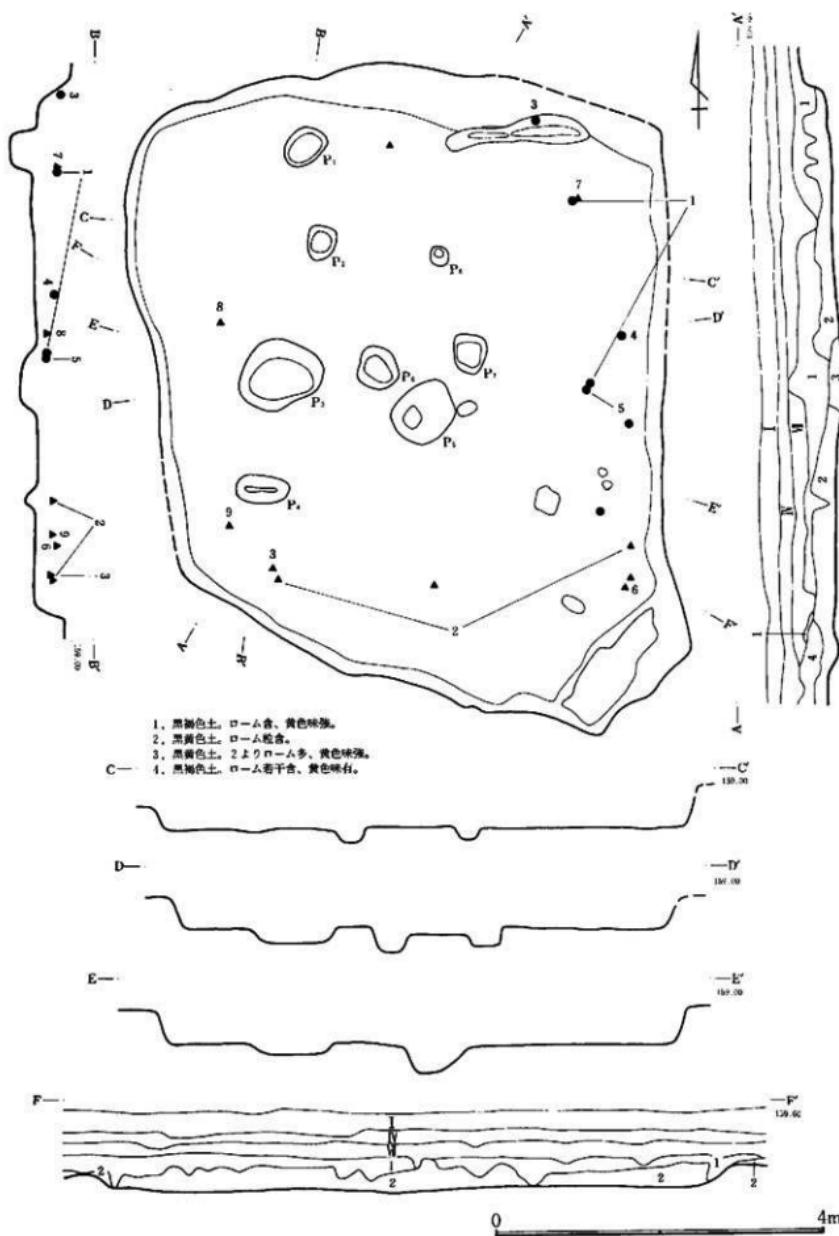


図-22 J-22号住居跡

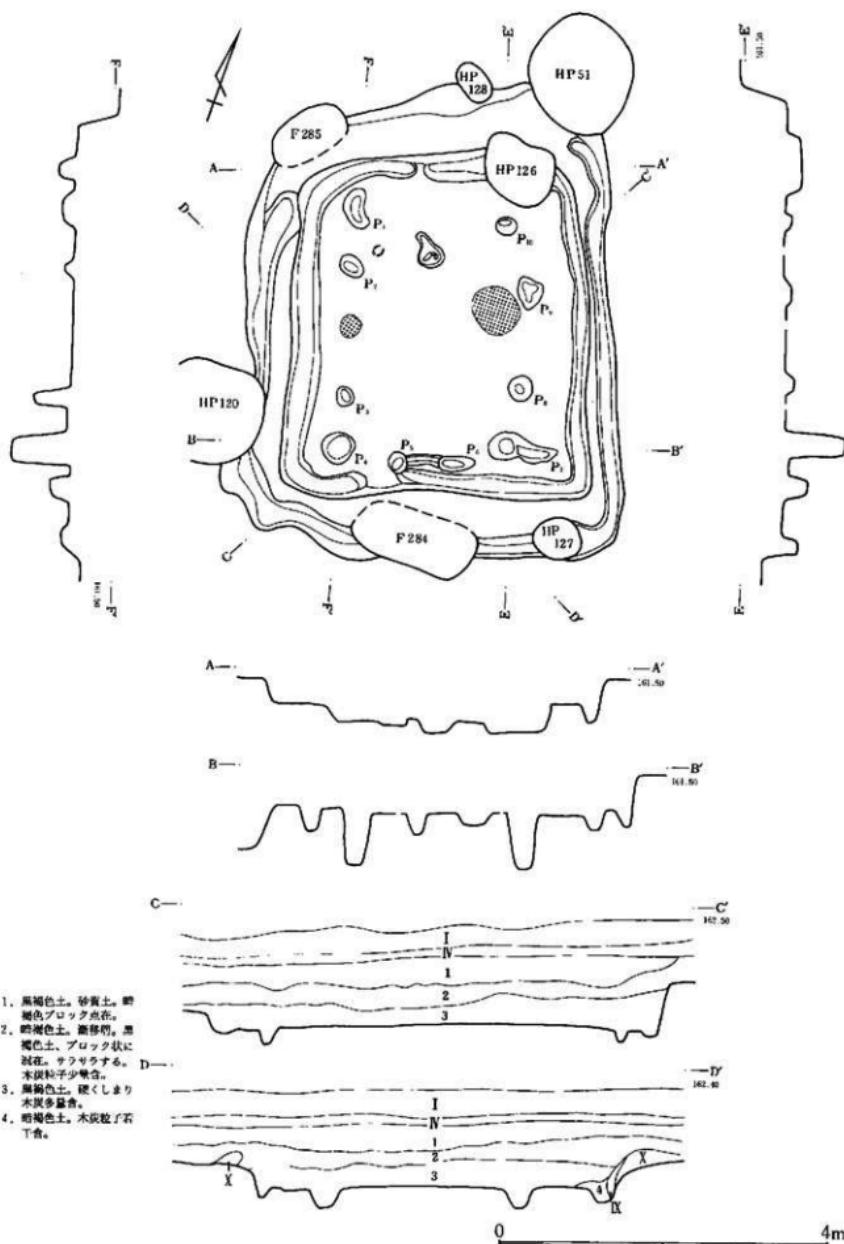


图-23 J 17号住居跡

位置 西台地の北西端付近T・U-16区に位置する。西側40mで崖となる。東側12mにJ 18号住がある。形状 N-22.5°-Wに主軸を取る台形を呈する。周溝が二重に開んでいる。周溝は北壁部で切れる。住居の規模は内側周溝の外法で南北4.06m、東西は北壁寄りで3.40m、南壁寄りで3.74mある。また外側周溝では、南北5.20m、東西は北壁寄りで3.84m、南壁寄りで4.46m、面積は推定21.5m²である。地層断面の観察から、内側周溝部から外側周溝部の範囲まで住居を拡張したと考えられ、両段階においても南側がやや広がる台形状の平面形であったとみられる。壁は直に立ち、北壁及び東壁部分で24cm前後、南・西壁部分では10~20cmと浅くなっている。このことは付近の地形が南西斜面になっていることに起因している。**炉** 床面には3ヶ所の炉が存在する。炉1は住居中央より東へ1.0mの位置にあり、径54cmの円形に焼土が存在する。地床炉である。炉2は北西隅にあり、埋甕炉である。炉3は住居中央より西へ1.0mの地点にある。炉1と対応するようにあり、30×25cmの範囲が若干焼けている。その他炉2の東側50cm、住居主軸線上に40×30cmの浅い落ち込みがある。中より3個の石が出土している。明確な焼土等は認められなかったが、その位置から炉として使われた可能性も考えられる。**ピット** 床面上から10個のピットが検出された。 $P_1 \sim P_5$ 、 $P_7 \sim P_{10}$ が2.7~3.0mの間隔をあけ、住居主軸に沿って並列し、 P_4 と P_7 の間に P_6 、 P_8 が各80cmの間隔で存在する。しかしお床面からの深さについてみると主柱穴と考えられるものは、深さ40cmの P_5 、63cmの P_4 、68cmの P_7 のみであり、他のピットはいずれも深さ10cm前後の浅いものであった。尚、これらのピットが拡張前の何れの住居に伴うものか判然としなかった。ただ P_5 、 P_8 は拡張前の住居の出入り口に關係する支柱穴とみることもできそうである。**重複** H.P.51、120、126、127、128及びF.284、285と重複し、いずれも本跡より新しい。**遺物** 土器は黒浜式を主とする。石器は多様で、重飾品、石錐、尖頭器、石斧、石匙、剣器、円錐などが出土している。

(宮沢)

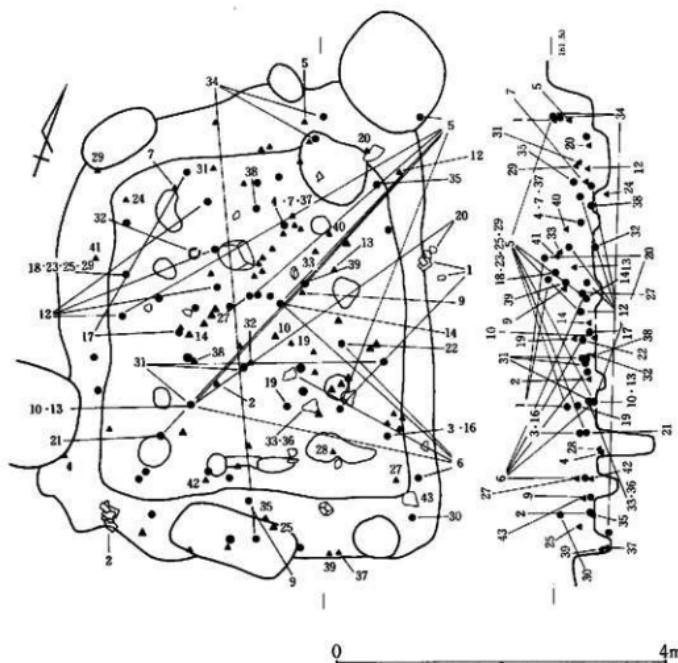


図-24 J 17号住居跡遺物分布図

J 18号住居跡 (図-25・116~118、表-52~54、図版-16・85・86・127)

位置 西台地の北西隅、T 16区に位置する。 **形状** 住居の平面形は南北に少し長い長方形で、周溝部分を除く床面での規模は南北3.7m、東西3.3m、面積10.8m²である。主軸方位はN 7°Eである。壁高は自然地形にしたがい東が高く49cm、西が低く33cmである。壁下には幅の広い周溝が、北壁の東3分の2を除いて全周している。 **ピット** 住居床面には柱穴らしいピットではなく、周溝内にピットがある。ピットは南辺、東辺にそれぞれ2つ穿たれている。西辺の溝は深く、全体がピットと見られる状態である。周溝の幅は上幅35~75cm、下幅20~40cm、深さは8~16cmである。周溝内のピットは床面より13cmのが1つあるが、他は26cm、29cm以上の深さであり、西側の周溝は深さ38~43cmである。 **炉** 炉は埋設土器炉である。北壁中央から70cm南に埋設土器があり、この土器を中心として直径50cmが浅く凹んで焼け込んでいる。またこの七器より住居の中央にかけて、90cmの範囲に焼土がプロック状に混入するが厚さ24cmで堆積していた。特に下部7cm前後では炭化物も混入していた。 **重複** この住居に接して西側にH92号住居が、西南隅にはF286がある。 **遺物** 遺物は土器と石器があり、土器は黒浜式が主体であり、土製円盤も出土した。石器は打製石斧、石匙、磨石、尖頭器、搔器等がある。

(相沢)

J 19・23号住居跡 (図-26・119~124、表-55~57、図版-16・18・86~88・127・128・147・148)

[J 19] **位置** 西側台地の南西端R-1区に位置する。周辺は台地内でも竪穴住居跡・土坑の多いところであるが、その西端に所在する。 **形状** 円形に近い隅丸方形。規模は、南北3.6m、東西3.7m、面積11.3m²を測る。壁現高は13~25cmで、地層断面では64cmを測る。長軸方向はN-88°E。周溝が全周する。幅は22~36cmで深さは4~9cmである。 **ピット** 床面6ヶ所。うち2ヶ所は周溝内(P₄、P₅)。P₃がややずれているが、P₁、P₂、P₃、P₆が主柱穴で、P₄、P₅は出入口に係わるものか。径はP₁、P₂、P₃が40~60cm、P₂が一回り小さい。深さは25~47cm。P₁、P₂は長円形でやや浅い。 **炉** 床面中央部やや南に焼土の分布がみられた。やや掘りすぎているが、円形ピット状の掘り形をなす。径約40cm。 **重複** J 23号住(山)、W88(新)と重複する。

[J 23] **形状** 不整形方。規模は南北4.5m、東西4.8m、面積19.3m²を測る。壁現高は25~52cm。周溝はない。長軸方向はN-88°E。 **ピット** 壁際、壁下、周間に16のピット。J 19・23に係わるピットのうち位置と、底面レベルがJ 19床面上より高いことでJ 23のピットとした。しかし、P₂、P₃、P₄、P₉、P₁₄、P₁₅、P₁₆についてJ 19に係わるとみることもできる。径20~30cmで深さ10cm程度のもの、径70~40cmで深さ20cm程度のものとがある。壁内のピット(P₁、P₃、P₄、P₆、P₁₁、P₁₂)は径が60~70cmと大きく、深さも40~60cmと深い。地層断面からJ 23に伴うピットである。柱屋内施設はJ 19との重複で失なわれ不明である。 **遺物** 平面的にはJ 23住とみられるものもあるが、レベルでみるとJ 19住とみられる。土器は黒浜式を主とする。石器は石鍬、削器、石匙、棒状石器、石斧、搔器、石核、円盤、多凹石が出土している。

(井野)

J 20号住居跡 (図-27・125~129、表-58~60、図版-17・88・128・147・148)

位置 西側台地南西端のR-1・101区に位置する。 **形状** 長方形。北辺に比べ南辺が長く台形に近い。規模は南北4.6m、東西3.8m、面積は16.4m²。壁現高は13~40cm、地層断面からは40cmを測る。長軸方向はN-12°W。周溝が全周する。幅20~39cmで、深さは9~26cmあり、しっかり掘られている。 **ピット** 床面3ヶ所。P₁、P₂は北辺周溝内にある。径は25~28cmで深さ40~48cm。柱穴と考えられる。P₃は床面中央に近く、径47~67cm、深さ23cmで周囲より焼土が検出されている。 **炉** P₃のやや東より焼土面が検出されている。80×45cm。厚さ4cm。また、P₃の北より埋設土器が検出されている。 **重複** J P140と重複する。地層断面よりJ P140が新しい。また壁際上面でF287、288と重複する。 **遺物** 土器は黒浜式を主とする。石器は石鍬、尖頭器、石斧、削器、円盤などが出土している。

(井野)

J 21号住居跡 (図-28・130~132、表-61~63、図版-17・88・89・129・148)

位置 西台地の南西端にあたるQ-1区に位置する。付近にはJ 19・23号住を初めとして20軒程の住居跡と多数の土坑が存在する。 **形状** N-20°Eに主軸を取る方形である。東西幅は北壁側に比べ南壁側の方が40cm程広くなっている。規模は壁下端間で、東西は北壁寄りで3.6m、南壁寄りで4.0m、南北4.0mを測り、面積は15.4m²である。壁下には上幅20cm、床面よりの深さ10cm程の周溝が巡る。しかし、北東隅及び北壁東側半分の範囲には、周溝は存在しなかった。 **炉** 住居中央P₁付近においても焼土等の痕跡は認められなかった。 **ピット** 床面上には径40~80cm、床面よりの深さ18~30cmの隅丸方形のピットが4個(P₁~P₄)存在するが、柱穴とみられるものはない。 **重複** 北壁上半部でH P53号土坑と重複する。 **遺物** 土器は溝機a式を主とする。石器は石斧、削器、円盤、磨石、石皿が出土している。

(富沢)

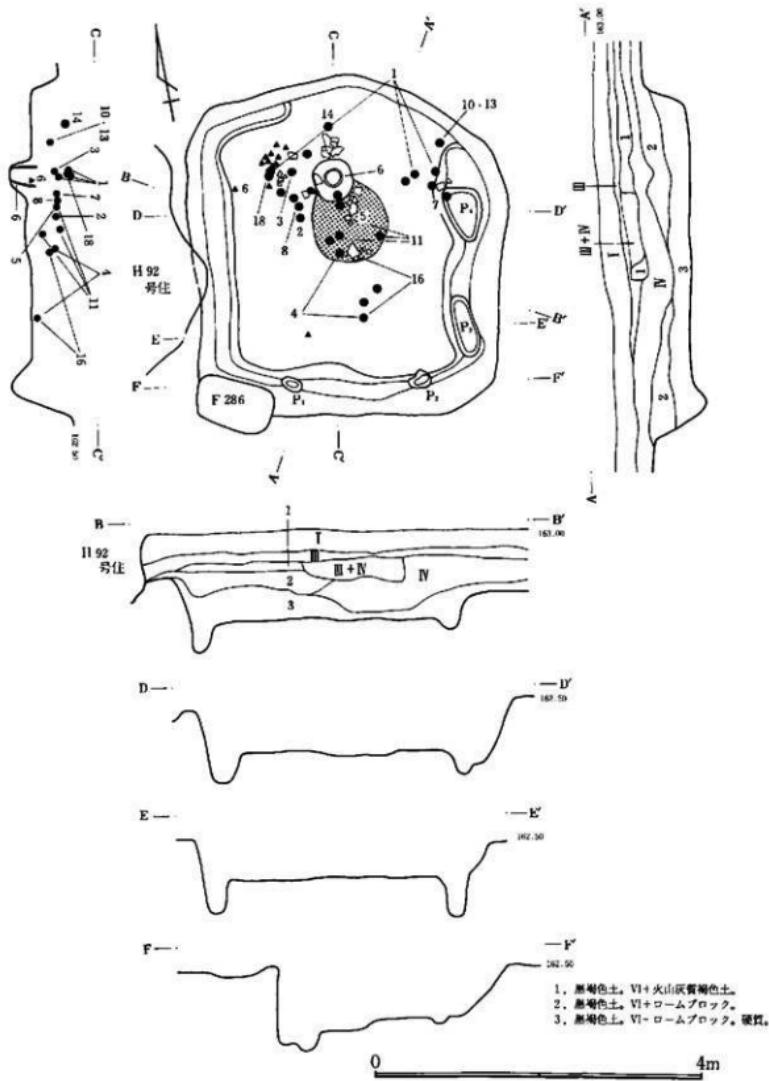


図-25 J 18号住居跡

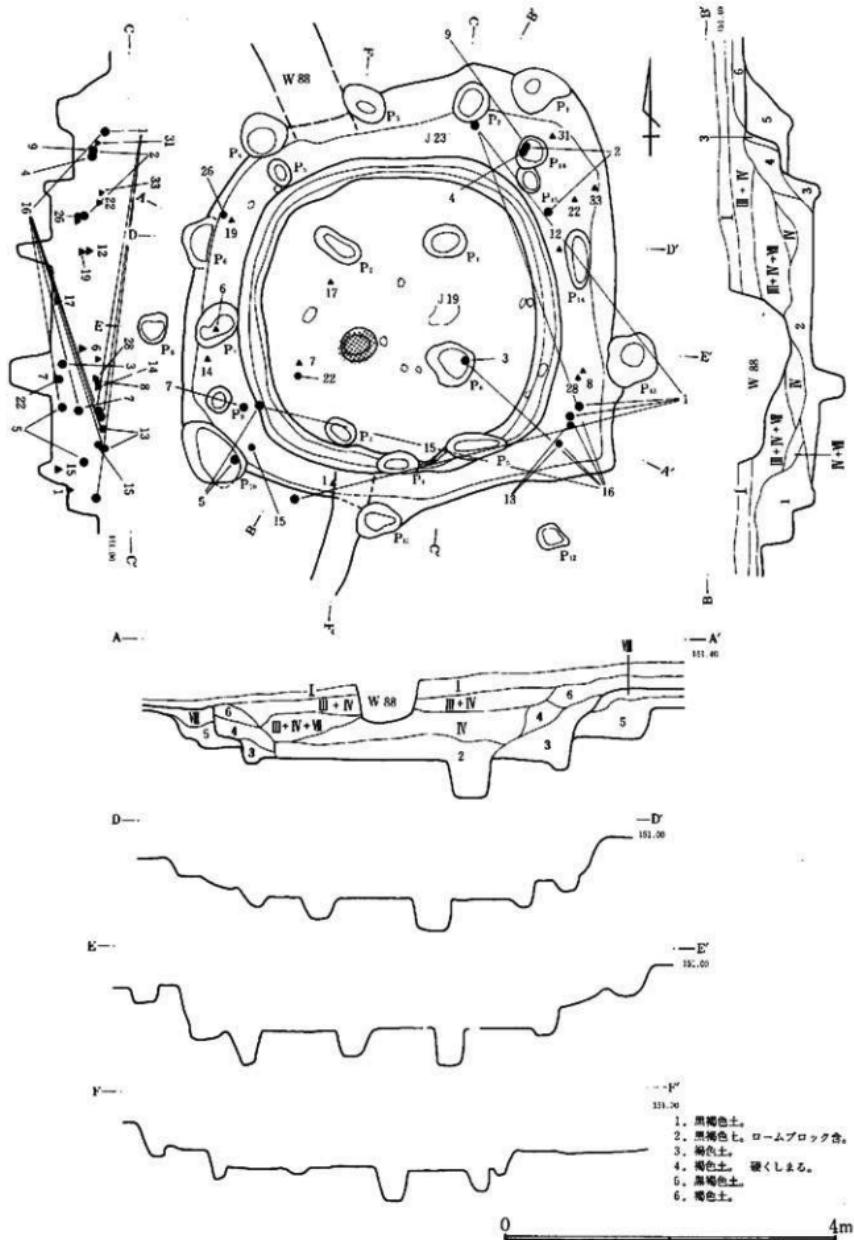


図-26 J 19-23号住居跡

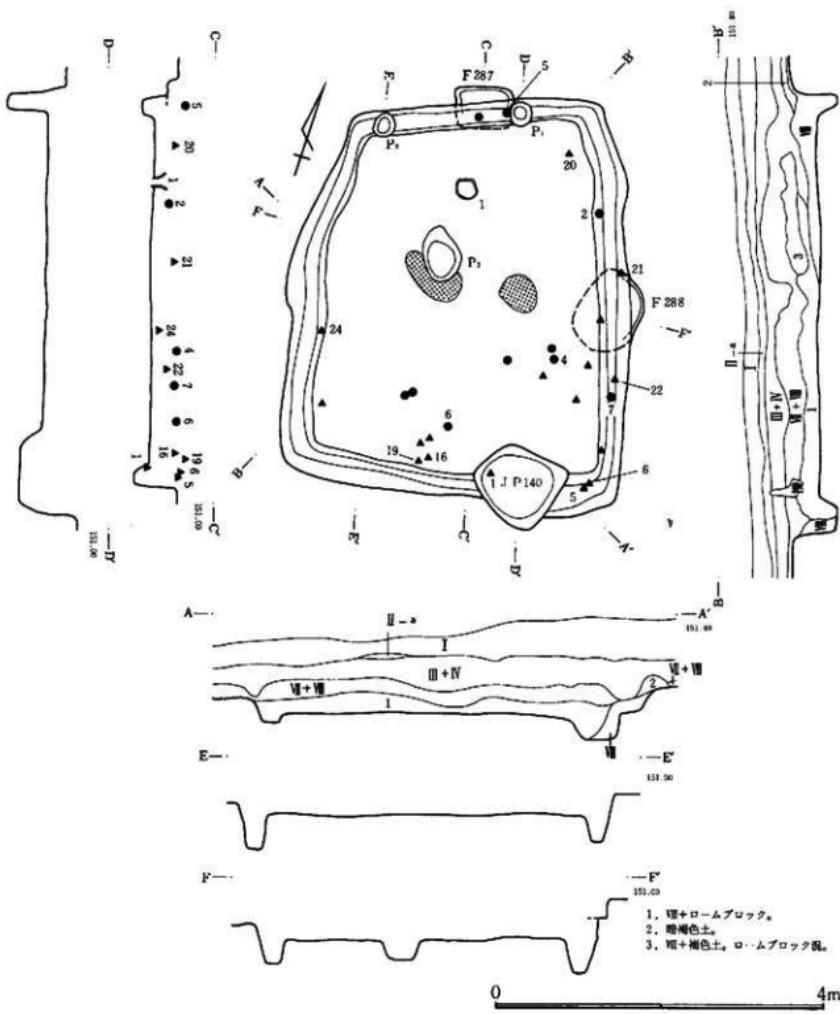


図-27 J 20号住居跡

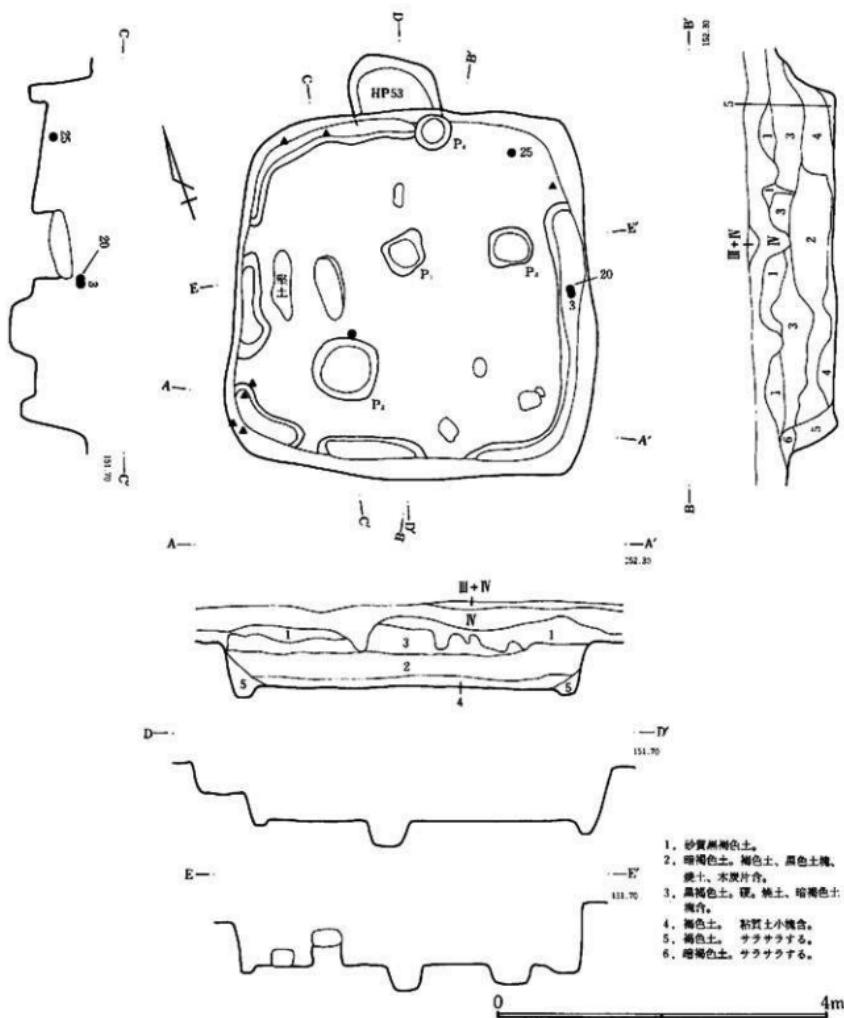


図-28 J21号住居跡

J 22号住居跡 (図-29・133~137、表-64~66、図版-18・89・90・129・147・148)

位置 西側台地南西端のQ-101、102区に位置する。台地西縁近くで南西への緩傾斜面にあたる。付近は住居跡、土坑の多いところで、南にJ 25号住、北にJ 20・21号住が所在する。奈良、平安期の住居跡の多いところである。
形状 北壁がやや張り出し、東壁にくらべ西壁の長い不整形である。各壁とも削平、擾乱をうけている。規模は南北5.2m、東西4.7m、面積22.4m²である。壁現高は最大で54cmを測る。周溝は確認されなかった。長軸方向は真北をさす。

ピット 床面に6個確認されている。P₁~P₆が柱穴と考えられる。P₂、P₄は二重のピットとなっている。内側のピットは小さく深い。方形に配置されている。中央のP₃、P₅も柱穴ともみられるが、P₁~P₆より小さく浅い。

炉 床面北側に長円形の焼上があり、中央に埋設土器があった。焼土下には3個のピットが検出されている。A(26×24×17cm) B(73×46×7cm) C(56×53×24cm)
遺物 土器は諸職a式を主とする。石器は石鏃、石錐、石匙、石斧、削器、敲き石、棒状石器、石皿、多凹石などが出土している。

(井野)

J 24号住居跡 (図-30・138~141、表-67~69、図版-18・90・91・130・148)

位置 西側台地の南端中央部M、L-1区に位置する。南への緩斜面である。本跡西側は繩文住居跡が多く構築され、十数軒が検出されている。また東側は奈良、平安時代の遺構が多く検出されているが、縄文時代の遺構はほとんど検出されていない。
形状 大型の方形住居跡である。壁は削平をうけているところが多く、北東隅が比較的のこりが良い。規模は南北7.2m、東西8.0mを測る。面積は53.0m²である。壁現高は18~62cmである。長軸方向はN-78°Eである。周溝・各種施設は検出されなかった。
ピット 柱穴は7個検出され、ほぼ方形に配されている。P₁~P₅が柱穴で、P₆は炉の掘り穴、P₇は住居内施設と考えられる。またP₂は上面に焼土があり、埋土中に若干土器片を含んでいた。一部さらに深くなっている。
炉 P₆の位置と考えられる。中より土器片が検出されている。
遺物 土器は諸職a式を主とする。石器は石鏃、石斧、楔形石器、削器、円錐が出土している。

(井野)

J 25号住居跡 (図-31・142~146、表-70~72、図版-19・91~93・130・131・147)

位置 調査区域南西部、R-102区に位置する。西台地南西部の住居群のうち最も南西隅に所在する。
形状 南北4.8m、東西3.7m、面積は推定で14.8m²を測り、南北が少し長い梢円形である。主軸方位はN-12°Eである。壁高は自然地形にしたがい北が高く南が低い。最高50cm、最低18cmである。周溝は認められない。
ピット 中央部に比較的小規模なものが重なって2つ、さらに中央より北寄り80cm、北東寄り80cmと計4つ確認されるが主住穴とは考えにくい。
炉 中央より北西寄り80cmの床面上に、およそ25×35cmの長円形の範囲に焼土が認められる。また床面上埋土には、全体的に炭灰が混入する。中央部の重複するピットの南側床面下に土器片が埋設されているのがあったとは考えがたい。
中央北寄りのピット北側にはほぼ完形の埋設土器がある。土器西側に半壊した石(10×25cm)が接して置かれており、炉であった可能性が考えられる。埋設土器と石との位置関係及び住居内の存在は、J 26号住の場合と類似している。
重複 住居西壁内側を南北にW88が通過する。またJ P 39が住居西壁北側の一部で重複する。地層断面から住居との前後関係を判断できないが、住居に付属する施設とは思われない。
遺物 遺物は中央部から南部に集中して散布する。土器は黒浜式が主である。石器は石鏃、楔形石器、尖頭器、石匙、石斧、棒状石器が出土している。

(白石)

J 26号住居跡 (図-32・147~149、表-73~75、図版-20・93・131)

位置 調査区域南西部、Q-102区に位置する。西台地の南西最末端部の緩傾斜面上に所在する。
形状 遺物の散布状態から住居跡のおおよその形状が推定されるだけで四方向とも壁は確認されない。南北5m、東西4.5m、面積は推定で19.0m²と南北が少し長い円形あるいは、隅丸方形と思われる。主軸方位は、N-3°Wである。張り出し等の施設はない。床面と推定される面は、北東から南西に傾斜する自然地形にしたがい北東部が高く南西部との比高差はおよそ20cmである。
ピット、周溝は認められない。
炉 埋設土器炉と推定される。位置は南北軸上で住居の中心より北寄り約1mである。南北に横たわる長石(およそ10×50cm)の下に甕が埋設されている。その位置は長石の中央部よりやや住居の中心寄りで甕の西半部を覆う。甕は口縁の一部を残すが底部を欠く。また長石下に隠れる部分の多くを欠損している。甕が埋設されているにもかかわらず、全形をとどめず、周囲に焼土も確認されないこと等から炉として機能していたかどうか不明である。埋設土器と長石との位置関係及び住居内の所在は、J 25号住の場合と類似している。
重複 H109、110号住がJ 26号住上面に重なって検出された。(全体図参照)
遺物 遺物の出土状態は、住居中央部に集中し、炉と推定される場所より北側にはほとんどみられない。土器は黒浜式が主である。石器は黑色頁岩の背付き石器、打製石斧、交刃削器、石核、複刃削器、安山岩の円錐、線刻錐が出土している。

(白石)

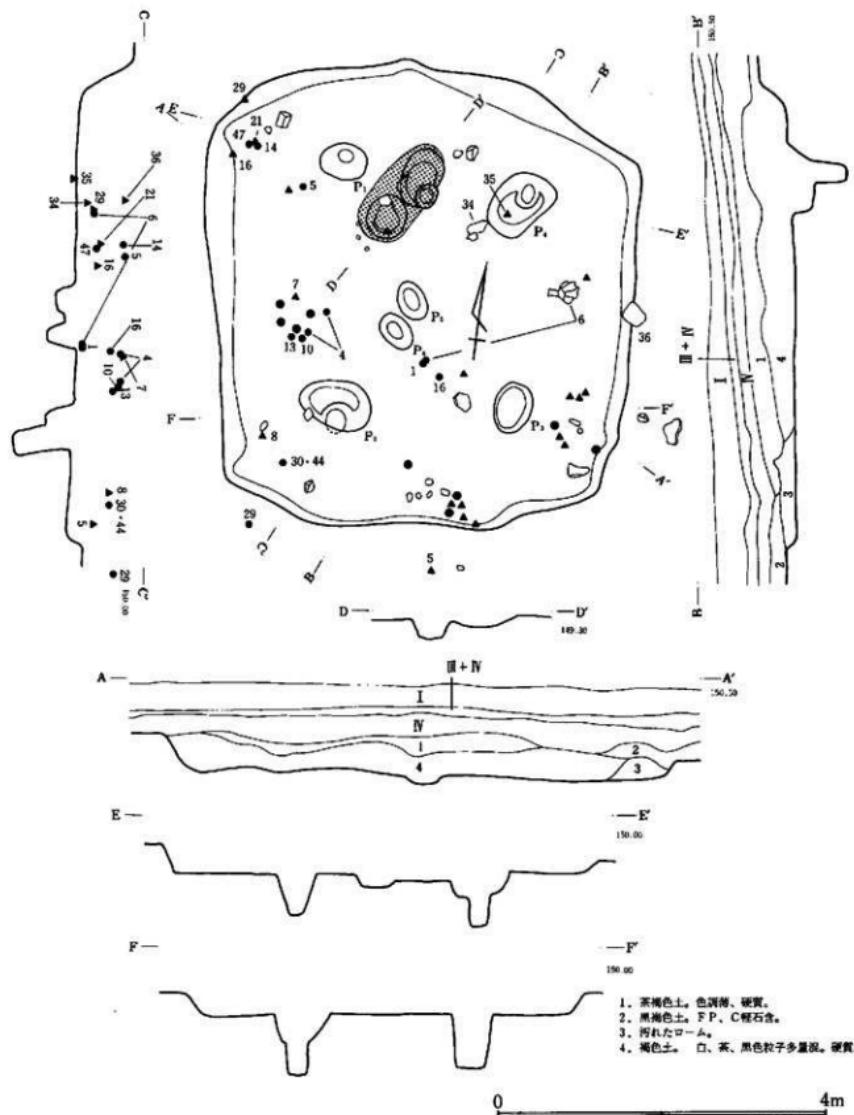


図-29 J 22号住居跡

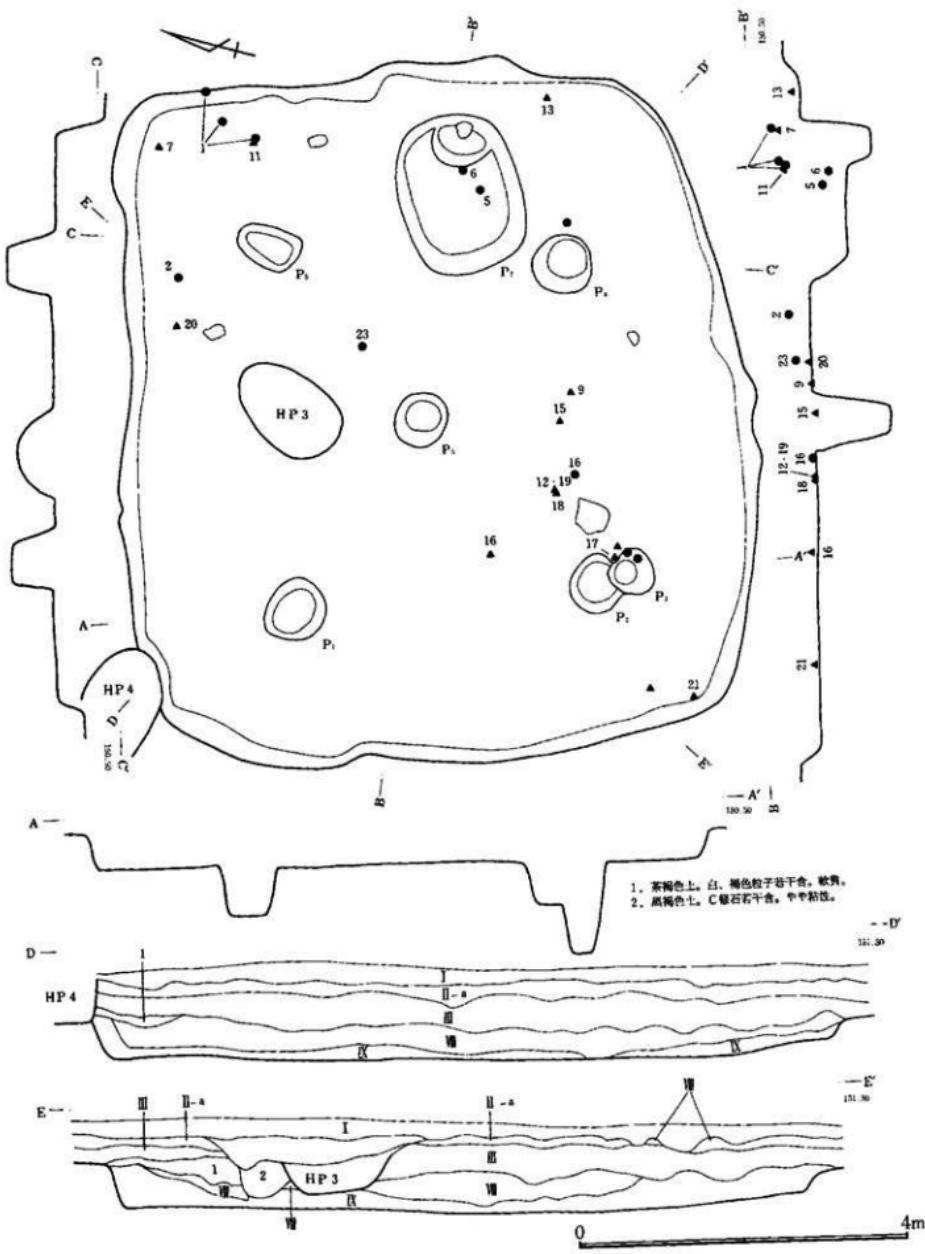


图-30 J 24号住居跡

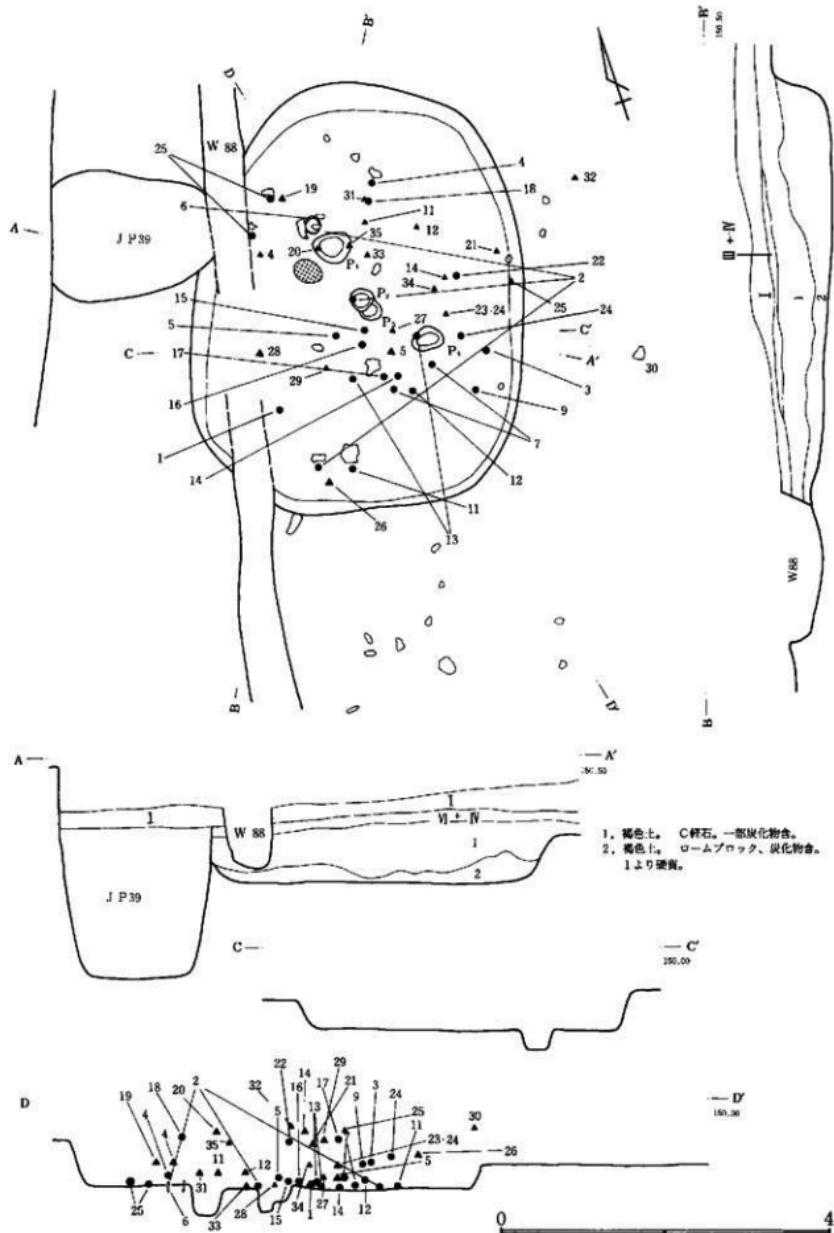


図-31 J 25号住居跡

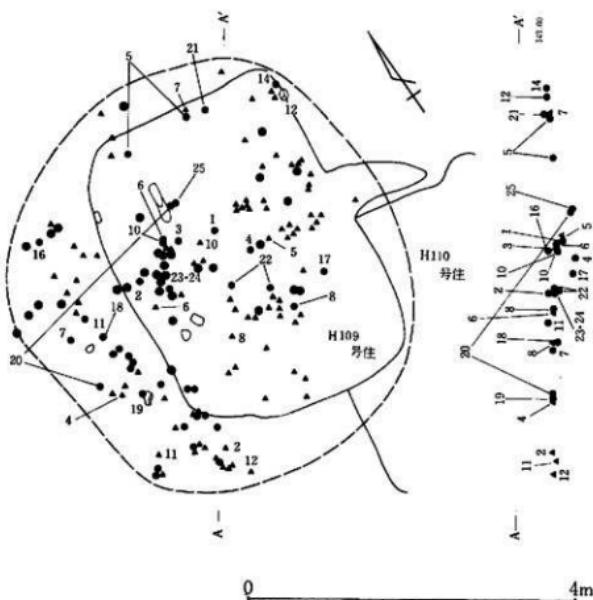


図-32 J 26号住居跡

J 27・30号住居跡 (図-33・150～156、表-76～78、図版 21・93～96・131・132・147・148)

[J 27] 位置 西側台地南西部N-102区に位置する。縄文時代の竪穴住居跡、土坑が多く検出されるところである。形状 やや円形に近く、西壁が直線的な鰯丸方形。南辺は残存状態が悪い。規模は、南北推定5.5m、東西5.6m、面積は推定で26.4m²である。周溝はない。長軸方向はN-83°-Eである。壁現高は17～43cmで、地層断面からは44cmを測る。床面はJ 30号住上にJ 27号住の床面が作られており、J 30号住との重複部は貼床となっている。地層断面および、遺物の出土レベルからも同様に床面が確認される。ビット J 27・30号住で18ヶ所検出されている。地層断面からP₁はJ 27号住に属する。位置よりみて、P₁～P₇がJ 27号住のものと思われるが、他のP₈～P₁₄にも同様の可能性がある。P₁～P₇は径40～70cmで深さ20～50cmのものが多い。炉 J 30号住との北東隅の重複部に埋設土器と2石があり炉と想定される。重複 J 30号住とJP 107はJ 27号住より古い。

[J 30] 形状 方形で南半分はややひろがっている。規模は南北3.8m、東西4.1m、面積は14.1m²である。壁現高は14～31cmである。周溝はない。長軸方向はN-81°-Eである。ビット 床面上に11ヶ所(P₈～P₁₄)ある。規模はまちまちであり、柱穴と確定しがたい。炉 北辺やや南にある。2石が方形を想定して配され、焼土がみられた。掘り形は凹んでおり、径30cm、深さ14cmである。遺物 土器は諸器a式を主とする。遺物中には黒浜式のものもまじるが出土レベルからみるとJ 30号住の遺物と考えられるものは検出されなかった。ほとんどがJ 27号住の床面より上のレベルで出土している。土製円盤が出土している。石器は多種多量に出土している。石鏃、楔形石器、石匙、石斧、削器、石核、円錐、棒状石器、軽石製石器、石皿などが出土している。黒色頁岩製のものも出土している。

(井野)

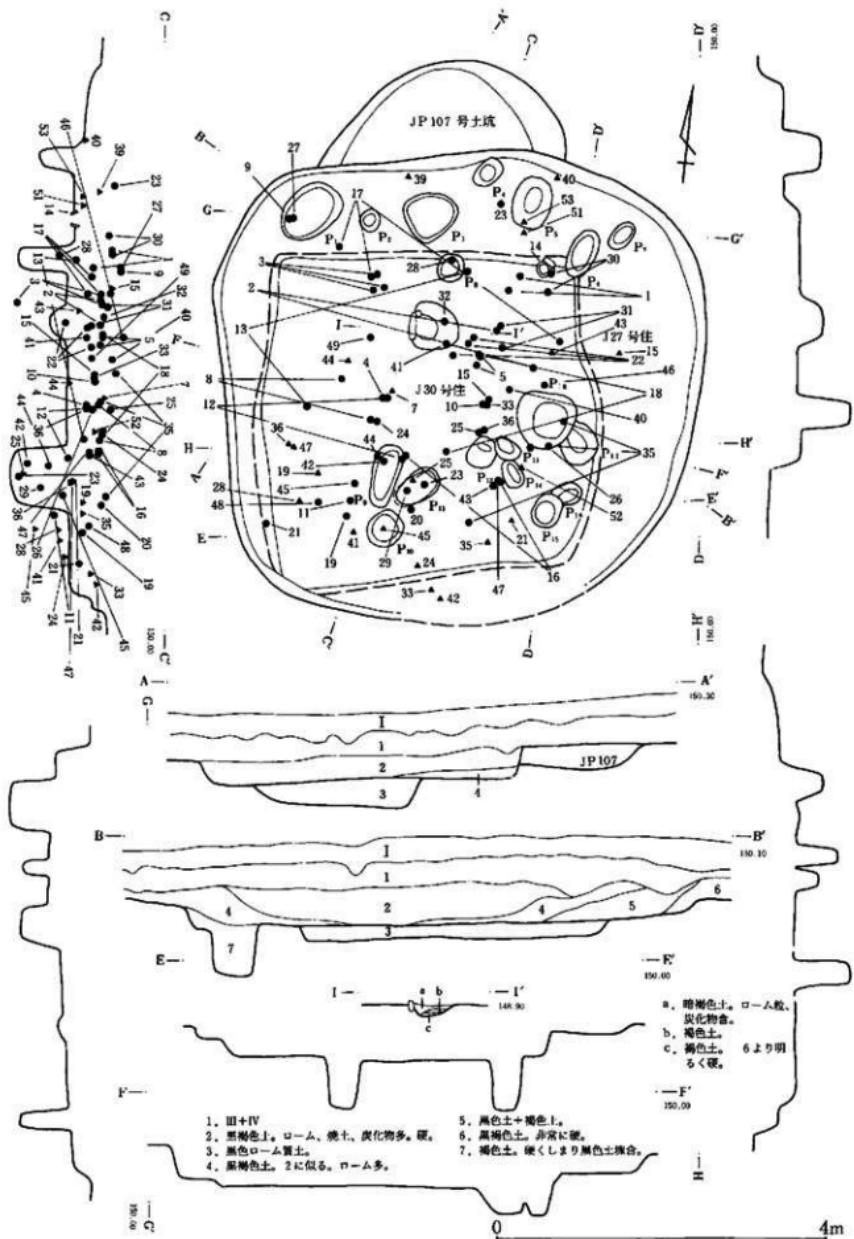


図-33 J 27・30号住居跡

J 29・59号住居跡 (図-34・157~160、表-79~81、図版-22・97~99・133)

[J 29] 位置 西側台地南西のM-102区に位置する。近接して竪穴住居跡、土坑が多く検出されている。形状 J 29号住は上部を耕作等で削平を受けており、確認できないところがある。南北にやや長い方形と推定され、北西、北東隅はやや鈍角で、東壁南隅近くには張り出しがある。規模は南北3.9m、東西3.8m、面積は14.0m²を測る。壁現高は14~37cmであるが、地層断面では52cmを測る。長軸方向はN-10°-W。周溝はない。張り出しあり120×30cmで床面とのレベル差はない。ピット 確認されていない。炉 不明。遺物 J 59号住、JP 111と重複する。J 59号住とは地層断面より本跡が古い。又JP 111に関しては同時期の可能性が強い。

[J 59] 形状 J 29号住との重複その他の削平により不明な部分があるが、長円形と推定される。規模は、南北推定5.0m、東西6.8m、面積は28.4m²である。壁現高は22~27cmである。地層断面からは30cmを測る。周溝はない。主軸方位はN-69°-W。床面中央にあたるところが、J 29号住と重複するため不明のところが多い。ピット 確認されていない。炉 不明。遺物 土器は黒浜式と諸磯a式に分けられるが、J 29号住は諸磯a式が主で、J 59号住は黒浜式が主である。JP 111は諸磯a式が出土している。石器は尖頭器、石斧、削器、抉入石器、楔形石器、円錐が出土している。ほとんどが褐色頁岩製である。

(井野)

J 31・32号住居跡 (図-35・161~164、表-82~84、図版-23・99・133・134・149)

位置 中央台地の南端ニ・ホー23区に位置する。中央台地では南端に住居跡5軒と土坑が検出されたのみで、台地の北は中・近世の遺構・遺物が占めている。J 31号住はJ 32号住との重複である。

[J 31] 形状 横円形を呈す。H152号住との重複で東壁が欠なわれている。南北6.9m、東西は現状で6.1m、面積は現状で34.9m²である。壁高は23~55cmを測る。周溝、張り出し等の施設は認められない。ピット J 31号住のピットとして検出されたものはなかった。炉 南西隅に焼土域（径80cm）と炉が検出されたが、焼土面のレベルが床面レベルより上であること、焼土域の範囲が石囲い炉の焼土域に重なりレベルが上であるので、焼土域がJ 31号住の炉であると考えられる。

[J 32] 形状 やや東壁にむかひひろがる方形をしている。東壁はH152号住により半ば失なわれている。規模は南北5.2m、東西4.8m、面積は現状で23.5m²である。周溝や施設は認められない。壁現高は6~22cmである。J 31号住より古いので壁全体が削平をうけている。ピット 床面に1個(P)。157×156×20cmで住居施設の一部であろうか。炉 南西隅に石囲い炉がくる。2石がのこり、方形と推定できる。規模は28×24cmで石の南に焼土域（94×72cm）がひろがる。炉の地層断面からは、石の内側から南40cmの範囲に焼土域があった。遺物 J 31・32号住は重複するが、遺物のレベル、地層断面、焼土域、炉のレベルによりJ 31号住が新しいとした。さらにJ 31・32号住をH152号住が切り、またJ 31・32号住をW10号溝が切っている。遺物 土器は黒浜式と諸磯b・c式が主として出土している。位置レベルよりJ 31号住は諸磯b・c式が主で、J 32号住は黒浜式が主と考えられる。J 32号住内のP内に土器は黒浜式であり、同住居に伴うものと考えられる。石器は石斧、削器、円錐、石皿などが出土している。

(井野)

J 33・60号住居跡 (図-36・165~166、表-85~87、図版-24・100・134)

位置 中央台地南端、ホー23区に位置する。中央台地での縄文時代の遺構は南端に限られ数も少ない。J 33号住とJ 60号住は重複している。

[J 33] 形状 やや南北に長い横円形である。規模は南北3.3m、東西2.8m、面積は推定で7.5m²である。J 60号住と重なり上半を削平されている。壁高は地層断面で32cmを測る。周溝はない。長軸方向はN-5°-Wである。

ピット J 33号住と考えられるピットはない。炉 床面中央部にあるJP 118の北縁と重なるように焼土域（120×25cm）がある。JP 118はJ 33号住よりも新しいので、焼土域のほとんどはJP 118に削平されたと推定される。

[J 60] 形状 J 33号住の上に作られている。西半及び東半の一部が検出されており、横円形の住居跡と推定される。西壁はH152号住と重複して削平されている。規模は現状で南北5.9m、東西5.2mであるが、推定で径約6m、面積は現状で21.2m²である。壁高は21~44cmを測る。周溝は検出されていない。長軸方向はN-3°-Eである。ピット J 60号住と考えられるピットはないが、JP 118がJ 60号住に付く施設の可能性がある。炉 ほぼ中央に円形の焼土面があり、その広さは90×80cmである。遺物 地層断面からの判断で、一番古いのがJ 33号住、次にJP 118とJP 115ができ、さらにJ 60号住、それとH152号住が切り、その上をW11が南北に通っている。台地南端であり、覆土が厚くおおっていた。遺物 土器は諸磯a・b式が主であるが、JP 118・J 60号住に属すると考えられる。J 33号住に伴うものはない。石器は削器、敲き石、円錐、石皿が出土している。

(井野)

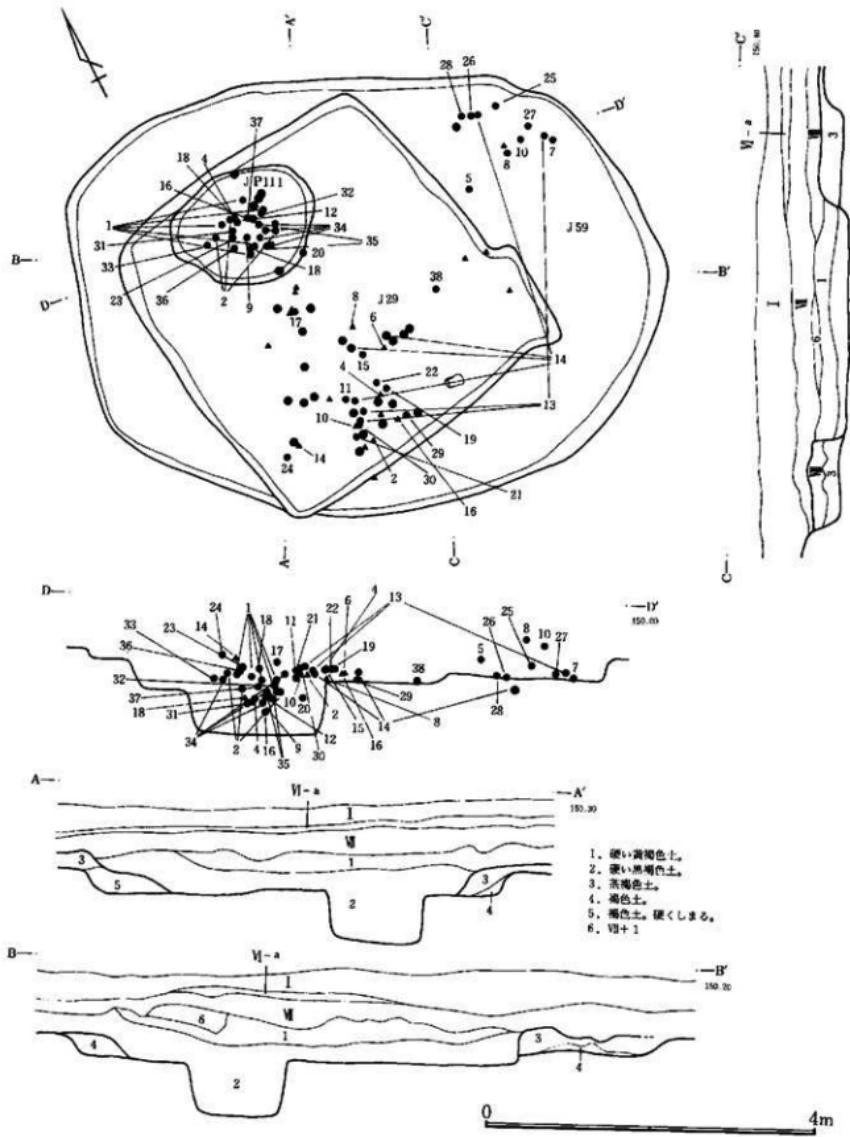


図-34 J 29・59号住居跡・JP111号土坑

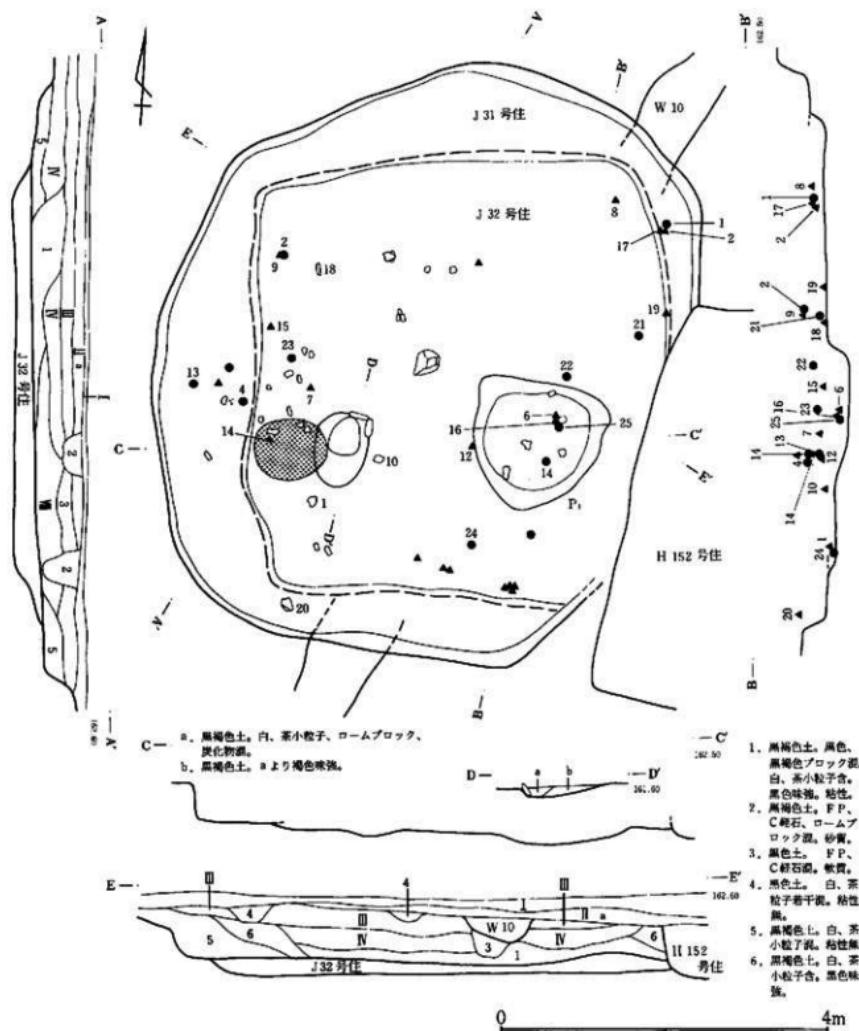


図-35 J 31・32号住居跡

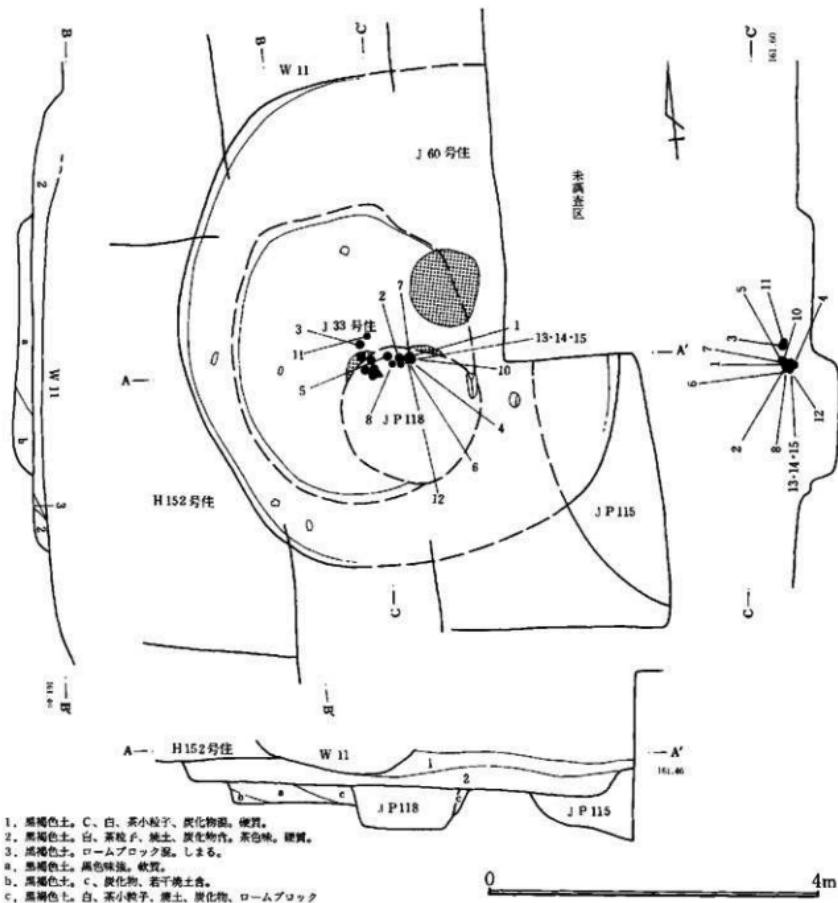


図-36 J 33-60号住居跡

J 34号住居跡 (図-37・167、表-88~90、図版-24・100・134・150)

位置 西台地のやや中央より東側の平坦地B・C-8、C-9区に位置する。地形は南へ緩やかな傾斜をし、住居は西側一部を除いて南北に走る舗装道路により切り取られている。形状 現存するのは住居跡の一部のみであるが、一辺7.1m以上の方形住居跡と推定される。現存する規模は南北7.1m、東西1.0m、面積は現状で5.7m²である。住居の主軸方位はN-18° E。壁高は87~96cmで、壁下にピット列が並ぶ。ピットの大きさは20~30cmで、30~40cm程の間隔で規則的に壁下に並んでいる。ピットは壇に付く型式の壇柱穴と考えられる。住居の床面は純粹なローム層ではないが、硬くしまっている。又西壁下中央に3ヶ所焼土が存在した。 炉 炉の施設等は現状では確認できなかった。 重複 K 6号掘立と重複。 遺物 土器は黒浜式。石器は削器と石皿が出土している。

(江原)

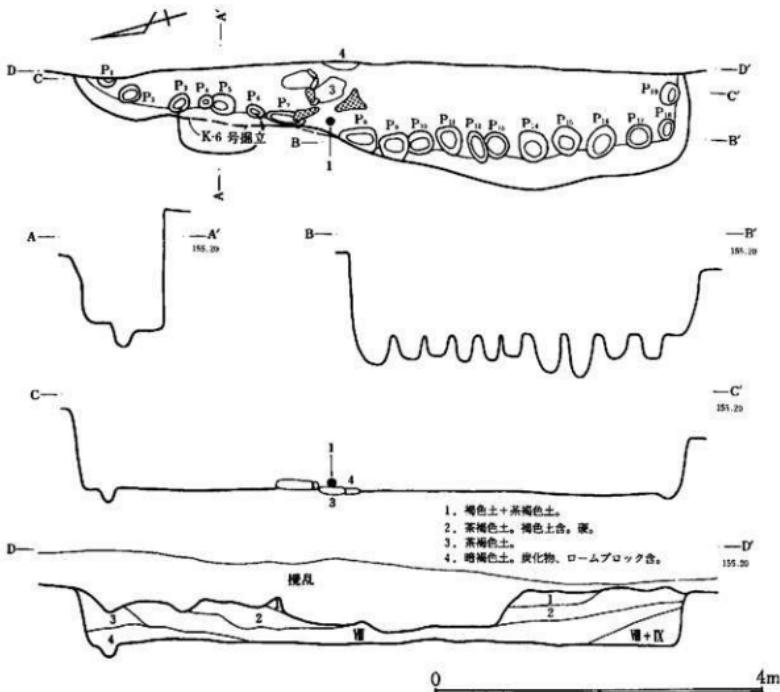


図-37 J-34号住居跡

J-35号住居跡 (図-38・169・170、表-91~93、図版-25・100・134・149・150)

位置 西台地の中央から東へやや寄った、B・C-7・8区に位置する。北側30cmほど離れた所に、土坑群をはさんでJ-4号住がある。 形状 N-8.5°-Eに主軸を取る長方形を呈する。壁下端間で南北4.74m、東西3.8m、面積17.5m²を測る。壁は直に立ち、壁高は北壁・南壁・東壁部分で40cm前後ある。壁に沿って周溝が全周する。また、周溝内には径20~30cm、深さ5~30cmの小ピットが、20~100cmの範囲で不規則な間隔で掘られている(P₁~P₂₂)。壁柱穴と考えられる。 ピット 東壁より80cm内側に入った地点で、南、北壁の周溝に接するよう P₂₃・P₂₄がある。4.8mの間隔で、住居の主軸に並行するようにあり、主柱穴とみられる。P₂₅が床面上で34×26cm、床面よりの深さ44cm、P₂₆が同じく径33×24cm、深さ55cmとなる。他に主住穴とみられるものは無い。この他南西隅に径80×68cm、深さ60cmのピット P₂₇があり、貯蔵穴と推定される。 炉 住居主軸上で、住居中央よりやや北へ寄った地点に、埋甕を伴う石圓い炉がある。住居中央部側に土器(No.1)を埋め、その北側に山石を3石敷き、その周囲に5石側面を立てて囲んでいる。炉の周辺は床面と比較して10cm前後くぼんでいる。炉の西側の床面には焼けている所がみられる。 重複 住居の東側にH148号住居跡が接しており、東壁の一部が削られている。また南西部上半でK-7号掘立と重複する。 遺物 土器は黒浜式。石器は削器と石皿が出土している。

(富沢)

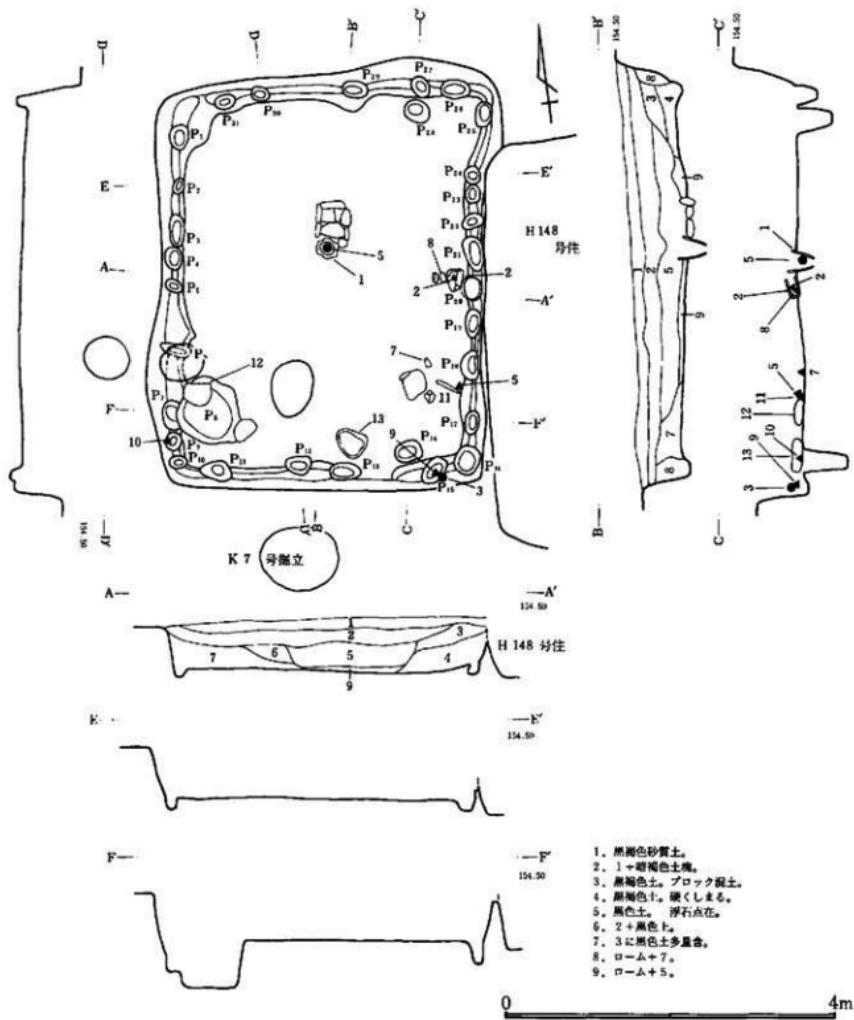


図 38 J 35号住居跡

J 36号住居跡 (図-39・171~175、表-94~96、図版-26・100・101・135・136・149)

位置 西側台地南西端のN-102区に位置する。 形状 東西に長い長方形で、北辺・南辺はやや内にはらむ。東辺は西辺にくらべやや狭い。規模は拡張前で南北4.3m、東西4.7m、面積19.0m²で、拡張後は南北で4.8m、東西5.7m、面積23.7m²となっている。壁現高は20~49cmで、地層断面からは52cmを測る。周辺にしっかりした周溝が全周するが、H 126号住との重複部分では削平をうけている。幅は27~54cmで、深さは19~44cmで、拡張後も周溝が認められる。地層断面より、東・西辺の周溝の埋土が同じで、西辺の東よりの周溝の埋土は異なっており、貼床状をなし、西に拡張したものと考えられる。 ピット 床面10ヶ所に検出された。P₁、P₂、P₃、P₄が当初の住居跡の主柱穴と考えられる。西辺の周溝内の2つのピットは拡張後の施設に係わるものであろうか。当初の主柱穴は径20~40cmで深さは14~35cm、西辺周溝内のピットは径20~30cmで深さは50cm前後と深い。 炉 東壁際より埋設土器が検出されており、炉の一部と考えられる。 重複 東辺がH126号住と、西辺がH159号住と重複し、一部削平をうけている。 遺物 土器は黒浜式を主とする。石器は石匙、耳飾、石斧、削器、円礫、敲き石、石皿、棒状石器、多凹石等が多量に出土している。

(井野)

J 37号住居跡 (図-40・176・177、表-97~99、図版-27・101・102・149・150)

位置 西側台地南西端に近いP-N-1・2区に位置する。傾斜はほぼ平坦な地である。周囲には住居跡が十数軒と多数の土坑が存在する。台地のなかでも遺構の多いところである。 形状 四角の方形であるが、東辺は四凹がある。規模は南北5.1m、東西5.2m、面積は23.4m²を測る。壁現高は24~45cmである。地層断面からは44cmを測る。周溝・張り出し等はない。長軸方向はN-30°-W。 ピット 床面5ヶ所。P₁~P₅が主柱穴と考えられるが、P₁は他のピットに比して小形で径約30cm。P₃は他のピットにくらべ浅く、深さ9cm。他は径が50~70cmで、深さ20~60cmである。 炉 炉は確認されなかった。その他 柱穴の内側がやや落ち込むが、段差をなすほどではない。 遺物 土器は称名寺2式が主である。石器は円礫、多凹石、台石等が出土している。

(井野)

J 38号住居跡 (図-41・178~182、表-100~102、図版-28・102・136)

位置 調査区域の南西端、西台地の緩く南へ傾斜するN-101区に位置する。 形状 住居は南北4.2m、東西4.3m、面積は推定で18.5m²を測り、隅丸方形である。北壁と東壁および住居の半分程は重複し、破壊されていた。壁高は20cmから48cmで壁下に周溝等は存在しなかった。主軸方位はN-69° Eを示す。 ピット 5個検出された。住居の三隅に径38~54cmのピット3個があり、主柱穴の一部と推定される。他に住居南西側に径82×68cm、深さ45cmのP₁、90×87cm、深さ46cmのP₂2個があり、貯蔵穴とみられる。 炉 H156号住と重複の為破壊されたと考えられ、不明である。 遺物 土器は諸磧a式を主とする。石器は石錐、石匙、石斧、削器、削器が出土している。

(江原)

J 39・61号住居跡 (図-42・183~186、表-103~105、図版-29・102・103・136・137・150)

位置 西側台地の西南に近いN-101・102区に位置する。周囲には竪穴住居跡14~5軒の他、土坑も多い。台地内では住居跡が多く検出されているところである。

[J 39] 形状 やや南北が長い方形であるが、J 61号住と重複している為不明な部分が多い。規模は南北推定5.1m、東西4.6m、面積は22.3m²を測る。壁現高は37~45cm、地層断面からは48cmである。周溝・張り出し等は確認されない。主軸方位はN-13°-W。 ピット 床面15ヶ所。その形状と床面よりの深さにより、J 39号住の拡張前・後とJ 61号住の柱穴とした。J 39(拡張前)のピットはP₁₁、P₁、P₁₄、P₁で径が50~90cmと大きく、深さは30cm前後が多い。拡張後は柱穴の配置の様子と柱穴のこりの様子から前記4ピットのやや南に柱穴が位置する。P₁₀、P₃、P₁₅、P₇、径は30~50cm、深さは50~100cmである。いずれも柱穴4個は方形に組まれ、P₁とP₁₅が重複している。 炉 P₁₃の北に50×80cmの焼土場があり、石が出土していることからこの付近と考えられる。

[J 61] J 39号住と重複する。地層断面図等よりJ 61号住が古いと推定される。 形状 推定円形。規模はH127号住とも重複しており不明な点が多いが、現状南北4.8m、東西4.0m、面積は推定5.2m²。壁高は南、西壁で9~29cmを測る。周溝・施設は検出されていない。長軸方位はN-13°-Wである。 ピット 円形に配されたP₂、P₄、P₅、P₆、P₈内のP₆、P₁₂が主柱穴と考えられる。径30~40cmで、深さは20~60cmである。 炉 不明であるが、J 61号住の柱穴のほぼ中央にP₁₃が位置し、炉跡とも考えられる。 重複 J 39号住にはJ 61(旧)、J P112(旧)、H 127(新)、H P129(新)が、J 61号住にはJ P60(不明)、H P129(新)が重複する。 遺物 土器は諸磧a式が主である。J 61号住に属すると考えられる土器は出土しなかった。石器は打製と磨製の石斧、削器、楔形石器、円礫、多凹石が出土している。

(井野)

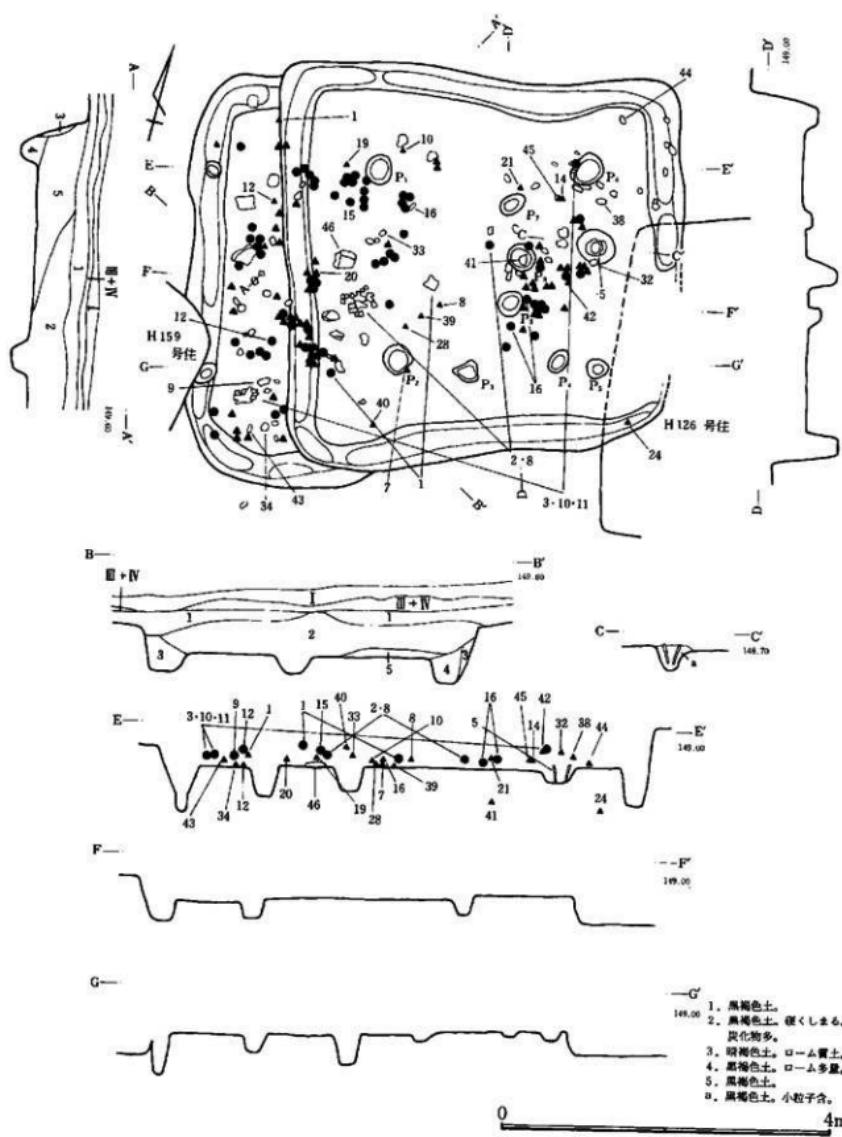


図-39 J 36号住居跡

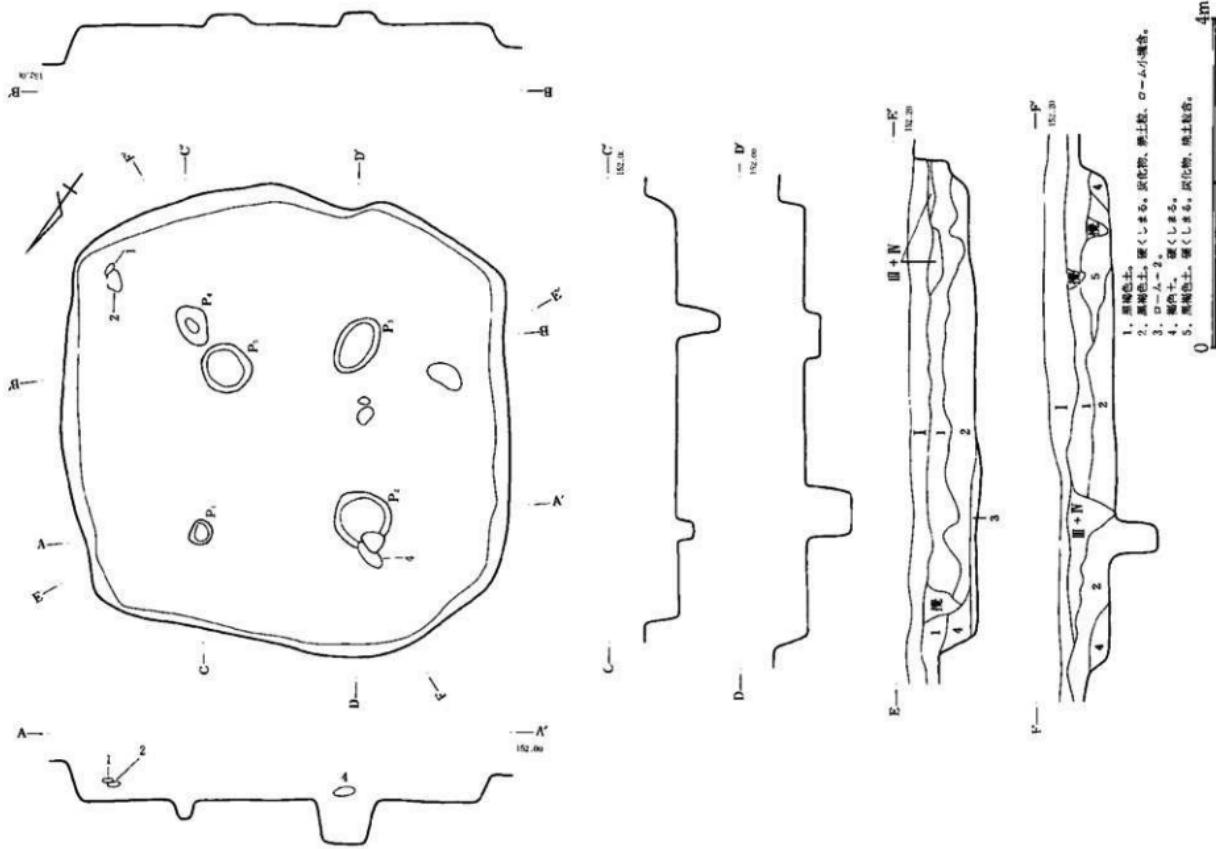


图-40 J-37号柱岩特

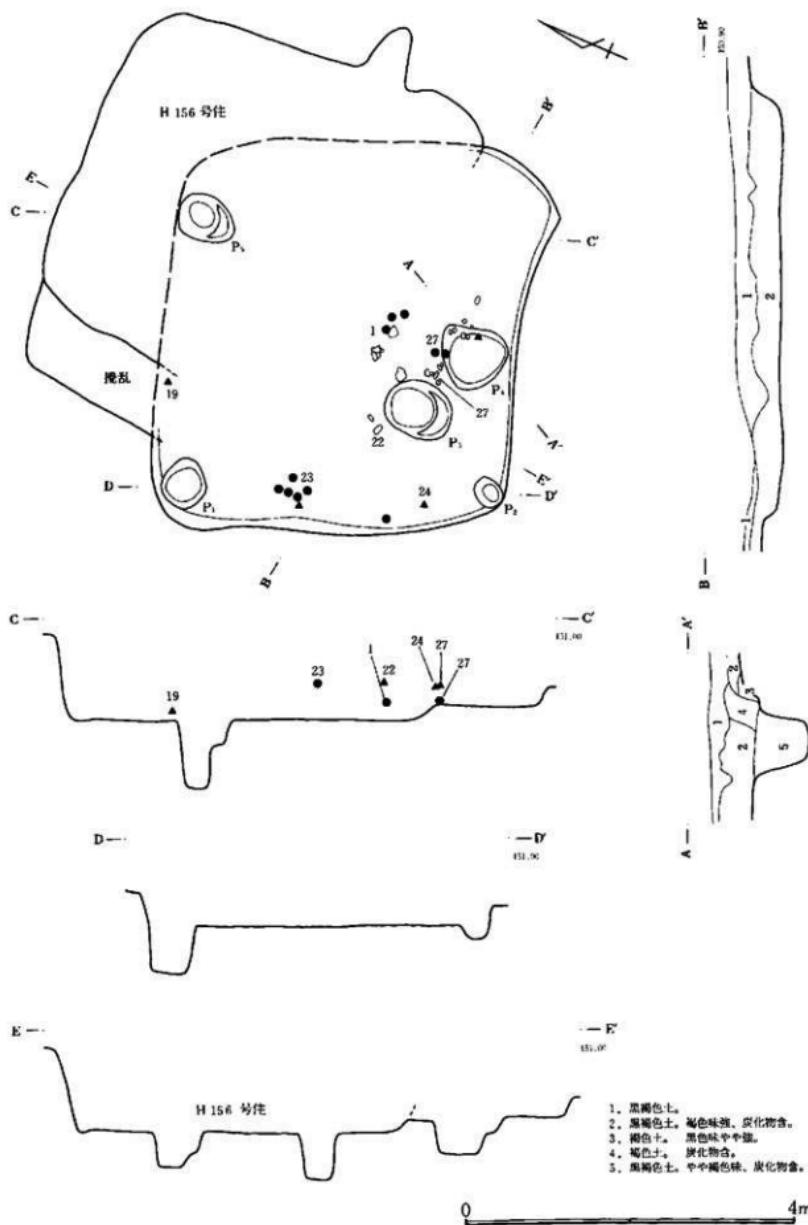


图-41 J 38号住居跡

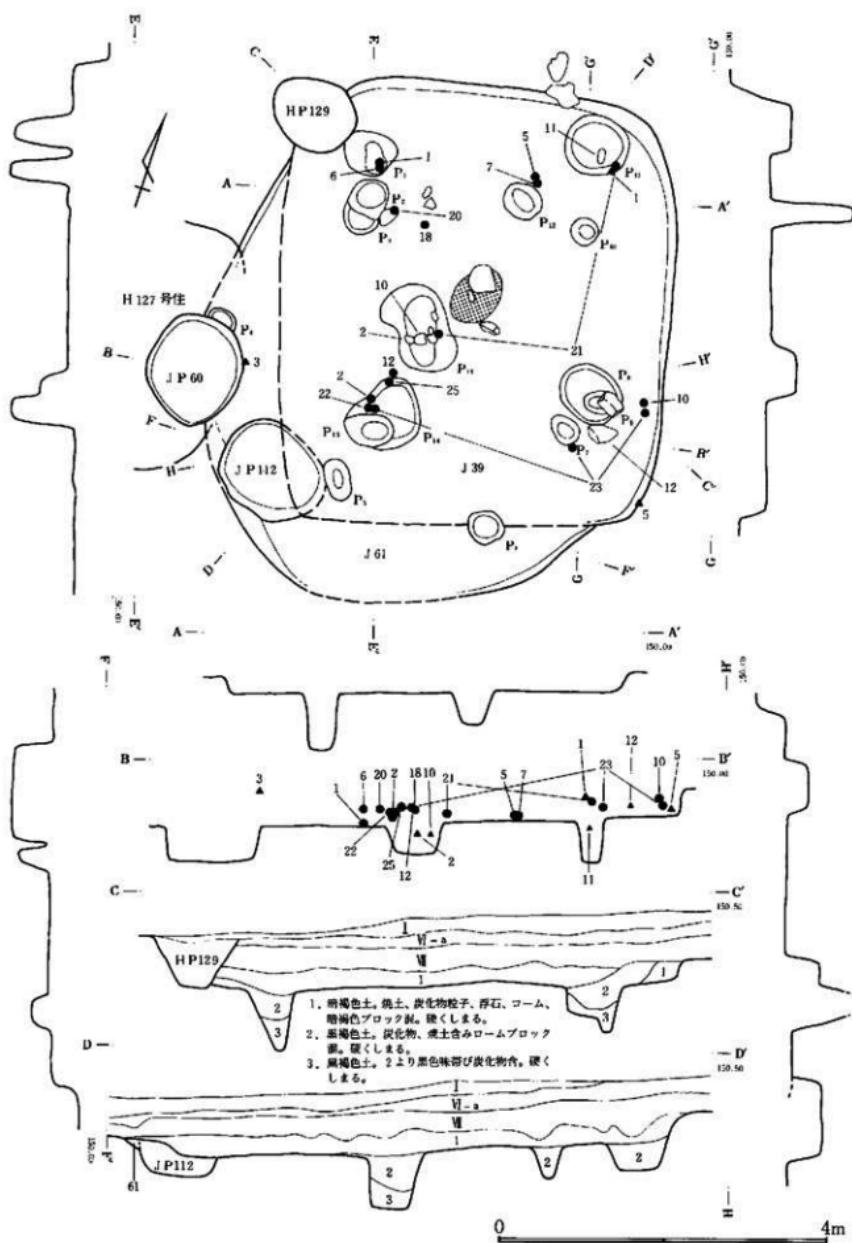


図-42 J 39-61号住居跡

J 40・41号住居跡 (図-43・187~190、表-106~108、図版-30・104・137)

位置 西側台地、東縁の中央部南口・バー7区に位置する。芳賀東部墳地遺跡では縄文住居跡が西側台地の南北と東縁の中央部や南に集中して検出されており、J 40・41は後のグループの南東に所在している。J 40・41号住は重複している。

(J 40) 形状 西壁がやや直線を呈する円形である。規模は土層図により推定で南北4.5m、東西4.8m、面積は推定17.2m²である。壁高は34~52cmを測る。周溝は検出されなかった。長軸方向はN-83°-Wである。 ピット 床面7個検出されている。P₁、P₂、P₄、P₆、P₇は円形に配され、主柱穴と考えられる。P₅は床面南端にあり、柱穴もしくは出入口の施設に係わるものと考えられる。P₃は不明である。柱穴の径は40~50cmである。深さは記録がなく不明であるが、径もしくはそれ以上の深さがあるとみられる。 炉 P₁とP₂の間に92×84cmのピットがあり、礫の散布とともにあわせて炉の跡と考えられる。またP₆の床面にも多数の石と土器片が散布していた。

(J 41) 南壁が北壁よりやや長い長方形をしている。新しいJ 40号住に切られている。規模は現状で南北4.3m、東西3.3m、面積は現状で14.1m²である。壁は28~38cmを測る。周溝・張り出し等の施設はないと思われる。 ピット J 41号住に附随するとみられるものは検出されなかった。 炉 床面中央やや北。平面は方形で48×48cmの規模である。掘り形は80×69cmである。礫8石で囲み、底面敷石される。 重複 J 40号住の南壁とJ 41号住の北壁が重複するが、地層断面図によりJ 40号住が新しい。 遺物 土器は花瓶下層と諸磯b・c式が主である。出土位置よりJ 41号住が花瓶下層で、J 40号住が諸磯b・c式とする。石器は石斧、削器、敲き石、凹石、円錐が出土している。

(井野)

J 42号住居跡 (図-44・191・192、表-109~111、図版-31・105・137・149)

位置 西側台地東縁中央部や南のイー8区に位置する。この付近は遺構の検出数が多いところである。 形状 ほぼ正方形に近い方形の住居跡である。壁はしっかりと掘り込まれている。四隅はほぼ直である。規模は南北4.6m、東西4.8m、面積は20.4m²。壁高は73~92cmを測る。周溝や張り出し等の施設は検出されなかった。主軸方位はN-84°-Eである。床面はよくしまった硬いローム面である。床面北東部より炭化物を検出している。土層にも炭化物が含まれている。 ピット 床面に4個検出されており、いずれも主柱穴である。径は30~70cm、深さはP₄を除くと30~50cmである。ほぼ方形に配されている。 炉 床面中央部の方形ピット。規模は33×33cmである。 重複 H237号住、H P55と重複している。H237号住はJ 42号住の北壁上半で重複し、H P55は南東隅で壁と重複している。 遺物 土器は諸磯c式が主である。石器は石斧、削器、敲き石、円錐、石皿が出土している。

(井野)

J 43号住居跡 (図-45・193・194、表-112~114、図版-32・105・138・147・149)

位置 西側台地東縁南のバー6区に位置する。当初は2住居跡の重複を考えたが、検討の結果J 43号住一軒のみで、J P129・130・131との重複と判断した。 形状 南北に長い長方形の住居跡である。北壁にくらべ南壁がやや長い。規模は南北が土層断面からの復元で5.1m、東西4.1m、面積は19.5m²である。主軸方位はN-11°-E。壁は住居北半ではロームをしっかりと掘り込んでいてわかりやすいが、南半では自然地形のロームがさがっているので壁は、はつきりしない。壁高は43~76cmで、地層断面図からは82cmを測る。周溝・張り出し等の施設および柱穴は確認されなかった。床面はJ P129・130・131の上にある。床面凹凸があるのは精査時にJ Pの覆土を削ったためである。 炉 床面北に焼土域がある。規模は150×146cm。また南壁近くに石窓がある。2石がのこり、規模は27×23cmである。北壁際より石が多く検出された。 遺物 北東隅より炭化物が検出された。状況からみて住居構築材・施設のものと考えられる。土器は黒浜式を主とする。石器は石匙、石斧、削器、石皿、台形が出土している。

(井野)

J 44号住居跡 (図-46・195~199、表-115~117、図版-33・106・107・138・139・147・149)

位置 谷西の台地東縁に近くA-8区に位置する。 形状 平面形は、東西方向が長い均整のとれた楕円形を呈する。規模は、東西4.1m、南北5.3m、面積は21.8m²を測る。主軸方位はN-41°-Wである。壁はほぼ垂直に掘りこまれており、現存高46~54cmのローム層の壁面を確認した。また、覆土中には焼土及び炭化物の小粒が含まれていた。床面には小さな凹凸が認められたが比較的平坦で、全面に亘って強く踏みしめられていた。 ピット 南壁下に3個(P₁~P₃)、北壁際に2個の擾乱によるピット(P₁~P₂)が有ったが、柱穴は検出されなかった。 炉 炉は中央から1.6m西よりの位置に地床が設けられていた。径1.5m程の範囲に亘って弱い焼け込みが認められ、床面下には長径81cm、短径71cm、深さ10cmの長円形の窪みが穿たれており、内部から焼けた河原石2個が出土したが特別な施設は検出されなかった。 遺物 土器は黒浜式を主とする。石器は石匙、石斧、削器、磨石、円錐、棒状石器、敲き石、砥石などが多量に出土している。

(飯塚)

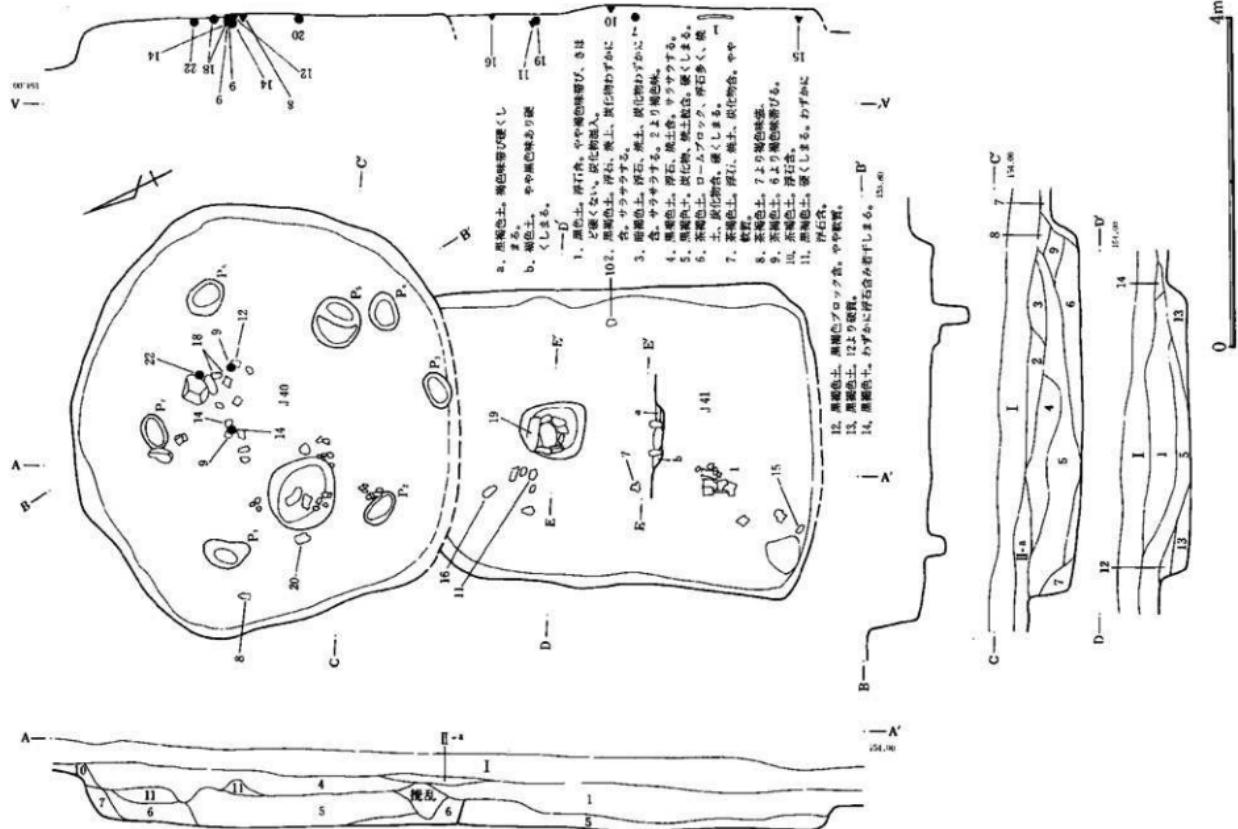


図-43 J-40-41号井鉆探

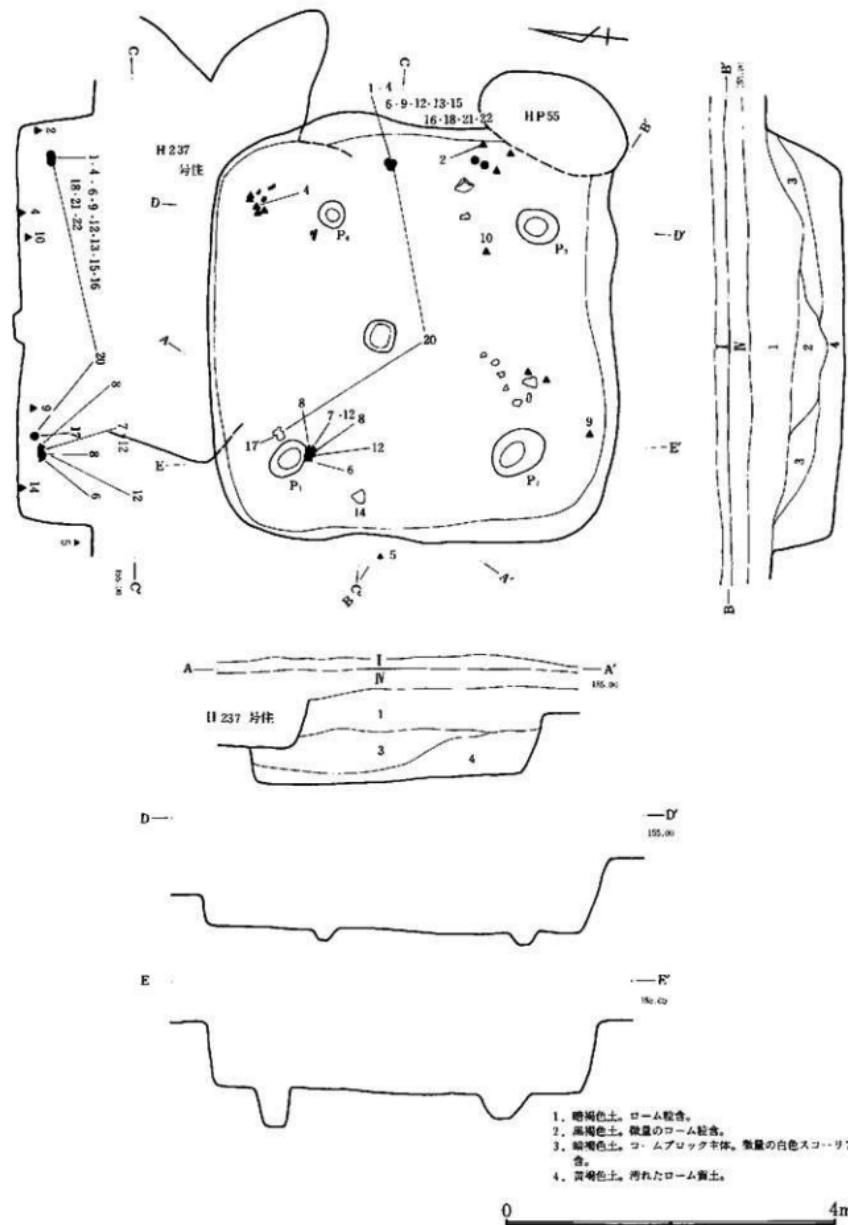


図-44 J 42号居住跡

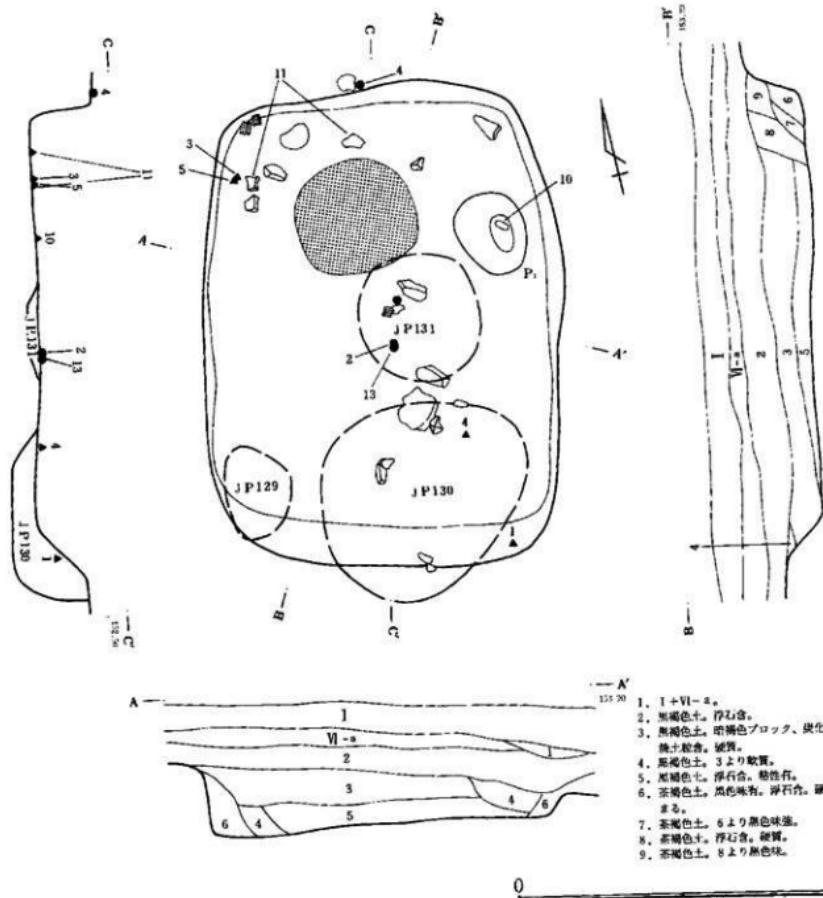


図-45 J 43号住居跡

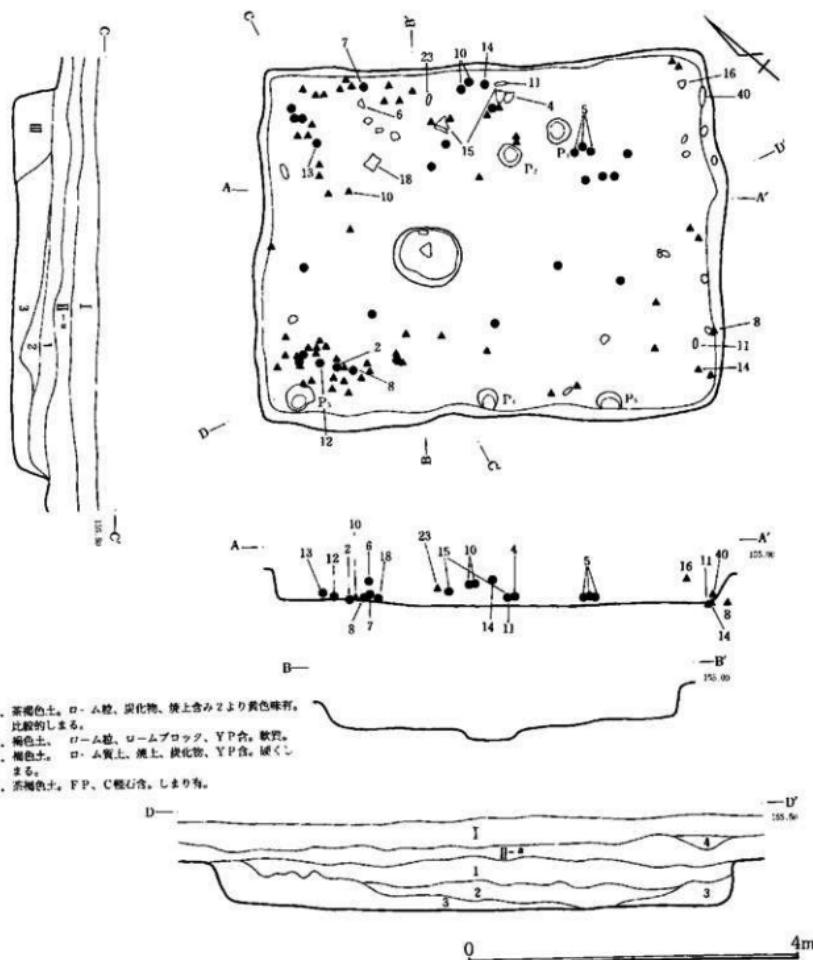


图-46 J44步进磨床

J 46号住居跡 (図-47・200~202、表-118~120、図版-33・106・107・139・147)

位置 西側台地東縁の中央部南、ロー9区に位置する。南への緩斜面にあたり、台地内では住居跡が多く検出されているところである。形状 やや南北に長い楕円形の住居跡である。北西でII245号住と重複する。各壁ともにしっかりと掘り込まれている。規模は南北が6.1m、東西5.1m、面積は24.3m²である。壁高は60~66cmを測る。周溝や、張り出し等の施設はないとみられる。主軸方位はN-20°Eである。ビット 床面に8個検出されている。 $P_1 \sim P_3$ 、 P_4 が主柱穴で円形に配されている。 P_1 はII245号住貯藏穴と重複する。一部データの不明なものもあるが、柱穴は径が、30~60cmで、深さは15~30cm前後である。炉 明瞭ではないが、床面中央に礫と埋設土器があり、炉跡と考えられる。

重複 J P 85は遺物の出土状況からJ 46号住床面下である。又、前記したごく北西部でH245号住と重複し、立ち上り部を欠損する。

遺物 土器は諸磯C式を主とする。石器は石鏃、削器、礫器、磨石、凹縫が出土している。黒色頁岩製が多い。

(井野)

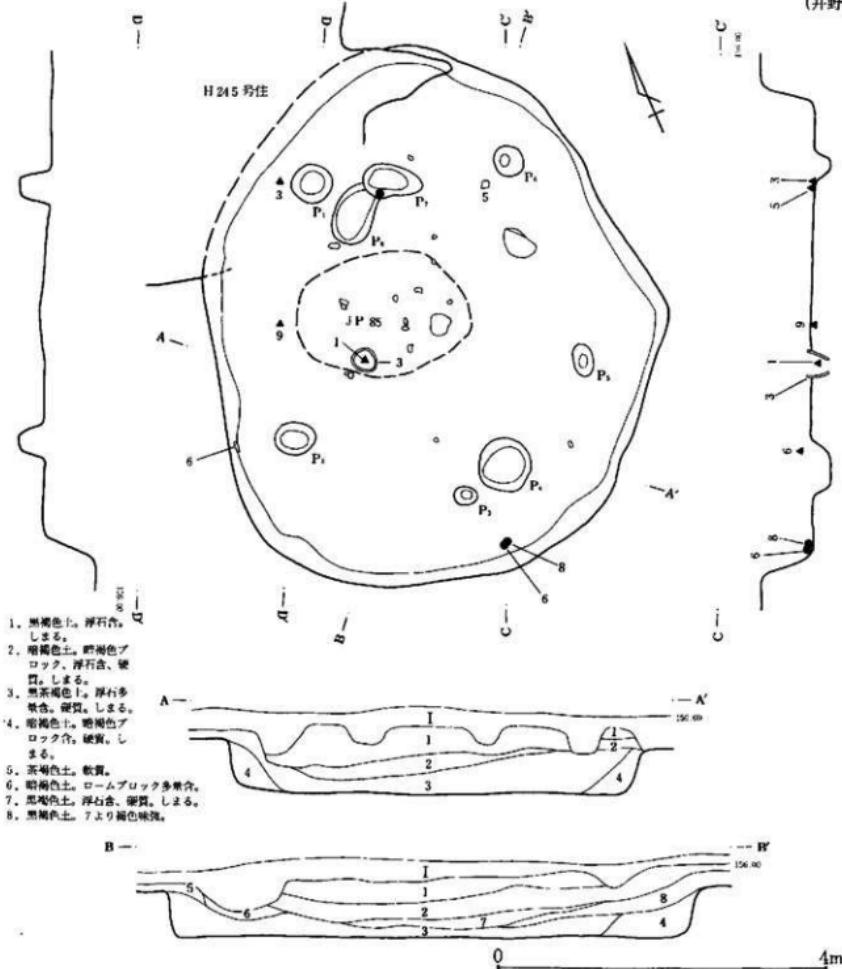


図-47 J 46号住居跡

位置 西側台地東縁の中央南、ロー8区に位置する。
形状 南北に長い長方形の住居跡である。カマ掘り等の搅乱により、壁の残りは良くない。南壁にくらべ北壁が長くなっている。規模は、南北が5.4m、東西が3.8m、面積は推定19.0m²である。壁高は地層断面から17cmを測る。周溝や張り出し等の施設は検出されなかった。長軸方向はN-11°-Wである。ビット 壁にそって6個の柱穴が検出されている。南西で重複するビットはK107号掘立の柱穴である。大HP5の縁にそっているビットは、大HP5の関連のビットとみられる。本跡に伴うビットは、深さのデータがないが、径は40~60cmである。
炉 中央やや北に位置し、石壺型の炉で、規模は42×34cmである。方形に3石が配され、中央に一石が敷かれている。掘り形は106×82cmである。
重複 大HP5、K107、H247号作と重複する。
遺物 土器は黒浜式を主とする。石器は石斧、搔櫛、削器、UF、磨石、凹鍬、敲き石等が出土している。

(井野)

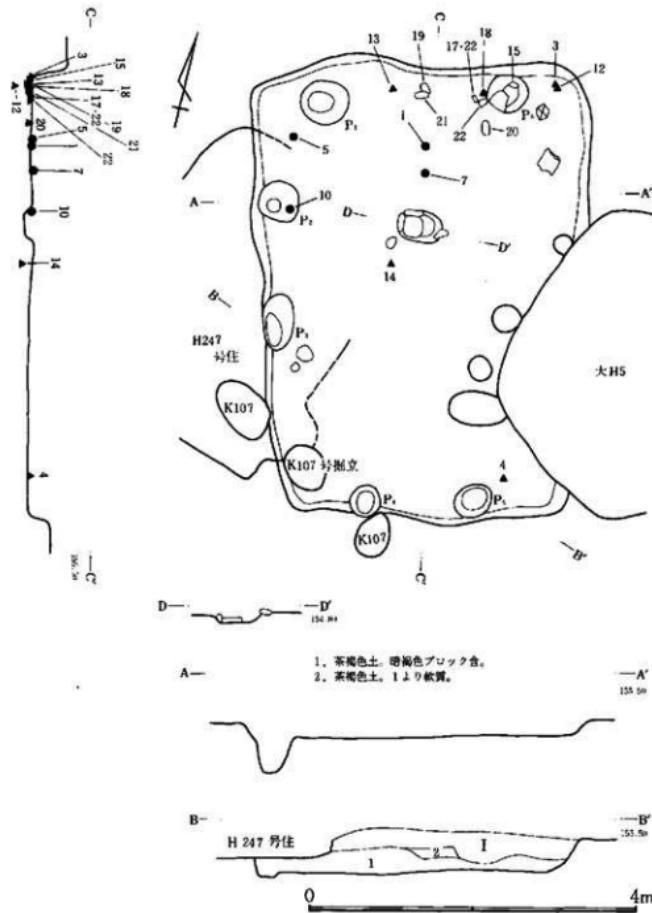
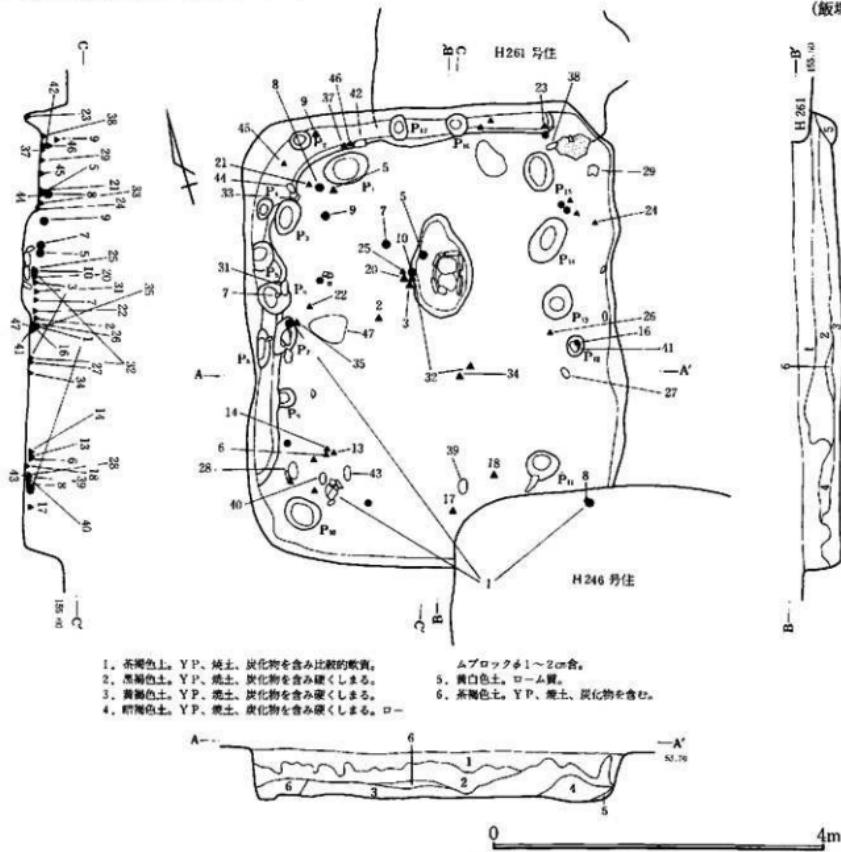


図-48 J 47号住居跡

J 48号住居跡 (図-49・206~210、表-124~126、図版-35・107・140~142)

位置 ロー9区に位置する。形状 平面形は、南北方向が長い隅丸方形を呈する。規模は東西4.4m、南北5.3m、面積は推定21.6m²である。主軸方位はN-17°-Eである。壁はほぼ垂直に掘り込まれており、現存高62cmのローム層の壁面を確認した。覆土中にはY.P.、焼土、炭化物が含まれ、硬く締まっていた。床面には小さな凹凸が認められたが比較的平坦で、全面に亘って強く踏み締められていた。北、西壁際には幅20~42cm、深さ4~6cmの周溝が検出された。ピット 東西及び北壁際に径20~58cmの大小17個のピットが穿たれていた。炉 中央から1.2m北寄りの位置に板状の礫岩を使用した方形の石窯い炉がある。規模は東西39cm、南北53cmで、南側は開放されていたが、底面には河原石が3個敷かれていた。掘り形は長径123cm、短径76cmの不整円形を呈する。重複 H246、261号住が重複しており、南東隅及び北東壁上部を壊されていた。遺物 ほぼ全域に散在していたが、北東隅から炭化した様の実がまとまって出土した。土器は関山式を主とする。石器は石錘、石匙、石斧、搔器、削器、U.F.、石核、円錐、蔽き石、台石等が多量に出土した。特に円錐が19個と多かった。

(飯塚)



J 49号住居跡 (図-50・211~213、表-127~129、図版-36・107・108・142・143・149)

位置 東台地の最南端にあたるワカ-110-111区に位置する。付近には住居跡は無く、上坑が散在するのみである。
形状 主軸をN-62°-Eに取る。東壁が広がる五角形を呈し、壁下端間で南北6.2m、東西は最も広い部分で7.1m、面

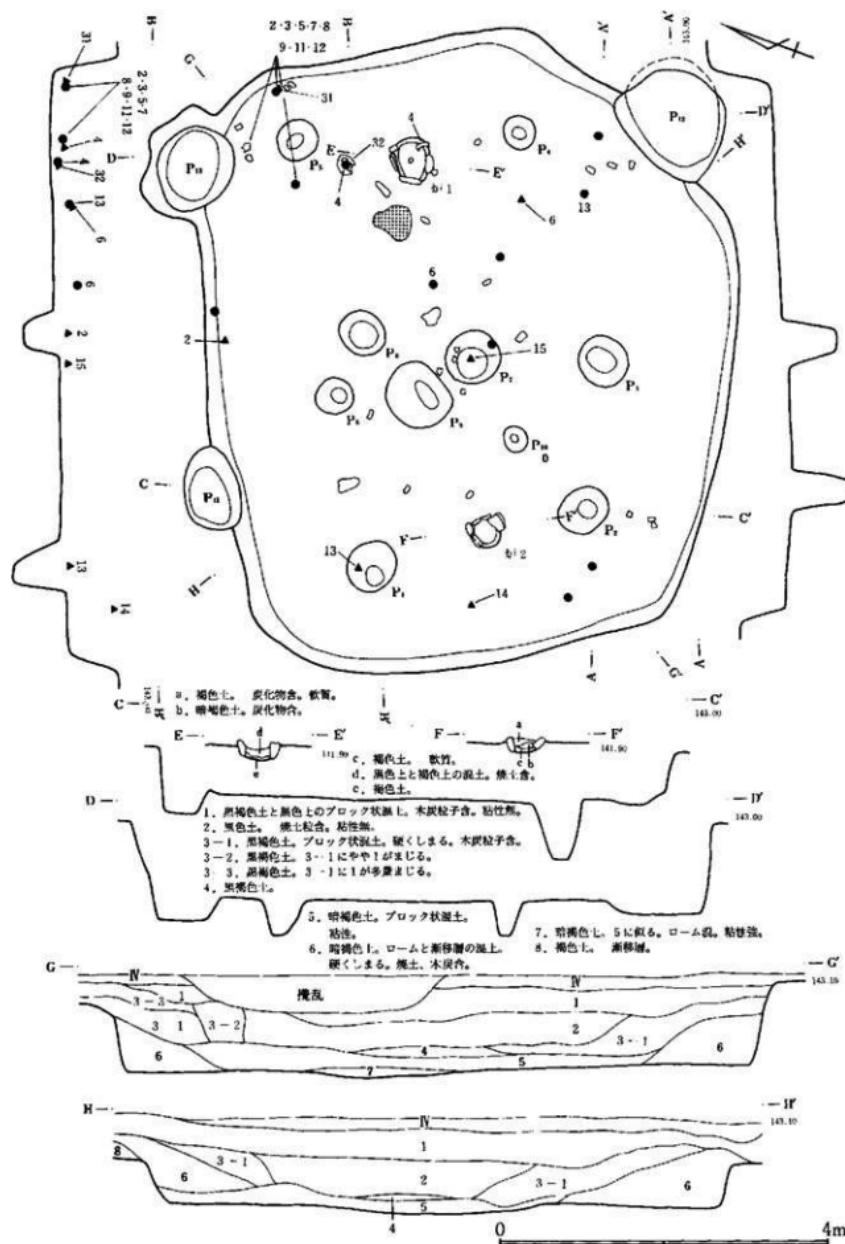


图-50 J 49号住居跡

積は37.9m²である。壁は直に立ち、40～55cmの壁高が残る。掘り込み面から推定すれば、当初は85cm程の壁高があったとみられる。周溝はない。ピット 床面より10個のピットが検出された。いずれも床面上で径50～60cm、床面よりの深さ35～70cmの規模をもつ。平面的にはP₁、P₂、P₃が住居の主軸と並行に並び、P₂、P₄が2.7mの間隔をあけて先のP₁、P₂の東側に存在する。しかしP₂とP₃の間隔は3.3mとなり、住居の東壁が広くなっている分だけ柱間も広がっている。また、P₂とP₃の中間にP₇があり、これらのP₁～P₇が半柱穴とみられる。この他、壁際には張り出すようP₁₁～P₁₃のピットがある。径66～116×80～139cm、深さ60～132cmでP₁～P₁₀と比較して大きく、P₁₂は袋状上坑をなし、本住居に伴う貯蔵穴と考えられる。炉 住居の中軸線に乗る位置に、2つの石囲い炉が造られている。炉1はP₄とP₅の中間にあり、4個の山石で囲んでいる。石の内法で34×40cmを測る。径50×70cm、深さ20cmのすり鉢状に掘り込み、石を据えたもので、北側に石は存在しない。中には焼土混じりの黒褐色土が埋まっている。炉2はP₁とP₂の中間にある。炉1と同様に南側を除いた3方向に5石の山石を据えている。中には炭化物、焼土を混ぜる暗褐色土が埋まっている。遺物 土器は諸種C式を主とする。石器は石斧、削器、U F、石核、円錐、凹石、敲き石、棒状石器、砥石、石皿等が出土している。

(高沢)

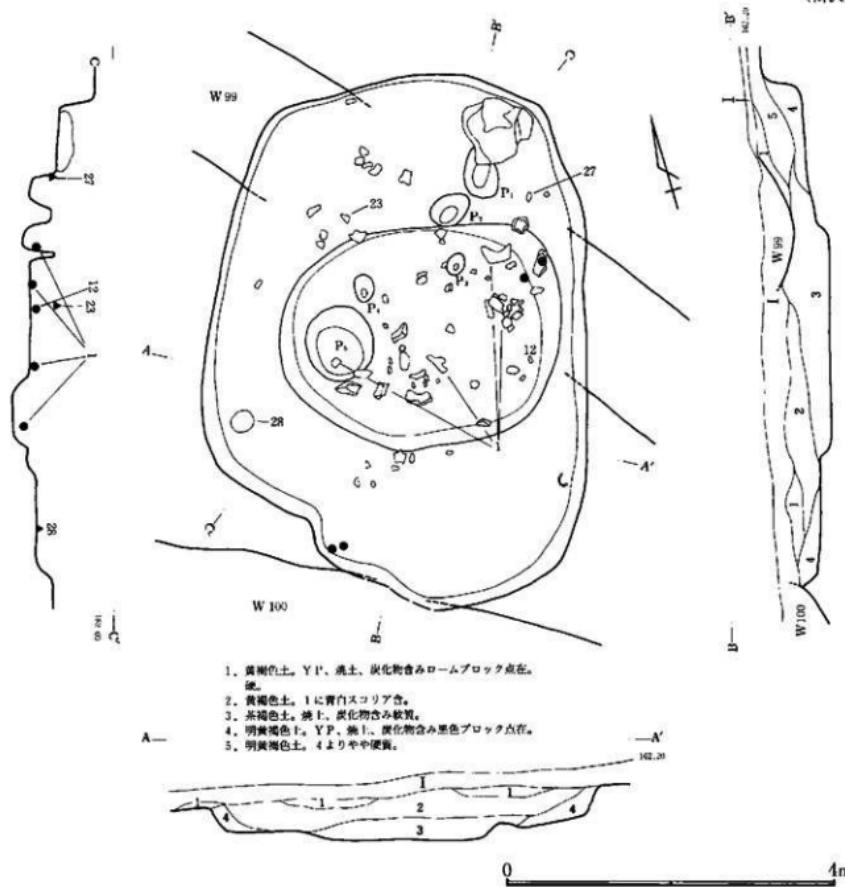


図-51 J50住居跡

J 51号住居跡 (図-51・214~217、表-130~132、図版-37・108・109・143・144・149)

位置 東西に丘を二分する谷に北から南へ伸びる小丘上の南端ハ-22区に位置する。 形状 平面はほぼ方形で、南北6.1m、東西4.2mで南に3.8×0.8mのやや半円形の張り出しがみられる。面積は21.8m²である。主軸方位はN-24°-Wを示す。壁高は19~46cmで、南側が地形的に低い。また、住居の中央に東西に長い楕円形の落ち込みがある。これは地層断面からすると住居より新しい時期の遺構と解釈できる部分もある。規模は3.4×2.7m、周囲より12cm低い。その中央の低い所から遺物が集中的に出土している。 ピット 5ヶ所に認められるが、最も深いピットでも他の住居のそれに比較すると浅い。 炉 埋土中には炭化物・焼土がみられるが床面上では明瞭でない。また住居の北に大石があるが、床面を掘って設置されたとは考えがたい。 重複 W99とW100が住居の南と北を東西に切っている。地層断面から溝が新しい。 遺物 土器は中央の落ち込み内より諸磓c式が出土し、他に諸磓b式、黒浜式も出土しており、中央の落ち込みが新しい可能性もある。石器は石錐、尖頭錐、打斧、環器、削器、円錐、台石等が出土した。

(中村)

J 51号住居跡 (5 J-1) (図-52・218・219、表-133~135、図版-38・109・144・147)

位置 東台地の北縁、カ-13・14区に位置する。周辺には遺構がみあたらない。 形状 南北4.8m、東西2.65mの矩形プランをもち、面積は12.7m²である。南半は重複するH279号住により壁高は計測不能であるが、残存した北半より86~96cmを測る。長軸方向はN-17°-W。 炉 床面中央部よりやや北に偏して、石囲い炉がある。長辺44cm、短辺34cmの長方形プランをもち、長円形の礎を6個体使用して、構築されている。構築にあたっては、まず深さ20cmのピットを穿ち、長円形の礎を敷き、これに乗せるか、あるいは接する形で礎を立てて築いたものと考えられる。南辺が開放されており、ここより火入れを行なったものであろう。底部の礎は強く火を受けた痕跡をとどめている。 重複 南半をH279号住によって切られている。 遺物 土器は関山式を主とする。石器は抉状耳飾、搔器、石斧、削器、円錐等が出土している。

(田口)

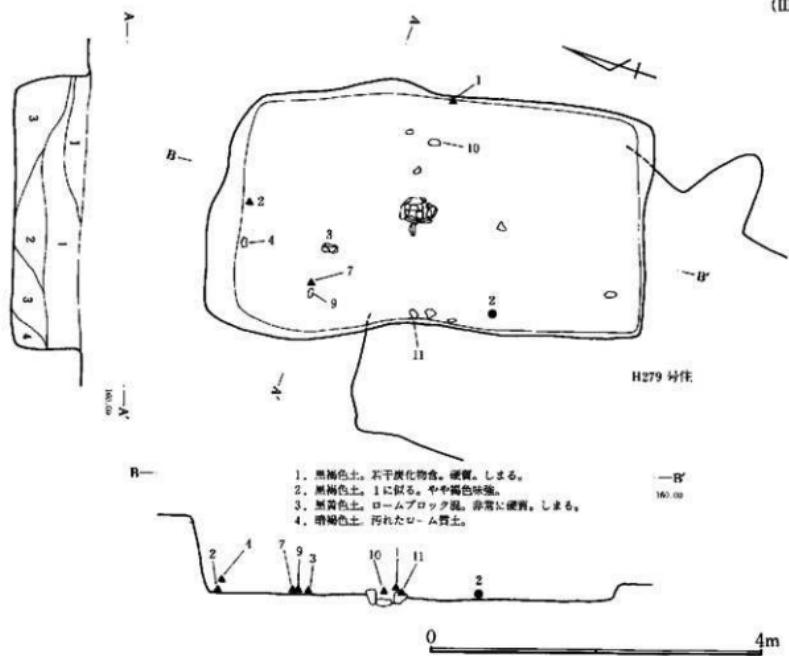


図-52 J 51号住居跡

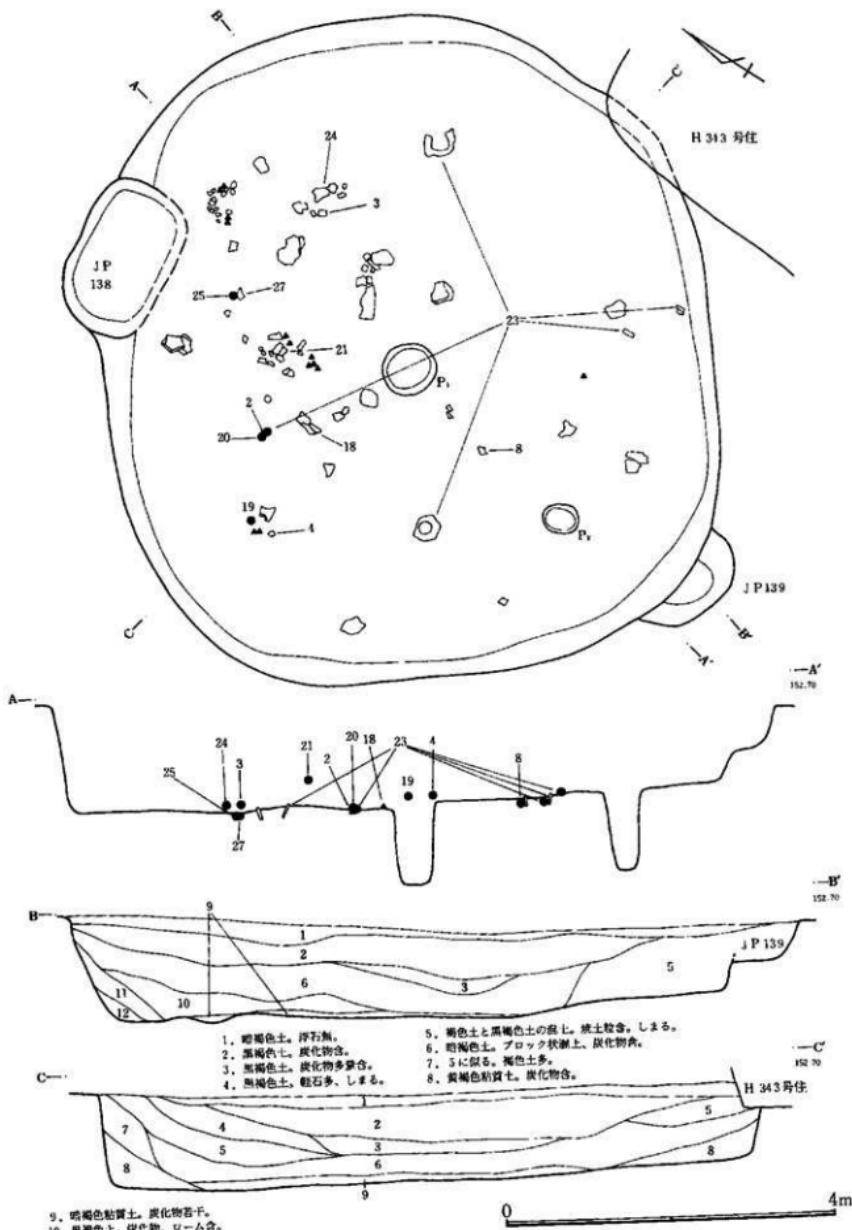
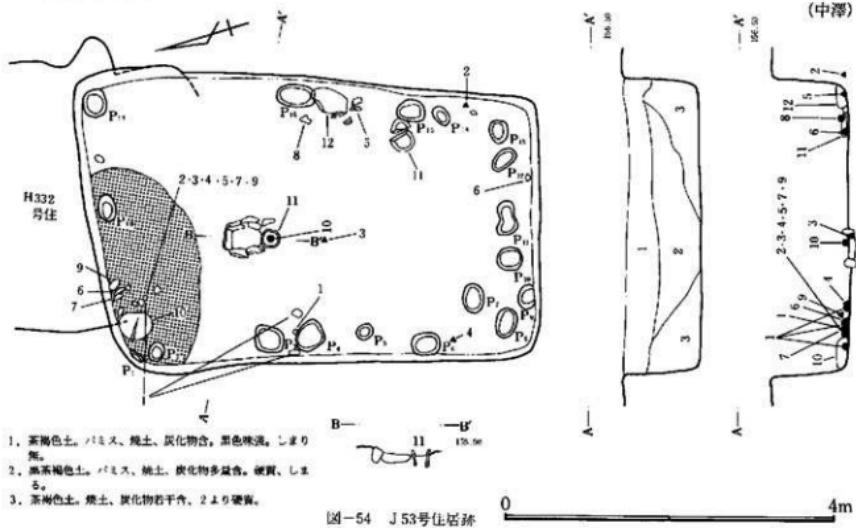


図-53 J 52号住居跡

位置 谷西の台地上にあって、台地の東端近く、イー5区に位置する。形状 ほぼ円形に近い。規模は南北6.8m、東西7.4mで、面積は約43.3m²。壁の高さは最高132cm、最低57cmである。壁は垂直ではなく、やや傾斜をもつ。主軸方位はN-38°-Wで、周溝はみられない。ビット 床面ほぼ中央部(P₁)と南壁近く(P₂)の2つが認められた。P₁は66×61cm、深さ91cm。P₂は45×37cm、深さ87cm。ともに性格は不明。炉 床面には明確な炉跡と思われる焼け跡は確認できなかった。重複 J P138・139と重複する。断面図より、J P139は住居より旧く、J P138は新しい。又、北東壁上半でH343号住と重複する。遺物 床面に埋設された状態で甕が2個出土している。1個は北東壁近く、他は南西壁近くで、P₁を中心にして対になるような格好で埋設されている。甕とともに底部は抜けていて、炉の一部として使用されていたと推定される。土器は踏蹴り式を主とする。石器は打製石斧、磨製石斧、削器、石核、円礫、敲き石、砾石、石皿等が出土している。

(中澤)

位置 谷西の台地上にあって、台地の東端に近いAイー10区に位置する。形状 ほぼ長方形をしている。しかし、東壁が西壁よりも長く、北壁は南壁と平行でない。規模は最大で南北5.4m、東西3.5m、面積は約16.8m²。周溝はない。壁の高さは平均して80cmほどである。主軸方位はN-16°-E。ビット 壁面下から都合18個のビットが確認されている。住居の隅角にあるビットを除くと、北壁下に6、南壁下に5、東壁下に3を数えることができる。ビットの規模は10~30cm程である。18個のうち住居の中心部にやや内傾するビットは10個(P₁、P₂、P₄、P₆、P₁₀、P₁₃、P₁₅、P₁₆、P₁₇、P₁₈)ほどある。性格としては柱穴と考えられる。炉 住居内や北寄りに石團ないとそれに接する埋甕の炉が認められている。石皿を敷きその周辺に石のコバを表面にして9石並べて作っている。炉の南側には甕が1個埋設されている。また、北西隅を中心に、床面の焼け跡が認められる。重複 北東部上半でH332号住居跡と重複。遺物 本住居跡から炉に使用された石皿を含め、合計4個の石皿が出土している。他に石器では削器、棒状石器、円礫が出土している。土器は関山式である。



位置 東側台地南東端の、谷地に近いツー-101区に位置する。南への緩傾斜地である。形状 円形であるが北壁と東壁は北端で直に交わっている。規模は南北が4.0m、東西3.5m、面積は12.1m²である。壁高は38~63cmで地層断面からは54cmを測る。平坦な床面で、周溝はみられない。長軸方向はN-33°-Wである。南側に、方形の張り出しがある。規模は46×78cm。出入口の施設に係わるものと考えられる。床面に柱穴と考えられるものはない。

炉 床面ほぼ中央にある。方形に4石を配し、中央に平石を置く。規模は現状で34×39cmである。**遺物** 土器は堀之内2式を主とする。石器は凸刃削器とU F、R Fが出土している。いずれも黒色頁岩製である。

(井野)

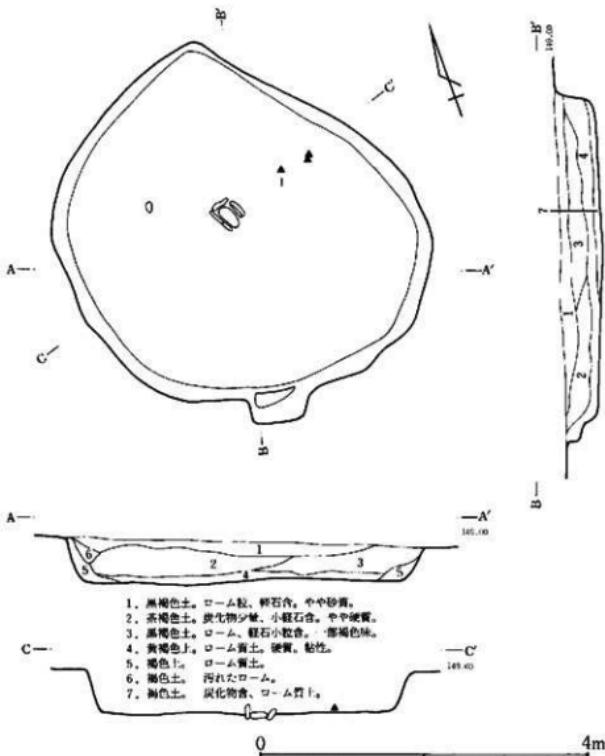


図-55 J 54号住居跡

J 55号住居跡 (5 J - 5) (図-56・228・229、表-145~147、図版-42・112・145・150)

位置 谷西の台地上でA-9区に位置する。台地の東側で、近くにはJ 53号住居跡がある。形状 ほぼ長方形を示す。東壁がやや外側に湾曲している。規模は南北4.7m、東西3.05m、面積約13.0m²である。壁の高さは最高65cm~最低41cmを測る。周溝は認められない。主軸の方位はN-12°-E。ピット 壁面下を中心に合計3個確認されている。ピットの径は10~30cm程度にわたっている。深さも10~40cm程度にかけて測ることができる。しかし、P₁₁~P₁₃は深さが10cmないしそれ以下である。ピットの分布をみると北壁下から西壁下にかけて多く認められるが、P₁、P₃、P₉、P₁₀は主柱穴と推定される。炉 住居中央より北寄りで石で造った炉が見つかっている。炉の底部は自然石の面を二石並べ、その周辺に石のコバを使ったり面を使ったりして8石ほど置いている。石の表面には焼け跡が認められる。また、P₉あたりから北にかけて床全体に焼け跡がみられる。重複 南壁側でH328号住と重複する。遺物 土器は関山式を主とする。石器は搔器、削器、U F、凹鑿、石皿等が出土している。

(中澤)

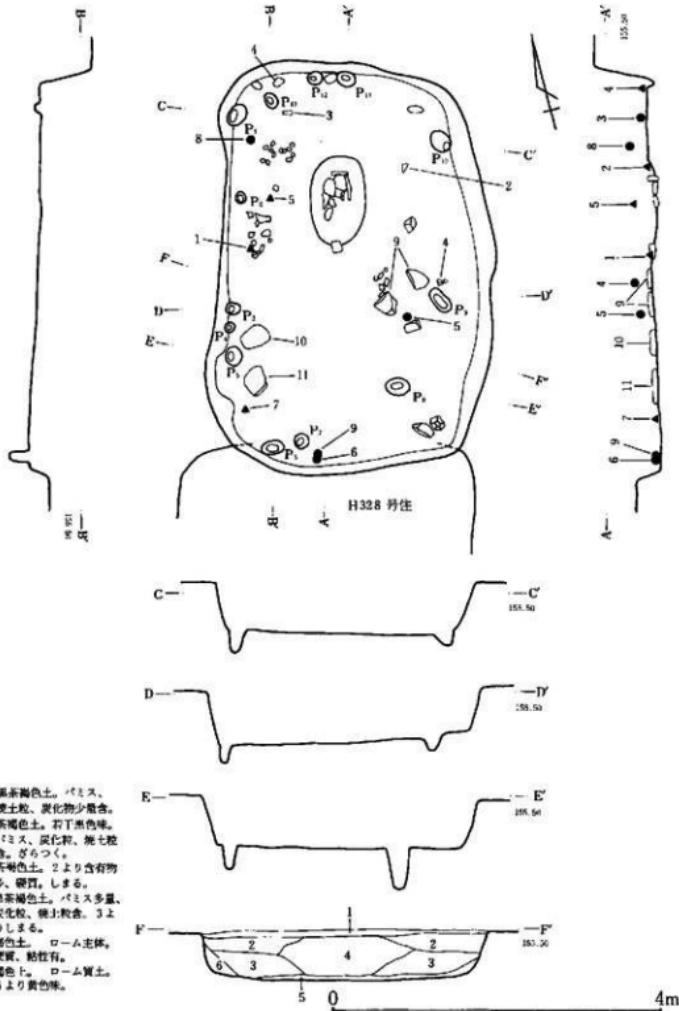
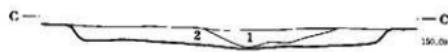
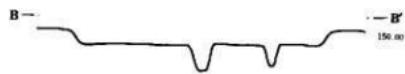
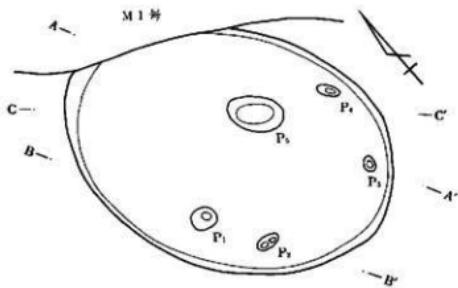


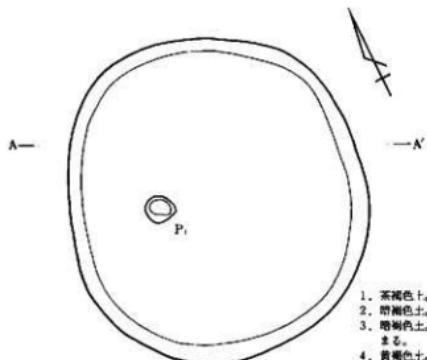
図- 56 J 55号住居跡



1. 黒褐色土。浮石、炭化物、燒土含。非常に緻かい。硬くしまる。
2. 明褐色土。1に比べややローム弱り、軟くしまる。

0 4m

図-57 J 56号住居跡



1. 黒褐色土。汚れたローム、C軽石粒含。硬質、しまる。
2. 明褐色土。汚れたロームブロック、C軽石含。しまり無。
3. 明褐色土。ローム粒、C軽石、茶褐色粘土含。硬質、しまる。
4. 黄褐色土。黄色味強。汚れたローム、C軽石含。硬質、しまる。
5. 明褐色土。汚れたローム、C軽石粒含。しまり無。
6. 黑褐色土。1より黄色味強。汚れたローム、C軽石粒含。硬質、しまる。

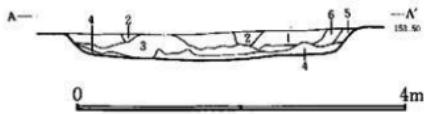


図-58 J 57号住居跡

J 56号住居跡 (5 J - 6) (図-57・230、表-148~150、図版-43・144)

位置 ル・ラー2区にかけて位置する。M 1号古墳主体部から北東10m程の所にあり、古墳周囲に一部かかっている。
形状 古墳周囲により住居東側から北側にかけての壁面が削られていて確認できないが、南北方向に長軸をもつ楕円形とみられる。南北3.85m、東西2.7m、面積8.2m²である。長軸方向はN-25°-W。壁高は20cm前後である。ビット 西壁沿い南寄りに2個(P₁、P₂)、東壁沿い南寄りに2個(P₃、P₄)、住居中央付近に1個(P₅)を検出。P₁は30×24cm、深さ29cm。P₂は26×13cm、深さ28cm。P₃は17×11cm、深さ19cm。P₄は27×10cmである。P₅は66×44cm、深さ7cmで断面が鍋底型をしており、位置からも炉であった可能性が強い。
重複 M 1号古墳の墳丘下より検出され、古墳構築時に削除をうけたものと思われる。
遺物 石器でU F(珪質頁岩製)が出土している。土器の出土はなかった。

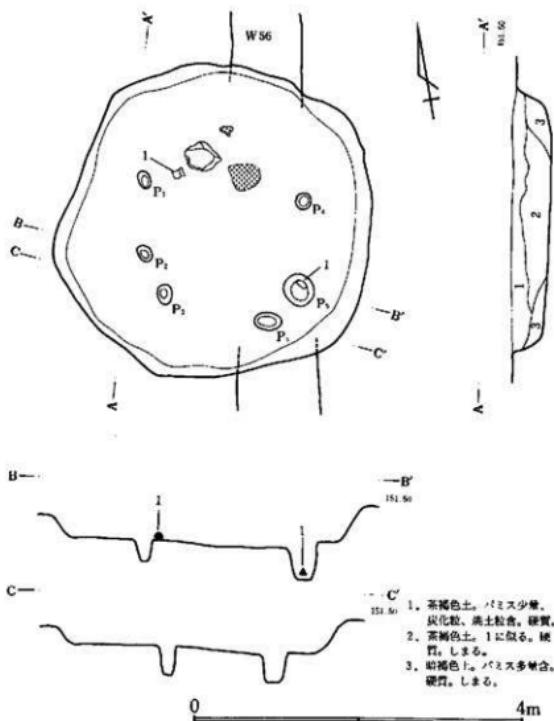
(松村)

J 57号住居跡 (5 J - 7) (図-58・231・232、表-151~153、図版-43・112)

位置 東側台地ほぼ中央のワ7区に位置する。周辺には縄文時代の遺構はほとんどない。
形状 やや南北に長い円形である。規模は南北3.5mで、東西3.3m、面積は9.5m²である。壁は傾きがやや強く、壁高は33cmである。現状では周溝はみられない。長軸方向はN-22°-Eである。柱穴や施設はみられない。
ビット 床面ほぼ中央にP₁(38×35×-)がある。位置からみると炉とも考えられる。
遺物 土器は関山式である。石器は複刃削器、楔形石器、交刃削器が出土している。

(井野)

J 58号住居跡 (5 J - 8) (図-59・233・234、表-154~156、図版-44・112・145)



位置 ト・チ4区にかけて位置する。谷東の台地上にあって、本住居跡は台地の西端に位置する。
形状 ほぼ円形をしていて、その規模は南北3.6m、東西3.4m、面積は約9.6m²である。壁の高さは最高52cm、最低22cm、(西側の壁)で、周溝はない。主軸の方位はN-11°-E。
ビット 都合6個認められている。6個とも壁面のすぐ下ではなく、やや壁から離れて住居中心部寄りに位置する。径の最大ビットはP₅で38×38cm、深さ42cmである。最低はP₂で19×14cm、深さ19cm。なお、P₃の埋土の中からは石器が出土している。
ビットの性格 不明。炉、石組み等の炉はみつかっていないが、住居中心より、やや北寄りで40×30cmの範囲で焼け跡を確認している。その焼土域の西側に40×30cmほどの自然石がみつかっている。石の表面には焼けを認めることはできない。
重複 本住居跡を北から南にかけてほぼ中央をW56号溝が走っている。本住居跡が旧。
遺物 土器は礎器b式が主である。石器は打製石斧とU F(いずれも異色頁岩製)が出土している。

(中澤)

図-59 J 58号住居跡

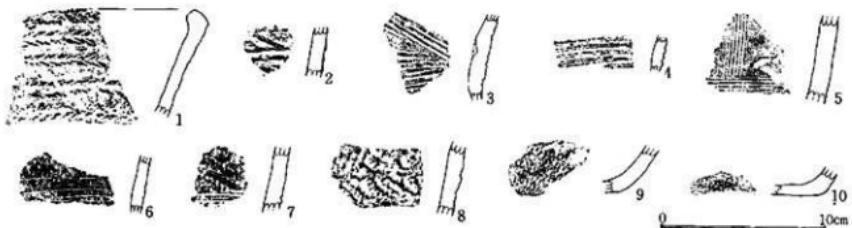


図-60 J 1号住居跡出土土器

表一 J 1号住居跡出土土器観察表 (図-60、図版-76)

番号	遺物番号	文様構成・文様底文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時 期	出土位置	備 考
1	雜	矢羽根彫み浮線。R L の地文。	①砂粒 ②赤褐色 ③口 縁部	諸職 b	-	
2	雜	矢羽根彫み浮線。R L の地文。	①砂粒 ②明黄褐色 ③肩部	諸職 b	-	
3	雜	平行沈線。R L の地文。	①砂粒 ②橙色 ③肩部	諸職 b	-	
4	雜	平行沈線。	①砂粒 ②橙色 ③肩部	諸職 b	-	
5	雜	柳葉の平行沈線。	①砂粒 ②赤褐色 ③肩部	諸職 c	-	
6	雜	細い平行沈線。	①砂粒 ②黃褐色 ③肩部	諸職 b	-	
7	雜	平行沈線。R L の地文。	①砂粒 ②赤褐色 ③肩部	諸職 b	-	
8	雜	R L + L R ループ? の横位施文。	①織維 ②橙色 ③肩部	開山	-	
9	雜	R L の地文。	①砂粒 ②橙色 ③底部	諸職 b	-	
10	雜	R L ? の地文。	①砂粒 ②橙色 ③底部	諸職 b	-	

表二 J 1号住居跡出土石器属性表

No.	遺物 番号	器 横	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	右材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備 考	
									A	B	a	b	c	d	
1	雜	石 剣	5.0	2.6	0.7	6	黒質	-	-	-	-	-	-	-	理
2	13	打製石斧	(7.7)	6.0	2.7	115	ア	-	-	-	-	-	-	-	刃部欠 +9
3	雜	父刃削器	5.1	5.2	1.2	20	珪質	45	-	-	-	-	-	-	覆
4	雜	打製石斧	7.0	5.1	1.9	85	黒質	70	-	-	-	済2	-	-	覆
5	2	複刃削器	7.9	(8.6)	1.7	80	ア	30 45	-	-	-	済1	-	-	半欠 +16
6	7	ア	5.9	7.7	1.0	52	ア	30 40	-	-	-	済1	-	-	直+凹刃 +8
7	雜	U F	4.1	5.2	1.2	20	珪質	40	-	-	-	刃	-	-	刃部交刃 覆
8	6	石 核	12.0	8.0	5.7	575	黒安	-	-	-	-	-	-	-	+14
9	11	円錐石器	13.5	8.7	3.7	610	安	-	円1→腰2 →腰2	腰2→鍔2	鍔2	鍔2	鍔2	鍔2	使用→火へ欠 +8
10	雜	ア	19.2	6.8	3.3	300	ア	-	円3→腰1	腰1→鍔1	鍔1	鍔1	鍔1	鍔1	使用→火覆
11	著	ア	9.5	5.8	4.0	340	ア	-	腰1→鍔1	腰1→鍔1	鍔1	鍔1	鍔1	-	覆

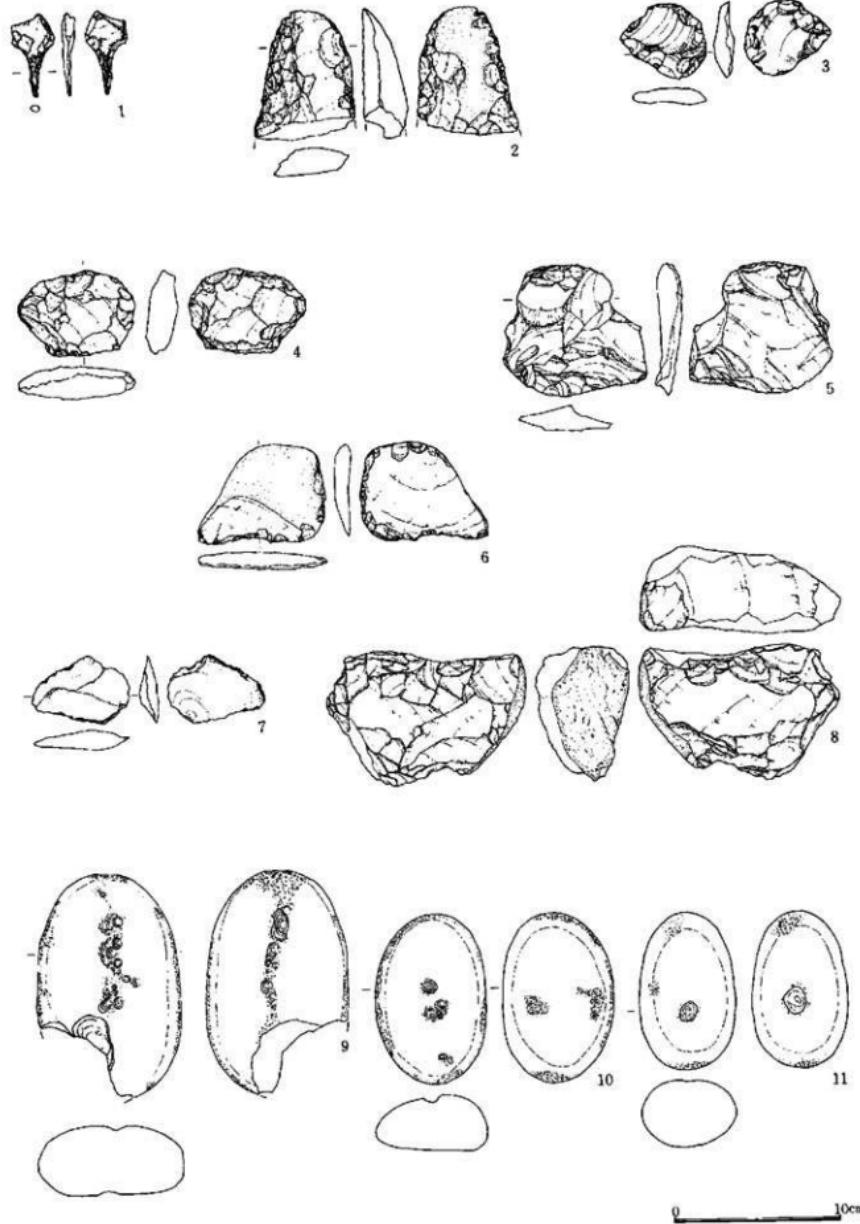


图-61 J 1号住居跡出土石器

表一3 J 1号住居跡石器器種・石材別一覧表

石材 族 類	打	磨	石	尖	石	直	凸	回	交	複	块	楔	R	U	磨	敲	凹	石	梯	石	多	凹	弧	刺	石	腰	その 他	計	
	斧	斧	斧	頭	匙	鑿	鑿	刃	刃	刃	圓	楔	F	F	石	石	石	梯	石	梯	石	凹	石	石	石	核			
黑色頁岩	2	1								2															9		14		
珪質頁岩																												2	
黑色變岩																												7	
安山岩																												2	
計	2	1								1	2																15	1	28

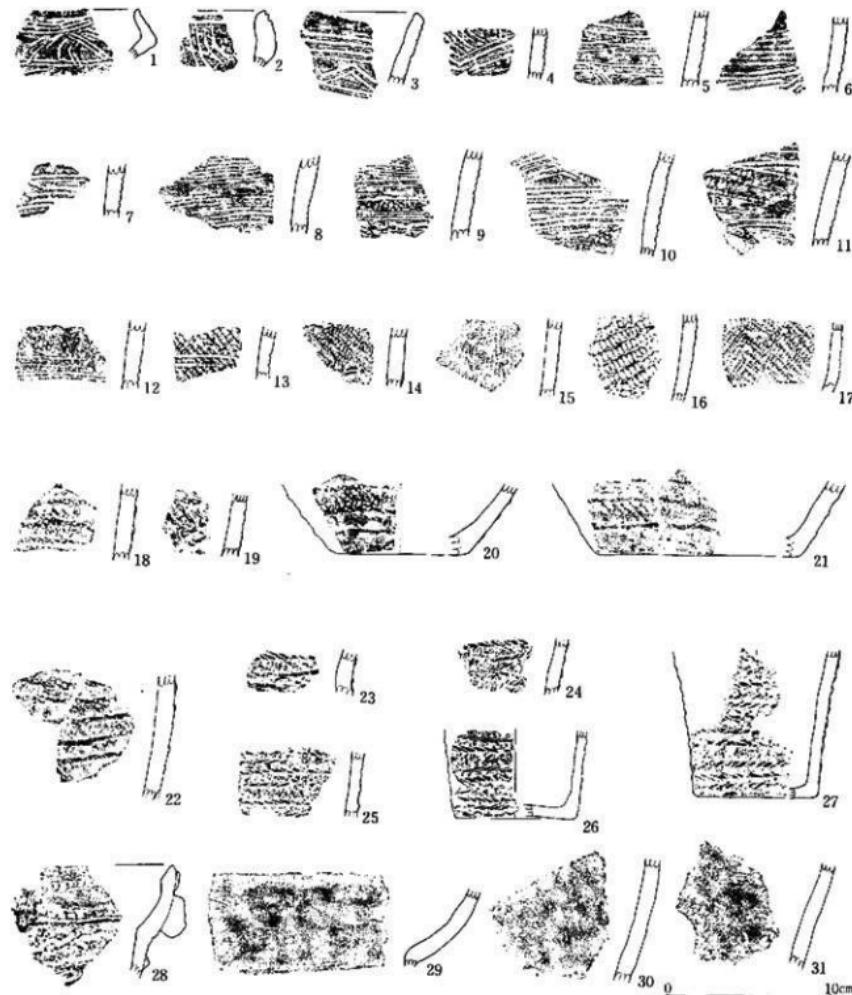


図-62 J 2号住居跡出土石器 (1)

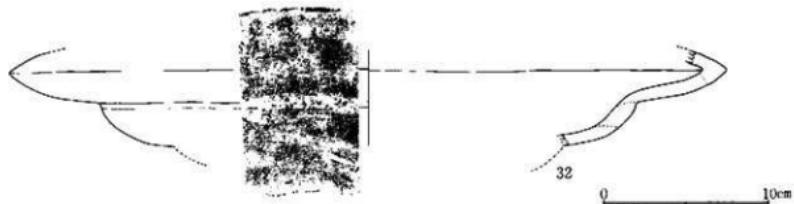


図-63 J 2号住居跡出土土器 (2)

表-4 J 2号住居跡出土土器観察表 (図-62・63 図版-76)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③焼成 態	時 期	出土位置	備 考
1	雜	平行沈線。深鉢。平口縁。内傾。	①砂粒②浅い黄褐色③口縁 部	諸磯 b	-	
2	雜	平行沈線。深鉢。平口縁。内傾。	①砂粒②褐色③口縁部	諸磯 b	-	
3	雜	平行沈線。深鉢。縦い波状口縁。	①砂粒②よい赤褐色③口 縁部	諸磯 b	-	
4	雜	平行沈線。	①砂粒②褐色③胴部	諸磯 b	-	
5	雜	平行沈線。	①砂粒②によい褐色③胴部	諸磯 b	-	
6	雜	平行沈線。	①粗砂粒②によい褐色③胴 部	諸磯 b	-	
7	雜	平行沈線。	①砂粒②によい赤褐色③胴 部	諸磯 b	-	
8	雜	平行沈線。R L の地文。	①砂粒②灰褐色③胴部	諸磯 b	-	
9	雜	平行沈線。R L の地文。	①砂粒②褐色③胴部	諸磯 b	-	
10	雜	平行沈線。R L の地文。	①粗砂粒②によい褐色③胴 部	諸磯 b	-	
11	雜	平行沈線。R L の地文。	①粗砂粒②によい褐色③胴 部	諸磯 b	-	
12	雜	平行沈線。R L の地文。	①砂粒②によい褐色③胴部	諸磯 b	-	
13	雜	平行沈線。R L の地文。	①砂粒②によい褐色③胴部	諸磯 b	-	
14	雜	R L の地文。浮線。	①粗砂粒②明赤褐色③胴部	諸磯 b	-	
15	雜	繩文 R L。	①砂粒②明赤褐色③胴部	諸磯 b	-	
16	雜	繩文 R L。	①塊塗②によい黄褐色③胴 部	黒浜	-	
17	雜	羽状繩文。	①塊塗②褐色③胴部	黒浜	-	
18	雜	R L の地文。浮線。	①砂粒②によい赤褐色③胴 部	諸磯 b	-	
19	雜	R L の地文。浮線。	①砂粒②によい赤褐色③紅 部	諸磯 b	-	
20	黒	R L の地文。浮線。	①砂粒②によい褐色③底部	諸磯 b	-	
21	雜	R L の地文。浮線。	①砂粒②明赤褐色③胴部	諸磯 b	-	
22	雜	R L の地文。浮線。	①砂粒②明赤褐色③胴部	諸磯 b	-	
23	雜	R L の地文。矢羽根状刻み浮線。	①砂粒②褐色③胴部	諸磯 b	-	

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
24	単	R L の地文。矢羽根状刻み浮線。	①砂粒②橙色③削部	諸磯 b	—	
25	複	R L の地文。矢羽根状刻み浮線。	①砂粒②明赤褐色③削部	諸磯 b	—	
26	4	矢羽根状刻み浮線。	①砂粒②によい黄褐色③削部	諸磯 b	位置不	
27	複	矢羽根状刻み浮線。	①砂粒②橙色③削部	諸磯 b	—	
28	複	有筋沈線、波状沈線、座面によって構成される。口唇部は尖っており、口唇下にも有筋沈線がみられる。	①小粒、砂粒を多く混入 ②赤褐色③口縁部	阿玉台	—	
29	2	無文部。横方向の擦で。	①中粒、白色歯物②橙色 ③削部	前期?	位置不	J2と同一個体
30	東北部	無文部。袋地のザラツキ。	①中粒、白色歯物②橙色 ③削部	前期?	標高不	
31	複	無文部。横方向の削りの後、縱方向の磨き。	①中粒、黒色歯物②橙色 ③削部	前期	—	
32	1 + 2	内外横擦で。2~3段の浅鉢。	①微砂粒②によい赤褐色 ③削部	諸磯 b	位置不	



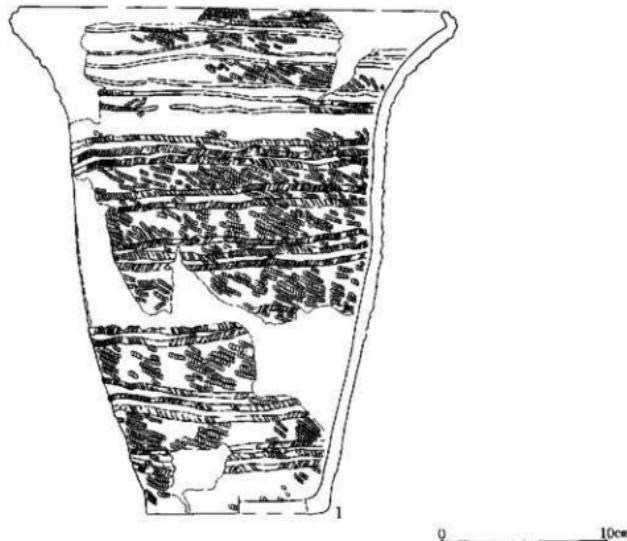
図-64 J 2 号住居跡出土石器

表一五 J 2号住居跡出土石器属性表

No.	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	石材	刃角	使用痕・溝若痕の位置・程度					備考	
									A	B	a	b	c		
1	鍬	打製石斧	13.0	4.8	2.4	140	黒頁	40	—	—	—	刃	—	—	覆
2	鍬	フ	8.8	6.2	1.4	100	黒安	25	—	—	—	刃	減2	—	覆
3	鍬	フ	(8.2)	5.5	1.8	105	フ	—	—	—	—	—	漬	—	刃基部欠 型
4	鍬	フ	(5.5)	4.3	1.4	30	フ	35	—	—	—	—	減2	—	基部欠 覆
5	鍬	複刃削器	4.9	5.5	1.1	32	黒頁	端	—	—	—	—	漬	—	刃角30、30、30 度
6	鍬	抉入石鋸	4.7	4.8	1.4	35	フ	60	—	—	—	—	—	—	2刃 覆
7	鍬	U F	5.5	5.7	0.5	18	フ	20	—	—	—	—	漬	—	直刃 覆
8	鍬	刮削器石器	5.5	5.5	1.2	35	フ	60	—	—	—	—	—	—	覆
9	鍬	円錐石器	(7.7)	(5.2)	3.0	135	浮安	—	擦2	擦2	—	擦2	擦2	—	欠損

表一六 J 2号住居跡石器器種・石材別一覧表

石材	石	打	磨	石	尖	石	撲	背	真	凸	凹	交	複	圓	棱	鉋	縫	磨	研	圓	石	棒	石	多	圓	磨	剥	石	片	鉢	その他	計	
黒色頁岩	1								1	1	1																		11	16			
黒色安山岩	3																												6	1	10		
青白雲母岩																															1		
黒曜石																															1		
ホルムアンソリ	4																														1		
計		4																													19	1	29



図一六 J 3号住居跡出土土器(1)

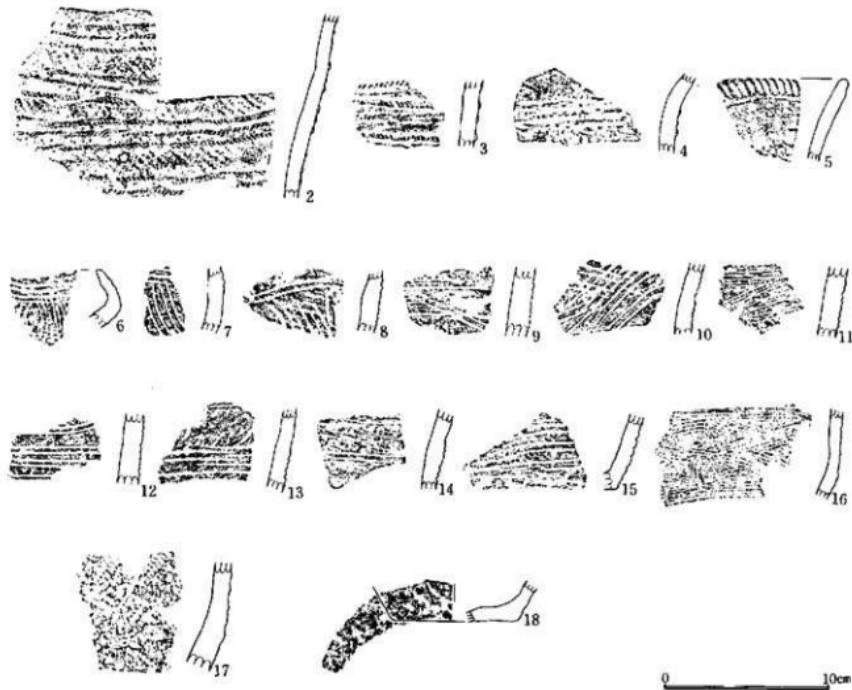


図- 66 J 3 号住居跡出土土器 (2)

表一7 J 3 号住居跡出土土器観察表 (図-65・66 図版- 76)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存 ④完形	時 期	出土位置	備 考
1	1	R L の地文。爪の刻み浮脱。平口縁。	①微細②浅黄色③残存 ④完形	諸磯 b	壁面	
2	雄	R L の地文。爪の刻み浮脱。	①白色粒②浅黃褐色③剥離部	諸磯 b	-	
3	雄	R L の地文。爪の刻み浮脱。	①白色粒②にい黄褐色 ③剥離部	諸磯 b	-	
4	雄	R L の地文 (浅い)。浮脱。	①白色粒②黄褐色③剥離部	諸磯 b	-	
5	6	貝殻型縦刺突列。口縫端側面刺突。	①微砂粒②橙色③口縫部	浮島	床面	
6	雄	平行沈線。口縫端付近内側。	①砂粒②にい褐色③口縫部	諸磯 b	-	
7	8	平行沈線。	①砂粒②褐色③口縫部	諸磯 b	床面	
8	2	平行沈線。	①砂粒②褐色③口縫部	諸磯 b	床面	
9	雄	平行沈線。	①砂粒②にい褐色③口縫部	諸磯 b	-	

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
10	稚	平行沈線。	①白色 ②によい褐色 ③肩部	諸磯 b	—	
11	稚	平行沈線。	①砂粒 ②によい褐色 ③肩部	諸磯 b	—	
12	稚	平行沈線。	①砂粒 ②によい褐色 ③肩部	諸磯 b	—	
13	稚	L R の地文。平行沈線。	①微砂粒 ②褐色 ③肩部	諸磯 b	—	
14	稚	平行沈線。	①砂粒 ②によい赤褐色 ③肩部	諸磯 b	—	
15	稚	平行沈線。	①砂粒 ②によい褐色 ③肩部	諸磯 b	—	
16	稚	集合沈線。	①砂粒 ②均質褐色 ③肩部	諸磯 b	—	
17	3	R I. - L R 交互施文の羽状繩文。	①繊維 ②によい青褐色 ③肩部	岡山	+29	
18	稚	無で。	①微砂粒 ②浅黄褐色 ③肩部	諸磯 b	—	

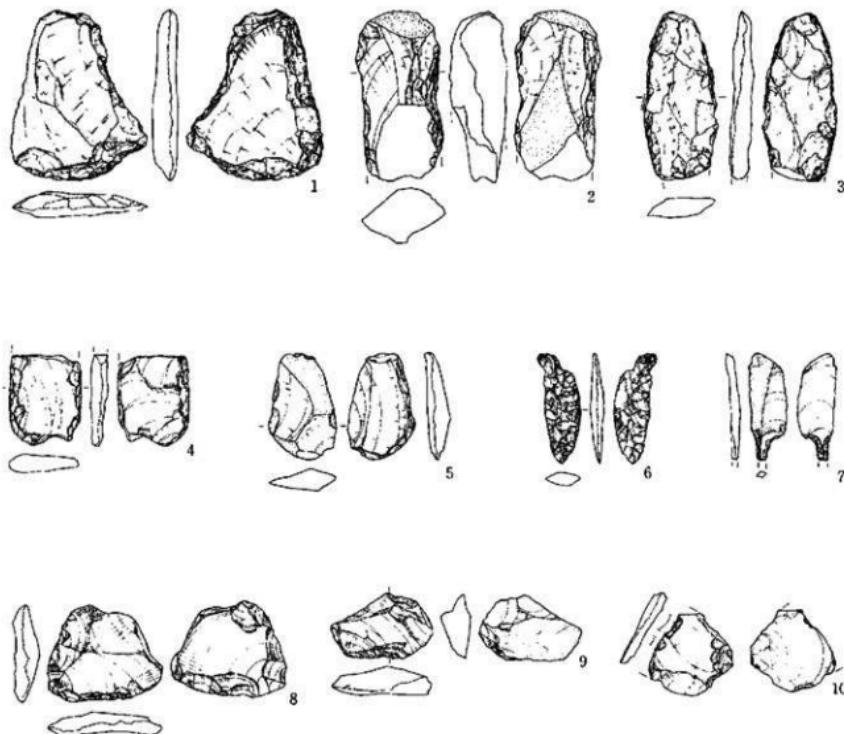


図-67 J 3 号住居跡出土石器 (1)

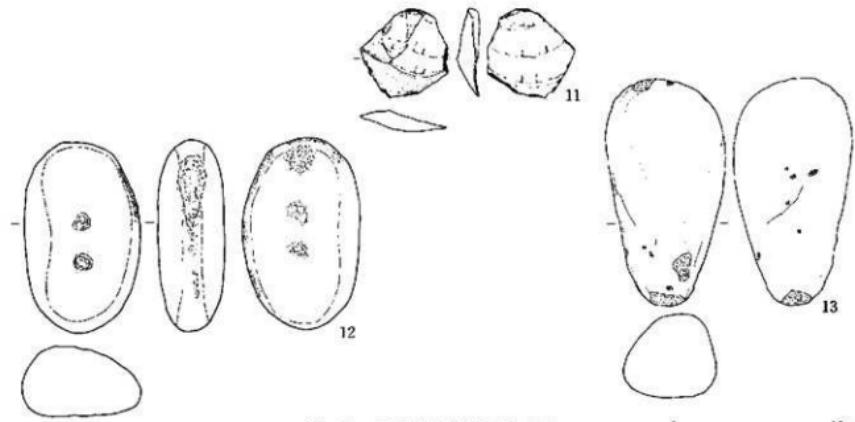


図-68 J 3 号住居跡出土石器 (2)

0 10cm

表-8 J 3 号住居跡出土石器属性表

No.	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備考
									A	B	a	b	c	
1	5	複刃削器	10.3	8.2	1.6	130	黒頁	60	—	—	—	—	—	+3
2	4	打製石斧	(10.2)	5.3	3.5	200	#	—	—	—	—	—	—	刃部欠-3
3	緑	#	(10.1)	4.3	1.2	70	黒安	—	—	—	—	—	—	刃部欠-型
4	緑	#	(5.2)	4.3	1.1	35	黒頁	15	—	—	—	—	減1	—
5	緑	凸刃削器	4.0	6.4	1.3	32	#	30	—	—	—	—	—	覆
6	6	石斧	6.6	2.2	0.8	10	珪質	45	—	—	—	—	—	—
7	緑	石鋸	6.5	2.3	0.6	7	黒頁	—	—	—	—	—	—	覆
8	緑	交刃削器	6.6	6.6	1.5	50	珪質	30	—	—	—	—	—	覆
9	緑	直刃削器	6.0	4.0	1.7	40	黒頁	60	—	—	—	—	—	覆
10	緑	U F	5.0	5.0	0.9	20	珪質	30	—	—	—	—	刃	—
11	緑	#	5.5	5.4	1.2	25	黒頁	30	—	—	—	—	—	覆
12	緑	円挫石器	11.5	7.0	4.1	525	安	—	凹2→擦1	凹2→擦1	敲1	—	—	敲2
13	7	敲き石	13.7	7.2	5.0	600	頁	—	—	—	敲1	敲1	—	-3

表-9 J 3 号住居跡石器器種・石材別一覧表

石材 器種	石	打	磨	石	火	石	轆	轆	直	凸	凹	交	複	轆	轆	R	U	磨	石	轆	神	石	多	凹	轆	石	片	棘	石	鋸	その他	計
	鉄	銅	銅	銅	銅	銅	銅	銅	銅	銅	銅	銅	銅	銅	銅	F	F	石	石	轆	神	石	多	凹	轆	石	片	棘	石	鋸	その他	計
黒色頁岩	2	1							1	1	1																			13	20	
珪質頁岩																															2	
頁岩																															1	
黒色安山岩	1																														8	
安山岩																															1	
黒鑿石																															4	
珪質頁岩																															1	
珪岩																															8	
計	3	1	1						1	1	1								2	1	1								33	1	47	

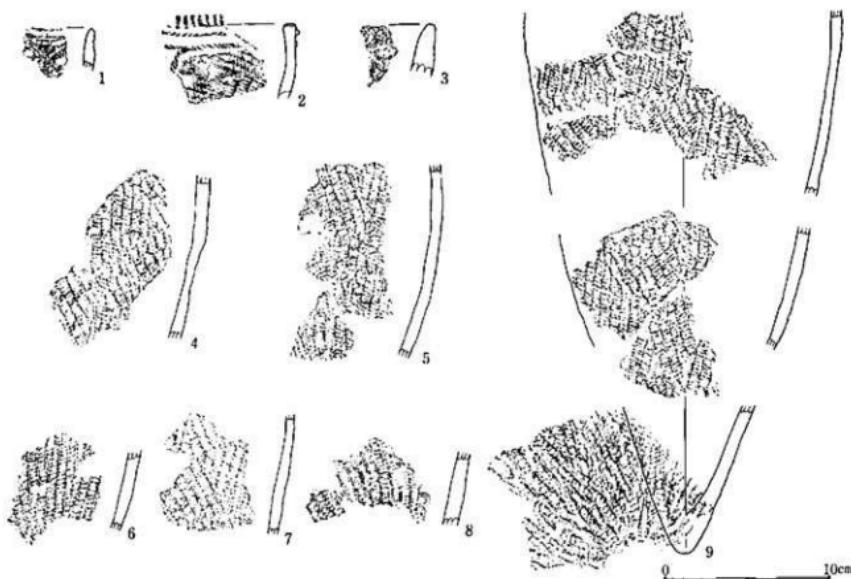


図-69 J 4 号住居跡出土土器

表-10 J 4 号住居跡出土土器観察表 (図-69 図版-76・77)

番号	遺物番号	文様構成・文様族文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時 期	出土位置	備 考
1	雜	R + L 1 線の繰返面正反。刺突。	①繊維 ②暗灰黄色 ③口縁部	花楕下層	-	
2	69	R L + L R の羽状施文。刻み入浮線。	①繊維 ②淡黄褐色 ③口縁部	諸穂 b	位置不	
3	雜	O段多条 R L + L R (不規則に施文)。	①繊維 ②褐褐色 ③口縁部	楕文尖底	-	9と同一個体
4	雜	O段多条 R L + L R (不規則に施文)。	①繊維 ②よい褐色 ③脚部	楕文尖底	-	9と同一個体
5	雜	O段多条 R L + L R (不規則に施文)。	①繊維 ②明黄褐色 ③脚部	楕文尖底	-	9と同一個体
6	4	O段多条 R L + L R (不規則に施文)。	①繊維 ②よい褐色 ③脚部	楕文尖底	+16	9と同一個体
7	雜	O段多条 R L + L R (不規則に施文)。	①繊維 ②よい黄褐色 ③脚部	楕文尖底	-	9と同一個体
8	雜	O段多条 R L + L R (不規則に施文)。	①繊維 ②褐色 ③脚部	楕文尖底	-	9と同一個体
9	3・雜	O段多条 R L + L R を重なるよう深く全面施文。内面横 縞 C。	①繊維 ②よい黄褐色 ③脚部～底部	楕文尖底	+19	

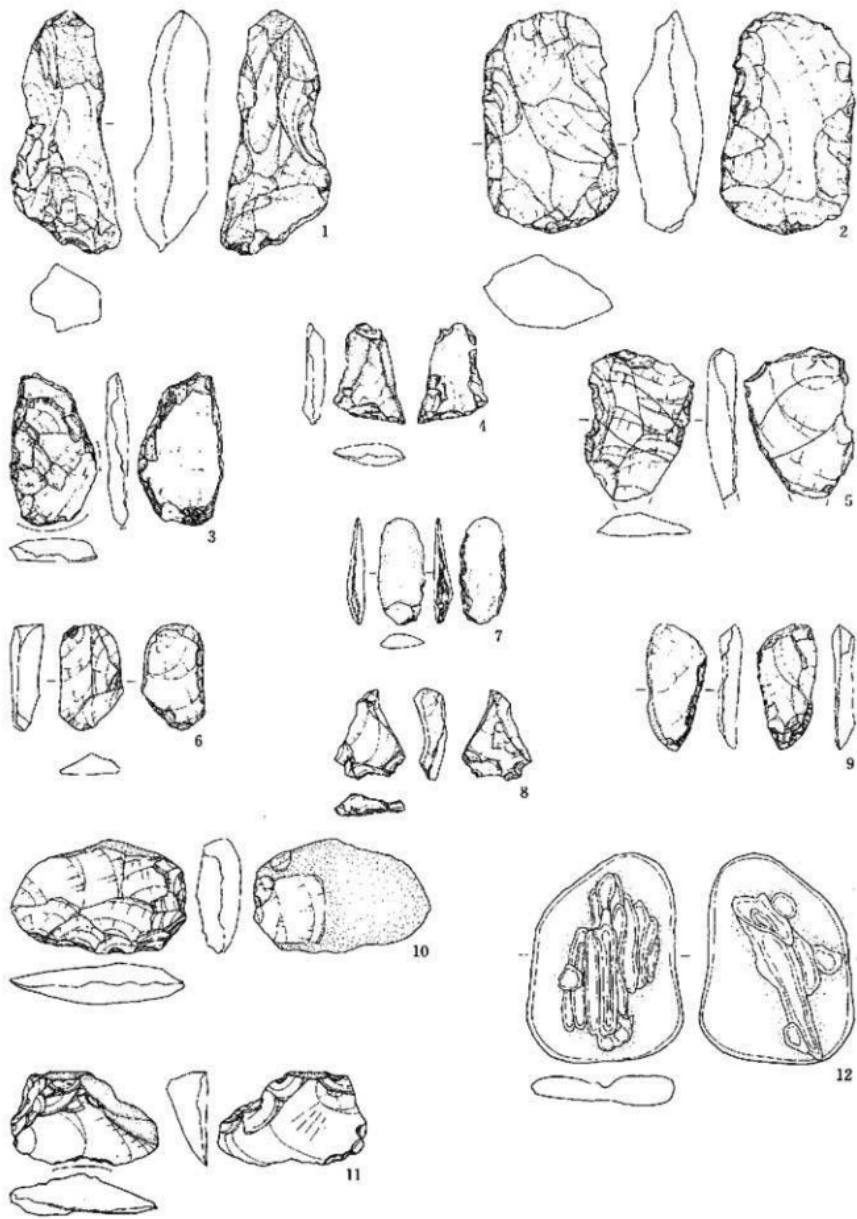


図-70 J 4 号住居跡出土石器 (1)

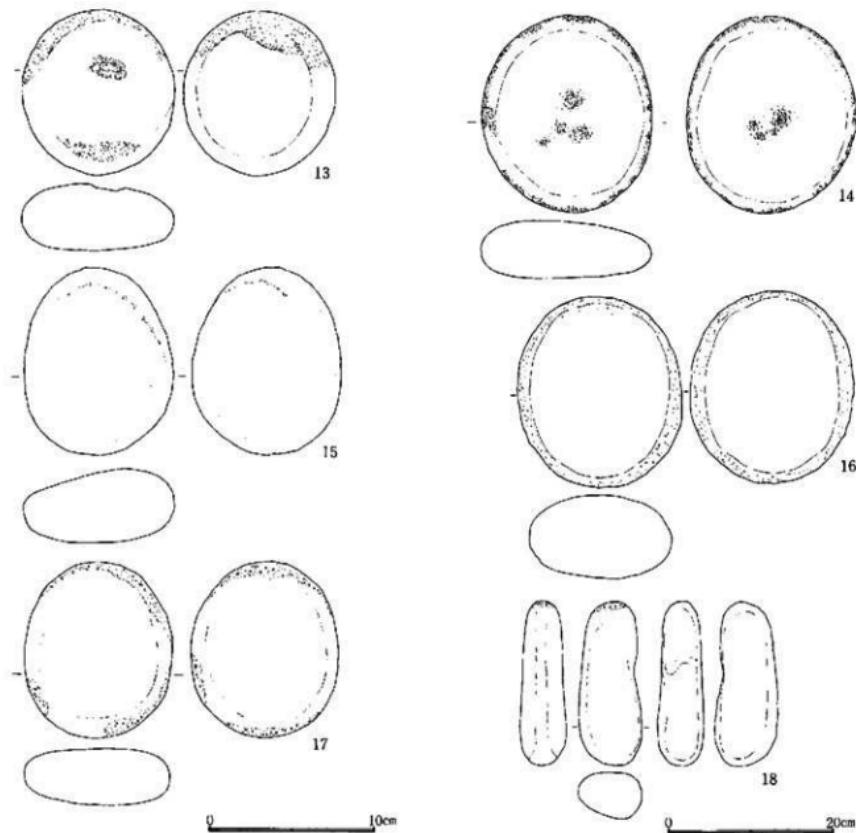


図-71 J 4 号住居跡出土石器 (2)

表-11 J 4 号住居跡出土石器属性表

No.	遺物 番号	器種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備 考
									A	B	a	b	c	
1	雜	打製石斧	14.8	6.7	4.4	340	黒頁	70	-	-	-	-	-	火 焚
2	9	刀	13.5	8.0	4.2	510	石	80	-	-	-	-	-	+18
3	2	刀	9.3	5.2	1.3	75	石	30	-	-	-	減1	減1	-
4	雜	複刃削器	6.5	5.0	1.3	30	石	50 ~60	-	-	-	-	-	3刃 複
5	雜	刀	(9.0)	6.5	1.8	98	石	凸45 凹50	-	-	-	-	-	覆
6	雜	直刃削器	6.4	3.8	1.9	50	石	45	-	-	-	-	-	覆
7	61	骨付き石器	6.3	2.8	0.9	20	石	20	-	-	-	-	-	位置不 明
8	雜	抉入石器	5.5	4.2	1.9	30	石	70	-	-	-	刃	-	覆
9	雜	交刃削器	7.5	3.5	1.5	30	黒安	45	-	-	-	-	-	覆

No	遺物番号	器種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	石材	刃角	使用痕・黄着度の位置・程度						備 考
									A	B	a	b	c	d	
10	1	片刀櫛器	6.8	10.5	2.6	190	黒質	50	—	—	—	—	—	—	+20
11	雜	U F	7.2	7.2	2.8	100	頁岩	30	—	—	—	刃・頭1	—	—	刃部凹状 覆
12	5	砥 石	12.5	9.4	1.8	250	砂	—	擦3	擦3	擦2	擦2	擦2	擦2	+13
13	12	円錐石器	10.0	9.1	4.0	480	安山岩	—	凹1・敲1	擦1・火	擦2火	火	火	火	使用・火 +10
14	11	#	11.8	10.2	3.5	575	#	—	敲1	敲1	敲1	敲1	敲1	敲1	-2
15	7	#	11.3	9.6	4.4	545	#	—	擦1	擦1	擦1	擦1	擦1	擦1	住外
16	8	#	11.5	9.9	5.0	800	#	—	擦2	擦2	敲1	敲1	敲1	敲1	+12
17	10	#	10.5	8.9	3.4	450	#	—	擦1	敲1	火・敲1	火・敲1	敲1	敲1	使用・火 住外
18	6	#	19.7	7.7	5.5	1,250	#	—	擦1	擦1	敲1	擦1	擦2	擦1	住外

表-12 J 4号住居跡石器種・石材別一覧表

石器 種類	石 材	打削石器類													多孔石	鉢石片	その他	計
		鋸 鋸	斧 斧	矛 矛														
黒色頁岩		3			1	1			2	1	1					25	34	
頁 岩																1	2	
褐色安山岩									1							2	3	
安 山 岩																	6	
砂 石																1	2	
計		3			1	1			1	2	1	1	1	1		1	28	47

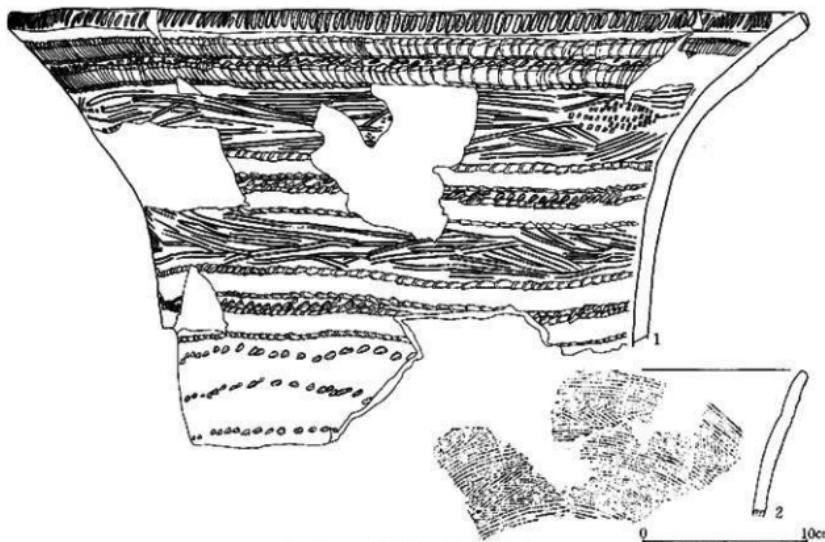


図-72 J 5号住居跡出土土器 (1)

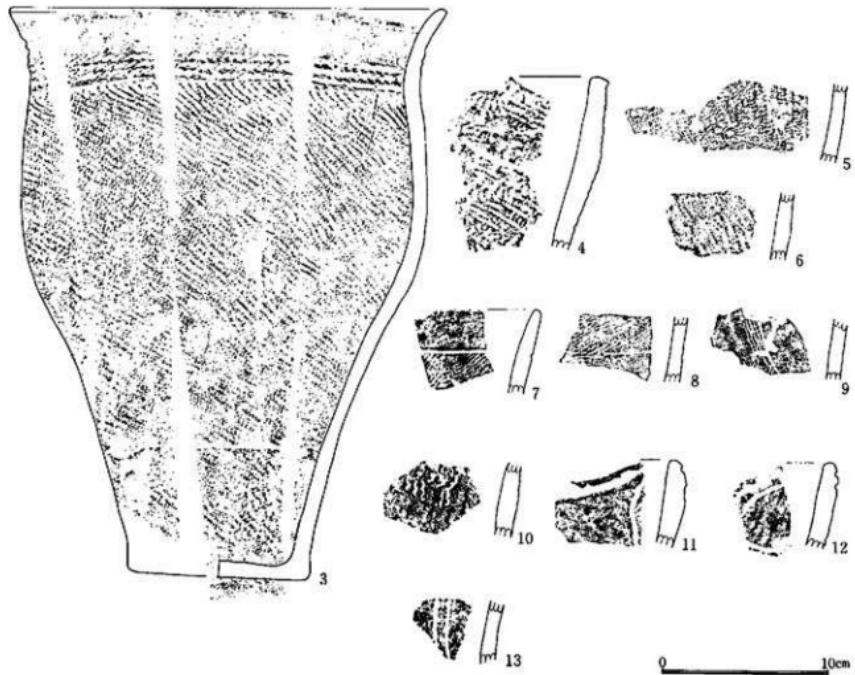


図-73 J 5 号住居跡出土土器 (2)

表-13 J 5 号住居跡出土土器観察表 (図-72・73 図版-77)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時 期	出土位置	備 考
1	雄	貝殻模様刺突列。平行沈線の変形。口縁端に継位刻み列 外反口縁。	①砂粒②橙色③口縁～胴部 中位	浮島	—	
2	雄	集合沈線。緩く外反。平口縁。	①砂粒②黄褐色③口縁部	諸磯 c	—	
3	1	R L 全面施文。口縁下に R L の側肉圧痕 3 条。口縁付近 無地。肩を握り一旦すばまつた後外反。平口縁。	①砂粒②よい橙色③光形		貯藏穴内	上弓にススが付着
4	雄	異状の R L・L R の第一縫合束羽状縞文。波状口縁。口 縁端若干内傾。	①繊維②浅黄褐色③口縁部	黒浜	—	
5	5	R L の斜縞文。	①砂粒②橙色③胴部	諸磯 b	床面	
6	雄	R L の斜縞文。	①砂粒②黄褐色③口縁部	諸磯 b	—	
7	雄	口縁に平行する細い横位沈線。細縞文 R L が充填施文。	①細粒②黄褐色③口縁部	称名寺 1	—	7~9は同一個体
8	雄	口縁に平行する横位沈線と斜位の沈線。	①細粒②黄褐色③胴部	称名寺 1		
9	雄	2本の沈線で曲線が構成。片方は研磨によって消される。	①細粒②黄褐色③胴部	称名寺 1	—	
10	雄	継位貝殻模様刺突。	①細粒②黄褐色③胴部	浮島	—	

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①軸七 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
11	雜	波状口縁。口縁部に沿って深く太い比縫が入る。さらに2本1組の曲縫が突出。	①軸七②赤褐色③口縁部	加曾利E	-	J1・J2・J3は同一個体
12	被	2本1組の比縫で曲縫が突出。	①軸七②赤褐色③口縁部	加曾利E	-	
13	雜	2本1組の比縫が垂下する。	①軸七②赤褐色③口縁部	加曾利E	-	

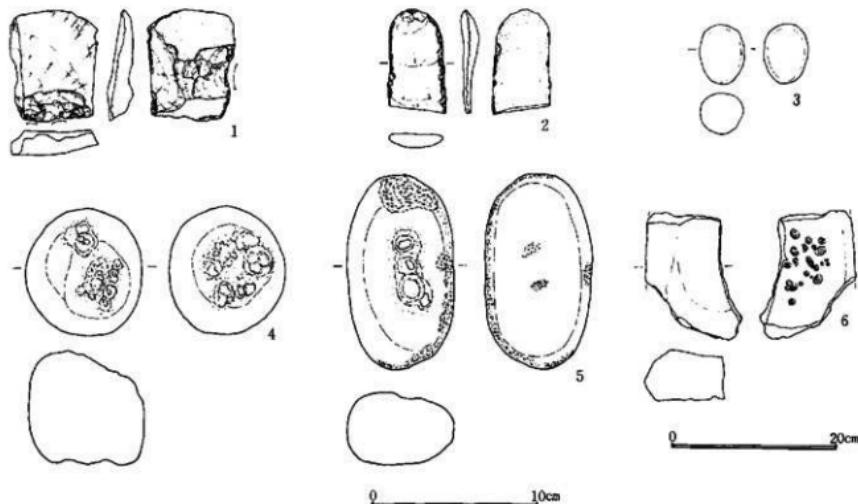


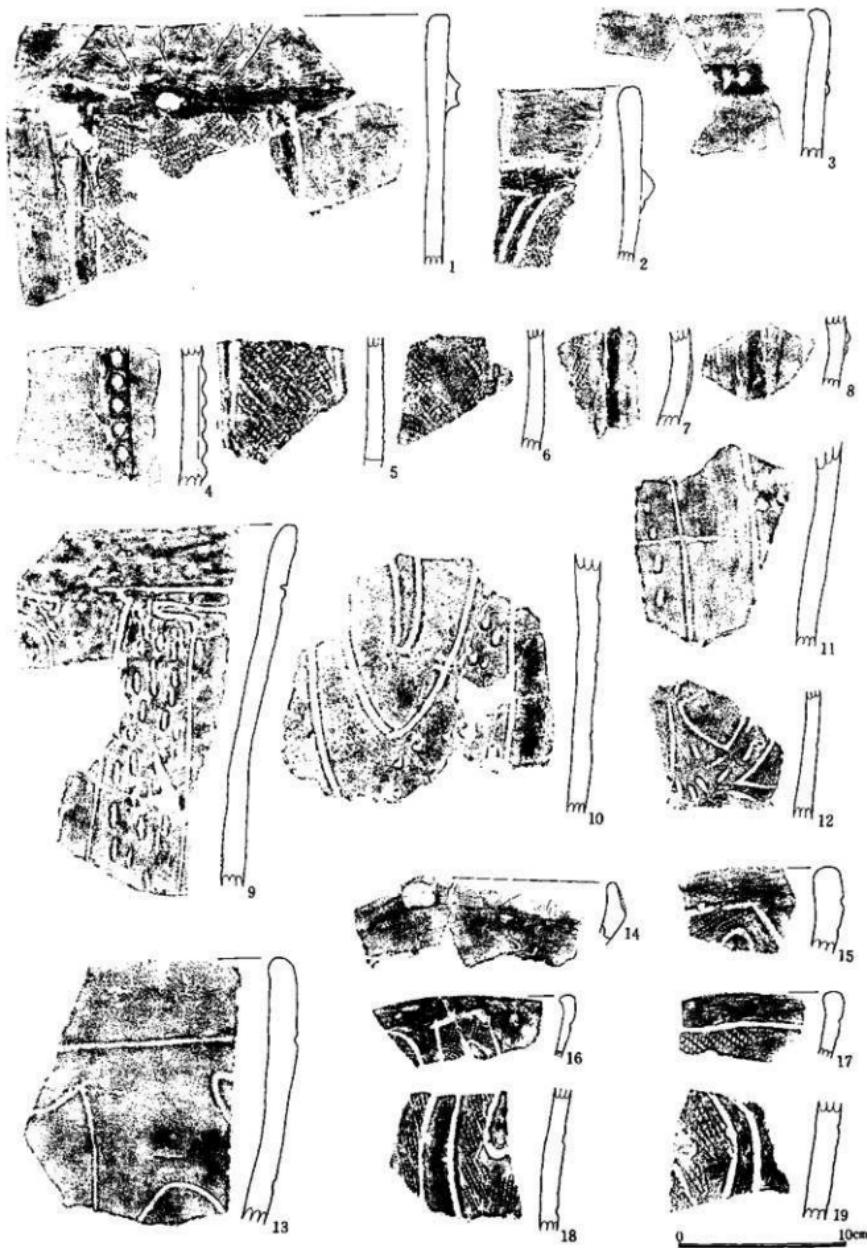
図-74 J 5 号住居跡出土石器

表-14 J 5 号住居跡出土石器属性表

No	遺物番号	器種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度						備考
									A	B	a	b	c	d	
1	雜	抉入石器	6.7	5.2	1.7	60	黒頁	70	-	-	-	-	-	-	抉入部3 覆
2	4	複刃削器	6.2	4.5	1.1	25	石	45	-	-	-	-	-	-	床面
3	雜	磨 石	3.6	2.7	2.4	30	石安	-	減2	減2	-	-	-	-	覆
4	15	敲 き 石	7.7	7.0	7.0	530	安	-	敲2	敲2	-	-	-	-	+19
5	雜	円錐石器	11.7	6.4	4.3	500	花	-	凹3	敲1・擦2	敲3	敲2	-	敲2	覆
6	10	石皿+多門 石	(15.3)	(11.5)	6.0	1,360	安	-	減1・火	凹3	-	-	-	-	使用→火 +火 +16

表-15 J 5 号住居跡石器器種・石材別一覧表

石材 石種	器種														その他	計				
	石 打	磨 石	尖 石	腰 石	背 石	直 凸	凹 凸	交 突	直 横	抉 横	擦 横	R U	擦 直	直 直	石 磨 石	多 凹	圓 石	多 凸	圓 石	片 破
黒色頁岩	無	斧	矛	鑿	鋸	鉋	鋸	鉋	刃	刃	刃	刃	刃	刃	1	1	1	1	1	13
石英安山岩																				1
安山岩																				3
花崗岩																				1
黑曜石																				3
珪																				23



图—75 J 6号居住址出土土器 (1)

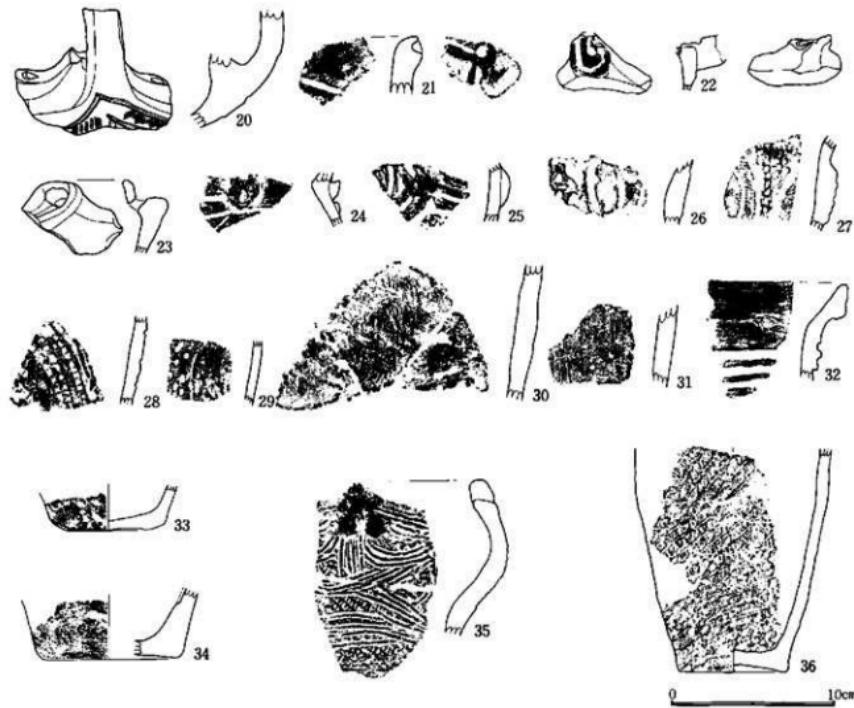


図-76 J 6 号住居跡出土土器 (2)

表-16 J 6 号住居跡出土土器観察表 (図-75.76 図版-77.78)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①粘土 ②色調 ③残存	時 期	出土位置	備 考
1	7・148	平口縁。口縁部は隆帯による無文帯。隆帯状には軸が貼付。輪位区画内には縞文 R L が施文。縁上部は羽状。	①細粒・白色灰物②黄褐色 ③口縁部	加曾利E 4	+ 9 床直	
2	等	平口縁。口縁部は隆帯による無文帯。隆帯には軸。斜行する輪帯。縞文 L R が施文。	①細粒・砂粒②明赤褐色 ③口縁部	加曾利E 4	-	
3	24・30・31	平口縁。口縁に平行して 1 条の隆帯。隆帯には刻み。口縁内面には 5 ~ 6 条の軸で 5 隆帯。	①細粒・砂粒②褐色③口縁部	中~後期	+ 17 床直 + 6	
4	29・115・146	底下する隆帯には円形の刺突。縞文 L R。無文帯には浅い筋巻き状の比線が入る。	①細粒・砂粒②褐色③口縁部	中~後期 + 8 + 5 - 3	3と同 1 個体	
5	9	微隆起にナゾリ。縞文 R L。内面は丁寧な擦で。	①細粒②浅黄色③胴部	加曾利E 4	- 16	
6	77	微隆起。縞文 L R。	①細粒②浅黄色③胴部	加曾利E 4	住外	
7	炉内	微隆起。縞文 L R が羽状に施文。	①細粒②灰黄褐色③胴部	加曾利E 4	炉内	
8	180	微隆起。	①細粒②浅黄色③胴部	加曾利E 4	標高不	
9	57	太く深い沈縫。沈縫内には列点。	①細粒②褐色③口縁部	称名寺 2 - 8		

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時 期	出土位置	備 考
10	126	太く深い沈線。列点。	①粗粒・砂粒が多い。②暗赤色③脚部	称名寺2	-12	
11	推	沈線。列点。	①粗粒②にぶい黄橙色	称名寺2	-	
12	推	沈線。長めの列点。	①粗粒・砂粒多い②脚部	称名寺2	-	
13	54	平口縁。口縁に平行した1条の沈線。その下部に文様が施される。	①粗粒・砂粒多い②明黄色③口縁部	称名寺2	+31	
14	117・118	波状口縁。波頂部にC字状貼付。内面は丁寧な模で。	①粗粒・やや砂粒②にぶい黄色③口縁部	称名寺	+31 +23	
15	推	平口縁。口縁部に平行する1条の沈線。その下に縦文R L。	①粗粒②にぶい黄色③口縁部	称名寺1	-	
16	65	平口縁。沈線区画内に織文L Rが充填される。	①粗粒②褐色③口縁部	称名寺1	+8	
17	推	平口縁。太く深い沈線。縦文L Rが充填される。	①粗粒②褐色③口縁部	称名寺1		
18	74	太く深い沈線。縦文L Rが充填される。	①粗粒・砂粒が多い②黒褐色③脚部	称名寺1	+19	
19	81	太く深い沈線。器の組合せ縦文L Rが区画内に充填される。	①粗粒②にぶい褐色③脚部	称名寺1	+27	
20	87	大形の把手。口縁部には刺突。文様は太く深い沈線により区画され縦文L Rが充填される。	①粗粒②褐色③把手	称名寺1	-42	
21	推	把手。口縁に平行する1条の沈線。刺突。内面に円形刺突と沈線。	①粗粒・砂粒が多い②褐色③突起	称名寺2	-	
22	推	突起。内面にC字状の比線と刺突。口縁内面に縁が付けられる。	①粗粒②褐色③突起	称名寺		
23	106	C字状隆起突起。円形の貫通孔あり。	①粗粒・砂粒多い②褐色③突起	称名寺	+22	
24	推	8字状貼付文。沈線。	①粗粒②にぶい褐色③脚部	堀之内	-	
25	41	沈線。落帯上に沈線が入る。交点はやや高まり刺突がある。	①粗粒②にぶい黄褐色③脚部	堀之内1	+35	
26	推	梢円形の区画が沈線と縫隙で構成される。沈線区画内に列点が入る。	①粗粒②褐色③脚部	称名寺2	-	
27	推	落帯状に円形刺突。円形区画をなす。沈線による曲線が描かれ、縦縞文L Rが施文される。	①粗粒②にぶい黄褐色③脚部	堀之内1	-	
28	推	沈線3条と連続する円形刺突で曲線が描出。沈縞文。	①粗粒②淡黄色③脚部	後期	-	
29	120	沈線区画と列点。列点は円形刺突を斜めに使用。	①粗粒②褐色③脚部	称名寺2	+29	
30	102・145	無文部。	①粗粒・白色鉱物②明褐色③脚部	後期	+2 -4	
31	75	縦方向の条線。条線は非常に浅い。	①中粒・白色鉱物②黃褐色③脚部	中～後期	+9	
32	55	鉢形土器。内外面とも丁寧な研磨がなされ、沈線によって浮き出された横方向の施縞が3条。	①粗粒②褐灰色③口縁部	堀之内1	+10	
33	61	無文部。縦方向の縫で。	①中粒・白色鉱物②褐灰色③底部	後期	+9	
34	4	無文部。	①中粒②淡黃褐色③底部	中～後期	+20	
35	推	R L地文。平行沈線。口縁部内傾し、口縁端に突起と粘土瘤貼付。	①中粒②灰黃褐色③口縁部	諸磯b	-	
36	-	付加条(L R + ?)？。上げ底ざみの平底。	①砂粒②にぶい褐色③脚～底部	-		

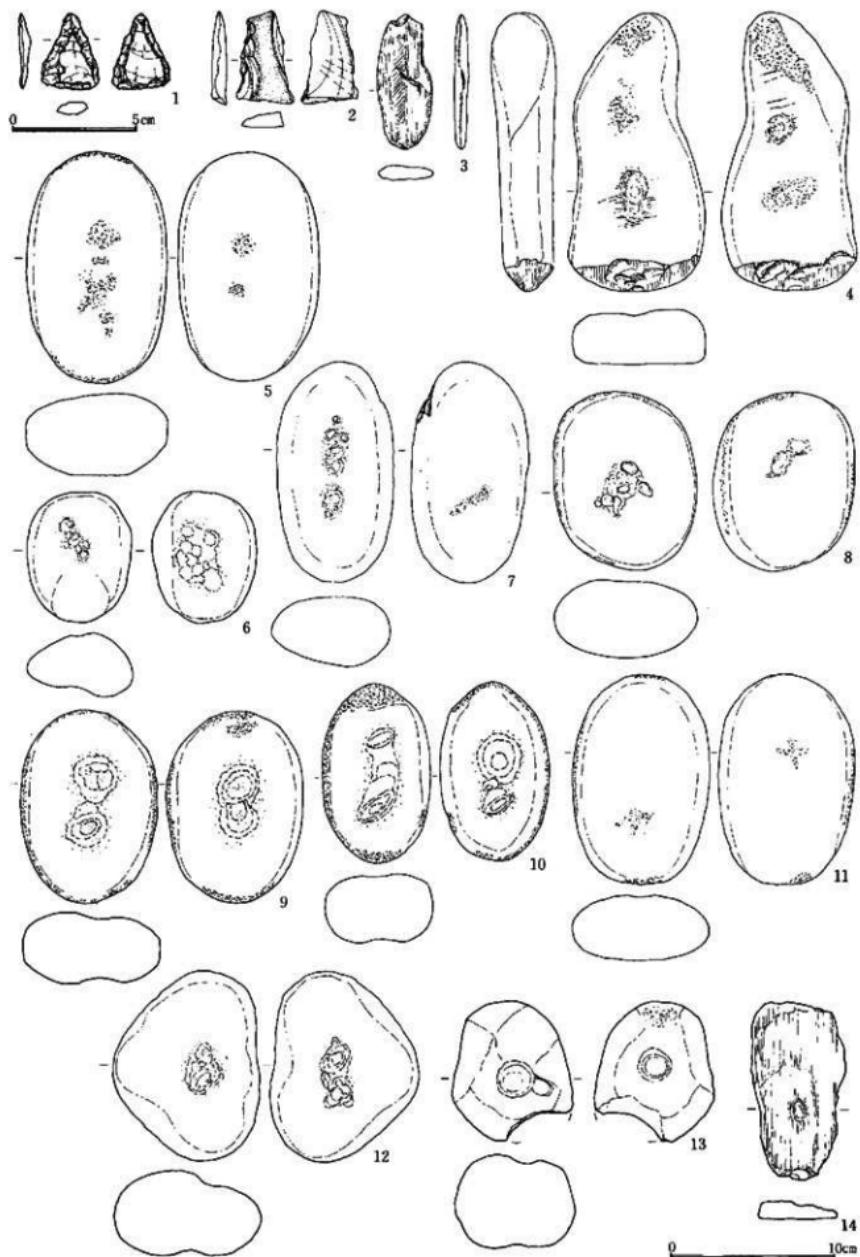


図-77 J 6号住居跡出土石器 (1)

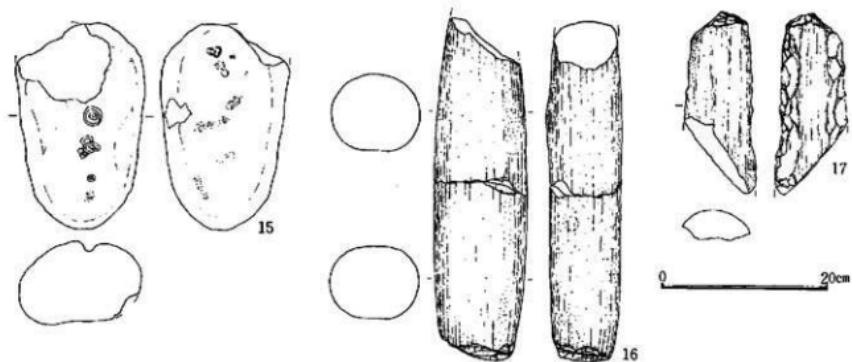


図 78 J 6 号住居跡出土石器 (2)

表-17 J 6 号住居跡出土石器属性表

No.	遺物 番号	器種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備考
									A	B	a	b	c	
1		石 剣	3.0	2.2	0.4	5	黒質							復
2	101	直刃削器	5.5	3.5	0.8	19	石	50	—	—	—	—	—	位置不
3	51	棒状石器	8.0	3.3	0.9	33	風片	—	擦1	—	—	敲1	—	敲1 +30
4	143	棒 矛	16.6	8.3	4.0	800	石	90	敲2	敲2	—	研磨	—	鉈刀による敲 -4
5	13	円錐石器	13.9	8.5	4.5	900	安	—	擦2→敲1	擦2→敲1	敲1	敲1	敲1 —擦2	敲1 —擦2 -9
6	96	?	7.8	6.2	3.8	195	渾安	—	擦2・変色	擦2・変色	—	—	—	赤く変色 +24
7	68	?	13.3	7.0	4.1	520	不明	—	敲1→擦2	敲1→擦2	—	—	—	擦→火 -3
8	19	?	10.6	8.5	4.7	670	花	—	擦2→敲2	擦2→敲2	敲1	敲1	敲1	+12
9	2	?	11.4	8.3	4.3	590	安	—	凹2	凹2	敲1	敲1	敲1	+3
10	17	?	10.6	6.5	4.0	435	石	—	擦1→敲2 ・凹2	擦1→敲2 ・凹2	敲2	敲2	敲2	敲→火 +9
11	25	?	12.5	8.3	4.0	720	石	—	擦2→凹1 ・敲1	擦2→敲1 —火	敲1	敲1	敲1	敲1 -7
12	鍬	凹 石	11.5	9.0	5.0	630	石	—	火→凹3	火→凹3	火	火	火	火→火→凹 火
13	1	?	8.5	7.2	5.7	350	石	—	火→凹1	火→凹1	火	火	火	火→火→火 +9
14	53	?	10.7	7.8	1.2	96	結片	—	凹1	—	—	—	—	+13
15	76	多 凹 石	24.7	15.4	10.0	3,690	安	—	凹3	凹3	—	—	—	一部欠 +15
16	104	石 槌	40.8	11.0	9.1	7,200	結片	—	敲	擦2	—	敲	敲	頭部欠 +6
17	103	石柄欠損品を 利用した石器	21.1	8.7	3.7	930	石	85	敲	—	敲	—	—	-8

表-18 J 6 号住居跡石器種・石材別一覧表

石材 種類	石 打	磨	石 打	尖頭	石 打	石 打	接	背	直	凸	凹	交	撲	磨	鑿	R	U	磨	敲	圓	石 打	圓	棒	石 打	多	凹	石 片	圓	鋸	右	標	その 他		
	打	磨	并	尖頭	打	打	接	背	直	凸	凹	交	撲	磨	鑿	F	F	石	石	圓	棒	石 打	圓	棒	石 片	圓	鋸	右	標	其 他				
黒色頁岩	1																												49		51			
頁 岩																													1		1			
黑色更生岩																													5	1	6			
青白玉																													1		1			
安山岩																													4	1	2	1	6	14

器種 石材	石 打 磨 石 尖 石 挫 背 直 凸 凹 交 復 磨 状 櫛 鑿 R U 磨 敲 板 石 圓 石 棒 石 多 回 鑿 刻 石 片 核 磨 石 その他	石 打 磨 石 尖 石 挫 背 直 凸 凹 交 復 磨 状 櫛 鑿 R U 磨 敲 板 石 圓 石 棒 石 多 回 鑿 刻 石 片 核 磨 石 その他	計
花崗岩	1	1	2
ヒン岩			1
珪岩		1	1
綠斑片岩		1	1
黒色片岩		1	1
結晶片岩		1	1
その他		2	3
計	1	9 2	134

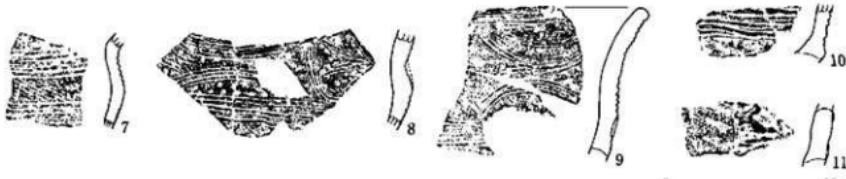
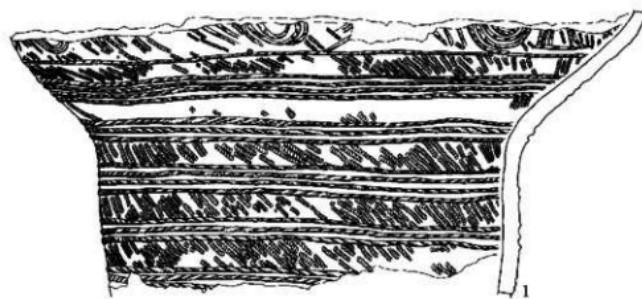


図-79 J 7号住居跡出土土器 (1)

0 10cm

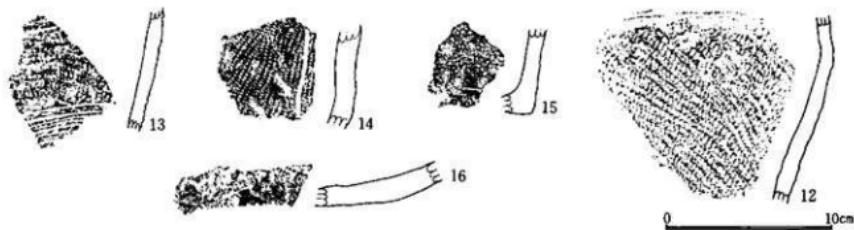


図-80 J 7号住居跡出土土器(2)

表-19 J 7号住居跡出土土器観察表(図-79・80 図版-78・79)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
1	14・15	R L の地文。矢羽根状刻み浮線を頸部以下を横位に、口縁付近で渦巻き状に巡らす。頸部より口縁にかけて強く外反。 ①砂粒②青褐色③頸部上半。諸磯 b,+3・埋没。3と同一個体。				
2	24	平行沈線。緩く外反。平口縁。	①砂粒②にぼい黄橙色③口縁部	諸磯 b	P.内	円孔あり
3	縫	R L の地文。矢羽根状刻み浮線。獸面。緩い波状口縁。口縫端刻み列。	①砂粒②浅黄褐色③口縫部	諸磯 b		
4	縫	R L の地文。矢羽根状刻み浮線。	①砂粒②にぼい黄橙色 ③肩部	諸磯 b		
5	縫	R L の地文。矢羽根状刻み平行沈線。	①白色粒②にぼい赤褐色 ③肩部	諸磯 b	-	6・13と同一個体
6	1	R L の地文。平行沈線。	①砂粒②にぼい赤褐色 ③肩部	諸磯 b	+3	5・13と同一個体
7	縫	細いR L の地文。平行沈線。	①砂粒②にぼい褐色③肩部	諸磯 b	-	
8	縫	R L の地文。平行沈線。	①砂粒②橙色③肩部	諸磯 b	-	9と同一個体
9	20	R L の地文。平行沈線。平口縁外反。	①砂粒・白色粒②にぼい橙色③C縫部	諸磯 b	+22	
10	11	平行沈線。	①砂粒②明黄褐色③肩部	諸磯 b	+18	
11	19	R L の地文。浮線。	①砂粒②にぼい褐色③肩部	諸磯 b	+13	
12	20	R L の地文。平行沈線。	①砂粒②にぼい赤褐色 ③肩部	諸磯 b	+22	
13	縫	R L の地文。平行沈線。	①砂粒・片岩粒②にぼい褐色③肩部	諸磯 b		
14	縫	L R の地文。沈線。	①砂粒②橙色③肩部	諸磯?	-	
15	縫	間隔をあけたR L の地文。	①砂粒②にぼい赤褐色 ③肩部	諸磯?	-	
16	29	縫方向無。	①砂粒②にぼい褐色③肩部	-	P.内	

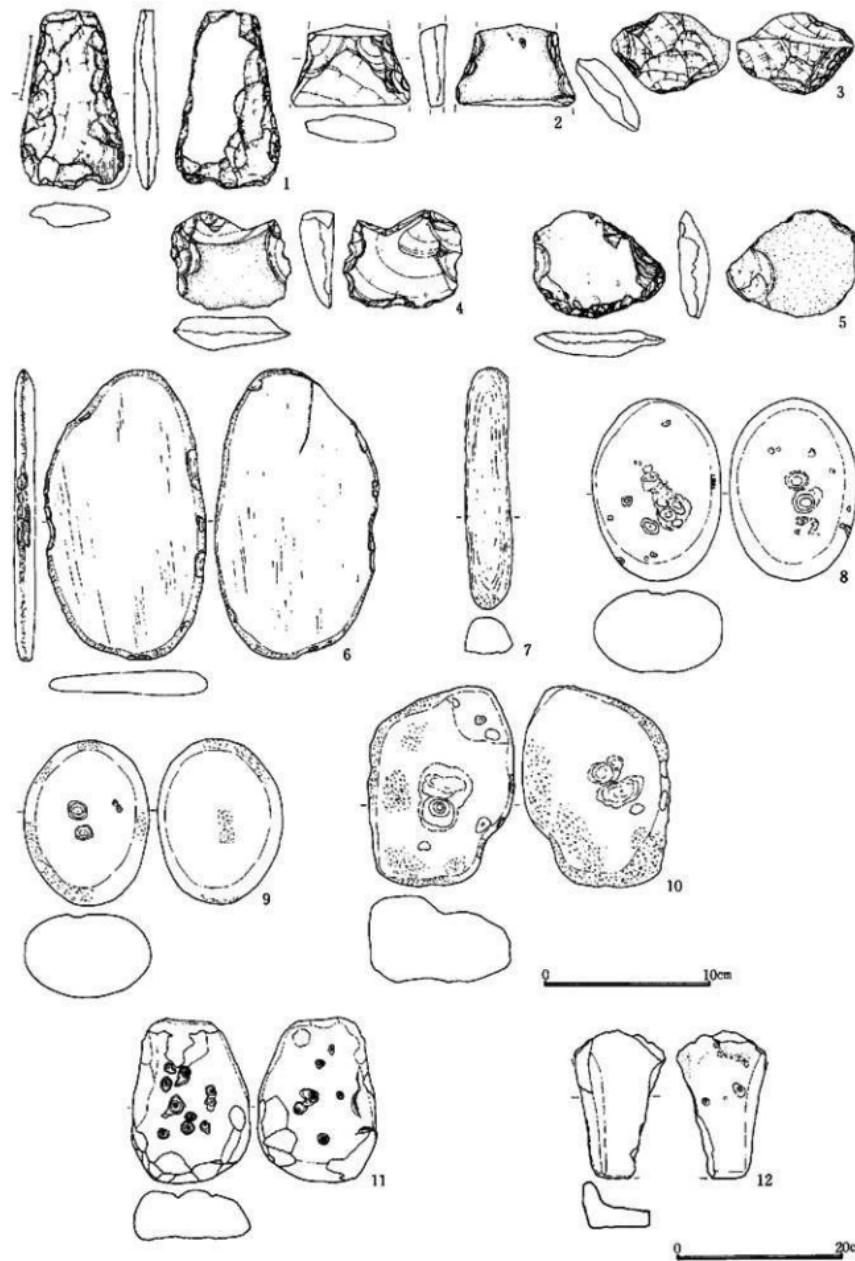


图-81 J 7号住居跡出土石器

表-20 J 7号住居跡出土石器属性表

No.	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重(kg)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備考	
									A	B	a	b	c		
1	28	打製石斧	10.6	6.2	1.4	122	黒真	30	—		—	減2	潰	—	+39
2	椎	〃	(4.9)	(7.1)	1.6	67	〃	—	—		—	—	—	—	刃・基部欠損
3	16	凸刃削器	4.8	7.1	1.8	48	〃	60	—	—	—	—	—	—	+13
4	椎	複刃削器	5.8	7.2	2.0	85	〃	45	—	—	—	—	—	—	3刃複
5	21	交刃削器	6.3	7.9	1.9	85	〃	45 ~60	—	—	—	—	—	—	+22
6	2	梯状石器	17.2	9.7	1.5	396	結片	—	擦2	擦2	敲1	敲1	敲2	敲2	+6
7	27	敲き石	14.7	2.9	2.2	140	綠片	—	—	—	敲1	敲1	—	—	+10
8	5	円錐石器	10.9	7.8	4.9	511	安	—	擦1→敲2 ・凹2	擦1→敲2 ・凹2	敲1	敲1	敲1	敲1	断面は結晶状・P内
9	26	〃	9.9	7.5	4.9	526	花	—	擦2→凹2	擦2→敲1	敲1	敲1	敲1	敲1	P内
10	椎	凹石	12.0	8.7	5.1	627	安	—	凹2	凹3	—	—	—	—	覆
11	18	多凹石	19.7	14.2	5.8	2,350	〃	—	凹3	凹3	—	—	—	—	-16
12	10	右皿	(17.8)	(10.9)	5.6	405	淳安	—	敲	敲	敲	—	—	敲	+10

表-21 J 7号住居跡石器種・石材別一覧表

石材	器種	石打	磨打石	斧	石器	刮削器	背直	凸刃	凹刃	交刃	複刃	鋸	U	磨	敲	石刀	梯状	石棒	多凹	凹石	石片	石核	その他		
		鐵	斧	鑿	器	器	器	刃	刃	刃	刃	器	F	F	石	石	梯	石	石	石	片	計			
黑色頁岩	2						1	1	1											12		17			
頁岩																				1		1			
黑色安山岩																				2		2			
斑石質安山岩																				1		1			
安山岩																				1		2			
花崗岩																				1		1			
綠泥片岩																				1		2			
綠晶片岩																				1		1			
計		2					1	1	1										1	2	1	1	16	2	30

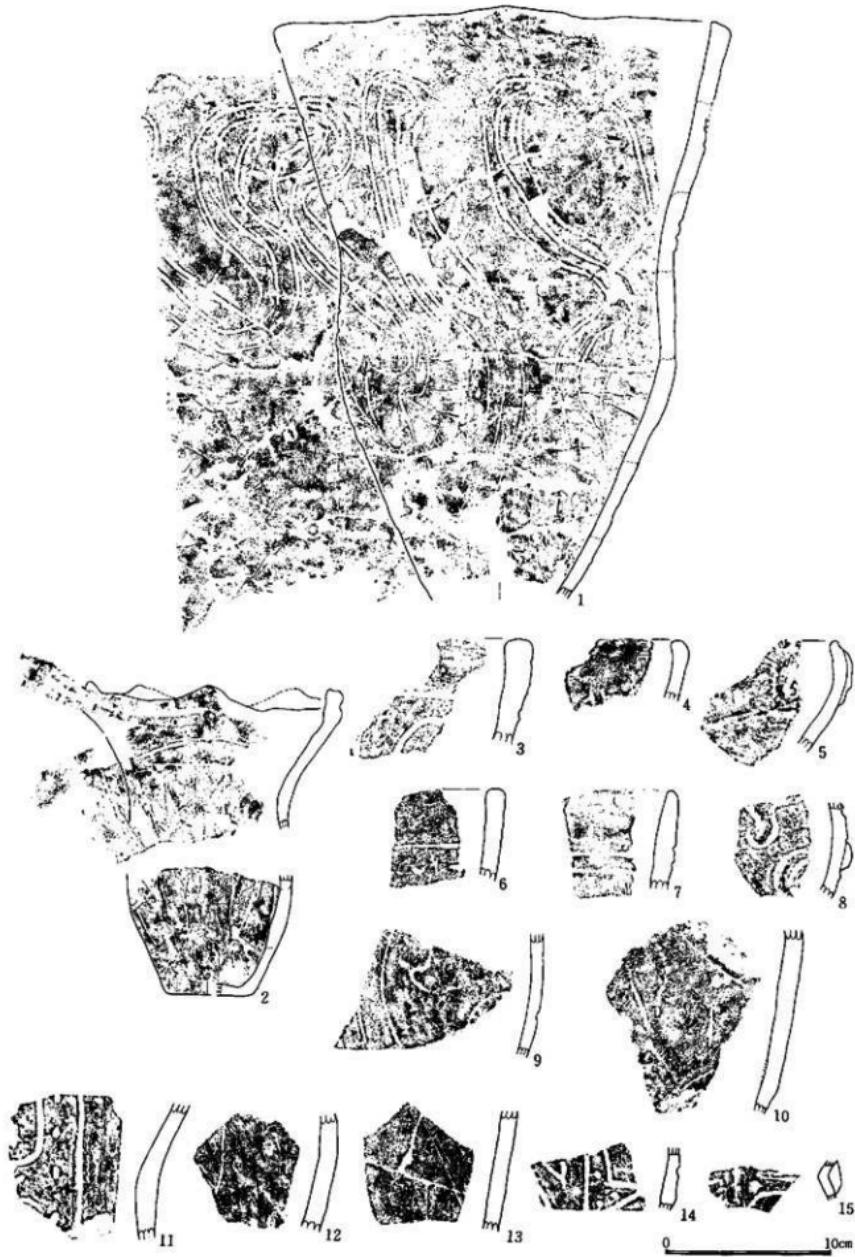


图-82 J 8号住居跡出土土器 (1)

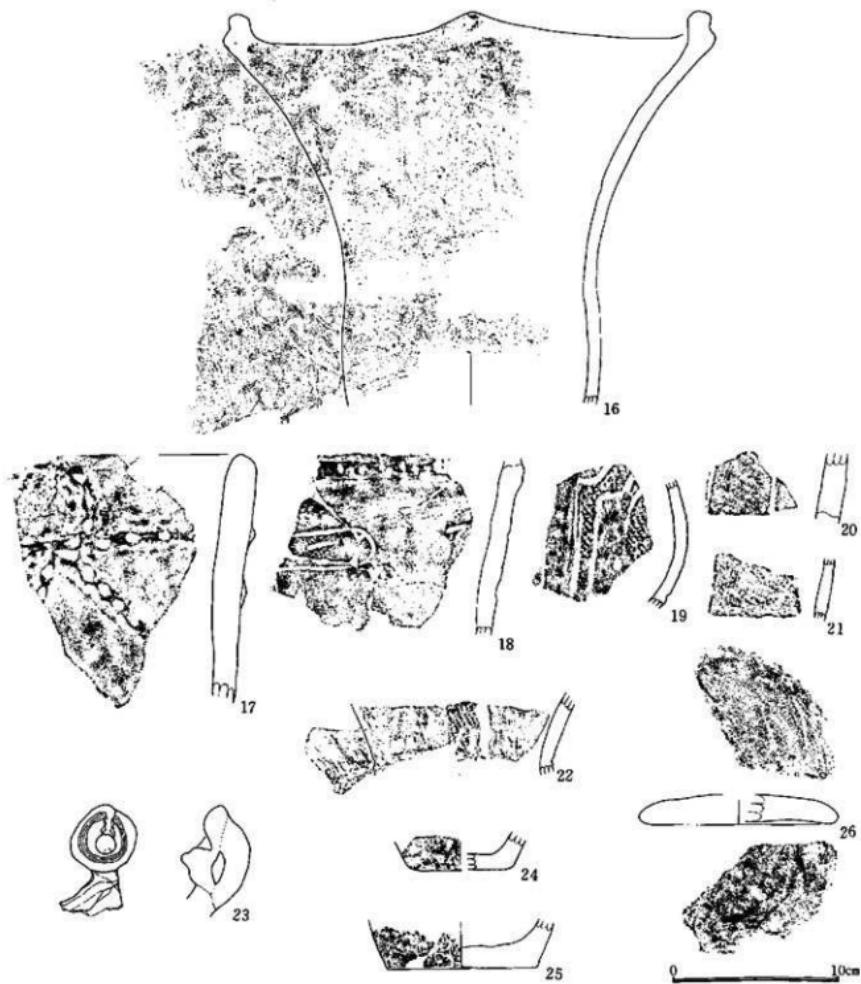


図-83 J 8号住居跡出土土器(2)

表-22 J 8号住居跡出土土器観察表(図-82・83 図版-79)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
1	40	4単位の突起が考えられる。文様は3本1組の曲線文で抽出される。4組とも文様構成が異なる。	①中粒・黑色鉱物②ぶい黄褐色③底部を欠損する。	称名寺2	埋甕	
2	13・16・18・19	小形の胴部がくびれる深鉢。口唇突起は5単位(8字状・刺突・こよ)。2単位の乱れた沈縫区画。	①中粒・砂粒を含む②褐色③一部肩部を欠損する。	称名寺2	埋甕	
3	4	太い沈縫区画によって文様が抽出。	①中粒・白色鉱物②灰黃褐色③山根部	称名寺2	周縁部	

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・基形の特徴	①粒七 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
4	雄	口唇部に刺突。文様は沈線区画がなされる。	①中粒②によい黄褐色 ③口縁部	称名寺2	-	
5	雄	鉢形。突起は円形状になると思われる。刺突と連続する沈線によって構成。文様は沈線区画。	①細粒②淡黄色③口縁部	称名寺2	-	
6	雄	沈線と列点。列点は細長く浅い。	①中粒②淡黃褐色③口縁部	称名寺2		
7	12	口縁に平行する2条の沈線と垂下する束線。	①細粒②橙色③口縁部	中～後期	+8	
8	雄	沈線区画された隆筋で構成。J字文の構成や刺突連結沈線で構成される。	①細粒②黒褐色③側部	堀之内1	-	
9	5	沈線区画。	①中粒②淡黃褐色③側部	称名寺2	周縁部	
10	23	沈線区画。	①中粒②淡黄色③側部	称名寺2	+28	
11	雄	太く浅い沈線と竹管状工具による列点。工具は斜めに使用。	①中粒②淡黄色③側部	称名寺2	-	
12	51	浅い沈線。	①中粒②黃褐色③側部	称名寺2	住外	
13	39・55	4本単位の浅い条線。	①中粒②灰黄褐色③側部	中～後期	-5 位置不	
14	27	沈線区画がなされ、列点が付される。	①中粒②黃褐色③側部	称名寺2	+14	
15	70	鉢。8字状貼付文。沈線区画と織縞文L.R.	①細粒②によい赤褐色。 ③側部	堀之内1	周縁部	
16	71・79・91	周縁がすぼまり、口縁が大きく開く深鉢。4単位の小波状L.R.には突起が付される。文様は沈線区画。	①粗粒・砂粒多い②黄褐色 ③片	称名寺2	伊内	
17	-	口縁に平行して1条、斜行して2条の隆筋。隆筋には刺み。口縁部に気泡が突出。	①中粒②黃褐色③口縁部	中～後期	-	
18	41	隆带上に列点状の刺みが入る。弦線内には細長い列点が施される。	①中粒②橙色③側部	称名寺2	+2	
19	雄	側下半部。沈線区画内に織縞文L.R.が施文される。	①中粒②橙色③側下半	称名寺2		
20	37	沈線。	①細粒②淡黄色③側部	称名寺2	住外	
21	8	織縞文L.R.	①中粒②白色底物②黃褐色 ③側部	諸義	周縁部	
22	3	側部屈曲部に1条の沈線。4単位の沈線区画に充填織縞文L.R.	①中粒②橙色③側部	称名寺	周縁部	
23	36	把手。C半状の沈線と円孔。	①中粒②橙色③把手	称名寺2	住外	
24	40	無文部。横方向の撚で。	①中粒②橙色③底部	後期	標高不	
25	25	無文部。	①中粒②淡黄色③底部	後期	+28	
26	29	盒。上面は丁寧な磨き。下面はややザラつく。	①中粒・黑色底物②橙色 ③蓋	堀之内?	+22	

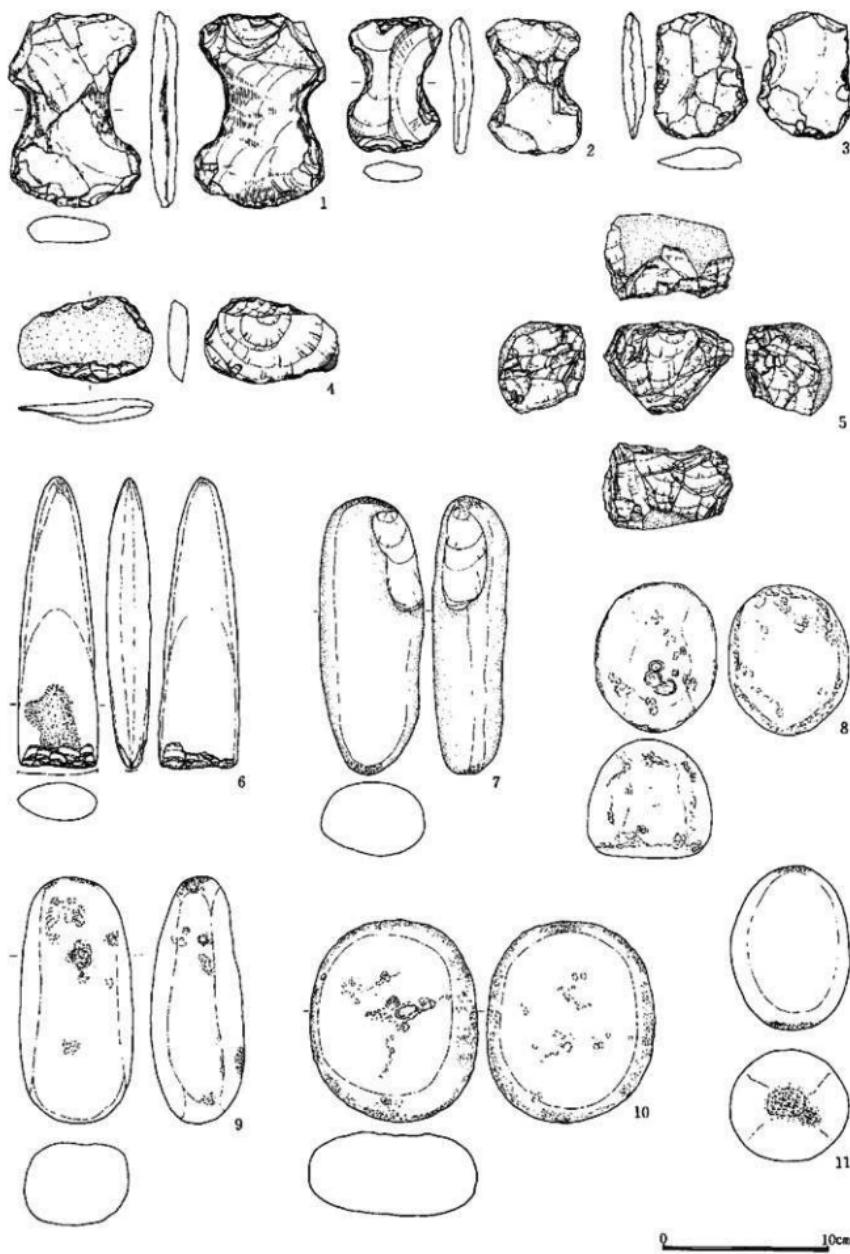


图-84 J 8号住居跡出土石器（1）

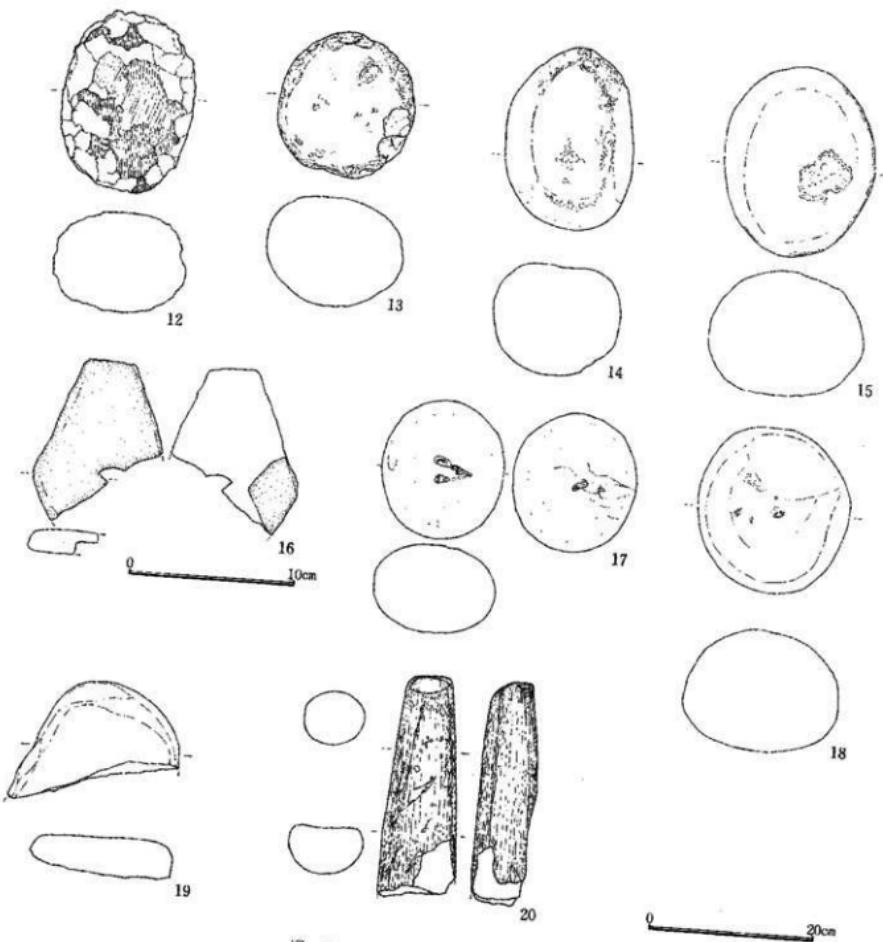


圖-85 J 8號住居跡出土石器 (2)

表—23 J8号住居跡出土石器属性表

No	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(kg)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備考	
									A	B	a	b	c		
1	52	打製石斧	11.7	7.8	1.6	175	黒質	50	—	—	—	—	減3	—	住外
2	33	刀	8.2	5.7	1.5	61	白	35	—	—	—	—	減1	—	+11
3	71	刀	7.6	5.6	1.4	63	白	30	—	—	—	—	—	—	位置不
4	75	凸刃削器	5.1	8.1	1.5	64	白	60	—	—	—	—	—	—	-8
5	66	石核	5.6	7.8	5.2	200	黒安	—	—	—	—	—	—	—	+6
6	11	磨製石斧	17.5	4.8	2.7	345	綠片	40	減2	—	—	—	減3	—	周縁部
7	74	敲き石	16.7	6.3	4.5	762	安	—	—	火	火→敲2	敲1	—	—	火→敲 位置不
8	15	円錐石器	9.1	7.3	7.2	740	白	—	敲2	敲→擦1	敲2	敲2	敲→擦1	敲→原1	周縁部
9	34	刀	14.9	6.8	5.7	1,000	花	—	敲1・ 敲1～2	敲1～ 敲1～2	敲1	—	敲1→ 原1	敲1→ 原1	+3
10	65	刀	12.3	10.2	5.2	950	安	—	擦1→敲1	擦1→敲1	敲1	敲1	敲1	敲1	周縁部
11	61	敲き石	9.9	7.2	6.8	700	白	—	—	—	敲1	敲2	—	—	+3
12	67	円錐石器	10.8	8.0	6.0	748	花	—	擦2→敲3	擦2→敲3	敲3	敲3	敲3	敲3	周縁部
13	32	刀	8.7	8.1	6.5	700	白	—	敲1→擦2	敲1→擦2	敲3	敲3	敲2→ 原1	敲2→ 原1	-13
14	35	刀	10.9	7.7	6.7	920	安	—	敲1→擦1	擦1→敲2	敲2	—	擦1	擦1	周縁部
15	62	刀	11.4	9.2	7.4	1,300	花	—	擦1→敲2	擦1	擦1	敲1	敲1	敲1	+2
16	50	砥石	(9.7)	(7.7)	1.3	60	砂	—	擦2	擦2	擦2	擦2	擦2	擦2	住外
17	60	円錐石器	16.3	14.8	10.3	3,500	花	—	擦1→凹3	擦1→凹2	擦1	擦1	擦1	擦1	床直
18	63	凹石	19.8	18.5	14.6	7,600	安	—	凹3	—	—	—	—	—	+8
19	69	石棒	(14.5)	(20.5)	4.7	1,780	白	—	変色・擦2	—	—	—	—	—	+37
20	73	石棒	(26.8)	(9.1)	6.5	2,700	綠片	—	擦3	擦2	擦3	—	擦3	擦3	床直

表-24 8号住居跡石器器種・石材別一覧表

石材 樹種	各項測定試験結果																		計						
	打 孔 並 行 性	磨 耗 性	尖 鋸 性	石 頭 性	挫 削 性	直 角 性	凸 凹 性	回 刃 性	交 換 性	範 圍	挑 拔 性	機 械 性	R F	U F	磨 耗 性	敲 打 性	研 磨 性	石 頭 性	多 孔 性	凹 凸 性	門 石 性	磁 石 性	石 頭 性	標 記	その 他
黑色頁岩	3							1															16		20
黑色安山岩																							5	1	6
安山岩																		2	3	1	1	1	8		15
花崗岩																	5							5	
粗 巖																								1	1
綠泥片岩																		1						2	
砂 石																								1	1
計	3	1						1							2	8	1	1	1	1	1	30	1	56	

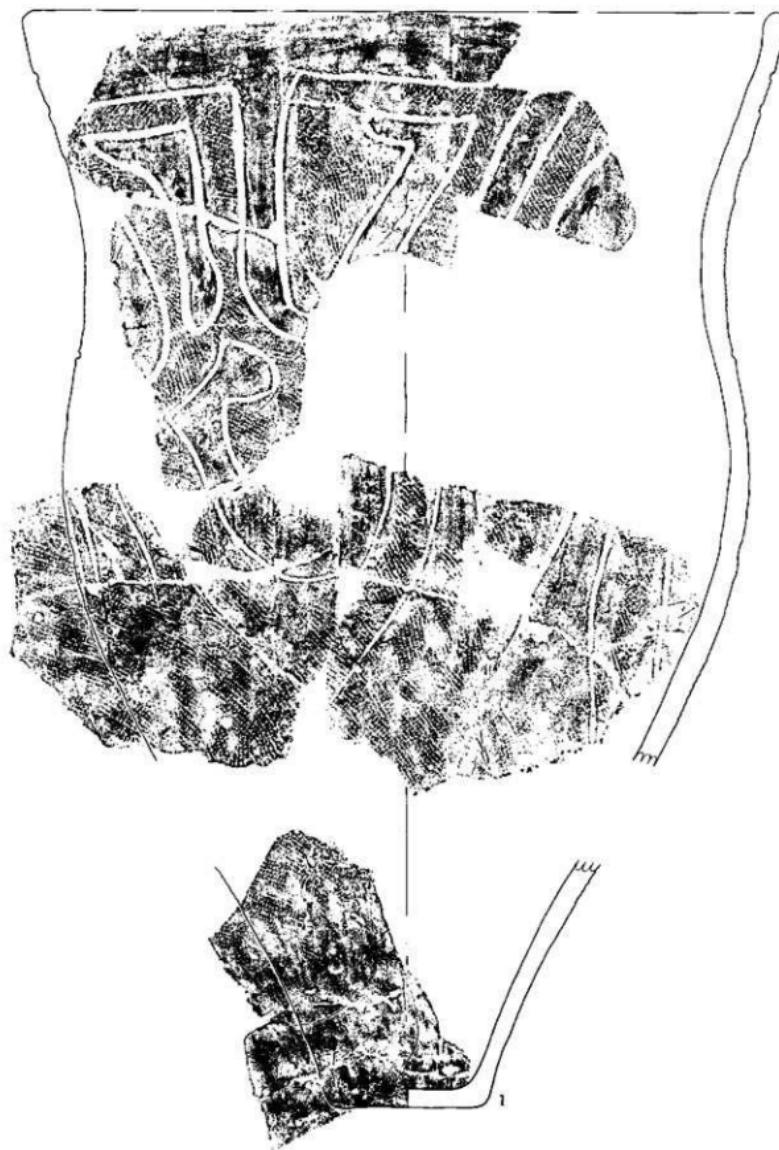


圖-86 J 9號住居跡出土土器 (1)



図 87 J 9 号住居跡出土土器 (2)

表-25 J 9 号住居跡出土土器観察表 (図-86・87 図版-79・80)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時 期	出土位置	備 考
1	7・38・42・44	底面部が小さくすぼまり、肩部にくびれを持つ平口縁の深鉢。文様4単位。沈縫区画と先端横文L-Rが施文。	①中粒・砂粒②淡黄色③1/4	称名寺1	床面-5 壁裏-3	
2	2・38・39	小波状口縁。文様単位不明。文様区画の間に列点。沈縫区画内には横文L-Rが充填。	①細粒②黄褐色③口縁部	称名寺1	-2,-5 床面	
3	7・46	大きく崩く小波状口縁の深鉢。波頭部に突起。文様は太めの深い沈縫でY字文が4単位に抽出。	①細粒②黄褐色③1/4	称名寺2	-3	
4	45	沈縫区画。円形刺突による列点。内面に縁を有する。	①細粒②黄褐色③口縁部	称名寺2	炉内	
5	33	沈縫区画。	①中粒②黄褐色③口縁部	称名寺2	+24+23 +36	
6	2	沈縫区画。	①粗粒②淡黃褐色③口縁部	称名寺2	+2	
7	2	沈縫区画。	①中粒・白色軽物②灰黃褐色③口縁部	称名寺2	-2	

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③廻存	時期	出土位置	備考
8	炉内	沈線。列点。	①中粒②淡黄色③廻存	称名寺2	炉内	
9	雜	把手。円丸。内側に刻突と渦巻き沈線。	①中粒②淡黄色③把手	称名寺2	-	
10	雜	葉模。繩文L.R.	①中粒②よい黄色③廻存	加曾利E 4	-	
11	33	沈線。繩文L.R.	①中粒②淡黄色③廻存	称名寺1 +24+23 +36		
12	6	沈線。繩文L.R.	①粗粒②黄褐色③廻存	称名寺1 +2		
13	炉内	輪溝記。	①粗粒②淡黄色③廻存	加曾利E 4	炉内	
14	炉内	繩文R?。	①繩維②淡黄色③廻存	-	炉内	
15	31・36	墨文部。縦方向の書き。	①中粒②淡黄色③底部	-	炉内	
16	25	無文部。	①中粒②淡黄色③底部	称名寺	+14	
17	5	墨文部。	①中粒②淡黄色③底部	称名寺	床底	

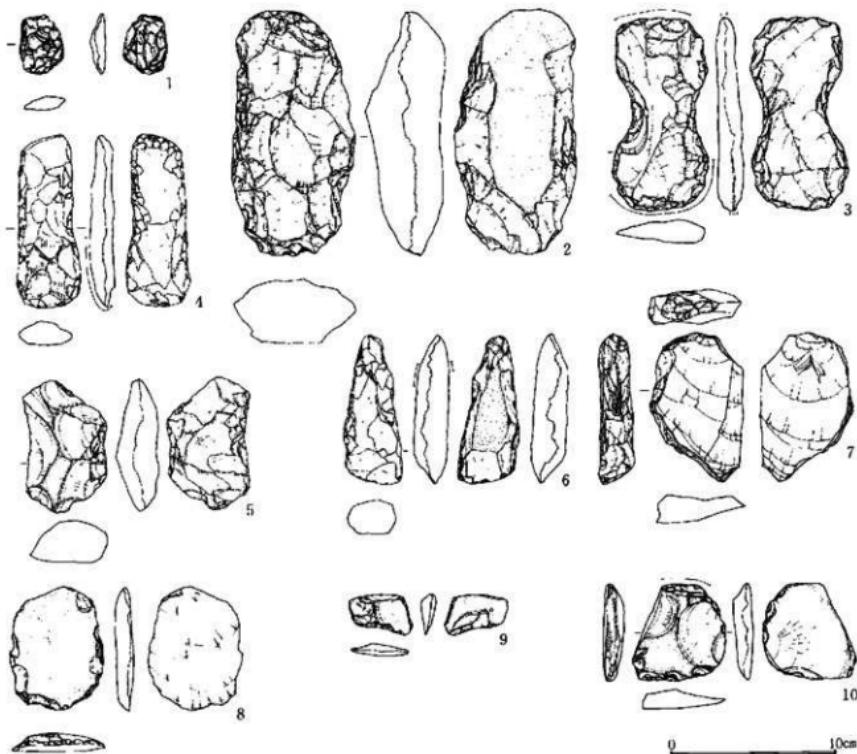


図 88 J.9号住居跡出土石器 (1)

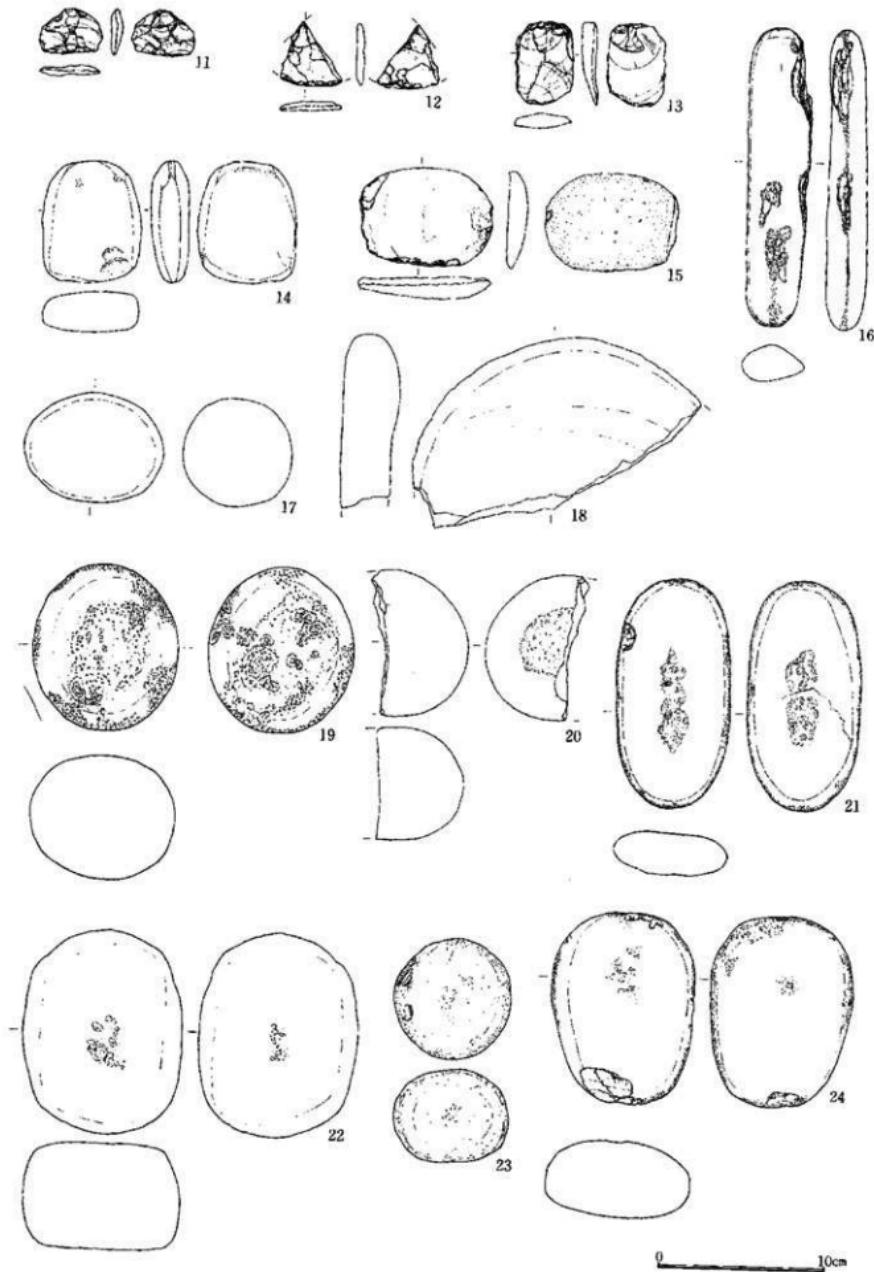


圖-89 J-9號住居跡出土石器(2)

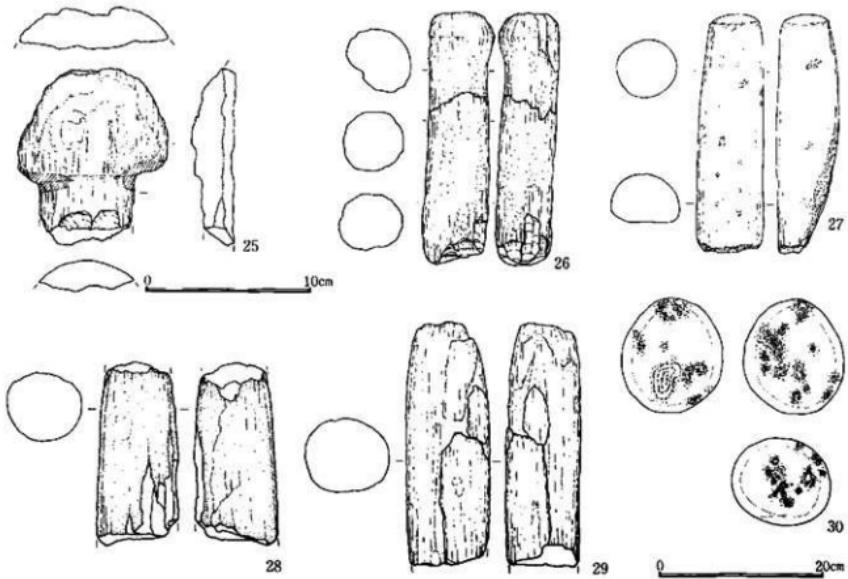


図-90 J-9号住居跡出土石器(3)

表-26 J-9号住居跡出土石器属性表

No.	遺物 番号	器種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	石材	刃角	使用痕・被着痕の位置・程度					備 考
									A	B	a	b	c	
1	鍤	楔形石器	3.5	2.6	0.9	8	珪	30 45	—	—	—	刃	—	—
2	40	打製石斧	14.5	7.2	4.9	590	黒頁	90	—	—	—	—	—	-14
3	鍤	#	11.5	5.7	1.5	110	黒安	30 50	—	—	—	減1	—	分削形 覆
4	鍤	#	10.3	3.7	1.5	72	#	50	—	—	—	減2	—	削削形 覆
5	鍤	#	8.0	4.9	2.5	100	黒頁	60	—	—	—	—	—	分削形 覆
6	鍤	#	9.0	3.3	2.1	73	#	70	減1	減1	—	—	減1	—
7	33	青付き石器	9.0	5.6	1.9	112	頁	50	—	—	—	—	—	+20
8	鍤	鑿 器	7.5	5.7	1.1	60	黒頁	60	—	—	—	—	—	—
9	鍤	凹刃削器	3.9	3.5	0.9	9	#	35	—	—	—	--	—	版
10	鍤	複刃削器	5.7	5.7	1.2	46	#	45	—	—	—	減2	減2	減2
11	鍤	R F	3.7	2.6	0.7	7	#	40	—	—	—	—	—	観
12	鍤	凸刃削器	(3.7)	(3.6)	0.5	10	黒頁	35	—	—	—	—	—	欠 損
13	33	U F	4.9	3.5	0.9	19	#	偏			—	刃	刃	刃角30、60、70 +23
14	13	粗石製石器	7.3	6.0	2.4	72	浮安	—	擦2	擦2	擦2	擦2	擦2	+20
15	27	U F	8.0	5.7	1.0	75	黒安	60	—	—	—	刃	刃	P内
16	19	敲き石	17.8	3.6	2.4	270	綠片	—	敲2	—	敲1	敲1	敲3	末直

No	遺物番号	器種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (kg)	石材	刃角	使用痕・着痕の位置・程度				備考
									A	B	a	b	
17	17	円錐石器	8.3	6.5	6.5	472	安	—	歛1・斂1	歛2→撲1	撲1	歛1→撲1	歛火-16
18	9	石器	(17.2)	(11.5)	3.5	730	ア	—	撲1	—	—	—	欠-3
19	14	円錐石器	10.0	8.7	7.4	800	ア	—	歛2	歛2	歛2	歛2	歛2+22
20	103	ア	8.7	(5.9)	6.7	450	ア	—	撲2	歛1→撲1	撲1	撲1	撲1 位便不
21	104	ア	13.7	6.8	2.6	375	花	—	歛2	歛2	歛1	歛1	歛1 位便不
22	12	ア	12.2	9.6	6.5	1,300	安	—	撲1・歛1	撲1→歛1	撲1	撲1	撲1-16
23	17	ア	7.2	7.1	5.6	320	ア	—	歛2・火	歛2→火	歛2→火	歛2→火	歛2-火-16
24	3	ア	11.5	8.5	4.6	740	ア	—	歛1→撲1	歛1→撲1	歛3	歛2→歛1	+2
25	29	石器	(10.6)	(9.1)	(2.6)	250	鱗片	—	歛2	—	—	撲2	P.内
26	4	ア	30.4	8.5	7.8	2,500	ア	—	歛2	歛2	歛2	歛2	表面風化-2
27	10	ア	28.7	8.2	7.0	3,150	ア	—	歛2→撲3	歛2→撲3	歛2	歛2→撲3	床底
28	1	ア	(22.0)	10.0	9.8	3,350	ア	—	歛2→撲1	歛2→撲1	歛2	歛2→撲1	歛2欠
29	37	ア	(29.5)	10.2	9.0	4,300	ア	—	歛	歛	歛	歛	表面風化強・欠
30	26	円錐石器	13.8	12.3	10.5	2,370	安	—	歛2→撲2	歛2→撲2	歛2	歛2→撲2	周縁内

表-27 J 9号住居跡石器器種・石材別一覧表

石材	石打	磨	石斧	尖頭石器	直頭石器	骨	骨刀	直骨	凹骨	交骨	復骨	頭骨	脳	块	楔	縫	R	U	歛	歛	円	石	木	棒	石	多	回	乳	削	石	疊	その他の	計
黒色頁岩	3		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11			
頁岩			1																												1		
黑色安山岩	2																			1											3		
多孔質頁岩																																1	
安山岩																																13	
花崗岩																																2	
閃緑岩																																1	
珪岩																				1												1	
綠泥片岩																					1	5										7	
結晶片岩																						2										2	
計	5		1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	8	5	1				3	9	1	42										

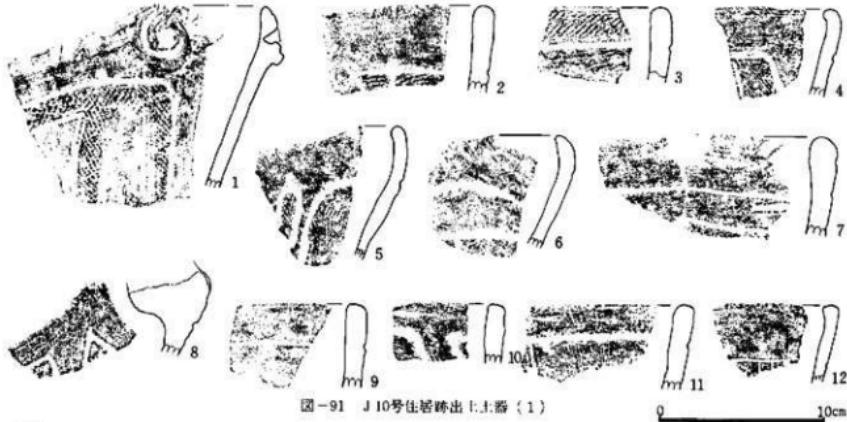


図-91 J 10号住居跡出土工具(1)

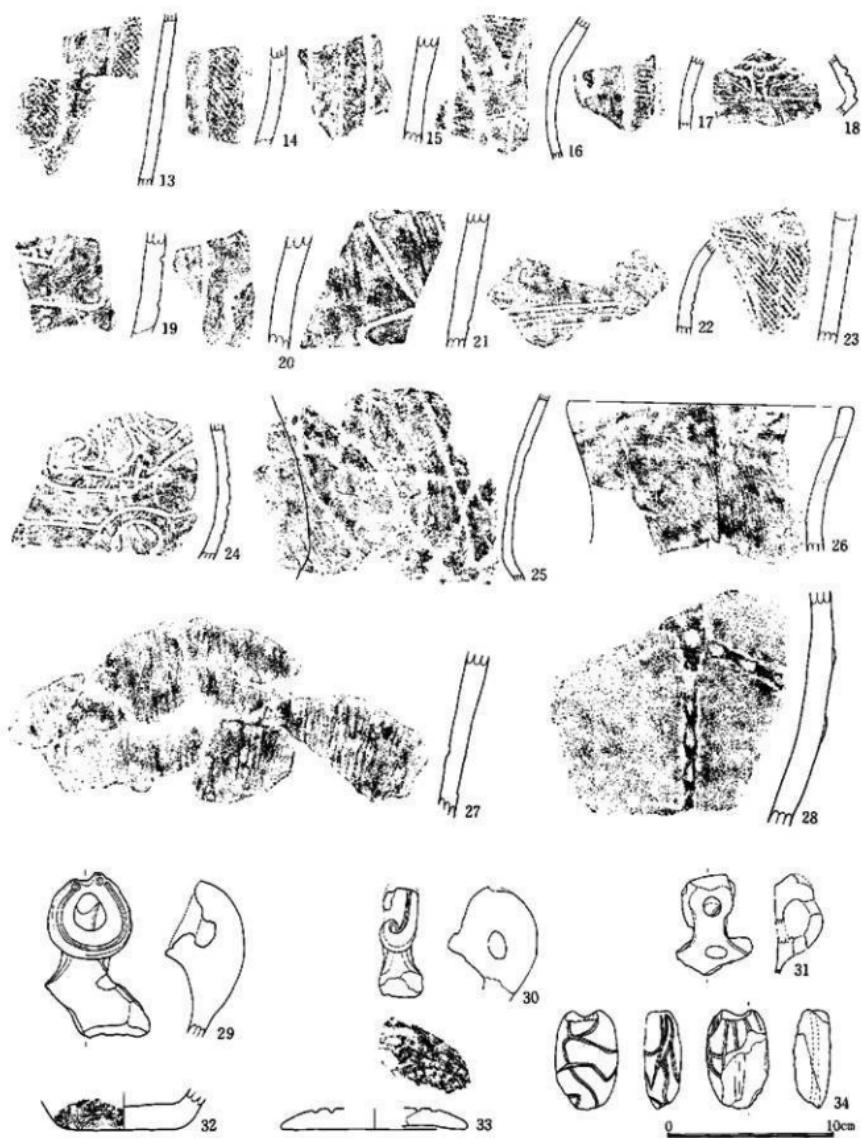


图-92 J 10号住居跡出土土器 (2)

表-28 J10号住居跡出土土器観察表 (図-91・92 図版-80・81)

番号	遺物番号	文様構成・文様指文・器形の特徴	①胎土 ②色痕 ③残存	時 期	出土位置	備 考
1	33	小波状口縁。C字状比線と円形剥突。沈線区画による文様で模文L.R.が充填される。	①細粒②淡黄色③口縁部	称名寺1	室内	
2	20	沈線。模文L.R.	①中粒②にい褐色③口縁部	称名寺1	-6	
3	47	沈線区画。模文L.R.	①中粒・白色質物②にい褐色③口縁部	称名寺1	周縁部	
4	79	沈線。模文L.R. 口縁部内側に縫。	①粗粒②淡黄色③口縁部	称名寺1	周縁部	
5	26	沈線。模文L.R. 口縁部内側に縫。	①細粒②淡黄色③口縁部	称名寺1	+26	
6	63	小波状口縁。沈線区画。	①細粒②淡黄色③口縁部	称名寺2	周縁部	
7	105	沈線。	①粗粒②淡黄色③口縁部	称名寺2	周縁部	
8	90	大波状口縁。沈線。列点。	①細粒②にい褐色③口縁部	称名寺2	周縁部	
9	75	沈線。	①中粒・白色質物②にい褐色③口縁部	称名寺2	周縁部	
10	54・119	沈線。	①中粒②にい黄褐色③口縁部	称名寺2	周縁部	
11	難	横良の沈線。5~6本単位の条線。	①中粒②淡黄色③口縁部	称名寺?	-	
12	162	縦+平行沈線と垂下する4本以上の沈線。	①細粒②にい褐色③口縁部	堀之内1	周縁部	
13	131	沈線。模文L.R.	①細粒②黑色③胴部	称名寺1	室外	
14	110	横方向の沈線。模文L.R.	①細粒②にい黄褐色③胴部	称名寺1	周縁部	
15	難	沈線区画。模文L.R.	①中粒②橙色③胴部	称名寺		
16	113	沈線区画。模文R.L.	①粗粒②淡黄色③胴部	称名寺1	周縁部	
17	32	沈線区画。模文L.R.	①粗粒②淡黄色③胴部	称名寺1	周縁部	
18	10	隆帯と刻み。円形剥突。細く浅い沈線と模文L.R.	①細粒②にい黄褐色③胴部	堀之内1	+20	
19	難	太い沈線と列点。	①中粒②淡黄色③胴部	称名寺2	-	
20	16	沈線。	①中粒②淡黄色③胴部	称名寺2	周縁部	
21	116	太い沈線。	①中粒②淡黄色③胴部	称名寺2	土坑内	
22	5	肘部のくびれた横方向の3条の沈線。その上下に沈線文。	①細粒②淡黄色③胴部	称名寺2	+12	
23	140	沈線。模文L.R. 模文坤が主体で、施文方向が不規則。	①中粒②淡黄色③胴部	称名寺1	室外	
24	120・127・129	沈線による文様構成。施文L.R.が充填される。	①細粒②橙色③胴部	堀之内1	室外・周縁部・土坑内	
25	149	不規則な太さの沈線によって「」字形を基礎とする。文様構成は不規則。	①中粒②黄褐色③光	称名寺2	炉内	
26	49	無文部。斜め方向の磨き。口縁内側に縫がつく。	①中粒②橙色③口縁部	称名寺2	住居北側	
27	38・102・152	無文部。横方向の磨き。	①中粒②橙色③胴部	称名寺2	北西周縁部	
28	117	隆帯と太い刻み。	①粗粒②橙色③胴部	中~後期	+38	
29	2	C字状の沈線と剥突。2方向からの円孔。口縁内側に縫がつく。	①細粒②淡黄色③把手	称名寺2	+7	
30	160	把手。内側にC字文。円孔。	①細粒②淡黄色③把手	称名寺2	周縁部	
31	難	円孔を2つ有する把手。沈線。	①中粒②にい橙色③把手	称名寺2	-	
32	45	遺物不明			周縁部	

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①施上 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
33	3	比縞内に円形刻突。	①細粒②灰黄色③蓋	後期	-13	
34	126	土版あるいは土縛か。4面に比縞による文様。	①細粒②褐色③土版あるいは土縛	後期	+15	

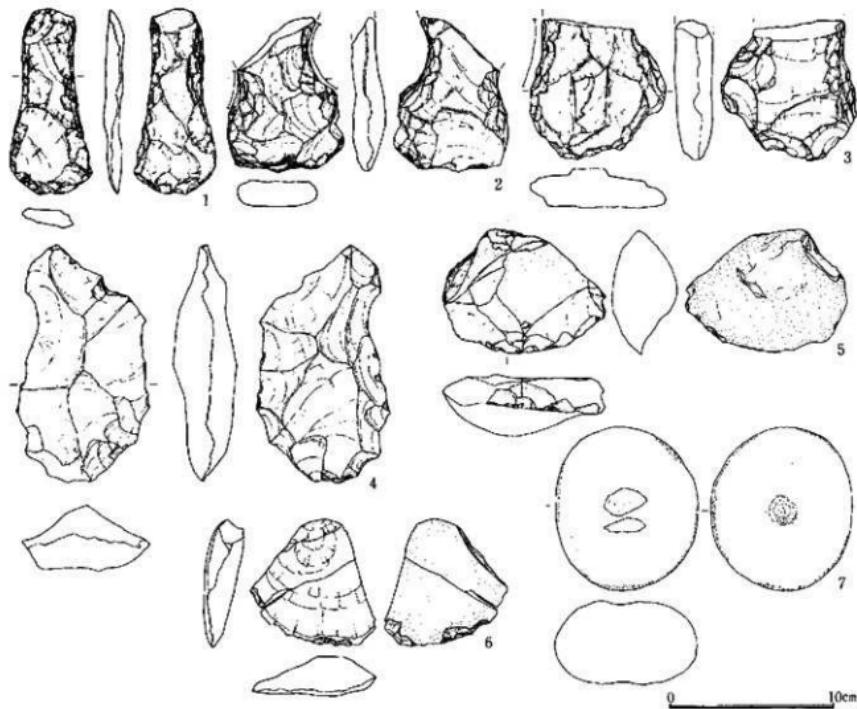


図-93 J10号住居跡出土石器（1）

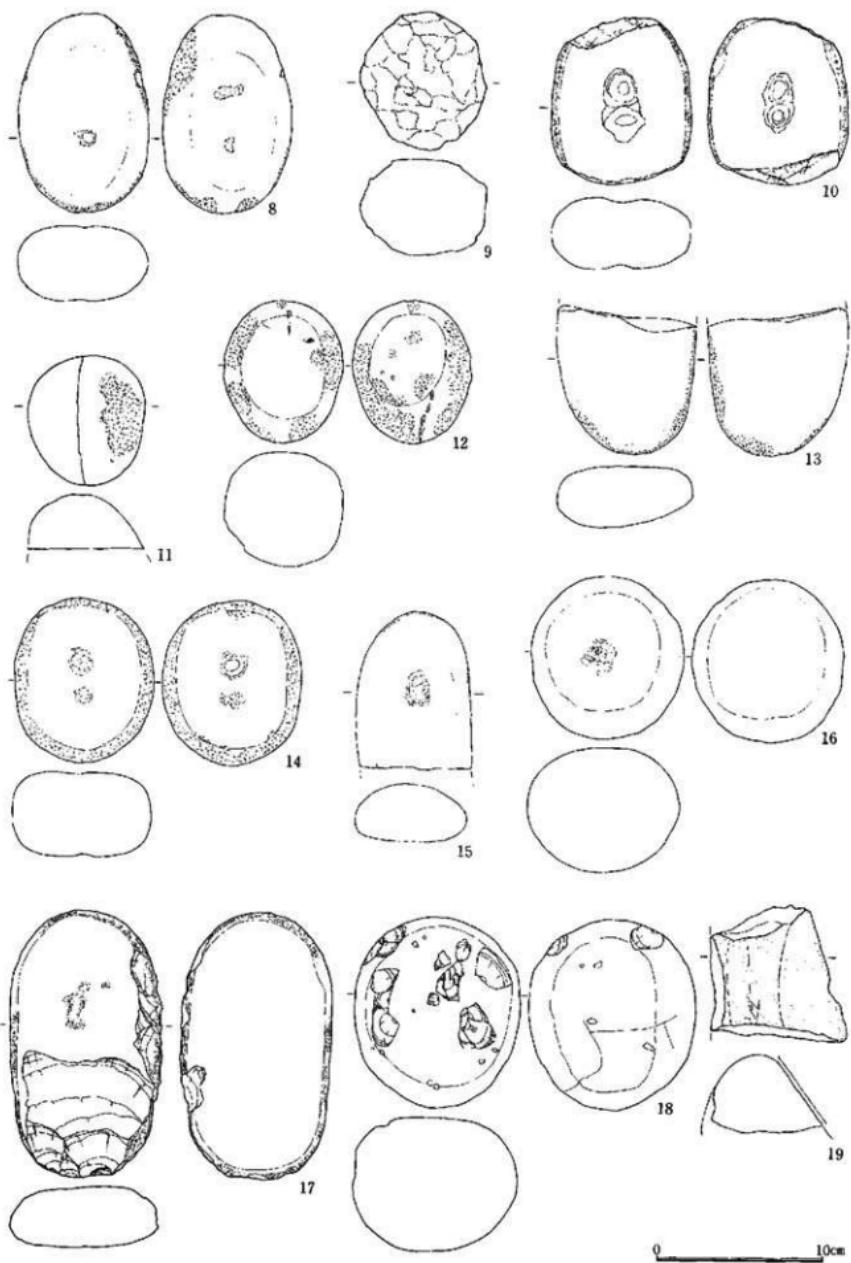


图-94 J 10号住居跡出土石器 (2)

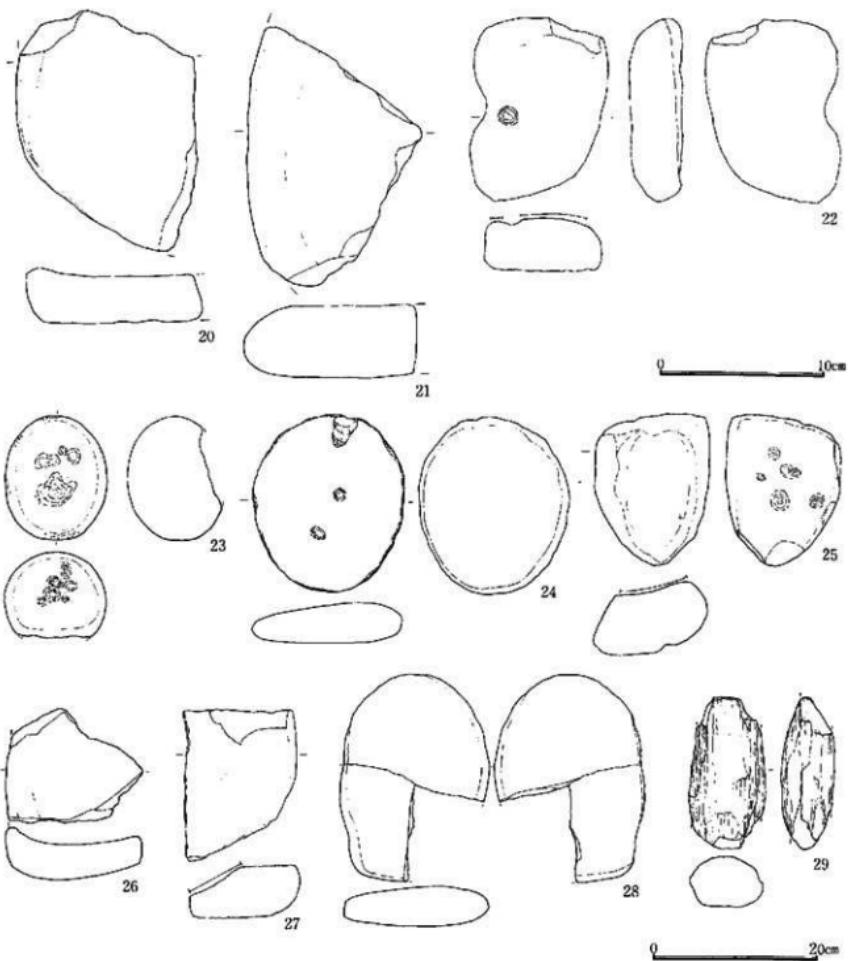


図-95 J10号住居跡出土石器(3)

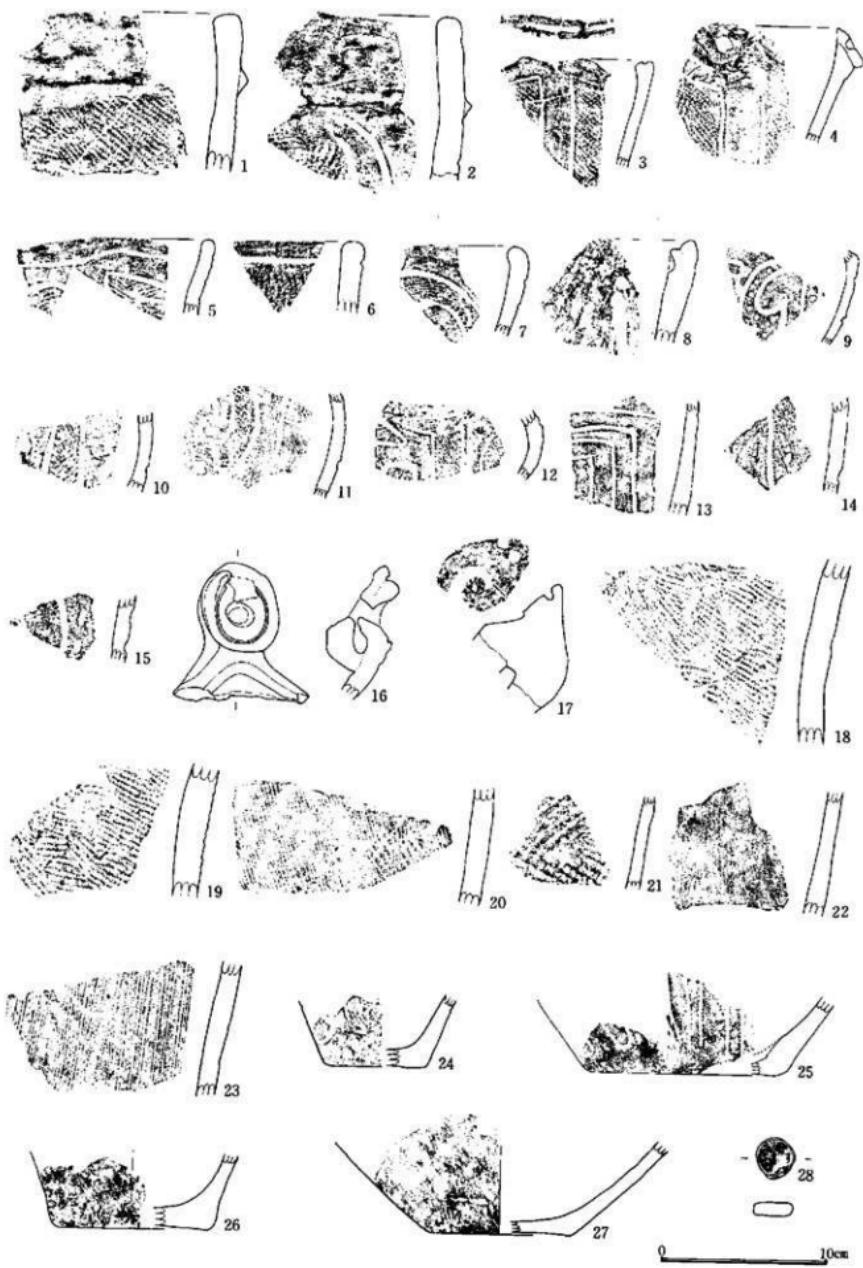
表-29 J10号住居跡出土石器属性表

No.	遺物 番号	器種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度						備 考
									A	B	a	b	c	d	
1	32	打製石斧	11.0	5.0	1.2	61	黑質	45	—	—	—	—	—	—	撥形 +35
2	8	刀	(9.2)	6.9	2.0	130	西安	45	—	—	欠	減2	漬	漬	分鋸形・基部欠 +上執内
3	74	刀	(8.3)	8.1	2.3	179	?	70	—	—	欠	—	漬	—	分鋸形・基部欠 +16
4	51	刀	14.2	8.0	3.8	340	黑質	70	—	—	—	—	—	—	住外
5	31	凸刃削器	7.5	9.6	3.9	240	?	75	—	—	—	—	—	—	+36
6	28	凸刃石器	7.6	7.5	2.4	120	?	60	—	—	—	—	—	—	+19

No	遺物 番号	器 種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	石材	刃角	使用度・装着痕の位置・程度					備 考	
									A	B	a	b	c		
7	144	円錐石器	9.7	8.5	5.0	635	安	一	凹→擦2	凹→擦2	擦1 →擦2	擦1 →擦2	火→凹・縫 P内		
8	96	〃	11.8	7.7	4.5	625	〃	一	凹→擦1	凹→擦1	擦2 →擦1	擦2 →擦1	縫2 →擦1	周縫部	
9	99	〃	8.3	7.7	5.7	455	花		擦3→擦3	擦3	擦3 →擦3	擦3 →擦3	縫3	周縫部	
10	61	〃	10.0	8.4	4.3	550	安		凹→擦2	凹→擦2	擦3	擦3 →擦1	縫1	周縫部	
11	雜	〃	(7.8)	(7.0)	(3.2)	248	質	--	擦2	欠	--	--	--	覆	
12	157	〃	8.5	7.2	6.8	542	化	一	擦3	擦2→擦2	擦2 →擦2	擦2 →擦2	縫2 →擦2	周縫部	
13	30	〃	(8.9)	8.4	3.7	394	〃	一	擦2	--	欠	縫2	縫1	位置不	
14	124	〃	9.8	8.3	5.0	636	安	一	凹→擦1	凹→擦1	擦2 →擦1	擦2 →擦1	縫2 →擦1	+7	
15	126	円錐石器	(9.5)	7.1	3.5	370	安	一	擦2	--	擦1	欠	縫1	+15	
16	12	〃	9.8	9.2	7.4	900	花	一	擦2→擦2	擦2	擦2	擦2	擦2	-51	
17	138	〃	16.0	9.0	3.8	745	安	一	擦2	--	擦1	擦3	擦3	上執内	
18	57	〃	11.5	10.0	8.2	1,260	〃		擦2→擦3	擦2	擦2 →擦3	擦2 →擦3	擦2 →擦3	擦2 →擦3	若干火→破損・周縫部
19	95	石	■	(8.2)	(8.2)	(4.8)	365	〃	一	擦2	欠	欠	擦2	欠	
20	—	〃	(14.6)	(10.8)	3.6	650	〃	一	擦2	--	--	--	--	位置不	
21	50	〃	(15.5)	10.5	4.5	785	〃	一	擦1	--	--	--	--	住外	
22	33	凹石	11.0	8.2	3.2	360	〃	一	凹1→擦1	--	--	--	--	炳内	
23	137	円錐石器	14.8	12.3	11.5	2,900	〃	一	擦2→擦1	欠	擦2 →擦1	擦2 →擦1	擦2 →擦1	土坑内	
24	70	〃	20.9	18.1	4.8	2,450	〃		凹2	--	--	--	--	周縫部	
25	85	石頭+多門石	18.2	14.0	8.2	2,100	〃	一	擦1	凹3	--	--	--	住外	
26	107	石	■	(13.8)	(16.5)	6.4	1,260	〃	一	擦1	--	欠	欠	周縫部	
27	143	〃	(18.3)	(13.6)	6.3	2,100	〃	一	擦1	--	--	--	--	住外	
28	83	〃	24.9	18.2	4.8	2,240	〃	一	擦1	擦1	--	--	--	欠住外	
29	100	石	擦	(18.3)	9.2	6.4	1,500	鱗片	一	擦	擦	欠	擦	周縫部	

表-30 J 10号住居跡石器器種・石材別一覧表

器種	石打	磨	石斧	尖頭器	石鏟	石刀	背刃	凸刃	凹刃	交刃	複刃	鉄	扶柄	鍔	R	U	磨	草	円	石	棒	石	多	凹	底	刺	石	縫	その他の						
石材	鐵	鋸	斧	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	F	F	右	石	棒	石	棒	石	底	石	片	石核	縫	計							
黒色質岩	2																										35	1	40						
白質岩																													1						
黑色安山岩	2																												11		13				
石英安山岩																														1					
安山岩																													9	7	1	28			
花崗岩																													4						
綠泥片岩																													1		2				
計	4																												14	1	7	1	47	13	89



图· 96 J 11号住居跡出土土器

表-31 J11号住居跡出土土器観察表(図-96 図版 81)

番号	遺物番号	文様 構成・文様 施文・器形の特徴	①底土 ②色調 ③焼存	時期	出土位置	備考
1	44	横方向の彫跡起。縦文L.R。	①中粒②淡黄褐色③口縁部 ①中粒②にぶい黄褐色③口 縁部	加賀利E 4	東周縁内	
2	2	彫痕起により口縁部無文帯が形成。縦文R.Lを買入して 沈線区画の文様がある。	①細粒②にぶい黄褐色③口 縁部	加賀利E 4	+ 9	
3	17	口唇部に刺突の連続状線。沈線区画と縦文L.R。	①細粒②にぶい黄褐色③口 縁部	称名寺1	南東 周縁内	
4	15	円形刺突とC字状の突起。沈線区画と縦文L.R。	①細粒②淡黄色③口縁部	称名寺1	東南 周縁内	
5	10・11	沈線区画によりY字文と縦文L。	①細粒②淡黄色③口縁部	称名寺1	東南 周縁内	
6	13	沈線区画。縦文R.L。	①中粒②淡黄褐色③口縁部	称名寺1	+ 5	
7	縦	沈線区画による縦文R.L。	①細粒②淡黄褐色③口縁部	称名寺1		
8	5	人波状口縁。底面にはC字状の連続刺突の比縫。内側 にも円形刺突がつく。	①中粒②橙色③口縁部	称名寺1	底底	
9	縦	沈線区画。縦文L.R。施文後、円形刺突。	①細粒②淡黄色③口縁部	称名寺1	-	
10	29	割みのある隆筋。沈線区画。縦文R.L。	①中粒②燒色③胴部	称名寺1	往外	
11	縦	沈線区画。縦文L.R.	①中粒②灰褐色③胴部	称名寺1	-	
12	9	沈線区画。縦文L.R.	①中粒・白色蠶物②にぶい 黄褐色③胴部	称名寺1	P ₃ 内	
13	14	沈線。沈線重ね。	①細粒②にぶい黄褐色③胴 部	烟之内1	東南 周縁内	
14	16	沈線区画をし、擦痕と磨きを交互に配する。擦痕部に列 点。	①中粒・白色蠶物②褐灰色 ③胴部	称名寺2	+ 8	
15	17	沈線。列点。	①中粒・白色蠶物②淡黄色 ③胴部	称名寺2	南東 周縁内	
16	51	大波状口縁。把手。円孔の回りに刺突と沈線。柄部は沈 線区画。	①中粒②淡黄色③把手	称名寺2	+ 22	
17	6	把手。刺突が2ヶ所に付けられる。溝巻きの比縫。	①細粒②淡黄色③把手	称名寺1	底底	
18	44	縦文L.R.	①中粒②にぶい黄褐色③胴 部	加賀利E 4	東周縁内	
19	13・14	縦文L.R.	①中粒②にぶい黄褐色③胴 部	加賀利E 4	東周縁上	
20	14・45	縦文L.R.	①中粒②淡黄褐色③胴部	加賀利E 4	東周縁内	
21	29	羽状縦文。縦文L.R.	①繊維・砂粒②にぶい褐色 ③胴部	黒浜	往外	
22	19	無文部。歓方向の磨き。	①中粒②明黄褐色③胴部	-	標高不 明	
23	7	歓方向の条線。	①中粒・白色蠶物②にぶい 黄褐色③胴部	加賀利E 4	南東 周縁内	
24	13	沈線。縦文L.R.	①中粒・白色蠶物②橙色③ 底部	称名寺1	東周縁内	
25	44・54	沈線区画。	①中粒②淡黄色③底部	称名寺2	東周縁内 北周縁内	
26	45	無文部。	①細粒②淡黄色③底部		東周縁内	
27	56	細い沈線。	①中粒・白色蠶物②にぶい 黄色③底部	称名寺1	+ 8	
28	縦	土闘円盤。沈線。側面研磨が行き届いている。	①中粒②明赤褐色③上製円 盤。	称名寺2	-	



图-97 J11号住居跡出土石器（1）

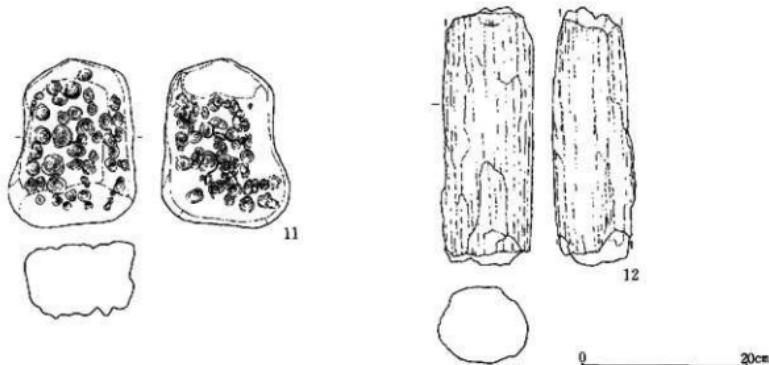


図-98 J 11号住居跡出土石器（2）

表-32 J 11号住居跡出土石器属性表

No.	遺物番号	器種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度						備 考
									A	B	a	b	c	d	
1	縫	打製石斧	13.8	6.2	2.5	230	黒質	45	—	—	—	誠3	直	横	腹
2	縫	〃	(5.3)	4.4	1.2	31	〃	—	—	—	欠	—	—	—	刃部欠 腹
3	20	楔形石器	6.4	5.4	0.8	32	黒安	20	—	—	—	—	—	—	標示不
4	縫	〃	4.2	3.2	0.8	11	黒質	60	—	—	—	—	—	—	腹
5	18	U F	6.9	7.0	1.4	65	〃	30	—	—	—	万・誠1	—	—	住外
6	21	〃	10.0	7.1	1.8	140	〃	45	—	—	—	—	—	—	+11
7	14	〃	14.2	4.2	1.0	85	黒安	30	—	—	—	刀・誠1	刀・誠1	刀・誠1	東側腹縫内
8	21	石核	8.5	7.8	4.9	400	黒質	—	—	—	—	—	—	—	+11
9	8	円錐石器	12.4	9.5	5.7	850	安	—	凹2	凹2	誠1	誠1	誠2	誠2	縫一火一凹 +10
10	4	〃	10.3	9.3	4.4	500	〃	—	縫1	擦1	縫1	縫1	縫3	縫1 —縫1	縫1 —縫1 縫3 縫上
11	3	多凹石	19.8	15.6	9.0	3,800	〃	-	凹3	凹3	—	—	—	—	-5
12	1	石棒	(30.8)	10.8	10.0	5,550	縫片	—	—	—	欠	欠	—	—	欠 東側腹縫上

表-33 J 11号住居跡石器種・石材別一覧表

石材	器種	石器種														計																		
		打	磨	石	尖	頭	石	鋸	背	直	凸	凹	交	複	鋸	抉	楔	兼	R	U	磨	敲	圓	石	棒	石	多	凹	石	鑿	鉄	石	片	縫
黒色頁岩	打製石斧	2																											28	1	34			
黒色安山岩																													10	1	12			
安山岩																													4	7	1			
黒曜石																													1	5	6			
絆配片岩																													1	1	1			
その他の																													44	1	5	63		
計		21																	2	3	2	1		1										

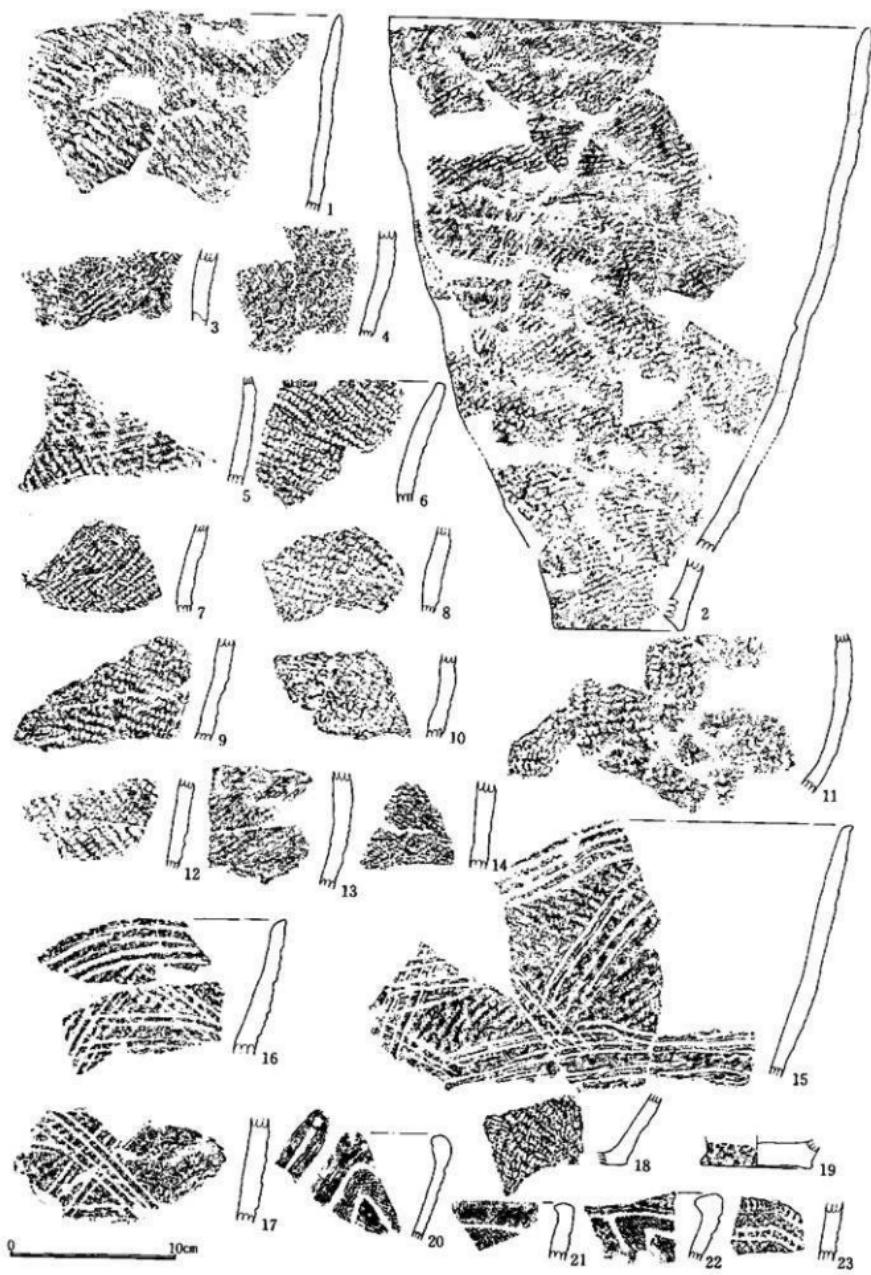


图-99 J 12号住居跡出土上器

表-34 J12号住居跡出土土器観察表(図-99 図版-81・82)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存 部	時期	出土位置	備考
1	7	全面太いRの斜縞文。縦い波状口縁。口縁端内削。	①織維②によい橙色③口縁部	黒浜	+31	
2	17	全面Lの斜縞文。問ぎぎみに立つ平口縁、口縁端内削。	①織維②によい橙色③ほぼ完形	黒浜	+25	
3	雜	R・Lの羽状縞文。	①織維②によい橙色③胴部	黒浜	-	
4	雜	Lの斜縞文。	①織維②橙色③胴部	黒浜	-	
5	22	RL・LRの羽状縞文。	①織維②によい橙色③胴部	黒浜	+23	
6	雜	RLの斜縞文。平口縁。口縁端割列。	①織維②浅黄褐色③口縁部	黒浜	-	
7	22	LRの斜縞文。	①織維②によい黄褐色③胴部	黒浜	+23	
8	17	RLの斜縞文。	①織維②橙色③胴部	黒浜	+31	
9	雜	RLの羽状縞文。	①織維②橙色③胴部	黒浜	-	
10	雜	RL・LRの羽状縞文。	①織維②浅黄褐色③胴部	黒浜	-	
11	11	RL・LRの羽状縞文(不明確)。	①織維②橙色③胴部	黒浜	+11	
12	17	RLの斜縞文。	①織維②橙色③胴部	黒浜	+34	
13	17	LRの斜縞文。	①織維②橙色③胴部	黒浜	+25	
14	17	RL・LRの羽状縞文。	①織維②明赤褐色③胴部	黒浜	+30	
15	5・10	R・Lの羽状縞文。平行沈線による変形構成。波状口縁。口縁端内削。	①織維②橙色③口縁部	黒浜	+13 +14	16・17と同一個体
16	5	R・Lの羽状縞文。平行沈線による変形構成。波状口縁。口縁端内削。	①織維②によい橙色③口縁部	黒浜	+25	
17	1・10	R・Lの羽状縞文。平行沈線。	①織維②によい褐色③胴部	黒浜	+33 +14	
18	雜	RL・LRの羽状縞文。	①織維②橙色③胴部	黒浜	-	
19	雜	RL・LRの羽状縞文。若干上げ底。	①織維②橙色③胴部	黒浜	-	
20	雜	大波状口縁。口唇部に刺突、比縫。胴部には沈線、縞文L・R。口縁部内側に縫が付く。	①織維②淡黄色③口縁部	称名寺1	-	
21	雜	沈線。縞文RL。口縁部内側に縫が付く。	①織維②淡黄色③口縁部	称名寺1	-	
22	雜	沈線。縞文LR。口縁部内側に縫が付く。	①中粒②橙色③口縁部	称名寺1	-	
23	雜	C字形八形刺突列入り平行沈線。	①織維②によい橙色③胴部	黒浜	-	



图-100 J 12号住居跡出土石器

表-35 J 12号住居跡出土石器属性表

No.	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備考
									A	B	a	b	c	
1	3	尖頭器	12.6	4.0	2.7	125	黒質	—	—	—	—	—	—	+24
2	24	〃	13.4	3.9	3.0	138	々	—	—	—	—	誠1	—	+36
3	雜	打製石斧	(4.0)	4.2	1.5	29	々	—	—	—	—	—	—	刃部欠損
4	雜	交刃削器	10.7	4.9	2.3	117	黒質	—	—	—	—	誠1	—	—
5	雜	U F	6.8	7.1	2.2	70	々	36	—	—	—	誠1	—	—
6	19	〃	4.9	6.3	1.2	35	々	30	—	—	—	—	—	+7
7	雜	凸刃削器	10.8	5.7	1.7	89	々	40	—	—	—	—	—	—
8	27	凹縫石器	15.2	11.8	6.4	1,550	花	—	擦2	擦2	擦2	擦2	擦2	擦2→擦2
9	23	〃	12.4	9.7	3.2	595	安	—	火→凹2→擦2	火→凹2→擦2	火→敲1	火→敲1	火	火→凹→敲・擦+21
10	6	〃	9.2	7.0	4.1	350	々	—	擦1→凹1	擦1→凹2	—	敲1	擦1	擦1
11	雜	〃	9.8	8.3	3.8	408	々	—	擦1→凹3	擦1→凹3	敲1	敲1	敲1	敲1→敲・凹
12	6	〃	8.5	6.8	3.7	320	々	—	擦2	擦1	—	—	—	+26

表-36 J 12号住居跡石器器種・石材別一覧表

石材 器種	石 打 磨 斧	磨 斧	石 小 刀	石 大 刀	研 磨 斧	直 刃 刀	凸 刃 刀	交 刃 刀	削 器	刮 刀	擦 器	R U	磨 石	内 石	棒 石	多 孔 石	凹 刃 石	研 磨 片	刮 刀	石 核	其 他
	黑色質岩	1	2	—	—	—	1	1	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	21	—	28
黑色安山岩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	—	4
安山岩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	4
花崗岩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
計	—	1	2	—	—	—	1	1	—	—	—	—	2	—	—	5	—	—	25	—	37

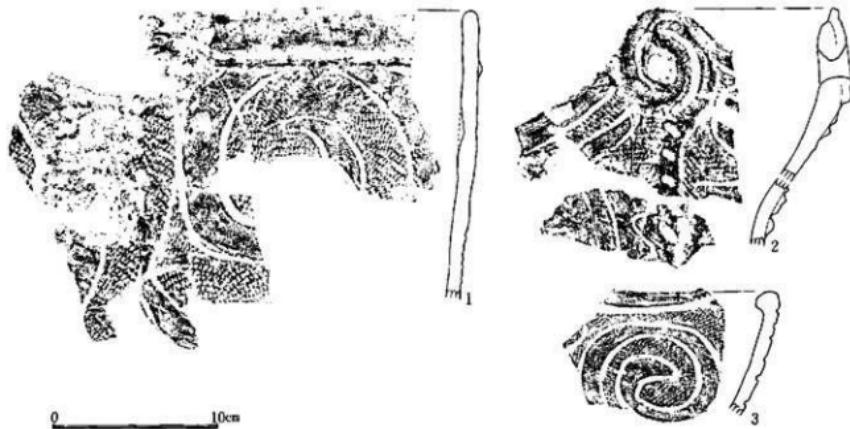


図-101 J 13号住居跡出土土器(1)

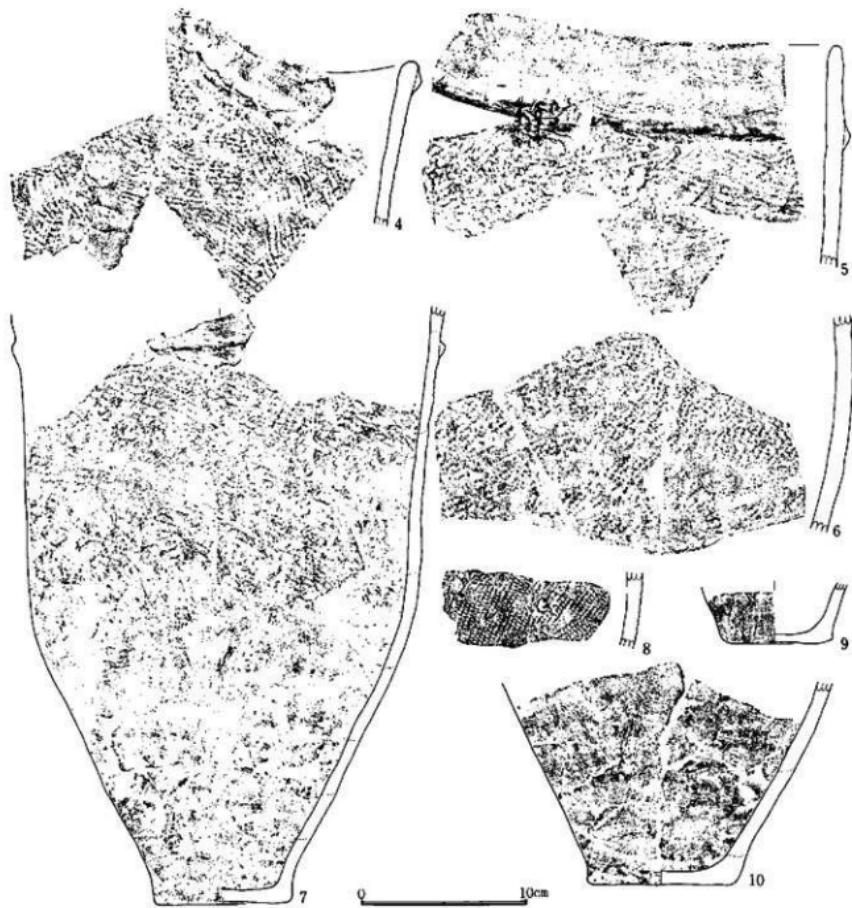


図-102 J13号住居跡出土土器（2）

表-37 J13号住居跡出土土器観察表（図-101・102 図版-82・83）

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
1	3	微隆起区画による口縁部無文帯。胴部には沈線区画の渦巻き状J字文が施文L.Rを買入する形で形成。	①中軟②淡黄褐色③口縁部	加曾利E 4	+ 8	
2	3・8	大波状口縁。突起にはC字状や円孔状施文。腰帶には刻みが入り、文様は沈線区画で推定。施文L.Rが施文。	①中軟②にぼい褐色③口縁部	椎名寺I +26 +27		
3	5	小波状口縁。S字文・沈線区画。口縁部内面に縫が付く。	①中軟②灰黄褐色③口縁部	椎名寺I + 3		
4	1・8・9	微隆起区画によってやや波状をなす口縁部無文帯。施文L.Rは上部では算刀向の施文。	①中軟②にぼい黄褐色③口縁部	加曾利E 4	+ 7 +17 +12	

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
5	3・7	微隆起区間にによる口縁部無文帯。微隆起には瘤。圓文L Rは上部で異方向施文。	①中粒②淡黄色③口縁部	加曾利E 4 +17		
6	5・6	5と同一個体。圓文L R。	①中粒②淡黄色③肩部	加曾利E 4 +35	5と同一個体	
7	11	陰唇によって口縁部無文帯構成。胴形には圓文L Rが施文。	①中粒・白色鉱物②灰白色	加曾利E 4	埋甕	
8	3	圓文L R。	①中粒②灰黃褐色③肩部	加曾利E 4	+18	
9	16	無文部。	①中粒②橙色③底部	—	+26	
10	13	無文部。	①中粒②よい橙色③底部	—	+21	

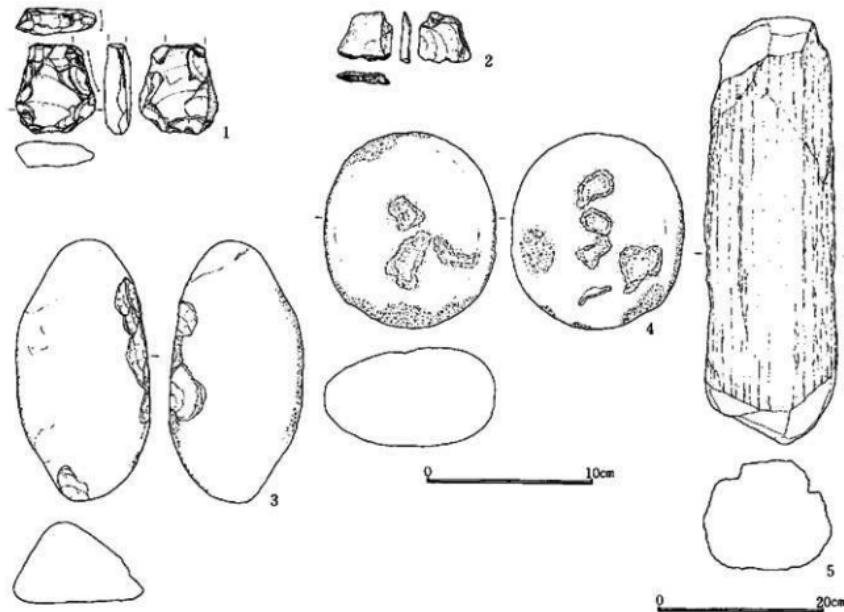


図-103 J13号住居跡出土石器

表-38 J13号住居跡出土石器属性表

No	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	石材	刃角	使用痕・波着痕の位置・程度					備考	
									A	B	a	b	c		
1	鍬	打製石斧	5.5	4.7	1.6	55	黒頁	50	—	—	—	横	横	横	複
2	22	對面縫石器	3.2	3.6	0.7	7	白	70				—	—	—	北東壁立上り
3	10	両刃兼用器	8.0	15.7	4.8	830	安	55	—	—	離1	横	—	—	+12
4	21	円錐石器	11.7	10.4	16.9	1,150	白	—	凹3→離2	凹3→離2	離2→離1	離2→離1	離2→離1	P.m内	
5	4	石棒	(51.4)	(16.2)	(13.4)	1,350	綠片	—			—	—	—	—	全体風化強 +28

表-39 J 13号住居跡石器器種・石材別一覧表

器種 石材	石 打 磨 并 斧	磨 石 器	尖 頭 器	石 核 付	背 直 刃	凸 刃	凹 刃	交 刃	復 刃	鉋 刃	入 刃	鋸 刃	抉 刃	楔 刃	鏟 刃	R F	U F	磨 石	磨 石	敲 石	石 核 状	石 核 皿	多 孔 石	凹 孔 石	磁 石	刮 石	石 片	石 核	その 他	計	
	鐵																														
黑色頁岩	1																												7	9	
黑色安山岩																													2	2	
安山岩																													4	6	
黒曜石																													1	1	
珪 岩																													1	1	
綠泥片岩																													1	1	
結晶片岩																													1	1	
砂 岩																													1	1	
計	1																												11	6	22

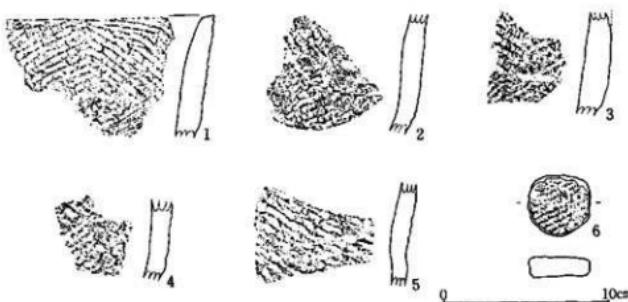


図-104 J 14号住居跡出土土器

表-40 J 14号住居跡出土土器観察表（図-104 図版-82）

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③焼存	時 期	出土位置	備 考
1	4	R・L羽状織文。平口縁。口縁端内削。	①繊維②明黄褐色③口縁部	黒浜	+32	
2	稚	R L・L Rの羽状織文。	①繊維②明赤褐色③口縁部	黒浜	-	
3	著	R・Lの羽状織文。	①繊維②暗色③口縁部	黒浜	--	
4	19	R L・L R (?) の羽状織文。	①繊維②橙色③口縁部	黒浜	周溝内	
5	21	Rの斜織文。	①繊維②明黄褐色③口縁部	黒浜	位置不	
6	15	Rの斜織文。土器片転用凹盤。	①繊維②よい黄橙色③丸形	黒浜	周溝内	

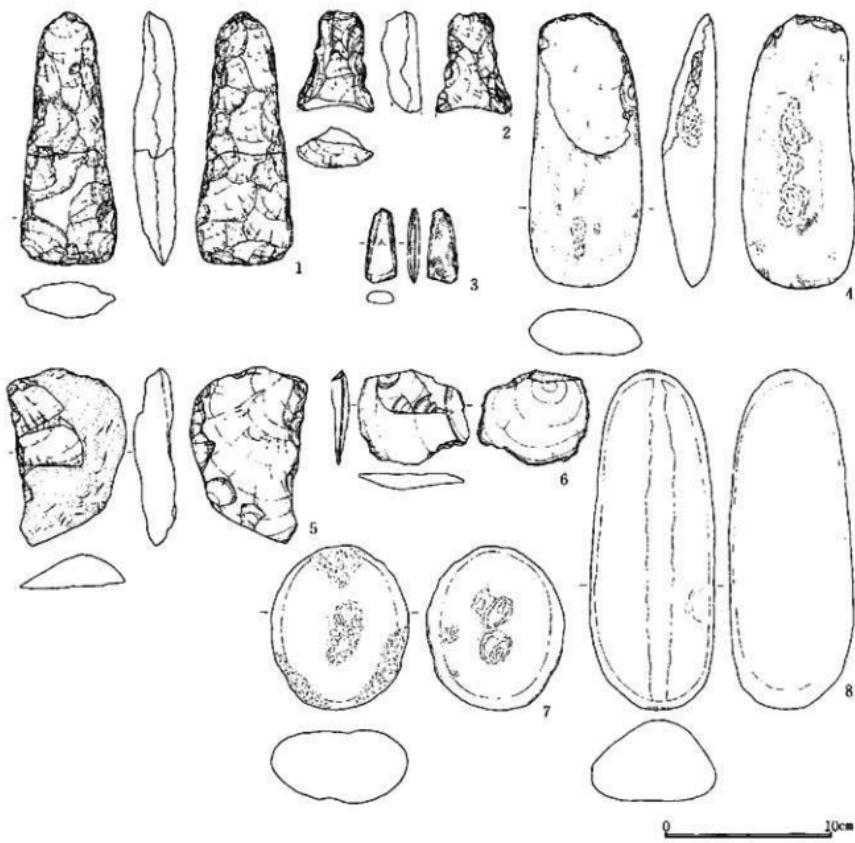


図-105 J14号住居跡出土石器

表-41 J14号住居跡出土石器属性表

No.	遺物 番号	器種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	石材	刃角	使用 機・装着痕の位置・程度						備 考
									A	B	a	b	c	d	
1	鍬	打製石斧	15.2	5.7	2.5	245	安	60	—	—	—	滅・刃	—	—	腹
2	鍬	〃	(6.0)	4.5	2.4	52	黒質	—	—	—	—	—	—	—	腹
3	3	磨製石斧	4.5	1.8	0.7	10	蛇	45	擦3	擦3	—	刃・滅	擦3	擦3	—7
4	1	〃	16.4	6.7	3.2	546	綠色 漆片	65	敲2→擦3	敲2→擦3	擦3	擦3	擦3	擦3	擦3→ 敲2 周溝内
5	9	複刃削器	9.6	8.5	2.5	172	黒質	60	—	—	—	—	—	—	+2
6	19	U F	5.7	6.7	1.0	30	〃	25	—	—	—	刃	刃	刃	周溝内
7	14	円錐石器	9.7	8.3	4.3	750	安	—	凹2→擦1	凹2→擦1	擦1	擦1	擦1	擦1	凹→擦1 →敲3 +6
8	11	敲 8 石	20.3	7.4	4.7	1,150	〃	—	—	—	敲1	敲1	敲1	敲1	+2

表-42 J 14号住居跡石器器種・石材別一覧表

器種 石材	石	打	磨	石	尖	石	擦	背	直	凸	凹	交	複	狀	標	R	U	將	裝	圓	石	棒	石	多	圓	石	紙	制	石	擦	其 他	計
	灰 岩	打	磨	石	尖頭	石	擦	背付	直刃	凸刃	凹刃	交刃	複刃	狀刃	標頭	R刃	U刃	將頭	裝頭	圓頭	石頭	棒頭	石頭	多頭	圓頭	石頭	紙頭	制頭	石頭	擦頭	其他	計
黒色頁岩	1														1																1	24
安山岩	1																														3	6
蛇紋岩		1																														1
黒色片岩																															1	
その他の		1																														1
計		2	2													1														21	4	33

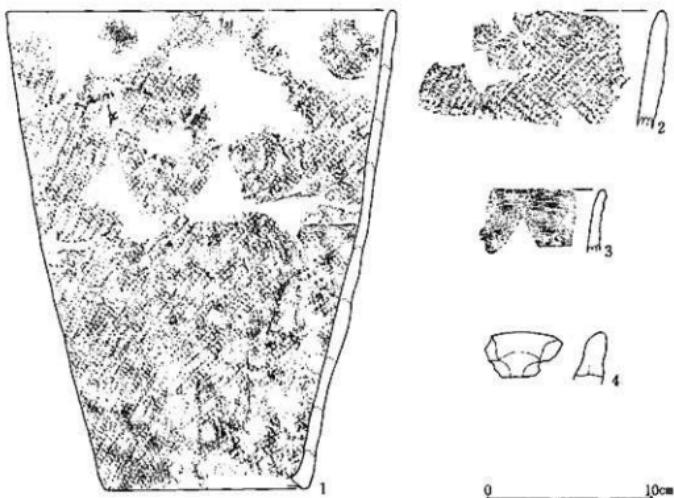


図-106 J 15号住居跡出土土器

表-43 J 15号住居跡出土土器観察表 (図-106 図版-82・83)

番号	遺物番号	文様構成・文様族文・器形の特徴	①始上②色調③残存	時 期	出土位置	備 考	
						部	部
1	1	全面しRの斜彫文、直線的に開く。平口縁。内面上位横、下位縱縫で。	①織紋②にい赤褐色③底部欠損	黒浜	埋蔵		
2	雅	R L + L R 羽状縫文。縦い波状口縁。	①織紋②明赤褐色③口縫部	黒浜	-		
3	1	横位平行沈線。撲状工具の刺突列。	①織紋②明赤褐色③口縫部	黒浜	埋蔵		
4	1	全面無地。土偶の一部?	①織紋②にい橙色③土偶?	-	埋蔵		

表-44 J 15号住居跡出土石器属性表

No.	遺物番号	器 標	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備 考	
									A	B	a	b	c	d	
1	3	尖頭器	13.1	3.9	3.3	158	黒頁	-	-	-	横	-	横	横	+6
2	雅	撲 縫	4.4	7.0	1.4	42.5	#	60	-	-	-	-	-	-	覆
3	6	凸刃前縫	6.3	8.7	2.1	69	#	25	-	-	-	刃	-	-	+9

No	遺物 番号	器種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (K)	石材	刃角	使用痕・嵌着痕の位置・程度					備 考	
									A	B	a	b	c		
4	10	U F	8.6	11.4	2.3	150	#	35		-	-	-	-	+5	
5	8	彎曲錐石器	10.8	5.4	2.0	75	#	70	-	-	-	-	-	床直	
6	6	円錐石器	(8.4)	10.2	4.5	535	安	-	円1	敲1	敲1	欠	敲2	敲2	覆
7	4	円錐石器	10.6	6.8	2.8	305	安		敲3	敲3	敲2	敲2	-	敲3	+33
8	2	#	11.1	8.7	3.4	597	#		凹2→擦2	凹2→擦2	敲2	敲2	敲2	敲2	凹→擦→敲 床直

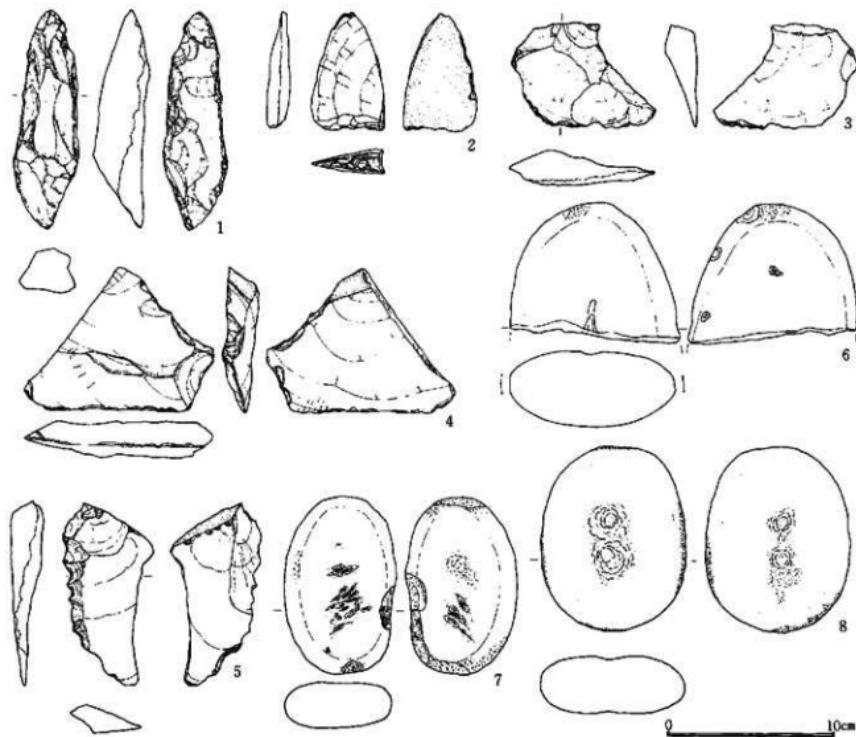


図-107 J15号住居跡出土石器

表-45 J15号住居跡石器器種・石材別一覧表

器種	石 打	磨 斧	石 斧	尖 頭 器	石 頭 器	背 付	凸 面	凹 面	交 差	複 合	接 合	鍛 錠	R U	磨 石 石 頭	圓 錐 形	錐 錐 狀	石 錐 錐 狀	多 孔 狀	凹 面	截 石 片	石 核	其 他		
黑色質岩	1	1	1						1			1											5	
安山岩																								3
計	1	1	1						1			1												8

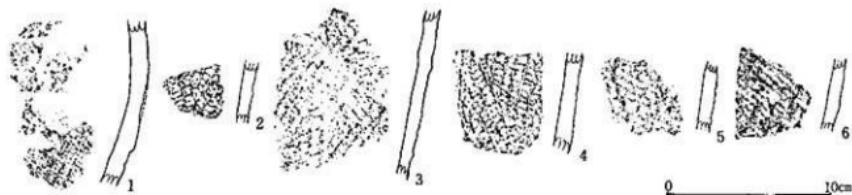


圖-108 J16號住居跡出土土器

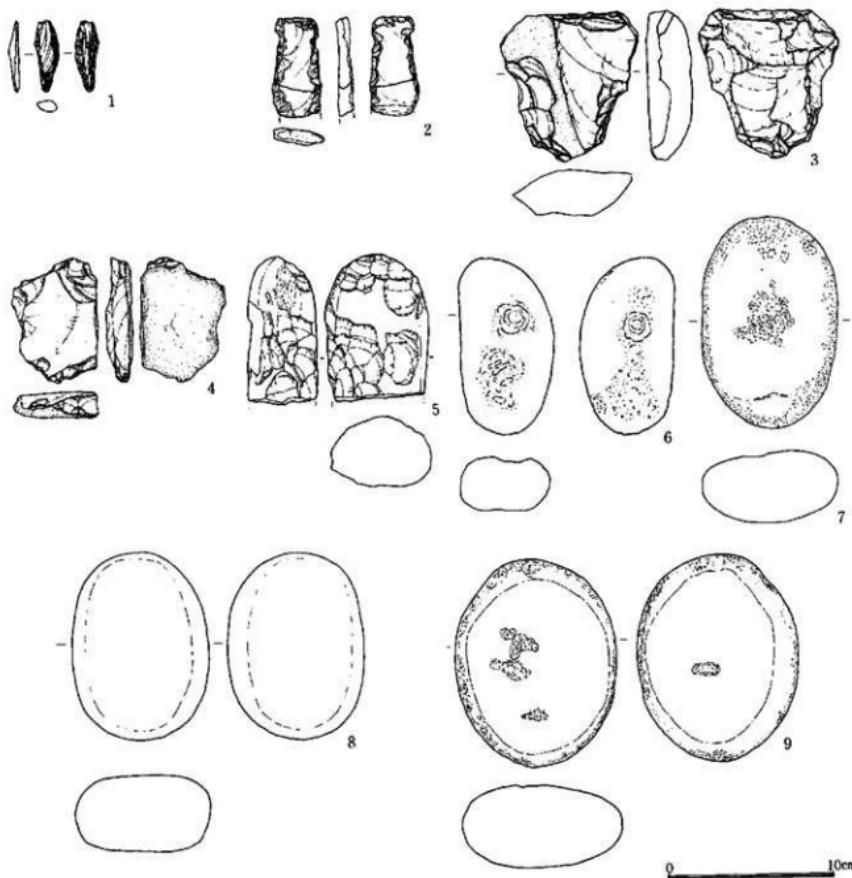
表-46 J16号住居跡出土土器觀察表（図-108 図版-83）

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①出土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
1	3・6	LR(現状)荒れて不明確。	①織維②橙色③洞部	黒浜	+12 床直	
2	雜	RL・LRの不規則な羽状範文。	①織維②にぼい橙色③洞部	黒浜		
3	1	RL・LRの不規則な羽状範文。	①織維②褐色③洞部	黒浜	北壁面	
4	4	RL・LRの不規則な羽状範文。	①織維②にぼい橙色③洞部	黒浜	-9	
5	6	Lの斜範文。	①織維②橙色③洞部	黒浜	床直	
6	雜	Lの斜範文。	①織維②橙色③洞部	黒浜	-	

表二-47 115号住居跡出土石器属性表

No	遺物 番号	器 種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度						備 考	
									A	B	a	b	c	d		
1	維	石 簸	4.2	1.4	0.6	3.1	安	—	—	—	—	—	—	—	覆	
2	8+11	石 比	(5.8)	3.0	0.9	19.5	黒質	40	誠1	—	—	—	—	—	+10	
3	11	R F	9.0	8.3	2.7	212	#	—	—	—	—	—	—	—	+10	
4	維	搔 器	5.3	7.5	1.6	85	#	60	—	—	—	—	—	—	覆	
5	維	円錐石器	8.8	6.3	4.1	380	安	—	擦2→歛3	擦2→歛3	擦2	歛3	欠	擦2→歛3	擦2→歛3	覆
6	9	#	10.3	5.6	3.3	254	#	—	火→凹 一擦1	凹→擦1	火→ 擦1	火→ 擦1	火→ 歛1	火→ 歛1	火→ 歛1	火→凹→擦 +14
7	3	#	12.6	8.2	4.3	700	#	—	擦2→歛3	擦2→歛2	歛2	歛2	歛2	歛2	歛2	+10
8	13	#	11.3	8.3	4.5	710	花	—	擦1	擦1	—	—	—	—	床底	
9	12	#	12.5	9.7	4.9	794	安	—	歛3→歛2	—	歛2	歛2	歛2	歛2	歛2	+10

表一-48 J16号佳层脉石墨矿石·石材别一覽表



图—109 J 16号住居跡出土石器

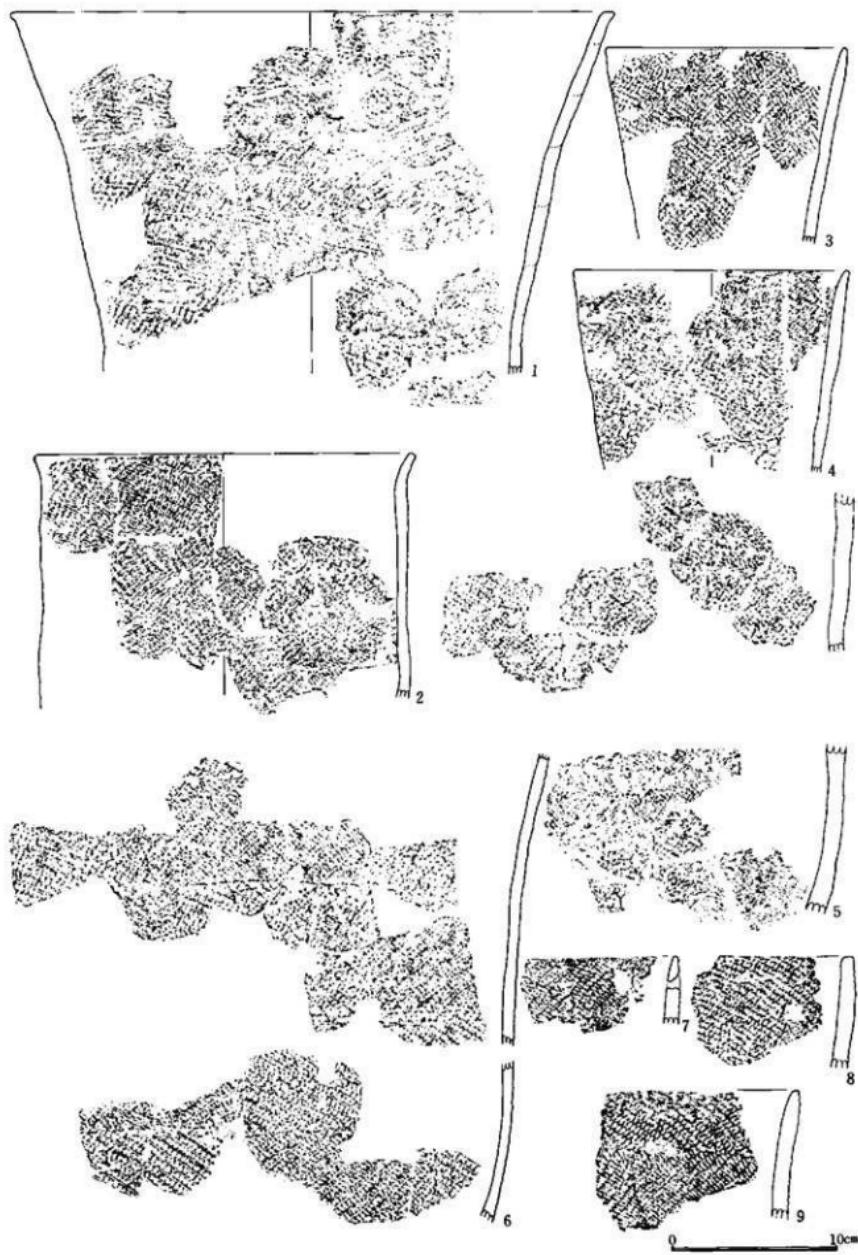


図-110 J 17号住居跡出土土器 (1)

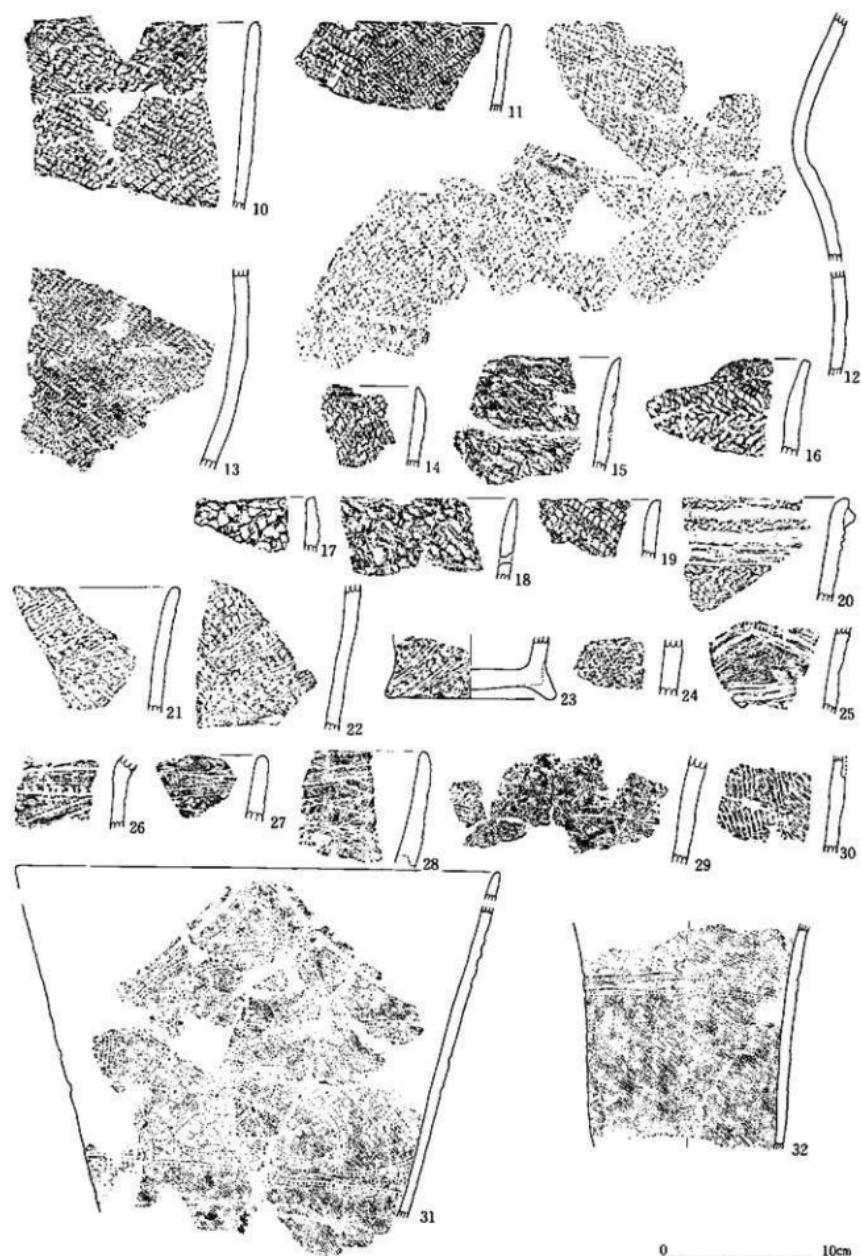


図-111 J 17号住居跡出土工具 (2)

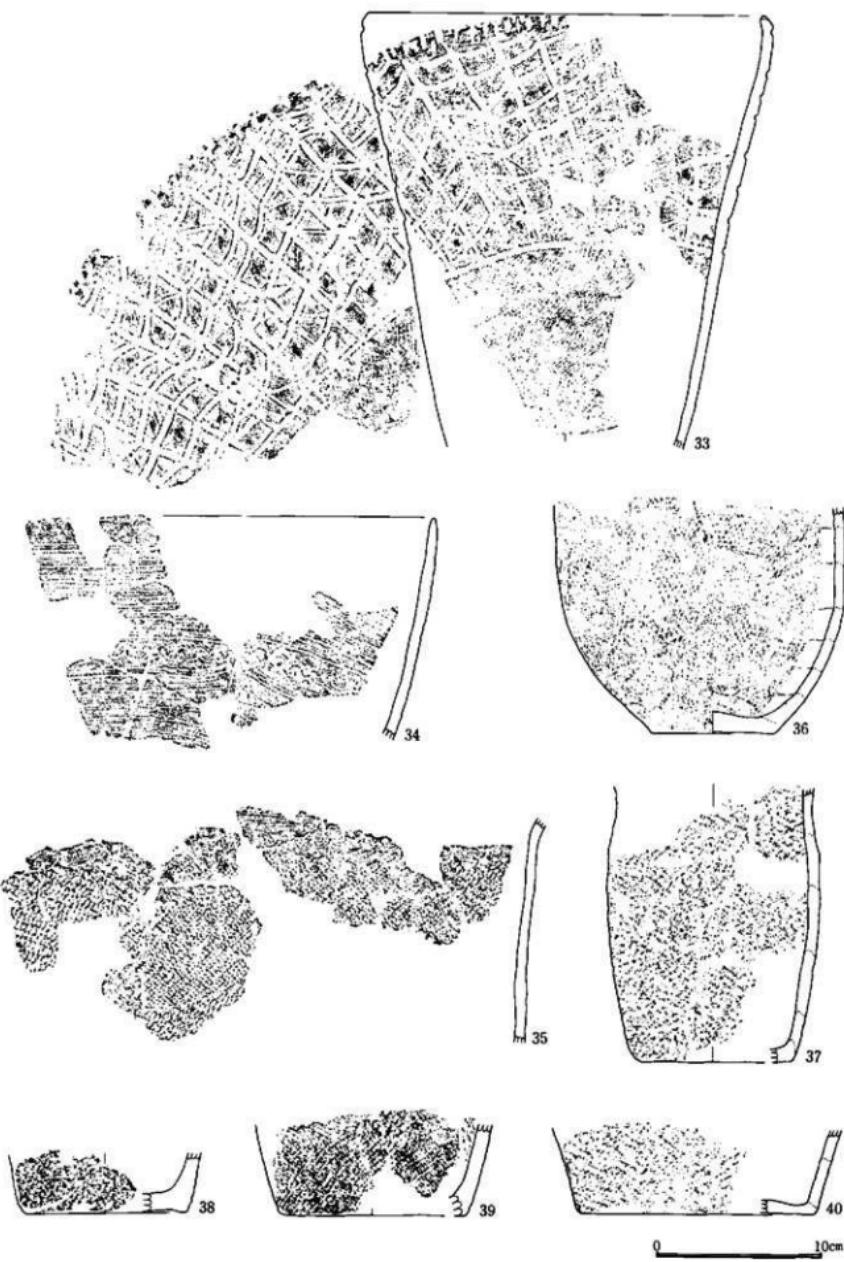


図-112 J17号住居跡出土土器 (3)

表-49 J17号住居跡出土土器観察表 (図-110・111・112 図版-83・84・85)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③保存	時期	出土位置	備考
1	5・6・28	全面R・しの羽状縞文。開きざみに立つ。平口縁。口縁端内削ぎみ平。	①織維②にい・褐色③口縁部	黒浜	+33 東壁上面	
2	70	全面RL・LRの羽状縞文。平口縁。	①織維多②にい・褐色 ③口縁部	黒浜	+6	
3	32	全面RL・LRの羽状縞文(継ぎ方方向施文)。平口縁。	①織維多②にい・褐色③口縁部	黒浜	+20~ -26	
4	47	全面RL・LRの羽状縞文。平口縁。	①織維②にい・褐色③口縁部	黒浜	+5	
5	28・40・50 76・96・98	付加条RL+R+R・RL+R (?) の羽状縞文。	①織維②橙色③胴部	黒浜	+33 +5+11 床直	
6	29・35・50 52・98	付加条RL+L+RL+Rの羽状縞文。	①織維②褐色③胴部	黒浜	東壁面-13 床直 床直	
7	47	全面RLの斜縞文。平口縁。	①織維②褐色③口縁部	黒浜	+15	穿孔
8	稚	全面RLの斜縞文。平口縁。	①織維②褐色③口縁部	黒浜	-	
9	61	全面KL・LRの羽状縞文。平口縁。	①織維②にい・褐色③口縁部	黒浜	+15	
10	98	全面KL・LRの羽状縞文。平口縁。	①織維②橙色③口縁部	黒浜	+2~ +35	
11	ピット2	付加条RL+R+RL+Lの羽状縞文。平口縁。	①織維②橙色③口縁部	黒浜	P2内	
12	76・82・89+ 90	付加条RL+R+RL-Rの羽状縞文。	①織維②にい・褐色③胴部	黒浜	+15+17 +34	
13	98	O段多条RL・LRの羽状縞文。	①織維②明黄褐色③胴部	黒浜	標高不	
14	50	全面LR (?) の斜縞文。口縁端外削。	①織維②にい・真褐色③口縁部	黒浜	床直~ +7	
15	稚	全面Lの斜縞文。口縁端内削。	①織維②にい・褐色③口縁部	黒浜	-	
16	32	全面RL・LRの羽状縞文。	①織維②にい・黄褐色③口縁部	黒浜	+20~ +26	
17	94・99	ループ (?) の平口縁。	①織維②橙色③口縁部		+7 +4	
18	77	RL (?) の斜縞文。平口縁。	①織維②にい・黄褐色③口縁部		+41	
19	53	正反の合。平口縁。口縁端内削。	①織維②浅黄褐色③口縁部		+27~ +39	
20	6・98	口縁下に隆脊、さらにその下に平行沈線。正反の合。隆脊、口縁端にも施文。平口縁。口縁端内削。	①織維②明黄褐色③口縁部		東取上面	
21	96	正反の合。平口縁。	①織維②褐色③口縁部		+11	
22	35	正反の合。	①織維②明黄褐色③胴部		+13~ +23	
23	77	正反の合。上げ底。	①織維②にい・褐色 ③底部		+41	
24	稚	RLの地文。平行沈線。	①織維②にい・褐色③胴部		-	
25	77	C字形刺突入り平行沈線による菱形構成。	①織維②橙色③胴部	黒浜	+41	
26	稚	C字形刺突入り平行沈線による菱形構成。	①織維②褐色③胴部		-	
27	92	織沈線による複雑な斜格子。	①織維②褐色③口縁部		+15~ +17	
28	稚	織沈線による複雑な斜格子。平口縁。口縁端丸。	①織維②にい・褐色③口縁部			
29	77	織沈線による複雑な斜格子。	①織維②にい・褐色③胴部		+41	
30	28	織糸Rの斜方向施文。	①織維②にい・褐色③胴部		+33	
31	33・98・105	織模様C字形爪彫文による入組文と円形竹管割突。胴部下平RL斜縞文。直線的に開く。波状口縁。	①砂粒②にい・赤褐色③口縁~胴部中位	諸磯a	+2~+35 -18+7	
32	88	織いRLの斜縞文。胴部中央に間に擦り消したC字形刺突入り2条。	①砂粒②明赤褐色③胴部	諸磯a	床直~ +32	

番号	遺物番号	文様構成・文様底文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
33	55	錐状工具の沈線による斜格子。肩部中位横線→斜線の施文。口縁端に割列。肩部下半L R羽状縞。直線的に立ち口縁下で若干内凹。①砂粒②明赤褐色③口縁→肩部中位。諸種a、床直	①織維②橙色③口縁部	黒浜	+35 +10 F24内	35と同一個体
34	42・44・115	横方向の平行沈線。コンパス文。口縁付近若干内凹。根 い波状口縁。	①織維②明赤褐色③口縁	黒浜	+27	
35	38	肩部R L・L Rの羽状縞文。コンパス文。平行沈線。	①織維②明赤褐色③肩部	黒浜		
36	55	R Lの斜縞文。内面に輪積み模様あり。	①砂粒②明赤褐色③肩部	諸種a	床直	
37	47	R L・L Rの羽状縞文。原体の境に継ぎの粘土隕起あり。	①織維②橙色③肩部下半	黒浜	+15	
38	87	R L・L Rの羽状縞文。上げ底ざみ。	①織維②橙色③底部	黒浜	+7～ +20	
39	15	R L・L Rの羽状縞文。上げ底ざみ。	①織維②明赤褐色③底部	黒浜	+36	
40	56	R L・L Rの羽状縞文。上げ底ざみ。	①織維②明赤褐色③底部	黒浜	+7～ +17	

表-50 J 17号住居跡出土石器属性表

No	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備考
									A	B	a	b	c	
1	1	縫 簡品	(2.5)	(1.5)	0.7	3.2	蛇	—	—	—	欠	—	欠	未製品 +38
2	110	石 鋸	(3.5)	1.2	0.6	2.1	黒安	—	—	—	—	欠	—	先端欠 -6
3	鍬	〃	3.4	5.8	1.2	14	黒頁	—	—	—	—	—	—	覆
4	73	尖頭器	12.7	3.5	3.3	135	〃	—	—	—	—	—	漬	覆 床直
5	42	磨製石斧	(6.7)	4.4	2.4	128	不明	60	—	—	欠	刃	—	+35
6	鍬	〃	(7.0)	(4.5)	(1.8)	35	輝	60	—	—	—	—	—	刃部のみ 覆
7	81	打製石斧	9.6	6.0	1.6	94	黒頁	30	減2	減2	—	減2	漬	漬 +10
8	鍬	〃	9.1	4.8	1.2	52	黒安	25	減2	減2	減2	減1 減2	減1	刃部使用→変形 ・覆
9	51	〃	11.7	6.2	1.6	167	黒頁	45	—	減1	—	減	漬	+39
10	98	打製石斧	(3.8)	3.9	1.0	15	黒安	20	—	—	欠	—	—	基盤欠 床直
11	鍬	〃	(8.3)	5.4	1.8	75	〃	—	—	—	欠	欠	—	覆
12	101	〃	7.3	3.7	0.8	25	黒頁	35	—	—	—	—	—	床直
13	14	鉄曲線石器	7.0	5.7	1.5	41	〃	45	—	—	—	—	—	+37
14	94	石 匹	4.8	3.2	1.1	16	〃	70	—	—	—	—	—	+7
15	鍬	〃	5.7	3.6	1.2	21.5	〃	25	—	—	—	刃	—	覆
16	鍬	抉入石器	3.9	5.0	1.5	25	〃	60	—	—	—	—	—	位置不
17	鍬	直刃削器	3.5	5.8	1.2	24	〃	30	—	—	—	—	—	刃部文瓦・剥離 ・位置不
18	鍬	〃	(3.2)	5.7	1.1	15	〃	50	—	—	—	—	—	欠 位置不
19	19	〃	3.5	4.5	0.7	85	〃	20	—	—	—	—	—	欠 +18
20	102	凸刃削器	5.6	6.2	1.8	50	〃	25	—	—	—	—	—	床直
21	鍬	凸刃削器	5.0	3.5	1.1	19	黒頁	30	—	—	—	—	—	覆
22	鍬	〃	9.2	4.6	1.6	57	〃	45	—	—	—	減	—	覆
23	鍬	R F	5.8	6.8	2.8	114	〃	60	—	減1	—	—	—	覆

No.	遺物 番号	器 種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (kg)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備 考	
									A	B	a	b	c		
24	79	U F	8.2	4.0	1.5	44	II	45	—	—	—	—	—	直刃 床道	
25	59	H	6.6	9.5	1.7	85	II	20	—	—	—	誠	—	凸刃 +20	
26	雜	H	4.6	7.5	1.5	45	II	45	—	—	—	—	—	複刃・直刃 覆	
27	108	H	6.3	6.9	1.6	68	II	30	—	—	—	—	—	直刃 +26	
28	107	H	5.9	6.2	1.8	50	麻	30	—	—	—	誠 2	—	凹刃 床底	
29	80	H	7.0	5.1	1.3	36	黑頁	25	—	—	—	刃	—	凸刃 +14	
30	雜	H	7.7	4.9	1.5	39	II	40	—	—	—	—	—	覆	
31	83	棒状石器	7.5	2.0	1.1	30	頁	—	—	—	擦	—	擦	+19	
32	106	敲き石	(11.3)	5.7	4.3	462	斑	—	敲 1	敲 1	敲 2	欠	—	—	+11
33	13	円錐石器	10.4	8.0	3.3	379	安	—	原 1 → 四 3	擦 1 → 四 3	敲 3	敲 3	—	敲 3	原 → 四 → 敲 +41
34	雜	H	10.4	16.1	5.1	809	II	—	擦 1 → 敲 1	擦 1 → 敲 1	敲 3	敲 3	敲 1	敲 → 敲 覆	
35	58	H	12.3	9.4	3.2	524	II	—	敲 2	敲 2	敲 2	敲 2	火	火 → 敲 +4	
36	雜	H	12.8	7.9	3.3	535	II	—	四 3	—	—	敲 2	敲 2	覆	
37	113	H	11.6	8.8	4.4	612	II	—	四 3	四 3	擦 2	—	擦 2	擦 2	-12
38	95	H	14.9	10.4	8.5	1,740	II	—	敲 2	敲 2 → 擦 2	敲 2	敲 2	敲 2	敲 → 擦 床底	
39	112	H	11.7	9.5	4.2	635	II	—	凹 2 → 擦 1	凹 2 → 擦 1	敲 2 → 敲 1	敲 2 + 擦 1	敲 1 → 擦 1	敲 1 → 擦 1	凹 → 敲 → 擦 -9
40	10	H	12.5	8.7	4.3	704	花	—	擦 1	敲 1	敲 1	敲 1	—	—	-37
41	100	石 皿	7.4	10.0	7.8	482	安	—	—	—	欠	欠	欠	欠	欠 +56
42	67	H	8.5	11.4	5.6	426	II	—	—	—	欠	欠	—	欠	欠 +7
43	109	H	25.3	(19.0)	6.0	2,400	II	—	擦 1	—	欠	—	—	—	欠 +13

表-51 J17号住居跡石器器種・石材別一覧表

器種 石材 類	器種 石材 類													計			
	打 斧 矛 斧 鎌 鋸 背 直 凸 凹 交 複 斜 鉗 嵌 扶 横 縫 R U 磨 砂 河 石 棒 石 多 凹 凸 石 嵌 石 片 刺 石 核 繩																
黒色頁岩	3	1	1	2	3	3	—	1	1	1	6	—	—	78	100		
貝 岩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1		
馬色安山岩	3	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15	19		
安 山 岩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	3	8	—	—	18		
花崗岩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1		
蛇紋岩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1		
斑 岩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1		
輝綠岩	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	2		
赤色頁岩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1		
黑色片岩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1		
そ の 他	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1		
計	6	2	2	1	2	3	3	1	1	1	7	1	8	1	3	103	1 146



图-113 J 17号住居跡出土石器 (1)

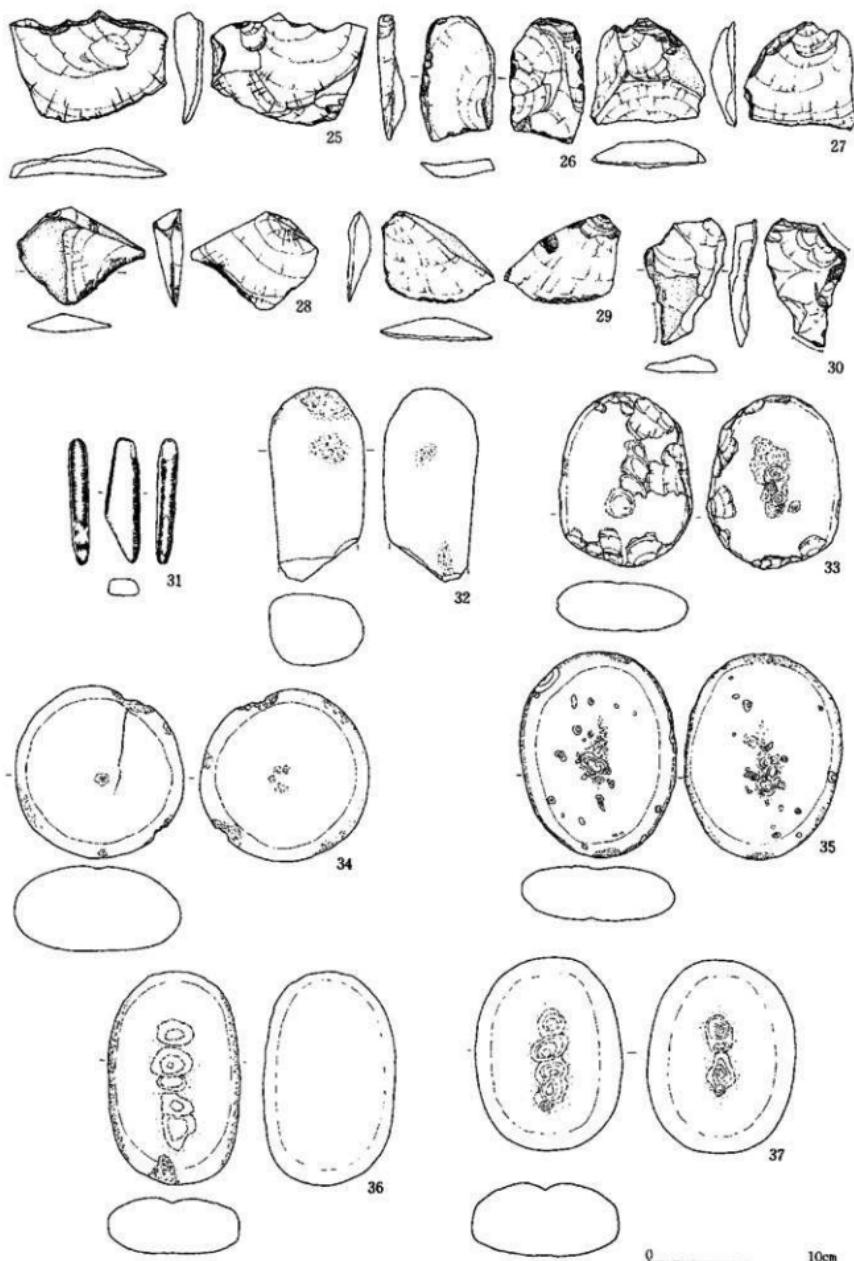
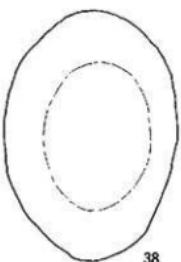
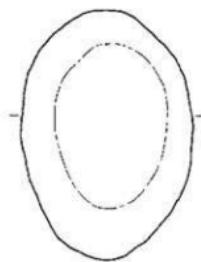
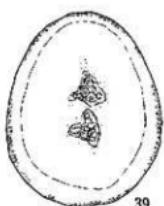


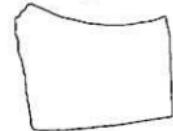
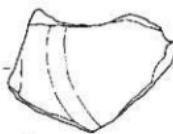
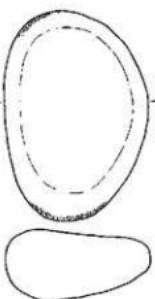
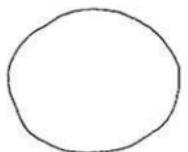
图 -114 J 17号住居跡出土石器 (2)



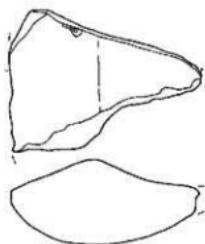
38



39

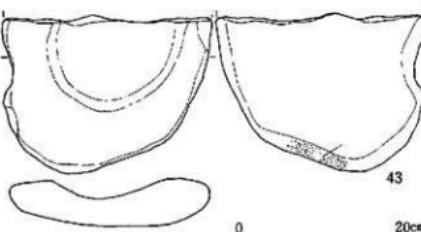


41



0 10cm

42



0 20cm

43

図- 115 J17号住居跡出土石器 (3)

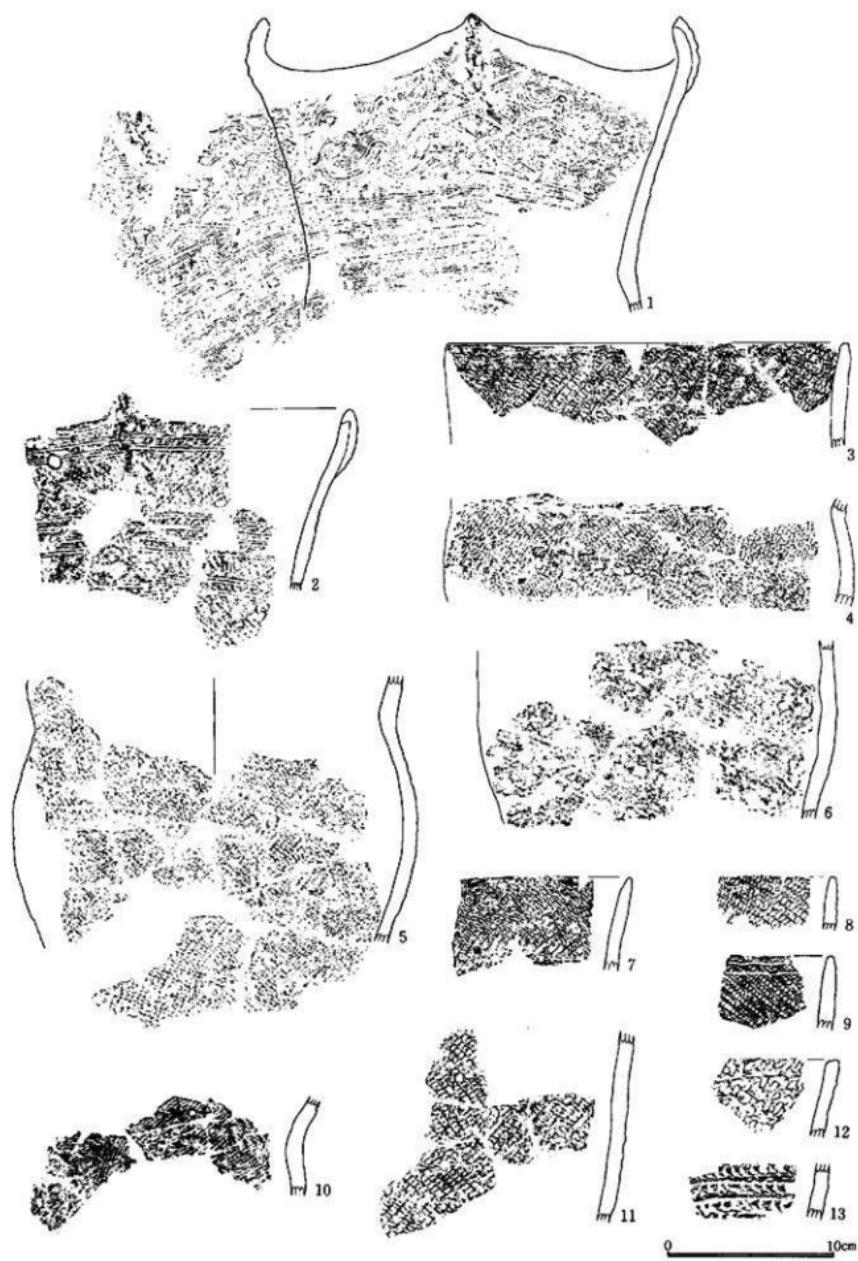


图-116 J 18号住居跡出土土器 (1)

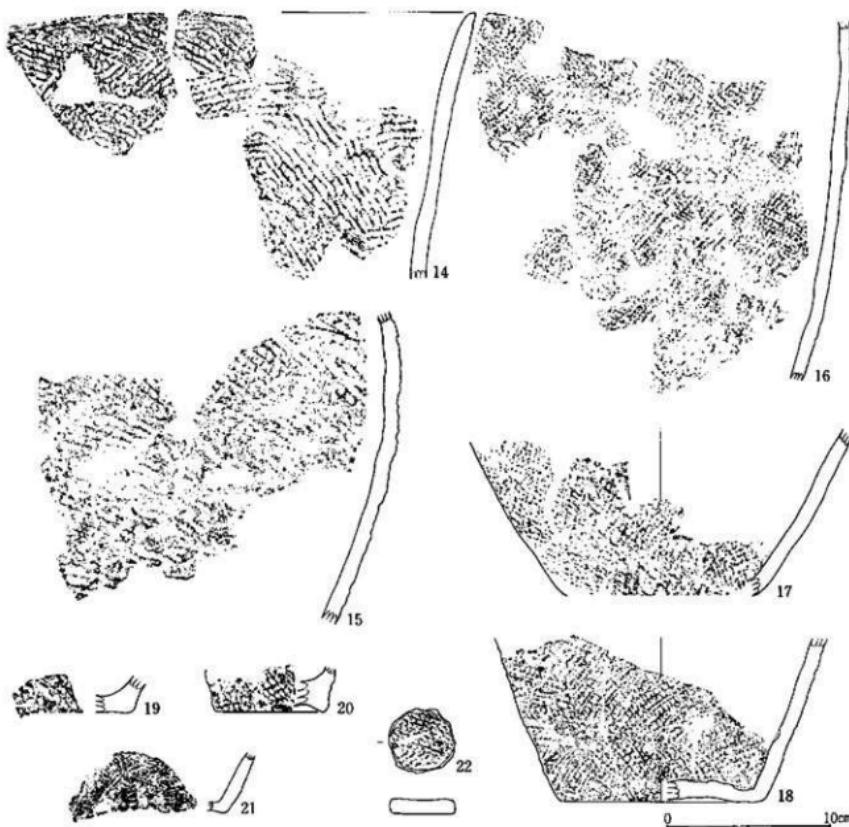


図-117 J 18号住居跡出土土器 (2)

表-52 J 18号住居跡出土土器観察表 (図-116・117 図版-85・86)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①粘土 ②色調 ③性序	時 期	出土位置	備 考
1	1・27・29	5本1組の網状工具による胴部下半への平行沈線と上半のだされたコンパス文。波頂下に巻き文とV字形の沈線。波頂内寄。①織糸②赤褐色③口縁～胴部中位。黒浜。+43 +39				
2	11	R L・L Rの羽状繩文。横方向の網状の平行沈線。半口縁。突起あり。	①織糸②椎色③口縁～胴部中位	黒浜 +25		
3	3	全周付加条R L+R・L R+Rの羽状繩文。平口縁。	①織糸②明赤褐色③口縁部	黒浜 +29		
4	19・25	R L・L Rの羽状繩文。平行沈線。	①織糸②にぼい黄橙色③胴部	黒浜 +30 -5		
5	15	L R・付加条R L+Rの羽状繩文。	①織糸②にぼい黄橙色③胴部	黒浜 -32		
6	13	R L (焼れて不鮮明)。	①織糸②橙色③胴部	黒浜 壁裏		

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①粘土 ②色調 ③残存	時 期	出土位置	備 考
7	28	全周L.Rの斜縞文。平口縁。	①鐵継②浅黄褐色③口縁部	黒浜	+34	
8	10	R.Lの斜縞文。平口縁。	①鐵継②にい黄褐色③口縁部	黒浜	+28	
9	地	R.Lの斜縞文。平行沈線。	①鐵継②にい黄褐色③口縁部	黒浜		
10	30	Lの斜縞文。頭部より外反。	①鐵継②灰黄褐色③口縁部	黒浜	+22	
11	15・16・22	R.L・L.Rの羽状縞文。	①鐵継②橙色③頭部	黒浜	+32+37 +14	
12	地	多段ループ文。口縁端内削。	①鐵継②にい黄褐色③口縁部	黒浜	-	
13	30	やや幅広の爪彫文。	①鐵継②橙色③口縁部	黒浜	+22	
14	6	全面R.L・L.Rの羽状縞文。平口縁。口縁端内削。	①鐵継多②明黄褐色③口縁部	黒浜	+40	
15	地	R.L・L.Rの羽状縞文。	①鐵継多②にい黄褐色③頭部	黒浜	-	
16	20・25	R.Lの斜縞文。	①鐵継②にい黄褐色③頭部	黒浜	+23 +5	
17	地	R.L・L.Rの羽状縞文。	①鐵継②橙色③底部付近	黒浜	-	
18	1	付加条R.L+r+L.R+Lの羽状縞文。	①鐵継②明赤褐色③底部	黒浜	+43	
19	地	R.Lの縞文(束状)。	①鐵継②にい黄褐色③底部	黒浜	-	
20	地	R.L・L.Rの羽状縞文。上げ底。	①鐵継②にい黄褐色③底部	黒浜	-	
21	地	L.R(浅く不鮮明)。	①鐵継②にい赤褐色③底部	黒浜	-	
22	地	R.L・L.Rの羽状縞文。転用土製凹盤。	①鐵継②にい黄褐色③充形	黒浜		-

表-53 J18号住居跡出土石器属性表

No	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重 量(g)	石材	刃角	使 用 様・装 着 様 の 位 置・和 度					備 考	
									A	B	a	b	c	d	
1	地	尖頭器	9.3	3.0	1.5	36	黒頁	-	-	-			-	-	覆
2	地	打製石斧	(10.0)	4.8	2.4	124	#	50	-	-	欠	減3→刃	抉入	-	同側縫→抉入 覆
3	地	鍤 器	4.2	3.8	2.1	32	安	70	-	-	-	-	-	-	覆
4	地	直刃削器	5.4	2.2	1.0	8	黒頁	45	-	-		減	-	-	覆
5	地	抉入石器	7.7	3.2	2.0	30	安	55	-	-	-	-	-	-	覆
6	34	磨 石	10.8	3.6	3.2	196	黒安	-	擦2	擦2	擦2	擦2	擦2	擦2	-4
7	地	円錐石器	13.4	8.3	4.2	774	安	-	擦2→凹2	擦2→敲1	敲2	敲2	敲2	敲2	覆

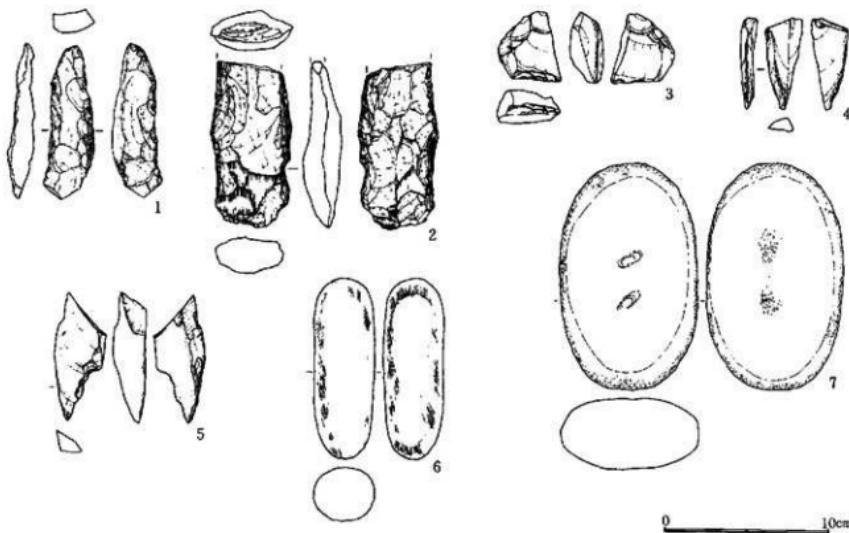


図-118 J 18号住居跡出土石器

表-54 J 18号住居跡石器器種・石材別一覧表

石材	石 核	打 斧	磨 刃	石 錐	尖 頭	石 鑿	鑿 頭	直 刃	凸 刃	凹 刃	交 刃	複 刃	鉗 頭	R F	U F	磨 石	軟 石	内 石	石 棒	棒 状	石 多	凹 面	石 頭	剥 石	石 片	調 査	合 計
黒色頁岩	1		1			1																		16	19		
黒色安山岩																									1	1	
安山岩					1																				3	3	
斑岩																									1	1	
砂岩																									1	1	
計		1		1	1	1											1	1						17	1	25	

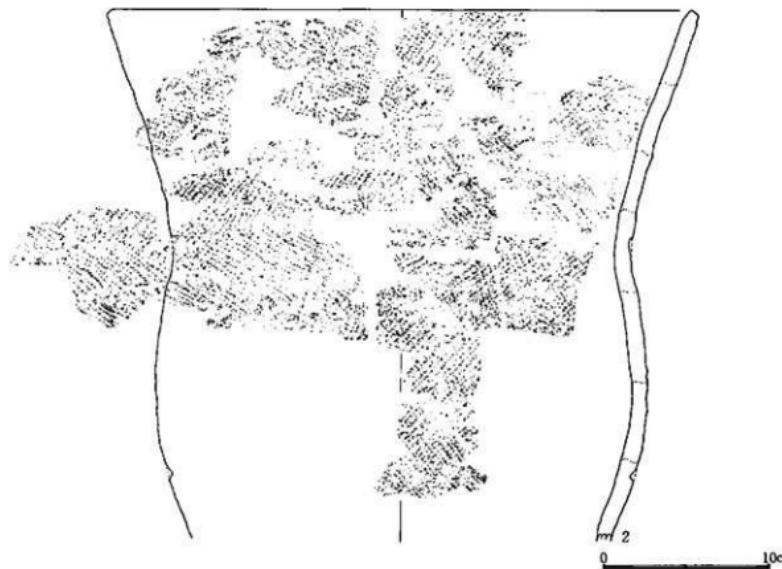


図-119 J19-23号住居跡出土土器 (1)

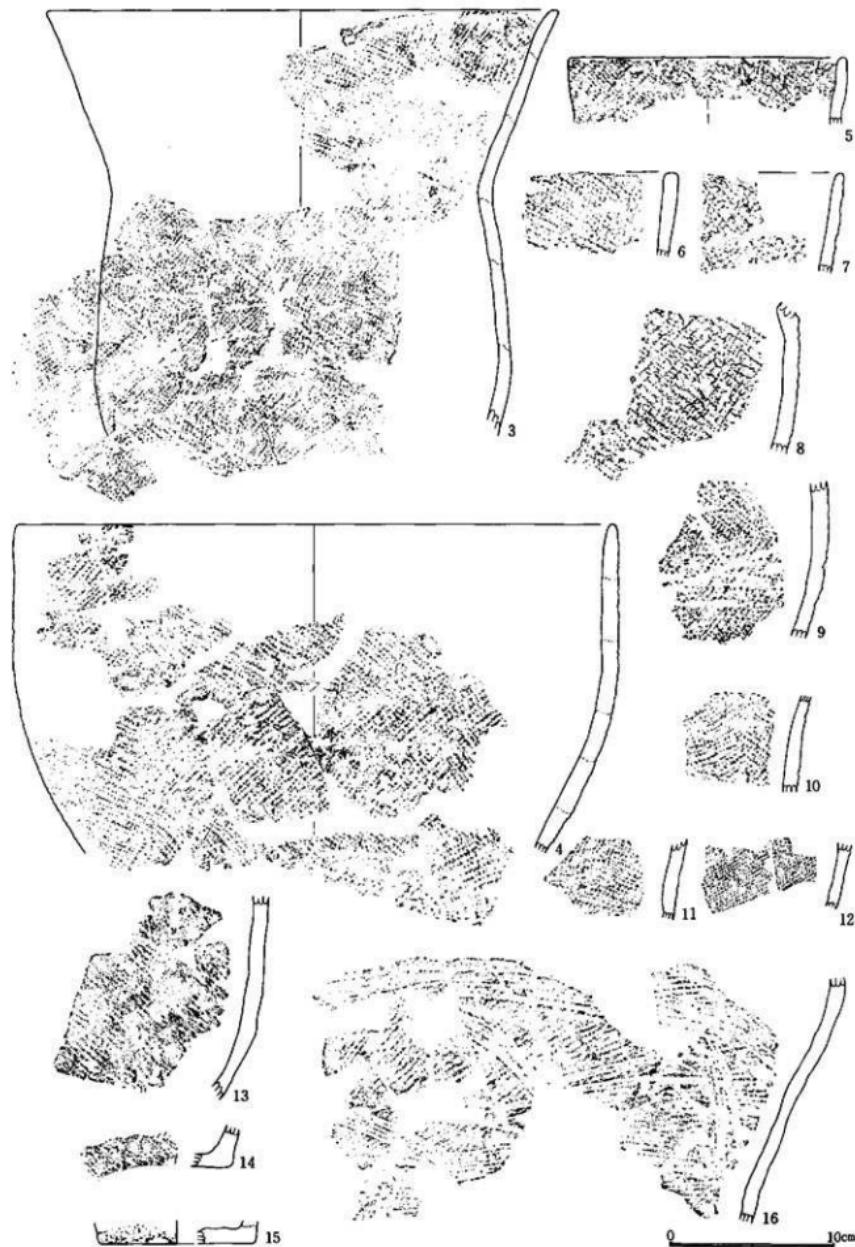


図-120 J 19・23号住居跡出土土器 (2)

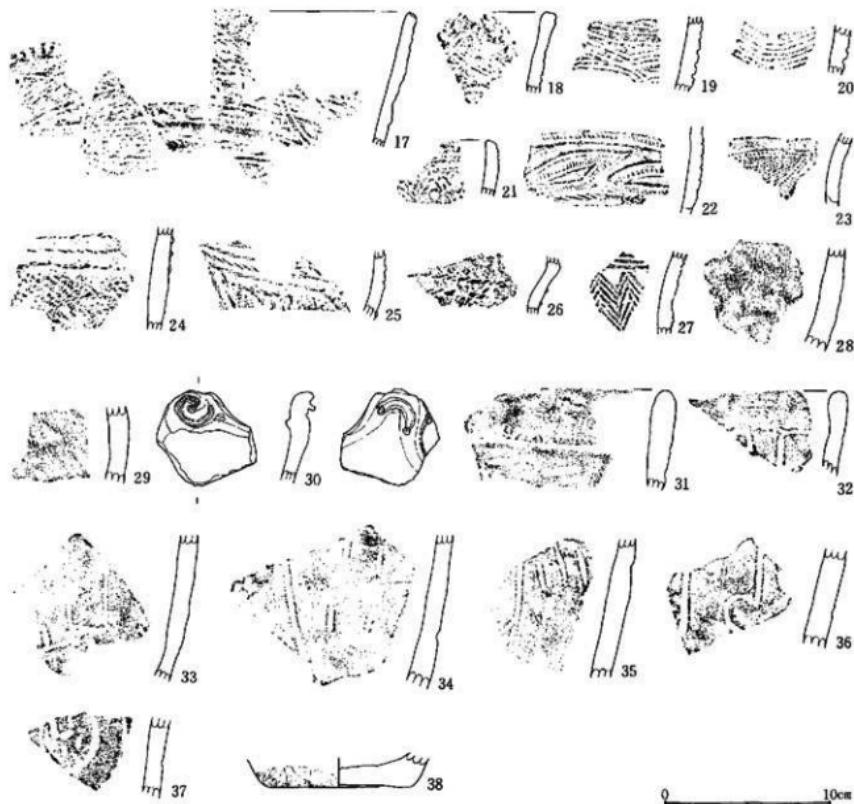


図121 J 19-23号住居跡出土土器 (3)

表-55 J 19・23号住居跡出土土器観察表 (図-119・120・121 図版-86・87・88)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土	②色調	③残存	時 期	出土位置	備 考
1	1+2+9+11	全面付加条 R L + r + L R + r (?) の羽状繩文。直線的に開く。縦い波状口縁。	①鐵錆	②褐色	③口縁	黒浜	+31+33	
2	18+19	全面付加条 R L + r + L R + r の羽状繩文。頸部ではほどまり口縁にかけて外反。平口縁。	①鐵錆	②褐色	③口縁	黒浜	+22	住戸
3	7・雄	R L の羽状繩文。平口縁。腹部ではほどまり口縁にかけて外反。①鐵錆②褐色③口縁～腹部下半。黒浜。-12	R K					
4	18	全面付加条 R L + R + L R + R の羽状繩文。内湾ざみに開く。平口縁。	①鐵錆	②褐色	③口縁部	黒浜	+22	
5	11+15	全面 R L + L R の羽状繩文。平口縁。	①鐵錆	②赤褐色	③口縁部	黒浜	+11 +17	
6	雄	R L の斜繩文。平口縁。	①鐵錆	②赤褐色	③口縁部	黒浜		
7	12	R L の斜繩文。縦い波状口縁。	①鐵錆	②赤褐色	③口縁部	黒浜	+29	

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
8	雜	R L + L R の羽状縞文。	①鐵鉛②によい赤褐色 ③胸部	黒浜	-	
9	18	付加条 R L - ? + L R + ? の羽状縞文。	①鐵鉛②明黄褐色③胸部	黒浜	+22	
10	雜	付加条 R L + ? + L R + ? の羽状縞文。	①鐵鉛②によい黄褐色 ③胸部	黒浜	-	
11	雜	付加条 R L + ? + L R + ? の羽状縞文。	①鐵鉛②橙色③胸部	黒浜	-	
12	雜	L R の斜縞文。平行沈線。	①砂粒②橙色③胸部	諸磯		
13	3 + 4	L (?)	①鐵鉛②橙色③胸部	黒浜	+32 +35	
14	雜	R L の斜縞文。	①砂粒②によい黄褐色 ③底部	諸磯	-	
15	14	R L + L R の羽状縞文。	①鐵鉛②明赤褐色③底部	黒浜	+28	
16	2+3+4+7	L R の斜縞文。2~3本1筋の平行沈線で変形を構成。	①鐵鉛②によい赤褐色 ③口縁部下半	黒浜	+35~32 +35~12	
17	雜	平行沈線。ゆるい波状口縁。口縁部に字形刺突。	①砂粒②淡黄褐色③胸部	諸磯 b	-	
18	雜	平行沈線。	①砂粒②浅黄褐色③口縁部	諸磯 b		
19	雜	平行沈線。	①砂粒②によい赤褐色 ③胸部	諸磯 b	-	
20	雜	平行沈線。	①砂粒②によい橙色③胸部	諸磯 b	-	
21	雜	幅狭 c 字形刺突列。円形竹管刺突。	①粗砂粒②明赤褐色③口縁部	諸磯 b	-	
22	10	幅広 c 字形刺突入り平行沈線の入組み文。	①砂粒②によい黄褐色 ③胸部	諸磯 b	-15	
23	雜	幅狭 c 字形刺突の弧線入組み文。L R 斜縞文。円形竹管刺突。	砂粒・白色鉛②橙色 ③胸部	諸磯 b	-	
24	雜	矢羽根状刻み入浮線。R L 斜縞文。	①砂粒②によい赤褐色 ③胸部	諸磯 b	-	
25	雜	矢羽根状刻み入浮線。R L 斜縞文。	①砂粒②によい褐色③胸部	諸磯 b	-	
26	17	矢羽根状刻み入浮線。R L 斜縞文。	①砂粒②明黄褐色③胸部	諸磯 b	+13	
27	雜	二角印刻。平行沈線による山形構成。	①砂粒②によい黄褐色 ③胸部	十二寺境	-	
28	雜	細かい条線。	①粗粒・白色鉛物②によい 黄褐色③胸部	中~後期	-	
29	雜	28と同一個体。細かい条線。	①粗粒・白色鉛物②によい 黄褐色③胸部	中~後期	-	28と同一個体
30	雜	大波状。突起には刺突連結によるC字文。口縁部に沈線突起内側に巻ききの沈線。口縁部内側に縫。	①中粒②淡黄色③口縁部	堀之内 1	-	
31	雜	沈線。長く延びる列点。	①中粒②淡黄色③口縁部	称名寺 2	-	
32	雜	沈線。	①中粒②淡黄色③口縁部	称名寺 2	-	
33	雜	沈線。長い列点。	①粗粒②淡黄色③口縁部	称名寺 2	-	
34	雜	沈線。列点。	①粗粒・白色鉛物②淡黄色 ③胸部	称名寺 2		
35	雜	沈線。列点。	①粗粒②淡黄色③胸部	称名寺 2	-	
36	雜	沈線。	①中粒②淡黄色③胸部	称名寺 2	-	
37	雜	沈線。列点。	①中粒②淡黄色③胸部	称名寺 2	-	
38	雜	無文部。	①中粒②淡黄色③底部	称名寺 2		

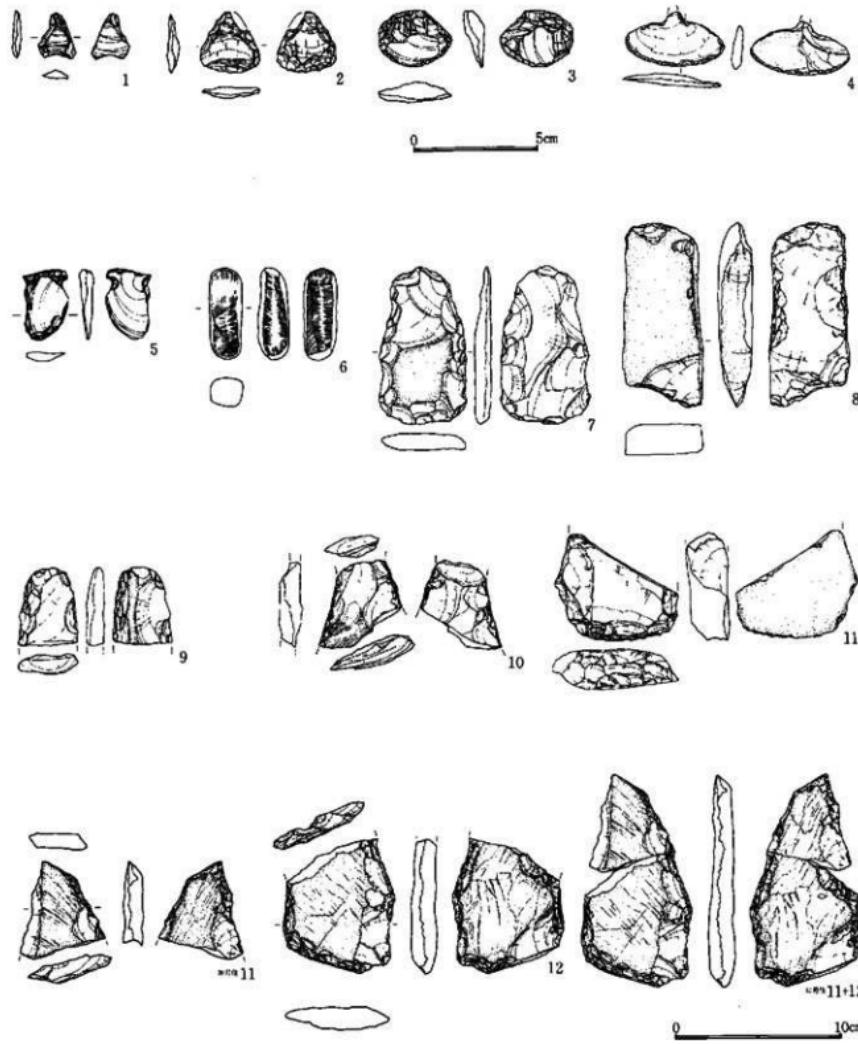


图-122 J 19-23庄居阵出土石器（1）

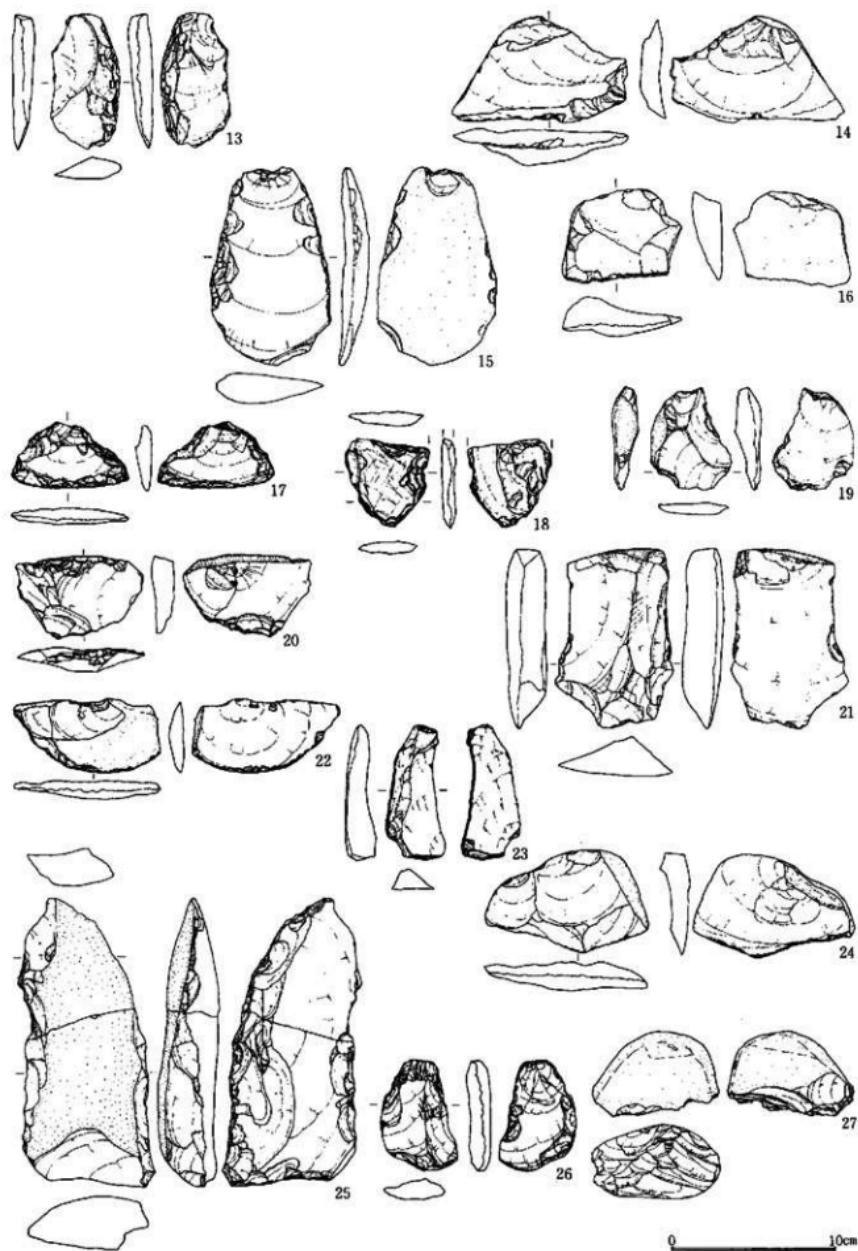


図-123 J 19-23号住居跡出土石器（2）

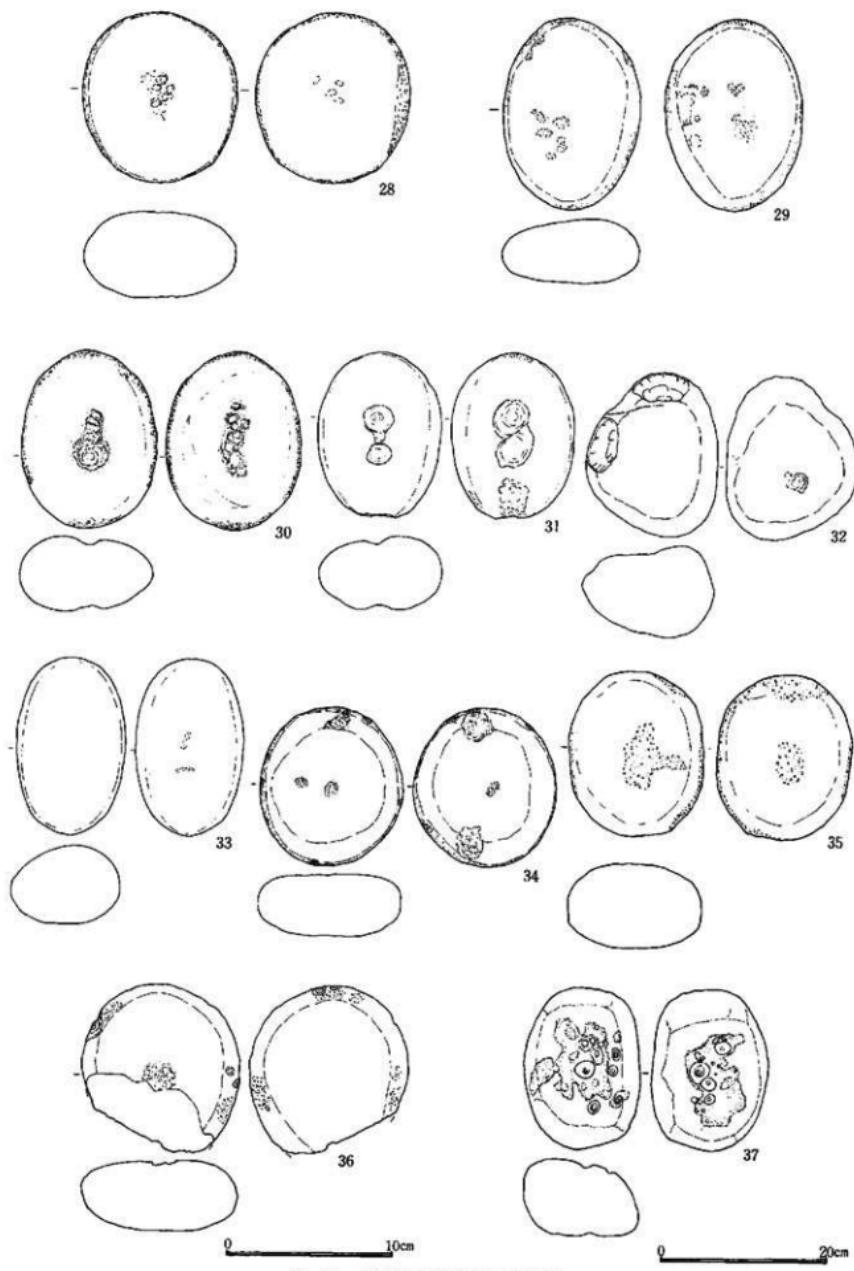


图-124 J 19-23号住居跡出土石器 (3)

表-56 J19・23号住居跡出土石器属性表

No.	遺物 番号	器種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	右材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備 考	
									A	B	a	b	c		
1	10	石 鋸	1.9	1.5	0.3	1	黒安		—	—	—	—	—	—	+6・J23
2	難	#	2.5	2.3	0.5	4	安	—	—	—	欠	—	—	—	欠覆
3	難	凸刃削器	2.2	2.9	0.8	4	陶	30	—	—	—	—	—	—	覆
4	難	石 鋸	3.2	5.9	0.6	21	黒頁	60	—	—	—	—	—	—	覆
5	難	#	4.2	2.7	0.9	8	珪	30			—	—	—	—	覆・J19
6	31	棒状石器	5.5	2.0	1.9	34	安		擦2	擦2	—	—	擦2	擦2	+11
7	27	打製石斧	9.5	5.3	1.0	57	黒頁	50	—	—	—	—	—	—	+12
8	1	#	11.1	4.8	2.0	172	#	40	—	—	—	—	—	—	+30・J23
9	難	#	4.7	3.5	1.1	24	安	—	—	—	欠	—	—	—	刃部欠覆
10	難	#	(5.2)	(4.9)	1.3	35	黒頁	—	—	—	欠	欠	—	—	脇部のみ覆
11	難	盤 器	(6.2)	7.4	2.5	148	#	85	—	—	欠	—	—	—	欠覆
12	22	直刃削器	8.1	6.7	1.5	104	珪	60	—	—	欠	—	—	—	20住11号接+12
13	難	背付き石器	8.2	4.2	1.5	49	黒頁	30	—	—	—	—	—	—	覆
14	30	直刃削器	6.2	10.7	1.5	97	#	50	—	—	—	—	—	—	+31
15	26	#	11.8	7.2	1.8	148	#	35	—	—	—	—	—	—	+13
16	難	#	5.7	7.2	2.2	81	#	40		—	—	—	—	—	覆・J23
17	35	交刃削器	4.0	7.0	1.0	28	黒安	50	—	—	—	—	—	—	+13
18	難	#	5.3	5.1	0.9	27	珪	45	—	—	—	渾	—	—	欠覆
19	17	#	6.2	4.9	1.6	42	黒頁	40			—	—	—	—	+9・J23
20	難	凸刃削器	5.0	7.7	1.3	52	#	60	—	—	—	—	—	—	覆・J23
21	難	U F	10.8	7.1	2.3	195	#	60	—	—	刀	—	—	—	直刃・2刃覆・J23
22	20	凸刃削器	4.3	8.9	1.0	41	#	55	—	—	—	—	—	—	+33
23	難	U F	8.2	3.6	1.8	39	珪	凹45 凸60	—	—	—	—	—	—	凸・凹2刃覆
24	難	凹刃削器	6.5	9.2	2.0	92	黒頁	35	—	—	—	—	—	—	覆
25	難	板刃削器	16.9	7.4	3.4	520	#	60	—	—	—	—	—	—	凸刃・直刃覆
26	難	凹刃削器	6.7	4.7	1.5	46	#	45	—	—	—	—	—	—	覆
27	難	石 核	5.1	7.6	4.5	211	#	—	—	—	—	—	—	—	覆
28	2	円錐石器	10.2	9.3	5.2	708	安	—	擦1→敲1	擦1→敲1	敲2	敲2	敲2	敲2	+29・J23
29	難	#	11.5	8.3	3.9	506	#	—	敲2→擦2	敲2→擦2	敲2 →擦2	敲2 →擦2	敲2 →擦2	敲2 →擦2	覆
30	難	#	10.7	8.1	4.5	454	#	—	凹3	凹3	敲2	敲2	敲2	敲2	覆
31	6	#	10.0	7.4	4.4	470	#	—	凹2	凹2	敲1	敲1	敲1	敲1	+27・J23
32	難	#	9.9	7.9	5.8	545	#	—	火	敲1→火	火	火	火	火	敲→火・剥落覆
33	3	#	10.6	6.4	4.7	484	花	—	擦1	敲1→擦1	—	—	—	—	敲・擦 +35・J23
34	難	円錐石器	9.5	8.6	3.8	468	安	—	敲2→擦1	敲2→擦1	敲2	敲2	敲2	敲2	覆

No	遺物 番号	器 種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備 考	
									A	B	a	b	c		
35	瓶	〃	9.8	8.0	5.0	536	石	〃	縫2	縫2	縫3	縫2	縫3	縫2	縫
36	椎	円錐石器	(10.2)	9.5	4.3	500	安	—	縫2	—	縫2	欠	縫1	縫1	欠
37	椎	多凹石	19.3	13.9	9.4	3,160	石	—	赤化→縫+円	赤化→縫+凹	—	—	—	—	赤化→火ではない。腹

表-57 J 19・23号住居跡石器種・石材別一覧表

石材	打 打	磨 磨	石 石	尖 尖	石 石	推 推	背 背	直 直	凸 凸	凹 凹	交 交	接 接	抉 抉	擦 擦	R R	U U	磨 磨	取 取	内 内	石 石	縫 縫	神 神	状 状	皿 皿	多 多	白 白	底 底	石 石	核 核	そ の 他 他	計 計	
黒色頁岩	3					1	1	1	3	2	2	1	1															44	1	1	62	
黒色安山岩	1																														5	7
安山岩	1	1																													12	24
花崗岩																																1
珪岩						1			1	1	1																			3		8
計	2	4				2	1	1	4	3	2	3	1															52	1	13	102	

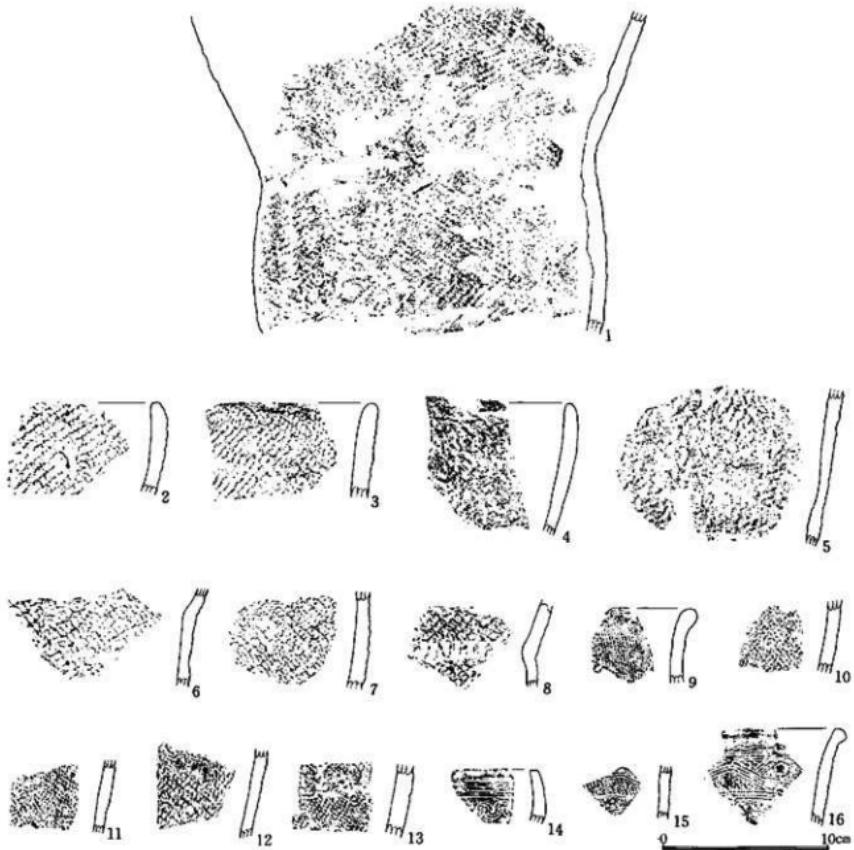


図125 J 20号住居跡出土土器 (1)

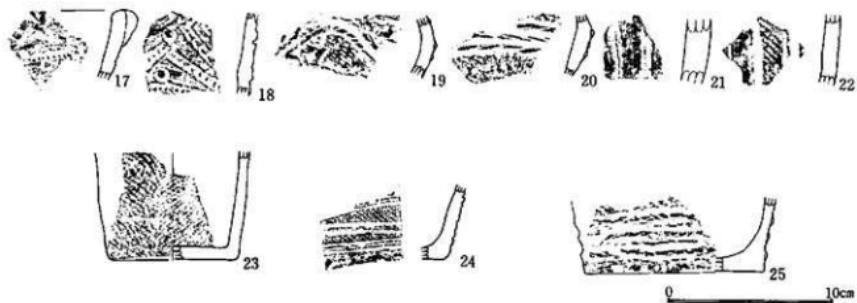


図-126 J 20号住居跡出土土器 (2)

表-58 J 20号住居跡出土土器観察表 (図-125・126 図版-88)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
1	27	全面R L・L Rの羽状縞文。施文の際の縫合部の粘土隆起あり。くびれ。	①繊維②褐色③肩部中位	黒浜	埋甕	
2	23	L Rの斜縞文。平口縁。内湾ざみ。	①繊維②にぼい赤褐色③口縁部	黒浜	+24	
3	縦	全面R L・L Rの羽状縞文。平口縁。	①繊維②明黄色③口縁部	黒浜	-	
4	6	全面R L・L Rの羽状縞文。平口縁。内湾ざみ。	①繊維②明赤褐色③口縁部	黒浜	-32	
5	20	R Lの斜縞文。	①砂粒②にぼい褐色③肩部	諸磯	+40	
6	12	R L・L Rの羽状縞文。口縁にかけ外反。	①繊維②淡黄色③肩部	黒浜	+37	
7	3	R L・L Rの羽状縞文。内湾ざみ。	①繊維②明赤褐色③肩部	黒浜	+27	
8	縦	R L・L Rの羽状縞文。腹部に横位の刺突列。	①繊維②にぼい橙色③肩部	黒浜	-	
9	縦	細いRを密に深く施文。口縫端にも横位に4条施文。口縫端押す。	①砂粒②にぼい赤褐色③口縫端部	大丸	-	
10	縦	R Lの斜縞文。	①砂粒②にぼい赤褐色③肩部	諸磯	-	
11	縦	R Lの斜縞文。	①砂粒②にぼい橙色③肩部	諸磯	-	
12	縦	末端結束R Lの斜縞文。	①砂粒②にぼい赤褐色③肩部	諸磯	-	
13	縦	末端結束R L・L Rの羽状縞文。	①繊維②灰黄褐色③肩部	黒浜	-	
14	縦	口縫下に平行沈線とコンパス文。	①繊維②にぼい赤褐色③口縫部	黒浜	-	
15	縦	R Lの斜縞文。平行沈線。	①砂粒②橙色③肩部	諸磯 a	-	
16	縦	R Lの斜縞文。5本1組の櫛状工具による平行沈線と波状文。口縫端外反。	①砂粒②にぼい黄褐色③口縫部	諸磯 a	-	
17	縦	C字形刺突列。円形竹管刺突。	①砂粒②にぼい褐色③口縫部	諸磯 a	-	
18	縦	C字形刺突列。円形竹管刺突。	①砂粒②橙色③肩部	諸磯 a	-	
19	縦	L Rの斜縞文。矢羽根状刻み入浮線。	①砂粒②にぼい黄褐色③肩部	諸磯 b	-	
20	縦	L Rの斜縞文。矢羽根状刻み入浮線。	①砂粒②明褐色③肩部	諸磯 b	-	
21	縦	腰帯。	①中粒②浅黃褐色③肩部	加曾利E 4	-	
22	縦	沈線。縞文L R。	①中粒②淡黄色③肩部	御名寺1	-	

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①断土 ②色調 ③残存	時 期	出 土 位 置	備 考
23	縞	縞位のR.L.・L.R.の羽状施文。平底。	①織紋②にぼい赤褐色③底部	黒浜	—	
24	縞	R.L.の斜縞文。平行弦線。	①砂粒②にぼい黄褐色③底部	諸磯 b	—	
25	縞	矢羽根状刻み入序線。	①砂粒②明赤褐色③底部	諸磯 b	—	J P31・103と接



図-127 J 20号住居跡出土石器 (1)

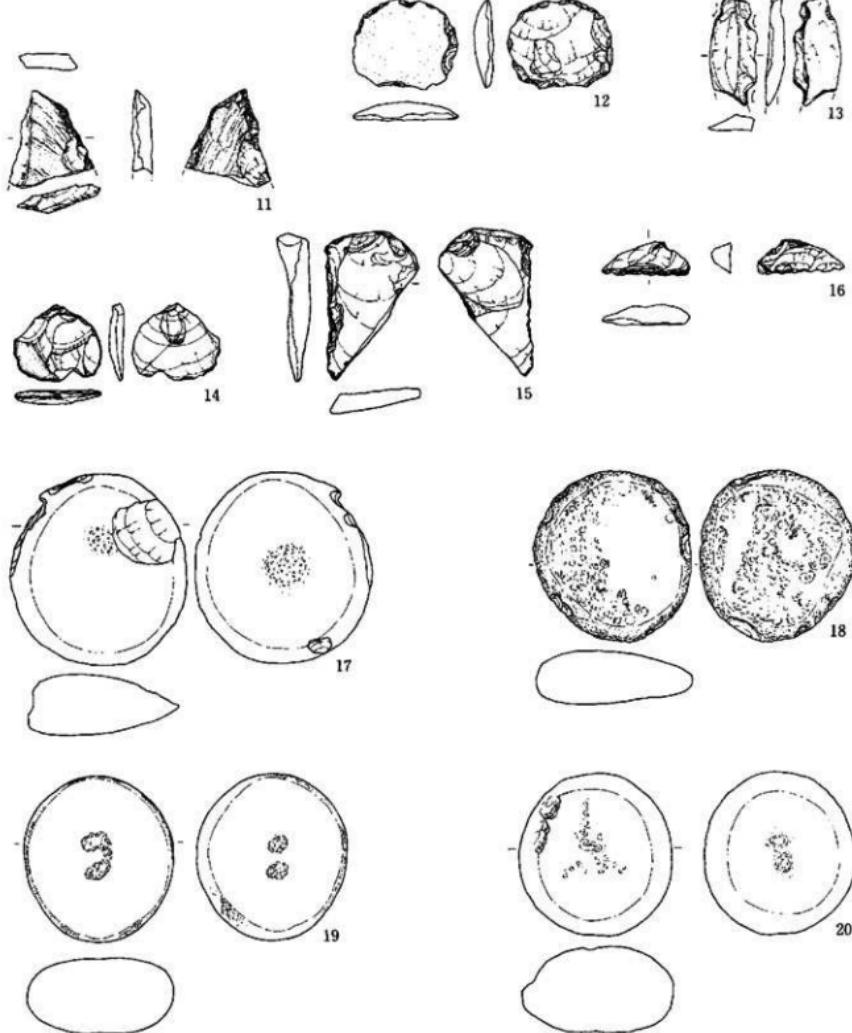


图-128 J 20号住居跡出土石器 (2)

0 10cm

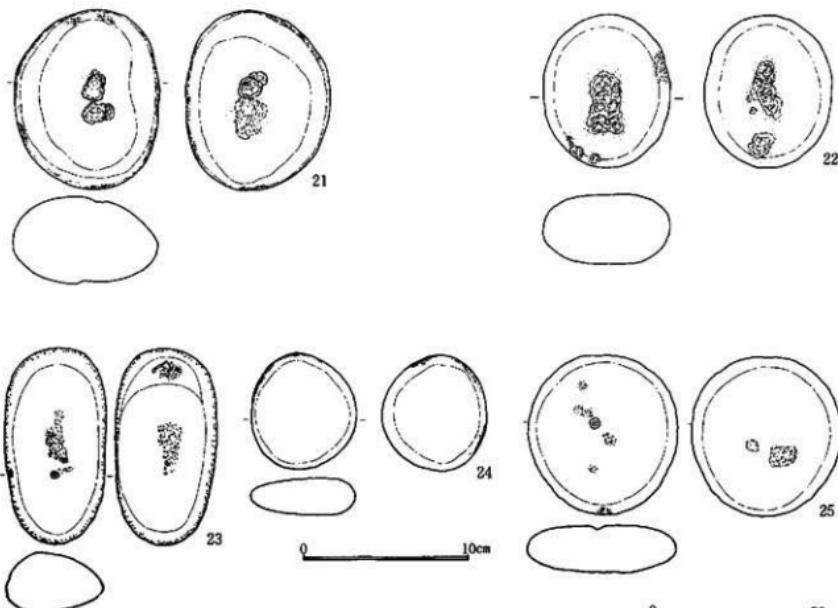


図 129 J20号住居跡出土石器 (3)

表-59 J20号住居跡出土石器属性表

No.	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度						備考	
									A	B	a	b	c	d		
1	11	石錐	3.1	2.6	0.8	4.5	黒安	—	—	—	—	—	—	—	周溝内	
2	雄	尖頭器	(11.5)	3.2	3.0	115	黒頁	—	—	—	—	欠	滅	—	覆	
3	雄	#	(6.4)	2.8	1.1	21	#	—	—	—	欠	—	—	—	欠覆	
4	雄	磨製石斧	16.3	4.4	3.2	338	鱗片	50	敲→擦	敲→擦	敲→擦	減 敲+擦	敲→擦	敲→擦	敲→擦	敲→擦 覆
5	26	#	5.0	2.9	0.9	26	蛇	40	—	—	—	滅	—	—	—	南東壁上面
6	1	#	4.9	2.9	0.9	28	#	50	—	—	—	滅	—	—	—	南東壁上面
7	雄	#	(9.6)	4.5	3.5	196	不明	—	敲→擦	敲→擦	敲→擦	欠	敲→擦	敲→擦	敲→擦	敲→擦 覆
8	雄	凸刃削器	5.0	5.3	0.9	35	黒頁	40	—	—	—	滅	—	—	—	覆
9	雄	#	5.9	7.6	2.1	117	#	60	—	—	—	—	—	—	—	覆
10	雄	#	9.0	4.0	2.0	82	黒安	70	—	—	—	—	—	—	—	覆
11	雄	直刃削器	5.7	5.2	1.2	35	鱗	60	—	—	欠	—	—	—	—	19、23住12と接 覆
12	雄	複刃削器	5.4	6.3	1.2	47	安	50	—	—	—	—	—	—	—	覆
13	雄	抉入石器	4.0	(6.5)	1.2	19	黒頁	—	—	—	—	—	—	—	—	抉入3ヶ所 覆
14	雄	U F	4.6	5.2	0.9	19	#	30	—	—	—	—	—	—	—	覆
15	雄	直刃削器	8.8	5.7	2.0	73	#	50	—	—	—	—	—	—	—	覆

No.	遺物 番号	器種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備 考	
									A	B	a	b	c		
16	16	直刃削器	5.2	2.1	1.2	9	石	60	—	—	—	—	—	位置不	
17	作外	円錐石器	11.4	10.6	3.7	660	安	—	敲1	敲1	—	敲3	敲3	住外	
18	雜	石	10.2	9.2	3.2	453	石	—	擦2→敲3	擦2→敲3	擦2 →敲3	擦2 →敲3	擦2 →敲3	擦2 →敲3	
19	15	石	10.0	9.0	4.9	660	石	—	凹2→擦2	凹2→擦2	敲2 →擦1	敲2 →擦1	敲2 →擦1	凹→擦→擦	
20	22	石	9.5	9.2	5.2	615	石	—	敲2	敲2	—	—	—	+33	
21	24	石	10.8	8.7	5.3	599	石	—	凹2	凹1→敲2	敲1	敲1	敲1	敲1	東壁上面
22	2	石	9.2	7.6	4.2	440	石	—	擦2→敲2	擦2→敲2	敲1 →擦1	敲1 →擦1	敲1 →擦1	敲1 →擦1	+16
23	雜	石	11.8	6.5	3.6	428	石	—	擦2→擦1	擦2→擦1	敲1	敲1	敲1	敲1	敲→擦
24	19	石	6.9	6.3	2.2	153	石	—	擦1	擦1	擦1	擦1	擦1	擦1	+11
25	雜	石	19.0	18.2	5.7	2,580	石	—	凹1→敲1	敲1	—	—	—	—	覆

表-60 J 20号住居跡石器種・石材別一覧表

石材 種 類	打 斧 并 斧	磨 石 并 磨	尖 頭 器 并 頭	石 斧 并 斧	背 付 刃	凸 凹 刃	交 刃	渡 刃	抉 刃	捲 刃	K 形 器	U 形 器	磨 石 并 磨	鐵 石 并 鐵	多 孔 石 并 孔	捲 石 并 捲	凹 石 并 凹	紙 石 并 紙	石 片 并 石	石 片 并 石	其 他	計
黒色頁岩		2		2	2				1			1						48			56	
頁 岩																					2	2
黒色安山岩	1				1																	2
安山岩									1													15
蛇紋岩	2																					2
珪 岩			1																		2	3
黒色片岩																					1	1
砂 岩																					2	2
その 他	2																					2
計	4	1	2		3	3	1	1		1		1	9					54	6	85		

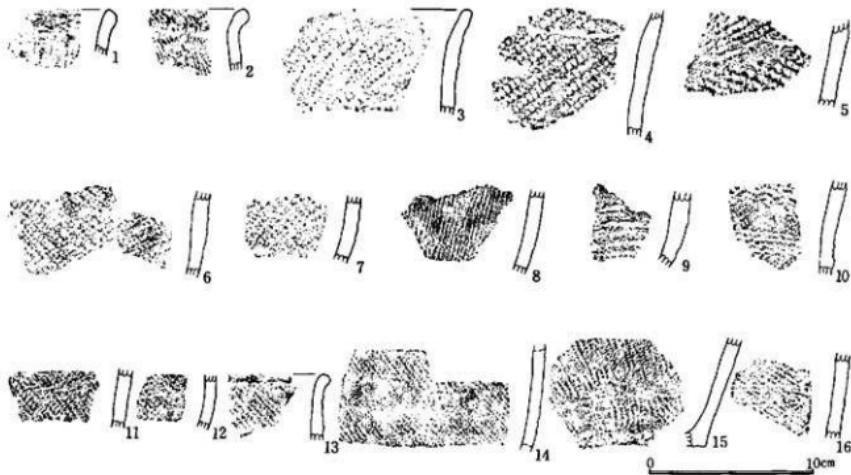


図-130 J 21号住居跡出土土器(1)

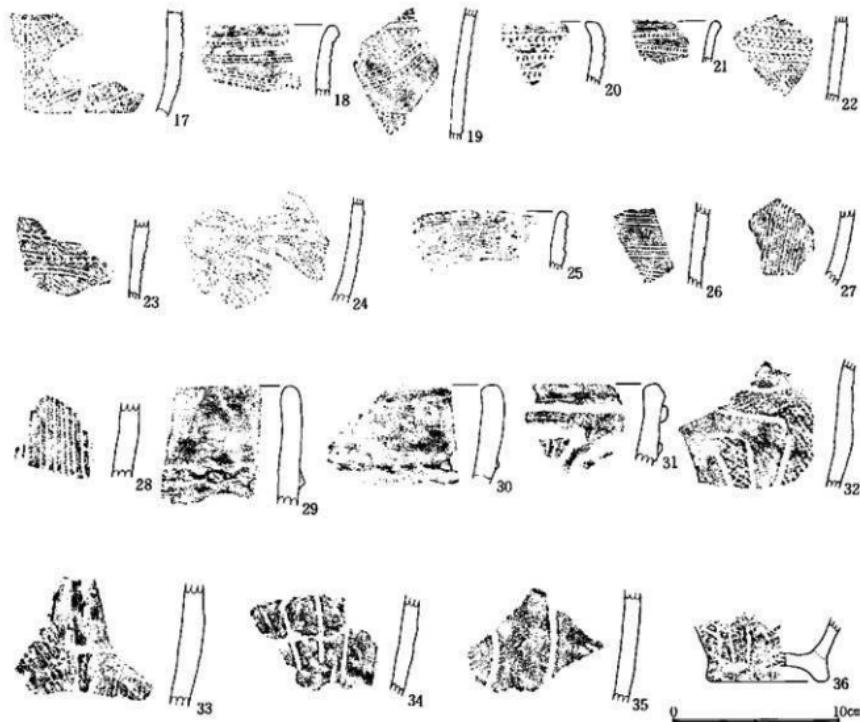


図-131 J 21号住居跡出土土器 (2)

表-61 J 21号住居跡出土土器観察表 (図-130・131 図版-88・89)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③施文	時 期	出 土 位 置	備 考
1	鍬	Lの密な縦位の撚糸。口縁端及び内面に横位施文。口縁端若干外反。	①焼石合み砂粒混入②明赤褐色③口縁部	大丸	-	
2	鍬	Rの密な縦位の撚糸。口縁端にも施文。口縁端外反肥厚。	①焼石合み砂粒②明赤褐色 ③口縁部	大丸	-	
3	10	全面L Rの斜織文。口縁端外反。	①織繩②によい緑色③口縁部	黒浜	+30	
4	鍬	L Rの斜織文。	①織繩②によい黄橙色③肩部	黒浜	-	
5	Q-1-45	R L・L Rの羽状織文。	①織繩②褐色③肩部	黒浜	-	
6	Q-1-45	R L・L Rの羽状織文。内面施文。	①織繩②褐色③肩部	黒浜	-	
7	Q-1-45	R L・L Rの羽状織文。	①織繩②によい緑色③肩部	黒浜	-	
8	鍬	Rの密な縦位の撚糸。	①砂粒②によい赤褐色③肩部	大丸	-	

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①治上 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
9	雜	Lの斜縞文(横方向施文)。	①織維②明赤褐色③肩部	黒浜	-	
10	Q-1-45	L Rの斜縞文。だれたコンパス文。	①織維②にぼい橙色③肩部	黒浜	-	
11	Q-1-45	木端結節のR Lの斜縞文。	①砂粒②橙色③肩部	諸磯	-	
12	Q-1-45	R Lの斜縞文。	①砂粒②橙色③肩部	諸磯		
13	Q-1-45	R Lの斜縞文。平口縫。口縫端外反。	①砂粒②にぼい赤褐色③口縫端	諸磯	-	
14	雜	R Lの斜縞文。	①砂粒②にぼい橙色③肩部	諸磯	-	
15	雜	R Lの斜縞文。	①砂粒②橙色③底部	諸磯	-	
16	雜	R Lの斜縞文。平行沈線。円形竹管刺突。	①砂粒②にぼい黄褐色③肩部	諸磯a	-	
17	堆	平行沈線による筋骨文。円形竹管刺突。	①砂粒②にぼい赤褐色③肩部	諸磯a	-	
18	雜	C字形刺突列。平口縫。地文無で。	①砂粒②にぼい赤褐色③L口縫端	諸磯a	-	
19	雜	C字形刺突列の張縫入組文。地文無で。	①砂粒②明赤褐色③肩部	諸磯a	-	
20	10	幅広C字形刺突列。矢羽根状組み入平行沈線。平口縫。口縫付近内側。	①砂粒②にぼい黄褐色③口縫端	諸磯b	I 30	
21	雜	幅狭C字形刺突列。緩い波状口縫。	①砂粒②にぼい赤褐色③口縫端	諸磯a	-	
22	雜	幅狭C字形刺突列。R Lの斜縞文。	①砂粒②明赤褐色③肩部	諸磯a	-	
23	Q-1-45	幅狭C字形刺突列。R Lの斜縞文。平行沈線。	①砂粒②明赤褐色③肩部	諸磯a	-	
24	雜	幅狭C字形刺突列による木の葉文。内部にR Lの斜縞文を残す。	①砂粒②明赤褐色③肩部	諸磯a	-	
25	8	平行沈線の波状文。円形竹管の刺突。平口縫。	①砂粒②にぼい赤褐色③口縫端	諸磯a	+25	
26	雜	5本1組の櫛状工具の平行沈線。	①砂粒②にぼい橙色③肩部	諸磯b	-	
27	雜	密な撚糸の押引き条線。	①砂粒②にぼい赤褐色③肩部	大丸	-	
28	雜	条線。	①中粒・白色歯物②浅黄色 ③肩部		中~後期	
29	雜	微隆起に刺突が入り、口縫部無文帯が形成。	①中粒②にぼい橙色③口縫端		中~後期	-
30	雜	微隆起に刺突が入り、口縫部無文帯を形成。	①中粒②淡黄色③口縫端		中~後期	-
31	雜	筒帯で文様構成され、沈線が充填される。	①中粒・白色歯物②にぼい 橙色③口縫部	加曾利E 3	-	
32	雜	沈線による凹凸で、周文L Rが充填される。	①砂粒②淡黄色③肩部	称名寺1	-	
33	雜	微隆起区画。縞文L Rが施文される。	①中粒②淡黄色③肩部	加曾利E 4		
34	雜	沈線。	①中粒・明黄褐色③肩部	称名寺2	-	
35	雜	太い沈線。	①中粒・黑色歯物②浅黄色 ③肩部	称名寺2		
36	雜	沈線による斜格子。上げ底。	①織維②にぼい橙色③底部	黒浜	-	

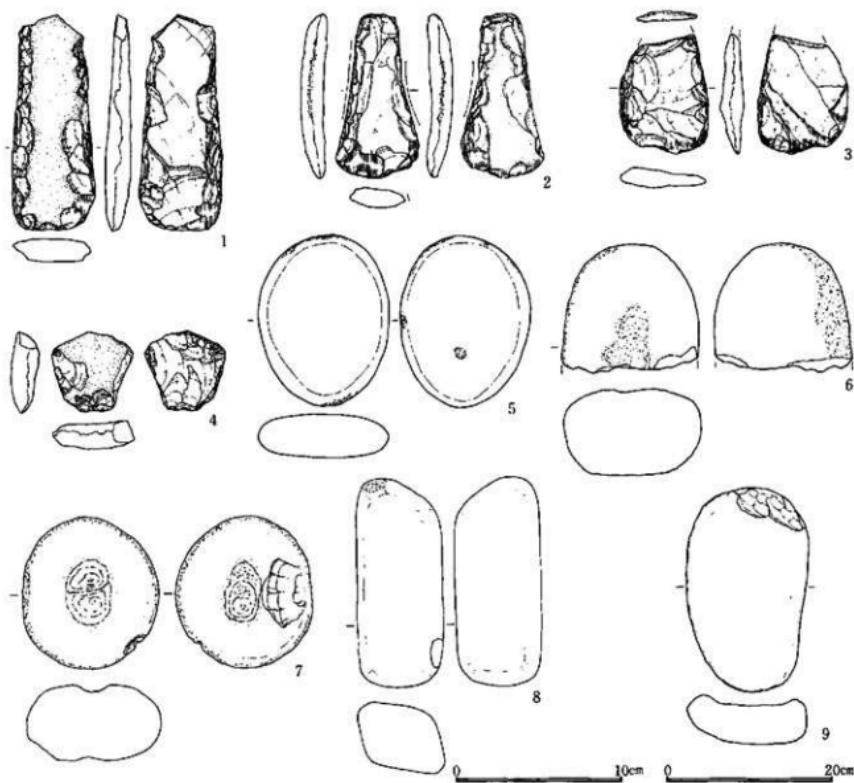


図 132 J 21号住居跡出土石器

表一62 J 21号住居跡出土石器属性表

No.	遺物 番号	器種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備考
									A	B	a	b	c	
1	鍬	打製石斧	12.9	5.0	1.6	138	安	35	—	—	—	減1	—	覆
2	鍬	〃	9.7	5.0	1.2	74	黒質	50	—	—	—	減2	済	覆
3	鍬	打製石斧	(7.2)	5.3	1.5	53	黒質	35	—	—	欠	減2	—	欠覆
4	鍬	凸刃削器	4.8	4.8	1.6	44	〃	60	—	—	—	—	—	覆
5	鍬	円頭石器	10.3	7.9	2.6	314	安	—	擦1	擦1	—	—	—	覆
6	鍬	〃	(7.4)	8.2	5.1	469	〃	—	凹1→擦1	擦1	擦1	擦1	擦1	凹・駆・原 覆
7	鍬	〃	9.1	8.2	4.8	437	〃	—	凹2	凹2	擦2	擦2	擦2	覆
8	鍬	磨石	12.5	5.2	3.2	508	〃	—	擦2	擦2	駆1→ 擦2	擦2	擦2	駆→擦 覆
9	鍬	石頭	24.8	14.8	6.0	2,420	〃	—	—	—	—	—	—	覆

表-63 J 21号住居跡石器器種・石材別一覧表

石材 石種	石打	磨石	尖頭石	石斧	捲頭石	背付刃	凸刃	凹刃	交刃	複刃	圓頭石	楔頭石	R頭石	U頭石	磨石	蔽石	圓石	神石	棒石	多孔石	凹石	圓石	石片	石核	その他	計	
	斧	斧	斧	斧	斧	刃	刃	刃	刃	刃	頭	頭	F頭	F頭	石頭	石頭	棒頭	棒頭	多孔頭	多孔頭	凹頭	凹頭	圓頭	圓頭	石核	石核	
黒色頁岩	2						1																		21		24
安山岩	1																								3	9	
計	3						1										1	3	1	1	21	3	33				

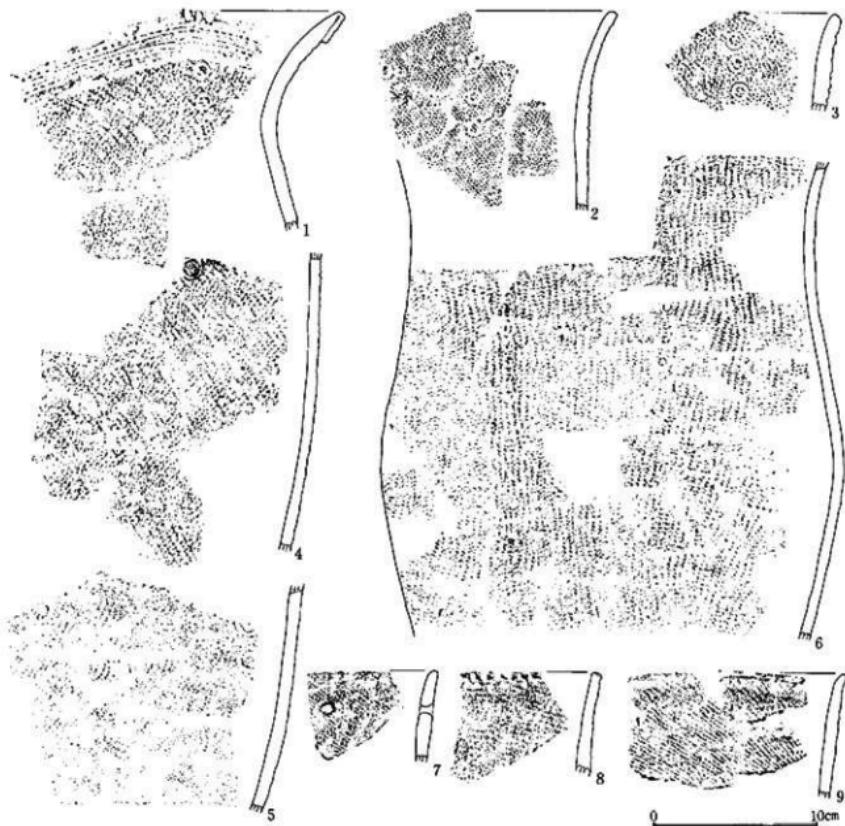


図-133 J 22号住居跡出土土器(1)

表-64 J 22号住居跡出土土器観察表(図-133・134・135 図版-89・90)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①始土 ②色調 ③残存部	時期	出土位置	備考
1	9	口縁下C字部斜列。抜頭部下に円形竹管継位刺突列。R Lの斜織文。折り返し口縁。波状口縁。	①砂粒②にい赤褐色③口縫部	諸職a	+ 8	
2	健	円形竹管継位刺突列。口縫附近外反。波状口縫。	①砂粒②にい赤褐色③口縫部	諸職a	-	
3	難	R Lの斜織文。円形竹管継位刺突列。口縫附近外反。波状口縫。	①砂粒②橙色③口縫部	諸職a		
4	33・35	R Lの斜織文。円形竹管継位刺突列。	①砂粒②橙色③口縫部	諸職a	+ 57 + 54	
5	21	L Rの斜織文。円形竹管継位刺突列。	①砂粒②橙色③口縫部	諸職a	+ 51	

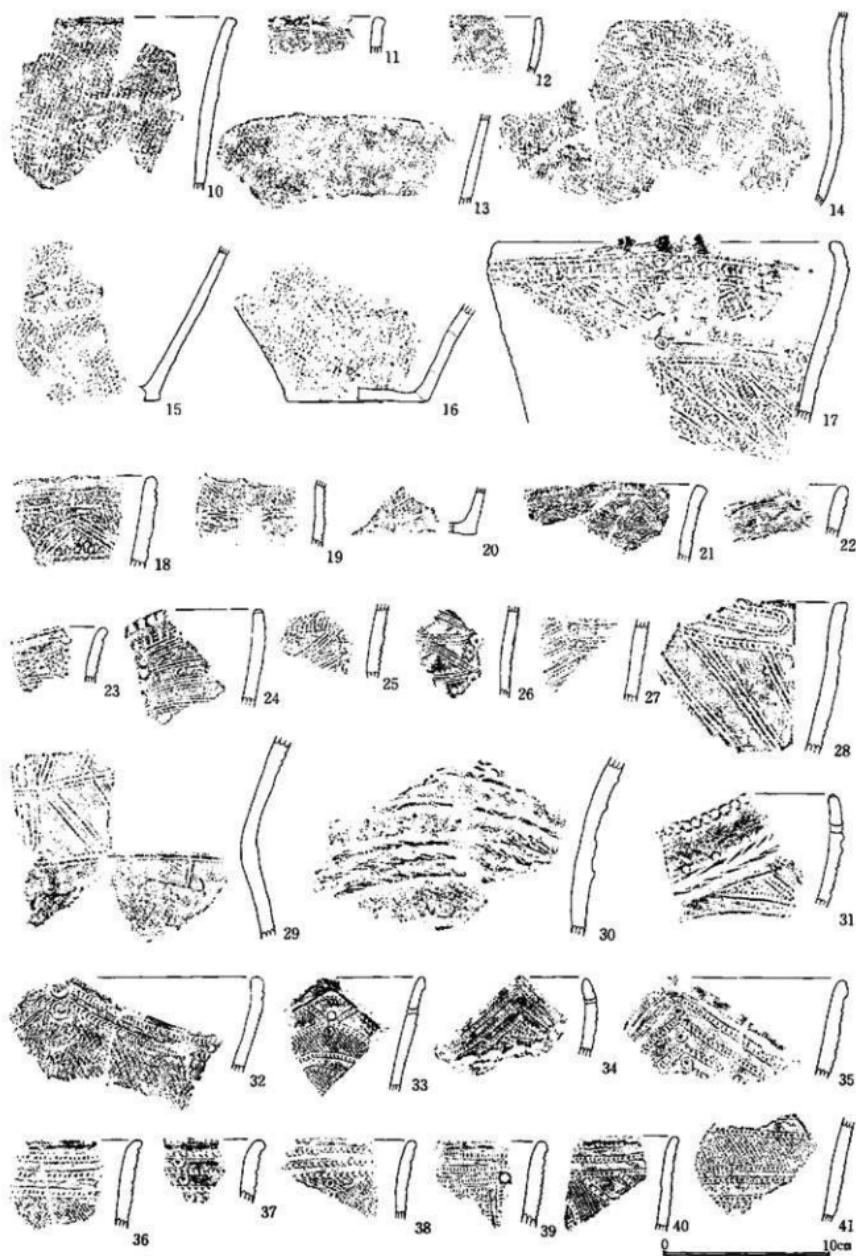


図-134 J-22号住居跡出土上器(2)

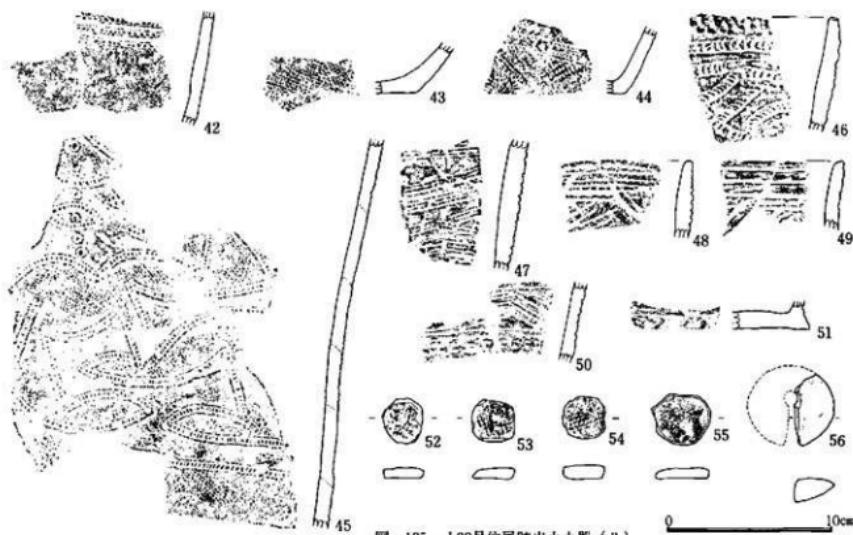
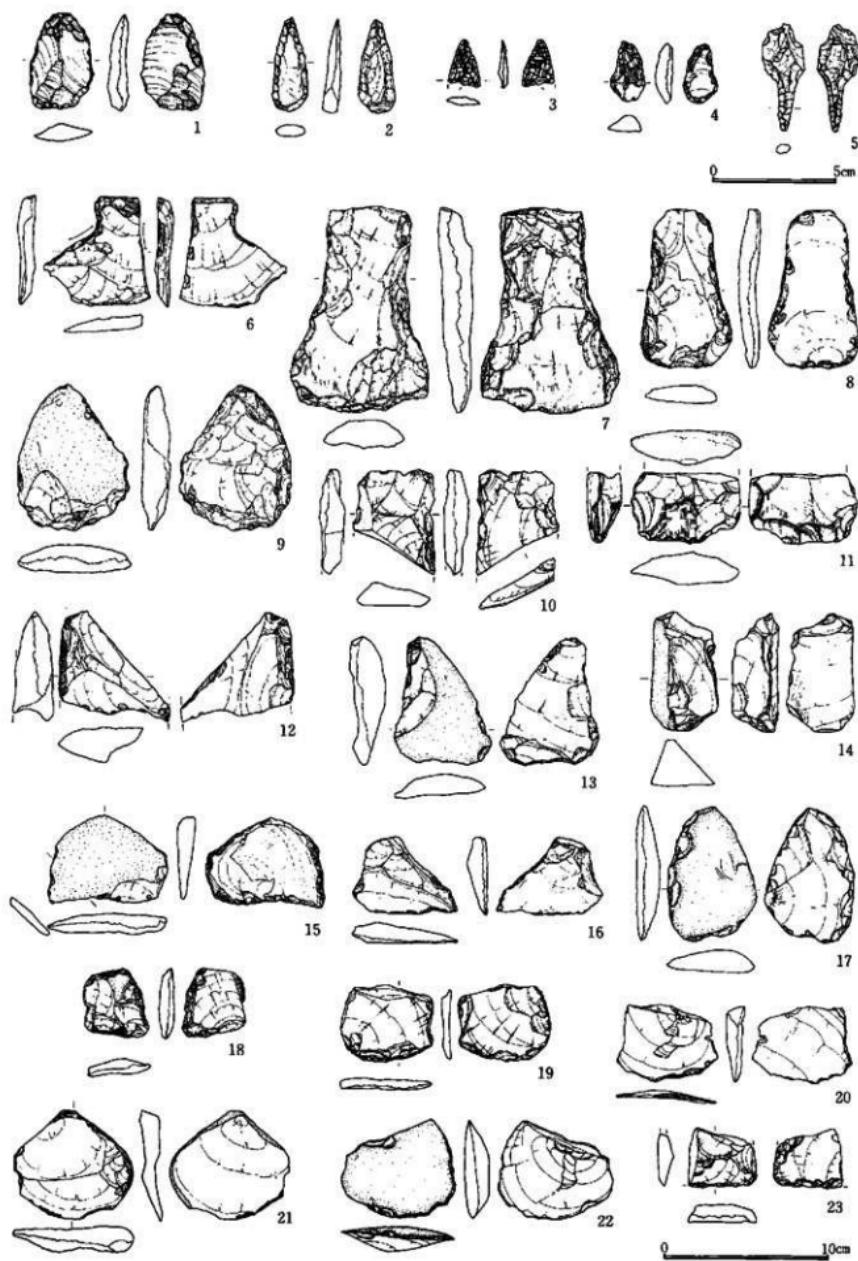


図-135 J 22号住居跡出土土器 (3)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①粘土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
6	9+14	R Lの斜縞文。円形竹管窓位刻突列。	①砂粒②明赤褐色③口縁部	諸磯a +8 +9		
7	縦	細いR Lの斜縞文。平口縁。穿孔。	①砂粒②にぼい褐色③口縁部	諸磯a	—	
8	縦	R Lの斜縞文(縱方向施文)。平口縁。口縁端窓位刻み列。	①砂粒②褐色③口縁部	諸磯a	—	
9	縦	細いR Lの斜縞文。平口縁。	①砂粒②褐色③口縁部	諸磯a	—	
10	38	L Rの斜縞文。平口縁。外反。	①砂粒②明赤褐色③口縁部	諸磯a +56		
11	縦	末端結節の細いR Lの斜縞文。平口縁。	①砂粒②明赤褐色③口縁部	諸磯a	—	
12	縦	口縁下に幅狭のC字形刻突列。細いR Lの斜縞文。平口縁。若干内凹。	①砂粒②にぼい赤褐色③口縁部	諸磯a	—	
13	39	R L・L Rの差な羽状網文。	①砂粒②明赤褐色③口縁部	諸磯 +46		
14	24	R Lの斜縞文。	①砂粒②明赤褐色③口縁部	諸磯a -48		
15	縦	R Lの斜縞文。	①砂粒②明赤褐色③口縁部	諸磯a	—	
16	8	R Lの斜縞文(やや太め)。平底。	①砂粒②明赤褐色③底部	諸磯a +43		
17	縦	口縁下に3条のC字形刻突列。その下方は平行沈線による直線的な肋骨文。底線上に円形竹管窓突列。R Lの斜縞文。平口縁。口縁付近で内凹。口縁端に3個一対の小突起。①砂粒②明赤褐色③口縁部 諸磯a —	諸磯a —			
18	縦	口縁下に2条の幅狭C字形刻突列。曲線的な平行沈線。	①砂粒②にぼい褐色③口縁部	諸磯a	—	
19	縦	曲線的な平行沈線。R Lの斜縞文。	①砂粒②明赤褐色③口縁部	諸磯a	—	
20	縦	平行沈線の斜格子。R Lの斜縞文。	①砂粒②明赤褐色③口縁部	諸磯a	—	
21	縦	4本1組の幅状工具による平行沈線と波状文。平口縁。	①砂粒②褐色③口縁部	諸磯a	—	
22	縦	4本1組の幅状工具による平行沈線と波状文。平口縁。	①砂粒②褐色③口縁部	諸磯a	—	
23	縦	平行沈線の肋骨文。底上の円形竹管窓突列。R Lの斜縞文。平口縁。	①砂粒②明赤褐色③口縁部	諸磯a	—	

番号	遺物番号	文様構成・文様施し・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
24	雜	4本1組の網状工具による平行沈線の肋骨文。縦位の円形竹管刺突列。波状口縁。口縁下網状工具の刺突列。①砂粒 ②赤褐色③縫部 諸儀a				
25	雜	4本1組の網状工具による平行沈線の肋骨文。縦位の円形竹管刺突列。波状口縁。口縁下網状工具の刺突列。①砂粒 ②赤褐色③縫部 諸儀a				
26	雜	4本1組の網状工具による平行沈線の肋骨文。縦位円形竹管刺突列。	①砂粒②に赤褐色 ③縫部	諸儀a	-	
27	雜	4本1組の網状工具による平行沈線の肋骨文。縦位円形竹管刺突列。	①砂粒②に赤褐色③縫部	諸儀a	-	
28	雜	口縁下C字形刺突列。無でた割部。	①砂粒混入②明赤褐色③口縁部	黒浜	-	
29	43	上半に平行沈線の直線的な肋骨文。胴部下半にしRの斜縞文。細い波状口縁。底く開き口縁に続く。	①織維②明赤褐色③口縁～割部	黒浜	住外	
30	41	R Lの斜縞文。矢羽根状刺込み入縫。	①砂粒②橙色③縫部	諸儀b	+44	
31	雜	矢羽根状刺込み入縫。U字形刺突列に囲まれた入組み文。 U縫維刺込み列。波状口縁。内凹。穿孔あり。	①砂粒②赤褐色③口縁部 U縫維刺込み列	諸儀b	-	
32	雜	口縁下に2条のC字形刺突列。波頂部に円形竹管刺突。 細いR Lの斜縞文。波状口縁。	①織維②に赤褐色③口縁部	黒浜	-	
33	雜	綱状C字形刺突列の弧線入組み文中に細いR L斜縞文。 波状口縁。波頂下に穿孔と円形竹管刺突。	①砂粒②に赤褐色③口縫部	諸儀a	-	
34	雜	口縁に添った綱状C字形刺突列。波状口縁。波頂下に穿孔。	①砂粒②に赤褐色③口縫部	諸儀a	-	
35	雜	口縁に添った綱状C字形刺突列。波頂下に円形竹管刺突列。	①砂粒②赤褐色③口縫部	諸儀a	-	
36	雜	口縁下に4条の綱状C字形刺突列。	①砂粒②明赤褐色③口縫部	諸儀a	-	
37	雜	口縁下に綱状C字形刺突列。縦位円形竹管刺突列。	①砂粒②赤褐色③口縫部	諸儀a	-	
38	雜	口縁下に綱状C字形刺突列。縦位円形竹管刺突列。R Lの斜縞文。	①砂粒②に赤褐色③口縫部	諸儀a	-	
39	雜	口縁下に逆C字形刺突列。穿孔。	①砂粒②赤褐色③口縫部	諸儀a	-	
40	雜	綱状C字形刺突列の弧線入組み文中に細いR L斜縞文。 外側は撫で。	①砂粒②橙色③口縫部	諸儀a	-	
41	雜	綱状C字形刺突列の弧線入組み文中に細いR L斜縞文。 外側は撫で。	①砂粒②赤褐色③縫部	諸儀a	-	
42	雜	口縁下に2条の綱状C字形刺突列R Lの斜縞文。	①砂粒②に赤褐色③縫部	諸儀a	-	
43	雜	R Lの斜縞文。平底。	①砂粒②橙色③底部	諸儀a	-	
44	38	底方向施文のR L・L Rの羽状施文。C字形刺突列。棒状工具小口刺突。	①織維②に赤褐色③底部	黒浜	+52	
45	雜	C字形刺突列の弧線入組み文。内部に付加条R L+Lの斜縞文。外側は撫で。縦位円形竹管刺突列。	①砂粒②に赤褐色③縫部	諸儀a	-	
46	雜	幅広C字形刺突列。口縫端刺込み列。	①砂粒②橙色③縫部	諸儀b	-	
47	26	平行沈線による変形構成。	①織維②明赤褐色③縫部	黒浜	+12	49と同一個体
48	雜	口縁下に平行沈線。平口縁。	①砂粒②橙色③口縫部	諸儀b	-	
49	雜	口縁下に平行沈線。平口縁。	①織維②に赤褐色③口縫部	黒浜	-	
50	雜	横位の平行沈線とその刺突列。	①砂粒②橙色③縫部	諸儀b	-	
51	雜	平行沈線。	①砂粒②に赤褐色③底部	諸儀b	-	
52	雜	土製円盤。R Lの斜縞文。	①砂粒②橙色③完形	諸儀	-	
53	雜	土製円盤。L Rの斜縞文。	①砂粒②橙色③完形	諸儀	-	
54	雜	土製円盤。	①砂粒②明黄褐色③完形	諸儀	-	
55	雜	土製耳飾り。全面施で。	①砂粒②赤褐色③有残	諸儀	-	
56	雜	土製耳飾り。全面施で。	①砂粒②赤褐色③有残	諸儀	-	



图—136 J 22号住居跡出土石器 (1)

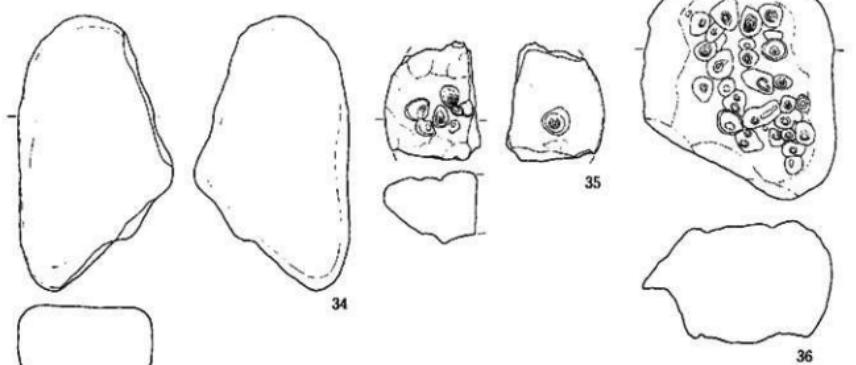
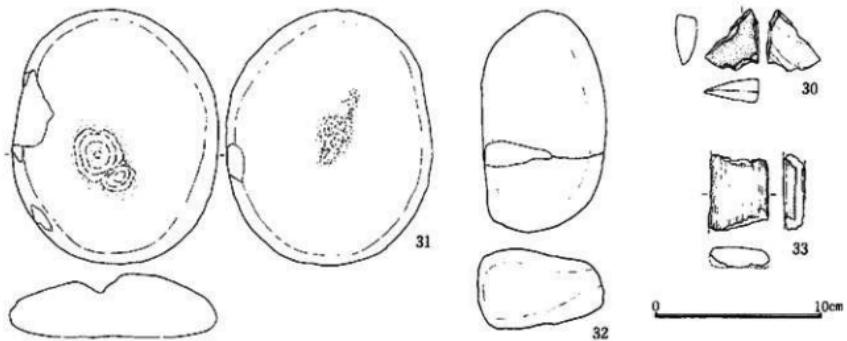
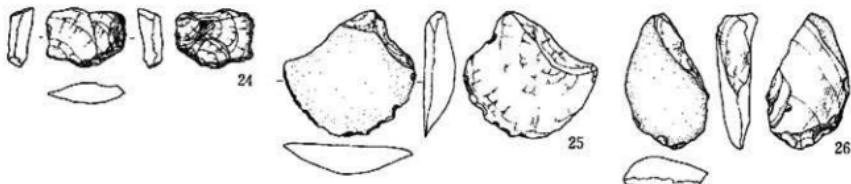


图-137 J 22号住居跡出土石器 (2)

表-65 J22号住居跡出土石器属性表

No.	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(kg)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備考
									A	B	a	b	c	
1	鍬	石 織	3.9	3.1	0.9	8	珪	—	—	—	—	—	—	覆
2	鍬	石 刃	3.8	1.5	0.7	4	安	—	—	—	—	—	—	覆
3	鍬	石 刃	1.9	1.3	0.4	2	珪	—	—	—	—	—	—	欠覆
4	鍬	石 刃	2.4	1.4	0.7	3	珪	—	—	—	—	—	—	覆
5	3	石 織	4.3	1.7	0.6	4	珪	—	—	—	—	—	—	住外
6	鍬	石 刃	6.6	6.4	1.2	39	黑質	40	—	—	—	—	減	— 覆
7	29	打製石斧	12.4	8.3	2.1	197	珪	50	—	—	—	減	—	+61
8	40	石 刃	9.4	5.4	1.2	70	珪	30	—	—	—	—	—	+50
9	鍬	石 刃	9.0	6.7	1.7	114	珪	60	—	—	—	—	—	覆
10	鍬	石 刃	(6.3)	4.9	1.4	44	珪	—	—	—	欠	—	—	欠覆
11	鍬	石 刃	(4.2)	6.7	2.1	64	珪	50	—	—	減・欠	—	—	欠覆
12	鍬	石 刃	(6.6)	6.8	2.4	60	珪	—	—	—	欠	欠	—	欠覆
13	鍬	交刃削器	7.6	5.9	2.6	82	珪	50	—	—	—	—	—	覆
14	鍬	直刃削器	7.5	4.1	3.0	86	珪	50	—	—	—	—	—	覆
15	鍬	交刃削器	6.9	5.0	1.1	45	珪	35	—	—	—	—	—	覆
16	27	石 刃	4.7	6.4	1.2	28	珪	45	—	—	—	—	—	+17
17	鍬	凸刃削器	8.5	5.4	1.3	68	珪	30	—	—	—	—	—	覆
18	鍬	交刃削器	4.3	3.9	0.9	18	珪	45	—	—	—	—	—	覆
19	鍬	凸刃削器	5.5	4.6	0.7	20	珪	30	—	—	—	—	—	覆
20	鍬	石 刃	4.6	6.5	1.1	25	珪	25	—	—	—	—	—	覆
21	23	U F	6.7	7.2	1.6	55	珪	25	—	—	—	—	—	凸刃 +19
22	鍬	凸刃削器	6.0	6.8	1.5	58	珪	35	—	—	—	—	—	覆
23	鍬	直刃削器	(3.7)	(4.1)	1.1	18	珪	35	—	—	—	—	—	欠覆
24	鍬	R F	4.7	3.6	1.5	28	頁	40 70	—	—	—	—	—	直刃・2刃覆
25	鍬	U F	7.5	8.0	1.7	96	黑質	35	—	—	—	—	—	凸刃覆
26	鍬	石 刃	8.1	5.5	2.4	76	珪	45	—	—	—	—	—	凸刃覆
27	鍬	U F	6.1	8.1	2.0	79	黑質	30	—	—	—	—	—	直刃覆
28	鍬	石 刃	5.4	7.2	2.1	85	珪	40	—	—	減	—	—	直刃覆
29	25	R F	7.0	3.8	1.6	35	珪	60	—	—	—	—	—	圓刃北壁面
30	鍬	網目織石器	3.1	3.2	1.4	13	珪	60	—	—	—	—	—	覆
31	鍬	円錐石器	15.3	12.3	3.8	870	安	—	凹1	敲1→擦1	—	—	—	覆
32	鍬	敲き石	13.2	7.4	4.8	580	珪	—	—	—	敲2	—	—	覆
33	鍬	棒状石器	(4.5)	3.5	1.2	31	黑片	—	擦1	擦1	欠	欠	擦1	欠覆
34	47	石 圓	32.2	18.3	8.4	8,200	安	—	擦1	擦1	—	—	—	+2

No.	遺物 番号	器種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備考	
									A	B	a	b	c		
35	48	多凹石+石皿	(14.2)	(11.4)	8.4	1,620	石	一	凹7	凹1・皿	—	—	—	—	欠P内
36	49	多凹石	28.3	23.0	15.9	12,500	石	—	凹	—	—	—	—	—	赤化→凹・敲東壁上面

表-66 J 22号住居跡石器種・石材別一覧表

石材	打 標	磨 擦	石 斧	尖 頭 器	石 錐	背 面	凸 面	同 面	交 錯	獲 入	楔 入	機 械	R F F	じ 磨 石	版 石	凹 石	石 錐	棒 状	多 凹 石	凹 石	石 核	石 片	その 他
黒色頁岩	6		1		2	4	4	4	1				1	5						109			133
頁岩													1										1
黑色安山岩																							37
安山岩	1															1	1	2	1	1	10		17
馬賽石																					3		3
瑪瑙	3		1																		24		28
黑色片岩																							1
結晶片岩																					2		2
計	4	6	1	1	2	4	4	1		2	5	1	1	1	1	2	1			176	10		222

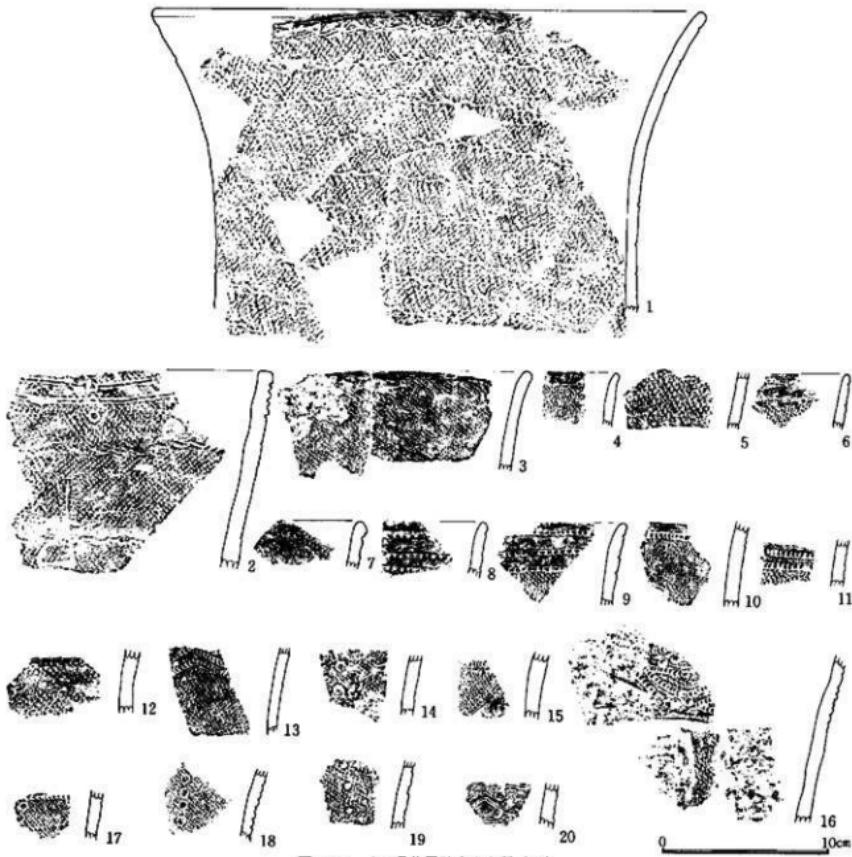


図-138 J 24号住居跡出土土器(1)

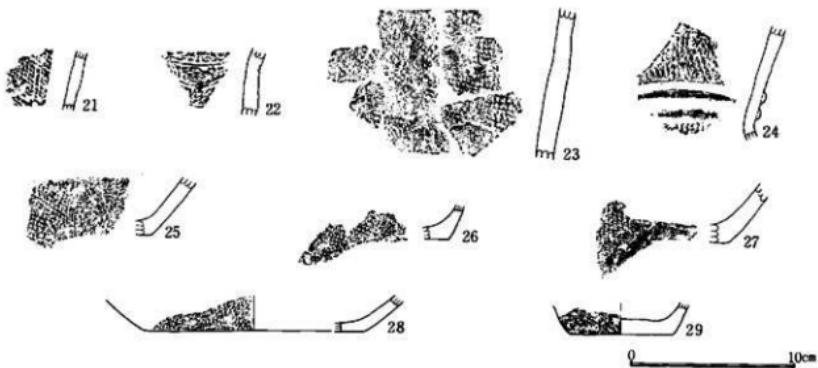


図-139 J 24号住居跡出土土器 (2)

表-67 J 24号住居跡出土土器観察表 (図-138・139 図版-90・91)

番号	遺物番号	文様構成・文様種文・器形の特徴	①地土 ②色調 ③残存	時 期	出土位置	備 考
1	12-13-14-表	Lの範囲R L L Lの斜縞文を全面施文。板く外反。平口縫。	①砂粒②明赤褐色③口縫へ削部中位	縄織a	+13	
2	16	Lの範囲で付加条R L + L + L R - R の羽状施文。口縫下に幅狭の平行沈線2条。縦位円形竹管刺突列。緩い波状口縫。直線的に開く。①砂粒混入②に赤褐色③口縫部 黒浜 + 9			+19+25	
3	雜	全面細いR Lの斜縞文。平口縫。	①砂粒②に赤褐色③口縫部	縄織a	-	
4	雜	口縫下側で。全面細いR Lの斜縞文。	①砂粒②明赤褐色③口縫部	縄織a	-	
5	9	男条R Lの斜縞文。	①砂粒②橙色③胸部	縄織a	P.内	
6	10	口縫下幅狭C字形刺突列。	①砂粒②明赤褐色③口縫部	縄織a	P.内	
7	雜	口縫下幅狭C字形刺突列。	①砂粒②赤褐色③口縫部	縄織a	-	
8	雜	口縫下幅狭C字形刺突列。	①砂粒②に赤褐色③口縫部	縄織a	-	
9	雜	口縫下幅狭C字形刺突列(3条)。R Lの斜縞文。	①砂粒②に赤褐色③口縫部	縄織a	-	
10	雜	幅狭C字形刺突列。R L - R R R斜縞文。	①砂粒②明赤褐色③胸部	縄織a	-	
11	雜	幅狭C字形刺突列。R Lの斜縞文。	①砂粒②に赤褐色③口縫部	縄織a		
12	雜	幅狭C字形刺突列。R Lの斜縞文。	①砂粒②橙色③胸部	縄織a		
13	雜	幅狭C字形刺突列。R Lの斜縞文。	①砂粒②橙色③胸部	縄織a		
14	雜	幅狭C字形刺突列の弧線入組み文。	①砂粒②橙色③胸部	縄織a	-	
15	雜	円形竹管刺突列。R Lの斜縞文。区画外無地。	①砂粒②橙色③胸部	縄織a		
16	5	幅狭C字形刺突列の弧線入組み文。剥形下半R Lの斜縞文。	①砂粒②に赤褐色③胸部	縄織a	+ 5	
17	雜	円形竹管刺突列。幅狭C字形刺突列。R Lの斜縞文。	①砂粒②明赤褐色③胸部	縄織a	-	
18	雜	円形竹管刺突列。R Lの斜縞文。	①砂粒②明赤褐色③胸部	縄織a	-	
19	雜	円形竹管刺突列。付加条R L + Lの斜縞文。	①砂粒②明赤褐色③胸部	縄織a	-	
20	雜	4本1組の棒状工具の波状文と平行沈線。円形竹管刺突列。	①砂粒②明赤褐色③胸部	縄織a	-	

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
21	雜	平行沈線。円形竹管網突刻。R.L.の斜繩文。	①砂粒②にぼい橙色③肩部	諸磯a	-	
22	雜	平行沈線。R.L.の斜繩文。	①砂粒②明赤褐色③肩部	諸磯a	-	
23	11	R.L.の斜繩文(全面荒れ)	①砂粒②明赤褐色③肩部	諸磯	r-20	
24	雜	R.L.の斜繩文。陰面。沈線。	①片岩②明赤褐色③肩部	諸磯	-	
25	雜	R.L.の斜繩文。	①砂粒②橙色③底部	諸磯a	-	
26	雜	R.L.の斜繩文。	①砂粒②橙色③底部	諸磯a	-	
27	雜	R.L.の斜繩文。	①砂粒②橙色③底部	諸磯a	-	
28	雜	R.L.の斜繩文。	①砂粒②明赤褐色③底部	諸磯a	-	
29	雜	R.L.の斜繩文。	①砂粒②にぼい橙色③底部	諸磯a	-	

表-68 J24号住居跡出土石器属性表

No	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	重 量(g)	石材	刃角	使用痕・装着部の位置・程度					備 考	
								A	B	a	b	c		
1	雜	石 簸	1.9	1.4	0.3	3	珠	-	-	-	-	-	-	覆
2	雜	打製石斧	9.5	6.0	1.6	111	黒質	30	-	-	-	-	-	覆
3	雜	刀 (6.4)	5.9	1.9	80	#	70	-	-	欠	-	背	済	基部欠
4	雜	刀 (4.2)	4.7	1.1	25	#	-	-	-	-	欠	-	-	刃部欠 覆
5	雜	刀 (3.9)	(3.4)	(1.0)	10	#	35	-	-	欠	減1	欠	-	刃部のみ 覆
6	雜	刀	5.0	4.6	2.0	48	#	40	-	-	-	-	-	覆
7	15	楔形石器	5.4	3.4	1.4	28	赤珪	50	-	-	-	済	-	+20
8	雜	直刃削器	6.7	5.2	2.0	46	黒質	35	-	-	-	-	-	覆
9	7	刀	4.8	5.0	1.7	46	#	40	-	-	-	-	-	-3
10	雜	交刃削器 (5.0)	(3.8)	(1.2)	22	#	40	-	-	-	-	-	-	欠 覆
11	12	U F	9.4	4.7	1.7	58	#	30	-	-	減3	-	-	+13
12	19	円錐石器	8.7	6.7	4.2	389	安	-	擦1	擦1→火	-	-	-	床直
13	18	刀	13.7	6.9	4.5	763	#	-	擦2→擦2	擦2→擦2	擦3	擦1	-	擦2 →擦1 +8
14	雜	円錐石器	11.3	7.3	4.4	562	#	-	凹1→擦1	凹1→擦1	擦3	擦2	擦1 →擦1	覆
15	22	刀	9.2	6.0	4.1	334	#	-	擦2→擦1	擦2→擦1	擦1	擦1	-	- +3
16	20	刀	10.3	9.0	5.0	647	#	-	擦1	擦1	擦2	擦2	擦2	+12
17	21	刀	16.8	5.9	5.0	785	#	-	擦1	擦1	擦1	擦1	-	擦高不
18	19	多凹石 (8.5)	7.8	5.6	453	#	-	凹1→擦1	凹1→擦1	擦2	欠	擦2	-	欠 床直
19	19	刀 (8.7)	7.6	3.4	330	#	-	凹2	凹2	-	欠	-	-	欠 床直
20	30	石器+多凹石	32.3	21.0	6.0	5,050	#	-	擦1	凹3	擦2	擦2	擦2	+7
21	1	磨 石	22.8	4.0	4.1	688	瓦	-	擦1	擦1	-	擦1	擦1	+5



图-140 J 24号住居跡出土石器 (1)

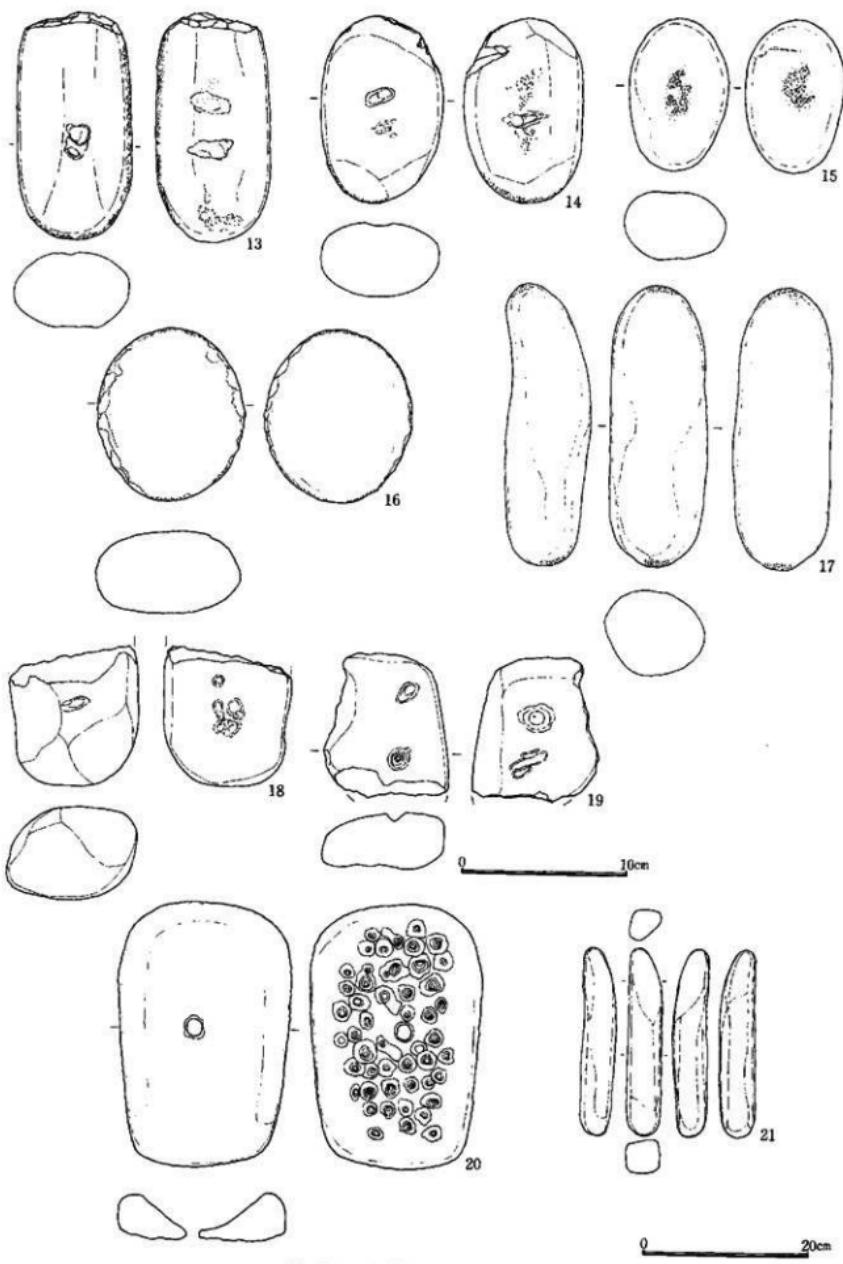


图-141 J 24号住居跡出土石器 (2)

表-69 J 24号住居跡石器器種・石材別一覧表

器種 石材	石 打	磨 削	石 鋸	尖 頭	石 器	背 部	直 刃	凸 刃	凹 刃	交 刃	復 刃	複 刃	複 刃	複 刃	R F	J F	縫 合	楔 頭	圓 頭	円 頭	石 棒	棒 状	石 棒	多 孔	圓 孔	石 片	銅 石 核	石 礫	その 他	計
黒色頁岩	5						2	1								1									20			29		
黒色頁岩																										6			6	
安山岩																									6			12		
斑岩																			1						4			1		
赤色頁岩																									2			3		
珪岩	1																								1			1		
結晶片岩																									36			57		
計	1	5					2	1			1					1	1	1	6		1	2								

表-70 J 25号住居跡出土土器觀察表 (図-142・143 図版-91・92・93)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③保存 部	時 期	出土位置	備 考
1	9	全面しの斜縞文。平口縫。	①鐵錆②によい褐色③口縫部	黒浜	-4	
2	10・17・28	全面RL・LRの羽状縞文。平口縫。	①鐵錆②褐色③口縫～側部	黒浜	+4-9 床直	
3	50	全面RL・LRの羽状縞文。平口縫。	①鐵錆②によい褐色③口縫～側部	黒浜	+26	
4	31	付加条RL+L・LR+Lの羽状縞文。	①鐵錆②明赤褐色③側部	黒浜	+19	
5	15	全面RL・LRの羽状縞文。平口縫。	①鐵錆②明黄褐色③口縫部	黒浜	+3	
6	28	RL・LRの羽状縞文。無い。	①鐵錆②褐色③側部	黒浜	埋蔵	
7	39・63・78	全面RL・LRの羽状縞文。	①鐵錆②明赤褐色③側部	黒浜	-8 +18	
8	難	全面RL・LRの羽状縞文(器面荒れ)。平口縫。	①鐵錆②明黄褐色③側部	黒浜	-	
9	49	RL・Lの羽状縞文。底平。	①鐵錆②褐色③底部	黒浜	+36	
10	-	LR? (施文後擦で)。上げ底。	①鐵錆②褐色③底部	黒浜	-	
11	11	付加条LR+R・筋節のRLの羽状縞文。	①鐵錆②褐色③側部	黒浜	+4	
12	65	RL? (表面荒れ)。平口縫。	①鐵錆②明赤褐色③口縫部	黒浜	+14	
13	12・60	ループ? (鐵錆が表面にでる)。	①鐵錆②褐色③口縫部	黒浜	床直 +7	
14	63	多段ループ?。頸部でくびれる。	①鐵錆②によい黄褐色③口 縫部	黒浜	+10	
15	16	平行沈線。波状文。平口縫。	①鐵錆②明黄褐色③口縫部	黒浜	+7	
16	16	2本1組の平行沈線。波状文。	①鐵錆②によい黄褐色 ③側部	黒浜	+7	
17	R102-123 鉢	口縫下2条のC字形刺突列(その間は擦で)。RL斜縞文。 浅鉢	①砂粒②明赤褐色③口縫 ~側部	諸磯a	+68	J 38・27と接
18	R102-89 55・90・鉢	縫隙C字形刺突列の痕継入組み文。区画内RL斜縞文。	①砂粒②明赤褐色③口縫部	諸磯a	+65	
19	R102-87 鉢	円形竹管刺突・大波状口縫。波浪部 貼付文。	①砂粒②によい褐色③口縫 部	諸磯b	-	
20	難	4本1組の形狀工具の胎骨文。円形竹管刺突。RLの斜 縞文。	①砂粒②によい褐色③側部	諸磯a	-	
21	R102-87 鉢	形狀工具の横位平行沈線。縫位円形竹管刺突。	①砂粒②によい黄褐色 ③側部	諸磯a	-	
22	R102-87 鉢・150	付加条RL+Rの斜縞文。	①鐵錆②明黄褐色③底部	黒浜	-59	
23	R102 鉢	L(無い)の斜縞文。	①砂粒②明赤褐色③底部	諸磯a	-	
24	R102-87 鉢・8	刻み入り浮線。	①砂粒②褐色③底部	諸磯b	+38	
25	4・5	無地。平底。	①鐵錆②褐色③底部	黒浜	+8 +5	

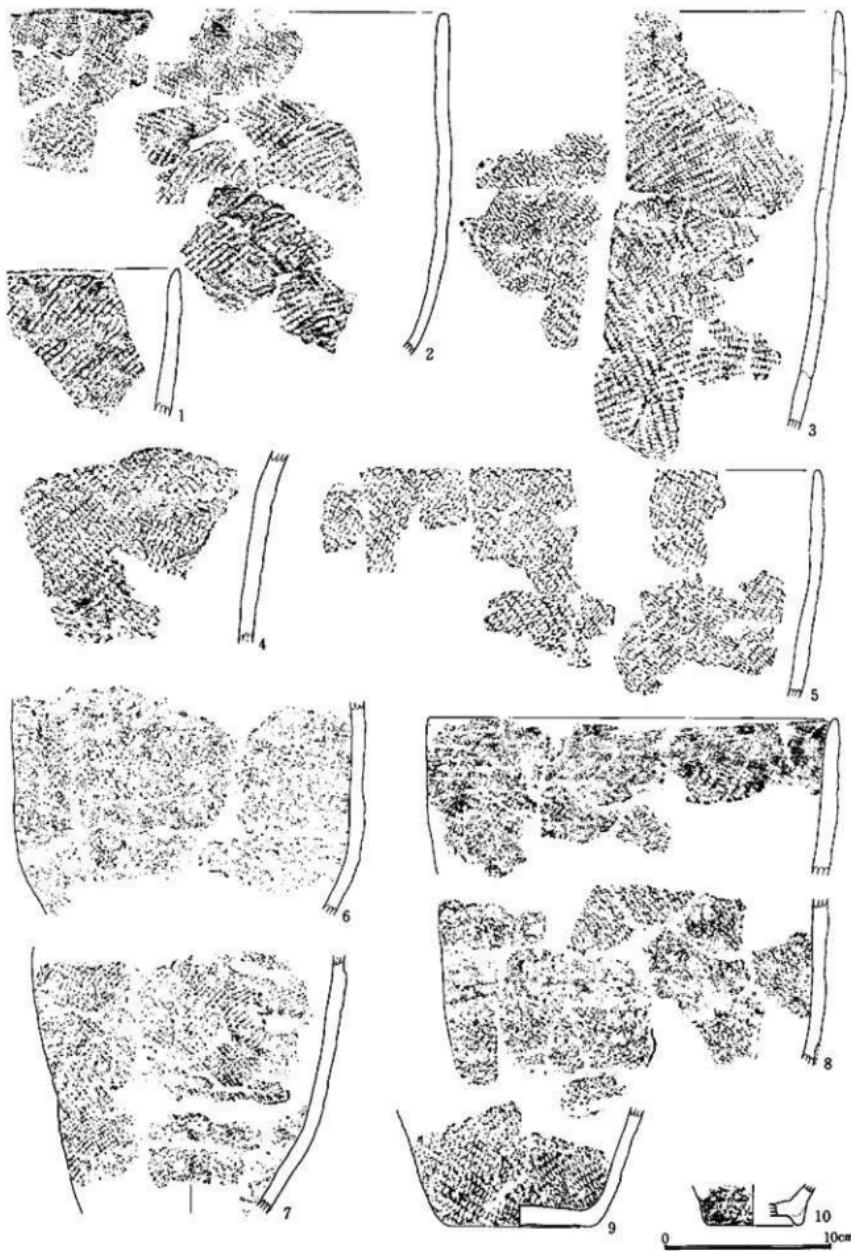


図-142 J 25号住居跡出土土器 (1)

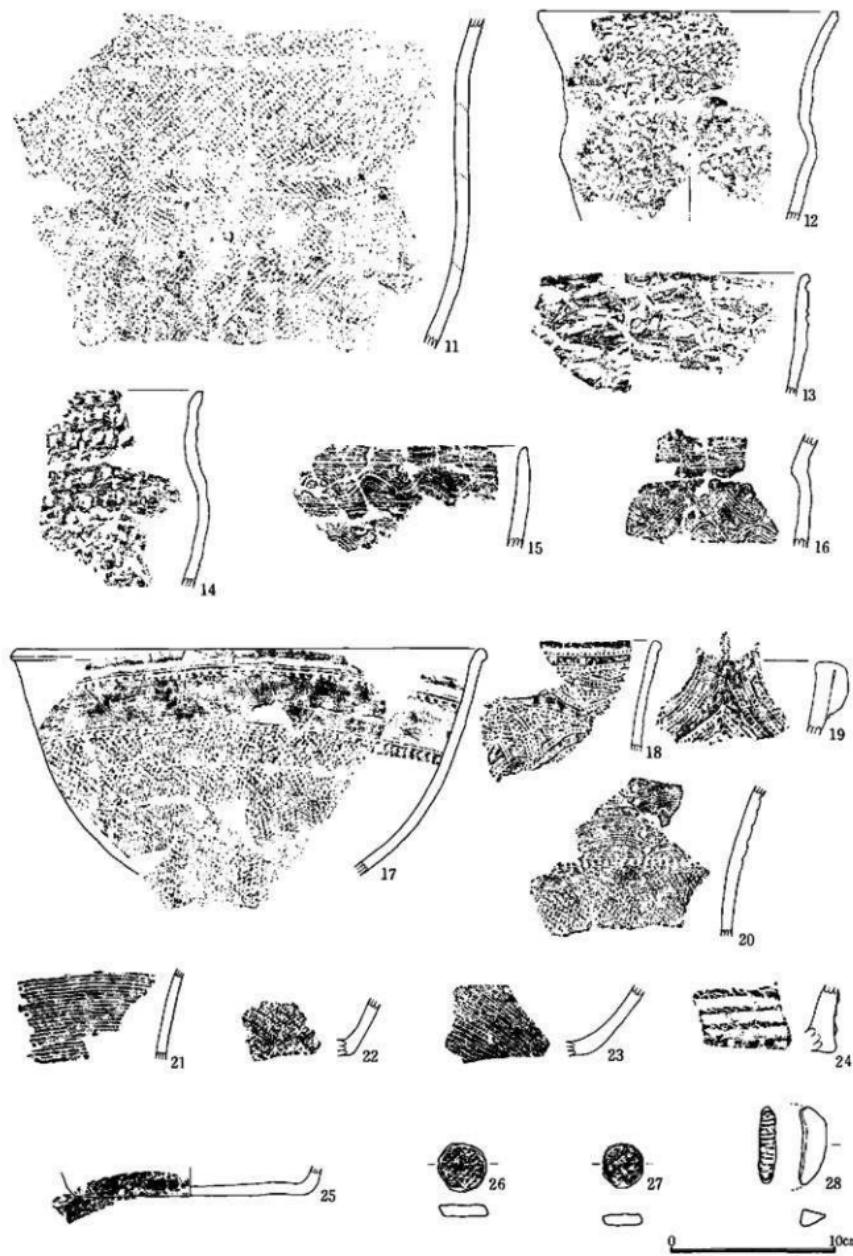


図 -143 J 25号住居跡出土土器 (2)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
26	R102-87 鉢	R L の斜繩文。土製円盤。	①砂粒②明赤褐色③完形	諸磯 a	—	
27	R102-87 鉢	撫で。土製円盤。	①砂粒②暗色③完形	諸磯	—	
28	R102-87 鉢	撫で。貝殻状貼付文(剥れた物)。	①砂粒②にぼい黄褐色 ③完形	諸磯 c	—	

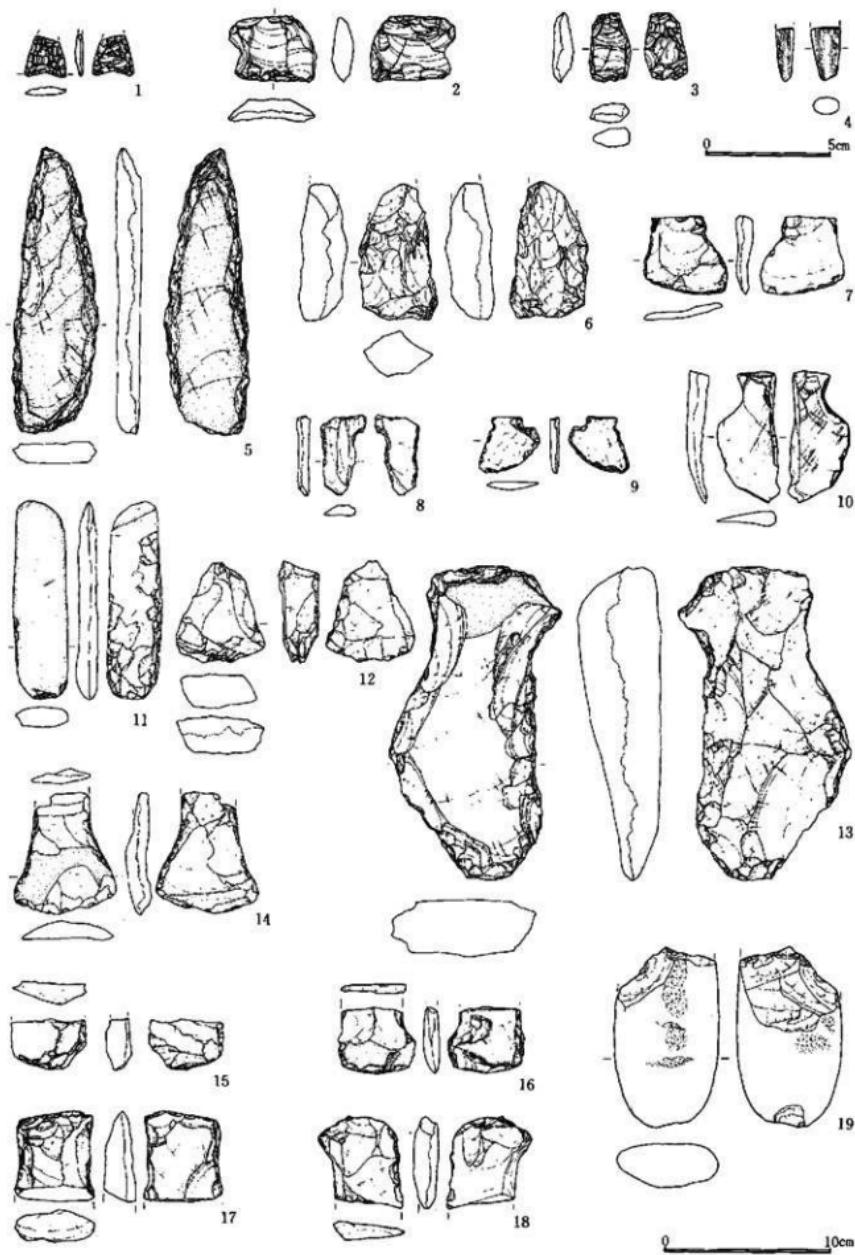
表-71 J25号住居跡出土石器属性表

No.	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(Kg)	石材	刃角	使用痕・施着痕の位置・程度					備考	
									A	B	a	b	c	d	
1	縞	石 磨	(1.7)	1.6	0.4	2	珪	—	—	—	欠	—	—	—	欠
2	縞	楔形石器	2.6	3.5	0.9	10	#	50 60	—	—	—	—	—	—	覆
3	鉢	#	2.8	1.5	0.9	45	#	50 65	—	—	—	—	—	—	一括
4	2	棒状石器	2.1	1.2	0.7	31	蛇	—	擦2	擦2	欠	擦2	擦2	擦2	欠 +30
5	62	尖頭器	17.2	5.1	1.5	190	片	—	—	—	—	—	—	—	+16
6	鉢	#	8.2	4.7	2.9	111	黒質	—	—	—	欠	—	—	—	一括
7	鉢	石 鋏	4.6	5.5	1.1	19	#	40	—	—	—	—	—	—	一括
8	鉢	#	4.8	2.7	0.8	11	#	40	—	—	—	—	—	—	一括
9	鉢	#	3.4	3.6	5.0	7	#	50	—	—	—	—	—	—	一括
10	鉢	#	7.9	3.8	1.3	28	#	20	—	—	—	—	—	—	一括
11	24	打製石斧	11.9	3.3	1.3	75	#	60	—	—	—	—	—	—	+19
12	34	#	6.0	5.3	2.4	78	#	60	—	—	—	—	—	—	+15
13	51	#	18.9	10.4	5.0	850	#	35	—	—	—	—	—	—	標高不
14	151	#	(7.3)	6.1	1.5	52	#	35	—	—	欠	—	—	—	欠 +72
15	鉢	#	(3.0)	4.5	1.1	25	#	60	—	—	—	—	—	—	一括
16	鉢	#	(4.0)	4.1	9.0	23	#	70	—	擦	欠	擦	—	—	基部欠 一括
17	鉢	#	(4.5)	4.8	2.0	53	#	—	—	—	欠	—	—	—	一括
18	鉢	#	(5.6)	5.1	1.6	51	#	—	—	—	欠	—	—	—	刃部欠 一括
19	1	磨製石斧	(10.9)	6.2	3.2	342	蛇	80	敲→擦	敲→擦	欠	刃 敲→擦	敲	擦・擦	欠 -31
20	137	擦 器	6.7	5.2	1.7	54	黒質	60	—	—	—	—	—	—	+72
21	156	抉入石器	4.6	2.4	0.9	8	#	60	—	—	—	—	—	—	+52
22	鉢	交刃削器	4.3	(7.1)	1.2	36	#	80 40	—	—	—	—	—	欠	欠 一括
23	46	石 核	6.6	4.1	2.9	79	珪	—	—	—	—	—	—	—	+32
24	46	#	4.0	3.1	2.1	31	#	—	—	—	—	—	—	—	+32
25	158	棒状石器	(8.2)	3.2	1.2	49	黑片	—	—	—	欠	敲	—	—	+75
26	29	#	9.5	3.0	1.9	85	#	—	—	—	—	敲	—	—	+43
27	61	砥 石	7.8	7.3	1.4	88	砂	—	擦1	擦1	—	—	—	—	+17
28	8	円錐石器	8.0	5.3	2.6	175	安	—	擦1	擦1	—	—	—	—	-3
29	125	#	8.6	7.0	3.1	246	#	—	敲2	敲2	敲3	敲2	敲2	敲2	+63

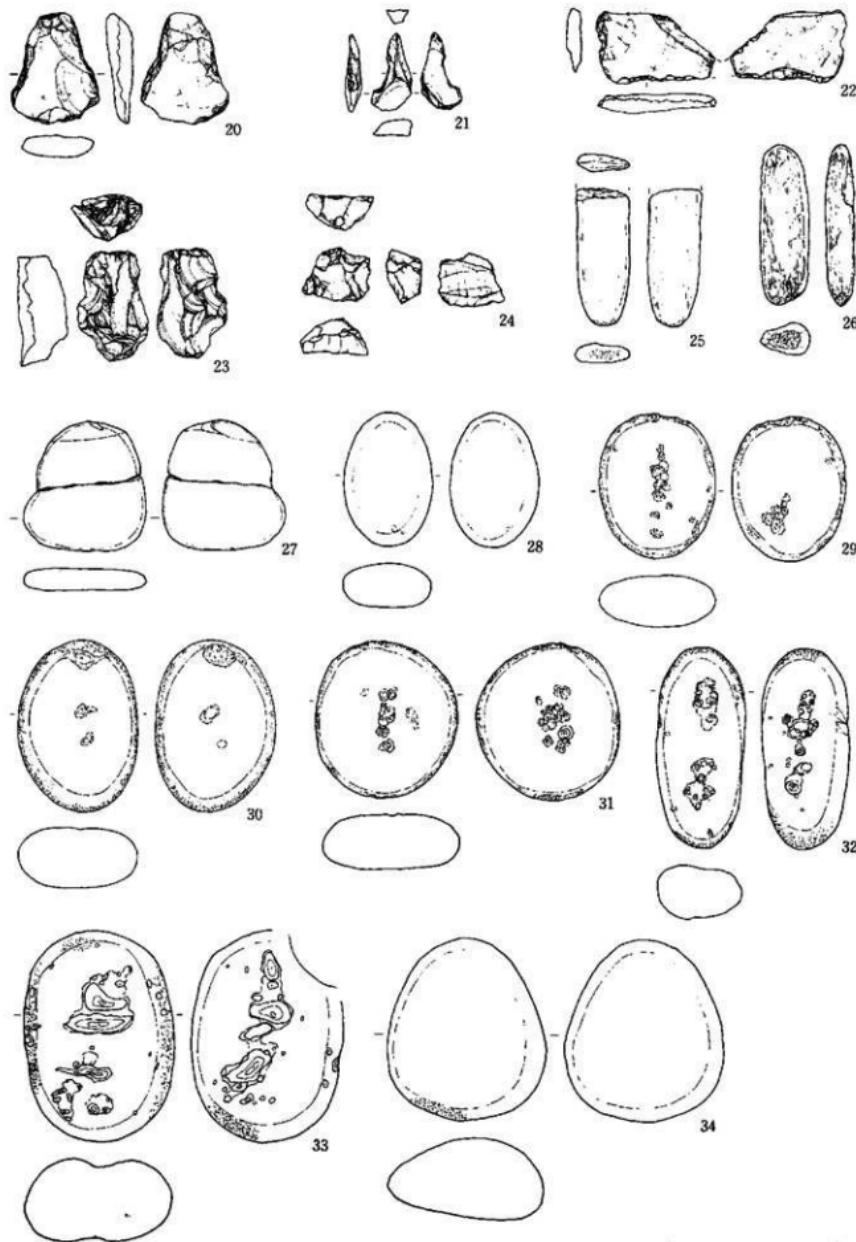
No	遺物 番号	器種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度						備考
									A	B	a	b	c	d	
30	55	#	10.3	7.2	3.5	416	磨	-	凹2→擦2	凹2→擦2	敲2	敲2	敲1	敲1	住外
31	30	#	9.4	8.5	3.4	419	安	-	敲2→擦2	敲2→擦2	敲2	敲2	敲2	敲2→擦1	+16
32	72	#	11.9	5.3	3.7	317	#	-	凹3	凹3	敲1	敲1	-	-	住外
33	22	#	12.8	10.5	5.0	886	#	-	凹3	凹3	敲2	敲2	敲2	敲2	+5
34	43	#	11.0	9.5	4.9	739	#	-	擦1	擦2	敲1	敲1	敲1	敲1	+27
35	137	円錐石器	13.2	7.8	4.0	717	安	-	凹2	凹3	敲2	敲2	敲2	敲2	+54
36	純多	凹石	12.6	9.0	7.3	1,045	#	-	凹3	凹3	敲1→擦1	敲1→擦1	敲1→擦1	敲1→擦1	複

表-72 J 25号住居跡石器器種・石材別一覧表

石材	器種															計										
	石斧	打刃	磨石	石尖頭	石頭	石背	直刃	凸刃	凹刃	突刃	齒刃	嵌入	横刃	縦刃	R	U	磨石	敲2	敲1	神狀	石棒	多孔	凹石	圓石	斜石	石片
黒色頁岩	8			1	4	1			1		1										142					158
黒色食山岩																					23					23
石英安山岩																					1					1
安山岩																				7	1				5	13
蛇紋岩		1																		1					2	
灰岩																			1						1	
ヒン岩																				2					2	
輝緑岩																				1					1	
麻痺石																				2					2	
赤色建葉岩																				3					3	
珪岩	1																			27	2				32	
黒色片岩		1																	2	2				5		
硝晶片岩																			2					3		
砂岩																			1					1		
計	1	8	1	2	4	1			1		1	2						8	3	1	1	205	2	5	246	



图一四四 J25号住居跡出土石器 (1)



图—145 J25号住居跡出土石器 (2)

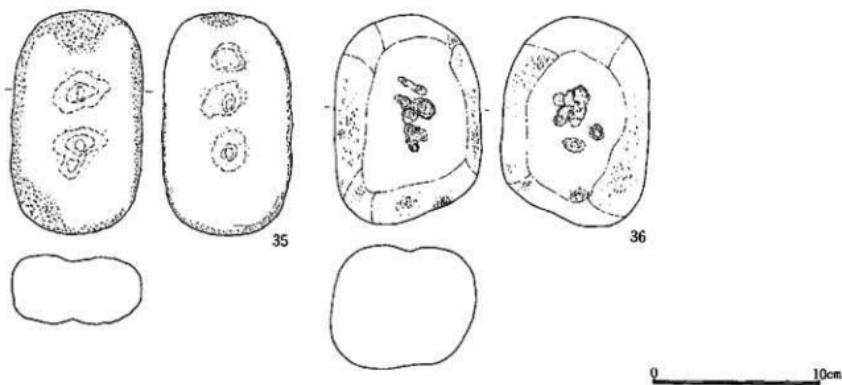


図-146 J 25号住居跡出土石器（3）

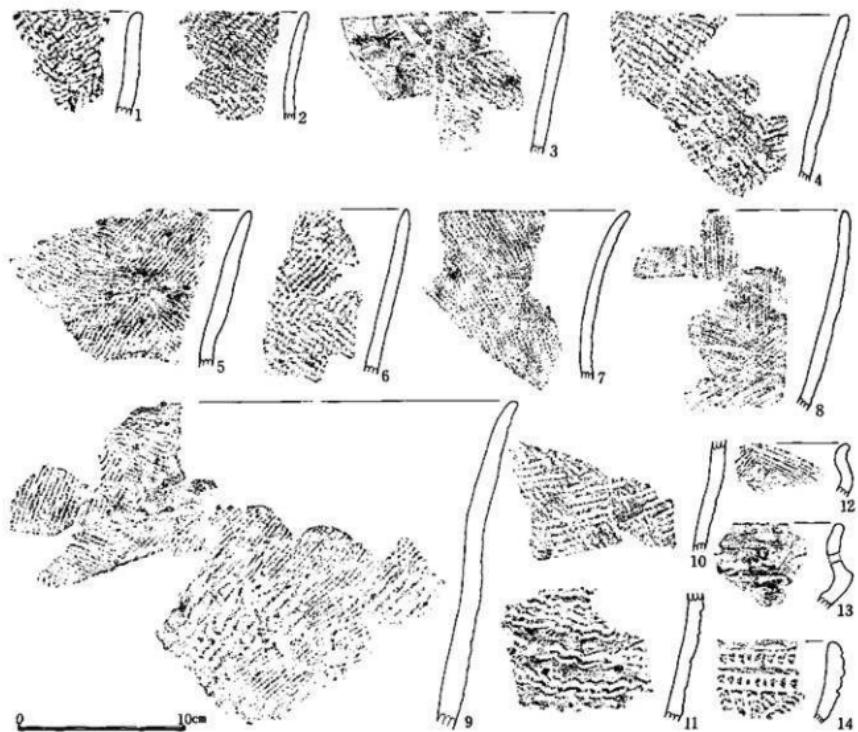


図-147 J 26号住居跡出土石器（1）

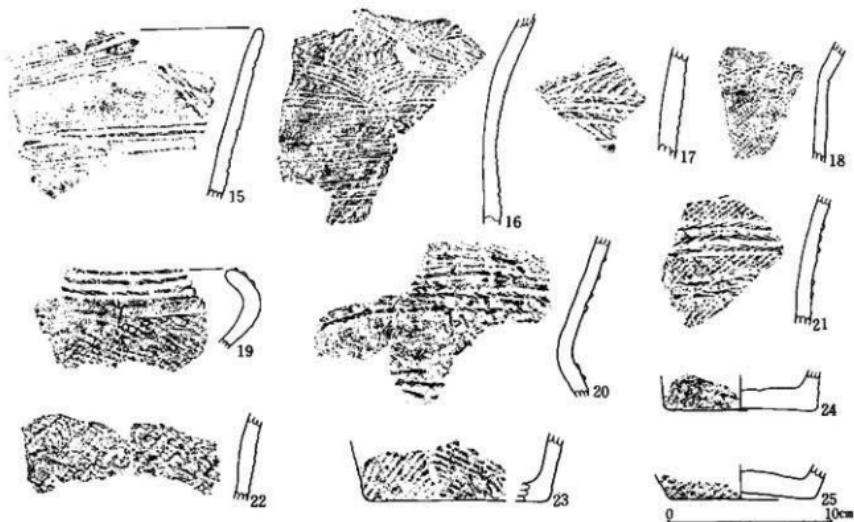


図-148 J 26号住居跡出土土器（2）

表-73 J 26号住居跡出土土器観察表（図-147・148 図版-93）

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③焼成	時 期	出土位置	備 考
1	28	L Rの斜縞文。口縁内削。平口縫。	①織維②にぼい黄橙色③口縁部	黒浜	148、48	
2	55	R L・L Rの羽状縞文。平口縫。	①織維②にぼい褐色③口縁部	黒浜	148、63	
3	54	Rの斜縞文。口縁下斜格子沈縫。	①織維②にぼい褐色③口縁部	黒浜	148、52	
4	16	L・Rの羽状縞文。平口縫。	①織維②にぼい橙色③口縁部	黒浜	148、31	
5	23・24・縦	L・Rの羽状縞文。平口縫。	①織維②にぼい褐色③口縁部	黒浜	148、64 148、57	
6	54	L・R Lの羽状縞文。	①織維②にぼい橙色③口縁部	黒浜	148、52	
7	44	付加条R L+Lの斜縞文。平口縫。	①砂粒②橙色③口縁部	泥炭a	148、58	
8	31・縦	R・Lの縦条体の継位羽状縞文。	①織維②橙色③口縁部	黒浜	148、56	
9	NaA-5 59	L・Rの羽状縞文。平口縫。	①織維②にぼい黄橙色③口縁部	黒浜	148、30	
10	54・縦	間隔あくしの横位施文。	①織維②にぼい橙色③側部	黒浜	148、52	
11	47	だれた横位のコンバス文。	①織維②橙色③側部	黒浜	148、62	
12	20	7本1組の横状沈縫。波状口縫。	①砂粒②にぼい黄橙色③LJ 縫部	諸磯c	148、69	
13	縦	有孔浅鉢。口縁下刻み。	①砂粒②にぼい橙色③口縁部	諸磯b	-	
14	20	幅広C字形刻突列。	①砂粒②にぼい黄橙色③口縫部	諸磯b	148、69	
15	縦	平行沈縫の菱形構成。波状口縫	①織維②にぼい赤褐色③口縫部	黒浜	-	
16	49	L地文。2~4本1組の平行沈縫。	①砂粒②にぼい黄橙色 ③網部	諸磯b	148、65	

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
17	13	L・Rの羽状縞文。平行沈線。	①織維②にぼい赤褐色 ③腹部	黒浜	148. 36	
18	43	L Rの地文。横位のコンパス文。	①織維②にぼい橙色③腹部	黒浜	148. 50	
19	38	口縁下矢羽根状浮線。R Lの地文。	①砂粒②にぼい褐色③口縁部	諸磯 b	148. 54	
20	40・59	矢羽根状浮線。	①砂粒②にぼい赤褐色 ③腹部	諸磯 b	148. 58 148. 30	
21	22	L Rの地文。矢羽根状浮線。	①砂粒②にぼい橙色③腹部	諸磯 b	148. 70	
22	29・58	L Rの斜縞文。	①織維②明黄褐色③胸部	黒浜	148. 54 148. 54	
23	56	L・Rの羽状縞文。	①織維②橙色③背部	黒浜	148. 54	
24	56	文様不鮮明。平底。	①織維②橙色③底部	黒浜	148. 54	
25	59	L Rの斜縞文。平底。	①織維②橙色③底部	黒浜	148. 30	

表-74 J 26号住居跡出土石器属性表

No	遺物番号	器 標	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	石材	刃角	使 用 痕・装着痕の位 置・程 度					備 考	
									A	B	a	b	c	d	
1	雜	背付き石器	12.7	7.7	2.9	341	黒質	45	—	—	—	誠	—	—	直刃 覆
2	3	打製石斧	(5.2)	5.0	1.3	38	〃	20	—	—	欠	—	—	—	基部欠 148.58
3	雜	〃	(8.6)	5.8	1.3	60	〃	25	—	—	欠	誠	—	—	基部欠 覆
4	40	交刃削器	4.2	5.7	1.1	31	〃	40	—	—	—	—	—	—	148.58
5	15	〃	7.6	12.0	2.7	255	〃	50	—	—	—	—	—	—	148.50
6	56	石 核	9.8	9.5	4.2	455	〃	—	—	—	—	—	—	—	148.59
7	23	複刃削器	9.9	6.7	2.5	140	〃	40 70	—	—	—	—	—	—	直刃 148.64
8	35	円錐石器	8.6	6.3	2.7	176	安	—	擦1	擦1	擦1	擦1	擦1	擦1	148.58
9	雜	〃	9.6	7.4	4.5	397	〃	—	凹2	擦1→凹2	—	—	—	—	覆
10	28	〃	11.6	6.1	3.4	448	〃	—	凹2	擦1→凹2	擦1	擦1	擦1	擦1	148.60
11	A-6	〃	10.2	8.7	4.1	465	〃	—	敲2	敲1	敲1	敲1	敲1	敲1	148.54
12	109-1	縫 刻 繩	8.2	7.7	6.3	493	〃	—	—	—	—	—	—	—	148.56

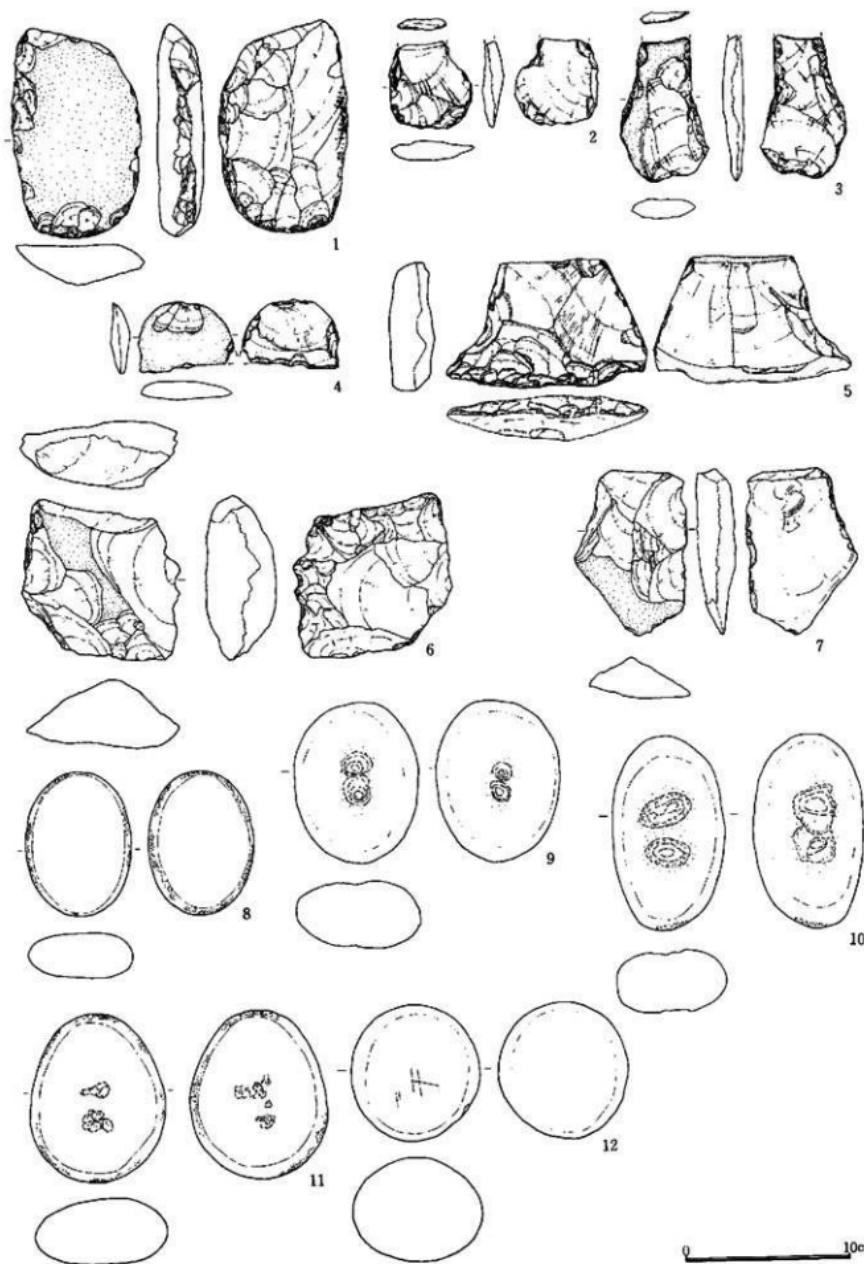


図-149 J 26号住居跡出土石器

表-75 J 26号住居跡石器器種・石材別一覧表

器種 石材	石 打 斧 石 尖頭 石 標 背 刀 凸 刃 交 刃 複 刃 齒 快 刃 標 人 形 標 R U 標 F F 石 石 標 圓 石 石 標 棒 狀 圓 石 石 多 凹 石 石 圓 石 片 石 標 那 計				26	1	33	
		2	1	2				
黑色安山岩								
安山岩						4		
珪岩							5	
計		2	1	2	1	4		5
							32	12
								56

表-76 J 27・30号住居跡出土土器觀察表 (図-150・151・152・153 図版-93・94・95・96)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土	②色調	③残存	時期	出土位置	備考
1 27住	85・86	5本1組の輪状工具の平行沈線と曲線の肋骨文。竪位の円形竹管制突列。口縁下輪状工具の刺突列。大波状口縁。放頂部内面。内認織痕。	①細砂粒	②明赤褐色	③口縁部	縫織 a	+12 +35	
2 27住	78・83	4本1組の輪状工具の肋骨文。竪位の円形竹管制突列。口縁下輪状工具の刺突列。大波状口縁。	①細砂粒	②明赤褐色	③口縁部	縫織 a	+22 +23	5と同一個体
3 27住	32・33・34	平行沈線の幾何的な肋骨文。口縁下と脚部との境にC字形刺突列。条。竪位輪線との交点に凸形竹管制突列。	①粗砂粒	②明赤褐色	③口縁部	縫織 a	+31 +37 -57	
4 27住	18	口縁下輪状C字形刺突列の輪状状文。曲線的な肋骨文。竪位円形竹管制突列。L字形縫織。平口縁。	①細砂粒	②明赤褐色	③口縁部	縫織 a	+7	
5 27住	43・44	4本1組の輪状の肋骨文。竪位の円形竹管制突列。	①細砂粒	②明赤褐色	③脚部	縫織 a	+27 +22	2と同一個体
6 雜		4本1組輪状工具の輪状状文と横線。浅鉢。口縁下より外反平口縁。	①砂粒	②明赤褐色	③口縁部	縫織 a	-	
7 雜		6本1組輪状工具の輪状状文と横線。竪位円形竹管制突列。平口縁。	①細砂粒	②明赤褐色	③口縁部	縫織 a	-	
8 27住	17・20	3本1組輪状工具の波状文。円形竹管制突列。平口縁。	①細砂粒	②明赤褐色	③口縁部	縫織 a	+22 +20	
9 27住	29	3本1組輪状工具の波状文と横線。斬削状文と肋骨文。平口縁。	①細砂粒	②明赤褐色	③口縁部	縫織 a	+48	
10 27住	113	R L・L Rの羽状縞文。平行沈線。大波状口縁。口縁端小突起。	①織織	②橙色	③口縁部	麻糸	+15	
11 30住	7	刺突列下半に縦縞の区画。4本1組輪状工具の直線的な肋骨文。	①細砂粒	②橙色	③脚部	縫織 a	-10	
12 27住	15・18	脚部下半に縦縞の区画。4本1組輪状工具の直線的な肋骨文。竪位の小口刺突列。脚部中央より外反。	①細砂粒	②橙色	③脚部	縫織 a	+15 +7	
13 27住	22・89	R Lの斜縞文。平行沈線で横縞区画。区画内肋骨文。交点凸形竹管制突列。被縫内側で削し。	①砂粒	②明赤褐色	③脚部	縫織 a	+2 -13	
14 27住	22	L L及び脚部中央に3条のC字形刺突列。R L斜縞文。平口縁。口縁付近ゆるく外反。	①細砂粒	②橙色	③口縁部	縫織 a	埋要	
15 27住	113	全面R Lの斜縞文。平口縁。	①砂粒	②明赤褐色	③口縁部	縫織 a	+15	
16 27住	15・68	全面R Lの斜縞文。平口縁。	①砂粒	②明赤褐色	③口縁部	縫織 a	+18 +15	
17 27住	30・35・80	全面R Lの斜縞文。平口縁。	①砂粒	②橙色	③口縁部	縫織 a	+10 +22 +4	
18 27住	43・56	全面R-L-L-Lの斜縞文。口縁下穿孔あり。平口縁。	①砂粒	②明赤褐色	③口縁部	縫織 a	+27 +21	
19 27住	101	全面R Lの斜縞文。平口縁。	①砂粒	②橙色	③口縁部	縫織 a	床直	
20 27住	5	全面付加条R L+Lの斜縞文。平口縁。	①砂粒	②明赤褐色	③口縁部	縫織 a	+23	
21 30住	102	R L・L Rの羽状縞文。口縁端に突起。口縁付近内湾ぎみに開く。	①織織	②橙色	③口縁部	麻糸	+16	
22 27-30住	42-105-106	口縁下及び脚部中央に3条の横挿C字形刺突列。R Lの斜縞文。平口縁。口縁付近緩く外反。	①砂粒	②明赤褐色	③口縁部	縫織 a	+16 +7	
23 27住	38	R Lの斜縞文。横挿C字形刺突列。	①砂粒	②明赤褐色	③脚部	縫織 a	P.内	
24 27住	17	R Lの斜縞文。横挿C字形刺突列。	①砂粒	②明赤褐色	③脚部	縫織 a	+22	
25 27住	49	口縁下3条の横挿C字形刺突列。R Lの斜縞文。平口縁。	①砂粒	②橙色	③口縁部	縫織 a	+36	

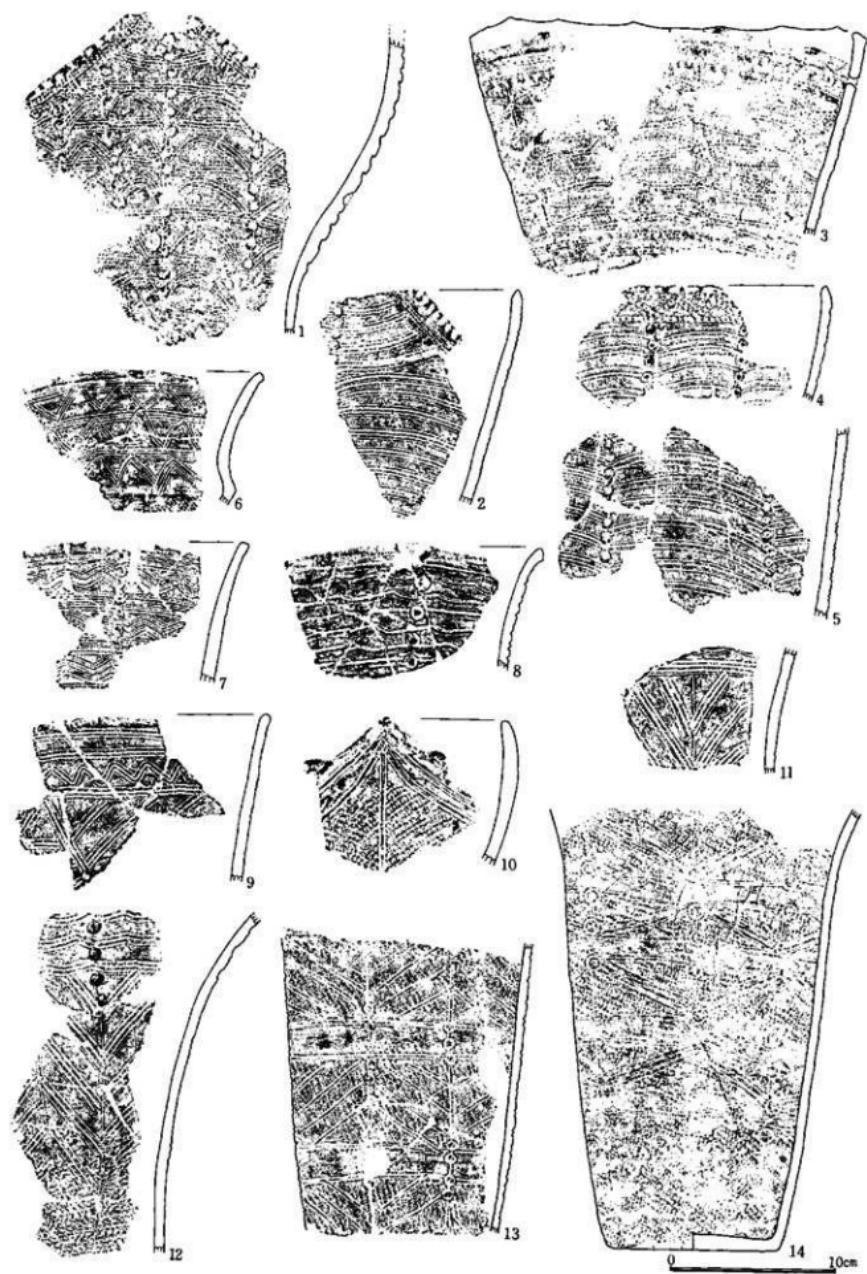


图-150 J 27·30号住居跡出土土器 (1)

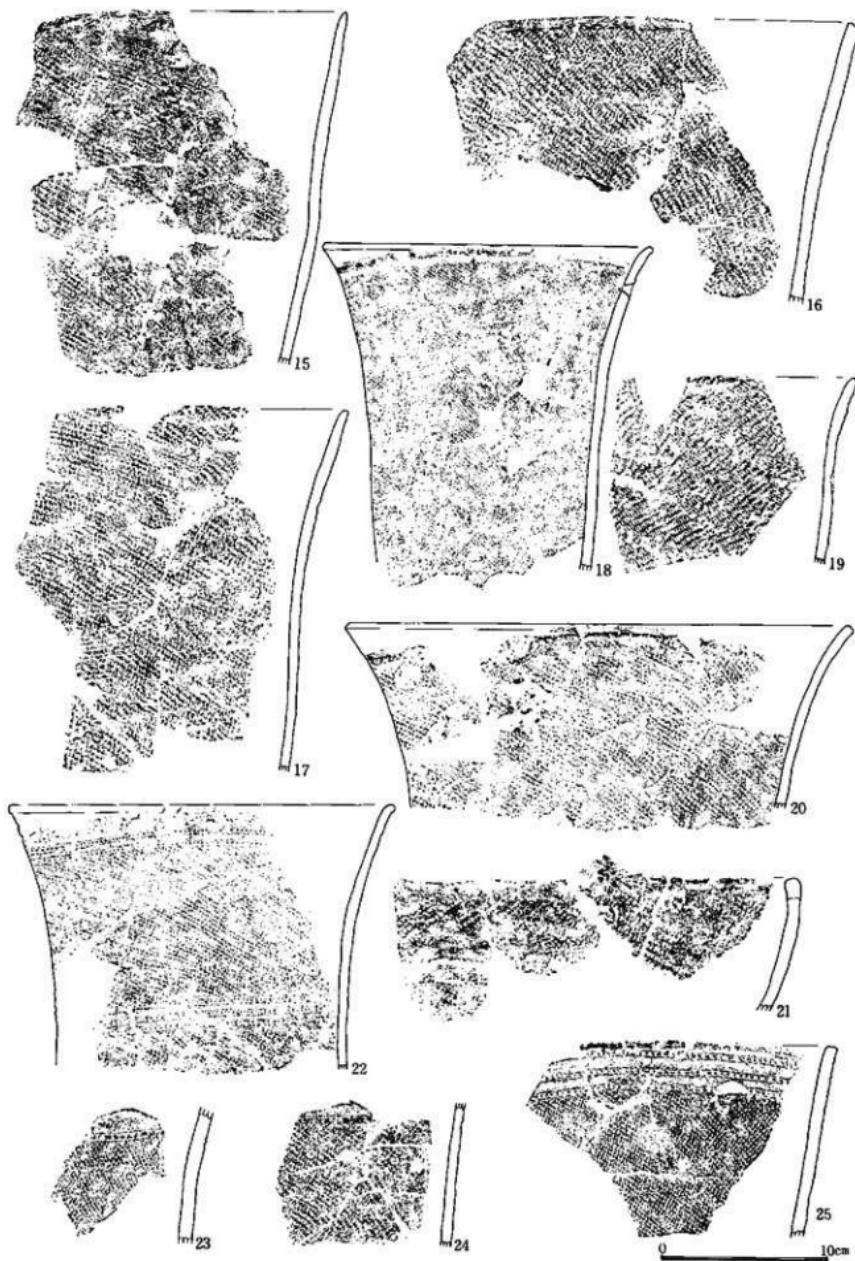


図-151 J 27・30号住居跡出土土器 (2)

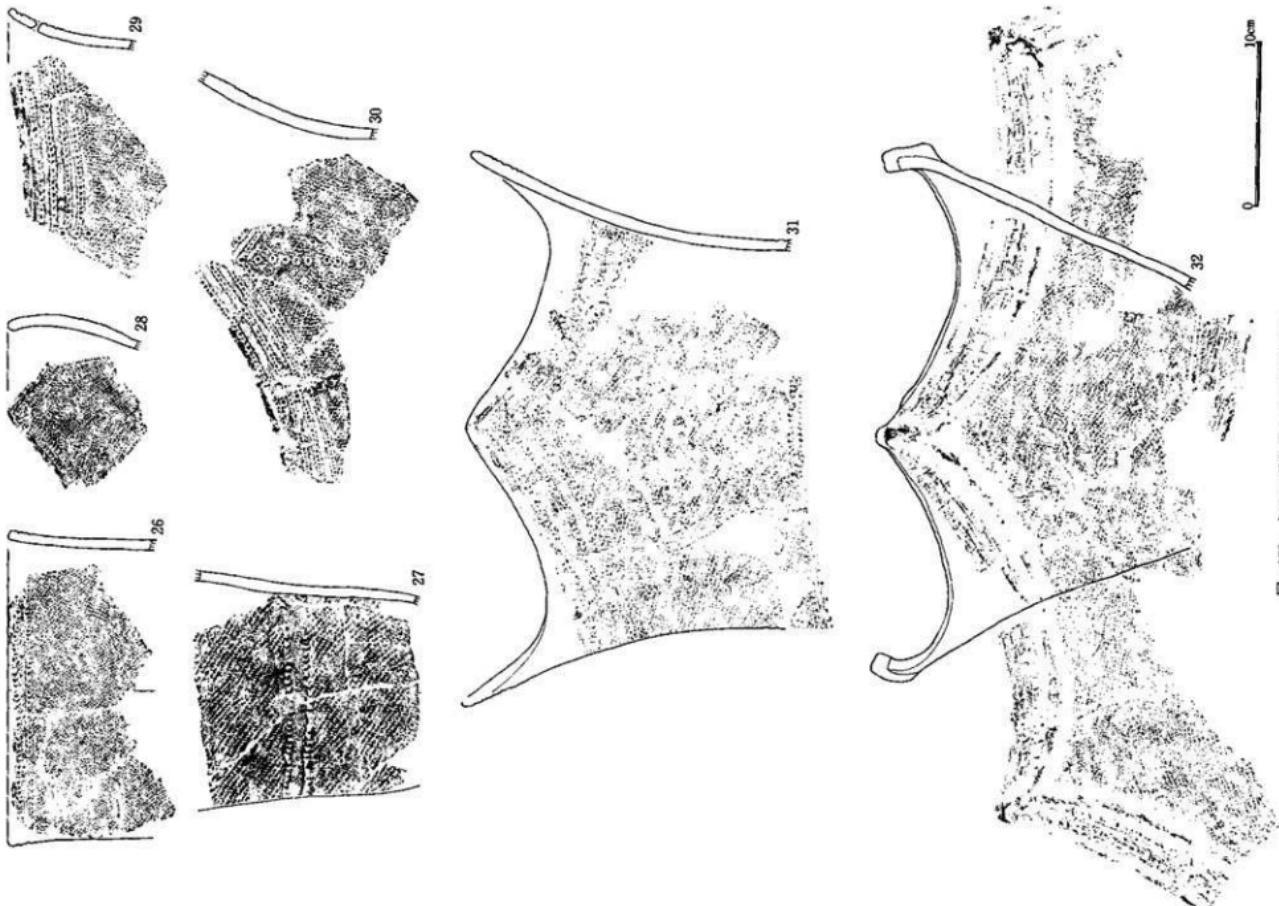


图-152 J 27-30号住居跡出土土器 (3)

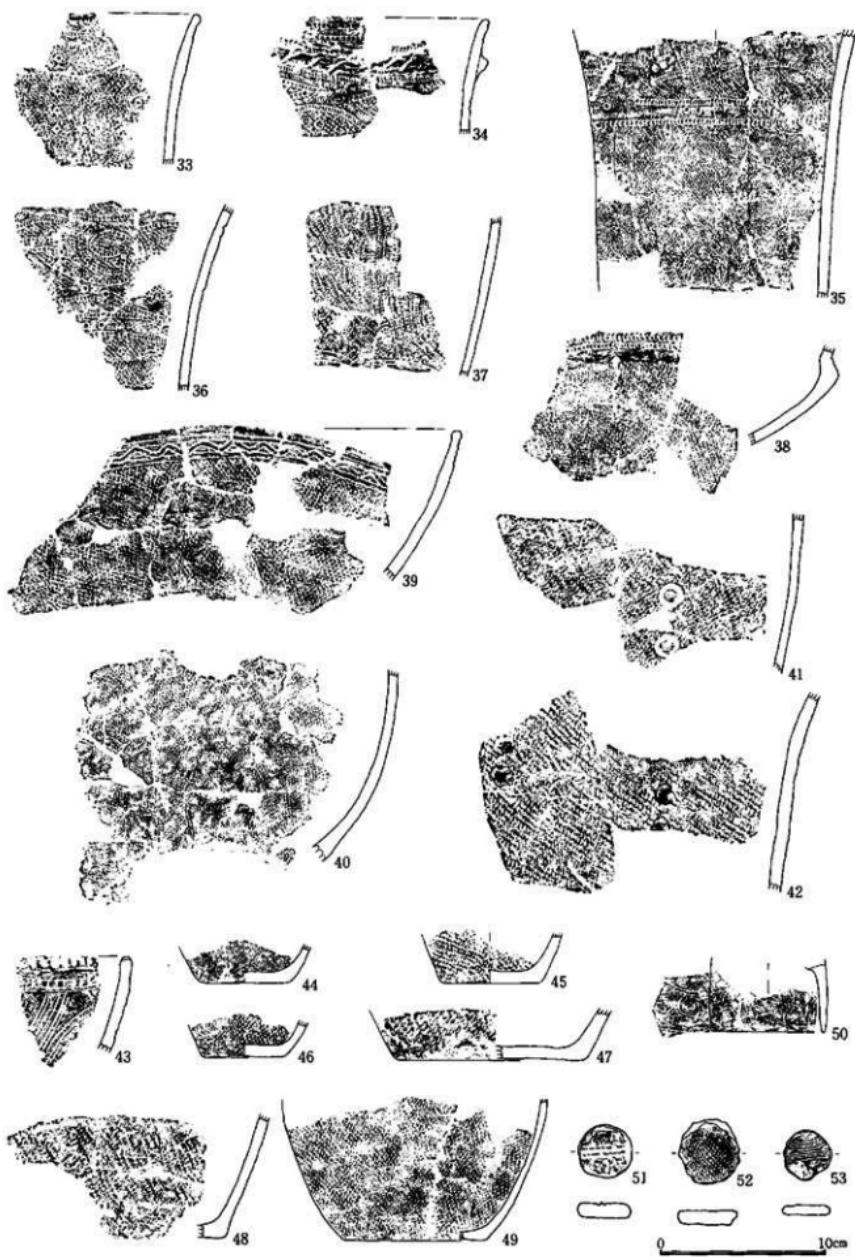


図-153 J 27・30号住居跡出土土器 (4)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色陶 ③残存	時期	出土位置	備考
26 27住	114	口縁下2条の輪換C字形刺突列。R Lの斜縞文。平口縁。	①砂粒②によい橙色③口縁部	諸磯a	+13	
27 27住	29・120	胸部中位に2条の輪換C字形刺突列。糸開撚で。R Lの斜縞文。	①砂粒②橙色③胸部	諸磯a	+48	
28 30住	25	胸部中位及び口縁に沿い、2条の輪換C字形刺突。棒状工具の刺突列。R - L Lしきの斜縞文。波状口縁。	①砂粒②赤褐色③口縁部	諸磯a	床直	
29	40	口縁下4条のC字形刺突列。底位の円形竹管刺突列。R Lの斜縞文。大波状口縁。模く外反。	①砂粒②橙色③口縁部	諸磯a	P..内	30と同一體
30 27住	82・87	口縁下4条のC字形刺突列。底位の円形竹管刺突列。R Lの斜縞文。大波状口縁。模く外反。	①砂粒②橙色③口縁部	諸磯a	+35 +32	
31 27住	83・119	口縁下3条のC字形刺突列。胸部中位にもあり。R - L Lしきの斜縞文。大波状口縁。模く外反。	①砂粒②橙色③口縁～胸部	諸磯a	+23 +14	
32 27住	40	全周R - L Lしきの斜縞文。U線下降帶。その間にC字形刺突列。胸部中位にもC字形刺突列。大波状口縁。底頂部に貼付文。①織錦 ②地色③口縁～脚部 黒沢 +28	①砂粒②赤褐色③口縫部	諸磯a	+15	
33 27住	113	口縁下2条の輪換C字形刺突列。底位円形竹管刺突列。R L斜縞文。	①砂粒②によい赤褐色③口縫部	諸磯a	-	
34 雜		口縁下輪換C字形刺突列。糸開み入腹帯。弧線組み文。2個一対円形竹管刺突。弧線組みR L斜縞文。	①砂粒②灰褐色③口縫部	諸磯a	-	
35 4・20・71	26	輪換C字形刺突列。弧線組み文。2個一対円形竹管刺突。R L斜縞文。	①砂粒②明赤褐色③胸部	諸磯a	+30+24 +41	
36 27住	62	弧線組み文。2個一対円形竹管刺突。R - L L Lしきの斜縞文。	①砂粒②明赤褐色③胸部	諸磯a	+16	
37 27住	92	平行沈縞。R Lの斜縞文。	①砂粒②浅い黄褐色③脚部	諸磯a	-39	
38	162	C字形刺突列。R Lの斜縞文。浅鉢。	①砂粒②明赤褐色③脚部	諸磯a	位置不	
39 雜		口縁下平行沈縞と盤座状。R L斜縞文。浅鉢。	①砂粒②浅い黄褐色③U縫部	諸磯a	-	
40 27住	48	結いR L斜縞文。	①砂粒②明赤褐色③脚部	諸磯a	+39	
41 27住	26	結節R L斜縞文。底位円形竹管刺突。	①砂粒②明赤褐色③脚部	諸磯a	+6	
42 27住	35	異形R L斜縞文。底位の指頭状痕列。	①砂粒②橙色③脚部	諸磯a	+36	
43 27住	125	口縁下輪編の刺突列。側面の平行沈縞。U縫座刻み列。	①砂粒②によい橙色③口縫部	諸磯a	+9	
44	36	結いR L斜縞文。平底。	①砂粒②橙色③底部	諸磯a	P..内	
45 30住	14	R L斜縞文。平底。	①砂粒②橙色③底部	諸磯a	床直	
46 27住	75	R L斜縞文。平底。	①砂粒②明赤褐色③底部	諸磯a	+48	
47 27住	125	R L斜縞文。平底。	①砂粒②黃褐色③底部	諸磯a	+9	
48 27住	10	R L斜縞文。	①砂粒②黃褐色③脚部	諸磯a	+9	
49 27住	23	R L斜縞文。平底。	①砂粒②によい橙色③脚部	諸磯a	+14	
50 雜		平行沈縞。無て。平底。	①砂粒②によい橙色③底部	諸磯a	-	
51 雜		R L斜縞文。平行沈縞。土製円盤。	①砂粒②によい橙色③完形	諸磯a	-	
52 雜		R L斜縞文。土製円盤。	①砂粒②橙色③完形	諸磯a	-	
53 雜		4本1組の櫛歯による平行比縞。土製円盤	①砂粒②によい橙色③完形	諸磯a	-	

表-77 J 27・30号住居跡出土石器属性表

No	遺物 番号	器 横	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (mm)	重 量 (g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備 考	
									A	B	a	b	c		
1	鍬	石 鋸	2.4	1.2	1.0	1	頁	—	擦2	擦2	—	—	—	—	局部磨耗
2	52	楔形石器	3.9	4.5	0.8	29	黑質	30	—	—	—	—	—	—	位置不明
3	鍬	石 鋸	3.8	2.8	1.1	13	石	40 45	—	--	—	—	—	—	覆
4	鍬	石 鋸	6.3	4.4	0.8	16	石	20	—	—	—	—	—	—	覆
5	鍬	石 鋸	4.9	(6.3)	0.8	20	石	30	—	—	—	—	—	—	欠覆
6	鍬	打製石斧	6.2	6.1	2.6	89	石	60	—	—	—	—	—	—	覆
7	19-著	石	10.3	5.5	2.2	115	石	60	—	—	—	—	—	—	+26・J 27
8	鍬	石	9.9	6.3	1.3	76	石	25	—	—	—	減	—	—	覆
9	鍬	打製石斧	6.7	4.3	1.4	93	石	45	—	—	—	—	—	—	覆
10	鍬	石	8.2	4.3	1.6	46	石	50	—	—	—	—	—	—	覆
11	鍬	石	8.8	3.8	1.1	25	石	30	—	—	—	—	—	—	覆
12	鍬	石	8.7	7.4	2.5	70	石	70	—	—	—	—	—	—	覆
13	鍬	石	6.3	4.8	1.0	32	石	55	—	—	—	減	—	—	刃部のみ 覆
14	鍬	石	(5.3)	3.3	1.2	21	石	30	減	—	欠	減	—	—	基部欠 覆
15	81	石	(5.2)	(4.4)	0.9	16	石	25	—	減	欠	減・欠	—	—	+38・J 27
16	鍬	石	(4.1)	4.4	1.7	35	安	—	減	—	—	—	—	—	基部のみ 覆
17	鍬	直刃削器	11.3	5.2	2.0	125	黑質	60	—	—	—	—	—	—	覆
18	鍬	凸刃削器	6.5	6.2	1.4	65	石	50	—	—	—	—	—	—	覆
19	103	石	7.3	5.4	2.3	85	石	60	—	—	—	—	—	—	+2・J 27
20	鍬	石	6.0	8.3	1.7	82	石	40	—	—	—	—	—	—	覆
21	99	直刃削器	7.5	7.0	2.0	60	石	40	--	—	—	—	—	—	+5・J 27
22	鍬	凸刃削器	6.6	3.9	2.3	68	石	80	—	—	—	—	—	—	覆
23	鍬	凹刃削器	6.0	5.0	1.5	40	黑安	50	—	—	—	—	—	—	覆
24	100	石	3.9	5.2	1.5	29	黑質	50	—	—	—	—	—	—	床直・J 38
25	39	石	3.9	8.0	0.9	25	石	20	—	—	—	—	—	—	Pm内
26	鍬	石	4.1	5.3	1.3	35	石	30	—	—	—	—	—	—	覆
27	鍬	抉入石器	3.2	6.1	1.4	29	黑頁	60	—	—	—	—	—	—	覆
28	1	鉄曲線石器	4.0	6.7	1.5	44	黑質	60	減	—	—	—	—	—	-5・J 30
29	鍬	交刃削器	6.7	4.9	0.9	32	黑安	30 30	—	—	—	—	—	—	覆
30	鍬	石	5.4	8.2	1.2	65	黑質	25 30	—	—	--	—	—	—	覆
31	鍬	複刃削器	9.2	7.3	2.1	171	安	50	—	—	—	—	—	—	覆
32	鍬	交刃削器	3.7	6.1	2.1	32	黑質	30	—	—	—	—	—	—	覆
33	4	石	4.9	6.4	0.9	31	石	35	—	—	—	減	—	—	+14・J 27
34	鍬	複刃削器	(6.0)	7.7	1.9	65	石	25 50	—	—	—	—	—	—	欠 覆

No	遺物 番号	器 種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (kg)	石材	刃角	使用 模・表 着痕の位置・程度					備 考	
									A	B	a	b	c		
35	98	R	F	7.3	5.3	2.6	94	#	--	--	-	--	-	+ 2 • J 27	
36	9	U	F	7.0	4.8	1.8	55	#	30	-	-	-	酒・刃	-	
37	雜	#		5.8	8.0	2.2	98	安	40	-	-	刃	-	凸刃 腹	
38	雜	#		4.9	4.4	1.1	22	黒質	20	--	-	-	-	覆	
39	45	石	核	8.7	7.4	5.2	315	黒安	-	-	-	-	-	+ 22 • J 27	
40	19	凹	縫石器	15.3	6.4	4.9	755	安	-	擦2→擦3	擦2→擦3	敲3	敲3	敲3	+ 7 • J 27
41	2	#	(12.4)	8.8	4.1	605	#	-	凹多→擦	凹多→擦	敲1	敲1	敲1	敲1	- 5 • J 30
42	5	#		13.5	8.4	3.1	538	#	-	敲1→擦1	敲1→擦1	敲3	敲2	敲1	+ 20 • J 27
43	79	#		13.2	8.6	3.8	586	#	-	凹多→火	凹多→擦2	敲1	敲1	敲1	- 5 • J 27
44	13	#		7.9	6.0	2.1	142	#	-	-	-	敲1	敲1	敲1	+ 3 • J 30
45	37	#		7.5	5.2	2.9	137	#	-	敲2	敲2	敲2	敲2	敲2	P.s内
46	雜	棒状石器		10.5	3.6	1.7	74	黒片	-	-	-	敲1	敲1	-	覆
47	7	鍛石製石器		8.7	4.4	2.8	26	浮安	-	擦1	擦1	擦1	擦1	擦1	+ 8 • J 30
48	雜	石	頭	(10.8)	(11.8)	3.8	481	安	-	凹面	--	-	-	-	覆
49	雜	#		(19.0)	(8.7)	6.0	786	#	-	凹面	-	--	--	-	覆
50	雜	#		(9.7)	(11.9)	6.2	631	#	-	凹面	-	-	-	-	覆
51	18	凹	石	石	11.2	9.2	6.3	860	#	-	凹2	磁石溝3	-	-	+ 4 • J 27
52	121	石	組+多凹 石	(13.4)	20.6	6.7	1,680	安	-	凹面→敲2	敲3+凹	欠	敲1	敲1	+ 17 • J 27
53	18	#	(22.2)	21.4	10.5	5,800	#	-	赤化+擦2	赤→敲+凹	欠	欠	-	欠	+ 4 • J 27

表-78 J27・30号住居跡石器器種・石材別一覽表

岩種 岩材	石	打	磨	石	尖	石	層	凸	凹	支	複	鋸	板	機	R	U	透	底	圓	石	石	多	凹	磁	裂	石	那	その	計	
	鐵	斧	斧	鐵	頭	頭	頭	月	刃	刀	刀	刀	備	入	形	F	F	石	石	鐵	棒	棒	狀	皿	石	石	板	鐵	他	計
黑色安灰岩	10				2			2	4	3	3	1	1	2		1	2									123	4	158		
珠質安灰岩														1															1	
真 灰 岩	1																													1
黑色安山岩														1	1													21	1	24
浮石安山岩																														1
安 山 岩	1														1			1		6		5	1	7		52		74		
黑 磷 斜																													2	2
矽 岩																													30	30
黑色片岩																														1
結晶片岩																														1
計	1	11			2			2	4	4	4	2	1	1	2	1	3		6	1	5	1	184	1	56	1	293			

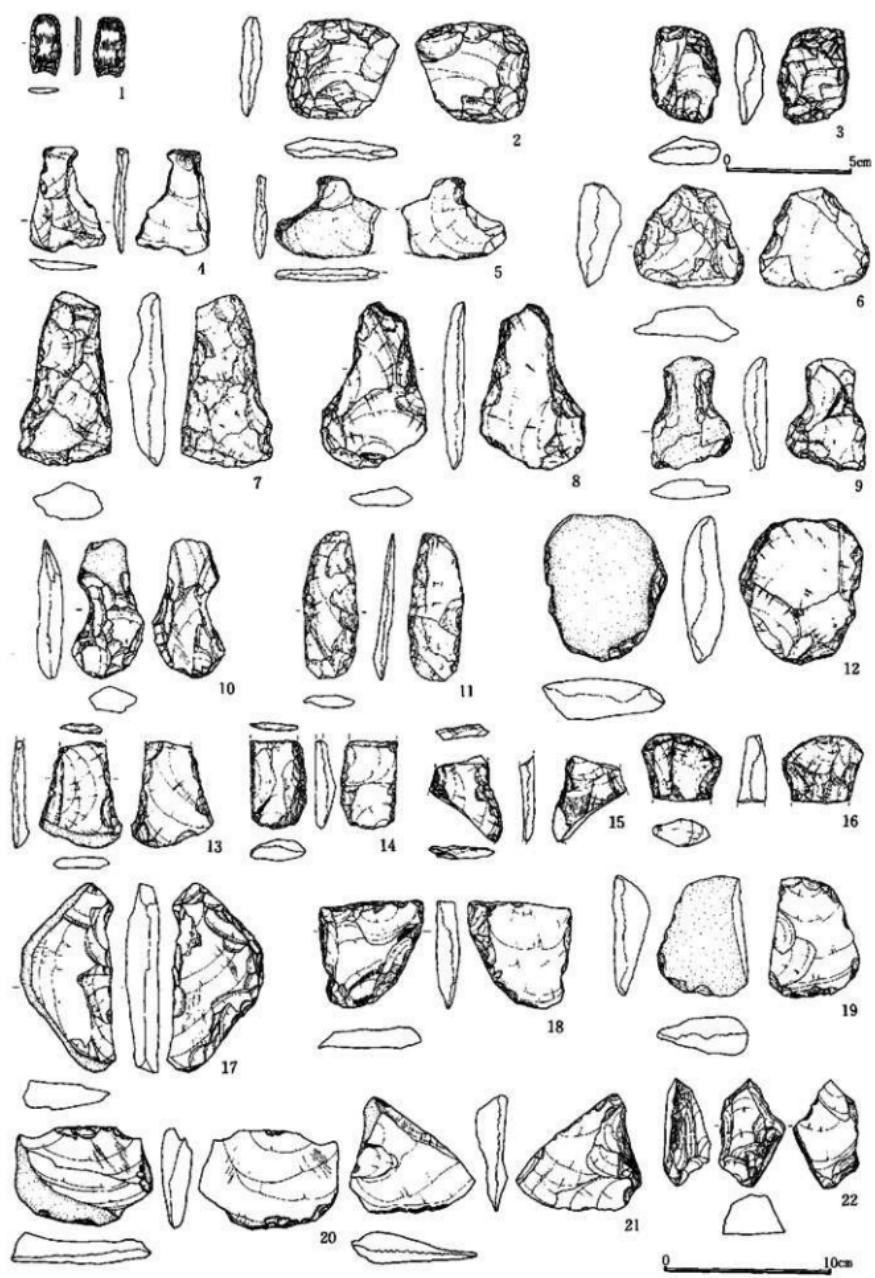


图-154 J 27·30号住居跡出土石器 (1)

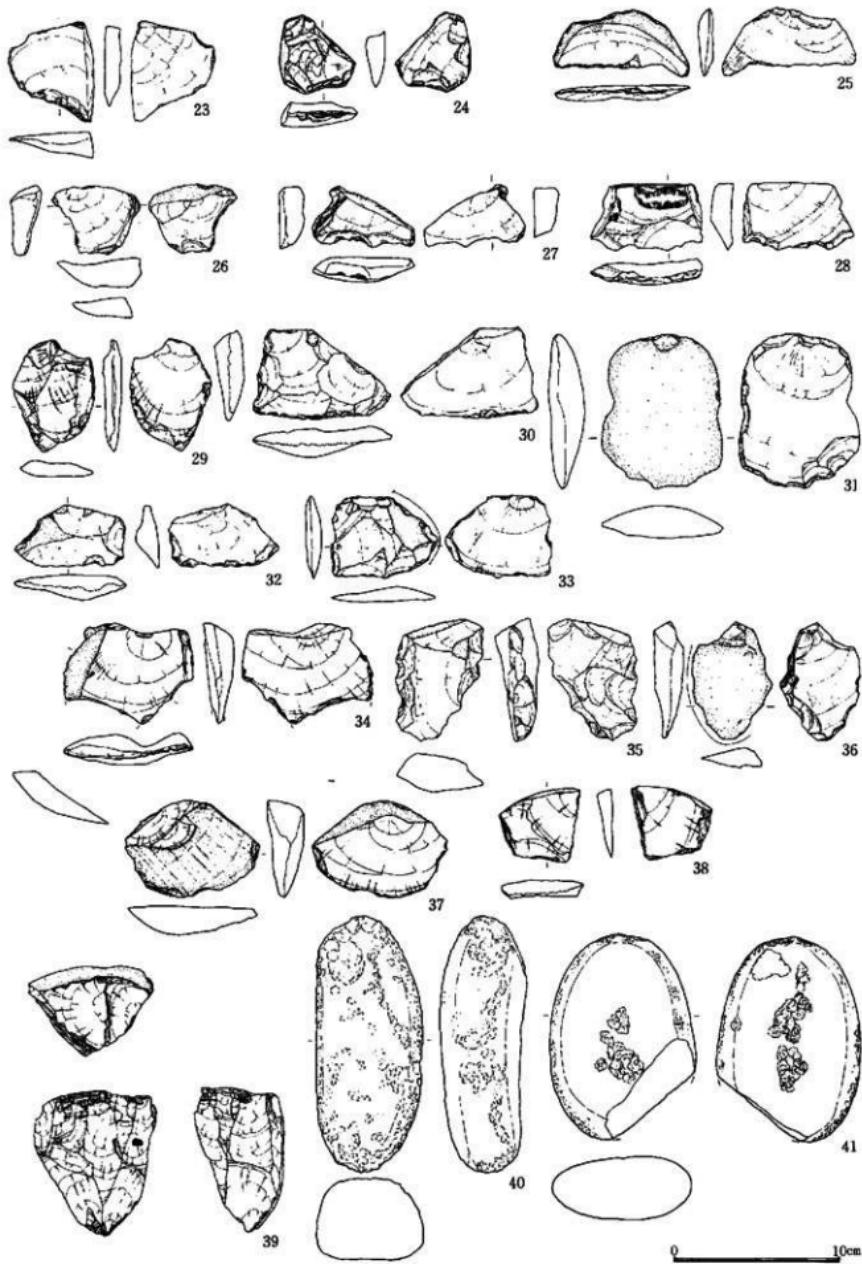
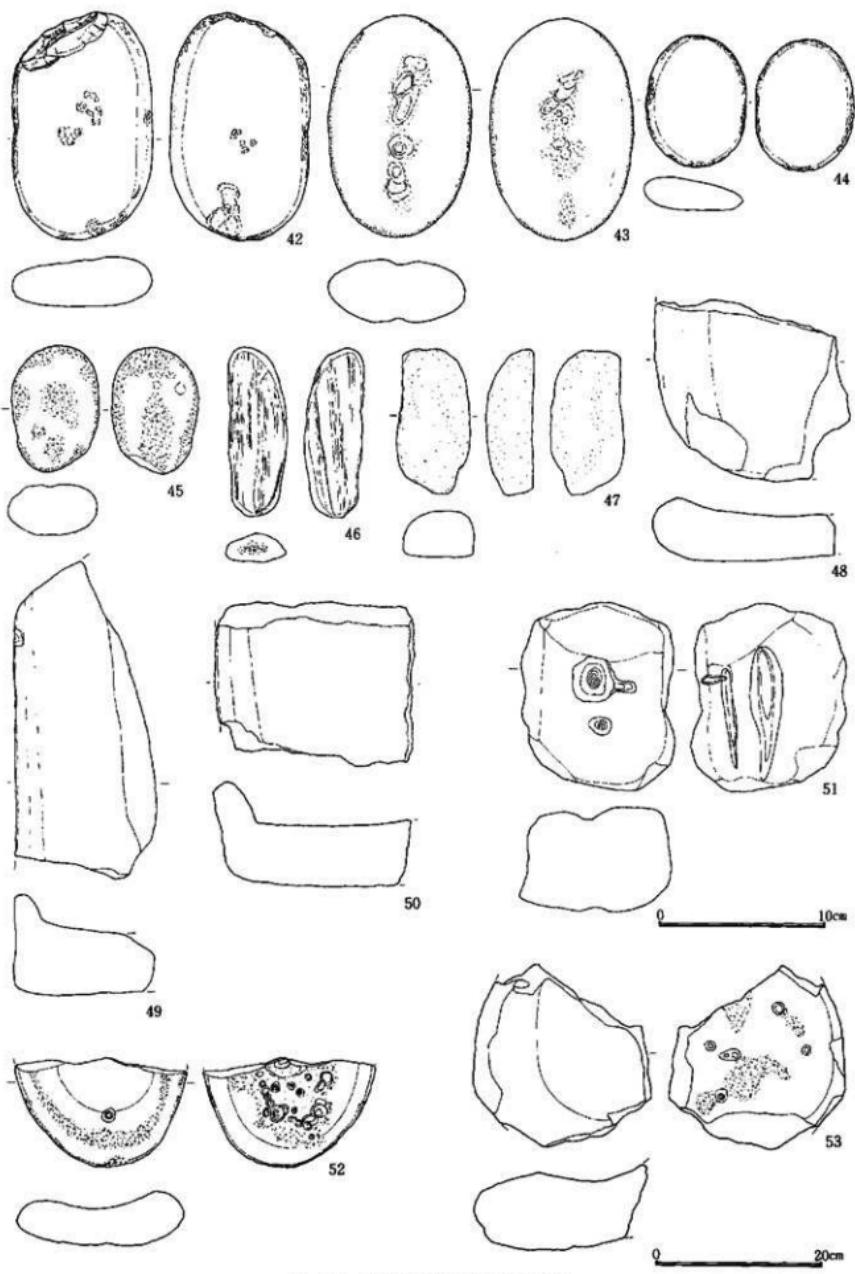


图-155 J 27-30号住居跡出土石器 (2)



图—156 J 27·30号住居跡出石器(3)

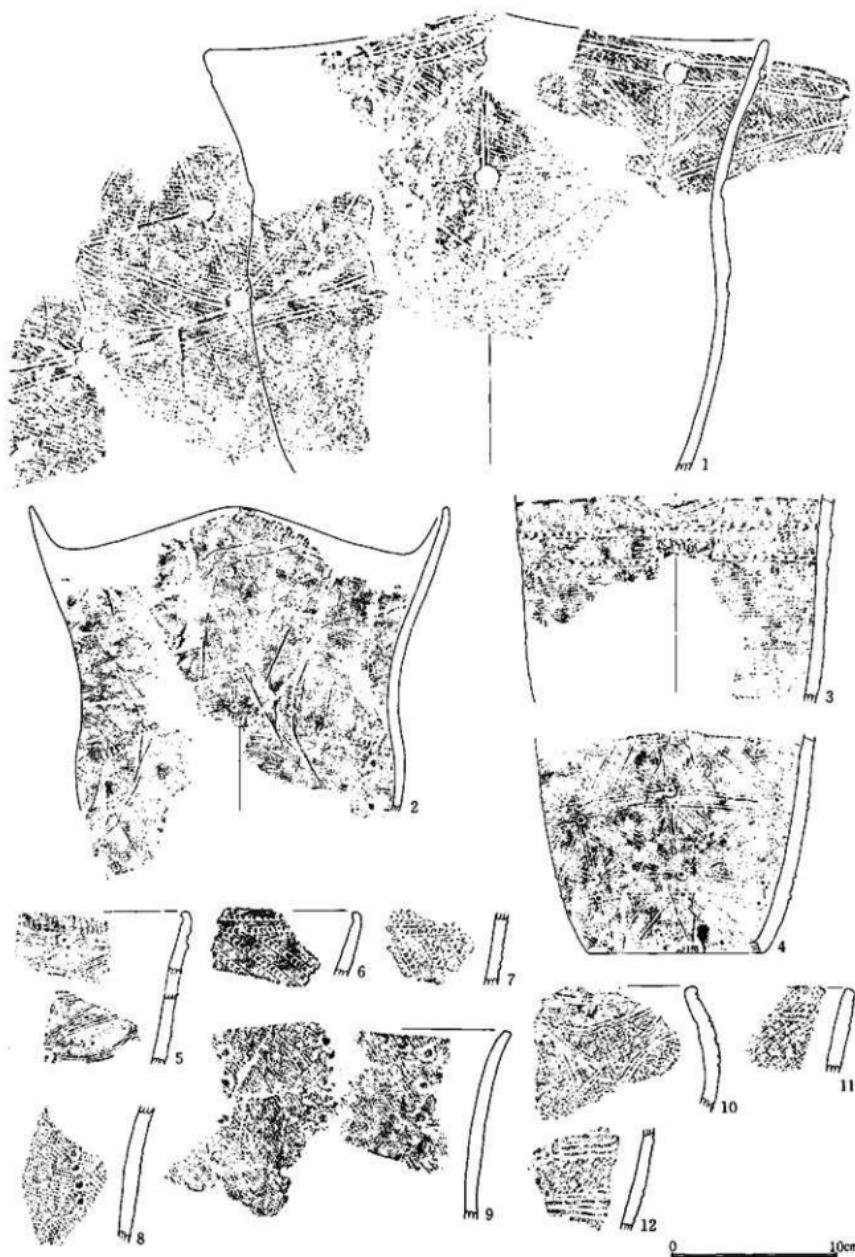


図-157 J 29·59号住居跡出土土器 (1)

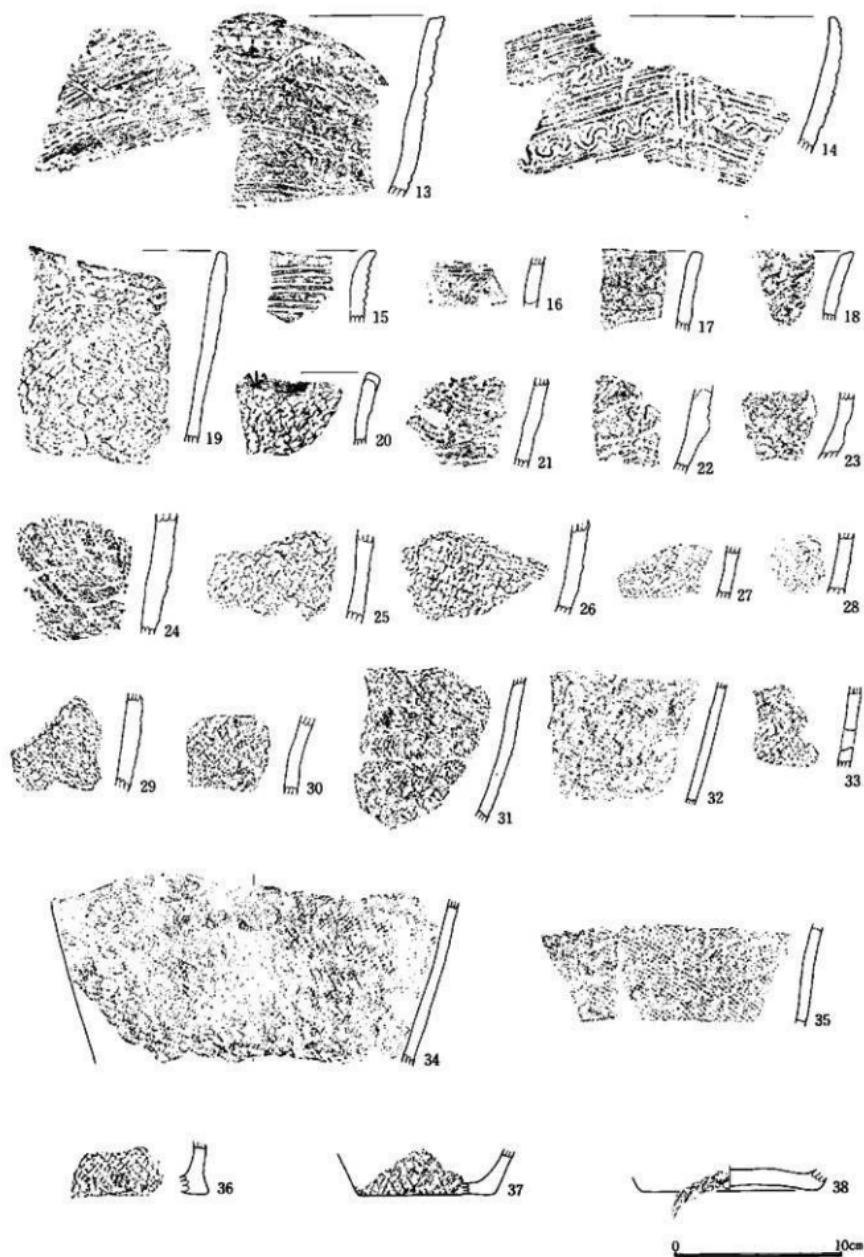


图-158 J 29·59号住居跡出土上器 (2)

表-79 J 29・59号住居跡出土土器観察表 (図-157・158 図版-97・98・99)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
1	90・91・97 101・116	全面R L斜縞文。河原上平行沈線の縱横区画と対角線上の平行沈線。各交点に指標印痕。波状口縫。	①細砂粒②に赤褐色 ③口縫～胴部中位	諸磯a +17+7 +4+2 床底		
2	106・111・117	口縫下及び胴部中位にC字形刺突列。その間5本1組の繩目が曲線的な肋骨文。胴部下半幅状工具の横位沈線充填。交点に円形竹管刺突。	①中砂粒②褐色③口縫～胴部中位 諸磯a +6+2-12			
3	雜	逆C字形刺突列。縱横と対角線上の刺突列。胴部下平横	①中砂粒②褐色③胴部中位	諸磯a	-	
4	115	胴部下平横と対角線上の2条平行沈線。4花弁抽出。各交点円形竹管刺突。地文無で消し。平底。	①中砂粒②に赤褐色胴部 下半	諸磯a	-24	
5	80・雜	4本1組の横状工具の曲線的な肋骨文。口縫下横部の縱部刺突列。円形竹管刺突。波状口縫。	①細砂粒②明赤褐色③口縫	諸磯a	+22	
6	ピット内	C字形刺突列の直線的な肋骨文。	①繩目②に赤褐色③口縫	黒浜	ピット内	7と同一個体
7	75	C字形刺突列の直線的な肋骨文。	①繩目②に赤褐色③口縫	黒浜	床底	
8	76	R L斜縞文。腹位円形竹管刺突列。	①細砂粒②に赤褐色③胴部	諸磯a	+46	
9	113	R L斜縞文。縱位円形竹管刺突列。	①砂粒②に赤褐色③胴部	諸磯a	-21	
10	71	浅鉢。平行沈線の弧線入組み文。中に異常R L斜縞文。内部に成痕。	①細砂粒②に赤褐色 ②口縫部	諸磯a	-40	
11	25	付加状L R + L斜縞文。平行沈線。	①繩目②に赤褐色③口縫部	黒浜	+6	
12	128	R L斜縞文。横位平行沈線。	①細砂粒②明赤褐色③胴部	諸磯a	-21	
13	21・22・74	C字形刺突列の縱横状文と模様。緩い大波状口縫。	①繩目②に赤褐色③口縫部	黒浜	+18+20 +7	
14	24・44・49 69	平行沈線の縱横区画。その間コンパス文。緩い波状口縫。	①繩目②褐色③口縫部	黒浜	+20+16 +10-3	
15	50	横位平行沈線。波状口縫。	①繩目②褐色③口縫部	黒浜	+14	
16	130	横位及び斜位平行沈線。	①細砂粒②に赤褐色③胴部	諸磯a	-39	
17	55	横位平行沈線。波状口縫?	①繩目②赤褐色③口縫部	黒浜	+22	
18	90	L R L? 不鮮明。	①繩目②褐色③胴部	黒浜	+17	
19	35	R Lの羽状縞文。口縫下だれた2条のコンパス文。波状口縫。	①繩目(不透明石英)②褐色 ③口縫部	黒浜	-18	
20	134	R - R L + LR? 斜縞文。口縫端小突起。	①砂粒②に赤褐色③口縫部	諸磯a	-16	
21	15	R L斜縞文。施文後撫で。	①繩目②褐色③胴部	黒浜	+16	
22	32	波状口縫頂部に上向きC字形刺突列入り縦位施文。横位平行沈線。	①繩目②に赤褐色③口縫部	黒浜	+17	
23	104	L R斜縞文。施文後撫で。	①繩目②に赤褐色③胴部	黒浜	+15	
24	2	開口あいたR 2本の縦条体。	①繩目②に赤褐色③胴部	黒浜	+31	
25	66	R L + LRの羽状縞文	①繩目②灰褐色③胴部	黒浜	+13	
26	68	R L + LRの羽状縞文	①繩目②明赤褐色③胴部	黒浜	-4	
27	72	異常LR斜縞文。	①繩目②に赤褐色③胴部	黒浜	+5	
28	70	R L斜縞文。	①繩目②明赤褐色③胴部	黒浜	床底	
29	39	L R斜縞文。	①繩目②灰褐色③胴部	黒浜	+5	
30	21	R L + LRの羽状縞文	①繩目②明赤褐色③胴部	黒浜	+18	
31	112	R L斜縞文。	①細砂粒②に赤褐色③胴部	諸磯a	-22	
32	123	R L斜縞文。	①砂粒②褐色③胴部	諸磯a	-5	

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
33	108	R L斜縞文。	①砂粒②にぶい赤褐色 ③底部	諸磯 a	床直	
34	92・96・98 99・107・119	R L斜縞文。	①中砂粒②にぶい黄褐色 ③底部	諸磯 a	-12+11 +15-8 +3+3	
35	127・132	異筋R L斜縞文。	①砂粒②明赤褐色③底部	諸磯 a	-16 -20	
36	105	附加状R L+L。平底。	①鐵鉢②橙色③底部	黒浜	+9	
37	103	R L斜縞文。	①細砂粒②にぶい赤褐色 ③底部	諸磯 a	-5	
38	85	R L斜縞文?	①鐵鉢②橙色③底部	黒浜	+4	

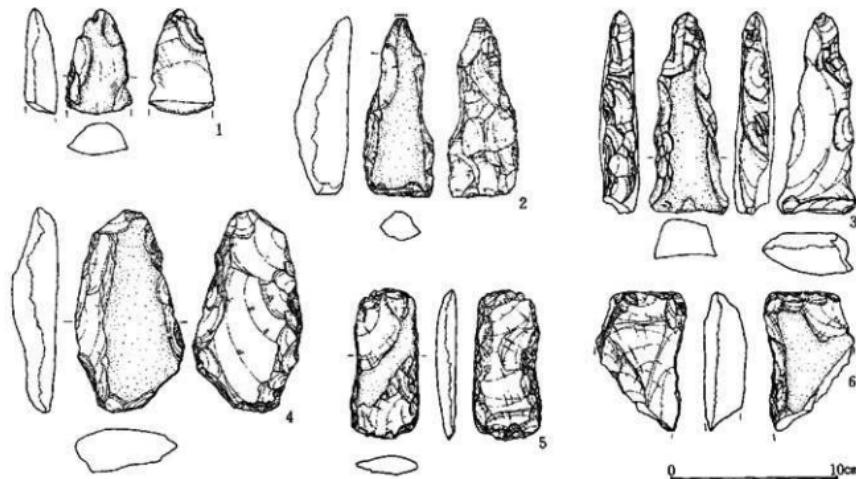


図-159 J 29-59号住居跡出土石器（1）

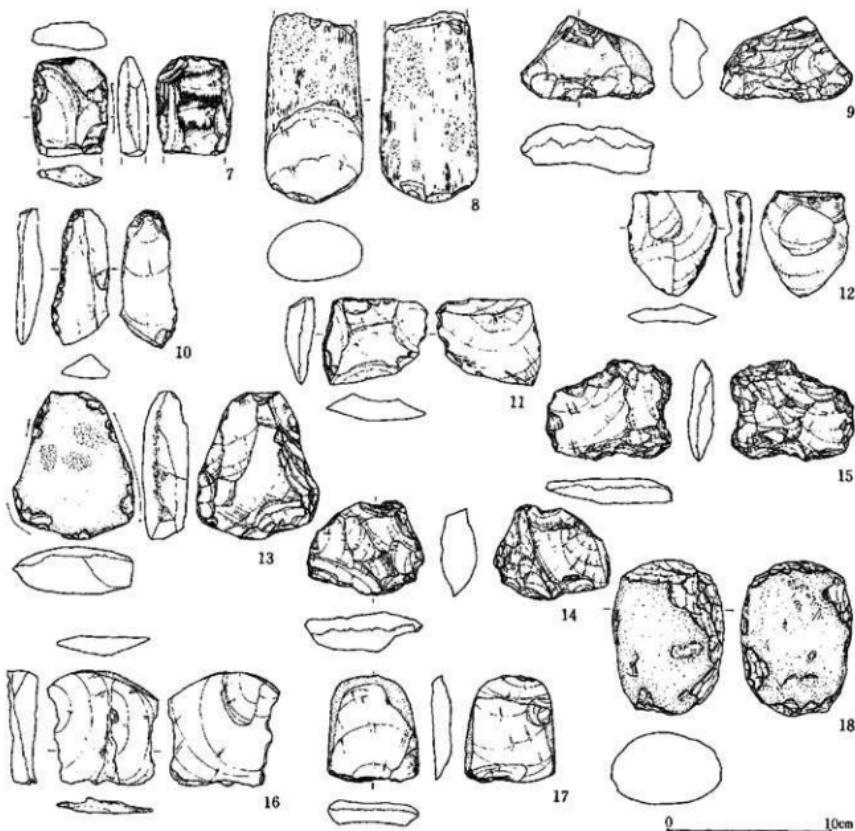


図-160 J 29・59号住居跡出土石器 (2)

表-80 J 29・59号住居跡出土石器属性表

No.	遺物 番号	器種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備考	
									A	B	a	b	c		
1	鍬	尖端器	(6.3)	4.9	1.9	45	黒頁	-	-	-	-	欠	-	-	欠 履
2	26	#	10.6	4.2	3.3	145	#	-	-	-	-	減	減	-	+13
3	鍬	#	11.9	4.8	2.3	135	#	-	-	-	-	-	-	-	履
4	29	打撲石斧	12.0	6.6	2.2	231	#	60	-	-	-	-	-	-	片刃 +17
5	鍬	#	9.0	4.1	1.2	51	#	20	減	減	減	減	減	減	履
6	45	#	(8.3)	5.4	2.5	120	#	-	-	-	-	欠	漸	-	刃部欠 +14
7	鍬	#	(5.9)	4.5	1.8	68	#	-	-	-	-	欠	減2	-	刃部欠 履
8	47	磨製石斧	(11.4)	5.8	3.6	341	点片	20	-	-	-	漸	漸	-	基部欠 +6
9	鍬	直刃刮器	5.1	7.9	3.0	102	黒頁	70	-	-	-	-	-	-	履

No.	遺物 番号	器種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (kg)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備考
									A	B	x	b	c	
10	20	#	8.2	3.5	1.5	41	#	60	-	-	-	-	-	+12
11	縫	凸刃削器	5.1	6.2	1.7	52	#	30	-	-	-	-	-	縫
12	縫	#	6.3	3.4	1.6	45	#	40	-	-	-	-	-	縫
13	縫	双刃削器	8.9	7.2	3.0	238	#	70 80	-	-	-	漬	漬	漬
14	6	交刃削器	8.0	5.7	2.4	88	#	70	-	-	-	-	-	+28
15	縫	块入石器	7.5	6.0	1.5	61	#	備	-	-	-	-	-	3刃・刃角45、 35、45・縫
16	38	U F	6.8	6.6	1.8	73	#	26	-	-	-	刃	-	複刃・円状 +22
17	縫	楔形石器	6.2	5.4	1.5	65	#	40	-	-	-	漬	漬	-
18	112	円礫石器	9.2	6.7	4.3	382	安	-	敲1	敲1→擦2	敲3	敲3	敲3	敲1→縫2→敲 3→22

表-81 J 29・59号住居跡石器器種・石材別一覧表

石材	石打	磨石	尖頭器	石錐	背直器	凸月	凹月	交刃	鐵	鉋	研磨器	R	U	磨石	敲石	鉢	多孔	凹石	鑿	石片	石核	縫	その他	計
黒色頁岩	4		3			2	2	1	1	1	1									74	2	92		
黑色安山岩																				7		7		
安山岩																				1		2	17	20
珪岩																				21		21		
風色片岩																				1		1		
火成岩		1																					1	
砂石																				3		3		
計	4	1	3			2	2	1	1	1	1		1		1		1			108	19	145		

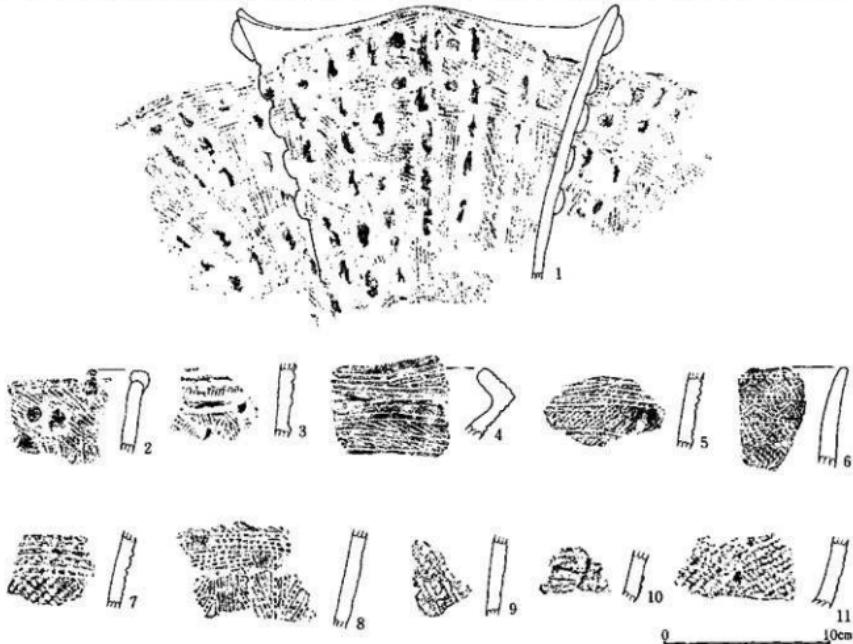


図 161 J 31-32号住居跡出土土器(1)

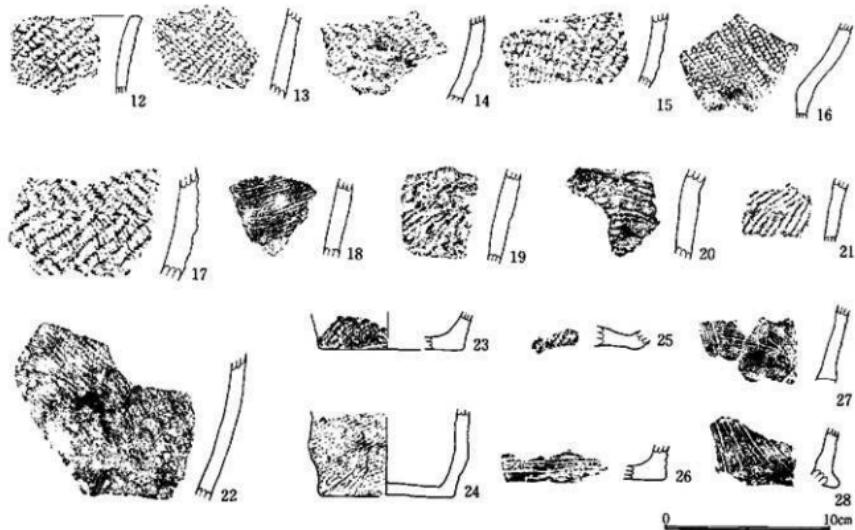


図-162 J 31-32号住居跡出土土器 (2)

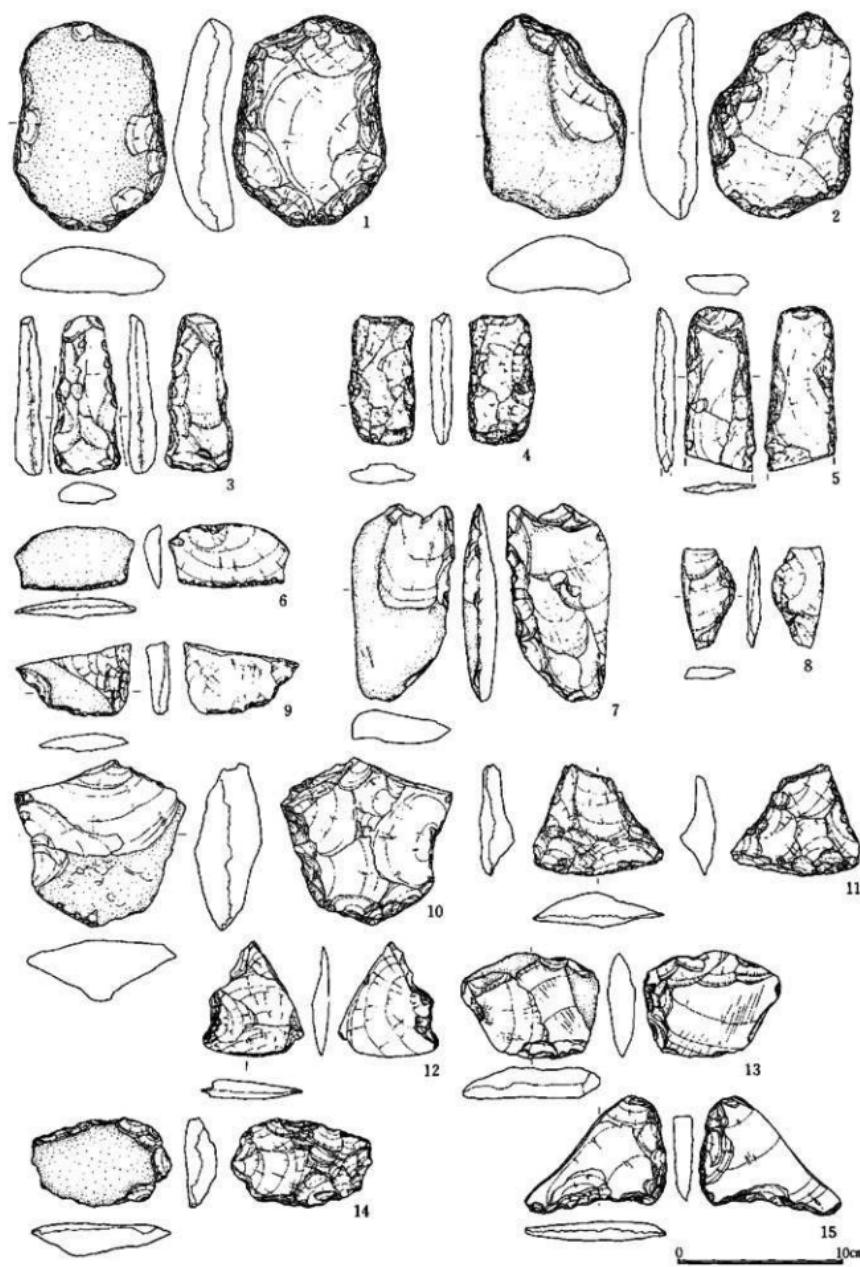
表-82 J 31・32号住居跡出土土器観察表 (図-161・162 図版-99)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①新土	②色調	③残存	時期	出土位置	備考
1 31住	1	口縁下に5~6条横位平行沈線。胴部綵位及び矢羽状紋平行沈線。貝殻・ボタン状貼付文。波状口縁。	①砂粒	②によい褐色	③口縁 ～胴部中位	諸磯C	床直	
2 31住	31	口縁下斜線。下位綵位。ボタン状貼付文。平口縁。口縁内側。	①砂粒(石英)	②によい褐色	③口縁部	諸磯C	+13	
3	雜	梯子状平行沈線。刺突入粘土こぶ。	①織維	②によい黄褐色	③胴部	諸磯	-	
4 31住	27	R L斜繩文。横位の平行沈線。口縁下内縁。無い波状口縁。	①砂粒	②褐色	③口縁部	諸磯b	+20	
5	雜	L R斜繩文。横位平行沈線。	①織維	②褐色	③胴部	諸磯b	-	
6	H152雜	Lの網目R L斜繩文。口縁下C字形刺突列と波状文。織ない波状口縁。	①細砂粒	②明赤褐色	③口縁部	諸磯a	-	
7	H152雜	L R斜繩文。横位平行沈線。C字形刺突列。	①織維	②褐色	③胴部	黒浜	-	
8	H152雜	横位その下方纏斜位C字形刺突列。	①中砂粒	②褐色	③胴部	諸磯C	-	
9	雜	直前段合せR-R L + I. R.	①織維	②によい褐色	③胴部	諸磯	-	
10	H152雜	R L斜繩文。刺込み浮線。	①細砂粒	②によい褐色	③胴部	諸磯b	-	
11	H152雜	L R斜繩文。継位粘土こぶ。	①織維	②褐色	③胴部	黒浜	-	
12	雜	L R斜繩文。平口縁。	①織維	②によい黄褐色	③口縁部	黒浜	-	
13 31住	29	L R斜繩文。	①織維	②褐色	③胴部		+7	
14 31住	9	R L + L R羽状繩文。	①織維	②褐色	③胴部	黒浜	+20	
15	H152雜	R L + L R羽状繩文。	①織維	②によい黄褐色	③胴部	黒浜	-	
16	H152雜	R L斜繩文。頭部より内凹ぎみ外反。	①織維	②によい黄褐色	③胴部	黒浜	-	

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③保存	時期	出土位置	備考
17	雜	R L + L R 形状縞文。	①緻密②青色③胸部	黒浜	—	
18	49	L - r r r 斜縞文。	①砂粒②にぼい青色③肩部	黒浜	位置不	
19	雜	L 斜縞文	①緻密②にぼい青色③肩部	黒浜	—	
20	H152雜	横位L斜縞文。	①緻密②にぼい褐色③肩部	黒浜	—	
21 32住	3	L 斜縞文。	①緻密②にぼい褐色③肩部	黒浜	+ 9	
22	5	R L 斜縞文。器面荒れ。	①砂粒②にぼい黄褐色 ③肩部	黒浜	+ 19	
31住	24	L R 斜縞文。	①細砂粒②褐色③底部	黒浜 b	床面	
24 32住	10	L R 斜縞文。平底。	①粗砂粒②にぼい褐色 ③底部	黒浜 b	+ 4	
25	7	L R 斜縞文(現状)。	①緻密②褐色③底部	黒浜	P ₁ 内	
26	雜	横位平行沈縞。	①粗砂粒②にぼい褐色 ③底部	黒浜 b		
27	雜	縱位斜位沈縞。撫で。	①粗砂粒②にぼい褐色 ③底部	黒浜 b	—	
28	H152雜	斜位沈縞。撫で。	①粗砂粒②にぼい褐色 ③底部	黒浜 b	—	

表-83 J31・32号住居跡出土石器属性表

No.	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重(㌘)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備考	
									A	B	a	b	c	d	
1	13	打製石斧	12.6	9.0	3.6	468	黒頁	—	—	—	煮	煮	煮	煮	周間に煮 + 7・J32
2	1	刀	12.3	8.7	3.4	441	刀	—	—	—					周間に煮 底面・J31
3	雜	刀	9.5	4.5	1.8	71	刀	30	—	—	—	—	煮		覆
4	雜	刀	7.8	4.0	1.3	50	刀	50		—	—	—	滅	—	刃部欠 覆
5	雜	刀	(9.7)	4.3	1.3	61	刀	—		—	—	—	—	—	刃部欠 覆
6	6	直刃削器	3.9	7.2	1.2	31	刀	35	—	—	—	—	—	—	P ₁ 内
7	20	凸刃削器	11.8	6.2	2.0	159	刀	30	—	—	—	—	—	—	+ 4・J31
8	39	刀	3.2	6.1	0.8	16	刀	40	—						床底・J31
9	31	刀	4.3	6.8	1.4	36	頁	40	—	—	—	—	—	—	+ 13・J31
10	34	刀	9.9	10.2	4.0	325	黒頁	20	—						床底・J31
11	雜	交刃削器	6.6	7.8	2.1	68	刀	35	—	—	—	—	—	—	覆
12	51	刀	6.8	6.0	1.1	34	刀	40	—	—	—	—	—	—	床底・J31
13	雜	複刃削器	6.3	8.2	1.9	109	刀	50	—	—	—	—	—	—	3刃 覆
14	17	刀	8.4	5.4	2.0	78	刀	40	—	—	—	—	—	—	2刃 + 15・J31
15	26	刀	7.2	8.5	1.1	64	刀	45	—	—	—	—	—	—	床底・J31
16	6	円錐石器	10.2	8.5	4.5	517	安	—	鍛3→擦1	鍛3	—	—	鍛1	鍛1	敲→擦 P ₁ 内
17	1	刀	15.3	7.2	4.3	639	刀	—	凹多	凹多	—	—	鍛2	鍛2	床底・J31
18	32	刀	12.9	8.0	4.1	643	刀	—	凹1→擦1	擦1	—	—	—	—	+ 2・J32
19	50	刀	10.0	8.4	5.1	527	刀	—	凹2	凹2	鍛1	鍛1	鍛1	鍛1	床底・J32
20	12	石 鋸	(15.5)	(14.2)	5.0	1,160	刀	—	擦1	—	—	—	—	—	欠 + 34・J31



图·163 J 31·32号住居跡出土石器（1）

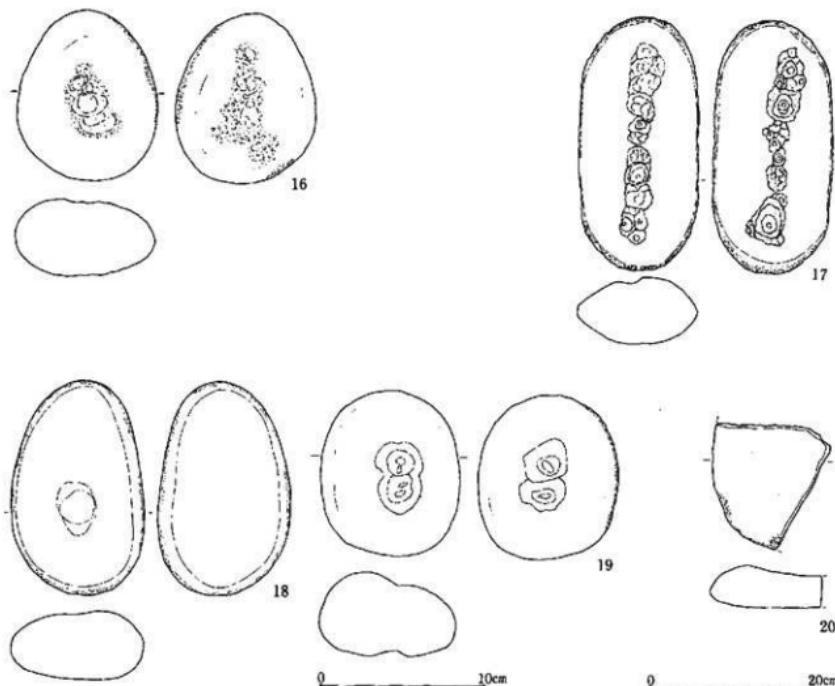


図-164 J31-32号住居跡出土石器(2)

表一-84 J 31·32号住居跡石器器種・石材別一覽表

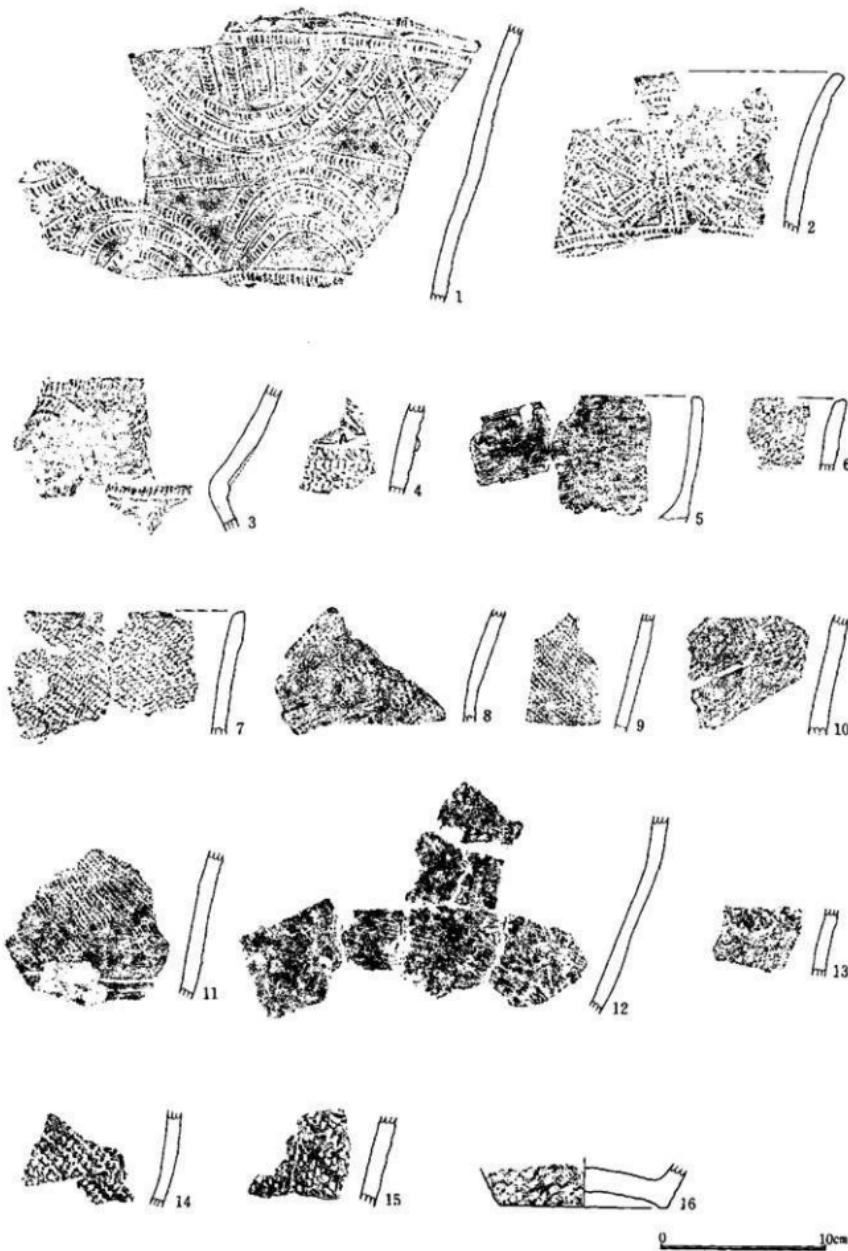


图-165 J 53-60号住居路出土土器

表-85 J 33・60号住居跡出土土器観察表 (図-165 図版-100)

番号	遺物番号	文様構成・文様底文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存 砂紋②にぼい黄褐色 ③肩部	時期	出土位置	備考
1 60住	4	幅広C字形爪形刺突列による横区隔中に3条の連弧状刺突列。	諸磯 b +2			
2 60住	14	幅広C字形爪形刺突列による横区隔面。平口縁。傾く外反。	①砂紋②黒褐色③口縁部	諸磯 b	+6	
3 60住	9・11	幅広C字形爪形刺突列。	①砂紋②にぼい赤褐色③肩部	諸磯 b	+11 位置不	
4 60住	4	ループ。縦子状平行沈線。貼付文。	①縦線②橙色③肩部	関山	+2	
5 60住	10	全面横溝で。浅鉢。	①中砂粒②赤褐色③肩部	諸磯	+10	
6 60住	4	R L斜縞文。	①縦線②黒灰色③口縁部	黒浜	+2	
7 60住	13・総	全面R L斜縞文。平口縁。口縁端内削。	①縦線②にぼい黄褐色③口縁部	黒浜	+9	
8 60住	25	R L・L R羽状縞文。器面荒れ。	①砂紋②赤色③肩部	諸磯 a	+5	
9	11	R L斜縞文。	①砂紋②赤褐色③肩部	諸磯 a	位置不	
10 60住	3	R L・L R羽状縞文。器面荒れ。	①細砂粒②にぼい赤褐色③肩部	諸磯 a	+14	
11 60住	9	細いR L斜縞文。	①細砂粒②灰白色③肩部	諸磯 a	+11	
12 60住	13・21	全面横位溝で。	①粗砂粒②灰白色③肩部	不明	+9 +6	
13 60住	4	R L斜縞文? 荒れ。	①砂紋②橙色③肩部	諸磯	+2	
14 60住	4・総	異節R L斜縞文。	①粗砂粒②にぼい橙色③肩部	諸磯	+2	
15 60住	4	太いR L斜縞文。	①砂紋②赤褐色③肩部	諸磯	+2	
16 総		R L・L R羽状縞文。上げ底。	①縦線②淡黄褐色③底部	黒浜	-	

表-86 J 33・60号住居跡出土石器属性表

No.	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度						備考
									A	B	a	b	c	d	
1	鍬	交刃削器	4.7	7.3	1.7	29	黒頁	35	-	-	-	-	-	-	覆
2	鍬	複刃削器	12.8	5.9	1.2	75	珪質	60	-	-	-	-	-	-	覆
3	鍬	抜き石	10.3	4.6	2.4	160	黒頁	-	敲2	敲2	-	-	敲2	敲2	覆
4	鍬	円錐石器	12.3	8.1	4.4	676	安	-	凹2	凹2	敲3	敲3	敲3	敲3	覆
5	鍬	石皿	(9.7)	(9.1)	4.6	363	H	-	擦1	凹	欠	欠	-	欠	覆

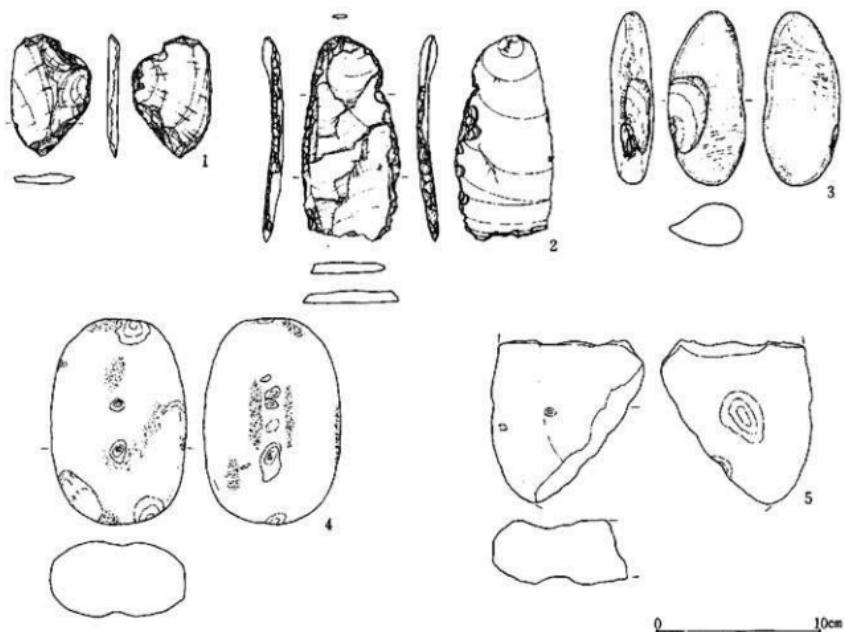


図-166 J33-60号住居跡出土石器

表-87 J33・60号住居跡石器種・石材別一覧表

石材	器種	石打	縫石	尖頭石	石錐	背直	凸刃	凹刃	交刃	複刃	頭	块	模頭	R	U	磨	敲	円	石標	棒	石多	凹	右	底	石片	剥	その他の	計	
		斧	斧	斧	斧	斧	刃	刃	刃	刃	頭	頭	頭	F	F	石	石	棒	状	面	凹	右	底	石片	剥				
黒色頁岩																													9
珪質頁岩																													2
黑色安山岩																													3
安山岩																													6
砂石																													1
計																													21

表-88 J34号住居跡出土土器觀察表(図-167 図版-100)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①始土 ②色調 ③残存				時期	出土位置	備考
			①織縫	②によい赤褐色	③剥	部			
1	1	R L + L R 羽状縞文。					黒浜	+13	

表-89 J34号住居跡出土石器属性表

No.	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重 異(g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備考	
									A	B	a	b	c	d	
1	K 6内	凸刃矛器	(8.3)	(5.3)	1.9	91	黒質	70	-	-	-	-	-	-	欠 損
2	K 6内	直刃矛器	6.7	9.3	3.1	142	々	35	-	-	-	-	-	-	損
3	4	石 矛	47.2	36.0	9.5	10,700	安	-	標1	凹多	-	-	-	-	-2
4	2	〃	41.2	25.0	11.6	13,200	々	-	標1	-	-	-	-	-	+4

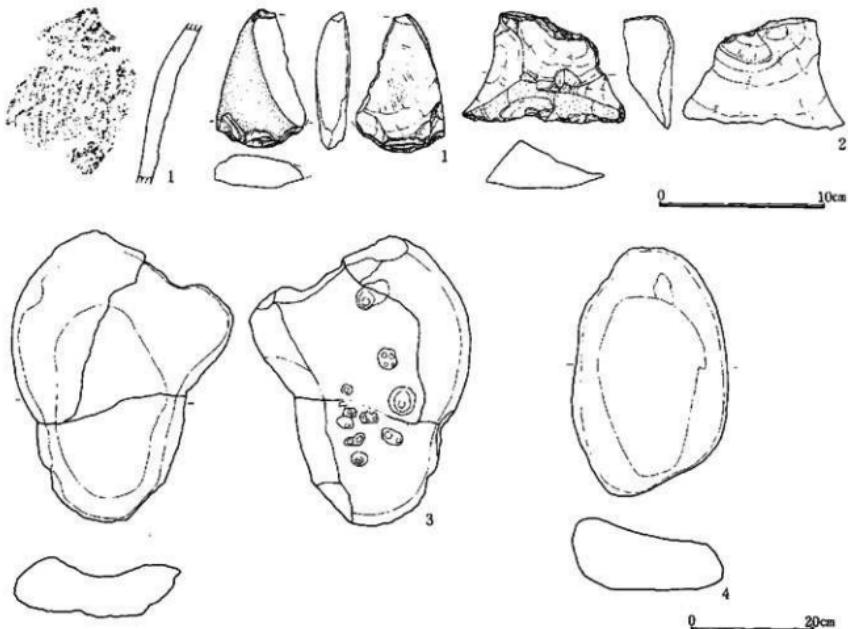


図-167 J34号住居跡出土土器・石器

表-90 J34号住居跡石器種・石材別一覧表

番号	石 錠 斧 斧 石 錠 斧 背 直 内 凹 交 複 錠 扶 模 錠 R U 磨 石 石 内 石 錠 石 多 凹 低 剥 石 片 錠 その他	
黒色頁岩		
安山岩		
計		

表-91 J35号住居跡出土土器観察表 (同-168 国版-100)

番号	遺物番号	文様構成・文様基文・縁形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
1	1・埋甌	長さ1.8cmのA-ブ文を横位に全面施文。4波底部の波状口縁。	①繊維②黒褐色③底部欠	関山	埋甌	
2	2	R+L 2本の交差する絞条体縦文。平口縁。	①繊維②黄褐色③壳形	関山	+ 6	
3	8	上半部を大きく欠損。胸部のくびれに刺突のある施文。浅い沈線で「丁」字を基調とした沈線区画。縦文L R光緑。	①繊維②黄褐色③光	称名寺 I	+ 12	J P214と接
4	H148内	口縁外縁三角形印凹列。軸抜C字形刺突列。三角形印凹列。	①細砂粒②黒褐色③口縁部	十三吉井	-	
5	1内	平行沈線の弧線入組み文。内部にR L斜縫文。円形竹割突。	①砂粒②浅黄褐色③胸部	諸議△	+ 2	
6	H148内	R L + L R羽状縦文。	①繊維②にぼい赤褐色③胸部	黒兵	-	
7	無	R Lループ。	①繊維②浅黄褐色③胸部	関山	-	

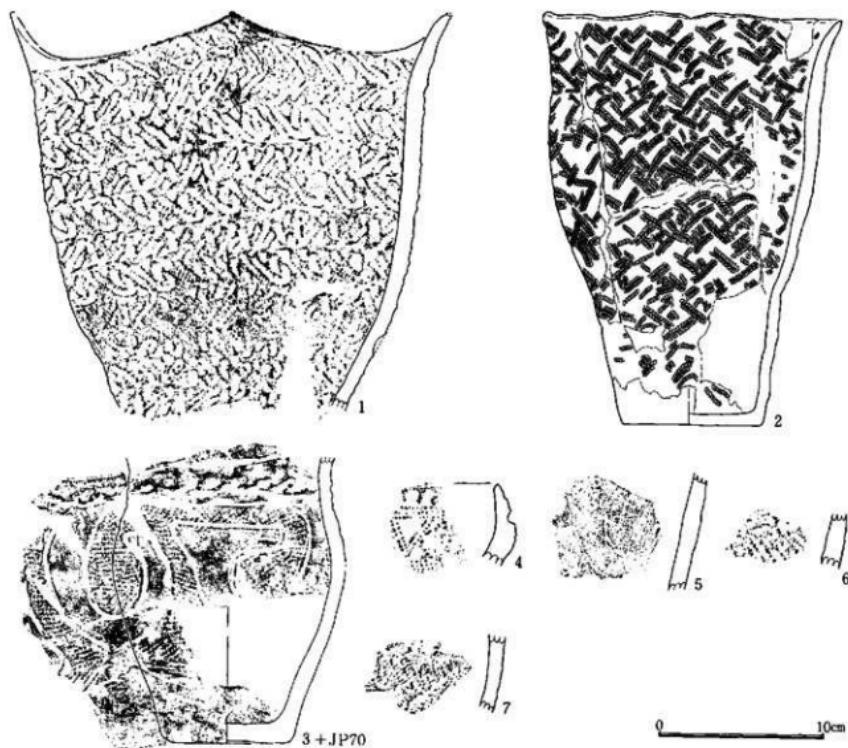


图-168 J 35号住居跡出土土器

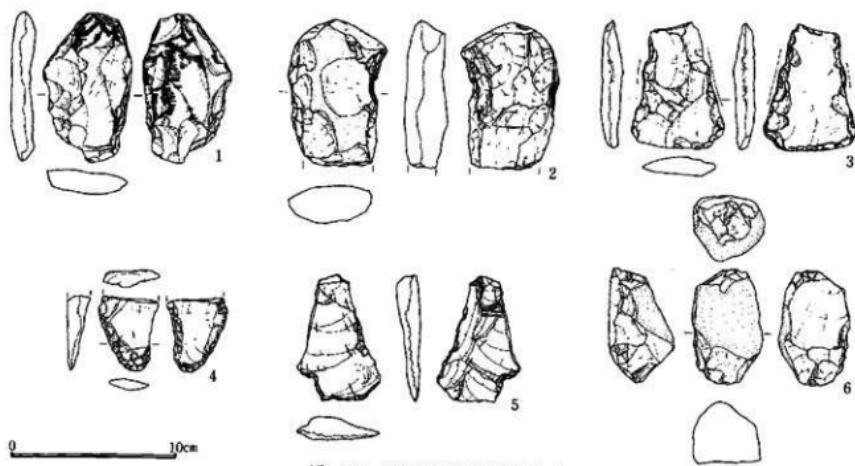


图-169 J 35号住居跡出土石器 (1)

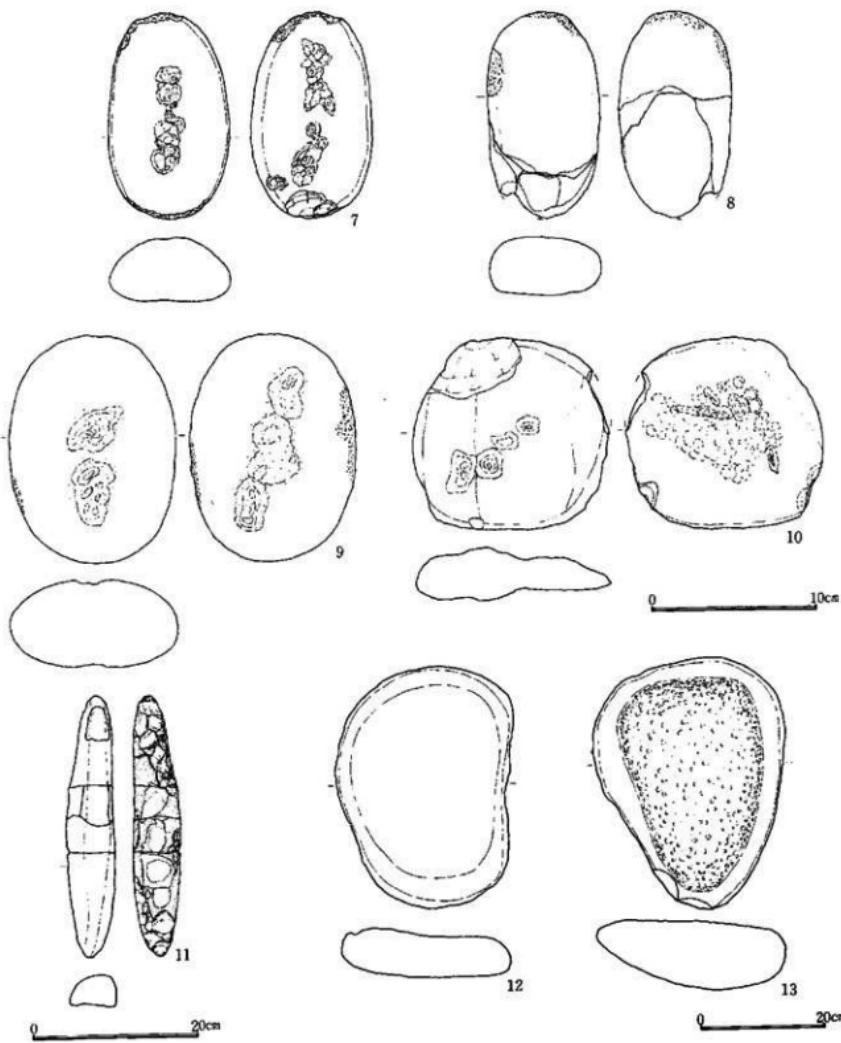


图 -170 J 35号住居跡出土石器 (2)

表-92 J35号住居跡出土石器属性表

No	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(Kg)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備考
									A	B	a	b	c	
1		打製石斧	8.9	5.3	1.4	78	黒雲母	30	—	—	—	減	減	—
2	1内	フ	(8.8)	5.9	2.6	164	#	—	—	—	—	—	—	刃部欠 2内
3		研磨器	7.6	5.6	1.3	51	#	70	—	—	—	—	—	—
4		交歯削器	4.5	3.7	1.4	16	#	40	—	—	—	—	—	覆
5	6	複歯削器	7.7	5.0	1.4	36	#	30 30	—	—	—	—	—	+9
6		石核	7.0	4.3	3.9	122	麻安	—	—	—	—	—	—	覆
7	4	円錐石器	12.3	7.3	4.0	505	安	—	凹多	凹多	敲3	敲3	敲1	敲1 —8
8	3	フ	12.4	7.8	3.8	480	#	—	擦2	擦2	擦 —敲3	擦 —敲3	擦 —敲1	擦 —敲2 +3
9	7	フ	13.5	10.0	5.2	930	#	—	凹2	凹多	敲1	敲1	敲1	敲1 +6
10	12	台石	11.4	11.8	3.4	439	砂	—	敲3	敲3	—	—	—	床面
11	5	敲き石	31.5	5.8	4.2	910	黄	—	火	火 —敲3	敲3	敲3	敲3	火—敲 +6
12	11	石皿	39.0	29.3	8.8	12,200	安	—	擦1	—	—	—	—	床面
13	10	フ	46.6	31.1	11.4	12,600	#	—	敲2	—	—	—	—	製作途中 +5

表-93 J35号住居跡石器種・石材別一覧表

部類	石打磨石斧	磨盤	石刀	尖頭器	石器	骨器	吉刃	内刃	凹刃	支刃	锯刃	鉗刃	楔刃	R	U	磨石	石	石	棒状	石皿	多孔石	凹石	石片	剥石核	石標	その他	計	
黒色頁岩	2																							24		29		
頁岩																										1		
黑色安山岩																										1	1	
安山岩																										4	9	
綠泥片岩																										1	1	
砂岩																										1	1	
計	2																									24	1	5142

表-94 J36号住居跡出土土器観察表(図-171・172 図版-100・101)

番号	遺物番号	文様構成・文様範囲・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
1	33・41	全面R L斜縞文。口縁端則。平口縁。	①織縫②灰褐色③口縁部	黒浜	+38 +11	
2	31	R L・L Rの羽状縞文。平口縁。	①織縫②暗褐色③口縁～胴部下半	黒浜	+15	8と同一個体
3	47	付加条R L + L・L R + rの羽状縞文。	①織縫②深褐色③胴部	黒浜	+24	10と同一個体
4	H126・6	付加条R L + L・L R + Rの羽状縞文。	①織縫②浅褐色③胴部	黒浜	148、58	
5	95	付加条R L + L・L R + Rの羽状縞文。頸部一、二条の平行沈線。口縁にかけて外反。	①織縫②よい橙色③胴部	黒浜	埋蔵	
6	8	浅縫。L Rの斜縞文。胴部中央に2条のC字形刻突列。	①織縫②灰色③口縁部下半	黒浜		
7	7	付加条L R + Lの羽状縞文。口縁下C字形刻突列2条。	①織縫②灰白色③口縁部	黒浜	—	
8	76	R L・L Rの羽状縞文。平口縁。	①織縫②灰色③口縁部	黒浜	+15	
9	46	全面付加条L R + L・L R + rの羽状縞文。	①織縫②灰赤色③口縁部	黒浜	+22	
10	47	付加条L R + r・L R + rの羽状縞文。	①織縫②黑褐色③胴部	黒浜	+24	
11	47・70・器	付加条R L + r・L R + rの羽状縞文。	①織縫②黑褐色③胴部	黒浜	+24 +16	

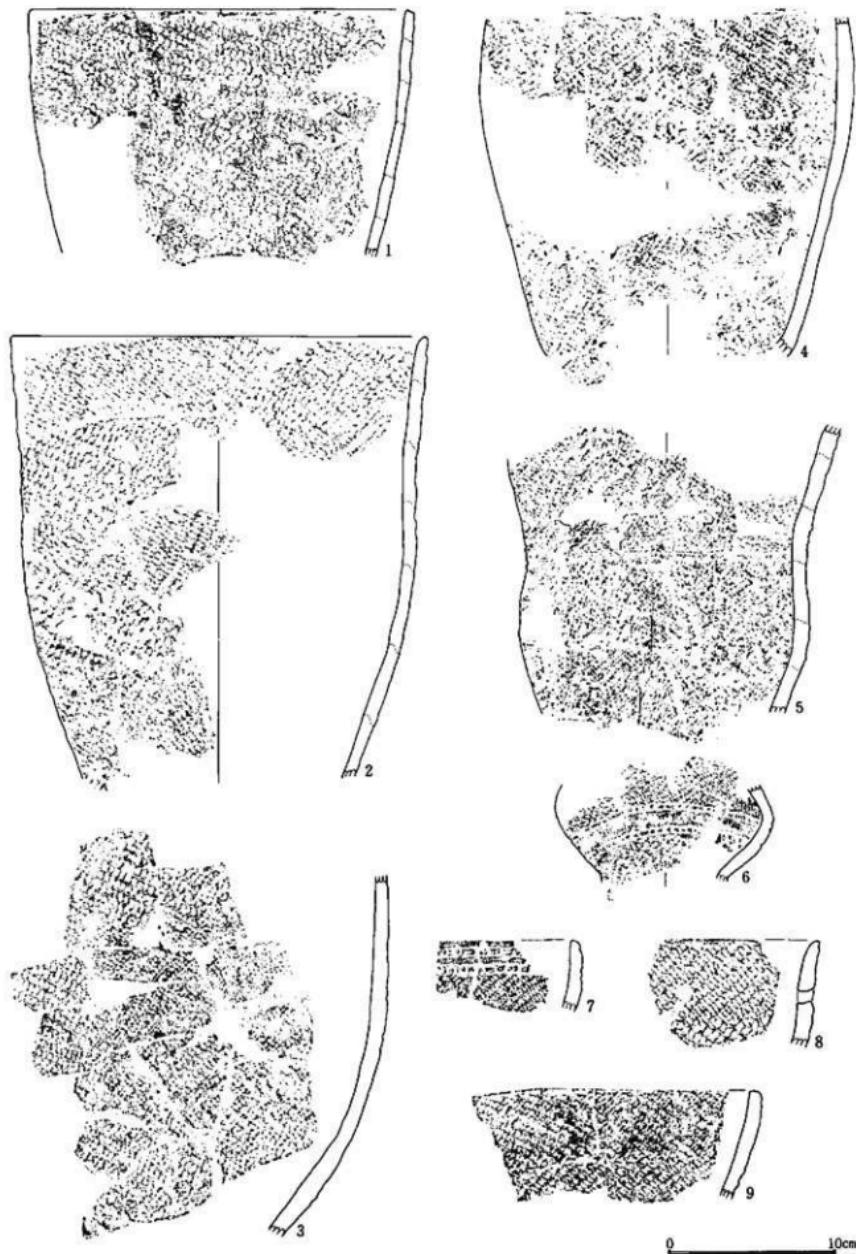


图 171 J 36号住居跡出土土器 (1)

番号	遺物番号	文様構成・文様底文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時 期	出土位置	備 考
12	42	付加条 L + R の斜縞文(現状)。	①織維②にいむ褐色③底部	黒浜	+28	
13	H126號	不規則な細い斜格子。平口縁。口縁端尖る。穿孔。	①織維②黒色③口縁部	黒浜	-	
14	雜	L R 斜縞文。横位矢羽根状刈み序線。	①中砂紋②赤褐色③肩部	諸磯 b	--	
15	15	L 斜縞文。沈線が斜めに入る。	①織維②明褐色灰色③肩部	黒浜	+20	
16	90・91	横位平行沈線とコンバス文。波状口縁。内窓ぎみに開く。	①織維②黒色③口縁部	黒浜	+10 +13	
17	H126	不規則な横位平行沈線。平口縁。	①織維②にいむ褐色③口縁部	黒浜	-	
18	雜	R 斜縞文。口縁下 2 条の逆 C 字形軋突列。平口縁。口縁端内削。	①織維②にいむ褐色③口縁部	黒浜	-	

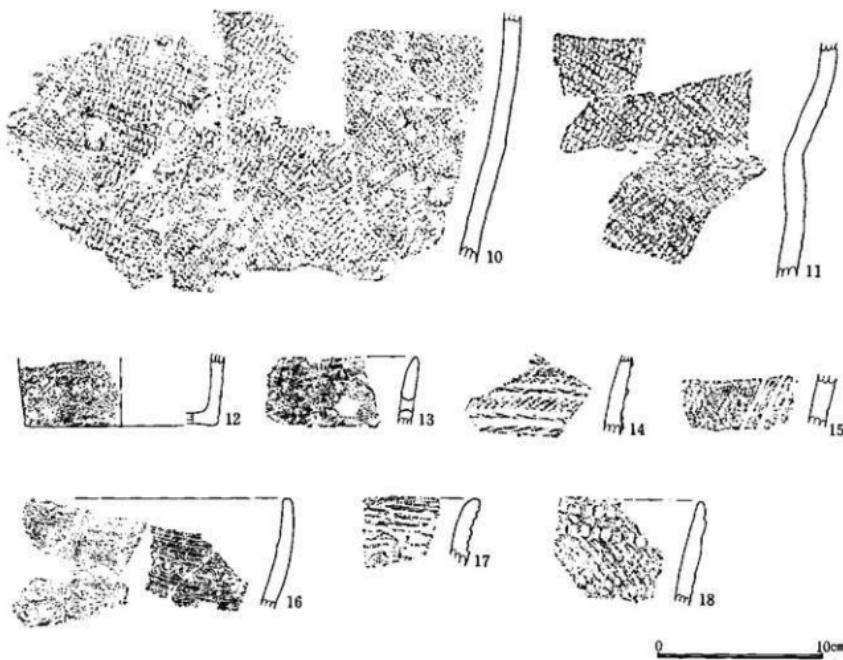


図-172 J36号住居跡出土土器 (2)

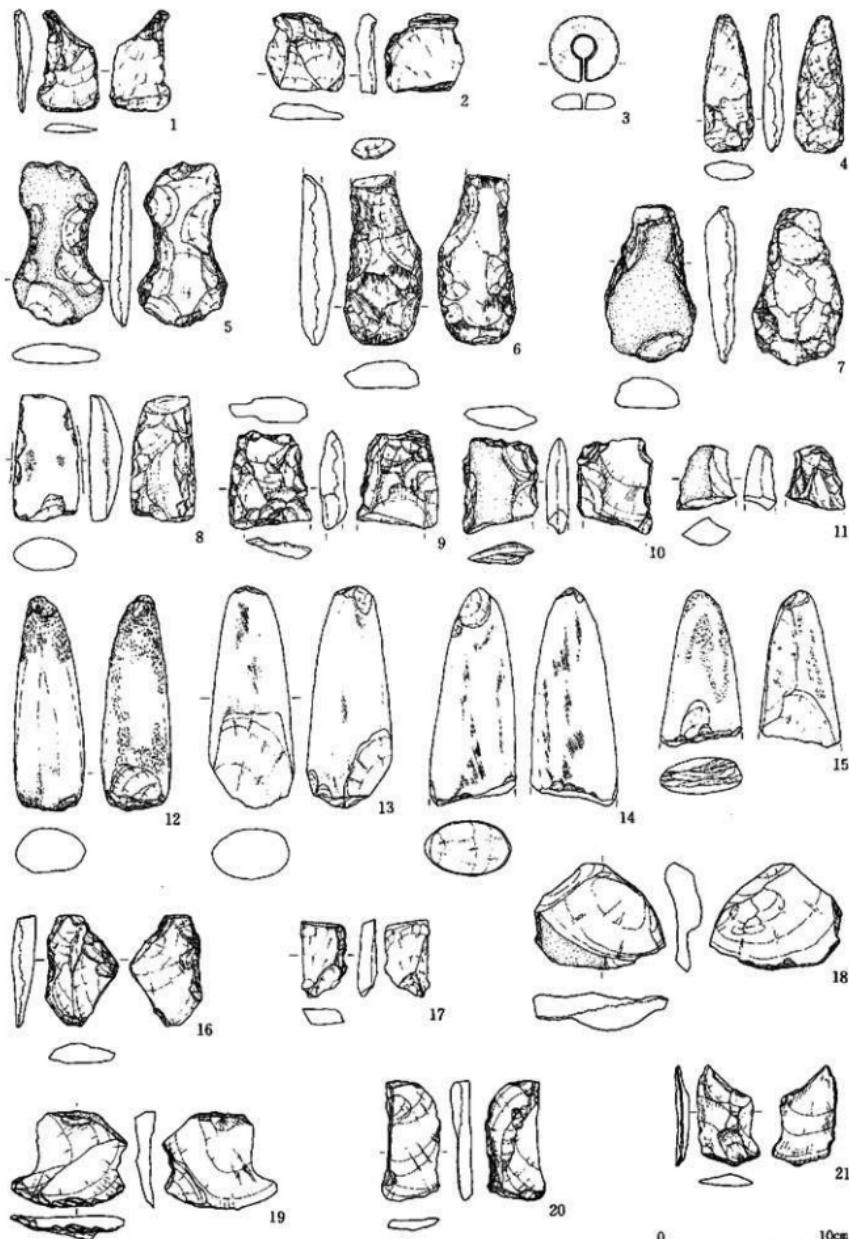


图-173 J 36号住居跡出土石器 (1)

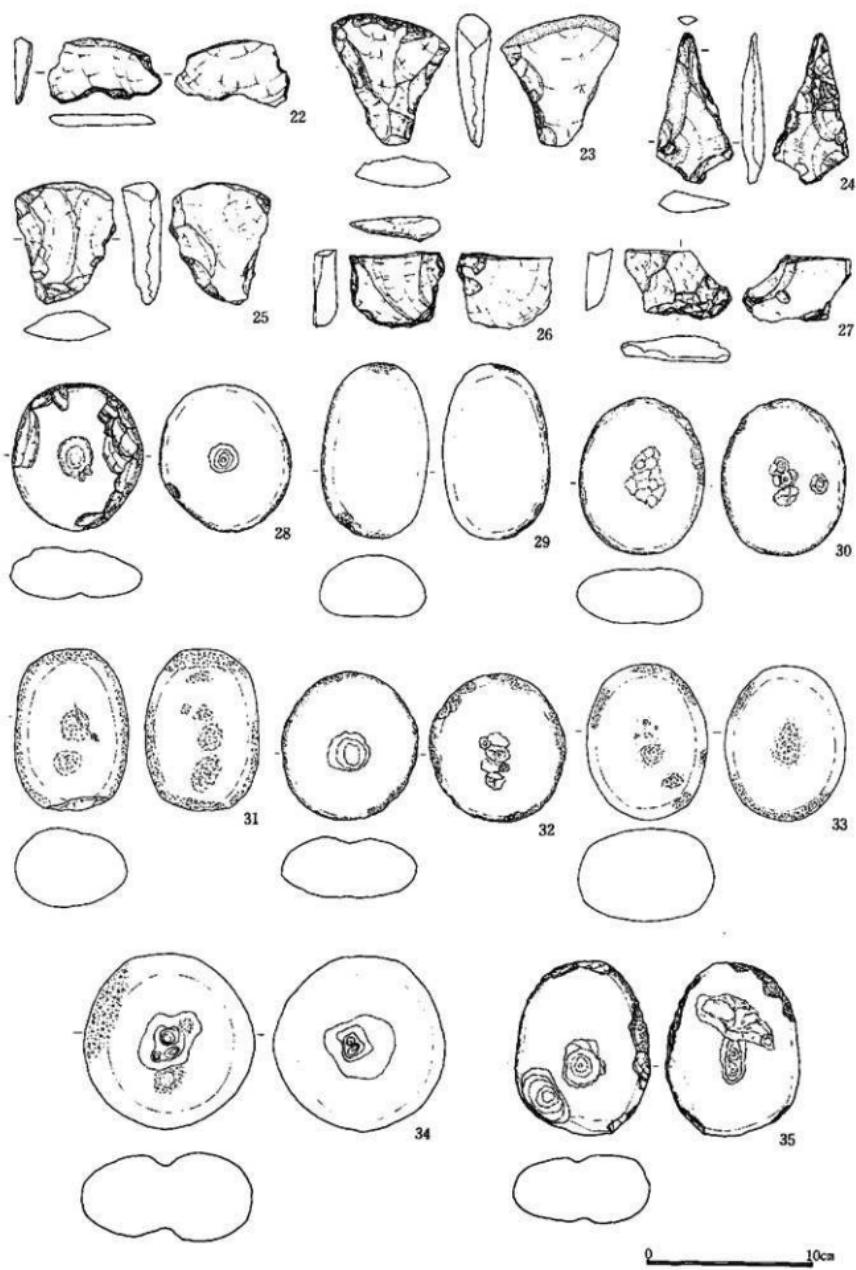


图-174 J 36号住居跡出土石器 (2)



图-175 J36号住居跡出土石器 (3)

0 20cm

表-95 J36号住居跡出土石器属性表

No.	遺物 番号	器種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	石材	刃角	使用痕・表着痕の位置・程度					備 考
									A	B	a	b	c	
1	1	石 鋸	6.1	3.6	0.9	13	黒頁	20	—	—	—	—	—	+14
2	鍬	#	4.7	4.7	1.3	30	#	45	—	—	—	—	—	覆
3	床面	块状耳飾	4.0	4.2	1.0	25	蛇		—	—	—	—	—	位置不
4	鍬	打製石斧	8.3	3.0	1.3	40	綠片	65	—	—	—	—	—	磨并軸用 覆
5	鍬	#	9.8	5.4	1.2	73.5	不明	50	—	—	—	—	—	覆
6	鍬	#	10.3	4.7	2.1	118	黒頁	55	—	—	欠	減2		覆
7	60	#	9.4	5.5	1.9	95	#	45	—	—	—	—	—	+18
8	34	#	7.5	3.9	2.2	85	点片		擦2	—	—	—	—	磨并再加工 +13
9	鍬	#	(5.9)	4.9	1.7	48	黒頁	—	—	—	欠	—	—	覆
10	19	#	(5.8)	4.5	1.4	38	#	—	—	—	欠	—	—	+12
11	鍬	#	(3.6)	3.6	1.9	21	#	—	—	—	欠	—	—	覆
12	5	磨製石斧	12.9	4.2	2.8	231	点片	60	擦2	擦2	擦2→ 擦2	—	擦2	擦2 +4
13	鍬	#	(13.3)	5.2	3.2	301	#	—	—	—	擦1	欠	—	覆
14	71	#	(13.2)	5.3	3.3	341	閃	—	—	—	欠	—	—	+15
15	鍬	#	(9.4)	4.9	2.2	139	点片	—	—	—	擦1	欠	—	覆
16	21	直刃削器	6.7	4.4	2.5	36	黒頁	70	—	—	—	—	—	+11
17	鍬	#	4.6	2.8	1.1	17	#	60	—	—	—	—	—	覆
18	鍬	凸刃削器	6.5	7.9	2.2	82	#	70	—	—	—	—	—	覆
19	12	#	5.8	6.9	1.5	38	#	40	—	—	—	減1	—	+13
20	26	#	7.3	3.0	1.2	30	#	50	—	—	—	—	—	+10
21	74	凸刃削器	6.2	3.7	0.8	12	黒頁	25	—	—	—	—	—	+17
22	鍬	凹刃削器	4.0	6.8	1.0	26	#	40	—	—	—	—	—	覆
23	鍬	#	7.9	7.1	2.1	96	#	75	—	—	—	—	—	覆
24	99	交刃削器	8.9	4.6	4.3	39	#	55 50	—	—	—	—	—	周溝内
25	鍬	#	7.3	6.0	2.4	94	#	55	—	—	—	—	—	覆
26	鍬	複刃削器	4.5	5.7	1.4	44	#	70	—	—	—	—	—	3刃 覆
27	鍬	块入石器	4.0	6.3	1.6	39	#	70	—	—	—	—	—	覆
28	36	円錐石器	8.9	7.8	3.1	276	安	—	凹1	凹1	敲3	敲3	敲3	敲3 +8
29	鍬	#	10.5	6.4	4.1	413	延	—	擦2	擦2	敲1	敲1	—	擦→敲 覆
30	鍬	#	9.3	7.5	3.3	325	安	—	凹2	凹2	敲1	敲1	敲2	敲2
31	鍬	#	9.6	6.8	4.8	462	#	—	敲1	敲1	敲3	敲3	—	覆
32	81	#	8.9	8.1	3.7	351	#	—	凹1	凹1	敲1	敲1	敲1	使用→火 -23
33	23	#	9.3	7.3	4.4	448	#	—	敲2→擦2	敲2→擦2	敲1 →擦2	敲1 →擦2	敲1 →擦2	+16
34	51	円錐石器	10.6	10.3	5.3	684	#	—	凹1	凹1	—	—	—	+9

No.	遺物番号	器 標	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最 大 厚 (cm)	重 量 (g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度						備 考
									A	B	a	b	c	d	
35	縫	II	10.5	8.1	4.3	422	斑	—	擦1→凹1	擦1→凹1	擦1	擦1	擦1	擦1→擦2	覆
36	縫	II	10.1	9.2	4.9	475	安	—	凹2→擦1	凹1→擦1	擦2	擦2	擦2	擦2→擦1	覆
37	縫	II	(5.0)	(6.4)	5.1	190	II	—	擦2	擦2	欠	擦2	擦2	欠	擦→擦覆
38	72	敲き石	(9.8)	5.4	3.5	302	II	—	敲3	敲3	欠	敲1	敲2	敲2	+14
39	35	II	(13.3)	6.4	5.1	598	II	—	敲1	敲1	敲1	敲1	敲1	敲1	+3
40	58	石	III	10.0	5.8	1.7	91	浮安	擦1→敲1	擦1	—	—	—	—	+34
41	100	凹 石	9.4	9.1	6.5	694	安	—	凹1	—	—	—	—	—	+39
42	83	棒状石器	9.4	2.3	1.3	53	黑片	—	—	—	敲1	敲1	—	—	+20
43	55	II	10.1	4.4	1.8	132	II	—	—	—	敲1	敲1	—	—	+27
44	66	II	8.9	2.6	1.7	62	II	—	—	—	敲1	敲1	—	—	+11
45	71	II	(5.9)	3.7	1.3	40	粘片	—	—	—	—	欠	—	—	+15
46	96	多 四 石	(25.4)	(22.3)	13.8	8,500	安	—	凹3	擦→凹3	—	—	—	—	床直
47	縫	石	III	26.6	14.1	6.6	2,680	II	—	擦2	擦2	—	—	—	覆

表-96 J 36号住居跡石器器種・石材別一覧表

石材	器種															計												
	打 破	磨 砕	石 斧	尖頭器	石 撥	背 直	凸 凹	凹 凸	刃 齒	擦 入	突 入	横 形	律 器	R F	U F	磨 石	研 磨	円 石	石 棒	神 石	多 凹	凹 石	削 片	石 片	鐵	その他		
黑色質岩	5			2	2	4	2	2	1	1																156	175	
頁岩																											1	1
黑色質岩																											3	3
青白質岩																											1	1
安山岩																			2	8	1	1	1	5	13	31		
閃綠岩	1																										1	1
蛇紋岩																											1	1
班岩																			2								1	3
赤色質岩																											3	3
珪岩																											10	10
輝石片岩	1																											1
黑色片岩																												3
結晶片岩																												1
玄武岩片岩	1	3																										4
その他の	1																											1
計	8	4		2	2	4	2	2	1	1								2	10	4	2	1	1	177	15	239		

表-97 J 37号住居跡出土土器觀察表(図-176 図版-101)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①紺土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
1	縫	沈線。列点。	①中粒・白色紺土②淡黄色 ③口縁部	称名寺2	—	
2	縫	沈線。	①中粒②淡黄色③胴部	称名寺2	—	
3	縫	縫く続い沈線と細長い列点。	①中粒②淡黄色③胴部	称名寺2	—	
4	縫	沈線。列点。	①中粒②淡黄色③胴部	称名寺2	—	
5	縫	沈線。列点。	①中粒②淡黄色③胴部	称名寺2	—	

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③焼成	時期	出土位置	備考
6	H178雜	沈縞。	①中粒②淡黄色③胴部	称名寺2	-	
7	H178雜	沈縞。	①中粒②淡黄色③胴部	称名寺2	-	
8	H178雜	沈縞。	①中粒②淡色③胴部	称名寺2		
9	雜	細く鋭い沈縞と列点。	①中粒②にぼい黄橙色③胴部	称名寺2		3と同一體
10	雜	微隆起。条線。	①中粒②淡黄色③胴部	加曾利E 4	-	
11	雜	繩文R L。	①細粒②にぼい橙色③口縁部	諸磯	-	
12	雜	繩文R L。	①中粒②にぼい黄橙色③胴部	諸磯	-	
13	雜	微隆起と繩文L R。	①中粒・白色軸物②灰黄色 色③胴部	加曾利E 4	-	
14	雜	繩文L R。	①中粒②淡黄色③胴部	称名寺2	-	
15	雜	口縁部無文帯が微隆起によって形成。胴部は繩文L R地を賣入し無文部が入る。	①中粒②淡黄色③口縁部	加曾利E 4		
16	雜	横走する半載竹管。	①中粒②暗色③胴部	諸磯b	-	
17	雜	無文部。	①中粒・白色軸物②暗色③ 底部	諸磯	-	
18	雜	無文部。	①中粒②にぼい黄橙色③底 部	-	-	

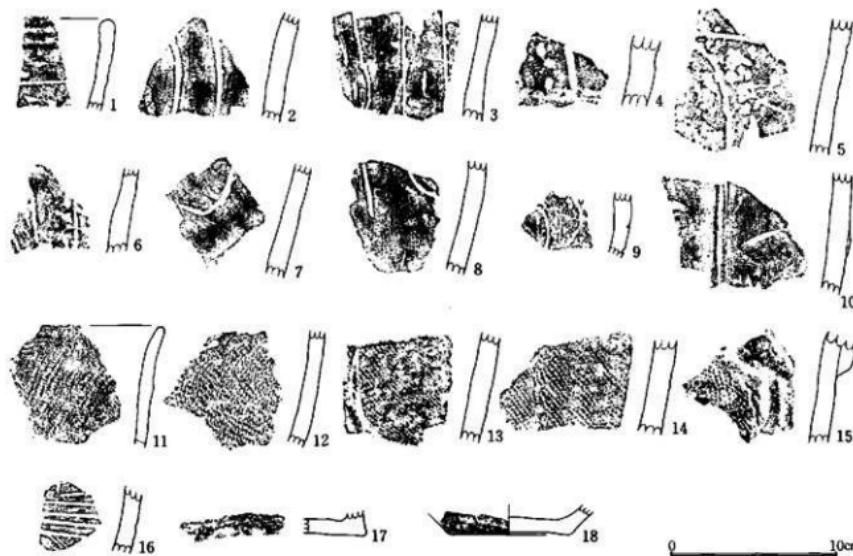


図-176 J 37号住居跡出土土器

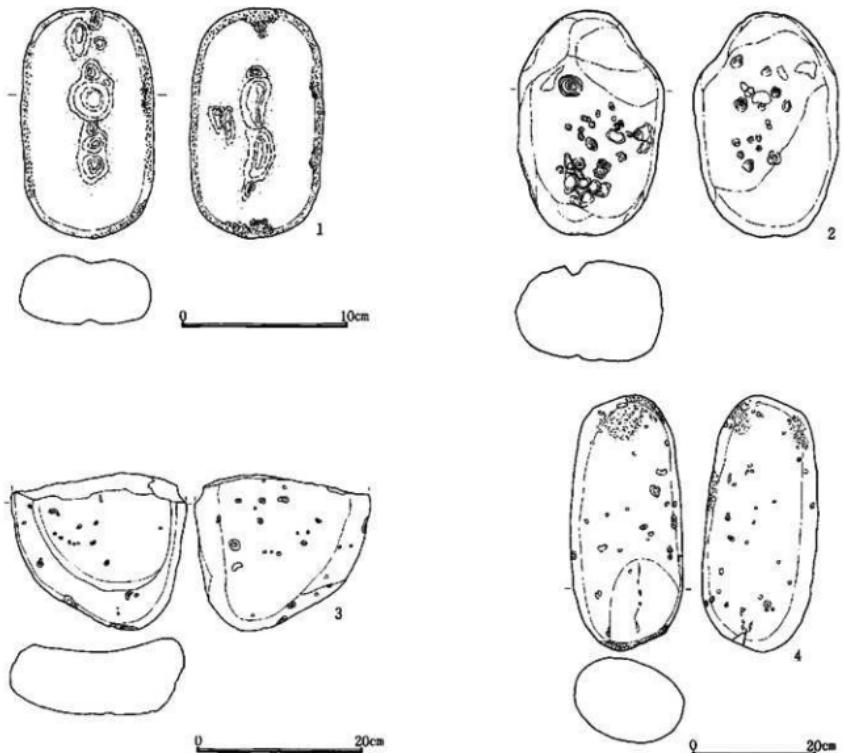


図-177 J-37号住居跡出土石器

表-98 J-37号住居跡出土石器属性表

No.	遺物 番号	器 種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備 考
									A	B	a	b	c	
1	1	凹縫石器	13.8	8.1	4.2	761	安	—	凹2・縫3 →縫1	凹2・縫3 →縫1	縫2 →縫1	縫2 →縫1	縫2 →縫1	+9
2	2	多凹石	27.0	17.7	12.1	7,530	#	—	凹3	凹3	—	—	—	+5
3	3	石皿+多凹石	19.0	21.1	9.9	4,840	#	—	縫2	凹3	—	—	—	覆
4	5	台石	42.2	18.3	14.2	15,700	#	—	縫2	縫2	—	—	—	+6

表-99 J-37号住居跡石器種・石材別一覧表

石材	石 打 磨 并 并 雜 石 類	石 斧 并 雜 石 類	石 刀 并 雜 石 類	石 鑿 并 雜 石 類	背 面 付 刀	凸 刃 刀	凹 刃 刀	交 刃 刀	複 刃 刀	抉 刃 刀	楔 刃 刀	U 刃 刀	磨 刃 刀	内 刃 刀	石 神 像	石 神 像	多 凹 石	凹 凸 石	石 片	剥 石	石 核	磚	其 他
安山岩																		1	1	1		1	4
叶																		1	1	1		1	4

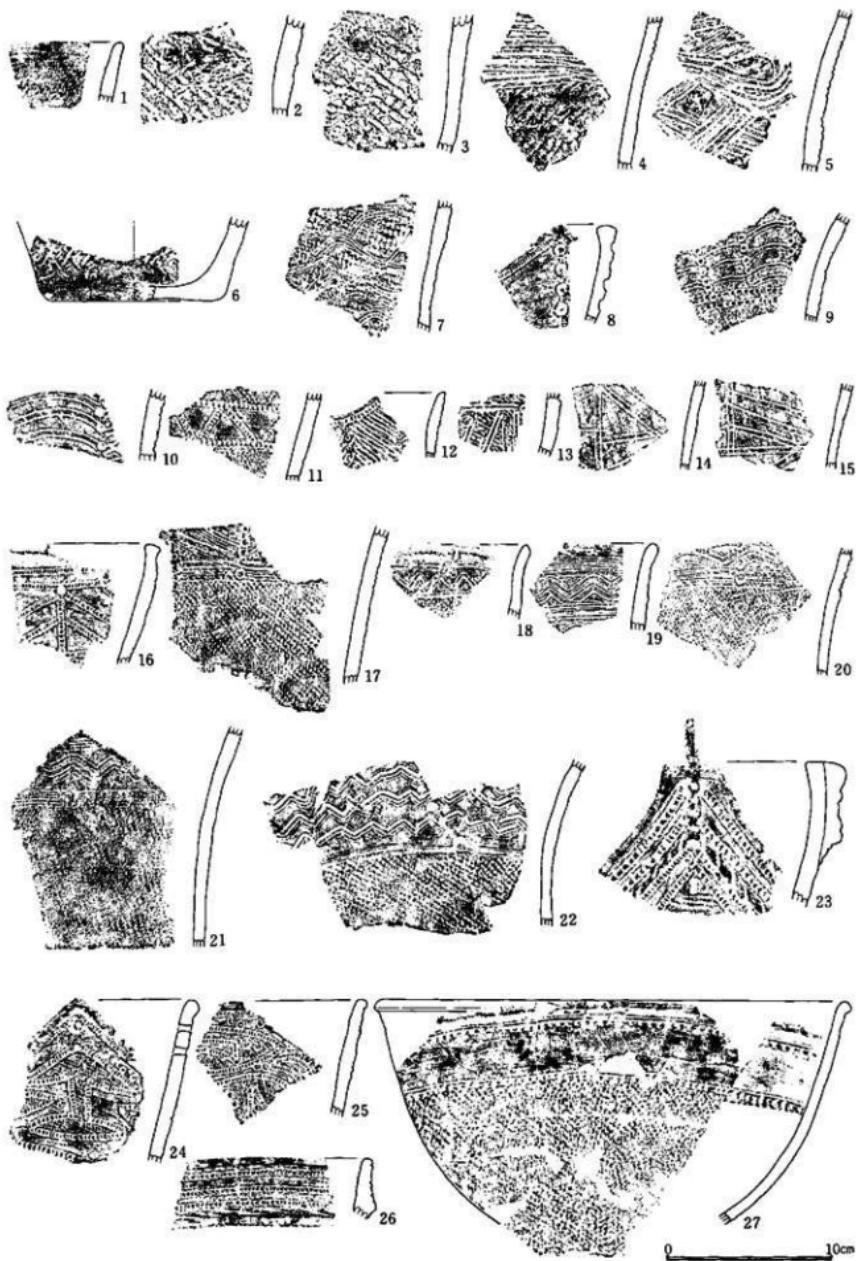


图-178 J 38号住居跡出土土器 (1)

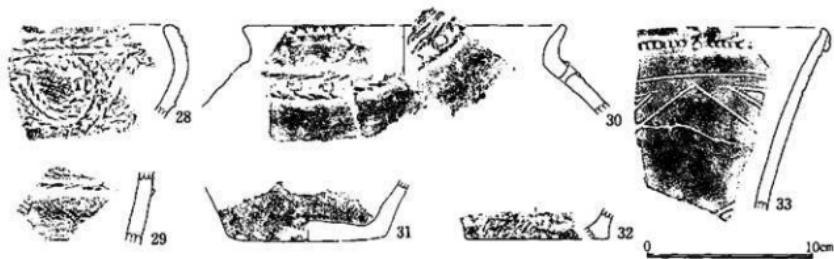


図-179 J38号住居跡出土土器 (2)

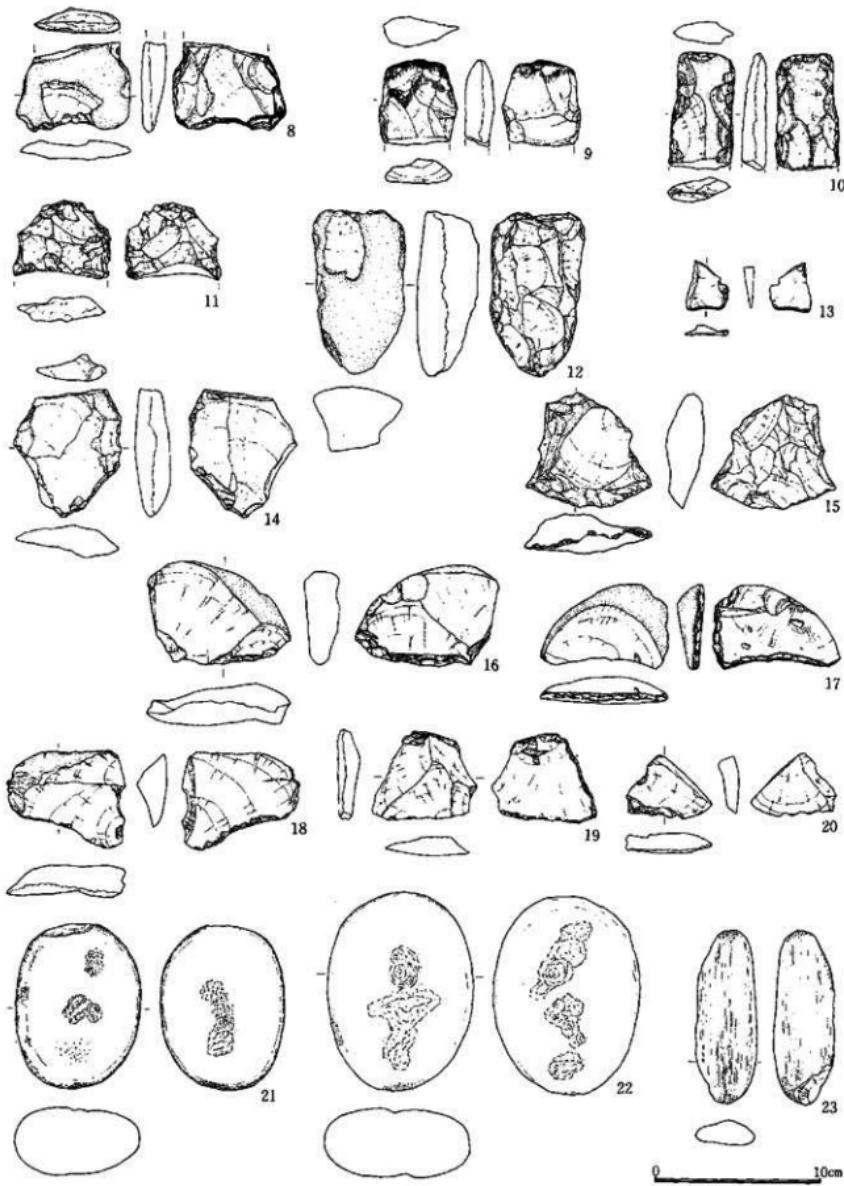
表-100 J38号住居跡出土土器観察表 (図-178・179 図版-102)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存 口縁部	時 期	出上位置	備 考
1	8	間隔のあいたR斜縞文。平口縁。	①細砂紋②淡褐色③口縁部	諸磯a	床直	
2	被	R斜縞文。	①模様②暗淡褐色③胴部	黒浜	-	
3	被	R斜縞文。	①模様②暗褐色③胴部	黒浜	-	
4	被	R L斜縞文。横位平行沈線の集合。	①砂粒(石英)②暗褐色③ 胴部	諸磯b	-	
5	被	3本1組の棒状工具の溝巻及び斜線。	①砂粒②黒褐色③胴部	諸磯b	-	
6	被	L R斜縞文。平底。	①砂粒②赤褐色③底部	諸磯	-	
7	被	R L斜縞文。交叉したり波状に入る横位の4本1組の棒 状工具の平行沈線。	①砂粒②黒褐色③胴部	諸磯a	-	
8	被	口縁下に逆C字形刺突列と平行沈線。地縫的な肋骨文。 継縫内円形竹管刺突列。波状口縁。	①細砂紋②暗褐色③L縫部 継縫内円形竹管刺突列。波状口縁。	諸磯a	-	
9	被	R L斜縞文。C字形刺突列の段、腹位円形竹管 刺突列。曲線的な肋骨文。	①細砂紋②暗茶褐色③胴部	諸磯a	-	
10	被	曲線的な肋骨文。腹位円形竹管刺突列。	①細砂紋②黒色③胴部	諸磯a	-	
11	被	R L斜縞文。C字形刺突列の横線と継縫次文。	①細砂紋②暗褐色③胴部	諸磯a	-	
12	被	口縁下C字形刺突列。腹位円形竹管刺突列。密な直線的 肋骨文。	①細砂紋②墨茶褐色③口縁 部	諸磯a	-	
13	被	R L斜縞文。平行沈線の継縫区画と直線的な肋骨文。交点 に棒で。円形竹管刺突列。	①繊維少量②暗褐色③胴部	黒浜	-	
14	被	被で。平行沈線。継縫区画と直線的な肋骨文。	①細砂紋②暗淡褐色③胴部	諸磯a	-	15と同一個体
15	被	被で。平行沈線の継縫区画と直線的な肋骨文。	①細砂紋②暗淡褐色③胴部	諸磯a	-	
16	被	C字形刺突列の継縫区画と直線的な肋骨文。交点に棒 で。小口刺穴。	①細砂紋②黒色③口縁部	諸磯a	-	
17	被	R L斜縞文。5本1組棒状工具の平行沈線の肋骨文と円 形竹管刺突列。	①細砂紋②淡灰褐色③胴部	諸磯a	-	
18	被	口縁下斜曲状文を抜んだ2条の平行沈線。R L斜縞文。 平口縁。	①細砂紋②黒色③口縁部	諸磯a	-	
19	被	3本1組の横位平行沈線と斜曲状文の段構成。長い波状 口縁。	①細砂紋②暗茶褐色③口縁 部	諸磯a	-	
20	被	R L斜縞文。4~5本1組の横位集合沈線と波状沈線。	①砂粒②暗茶褐色③胴部	諸磯a	-	
21	被	R L?斜縞文。棒状工具の腹位刺突列の塊、横位波状文 と集合沈線の段構成。	①砂粒(片岩)②棕色③胴 部	諸磯a	-	
22	被	R L斜縞文。4本1組棒状工具の横位継縫状文段構成。 縫縫a地文との塊。	①細砂紋②黒褐色③胴部	諸磯a	-	
23	5	大波状口縁。波頂部に縫位貼付文。口縁下C字形刺突列 と刻み入縫縫。横位R L斜縞文。	①細砂紋②ぶい橙色③口 縁部	諸磯a	+26	

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
24	縁	波状口縁。口縁下C字形刺突列。弧線入組み文。内部にR L斜縞文。	①砂粒②暗赤褐色③口縁部	諸磯 a	-	
25	縁	口縁下C字形刺突列。弧線入組み文。内部にR L斜縞文。2箇1対の円形竹管刺突。	①砂粒②橙赤褐色③口縁部	諸磯 a	-	
26	縁	口縁下3条のC字形刺突列と刻み入隆帯。平口縁。	①砂粒②暗赤褐色③口縁部	諸磯 a	-	
27	17	浅鉢。筋節のR L斜縞文。口縁下間に撫でたC字形刺突列。2箇1対の円形竹管刺突。	①細砂粒②よい赤褐色③口縁部	諸磯 a	+ 2	J25+17と接
28	縁	R L斜縞文。渦巻状矢羽根状刺み浮線。口縁部内湾。	①中砂粒②赤褐色③口縁部	諸磯 b	-	
29	H156縁	末端をLで結んだR L斜縞文。矢羽根状刺み浮線。	①中砂粒②明灰褐色③口縁部	諸磯 b	-	
30	縁	有孔浅鉢。底部に間に穿孔列を入れた矢羽根状刺み浮線。口縁増厚列。口縁部直立。	①砂粒②橙色③口縁部	諸磯 b	--	
31	縁	R L斜縞文。平底。	①砂粒②赤色③底部	諸磯	-	
32	縁	R L斜縞文(?)	①砂粒②橙色③底部	諸磯	-	
33	縁	口縁に平行する隆帯。隆帯には刻み。8字状貼付文。肩部には三角と菱形の沈線。縞文L Rが充填される。	①細粒②浅黄色③口縁部	堀之内 2	--	



図-180 J38号住居跡出土石器 (I)



图—181 J 38号住居跡出土石器 (2)

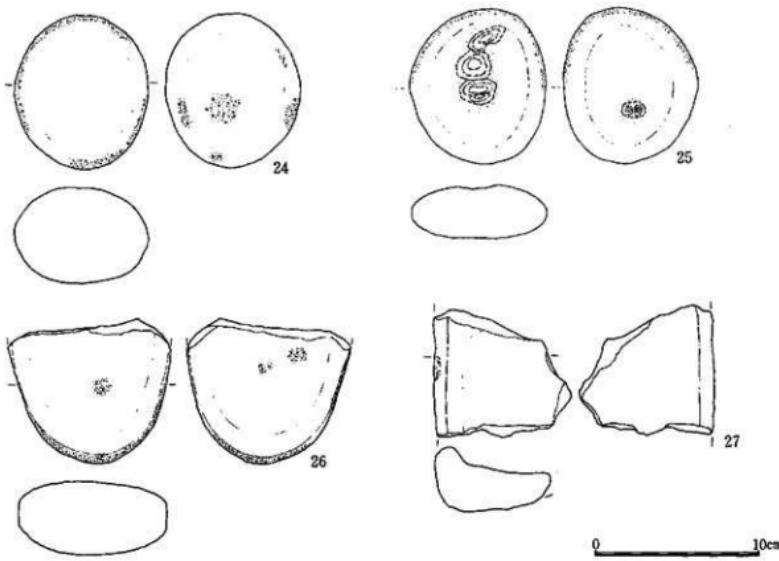


図-182 J38号住居跡出土石器(3)

表-101 J38号住居跡出土石器属性表

No.	遺物 番号	器種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備 考
									A	B	a	b	c	
1		石 鋸	4.5	6.8	1.3	36	黒質	50	-	-	-	-	-	覆
2		石 鋸	6.6	3.8	1.1	24	黒安	25	-	-	-	-	-	覆
3		打製石斧	8.2	4.7	1.6	63	黒質	60	-	-	-	減1	-	覆
4		#	(5.6)	4.0	1.6	45	#	-	-	-	-	欠	-	覆
5		#	(9.3)	5.1	2.5	97	#	-	-	-	-	欠	-	覆
6		#	(7.3)	5.3	2.1	87	#	30	-	-	欠	-	-	覆
7		#	(7.9)	5.9	2.3	102	#	-	-	-	欠	欠	-	覆
8		#	(5.4)	6.8	1.5	56	#	25	-	-	欠	刃	-	覆
9		#	(5.1)	4.7	1.8	50	#	35	減2	-	欠	減2	-	覆
10		#	(7.0)	3.8	1.5	50	#	-	-	-	欠	-	-	覆
11		#	(6.0)	5.7	1.8	47	黒安	-	-	-	-	欠	-	覆
12		石 扱 刀	9.8	5.6	3.7	252	黒質	80	-	-	-	-	-	覆
13		直刃削器	2.5	(2.5)	0.7	4	#	15	-	-	-	-	-	覆
14		凸刃削器	7.6	6.4	2.1	113	#	60	-	-	-	-	-	覆
15		#	6.9	7.6	2.3	102	#	60	-	-	-	-	-	覆
16		#	6.3	8.6	2.4	140	#	70	-	-	-	-	-	覆
17		複刃削器	5.1	7.2	1.6	52	#	45	-	-	-	-	-	覆

No.	遺物 番号	器種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	重 量 (g)	石材	刃角	使用 振・装着痕の位置・程度					備 考		
								A	B	a	b	c			
18	鍬	凹刃削器	7.1	5.9	1.9	69	刃	30	-	-	-	-	-	腹	
19	4	交刃削器	5.4	6.3	1.4	39	刃	40	-	-	-	-	-	交点欠 -5	
20	雜	鉛色綠石器	3.8	5.1	1.2	20	刃	55	-	-	-	-	-	覆	
21	雜	円錐石器	9.9	7.5	4.2	504	安	-	敲2→擦1	敲2→擦1	敲1 →擦1	敲1 →擦1	敲1 →擦1	腹	
22	3	"	12.0	8.9	4.3	699	刃	-	凹2→擦2	凹1・敲2 →擦2	敲1 →擦1	敲1 →擦1	敲1 →擦1	+27	
23	雜	棒状石器	10.5	3.7	1.5	79	黑片	-	-	-	敲1	敲1	-	覆	
24	1	円錐石器	9.2	8.1	5.8	602	安	-	敲1→擦1	敲1→擦1	敲1 →擦1	敲1 →擦1	敲1 →擦1	+23	
25	雜	"	9.4	8.1	3.2	370	刃	-	凹1・減2	敲2	敲3 →擦1	敲1	敲1	腹	
26	雜	"	(8.2)	9.8	4.5	553	刃	-	敲1→擦2	敲1→擦2	敲2 →擦1	敲2 →擦1	敲2 →擦1	覆	
27	12	石 級	(7.7)	(8.2)	4.1	208	刃	-	第1	敲2	欠	欠	-	欠	+25

表一102 J 38号住居跡石器種・石材別一覧表

石材 種 類	打 斧	薪 斧	石 斧	尖 頭 器	石 凿	背 付	直 刃	凸 刃	凹 刃	交 刃	板 刃	箭 頭	撲 突	楔 頭	縫 隙	R F	U F	磨 石	石 器	圓 石	扁 石	棒 石	神 石	多 面 石	四 面 石	研 磨 石	石 片	石 核	標 記					
黒色質岩	8	1		1		1	3	1	1	1	1																	50		68				
黒色安山岩	1			1																										12		14		
安山岩																																4	10	
蛇紋岩																																1		1
黒曜石																																3		3
赤色質岩																																4		4
珪岩																																13		13
黑色片岩																																1		3
粘曲片岩																																1		1
計	9	1	1	1	1	1	3	1	1	1	1																		5	1	1	86	4	117

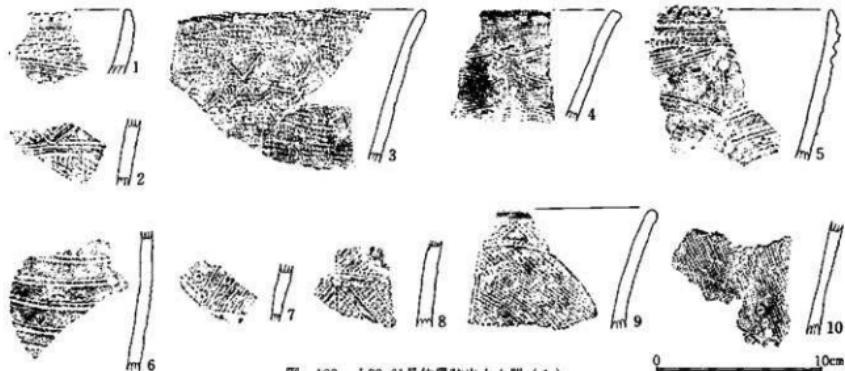


図-183 J 39-61号住居跡出土土器(1)

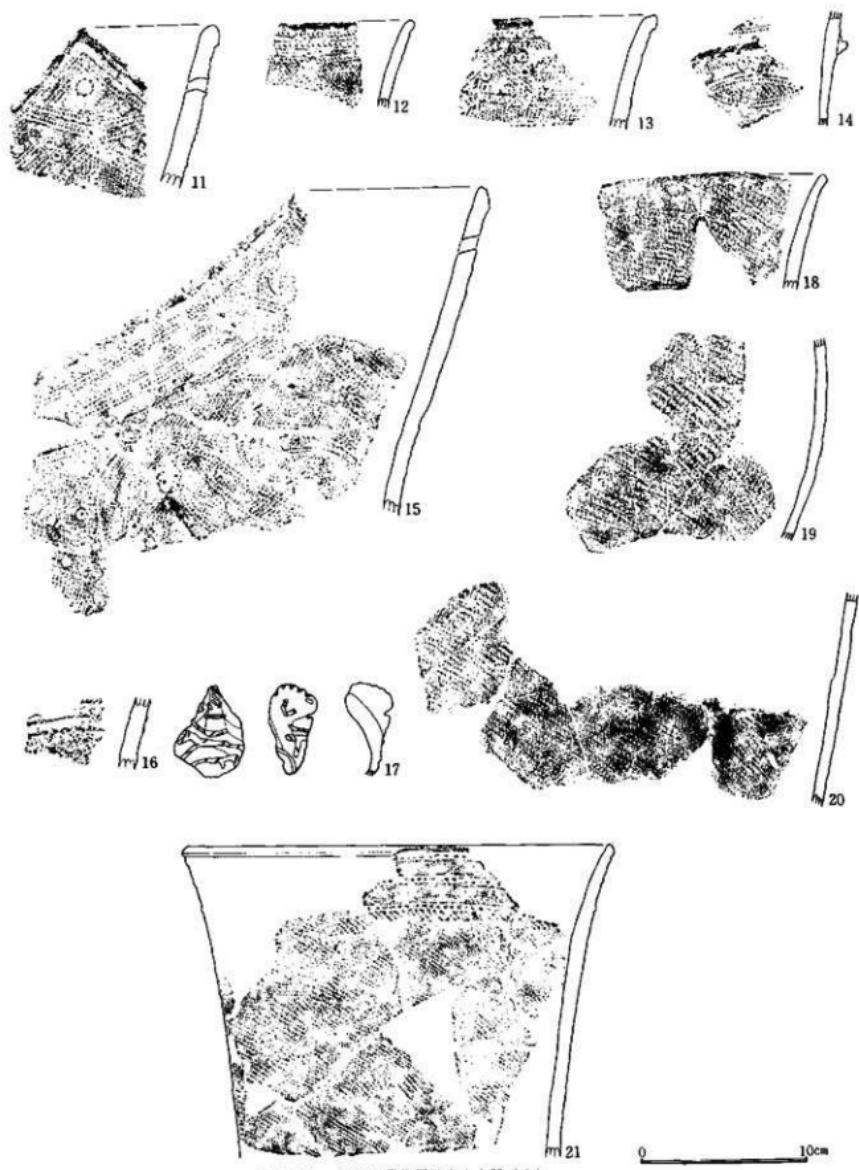


图-184 J 39-61号住居跡出土土器 (2)

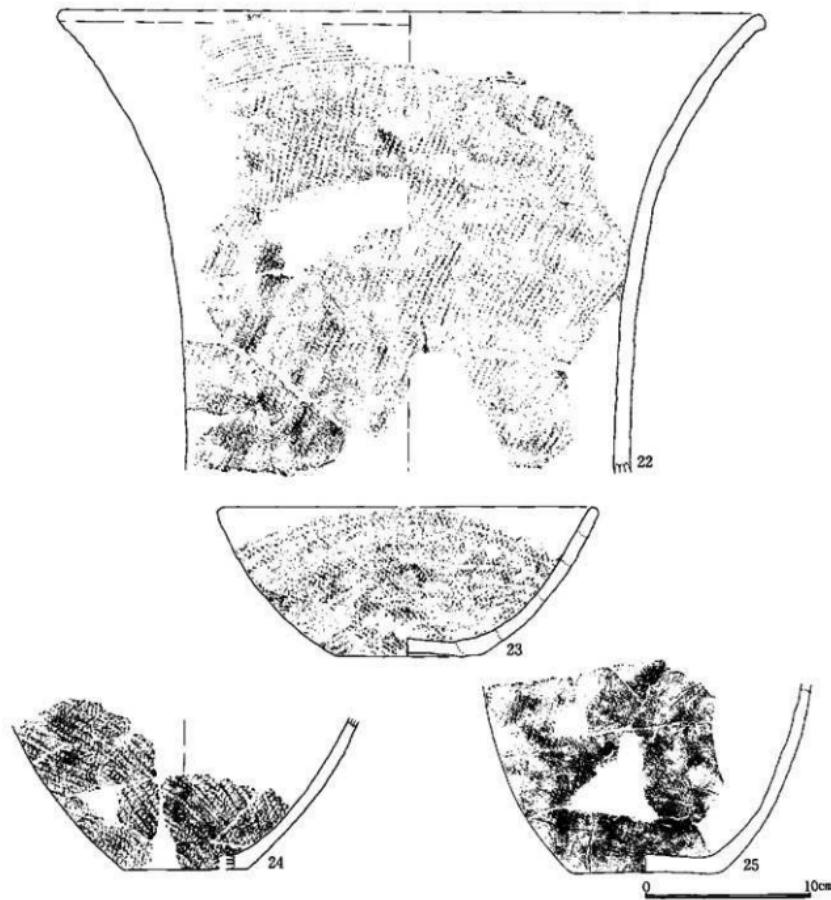


図-185 J39・61号住居跡出土土器 (3)

表-103 J39・61号住居跡出土土器観察表 (図-183・184・185 図版-102・103)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①粘土 ②色調 ③性状	時期	出七位置	備考
1	21	口縁下2条のC字形刻突列。曲線的な肋骨文。	①砂粒②にい赤褐色③口縁部	縄張a	P.内	
2	12	R.L斜線文。3本1組棒状工具の横位配置状文と横線。	①砂粒②明赤褐色③肩部	縄張a	+15	
3	雜	異角R.L斜線文。口縁下と地文との境に2条のC字形刻突列。平行弦線の割れ状文。平口縁。	①粗砂粒②にい赤褐色③口縁部	縄張a	-	
4	雜	4本1組棒状工具の横線と波状文。円形竹管刻突。平口縁。	①砂粒②暗褐色③口縁部	縄張a	-	
5	4	口縁下2条のC字形刻突列。曲線的な肋骨文。縱線と棒の小口刻突。口縫端刻み列。平口縁。	①砂粒②にい赤褐色③口縫部	縄張a	+5	

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎上 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
6	21	2条1組平行波線の肋骨文。縦線と円形竹管刺突。	①砂粒②にい赤褐色③脚部	諸磯a	標高不 定	
7	4	横位C字形刺突列。直線的な肋骨文。縦線と円形竹管刺突。	①砂粒②明赤褐色③脚部	諸磯a	+5	
8	雜	O段多条R L斜縞文。幅狭C字形刺突列の縦縞区画と直線的な肋骨文。	①砂粒②暗赤褐色③脚部	諸磯a		
9	雜	口縞下横狭C字形刺突列の耐虚状文と縦線。R L斜縞文。	①細砂粒②赤褐色③口縞部	諸磯a	-	
10	16	R L斜縞文。底位C字形刺突列と円形竹管刺突列。	①砂粒②にい赤褐色③脚部	諸磯a	+12	
11	雜	大波状口縞。C字形刺突列の縦線入組み文。2個1対の円形竹管刺突。波痕底部下孔。R L斜縞文。	①砂粒②暗赤褐色③口縞部	諸磯a	-	
12	11	口縞下3条のC字形刺突列。底位円形竹管刺突。R L斜縞文。	①砂粒②暗赤褐色③口縞部	諸磯a	+23	
13	雜	C字形刺突列の弧線入組み文。2個1対の円形竹管刺突列。R L斜縞文。波状口縞。口縞端外縫肥厚。	①砂粒②暗赤褐色③口縞部	諸磯a	-	
14	雜	C字形刺突列の横縞と弧線入組み文。斜め割込み茎帯。R L斜縞文。	①細砂粒②にい赤褐色③脚部	諸磯a	-	
15	雜	大波状口縞。C字形刺突列の弧線入組み文。2個1対の円形竹管刺突。波痕底部下孔。	①細砂粒②暗赤褐色③口縞部	諸磯a	-	
16	雜	浮縞貼付け後R-L-R-L斜縞文施文。	①砂粒(死灰)②にい赤褐色③脚部	諸磯b	-	
17	雜	歌葉把手。刻み入りび縞。	①砂粒②浅黄褐色③把手	諸磯b	-	
18	7	全面R L斜縞文。平口縞。	①砂粒②暗褐色③口縞部	諸磯a	+12	
19	雜	L R斜縞文。	①砂粒②にい赤褐色③脚部	諸磯a	-	20と同一個体
20	8	R L斜縞文。	①砂粒(右英)②黒褐色③脚部	諸磯a	+10	
21	1-10	口縞下間に施でた3条のC字形刺突列。組いR L斜縞文。平口縞。	①砂粒②にい赤褐色③口縞部	諸磯a	+20 +6	
22	12	口縞下15本の集合条縞。L R斜縞文。	①砂粒②にい赤褐色③口縞部	諸磯a	-15	
23	12+13+15+雜	全面R L斜縞文。浅灰。	①砂粒②黒~淡褐色③光影	諸磯a	+15+13 -9	
24	雜	R-L-L-L斜縞文。	①砂粒②暗赤褐色③底部	諸磯a		
25	11	L R斜縞文。	①砂粒②暗褐色③底部	諸磯a	+23	

表-104 J 39・61号住居跡出土石器属性表

No	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備考
									A	B	a	b	c	
1	1	打製石斧	13.3	7.3	3.2	331	安	30	-	-	-	-	-	+30
2	17	フ	11.6	4.4	1.9	111	黒質	25	-	-	-	-	-	P.内
3	12	磨製石斧	(6.8)	5.5	1.7	52	海	40		-	欠	-	-	+45
4	雜	打製石斧	9.2	7.0	1.6	127	黒質	15	-	-	-	-	-	覆
5	14	凹刃削器	7.0	7.6	1.8	48	黒質	35	-	-	-	-	-	+14
6	雜	磨製縫石器	8.7	5.4	2.1	94	フ	40		-	-	-	-	覆
7	雜	楔形石器	2.9	2.7	0.8	10	赤椎	20	-	-	-	-	-	覆
8	雜	R F	5.9	8.2	3.3	148	黒質	50		-	-	-	-	覆
9	雜	円錐石器	12.1	8.7	3.8	640	安	-	磨2→磨3 磨2→磨3 磨2	磨2→磨3 磨2→磨1 磨2	磨2	磨2	磨2	磨2 磨・研・凹 覆
10	17	フ	10.5	7.9	4.2	450	フ	-	凹2→磨1 凹2→磨1 凹2	凹2→磨1 凹2→磨1 凹2	磨2	磨2	磨2	磨2 削→研 P.内
11	2	フ	11.8	10.1	5.3	774	フ	-	敲2	敲2	敲2	敲2	敲2	敲2 P.内

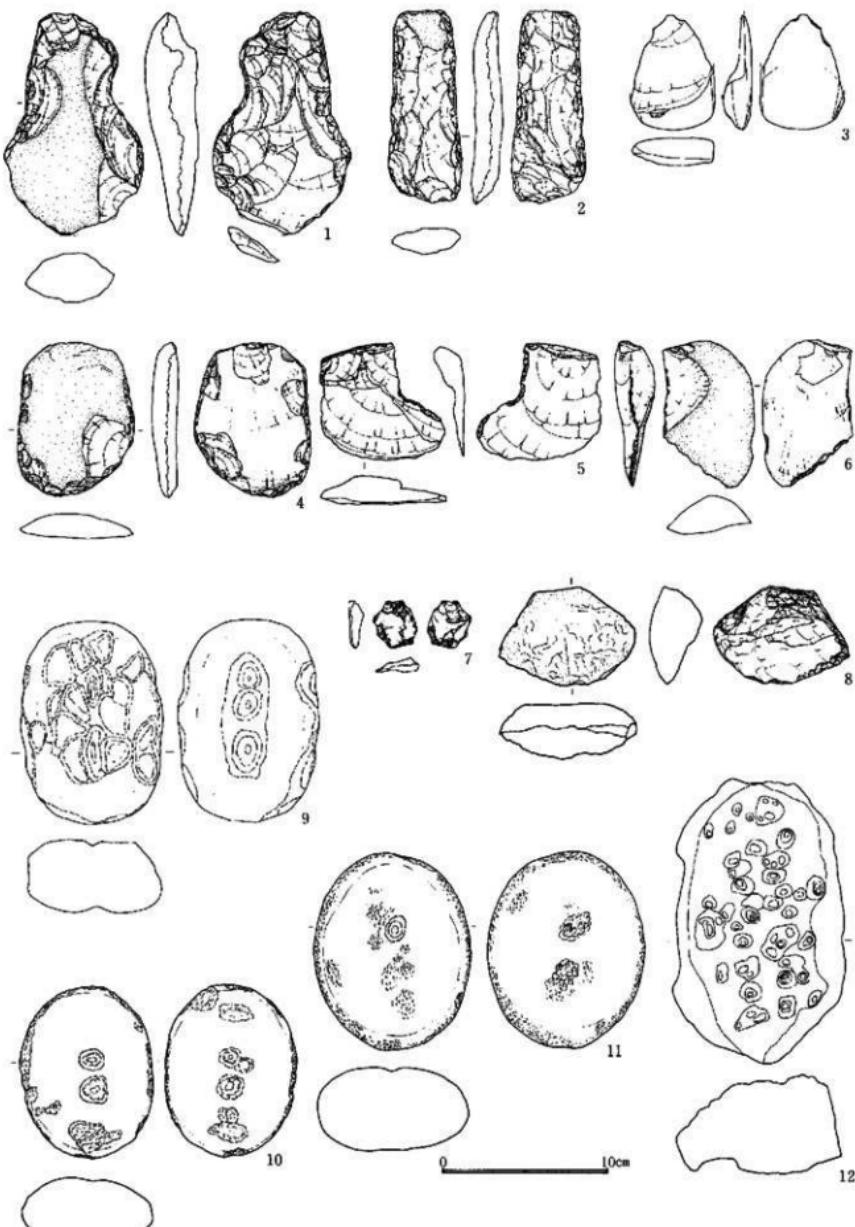


図-186 J 39・61号住居跡出土石器

No	遺物 番号	器 種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (kg)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備 考
									A	B	a	b	c	
12	18	多 面 石	34.6 (20.8)	17.8	13.200	N	—	凹3	門3	—	—	+	+	+15

表一-105 139·61号住居跡石器整理・石材割一覽表

表一-105 J40·41号住居跡出土土器觀察表（圖一-187·188 圖版一-104）

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・背面の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
1	5	長さ1.5cmのR.L・L.Rを交互に段状に全周巡らす羽状構成。継いだ波状口縁で脚部下半でやや張る。	①織維②橙色③底部欠	花積下層 ?	+16	
2	難	結束R.L・L.R羽状繩文。口縁端尖る。	①織維②褐色③口縁部	関山?	-	
3	難	斜位のR・L.2本の側面圧痕。	①織維②によい橙色③肩部	花積下層	-	
4	難	結束R.L・L.R羽状繩文。	①織維②黒褐色③肩部	関山?	-	
5	難	斜位のR・L.2本の側面圧痕。	①織維②によい橙色③肩部	花積下層	-	
6	難	横位回転R.L・L.R羽状繩文。	①織維②黒褐色③肩部	関山?	-	
7	6	結束R・L羽状繩文。	①織維②橙色③肩部	関山?	+16	
8	難	異条R.L斜繩文。	①砂粒②橙色③肩部	諸磯	-	
9	24	継いだL斜繩文。	①中砂粒②浅黄褐色③肩部	諸磯	+5	
10	難	C字形斜刻を入れた筒襷の下にR・L・Lの捺系压痕。O段多条R.L・L.R羽状繩文。	①織維②橙色③肩部	花積下層	-	
11	難	刻み入り横位施文の上下にR・L・Lの捺系压痕。帯上方に捺系压痕の溝巻きと横位刻切文。	①織維②によい橙色③肩部	花積下層	-	
12	難	R.L斜繩文。横位平行沈線。	①砂粒②橙色③肩部	諸磯 b	-	
13	難	底面にR.Lのループ	①織維②黒褐色③底部	関山?	-	
14	39	L斜繩文。肩部との接続部突出。	①砂粒②によい橙色③底部	諸磯 b	+3	
15	難	浅いL斜繩文。	①中砂粒②によい赤褐色③底部	諸磯 b	-	
16	難	横位平行沈線間に矢羽根状施文の平行沈線。平口縁。	①中砂粒②略赤灰色③口縁部	諸磯 b	-	
17	難	横位平行沈線。	①砂粒②によい赤褐色③肩部	諸磯 b	-	
18	21・22	R.L斜繩文。横位平行沈線。口縁下内傾。継いだ波状口縁。	①砂粒②によい橙色③口縁部	諸磯 b 床面 +3		
19	10	輪抜集合平行沈線。口縁下内傾。乾先状に突出。大波状口縁。	①砂粒②略赤褐色③口縁部	諸磯 c 軒内	20と同一	
20	13	輪抜集合平行沈線。口縁下内傾。乾先状に突出。大波状口縁。	①砂粒②略赤褐色③口縁部	諸磯 c	+5	
21	難	9本1組羽状凸凹の線位及び矢羽根状集合沈線。口縁部突起部分。	①砂粒②浅黄褐色③口縁部	諸磯 c	-	
22	23	L斜繩文。横位集合平行沈線。	①砂粒②によい赤褐色③底部	諸磯 c 床面		



图-187 J 40-41号住居跡出土土器 (1)

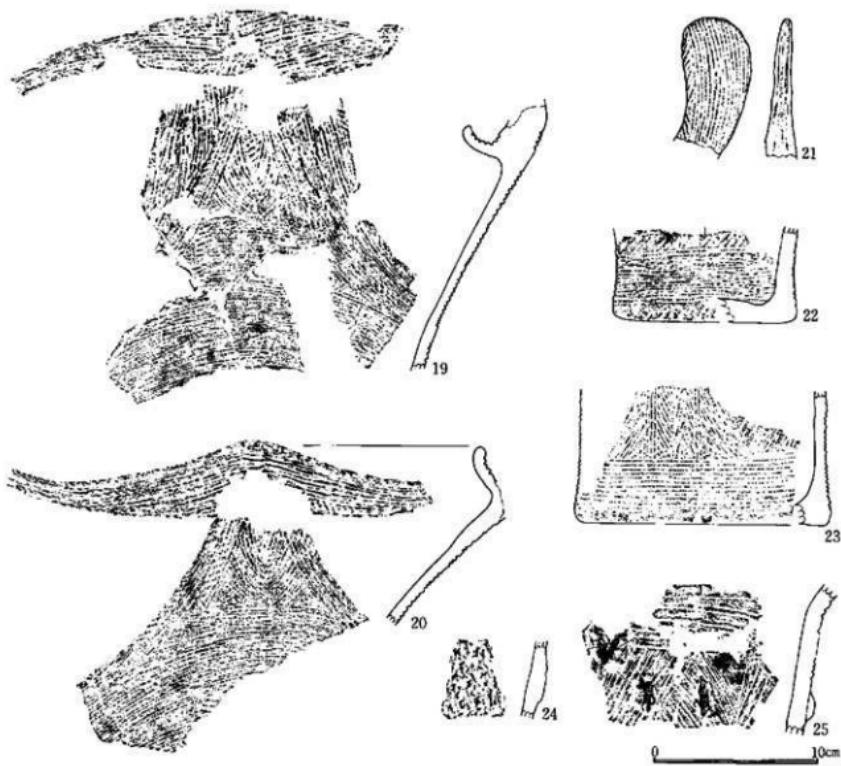
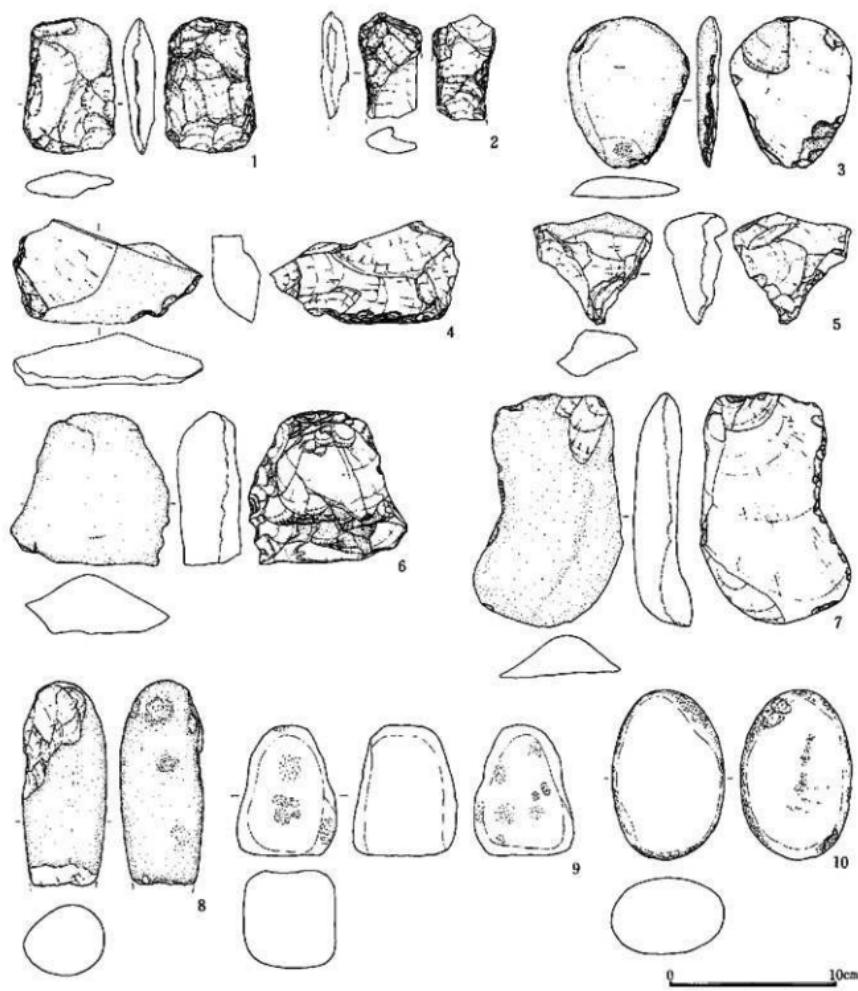


図-188 J 40・41号住居跡出土土器 (2)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
23	縁	底縁付近横位集合平行沈線。上方は縦位及び矢羽根状集合沈線。	①砂粒②よい褐色③底部	若鏡 c	-	
24	縁	縦位上向C字形刺突列入り縁帶。	①砂粒②褐色灰色③網部	若鏡	-	
25	縁	横位集合平行沈線。縦位及び矢羽根状集合沈線。縦位貝殻状貼付文。	①砂粒②褐色灰色③網部	若鏡 c	-	



图—189 J 40·41号住居跡出土石器（1）

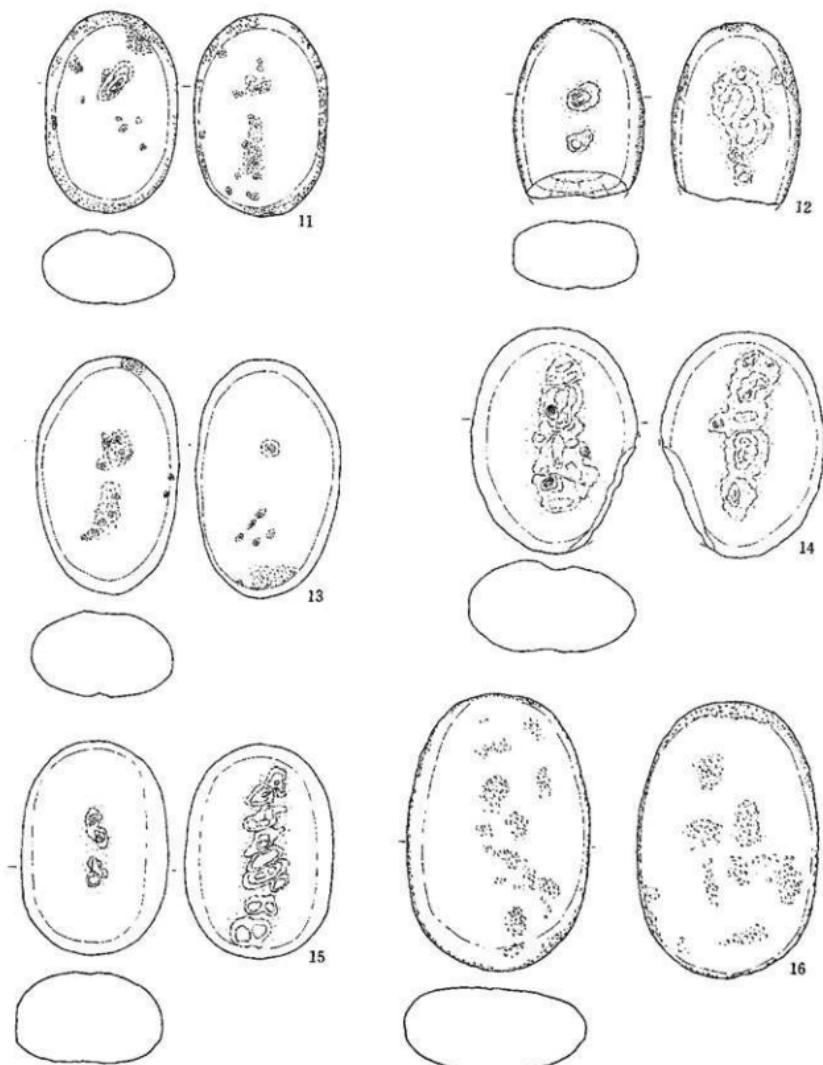


图-190 J 40-41号住居跡出土石器 (2)

0 10cm

表-107 J40・41号住居跡出土石器属性表

No.	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備考	
									A	B	a	b	c		
1	雉	打製石斧	8.1	5.5	1.9	96	馬頭	30	—	—	—	—	済1	済1	覆
2	雉	フ	(6.3)	(3.8)	1.6	38	フ	—	—	—	—	欠	—	欠	覆
3	雉	直刃削器	9.5	7.2	1.4	103	フ	30	—	—	—	—	—	—	覆
4	雉	フ	6.2	11.3	3.2	209	フ	70	—	—	—	—	—	—	覆
5	雉	側面縁石板	6.7	7.1	3.3	117	フ	60	—	—	—	—	—	—	覆
6	雉	フ	9.2	9.5	3.8	338	フ	55	—	—	—	—	—	—	覆
7	雉	U F	13.9	9.0	3.4	374	フ	25	—	—	—	刀	刀	—	覆
8	15	敲き石	(12.3)	5.0	4.6	406	安	—	敲3	—	—	欠	敲3	—	床面
9	31	門石	7.8	5.9	5.6	391	フ	—	凹1	敲	—	—	—	—	使用→火+5
10	27	円標石器	10.2	6.7	4.6	473	班	—	擦1	擦1	火	—	—	—	擦→火床面
11	9	フ	12.1	8.0	4.4	628	安	—	凹1→擦2	凹3→擦2	擦1→擦2	擦1→擦2	擦1→擦2	擦1→擦2	+17
12	25	フ	(10.8)	7.8	4.4	522	フ	—	擦2→擦3	擦2→擦2	擦1	擦1	擦1	擦1	擦・敲+3
13	雉	フ	14.3	8.6	5.5	860	フ	—	凹2→擦1	凹2→擦1	—	—	—	—	覆
14	29	フ	13.6	9.9	5.4	776	フ	—	凹3	凹3	—	—	半欠	+8	
15	1	フ	12.9	8.9	5.5	810	フ	—	敲2→擦1	凹3→擦1	擦1→擦2	擦1→擦2	擦1→擦2	擦1→擦2	使用→火+20
16	8	フ	16.6	11.0	5.3	1,330	フ	—	擦1	擦1	擦1	擦1	擦1	擦1	+4

表-108 J40・41号住居跡石器器種・石材別一覧表

石材	石打斧	磨盤	石斧	石鎌	石器	石器	石器	石器	石器	R	U	磨石	圓石	石棒	石状皿	多孔石	凹石	砥石	石片	鋸板	その他	計
無色質岩	2			2						1								24			31	
珪質質岩																			1		1	
質岩																			1		1	
黒色質岩																			13		13	
安山岩												1	6			1				11	19	
斑岩													1								1	
黒麻石																			2		2	
珪岩																			1		1	
その他																				1	1	
計	2				2						1	1	7					1	42	12	70	

表-109 J42号住居跡出土土器觀察表(図-191 図版-105)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・變形の特徴	①胎土 ②色調 ③焼存	時期	出土位置	備考
1	11	口縁下に縦位斜列入り縫合2条。R・L 2本1組の痕手状跡系压痕。円形竹割刺突。斜位刺切文。	①織縫をサンディッシュ状に組入②に赤褐色③口縁部	花瓶下層	+44	
2	雉	口縁下に縦位斜列斜列の集合平行状縫合。口縁付近外反。	①織糸松②に赤褐色③口縫部	興津		
3	雉	平行沈線の斜格子。器内裏面。	①石英入り砂粒②赤褐色③斜縫	諸磯c	—	
4	11	平行沈線の斜格子。器内裏面。	①砂粒②赤褐色③斜縫	諸磯	+44	
5	雉	R・L斜縫文。平行沈線と波状沈線。	①砂粒②赤褐色③斜縫部	諸磯c	—	
6	11	土器胎土と異なる胎土の細い刻入り浮線。	①砂粒②に赤褐色③斜縫部	諸磯b	+44	

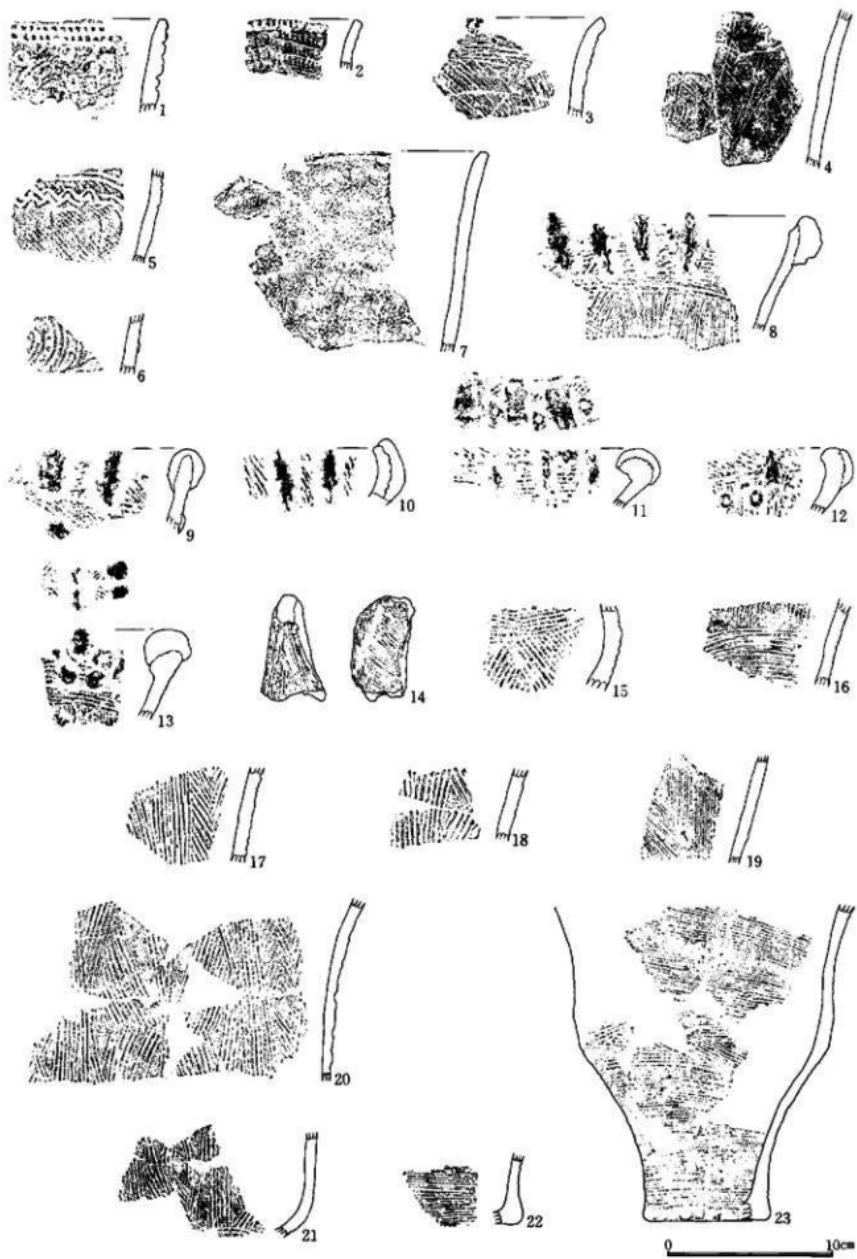


图-191 J 42号住宅出土器

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①断土 ②色調 ③表存	時期	出土位置	備考
7	縦	模く不鮮明なLR斜幾文(?)	①砂粒②暗赤褐色③口縁部	諸穂		
8	3	口縁下で横位網部に縦位の集合沈線。口縁に具袋状貼付文。	①細砂粒②浅黄色③口縁部	諸穂 C	+30	
9	11	口縁部横位矢羽根状集合沈線と貝殻状貼付文。剥離ボタン状貼付文。	①砂粒②よい橙色③口縁部	諸穂 C	+44	
10	縦	L1縁部斜窓合沈線。貝殻状貼付文。平口縁。口縁端内傾。	①中砂粒②赤褐色③口縁部	諸穂 C		
11	縦	口縁部横位集合沈線。口縁端矢羽根状集合沈線。口縁部に刺突入ボタン状貼付文と貝殻状貼付文。	①細砂粒②浅黄色③口縁部	諸穂 C	-	
12	11	口縁部横位集合沈線。口縁端矢羽根状集合沈線。口縁部に刺突入ボタン状貼付文と貝殻状貼付文。	①細砂粒②浅黄色③口縁部	諸穂 C	+44	
13	11	口縁部横位集合沈線。口縁端矢羽根状集合沈線。口縁部に刺突入ボタン状貼付文と貝殻状貼付文。	①細砂粒②浅黄色③口縁部	諸穂 C	+44	
14	縦	縦位の6本1組の集合沈線。	①中砂粒②淡褐色③口縁突起部	諸穂 C	-	
15	11	横位斜位の集合沈線。	①中砂粒②灰白色③網部	諸穂 C	+44	
16	11	横位縦位の集合沈線。	①細砂粒②よい橙色③網部	諸穂 C	+44	
17	2	縦位及び矢羽根状集合沈線。	①細砂粒②黒褐色③網部	諸穂 C	+20	
18	11	縦位集合沈線。	①石英砂粒②赤褐色③網部	諸穂 C	+44	
19	縦	縦位斜位集合沈線。指揮圧痕。	①中砂粒②暗赤褐色③網部	諸穂 C	-	
20	2+11	縦位及び矢羽根状集合沈線。	①細砂粒②黒褐色③網部	諸穂 C	+20 +44	
21	11	縦位及び矢羽根状集合沈線。武部付近横位集合沈線。	①砂粒②黄褐色③網部～底部	諸穂 C	+44	
22	11	横位集合沈線。	①砂粒②よい黄褐色③底部	諸穂 C	+44	
23	縦	縦位及び矢羽根状集合沈線。網部中位よりやや下で広がる。平底。	①粗砂粒②よい黄褐色③網部下半	諸穂 C	-	J52・26と接

表-110 J42号住居跡出土石器属性表

No.	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	重量(g)	石材	刃角	使用痕・表着痕の位置・程度						備考	
								A	B	a	b	c	d		
1	縦	打製石斧	(6.1)	4.6	1.4	54	黑安	20	-	-	欠		-	-	覆
2	16	#	(5.1)	4.7	1.8	48	黑質	-	-	-	-	欠	-	-	+30
3	縦	交刃削器	6.3	5.0	0.9	26	珪	30	-	-	-	-	-	-	覆
4	14	#	3.0	4.2	6.0	7.5	黑質	20	-	-	-	-	-	-	床直
5	5	凸刃鋸器	6.1	6.3	1.1	47	#	30	-	-	-	減1	-	-	住戸外
6	3	抉入石器	5.7	5.1	1.5	32	#	40	-	-	-	-	-	-	+30
7	3	R F	3.3	4.6	1.0	13	黑質	30	-	-	-	-	-	-	+30
8	3	U F	4.8	3.3	1.3	15	#	30	-	-	-	-	-	-	+30
9	6	敲き石	8.2	4.0	3.6	152	安	-	-	-	欠	敲3	-	-	+10
10	7	円錐石器	11.4	9.0	3.9	518	#	-	凹2	凹2	敲2	敲2	敲2	敲2	+16
11	縦	#	9.0	7.2	4.9	420	#	-	凹2→擦1	凹1	-	-	-	-	覆
12	3	#	9.2	6.7	4.2	287	#	--	敲1	敲1	敲1	敲1	敲1	敲1	+30
13	表揮	石皿	(21.0)	(15.8)	5.8	1,600	#	-	敲2	-	欠	-	-	-	製作途中 表揮
14	4	#	(18.6)	18.5	5.1	2,340	#	-	擦1	擦1	欠	擦1	擦1	擦1	+8

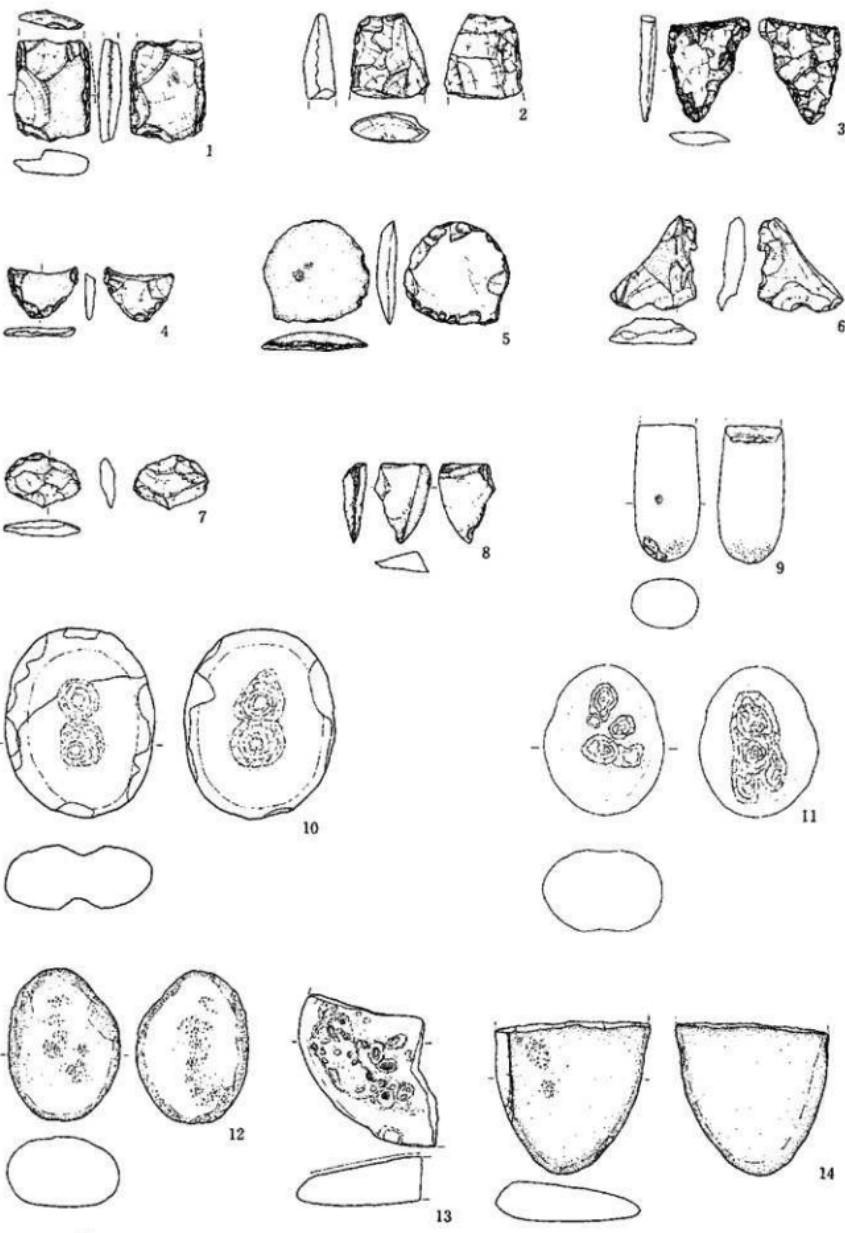


图-192 J 42号住居跡出土石器

表-111 J 42号住居跡石器器種・石材別一覧表

器種 石材	打 斧	磨 刃	石 斧	尖頭 器	石 刀	鑿 付	凸 刃	凹 刃	刃 刃	複 合	块 状	廢 物	R F	U F	廢 石	石 碑	圓 石	神 狀	多 面	圓 石	幕 石	石 片	鉄 石	木 材	其 他	計
黒色夏岩	1					1	1				1			1	1							16			22	
黒色安山岩	1																							17		18
安山岩																	1	3	2				3		9	
黒曜石							1																1		1	
珪岩																							3		4	
計	2					1	2			1		1	1	1	1	3		2				40			54	

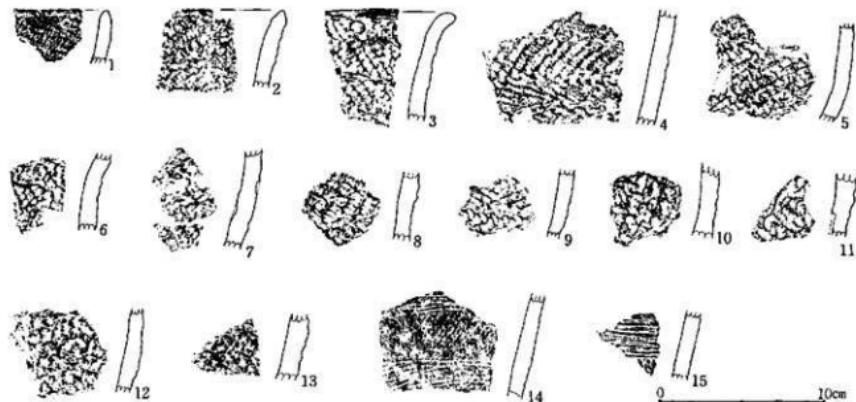


図-193 J 43号住居跡出土土器

表-112 J 43号住居跡出土土器観察表（図-193 図版-105）

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①鉢 ②色調 ③焼存	時 期	出土位置	備 考
1	3	見余R L斜縞文。平口縫。	①繊維細砂粒②にぼい黄褐色 ③口縫部	黑浜	-	
2	5	R L・L R羽状縞文。平口縫。	①繊維細砂粒②灰黄色③口	黑浜	表面	
3	6	R L (現状)。平口縫。口縫外反。	①繊維中砂粒②暗灰黄色③口	黑浜	-	
4	15	O段3条R L・L Rの上下交互施文羽状縞文。内部模拘で研磨。	①繊維細砂粒②にぼい褐色 ③脚部	開山	北壁外面	
5	7	R L (?)を方向を変えて2度施文。	①繊維細砂粒②にぼい黄褐色③脚部	黑浜	-	
6	8	R L斜縞文。刺切文。	①繊維細砂粒②にぼい黄褐色③脚部	花檻下階	-	
7	9	R L (現状) 器面荒れる。	①繊維細砂粒②浅黄色③脚部	黑浜	-	
8	10	O段多条R L・L Rの上下交互施文羽状縞文。	①繊維中砂粒②黑色③脚部	黑浜	-	
9	11	O段多条R L・R Lループ。	①繊維細砂粒②にぼい黄褐色③脚部	開山	-	
10	12	O段3条R L・L R不規則な羽状縞文。	①繊維細砂粒②黑色③脚部	黑浜		
11	13	O段3条R L・L Rループ羽状縞文。	①繊維②黑色③脚部	開山	-	
12	14	O段3条R L・L Rループ羽状縞文 (充てている)。	①繊維細砂粒②明褐灰色③脚部	開山	-	
13	15	器面荒れ不明。	①繊維②灰黃褐色③脚部	黑浜?	床面	
14	16	L R斜縞文。横位集合平行沈線。	①砂粒②にぼい黄褐色③脚部	諸磯b	-	
15	17	横位集合平行沈線。	①砂粒②黑色③脚部	諸磯b	-	

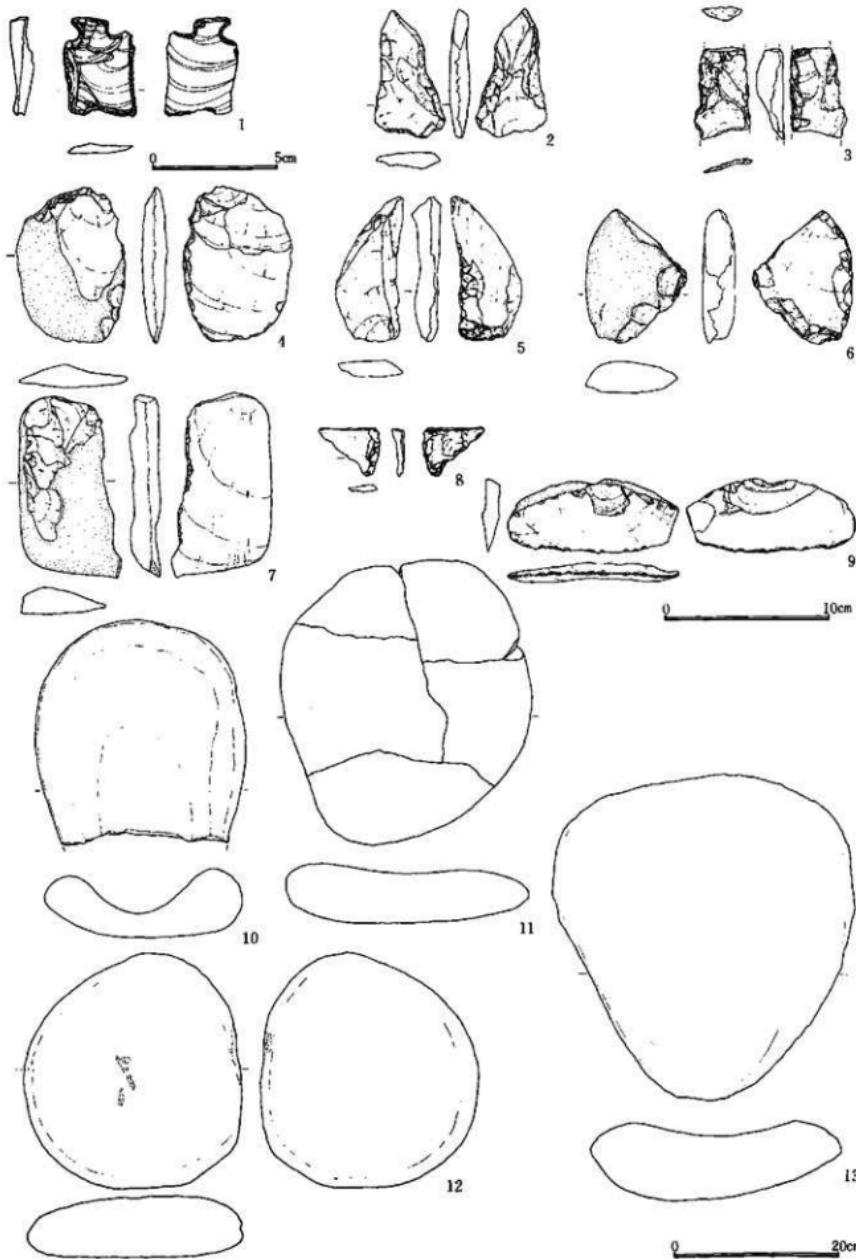


図-194 J 43号住居跡出土石器

表一-113 J43号住居跡出土石器属性表

No.	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度						備考
									A	B	a	b	c	d	
1	4	石 斧	3.9	2.9	0.9	6.5	珪質	15	-	-	-	-	-	-	南壁面
2		打製石斧	7.7	4.2	1.2	36	黑質	30	-	-	-	-	-	-	覆
3	1	刀	(5.4)	3.4	1.6	27	II	-	-	-	-	-	-	-	火 +4
4	4	凸刃削器	9.2	6.5	1.5	89	II	35	-	-	-	-	-	-	+9
5	1	交刃削器	8.6	4.1	1.7	40	II	50	-	-	-	-	-	-	+4
6		石 F	8.0	6.0	1.9	116	安	-	-	-	-	-	-	-	覆
7		U F	10.9	6.0	1.8	138	黑質	25		-	-	-	-	-	覆
8		R F	2.7	3.7	0.7	7	II	50	-	-	-	-	-	-	覆
9		U F	4.5	10.2	1.2	42	II	20	-	-	-	-	-	-	火 覆
10	5	石 鋸	(26.8)	25.7	8.9	6,610	安	-	擦1	-	欠	-	-	-	+2
11	7-16	刀	33.9	30.2	7.1	7,000	II	-	擦1	-	-	-	-	-	+6 +4
12		石 台	28.4	26.0	7.8	7,900	II	-	擦2	擦2	-	-	-	-	覆
13		石 鋸	39.1	36.6	10.8	14,200	II	-	擦1	-	-	-	-	-	覆

表一-114 J43号住居跡石器種類・石材別一覧表

器種	石材	石 打 磨 砕 石 尖頭器 直背刀 凸刃刀 文刃刀 鋸 刮削器 擦器 R U 磨 砕 石 級 積木 石棒 多刃刀 破石片 條石 片板	その他の計	
			片	部
珪質		1		
黑色質岩	2	1 1	1 2	
安山岩			1	3
計	2	1 1 1 1	2 2	7 1 12 7 1 27

表一-115 J44号住居跡出土土器觀察表(図-195・196 図版-105・106)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・圖形の特徴	①断土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
1	維	結束(第2周) RL + L R羽状繩文。	①織縫②にいむき色③口縫部	黒浜	-	
2	24	太いRL + L R羽状繩文。平口縫。	①織縫②浅黄色③口縫部	黒浜	床面	
3	维	附加条RL + L + LR + r + r羽状繩文。	①織縫②黒褐色③口縫部	黒浜	-	
4	7	RL + L R羽状繩文(覗れて不明瞭)。	①織縫②にいむき色③口縫部	黒浜	+5	
5	6	現状でLR斜繩文。長い波状口縫。	①織縫②にいむき黄褐色③口縫部	黒浜	+3	
6	15	不規則なRL + L R羽状繩文。	①織縫②浅黄色③口縫部	黒浜	+28	
7	17	O段多条RL + L Rの横位羽状繩文。	①織縫②灰白色③口縫部	黒浜	+4	
8	24	現状でO段多条LR斜繩文。	①織縫②灰褐色③口縫部	黒浜	床面	
9	维	RL + L R羽状繩文。外縫。	①織縫②黒褐色③口縫部	黒浜	-	
10	8	全面及び口縫端にR + R L + Lの4本組紐。平口縫。外縫。	①織縫②にいむき色③口縫部	黒浜	+22	
11	7	O段多条結束RL + L R羽状繩文。	①織縫②黒褐色③口縫部	黒浜	床面下	
12	24	R + R L + Lの組紐。	①織縫②黒褐色③口縫部	黒浜	床面	
13	19	羽状繩文(不明瞭)。	①織縫②にいむき黄褐色③口縫部	黒浜	+5	
14	8	結節繩文。内面に炭化物。	①織縫②黄褐色③口縫部下半	黒浜	+24	

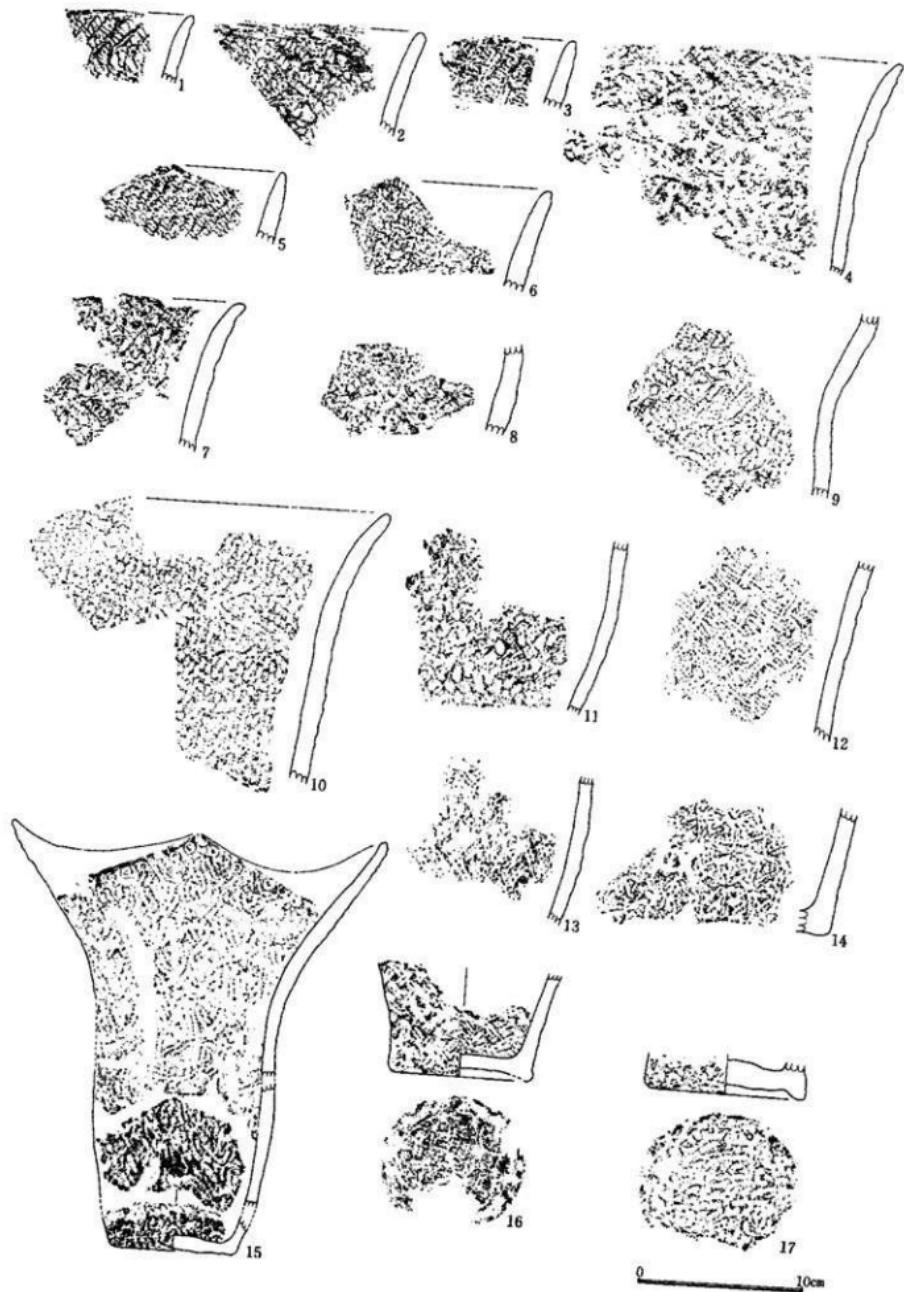


图-195 J44号住居跡出土土器 (1)

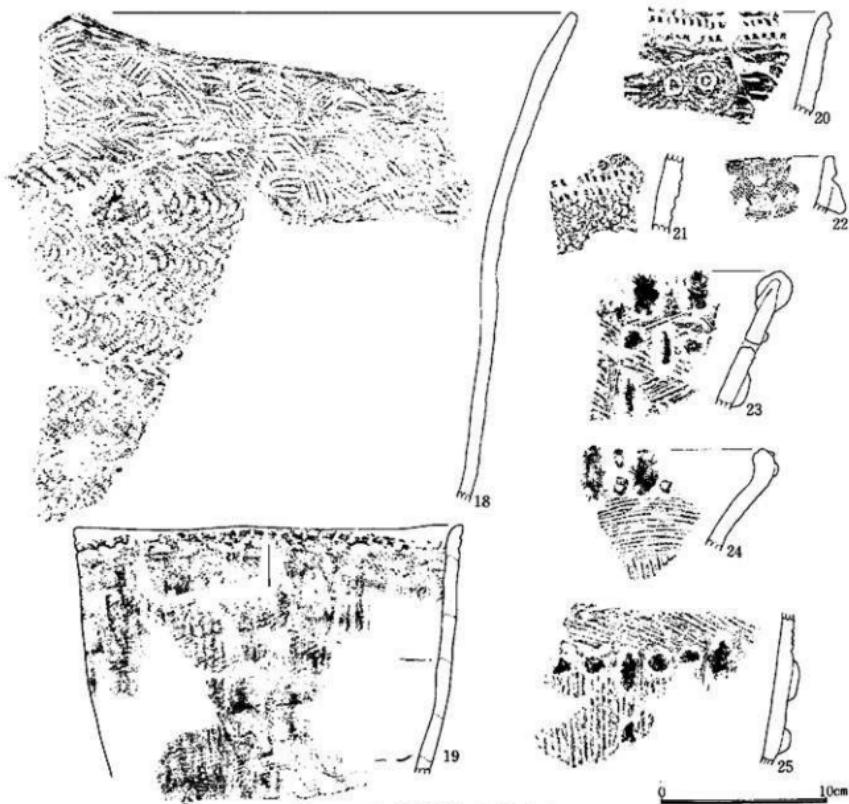


図-196 J44号住居跡出土土器(2)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
15	7・12・複	筋節繩文。口縁下に円形竹管刺突列。底面施文。頸部より外反。波状口縫。	①繊維②灰褐色③充形	開山	+8 +12	
16	複	R・R・L・Lの組合。底面繩文。	①繊維②よい褐色③底部	開山	-	
17	複	不明。底面繩文。	①繊維②浅褐色③底部	開山	-	
18	18	口縁下の複で文様帯に斜切文を支張。横位結束(第1種) R L・L R羽状繩文。縦く外反。波状口縫。	①繊維②明黄褐色黑斑あり ②繩下部内位	花崗下層	米面	
19	複	口縁下に2条の撲系压痕。脣部壓痕削り後L斜繩文。平面縫。	①砂粒②褐色③口縫部	大木系?	-	
20	複	口縫下に横位結束入り籠線2条。横8字状R・Lの撲系压痕。内形竹管刺突列。斜切文。縦く波状口縫。	①サンドイッチ状繩網・中砂粒②赤褐色③口縫部	花崗下層	-	21と同一
21	複	R・LR・L・RL羽状繩文。横位結束入り籠線2条で文様帯を区画。R・Rの撲系压痕。円形竹管刺突。	①サンドイッチ状繩網②赤褐色③脣部上半部	花崗下層	-	
22	複	6本の組合状T具の押止め刺突列。口縫下に三角形印刻列。口縫部内側。	①砂粒②浅黃褐色③口縫部	十三番棟	-	
23	複	口縫下横位・脣部壓痕集合比縫。口縫縁貢状及び中央刺突入りボタン状貼付文。口縫端内傾。	①砂粒②灰黃褐色③口縫部	諸磯C	-	
24	複	口縫下斜位。脣部壓痕入り矢羽根状集合比縫。貝殻状及び中央刺突入りボタン状貼付文。	①砂粒②暗褐色③口縫部	諸磯C	-	25と同一
25	複	口縫下斜位。脣部壓痕入り矢羽根状集合比縫。貝殻状及び中央刺突入りボタン状貼付文。	①中砂粒②よい褐色③脣部	諸磯C	-	

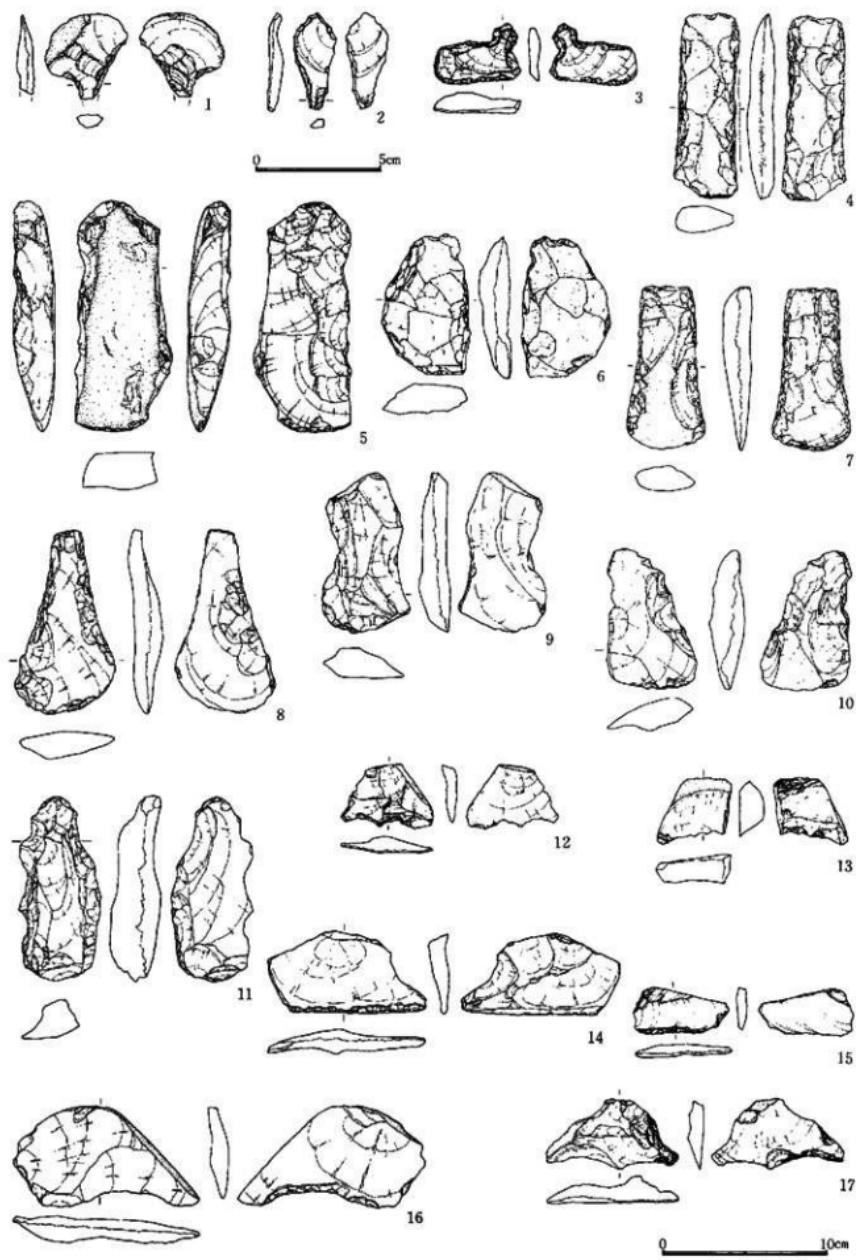


圖-197 J 44號住居跡出土石器（1）

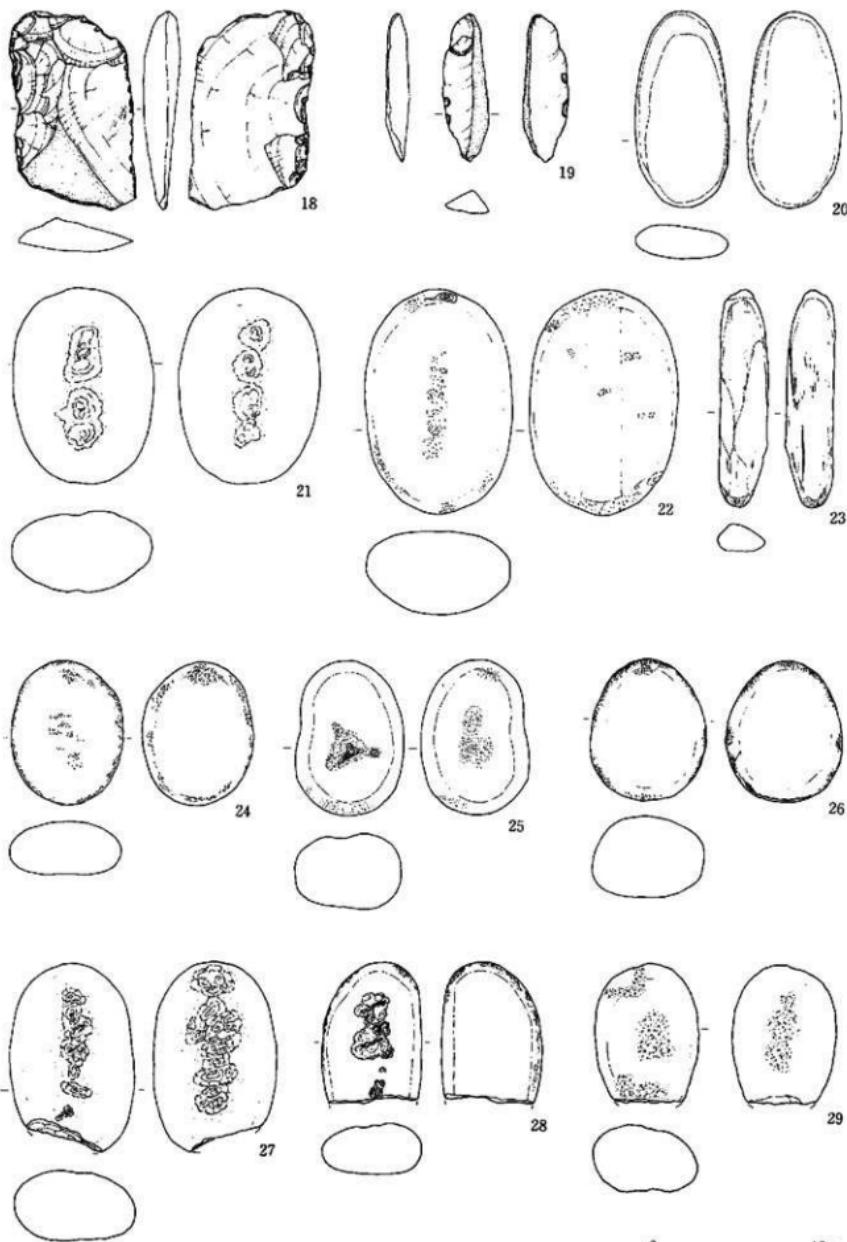


图-198 J44号住居跡出土石器(2)

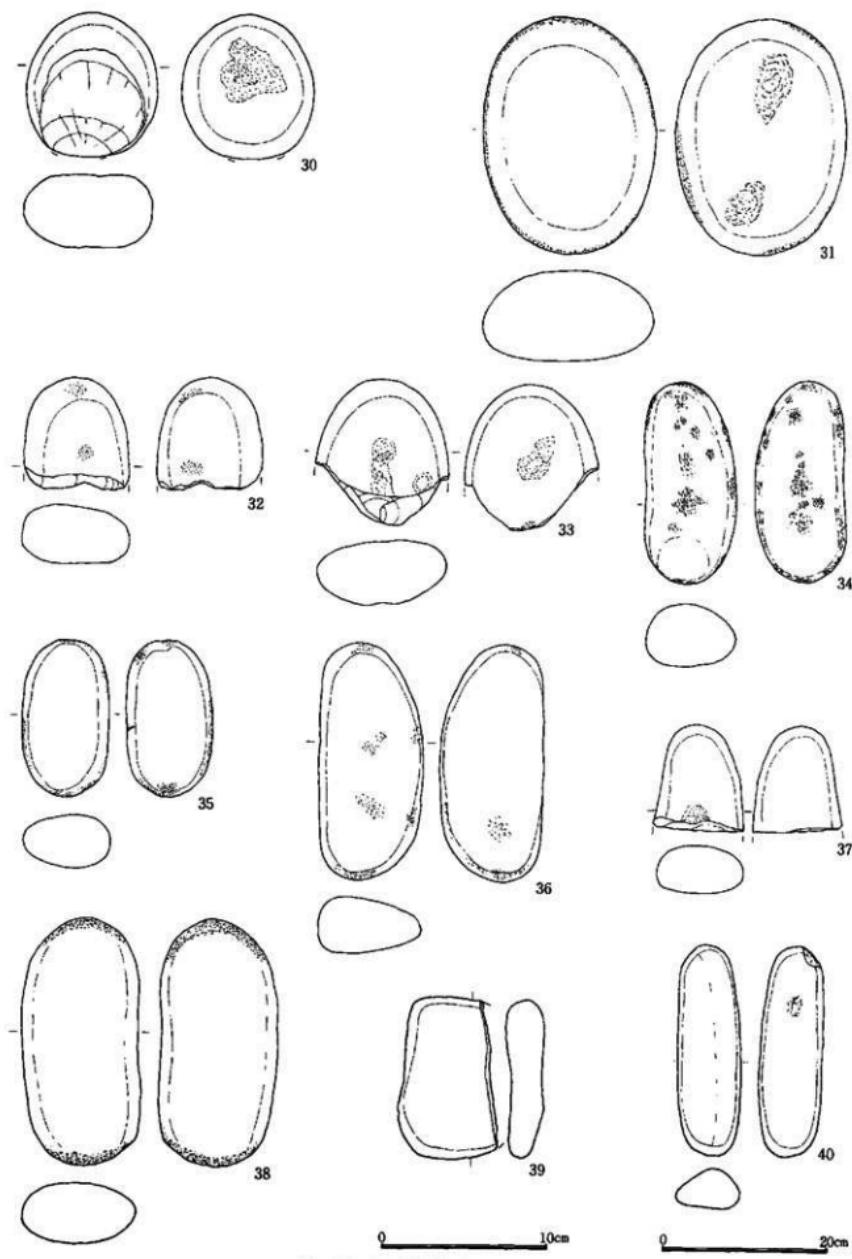


图-199 J 44号住居跡出土石器 (3)

表-116 J44号住居跡出土石器属性表

No.	遺物 番号	器 種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備 考
									A	B	a	b	c	
1	雜	石 瑪	(3.3)	3.5	0.7	6	黒質	30	—	—	欠	—	—	覆
2	雜	〃	(3.9)	1.7	0.6	8	〃	—	—	—	欠	—	—	覆
3	雜	石 球	3.7	5.2	1.2	15	〃	40	—	—	—	—	—	覆
4	雜	打製石斧	11.1	3.8	1.7	92	〃	40	—	—	—	減1	—	覆
5	雜	〃	13.8	5.8	2.5	265	〃	30	—	—	—	—	—	覆
6	雜	〃	8.5	5.4	1.8	85	〃	55	—	—	—	減1	—	覆
7	雜	〃	9.8	4.7	1.7	86	〃	25	—	—	—	減1	—	覆
8	33	研 器	11.0	6.1	2.1	93	〃	40	—	—	—	—	—	床底
9	雜	〃	9.2	5.3	1.9	84	〃	60	—	—	—	—	—	覆
10	21	〃	8.4	5.4	2.1	84	〃	70	—	—	—	—	—	+5
11	31	鐵鑄石斧	11.1	4.9	3.1	154	黒質	60	—	—	—	—	—	床底
12	雜	〃	3.9	5.5	1.0	12.5	〃	40	—	—	—	—	—	覆
13	雜	〃	4.0	4.5	1.7	31	〃	50	—	—	—	—	—	覆
14	30	直刃削器	4.9	9.4	1.5	40	〃	40	—	—	—	—	—	床底下
15	雜	〃	2.9	5.8	0.8	11	〃	60	—	—	—	—	—	覆
16	1	凹刃削器	6.2	11.3	1.7	79	〃	40	—	—	—	—	—	+26
17	雜	〃	4.3	7.9	1.6	31	〃	65	—	—	—	—	—	覆
18	雜	U F	11.9	7.6	2.1	186	〃	40	—	—	—	—	—	覆
19	雜	〃	8.9	2.7	1.4	30	〃	60	—	—	—	—	—	覆
20	雜	磨 石	11.7	5.6	2.3	202	安	—	擦1	擦1	—	—	—	覆
21	北頭	円錐石器	11.3	9.5	4.9	695	〃	—	凹3	凹3	—	—	—	位置不
22	雜	〃	13.5	8.9	5.1	880	〃	—	擦2→擦1	擦2	擦1	敲1	敲1	覆
23	14	神状石器	13.0	2.9	1.6	95	風片	—	—	—	敲1	敲1	—	+17
24	雜	円錐石器	8.7	6.7	3.3	267	安	—	擦1	擦1	—	—	敲1	覆
25	雜	〃	9.3	6.4	4.5	393	〃	—	凹1→擦1	敲2→擦1	擦1	擦1	擦1	覆
26	雜	〃	8.5	7.0	5.0	410	斑	—	擦2	擦2	敲1	敲1	敲1	覆
27	雜	〃	(11.4)	7.5	4.3	480	安	—	凹3	凹3	—	欠	—	覆
28	雜	〃	(7.5)	6.0	3.0	267	斑	—	凹2	擦1	—	—	—	37と複合 覆
29	雜	〃	(8.4)	6.3	4.0	316	安	—	凹3	敲2	欠	—	—	覆
30	雜	〃	(8.7)	7.9	4.4	361	〃	—	半欠	凹1	—	欠	—	覆
31	雜	〃	14.3	10.4	5.4	1,020	〃	—	敲1	敲1	—	—	—	覆
32	雜	〃	(6.7)	6.4	3.6	239	〃	—	擦1	擦1	—	欠	—	覆
33	雜	〃	(8.8)	8.1	3.9	327	〃	—	火→凹1	敲2	—	—	—	覆
34	雜	敲き石	12.1	5.6	3.8	409	〃	—	敲1	敲1	—	—	—	敲2 覆

No	遺物 番号	器 種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度						備 考
									A	B	a	b	c	d	
35	縫	磨 石	9.5	5.3	3.2	261	#	—	擦1	擦1	—	—	—	—	覆
36	縫	敲き石	14.3	6.3	3.7	489	斑	—	—	—	敲1	敲1	—	—	覆
37	縫	#	(6.4)	5.4	2.9	155	ヒ	—	凹1	—	敲1	欠	—	—	28と複合 覆
38	縫	#	15.0	7.2	3.8	640	#	—	—	—	敲2	敲2	—	—	覆
39	縫	砥 石	9.8	(6.1)	2.3	172	砂	—	擦1	擦1	—	—	—	—	覆
40	2	敲き石	25.7	7.7	4.9	1,490	凝	—	—	敲1	—	—	—	—	赤化 —5

表-117 J 44号住居跡石器種・石材別一覧表

石材	石 打	磨 石	尖 石	石 面	背 面	凸 起	凹 起	交 差	複 合	快 入	慢 入	縫 形	R F	U F	擦 石	内 石	棒 石	棒 状	石 多	凹 底	砥 石	剥 片	石 片	縫 隙	その 他	計
黒色質岩	4	2	1	3	2	2	2	3	3	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	105	—	—	—	124	
黒色安山岩																					3	—	—	3		
安山岩																					2	1	10	1	11	25
斑 岩																					1	2	—	—	3	
ヒン岩																					2	—	—	—	—	2
黒 岩																					1	—	—	1	—	1
金色質岩																					1	—	—	1	—	1
珠 岩																					3	—	—	3	—	3
黑色片岩																				1	—	—	—	—	1	
砂 岩																				1	—	—	1	—	1	
その他の																				1	—	—	1	—	1	
計	4	2	1	3	2	2	2	3	—	—	2	2	5	12	1	—	—	—	—	114	11	—	—	—	165	

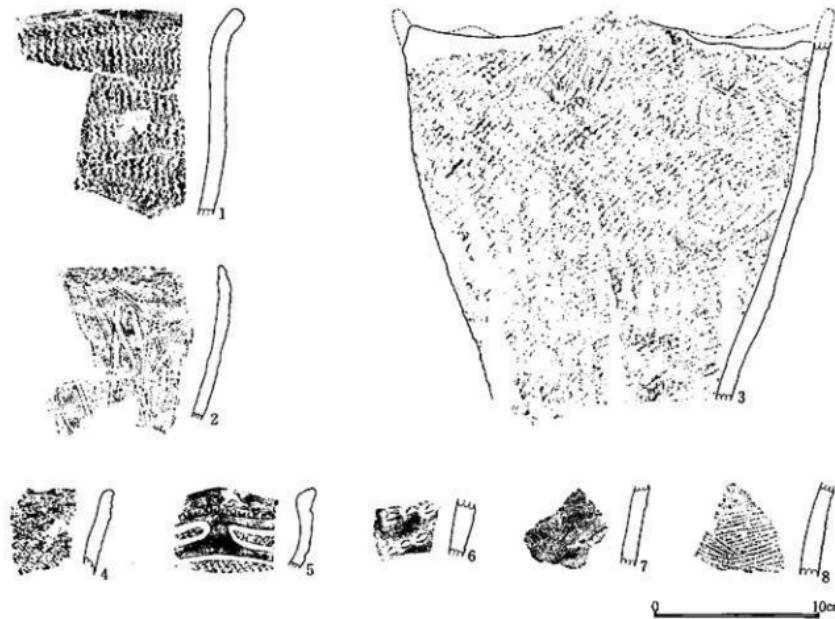


図-200 J 44号住居跡出土土器(1)

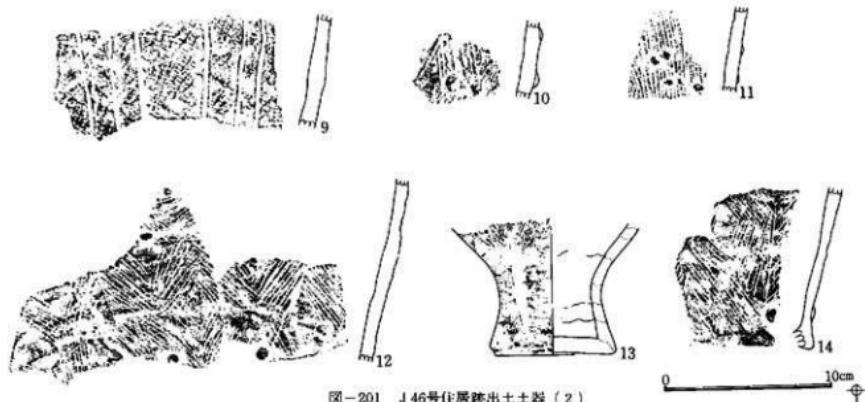
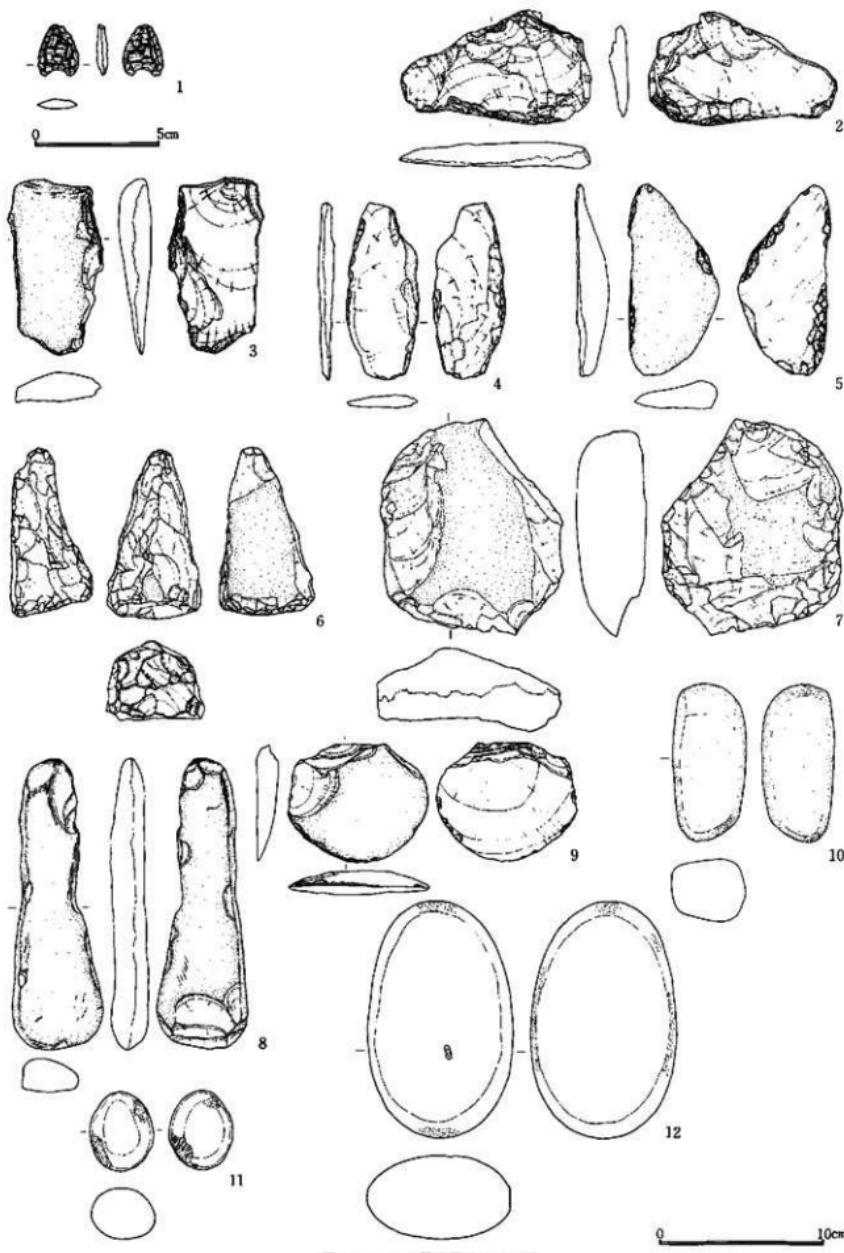


図-201 J 46号住居跡出土土器 (2)

表-118 J 46号住居跡出土土器観察表 (図 200・201 図版-106・107)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土	②色調	③残存	時 期	出土位置	備 考
1	縫	盤面全面ナガラ彌具縞模様の継位刺尖列。平口縁。口縁部外反。	①中砂粒	②灰白色	③口縁部	黄津	-	
2	縫	口縁下2条のC字形刺尖列。駆部縦方向の不規則な平行沈線。	①砂粒	②明赤褐色	③口縁部	若磯C		
3	1	全面米輪R結束のL斜繩文。緩い波状口縁。縁く聞く。	①細砂粒	②橙色	③口縁～駆部中位	新穂C	埋甕	
4	縫	口縁下にR・Lの捺糸痕。LR斜繩文。緩い波状口縁。	①鐵粒	②棕～褐灰色	③口縁部	花櫻下層	-	
5	縫	小波状口縁。沈線により文様構成され米輪R・Lが充填。口縁部直下には円形刺突が連続して押印される。	①細粒	②黄褐色	③口縁部	称名寺		
6	11	2列の点列が施文。	①細粒	②黄褐色	③駆部	?	+2	
7	縫	横位及び波状輪状工具の沈線。	①砂粒	②よい赤褐色	③駆部	若磯a	-	
8	11	斜位集合沈線。	①砂粒	②よい橙色	③駆部	若磯C	+2	
9	縫	縫位の比線により区画され、米輪R・Lしが粗く施文。	①中粒	②浅黄褐色	③駆部	称名寺1	-	
10	縫	縫位斜位集合沈線。ボタン状貼付。	①砂粒	②よい黄褐色	③駆部	若磯C	-	
11	縫	縫位斜位集合沈線。ボタン状貼付。	①砂粒	②橙色	③駆部	若磯C	-	
12	縫	多段状の集合沈線の網目状文。ボタン状貼付文。	①砂粒	②よい赤褐色	③駆部	若磯C	-	
13	縫	縫位斜位集合沈線。半底。	①砂粒	②よい赤褐色	③駆部～底部	若磯C	-	
14	縫	縫位斜位集合沈線。ボタン状貼付。	①砂粒	②よい赤褐色	③駆部	若磯C	-	



图—202 J 46号住居跡出土石器

表-119 J 46号住居跡出土石器属性表

No.	遺物 番号	器種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備考	
									A	B	a	b	c		
1	JP 85 内1	石 錐	2.0	1.7	0.4	3	黑安	--		—	—	—	—	—	3内
2		錐 直刃削器	7.0	11.4	1.2	118	黒頁	30	—			—	—	—	覆
3	15	凸刃削器	10.5	5.7	1.9	120	#	50	—			—	—	—	床面
4		錐 凸刃削器	4.4	10.7	1.0	45	黒頁	25	—			—	—	—	覆
5	9	交刃削器	5.5	11.6	2.0	102	#	30	—	—			—	—	床面
6	13	三角彎状石器	10.2	5.7	4.9	264	#	—				—	擦1	—	+14
7		両刃削器	13.2	11.0	4.9	770	#	55	—	—	—	—	—	—	覆
8		錐 圓	17.6	5.4	2.3	255	#	60	—	—	擦2	擦2	—	擦2	覆
9	2	U F	7.1	8.4	1.4	96	#	25	—		—	—	—	—	床面下
10		錐 磨	9.5	4.4	3.8	267	研	—	擦1	擦1		—	擦1	擦1	覆
11		円錐石器	4.9	3.9	3.1	78	安		擦2	擦2	擦2	擦2	擦2	擦2	覆
12		錐	8	14.4	8.8	5.1	860	#	—	擦1	擦1	—	—	—	覆

表-120 J 46号住居跡石器器種・石材別一覧表

石材	石 錐	打 刃	磨 片	石 刀	尖 頭	石 錐	石 頭	石 頭	背 付	直 刃	凸 刃	凹 刃	文 刃	復 刃	鉄 頭	R 頭	U 頭	磨 頭	研 頭	円 石	棒 石	伸 石	石 片	多 孔	凹 石	紙 片	石 針	被 石	計	
黒色頁岩																												1	8	
黒色安山岩	1																												1	1
安山岩																													2	
斑岩																													1	1
計	1					1	2	1							2	1	1	1	2										1	12

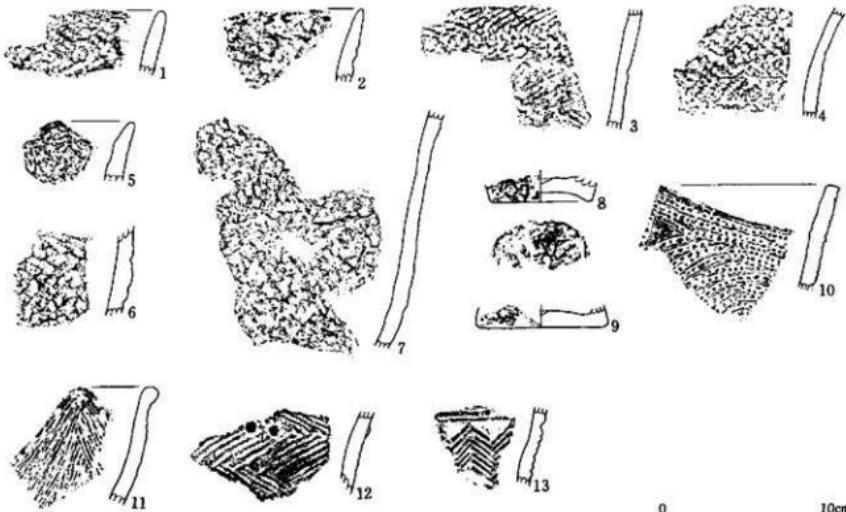


図-203 J 47号住居跡出土土器

表-121 J 47号住居跡出土土器観察表(図-203 図版-107)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色病 ③残存	時期	出土位置	備考
1	2	全面 R L斜縞文(現状)。	①織維②灰白色③口縁部	黒浜	床面	
2	縦	L R (?)荒れて不明瞭。平口縫。	①織維②赤黄橙色③口縁部	黒浜	-	
3	縦	L斜縞文。	①織維②青色③口縁部	黒浜	-	
4	縦	R L・L R羽状縞文。	①織維②黒褐色③胴部	黒浜	-	
5	13	R L斜縞文の縦位置施文。	①織維②にぼい褐色③口縁部	黒浜	I-6	
6	縦	O段多条R L・L R羽状縞文。	①織維②にぼい赤褐色③胴部	黒浜	-	
7	1	納束R L・L R羽状縞文。	①織維②灰白色③胴部	黒浜	床面	
8	縦	L斜縞文。上げ底。	①織維②灰褐色③底部	黒浜	-	
9	縦	平底。底面擦で。	①中砂粒②にぼい褐色③底部	感磁	-	
10	3	C字形刺穴列の密接施文。口縫下3条。波頂部下端丸さ状。波頂部脛位。波状口縫。	①中砂粒②黒褐色③口縫部	諸磯 b	+6	
11	縦	帶状工具集合沈縫。波状口縫。波頂部付近外反。	①雲母入り砂粒②にぼい赤褐色③口縫頂部	諸磯 c	-	
12	縦	R・L羽状縞文。ボタン状貼付文。	①砂粒②灰褐色③胴部	諸磯 c	-	
13	縦	平行沈縫からなる堅密集合沈縫。三角形印刻。	①砂粒②灰褐色③胴部	十三番地	-	

表-122 J 47号住居跡出土石器属性表

No.	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備考	
									A	B	a	b	c	d	
1	H大 P S	打製石斧	17.7	7.1	4.3	618	黒頁	55	-	-	-	-	-	-	覆
2	縦	#	(7.7)	6.2	2.1	100	白	45	-	-	-	-	-	-	覆
3	4	磨製石斧	12.1	5.5	3.1	300	黒	65	擦3	擦3	脣2	擦3	擦3	擦3	-2
4	6	攝 縮	6.6	5.3	1.8	48	黒頁	60	-	-	-	-	-	-	床面
5	縦	凸刃削器	4.8	9.6	1.8	52	白	45	-	-	-	-	-	-	覆
6	縦	複刃削器	6.6	4.2	1.0	33	白	70	-	-	-	-	-	-	覆
7	P内	#	5.9	9.9	2.3	145	白	35	-	-	-	-	-	-	床下
8	縦	#	6.2	9.9	2.1	137	白	30	-	-	-	-	-	-	覆
9	縦	R P	9.5 (8.4)	2.8	308	安	-	-	-	-	-	-	-	-	周辺から敲打整形・覆
10	縦	U F	3.8	4.9	1.1	13	黒頁	20	-	-	-	-	-	-	覆
11	縦	#	4.2	6.1	1.6	24	白	25	-	-	-	-	-	-	覆
12	14	#	6.0	4.4	0.9	26	白	30	-	-	-	-	-	-	24
13	10	磨 石	5.8	4.7	4.2	122	安	-	擦1	擦1	擦1	擦1	擦1	擦1	素化-2
14	11	円錐石器	9.6	7.0	3.8	358	白	-	凹3	凹3	凹3	凹3	凹3	凹3	-11
15	5	#	11.5	7.8	4.5	610	白	-	歯2	歯1	歯2	歯2	歯2	歯2	P,PS
16	縦	円錐石器	(9.2)	7.5	5.9	609	安	-	歯2→歯2	歯2	歯2→歯2	歯2	歯2	歯2	覆
17	7	#	13.1 (6.8)	3.3	401	白	-	擦1	歯3	歯3	歯3	歯3	歯3	歯3	-2

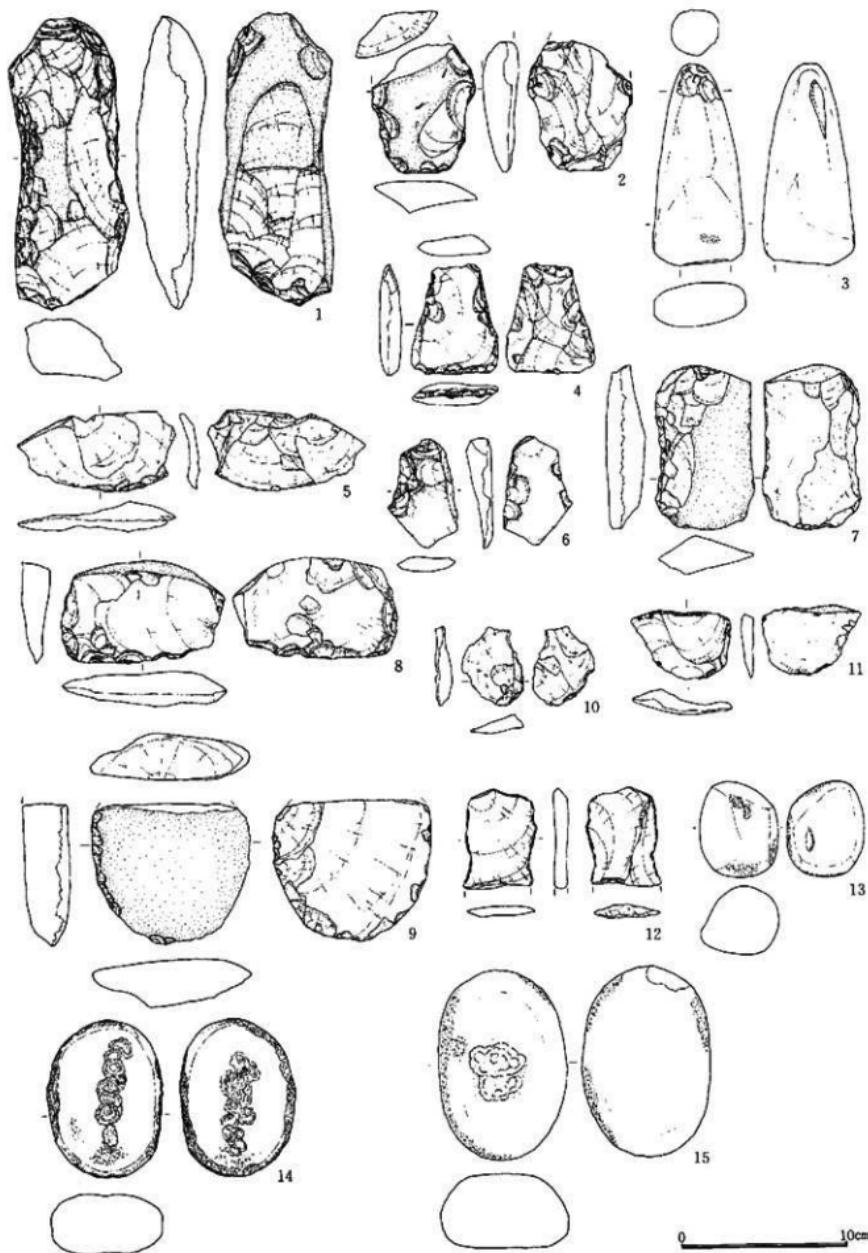


图-204 J47号住居跡出土石器 (1)

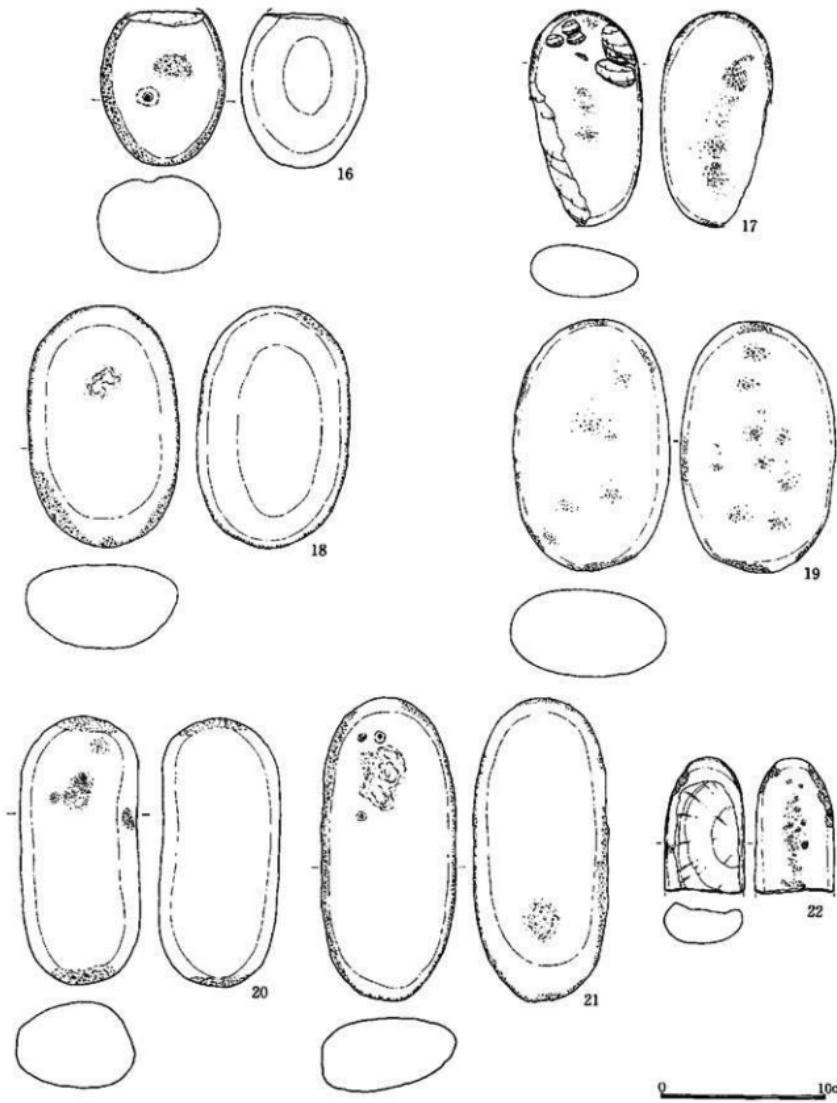


図-205 J 47号住居跡出土七石器 (2)

No	遺物 番号	器種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備 考
									A	B	a	b	c	
18	7	〃	14.6	9.2	5.1	950	〃	〃	擦1	擦1	敲1	敲1	敲1	敲1 敲→擦 -4
19	15	〃	15.3	9.5	5.3	1,000	〃	--	擦1	擦1	敲1	--	--	擦・敲→火 -8
20	8	敲き石	16.4	6.8	5.2	860	〃	--	敲1	敲1	敲1	敲1	--	敲→火 -6
21	9	〃	18.3	8.1	4.4	910	〃	--	敲2	擦1	--	--	敲1	敲1 -5
22	7	〃	(8.2)	4.9	2.7	155	〃	--	—	欠	敲2	欠	敲2	敲2 -2

表-123 J 47号住居跡石器器種・石材別一覧表

器種	石 継 片	打 撲 片	刮 削 片	尖 頭 器	石 核	背 付	直 刃 刀	凸 刃 刀	回 刃 刀	複 刃 刀	鉋 頭	块 塊	擦 擦	R U	磨 磨	U 石	磨 磨	内 石	棒 棒	石 石	多 孔	凹 凹	凸 凸	石 石	片 片	石 石	核 核	そ の 他
黒色頁岩	2			1		1		3							3												10	
安山岩																1	1	3	6								11	
斑 岩		1																									1	
叶	2	1		1		1		3							1	3	1	3	6								22	

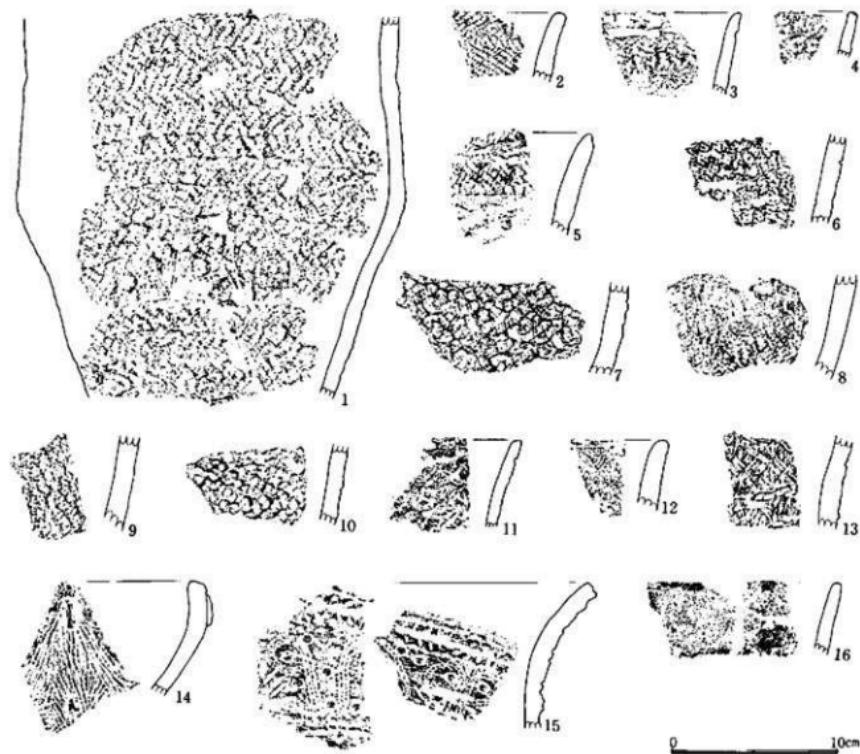


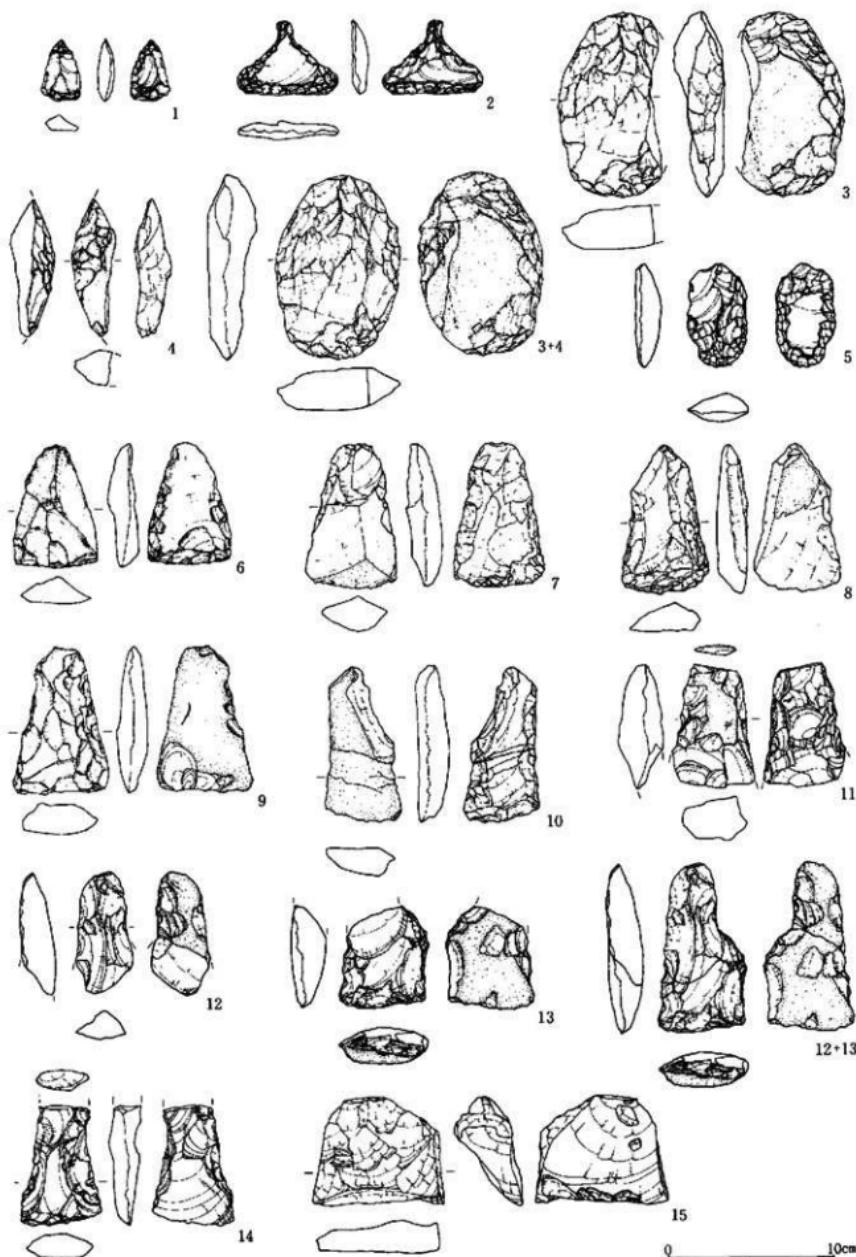
図-206 J 48号住居跡出土土器

表-124 J 48号住居跡出土土器観察表(図-206 図版-107)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
1	14+19+41	原体長1.5cmのR L・L Rを交互に1周する羽状縞文。肩窓中位で張り若干込んで口縁にかけて外反。	①織維②青褐色③側部中位	関山	+ 5 + 2 床直	
2	雜	結束(第1種) R L・L R羽状縞文。	①織維②青褐色③口縁部	関山	-	
3	雜	結束(第1種) R L・L R羽状縞文(浅く不明瞭)。	①織維②淡青褐色③口縁部	関山	-	
4	雜	右傾するR・L 2本1対の撫系圧痕。	①織維②淡黄褐色③口縁部	花瓶下層	-	
5	28	R Lループの横位施文。波状口縁。	①織維②淡黄褐色③口縁部	関山	- 7	
6	雜	O段9条R L斜縞文。	①織維②青褐色③肩部	関山	-	
7	26	結節縞文。	①織維②明褐色③肩部	関山	+ 7	
8	5	R Lの異条斜縞文を浅く施文。	①織維(少量)②青褐色③肩部	関山	+ 9	
9	10	R Lの異条斜縞文を浅く施文。	①織維②青褐色③肩部	関山	+ 8	
10	27	結束R L・L R羽状縞文。	①織維②青褐色③肩部	関山	- 7	
11	雜	R・L 2本1組の側口状絆条体。	①織維②青褐色③口縁部	関山	-	
12	雜	R L・L Rの不規則な羽状縞文。	①織維②青褐色③口縁部	関山	-	
13	雜	R・Lの不規則な網目状絆条体。	①織維②灰褐色③肩部	関山	-	
14	雜	紋位集合線。大波状口縁。紋位眞面貼付文。	①砂粒②赤褐色③口縁部	諸磯C	-	
15	雜	口縁下と地文との間に2条の刻み入隣線。施でた文様帶にR・R・L 3本1組の紋位眞手状の撫系圧痕。円形竹管刺突と刺切文。波状口縁外反。	①織維②淡青褐色→黒褐色③口縁部	花瓶下層		
16	雜	全面施で	①砂粒②青褐色③口縁部	諸磯	-	

表-125 J 48号住居跡出土石器属性表

No.	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度						備考
									A	B	a	b	c	d	
1	雜	石 砺	3.7	2.3	1.0	6	流	-	-	-	-	-	-	-	火薙
2	25	石 砺	4.4	6.0	1.2	21	黑安	65	-	-	-	-	-	-	+ 7
3	27	打製石斧	11.1	6.1	3.0	211	黑質	50	-	-	-	-	-	-	4と接合・+ 7 同3+4
4	雜	刀	(8.3)	(2.7)	2.2	34	#	-	-	-	-	-	-	-	3と接合・覆持3+4
5	9	磨 器	6.2	3.6	1.5	34	理	55	-	-	-	-	-	-	床直
6	18	刀	7.3	5.0	1.7	59	黑質	55	-	-	-	-	-	-	+ 4
7	13	刀	8.6	5.4	1.9	85	#	60	-	-	-	-	-	-	+ 9
8	41	刀	8.9	5.2	1.9	89	#	60	-	-	-	-	-	-	床直
9	6	磨 器	8.8	5.8	1.8	95	#	45	-	-	-	-	-	-	+ 19
10	雜	刀	9.3	4.1	2.1	83	#	60	--	-	-	-	-	-	覆
11	雜	刀	7.4	4.9	2.7	88	#	-	-	-	-	-	-	-	覆
12	雜	刀	(7.4)	3.7	1.7	39	#	-	-	-	-	-	-	-	13と接合・覆持12+13
13	18	刀	(6.3)	5.4	2.1	75	#	60	-	-	-	-	-	-	12と接合・+ 4 持12+13
14	18	刀	7.3	4.9	1.8	63	#	75	-	-	-	-	-	-	+ 4



图—207 J 48号住居跡出土石器 (1)

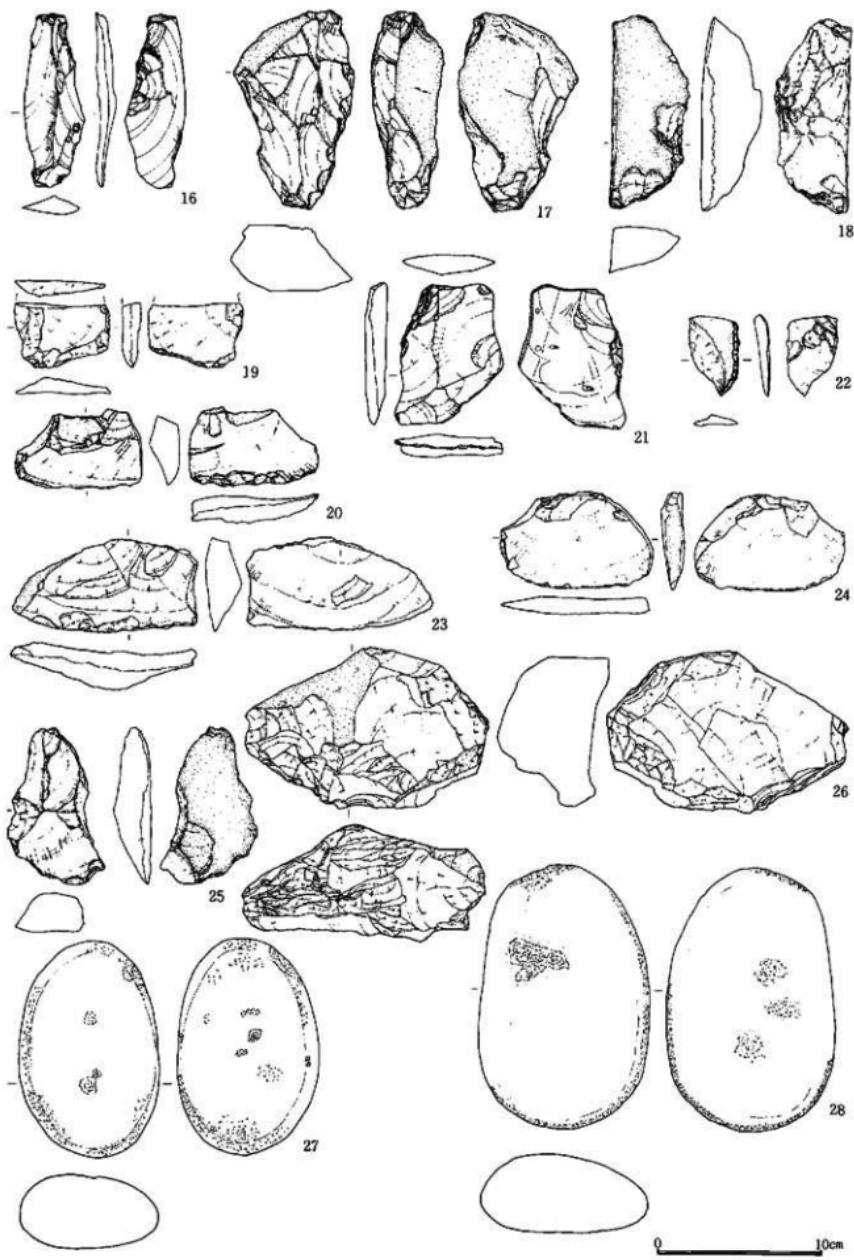
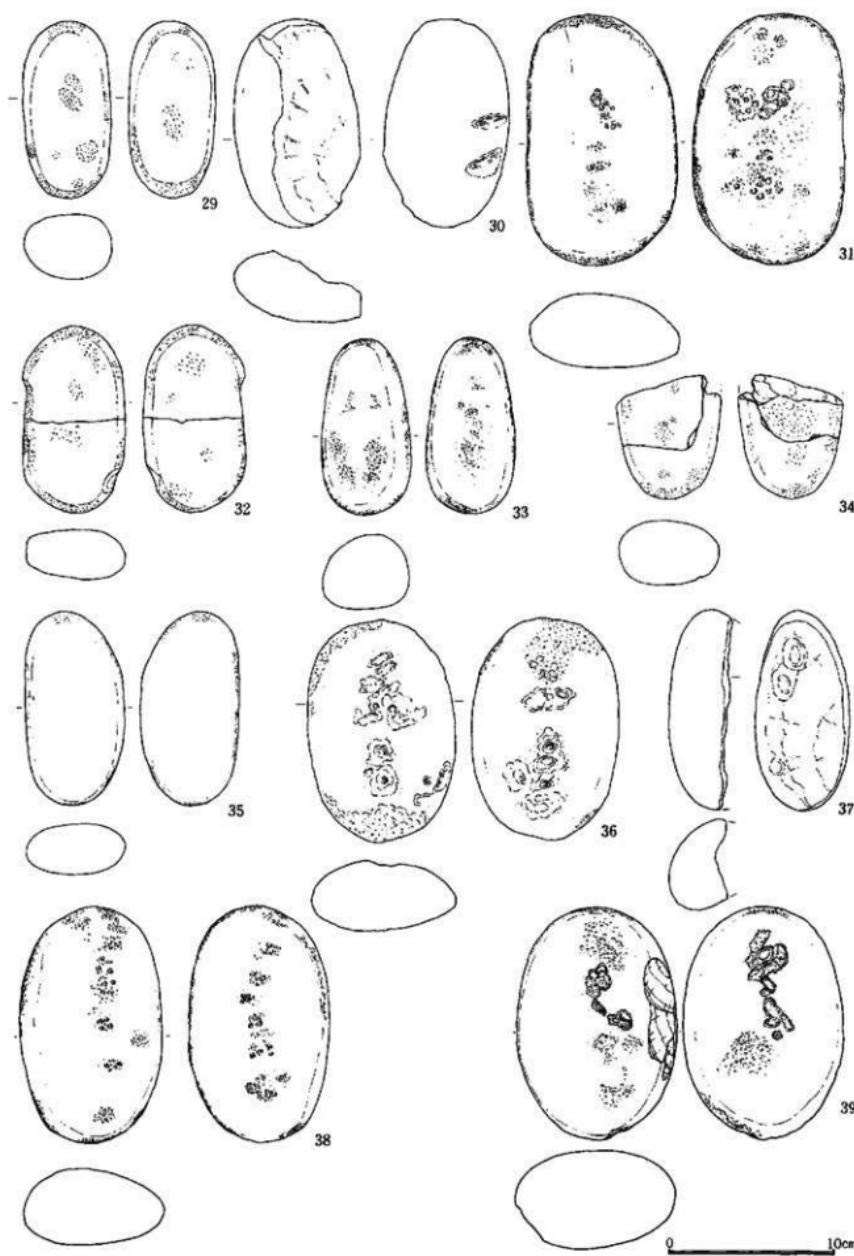


图-208 J 48号住居跡出土石器 (2)



图· 209 J48号住居跡出土石器 (3)

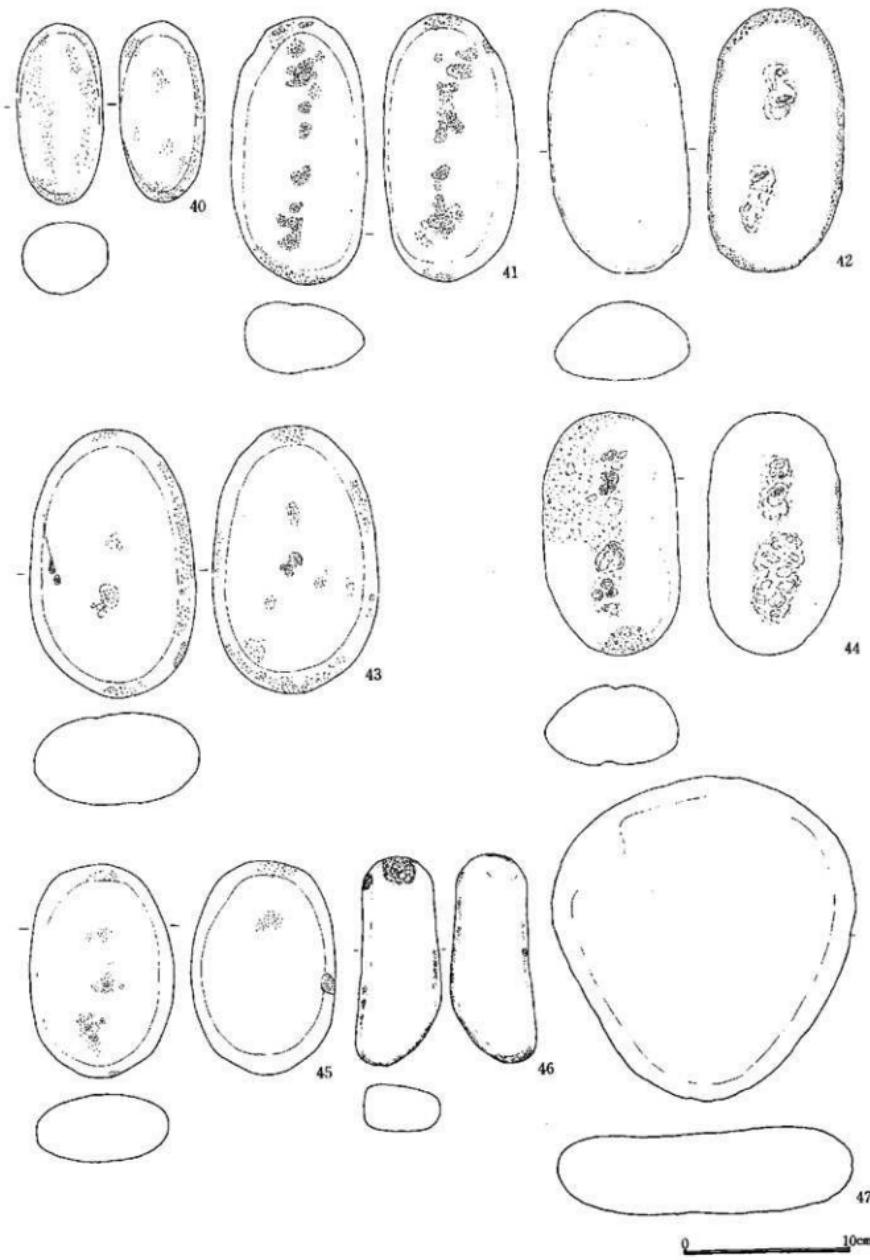


图 210 J 48号住居跡出土石器 (4)

№	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備考
									A	B	a	b	c	
15	雜	直刀削器	6.6	7.9	3.2	129	#	60	—	—	—	—	—	覆
16	38	凹刀削器	10.5	3.5	1.5	36	#	35	—	—	—	—	—	+ 3
17	21	凸刀削器	11.9	7.2	4.1	307	#	60	—	—	—	—	—	- 6
18	23	#	11.7	4.6	3.7	215	#	55	—	—	—	—	—	床直
19	雜	複刃削器	(3.9)	5.7	1.1	25	#	40	—	—	欠	—	—	2刃覆
20	27	凸刃削器	4.3	7.7	1.6	55	#	60	—	—	—	—	—	- 7
21	9	#	8.6	6.5	1.3	66	#	30	—	—	—	—	—	床直
22	48	#	3.1	4.9	0.7	8	#	40	—	—	—	—	—	- 8
23	31	#	11.2	5.6	2.1	130	#	45	—	—	—	—	—	周溝内
24	35	U F	5.9	9.2	1.4	30	#	30	—	—	—	—	—	床直下
25	27	#	9.3	5.8	2.4	110	#	35	—	—	—	—	—	床直
26	39	石核	9.7	14.7	7.0	953	#	—	—	—	—	—	—	床直
27	40	円礫石器	13.1	8.5	4.5	674	安	—	敲1	敲1	敲2	敲2	敲2	床直
28	17	#	16.0	10.3	4.7	1,090	#	—	擦1→火	擦1	敲1	敲1	敲1	擦→火+ 2 敲
29	33	#	10.6	5.3	3.8	357	#	—	火→擦2	擦2	擦2	擦2	擦2	火→擦 床直
30	雜	#	12.6	7.1	4.3	458	#	—	敲3	—	—	—	—	覆
31	12	#	15.0	9.1	4.5	880	#	—	擦2	敲1→擦1	敲2	敲2	敲2	擦→敲+ 6
32	24+ 27	#	(6.0)	6.0	2.9	180	#	—	擦1	擦1	—	欠	敲3	敲→擦→敲 同→整体+ 7
32	24+ 27	#	5.6	6.0	3.0	180	#	—	擦1	擦2	欠	—	敲3	敲→擦→敲 同→整体+ 7
33	4	円礫石器	10.6	5.4	4.5	367	安	—	火→擦1	火→擦1	—	—	火→擦1	火→擦+ 2
34	24	#	(7.4)	6.3	3.8	230	#	—	敲1	敲1	欠	—	—	床直
35	14	#	12.7	6.0	3.6	359	#	—	擦1→火	擦1	—	—	—	擦→火+ 8
36	雜	#	13.4	8.9	4.5	700	#	—	凹3	凹3	敲2	敲2	敲2	覆
37	8	#	(12.0)	(3.2)	5.5	295	#	—	擦1→火	擦1→火	擦1	擦1	擦1	欠+ 3
38	32	#	14.3	8.6	4.9	850	#	—	擦1	擦1	敲1	敲1	—	擦→火- 3
39	22	#	14.1	9.7	6.1	1,100	#	—	火→敲1	火→敲1	—	敲1	—	敲3 床直
40	44	#	10.8	5.1	4.2	352	#	—	擦1→火	擦1	擦1	擦1	擦1	擦→火+ 2
41	38	#	16.0	8.1	4.5	778	#	—	凹3→擦1	凹3→擦1	擦1	擦1	擦1	凹→擦+ 3
42	8	#	15.8	8.4	4.7	750	#	—	敲2	敲2	敲2	敲2	敲2	凹→火- 2
43	44	#	16.0	9.9	5.5	1,190	#	—	凹1	凹1	敲1	敲1	敲1	凹→火 床直
44	3	#	14.6	8.1	5.0	840	#	—	凹3	凹3	敲1	敲1	—	凹→火- 2
45	1	#	12.8	8.7	4.2	749	#	—	擦2	擦2	敲1	敲1	敲1	敲→擦+ 2
46	7	敲き石	12.5	5.2	3.1	305	#	—	擦1	擦1	敲3	敲1	擦1	擦→敲- 12
47	16	台石	19.9	18.3	5.3	2,580	#	—	擦1→敲1	擦1→敲1	—	—	—	+ 8

表-126 J 48号住居跡石器器種・石材別一覧表

石材 器種	石	打	磨	石	尖	石	擦	背	直	凸	凹	交	範	块	塊	R	じ	磨	内	石	棒	石	多	凹	河	底	剥	石	挫	その他	計			
	類	打	磨	石	尖	石	擦	背	直	凸	凹	交	範	块	塊	F	F	石	磨	内	石	棒	石	多	凹	河	底	剥	石	挫	その他	計		
黑色頁岩	2				9	1	6	1	1								2										124	1		147				
黑色安山岩				1																								5	1		6			
安山岩																			1	19										7	1	28		
流紋岩	1																															1		
堆積岩				1																									8		9			
その他																													1			1		
計	1	2		1	10	1	6	1	1								2	1	19									138	1	7	1	192		

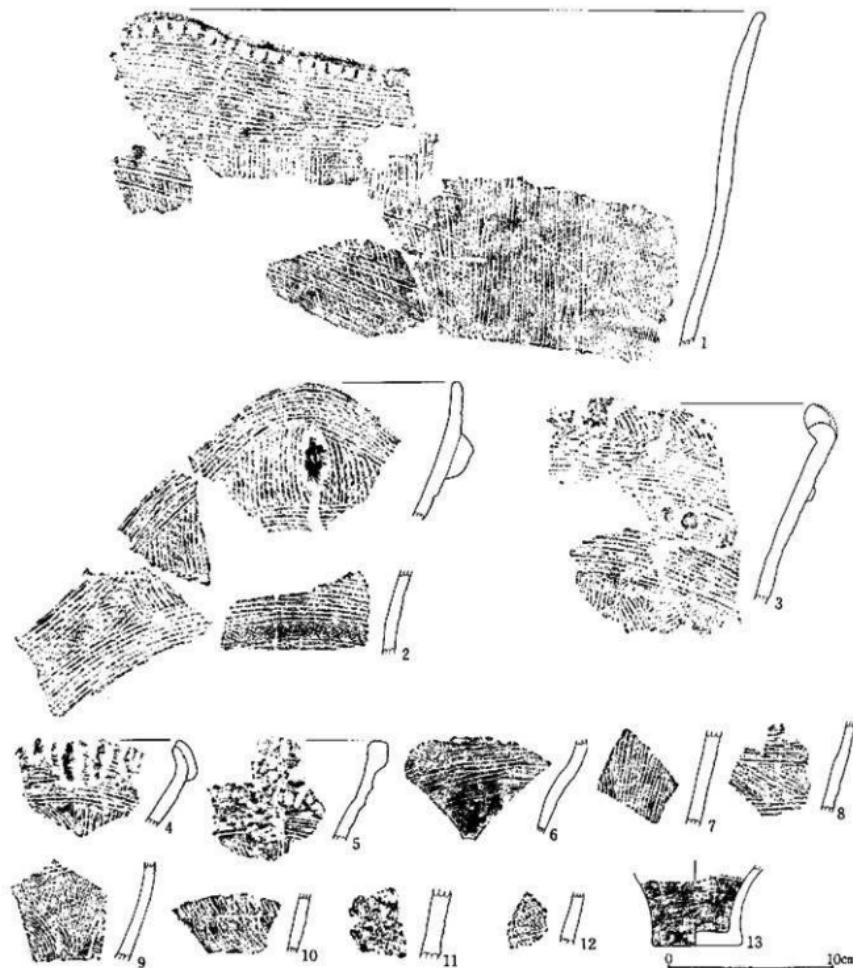


図-211 J 49号住居跡出土土器

表-127 J 49号住居跡出土土器類表 (図-211 図版-107・108)

番号	遺物番号	文様構成・文様施用・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時 期	出土位置	備 考
1	雜	口縁下7cmまで横位・胸部縫合部は斜位の集合する平行 波線。口縁端外縁にC字形割れ突列。腹裏・波状口縁。外反。	①細砂粒②赤褐色③口縁部	諸磯 C	-	異種の影響。J 50・1 と同一
2	1・2・15	R.L. 斜線文。口縁下に7条の平行沈模からなる集合沈模を入れ、その下には縫合横位を入れる。波頂部下に縫合具縫状貼付文。波状口 縁。①細砂粒②極端赤褐色③口縁部 諸磯 C +16 床面 +15				
3	1	口縁下横位縫合部は縫合及び矢羽根状の集合沈模。内縫する口縁端にも縫合矢羽根状集合沈模。貝殻状・ボタン状貼付文。半口縁。 ①中砂粒②明赤褐色③口縁部 諸磯 C +16				
4	3	口縁下縫合部は縫合及び斜位の集合沈模。口縁部に縫合矢羽根状貼付文。平口縁。口縁部内縫。	①砂粒②暗赤灰色③口縁部	諸磯 C +7		
5	1	口縁下3段の網突列。網部は平行沈模。口縁端に6斜位の網突列。	①砂粒②暗赤灰色③口縁部	諸磯 C ?	+16	
6	8	縫合斜位の集合沈模。	①細砂粒②灰白色③網部	諸磯 C +32		
7	1	縫合集合沈模。	①細砂粒②灰白色③網部	諸磯 C +16		
8	1	斜位集合沈模とそれを挟む横位集合沈模。	①細砂粒②灰褐色③網部	諸磯 C +16		
9	1	直線的な集合沈模。	①細砂粒②灰白色③網部	諸磯 C +16		
10	雜	支点をずらせた平員の縫合腹縫割れ突列。内面腹で研磨。	①網砂粒②灰黄色③網部	諸磯 C -		
11	1	O段多条の斜縞文。	①織維少量②による橙色③削除部	諸磯 C +16		
12	1	R.L. 縱位施文。	①砂粒②にぼい橙色③網部	諸磯 C +16		
13	6	突き出た底部から一旦すばまた後、外反ぎみに立つ。	①粗砂粒②にぼい黄色③底 部	諸磯 C +18		

表-128 J 49号住居跡出土石器属性表

No.	遺物 番号	器種	最大幅 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度						備 考	
									A	B	a	b	c	d		
1	雜	打製石斧	11.7	4.7	1.9	119	麻	20	-	-	-	-	減1	-	-	覆
2	14	#	10.3	5.5	1.3	76	黑頁	30	-	-	-	-	減1	-	-	-16
3	雜	#	11.9	6.0	2.7	205	#	50	-	-	-	-	-	-	-	覆
4	4	#	10.2	5.6	1.6	131	安	50	-	-	-	-	-	減1	漬1	+19
5	雜	#	8.8	4.9	1.7	66	黑頁	40	減1	-	-	-	減1	-	-	覆
6	7	打製石斧	(7.1)	5.3	1.9	81	頁	-	-	-	-	-	欠	-	-	+28
7	雜	#	(4.2)	6.7	1.6	47	黑安	-	-	-	-	-	欠	-	-	覆
8	雜	#	(6.2)	4.8	1.2	37	黑頁	-	-	-	-	-	欠	-	-	覆
9	雜	#	(7.2)	8.4	2.0	127	#	40	-	-	-	欠	欠	-	欠	覆
10	雜	直刃削器	4.3	2.6	0.5	6	#	15	-	-	-	-	-	-	-	覆
11	雜	凸刃削器	10.7	7.1	1.4	112	#	20	-	-	-	-	-	-	-	覆
12	雜	#	4.7	4.0	1.2	25	#	70	-	-	-	-	-	-	-	覆
13	13	#	10.7	4.5	1.5	66	#	40	-	-	-	-	-	-	-	+8
14	12	痕刃削器	3.7	3.8	0.7	12	#	60	-	-	-	-	-	-	-	2刃 +57
15	10	#	6.1	5.5	6.2	43	#	35	-	-	-	-	-	-	-	4刃 -17
16	雜	断面縫石器	7.9	4.2	1.3	34	#	30	-	-	-	-	-	-	-	覆
17	雜	#	(4.5)	4.5	2.3	37	黑安	60								覆



图-212 J 49号住居跡出土石器 (1)

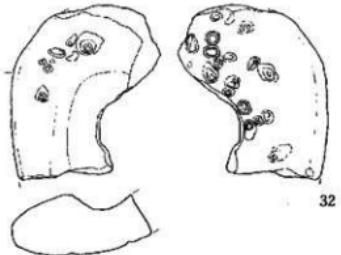
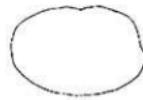
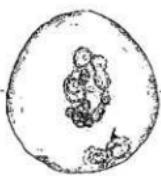
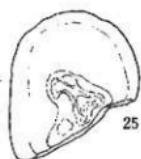
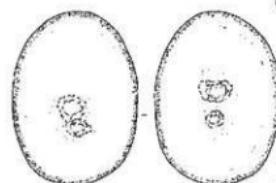
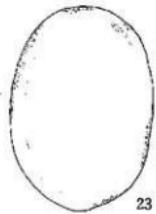
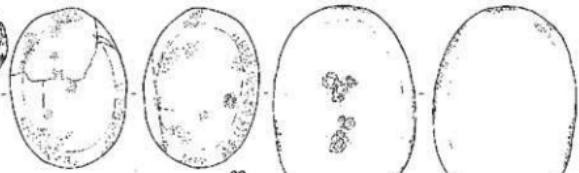
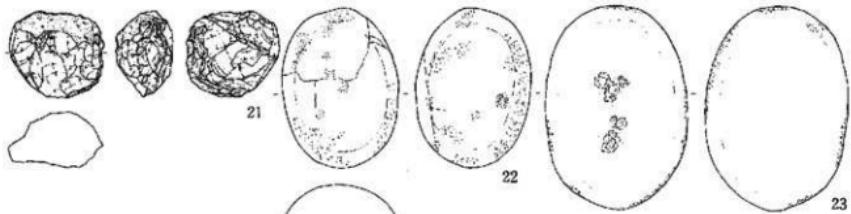


图-213 J49号住居跡出土石器(2)

No.	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備考
									A	B	a	b	c	
18	雜	U F	10.7	3.9	2.3	74	黒頁	30	-	-	-	-	-	刃 後
19	雜	II	8.6	3.7	1.1	34	II	25	-	-	-	-	-	刃 後
20	雜	II	3.4	5.9	0.8	23	黒安	35	-	-	-	-	-	刃 後
21	雜	石核	5.3	5.2	3.4	115	II	-	-	-	-	-	-	刃 後
22	雜	円錐石器	9.6	7.0	5.3	524	班	-	-	-	敲1	敲1	敲1	敲1
23	雜	II	12.4	8.5	4.2	695	安	-	敲1	擦1	敲1	敲1	敲1	刃 後
24	雜	II	10.5	7.5	7.3	597	II	-	擦2→凹2	擦1→凹2	敲1	敲1	敲1	刃 後
25	雜	凹石	9.0	7.8	4.9	410	II	-	凹2	凹2	-	-	-	赤化 後
26	雜	円錐石器	9.8	7.8	4.7	541	班	-	敲1	-	擦1	敲1	敲1	刃 後
27	雜	II	9.8	9.3	4.8	552	安	-	敲2	敲2	敲1	敲1	敲1	刃 後
28	雜	II	9.2	8.2	5.3	554	班	-	凹1	-	敲3	敲3	敲3	刃 後
29	雜	敲き石	4.5	4.3	3.4	86	安	-	-	-	敲3	敲3	敲3	刃 後
30	雜	棒状石器	(6.5)	3.6	1.3	45	黑片	-	-	-	敲3	欠	敲3	敲3
31	I	砾石	(5.2)	(4.8)	1.6	38	砂	-	擦1	擦1	欠	擦1	擦1	欠
32	3	石皿	(21.2)	(18.1)	9.0	2,450	安	-	擦1→凹3	凹3	-	欠	-	欠
														-16
														-7

表-129 J 49号住居跡石器器種・石材別一覧表

石材	石打	雷	石斧	尖頭器	石刀	怪	背	直	凸	凹	交	複	鋸	抉	削	譚	R	U	雷	敲	圓	石	擦	棒	石	研	石	研	石	研	其	
黑色質物	5						1	3		2	1							2												23	37	
頁岩	1																														1	
黑色安山岩	1																		1												18	
安山岩	1																		1	3		1	1							3	10	
頸岩																				3											3	
輝綠岩	1																															1
珪岩																																4
黑色片岩																																1
砂岩																																1
計	9						1	3	1	2	2						3	1	6	1	1	1	1	1	41	1	3		76			

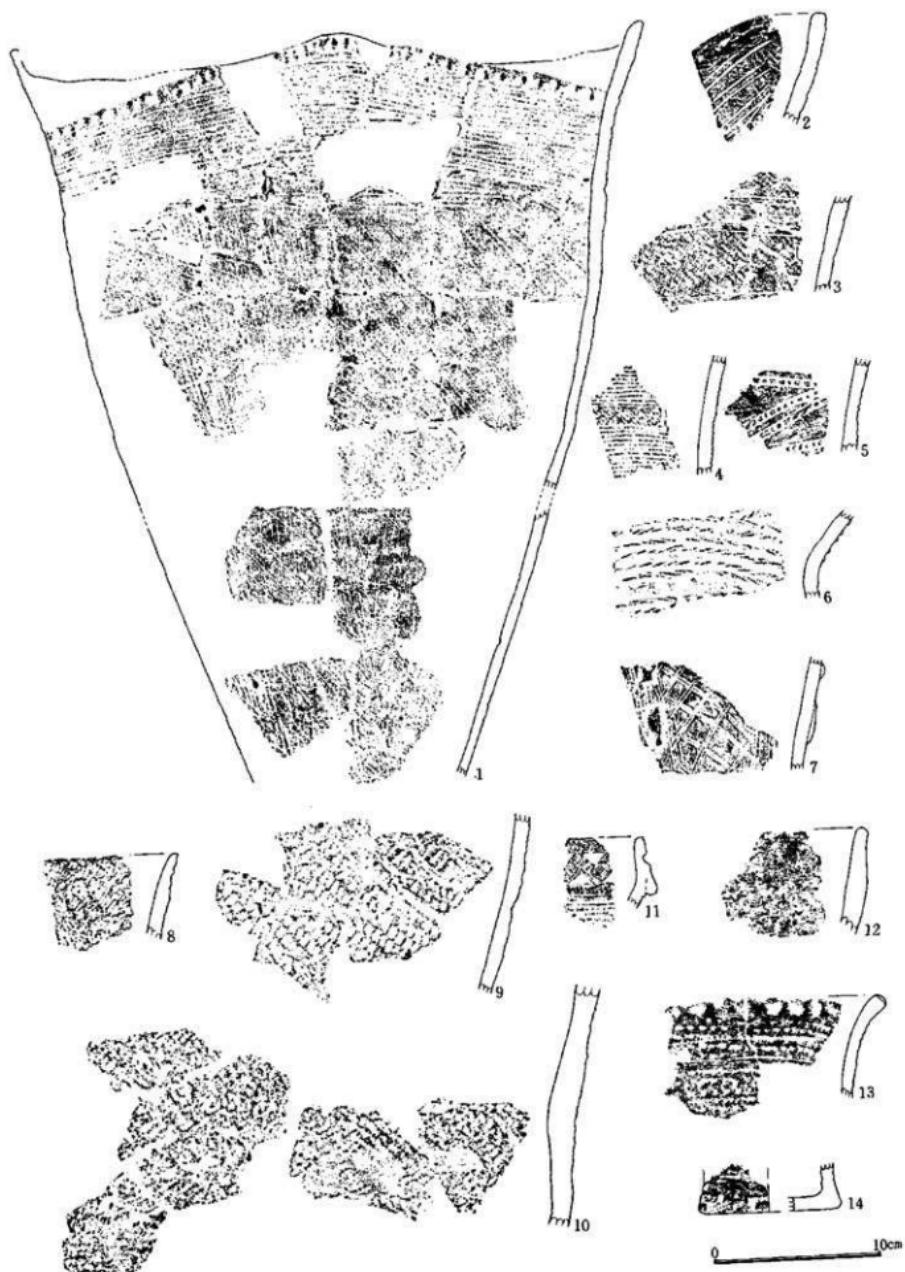


图 -214 J 50号住居跡出土土器 (1)



図-215 J50号住居跡出土土器 (2)

表-130 J50号住居跡出土土器観察表 (図 214・215 図版-108・109)

番号	遺物番号	文様構成・文様施し・器形の特徴	①胎上 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
1 21・難	16・18・19	口縁下横位の平行沈線。胴部は縱位平行沈線の後斜位平行沈線。口縁端外縁逆C字形刺突列。開きざみに立つ。波状口縁。①中砂粒 ②にぼい赤褐色③口縁・胴部下位 滲痕C - 5 床底 -11 中央落ち込み。興津の影響J49・1と同一。				
2	難	後第R LR斜縞文。口縁に沿う平行沈線。長い波状口縁。	①砂粒②にぼい赤褐色③口縁部	諸磯b	-	
3	難	R L斜縞文。4条の横位平行沈線。	①砂粒②にぼい性色③胴部	諸磯b	-	
4	難	L R斜縞文。横位集合沈線。	①砂粒②にぼい赤褐色③胴部	諸磯b	-	
5	難	直でた留面にC字形刺突列。	①織縫②浅黄褐色③胴部	黒浜	-	
6	難	直条R L。矢羽状斜み浮線。	①中砂粒②橙色③胴部	諸磯b	-	
7	難	腰位平行沈線に挟まれた斜格子。腰位貝殻状貼付文。	①中砂粒②浅黄褐色③胴部	諸磯b	-	
8	難	O波多条R L・L R羽状縞文。平口縁。	①織縫②暗褐色③口器部	黒浜	-	
9	難	R L。直前横台板の2種類施文。	①織縫②にぼい黄褐色③胴部	黒浜	-	
10	難	結束(第1種) R L・LR羽状縞文。	①織縫②にぼい性色③胴部	黒浜	-	
11	難	口縁下に粘土紐を貼付け肥厚。5本1組の棒状工具の組位刺突列。二角形印刻列。C字形刺突列。	①砂粒②にぼい性色③口縁部	十一番地	-	
12	20	全舟底。平口縁。	①織縫②浅黄褐色③口器部	黒浜	+10	
13	難	腰位口袋投織刺突列。横位沈線。口縁端外縁倒面刺突列。平口縁。	①粗砂粒②にぼい赤褐色③口器部	興津	-	
14	難	文様不鮮明。平底。	①砂粒②にぼい性色③胴部	諸磯	-	
15	難	集合沈線で胴部上半は同心円文。胴部下半は縦位の曲線的な文様。波状口縁。外反。	①砂粒②にぼい赤褐色③口縁部	諸磯c	-	

番号	遺物番号	文様構成・文様箋文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
16	鍵	同心円状の集合沈線。	①中砂粒②浅黄褐色③肩部 諸磯C	—		
17	鍵	横位平行沈線を入れ、その間に羽状の平行沈線。脚部下半は焼て。	①砂粒②暗赤褐色③脚部 諸磯C	—		

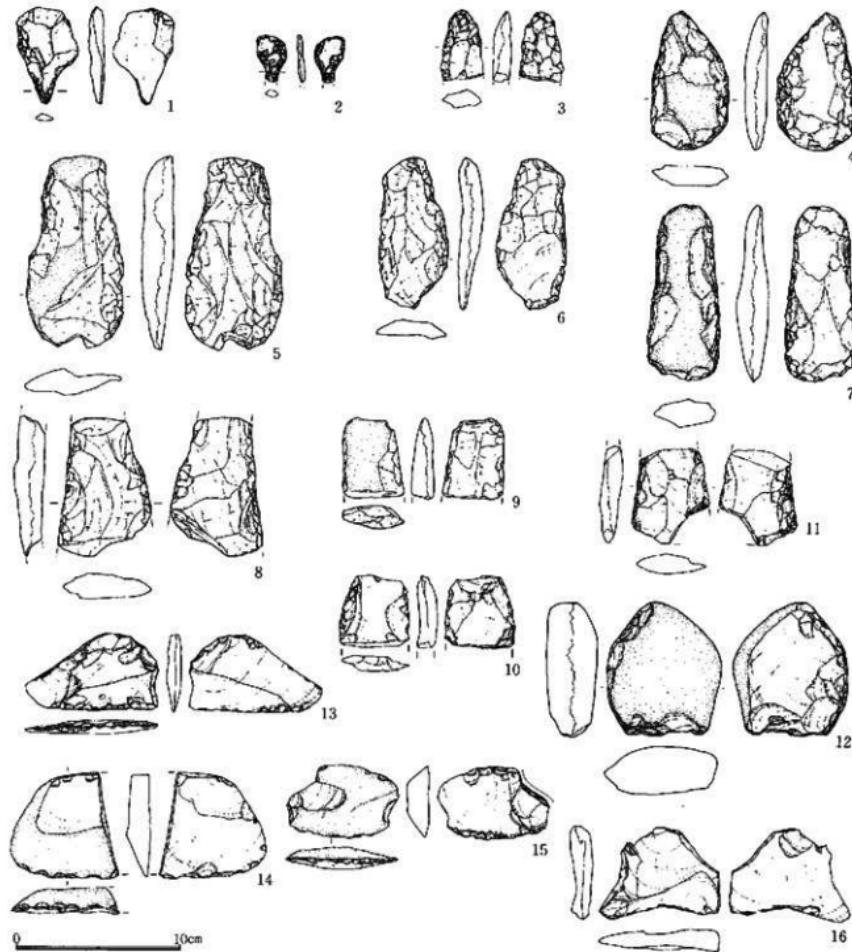


図-216 J50号住居跡出土石器 (1)

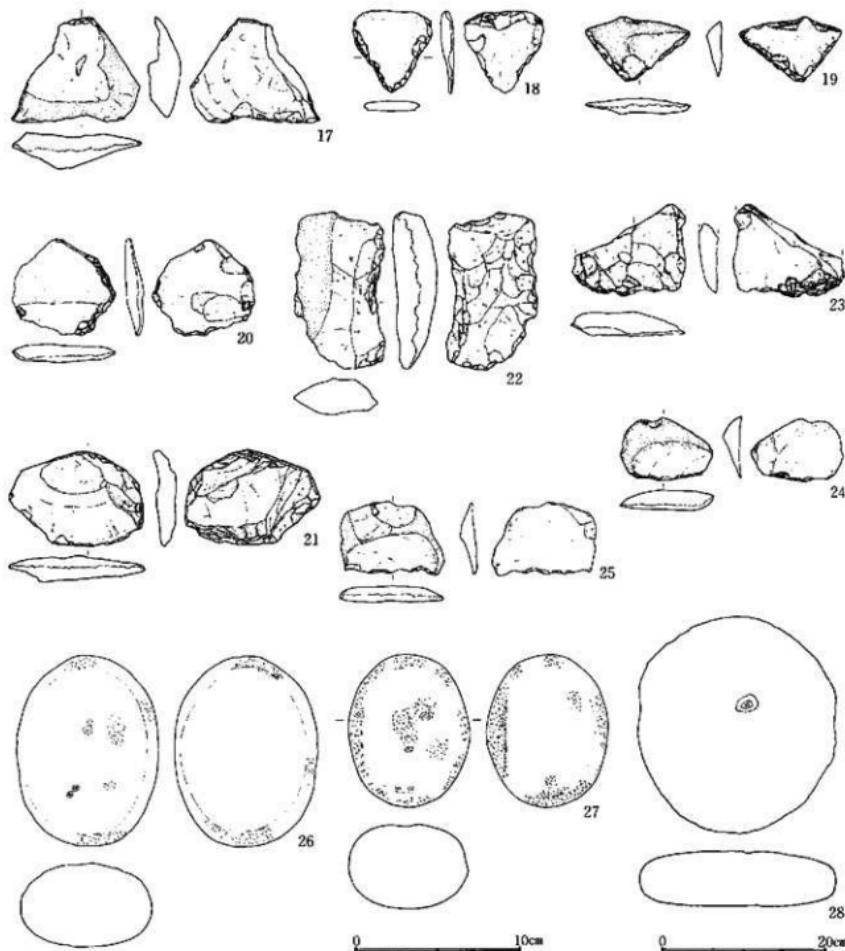


図-217 J50号住居跡出土石器(2)

表-131 J50号住居跡出土石器属性表

No.	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重 量(kg)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備 考
									A	B	a	b	c	
1	雜	石 砧	5.8	3.7	0.5	12	黒質	—	—	—	—	—	—	圓
2	雜	#	(2.6)	1.8	0.4	8	赤珪	—	—	—	—	—	—	圓
3	雜	尖頭器	(4.2)	2.7	1.1	13	黒質	—	—	—	—	欠	—	圓
4	雜	#	8.3	4.7	1.3	56	?	—	—	—	—	—	—	圓
5	雜	打製石斧	11.6	5.8	1.9	120	?	25	—	—	—	減1	—	圓

No	遺物 器 種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (kg)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備 考
								A	B	a	b	c	
6	住外 打製石斧	9.1	4.2	1.5	51	黒頁	15	—	—	—	—	—	—
7	斧	#	10.6	4.4	1.9	90	#	30	—	—	—	—	—
8	鎌	#	(8.3)	5.5	1.9	86	#	—	—	—	欠	欠	—
9	鎌	#	(4.8)	3.7	1.4	30	黒安	—	—	—	欠	—	—
10	鎌	#	(4.3)	4.2	1.2	24	#	—	—	—	欠	—	—
11	鎌	#	(4.7)	4.6	1.2	38	黒頁	15	—	—	欠	—	—
12	鍬 破 器	8.1	6.9	3.1	242	#	70	—	—	—	—	—	—
13	鍬 直刃削器	4.6	7.9	0.8	27	#	15	—	—	—	—	—	—
14	鍬	#	6.4	(6.4)	1.6	75	#	25	—	—	—	—	欠
15	鍬 凸刃削器	4.4	6.7	1.4	43	#	35	—	—	—	—	—	—
16	鍬 四刃削器	5.6	7.2	1.3	33	#	15	—	—	—	—	—	—
17	鍬	#	6.3	7.2	2.2	67	#	50	—	—	—	—	—
18	鍬 交刃削器	4.9	4.7	0.6	20	#	15	—	—	—	—	—	—
19	鍬 交刃削器	6.3	3.9	0.9	18	黒頁	20	—	—	—	—	—	—
20	鍬 弧刃削器	6.3	5.1	1.2	37	#	20	—	—	—	—	—	3万 度
21	鍬	#	5.7	8.1	1.1	65	#	30	—	—	—	—	—
22	鍬	#	9.4	5.4	2.7	134	#	60	—	—	—	—	—
23	6 R F (5.5)	6.9	1.5	40	#	—	—	—	—	—	—	—	+12
24	鍬 U F	3.8	5.6	1.2	21	#	25	—	—	—	—	—	—
25	鍬	#	4.4	6.2	1.0	27	#	20	—	—	—	—	—
26	鍬 内彎石齒	11.4	8.5	5.0	687	安	—	歯1	歯1	歯1	歯1	歯1	歯1
27	25	#	9.1	7.3	4.9	470	班	—	歯2	歯1	歯1	歯1	歯1
28	24 台 右	26.3	24.0	6.9	6,100	安	—	歯1	—	—	—	—	床直

表-132 J50号住居跡石器器種・石材別一覧表

類別 石材	石 打 磨 石 尖 石 頭 器 斧 背 刃 凸 凹 刃 交 刃 鋸 鉗 抉 横 圓 R U 磨 敲 刃 石 棒 棒 石 多 凹 刃 石 片 剥 石 核 そ の 他	計
黒色頁岩	5 1 2 2 1 2 2 2 3 1 1 2	22
黒色砂岩	2	2
安山岩		1 2
斑岩		1
赤色砂質岩	1	1
計	71 2 2 2 1 2 2 3 1 1 2 2	1 28

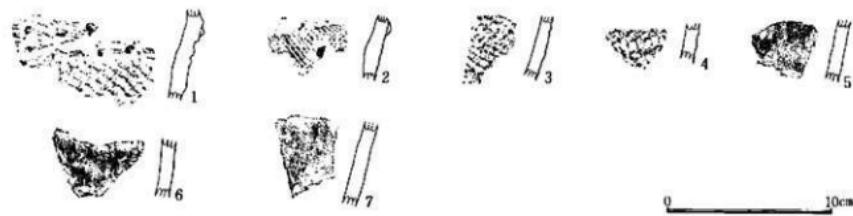


図-218 J58号住居跡（5J-1）出土石器

表-133 J51号（5J-1）住居跡出土土器観察表（図-218 図版-109）

番号	遺物番号	文様 構成・文様 施文・器形の特徴	①底土 ②色調 ③残存	時 期	出土位置	備 考
1	無	O段多条RL（現状）。平行沈線。貼付文。内面擦で。	①繊維細砂粒②にい黄褐色③剥離	関山	-	
2	9	交互の斜位集合沈線。貼付文。	①繊維細砂粒②灰褐色③剥離	関山	+7	
3	無	O段多条RL（現状）。内面擦で。	①繊維細砂粒②灰褐色③剥離	関山	-	
4	無	O段多条ループRL・LR羽状施文。	①繊維②にい黄褐色③剥離	関山	-	
5	無	全面擦位撫で。	①細砂粒②にい橙色③剥離	後期	-	
6	無	全面擦位撫で。	①細砂粒②にい橙色③剥離	後期	-	
7	無	全面擦位撫で。	①細砂粒②にい橙色③剥離	後期	-	

表-134 J51号住居跡（5J-1）出土石器属性表

No	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重 量(g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備 考	
									A	B	a	b	c		
1	1	抉状耳飾	2.5 (2.2)		0.6	7	蛇		-		-	-	-	-	半欠 -14
2	5	擦 縞	8.5	4.8	1.3	47	黒頁	63	-	-	-	-	-	-	+4
3	2	打製石斧	19.0	9.9	6.0	1,110	#	-	-	-	-	-	-	-	木製品 床直
4	6	凸刃削器	8.9	8.5	1.8	91	#	35	-	--	-	-	-	-	+23
5	無	#	4.1	8.1	1.2	39	#	50	-		-	-	-	-	復
6	無	直刃削器	3.7	6.5	1.9	35	#	40	-	-	-	-	-	-	復
7	3	交刃削器	5.8	7.3	1.9	65	#	35	-	-	-	-	-	-	床直下
8	無	R F	10.1	5.6	1.9	120	#	-	-	-	-	-	-	-	復
9	3	円錐石器	10.3	5.2	3.5	285	安	-	敲3	火	敲1	敲1	-	-	+3
10	4	#	16.6	9.9	5.5	1,150	#	-	敲1	敲1	敲1	敲1	敲1	敲1	+8
11	7	#	15.1	9.5	5.2	1,010	#	-	敲1	敲1→擦1	敲1	敲1	敲1	敲1	+9

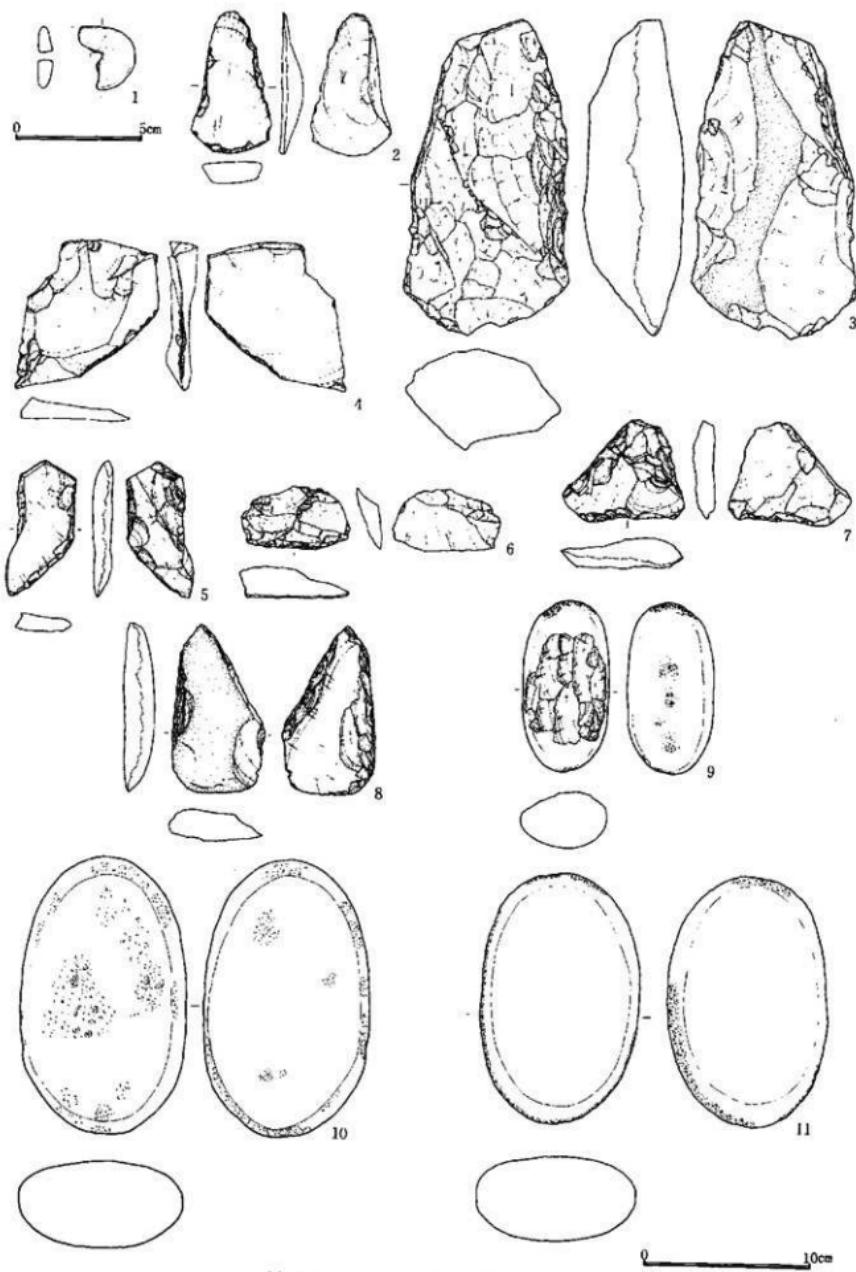


图-219 J 51号住居跡(5 J - 1)出土石器

表-135 J51号住居跡（5J-1）石器器種・石材別一覧表

石材 器種	石 打	磨 斧	石 鑿	石 器	骨 器	直 刃	凸 刃	交 刃	翟 刃	鶴 刃	接 刃	横 刃	縫 刃	R 刃	U 刃	扇 刃	圓 刃	石 鋸	多 刃	回 刃	延 刃	石 片	石 鏽	石 礫	その 他	計
黒色頁岩	1			1	1	2	1							1											7	
安山岩																										3
蛇紋岩																										1
珪岩																										1
計	1			1	1	2	1							1				3						1	12	

表-136 J52号（5J-2）住居跡出土土器観察表（図-220・221 図版-109・110）

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
1	雜	O段3条結束（第1種）RL・LR羽状網文。平口縫。	①織縫②に赤褐色③口縫部	黒浜	-	
2	雜	O段多条RL・LR（現状）。LJ縫端火紀。	①織縫中砂粒②黑色③口縫部	黒浜	-	
3	1	O段3条結束（第1種）RL・LR羽状網文。内面横撹で。	①織縫②に赤褐色③羽部	黒浜	+19	
4	5	O段3条結束（第1種）RL・LR羽状網文。内面横撹で。	①織縫②に赤褐色③羽部	黒浜	+17	
5	雜	口縫下低い縫帶。その下に継ぎ刺切文列。結束（第一種）RL・LR羽状網文。平口縫。	①織縫②に赤褐色③口縫部	黒浜	-	
6	雜	O段多条RL・LR羽状網文。幅広横縫沈線。内面横撹で。	①織縫②に赤褐色③羽部	黒浜	-	
7	雜	O段多条RL・LRの結束部分の横位凹軸施文。内面横撹で。	①織縫②赤褐色③羽部	関山		
8	10・21	O段多条RL・LRの結束部分の横位凹軸施文。内面横撹で。	①織縫②赤褐色③羽部	関山	-10	
9	雜	L・R斜縫文（現状）。底面にも施文。	①織縫②に赤褐色③底部	関山?	-	
10	雜	L・R斜縫文（現状）。底面にも施文。	①織縫②に赤褐色③底部	関山	-	
11	雜	口縫下に継ぎ刺の列を入れた縫帶。縫帶底下にR・Lの側面圧痕。燃系瓦痕の間に刺切文。平口縫。	①織縫②赤褐色③口縫部	花壇下層	-	
12	雜	撹れた表面に斜位の刺切文。	①織縫②暗赤色③刺部	花壇下層	-	
13	雜	S本1組巻状工具の曲線と直線からなる筋骨文。口縫端同種刺突列。	①細砂粒②赤褐色③口縫部	諸磯a	-	
14	雜	S本1組巻状工具の筋骨文。継ぎ刺突列。	①細砂粒②赤褐色③刺部	諸磯a	-	
15	雜	口縫に沿うR・R・L・Lの燃系瓦痕。円形竹管の刺突。波状口縫。	①織縫②赤褐色③口縫部	花壇下層		
16	雜	幅広C字形刺突列の木葉状弧線入組み文。波頂下に穿孔。波状口縫。	①細砂粒②暗赤褐色③口縫部	諸磯a	-	
17	土坑2	横位刻込み入り箇所。刺切文。	①織縫②暗赤褐色③口縫部	花壇下層	J P 139 内	
18	雜	口縫部横位欠羽根状集合沈線。継位貝殻状貼付文。平口縫。内肉。	①細砂粒②に赤褐色③口縫部	諸磯c	-	19と同一
19	5	口縫部横位欠羽根状集合沈線。継位貝殻状貼付文。平口縫。内肉。脚部継位集合沈線。	①細砂粒②に赤褐色③口縫部	諸磯c	+17	
20	6	横位平行比線。口縫下折折。	①細砂粒②暗赤褐色③刺部	諸磯b	+2	
21	8	全周横撹で。平口縫。口縫端の4箇所に3箇1組の棒状T足の脚部圧痕。	①砂粒②に赤褐色③口縫～刺部中位		-30	
22	雜	全周横撹無し研磨。浅鉢。	①砂粒②暗赤褐色③底部	諸磯b	-	
23	6・12・14・ 15・17	R L斜縫文。同縫を開けて多段状に巡らす平行沈線の集合沈線。続い平口縫。口縫部内傾。	①砂粒②に赤褐色③LJ 縫～脚部中位	諸磯b	-	
24	1	R L斜縫文。同縫を開けて多段状に巡らす10本1組の横位集合沈線。續い平口縫。口縫部内傾しそこにボタン状貼付文。①砂粒②に赤褐色③口縫～脚部下半。諸磯b + 9	①砂粒②に赤褐色③口縫～脚部下半	諸磯b	-	
25	3	R L斜縫文。外縫の広がる平底。	①砂粒②に赤褐色③口縫～脚部	諸磯b	-11	
26	雜	多段状巻状工具の横位集合沈線。脚部中位に横位欠羽根状集合沈線。外縫の広がる平底。	①砂粒②に赤褐色③脚部下半	諸磯c	-	J 42・23と接

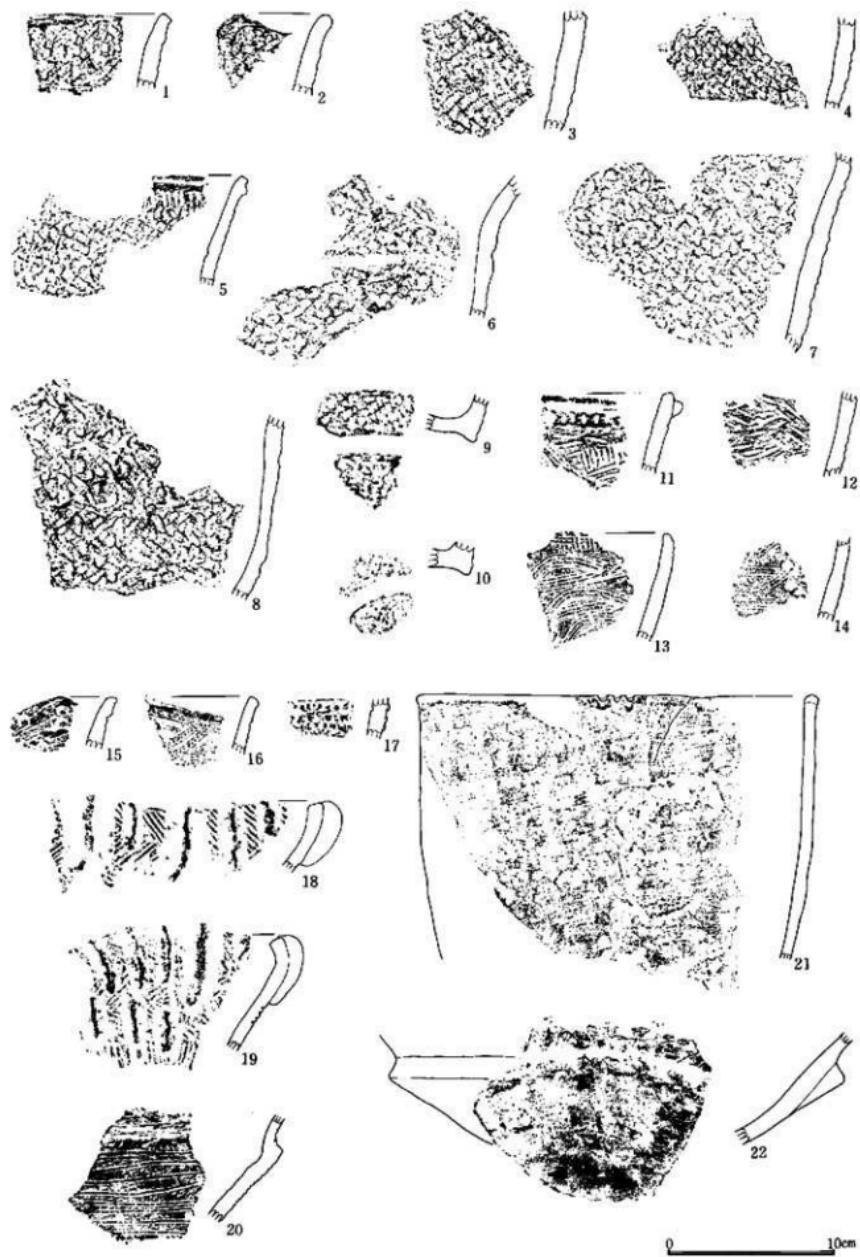
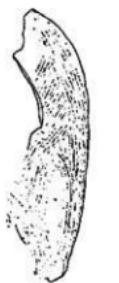
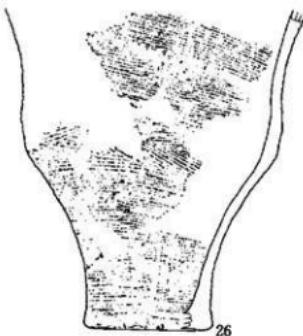
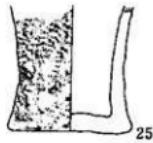
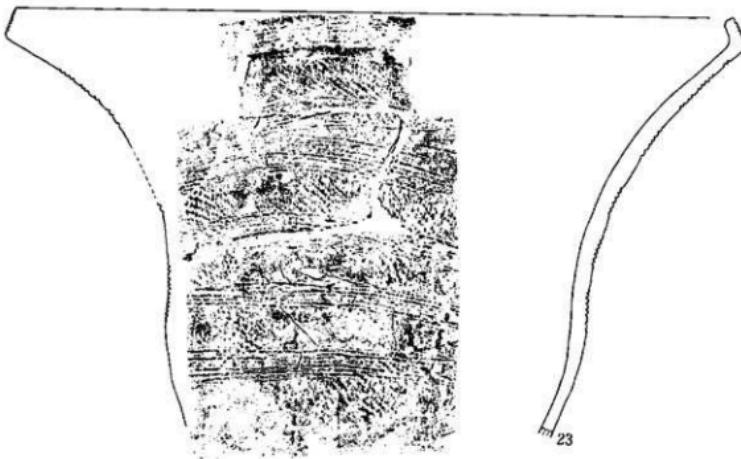


图-220 J52号住居跡(5J-2)出土工具(1)



0 10cm

圖-221 J52號住居跡(5J-2)出土土器(2)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③焼成	時期	出土位置	備考
27	3	5本1組櫛状工具の絞り及び矢羽根状集合沈棒。大波状口縁突起。	①砂粒②にぼい・黄褐色③LII 縁部突起。	諸磯C	-11	

表一137 J52号住居跡(5J-2)出土石器属性表

No	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備考	
									A	B	a	b	c		
1	椎	打製石斧	11.6	7.5	2.3	196	黒安	25	—	—	—	—	酒1	— 覆	
2	6	〃	9.4	4.3	1.4	66	黒質	20	—	—	—	—	滅1	— +2	
3	椎	〃	(6.4)	4.7	1.8	60	〃	—	—	—	—	—	欠	—	
4	椎	〃	(4.1)	3.2	1.1	25.5	〃	60	—	—	—	—	滅2	欠 欠	
5	椎	〃	(6.2)	5.0	1.6	54	〃	30	—	—	—	—	—	— 覆	
6	椎	磨製石斧	(10.2)	6.5	3.8	413	点片	—	歛1	歛1	欠	歛1	歛1	覆	
7	椎	直刃削器	8.1	8.3	1.5	83	黒質	25	—	—	—	—	—	— 覆	
8	椎	凸刃削器	5.4	5.6	1.7	44	〃	70	—	—	—	—	—	— 覆	
9	椎	複刃削器	(6.1)	5.2	1.6	50	〃	35	—	—	—	—	—	直刃 覆	
10	椎	〃	(5.4) (4.8)	0.7	23	〃	15	—	—	—	—	—	—	凸・直刃 覆	
11	椎	石核	7.1	8.0	5.3	315	黒安	—	—	—	—	—	—	— 覆	
12	椎	円錐石器	9.8	7.3	4.1	344	安	—	凹2	凹2	歛1	歛1	歛2	歛1	覆
13	椎	〃	6.2	5.2	3.3	149	〃	—	擦1	擦1	歛1	歛1	—	—	覆
14	椎	〃	9.5	7.0	4.4	376	〃	—	凹1	凹1	—	—	歛2	歛2	覆
15	椎	敲き石	12.2	5.4	4.2	395	紅	—	歛1	歛1	歛1	歛1	—	—	覆
16	椎	〃	15.3	6.2	3.7	581	安	—	歛2	火	—	—	—	歛1	覆
17	椎	砥石	9.8	5.7	3.6	316	結片	—	擦2	—	—	—	欠	欠	覆
18	9	石皿	(21.4)	(7.7)	5.3	890	黒片	—	擦1	—	—	欠	欠	—	欠 +5

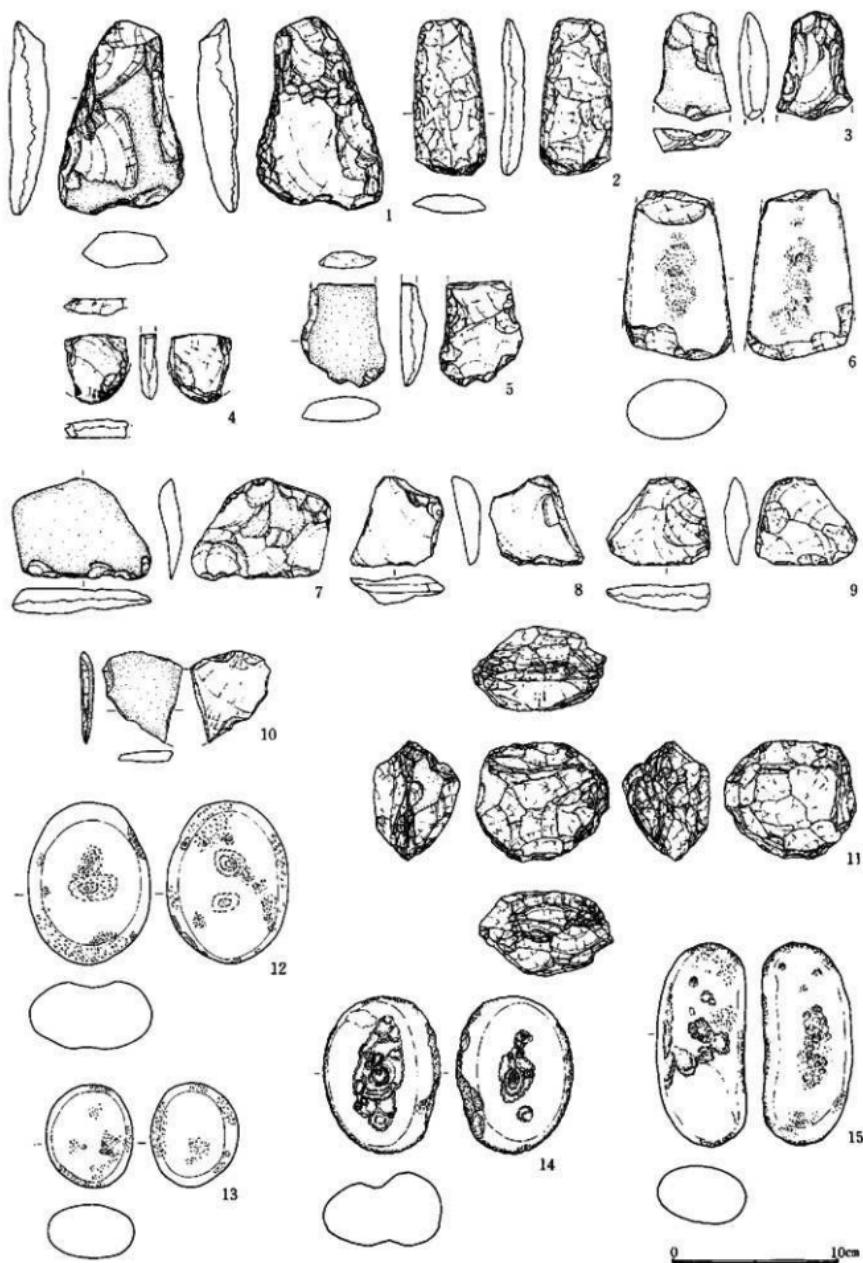


图-222 J 52号生活跡(5J-2)出土石器(1)

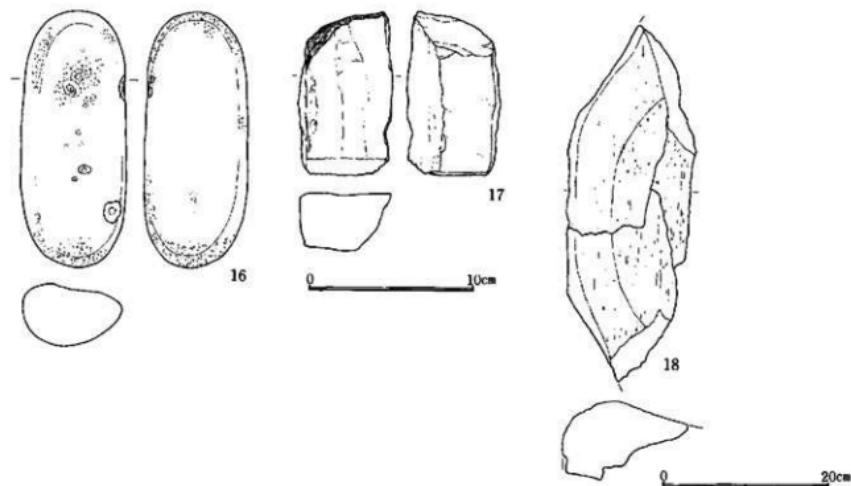


図-223 J 52号住居跡(5J-2)出土石器(2)

表-138 J 52号住居跡(5J-2)石器器種・石材別一覧表

器種	石 打 斧 并 斧 等	石 尖 錐 器	石 鑿 器	骨 付 刃	凸 刃	凹 刃	支 刃	復 刃	頭 刃	扶 刃	被 刃	礫 刃	R F	U F	雷 石	轍 石	圓 石	石 縫 縫	多 孔	凹 面	河 石	砥 石	石 片	石 核	その 他	計
石材																										
黒色頁岩	4				1	1			2														42		50	
頁岩																								2	2	
黑色安山岩		1																					36	1	38	
安山岩																								6	10	
斑岩																									1	
黒曜石																									4	
黒色片岩																									2	
結晶片岩																									3	
花崗岩片岩		1																							1	
計	5	1			1	1		2								2	3		1		1	83	1	10	111	

表-139 J 53号(5J-3)住居跡出土土器觀察表(図-224 図版-110・111)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①粘土 ②赤褐色 ③既存	時期	出土位置	備考
1	1・3・4	O段3条RL・LRを上下交互に施文する羽状繩文。口縁端縁文施文。平口縁。口縁下で若干くびれ外反。①織維、石英含み中砂粒②黒褐色～にぼい黄褐色③口縫～副部中位 関山? 床底 +4				
2	1	RL?。器面荒れ。縹い波状口縁。	①織維中砂粒②黄褐色③口縫部	関山?	+ 4	
3	1	RL?。器面荒れ。縹い波状口縁。	①織維細砂粒②浅黄色③口縫部	関山?	+ 4	
4	1	O段多朱LRループ。	①織維細砂粒②黒色③口縫部	関山	+ 4	
5	1	LR(現状)	①織維②黒褐色③口縫部	関山?	+ 4	
6	12	閉鎖筋O段3条RL・LR羽伏縫文。	①織維細砂粒②海灰色③口縫部	関山?	+ 3	
7	1	結束(第1種) RL・LR羽状繩文。	①織維②にぼい黄褐色③口縫部	関山?	+ 4	
8	7	RL・LR上下交互施文の羽状繩文。	①織維②にぼい黄褐色③口縫部	関山?	+ 8	
9	1	RL・LR上下交互施文の羽状繩文。	①織維②にぼい黄褐色③口縫部	関山?	+ 4	

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①削土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
10	5	肩部施で、内凹ぎみ。	①削土 ②よい黄褐色 ③肩部	関山?	+ 2	
11	5	全面横施で、全面段位の不規則な割切文。	①削土 ②よい黄褐色～黒褐色 ③山腹～頂部	関山	床面	

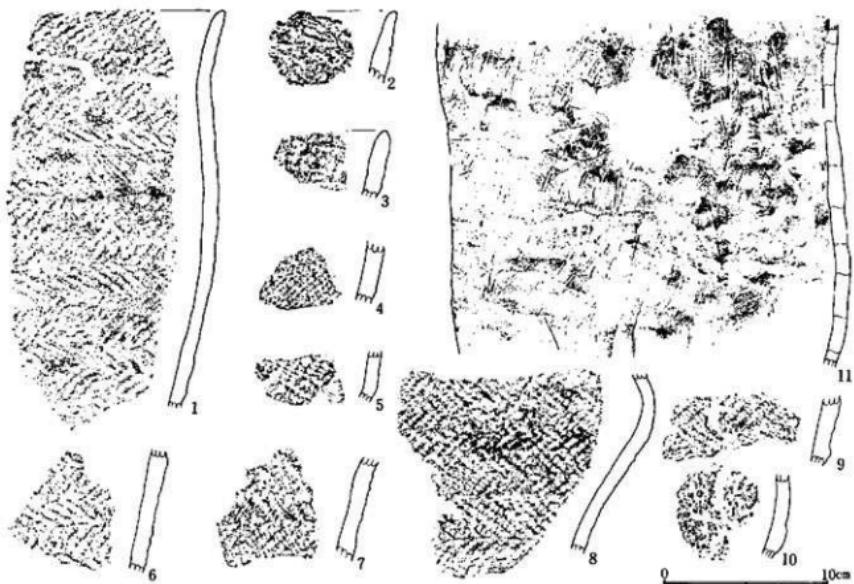


図-224 J 53号住居跡(5 J-3)出土土器

表-140 J 53号住居跡(5 J-3)出土石器属性表

No	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・種度					備考
									A	B	a	b	c	
1	2	直刃削器	7.9	5.1	1.2	41	黒質	25	—	—	—	—	—	火 + 2
2	2-10	凸刃削器	16.5	10.5	2.0	362	#	45	—	—	—	—	—	火 + 4
3	6	#	7.4	4.5	0.7	21	#	20	—	—	—	—	—	床底下
4	14	U F	5.7	8.6	1.4	62	#	40	—	—	—	—	—	交刃 + 3
5	8	#	9.5	4.7	1.7	52	#	30	—	—	—	—	—	複刃 + 5
6	1	棒状石器	11.4	4.3	1.8	118	黑片	—	—	—	敲1	敲1	—	— + 4
7	1	#	12.3	3.7	1.4	89	#	—	—	—	敲1	敲1	—	敲1 + 6
8	離	円錐石器	13.6	8.7	5.1	880	安	—	擦1	擦1	敲1	敲1	敲1	擦→擦 剥
9	1	#	10.8	7.3	3.7	427	#	—	擦1	擦1	—	—	—	+ 7
10	1	石 磨	40.3	33.0	6.8	10,400	#	—	擦1	—	—	—	—	+ 12

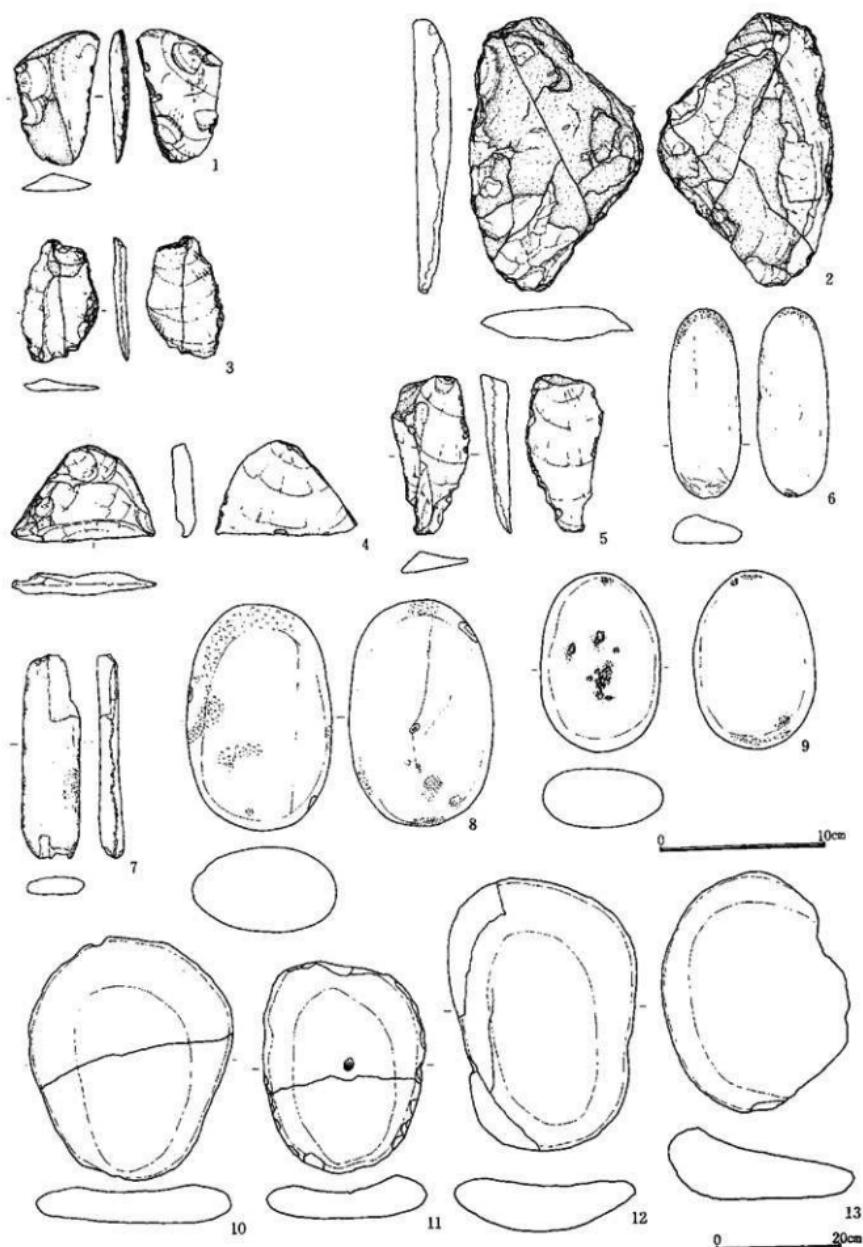


图-225 J 53号住居跡(5 J - 3)出土石器

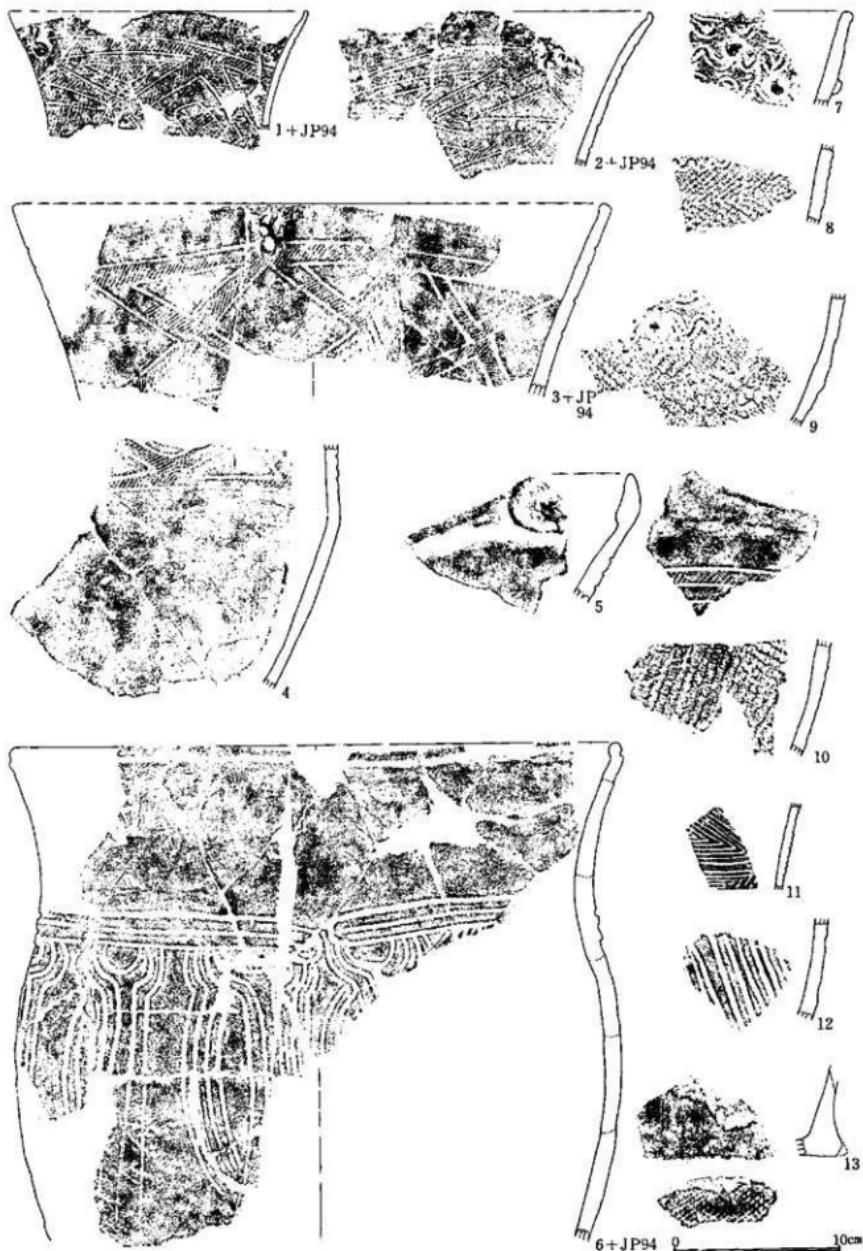
No	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(Kg)	石材	刃角	使用痕・表着痕の位置・程度						備考
									A	B	a	b	c	d	
11	9	石皿	35.0	26.2	7.0	7,600	#	-	擦1・凸1	-	-	-	-	-	+2
12	8	#	44.7	30.5	9.3	14,800	#	-	擦1	-	-	-	-	-	床直
13	雜	#	39.1	30.2	12.0	9,800	#	-	擦1	-	-	-	-	-	覆

表-141 J53号住居跡(5J-3)石器器種・石材別一覧表

石材	打	磨	石斧	尖頭器	石刀	背付	直刃	凸刃	凹刃	交刃	複刃	縫入	抉形	楔形	R	U	断面	円石	棒	棒状	凹	多孔	凹石	鉢	石片	計			
																										その他	計		
黒色頁岩							1	2									2									3		8	
安山岩																											2		10
黒色片岩																											2		2
計							1	2									2		2	2	4				3	4	20		

表-142 J54号(5J-4)住居跡出土土器観察表(図-226 図版-110・111)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①粒状	②色調	③残存	時期	出土位置	備考
1	雜	細く浅い沈線によって三角の沈線重ね。8字状貼付文。①細粒②黒褐色③残存	堀之内2	-	J P94・228と接			
2	雜	底帯には細かな刻みと8字状貼付文。三角や菱形を基調とする沈線重ね。②纏文L Rが充填される。	堀之内2	-	J P94・229と接			
3	雜	沈線と充填纏文L Rで文様構成。三角と菱形の沈線が重ねられる。8字状貼付文。	①中粒②灰黄褐色③口縁部	堀之内2	-	J P94・235と接		
4	雜	沈線と充填纏文L Rで文様構成。三角と菱形の沈線が重ねられる。8字状貼付文。	①中粒②灰黄褐色③口縁部	堀之内2	-	3と同・個体		
5	雜	小波状口縁。横位の平行沈線と纏文L Rが充填。突起には門孔。	①細粒②湖灰色③口縁部	加曾利B	-	J P94の可能性		
6	雜	口縁に1条の平行沈線。肩部に横方向の3条の沈線。それ以下にY字形が12位で施文。	①中粒②灰黄褐色③%	堀之内1	-	J P94・256と接		
7	雜	コンバス文と羽状纏文の貼付。	①纏文②浅黄褐色③口縁部	閑山	-			
8	雜	コンバス文と円形突起。羽状纏文はL RとR L。	①纏文②青褐色③口縁部	閑山	-			
9	雜	コンバス文と円形突起。O段多条L Rで羽状構成。	①纏文②青褐色③肩部	閑山	-			
10	雜	O段多条R Lで羽状・菱形構成。	①纏文②灰黄褐色③肩部	閑山	-			
11	雜	三角形を重ねた沈線。纏文R Lの充填施文。	①細粒②にい黄褐色③肩部	堀之内2	-	J P94の可能性		
12	雜	継位の沈線。	①中粒・白色氷目②にい黄褐色③肩部	堀之内1	-	J P94の可能性		
13	雜	無文部。底部には網代底。	①中粒②橙色③底部	堀之内	-	J P94の可能性		



图—226 J 54号住居跡(5 J—4)出土土器

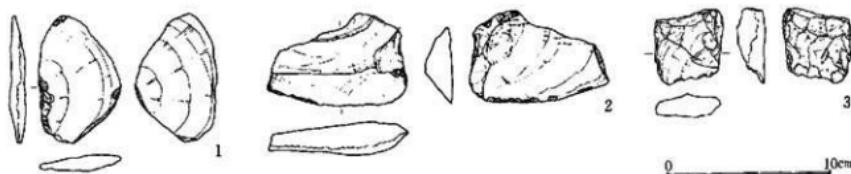


圖-227 J54号住居跡(5.J-4)出土石器

表-143 154号住居跡(5.1=4)出土石器属性表

No	遺物 番号	器 種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 度 (mm)	重 量 (kg)	石材	刃角	使用痕・裂き痕の位置・程度					備 考
									A	B	a	b	c	
1	2	凸刃雨刷	(4.9)	7.6	1.0	35	麻貫	20	-	-	-	-	-	+ 6
2	鍬	U	F	8.3	5.5	1.7	80	〃	35	-	-	-	-	覆
3	鍬	R	F	4.4	4.1	1.7	36	〃	-	-	-	-	-	覆

表-144 154号住居跡（5.1=4）石器整理・石材別一覧表

表一-145 J55号(5J-5)住居跡出土土器觀察表(图一-228 图版一-112)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・基形の特徴	①縞模②にい褐色③口縁部	時期	出土位置	備考
1	雜	口縁下よりR Lループ。平口縁。	①縞模②にい褐色③口縁部	関山	-	
2	雜	R L・L Rループの羽状繩文。平口縁。外反。内面横位崩き。薄手。	①縞模②にい褐色③口縁部	関山	-	
3	8	R L・L Rループの羽状繩文。R Lのループ。	①縞模②にい褐色③胸部	関山	床面	
4	4	R L・L Rループの羽状繩文。	①縞模②にい褐色③胸部	関山	+28	
5	2	O段3条ループの横位施文。	①縞模②褐色③胸部	関山	+20	
6	1	撫でた面にRまたはLが入る。	①縞模②にい褐色③胸部	関山	+6	
7	雜	不明確なO段2本の交差する付加状	①縞模②褐色③胸部	関山	-	
8	9	Lの間隔を開けた絶条件。	①縞模②にい褐色③胸部	関山	+22	
9	1	Lの間隔を開けた絶条件?	①縞模②浅黄褐色③胸部	関山	+6	
10	雜	O段多条のR L・L R羽状繩文。底面にも施文。上げ底ぎみ。	①縞模②褐色③底面～胸部	関山	-	
11	雜	口縁下撫で。斜格子状に入れた刻切文。縹い波状口縁。外反。	①縞模②にい褐色③口縁部	花街下層	-	
12	雜	C字形刻突列の菱形文。円形竹青削突。縹い波状口縁。結節繩文。	①縞模②にい褐色③口縁部	関山	-	
13	雜	斜位平行沈線。貝殻状貼付文。口縁端刻み列。平口縁。	①砂利②にい褐色③口縁部	路標c	-	

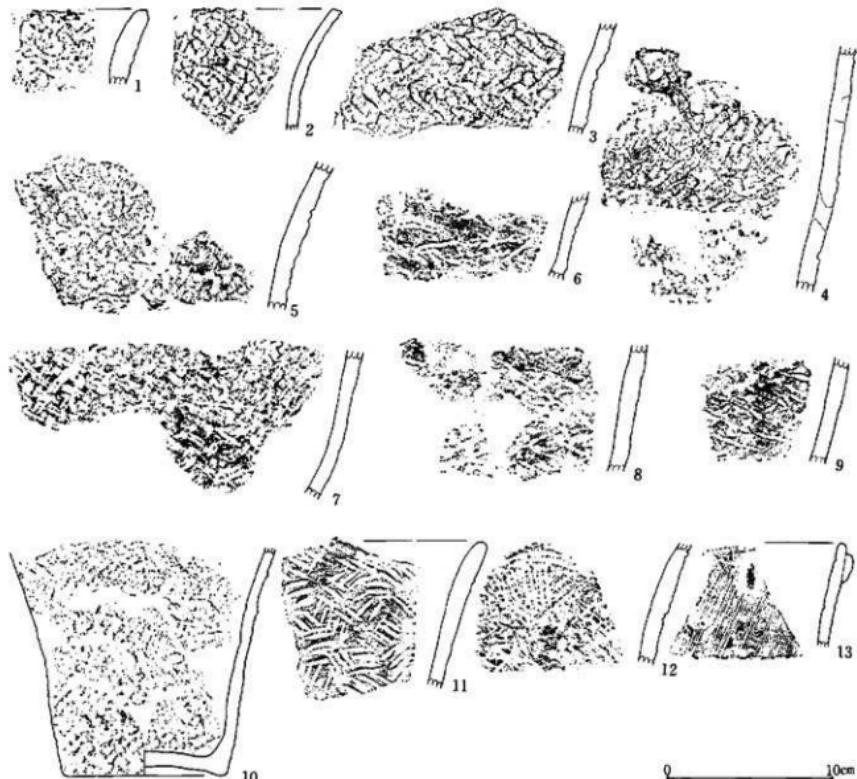
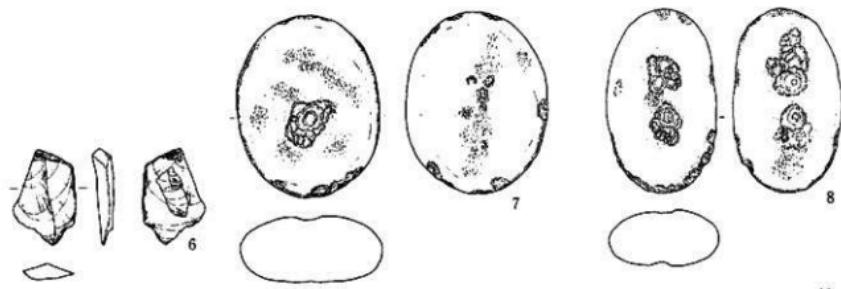
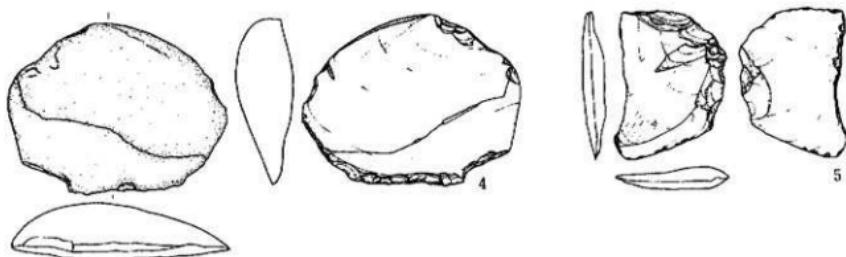
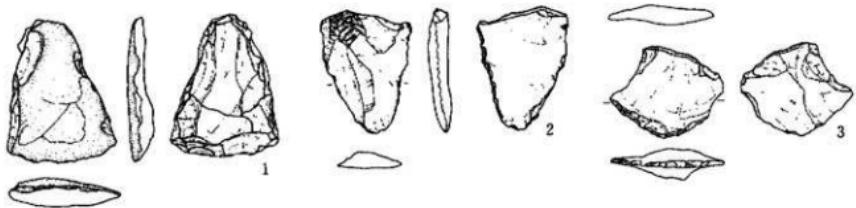


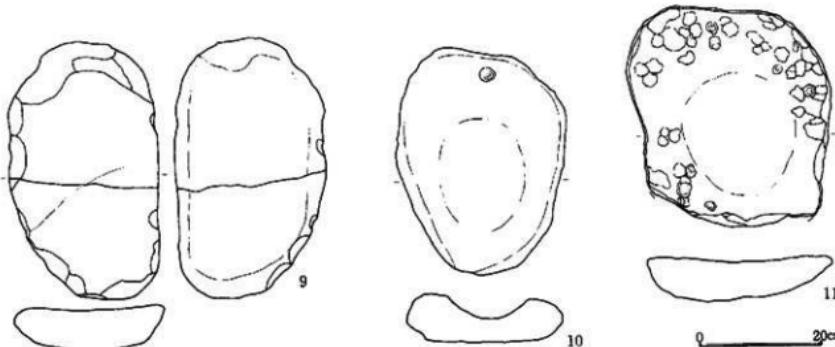
図-228 J 55号住居跡(5 J - 5)出土石器

表-146 J 55号住居跡(5 J - 5)出土石器属性表

No.	遺物 番号	器 種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	石材	刃角	使用痕・装着板の位置・程度						備 考
									A	B	a	b	c	d	
1	12-3	楕 器	8.5	6.5	1.5	66	黑安	45	—	—	—	—	—	—	火・同一個体 +11
1	12-3	刀	4.5	3.2	0.6	10	#	--	—	—	—	—	—	—	火・同一個体 +11
1	12	刀	6.0	4.5	0.8	25	#	—	—	—	—	—	—	—	火・同一個体 覆
2	6	直刃削器	7.3	5.4	1.3	47	黑頁	30	—	—	—	—	—	—	床面下
3	16	凸刃削器	5.5	6.3	1.9	47	#	50	—	—	—	—	—	—	覆
4	16	刀	10.1	13.1	3.4	488	#	60	—	—	—	—	—	—	+13
5	11	凹刃削器	6.8	8.8	1.3	67	黑質	25	—	—	—	—	—	—	+10
6	16	U F	5.8	3.8	1.3	21	#	40	—	—	—	—	—	—	覆
7	17	円錐石器	10.9	8.5	4.0	569	安	—	椭1・凹1	椭1→椭2	椭1	椭1	椭1	椭1	+7
8	13-2	石 刀	11.0	6.7	3.5	389	#	—	凹2	凹2	椭1	椭1	椭1	椭1	覆
9	3-2	石 刀	42.2	24.3	9.3	1,660	#	—	椭2	—	—	—	—	—	床面



0 10cm



0 20cm

图-229 J55号住居跡(5J-5)出土石器

No.	遺物 番号	器 種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	石材	刃角	使用痕・表着紙の位置・程度						備 考
									A	B	a	b	c	d	
10	14	石 刀	37.0	27.2	8.1	5,300	安	一	擦2	—	—	—	—	—	+5
11	15	〃	36.0	33.2	7.6	12,500	リ	一	擦2	—	—	—	—	—	床直

表一-147 J55号住居跡（5.J-5）石器整理・石材別一覧表

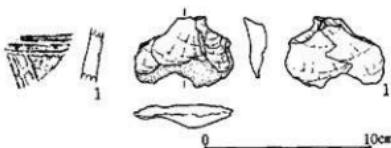


图-230 J56号住居跡(5.J-6)出土土器・石器

表-148 J56号（5.J-6）住居跡出土土器觀察表（図-230）

番号	遺物番号	文様構成・文様趣文・図形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
1	唯	撫で。平行弦線。	①及粒②によい褐色③頬部	諸磯 b	--	

表一149 J56号住居跡（5.J-6）出土石器属性表

No	選物 番号	器 種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	石材	刃角	使用痕・蓄着痕の位置・程度					備 考	
									A	B	a	b	c		
1	鍬	U	F	4.2	5.9	1.4	25	瑪質	40	—	—	—	—	—	復

表-150 J56号住居跡(5J-6)石器器種・石材別一覧表

表-151 J57号(5J-7)住居跡出土土器観察表(図-231 図版-112)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
1	雜	O段多条RL。縹の波状口縁。口縁端に刻み列。	①繊維細砂粒②灰褐色③口 縁部	開山	--	
2	雜	RL・LRL羽状面文。平口縁。口縁端内外縁若干肥厚。	①繊維中砂粒②にい青滑 色③L縁部	開山?	--	
3	雜	O段3条LR。	①繊維細砂粒②灰褐色③口 縫部	開山?		

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
4	縁	O段3条RL・L・RL羽状繩文。RL痕間隔。	①織紋細砂粒②にい黄橙色③剥離	関山?	—	5と同一
5	縁	縫隙間O段3条RL。内面横擦で。	①織紋細砂粒②にい褐色③剥離	関山?	—	
6	縁	O段多条RL。尖底土器とみられる。	①織紋細砂粒②灰褐色③底部	関山?	—	
7	縁	L・L・L・Lの組合。内面横擦で。	①織紋細砂粒②にい褐色③底部	関山?	—	

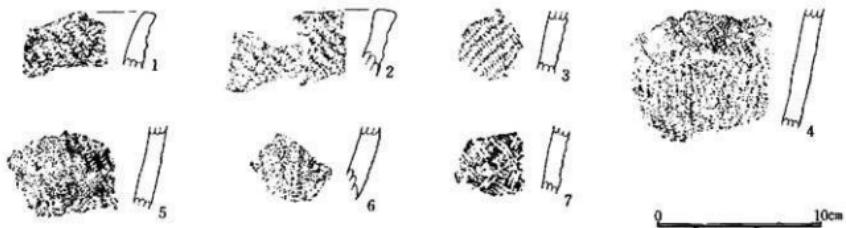


図-231 J57号住居跡(5J-7)出土土器

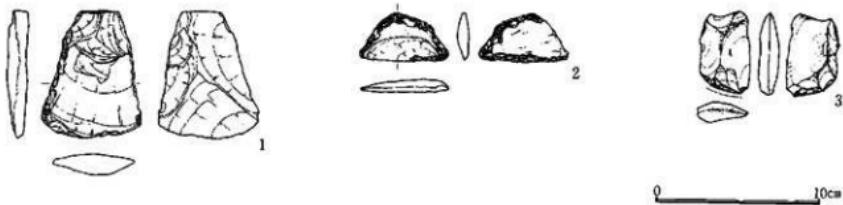


図-232 J57号住居跡(5J-7)出土石器

表-152 J57号住居跡(5J-7)出土石器属性表

No.	遺物 番号	器種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備考
									A	B	a	b	c	
1	縁	柳刀削器	7.6	6.0	1.2	52	不明	40	—	—	—	—	—	複
2	縁	柳形石器	5.3	2.8	0.8	32	*	—	—	—	—	直	—	複
3	縁	交刃削器	4.9	3.1	1.2	19	*	60	—	—	—	—	—	複

表-153 J57号住居跡(5J-7)石器種・石材別一覧表

石材	石打磨	石磨	石尖頭	石頭	骨	骨付	骨刃	刃	刃	刃曲	斜	斜块	楔	楔	K	U	磨	敲	円	石	棒	石	棒	多	凹	石	棒	石片	棒	その他	計
石 鐵																													3		
その他																													3		
計																													3		

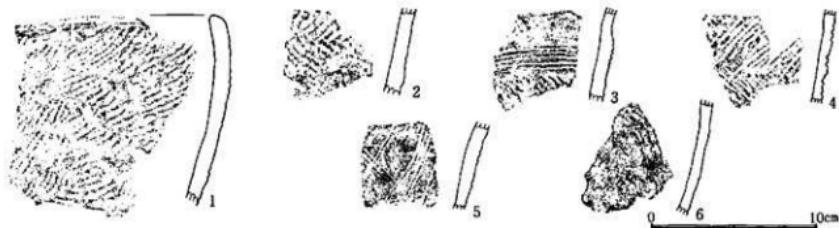


図-233 J 58号住居跡(5 J - 8)出土土器

表-154 J 58号(5 J - 8)住居跡出土土器観察表(図-233 図版-112)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存 口縁部	時 期	出土位置	備 考
1	1	全面L斜縞文。平口縁。内側。	①中砂粒②によい赤褐色③口縁部	縄織 b	+ 6	
2	雄	O段3条R L L R羽状縞文。	①少豆織②によい褐色③口縁部	無織	-	
3	雄	R斜縞文。微位集合沈線。	①細砂粒②によい橙色③口縁部	縄織 b	-	
4	雄	平行沈線の矢羽根状集合沈線。	①中砂粒②によい黄色③口縁部	縄織 c	-	
5	雄	斜位交差する平行沈線。	①中砂粒②によい褐色③口縁部	縄織 b	-	
6	雄	R斜縞文(開扇開く)。	①砂粒②によい赤褐色③口縁部	縄織 b	-	

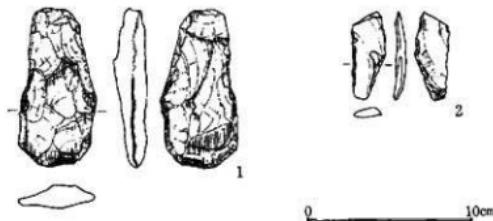


図-234 J 58号住居跡(5 J - 8)出土石器

表-155 J 58号住居跡(5 J - 8)出土石器属性表

No	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重 量(g)	石材	刃角	使 用 痕・装 着 痕 の 位 置・程 度					備 考	
									A	B	a	b	c	d	
1	2	打製石斧	9.6	4.6	2.0	75	黑質	45	減3	減3	-	減3	減2	減2	P.内
2	雄	U F	5.3	2.1	0.7	6	#	25	-	-	-	-	-	-	腹

表-156 J 58号住居跡(5 J - 8)石器種・石材別一覧表

石材	石打斧	磨石	石斧	尖頭器	石刀	石矛	石器	骨器	骨刀	骨矛	骨刀	骨矛	骨刀	骨矛	R U	磨石	石刀	石矛	石刀	石矛	多孔狀	凹口石	鋸齒狀	石片	石核	その他	計
黑色頁岩	1															1										2	
計	1																1										2

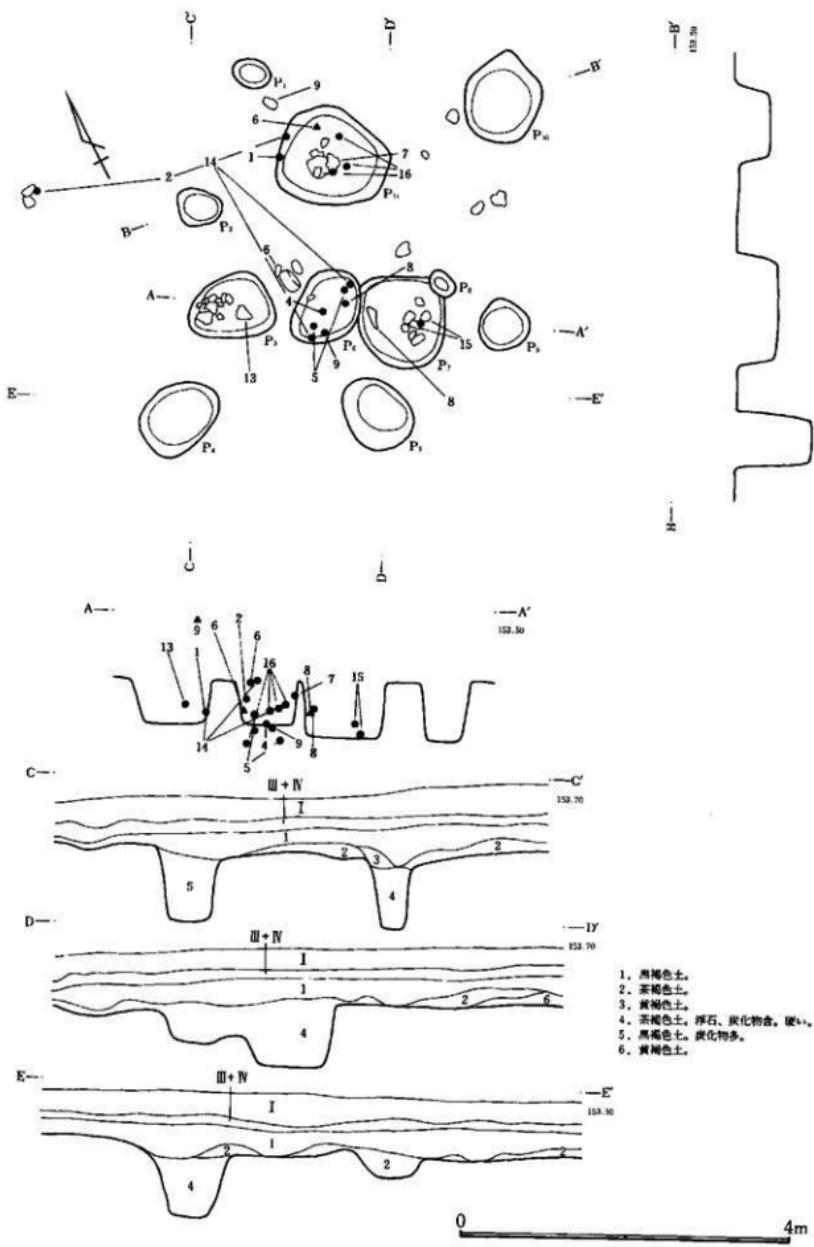


图-235 J P群 I (J28号住居跡)

3. 土 坑

JP群一 (JP 28号住居跡) (図-235~239、表157~159、図版-22・96・97・133・149)

位置 西側台地南西部のP-3区に位置する。南には住居跡が多く検出されており、本跡の西には敷石住居跡が5軒検出されている。本跡は当初JP28号住として扱った遺構であるが、立ち上り等の検出に至らなかった。このことから今後の検討を要するが、ここでは土坑群扱いとして記述する。

形状 計11個のピットから成る。P₁は径43×32cm、深さ49cm。P₂は径53×45cm、深さ95cm。P₃は径99×78cm、深さ55cm。P₄は径102×78cm、深さ95cm。P₅は径94×76cm、深さ35cm。P₆は径90×69cm、深さ53cm。P₇は径109×105cm、深さ80cm。P₈は径35×24cm、深さ70cm。P₉は径63×61cm、深さ73cm。P₁₀は径113×95cm、深さ45cm。P₁₁は径130×120cm、深さ53cmである。中央のピットが大きく、周囲のピットが小さい傾向にあるが、配置にさ特別の規格は認められない。遺物出土は中央のP₃、P₆、P₇、P₁₁に認められた。ピットは円筒形の断面である。遺物 土器は称名寺1・2式を主とする。いずれも原個体は大きいものが多い。石器は石錐、磨製石斧、打製石斧、UF、円礫石器等が出土している。

(井野)

表-157 JP群一1号土坑出土土器観察表 (図-236・237・238 図版98・99)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
1	40	やや剥離がよくなる平口縁の深鉢。4単位に組合せられており、内側で細部工具で施文される。施文しRを縁部に施文。	①細粒②黄褐色③X	称名寺1	P ₁ 内	
2	25・42	2単位の突起を中心にして文様区画がなされる。施文しRが充填される。	①中粒②淡黄色③口縁部	称名寺1	P ₁ 内 P ₂ 西側	
3	日113縦	突起を有する口縁部には沈縫。底部は沈縫による文様が施され、列点が付される。	①中粒・白色粘土②淡黄色 ③口縁部	称名寺2	—	
4	28	微隆起と円形刺突で文様構成。J字文やO字文が施文しRを貫入する形で配される。	①中粒②淡黄色③胴部	称名寺1	P ₁ 内	
5	31・35	微隆起区画で2段のJ字文が施される。J字文に沿って円形刺突が連続して施文。	①中粒②淡黄色③胴部	称名寺1	P ₁ 内	4と同一個体
6	4・繁	沈縫区画による施文しR。	①中粒・白色粘土②淡黄色 ③口縁部	称名寺1	P ₁ 北東側	
7	19	底部中央がくびれる深鉢。沈縫と充填施文しR。施文の充填は互文を基準。	①中粒・砂粒②暗色③X	称名寺1	P ₁ 内	
8	11・縦	4単位。口縁部がすばまる深鉢。口縁部にC字状貼付。3本の沈縫で向かい合うJ字文。中の沈縫に沿って刺突。	①中粒・砂粒②灰黄色③X	縫之内1	P ₁ 内	
9	32・縦	沈縫と細長い列点。	①中粒②淡黄色③胴部	称名寺2	P ₁ 内	
10	縦	把手。内側には円孔を中心に刺突と連続沈縫が描出。	①中粒②橙色③把手	称名寺	—	
11	縦	把手。内側に凹孔、外側には陰帯と沈縫。	①中粒②淡黄色③把手	称名寺	—	
12	縦	把手。円孔を有する。文様は沈縫と刺突による列点で構成される。	①中粒②淡黄色③把手	称名寺	—	
13	2	小波状口縁。突起はC字状の盛り上がり。沈縫区画は4単位のY字文で構成。	①細粒②淡黄色③口縁部	称名寺2	P ₁ 内	
14	6・12・42 縦	4単位の波状口縁が大きく開く深鉢。波頂部の口唇にC字状の沈縫。Y字文が4単位で描出。	①粗粒②黒褐色③X	称名寺2	P ₁ 内	
15	16・27	造形上翻。微隆起区画の孤縫。	①孤縫②橙色③胴部	加曾利E	P ₁ 内 4?	
16	21・22・36 38・44	無文上縁。口縁が内傾する深鉢。口縁部に横方向の縫で3~4条。底部以下は部分的に研磨。	①中粒・砂粒②暗色③X	縫之内?	P ₁ 内	



图-236 J P群-1出土土器(1)

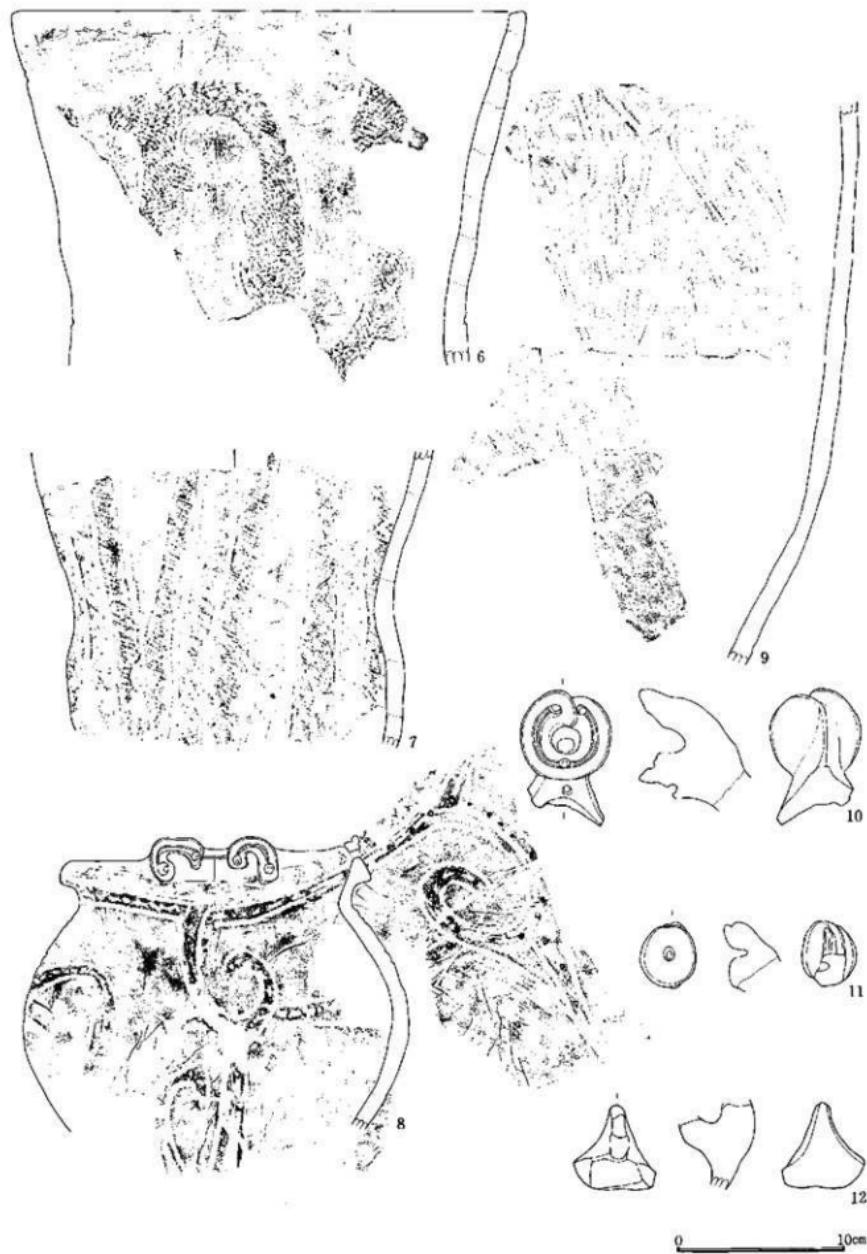


図-237 J P群-1出土土器(2)

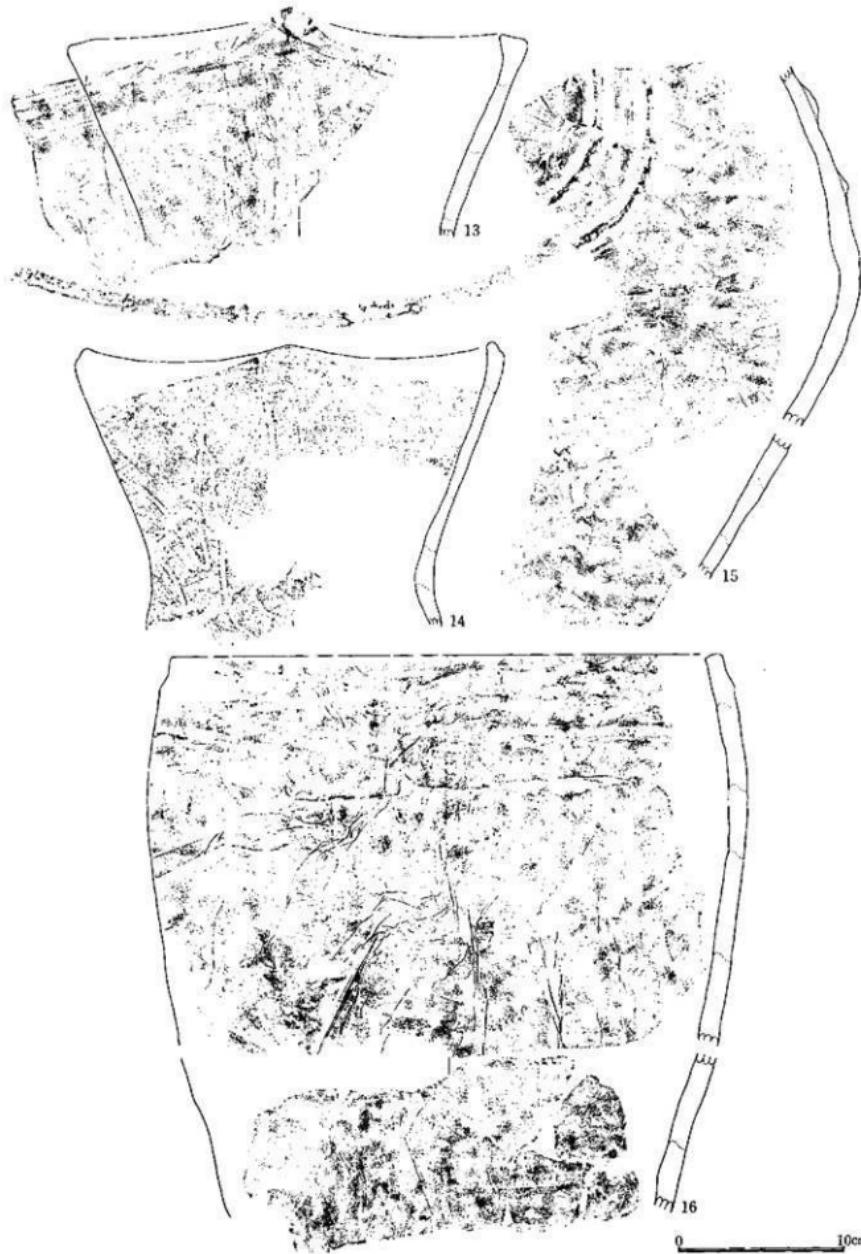


図-238 J P 碑-1 出土土器 (3)

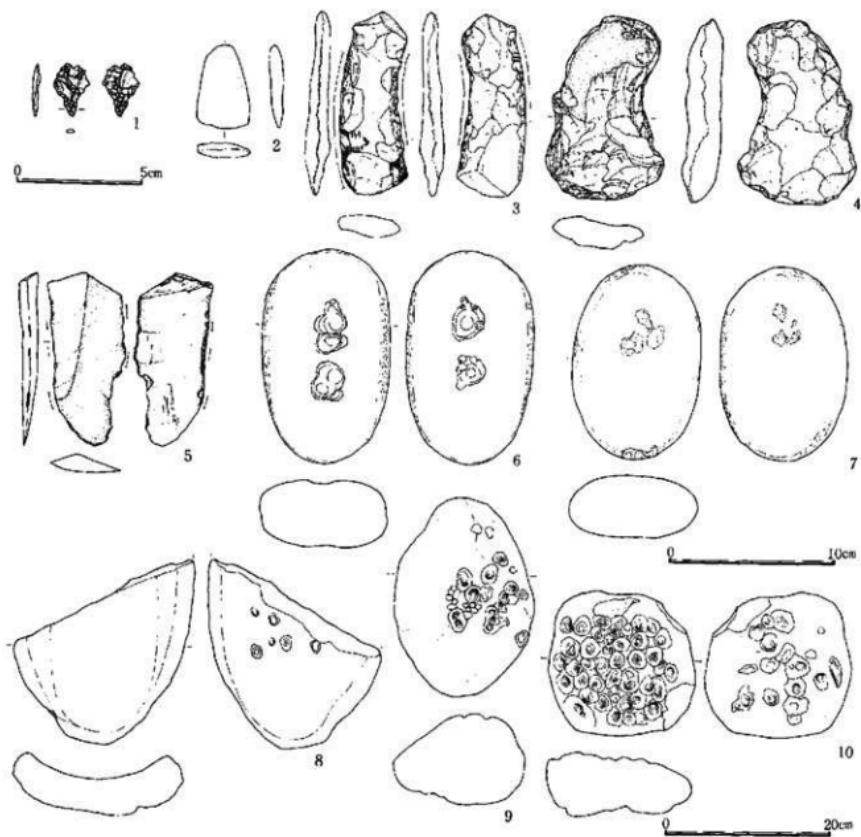


図-239 JP群-I出土石器

表-158 JP群-I (J28) 出土石器属性表

No.	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	石材	刃角	使用痕・着着痕の位置・程度						横考
									A	B	a	b	c	d	
1	縫	石縫	2.1	1.4	0.3	0.6	黒	-	-	-	-	-	-	-	縫
2	縫	磨製石斧	4.9	3.2	0.9	25	蛇	40	-	-	-	-	-	-	縫
3	縫	打製石斧	11.0	4.1	1.5	64	黒安	35	-	-	-	-	-	-	縫 縫
4	縫	#	11.1	7.1	2.3	202	#	50	-	-	-	-	-	-	縫
5	縫	U F	10.3	4.7	1.0	46	珪質	25 45	-	-	-	-	-	-	直刃・複刃 縫
6	24	円礫石器	12.8	7.7	4.0	608	安	-	縫2→円2	擦2→円2	縫2	縫2	縫2	縫2	擦→凹 P内
7	縫	#	11.7	7.7	3.8	535	#	-	縫1→擦1	擦1→縫1	縫1	縫1	縫1	縫1	縫→擦 縫
8	13	石皿+多面石	(22.4)	(21.5)	9.6	2,200	#	-	擦2	凹多	欠	-	-	-	欠 P内

No.	遺物 番号	器種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備考
									A	B	a	b	c	
9	26	多凹石	24.0	17.0	11.0	4,970	n	—	凹多	嚴3	—	—	—	P.北側
10	総	#	17.5	17.2	8.2	3,000	n	—	火→凹多	火・凹多	火	火	火	火→凹複

表-159 JP群-I (J28) 石器種・石材別一覧表

石材	石	打	磨	石	尖	石	挫	背	直	凸	凹	交	複	鋸	抜	櫛	R	C	U	F	石	石	敲	凹	石	縫	右	多	凹	延	刃	石	縫	その	計
	黒色頁岩	無	有	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無		
珪質頁岩																															22				
頁岩																																1			
黑色安山岩	2																															6			
安山岩		2																														2	7		
蛇紋岩		1																															1		
黒曜石		1																															1		
砂岩																																3	3		
計		2	1	1																											31	3	44		

JP 1号土坑 (図-240、図版-46)

B-3区-3・4・13・14。円形で袋状の断面を呈す。方位はN-17°-E。規模は、上部が長径×短径×深さ(以下同じ)が150×126×110cm、下面が98×72cm。重複はない。埋土は暗褐色土で、焼土、木炭の小粒を含む。

JP 2号土坑 (図-240、図版-46)

F-4区-3・13。上面は楕丸の方形だが、底は2つに分かれ。方位はN-94°-E。規模は212×122×124cm、底面(西)は90×90cm、(東)は90×70cm、2つのピットの重複とも考えられる。新旧は不明。

JP 3号土坑 (図-240、図版-46)

F-6区-38・39・48・49。上面は円形であるが、底は長円形を呈す。方位はN-67°-E。規模は216×200×150cm、底面が174×50cm。重複はない。埋土は砂質の黒褐色土で、木炭、焼土を含む。周囲に小ピット5個を配する。

JP 4号土坑 (図-240・252、表-160、図版112)

K-6区-42・52。上面は不整円形で底部は斜めに掘り込まれている。方位はN-15°-W。規模は284×118×86cm、中段は147×35cm、底が77×27cm。II77号住の西壁に重複する。埋土はローム混りの暗褐色土。垂直の土層堆積であり、自然のものか。黒浜?期の土器片が出土している。

JP 5号土坑 (図-240、図版-46)

K-7区-58・59・69。上面は長円形に近いが、底面は円形。摺鉢状の断面を呈す。方位はN-29°-W。規模は358×224×116cm、底面は51×47cm。H65号住、W92と重複。上面内側に小ピットを作り。黒色土にローム塊混りの埋土。

JP 6号土坑 (図-240・252、表-160、図版-112)

P-3区-99、N-3区-9。隅丸方形に近い平面で、直に掘り込まれている。方位はN-28°-E。規模は135×118×94cm、底面は115×101cm。重複はない。円筒形の凹面をもつ。称名寺1・2式の土器片が出土している。

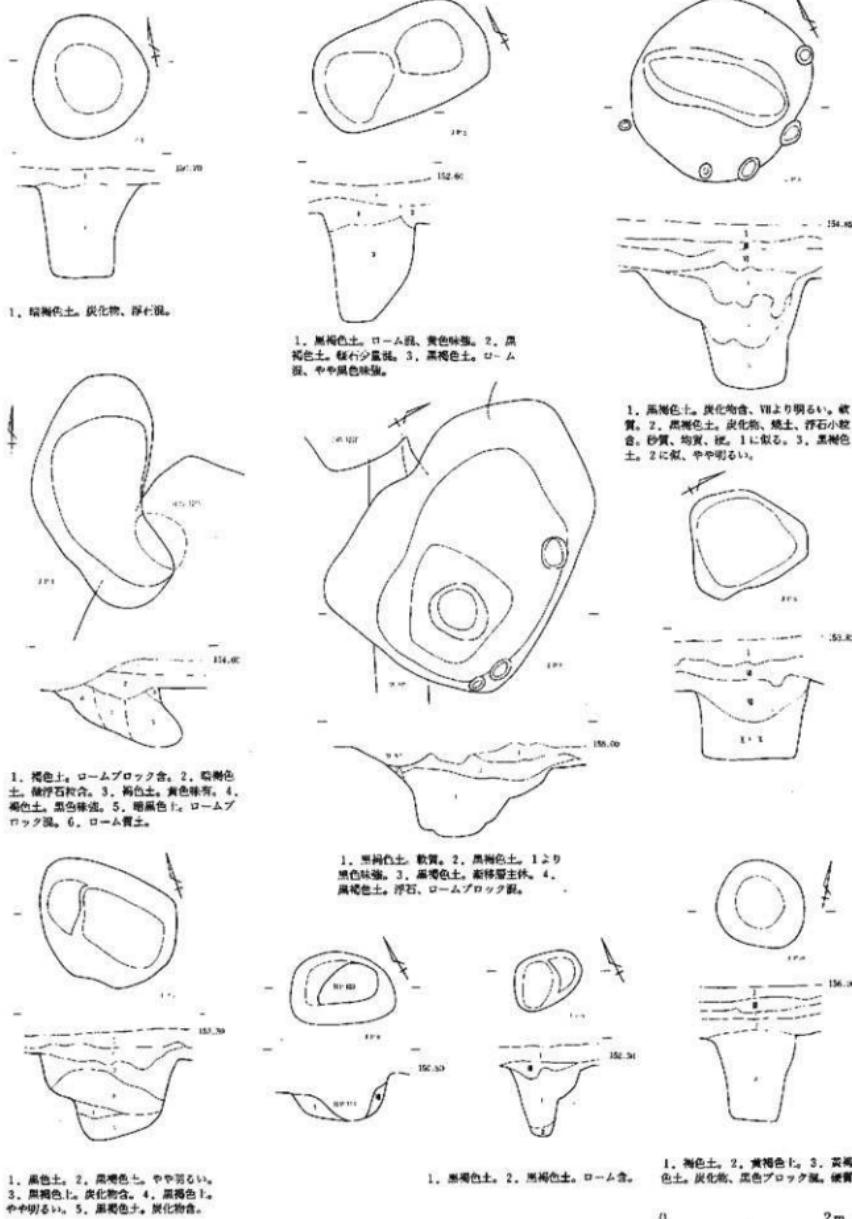


図240 J.P.1～10号上坑

J P 7号土坑 (図-240・252・262、表-160~162、図版-46・112・113・114・145)

R-2区-63。平面は長円形であるが、底面は二段となり、一部袋状。底面は長方形。方位はN-38°-W。規模は186×135×131cm、底面は112×44cm。断面図は先掘り状態ではない。炭化物を含む黒褐色土がうめる。根の痕跡か。称名寺2式を主とする土器と打製石斧、円錐が出土している。

J P 8号土坑 (図-240・252・262、表-160~162、図版-46・113・114・145)

S-1区-49。長円形の平面で浅い。方位はN-59°-W。規模は127×86×37cm、底面は87×50cm。H P 123と重複する。称名寺1・2式の上器を主として出土。打製石斧3個が出土する。

J P 9号土坑 (図-240・252・253・262、表-160~162、図版-47・113・145)

R-2区-63・64。方形に近い平面をもつ。方位はN-82°-W。規模は76×66×68cm、底面は54×30cm。J P 117と重複する。J P 9が新しい。円筒形に近い断面。称名寺1式と加曾利E 4式の土器が出土。他に打製石斧が出土した。

J P 10号土坑 (図-240・253・262、表-160~162、図版-47・113・145)

R-7区-62。円形。円筒形の断面を呈す。方位はN-36°-W。規模は118×104×102cm、底面は63×57cm。J P 11に接する。加曾利E 4式の土器片と打製石斧が出土している。

J P 11号土坑 (図-241、図版47)

R-7区-52。円形。円筒形の断面。方位はN-44°-W。規模は120×120×57cm、底面は108×86cm。重複はない。J P 10に接し、土層でみるとJ P 11の埋土がJ P 10の上層の埋土となっており、J P 11が新しい。

J P 12号土坑 (図-241、図版47)

R-8区-33・34。半円形で大きい。方位はN-3°-W。規模は376×176×139cm。底面には小ピットや段差がある。断面は階鉢状で深い。埋土に炭化物を含む。

J P 13号土坑 (図-241、図版47)

R-8区-74・75。不整形。方位はN-32°-W。規模は上面が224×198×36cm。浅く、底面には凹凸が多い。中央部が高いように見える。土層とも合わせてみると、自然の根跡とも考えられる。

J P 14号土坑 (図-241・253、表-160、図版-47・113)

U-11区-88・89。円形。方位はN-12°-E。規模は104×96×54cm、底面は91×85cm。円筒形に近い断面であるが、一部袋状を呈す。埋土は木炭を含む黒褐色土。磨石、凹石が出土している。

J P 15号土坑 (図-241、図版-47)

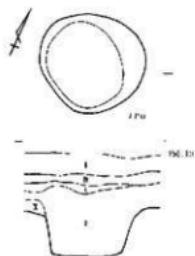
S-11区-41。推定円形。グリッドの試掘で掘り抜かれており規模等は推定。断面は浅く、掘り込み面に17石を検出する。大小あるが、レベルはほぼそろっている。黒浜式の土器片が出土している。配石遺構とも考えられる。

J P 16①号土坑 (図-241、図版-47)

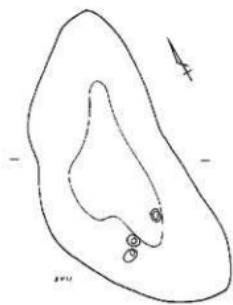
U-11区-27・28。円形。方位はN-59°-E。規模は127×100×46cm、底面は112×84cm。小粒の炭化物が混入。一部袋状の断面をなす。

J P 16②号土坑 (図-241)

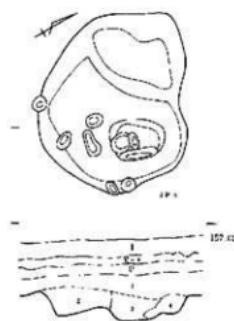
T-15区-21。円形。方位はN-2°-W。規模は129×117×50cm、底面は80×62cm。浅く広い底部。炭化物を含む。



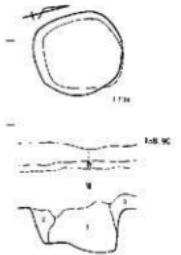
1. 黑褐色土。2. 暗褐色土。
3. 黑色灰土。黑色灰强、しまる。



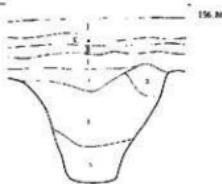
1. 暗褐色土。2. 黑褐色土。3. 黄褐色土。
4. 黄褐色土。炭化物、砾石合。5. 黑褐色
土。ローム合。



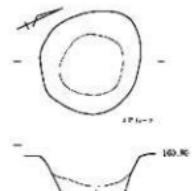
1. 黑褐色土。2. 暗褐色土。褐色
胶合。3. 黑褐色土。若干下褐色
胶合。4. 黄褐色土。



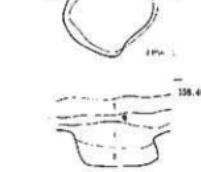
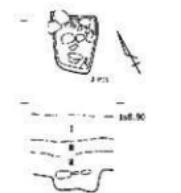
1. 黑褐色土。炭化物合、黑褐色ロー
ム、ブロック状。2. 暗褐色土。
3. 黄褐色土。ロームブロック混。



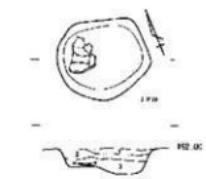
1. 暗褐色土。2. 黑褐色土。3. 黄褐色土。
4. 黄褐色土。炭化物、砾石合。5. 黑褐色
土。ローム合。



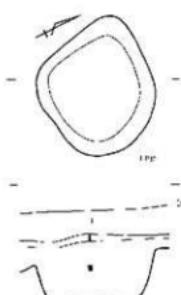
1. 黑褐色土。炭化物、砾石、若干下褐色胶合。



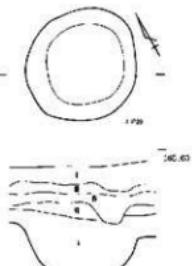
1. 黑褐色土。2. 黄褐色土。ブロック
状。3. 黄褐色土。炭化物胶合。砾石。



1. 黑褐色土。ロームブロック混。2.
黑色土。若干ロームブロック混。3. 黑褐色
土。ローム混。筋質有。砾質。



1. 黄褐色土。ローム混。



1. 黑褐色土。若干炭化物胶合。非常に硬質。



图-241 J P 11~20号土坑

J P 17号土坑 (図- 241・253、表- 160、図版- 113)

S -16区-49。円形。方位はN-52°-W。規模は171×145×61cm、底面は127×112cm。やや深く広い。黒浜式の土器片が出土している。

J P 18号土坑 (図- 241、図版48)

S -16区-50。円形。方位はN-69°-W。規模は124×108×35cm、底面は78×72cm。J P 108と重複。J P 18が新しい。浅い皿状の底を呈す。

J P 19号土坑 (図- 241・253・262、表- 160-162、図版- 113・145)

R -17区-72-82。円形。方位はN-68°-W。規模は112×98×32cm、底面は94×78cm。H 98号住の床面下で検出。現状は浅い皿型。諸磯a式と黒浜?式の土器片が出土している。石器は打製石斧が出土している。

J P 20号土坑 (図- 241、図版- 48)

Q -19区-76。円形。方位はN-67°-E。規模は144×129×64cm、底面は104×97cm。浅く広い皿状の断面。底面は平坦。埋土中に小粒の炭化物を含む。

J P 21号土坑 (図- 242、図版- 48)

R -15区-59-68-69。長円形。方位はN-31°-W。規模は264×114×39cm、底面は203×56cm。やや摺鉢型に近い断面。あまり深くはない。埋土は黒褐色土である。

J P 22号土坑 (図- 242、図版- 48)

U -17区-85。長円形。方位はN-74°-W。規模は155×116×35cm、底面は144×110cm。断面は一部袋状を呈す。埋土は上部に炭化物を含む。

J P 23号土坑 (図- 242、図版- 48)

Q -16区-99、P -16区-8-9。不整長円形。方位はN-23°-W。規模は七面が240×166×63cm、中段が136×113cm、底面が125×108cm。広く浅く皿状の断面。二段底でレベル差は20cm。炭化物が混じる。

J P 24号土坑 (図- 242・253・263、表- 160-162、図版- 48・113・146)

R -101区-67。円形。方位はN-22°-E。規模は120×106×86cm、底面は84×61cm。やや深い摺鉢状の断面。埋土中に炭化物、浮石含む。諸磯a式の土器片出土。石器は円錐と敲き石が出土している。

J P 25号土坑 (図- 242・253、表- 160、図版- 48・113)

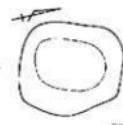
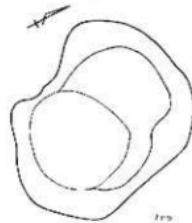
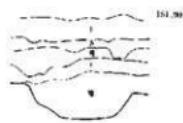
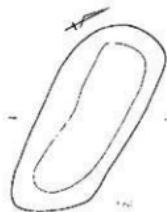
Q -101区-7。円形。方位はN-31°-W。規模は131×118×71cm、底面は107×106cm。円筒形に近い断面を呈す。埋土には炭化物と焼土を多く含む。黒浜式を主とし、諸磯a式の土器も出土している。

J P 26号土坑 (図- 242・253、表- 160、図版- 49・113・114)

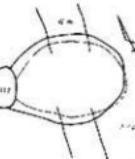
Q -1区-63-64。円形。方位はN-21°-W。規模は204×172×114cmで、底面は166×159cm。断面は袋状を呈す。2・3層は根の擾乱によるものか。諸磯a式と関山?式の土器片が出土している。

J P 27号土坑 (図- 242、図版- 49)

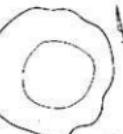
R -101区-49。長円形。方位はN-69°-W。規模は140×110×44cmで、底面は135×91cm。一部袋状断面で、浅く広い。W 88と H P 112が重複する。



1. 黑褐色土。炭化物含。褐色味氣。
2. 深褐色土。浮石含。3. 褐色土。
若干炭化物、浮石含。

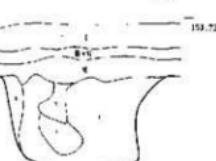
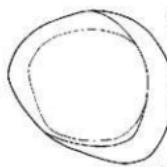


1. 黑褐色土。黑色味強。2. 褐
褐色土。3. 深褐色土。褐色味強。



1. 黑褐色土。ローム含。2. 褐色土。ロ
ムブロック。炭化物、浮石含。3. 黑
褐色土。炭化物、C級石。褐色多孔含。硬質。し
ま。4. 黑色土。3層より細粒石英岩。5. 褐色
土。炭化物。YP 合。しまり有。

1. 黑褐色土。2. 褐色土。一部
暗褐色。白色颗粒含。3. 褐色土。
白色颗粒石。4. 褐色土。浮石含。5. ローム質土。
1に似る。



1. 黑褐色土。非常に硬質。2. 黑褐色土。
1より硬い。3. 黄褐色土。褐色味強。1、
2よりしまり無。4. 黄褐色土。硬質。

1. 黑褐色土。炭化物少、硬む。2. 黑
褐色土。若干褐色ブロック含。硬質。3. 黑
褐色土。炭化物、浮石含。砂質。4. 褐色土。
褐色味強。炭化物、浮石含。5. ローム質土。

0 2m

図-242 J P 21~30号土坑

J P 28号土坑 (図-242・253・254・262、表-160～162、図版-49・114・145)

Q-101区-25。円形。方位はN-41°-E。規模は153×148×41cmで、底面は86×78cm。浅い圓状の断面を呈す。諸礪a式を主とし、黒浜式の土器も出土。石器は打製石斧が出土している。

J P 29号土坑 (図-242・254・262、表-160～162、図版-49・114・150)

Q-101区-76・77。方形。方位はN-42°-W。規模は141×126×68cm(現状)。底面は115×113cm。埋土中に多量の石材を含む。H大P 2号土坑と重複する。円筒形に近い断面。諸礪式を主とし、黒浜式、称名寺2式の土器片が出土。石器は打製石斧が出土している。

J P 30号土坑 (図-242・254・265、表-160～162、図版-49・114・150)

R-1区-52。円形。方位はN-61°-W。規模は158×145×89cm、底面は134×133cm。断面は円筒形。土層はやや砂質で、炭化物を含む。底面より石皿が出土。諸礪a式を主とする土器片が出土している。

J P 31号土坑 (図-243・254・263、表-160～162、図版-49・114・145)

R-1区-12・22。円形。方位はN-33°-W。規模は141×137×87cm、底面は124×113cm。円筒形の断面を呈す。埋土に炭化物粒を含む。土器は諸礪a、b式。獸面把手(猪)の他、石器は打製石斧、凸刃削器が出土している。

J P 32号土坑 (図-243・254、表-160、図版-49・114)

Q-101区-67。円形。方位はN-3°-W。規模は115×112×75cmで、底面は128×125cm。断面はやや深く袋状を呈す。炭化物が多く含まれている。土器は黒浜式。

J P 33号土坑 (図-243・254、表-160、図版-49・114)

N-1区-89。円形。方位はN-41°-W。規模は170×159×93cmで、底面は154×131cm。円筒形の断面。土器は黒浜式を主とし、諸礪式も出土している。底面近くより石材を検出。

J P 34号土坑 (図-243・254、表-160、図版-50・114)

N-1区-9、P-1区-99。円形。方位はN-88°-W。規模は134×121×68cmで、底面は101×98cm。円筒形に近い断面を呈す。埋土中に炭化物を少し含む。土器は諸礪a式。

J P 35号土坑 (図-243・254、表-160、図版-50・114)

N-1区-8。不整形。方位はN-0°。規模は148×137×40cmで、底面は73×69cm。浅く広い。地層断面からみると、西の小ピットは本跡に付属する。東の小ピットはJ P 109である。西の小ピットは深さ30cm。土器は称名寺1式と2?式。

J P 36号土坑 (図-243・254・255・262・263、表-160～162、図版-50・114・115・145)

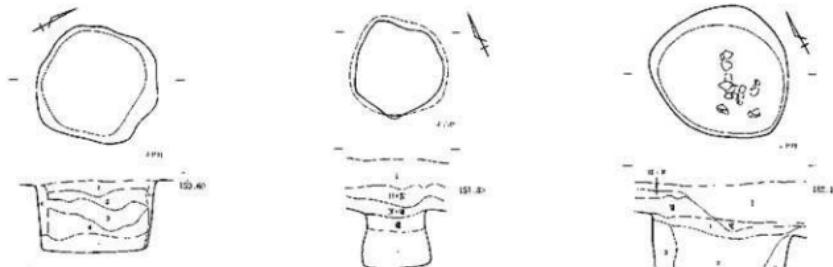
N-1区-1。円形。方位はN-27°-E。規模は208×162×90cmで、底面は128×123cm。円筒形に近い断面である。埋土中に炭化物と浮石を含む。土器は黒浜式。諸礪a式の他、阿玉台式が出土した。石器は打製石斧、円錐出土。

J P 37号土坑 (図-243・254、表-161～162、図版-50・150)

L-2区-14・24。円形。方位はN-53°-E。規模は132×125×83cmで、底面は106×98cm。円筒形の断面で、底面より焼石が多く出土している。石器は多面石が出土している。

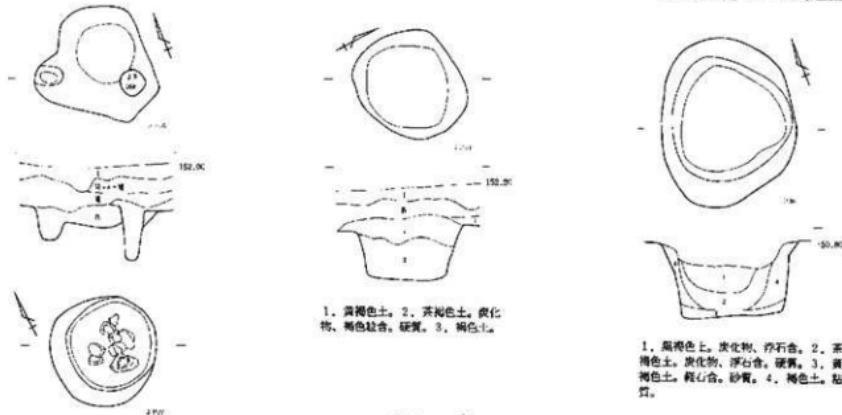
J P 38号土坑 (図-243・255、表-160、図版-50・115)

L-101区-24・25。半円形。方位はN-6°-E。規模は266×154×102cmで、底面は73×27cm。底面は二方向にひろがる。袋状になる部分もあり、底面は不整形。埋土に炭化物と焼土粒子を含む。土器は諸礪a式が出土している。



1. 黑色土。炭化物含、硬質、しまる。

1. 黑色土。2. 黄褐色土。褐色块状。硬質。3. 棕色土。口-人糞多量。



1. 黄褐色土。炭化物、浮石合。2. 黑褐色土。炭化物、浮石合。硬質。3. 黄褐色土。浮石合。砂質。4. 黑色土。粘質。



1. 黄褐色土。軟質。2. 黑褐色土。ローム、黄色块。炭化物少量。硬質。3. 黄褐色土。ローム主体。

0 2m

図-243 J P31~40号土坑

J P 39号土坑 (図-243・255・263・264、表-160~162、図版-50・115・145・146)

R-102区-68。長円形。方位はN-71°-W。規模は204×154×158cm、底面は152×70cm。J 25号住、W88と重複する。J 25とは新旧不明。竪穴状の深い土坑。埋土に少し炭化物を含む。土器は黒浜式と諸機a式が出土。石器は直刃削器と円鏃が出土している。

J P 40号土坑 (図-243、図版-50)

L-103区-7。円形。方位はN-68°-W。規模は135×128×70cm、底面は101×84cm。楕状の断面をもつ。

J P 41号土坑 (図-244、図版-50)

C-23区-9・10。半円に近い不整形。方位はN-29°-E。規模は262×142×98cm、底面は174×102cm。W89、H P 113と重複する。西壁は緩い傾斜であるが、東壁は直に近い。

J P 42号土坑 (図-244・263、表-161~162、図版-51・146)

H-14区-61・71。円形。方位はN-57°-E。規模は123×104×64cm、底面は109×91cm。上面でW66が走行。円筒形に近い断面で、埋土中には炭化物を多く含む。土器は諸磧b式。石器は複刃削器が出土している。

J P 43号土坑 (図-244、図版-51)

D-23区-36。円形。方位はN-61°-W。規模は195×71×61cm、底面は68×16cm。底部は長円形で、東壁は直におちこむ。

J P 44号土坑 (図-244、図版-51)

C-8区-39。長円形。方位はN-77°-W。規模は264×168×72cm、底面は174×91cm。摺鉢状の断面をもち、特異な土層をもつ。底面には細かい凹凸がある。根跡か。

J P 45号土坑 (図-244、図版-51)

D-8区-89・90・99・100。方位はN-13°-E。規模は218×196×138cm、底面は114×53cm。摺鉢状断面で深く、底は長方形に近い。埋土に焼土、炭化物を含む。

J P 46号土坑 (図-244・255、表-160、図版-51・115)

C-8区-79。長方形。方位はN-2°-E。規模は169×87×36cm、底面は137×67cm。H147号住の床面下であり、上部は削平をうけているものと考えられる。平坦な底面をもつ。土器は黒浜式が出土。

J P 47号土坑 (図-244、図版-51)

ニ-24区-21。円形。方位はN-65°-W。規模は122×117×44cm、底面は103×97cm。円筒形に近い断面をもつ。

J P 48号土坑 (図-244・264、表-161・162、図版-51・146)

M-20区-57。円形。N-55°-W。規模は104×93×54cm、底面は54×47cm。やや円筒形に近い断面を呈すが、壁は緩やかなところが多い。多凹石が出土している。

J P 49号土坑 (図-244、図版-51)

M-20区-75・85。円形。方位はN-2°-E。規模は140×135×75cm、底面は58×32cm。楕形の断面を呈す。埋土に炭化物・焼土を含む。

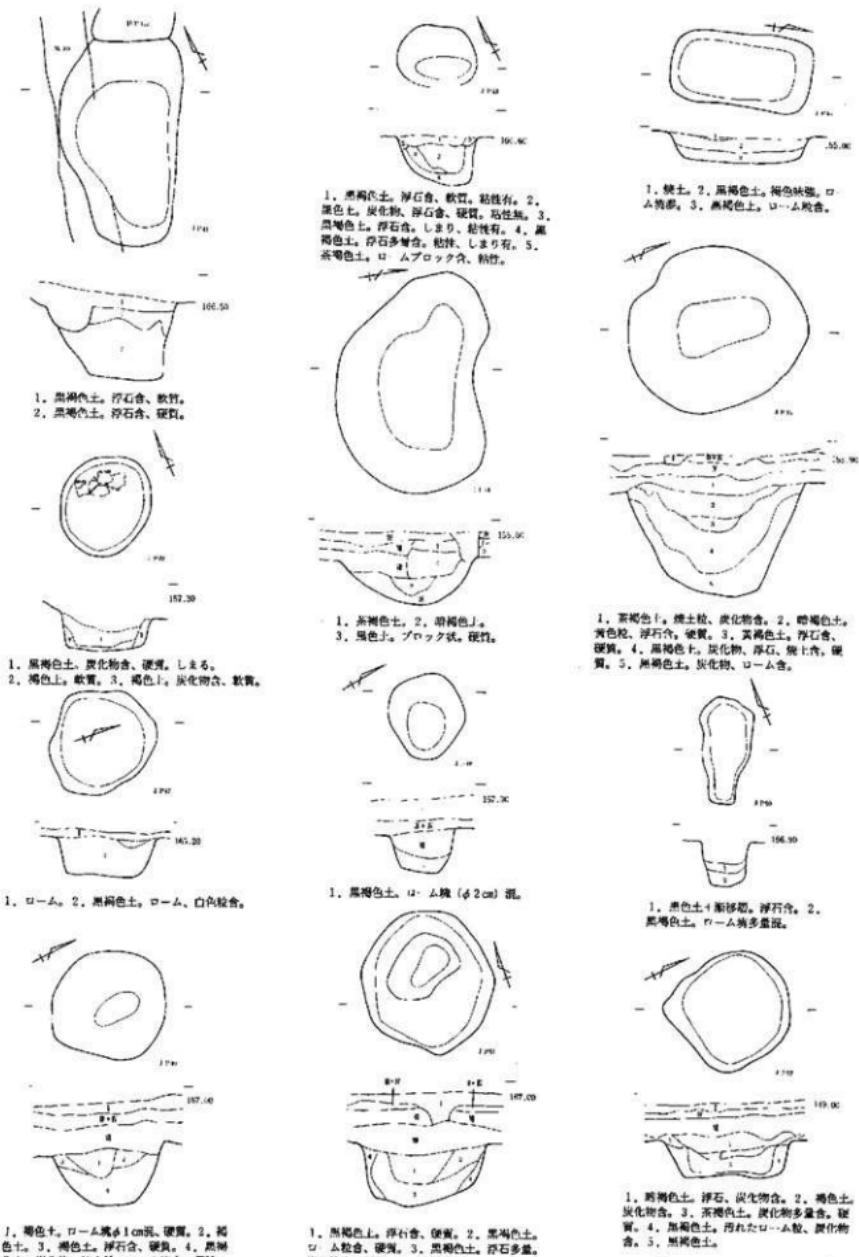


図-244 J P41~52号土坑

J P 50号土坑 (図-244、図版-52)

M-20区-67。長方形。方位はN-27°-E。規模は126×58×53cm、底面は116×42cm。平面は長方形で、底面に凹凸がある。

J P 51号土坑 (図-244、図版-52)

K-21区-2・3、L-21区-92。円形。方位はN-10°-E。規模は176×158×80cm、底面は92×60cm。断面は楕円形に近いが、途中に段をもつ。下層に炭化物を少し含む。

J P 52号土坑 (図-244、図版-52)

P-102区-64。円形。方位はN-6°-W。規模は136×133×46cm、底面は116×112cm。浅く広い。断面は円筒形に近い。埋土中には炭化物を多く含む。

J P 53号土坑 (図-245・256、表-160、図版-52・115)

P-103区-73。円形。方位はN-21°-E。規模は208×159×61cm、底面は189×148cm。円筒形の断面をもち、広く浅い。埋土中に炭化物を含む。土器は黒浜式、諸磯a式、花積下層式が出土している。

J P 54号土坑 (図-245・256、表-160、図版-52・115)

P-102区-53。円形。方位はN-27°-E。規模は120×114×49cm、底面は100×94cm。楕円形の断面をもつ。J P 52と隣接して位置する。炭化物を少し含む。土器は黒浜式が出土。

J P 55号土坑 (図-245・256・262、表-160-162、図版-52・115・145)

P-101区-67。円形。方位はN-16°-W。規模は133×113×104cm、底面は111×83cm。楕円形の断面。埋土中に焼石をもつ。土器は黒浜式と諸磯a式が出土。石器は磨製石斧が出土している。

J P 56号土坑 (図-245・256・264、表-160-162、図版-52・115・146)

P-1区-62・72。円形。方位はN-27°-W。規模は158×158×69cm、底面は82×80cm。円筒形に近い断面を呈す。埋土中に焼土粒や炭化物を多く含む。土器は黒浜、諸磯a、称名寺2、加曾利E 4?、花積下層式が出土。石器は円錐2個が出土している。

J P 57号土坑 (図-245・256・257・264、表-160-162、図版-52・115・116・146)

N-103区-29。円形。方位はN-52°-W。規模は119×115×55cm、底面は106×104cm。円筒形の断面。広く浅い。埋土の上層には炭化物が多く含まれる。土器は黒浜式を主とし、諸磯a式も下層より多く出土。石器は円錐石器が出土している。

J P 58号土坑 (図-245・257、表-160、図版-53・116)

P-101区-44-45。円形。方位はN-25°-E。規模は188×150×37cm、底面は162×125cm。円筒形に近い断面をもつ。底面の中央に上面径38×33×33cm、底面径23×22cmの小ピットをもつ。埋土に炭化物を少し含む。J P 62と重複する。J P 62が新しい。土器は諸磯a式を主とし、黒浜式が出土している。

J P 59号土坑 (図-245・257・263、表-160-162、図版-53・116・145)

P-1区-3。円形。方位はN-20°-E。規模は96×94×37cm、底面は79×70cm。円筒形に近い断面をもつ。土器は黒浜式と加曾利E 4-称名寺式のものが出土。石器は鋸齒縁石器が出土している。

J P 60号土坑 (図-245・257、表-160、図版-53・116)

N-102区-48。円形。方位はN-20°-W。規模は131×113×35cm、底面は119×105cm。J 39・61号住、H 127号住と重複する。J 39とは新旧不明。円筒形に近い断面で、炭化物、焼土を埋土に多く含んでいる。土器は黒浜式が出土。

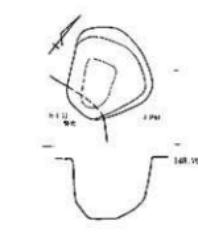
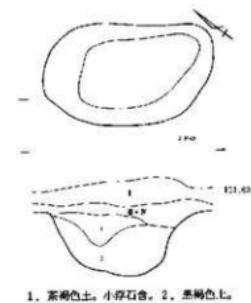
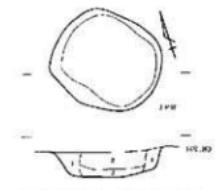
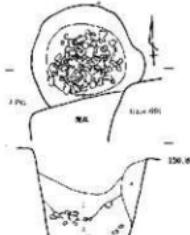
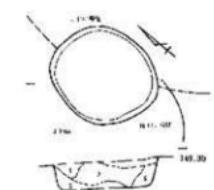
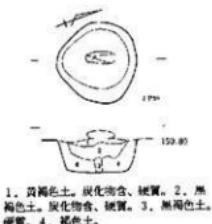
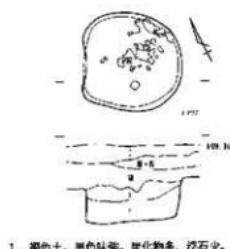
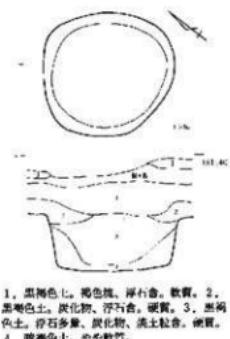
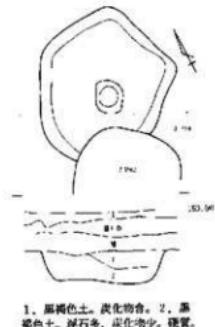
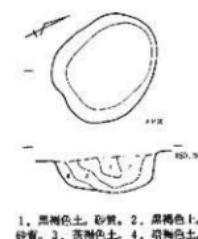
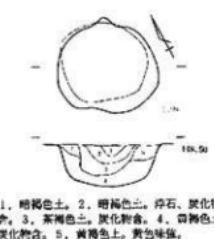
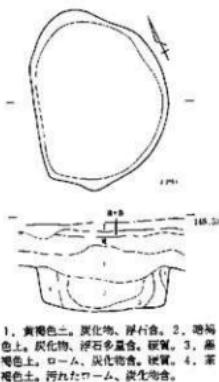


図-245 J P53~64号土坑

J P 61号土坑 (図-245・257・265、表-160~162、図版-53・116・150)

N-101区-20。円形。方位はN-89°-W。規模は135×130×114cm、底面は96×86cm。円筒形に近い深い掘り込み。埋土中層と底面に多くの縁検出。埋土に炭化物多く含む。II156号住と重複。土器は諸種a式が主として出土。石器は多回石が出土している。

J P 62号土坑 (図-245、図版-53)

P-101区-44。円形。方位はN-47°-W。規模は130×115×33cm、底面は112×93cm。円筒形に近い断面で広く浅い。

J P 58号土坑と重複。本跡が新しい。

J P 63号土坑 (図-245、図版-53)

N-1区 32・42。長円形。方位はN-37°-W。規模は205×116×81cm、底面は156×82cm。楕円形の断面をもつ。

J P 64号土坑 (図-245、図版-53)

J-101区-13。円形。方位はN-23°-W。規模は108×98×74cm、底面は56×34cm。摺鉢状の断面を呈す。H1号堅穴と重複する。

J P 65号土坑 (図-246、図版-53)

H-101区-23。円形。方位はN-6°-E。規模は86×79×98cm、底面は61×48cm。円筒形に近く深い。H189号住、J P 104、105号土坑と重複している。J P 65→104→105の順で新しい。

J P 66号土坑 (図-246、図版-53)

F-1区-99、E-1区-9。円形。方位はN-31°-W。規模は上面が290×280×152cm、中面が211×192cm、底面が136×118cm。井戸状のピットで、埋土中には焼土粒が少しまじっている。

J P 67号土坑 (図-246・257、表-160、図版-54・116)

A-17区-49・50。円形。方位はN-6°-E。規模は214×188×108cm、底面は210×200cm。K60号掘立の柱穴と重複している。楕形に近い断面で、炭化物や焼土粒を埋土に含んでいる。加曾利E4式と堀之内式の土器片が出土。

J P 68号土坑 (図-246)

B-17区-43。円形。方位はN-0°。規模は288×236×136cm、中段が192×80cm、底面が182×63cm。断面は摺鉢状だが、底面は細長く平坦。埋土中に炭化物が混じる。

J P 69号土坑 (図-246、図版-54)

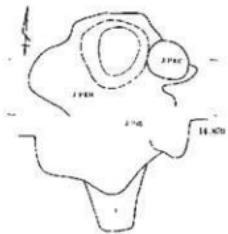
G-101区-7、II-101区-97。円形。方位はN-25°-W。規模は126×91×60cm、底面は115×70cm。K39号掘立P₄、W18と重複する。楕形に近い断面。焼土と炭化物を埋土に含む。

J P 70号土坑 (図-246・257、表-160、図版-54・116)

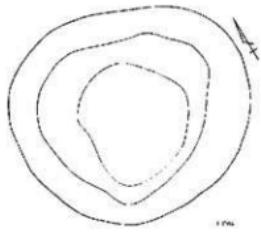
G-101区-14・15。円形。方位はN-48°-E。規模は130×124×70cm、底面は99×58cm。W17・18と重複する。断面は円筒形に近い。土層状態や底面の様子から根跡の可能性がある。称名寺1式の土器片が出土。J35住の土器に接合。

J P 71号土坑 (図-246、図版-54)

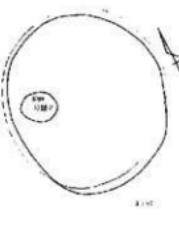
G-24区-51。長円形。方位はN-30°-W。規模は146×79×84cm、底面は153×66cm。楕形の断面であるが、一部は袋状に、一部は堅内横穴となる。埋土中に炭化物を含む。



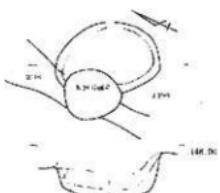
1. 黑褐色土。岩子ローム結合。軟質。



1. 黑褐色土。C砾石若干合。2. 黑褐色土。燒土粒、浮石合。硬質。3. 黑褐色土。2より褐色強。



1. 黑褐色土。FP、C 粒石、炭化物合。しまる。



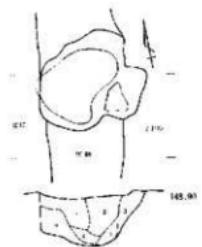
1. 黑褐色土。灰土、炭化物、浮石合。2. 黑褐色土。砾石合。3. 黄褐色土。



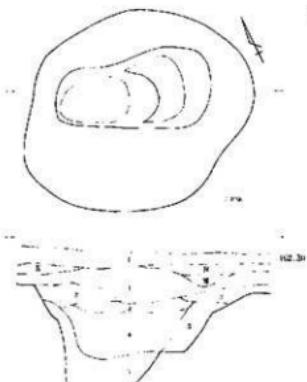
1. 黑褐色土。C砾石若干合。2. 黑褐色土。燒土粒、浮石合。硬質。3. 黑褐色土。2より褐色強。



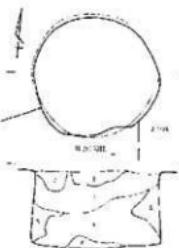
1. 黑褐色土。FP、C 粒石、炭化物合。しまる。
2. 黑褐色土。ローム粒主合。パミス、炭化物合。
3. 黑褐色土。燒土粒、浮石合。4. 黑褐色土。ローム粒多合。5. 黑褐色土。ローム粒6cm。ローム粒、パミス、炭化物合。6. 黄褐色土。ローム主合。軟質。



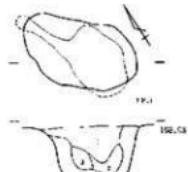
1. 黑褐色土。ローム底。黄色粒合。硬質。
2. 黑褐色土。漂石、燒土粒、炭化物合。3. 黑褐色土。炭化物、漂石、ローム結合。硬質。
4. 黑褐色土。5. 黑褐色土。硬質。6. 黑褐色土。ローム底8cm合。硬質。



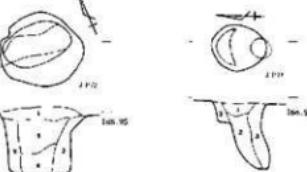
1. 黑褐色土。2. 黑褐色土。ローム、パミス合。軟質。3. 黑褐色土。炭化物、パミス合。燒土粒。4. 黑褐色土。炭化物、パミス合。粘性。5. 黑褐色土。パミス合。



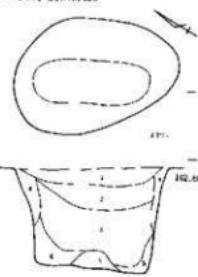
1. 黑褐色土。ローム底、炭化物、燒土粒、C砾石少量合。しまる。2. 黑褐色土。炭化物、燒土粒、パミス少量合。軟質。4. 黑褐色土。炭化物、燒土粒、パミス、ローム結合。5. 黑褐色土。パミス合。6. 黑褐色土。ローム底、パミス、炭化物合。



1. 黑褐色土。炭化物、灰土粒、パミス合。硬質。2. 黑褐色土。ローム底2cm合。3. 黑褐色土。炭化物、燒土粒、ローム底4cm合。しまり強。硬質。4. 黑褐色土。ローム粒。しまり有。粘性。



1. 黑褐色土。炭化物、燒土粒、パミス合。しまり強。2. 黑褐色土。ローム底。3. 黑褐色土。燒土粒、炭化物合。しまる。粘性。4. 黑褐色土。燒土粒、炭化物合。しまり強。5. 汚れたローム。白色燒土、燒土粒、燒化物合1cm。白色燒土、黑褐色土、燒品。硬質。4. 汚れたローム。白色燒土、燒土粒、燒化物合。硬質。5. 汚れたローム。白色燒土、燒土粒、炭化物合。軟質。



1. 灰褐色土。燒土粒、炭化物、白色燒土合。若干軟質。2. 黑褐色土。燒土粒、炭化物、白色燒土合。硬質。3. 黑褐色土。燒土粒、燒化物合1cm。白色燒土、黑褐色土、燒品。硬質。4. 汚れたローム。白色燒土、燒土粒、燒化物合。硬質。5. 汚れたローム。白色燒土、燒土粒、炭化物合。軟質。

J P 72号土坑 (図-246、図版-54)

G-23区-80、G-24区-71。円形。方位はN-85°-W。規模は98×88×74cm、底面は78×48cm。断面は円筒形に近い。底面は示してないが一部腹内横穴となり、J P 73へ繋がる。埋土中に炭化物、焼土粒を含む。

J P 73号土坑 (図-246、図版-54)

G-24区-83。円形。方位はN-5°-W。規模は65×56×82cm、底面は50×48cm。埋土中に炭化物、焼土粒を含む。J P 72とは幅15cm、高さ20cmの穴で繋がる。

J P 74号土坑 (図-246・258、表-160、図版-54・116)

A-18区-26。円形。方位はN-85°-E。規模は150×144×93cm、底面は154×151cm。円筒形の断面で、わずかに袋状に内側へ入る。埋土中に炭化物、焼土粒が入る。H217号住と重複する。土器は黒浜式、関山式、堀之内2式が出土している。

J P 75号土坑 (図-246・258・263・264、表-160-162、図版-54・116・146)

B-18区-66。長円形。方位はN-30°-W。規模は200×136×127cm、底面は140×51cm。断面は円筒形であるが、底面は長円形。陥穴状。土器は関山式。石器は交刃削器が出土している。

J P 76号土坑 (図-247、図版-55)

B-18区-99、A-18区-9。長円形。方位はN-1°-W。規模は262×161×138cm、底面は158×24cm。断面は壺鉢状だが、底面は長円形で平坦であり、陥穴に近いものか。埋土中に焼土粒、炭化物を含む。K81号掘立と重複する。

J P 77号土坑 (図-247・258・262・263、表-160-162、図版-55・117・146)

B-19区-92。円形。方位はN-63°-E。規模は182×132×58cm、底面は69×35cm。壺鉢形の断面をもつ。埋土に焼土、炭化物を含む。J N 1・HP121と重複。花積下層式の土器片出土。打製石斧、交刃削器が出土している。

J P 78号土坑 (図-247・258・259、表-160、図版-55・117・118)

G-103区-85。円形。方位はN-14°-W。規模は156×154×62cm、底面は124×124cm。やや円筒形の断面をもち、底面は平坦。下層には炭化物が非常に多い。W72と重複。諸磯a?・b式の土器出土。いずれも大型の深鉢。

J P 79号土坑 (図-247、図版-55)

E-1区-17・27。長円形。方位はN-28°-W。規模は204×157×142cm、底面は140×60cm。断面は壺鉢形に近いが深く、底面は長円形で、ほぼ平坦。陥穴状のものか。埋土中に焼土と炭化物を含む。

J P 80号土坑 (図-247、図版-55)

F-1区-75・85。長円形。方位はN-6°-W。規模は201×162×152cm、底面は123×50cm。円筒形に近い断面だが、底面は長円形で、一部分がさらに深い。陥穴状のものか。炭化物を多く含み、焼土も含む。

J P 81号土坑 (図-247、図版-55)

F-1区-8・9。円形。方位はN-2°-E。規模は256×256×49cm、底面は230×220cm。III状の断面で、浅く広い。

J P 82号土坑 (図-247、図版-55)

B-17区-20、B-18区-11。方円形。方位はN-62°-W。規模は現状で146×76×98cm、底面は60×34cm。J P 83、J P 116と重複する。J P 83→J P 82→J P 116の順に新しい。

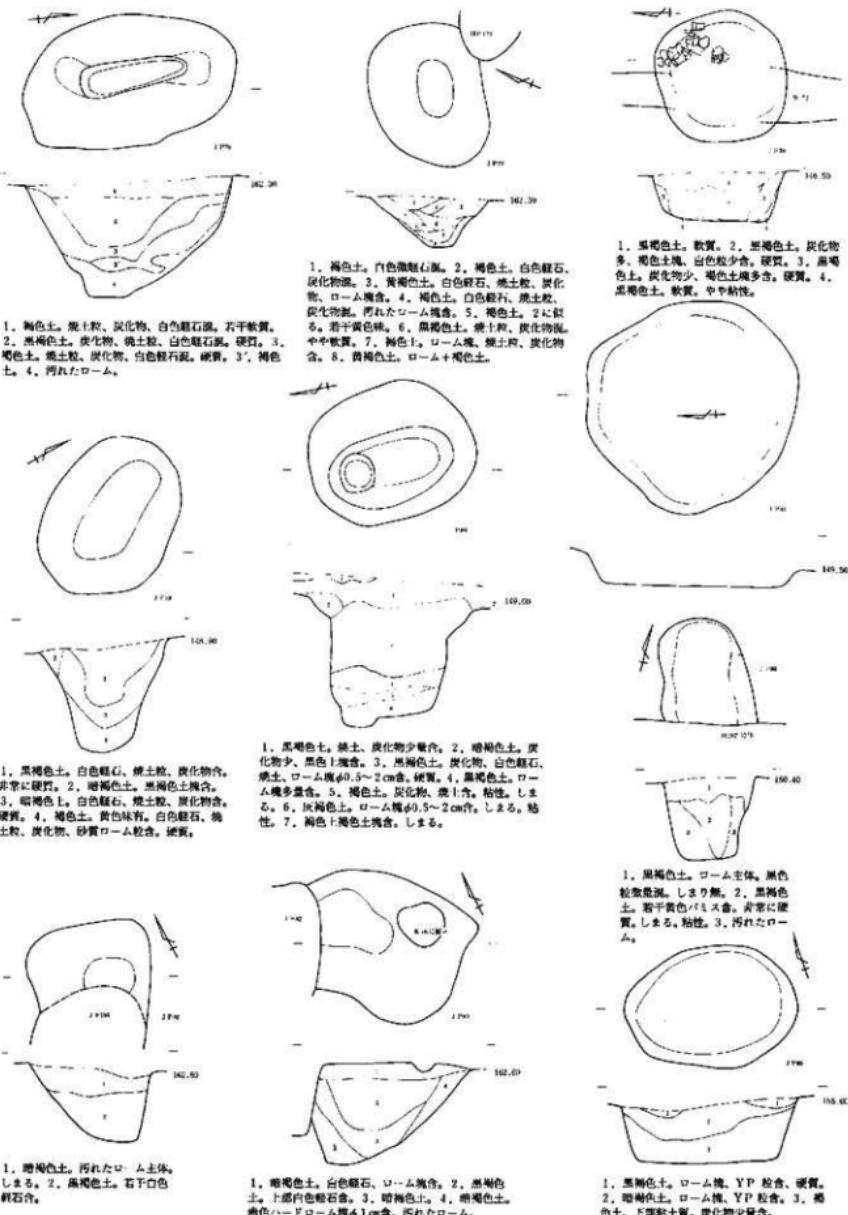


図-247 J P 76~85号土坑

J P 83号土坑 (図-247、図版-55)

B-17区-20・30、B-18区-11・21。不整長円形。方位はN-40°-W。規模は現状で212×156×142cm、底面は102×58cm。楷鉢形の断面で、底面は長円形で平坦。J P 82、K76号掘立と重複する。

J P 84号土坑 (図-247、図版-56)

B-15区-17。長方形。方位はN-26°-W。規模は現状で127×103×96cm、底面は124×69cm。円筒形に近い断面で底面は平坦である。H207号住と重複している。

J P 85号土坑 (図-247、図版-56)

ロ-9区-73・83。長円形。方位はN-72°-W。規模は212×149×80cm、底面は174×123cm。J 46号住の床面下より検出された。底面は平坦。

J P 86号土坑 (図-248、図版-56)

ヲ-108区-85。円形。方位はN-1°-W。規模は140×136×130cm、底面は113×112cm。袋状の断面をもつ。底面は平坦。埋土中に炭化物を含む。

J P 87号土坑 (図-248、図版-56)

ヨ-110区-33。長円形。方位はN-25°-E。規模は現状で144×104×40cm、底面は88×34cm。一部試掘による削平をうけている。

J P 88号土坑 (図-248、図版-56)

ニ-22区-21。円形。方位はN-9°-W。規模は106×104×77cm、底面は82×71cm。やや椀形に近い円筒形の断面をもつ。埋土中に焼土粒を少し含む。

J P 89号土坑 (図-248、図版-56)

ニ-22区-55・65。円形。方位はN-36°-W。規模は103×98×61cm、底面は85×77cm。袋状の断面をもつ。埋土中に焼土や炭化物を含んでいる。上面でW91と重複する。

J P 90号土坑 (図-248)

タ-7区-47。円形。方位はN-13°-W。規模は114×112×96cm、底面は82×72cm。円筒形の断面をもち深い。K121 P₁(推定)と重複している。埋土中に焼土、炭化物が入る。

J P 91号土坑 (図-248・264、表-161・162、図版-56・146)

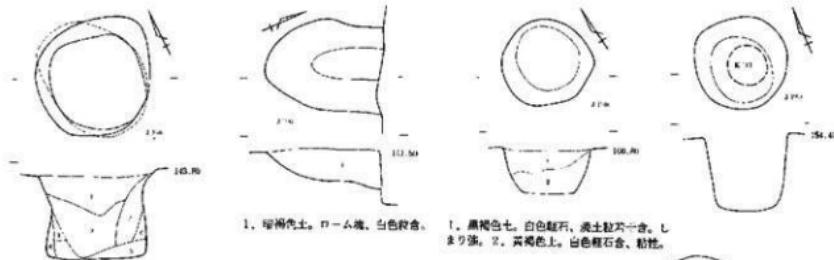
A-10区-22・32。円形。方位はN-28°-W。規模は349×334×47cm、底面は332×304cm。埋土中に焼土、炭化物を含む。大形の形態で浅く、底部は平坦。住居に近い施設か。遺物は出土していない。(以下92・93・97・102・103号は大型で、規格的に疑問もあるが、ここでは土坑として扱う。)

J P 92号土坑 (図-248・264、表-161・162、図版-146)

ロ-5・6区。円形。方位はN-40°-E。規模は570×560×68cm、底面は546×534cm。埋土土層に炭化物を含んでいる。大形で、底部は平坦。規模では住居跡に似るが、諸施設がない。円錐石器と敲き石が出土。

J P 93号土坑 (図-248、図版-56)

イ+ロ-5区。長円形。方位はN-4°-E。規模は844×530×111cm、底面は682×407cm。埋土中に焼土が少し混じる。規模では住居に似るが、遺物、諸施設がない。H343号住と重複している。



1. 基岩地帯。炭化物散在。やや粘性。
2. 黑褐色土。炭化物。浮石。1より強くしまる。
3. 基岩
色土。ブロック状土。2より密。褐色地帶。炭化物
带。4. 黑褐色土。粘質土。5. 黑褐色土。炭化物帶。
6. 黑褐色土。4より褐色地帶。ローム性。

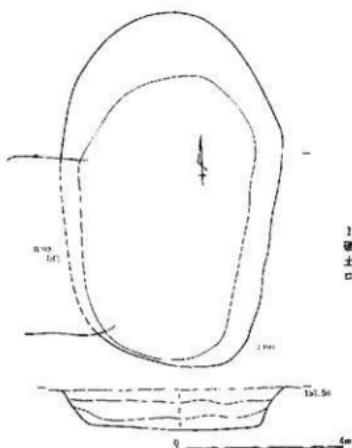
1. 基岩地帯。炭化物散在。やや粘性。
2. 黑褐色土。炭化物。浮石。1より強くしまる。
3. 基岩
色土。ブロック状土。2より密。褐色地帶。炭化物
带。4. 黑褐色土。粘質土。5. 黑褐色土。炭化物帶。
6. 黑褐色土。4より褐色地帶。ローム性。



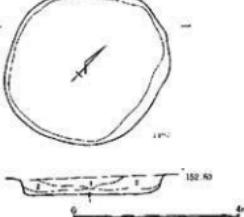
1. 黑褐色土。FP、C無石含。軟質。
2. 黑褐色土。パミス。炭化物。粘土粒
含。硬質。3. 黑褐色土。パミス少。炭
化物。粘土粒含。硬質。

1. 黑褐色土。白色粒。若干ローム塊含。炭
化物。2. 黑褐色土。白色粘合。ややしまる。3. 黄褐色土。
白色粘合。しまり強。

1. 黑褐色土。上部褐色地。白色黏石。灰土粒。
炭化物含。しまる。2. 黑褐色土。1より褐色地
強。3. 黄褐色土。粘性。



1. 黑褐色土。2. 黑褐色土。ローム粒。遺物多。
硬質。3. 基岩色土。ローム粒含。4. 黑褐色
土。ローム粒。炭化物若干含。5. 黄褐色土。
ローム多含。硬質。



1. 黑褐色土。下部若干粘土粘合。しまり弱。2. 黑
褐色土。粘土粒。白色粘合。硬質。しまる。3. 黄褐色土。
若干灰土粒。白色粘合。しまり強。

1. 黑茶褐色土。油上粒。炭化物。
パミス若干含。しまる。2. 黑褐色
土。粘土粒 ϕ 0.5m。炭化物少量
含。しまる。3. 黄褐色土。パミス
含。しまる。

図-248 J P 86-98号上坑

J P 94号土坑 (図-248・259・260・261、表-160、図版-58・112・117・118・119)

ツ-101区-61・71・ツ-102区-80。長円形。方位はN-55°-E。規模は256×168×56cm、底面は334×226cm。円筒形に近い断面だが、一部は袋状を呈す。埋土に炭化物を少し含む。土器は壺之内2式を土とし、同1式、諸種b式がまじる。J 54住の土器と接合。(壺之内1式)

J P 95号土坑 (図-248)

ヲ-5区-51、ヲ-4区-60。長円形。方位はN-4°-E。規模は143×56×18cm、底面は100×30cm。浅い皿状の断面。

J P 96号土坑 (図-248)

リ-4区-84・85。円形。方位はN-70°-E。規模は57×44×18cm、底面は34×28cm。浅い皿状の断面。

J P 97号土坑 (図-248)

リ-5区-77・78。円形。方位はN-34°-W。規模は409×376×44cm、底面は390×331cm。円筒形に近い断面だが浅く広い。規模からみると住居跡に近い施設か。

J P 98号土坑 (図-248)

ヲ-4区-64・65。円形。方位はN-15°-W。規模は87×84×19cm、底面は76×74cm。円筒形に近い断面だが、浅い。

J P 99号土坑 (図-249、図版-57)

ワ-7区-6・7・16・17。不整形。方位はN-62°-W。規模は271×198×71cm、底面は178×144cm。円形に近い底をもち広く舟底を呈す。埋土に炭化物を含む。自然のものか。

J P 100号土坑 (図-249、図版-57)

カ-2区-11・12・21・22。不整形。規模は322×305×61cm。土層の状況により土坑とするが、底面は凹凸が多く、風倒木の可能性が大きい。

J P 101号土坑 (図-249、図版-57)

カ-3区-1・2・11・12。ワ-3区-91・92。円形。方位はN-69°-W。規模は370×302×93cm、底面は178×139cm。断面は舟底で、特異な土層となっている。焼土粒のあつまる層がある。中央部はローム主体の土層。風倒木痕か。

J P 102号土坑 (図-249)

ワ-10区-30・40、ワ-11区-21・31。長円形。方位はN-11°-W。規模は368×292×35cm、底面は338×266cm。断面はやや円筒形に近い。住居跡に近い規模だが、遺物、諸施設はない。

J P 103号土坑 (図-249)

ワ-9区-27・28・37・38。方形。方位はN-80°-E。規模は268×182×30cm、底面は240×156cm。やや円筒形に近い断面をもつ。底は平坦。住居に近い施設か。F 250と重複する。

J P 104号土坑 (図-249、図版-53)

H-101区-23。不整形。方位はN-12°-W。規模は183×161×66cm、底面は160×142cm。断面は凹凸が激しい。底面にも凹凸があり、根跡か。埋土に炭化物を含む。J P 105と重複し、新旧はJ P 104→J P 105の順である。また、上・下面にそれぞれH 189号住、J P 65がある。

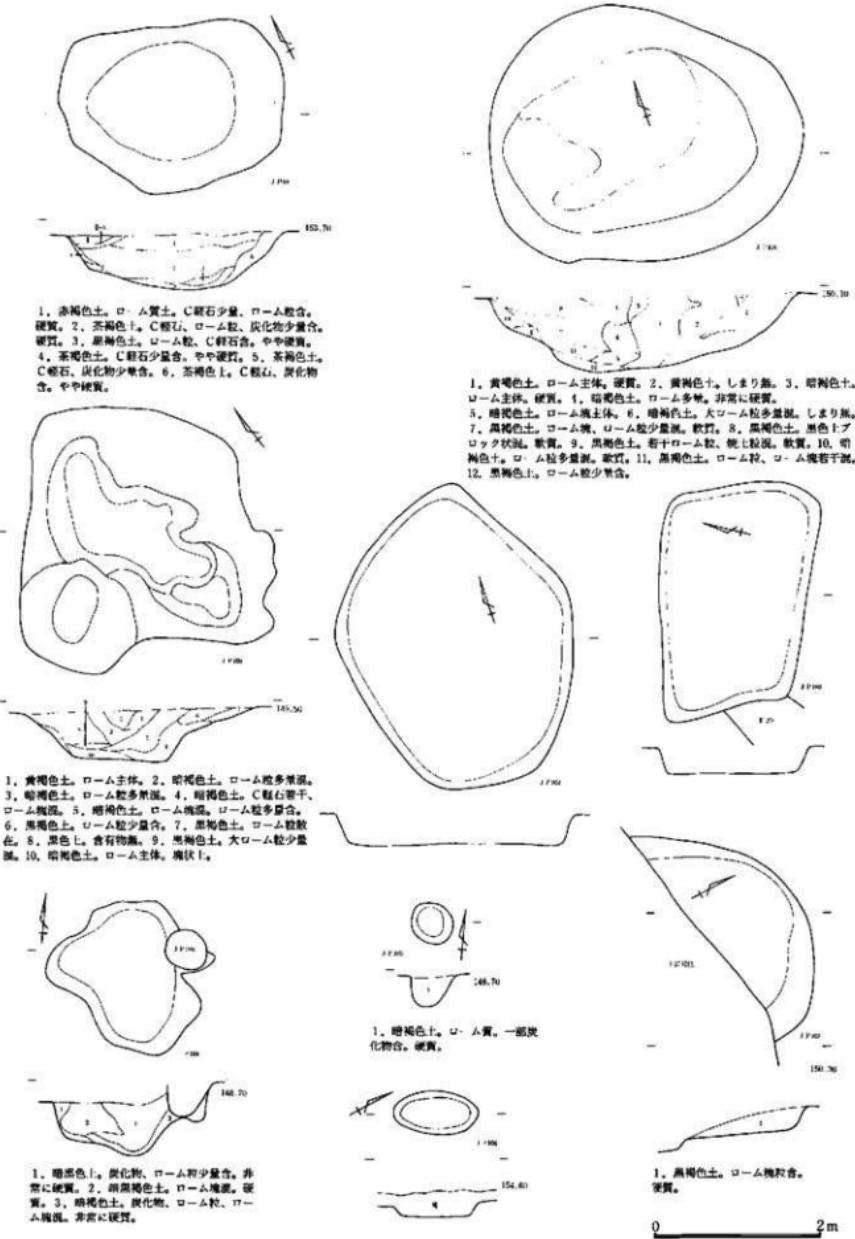


図-249 JP 99~107号土坑

J P 105号土坑 (図-249、図版-53)

H-101区-23。円形。方位はN-58°-W。規模は52×46×46cmで、底面は32×26cm。埋土中に炭化物を含む。J P 65・104と重複する。

J P 106号土坑 (図-249)

P-4区-9、Q-4区-99。長円形。方位はN-34°-E。規模は98×52×22cmで、底面は73×36cm。埋土上層に礫を多く含む。

J P 107号土坑 (図-249、図版-21)

N-102区-67・77。推定円形。現状の規模は298×114×28cm、底面は228×102cm。J 27号住と重複しており、壁が削平され、現状は推定と思われる。

J P 108号土坑 (図-250、図版-48)

S-16区-40・50、S-17区-31・41。隅丸長方形。方位はN-62°-W。規模は224×124×32cm、底面は180×94cm。楕円形に近い断面。J P 18と重複するが、本跡が新しい。

J P 109号土坑 (図-250、図版-50)

K-1区-8。円形。方位はN-20°-W。規模は38×24×64cm、底面は27×20cm。円筒形でやや深い。J P 35と重複しており、J P 109が新しい。

J P 110号土坑 (図-250、図版-51)

C-8区-78。長方形。方位はN-1°-E。規模は179×130×152cm、底面は133×75cm。底部は長方形で平坦であり、直に近く、深く掘り込まれている。J P 46と重複する。J P 46が新しい。炭化物の粒子を埋土に多く含む。上面にH147住がある。

J P 111号土坑 (図-250、図版-22)

M-102区-7・8。円形。方位はN-81°-W。規模は177×149×60cm、底面は160×132cm。J 29・59号住の床面下にある。埋土がJ 29号住と同じであり、J 29号住の施設とも考えられる。(図-34参照)

J P 112号土坑 (図-250、図版-29)

N-102区-58。円形。方位はN-63°-W。規模は137×106×35cm、底面は120×91cm。J 39号住床面下で、J 61号住より新しい。埋土中に炭化物、焼土粒を含む。(図-42参照) 上面にH127住がある。

J P 113号土坑 (図-250、図版-57)

B-16区-32。円形。方位はN-72°-W。規模は211×189×51cm、底面は177×149cm。埋土の上面に多量の焼石を検出。配石遺構の可能性がある。

J P 114号土坑 (図-250、図版-57)

I-1区-87。円形。方位はN-23°-E。規模は126×103×31cm、底面は100×68cm。埋土の上面より石を検出。配石遺構の可能性がある。

J P 115号土坑 (図-250)

ホ-23区-48・49。推定円形。規模は現状で340×135×59cm、底面が240×72cm。J 60号住と重複する。大半が未掘である。

J P 116号土坑 (図-250)

B-17区-20。長円形。方位はN-45°-E。規模は175×138×106cm、底面は76×66cm。底面は上面にくらべ小さくて平坦。J P 82・83と重複し、本跡が新しい。

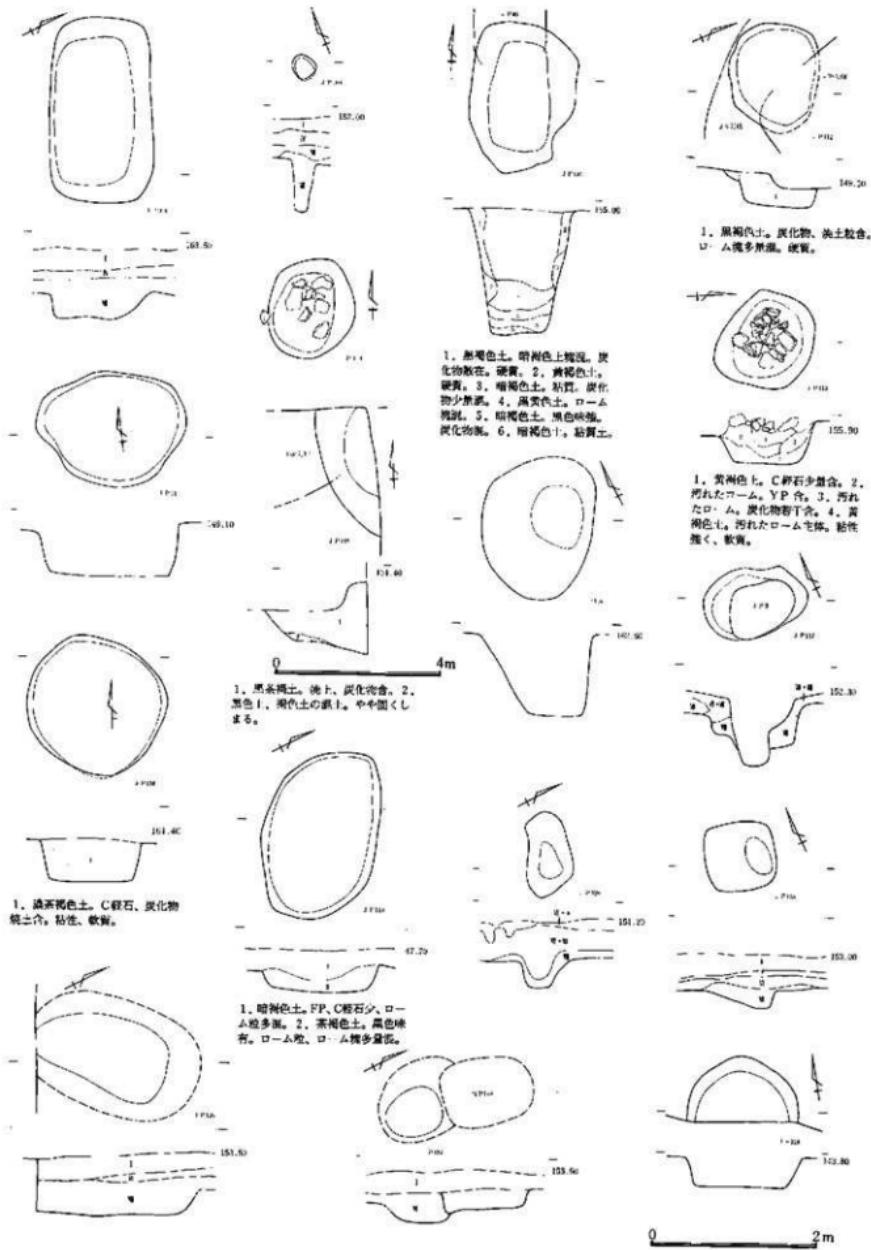


図-250 JP 108~120・125~128号土坑

J P 117号土坑 (図-250、図版-47)

R-2区-63・64。長円形。方位はN-68°-W。規模は131×74×52cm、底面は105×74cm。J P 9と重複するが、J P 9が新しい。底面は二段の底をもつ。

J P 118号土坑 (図-250、図版-24)

H-23区-38・39。円形。規模は176×170×52cm、底面は178×154cm。円筒形に近い断面だが、一部袋状を呈す。J 33号住床面を切り、J 60号住に切られている。埋土に焼土・炭化物を含む。上面でW71が走行する。(図-36参照)

J P 119号土坑 (図-250・265、表-161・162、図版-150)

H-103区-67。長円形。方位はN-55°-W。規模は217×135×35cm、底面は202×123cm。浅く広く平坦。多凹石が出土している。

J P 120号土坑 (図-250)

S-3区-31。長円形。方位はN-59°-W。規模は105×57×46cm、底面は44×21cm。J 9号住の北に位置し、J 9号住とほぼ同じ埋土をもつ。

J P 122号土坑 (図-4、図版-3)

F-6区-21、F-5区-30。円形。方位はN-3°-E。規模は86×73×84cm、底面は61×47cm。J 3号住と重複する。円筒形断面。

J P 123号土坑 (図-4、図版-3)

F-5区-8・9。円形。方位はN-53°-E。規模は179×135×117cm、底面は164×121cm。J 3号住・F279と重複する。袋状断面。

J P 124号土坑 (図-4、図版-3)

F-5区-18・28。円形。方位はN-90°-E。規模は100×97×106cm、底面は117×99cm。J 3号住と重複。袋状断面。

J P 125号土坑 (図-250)

S-4区-25・26。方形。方位はN-9°-W。規模は86×84×90cm、底面は43×26cm。西側がなだらかな落ち込み。

J P 126号土坑 (図-250)

G-4区-35・45。推定長円形。方位はN-45°-E。現状212×140×46cm、底面は135×35cm。皿形で浅く広い。

J P 127号土坑 (図-250)

G-4区-25・35。推定円形。方位はN-2°-E。推定規模120×95×22cm、底面は70×60cm。H P 116と重複する。

J P 128号土坑 (図-250)

ヨ-111区-6。推定円形。方位はN-5°-E。現状140×136×36cm、底面は112×109cm。未発掘。

J P 129号土坑 (図-251)

ハ-6区-15。不整形。方位はN-40°-E。規模は98×91×20cm、底面は73×69cm。一部袋状の断面。J 43号住と重複する。

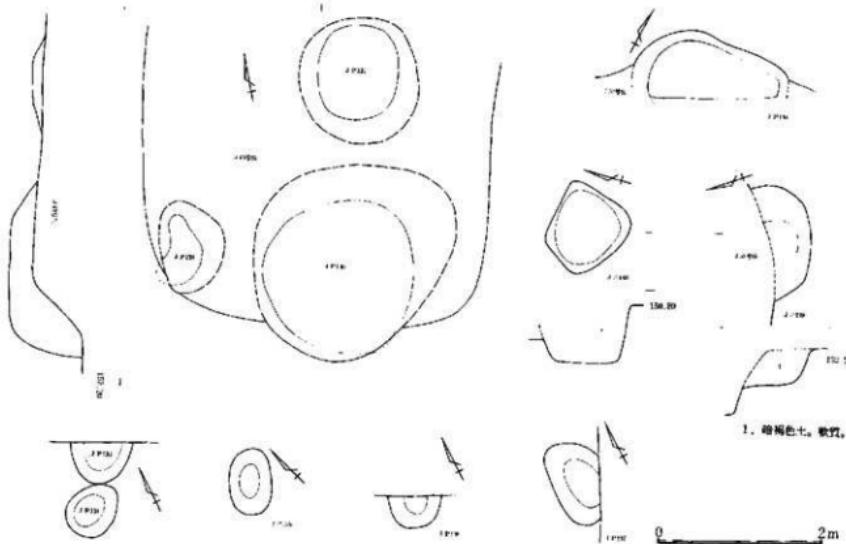


図-251 J P 129~140号上坑

J P 130号土坑 (図-251)

ハ-6区-15・25・26。円形。方位はN-48°-E。規模は266×232×28cm、底面は238×206cm。J 43号住の床面下。

J P 131号土坑 (図-251)

ハ-6区-16・26。円形。方位はN-9°-E。規模は151×138×12cm、底面は116×104cm。J 43号住の床面下。

J P 132号土坑 (図-251)

ワ-105区-45。円形。方位はN-6°-E。規模は-×79×-cm、底面は-×53cm。½未掘。

J P 134号土坑 (図-251)

ワ-105区-45。円形。方位はN-36°-E。規模は72×60×-cm、底面は46×34cm。

J P 135号土坑 (図-251)

ワ-105区-41。長円形。方位はN-22°-E。規模は76×52×-cm。床面は51×24cm。

J P 136号土坑 (図-251)

ワ-105区-81。長円形。方位はN-19°-E。規模は-×69×-cm、底面は-×34cm。-部未掘。

J P 137号土坑 (図-251)

カ-106区-49。長円形。方位はN-12°-E。規模は103×78×-cm、底面は70×44cm。一部未掘。

J P 138号土坑 (図-251)

イ-5区-68。長円形。方位はN-84°-E。規模は187×-×91cm、底面は159×-cm。J 52号住と重複、新旧不明。

J P 139号土坑 (図-251・261・263、表-160~162、図版-117・146)

イ-5区-85。円形。方位はN-5°-W。規模は-×129×71cm、底面は-×63cm。J 52号住と重複。本跡が古い。凹刃削器、関山式の土器が出土。

J P 140号土坑 (図-251・263、表-161・162、図版-146)

リ-101区-80。方形。方位はN-73°-W。規模は96×86×32cm、底面は84×74cm。交刃削器が出土。J 20住と重複。

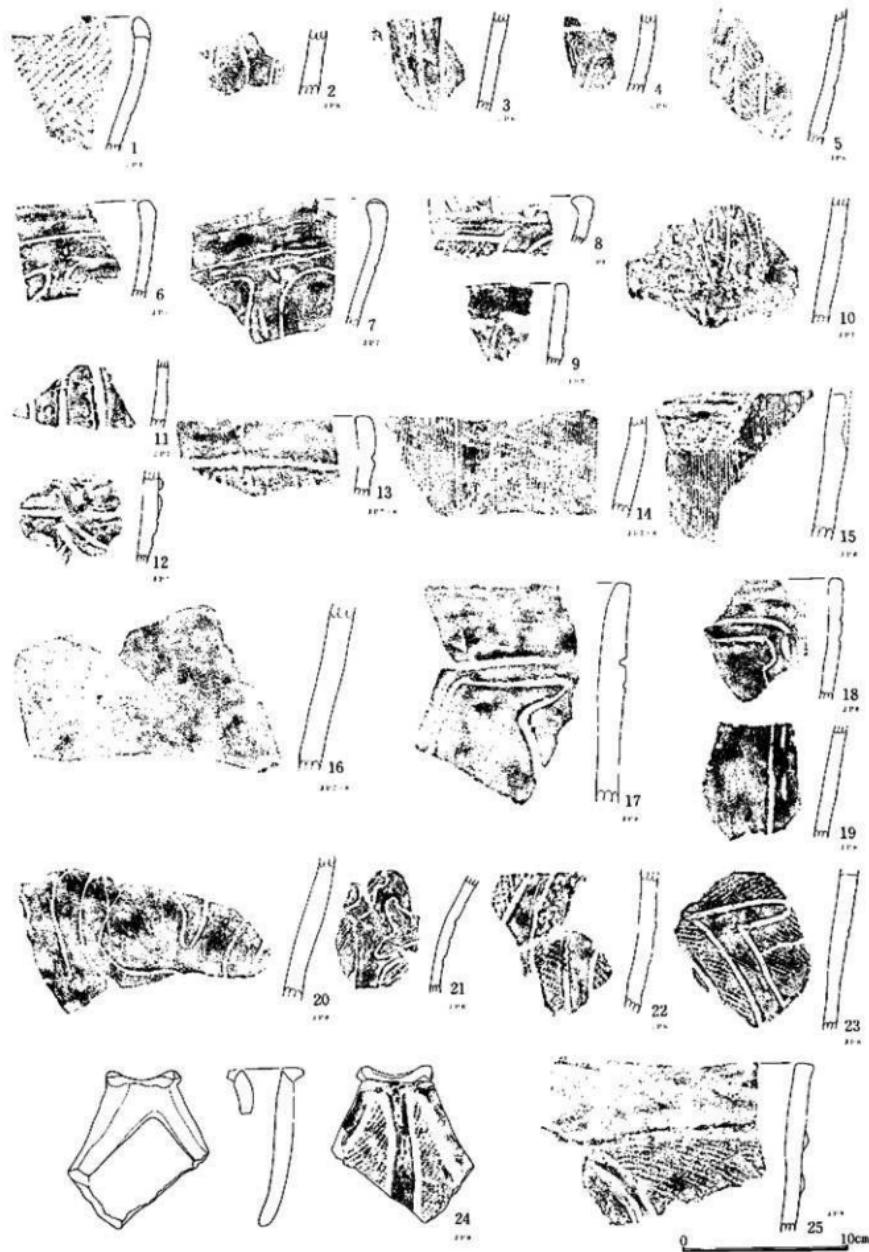


图-252 J.P.七坑出土土器 (1)

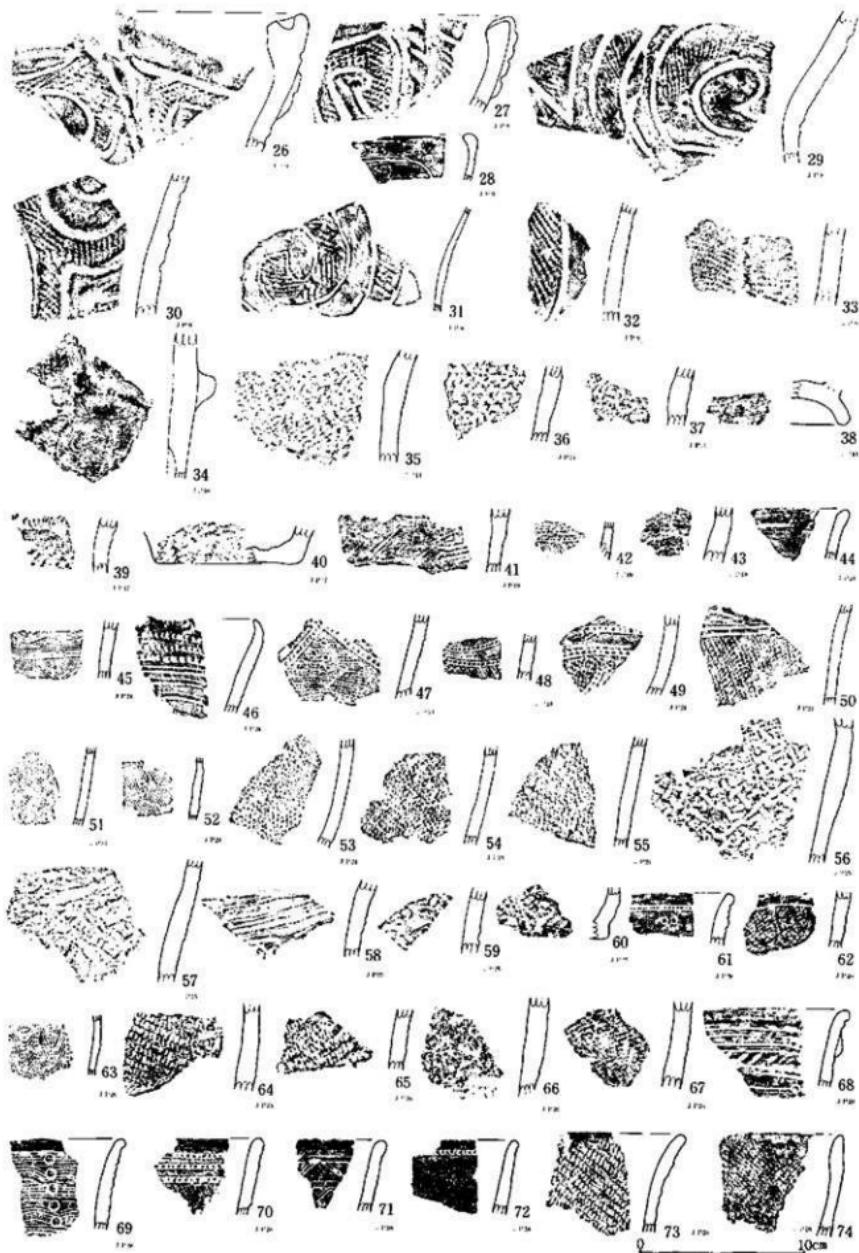


图 253 J P 士坑出土器 (2)

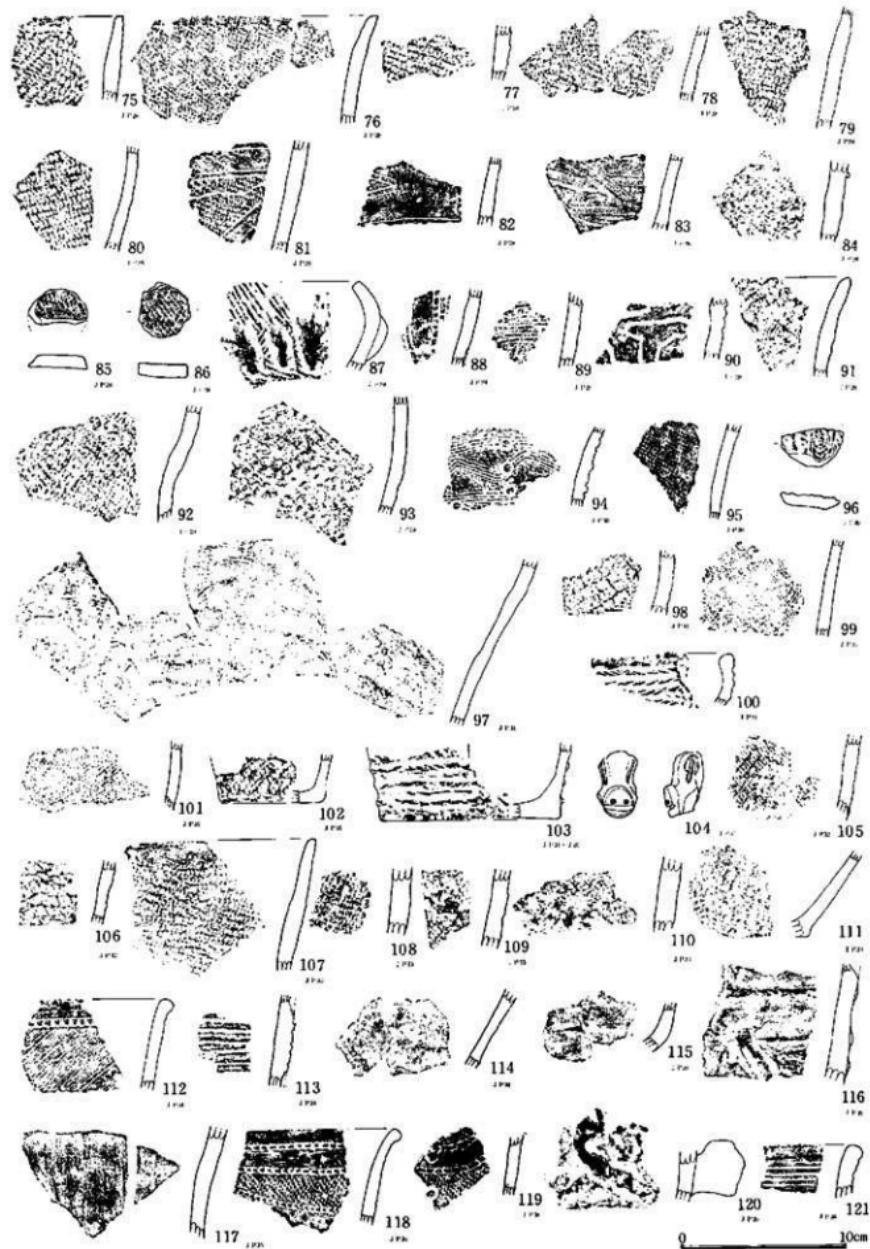


图 254 J.P. 墓出土土器 (3)

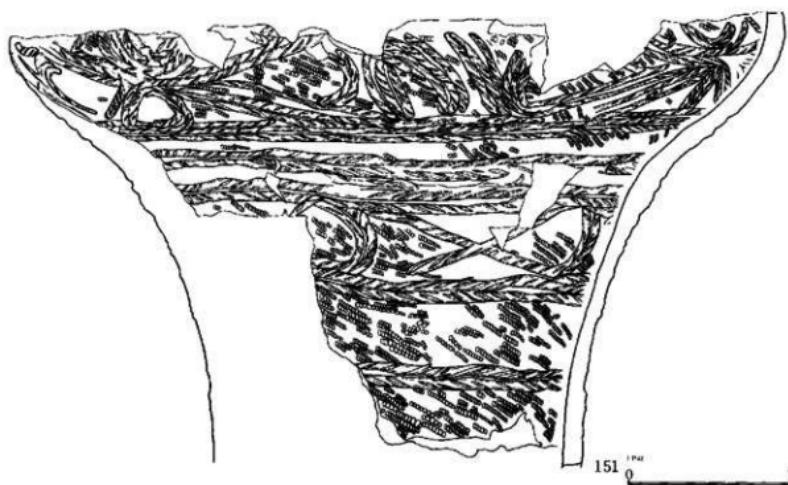
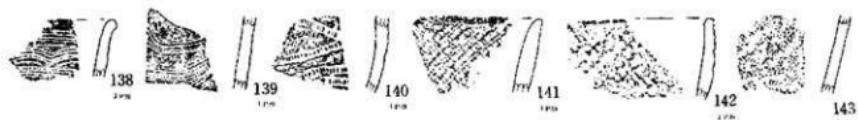
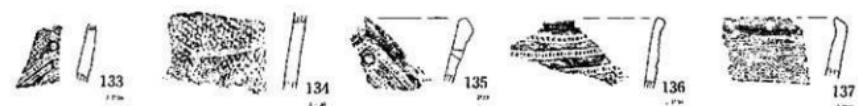
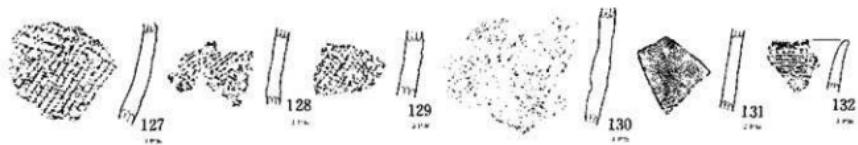
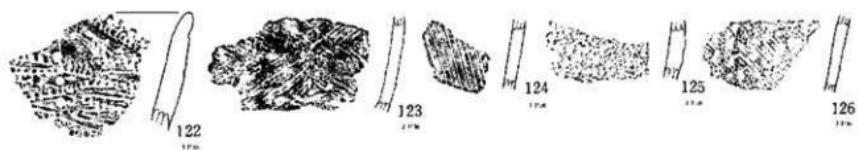


图- 255 J-P土坑出土上土器 (4)

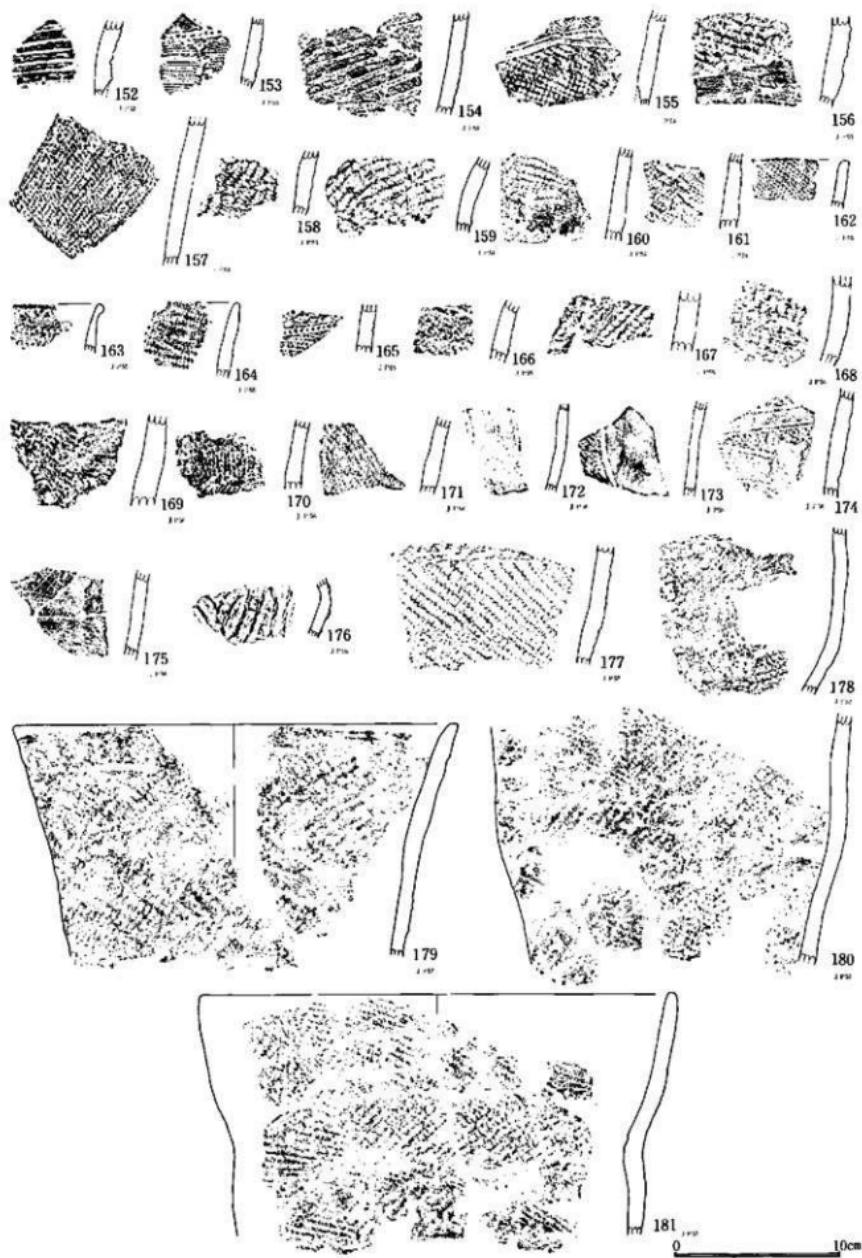


图-256 J P 土坑出土器 (5)

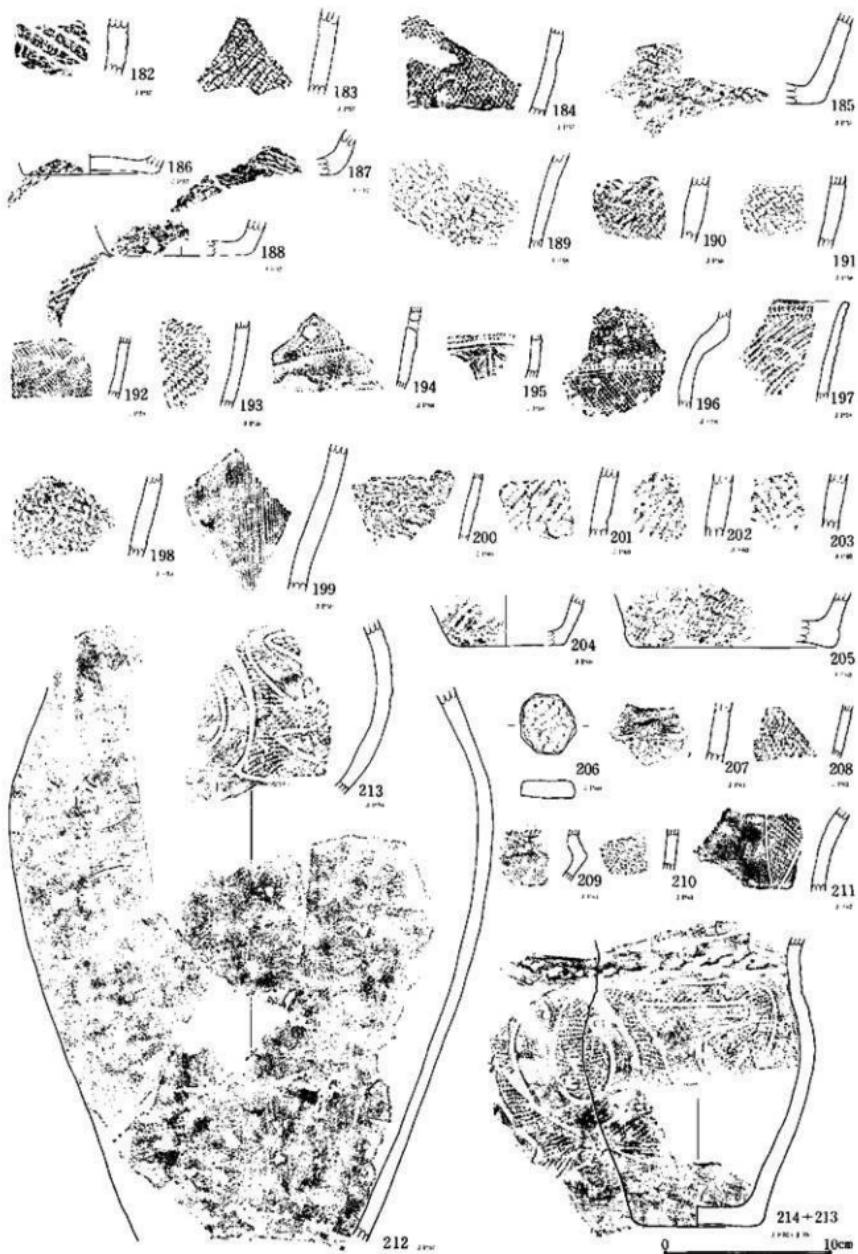


图-257 J P土坑出土土器 (6)

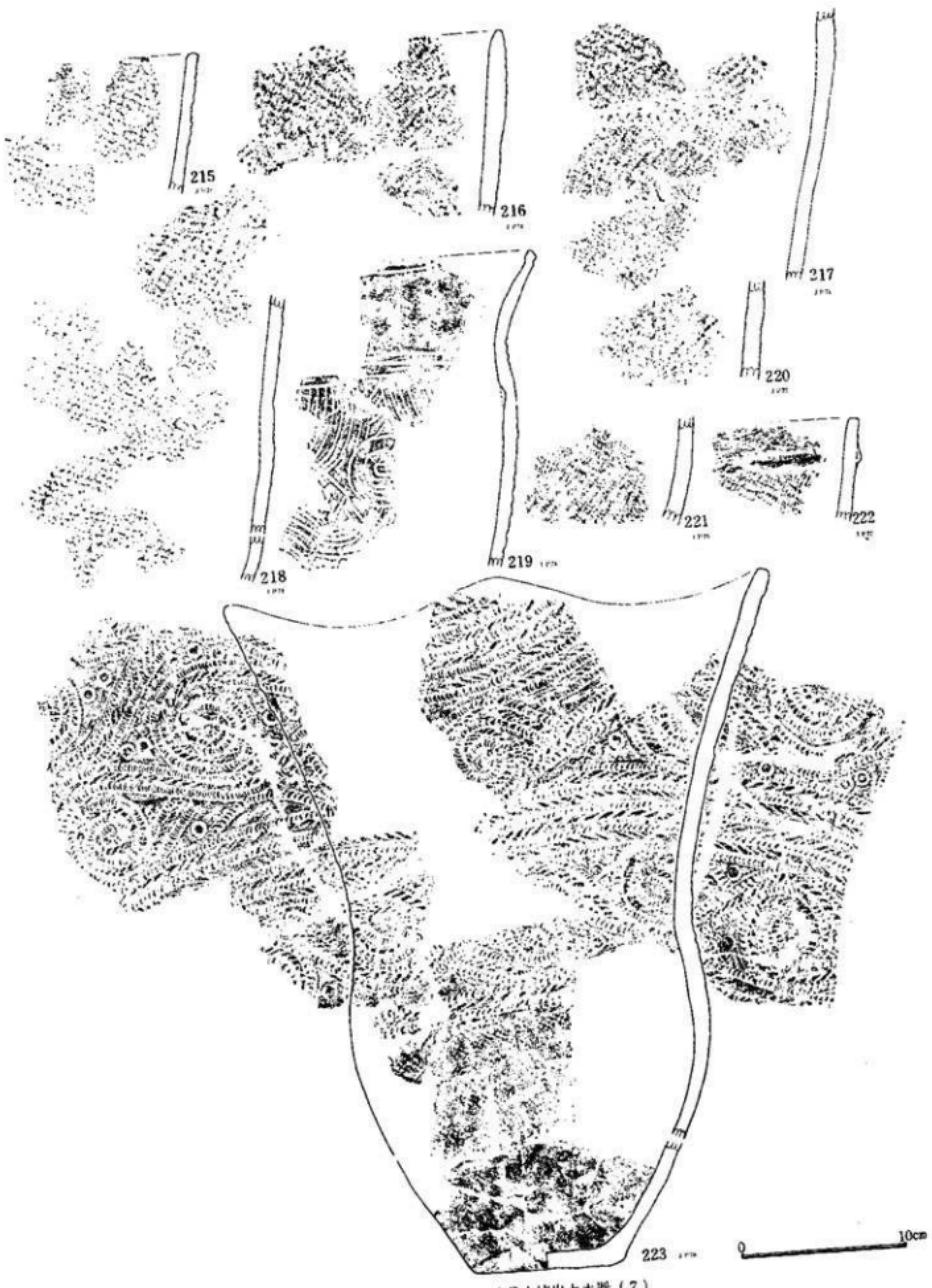


図-258 J P土坑出土器(7)

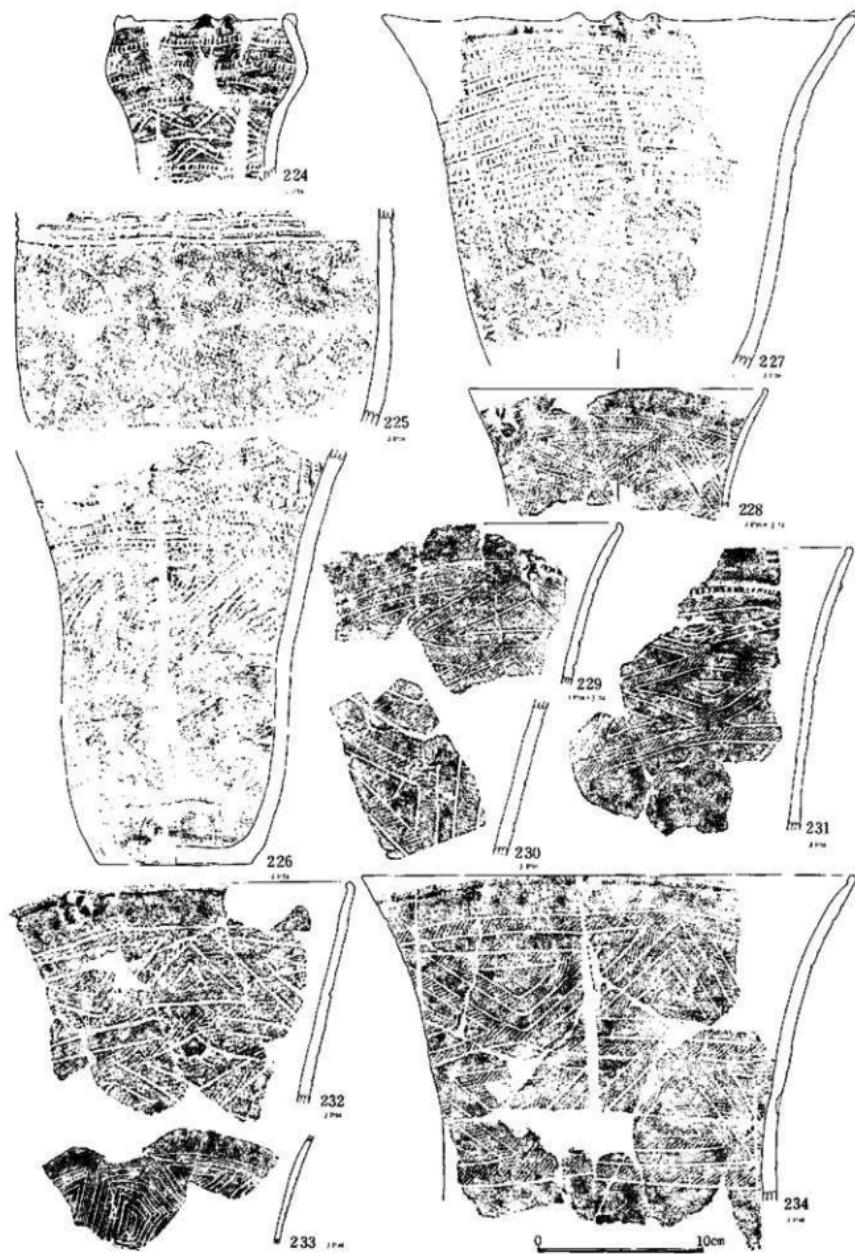


図 259 J P 上坑出土土器 (8)

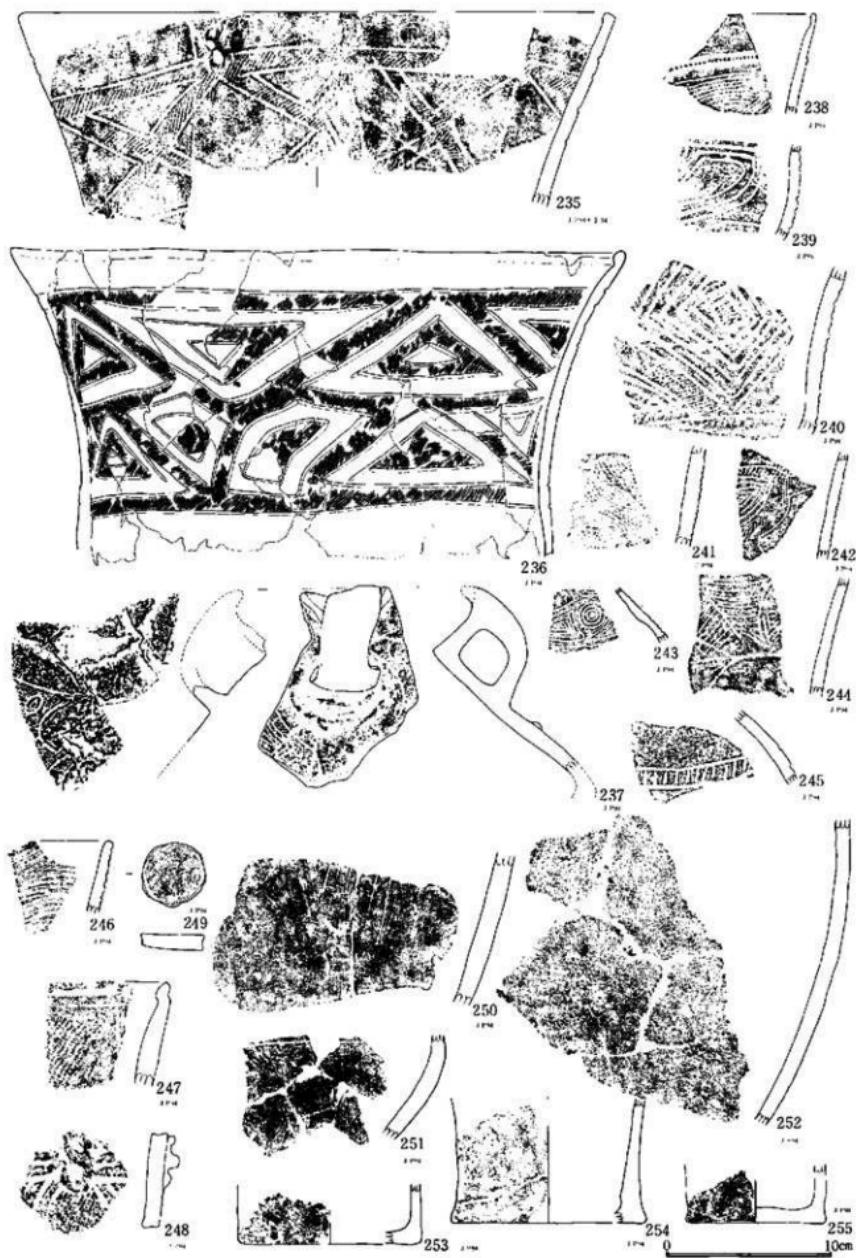


图-260 J P 土坑出土上部 (9)



図-261 JP 土坑出土土器 (10)

表-160 JP 出土土器観察表 (図 252~261 図版-112~118)

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①柄寸 ②色調 ③残存	時 期	出土位置	備 考
1	JP 4	O段多条R L・対決構成。突起。	①横寸②にい焼③口縁部	黒浜	-	
2	JP 6	沈線。	①中粒②にい焼③側部	称名寺2		
3	JP 6	太く深い沈線。	①粗粒②淡黄色③側部	称名寺1		
4	JP 6	沈線、網文L R。	①中粒②暗火黄色③側部	称名寺1	-	

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①軽土 ②色調 ③形状	時期	出土位置	備考
5	J P 6	沈線、縄文L Rを完結する。	①中粒②淡黄色③網部	称名寺1	-	
6	J P 7	沈線でY字文を構成する。	①中粒②淡灰黄色③口縁部	称名寺2	-	
7	J P 7	小波状口縁。波頂部に刻み。沈線とやや長めの列点。	①細粒②黄褐色③口縁部	称名寺2	-	
8	J P 7	口唇部に刺突と連結した沈線文。沈線と縄文L R。円形刺突。口唇内側に縫。	①細粒②にい黄褐色③口縁部	称名寺1	-	
9	J P 7	沈線と短い列点。	①細粒②橙色③口縁部	称名寺2	-	
10	J P 7	継ぎの沈線。	①粗粒②橙色③網部	称名寺2	-	
11	J P 7	太く深い沈線。短い列点。	①中粒②淡黄色③網部	称名寺2	-	
12	J P 7	刺突円形貼付文。沈線。	①中粒②にい橙色③網部	縫之内1	-	
13	J P 7 J P 8	口縁に平行した沈線。それ以下は2本1組の条線	①中粒②淡黄色③口縁部	中~後期	-	
14	J P 7 J P 8	継ぎの条線。	①中粒②淡黄色③網部	中~後期	-	
15	J P 8	継ぎの条線。	①中粒・白色蠶物②淡黄色 ③網部	中~後期	-	
16	J P 7 J P 8	曲線風の細い条線。	①中粒②淡黄色③網部	中~後期	-	
17	J P 8	太く深い沈線。	①細粒②明黄色③口縁部	称名寺2	-	
18	J P 8	沈線。列点。	①細粒②淡黄色③網部	称名寺2	-	
19	J P 8	沈線。列点。	①細粒②淡黄色③網部	称名寺2	-	
20	J P 8	複数な沈線。	①細粒②淡黄色③網部	称名寺2	-	
21	J P 8	沈線。縄文R。	①細粒②にい黄色③網部	称名寺2	-	
22	J P 8	沈線。縄文L R。	①細粒②灰黃褐色③網部	称名寺1	-	
23	J P 8	沈線と列点によるY字文。	①中粒・白色蠶物②灰黄色 ③網部	称名寺1	-	
24	J P 8	突起。貫通孔。太く深い沈線。縄文R L。	①細粒②橙色③口縁部	称名寺1	-	
25	J P 9	微隆起区画。口縁部無文帯。縄文L Rを貫入して強縫が 織かれる。	①中粒②淡黄色③口縁部	加曾利E 4	-	
26	J P 9	突起。陶帯に刺突。縄文L R。	①中粒②黑色③口縁部	称名寺1	-	
27	J P 9	刺み痕帯。上部に延びて突起。中央凹み。縄文L R。	①中粒・白色蠶物②灰黄色 ③口縁部	称名寺1	-	
28	J P 9	短い沈線。縄文L。	①細粒②黄灰色③口縁部	称名寺1	-	
29	J P 9	太く深い沈線。S字文。縄文L R。	①細粒②淡黄色③網部	称名寺1	-	
30	J P 9	太く深い沈線。S字文。縄文L R。	①粗粒②暗灰黄色③網部	称名寺1	-	
31	J P 9	短い沈線。S字文。縄文L。	①細粒②黄灰色③網部	称名寺1	-	28と同一個体
32	J P 9	太く深い沈線。縄文L R。	①中粒②淡黄色③網部	称名寺1	-	
33	J P 9	縫合に刺突。縄文L R。	①中粒②淡黄色③網部	称名寺1	-	
34	J P 10	縫合区画、瘤。縄文L R。	①中粒・白色蠶物②淡黄色 ③網部	加曾利E 4	-	
35	J P 14	O段多条の縄文R L。	①織縫多い②明黄色③網部	黒浜?	-	
36	J P 14	O段多条の縄文R L。	織縫多い②にい黄褐色 ③網部	黒浜?	-	
37	J P 14	O段多条の縄文R L。	①織縫多い②明黄色③網部	黒浜?	-	

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
38	J P14	縄文R L。上げ底。	①繊維多い②赤褐色③底部	黒浜	-	
39	J P17・ No.1	連続爪形文。縄文R L。	①繊維多い②にぼい黄褐色 ③側部	黒浜	-	
40	J P17	O段多条の縄文R L。	①繊維②褐色③底部	黒浜	-	
41	J P19	縄文しがまだらに施文。	①繊維多い②淡黄色③側部	黒浜	-	
42	J P19 No.1	連続爪形文。縄文R L。	①板状②にぼい赤褐色 ③側部	諸磯 a	-	
43	J P19	浅い細かな2条の波線。	①繊維②灰褐色③側部	黒浜	-	
44	J P24	櫛齒状工具による集合波線で直線と向線で構成される。	①繊維②にぼい赤褐色 ③口縁部	諸磯 a	-	
45	J P24	櫛齒状工具による集合波線で山形が構成される。	①細粒②にぼい赤褐色 ③側部	諸磯 a	-	材と同一個体
46	J P24	2個の突起。縦位の爪形文と平行線。	①中粒②橙色③口縁部	諸磯 a	-	
47	J P24	半纏竹青文による連続爪形文による山形文。円管文。縄文R L。	①繊維②赤褐色③側部	諸磯 a	-	
48	J P24	半纏竹青文による連続爪形文。縄文R L。	①細粒②淡黄色③側部	諸磯 a	-	
49	J P24	半纏竹青文による連続爪形文の木葉文。縄文R L。	①網状②赤褐色③側部	諸磯 a	-	
50	J P24	平行波線。縄文R L。	①繊維②にぼい赤褐色 ③側部	諸磯 a	-	
51	J P24	縄文R L。	①細粒②暗赤灰色③側部	諸磯	-	
52	J P24	縦位の円管文。縄文R L。	①粗粒②明赤褐色③側部	諸磯 a	-	
53	J P24	縄文R L。	①中粒②橙色③側部	諸磯	-	
54	J P24	縄文R L。	①細粒②にぼい赤褐色 ③側部	諸磯	-	
55	J P24	縄文R L。	①中粒②橙色③側部	諸磯	-	
56	J P25	付加条。L HにRを右巻き、左巻きにしている。	①繊維②青灰色③側部	黒浜	-	
57	J P25	継いだりの縄文R L。2本単位。	①繊維②橙色③側部	黒浜	-	
58	J P25・ No.2	木本料植物の纖維状のある工具で横方向の平行線が密に施文される。	①繊維②褐色③側部	黒浜	-	
59	J P25	縄文R L。	①中粒②黒褐色③側部	諸磯	-	
60	J P25	縄文原体不明。	①繊維②黄褐色③底部	黒浜	-	
61	J P26	半纏竹青文による連続爪形文と円管文。	①細粒②橙色③口縁部	諸磯 a	-	
62	J P26・埋	半纏竹青文による平行波線と縄文R L。	①中粒・白色鉱物②淡黄色 ③側部	諸磯 a	-	
63	J P26	半纏竹青文による連続爪形文と櫛齒状の集合波線。	①細粒②にぼい黄褐色③側部	諸磯 a	-	
64	J P26	縄文R L。	①繊維②黒褐色③側部	黒浜	-	
65	J P26	縄文R L。	①繊維②にぼい赤褐色 ③側部	黒浜	-	
66	J P26	縄文L R。	①繊維②橙色③側部	黒浜	-	
67	J P26	縄文R L。	①中粒・白色鉱物②黄灰色 ③側部	諸磯	-	
68	J P28	半纏竹青文による平行波線と縦帶で構成される。縦帯には、斜めの刻みが入る。円形刻突が上下に施文。	①細粒・黒色鉱物②淡黄色 ③口縁部	諸磯 a	-	
69	J P28	縦位の円形刻突と5本曲の櫛齒状工具による直線と波状文で構成される。	①中粒・白色鉱物②赤褐色 ③口縁部	諸磯 a	-	
70	J P28	横方向3条の連続爪形文。側部には縄文R L。	①細粒・白色鉱物②にぼい 赤褐色③口縁部	諸磯 a	-	

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
71	J P28	横方向の平行沈線内に範衝文構成の平行沈線。	①中粒・白色鉱物 ②明赤褐色③口縁部	諸磯 a	-	
72	J P28	横方向に1条の連続爪形文。それ以下は範文RLしが浅く施文される。	①細粒・黑色鉱物②橙色 ③口縁部	諸磯 a	-	
73	J P28	範文RLが全面に施文。	①細粒②橙色③口縁部	諸磯 b	-	
74	J P28	範文LR。	①鐵錫②明赤褐色③口縁部	黒浜	-	
75	J P28	横位施文による羽状文構成。範文RL。	①鐵錫②にぼい橙色③口縁部	黒浜	-	
76	J P28	範文RLが密接して施文される。	①細粒・褐色鉱物②浅青褐色 ③口縁部	諸磯 a	-	
77	J P28	範文LR。	①鐵錫②深褐色③肩部	黒浜	-	
78	J P28	範文LR。	①細粒②橙色③肩部	諸磯	-	
79	J P28	範文RL。	①鐵錫②青褐色③肩部	黒浜	-	
80	J P28	範文RL。	①細粒②橙色③肩部	諸磯	-	
81	J P28	半蔵竹管による平行沈線の文様区画。範文RL。	①細粒②にぼい黃褐色③肩部	諸磯 b	-	
82	J P28	半蔵竹管による平行沈線の本範文。範文RLが浅く施文される。	①細粒②にぼい黃褐色③肩部	諸磯 a	-	
83	J P28	禾本科植物の平坦な仕面。幅10mmの正角が不規則にみられる。	①中粒・砂多い。②橙色③肩部	諸磯 a	-	
84	J P28	やや太めの沈線が入る。範文RL。	①粗粒②橙色③肩部	諸磯 b	-	
85	J P28	土製円盤。範文RL。半分欠損。研磨の後がみられる。	①中粒②にぼい橙色③肩部	諸磯	-	
86	J P28	土製円盤。範文RL。打ち欠きの後に研磨を行っていない。	①細粒②にぼい橙色③はぼ光形	諸磯	-	
87	J P29	集合沈線を施文の後、耳たぶ状の貼付。	①細粒②にぼい水褐色③口縁部	諸磯 c	-	
88	J P29	連続爪形文が範位に施文。	①中粒②にぼい橙色③肩部	諸磯 a	-	
89	J P29	範文LR施文後に半蔵竹管による横方向の平行沈線が施文される。	①中粒②にぼい橙色③肩部	諸磯 b	-	
90	J P29	沈線区画によるY字文構成。	①中粒②にぼい橙色③肩部	称名寺 2	-	
91	J P29	範文RLとLRによる横位施文による羽状構成。	①鐵錫②橙色③口縁部	黒浜	-	
92	J P29	範文RL。	①細粒・白色鉱物②にぼい褐色③肩部	諸磯	-	
93	J P29	範文RLとLRの横位施文による羽状構成。	①鐵錫②橙色③口縁部	黒浜	-	91と同一個体
94	J P30	範文RL施文の後に5本単位の櫛齒状工具による集合沈線が施出される。範位の円管文が施文。	①細粒②にぼい橙色③肩部	諸磯 a	-	
95	J P30	範文RL。	①細粒②橙色③肩部	諸磯 a	-	
96	J P30	土製円盤。大きめな半蔵竹管による平行の連続爪形文が入る。打ち欠きの後の研磨はあまり行われていない。	①中粒・白色鉱物②にぼい橙色③肩部	諸磯 b	-	
97	J P31	半蔵竹管による契紅範文風の刺突が不規則に入る。	①細粒②橙色③肩部	諸磯	-	
98	J P31	範文LRとRLの横位施文による羽状構成。	①鐵錫②橙色③肩部	黒浜	-	
99	J P31	範文RL。	①中粒②橙色③肩部	諸磯 a	-	
100	J P31	地文に範文RL施文後、浮線を貼付。	①細粒②にぼい黃褐色③口縁部	諸磯 b	-	
101	J P31	範文LR。	①細粒・白色鉱物②にぼい褐色③肩部	諸磯 a	-	
102	J P31	範文LR。	①中粒②にぼい橙色③肩部	諸磯	-	
103	J P31	矢羽状彫みが入る浮線	①砂粒②明赤褐色③底部	諸磯 b	-	J 20.-25と接

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③性状	時期	出土位置	備考
104	J P31	獸面把手。猪。	①細粒②淡黄色③把手	諸磯 b	-	
105	J P32-N01	O形多条RL。	①織維②にい赤褐色③制部	黒浜?	-	
106	J P32-N04	織文R。	①織維②黒褐色③制部	黒浜	-	
107	J P33	織文RL。	①織維②明黄褐色③口縁部	黒浜	-	
108	J P33	織文RL。	①織維②青色③制部	黒浜	-	
109	J P33	織文RL。	①織維②青色③制部	黒浜	-	
110	J P33	織文RLとLRの駆位施文による羽状構成。	①織維②浅黄褐色③制部	黒浜	-	
111	J P33	織文RL。	①中粒・白色鉱物②橙色③底部	諸磯	-	
112	J P34	夷紙施文の後、口縁に平行して半載竹管による爪形。	①細粒②明赤褐色③口縁部	諸磯 a	-	
113	J P34	半載竹管による太めの平行沈縫。	①中粒②明黄褐色③制部	諸磯	-	
114	J P34	無文部。横方向の丁寧な削磨。	①細粒②明赤褐色③制部	諸磯	-	
115	J P34	無文部。横方向の丁寧な削磨。	①細粒②明赤褐色③制部	諸磯	-	
116	J P35	撫摩起凸面による2段構成のJ字文。織文RL?。	①中粒・白色鉱物②淡黄色 ③制部	称名寺 1	-	
117	J P35	大・沈縫凸面。	①中粒②にい・青褐色③制部	称名寺 2	-	
118	J P36	LII縦に平行する半載竹管による連続爪形文。織文RL尾文。	①細粒②にい・青褐色③口縁部	諸磯 a	-	
119	J P36	半載竹管による連続爪形文によって弧線が描かれる。織文KLと内管文が入る。	①細粒②赤褐色③制部	諸磯 a	-	
120	J P36	縫帶と突起部分で構成。縫帶刺み。沈縫は結節沈縫。	①細粒・金雲母②にい・赤褐色③口・縫部	阿玉台	-	
121	J P36	口縁に平行する半載竹管による平行線で構成される。	①細粒②和色③口縁部	諸磯 c	-	
122	J P36	波状口縁。縫位に配された円孔を中心にも菱形の文様が連続爪形によって構成される。	①中粒・模様?②にい・赤褐色③口縁部	黒浜	-	
123	J P36-N04	底部附近。織文K。	①織維②明赤褐色③制部 ~底部	黒浜	-	
124	J P36	半載竹管による斜め方向の平行沈縫。	①中粒②橙色③制部	諸磯 a	-	
125	J P36	半載竹管による平行沈縫と織文RL。	①中粒②橙色③制部	諸磯 a	-	
126	J P36	織文RL。	①細粒②にい・橙色③制部	諸磯	-	
127	J P36	頭の大きさの違う織文RLとLRの横位施文による羽状構成。	①織維②にい・橙色③制部	黒浜	-	
128	J P36	織文LR。	①織維②にい・橙色③制部	黒浜	-	
129	J P36-N04	付加条。織文LR。子縫R。	①織維②にい・橙色③制部	黒浜	-	
130	J P36-N04	織文LRによる羽状構成。	①織維②淡黄褐色③制部	黒浜	-	
131	J P38	?本單位の集合沈縫。	①細粒②にい・赤褐色③制部	諸磯 a	-	
132	J P38	半載竹管による平行沈縫文と三角形の連続爪形。	①細粒②ふ褐色③口縁部	諸磯 a	-	
133	J P38	小さな内管文が縫位に配され、それから連続爪形文が裏開きされる。	①細粒②にい・橙色③制部	諸磯 a	-	
134	J P38	織文RL。	①織維②明赤褐色③制部	諸磯	-	
135	J P39	大波状口縁。円孔を有し、連続爪形文が施文される。	①細粒②にい・赤褐色③口縁部	諸磯 a	-	
136	J P39	口縁に平行する連続爪形文が施文される。	①細粒②明赤褐色③口縁部	諸磯 a	-	

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①輪上 ②色調 ③模様	時期	出土位置	備考
137	J P39	4本1組の集合沈線で平行線と鉛筆文が描かれ、等間隔で刺突がある。	①細粒②明赤褐色③口縁部	諸磯 a	-	
138	J P39	5本単位の集合沈線で平行線と弧線が描かれる。	①細粒②明赤褐色③口縁部	諸磯 a	-	
139	J P39	4本単位の集合沈線で弧線が描かれ、円管文が施文される。	①細粒②特色③胴部	諸磯 a	-	
140	J P39	半截竹管による連続爪形文で木葉文が描かれる。繩文K L。	①細粒②橙色③胴部	諸磯 a	-	
141	J P39	付加条。I.R.+R。	①織維②にぼい黄褐色③口縁部	黒浜	-	
142	J P39	繩文L.R.	①織維②にぼい橙色③口縁部	黒浜	-	
143	J P39	繩文R.L.	①細粒	諸磯	-	
144	J P39	繩文R.L.	①織維②灰灰色③胴部	黒浜	-	
145	J P39	繩文R.L.	①細粒②灰褐色③胴部	諸磯	-	
146	J P39	繩文R.L.	①織維②橙色③胴部	黒浜	-	
147	J P39	側面H直。繩文RとLの緊接。	①織維②真褐色③胴部	花横下層	-	
148	J P39	平行沈線。繩文L.R.	①中粒②にぼい橙色③胴部	諸磯 a	-	
149	J P46	O段多条L.R.	①織維②灰黄色③胴部	黒浜	-	
150	J P46	O段多条R.L.	①織維②淡黄色③胴部	黒浜	-	
151	J P42	LJ縁部が大きく開き、胴部がすさまる探針。地文に繩文R.L.を施文し、太めの浮縁が貼付される。	①細粒②にぼい赤褐色③全体の3/4	諸磯 b	-	
152	J P53	半截竹管文による平行沈線。	①織維②明赤褐色③胴部	黒浜	-	
153	J P53	円形竹管文を中心に6本1組の集合沈線と連続爪形文で構成される。	①細粒②橙色③胴部	諸磯 a	-	
154	J P53	側面正直。RとLの緊接。	①織維②真褐色③胴部	花横下層	-	
155	J P53	半截竹管文による平行線と鉛筆文。繩文L.R.	①中粒②にぼい橙色③胴部	諸磯 a	-	
156	J P53	繩文R。	①織維②灰黃褐色③胴部	黒浜	-	
157	J P53	繩文R.L.	①細粒②にぼい橙色③胴部	諸磯	-	
158	J P53	O段多条L.R.	①織維②暗赤褐色③胴部	黒浜	-	
159	J P54	無跡LとRによる羽状構成。	①織維②にぼい橙色③胴部	黒浜	-	
160	J P54	繩文R.L.	①織維僅か②黑色③胴部	黒浜	-	
161	J P54	繩文L.R.	①織維少ない②にぼい黄褐色③胴部	黒浜	-	
162	J P55	繩文R.L.	①細粒②灰褐色③口縁部	諸磯	-	
163	J P55	連続爪形文が3条。	①中粒②にぼい橙色③口縁部	諸磯 a	-	
164	J P55	繩文L.R.	①織維②灰灰色③口縁部	黒浜	-	
165	J P55	連続爪形文と円管文。繩文R.L.	①細粒②明赤褐色③胴部	諸磯 a	-	
166	J P55	繩文L.R.	①織維②黄褐色③胴部	黒浜	-	
167	J P56	繩文R.L.	①織維②橙色③胴部	黒浜	-	
168	J P56	繩文L.R.	①織維②にぼい黄褐色③胴部	黒浜	-	
169	J P56	繩文R.L.	①中粒②浅黄褐色③胴部	加曾利B 4	-	

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①輪上 ②色刷面 ③残存	時 期	出土位置	備 考
170	J P56	瓶体側面直彎。縦文RとLの横縞。	①輪紋②褐色③胴部	花瓶下層	-	
171	J P56	縦文R L。	①輪紋②青色③胴部	諸磯	-	
172	J P56	細く浅い沈線で模様が描かれる。	①中紋②淡黄褐色③胴部	称名寺2	-	
173	J P56	沈線区画と縦文R Lが施文される。	①輪紋②淡黄褐色③胴部	称名寺1	-	
174	J P56	半截竹青文による平行沈線と縦文R L。	①輪紋②淡黄褐色③胴部	諸磯a	-	
175	J P56	半截竹青文による格子状風の沈線。	①中紋②淡黄褐色③胴部	諸磯	-	
176	J P56	地文に縦文を転がし、浮線文が貼付。浮線の刻みは人の爪と思われる。	①輪紋②淡黄褐色③胴部	諸磯b	-	
177	J P57+N63	縦文R Lと縦文L Rの横位施文による羽状構成。	①輪紋②黒色③胴部	黒浜	-	
178	J P57	縦文L R。	①輪紋②にぼい黄褐色③肩部	黒浜	-	
179	J P57+N63	平口縫。縦文L RとR Lの横位施文による羽状構成。	①輪紋②淡黄褐色③口縫部	黒浜	-	
180	J P57+N64+5	縦文R LとL Rの横位施文による羽状構成。胴部に段を有する。	①輪紋②にぼい橙色③胴部	黒浜	-	
181	J P57+N65	平口縫で胴部にややくびれを有する。縦文R LとR Lで菱形文を構成。	①輪紋②淡褐色③口縫部	黒浜	-	
182	J P57	地文に施文が捺され、葉状工具による沈線が斜位に3条施文される。	①輪紋②にぼい黄褐色③胴部	黒浜	-	
183	J P57+N65	付加条。L R + L。	①輪紋②にぼい黄褐色③肩部	黒浜?	-	
184	J P57+N63	縦文R L。	①輪紋②灰青褐色③胴部	諸磯a	-	
185	J P57+N61	平底。縦文R L。	①輪紋②淡黄色③底部	黒浜	-	
186	J P57+N62	やや上げ底の底部。縦文R L。	①輪紋②淡黄褐色③底部	黒浜	-	
187	J P57	平底。縦文R L。	①輪紋②淡黄褐色③底部	黒浜	-	
188	J P57+N65	平底。縦文R。	①輪紋②にぼい黄褐色③底部	黒浜	-	
189	J P58	粗い縦文L R。	①輪紋②褐色③胴部	黒浜	-	
190	J P58	縦文L R。	①中紋②にぼい橙色③胴部	諸磯	-	
191	J P58	粗い縦文L R。	①輪紋②灰褐色③胴部	黒浜	-	
192	J P58	細縦文R L。	①輪紋②褐色③胴部	諸磯	-	
193	J P58	半截竹管による連続爪形文とO段多条のR Lと同じくL Rによる羽状構成。	①輪紋②淡褐色③胴部	黒浜	-	
194	J P58	連続爪形文と円形刺突。補修孔あり。	①輪紋②褐色③胴部	諸磯a	-	
195	J P58	半截竹管による平行沈線によって木葉文が捺出される。縦文R L。	①輪紋②にぼい黄褐色③肩部	諸磯a	-	
196	J P58	半截竹管による連続爪形文と縦文R L。	①輪紋②大粒な砂粒③褐色 ③胴部	諸磯a	-	
197	J P58	半截竹管による落葉爪形文が口縫に平行して1条施文される。それ以下は半截竹管による斜位の沈線。	①大粒・白色鉛物②淡黃褐色③口縫部	諸磯a	-	
198	J P59	不規則な捺りの縦文R L。	①輪紋②褐色③胴部	黒浜	-	
199	J P59	解けた条線文。無文部が凹窓をおいて入る。	①中粒・白色鉛物②橙色③ 肩部	中~後期	-	
200	J P60	不規則な縦文R L。	①輪紋②褐色③胴部	黒浜	-	
201	J P60	捺りのある縦文R LとL Rによる羽状構成。	①輪紋多い②にぼい橙色③ 胴部	黒浜	-	
202	J P60	捺りのある縦文R L。	①輪紋多い②黒褐色③胴部	黒浜	-	

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
203	J P60	燃りのあまい縄文RLとLRによる羽状構成。	①織部②によい橙色③剥落	黒浜	-	
204	J P60	燃りのあまい縄文LR。	①織部②によい橙色③底部	黒浜	-	
205	J P60	O段多条の縄文LRが施文される。底部は上げ底。	①織部多い、大粒の砂粒②橙色③底部	黒浜	-	
206	J P60	土製内盤。周囲は打ち欠いたままで、研磨はなされない。縄文LR。	①織部②灰赤色③土製内盤	黒浜	-	
207	J P61	半截竹管による連続爪形文。浅い円形のくぼみ。縄文RL。	①織部少量②明赤褐色③剥落	黒浜	-	
208	J P61	固い燃りの縄文RL。	①中粒・砂粒多い②によい橙色③剥落	黒浜a	-	
209	J P61	半截竹管による連続爪形文。縄文RL。	①織部②橙色③剥落	黒浜a	-	
210	J P61	半截竹管による小窓文。文様区画内には縄文RLが施文される。	①織部②浅黄褐色③剥落	黒浜a	-	
211	J P67	沈縁区間に縄文LRが施文される。	①細粒②浅黄褐色③剥落	加曾利E4	-	
212	J P67	豊形十字。外側は継ぎの無地。	①中粒②橙色③%	堀之内	-	
213	J P70	向かい合う「丁」字で2段構成となる。沈縁区画外には縄文LRが施文される。	①中粒②によい橙色③剥落	称名寺1	-	214と同一個体
214	J P70	上半部を大きく欠損。底部のくびれに刺突のある蓮瓣。浅い丸縫「丁」字を基調とした沈縁区画。周文LR充填。	①細粒②黄褐色③%	称名寺1	-	J 35-3と接
215	J P74 (H217-N6)	平口縫。口縫に三角形の突起。口縫部にやや乱れたコンパス文。それ以下は吳飾斜縄文。	①織部多い②淡黄色③口縫部	開山	-	
216	J P74 (H217-N6)	平口縫。O段多条LRとRLによる菱形文構成。	①織部多い②によい橙色③剥落	黒浜	-	217と同一個体
217	J P74 (H217-N6)	O段多条LRと縄文RLによって菱形文。	①織部多い②によい橙色③剥落	黒浜	-	
218	J P74 (H217-N6)	LRL、LRの異条件縄文とRLR、RLの異条件縄文で羽状構成。それ以下は前段段合燃L、Rの縄文	①織部②黄褐色③剥落 R { L R { R R { L R { R	開山	-	
219	J P74+埋	口縫部に1条の沈縁。底部には弧線と直線で文様構成。口縫部と剥落は重下する刻み跡で連結される。	①細粒・白色軸物②によい褐色③口縫部	堀之内2	-	
220	J P75	縄文RL。	①織部②浅黄褐色③剥落	黒浜	-	
221	J P75	縄文RLとLRで羽状構成。	①織部②橙色③剥落	黒浜	-	
222	J P77+N6	小哉状口縫。原体側面圧痕、LとRを口縫部に施文。その下部に水平に蓮瓣。底部にはO段多条RLの縄文。	①織部②明黄褐色③口縫部	花柄下層	-	
223	J P78 N6.2-7+8-11	2單位の平波状口縫。波状は大きめ。口縫部は大きめの刻み。それ以下は蓮瓣と幅広の連続爪形文が交互に配される。文様は平行線(2種類)を配して上下2段で構成。巻きの空いた部分に内窓文が2箇所を基調に施文される。剥落下半部には縄文RLが浅く施文される。①中粒・黒色軸物②橙色③口縫部を欠くが残存。 茎縁b。	①細粒②明黄褐色③口縫部	-		
224	J P78+N6	2單位の2倍1組の突起。連続爪形文と直線、上下に対応する弧線で配される。剥落は連続爪形文で山形。	①細粒②明黄褐色③%	茎縁b	-	
225	J P78+N6	横走する半截竹管による平行線と円唇文。剥落には縄文RLが施文される。	①中粒②明黄褐色③剥落	茎縁b	-	
226	J P78	縦く口縫がなく残鉢。現存高30cm。文様は半截竹管による平行線のあと連続爪形文が3条。さらに平行線と弧線。	①中粒・砂粒多い②橙色③口縫部を欠くが残存	茎縁b	-	
227	J P78+N6	横く開く平口縫の深鉢。口縫には3個1組の貼付が2個所に施文。口縫部には複数の連続爪形文。	①中粒・砂粒多い②淡黄褐色 色③%	茎縁b	-	
228	J P94 (5 P140)	開き気味な口縫部を持つ深鉢。文様は直線と三角形を重ねた沈縁で、縄文LRが充填。8字状貼付もみられる。	①中粒②褐灰色③%	堀之内2	-	J 54-1と接
229	J P94+N6 (5 P140)	口縫部に横走する刻み蓮瓣。三角形の沈縁重ね。縄文RLが充填される。	①細粒②黒褐色③口縫部	堀之内2	-	J 54-2と接
230	J P94 (5 P140)	口縫に平行する帯状の文様構成。三角や菱形が化線によって重ねられる。縄文RLが焼成される。	①中粒②灰黄褐色③剥落	堀之内2	-	
231	J P94	口縫に平行する帯状の文様構成。三角や菱形を基本とした沈縁の重ね。縄文RLが充填される。	①細粒②によい黄褐色③口縫部	堀之内2	-	
232	J P94 (5 P140)	口縫に平行する帯状の文様構成。三角や菱形の沈縁重ねが施文。縄文LRが充填される。8字状貼付文もあり。	①細粒②灰黄褐色③口縫部	堀之内2	-	
233	J P94 (5 P140)	口縫に平行する帯状の文様構成。三角や菱形の沈縁重ねがややくずれる。縄文RLが充填される。	①細粒②によい黄褐色③剥落	堀之内2	-	

番号	遺物番号	文様構成・文様施文・器形の特徴	①胎土 ②色調 ③残存	時期	出土位置	備考
234 (5 P140)	J P94	口縁に平行する帯状の文様構成。三角形の沈線重ねが2段にわたって構成される。施文L.Kが充填される。	①中粒・白色鉱物②暗黄色 色③%	縦之内 2	-	
235 (5 P140)	J P94	沈線と充填施文L.Rで文様構成。三角と菱形を基調とする文様。8字状點付文。	①中粒②暗黄色③口縁部	縦之内 2	-	J54・3と接
236 (5 P140)	J P94	やや口縁が外反する深鉢。口縁に平行する帯状の文様構成。沈線の三角形の重ね、細繩文L.Kが充填される。	①粗粒・砂粒が多い②にじ れ色③%	縦之内 2	-	
237 (5 P140)	J P94	把持2単位。沈線、円形、菱形文構成。施文R.L.が充填される。	①粗粒②薄黄色③口縁部	縦之内 2	-	
238 (5 P140)	J P94	平口縁。陰帯と並み。沈線の重ね。	①細粒②褐色③口縁部	縦之内 2	-	
239 (5 P140)	J P94	沈線。張線。平行線と刻み。	①中粒②にじ、黄色③胴部	縦之内 1	-	
240 (5 P140)	J P94	太い沈線で三角形や菱形文が描出。施文R.L.が充填される。	①粗粒②にじ、黃褐色③胴部	縦之内 2	-	
241 (5 P140)	J P94	細く浅い沈線で、円形や三角形が描出。施文R.L.が充填される。	①細粒・白色鉱物②黒褐色 色③胴部	縦之内 2	-	注口土崩?
242 (5 P140)	J P94	細い沈線の重ね。施文R.L.が充填される。	①細粒②黒褐色③胴部	縦之内 2	-	
243 (5 P140)	J P94	沈線により三角形や円形の重ね、細繩文L.Kが充填される。	①中粒・白色鉱物②にじ れ色③胴部	縦之内 2	-	注口上崩
244 (5 P140)	J P94	細い沈線の重ね。施文R.L.が充填される。	①中粒②にじ、黃褐色③胴部	縦之内 2	-	
245 (5 P140)	J P94	平行沈線と刻み。	①中粒②にじ、黄色③胴部	縦之内 1	-	239と同一個体か?
246 (5 P140)	J P94	波状口縁。平截竹管による集合沈線。	①細粒②橙色③口縁部	諸溝り		
247 (5 P140)	J P94	口縁に平行する2条の沈線。垂下する沈線。施文L.R.が施文される。	①粗粒・白色鉱物②黒褐色 ③口縁部	縦之内 1	-	
248 (5 P140)	J P94	土質判斷。3本単位の沈線。8字状點付文。施文L.R.が充填される。	①中粒・白色鉱物②暗灰色 色③土質判斷	縦之内 1	-	
249 (5 P140)	J P94	土質判斷。無文部。	①粗粒②にじ、黃褐色③土 質判斷	縦之内?	-	
250 (5 P140)	J P94	履歴の頗る沈線。	①細粒②橙色③胴部	縦之内?	-	
251 (5 P140)	J P94	横走する1条沈線。	①細粒②にじ、黃褐色③胴 部	縦之内?	-	
252 (5 P140)	J P94	無文部。	①粗粒②淡黄色③胴部	縦之内?	-	
253 (5 P140)	J P94	無文部。	①粗粒②褐色③底部	黒浜	-	
254 (5 P140)	J P94	無文部。底部に剥離。	①中粒②明黄褐色③底部	縦之内	-	
255 (5 P140)	J P94	無文部。	①粗粒②にじ、橙色③底部	縦之内	-	
256 (5 P140)	J P94	口縁部に沈線1条。胴部に横方向の3条の平行線。12單位と推定されるY字文が複数に入る。	①粗粒・砂粒多い②淡黄色 色③%	縦之内 1	-	J54・6と接
257 (5 P140)	J P94	無文部。	①粗粒②淡黄色③底部	縦之内	-	
258 (5 P140)	J P94	底部。無文部。	①粗粒②淡黄色③底部	縦之内?	-	
259 (5 P140)	J P94	胴部に段を有する。底でがみられるが、砂粒の浮きが著しい。	①粗粒・砂粒多い②にじ れ色③%	縦之内 2	-	236の底部
260 (5 P140)	J P94	大きく開く底部。外側の研磨は丁寧に行っている。	①粗粒②褐色③底部	縦之内 2	-	
261	J P139	大波状口縁。口縁部には平たい工具で菱形文が構成される。また、円背文も施文。胴部にはしとR繩文の2本1組の椅子目の絡糸体による底麻がみられる。(①繩糸②明黄褐色③口縁部 岡山				



图-262 J.P.土坑出土石器(1)

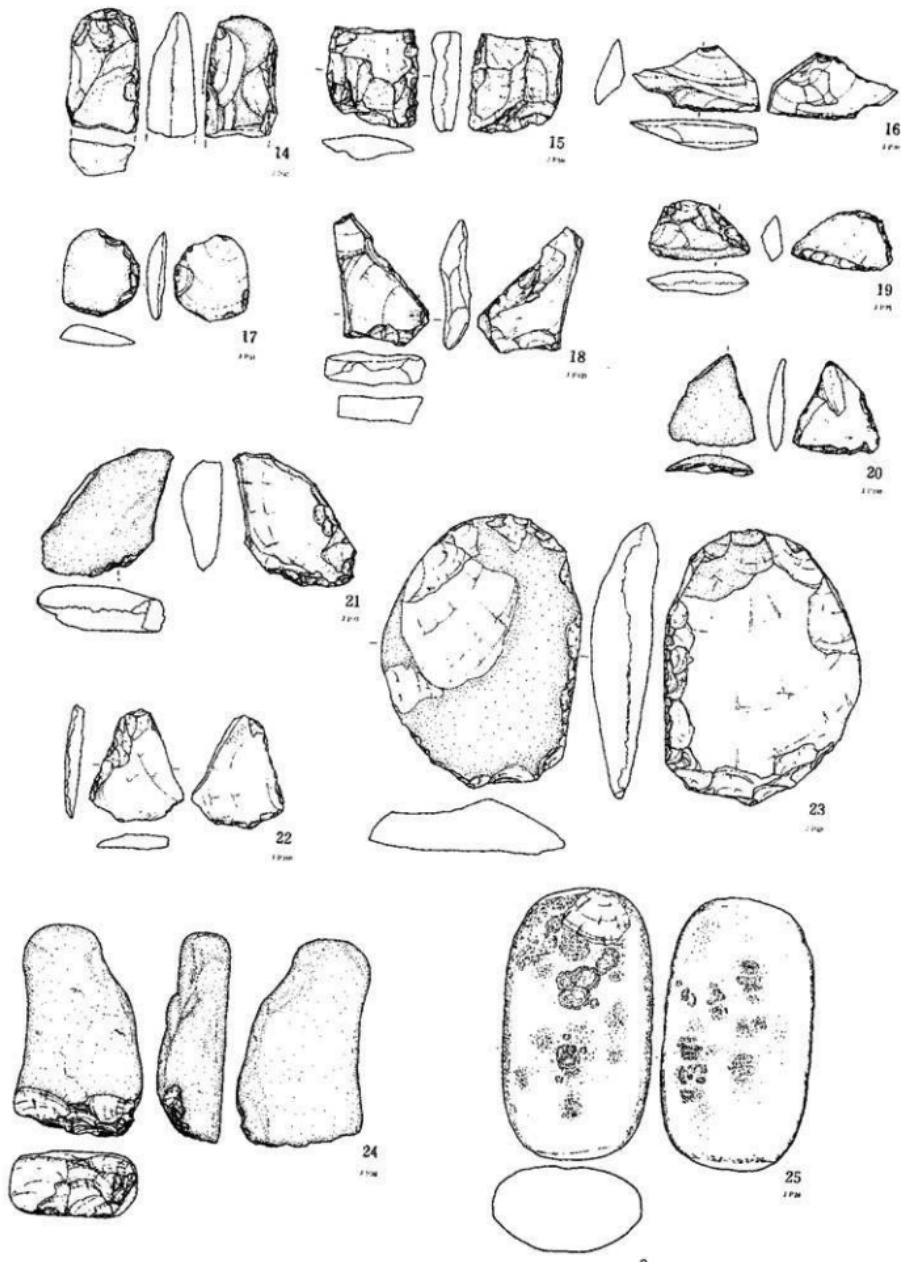


图-263 J.P.出土石器 (2)

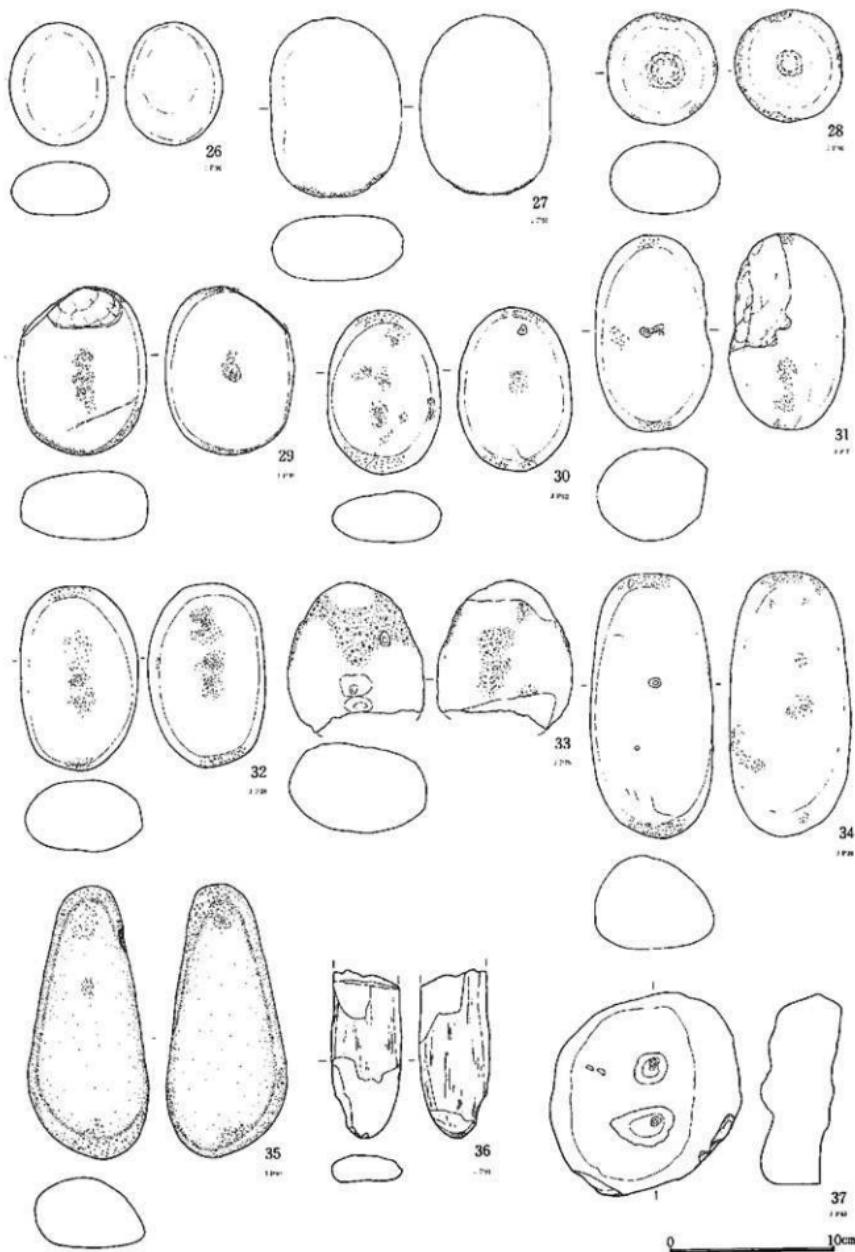


图-264 J P 土坑出土石器 (3)

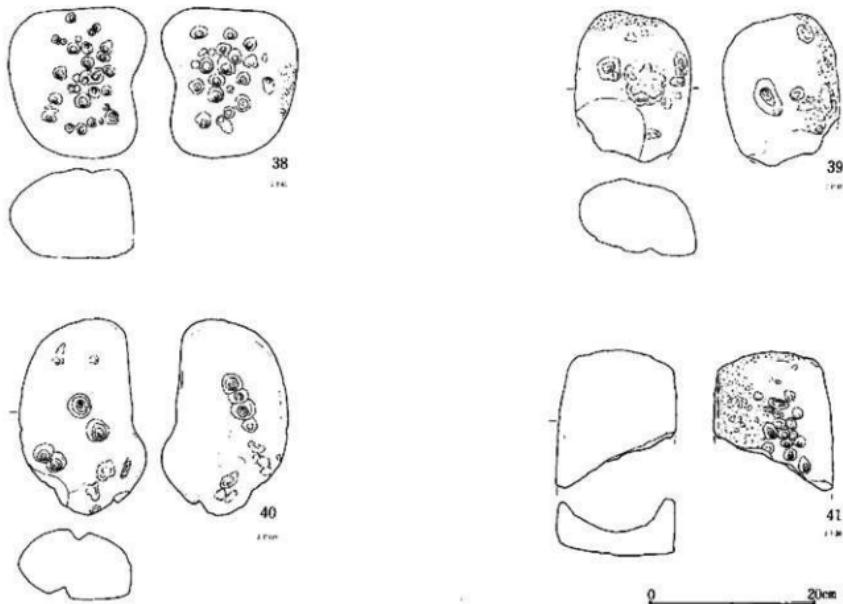


図-265 J P 土坑出土土石器 (4)

表-161 J P 土坑出土石器属性表

No.	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(kg)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備考	
									A	B	a	b	c		
1	翻跡	打製石斧	10.7	7.3	1.4	75	黒頁	30	—	—	—	減1	—	—	J P-7
2	〃	〃	9.3	5.8	2.5	158	縞	55	—	—	—	—	—	—	J P-7
3	覆	〃	9.3	5.8	1.5	68	黒頁	40	—	—	—	—	—	横1	横1 J P-8
4	覆	〃	(7.7)	8.3	1.9	121	黒安	35	—	—	欠	減1	—	—	J P-8
5	覆	〃	(7.9)	6.6	2.3	106	黒頁	50	—	—	欠	—	横2	横2	J P-8
6	覆	〃	12.7	8.2	2.8	246	〃	65	—	—	—	—	—	—	J P-28
7	1	〃	10.5	7.8	2.7	189	〃	35	—	—	—	—	—	横1	横1 J P-10
8	覆	〃	(11.0)	7.3	1.8	145	黒安	30	減2	減2	欠	減2	—	—	J P-29
9	覆	〃	11.6	4.9	2.2	143	黒頁	35	—	—	—	—	—	—	横1 J P-9
10	覆	摩製石斧	8.7	4.1	1.5	86	縞片	45	擦2	擦2・般3	擦2	般2	擦2 →般2	擦2 →般2	J P-55
11	覆	打製石斧	12.0	4.5	2.0	105	頁	60	—	—	—	—	—	—	J P-77
12	覆	〃	(4.8)	4.1	1.6	33	黒頁	25	—	—	欠	—	—	—	J P-19
13	覆	〃	(5.4)	6.8	2.1	75	頁	60	—	—	欠	減3	—	—	J P-36
14	覆	〃	(7.5)	4.3	3.0	114	黒頁	—	—	—	—	—	—	—	J P-31
15	覆	鋸齒縞石器	6.0	5.4	1.8	60	〃	45	—	—	—	—	—	—	J P-59

No	遺物 番号	器種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	石材	刃角	使用旗・装着板の位置・程度					備 考
									A	B	a	b	c	
16	覆	直刃刀器	4.0	7.8	1.7	49	石	60	—	—	—	—	—	J P-39
17	覆	凸刃削器	5.2	4.5	1.1	32	石	60	—	—	—	—	—	J P-31
18	覆	凹刃削器	6.0	7.8	2.0	60	石	50	—	—	—	—	—	J P-139
19	1	交刃削器	3.6	6.1	1.4	29	石	70 60	—	—	—	—	—	J P-75
20	覆	〃	5.2	5.6	1.1	52	石	45	—	—	—	—	—	J P-140
21	覆	〃	7.7	7.9	2.7	171	石	55	—	—	—	—	—	J P-77
22	覆	復刃削器	6.8	5.1	0.9	55	墨安	40	—	—	—	—	—	J P-140
23	覆	〃	16.7	11.9	3.8	742	黒質	45	—	—	—	—	—	J P-42
24	轡	轡 石器	12.8	7.6	4.0	585	石	75	—	—	—	—	—	J P-36
25	覆	円錐石器	16.6	9.1	5.5	1,180	安	—	轡2→轡1	轡2→轡1	轡1	轡1	轡1	J P-24
26	覆	〃	7.4	5.9	3.3	220	石	—	轡1	轡1	—	—	—	J P-56
27	覆	〃	10.7	7.8	4.0	545	斑	—	轡1	轡1	轡3	轡3	—	J P-57
28	覆	〃	6.7	6.6	4.3	255	石	—	轡2→轡1	轡2→轡1	轡2 +轡1	轡2 +轡1	轡2 +轡1	J P-56
29	覆	〃	10.2	7.8	4.0	482	砂	—	轡2→轡2	轡2→轡1	轡3	轡1	轡1	J P-39
30	1	〃	9.8	6.8	3.2	277	安	—	轡2	轡2	轡1	轡1	轡1	J P-92
31	覆	〃	11.8	7.0	5.5	665	石	—	凹1→轡1	轡1→轡1	—	轡1	—	J P-7
32	覆	〃	11.1	7.0	4.3	520	石	—	轡2→轡1	轡2→轡1	轡2	轡2	—	J P-24
33	2	〃	(9.0)	8.2	5.5	470	石	—	凹1	凹1	轡3	欠	轡3	J P-75
34	覆	敲き石	15.9	7.4	5.7	1,060	花	—	—	—	轡1	轡1	—	J P-24
35	2	敲き石	16.5	7.3	4.4	732	安	—	—	—	轡2	轡2	—	J P-92
36	覆	棒状石器	(10.2)	4.2	1.6	90	黒片	—	—	—	—	轡1	—	J P-91
37	覆	多凹石	11.6	12.3	5.8	775	安	—	凹2	—	—	—	—	J P-48
38	3	〃	18.3	16.3	10.9	4,530	石	—	凹3	凹3	—	—	—	J P-61
39	1	〃	(18.5)	13.9	9.4	2,630	石	—	凹3→轡2	凹3→轡2	—	欠	—	J P-37
40	12	〃	23.7	15.1	8.6	3,380	石	—	凹3	凹3	—	—	—	J P-119
41	1	石頭+多凹台	(16.5)	14.6	7.4	1,280	石	—	轡1	凹3	—	欠	—	J P-30

表-162 J P 土抗石器器種・石材別一覧表

石材	石	打	磨	石	尖	石	模	背	直	凹	四	交	複	鍛	块	櫛	R	U	齒	内	石	櫛	石	块	多	凹	直	刺	石	石	多	凹	直	刺	石	石	块	櫛	その	計
	石	斧	斧	斧	斧	斧	斧	斧	刃	刃	刃	刃	刃	刃	刃	刃	刃	刃	刃	刃	刃	刃	刃	刃	刃	刃	刃	刃	刃	刃	刃	刃	刃	刃	刃	刃				
J P 4号土抗																																								
黒色質岩																																								
計																																								
J P 7号土抗																																								
黒色質岩	1																																		2					
安山岩																																			1					
その他	1																																		1					
計	2																																		4					

	砂	打	肥	石	尖	石	擦	背	直	凸	凹	交	窄	狭	模	標	R	U	磨	敲	圓	石	棒	石	多	圓	壓	刺	石	機	其	他
石材	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	F	F	石	石	圓	石	棒	石	多	圓	壓	刺	石	機	其	他
J P 8号土坑																																
黒色頁岩	2																														8	
黒色安山岩	1																														1	
安山岩																															2	
計	3																														11	
J P 9号土坑																																
黒色頁岩	1																														3	
安山岩																															3	
計	1																														6	
J P 10号土坑																																
黒色頁岩	1	1																													1	
計	1																														1	
J P 12号土坑																																
黒色頁岩																															1	
計																															1	
J P 19号土坑																																
黒色頁岩	1																														3	
黒色片岩																															6	
計	1																														9	
J P 24号土坑																																
黒色頁岩																															3	
安山岩																															3	
花崗岩																															1	
珪岩																															1	
計																															8	
J P 25号土坑																																
黒色頁岩																															8	
安山岩																															4	
珪岩																															2	
計																															14	
J P 28号土坑																																
黒色頁岩	1																														7	
黑色安山岩																															1	
計	1																														8	
J P 29号土坑																																
黒色頁岩																															2	
黑色安山岩	1																														1	
安山岩																															4	
計	1																														7	
J P 30号土坑																																
黒色頁岩																															4	
安山岩																															1	
計																															5	
J P 31号土坑																																
黒色頁岩	1																														12	
計	1																														12	
J P 32号土坑																																
珪岩																															1	
計																															1	
J P 33号土坑																																
黒色頁岩																															1	
安山岩																															1	
計																															2	
J P 36号土坑																																
黒色頁岩																															3	
頁岩	1																														1	
安山岩																															2	
計	1																														6	
J P 37号土坑																																
安山岩																															2	
計																															2	

	器機	石打	磨	石尖	石	鋸	背	直	凸	凹	交	複	圓	扶	楔	環	R	U	磨	鐵	円	石	棒	石	多	西	鉄	制	石	津	その他	計
	石材	磨	打	磨	鋸	鋸	背	直	凸	凹	交	複	圓	扶	楔	環	R	U	磨	鐵	円	石	棒	石	多	西	鉄	制	石	津	その他	計
J P38号土坑																																
頁岩																															1	
黒色頁岩																															1	
計																															3	
J P39号土坑																															4	
黑色頁岩																															1	
安山岩																															2	
砂石																															3	
計																															1	
J P40号土坑																															7	
安山岩																															1	
計																															1	
J P42号土坑																															1	
黑色頁岩																															1	
井																															1	
J P46号土坑																															1	
黑色頁岩																															1	
安山岩																															2	
計																															3	
J P48号土坑																															1	
安山岩																															1	
井																															1	
J P52号土坑																															1	
黑色頁岩																															1	
計																															1	
J P53号土坑																															1	
黑色頁岩																															1	
計																															1	
J P55号土坑																															1	
黑色頁岩																															2	
綠泥片岩																															1	
井																															3	
J P56号土坑																															1	
安山岩																															1	
蛭岩																															1	
計																															2	
J P57号土坑																															1	
黑色頁岩																															5	
安山岩																															3	
蛭岩																															1	
珪岩																															1	
計																															11	
J P58号土坑																															2	
黑色安山岩																															2	
安山岩																															1	
計																															3	
J P59号土坑																															1	
黑色頁岩																															1	
計																															1	
J P60号土坑																															2	
黑色頁岩																															5	
安山岩																															5	
珪岩																															3	
計																															10	
J P61号土坑																															1	
安山岩																															18	
黑雲母岩																															1	
珪岩																															8	
計																															28	

器種 石材	石	打	磨	石	尖	石	掩	青	黄	凸	凹	交	複	圓	狀	楔	圓	R	U	形	鐵	圓	石	多	凹	底	劍	石	腰	そ の 他	計
	鐵	斧	斧	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸		
J P74号土坑																															
黒色頁岩																															3
計																															3
J P75号土坑																															
黒色頁岩																															1
安山岩																															3
計																															4
J P27号土坑																															2
黒色頁岩																															3
頁岩	1																														1
計	1																														5
J P91号土坑																															1
黒色片岩																															1
計																															1
J P92号土坑																															2
安山岩																															2
計																															2
J P119号土坑																															1
安山岩																															1
計																															1
J P139号土坑																															2
黒色頁岩																															1
計																															2
J P140号土坑																															2
黒色頁岩																															4
黒色安山岩																															2
黒摩石																															1
黒色片岩																															1
計																															8

4. 配石遺構

J S 1号配石遺構 (図-266、図版-44)

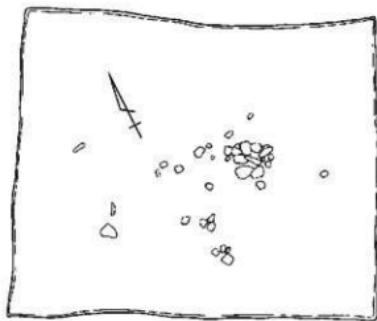
位置 西側台地南西端のT-5区に位置する。 概要 2m×2mほどの範囲の内に、10×20cmの大小の石が約30個点在している。これらのうち概して東半に特に石の集中した地点がある。これらの石と南端の2石は焼石である。

J S 2号配石遺構 (図-266・267、表-163・164、図版-45・146)

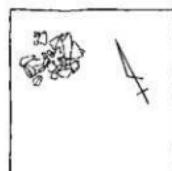
位置 西側台地南西端のR-3区に位置する。 概要 3m×3mほどの範囲の内に大小の石が点在している。30~40cm程度のやや大きい石が北西に3個と中央に1個あり、径5cm程度の小礫が東側で南北の列状にあり、また、西南部にややまとまってある。約3mの方形を意図するとほぼその内におさまる。

J S 3号配石遺構 (図-266、図版-45)

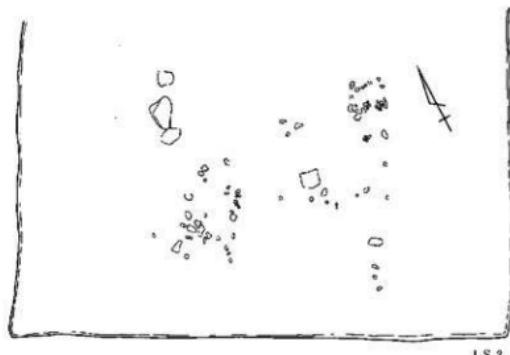
位置 西側台地南西端のQ-101・102区に位置する。 概要 6m×4mほどの内に自然石、石皿等の石器や土器片が出土している。近辺には若干の土坑が検出されたほかには遺構は確認されなかった。土器は井草式の小破片である。重複 H P 2と重複する。J S 3より新しい。



JS 1



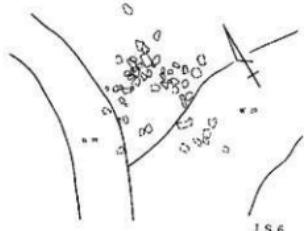
JS 4



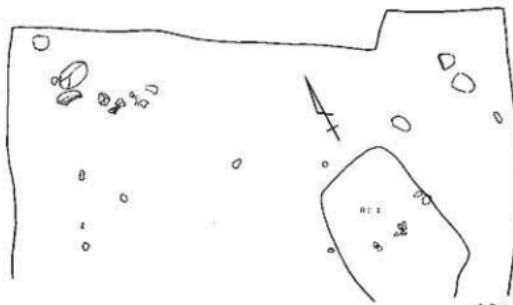
JS 2



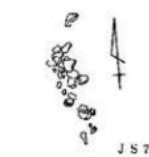
JS 5



JS 6



JS 3



JS 7

0 2m

図-226 JS配石遺構

J S 4 号配石遺構 (図-266・267、表-163・164、図版-146)

位置 西側台地東端のチ-7 85区に位置する。 **概要** 検出面は地表面下30cmで、上部よりの掘り込みの跡はみられない。網文の検出面に同じ。1.5m×1.5mほどの範囲に直径10~80cmの石が約25個ある。遺物の検出はなかった。

J S 5 号配石遺構 (図-266)

位置 ハー7区。J 40・41号住の東に位置する。 **概要** J 40・41号住と同じ検出面より約20個が検出された。西側に40×15cmの一石と中央に15~20cmほどの山石に似た石が15個ほどまとまっている。東側には小さめの石が3石ある。遺物の検出はなかった。

J S 6 号配石遺構 (図-266)

位置 西側台地南のH-101区。 **概要** H188号住北のW19・20号溝に重複して検出されている。2m×1.5mの範囲の内に5~20cmの石が約50個検出された。土器片が1点検出されている。 **重複** W19・20と重複するが、J S 6 が旧い。

J S 7 号配石遺構 (図-266、図版-45)

位置 西側台地東側のイ-8区。 **概要** J 42号住の南西。1.5m×0.5mの範囲に列状に石がある。石には火を受けたと思われる跡がみられる。石の間より土器片が検出されている。

表-163 J S 配石遺構出土石器属性表

No.	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	石材	刃角	使用痕・装着痕の位置・程度					備考
									A	B	a	b	c	
1	J S 8	打製石斧	13.5	4.8	2.1	180	黒安	45	減1	減1	—	減1	横2	J S-4
2	J S 8	#	13.0	4.7	2.3	144	黒頁	35	減2	減1	—	減2	横2	J S-4
3	J S 8	#	14.9	5.5	2.0	176	黒安	—	減2	減2	—	減2	横2	J S-4
4	J S 4	#	8.0	6.1	1.1	44	黒頁	30	—	—	—	—	—	J S-2
5	J S 4	磨製石斧	10.4	4.6	2.1	155	点片	55	擦2→擦2	擦2→擦2	擦1	擦2	横2	J S-2
6	J S 4	凹刃削器	5.6	8.8	1.3	52	黒頁	25	—	—	—	—	—	J S-2
7	J S 4	楔形石器	3.3	2.9	0.6	10	珠	35	—	—	—	—	—	J S-2
8	J S 4	磨 石	6.3	6.5	4.0	240	安	—	擦1	擦1	—	—	—	J S-2
9	J S 4	#	11.1	6.9	4.1	425	#	—	擦1	擦2	—	—	—	B面赤化 J S-2
10	J S 4	敲き石	14.0	6.0	4.7	590	#	—	—	凹1	擦1	擦1	—	J S-2
11	J S 4	石 盆	(19.0)	15.1	4.5	1,610	#	—	擦1	擦1	欠	—	—	J S-2
12	J S 4	#	(29.7)	(17.2)	6.4	3,620	#	—	擦1	凹3	—	—	欠	J S-2

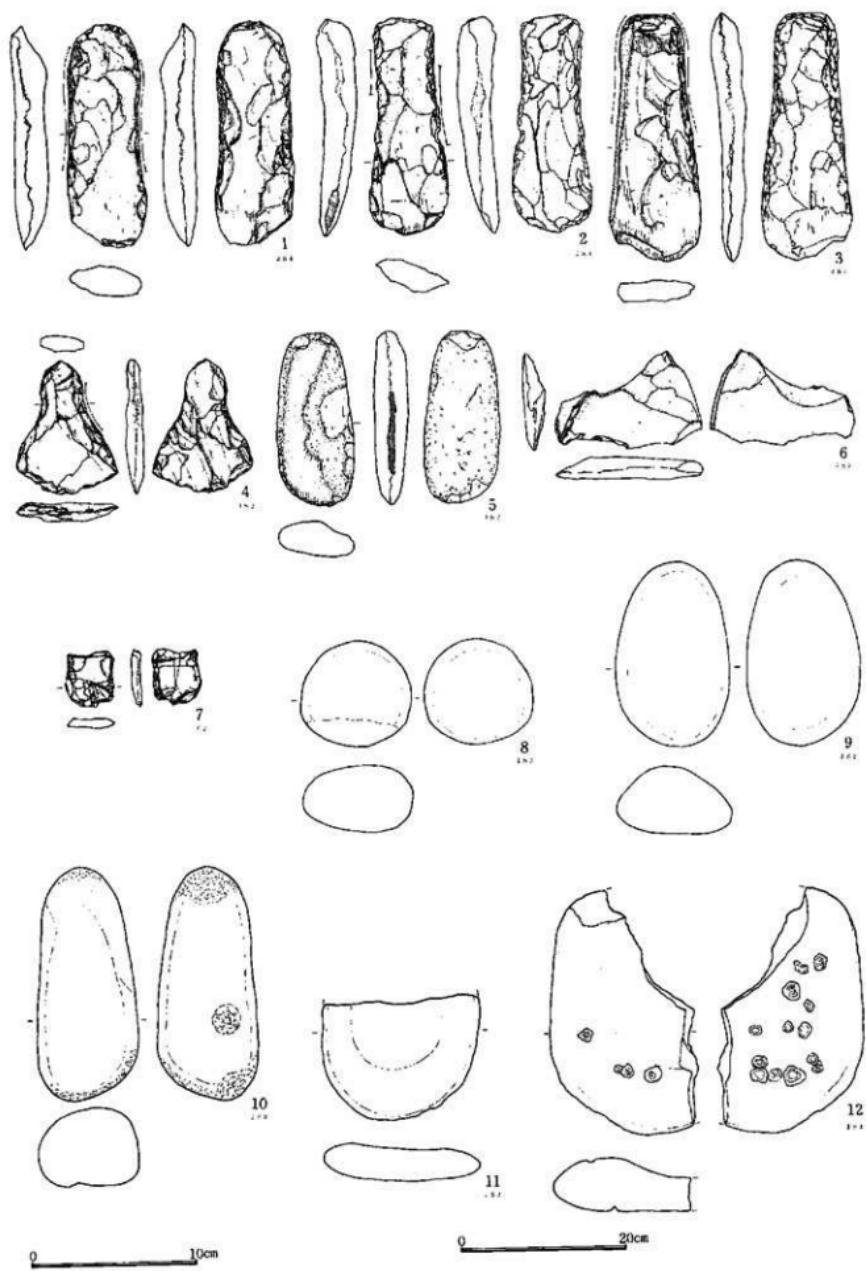


圖-267 J S配石遺構出土石器

表-164 J S 配石遺構出土石器・石材別一覧表

器種	石打	素石	尖石	石製	背直	凸凹	交復	複模	模	R	U	磨	取	内石	石棒	多面	四面	磁石	剥石	漆	その他
石材	板	片	板	板	板	板	板	板	板	板	板	板	板	板	板	板	板	板	板	板	計
J S 1号配石遺構																			3		3
黒色頁岩																			3		3
計																			3		3
J S 2号配石遺構																			10	1	13
黒色頁岩	1				1														1		1
黒色安山岩																			2		2
安山岩																			3		3
珪岩																			3		3
黒色片岩																			1		1
点綴色片岩		1																	1		1
計	1	1				1				2	1			2			14	5	28		
J S 7号配石遺構																			1		2
黒色頁岩	1																		1		2
黒色安山岩	2																		1		2
計	3																		1		4

— 中・近世 —

5. 遺構と遺物

芳賀東部団地遺跡は縄文～中・近世までの複合遺跡であるが、1～2巻で古墳時代～平安時代を、3巻で縄文時代と中・近世を扱う。

中・近世の遺構は大きく分けて4種類になる。土坑・地下式土坑・溝・非戸その他である。(以下中近世)

土坑は、芳賀東部団地遺跡で検出された土坑のうちで、土層・遺物により中世以降と考えられるものを扱っている。295基検出された土坑のうち、形態により4種類に分類を行なった。(I)土坑内より骨が検出され、墓壙と考えられるもの。(II)骨は検出されていないが副葬品と考えられる中近世の古鏡を出土する。また、これと似た形態をもつもの。(III)上層と形態より根拠と考えられるもの。(IV)性格不明のもの。

墓壙と考えられるものは、ほとんどが平面形が長方形で、壁も直に切ってあった。骨の出土した土坑の例から考えると、屈葬で横にして埋葬したのか。古鏡以外に副葬品とみられるものは出土していない。骨のみで副葬品を伴わないものもあり、この点人骨に土器と古鏡を伴う他遺跡での調査例と多少異なる。

土坑を分布の状況でみると、(I)にあたるものは、西側台地の東縁部に4基と2基の2つのグループで位置している。西側台地は土坑全体での検出状況は、調査方法とともに係わるがほとんどが東縁部である。(II)にあたるもののはほとんどが中央台地上から検出されている。くわしくは考察の土坑の項にあるが、近世の墓壙群と考えられる。今では忘れさせてしまった近世前期のものか。この中央台地では墓壙群以前に「居館跡」と考えられる環濠跡や、それ以前の地下式土坑もあり、特異な地帯となっている。特異な点は遺物の面にもあり、中國陶磁の出土、灯明皿が多く出土する点からも「居館」の存在の可能性が強いと考えられる。

地下式土坑は4基検出されている。市内での調査例の多くは長方形主室に入口部が付設される形になっているが、本遺跡では円形の主室に入口部が付設される形である。調査の時期としては本遺跡が芳賀西部団地遺跡と並んで市内では古いものであるが、その後に調査された多くの遺跡で「墓壙」もしくは「墓壙であろう」とされており、本遺跡においても同様に扱っている。

溝は本遺跡からは101条の溝が検出されているが、そのうちで中近世と考えられるものは70条になる。中央台地で環濠跡を作る溝群が中心であるが、2巻でも表中で扱っているものがある。区分けについては、天仁元年(1108)降下のB軒石が下層までまじっているものを中近世の溝として扱い、上層にあるものと、含まれていないものを古代の溝とした。それぞれの考察は2巻と3巻を参照。溝の性格や占地について時代により異なる面がみられた。

環濠跡は中近世の溝跡のうち特に中央台地北半で、方形の区画を形作っているものを指す。中央台地は南半には縄文時代からの住居跡が作られているが、北半より検出された遺構・遺物は中世以降のもののみである。

環濠跡は遺物の面からみると居館跡と考えられるもので、13世紀の中国龍泉窯系の磁器が出土している。これは県内の

他の調査例では、寺もしくは居館跡よりの遺物である。調査時には建物跡は検出されていないが、これは後に墓壙として削平が多かったためとも思われる。また周辺の掘立柱建物跡についても中世のものが入っている可能性がある。(大西雅広氏御教示による) 遺物については後文と観察表の項を参照されたい。

井戸その他については、井戸が24基検出されているが、そのうち2基が古代のもので、他が中世のものとして扱っている。中世の井戸跡22基のうち約半分の11基が中央台地の北半より検出されている。環濠と重複している井戸もあるため全てが環濠跡「居館跡」とかわるものではないが、その集中度からみると「居館跡」の存在の可能性を高めるものである。

芳賀東部同じ地遺跡の三つの台地での中世の遺構をみると、西側台地では東縁に墓壙がみられる他には主として東~南にかけて溝が多く走っている。それに対して東側台地ではほぼ全城に溝が走っていたと考えられ、この地域は耕作地として全面的な開発を受けた可能性がある。本調査実施前においても桑畠、牧草地として利用がなされており、人家は存在しなかった。耕作もあまり深くなかったようでは遺構の保存の良いものが多かった。西側台地の中央部では竪穴住跡の部分のみ牧草の成長が良く、遺構確認できるほどであった。

近世と考えられる遺構は墓壙と井戸跡程度であり、古代の集落として利用されていた台地一帯は耕作地、一部は墓地として利用されたと考えられる。

(井野)

6. 中世遺物について

はじめに

芳賀東部地区は、小さい谷地を挟んで東西と北の三つの台地からなっている。今回編集者より陶磁器の観察と傾向について依頼があった。この依頼に基づき、出土陶磁器の観察表を作成し、傾向は本文に記した。しかし、筆者は調査担当でないため、出土状態については知り得ないため、出土状態については本稿では触れない。報告書作成にあたり、出土陶磁器類は、中世と近世以降では異なる基準で選択した。本遺跡においては、中世遺構に伴う遺物は非常に少なく、遺物総量も少ない状況があるため、中世に属すると判断した遺物は、輸入陶磁器については絶対、国内産陶磁器については細片であっても選択した。近世以降については、17世紀代の遺物については絶対を、それ以降については遺存率の高い遺物を中心とし、若干希少性を加味した。以上の選択基準により、除外した遺物総量は488点である。図版作成に当っては、各台地毎に時期や数量に差異が認められたため、台地毎に版組みを行うことを原則とした。なお観察表作成にあたり、注1~4の文献を参考とした。

中央台地(9区)

中央台地は、芳賀東部同じ地遺跡調査区の北に位置し、標高は160~167mである。面積は最も狭いが、中世を中心とした遺物が多く、掲載量も最も多い。中央台地最古の輸入陶磁器は、13世紀代の内面に柳状工具とヘラによる文様を有する龍泉窯系青磁碗(1)と同築造弁文碗(2・3)の3点である。国产陶器では、12~13世紀の渥美焼(50)と13世紀前半の常滑片口鉢(51)各1点があり希少性が高い。本県ではこの時期の在地製軟質陶器や土器は不明確であり、本遺跡においても検出されていない。しかし、中国陶器と国产陶器の組み合わせが得られることから、13世紀に居住が開始されたと推定される。

14~16世紀になるとニー23区、ホ~26区、ヘ~27区、ト~28区、チ~27~28区、リ~28~29区(W11・76・77・79号溝?)を中心に、内耳綴・擂鉢が多く出土している。このうち、軟質陶器擂鉢は14世紀代から、内耳綴は14世紀後半から認められ、いずれも15世紀を中心として16世紀までのこる。一方、土師質土器皿は、リ~28区(W77号溝?)からまとまって出土している。時期は15世紀を中心とし、僅かに16世紀まで下るもののが見受けられ、燈明皿として使用されている。国产陶器は、不明確であるが、おろし皿(8)や碗(42)にその可能性がある。輸入磁器は、明代の龍泉窯系腰折れ青磁皿(4)・青花皿(5)の2点がある。前者はニー23区(W75号溝?)、後者はホ~26区(W75溝北側土坑群付近)から出土している。県内に於いて明代の青花磁器は、尾島町歌舞伎遺跡(1点)、太田市浜町屋敷内遺跡C地点(9点)、月夜野町畠田遺跡(5点)、同後田遺跡(2点)、同名胡桃城跡(1点)、大胡町大胡城跡(1点)、群馬町国分僧・尼寺中間地域(1点)、前橋市・群馬町下東西遺跡(1点)、高崎市下佐野遺跡(1点)などからの出土が報告されている。これらは、いずれも城跡や寺院関連遺跡、館跡などを中心とした遺跡であることから、本県では非常に限られた上級階層のみが入手し得た染付である。

石器には石鉢、石臼などがあり、石臼は本区出土が主体である。石臼には上臼の挽き穴に装飾を施すもの、下臼に「はんぎり」を造り出し石質の細かいものと、これらを有さない石質の粗い二つのタイプがある。石臼は中世遺物を多く出土したト~28区(W76・79号溝?)出土が6点あり、石臼の多くは中世(15~16世紀)の所産と推測される。

西側台地

西側台地は、中央台地の遺物が減少する17世紀から増加傾向が認められ、18世紀が中心となっている。出土遺構は、堅穴式住居跡が最も多く、他にW66・68号溝跡、I 3号井戸跡からの出土の他、A-13・14・16区、B-16区、C-24区、D-103区、E-21・23区、M-1区からの出土が認められる程度である。このうち堅穴式住居跡は、土坑などの重複があつたためであろうか。18世紀代の陶磁器のうち碗類は、波佐見系の安価な大量生産品、肥前系陶胎染付や瀬戸・美濃系陶器碗が主体であり、高級品は認められない。皿類は、大皿がなくて小皿が少量存在する程度である。肥前系の小皿は染付皿(124)と京焼風陶器皿(125)のみであり、他は瀬戸・美濃系陶器皿である。調理用具の擂鉢は、壇系と瀬戸・美濃系があるが量は少ない。また、在地製焰硝は、小片であるが僅かに出土しているものの、鉢形鍋は認められない。

19世紀の陶磁器は、量的に少なく傾向は把握できない。しかし144号鉄釉土瓶は、袖の「あだ光り」の呂合や胎土の粗さ、火雜物⁽¹⁴⁾、色調などから前橋藩窯(皆筑・高浜焼)と判断されるものである。前橋藩窯の製品は、現在までに月夜野町大友館跡や同後山遺跡などで報告されているが、いずれも磁器製品であり、陶器の消費地出土例は本遺跡が初例となる。また本遺跡で陶器が確認されたことにより、陶器製品が流通していたことが明らかになった事は重要である。

石製品では石臼2点(193・195)、五輪塔の空風輪8点が出土している。五輪塔の空風輪は、B-20区、C-19区及び堅穴式住居跡からの出土で、比較的近接した位置から出土しているようである。

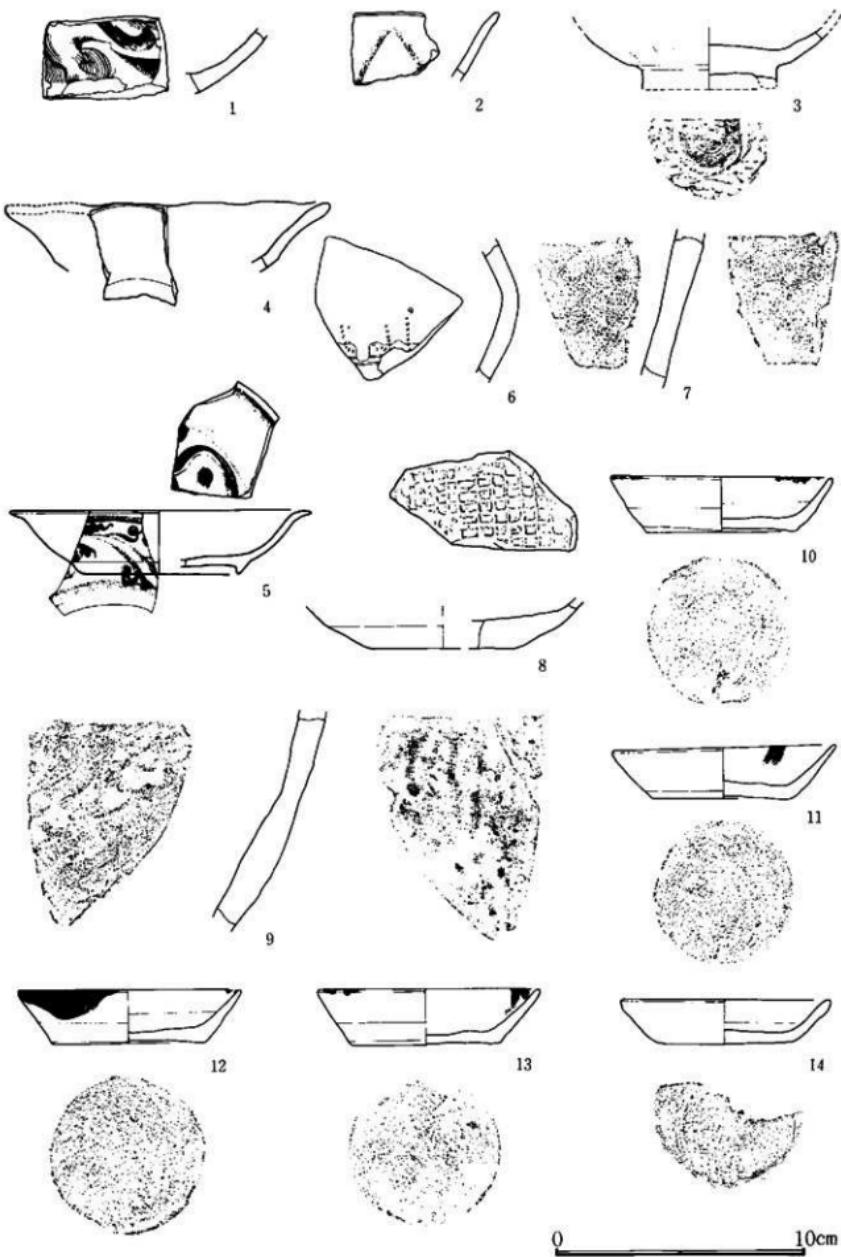
東側台地

東側台地は、実見した遺物が出土遺物のすべてではないようであり、傾向は不明である。

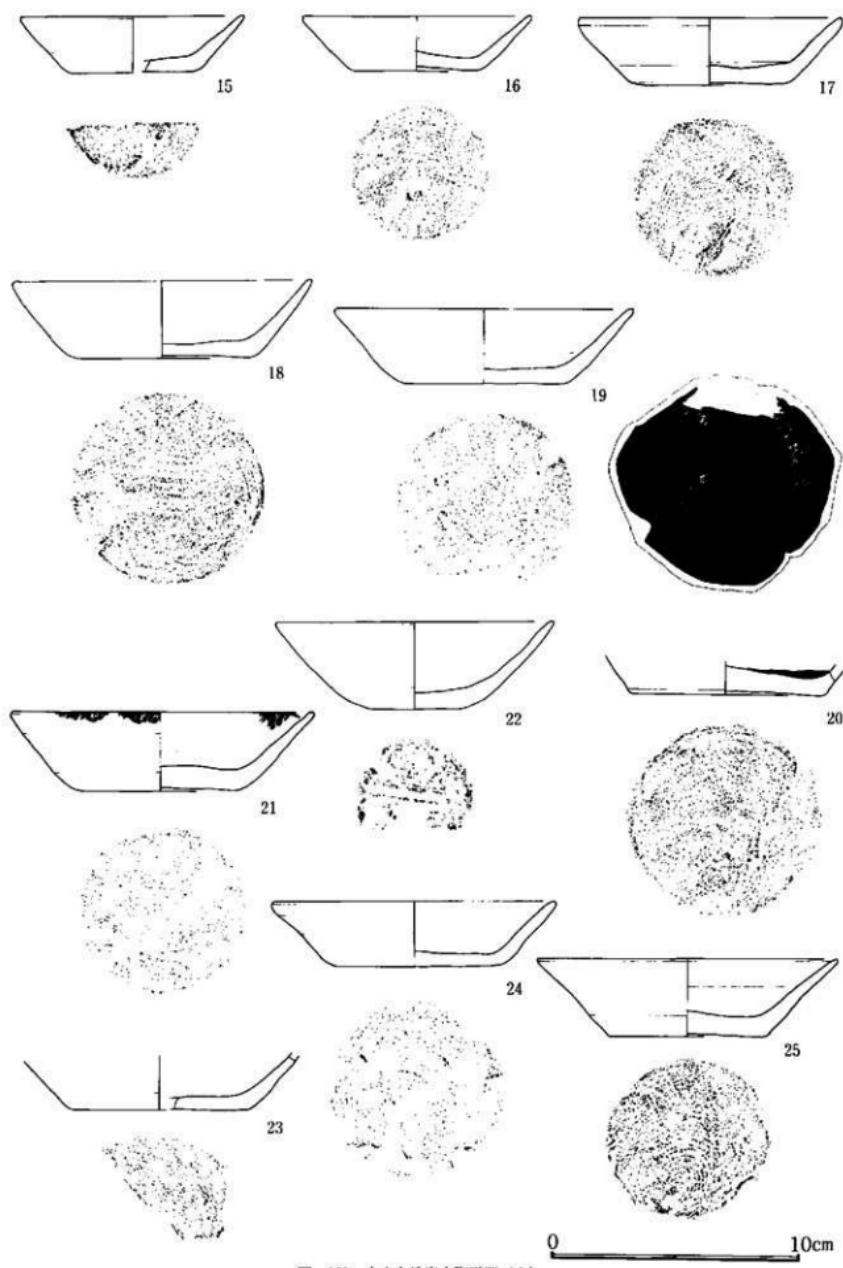
(大西)

注

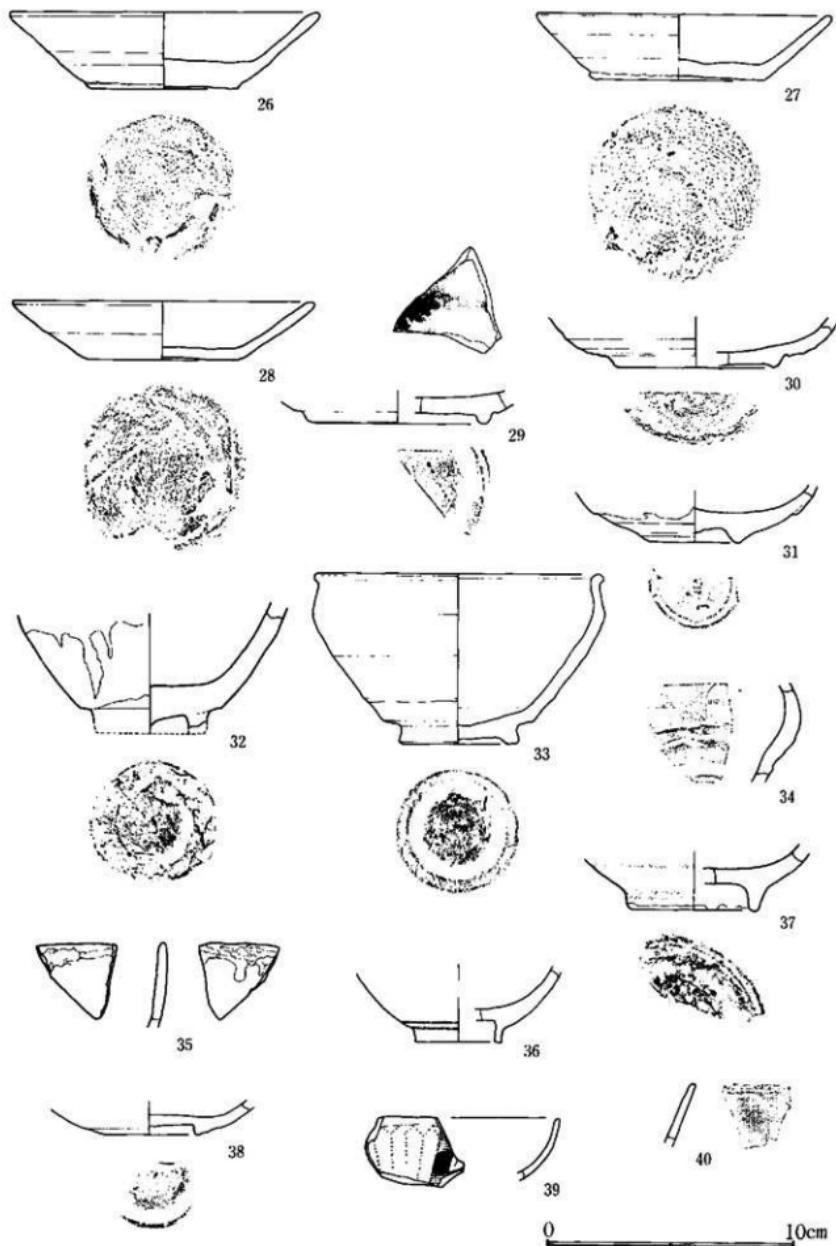
- 1 大橋康二 「波佐見焼の変遷」 『長崎の陶磁—昭和63年度特別企画展図録一』 佐賀県立九州陶磁文化館 1988
- 2 大橋康二 「肥前陶磁の変遷と出土分布」 『国内出土の肥前陶磁—昭和59年度特別企画展図録一』 佐賀県立九州陶磁文化館 1984
- 3 藤沢良祐 「本業焼の変遷(1~3)」 『瀬戸市歴史民俗資料館VI~VII』 1987~1989
- 4 赤羽一郎 『常滑焼—考古学ライブラリー23—』 ニューサイエンス社
- 5 鈴群馬県埋蔵文化財調査事業団 『歌舞伎遺跡』 1982
- 6 鈴群馬県埋蔵文化財調査事業団 『浜町屋敷内遺跡C地点』 1985
- 7 群馬県教育委員会・鈴群馬県埋蔵文化財調査事業団ほか 『藪田遺跡』 1985
- 8 群馬県教育委員会・鈴群馬県埋蔵文化財調査事業団 『後田遺跡』 1988
- 9 群馬県教育委員会・鈴群馬県埋蔵文化財調査事業団 『城平遺跡・諏訪遺跡』 1984
- 10 群馬県立歴史博物館 『関東の中国陶磁—第13回企画展図録一』 1982
- 11 群馬県教育委員会・鈴群馬県埋蔵文化財調査事業団 『上野国分僧・尼寺中間地域』 1986
- 12 群馬県教育委員会・鈴群馬県埋蔵文化財調査事業団 『下東西遺跡』 1987
- 13 群馬県教育委員会・鈴群馬県埋蔵文化財調査事業団ほか 『下佐野遺跡—I地区・寺前地区一』 1989
- 14 大西雅広 『苦沢焼物場所出土の遺物について』 『群馬の考古学』 鈴群馬県埋蔵文化財調査事業団 1988
- 15 加部二生 『前橋高浜窯について』 『群馬文化217』 群馬県地域文化研究協議会 1989
- 16 月夜野町教育委員会・群馬県教育委員会ほか 『大友館址遺跡』 1986



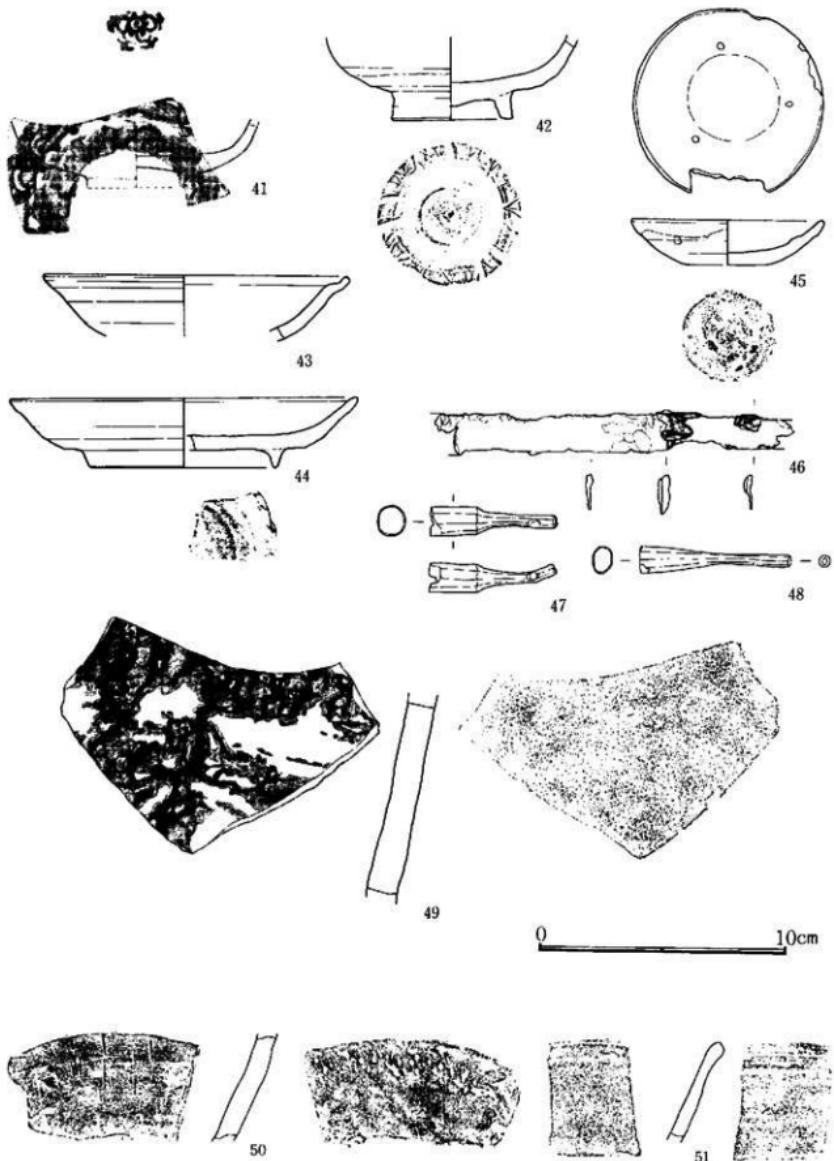
圖—268 中央台地出土陶磁器 (1)



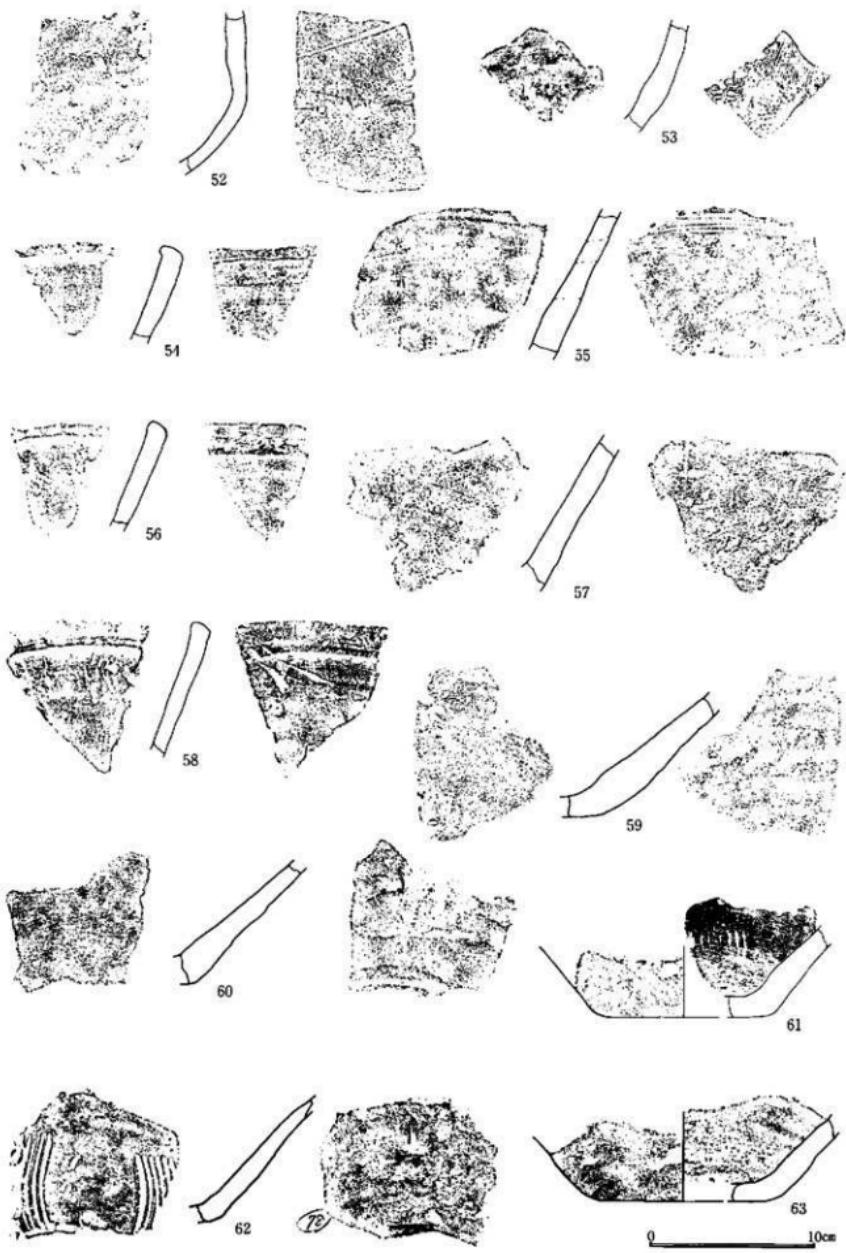
图一269 中央台地出土陶器 (2)



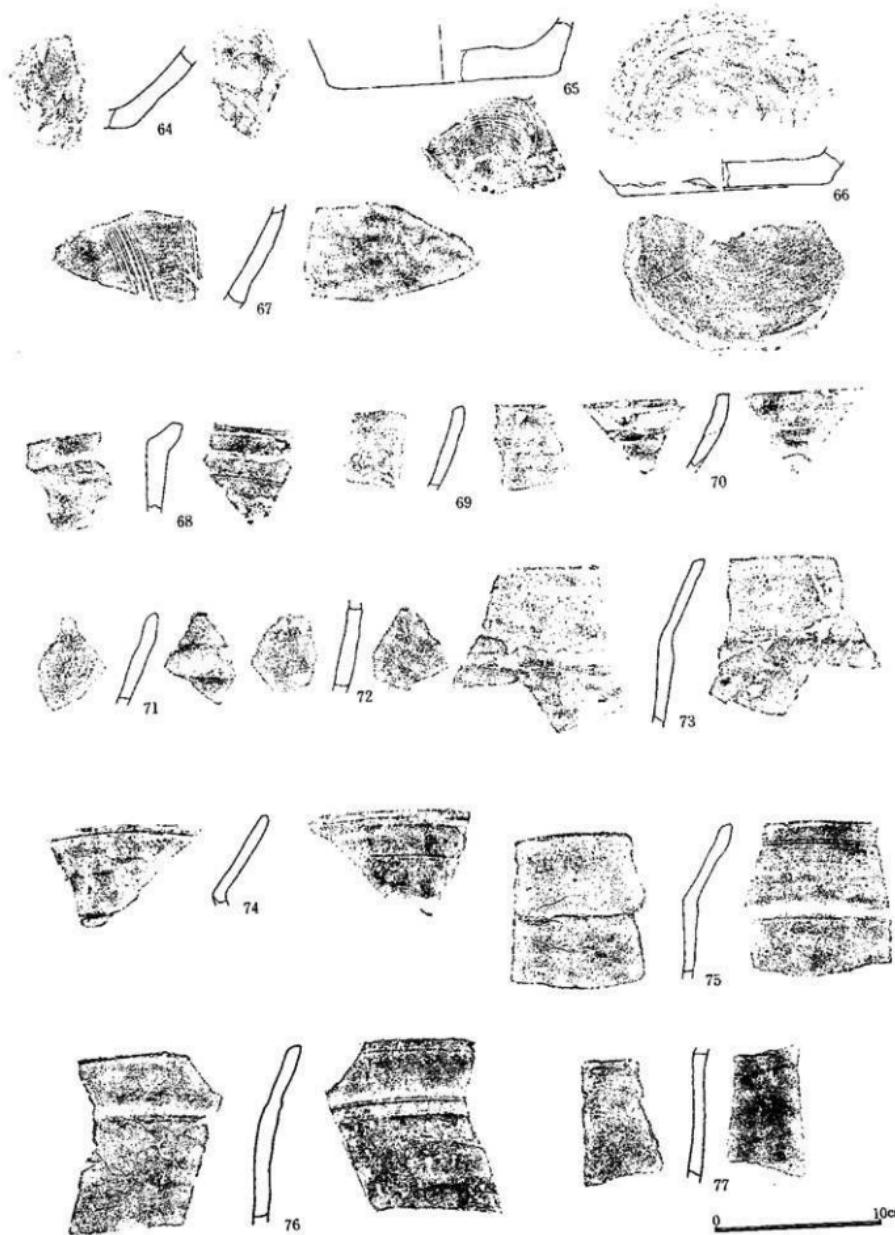
图—270 中央台地出土陶器 (3)



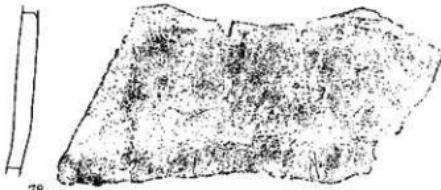
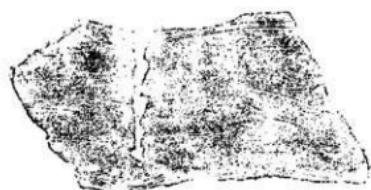
图—271 中央台地出土陶磁器 (4)



图—272 中央台地出土脚器 (5)



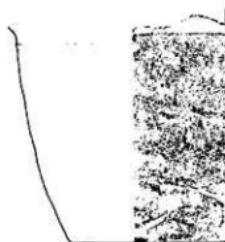
圖—273 中央台地出土陶器 (6)



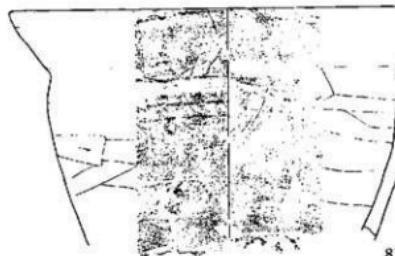
78



79



80



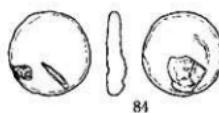
81



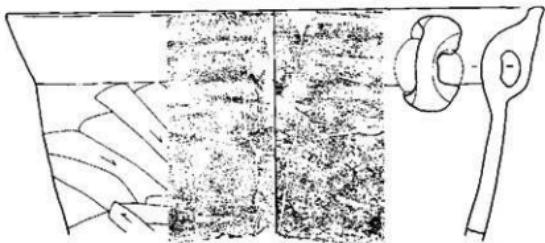
82



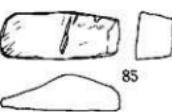
83



84



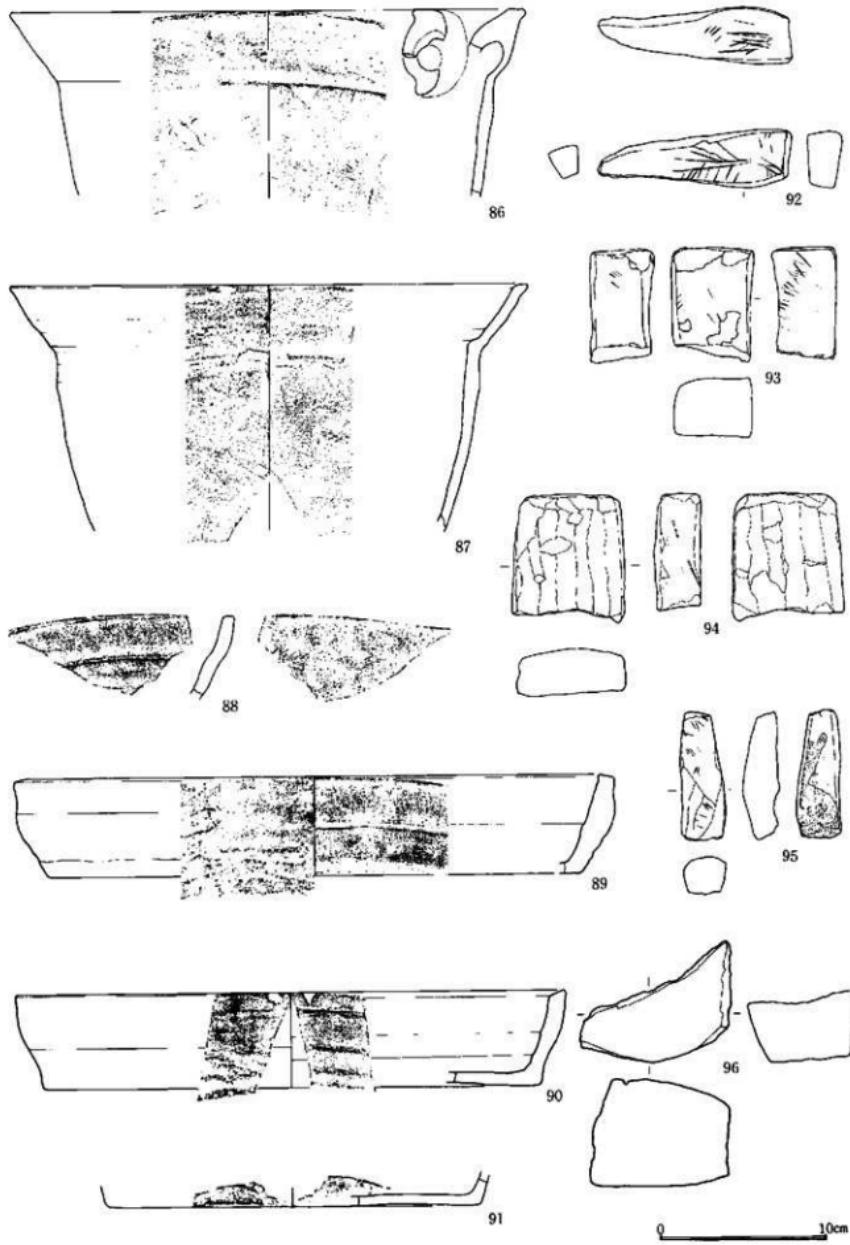
85



86

0 10cm

図一274 中央台地出土陶器 (7)



图—275 中央台地出土陶器 (8)

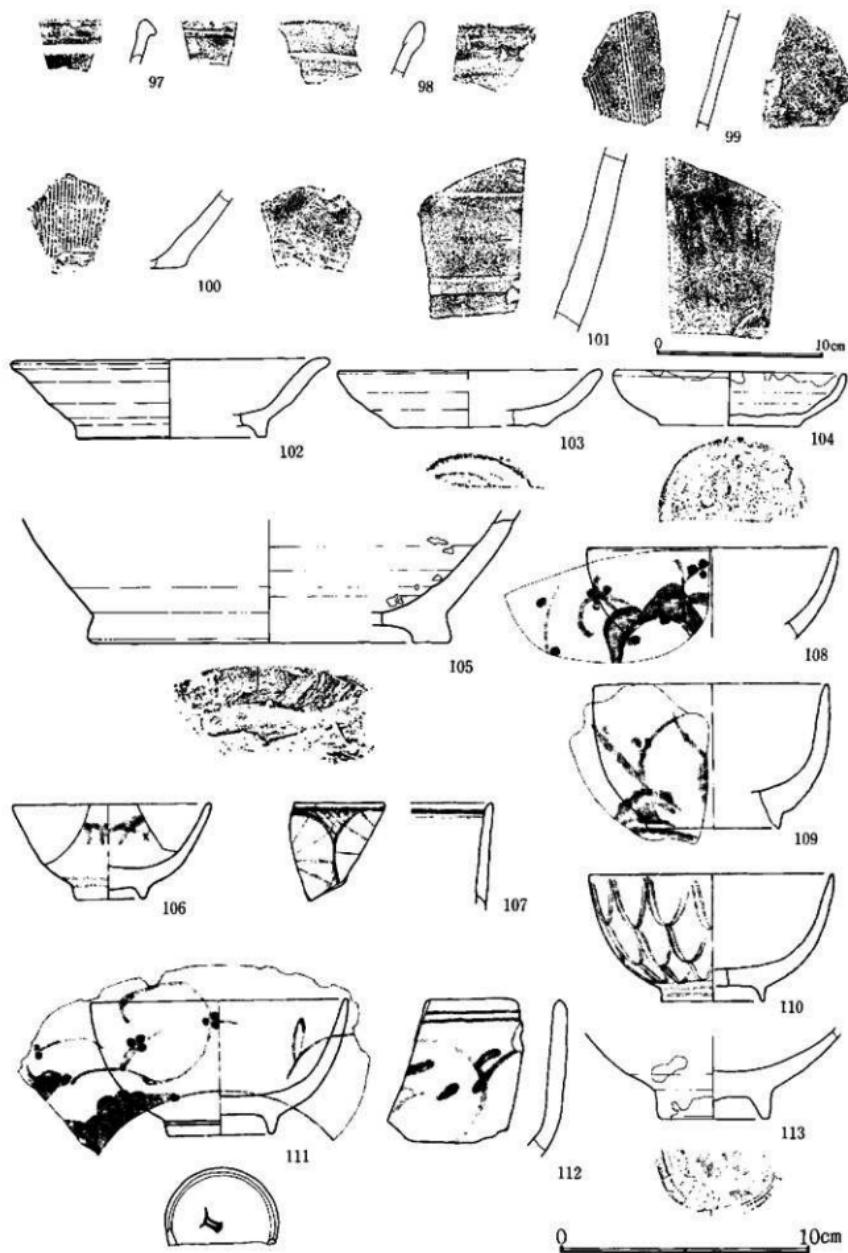
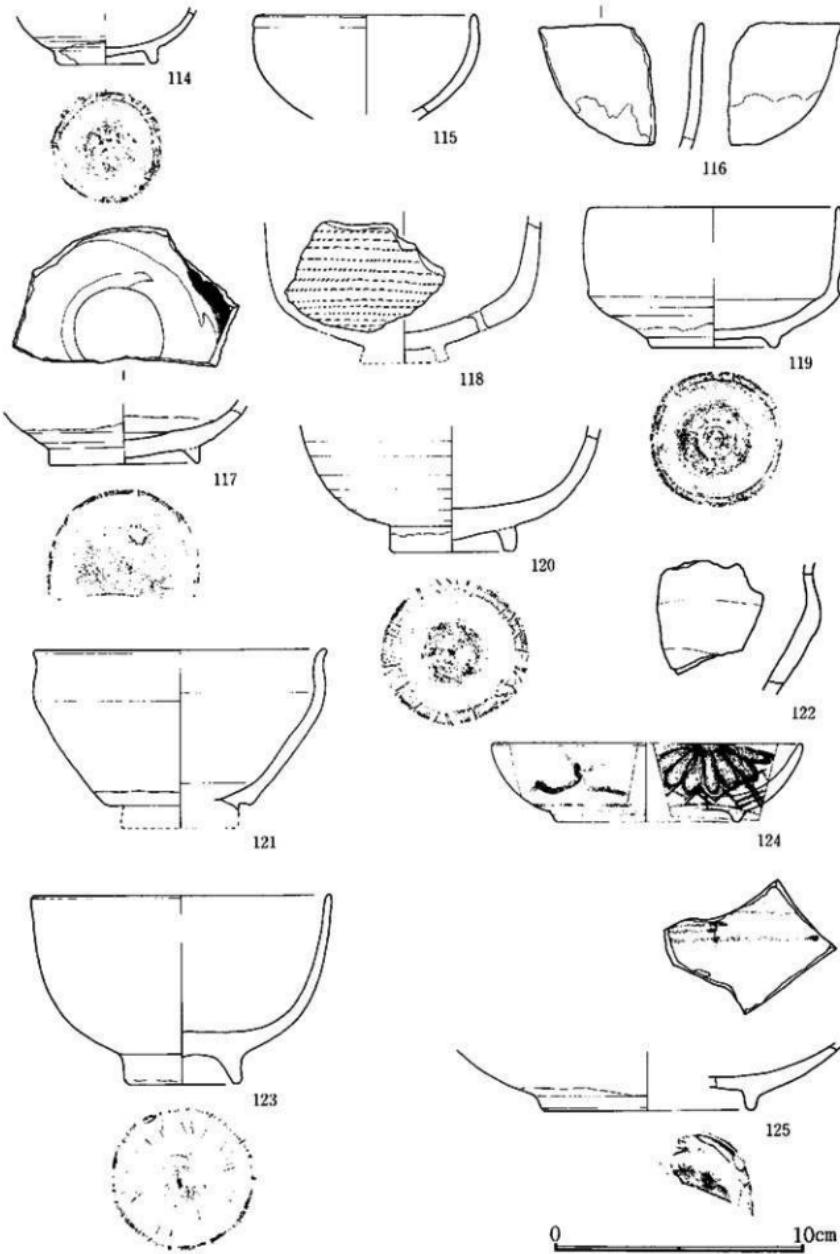
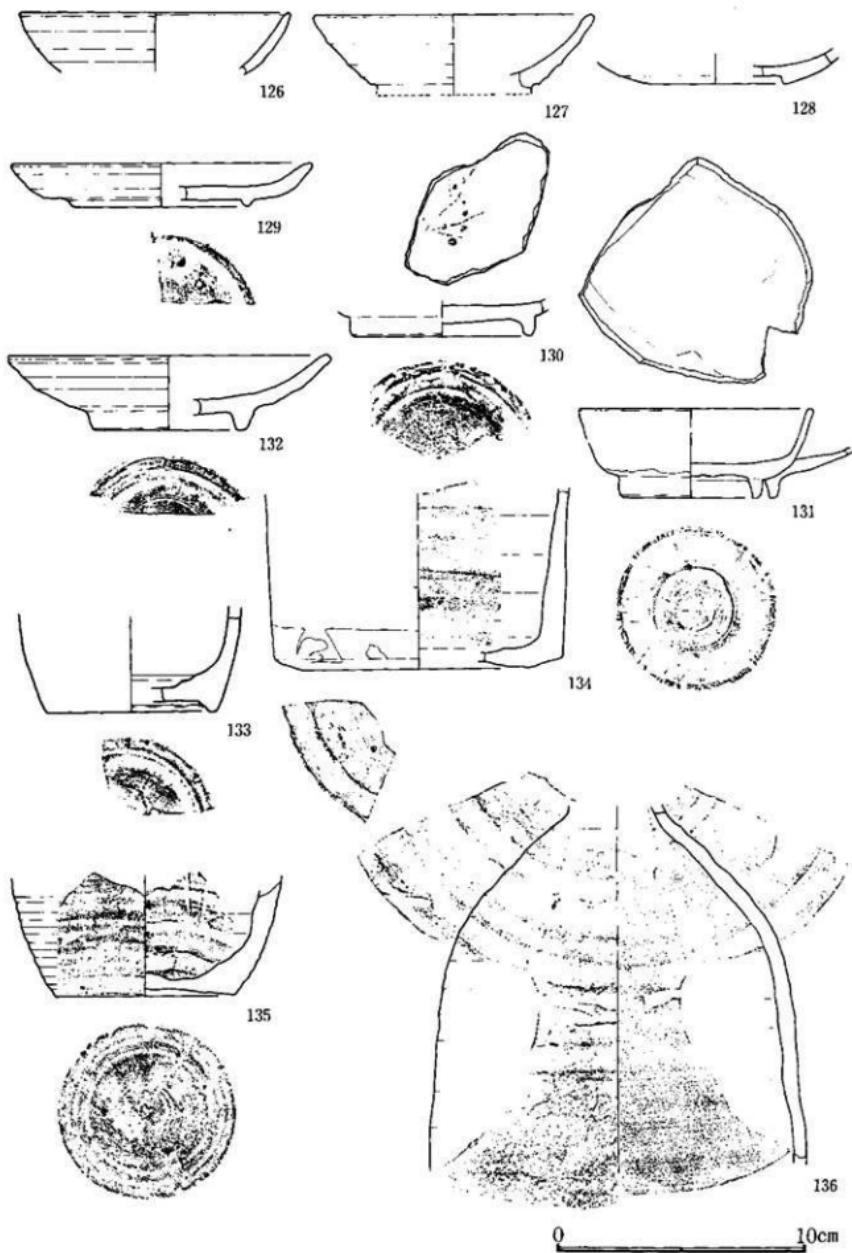


圖 -276 中央台地・西側台地出土陶磁器 (9)



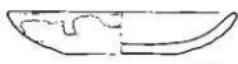
图—277 西侧台地出土陶器 (10)



图—278 西台地出土陶器 (11)



137



138



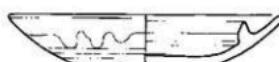
139



140



141



142



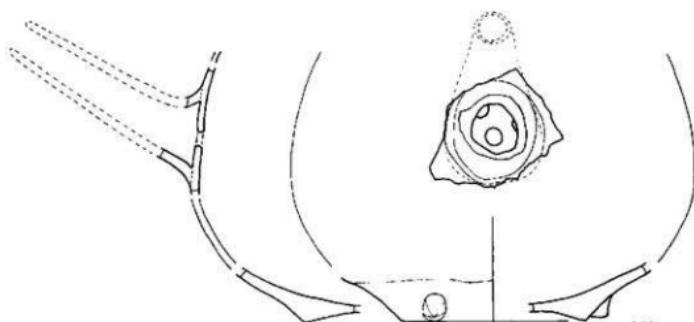
143



144



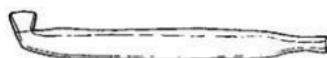
145



146

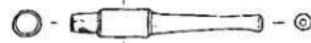


圖—279 西側台地出土陶器 (12)



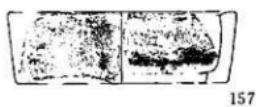
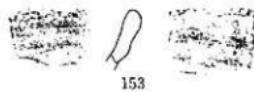
147

148



150

0 10cm



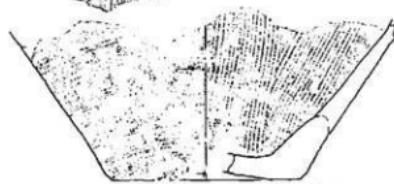
157



151



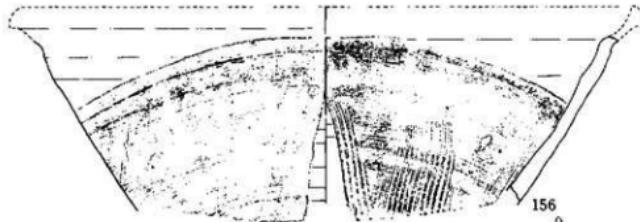
152



154



155



156

0 10cm

図-280 西側台地出土陶磁器 (13)

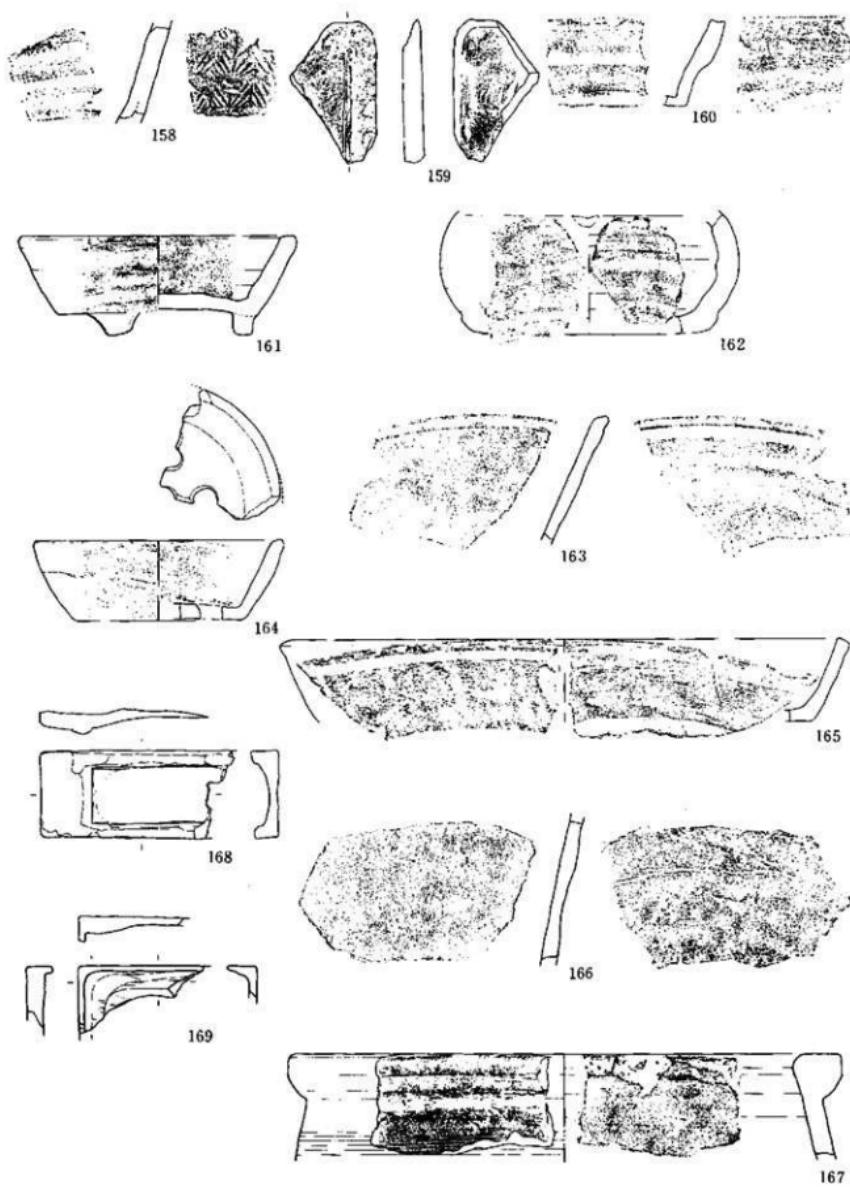
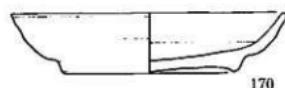


図-281 西側台地出土陶器 (14)



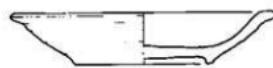
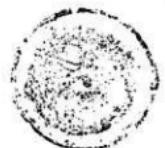
170



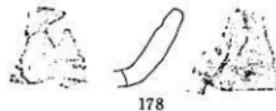
171



172



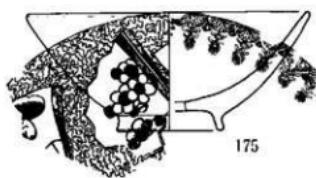
173



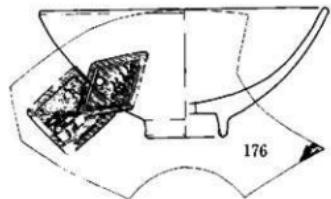
178



174

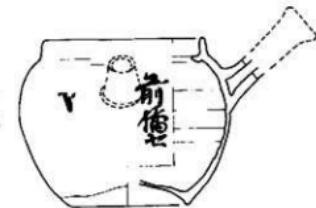


175



176

國
報



177

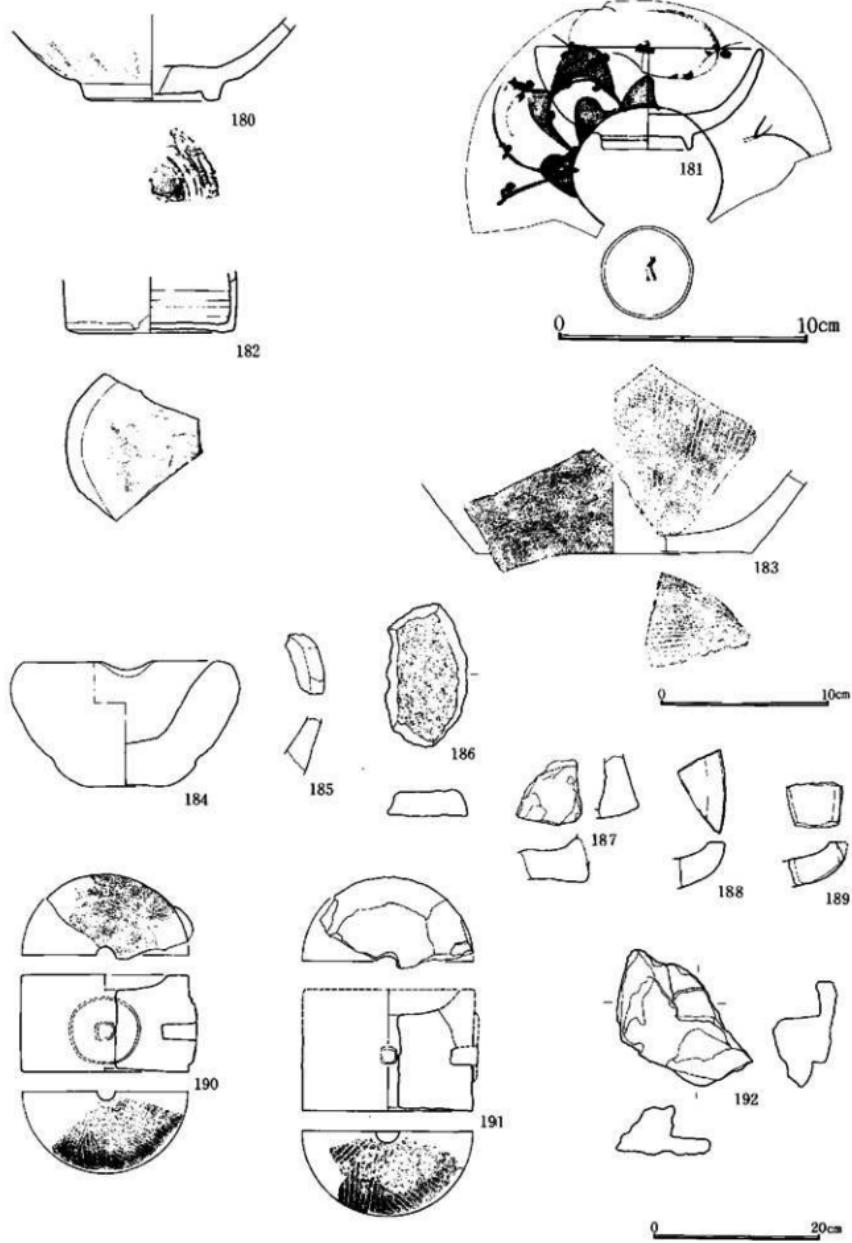
0 10cm



179

0 10cm

圖—282 東側台地出土陶器 (15)



圖一283 東側台地出土・表探陶器 (16)・中央台地出土石製品 (1)

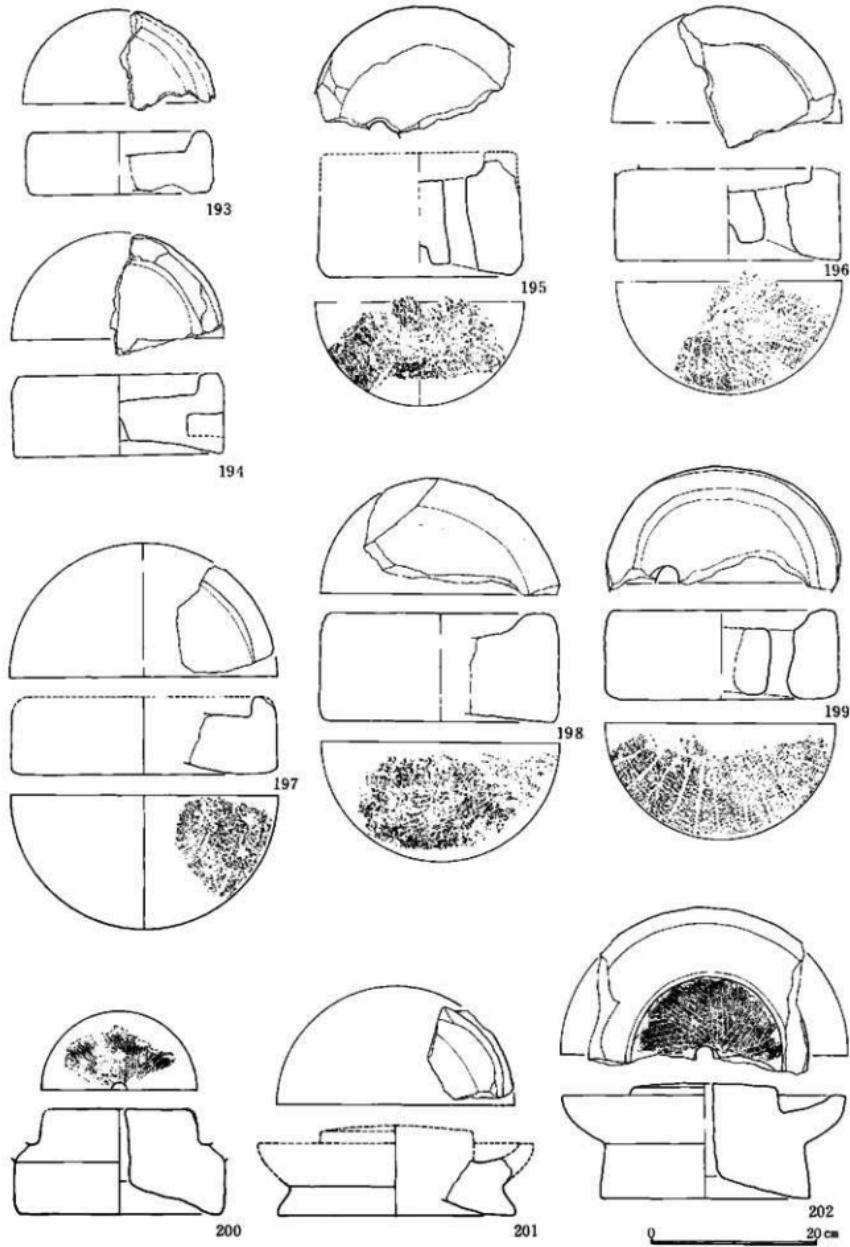
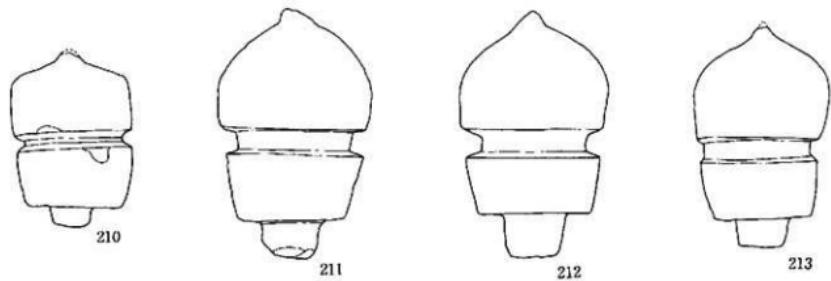
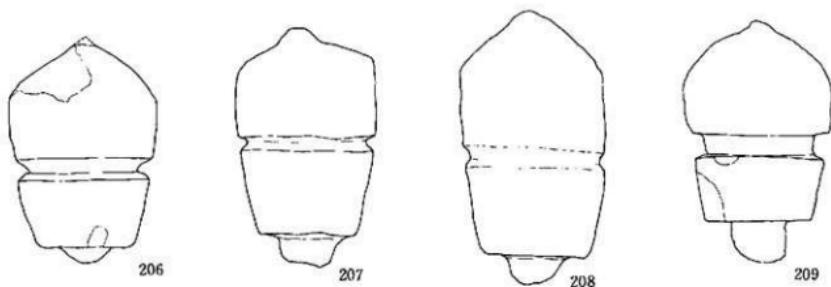
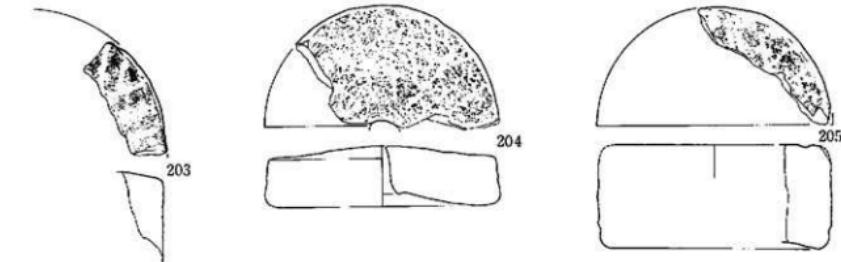


図-284 中央・西側台地出土石製品（2）



0 20cm

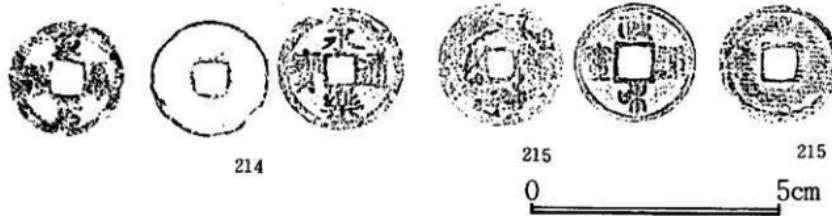


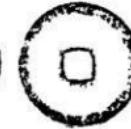
圖 285 中央・西側台地出土石製品（3）・中央台地出土古錢（1）



217

218

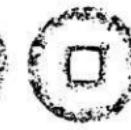
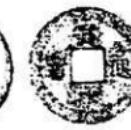
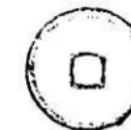
219



220

221

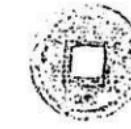
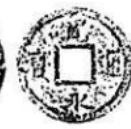
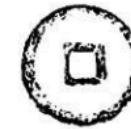
222



223

224

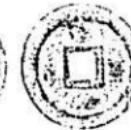
225



226

227

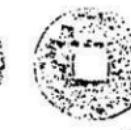
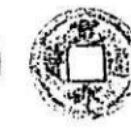
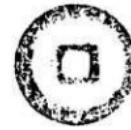
228



229

230

231



232

233

0 5cm

图一286 中央·西侧台地出土古钱(2)

表-165 中近世遺物觀察表

番号	整理番号	器種・種別・法量	出土位置	胎土	器形・微細調・文様などの特徴	備考
1	152	青磁瓶 磁器 朝部片	リ-28-1	灰白色。	瓶の体部下位片。内面にヘラと櫛状工具による花文。外面上に青磁釉。太宰府分類I 3類。	鹿児島系 13C
2	150	青磁瓶 磁器 口縁片	ヘ-23-9	灰白色。	銅製舟文鏡の口縁部端片。青磁釉に貫入。太宰府分類I 5 h類。	鹿児島系 13C
3	156	青磁瓶 磁器 体部上 ~高台部欠	ト-26-43	青灰色。	西夏文鏡の底部。底部内面周縁にヘラによる波足。太宰府分類I - 5 b類。底部外腹露胎。粗い質人。	鹿児島系 13C
4	145	青磁皿 磁器 口~腹部 片	ニ-25-93	青灰色。	中国時代、腰折れ花口の口縁部。釉は不透明。粗い質人。軸は無い。	鹿児島系 16C
5	146	华付皿 磁器 今形の約 X	ホ-26-65	灰白色。	中国時代の葵花口。口縁部は外反し、高台は内傾。高台端部のみ露胎。透明釉中にかかる気泡多い。底部外腹の胎は薄い。底部内面の文様は禾取り裏芋か。外腹は唐草文。	県他銘系? 16C後半
6	234	古瀬戸碗? 陶器 脊部 片	ホ-ヘ-26 ヘ-27	灰白色。	外腹に灰釉。内腹は無釉。	瀬戸 13~14C?
7	32	甕 焼締陶器 脊部片	ヘ-28-7	青灰色。白色底 物栓がやや溶け る。	器表はにぶい褐色。技法的には常滑系陶器。	製作地不詳 中世
8	157	灰釉おろし皿 陶器 底盤(5.9)	ト-24-63	灰白色。やや鐵 色。	底部内面におろし目。内腹の一部に灰釉。口縁部には施釉されてゐたとを考えられる。底部外腹回転糸切り無調整。	窓戸・美濃系 15~16C
9	67	甕 烧締陶器 脊部片	ト-28-81 ト-27-69. 70・77~80 87~90	灰白色。白色底 物栓少々含む。 胎土が部分的に 縮成を示す。	底部内面ににぶい褐色。外腹は自然釉が流れる。内腹に指揮斑。	常滑系 中世
10	211	土師質土器 直 口縁一 部欠 口8.9 底6.0 高2.2	リ-28-49	褐色。細砂へ粗 砂含む。	底部左回転糸切り無調整。内腹に螺旋状の線条痕。口縁部の5ヶ所に油埋付着。	在地製 15C
11	214	土師質土器 直 口縁一 部欠 口9.0 底5.5 高2.0	リ-28-49	褐色。細砂へ粗 砂含む。	底部左回転糸切り無調整。内腹の指揮ではない。口縁部の3ヶ所に油埋付着。	在地製 15C
12	215	土師質土器 直 口縁一 部欠 口8.9 底6.2 高2.1	リ-28-39	にぶい褐色。細 砂へ粗砂含む。	底部左回転糸切り無調整。内腹に螺旋状の線条痕。口縁部へに粗い油埋付着。	在地製 15C
13	216	土師質土器 直 口縁一 部欠 口8.8 底5.9 高2.2	リ-28-39	にぶい褐色。細 砂へ粗砂含む。	底部左回転糸切り無調整。底部内面に指揮で。口縁部の3ヶ所に油埋付着。	在地製 15C
14	209	土師質土器 直 口8.3 底5.8 高1.8	リ-28-39	褐色。細砂へ粗 砂含む。	底部左回転糸切り無調整。底部内面の指揮ではない。	在地製 16C
15	207	土師質土器 直 口8.9 底(5.0) 高2. 3	リ-28-39	にぶい褐色へ棕 色。細砂へ粗 砂含む。	底部左回転糸切り無調整。底部内面の指揮ではない。	在地製 15C
16	205	土師質土器 直 口9.1 底5.1 高2.2 39+48+49+59	リ-28-29+38. 39+48+49+59	にぶい褐色。黑 色鉱物粒含む。	底部左回転糸切り無調整。底部内面の指揮ではない。	在地製 15C
17	238	土師質土器 直 口10.5 底6.0 高2.6 57+66+67	ト-28-49+56. リ-28-29+38. 39+48+49+59	にぶい褐色。黑 色鉱物粒含む。	底部左回転糸切り無調整。底部内面の指揮ではない。	在地製 15C
18	209	土師質土器 直 口11.9 底7.0 高3.1	リ-28-49+56. リ-28-49+59	褐色。黑色・金 色鉱物粒含む。	底部左回転糸切り無調整。底部外腹に板状斑痕。底部内面 指揮で。	在地製 15C
19	210	土師質土器 直 口11.9 底6.8 高3.0	リ-28-49	褐色。黑色鉱物 粒含む。	底部左回転糸切り無調整。底部内面の指揮ではなく、螺旋 状の輪轉目残る。	在地製 15C
20	208	土師質土器 直 口7.8	リ-28-38	黄褐色。黒色鉱 物粒含む。	底部左回転糸切り無調整。底部内面の指揮ではなく、螺旋 状の輪轉目残る。内腹に油埋多量に付着。	在地製 15C
21	217	土師質土器 直 完形 口12.2 底6.4 高3.2	リ-28-39	褐色。黒色鉱物 粒含む。	底部左回転糸切り無調整。直腹あり。螺旋回転方向不明。底 部内面指揮で。口縁部の半分に油埋付着。	在地製 15C
22	212	土師質土器 直 口11.2 底3.5 高3.5	チ-28-61	淡青褐色。黒色 鉱物粒多く含む。	底部特徴なし難扱。底部外腹に直線状の干渉。底辺は 小さい。	在地製 15C
23	204	土師質土器 直 底7.2	リ-28-49	浅黄色。黒色 鉱物粒少々含む。	底部左回転糸切り無調整。被螺旋回転方向不明。底部外腹に直 線状の圧痕。	在地製 15C
24	242	土師質土器 直 口11.5 底6.2 高2.6 56+57	ト-28-47. リ-28-49	褐色。金色鉱物 粒含む。	底部左回転糸切り無調整。遺存が悪く、内腹調整は不明。	在地製 15C
25	213	土師質土器 直 口12.0 底6.4 高3.1	リ-28-49	褐色。黒色鉱物 粒含む。	底部左回転糸切り無調整。底部外腹に直線状の圧痕。底部 内面の指揮ではない。	在地製 15C
26	237	土師質土器 直 口12.4 底6.0 高3.1 56+57+66+67	ト-28-47. リ-28-49	褐色。黒色鉱物 粒含む。	底部左回転糸切り無調整。底部内面の指揮ではない。	在地製 15C
27	240	土師質土器 直 口11.9 底7.1 高2.6 56+57+66+67	ト-28-47. リ-28-49	褐褐色。黒色鉱 物粒確かに含む。	底部左回転糸切り無調整。底部内面の器表は摩滅している。	在地製 15C
28	241	土師質土器 直 口12.1 底5.9 高2.4 56+57+66+67	ト-28-47. リ-28-49	にぶい赤褐色。 黒色鉱物粒確かに 含む。	底部左回転糸切り無調整。底部内面の器表は摩滅している。	在地製 16C?
29	23	炊飯皿 陶器 底7.2	リ-24号井戸跡 ニ-23-9	淡黄色。やや鐵 色。	削り出し高台。底部内面に鉄鉢。内面のみ長石帯。高台端 部に重ね焼き痕。	窓戸・美濃系 16~17C

番号	整理番号	器種・種別・法量	出土位置	胎 土	断 形・微 軸 調・文様などの特徴	備 考
30	66	志野丸皿 陶器	ト-28 81 底6.6	淡黄色。やや粗い。	削り出し高台。全面に良石袖。高台内一部露底。内面に買入。	瀬戸・美濃系 17C
31	24	灰釉皿 陶器	ト-24分井戸跡 底3.6	灰白色。畫物部ニ-23、ホ-27	高台は基壇底状に削り出す。高台脇以下を除き灰釉。質入ある。高台端部に胎土目。	肥前陶器 佐世見系? 17C後半
32	44	天目茶碗 陶器 体部上半・高台部欠	チ-27-9	青灰色。黒色粒子少々含む。	裏摩は厚い。削り出し輪高台。高台脇まで天目釉を薄く施す。釉は若干結晶状で、僅かに不目となる。	瀬戸・美濃系? 17C中頃
33	70	大目茶碗 陶器 口11.6 底4.8 高6.8	ト 27 77	灰白色。やや緻密。	裏摩は全体に薄い。削り出し輪高台。鐵物を厚く施す後、高台脇の釉を削り取る。高台脇以下無釉。口縁部はやや内傾し、底立ち上がる。底端部は外反する。	瀬戸・美濃系 17C末~18C初頭
34	28	青磁瓶? 磁器 制部片	ヘ-27-89	白色。	外面上半ヘラケズリ。外面のみ青磁。	肥前磁器? 17~19C
35	25	鉢物碗 陶器 口縁片	ホ-26-1	淡黄色。	内外面輪動。口縁端部外側に白濁した灰釉。いわゆる「尾呂茶碗」	瀬戸・美濃系 18C
36	184	上絵刷 磁器 底4.0	ホ・ヘ-26 ヘ-27	白色。	高台脇に赤色の上絵界線。高台端部のみ無釉。	瀬戸・美濃系 大正~昭和
37	147	陶胎染付瓶 陶器 底5.2	ホ-26-49	灰色。	高台端部を除き、薄い透明釉。粗い買入。底須の黄色は悪い。	肥前陶器 18C前半
38	33	鉢物皿 陶器 底4.0	ヘ-28-7	灰白色。	底部を削り込み、基壇底状にする。内面のみ鉢物。底痕つつき。	瀬戸・美濃系 17~19C
39	22	銅版皿 磁器 口縁片	ト-24号井戸跡 ニ-23-9	白色。	銅版プリントによる緑色の下絵	瀬戸・美濃系? 大正
40	185	碗 陶器 口縁片	ホ・ヘ-26 ヘ-27	にぼい黄色。緻密。	内外面に細かい買入のある透明釉。	製作地不詳 18~19C
41	75	染付丸碗 磁器 体部上半・高台部欠	ホ・ヘ-26 ヘ-27	白色。	底部内面に五弁花。外面に不明文様。底須の黄色は良い。高台端部欠損。	肥前磁器 18C後半
42	235	灰釉碗 陶器 底4.9	ホ・ヘ-26 ヘ-27	灰白色。	付け高台。高台脇以下を除き、細かい買入のある灰釉。釉厚はどちらがある。	瀬戸・美濃系 16C後半?
43	53	灰釉折り縁皿 陶器 口12.3	ト-27-89 ト-28-67	灰白色。	口縁部は外反し、端部を上に折り曲げる。内外面に買入のある灰釉。	瀬戸・美濃系 16C前半
44	65	灰釉皿 陶器 口14.0 底7.6 高2.8	ト-28-81 ト-27	灰白色。緻密。	外腹は口縁部下までヘラケズリ。高台端部を除き、細かい買入のある灰釉。底部内側に輪状の重ね焼き痕。	製作地不詳 18C前半
45	107	模写明文 陶器 口7.7 底3.6 高1.8	ホ-23-8・9 17-19・27-29	淡黄色。緻密。	底部画面が後塗れ。内面から口縁部外面に透明釉。細かい買入。内面に3ヶ所目立つ。口縁端部に油押付。	製作地不詳 18~19C
46	229	刀子 現存長14.4 背厚0.5 柄幅1.4	ホ-26K出土。			
47	141	*セル 吸い口部分に段差があるが、取り出はない。ニ-23 45区出土。				
48	228	*セル 吸い口部分は長く、段差はない。ホ-26-67区出土。				
49	31	甕 烧締陶器 脚部片	ヘ-28-7	板味赤褐色。	器表は光沢のある暗赤褐色。内面に自然物が混れる。	製作地不詳 江戸時代以降
50	176	鉢か壺 烧締陶器 脚部片	ホ・ヘ-26 ヘ-27	灰白色。灰白鉢物粒混じる	内面はヘラナダ。外面はナマ。外面に圧痕あり。	瀬戸系 12~13C?
51	158	片口鉢 烧締陶器 口縁片	ト-25-43	灰白色。灰白鉢物粒多く含む。	口縁部は僅かに外反し、縫合は記厚する。	常滑系 13C前半
52	76	甕 改締陶器 制部片	ホ・ヘ-26 ヘ-27	黄灰白色・灰灰色 白色鉢物粒含む	外腹表面は暗赤褐色。外腹肩部下位の一部に自然物。	常滑系? 13~15C
53	154	甕か壺 烧締陶器 脚部片	チ 28 7	灰白色。白色鉢物粒合む。	外腹表面は暗赤褐色。外腹に2種類の印押。内面にはぼい橙色。内面に絞り底。	常滑系 中世
54	81	擂鉢 軟質陶器 口縁片	ホ・ヘ-26 ヘ-27	灰白色。細砂多く含む。	口縁端部は内面に小さく折り曲げる。	在地製14C後半~15C初頭
55	45	擂鉢 軟質陶器 脚部片	チ-28-61	灰白色。白色鉢物粒多く含む。黑色粒子含む。	体部下位に擂目。体部下半は使用により摩滅。外面口縁部下に比較的の条線。	在地製 15~16C
56	148	擂鉢 軟質陶器 口縁片	ホ 22 89	灰色。白色鉢物粒多く含む。黑色粒子含む。	口縁端部は小さく内面に折り曲げる。口縁端部内外面摩滅する。	在地製 14C後半~15C初頭
57	49	擂鉢 軟質陶器 制部片	ヘ-27 51	灰色。白色鉢物粒多く含む。黑色粒子含む。	体部下位は使用により若干摩滅。	在地製 14~15C
58	155	擂鉢 軟質陶器 口縁片	ト-25-21	灰色。白色鉢物粒多く含む。黑色粒子含む。	口縁端部は小さく内面に折り曲げる。	在地製 14C後半~15C初頭

番号	整理番号	器種・種別・法量	出土位置	胎 土	部 形・施釉調・文様などの特徴	備 考
59	80	擂鉢 軟質陶器 厚~底 部片	ホ~ヘ 26 ~27	灰色~極暗赤褐色。白色鉱物粒多く含む。塵少 量含む。	器壁は厚い。体部内面下半は使用により、著しく摩滅。	在地製 15~16C
60	74	擂鉢 軟質陶器 厚~底 部片	ホ~22~38	にぼい橙色。白 色鉱物粒多く含 む。黑色粒子含 む。	器壁は厚い。体部内面下位は使用により摩滅。外側は2次 的な過熱を受ける?	在地製 15~16C
61	144	擂鉢 軟質陶器 底9.2 厚1.7	~27~35	灰白色。白色 鉱物粒多く含 む。	内面に横目。底部内面と体部の摩滅は著しく、覆口は一部 残存。体部外側に2条の火燐。	在地製 15~16C
62	78	擂鉢 軟質陶器 剥~底 部片	ホ~ヘ 26 ~27	明赤褐色。白 色鉱物粒多く含 む。赤色粒子含 む。	内面に深い曲線の横目。内面体部下位は使用により若干摩 滅。	在地製 15~16C
63	48	擂鉢 軟質陶器 底9.8 厚1.4	~27~51	灰色。白色鉱物 粒多く含む。黑 色粒子含む。	体部内面下位は使用により著しく摩滅。	在地製 14~15C
64	20	擂鉢 軟質陶器 厚~底 部片	I 24号井戸断 ニ 23 9	灰色。白色鉱物 粒多く含む。黑 色粒子含む。	内面は使用により摩滅。	在地製 14~15C
65	151	擂鉢 軟質陶器 底12.3 厚1.9	~26~43	灰色。白色鉱物 粒多く含む。黑 色粒子含む。	底部内面は中央を除き、使用により著しく摩滅。底部左回 転系切り無調整。	在地製 14~15C
66	77	擂鉢 軟質陶器 底12.5 厚1.5	ホ~ヘ 26 ~27	灰白色。白色鉱 物粒多く含む。 黑色粒子含む。	器表は青灰色。底部周縁は使用により摩滅。底部左回転系 切り無調整。底部外周縁は摩滅。	在地製 14~15C
67	35	擂鉢 軟質陶器 剥片	チ~27~45	灰白色。中央の み黒灰色	春表は黒灰色。7本~1単位の長い横目	在地製 16C
68	178	内耳鍋 軟質陶器 口縁片	ホ~ヘ 26 ~27	にぼい黄褐色。 白。黒色鉱物粒 多く含む。	口縁部は短く、外反。器壁は厚い。	在地製 14C後半~15C 前半
69	179	内耳鍋 軟質陶器 口縁片	ホ~ヘ 26 ~27	灰白色。白色鉱 物粒多く含む。	口縁部は外反し、頬部は僅かに内湾。	在地製 15C
70	50	内耳培培 軟質陶器 口縁片	リ~29~21	中央は黒灰色。 表面付近はにぼ い橙色。	口縁部に一条の沈線。内面口縁部下に、極広の取っ手の貼 り付け痕。	在地製 17~18C
71	52	内耳鍋 軟質陶器 口縁片	ト~28~63	灰色。白色鉱物 粒多く含む。黑 色粒子含む。	器表は黒灰色。口縁端部は丸い。	在地製 15C
72	51	内耳鍋 軟質陶器 剥片	リ~28~27	中央にはにぼい赤 褐色。器表付近 は黒灰色。	取っ手付近の細片。	在地製 14C後半~16C
73	34	内耳鍋 軟質陶器 口縁片	チ~27~45	灰色。白色鉱物 粒多く含む。	外面の器表は黒灰色。口縁部は外反。口縁部下はくびれる。	在地製 15C後半
74	72	内耳鍋 軟質陶器 口縁片	ホ~22~88	褐色。白色鉱物 粒多く含む。赤 色粒子含む。	器表は黒灰色。外面は煤付着。口縁部はくびれる。	在地製 15C後半
75	46	内耳鍋 軟質陶器 口縁片	ト~27~3	にぼい橙色。白 色鉱物粒多く含 む。赤色粒子含 む。	器表は黒灰色。外面は煤付着。口縁部は外反し、くびれる。	在地製 15C後半
76	79	内耳鍋 軟質陶器 口~剥片	ホ~ヘ 26 ~27	にぼい橙色。白 色鉱物粒含む。	口縁部は極く外反。外面に煤付着。82と同一個体か?	在地製 15C前半
77	26	内耳鍋 軟質陶器 剥片	ト~27~21	にぼい赤褐色。 白色鉱物粒多く 含む。赤色粒子 含む。	器表は黒灰色。外面に煤付着。	在地製 15~16C
78	43	内耳鍋 軟質陶器 剥片	リ~28~41	にぼい橙色。白 色鉱物粒多く含 む。赤色粒子含 む。	器表は黒灰色。外面に煤付着。	在地製 14C後半~15C
79	3	内耳鍋 軟質陶器 底 (15.8)	~26~69	にぼい橙色。白 色鉱物粒多く含 む。赤色粒子含 む。	外面は体部下端を除いて煤付着。	在地製 15C
80	42	内耳鍋 軟質陶器 底 (18.9) 壁高15.1	リ 29 43	にぼい橙色。白 色鉱物粒含む。 塵含む。	器表は黒灰色。口縁部下はくびれる。外面は体部下端を除 き煤付着。底部砂底脚で削す。	在地製 15C

番号	整理番号	器種・種別・法量	出土位置	胎 土	器 形・微 脱 調・文 標などの特徴	備 考
81	203	内耳鍋 欽賀陶器 口26.3 現高13.8	ト-27・28	橙色～灰白色 白色鉱物粒多く含む。	器表は灰白色～灰黑色。外面に漆付着。体部外面はヘラケズリ後無。	在地製 15C前半
82	236	内耳鍋 欽賀陶器 口～膜片	ホ-ヘ-26 ヘ 27	にぼい橙色。白 色鉱物粒含む。	口縁部は緩く外反。外面に漆付着。取っ手一つ残存。73と接合。	在地製 15C後半
83	289	内耳鍋 欽賀陶器 口32.1 現高13.6	ト-28-47・ 56・57・66・67	にぼい赤褐色。 白色鉱物粒多く含む。	外面は黒灰色。取っ手一つ残存。取っ手中央に漆付着。体部外面はヘラケズリ。体内部の器表は剥離している。	在地製 15C前半
84	149	不明石製品 円盤状を呈するが片面の調整は難。ホ-26区出土。 幅4.9×5.0 厚0.7～1.2				
85	4	砥石 一面のみ多用する。裏面も若干使用する。一方の小口は欠損。ホ-28-1区出土。 長7.2 幅2.8 厚2.3				
86	69	内耳鍋 欽賀陶器 口30.9 現高11.0	ト-27・28	にぼい橙色。白 色鉱物粒含む。	器表は黒い。器表は黒灰色。取っ手一つ残存。口縁端部は平折。内面の口縁端部に段差。	在地製 16C
87	68	内耳鍋 欽賀陶器 口31.0 現高14.7	ト-27・28	にぼい橙色。白 色鉱物粒含む。	器表は黒い。器表は黒灰色。口縁端部は平折。内面の口縁端部に段差。	在地製 16C
88	27	内耳鍋 欽賀陶器 口膜片	ホ-27-69	にぼい橙色。白 色鉱物粒含む。	口縁部は一旦外反し、上方に立ち上がる。口縁端部はややくぼむ。	在地製 17C?
89	30	内耳培培 欽賀陶器 口(35.9)底(31.9)高6.0	ヘ-28-7	にぼい橙色。黑 色鉱物粒多く含む。 赤色鉱物粒含む。	体部の器壁は厚い。口縁端部は平折。内面に段差。	在地製 16-17C?
90	7	内耳培培 欽賀陶器 口(32.9)底(30.0)高5.8	ヘ-28-87	中心付近は黒灰色。 表面付近は 灰白色。	器表は黒い。口縁端部は内傾。内面の段差はない。	在地製 17-18C
91	5	内耳培培? 欽賀陶器 底(22.4)	ホ-28-1	にぼい橙色。	底部外面は砂底。体部外面に漆付着。	在地製 16-18C
92	29	砥石 3面を多用し、潰されているように見える。2面に刃物傷。ト-27-7区出土。 長11.6 幅1.9-3.4 厚1.7-2.0				
93	38	砥石 3面を使用。刃物傷あり。下方は欠損。ヘ-27-41区出土。 長6.8 幅4.5 厚3.6				
94	169	不明石製品? 傷面は擦れられているが上下面。小口は削られている。ヘ-26-20区出土。 長7.7 幅6.6 厚2.9				
95	171	砥石 1面のみ多用する。裏面は自然面を残す。ホ-ヘ-26、ヘ-27区出土。 長2.7 幅2.5 厚2.2				
96	172	不明石製品? 表・裏面に研磨痕 ホ-ヘ-26、ヘ-27区出土。 長7.4 幅8.3 厚6.4				
97	36	鉄胎造 陶器 口膜片	チ-27-89	にぼい橙色。発 泡した赤色鉱子 多く含む。	口縁部は外方に折り返す。内外面に銀色の鉄胎。	益子・笠間系 19C中頃～後半
98	21	鉄胎磨鉢 陶器 口膜片	I-24号井戸跡 ニ-23 9	淡黄色。黑色鉱 物粒少量含む。	口縁部は内側に折り返す。内外面に鉄胎。	瀬戸・美濃系 18C前半?
99	37	撻鉢 滅絶陶器 膜片	チ-27-89	にぼい橙色～灰 色。石英斑け。	外面器表はにぼい橙色。7本・単位の横目。	信楽系? 17-18C
100	47	撻鉢 滅絶陶器 肋～底 膜片	リ-28-23	灰色。白色鉱 物粒多く含む。石英少 量含む。	器表は赤褐色。10本+αの横目。底部は砂底。	信楽系? 17-18C
101	183	鉄胎毫 陶器 膜片	ホ-ヘ-26 ヘ-27	にぼい赤褐色。 灰白色の綿あ り。緻密。	内外面に光沢のある銀色の鉄胎	製定地不詳 19C
102	39	長石釉 陶器 口12.7 底7.6 高3.15	C-2-65	淡黄色。	体部は斜めに立ち上がり、口縁部は外反する。高台端部を除き長石胎。釉厚にムラ。	瀬戸・美濃系 17C末～18C 初頭?
103	127	灰釉皿 陶器 口10.6 底6.2 高2.3	A-16	淡黄色。やや緻 密。	底部内部の釉を剥き取る。底部内面を陥き、貯入の灰釉物。底部外表面に鉢底。高台基質底状に削り出す。	瀬戸・美濃系 16C中頃
104	105	土脚瓦土器 直 口9.4 底5.7 高2.2	C-19-20 H227底	にぼい橙色。白 色鉱物粒含む。	口縁部は内斜。底部外表面切り落不明瞭。直線状の底窪残る。口縁端部に油漆付着。	在地製
105	101	灰 烧結陶器 底14.5 厚0.9	D-102 H226底	褐灰色。白色鉱 物粒多く含む。	貼り付け高台。内面調整は難。	製作地不詳 年代不詳。
106	61	染付碗 磁器 口(7.9)底2.8 高3.8	C-24-3(鉢)	灰白色。	口縁部は直線的に立ち上がる。体部外面に鉢を下給付け。高台端部を削き透明物。釉厚にはムラがある。	肥前磁器 18C
107	97	染付花形碗 磁器 口膜片	A-14-3～5 13-15、24	白色。	口縁部は直立し、筒形を呈する。外面上にやや簡略化した菊花文	肥前磁器 18C後半～19C 初頭

番号	整理番号	器種・種別・法量	出土位置	胎 土	器 形・微物調・文様などの特徴	備 考
108	96	染付鏡 磁器 小鏡片	A-14-3~5 13~15、24	灰白色。	器壁は厚い。外側に雪輪文と草花文。表面の発色は悪い。	肥前磁 波佐見系 18C
109	125	染付鏡 磁器 小鏡片	口-13区 H136縦	灰白色。	口縁部は直線的に緩く開く。外側に草花文。透明釉は白湯する。表面の発色は悪い。	肥前磁 波佐見系 18C
110	55	染付鏡 磁器 口φ.8 底φ.2 高5.1	C-24-3(鉢)	灰白色。	口縁部は緩く外反する。外側は2束網目文。高台端部を除き透明釉。胎はやや白濁。	肥前磁 波佐見系? 18C
111	54	染付鏡 磁器 L110.3 底4.3 高5.4	C-24-3(鉢)	灰白色。	口縁部は緩く外反する。外側は草花文。高台内に不明染付鉢。	肥前磁 波佐見系 18C
112	138	高台染付鏡 陶器 口-肩部片	M-1-9	オリーブ黒色。	口縁部は僅かに外反する。外側に植物文か。買入の入る透明釉。胎土が灰白色で焼き上がりがないため、文様はほとんど見えない。	肥前陶器 18C前半
113	85	灰釉鏡 陶器?	B-C-12 H480縦	灰白色~淡黄色	高台はやや高い。高台外側の中段から高台内は無釉。明瞭灰色の灰釉。外側には熱垂れ。胎土は灰白色の部分が波佐見系器と同様。	肥前陶器? 波佐見系 17C後半
114	104	熱釉小鏡 解剖 底4.1	C-20-13 H22N10	淡黄色。	高台縁以下は無釉。	窓戸・美濃系 17C後半~18C
115	113	灰釉鏡 陶器 口φ.9.0	M-L-4 H63縦	灰色。	口縁部は内凹し、僅かに内傾。体部下位まで回転ヘラケズリ。買入あり。	窓戸・美濃系 18~19C前半
116	124	鉛釉鏡 陶器 口一部片	E-103 H216縦	淡黄色	口縁部は弧立する。口縁部には白濁した灰釉を僅かに渡す。いかわゆる「尾尾茶葉」。	窓戸・美濃系 18C中頃~後半
117	222	灰釉鏡皿 陶器 底6.0	C-24-3(鉢)	灰白色。微赤。	高台は断面三角形。付け高台、底部内面中央はコテによりくぼむ。器壁は胎土の模様に拭い取る。細かい買入のある灰釉。内面に網目模様を施す。高台縁以下は無釉。	窓戸・美濃系 18C前半
118	40 41	微蒸素 陶器 腹部・底部	W68号溝清 ロ-ハ-10	灰白色。やや緻密。	外側は灰釉。内面は網目模。外側には山型施文具による划文。絞物には買入・買入・高台縁部のみ無釉。40・41は同一個体の可能性が高い。	窓戸・美濃系 18C後半~19C前半
119	64	灰釉筒形鏡 陶器 口10.2 底5.0 高5.6	C-24-3(鉢)	灰白色。	体部下位は後にして屈曲。高台縁以下は無釉。細かい買入のある灰釉。絞形は回転ヘラケズリ。	窓戸・美濃系 18C前半?
120	221	灰釉丸鏡 陶器 底5.1	C-24-3(鉢)	淡黄色	やや高い・貼り付け高台。高台縁以下は無釉。灰釉には買入。	窓戸・美濃系 18C前半
121	106	天日茶碗 陶器 高台脚欠 口11.7 現高6.4	A-16 H204N19	灰白色。微赤。	高台縁まで厚い灰釉。口縁部はやや内傾し、縁部は小さく外反。	窓戸・美濃系 17C末~18C初頭
122	122	天日茶碗 陶器 脚部片	D-101 H123縦	淡黄色。	器壁はやや厚く、口縁部は内傾する。体部下位まで厚い灰釉。	窓戸・美濃系 16C後半~17C
123	223	鏡 陶器 口12.0 底4.7 高7.6	E-21-81	淡黄色。	高台は高い。高台端部を除き、細かい買入の入る透明釉。口縁部は直線的。	肥前兩備 18C前半
124	1	染付鏡 磁器 口(12.4)底(7.4)高3.1	I-1-3 井戸跡 A-10-78+88	白色。	体部内面は茱萸文。外側は簡略化した唐草文。口跡・体部・底部器壁堅厚。	肥前磁器 18C
125	93	京焼風陶器 盆 底8.3	M-L-8 H85縦	灰白色。	高台はシャープ。底部外側は面取り。器蓋質に焼き縮まる。内面に絞糸による網目模様を施した桜蘭山水文。1ヶ所目疲残る。高台縁以下は開き、細かい買入のある透明釉。	肥前陶器 18C
126	114	灰釉丸皿 陶器 口110.8	M-L-4 H83縦	青灰色。やや緻密。	口縁部外側は回転ヘラケズリ。オリーブ灰色の灰釉。	窓戸・美濃系 18C
127	109	灰釉丸皿 陶器 口11.2	K-8 H72N10	灰白色。やや緻密。	外側口縁部以下は幅の広い回転ヘラケズリ。高台縁以下を除き灰釉。高台縁部へたりより割り込まれる。	窓戸・美濃系 17C後半
128	120	鉛釉鏡 陶器 底5.5	W66号溝中 イ-13	淡黄色。	底部は高筋底状に削り出す。内面のみ鉛釉。燈明皿か。	窓戸・美濃系 18~19C
129	126	志野丸皿 陶器 口12.0 底7.1 高1.7	A-16 H204縦	淡黄色。やや緻密。	体部以下は回転ヘラケズリ。全面に志野釉。内面に粗い買入。高台内に當道昇着者。	窓戸・美濃系 16C中頃?
130	129	灰釉捲物 陶器 底7.2	ハ-13区 H142縦	灰白色。	底部内面に壓紋による櫻木の捲絵。底部内面に目底2カ所。高台縁以下は無釉。	窓戸・美濃系 18C
131	220	御瀬井打型皿 陶器 口φ.4 底5.4 高3.1	C-24-3(鉢)	青灰色。	打型により木瓜型に成型。内面に布目残る。貼り付け高台。高台縁以下は無釉。	窓戸・美濃系 17C末~18C前半
132	123	次灰丸皿 陶器 口12.9 底6.2 高3.0	E-102 H203縦	灰白色。やや緻密。	外側口縁部以下より高台縁にかけて回転ヘラケズリ。内面～外面上半に灰釉。内面裏面は擦き拭。	窓戸・美濃系 17C後半
133	112	次灰鏡 陶器 底6.8	N-1-101 H156縦	灰色。	体部下位以下は胎を拭い取る。内面は無釉。いわゆる高田肥利	窓戸・美濃系 19C前半
134	94	鉛釉花盆 陶器 底9.3	W66号溝中 イ-13	灰白色。	体部下端以下の胎を拭い取る。内面は無釉。	窓戸・美濃系 18C
135	63	鉛釉捲物 陶器 底7.2	C-24-3(鉢)	淡黄色。	体部外側は回転による条線。底部外側の胎を拭い取る。内面は無釉。底部外側は回転ヘラケズリ。	窓戸・美濃系 18~19C

番号	整理 番号	器種・種別・法量	出土位置	胎土	器形・微細調・文様などの特徴	備考
136	57	鐵輪便利 陶器 現高13.6 厚0.7	C-24-3(盆)	灰白色。	外側は鉄輪。内面は薄い鉄輪。	瀬戸・美濃系 18C
137	116	鐵輪燈明皿 陶器 口9.5 H262mm	口 9 区 H262mm	灰色。	外側口縁部以下は釉を拭い取る。	瀬戸・美濃系 18C
138	132	鐵輪燈明皿 陶器 口9.2 底3.4 高1.6	H-142皿	灰色。	口縁部外側以下は釉を拭い取る。外側口縁部以下は回転ヘラケズリ。	瀬戸・美濃系 18C
139	102	鐵輪燈明皿 陶器 口10.0 武5.0 高2.3	E-102 H203mm	褐色。	外側口縁部以下は無釉。外側底部下位は回転ヘラケズリ。口縁部に油煙付着。	製作地不詳 18~19C
140	88	燈明皿受け皿 陶器 口8.2 武4.2 高1.7	A-14-3	灰白色。	口縁部一帯体外側の釉は拭い取る。体部外側下位と受け皿端部に重ね焼き痕。外側口縁部以下は回転ヘラケズリ。	瀬戸・美濃系? 18C後半~19C
141	115	燈明皿受け皿 陶器 口9.8	H262皿	灰白色。	口縁部は直線的。外側に露窓。体部外側と受け皿端部に重ね焼き痕。	瀬戸・美濃系? 18~19C
142	95	燈明皿受け皿 陶器 口11.0 武5.1 高2.1	H144皿	灰白色。	口縁部外側以下は鉄輪を拭い取る。体部外側と受け皿端部に重ね焼き痕。口縁部外側以下は回転ヘラケズリ。	瀬戸・美濃系 18C後半
143	130	筒形香か 瓢箪 底6.1	H142皿	淡黄色。	体部下端面取り。底部に其を貼り付ける。体部外側のみ施釉。	瀬戸・美濃系 17~18C
144	99	鐵輪土瓶 陶器 背部片	A-14区 H144皿	黒灰色～にぶい 褐色。黒色粒子 含む。	土瓶の肩部小片。外側に浅い沈線。外側に光沢のある鉄輪。内面には鉄輪が渡れる。	前 植村窯 (皆 沢・高浜氏) 19C初頭~中頃
145	86	行平蓋 陶器 底6.0 口18.5 高4.4	A-13-85	淡黄色	上面には飛びぬけ、飛びぬけの両面には捺めて薄い燒跡。内面は光沢のある黒色の鉄輪。	益子・笠間系 明治~大正
146	98	灰釉土氣 南朝 往口 ~底部 底7.4	A-14区 H144皿	黑色。白色鉄輪 粒を多く含む。	器表は暗赤褐色。底部は巻き竜。粒状の軸を貼り付ける。体部下位には無釉。内面は無釉。	製作地不詳 幕末~明治
147	118	キセル 置肯・握手・吸い口ともに御製。置字は梢円形。19C。A-10区 (II333報)	長12.7 吸口幅0.6 火皿幅1.1 周幅0.6			
148	119	キセル 置肯。置字が遺存している。うらの棒部と吸い口に段差がある。A-10区 (II333報) 出土。	長7.8 吸口幅0.5 周幅0.9			
149	134	キセル 真鍮袋。19C。K-5・6区 (H77報) 出土。	長7.7 吸口幅0.6 周幅1.1 置字幅0.7			
150	90	鐵輪玉 純製。A・B-17区 (H302報) 出土。 幅1.2×1.3 重量41K				
151	218	裏 焼附陶器 底16.5	D-103区	灰白色～青 灰色。黒土が焼付	裏表は暗赤褐色。内面の一部に自然釉。	常滑系 中世
152	110	檜鉢 欅質陶器 口31.9 底11.0 高9.4	B・C-21 H135皿	灰白色。白色鉄 輪物・含む。	器表は黒灰色。檜口はヘラによる4本一単位。内面体部下端は使用により摩滅する。外側体部下位はヘラケズリ。	在地製 16C?
153	131	鉄輪底座 陶器 口31.9 底11.0 高9.4	H-13区 H142皿	淡黄色。	口縁部は肥厚する。	瀬戸・美濃系 18~19C
154	8	鉄輪底座 陶器 底11.4	B-16-81	淡黄色。	体部外側は回転ヘラケズリ。底部は回転式切り無調整。体部下位以下の鉄輪を縁に拭い取る。16本1単位の横目。	瀬戸・美濃系 18C
155	137	檜鉢 焼附陶器 口 (35.9)	H-2 K63号掘立	赤褐色。白色鉄 輪物・含む。	口縁部内面に突起を這らす。9本1単位のやや幅広の横目。	常滑系18C後半 ~19C前半
156	87	鉄輪底座 陶器 上幅34.9 現高10.0	A-13-5	淡黄色。	外側は口縁部以下回転ヘラケズリ。16本1単位の横目。	瀬戸・美濃系 18~19C前半
157	103	不明 欅質陶器 口(13.8)底(12.5)高4.3	P-102・103 H167皿	赤褐色。白土鉄 輪物・含む。	やや焼き締まる。用途不明。	在地製 時期不詳
158	108	火鉢? 軟質陶器	G-101 H192皿	灰白色。白色鉄 輪物・白色謙合 む。	外側には綾杉文。	在地製 時期不詳
159	121	不明土製品 欅質陶器 幅8.6×5.1 厚1.2	J- K-10 H59皿	にぶい赤褐色。	表は丁寧なナデ。裏面の綾織は粗。表には丸ノミで彫った痕が残る。裏面には接合痕がある。	在地製 時期不詳
160	2	内耳培培 軟質陶器 小破片	I-3号井戸跡 A-10-78-79	灰白色。	体部内面に腹やかな段差。体部外側焼付着。口縁部はくぼむ。	在地製 16~18C
161	36	青伊 軟質陶器 口16.7 底10.1 高6.0	C-24-3(盆)	黒灰色。器表付 近は灰白色。	体部は直線的に延びる。体部外側は丁寧な回転ココナヂ。短い脚を貼り付ける。	在地製 17~18C
162	58	不明土製品 欅質陶器 底14.2 現高7.1	C-24-3(盆)	黒灰色。	体部は内側し、上端に穿孔が1カ所残る。底部には低い脚が貼り付けられていた可能性がある。	在地製 時期不詳
163	62	鉢形納 欅質陶器 口・内側削片	C-24-3(盆)	にぶい褐色。	にぶい赤褐色の火漆がある。煤の付着はなく未使用か。外側には内側に延びて内側調整が非常に丁寧。器表や脚も無い。	在地製 17C
164	59	火起こし・せいいろ? 口(15.1)底(10.0)高4.9	C- 24-3(盆)	にぶい褐色。	外側接合部以下はヘラケズリ。底部に円形の穿孔。煤の付着や被熱痕は認められず、器高が低いが、せいいろの可能性もある。	18C~明治
165	92	内耳培培 軟質陶器 剥片	E-23-23	中央は黒灰色。 器表付近はにぶ い褐色。	外側に焼付着。体部上半はヨコナヂ。	在地製 17~18C
166	84	内耳培培 軟質陶器 剥片	I-3号井戸跡 A-10区	灰白色。	外側のみ焼付着。	在地製 15~16C

番号	整理番号	器種・種別・法量	出土位置	胎 土	器 形・微細調・文様などの特徴	備 考
167	111	用途不明 軟質陶器 □(33.3)	N-1・101 H156縦	にぶい赤褐色。	外面に焼付着。内面は被焼により変色。	在地製 時期不詳
168	219	石製鏡 下面と両は欠損。鏡は使用により中央が大きくなっています。周囲の調整は鋸。C-24-3(鏡)出土。 長11.6 幅3.3 厚1.6~0.4				
169	60	石製鏡 鏡の一部のみ残存。鏡は使用により深くくぼむ。周囲の調整は丁寧。C-24-3(鏡)出土。 長7.5 幅4.0~1.8 厚1.7~0.4				
170	19	灰釉丸皿 陶器 □11.0 高7.1 高2.4	I-18号井戸跡 フ9・10	灰白色。	削り出し高台。体部下半は回転ヘラケズリ。高台内に2カ所円錐ビン模。武部内面に1カ所円錐ビン痕残る。高台内の一帯を除き、窓い入りの入る状態。	瀬戸・美濃系 16C
171	18	志野丸皿 陶器 □10.8 底5.4 高2.0	I-18号井戸跡 フ9・10	灰白色。	高台は基盤底面に削り出す。外面口縁部下は回転ヘラケズリ。底面内面の2カ所に窓。高台内は無物。	瀬戸・美濃系 16C
172	16	志野丸皿 陶器 □10.7 底5.9 高2.4	I-18号井戸跡 フ9・10	灰白色。	高台は基盤底面に削り出す。外面口縁部下は回転ヘラケズリ。口縁端部は外張。高台内は無物。	瀬戸・美濃系 16C
173	17	志野丸皿 陶器 □10.7 底5.6 高2.0	I-18号井戸跡 フ9・10	灰白色。	高台は基盤底面に削り出す。外面口縁部下は回転ヘラケズリ。高台内は無物。口縁端部は外反。	瀬戸・美濃系 16C
174	11	瓶茶碗 組合 底4.8	I-13号井戸跡 ワ13・14	白色。	高台は下端で外傾。	瀬戸・美濃系 大正~昭和中期
175	12	型紙捲茶碗 磁器 □11.4 底4.3 高4.7	I-13号井戸跡 ワ13・14	白色。	外面に型紙で梅などの文様を捲る。口縁部内面には模写文。	瀬戸・美濃系 明治
176	10	網版茶碗 磁器 □11.6 底3.3 高5.1	I-13号井戸跡 ワ13・14	白色。	外面に松林を具現、家庭の夜景を絵で印刷プリント。	瀬戸・美濃系 大正
177	9	急須 陶器 □6.4 底4.8 高6.6	I-13号井戸跡 ワ13・14	灰白色。	外曲にコバルトで「前髪?」「?根園」の文字。やや白色を帯びた透明感。細かい貫入。体部下位以下と内面は無施。	益子・笠間系 明治~大正
178	15	内耳焼壺 ? 軟質陶器 小破片	I-18号井戸跡 フ9・10	赤褐色	口縁部は外傾か。	在地製 時期不詳
179	14	内耳焼壺 軟質陶器 □30.3 底27.9 高6.1	I-18号井戸跡 フ9・10	灰白色。	器表は黒色。体部外側のみ焼付着。	在地製 18C
180	142	青磁碗 底5.4	表株	青灰色。	底部の器壁は厚い。外面に輪廻弁文。高台端部。高台内は無施。	鹿児島系 13C
181	136	染付碗 磁器 □39.1 底3.6 高4.0	不明	灰白色。	やや小型の碗。外面に草花文、高台内に不明施付跡。	肥前磁器(波佐見系) 18C
182	135	灰釉セド利 陶器 底6.7	表株	にぶい褐色。	体部下端以上に灰釉。底部外側に墨書き。	益子・笠間系 幕末~明治
183	83	高脚 燃結陶器 底16.7	ダ・レー3 H368縦	赤褐色。	体部外側は凹転ヘラケズリ。底部外側に直線上の斑痕。内面は使用により壓滅。	界系 18C後半~19C

番号	整理番号	器種・法量・出土位置	石材	器 形 の 特 徴
184	165	石鉢 □径26.5 底径12.0 高15.0 片口幅6.0 ホ・22-88区出土。	安山岩	口縁部丸い。器内はほぼ一定、片口がつく。
192	192	石臼 ヘ-27-85区出土。	安山岩	はんぎりの破片。
185	143	石臼 ヘ-27-85区出土。	安山岩	
186	168	不明 残17.4×9.7 厚さ3.0 ヘ-26区出土	安山岩	
187	175	不明 残7.5×8.0 厚さ2.6~4.9 ホ・ヘ-26、ヘ-27区出土。	安山岩	
188	170	石臼 上縁高さ1.8 上縁幅2.0 ヘ-26区出土。	安山岩	はんぎりの破片。凹みは面部をなし、上縁は平担。
189	174	石臼 上縁高さ(2.0) ホ・ヘ-26、ヘ-27区出土。	安山岩	はんぎりの破片。凹みは温状、上縁は平担。
190	173	石臼 直径20.0 高さ11.8 上縁高さ1.7 上縁幅2.5 芯穴径2. 3 抜き手穴径2.2 分歯×溝数 8×5以上 ホ・ヘ-26、ヘ-27区出土。	安山岩	凹みは温状をなし、上縁は平担。側面に蛇形の彫りがつくと考えられ、ややふくらむ。芯穴は2度以上に分けて貫通か。
191	194	石臼 直径20.3 残高12.0 上縁高さ一 芯穴径2.3 抜き手穴径(2.3) 分歯×溝数 6×5以上 ヘ-26-28区出土。	安山岩	凹みは温状。上縁は平担。芯穴は2度以上に分けて貫通か。すり合わせ面の副情は確認できない。
192	167	不明 残16.5×16.5 ヘ-26区出土。	安山岩	表縁部はほぼ90°をなして凹面を形成する。
193	133	石臼 直径22.5 高さ7.6 上縁高さ2.6 上縁幅1.5 C-8区(134区)出土。	安山岩	上縁の内縁の彫きがやや苦しい。すり合わせ面は磨滅のためか副情確認できない。
194	190	石臼 直径25.4 高さ9.8 上縁高さ2.8 上縁幅2.3 抜き手穴径(3.1) 芯穴径(2.8) ホ・ヘ-26、ヘ-27区出土。	安山岩	上縁の内縁の彫きがやや苦しい。ふくみは鋭く齊曲する。すり合わせ面の副情は確認できない。
195	162	石臼 直径25.0 残高13.7 供給口径3~3.4 芯穴径3.0 ト-28-63区出土。	安山岩	上縁の内縁の彫きは残存しらみて苦しい。供給口は上下方向から見通す。すり合わせ面の副情は磨耗している。
196	161	石臼 直径27.8 高さ11.0 供給口径3.8 芯穴径3.0 分歯×溝数4×4以上 ホ-28-63区出土。	安山岩	上縁上半欠損。内縁は中心部に向って傾斜する。ふくみは中心部で平担となる。供給口は傾斜して貫通する。

番号	整理番号	器種・法泉・出土位置	石材	器形の特徴
197	191	石臼 直径(32.5) 高さ9.3 上縁高さ2.5 上縁幅(1.8) ホヘー26、ヘー27区出土。	安山岩	上縁の内縁の傾き著しい。すり合わせ面は磨滅している。
198	160	石臼 直径28.2 高さ13.0 上縁高2.4 上縁幅3.7 ト-28-63区出土。	安山岩	凹み皿状。供給口はやや中細りする。副溝の間隔は1.0~1.5cm
199	163	石臼 直径28.0 高さ10.7 上縁高0.6 上縁幅4.0 供給口径4~3.5 分面×溝数6×2以上 ト-28-67区出土。	安山岩	凹み皿状。供給口はやや中細りする。副溝の間隔は1.0~1.5cm
200	193	石臼 現幅25.8 高さ12.7 心穴径2.8 分面×溝数8×4以上 ホヘー26、ヘー27区出土。	安山岩	下面は中央に向って大きくなっている。ふくみはほぼ平坦。
201	164	石臼 現幅29.1 現高6.8 ト-27-87区出土。	安山岩	下面は端部で平坦。全形の約2/3程度。
202	166	石臼 はんぎり径34.6 高さ14.0 心穴径4.0 ふくみ径0.4 分面×溝数8×5以上 ト-28-85区出土。	安山岩	下面は中央に向って凹む。すり合わせ面は鋭分明な。
203	187	石臼 直径4.5 高さ10.1 ホヘー26、ヘー27区出土	安山岩	小破片。副溝の幅は4mm、間隔は1.0cmを計る。
204	159	石臼 直径28.9 高さ7.2 ふくみ径1.5 心穴径3.6 チ-28-61区出土。	安山岩	下面は端部平坦、中央に向って緩く凹む。すり合わせ面は磨耗する。副溝の幅大きい。
205	188	石臼 直径(28.2) 高さ12.3 ホヘー26、ヘー27区出土	安山岩	すり合わせ面磨耗し、溝数等不明瞭。副溝の幅は大きい。上面は平坦。
206	195	五輪塔 空風輪部 空輪軸17.7 風輪軸15.7 高さ(27.6) 柄の長さ1.9 幅6.2 B-20-41区出土。	安山岩	空輪部先端、側縁部を欠損する。下端部に短い柄をつける。
207	196	五輪塔 空風輪部 空輪軸17.0 風輪軸15.9 高さ29.3 柄の長さ3.4 幅7.5 B-29-41区出土。	安山岩	空輪部方形で先端わずかに弧形。風輪部への移行点折れ小さい。
208	197	五輪塔 空風輪部 空輪軸17.4 風輪軸16.7 高さ33.6 柄の長さ3.3 幅7.1 C-19-58区出土。	安山岩	万形状をなし、空輪部先端で斜く観る。移行点の折れ小さい。
209	198	五輪塔 空風輪部 空輪軸18.0 風輪軸15.4 高さ29.6 柄の長さ5.0 幅6.5 B-20-41区出土。	安山岩	空輪部丸み強い。移行点の折れ大きくU字状をなす。
210	199	五輪塔 空風輪部 空輪軸14.5 風輪軸13.8 高さ21.8 柄の長さ2.5 幅5.1 B-20-41区出土。	安山岩	全体的に小さい形状。空風輪部とともに同じような形状。
211	200	五輪塔 空風輪部 空輪軸18.5 風輪軸16.4 高さ30.7 柄の長さ4.5 幅7.7 C-20区(II221堆)出土。	安山岩	空輪部丸味強い。移行点の折れU字状。
212	201	五輪塔 空風輪部 空輪軸17.9 風輪軸16.1 高さ30.4 柄の長さ5.5 幅8.0 C-20区(II221堆)出土。	安山岩	比較的整った形状。柄部やや長い。
213	202	五輪塔 空風輪部 空輪軸16.2 風輪軸14.0 高さ27.8 柄の長さ3.5 幅6.5 C-20区(II227堆)出土。	安山岩	形状若干いびつな。空輪部先端わずかに欠損する。

番号	整理番号	器名	出土位置	初唐年号(西暦)	製作地名	備考
214	71	水 杯 通 貝	ト-28			
215	224	水 杯 通 貝	ホヘー26-27	永楽6年 (1408)	明	腐食がすみ不明瞭 腐食すむ。
216	225	政 和 通 貝	ホヘー26-27	政和元年 (1111)	北宋	
217	226	水 杯 通 貝	ホヘー26-27	永楽6年 (1408)	明	
218	227	水 杯 通 貝	ホヘー26-27	永楽6年 (1408)	明	腐食がすむ。
219	233		ト-26-9			腐食し判読できない。
220	153	嘉 定 通 貝	ナ-27-69	嘉定元年 (1208)	南宋	
221	82	永 楽 通 貝	ホヘー26	永楽6年 (1408)	明	かなり腐食がすむ。
222	100	永 楽 通 貝	C-1-0 (H 221No2)	永楽6年 (1408)	明	222-224 3枚一緒に出土。
223	100	永 楽 通 貝	C-1-0 (II 221No2)	永楽6年 (1408)	明	
224	100	永 楽 通 貝	C-1-0 (H 221No2)	永楽6年 (1408)	明	
225	128	寛 永 通 貝	A-9区(H336堆)	寛永13年 (1636)	日本	腐食している
226	91	元 善 通 貝	C-20-43	万治2年 (1659)	宋	
227	91	洪 德 通 貝	C-20-43	(1470)	安南	
228	232	寛 永 通 貝	A-14-3	寛永14年 (1637)	日本	
229	139	寛 永 通 貝	N-8-3	寛永13年 (1636)	日本	
230	117	寛 国 通 貝	A-1-4 (H 144No13)	寛永14年 (1637)	日本	背側青海波文
231	230	寛 永 通 貝	ト-9	寛永13年 (1636)	日本	
232	140	寛 永 通 貝	7-3 区表継	寛永14年 (1637)	日本	
233	231	寛 永 通 貝	表継	寛永14年 (1637)	日本	

IV 遺構一覽

古墳一覽表
H竪穴住居跡一覽表
鍛冶跡・鍛冶関連遺構一覽表
掘立柱建物跡・覽表
竪穴遺構一覽表
HP土坑・大HP土坑一覽表
J竪穴住居跡一覽表
JP土坑一覽表
JS配石遺構・JN遺構一覽表
F土坑一覽表
I井戸跡一覽表
W溝跡・覽表
A地下式土坑一覽表
N性格不明遺構一覽表

表一-167 古墳一覧表

遺構名	位 置	規 模(m) 南北×東西	周 壁(cm)		石 室 全長m	玄 室(cm) 長さ 幅	横 道(cm) 長さ 幅	七体部方位	重 視	備 考
			幅	深 さ						
M 1	メ・ル・ラー 1・2	35.5×35.0	180~700	57~127	5.36	339×150~185	197×77~95	N-0°	H382、J56 W57、H P76 N15	1巻P26
M 2	ラ・ム-107	14.9×16.0	80~240	10~46	3.25	270×90~95	54×30	N 62.5°-W	H427・429	# P33
M 3	ツ・ネ-108	19.0×21.0	100~450	14~89						# P36
M 4	ム-108 ナ・ラ-108・109	15.0×31.5	200~430	30~58					H431	# P39

表一-168 H型穴住居跡一覧表()推定 方位は長軸方向(西側長軸含)で示す。面積は現状面積。

遺構名	位 置	規 模(m) 南北×東西		面積(m ²)	壁高(cm)	周溝	カマド位臵+戸	柱 穴	重 視	締 囲	方 位 時 期	
		南北	東西									
H 1	E-2	4.4×3.7		16.2	65~92	有	東壁南寄り	P ₁ ~P ₂		2巻P 4	N-17.5°-E	VII
H 2	B-4	3.9×3.7		11.0	43~72	#	#			# P 5	N-10°-W	VI
H 3	B・C-6	4.7×3.8		17.8	55~65	#	#	P ₁		# P 6	N-3.5°-E	V
H 4	G-3.4	3.2×2.7		7.9	20~39	#	#	P ₁ ~P ₄		#	N-4°-E	III
H 5	H-3	4.5×3.2		13.9	46~56	#	#	P ₁		# P 7	N-3°-W	X
H 6	H-3・4	3.8×3.4		12.2	47~57	#	東壁南寄り 西壁中央	P ₁		# P 8	N-16°-W	IX
H 7	H-4	3.0×2.5		7.6	48~62	#	東壁中央南寄り			#	N-5.5°-W	IX
H 8	G-5	3.8×3.2		12.4	35~40	#	東壁南寄り	P ₁ ~P ₄		# P 9	N-12°-W	IX
H 9	F-5	3.6×2.6		9.2	5~22	無	#			# P 10	N-1.5°-E	X
H 10	G-4	4.0×3.4		12.9	23~43	有	#			#	N-10.5°-W	X
H 11	H・G-5	4.0×3.2		12.4	33~52	無	東壁中央南寄り			# P 11	N-2°-E	X
H 12	F-6	3.4×2.9		9.8	15~45	#	東壁南寄り	P ₁ ~P ₃		# P 12	N-3°-W	IX
H 13	G-6	3.7×2.8		10.6	18~54	有	#			#	N-2.5°-W	IX
H 14	G-7	4.4×4.4		17.8	35~64	#	東壁中央南寄り	P ₁ ~P ₉		# P 13	N-9°-E	VII
H 15	J-8	5.6×4.6		24.1	55~95	#	東壁南寄り	P ₁ ~P ₅		# P 14	N-3°-W	IX
H 16	J-9	4.3×3.2		14.2	40~64	#	#	P ₁ ~P ₄		# P 15	N-2°-W	IX
H 17	H-9	3.2×2.8		9.2	25~45	無	#			# P 16	N-2.5°-W	IX
H 18	G-9	3.9×2.7		11.0	25~40	有	#	P ₁ ~P ₄		#	N-12.5°-W	X
H 19	J-9	4.4×3.1		13.8	8~17	無	東壁中央南寄り	P ₁ ~P ₁₀		2巻P 17	N-22°-E	X
H 20	D-9・10	4.2×3.7		15.3	30~65	有	東壁南寄り	P ₁ ~P ₂		# P 18	N-16.5°-E	IX
H 21	D-9	3.8×3.3		11.4	42~95	無	#	P ₁ ~P ₄		#	N-6°-E	IX

遺構名	位 置	規 模(m) 南北×東西	面積(m ²)	壁高(cm)	周溝	カマド位置+炉	柱 穴	重 叠	搏 間	方 位 時 期
H22	C-9	3.3×2.8	9.0	13~23	無	東壁南寄り			2巻P19	N-28.5°-E X
H23	〃	6.1×4.1	23.5	20~74	有	〃	P ₁ ~P ₄		# P20	N-20°-E X
H24	D-10	3.1×3.2	10.9	24~49	無	東壁中央	P ₁		# P21	N-50°-W IX
H25	C-10	3.9×---	11.0	64	〃	無			〃	N-28.5° E VI
H27	C-10+11	5.7×6.2	34.7	34~66	有	東壁南寄り	P ₁ ~P ₄		# P22	N-72.5° W VI
H28	C-9	4.0×3.4	12.9	12~50	〃	〃			# P23	N-31°-E IX
H29	J-10	3.2×2.3	7.3	32~45	無	東壁中央?			〃	N-3° E VIII
H30	G-10	2.8×3.4	9.5	45~72	有	東壁南寄り	P ₁ ~P ₄	W3	# P24	N-67°-E V
H31	H+G-10	3.7×2.8	10.5	28~42	無	〃	P ₁ ~P ₂		〃	N-8°-W IX
H32	F+G-11	3.1×4.5	14.3	45~66	有	〃			# P25	N-78.5°-W VII
H33	G-H-12	4.0×---	8.8	27~44	無	〃	P ₁		# P26	N-4°-E IX
H34	G-12	3.7×3.3	12.0	50~70	〃	〃			# P27	N-6°-E VII
H35	F-12	3.8×3.8	14.6	22~48	有	〃	P ₁		〃	N-35°-E VII
H36	F-12	2.8×3.3	9.1	29~38	〃	〃	P ₁ ~P ₄		# P28	N-67°-E XII
H37	E-13	—×2.7	5.2	17~42	無	〃			〃	N-27°-W XII
H38	F-13	3.9×3.2	12.3	62~91	有	〃		H39	# P29	N-21°-W X
H39	F-13	2.9×4.4	13.1	27~41	無	〃	P ₁ ~P ₄	H38	〃	N-79.5°-E XII
H40	G-13	2.4×2.1	4.9	2~42	有	〃	P ₁		# P30	N-27°-E X
H41	F-14	4.6×4.0	17.9	22~37	〃	〃	P ₁ ~P ₄		# P31	N-19.5°-E X
H42	F-14	4.2×3.4	13.7	29~54	〃	〃	P ₁		# P32	N-6.5°-E VII
H43	F-14	3.8×3.0	11.2	23~42	〃	〃	P ₁		# P32	N-15°-W IX
H44	F-14	4.5×3.9	15.5	55~84	有	〃	P ₁ ~P ₃		# P33	N-19°-E X
H45	F+G-14	4.1×---	6.1	32~56	無	無			# P34	N-1.5°-W IX
H46	H-14	—×3.4	14.2	31~52	有	東壁南寄り	P ₁		〃	N-4.5°-E IX
H47	H-15	5.2×4.2	19.8	32~63	〃	〃	P ₁ ~P ₄		# P35	N-6°-E IX
H48	H-15	4.5×4.1	18.3	55~77	〃	〃	P ₁ ~P ₄		# P36	N-12°-W V
H49	J-14	3.9×3.7	14.0	20~30	〃	東壁中央南寄り	P ₁ ~P ₂		# P37	N-18.5° E VI
H50	G-15	5.4×4.2	13.3	27~47	〃	東壁南寄り	P ₁ ~P ₄		# P38	N-10°-E VII

追跡名	位 置	規 模(m) 南北×東西	面積(m ²)	壁高(cm)	周溝	カマド位置・仰	柱 穴	重 複	拂 区	方 位 時 期
H51	H-15	3.4×3.8	13.1	42~56	#	東壁南寄り	P ₁	H52	2番39	N-77°-W II
H52	H-15	4.2×3.9	15.4	49~69	#	東壁中央	P ₁	H51	# P40	N 0° III
H53	H-15	4.8×3.6	16.6	42~54	#	東壁南寄り			#	N-23°-E III
H54	H-15+16	2.8×2.8	7.8	22	#	東壁中央南寄り	P ₁		# P41	N 8.5°-W II
H55	J-15+16	3.1×2.3	7.3	33~42	無	東壁南寄り			# P42	N 28°-E IX
H56	G-17	2.9×3.0	8.2	33~54	有	東壁中央南寄り		H57	#	N 23°-W VI
H57	G+H-17	3.4×3.0	9.8	41~51	#	東壁南寄り		H56	# P43	N-4.5°-W VII
H59	J+K-10	5.1×4.1	20.9	28~49	#	東壁中央南寄り	P ₁		#	N 13°-E VIII
H60	J-8	4.5×3.0	12.8	26~65	#	#	P ₁		# P44	N 8.5°-E II
H61	K-8	2.5×3.0	7.2	40~47	#	東壁南寄り	P ₁ ~P ₂	H81	# P45	N 83°-W XI
H62	K-8	2.9×3.7	7.2	19~35	無	東壁中央南寄り 西壁中央		H72	# P46	N-77°-W X
H63	K-7+8	4.7×3.8	17.4	13~56	有	東壁中央南寄り	P ₁ ~P ₁₂	H64+66+80	# P47	N 0° X
H64	K-8	4.2×—	12.8	11~34	無	東壁南寄り		H63+80	# P48	N-4°-W II
H65	K-7	4.7×3.4	16.1	14~54	有	#		J P 5+866	# P49	N-0° X
H66	K-7+8	3.3×—	6.5	11~40	無			H63+80	# P47	N-8°-E —
H67	K-7	5.5×—	15.3	23~40	有	東壁南寄り	P ₁	H68	# P50	N-3°-W X
H68	K-7	—×4.1	23.1	26	#	東壁中央	P ₁	H67+69	# P51	N-13.5°-E X
H69	K-7	4.3×3.8	4.4	16~30	有	東壁南寄り		H68	# P51	N-17°-E X
H70	K-7	3.2×2.7	8.5	30~55	#	#			# P52	N-9°-E X
H71	K-6+7	4.2×3.3	13.0	22~45	#	東壁中央	P ₁ ~P ₂		#	N 9°-E X
H72	K-8	4.2×—	9.8	9~27	無	東壁南寄り	P ₁ ~P ₂	H62	# P53	N-3.5°-E X
H73	J-6	4.0×2.9	8.7	13~60	#	#	P ₁ ~P ₄		# P53	N-10°-E IX
H74	K-6	4.1×3.1	9.6	10~55	有		P ₁ ~P ₄	H73+76	# P54	N-19°-E X
H75	K-5+6	3.7×2.7	8.0	12~40	#	東壁南寄り		H74+76	#	N-16°-E X
H76	J+K-5+6	4.3×3.1	13.6	9~70	#	#		H74+75+79	#	N-12°-E II
H77	K-5+6	4.2×3.1	12.3	8~40	#	#		J P 4	# P56	N-19.5°-E IX
H78	K-5	4.1×2.7	10.7	16~41	#	#	P ₁		#	N-1°-E II
H79	J+K-5	—×2.7	5.4	24~60	無	#		H76	# P54	N-14°-E IX

造構名	位 置	規 模(m) 南北×東西	面積(m ²)	壁高(cm)	周溝	カマド位置+序	柱穴	重複	標 因	方 位 時 期
										南北×東西
H80	K-7	—×3.4	4.0	9~10	有			H63・65・66	2巻P47	N-0° IX
H81	K-8	4.8×3.3	15.7	39~47	〃	東壁中央南寄り	P ₁ ~P ₃	H61	〃 P45	N-9°~E X
H82	H・J-4	2.5×2.7	6.9	20~57	〃	東壁南寄り	P ₁		〃 P57	N-87°~E X
H83	M・L-4	3.3×3.2	10.7	55~76	〃	〃			〃 P58	N-24°~W V
H84	N・P-5	2.9×2.7	7.9	52~65	〃	東壁中央南寄り			〃	N-20°~W IV
H85	L-8	3.7×3.4	11.8	42~59	〃	東壁南寄り	P ₁		〃 P59	N-10.5°~E XI
H86	N-7	3.2×5.0	15.7	30~55	〃	〃	P ₁		〃 P60	N-86°~W X
H88	N・P-7	4.4×3.7	16.0	48~72	〃	〃	P ₁		〃	N-0° XI
H89	U-6	3.1×2.5	7.2	26~70	無	〃	P ₁ ~P ₂		〃 P61	N-8.5°~W III
H90	N・P-6	3.7×3.0	10.4	33~49	有	東壁中央南寄り	P ₁ ~P ₃		〃 P62	N-7°~E X
H91	M-7	4.1×3.1	12.5	34~58	〃	〃	P ₁ ~P ₂		〃	N-14°~W X
H92	T-16	4.0×3.2	12.5	42~53	〃	東壁北寄り 東壁南寄り			〃 P63	N-16.5°~E III
H93	T-16	3.5×2.9	10.1	9~64	無	東壁中央	P ₁		〃 P65	N-21°~E X
H94	S-14+15	2.3×2.2	5.8	46~63	無	北壁中央東寄り	P ₁ ~P ₄		〃 P65	N-27°~E IV
H95	S-14+15	3.6×2.5	9.8	32~50	〃	東壁南寄り	P ₁ ~P ₄		〃 P66	N-10°~E X
H96	R-16	3.8×3.8	15.1	40~81	有	東壁中央南寄り	P ₁ ~P ₂		〃 P67	N-13°~E VII
H97	R-16	4.3×3.1	12.7	32~63	〃	東壁南寄り	P ₁ ~P ₂		〃 P68	N-15.5°~E IX
H98	R-17	4.3×3.0	12.7	47~80	無	東壁中央南寄り	P ₁ ~P ₂		〃	N-34°~E VII
H99	K-1	3.4×2.7	8.5	29~47	有	東壁南寄り	P ₁ ~P ₃		〃 P69	N-0° XV
H100	J・K-101	4.1×3.0	12.1	47~66	無	〃	P ₁ ~P ₂	土坑A・B・C	〃 P70	N-6°~E IX
H101	J-101	3.7×3.1	11.6	23~65	有	〃	P ₁ ~P ₂	H102	〃	N-6° X
H102	J-101	5.4×4.4	23.8	40~77	〃	東壁中央南寄り	P ₁ ~P ₃	H101 K22	〃 P71	N-6°~E IX
H103	Q-14	4.2×3.3	14.8	70~90	有	東壁中央			〃 P72	N-19.5°~E IX
H104	R-1	3.5×3.6	13.0	54~70	〃	東壁中央南寄り	P ₁ ~P ₃		〃 P73	N-85°~E IV
H105	Q-101	2.4×2.7	6.5	22~76	無	東壁南寄り	P ₁		〃 P74	N-77°~W IV
H106	Q-101	4.5×4.2	18.7	37~74	有	〃	P ₁ ~P ₄		〃 P75	N-13.5°~W V
H107	P-102+103	3.7×3.5	12.9	42~82	無	東壁中央南寄り			〃 P76	N-19.5°~W III
H108	P-103	3.8×2.9	10.9	39~65	〃	南壁西寄り	P ₁		〃	N-38°~W III

遺構名	位 置	規 模(m) 南北×東西	面積(m ²)	壁高(cm)	周潤	カマド位置+炉	柱穴	重 棚	揮 圓	方 位
										時 期
H109	Q 102	3.8×2.8	10.9	11~35	無	東壁中央	P ₁	H110	2巻P77	N 20°~E III
H110	P + Q-102	3.3×3.5	9.9	4~20	〃	北壁東寄り	P ₁ ~P ₄	H109	〃	N 70°~W III
H111	P + Q 102	4.7×5.0	21.9	60~90	〃	南壁東寄り		H112~116	# P78	N 60°~E IV
H112	P + Q-102		1.0	40~50	〃			H111~116	〃	N 0° IV
H113	P + 2 + 3	4.5×5.4	23.0	61~88	有	北壁西寄り	P ₁ ~P ₄		# P80	N 88.5° E IV
H114	N-2	4.1×4.1	16.8	56~95	〃	東壁南寄り			# P81	N-1°~E V
H115	N-2	3.5×2.5	8.6	44~67	〃	〃	P ₁ ~P ₄		〃	N-3°~W IX
H116	P + Q-102				(東壁)			H111~112	# P78	IV
H117	M-1	5.6×5.5	29.9	26~60	有	東壁南寄り	P ₁ ~P ₄		# P82	N-3° W III
H118	M-2	3.9×3.1	12.7	30~54	〃	〃	P ₁		# P83	N-13° E IX
H119	N-1	4.3×4.1	16.9	55~102	〃	〃	P ₁ ~P ₄		〃	N-11° E V
H120	L-2	—×3.9	9.5	60~80	〃		P ₁ ~P ₄		# P84	N-60°~E IV
H121	L-101+102	3.6×2.5	9.3	10~29	無	東壁南寄り	P ₁		# P85	N-11°~E X
H122	M-101+102	4.0×3.8	14.0	42~90	有	東壁中央			〃	N-8.5°~E III
H123	L-102	3.7×2.8	10.1	26~48	〃	東壁南寄り	P ₁ ~P ₄	H128 HP 6	# P86	N-0.5° E IX
H124	L-103	3.6×3.1	11.0	26~59	有	〃			〃	N-1°~E IX
H125	L-103	3.3×3.8	12.7	17~29	無	〃		H129 HP 8	# P87	N-80°~E X
H126	N-102	3.9×3.9	15.4	40~67	〃	〃	P ₁ ~P ₄		# P88	N-16°~W IV
H127	N-102	2.3×3.2	7.8	17~52	〃	〃	P ₁ ~P ₄		〃	N-90°~E IN
H128	L-102	3.5×3.8	12.5	30~48	有		P ₁	H123+HP 6 K 5-B	# P89	N-72°~W IP
H129	L-103	2.8×2.4	6.2	17~29	無	東壁南寄り	P ₁	H125 HP 8	# P87	N-0° IV
H130	L-101	2.6×2.3	5.6	14~30	有	〃	P ₁ ~P ₄		# P90	N 8° E III
H132	C-20+21	5.4×3.5	18.3	52~62	〃	〃	P ₁ ~P ₄		〃	N-7°~E VII
H133	C-21	4.2×2.9	12.1	20~34	〃	〃			# P91	N-1.5° W IX
H135	B+C-21	4.4×3.5	15.1	30~55	〃	〃			# P92	N-2°~W IX
H136	口-13	3.1×2.7	8.3	31~52	無	〃	P ₁ ~P ₄		〃	N-5.5°~E VI
H137	口+ハ-14	5.2×3.1	(15.9)	9~44	〃	〃	P ₁		# P93	N 3.5° E III
H138	イ-13	4.1×3.5	14.9	40~70	有	〃	P ₁ ~P ₄		〃	N 15° E VII

遺構名	位 置	規 模(m)		面積(m ²)	壁高(cm)	周溝	カマド位置+炉	柱 穴	重 覆	拂 囲	方 位 時 期
		南北×東西									
H139	口-13	2.4×2.0		4.6	35~52	有	東壁南寄り	P ₁		2巷P95	N-7°-E X
H140	口-13	3.4×3.9		12.4	28~48	無	無			II	N-85°W V
H141	口-13	4.4×3.8		17.1	23~56	無	東壁中央	P ₁	H140 W66	II	N-10°-E V
H142	八-12・13	3.7×3.1		11.3	21~45	無	東壁南寄り		大H P 4	# P96	N-46.5° E III
H143	A-15	3.5×2.9		10.0	32~50	有	無			# P97	N-6°-W VI
H144	A-14	3.2×2.9		9.9	8~24	有	無	P ₁ ~P ₂	W15	# P97	N-8°-W VII
H145	B-14・15	2.9×2.9		9.2	50~66	無	北壁東寄り 東・西壁中央	P ₁ ~P ₁₂		# P98	N-13.5° E VII
H147	C-8・9	5.5×3.8		21.5	20~38	有	東壁南寄り	P ₁ ~P ₂		# P99	N-6° W XI
H148	B+C-8	4.7×—		12.7	53~82	無		P ₁ ~P ₂		# P100	N-4° E X
H149	B-7	6.3×—		21.4	56~110	無		P ₁ ~P ₄		# P101	N-16.5° E IX
H150	A-15	2.8×2.7		7.7	44	無	東壁南寄り			II	N-12°-E VII
H151	C-8	2.2×2.2		4.9	29~35	無	無	P ₁	K10	# P102	N-9.5°-W
H152	ホ-23	4.5×—		14.4	17~60	有			J31, W11	II	N-8.5°-E IX
H153	E-12	4.4×2.9		11.8	10~36	無	東壁南寄り	P ₁ ~P ₂		# P103	N-5.5° W III
H154	C-12	4.7×3.1		14.9	29~50	有	無	P ₁ ~P ₄		II	N-0° III
H155	P-1	3.7×3.0		11.4	33~40	無	無	P ₁		# P104	N-15°-E III
H156	N-101	4.6×3.9		15.1	60~80	有	無	P ₁ ~P ₂		# P105	N-5°-E V
H157	P+N-101・ 102	3.5×3.4		12.4	34~78	有	無			II	N-23°-E III
H158	P-102	3.7×3.7		12.9	42~88	無	無			# P107	N-2° W IV
H159	P+N-102	4.0×4.0		14.6	44~77	無	無	P ₁		# P108	N-0° III
H160	P-102・103	3.9×3.3		12.2	19~34	無	無			# P109	N-1.5°-E III
H161	N+P-103	3.2×3.3		10.4	77~90	無	無			II	N-72°-E IV
H162	N+P-103	2.8×3.5		9.1	55~63	無	無			# P110	N-77° E III
H163	N-101	4.0×4.0		14.4	49~85	無	無	P ₁ ~P ₄		# P111	N-3° E IV
H164	P-102	3.3×2.6		8.2	11~30	無	無	P ₁ ~P ₂		II	N-10.5°-E III
H165	K-101	3.2×2.2		7.4	8~36	無	無			# P112	N-0° IV
H166	K-101	4.0×3.7		14.2	42~75	有	無	P ₁ ~P ₄	H167	# P113	N-6°-E IX
H167	K-101	3.9×3.0		11.7	21~50	無	無		H166 K26	II	N-4°-E IX

遺構名	位 置	規 模(m) 南北×東西	面積(m ²)	壁高(cm)	周溝	カマド位置・炉	柱 穴	重 覆	辨 圖	方 位 時 期
H168	K-102	5.1×3.6	16.6	50~58	有	東壁南寄り		K-25~26	2巻P114	N-2°-W X
H169	K-102	5.1×—	8.4	39~50	〃	〃			〃 P115	N-9.5°-E IX
H170	K-103	3.6×—	4.9	7~28	無	〃		H173	〃	N-20°-E IX
H171	K-103	4.9×4.9	23.8	43~76	有	〃		H174	〃 P116	N-21°-W I
H172	K-102	2.2×2.5	5.7	18~24	無	〃			〃 P117	N-61°-W II
H173	K-103	3.0×—	2.5	19~39	〃	〃		H170	〃	N-10.5°-W IX
H174	K-103	4.3×3.5	13.8	7~23	〃	〃	P ₁	H171	〃	N-0° VIII
H175	K-101	3.3×2.7	8.8	13~26	北	北壁東寄り	P ₁		〃 P118	N-21°-E III
H176	N+P-103	3.7×3.0	10.7	10~34	〃	東壁南寄り	P ₁		〃	N-23°-W IV
H177	K+L-102	4.3×—	5.6	19~30	有	〃		K25	〃 P119	N-4.5°-W IX
H178	P-2	3.5×3.1	10.4	35~75	〃	〃	P ₁		〃	N-8°-W IV
H179	J-103	3.5×2.5	9.0	10~30	無	〃		K23~24	〃 P120	N-0° IV
H180	J+K-102	7.7×6.9	53.6	46~91	〃	〃	P ₁ ~P ₁₈		〃 P121	N-1°-W VII
H181	J-103	2.1×3.1	6.5	9~24	有	北壁東寄り	P ₁		〃 P122	N-87°-E VII
H182	H-2	4.2×3.6	14.4	42~62	〃	東壁南寄り		H183	〃	N-4.5°-W X
H183	H-2	3.7×3.4	11.5	18~70	〃	〃	P ₁ ~P ₂	H182	〃 P123	N-2°-W X
H184	H-2	3.7×2.8	10.1	28~38	無	〃		K103	〃 P124	N-4.5°-E X
H185	G-2	3.4×2.6	8.2	28~50	無			W18~74	〃	N-13°-W II
H186	G-2	5.2×3.5	18.2	34~74	有	東壁南寄り	P ₁ ~P ₂	W18~74	〃 P125	N-6°-W VII
H187	A-101	4.3×3.4	13.7	34~56	〃	〃		W25	〃 P125	N-5°-E IX
H188	H-101	3.2×2.8	8.5	9~20	無	〃	P ₁	W19~20	〃 P126	N-0° IX
H189	H-101	4.2×3.1	13.0	13~30	有	〃			〃	N-2.5°-W VII
H190	H-103	3.3×2.7	9.5	31~50	無	〃			〃 P127	N-8°-W X
H191	G-1+101	6.6×5.9	37.0	52~75	有	〃	P ₁ ~P ₄		〃	N-25°-E VII
H192	G-101	3.7×3.0	11.1	27~54	無	〃	P ₁ ~P ₂		〃 P128	N-30.5°-W X
H194	B-17	4.9×3.6	17.3	40~60	有	東壁中央	P ₁ ~P ₂	W23	〃 P129	N-4.5°-W VII
H195	E+F-103	3.8×3.3	12.0	26~54	〃	東壁中央 東壁南寄り	P ₁	K45	〃 P130	N-4.5°-W IX
H196	A-17	4.3×3.7	17.3	34~56	〃	東壁中央	P ₁ ~P ₂		〃	N-2°-W IX

道構名	位 置	規 模(m) 南北×東西	面積(m ²)	壁高(cm)	周溝	カマド位置・炉	柱穴	重 複	排 団	方 位 時 期
H197	A-17・18 イ-17	6.0×3.7	23.5	33~80	有	東壁南寄り	P ₁ ~P ₄		2号 P130	N-0° X
H199	D-20	4.0×3.7	14.2	56~64	無				# P132	N-34.5°-E VI
H200	E・F-103	5.4×4.0	21.6	26~55	無				#	N-9°-E VII
H201	D-19・20	2.6×2.6	6.7	22~60	無				# P133	N-27.5°-E IX
H202	B-17	3.6×3.0	10.5	20~46	無		P ₁ ~P ₃	K54+55+62	# P134	N-0.5°-W IX
H203	E-102	3.4×3.0	10.1	46~67	無		P ₁ ~P ₃		#	N-7.0°-E X
H204	A-16	6.4×6.8	41.4	39~65	無		P ₁ ~P ₄		# P135	N-84° W VIII
H205	A-15	2.8×3.3	8.8	48~65	無		P ₁		# P136	N-65°-W VI
H206	B-15	5.1×3.6	17.3	33~62	無		P ₁	K50	# P137	N-20.5°-E IX
H207	B-15	3.1×3.9	11.7	43~62	有		P ₁	J P84	# P138	N-79°-E VII
H208	G+F-1+2	2.9×2.4	6.6	19~40	無		P ₁ ~P ₄	W74	#	N-9°-W VIII
H209	B-16	3.9×2.9	11.6	32~43	有		P ₁		# P139	N-2.5°-W VIII
H210	E-103	3.6×3.3	11.8	39~57	無		P ₁ ~P ₂		#	N-10°-W IX
H211	E-103	5.2×3.5	18.2	41~61	無			H215	# P140	N-12°-E IX
H212	E-103	4.7×3.4	16.1	14~37	無	東壁南寄り		K90 W27	# P141	N-1.5°-E X
H213	D+E-102	5.0×3.3	16.3	39~66	無		P ₁ ~P ₄	W27+74	# P142	N-9°-E IX
H214	D-102	4.2×3.0	13.4	36~56	無				#	N-9.5°-E VIII
H215	E-103	3.8×3.0	11.2	37~48	無		P ₁	H211	# P140	N-0° IX
H217	A-18	4.5×3.3	14.6	32~65	無		P ₁	J P74	# P143	N-5.5°-W VIII
H218	C-19	4.3×3.5	13.7	19~52	無				#	N-12.5°-E X
H219	C-18+19	3.8×3.1	11.8	33~60	無		P ₁ ~P ₄	W23	# P144	N-22°-E IX
H220	B-19+20	4.4×3.2	13.9	22~30	有				# P145	N-5° W IX
H221	C-20	3.8×2.9	10.5	24~53	無			W29	#	N-21.5°-E X
H222	E-14	3.8×2.9	10.6	39~60	有		P ₁ ~P ₄		#	N-0° IX
H223	E-14	3.0×2.6	7.8	29~58	無				# P146	N-12.5°-E VIII
H224	D-102	4.5×3.0	13.3	29~46	無	東壁中央	P ₁ ~P ₄	K70	# P147	N-6°-W IX
H225	D-102	3.6×3.3	11.6	28~47	無	東壁南寄り	P ₁ ~P ₄	K92	#	N-4.5°-E IX
H226	D-102	5.4×4.4	22.6	36~55	無	東壁中央	P ₁ ~P ₄	W27	# P148	N-10.5°-E IX

造構名	位 置	規 模(m)		面積(m ²)	壁高(cm)	開溝	カマド位置・炉	柱穴	重 棚	揮 図	方 位時 期
		南北	東西								
H227	C-19+20	4.3×3.0		13.0	38~48	無	東壁南寄り		W29+30	2券P149	N 15° E X
H228	H-19+20	4.3×3.0		12.6	49~60	有	〃			# P150	N-2°-W VII
H229	A-6	4.3×3.4		14.6	49~62	無		P ₁ ~P ₂	H230	"	N-22.5°-E III
H230	A-6	2.6×2.5		6.4	45~50	〃			H229	"	N 6°-E III
H231	I-6	3.4×3.1		9.9	12~32	〃	東壁南寄り		F295	# P152	N-20°-E XI
H232	I-6	4.6×4.2		17.6	60~62	有	〃			# P153	N-2° W VI
H233	ロ-6+7	4.3×3.6		15.1	58~67	〃	〃			"	N-1.5°-W V
H234	A-6	4.5×3.6		16.2	24~65	〃	〃	P ₁ ~P ₂		# P154	N-5.5°-E IX
H235	D-101	4.1×3.2		13.2	31~51	〃	〃	P ₁ ~P ₂		"	N 13°-W X
H236	D-102	3.9×3.2		12.1	20~41	〃	〃	P ₁	W32	# P155	N-14°-E VII
H237	イ-8	5.8×4.0		22.8	50~80	〃	〃	P ₁ ~P ₂	J42	# P156	N-26°-E IX
H238	A-7	3.9×3.0		11.8	25~55	〃	〃			# P157	N-7.5°-E IX
H239	イ-ロ-9	3.9×2.9		11.7	50~62	無	〃			"	N-9.5°-E IX
H240	イ-9	4.3×3.5		14.8	46~58	有	〃	P ₁		# P158	N-27.5°-E VII
H241	イ-7+8	4.1×3.5		14.2	28~40	〃	〃	P ₁ ~P ₂	W42	# P159	N-20.5°-E X
H242	G+F-2+3	4.1×3.5		13.4	22~47	無	〃	P ₁	W18+33+74	"	N 5.5°-W IX
H243	F-3	2.7×2.3		5.8	16~30	〃	〃			"	N 0° VII
H244	イ+A-8	3.5×5.0		17.6	24~60	有	東壁南寄り	P ₁ ~P ₂		# P160	N-82°-W VII
H245	ロ-9	5.0×3.4		16.9	23~54	〃	〃	P ₁ ~P ₂	J46 F261	# P161	N-10°-E XV
H246	ロ-9	3.4×3.1		10.1	39~73	〃	東壁中央	P ₁	J48	# P162	N-18.5°-E VI
H247	ロ-8	3.5×2.7		9.5	23~31	無	東壁南寄り		K107	# P163	N-23.5°-E IX
H248	ハ-9	3.5×2.5		9.3	14~22	〃	〃	P ₁ ~P ₂		"	N-23.5° E XII
H249	B-7	5.9×—		10.9	60	〃	〃	P ₁ ~P ₂		# P164	N 0° VII
H250	B-7+8	7.5×—		16.2	85~95	〃	〃		K108	"	N-11°-E XII
H251	ロ-1	3.4×2.9		10.0	54~85	有	〃	P ₁	H252	# P165	N-21.5°-E XI
H252	ロ-1	3.3×3.1		10.1	55~62	〃	〃	P ₁ ~P ₂	H251	# P166	N-0.5°-E IX
H253	ロ-1	5.3×3.9		19.6	36~53	〃	〃	P ₁ ~P ₂	K110	# P167	N-19°-E IX
H254	ロ-101+1	—×3.8		8.2	21~46	〃		P ₁	W35	# P168	N-73°-W X

遺構名	位 置	規 模(m)		壁高(cm)	周囲	カマド位置・炉	柱穴	重 叠	掃 無	方 位
		南北×東西	面積(m ²)							時 期
H255	ハ-101・1	3.7×2.7	10.8	39~50	有	東壁南寄り	P ₁ ~P ₂		2巻P168	N-17°-E X
H256	ハ-101・1	—×3.6	11.2	36~104	無			W35	# P169	N-12°-E IX
H257	ハ-1	3.3×2.7	9.4	43~70	無	東壁南寄り	P ₁	H258+259	# P170	N-13°-E X
H258	口・ハ-1	(3.2)×4.2	12.4	26~36	無	東壁北寄り	P ₁	H257+259	#	N-75°-W X
H259	口・ハ-1	3.2×4.0	14.1	22~27	有		P ₁	H257+258	# P171	N-74°-W
H260	ニ-102	3.0×4.0	12.0	53~72	無	東壁南寄り	P ₁ ~P ₂		# P172	N-82°-W II
H261	口-9	3.4×2.5	8.7	22~50	無			J48	#	N-17°-E X
H262	口-9	3.5×2.8	10.3	52~92	有		P ₁ ~P ₂		# P173	N-3°-W VII
H263	ホ-105・106	4.1×3.0	12.9	43~50	無		P ₁ ~P ₂	H264	#	N-6.5°-E
H264	ホ-105・106	3.3×(2.6)	8.6	18~20	無		P ₁ ~P ₂	H263	# P174	N-0°-E IX
H265	ホ-106	4.4×3.3	14.6	50~63	有		P ₁ ~P ₂		#	N-9.5°-E X
H266	口-9	3.6×2.6	9.8	21~42	無		P ₁ ~P ₂		# P175	N-13°-E IX
H267	ヨ-109	2.9×3.2	9.3	37~60	有				1巻P42	N-77°-W X
H268	ヨ・タ-109	2.7×2.4	6.3	15~29	有	東壁南寄り	P ₁ ~P ₂		# P43	N-0°-E
H269	ヌ-6	2.7×3.4	8.1	36~68	無	炉 中央南寄り	P ₁ ~P ₂		#	N-87°-W 中世?
H270	タ-110	4.0×3.1	10.8	18~50	有	東壁南寄り	P ₁ ~P ₁₄		# P44	N-2°-E X
H271	タ-109	2.8×1.9	5.1	47~72	無		P ₁ ~P ₂	火HP7	# P45	N-12°-E X
H272	タ-13・14	3.9×2.7	10.1	62~69	有		P ₁ ~P ₂		# P46	N-24°-E III
H273	タ-13	4.2×3.3	12.6	69~84	無		P ₁ ~P ₂		# P47	N-38.5°-E II
H274	タ-13	2.9×2.0	5.6	54~66	無				# P48	N-14°-E X
H275	タ-13	3.7×3.2	11.3	62~63	有				# P49	N-8°-E VII
H276	タ・ワ-13	3.6×3.2	10.2	69~90	無				# P50	N-10°-E VII
H277	ワ-13	3.6×3.0	10.8	44~60	無		P ₁		# P51	N-21°-E X
H278	カ-13	3.4×2.8	9.5	38~48	無		P ₁		# P52	N-0°-E VII
H279	カ-13・14	4.6×4.0	16.3	44~80	無		P ₁ ~P ₂	J51	# P53	N-7°-E VII
H280	ヨ-13	4.1×3.1	11.8	38~56	無		P ₁		# P54	N-25°-E XI
H281	ヨ-12	3.3×2.5	8.3	56~71	無		P ₁ ~P ₂		# P54	N-13°-E
H282	カ・ヨ-11	4.0×4.0	15.6	69~83	有		P ₁ ~P ₂		# P56	N-13°-E IX

遺構名	位 置	規 模(m) 南北×東西	面積(㎡)	壁高(cm)	嵩溝	カマド位置・や	性 穴	重 墓	掃 団	方 位 時 期
H283	タ-12・13	4.2×5.0	20.6	68~102	有	東壁南寄り	P ₁ ~P ₃		I巻 P57	N-82°-W V
H284	タ-11	5.2×3.8	18.6	25~64	#	#	P ₁ ~P ₃		# P58	N-25°-E X
H285	タ-11	4.3×3.4	13.7	33~76	#	#	P ₁ ~P ₃	H298	# P59	N-18°-E II
H286	タ・ワ-11	3.4×3.2	11.3	41~53	#	#	P ₁ ~P ₃	H287	# P60	N-12.5°-E II
H287	タ・ワ-11	4.2×3.3	13.0	44~58	有		P ₁ ~P ₃	H286+288	# P62	N-27°-E II
H288	ワ-11	4.0×3.9	14.0	52~60	#	#	P ₁ ~P ₃	H287	# P63	N-19°-E II
H289	タ-11	5.0×4.0	17.4	88~95	#	#	P ₁ ~P ₃	H297	# P64	N-12°-E III
H290	ヌ・ル-9	2.9×2.3	6.8	42~58	無	#	P ₁ ~P ₃		# P65	N-30°-E III
H291	タ-13・14	3.9×2.8	10.8	43~55	有	#	P ₁ ~P ₃		# P66	N-41°-E II
H292	カ 9	3.6×3.4	11.7	40~60	有	東壁南寄り			# P67	N-41°-E III
H293	ヨ-13	3.8×3.4	12.3	66~86	#	#			# P68	N-12°-E X
H294	カ・ヨ-9	3.1×4.7	13.7	50~60	#	#		W51	# P69	N-80°-E VI
H295	タ・ワ-8・9	5.6×4.4	23.0	79~93	#	東壁中央 東壁南寄り	P ₁ ~P ₃	H285 K174	# P70	N-13°-E IX
H296	タ-10・11	3.8×3.7	13.9	58~101	#	東壁南寄り	P ₁ ~P ₃	F140	# P72	N-8°-W V
H297	タ・ワ-11	3.7×3.6	13.7	60~75	無	#	P ₁	H289	# P73	N-27.5°-E IX
H298	タ-11	3.3×3.1	9.9	60~67	有	#	P ₁	H285 F289	# P74	N-25°-E VII
H299	タ 11	3.1×4.3	13.2	29~75	#	#	P ₁ ~P ₃		# P75	N-64°-W V
H300	レ-10	3.0×2.8	8.0	39~66	#	#		N 5	# P76	N-21°-E VI
H301	レ-10	4.0×3.4	13.4	40~68	#	#	P ₁	H302+311	# P77	N-23°-E X
H302	レ-10	3.0×2.9	11.3	37~67	#		P ₁	H301+311 K123	#	N-20°-E VI
H303	レ-9・10	4.2×3.5	15.3	34~50	有	東壁南寄り			# P79	N-17°-E VII
H304	カ・ヨ-13	4.8×3.6	17.7	60~78	#	#		W52	# P80	N-0°-W VII
H305	タ-12・13	2.7×—	3.7	68~82	#			W51	# P82	N-23.5°-E III
H306	ヨ-9・10	—×2.8	8.0	41~68	#	東壁南寄り		H307 W52	# P83	N-20°-E VII
H307	ヨ-9・10	4.5×3.0	14.4	36~67	#	#	P ₁ ~P ₃	H306	#	N-27°-E VII
H308	タ-9・10	4.4×3.5	14.6	50~66	#	#		H309	# P85	N-1°-W X
H309	タ-9・10	3.5×4.0	13.5	46~68	#	#	P ₁	H308	#	N-62°-W IX
H310	タ・レ-9・10	3.8×3.6	13.7	59~90	#	#		F290	# P88	N-39°-W

遺構名	位 置 調	規 模(m)		面積(m ²)	壁高(cm)	周溝	カマド位置・炉	柱 穴	重 複	標 印	方 位 時 期
		南北	東西								
H311	レ-10	—×3.2		5.9	39~46	有	東壁南寄り			H301・302 K123	I巻P77
H312	タ-10	3.8×2.8		10.2	40~70	〃	〃	P ₁			# P88
H313	レ-9	3.4×2.4		7.9	40~70	〃	〃				# P90
H314	レ-8	3.9×3.6		13.5	35~88	〃	北壁東寄り	P ₁ ~P ₄			# P91
H315	タ-9	4.9×3.6		16.8	66~106	〃	東壁南寄り			H309	# P92
H316	タ-8	4.8×3.5		16.7	25~57	〃	〃	P ₁ ~P ₂			# P94
H317	タ-8	3.1×3.3		10.3	30~70	〃	〃	P ₁ ~P ₂			N-35° E III
H318	タ-9	2.3×2.9		6.7	40~50	〃	〃				# P96
H319	ヨ-7	3.6×3.2		10.8	52~67	〃	〃	P ₁ ~P ₂			# P97
H320	ヨ-7	2.7×3.2		8.0	70~80	〃	〃				# P96
H321	口-ハ-10	3.7×2.6		9.4	15~40	〃	〃	P ₁ ~P ₄			2巻P175
H322	ヨ-8	3.0×3.2		9.3	44~58	〃	〃				1巻P98
H323	ハ-10	2.9×5.0		14.3	13~33	〃	北壁中央	P ₁ ~P ₂	W68		2巻P176
H324	ハ-10	—×2.6		5.0	16~75	〃	東壁南寄り				#
H325	口-10	6.6×6.8		44.8	7~50	〃	〃	P ₁ ~P ₄			# P177
H326	口-10	3.5×2.4		8.4	40~67	無	〃	P ₁	F117		# P178
H327	口-10	3.7×5.1		18.9	44~53	有	〃	P ₁ ~P ₄	W68		# P179
H328	A-9	3.6×3.4		11.9	16~48	〃	〃	P ₁	J55		N-22° E X
H329	イ-10	2.9×2.4		7.2	43~54	〃		P ₁ ~P ₂			# P180
H330	イ-10	3.8×3.1		11.4	14~30	〃	東壁南寄り	P ₁ ~P ₄	K134		
H331	イ-10	4.1×2.6		11.3	29~39	〃	〃				# P181
H332	イ-10 A-10	4.1×2.9		10.4	24~62	無	〃		J53		
H333	A-10	3.3×3.3		10.0	24~41	有	〃				# P182
H334	B-10	3.2×3.9		12.7	37~47	〃	〃	P ₁			#
H335	B-9	2.9×—		5.3	24~35	無	東壁中央				# P183
H336	A-9	4.3×3.3		18.3	22~35	有	東壁南寄り	P ₁	H337・346		
H337	A-9	4.1×2.7		11.0	22~31	〃	〃	P ₁ ~P ₂	H336・346		# P184
H338	A-9	4.1×3.1		12.6	29~36	〃	〃				#
											N-23° E X

遺構名	位 置	規 模(m) 南北×東西	面積(m ²)	壁高(cm)	周溝	カマド位置+炉	柱穴	重複	拂 囲	方 位
										時 期
H339	A-9	4.7×3.6	13.5	30~40	無	東壁南寄り	P ₁		2番P185	N-15° E X
H340	A-5	5.5×5.1	24.1	26~50	有	東壁中央	P ₁ ~P ₂		# P186	N-16.5° W V
H341	A-5+6	4.6×3.7	15.6	47~62	無	東壁南寄り			#	N-10° E VII
H342	イ-5	3.9×3.1	12.1	30~50	無		P ₁ ~P ₂		# P187	N-3.5° E VII
H343	イ・ロ-5	4.0×3.5	13.5	26~38	無			J52 J93	#	N-3° E IV
H344	ロ-5	2.9×2.4	6.2	26~34	無				# P188	N-2.5° W X
H345	ロ-4+5	5.0×3.8	17.9	24~32	有		P ₁		# P189	N-20° W IX
H346	A-9	6.5×2.7	1.3	25~36					H336+337	# P183
H347	イ-4+5	3.8×2.9	10.4	71~79	有	東壁南寄り	P ₁ ~P ₂	H348	# P189	N-6.5° E IX
H348	イ-4	-×2.8	9.0	39~53	無			H347	#	N-16.5° E IX
H349	イ-4+5	4.0×3.3	12.7	45~57	無		P ₁ ~P ₂	H26	# P190	N-4° E V
H350	A-5	2.5×3.7	9.3	26~42	無		P ₁ ~P ₂	W37	# P191	N-87.5° W VII
H351	イ-4	2.6×2.4	5.9	31~50	無		P ₁ ~P ₂		# P192	N-14° E VI
H352	イ・A-4	3.9×5.2	20.1	31~46	無		P ₁ ~P ₂	W65	#	N-90° E VII
H353	イ-10	2.7×2.6	7.3	19~44	無	東壁中央	P ₁ ~P ₂		# P193	N-27° E IX
H354	レ-3	4.0×2.5	10.6	17~36	有	東壁南寄り		H366	1番P100	N-3° E VII
H355	レ-6	4.3×-	12.0	0~45	無				# P102	N-11° E
H356	タ・レ-6	4.4×3.6	15.6	31~83	無	東壁南寄り	P ₁		# P103	N-10° E IX
H357	タ・レ-6	4.5×3.9	16.8	24~50	無		P ₁ ~P ₂		# P104	N-28° E VI
H358	タ・レ-5	4.5×4.5	19.5	13~109	無				# P106	N-18° E VI
H359	タ・レ-5	8.6×7.8	57.1	20~68	無		P ₁ ~P ₂	H395+396	# P107	N-1° W V
H360	タ-4 レ-3+4	4.0×3.1	12.6	60~83	無		P ₁ ~P ₂	H361	# P110	N-2° E X
H361	レ-3+4	4.8×3.8	18.0	18~57	無		P ₁	H360	#	N-6° W
H362	レ-3+4	5.6×3.9	20.9	24~66	無		P ₁ ~P ₂	F190	# P112	N-5° E IX
H363	ソ・レ-4	4.4×3.1	13.1	6~26	無		P ₁ ~P ₂		# P113	N-10° E VI
H364	レ-3	5.7×5.4	28.6	30~60	有	東壁南寄り	P ₁ ~P ₂		# P114	N-1° W VII
H365	レ-3	3.7×2.8	10.9	11~40	無		P ₁ ~P ₂	H366	# P100	N-7° E VI
H366	レ-3	4.8×4.9	23.6	23~57	無		P ₁ ~P ₂	H354+365	#	N-81° W VI

遺構名	位 置	屋 横(m)		面積(m ²)	壁高(cm)	周溝	カマド位置・炉	柱穴	重 棚	特 性	方 位 時 期
		南北×東西									
H367	レ- 3	3.0×2.8	9.0	0~16	無	東壁南寄り	P ₁ ~P ₂	K146+149	1巻P116	N-5' E VI	
H368	タ・レ- 3	5.1×4.0	20.9	6~30	有	#	P ₁ ~P ₁₀	K149	# P117	N-11'~E VI	
H369	カ- 5 + 6	3.9×3.9	15.2	29~46	#	#		P ₁		# P118	N-32'~E V
H370	ヨ- 6	2.9×4.0	12.2	39~56	無	#		P ₁		# P119	N-81'~W VI
H371	ヨ- 5	3.0×3.7	10.7	24~43	有	北壁東寄り	P ₁ ~P ₂			#	N-65'~W V
H372	ヨ- 4	3.4×3.0	10.3	34~50	#	東壁南寄り	P ₁ ~P ₂			# P121	N-15'~W VI
H373	カ- 5	3.2×2.3	7.6	25~44	#	#		P ₁		# P122	N-25'~E II
H374	カ- 4	2.7×2.5	6.5	33~41	#	#	P ₁ ~P ₂	W49+50+51	# P123	N-19'~E V	
H375	カ- 5	4.4×3.7	16.7	23~41	#	#			H383 W49+50+51+61	# P124	N-15'~E II
H376	カ- 4	2.4×2.9	6.8	64~71	#	#				# P126	N-70'~W IV
H377	カ- 4	3.7×3.0	11.3	37~56	#	#		P ₁		# P128	N-11'~E VI
H378	ヨ- 3 + 4	4.5×4.2	18.3	50~70	#	#	P ₁ ~P ₂			# P129	N-9'~E V
H379	ヨ- 3	4.2×5.9	24.2	13~34	#	炉 中央北西寄り	P ₁ ~P ₂	F292	# P131	N-76'~E 古墳	
H380	タ- 2	3.4×3.8	12.5	33~52	無	東壁南寄り	P ₁	W58	# P132	N-75'~W 四	
H381	タ- 1 + 2	3.4×2.2	7.5	17~34	有	#	P ₁ ~P ₂		# P133	N-15'~E II	
H382	ル- 2 + 3	2.9×4.0	11.4	20~44	無			M1	# P134	N-72'~E 古墳	
H383	カ- 5	4.7×4.0	15.4	23~41	有				H375	# P124	N-10'~E II
H384	タ- 1	5.4×5.8	30.7	21~38	無		P ₁ ~P ₁₀		# P136	N-88'~E 古墳	
H385	ヨ- 1 + 101	4.0×4.8	18.9	5~11	#		P ₁ ~P ₂		# P137	N-83'~E 古墳	
H386	ヨ-101	3.2×3.6	10.8	2~37	#	炉 中央北西寄り	P ₁ ~P ₂		# P138	N-85'~E 古墳	
H387	ツ-101	3.0×3.2	9.5	35~45	#	東壁南寄り			#	N-87'~E V	
H388	レ-101 + 102	6.4×4.8	31.1	44~50	無		P ₁		# P140	N-9'~W 古墳	
H389	ヨ-101	3.5×3.9	13.2	8~24	#	炉 中央西寄り	P ₁		# P139	N-60'~W 古墳	
H390	カ・ヨ-101	6.3×6.0	37.2	38~42	有		P ₁ ~P ₂	I17	# P141	N-15'~W 古墳	
H391	ワ-101	4.5×4.6	20.3	21~41	無		P ₁ ~P ₂		# P143	N-88'~E 古墳	
H392	タ・レ- 1	3.9×6.0	23.0	4~14	#	炉 中央西寄り			# P144	N-88'~E 古墳	
H393	レ- 1	3.9×4.3	16.9	15~26	#	炉 中央北寄り	P ₁ ~P ₂		# P145	N-83'~E 古墳	
H394	ヨ・タ- 3 + 4	2.8×3.1	8.2	38~48	有	東壁南寄り			# P146	N-65'~W 古墳	

遺構名	位 置	規 模(m)		面積(m ²)	壁高(cm)	構造	カマド位置・炉	柱穴	重 壁	拂 囲	方 位
		南北×東西									時 期
H395 396	レ・ター5・6	(7.3×8.0)			18~20	有		P ₁ ~P ₄	H357~359	1巻 P104 P107	
H397	ワ・カ-5	3.6×2.8	9.8	32~53	/	東壁南寄り		P ₁ ~P ₂		# P146	N-10° E IX
H398	ヌ 3・4	3.1×3.6	10.9	20~42	無	炉 中央西寄り		P ₁ ~P ₄		# P148	N 65°-E 古墳
H399	ワ-5	3.6×2.8	9.8	21~35	/	東壁南寄り		P ₁ ~P ₂		# P149	N 12°-E X
H400	ヲ・ワ-5	4.2×3.3	14.3	33~42	有	/				# P150	N-15°-E IX
H401	ワ 4・5	3.4×2.9	9.4	16~34	/	/			F196	# P151	N 5° E IX
H402	ヲ-4	2.7×2.0	5.2	4~14	無			P ₁ ~P ₂		/	N 28°-E 古墳
H403	リ-4・5	5.0×2.8	14.2	9~39	/	東壁南寄り		P ₁ ~P ₄		# P152	N-23°-E IX
H404	リ-5	4.2×3.2	13.4	38~50	有	/		P ₁ ~P ₂		# P153	N-17°-E X
H405	チ・リ-4	3.1×3.5	10.2	38~42	/	炉 西壁際				# P154	N 68°-W 古墳
H406	ル-101	3.2×4.0	12.3	5~15	無	炉 中央北寄り				# P156	N 68°-W 古墳
H407	ヲ-101	2.9×3.3	9.5	2~8	/	炉 中央西寄り				/	N-61°-W 古墳
H408	ル-101	2.8×3.8	10.4	11~23	/	炉 中央北寄り				# P157	N-63°-W 古墳
H409	ヌ-101・102	3.6×2.8	9.8	2~14	/			P ₁ ~P ₄		/	N 4°-E 古墳
H410	ヌ-102	5.3×4.5	24.0	7~22	有	炉 中央東寄り		P ₁ ~P ₄		# P158	N-30°-E 古墳
H411	リ-101・102	4.9×3.6	18.3	20~38	無				F293	# P159	N 2°-E 古墳
H412	リ 101	5.1×4.1	20.5	6~20	/	炉 中央西寄り				# P160	N-6°-E 古墳
H413	リ-102	2.8×2.9	7.8	12~21	無	炉 中央北寄り				# P161	N-67°-W 古墳
H414	ヲ-5・6	5.0×4.1	21.2	68~98	有	東壁中央		P ₁ ~P ₄		# P162	N 18°-E IX
H415	ヌ-102	-×3.0	5.8	8~14	無					# P164	N-2°-E 古墳
H416	ヌ・ル-101・1	7.6×7.4	57.2	43~80	有					# P165	N-29°-E 古墳
H417	リ-101・1	3.3×3.1	10.2	12~30	無					# P167	N 30°-E 古墳
H418	ヨ-1・2	5.5×6.4	35.4	24~50	/	炉 中央北寄り		P ₁ ~P ₂	W58	# P168	N-74°-E 古墳
H419	ネ-106	4.0×4.0	15.7	6~17	/	炉 中央北寄り				# P171	N-30° W 古墳
H420	ヲ-105・106	2.4×3.2	7.9	10~40	/			P ₁ ~P ₂		# P172	N-90°-E 古墳
H421	ヲ-106	3.3×3.6	11.3	4~18	/	炉 中央西寄り		P ₁ ~P ₄		# P173	N-73°-E 古墳
H422	ヲ-106	3.0×3.0	8.9	1~27	/			P ₁ ~P ₄		# P174	N-4°-E 古墳
H423	ナ-106 ヲ-106・107	4.1×3.6	15.2	4~10	/	炉 中央東寄り		P ₁		# P176	N-4°-W 古墳

遺構名	位 置	規 模(m)			周溝	カマド位置・炉	柱 穴	電 波	持 回	方 位 時 期
			南北×東西	面積(m ²)						
H424	ナ-107	4.9×5.6	26.4	5~21	有	炉 中央北寄り	P ₁		1巻P177	N-57°-E 古墳
H425	ナ-107	3.1×3.2	10.3	6~12	無		P ₁ ~P ₂	F242	# P176	N-64°-W
H426	ヲ-107	6.0×6.0	34.9	18~38	有	炉 中央西寄り	P ₁ ~P ₂		# P178	N-5°-W 古墳
H427	ヲ-106+107	4.2×4.4	18.5	22~45	無	炉 中央北寄り	P ₁ ~P ₂	M2	# P180	N-79°-E 古墳
H428	ム-106+107	3.7×3.2	12.0	11~24	無	炉 中央西・北 寄り	P ₁ ~P ₂		# P181	N-30°-E 古墳
H429	ヲ・ム-107	4.5×4.9	21.8	6~20	有	炉 中央南・東 寄り		M2	# P183	N-78°-E 古墳
H430	ヲ・ム-107 108	4.3×5.0	21.5	6~18	無	炉 中央北・東 寄り	P ₁ ~P ₂		# P184	N-90°-E 古墳
H431	ヲ・ム-108	5.2×5.0	19.6	24~34	有	炉 中央西寄り	P ₁ ~P ₂	M4	# P185	N-33°-E 古墳
H432	ナ-108	4.2×4.2	17.2	50~69	無	炉 東側北寄り	P ₁ ~P ₂		# P188	N-2°-E 古墳
H433 壁跡	ナ-108	前5.1×5.9 後6.5×6.1	前30.4 後40.4	40~50	有	炉 中央西寄り	P ₁ ~P ₂		# P189	N-8°-W 古墳
H434	ナ-109	4.4×4.6	19.4	10~40	無	炉 中央北寄り	P ₁ ~P ₂		# P192	N-70°-W 古墳
H435	ナ-110	3.6×3.9	13.4	20~30	無		P ₁ ~P ₂		# P193	N-80°-W 古墳
H436	ネ-110	2.2×2.2	4.6	5~10	無		P ₁ ~P ₂		# P194	N-9°-E
H437	ナ-106	-×3.9	9.2	3~6	無		P ₁ ~P ₂		# P194	N-96°-E 古墳
H438	ル・ヲ-7	3.8×3.8	14.2	14~17	有	東壁南寄り		W1	# P195	N-40°-E VII
H439	ヲ-8	4.2×3.1	14.2	28~56	無			W53	# P196	N-48°-E VII
H440	ヲ-8	5.2×5.6	28.1	45~69	無		P ₁ ~P ₂		# P198	N-70°-W VI
H441	ヲ-3	2.1×2.4	5.1	7~13	無	炉 北西寄り	P ₁		# P200	N-60°-W
H442	ワ-9	5.7×4.6	25.0	35~84	有	東壁南寄り	P ₁ ~P ₂	W54	# P201	N-13°-E VIII
H443	ワ-9	3.3×2.2	7.0	16~36	無		P ₁ ~P ₂	H434 W49+50	# P203	N-16°-E IX
H444	ワ-9	5.3×3.6	18.5	63~79	無		P ₁	K171 W54	# P204	N-37°-E X
H445	ワ-9	3.2×2.7	9.4	6~27	無		P ₁ ~P ₂	K171	# P205	N-27°-E X
H446	ワ-9	4.1×2.8	11.4	1~17	無		P ₁ ~P ₂	I18	# P206	N-10°-E X
H447	ワ-10	2.2×2.5	5.5	21~38	無		P ₁ ~P ₂		# P207	N-79°-W V
H448	リ-3	3.9×3.0	11.7	17~28	無		P ₁ ~P ₂		# P208	N-14°-E IX
H449	リ-3	3.4×4.1	12.9	56~70	無	炉 中央北寄り			# P209	N-57°-W 古墳
H450	リ・ヌ-2	3.1×3.7	11.3	11~27	無	炉 北西寄り			# P210	N-50°-W 古墳
H451	ム-107	3.4×3.6	11.9	18~43	有		P ₁ ~P ₂		# P211	N-64°-E 古墳

遺構名	位 置	規 模(m) 南北×東西	高さ(m)	壁高(cm)	支構	カマド位置・炉	柱穴	重 棚	鋪 道	方 位 時 期
H452	ム-108	—×4.0	15.0	8~13	有		P ₁ ~P ₄		1巻 P212	N-39° E 古墳
H453	ヲ-8	2.8×2.4	6.7	9~24	無	東壁南寄り	P ₁		#	N-30° E II
H454	ワ-9	-	5.3	10~38	#	東壁南寄り?		II P79・H443 W49・50	# P213	N-7° W
H455	チ-3・4	2.4×2.4	5.7	12~20	#	炉 中央西寄り		W56	# P214	N-10° W 古墳
H456	チ-3	3.1×3.3	9.6	39~50	#	炉 北西寄り			# P216	N-61° E 古墳
H457	チ-3	4.4×3.7	11.4	19~36	#			W56・59	# P215	N-6° W
H458	リ-2	2.7×3.1	8.6	4~13	#	炉 中央			# P217	N-67° W 古墳
H459	リ-2	3.2×3.0	9.5	4~8	#	炉 中央西寄り			# P218	N-35° W 古墳
H460	チ・リ-1	2.8×3.6	10.2	26~40	#	炉 中央北寄り	P ₁ ~P ₄	W56	#	N-85° W 古墳
H461	ヌ-1	2.4×2.8	6.5	16~47	無	炉 北東寄り			# P219	N-42° W 古墳
H462	チ・リ-101・1	3.9×3.4	12.8	12~30	#	炉 中央南寄り			# P220	N-50° E 古墳
H463	リ-1	3.8×—	11.6	14~45	#	炉 中央西寄り		H473 W56	# P221	N-44° E 古墳
H464	カ・ヨ-3	3.0×2.6	7.7	17~51	#	炉 中央 西寄り		W49・50・51	# P222	N-40° E 古墳
H465	リ-1	3.9×5.7	22.3	18~35	#	炉 中央部			# P223	N-56° W 古墳
H466	リ・ヌ-101・1	4.3×7.2	30.7	12~29	#		P ₁ ~P ₄		# P224	N-82° W 古墳
H467	ヌ-101・1	2.7×—	6.6	18~25	#		P ₁ ~P ₄	H468	# P225	N-85° E 古墳
H468	ヌ-101・1	4.0×3.4	14.5	22~40	#		P ₁ ~P ₄	H467	# P225	N-44° E 古墳
H469	チ・リ-101	3.4×2.8	8.9	14~50	#	炉 中央北寄り	P ₁ ~P ₄		# P227	N-23° E 古墳
H470	ヲ-1	2.4×3.1	7.7	12~28	#		P ₁ ~P ₄	F297	# P228	N-47° W 古墳
H471	カ-1・2	3.1×4.1	12.6	42~60	有	炉 中央北西寄 り	P ₁ ~P ₄		# P229	N-86° E 古墳
H472	ヲ・ワ 102	2.2×1.8	4.0	4~14	無	炉 西寄り		F244	# P230	N-45° E 古墳
H473	リ-101・1	3.0×3.7	11.4	22~50	#	炉 中央部	P ₁ ~P ₄	W56	# P231	N-42° W 古墳
H474	カ-6	3.7×—	5.7	7~30	有		P ₁ ~P ₄	W40・50・51	# P232	N-33° E II
H475	ワ-4・5	3.4×—	4.9	88~95	#				# P233	N-13° E
H476	ヲ-3	—×3.4	7.3	55~70	無		P ₁		# P234	N-70° E 古墳
H477	ヲ-1	—×2.8	3.7	22~30	#	炉 中央部	P		# P235	N-78° E 古墳
H478	カ-6	—×2.1	3.0	30~40	#	東壁	P ₁ ~P ₄	W49・50・51	#	N-74° W II
H479	ヲ-102	4.0×—	5.4	20~25	#				# P236	N-38° E 古墳

遺構名	位 質	規 模(m) 南北×東西	面積(m ²)	壁高(cm)	周調	カマド位置+付	柱 穴	重 複	辨 識	方 位 時 期
H480	B・C-12	—	2.3	18~31	無	東壁南寄り	P ₁		2巻P193	N-5'-W III
H481	B・C-11-12	3.5×2.9	10.1	8~25	有	東壁南寄り	P ₁	W3	# P194	N-2'-W VI
H482	B-12	3.8×3.5	13.5	32~46	#	#	P ₁		#	N-4'-W VI
H483	A-11	3.8×3.6	13.6	38~50	#	#	P ₁ ~P ₂	W14~21・62	# P195	N-0' VII
H484	A-10	3.2×2.2	7.5	33~46	#	#	P ₁	I 3	# P196	N-39'-E IX
H485	イ-11	3.2×2.2	7.5	24~39	有	東壁南寄り			# P196	N-10'-W IX
H486	ロ-12	4.4×3.8	13.5	64~79	#	#			# P197	N-3'-W IX
H487	ロ-12	5.5×3.9	21.7	30~47	#	#	P ₁ ~P ₂		# P198	N-26'-E VII
H488	ロ-11	4.1×3.6	14.1	44~57	#	#	P ₁	K193 W14	#	N-13'-E VIII
H489	ロ-ハ-12	5.3×4.6	24.3	41~63	#	#	P ₁	K185	# P199	N-3'-E IX
H490	ロ-11	5.1×3.3	28.1	25~43	#	#	P ₁ ~P ₂	H491 W14	# P200	N-88'-E VI
H491	ロ-11	4.0×3.6	14.2	30~37	#	#	P ₁ ~P ₂	H490	#	N-14'-E VI
H492	ロ-9	3.7×3.0	11.3	21~26	#	#	P ₁ ~P ₂		# P201	N-26'-E X
H493	A・イ-13	4.3×3.6	15.8	7~36	無	#	P ₁ ~P ₂	W21~22	#	N-15'-E VII
H494	ロ-12・13	3.4×2.9	9.4	14~15	#		P ₁		# P202	N-0' X
H495	ル-4	2.8×2.8	8.2	4~12	#	伊 中央東寄り	P ₁		1巻P237	N-10'-E

表-169 錫冶跡・錫冶関連遺構一覧表

遺構名	位 質	規 模(m) 南北×東西	面積(m ²)	壁高(cm)	炉 + その他の 付加物・鉄滓出土	柱 穴	重 複	辨 識	方 位
T 1	P-4	1.23×0.83	0.57	15~30	長楕円形状 供給物・鉄滓出土			2巻P211	N-69.5'-E
T 2	Q-4・5	6.5×3.25 張り出し 2.65×1.88	17.38	42~54	錫冶炉 西壁際	P ₁ ~P ₂	#		N-81'-E
T 3	A・B-14-15	5.0×3.0	15.0	10~42	遺構内施設有	P ₁ ~P ₁₄	H150	# P215	N-17'-E
T 4	ワ-6	5.2×4.2	15.34	24~35	精錬炉 1中央西 錫冶炉 2	P ₁ ~P ₁₁		1巻P323	N-70'-W
T 5	ヲ-7	4.2×3.8	16.19	20~40	錫冶炉 中央西	P ₁ ~P ₁₁		# P328	N-20'-W
H56	H・G-17	4.2×3.9	15.6	25~58	鉄滓多量出土 周溝有	P ₁ ~P ₁		2巻P205	N-9.5'-E
H87	N-7・8	4.1×3.24	13.2	33~40	石組み施設 鉄滓・羽口・培塿出土	P ₁ ~P ₁		# P206	N-4'-E
H198	A-16・17	4.5×3.2	13.9	22~61	住居外南端土 南壁際鉄滓多量	P ₁ ~P ₁		# P208	N-9'-E
H216	E-103	7.0×5.9	39.1	47~83	鉄滓・鍵・劫鉢車 鍔具・刀子出土	P ₁ ~P ₁	W27	# P209	N-13'-E

表-170 捕立柱建物跡一覧表

遺構名	位 置	幅 横(間)	方 位	位 数(n)	幅 間(m)	幅 高(m)	縱 間(m)	重 度	持 続	備 考
K1	C-6・7	3×2	N-4° W	6.3	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.1 2.4 1.8	4.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.1		# P217	建て替え重複?
K2	H-16	4×2	N-17°-E	6.9	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.2 2.4 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.8	3.9	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 2.1		#	建て替え
K3	H-15・16	3×3	N-81°-E	6.0	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 1.8 P ₁ ~P ₂ 2.1	5.4	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8 P ₁ ~P ₂ 1.8	H54	#	
K5-A	L-101・102	3×2	N-13.5°-W	6.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.4 1.8 2.4	4.2	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1	H P7	# P218	
K5-B	L-102	2×2	N-12° W	6.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 3.3 3.3	4.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.1	H P6 H123・128	#	
K5-C	L-102・103	3×2	N-18.5°-W	6.3	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 1.8 2.4 2.1	3.9	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 2.1		# P219	
K5-D	L-102	3×2	N-25.5° W	5.7	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 1.8 2.1 1.8	3.9	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 1.8		#	
K6	C-8・9	3×2	N-8°-E	7.2	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.4 2.4 2.4				#	
K7	C-7・8	3×2	N-12°-E	6.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.1 2.1 2.4	4.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.4	J35 K8・12	# P220	北辺は4間
K8	C-7	2×2	N-9°-E	4.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.1	4.2	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1	K7・12	#	北辺は3間
K9	C-7・8	2×2	N-5°-W	4.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.4	3.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8	K17	# P221	純柱建替え
K10	C-8	3×2	N-9° E	6.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.1 2.1 2.4	3.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8	K11 H51	#	建て替え
K11	C-8	3×2	N-88°-W	6.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.1 2.4 2.1	4.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.1	K10	# P222	
K12	C-7	3×2 (身寄)	N-2°-E	6.3	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.1 2.1 2.1	3.9	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 1.8	K7・8 13	#	西・南1.8mに隔
K13	C-7	3×2	N-4° E	6.3	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.1 2.1 2.1	4.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.1	K12・15	# P223	
K14-A 斬	D-8	2×2	N-22.5°-E	4.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.1	3.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8	K14B	# P224	
K14 A 旧	#	2×2	#	3.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8	3.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8	K14A	#	
K14-B	D-7・8	2×1	N-17°-E	3.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8	3.0	P ₁ ~P ₂ 3.0	K18	#	
K15	C-7	3×2 (身寄)	N-9.5°-E	7.2	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.4 2.4 2.4	4.2	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 1.8	K13・16	# P225	東西1.8mに隔
K16	C-7	2×2	N-72°-W	3.9	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 1.8	3.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 2.1	K15	#	北辺は3間
K17	C-7	1×2	N-20° E	2.7	P ₁ ~P ₂ 2.7	2.4	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.2 1.2	K9	#	
K18	D-7	2×2	N-19° E	3.9	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 1.8	3.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8	K14-B	# P226	純柱
K19	K-101	3×2	N-86°-E	5.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 1.8 1.5 1.8	4.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.4		# P226	東柱有
K20	K-101	3×2	N-10°-W	6.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.1 2.4 2.1	4.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.1	K26	# P227	東柱有
K21	K-102・103	3×2	N-12°-W	6.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.1 2.4 2.1	4.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.4		#	東柱有

遺構名	位 置	規模(間)	方 位	積(m)	桁 間(m)	断面	底 間(m)	重 棚	部 国	備 考
K22	J-101	3×3	N-6°-W	7.8 2.7 2.4 2.7	5.4 1.8 1.8 1.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄	H102	2巻P228	純柱	
K23	J+K-103	3×2	N-25°-W	6.6 2.1 2.4 2.1	4.5 2.1 2.4	P ₁ ~P ₂ ~P ₃	H179 K24		建て替え?	
K24	J+K-103	3×2	N-23°-W	6.3 2.4 1.5 2.4	4.2 2.1 2.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃	H179 K23	# P229	建て替え?	
K25	K+L-101 102	3×3	N-2°-W	7.8 2.4 2.7 2.7	5.4? 1.8 1.8 1.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃	H168+177 K26			
K26	K-101+102	3×2	N-4°-E	6.9 2.4 1.8 2.7	4.8 2.4 2.4	P ₁ ~P ₂ ~P ₃	H167+168 K20	# P230		
K27	K-101	2×2	N-86°-W	3.9 1.8 2.1	3.6 1.5 2.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃	K28			
K28	K-101	2×2	N-8°-E	4.5 2.4 2.1	3.9 2.1 1.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃	K27			
K31	H+J-101	2×2	N-4°-E	4.2 2.1 2.1	4.2 2.1 2.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃	K49	# P231	純柱	
K32	J+K-101 102	2×2	N-2°-W	5.4 2.7 2.7	4.2 2.1 2.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃	H P9	# P232	西辺に廻痕?	
K33	H-1+2	2×2	N-6°-E	4.5 2.1 2.4	4.5 2.4 2.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃	K103			
K34	H-1	3×2	N-10°-E	6.0 2.1 2.1 1.8	4.5 2.1 2.4	P ₁ ~P ₂ ~P ₃	K36 W17	# P233		
K35	H-1	3×3	N-87°-E	6.6 2.1 2.4 2.1	6.0 1.8 2.4 1.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄	K42		純柱 建て替え	
K36	H-1+101	3×2	N-8°-E	6.0 2.1 2.1 1.8	4.2 2.1 2.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃	K34 W17	# P234		
K37	H+G-1 101	3×2	N-13.5°-W	6.0 2.1 2.1 1.8	4.5 2.4 2.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃	W17+18+20 K39 H P16		建て替え	
K38	J-1	3×2	N-1°-W	6.9 2.1 2.4 2.4	4.8 2.4 2.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄	W19	# P235	南辺は3間 東柱有	
K39	H+G-1 101	3×2	N-11°-W	6.0 2.1 2.1 1.8	4.5 2.1 2.4	P ₁ ~P ₂ ~P ₃	H P16 W17 18+20 K27 J P67		建て替え	
K40	G-1+2	3×2	N-5°-W	6.3 2.1 2.1 2.1	4.5 2.1 2.4	P ₁ ~P ₂ ~P ₃	K41 W18	# P236	南辺に廻	
K41	G-1+2	3×2	N-3.5°-W	6.0 2.1 1.8 2.1	4.5 2.4 2.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃	K40 W18		南辺に廻	
K42	H+G-1	3×2	N-12°-W	6.6 2.4 2.4 1.8	4.5 2.1 2.4	P ₁ ~P ₂ ~P ₃	K35	# P237	建て替え	
K43	G-2	3×2	N-4°-E	5.7 1.8 1.8 2.1	4.2 2.1 2.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃	H186 K18			
K44	E+F-102	3×2	N-8.5°-W	6.0 2.1 1.8 2.1	4.8 2.4 2.4	P ₁ ~P ₂ ~P ₃	K45 W16+26	# P238	南辺は3間	
K45	E+F-102 103	3×2	N-3°-W	6.0 2.1 1.8 2.1	4.8 2.4 2.4	P ₁ ~P ₂ ~P ₃	K44 H195	# P238		
K46	F-103	2×2	N-3.5°-W	4.8 2.7 2.1	3.6 1.8 1.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃	W16	# P239		
K47	C+D-20	2×2	N-12°-E	5.1 2.7 2.4	5.1 2.4 2.7	P ₁ ~P ₂ ~P ₃	W23			
K48	F-103	4×3	N-82°-W	7.2 1.8 1.8 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8	5.4 1.8 1.8 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄	# P240	西辺は廻?		
K49	H+J-101	3×2	N-1°-E	6.3 2.1 1.8 2.4	4.5 2.4 2.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃	K31		建て替え	
K50	B-15+16	3×2	N-1°-E	6.0 1.8 2.1 2.1	4.2 2.1 2.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃	H206	# P241		

遺構名	位 置	規模(間)	J/ 位	面積(m)	断 間(m)	新(m)	残 間(m)	重 墓	排 図	備 考
K51	B-16	3×2	N 3'-W	6.0 1.8 2.1 2.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.1 2.1 2.1	4.2 2.1 2.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1	K52	# P241	
K52	B-16	3×2	N 4'-W	4.8 1.8 1.2 1.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.1 1.8	3.6 1.8 1.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8	K51	#	西辺に細 東辺は2間 北辺は1間
K53	B-16+17	3×2	N-2' E	6.0 2.1 1.8 2.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.1 2.1	4.5 2.4 2.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.1	H P13	# P242	
K54	B-16+17	2×1	N-3' E	3.9 2.1 1.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 1.8	4.5 4.5	P ₁ ~P ₂ 4.5	K55+61 H202	#	
K55	B-16+17	2×2	N-18'-W	4.8 2.4 2.4	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.4	3.6 1.8 1.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8	K54+61 H202	# P243	
K56	A+B-17	3×2	N-82' E	4.8 1.5 1.8 1.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 1.5 1.8 1.5	4.2 2.1 2.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1	K58+59	#	
K57	A-17	2×2	N-2'-W	3.9 1.8 2.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 2.1	3.3 1.5 1.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.8		# P244	
K58	A-17	3×2	N-3'-W	6.0 2.1 1.8 2.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.1 1.8 2.1	4.5 2.4 2.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 60+82	K56+59 60+82	#	南辺は3間
K59	A-17	2×2	N-10'-W	5.7 2.0 3.7	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.0 3.7	2.7 1.5 1.2	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.2	K56+58	#	
K60	A-17+18	3×2	N-3' E	5.1 1.8 1.5 1.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 1.8 1.5 1.8	3.6 1.8 1.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8	K58+82	#	南辺に細
K61	B-17	3×2	N-6' E	4.2 1.2 4.2 4.2	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 1.2 4.2 4.2	3.6 1.8 1.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8	K54+55	# P245	南辺は3間
K62	A+B-17	3×2	N-4' E	6.6 2.4 2.1 2.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.4 2.1 2.1	4.8 2.4 2.4	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.4	H202 W23	# P246	南辺は3間
K63	H-2	2×2	N-8' E	4.8 2.4 2.4	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.4	4.8 2.4 2.4	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.4	H184	#	東辺は3間
K64	E-102	3×2	N-5' W	6.6 2.1 2.1 2.4	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ ~P ₅ 2.1 2.1 2.4	4.8 2.4 2.4	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.4	K72 H203	# P247	南辺は3間
K65	D+E-101 104	3×2	N-4.5'-W	6.0 2.1 1.8 2.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.1 1.8 2.1	4.2 2.1 2.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1	K70	#	
K66	G-2	3×2	N-4' E	4.2 1.2 1.2 1.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 1.2 1.2 1.8	3.6 1.8 1.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8	W74	# P248	北辺に細
K67	F-2	3×2	N-5' W	4.8 1.5 1.5 1.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 1.5 1.5 1.8	3.3 1.5 1.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.5	K68	#	
K68	F-2	3×2	N-7'-W	4.8 1.8 1.5 1.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ ~P ₅ 1.8 1.5 1.5	3.6 1.8 1.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8	K67	# P249	
K69	E+F-14 15	2×2	N-6.5' E	4.8 2.7 2.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.7 2.1	4.8 2.4 2.4	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.4		#	南辺は3間
K70	D-102	2×2	N-3.5'-W	4.5 2.4 2.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.1	4.2 2.1 2.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1	K65 H224	# P250	南辺は3間
K71I	E+F-2	2×2	N-3'-W	4.5 1.8 2.7	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 2.7	3.9 2.1 1.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 1.8	K71B	#	
K71II	E+F-2	2×2	N-3'-W	4.2 2.4 1.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 1.8	3.9 2.1 1.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 1.8	K71B	#	
K71B	E+F-2	2×2	N-0' E	4.2 2.1 2.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1	3.6 1.5 2.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 2.1	K71 I+II	#	
K72	H-102	3×2	N-86'-E	4.8 1.5 1.5 1.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 1.5 1.5 1.8	3.9 1.8 2.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 2.1	K64 H203	# P251	
K73	B-17	2×2	N-5'-W	5.4 2.7 2.7	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.7 2.7	4.2 2.1 2.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1	H P16 W23 J P68	#	
K74	B+C-17	2×2	N-6'-E	3.6 1.5 1.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.5	3.6 1.5 1.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.5	K75	# P252	
K75	B+C-17	1×1	N 5'-E	3.3 3.3	P ₁ ~P ₂ 3.3	3.3 3.3	P ₁ ~P ₂ 3.3	K74	#	

通構名	位 置	規模(間)	左 位	断面	右 位	断面	柱 高(m)	断面	梁 高(m)	梁 幅	構 造	備 考
K76	B-18	3×2	N-78°-E	6.0 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.1 1.8 2.1			4.2 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1		J P83		2番P252	
K77	C-19	2×2	N 8°-E	4.8 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.4			4.8 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.7 2.1				# P253	
K78	A+B-18	2×2	N-1.5°-E	4.2 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1			4.2 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1				#	
K79	A-18+19	2×2	N-11°-W	3.6 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8			3.6 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8				#	
K80	D+E 10J	2×2	N 14°-W	4.8 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.4			4.8 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.4		W16	# P254	南辺は3間	
K81	A+B-18	1×1	N-4°-W	3.3 P ₁ ~P ₂ 3.3			2.4 P ₁ ~P ₂ 2.4		J P76		#	
K82	A-17+18	2×2	N-19°-W	4.5 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.4			3.0 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.5		K58+60	# P255		
K83	A-19	2×2	N 6°-W	4.5 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.1			3.0 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.5				#	
K84	E-101+102	2×2	N-3°-W	3.6 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8			3.3 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.8		W16		#	
K85	F+G-103	2×2	N-20°-E	3.6 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8			3.3 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.5		W17+18		#	
K86	F+G-103	3×2?	N-4°-E	4.5 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 1.2 1.5 1.8			4.2 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1		W17+72 K89	# P256		
K87	H+G-2	2×2	N-17°-W	6.3 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 3.9			3.6 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8		K98+104		#	
K88	E-101 102	2×2	N-13°-W	5.1 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.7			3.6 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1		W16+74	# P257	不整形	
K89	F+G-103	3×2?	N-7°-E	4.2 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 1.5 1.2 1.5			4.2 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1		W17+72 K86		#	
K90	D-102 103	2×2	N-4°-E	4.2 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1			3.6 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8		H212	# P258		
K91	D-102	2×2	N 6°-W	3.9 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 1.8			3.6 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 1.5				#	
K92	D-102	2×2	N-82°-W	4.2 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1			3.9 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 1.8		H225 W27		#	
K93	D-101 102	2×2	N-7.5°-W	4.8 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.4			4.8 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.4				#	
K94	F-1	2×2	N-8°-E	4.2 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 1.8			3.3 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.6 1.7		W71	# P259		
K95	E-2	2×2	N-30.5°-E	3.3 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.5			3.3 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.8				#	
K96	E-2	2×2	N-83°-W	4.5 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.4			3.9 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 1.8			# P260	西辺は4間	
K97	G-2+3	2×2	N-12.5°-W	3.9 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 1.8			3.9 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 2.1		K106		#	
K98	G-2	3×2	N-8.5°-E	6.6 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.4 2.1 2.1			4.2 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1		K87+104 W33	# P261	南辺は3間	
K99	E+F-2	2×2	N-0°	5.4 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 3.0			3.7 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.9			# P262	不整形 純柱	
K100	E-3	2×1	N-80°-W	3.3 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.5			2.1 P ₁ ~P ₂ 2.1				# 不整形	
K101	C+D-102	2×1	N-77°-W	3.3 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.8			2.7 P ₁ ~P ₂ 2.7		W32		#	
K102	H-2	2×2	N-5°-E	3.0 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.5			3.0 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.5				# 純柱	
K103	H-2	2×1	N-92°-E	3.6 P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8			3.3 P ₁ ~P ₂ 3.3		H182+184 K33	# P263		

道標名	位 置	規格(間)	方 位	経度	杆 間(m)	幅(φ)	架 間(m)	重 棚	連 回	備 考
K104	G-2	3×2	N-85°-E	5.7	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 1.8 1.8 2.1	4.2	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1	K98+87 W33	2巻 P261	南辺は3間 K98建て替えか
K105A	G-101	3×2	N-77°-E	4.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 1.5 1.5 1.8	3.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8	K105B	# P263	不規則
K105B	G-101	2×2	N-10°-W	4.2	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1	3.3	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 1.2	K105A	#	
K106	G-2+3	3×2?	N-16°-W	6.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.1 2.4 2.1	4.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.1	K97	# P264	
K107	ロ-8	3×2	N-22°-E	5.7	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 1.8 1.8 2.1	3.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8	H247 J47	#	不規則 東辺42.0m
K108	B-8	3×2?	N-10°-E	6.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.4 2.1 2.1	4.0	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 1.8	H250	# P265	
K109	B-8	2×2	N-13°-E	4.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.4	4.2	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1		#	不規則
K110	ロ-1	2×2	N-5°-E	4.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.4	4.2	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 1.8	K111 H253+256	#	
K111	ロ-1	2×2	N-24°-E	5.4	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.7 2.7	3.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8	K110	# P266	
K112	ロ-1+2	2×2	N-17°-E	3.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 2.1	3.3	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.8	K113	#	不規則
K113	ロ-1+2	2×2	N-1°-E	3.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8	3.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8	K112	# P266	
K114	ロ-ハ-1+2	2×2	N-8°-E	3.9	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 1.8	3.0	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.5	K115	# P267	西辺に前
K115	ロ-ハ-1+2	3×2	N-83°-W	5.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 1.5 1.8 1.8	3.9	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 1.8	K114	#	
K116	ヨ-110	2×2	N-8°-W	3.9	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 2.1	3.9	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 2.1		1巻 P260	南辺に前
K117	カ・ヨ-111	2×2	N-84°-W	4.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.4	4.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.4	K119 I+II	# P261	建て替え
K118	ヨ-111	2×2	N-16°-E	3.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8	3.3	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.5		# P262	建て替え 北辺に前
K119 I	カ・ヨ-111	2×2	N-4°-E	4.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.1	4.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.1	K117+119 II	# P263	
K119 II	カ・ヨ-111	2×2	N-88°-W	4.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.7 2.1	4.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.4	K117+119 I	#	
K120	タ-7	2×2	N-72°-W	3.3	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.8	3.0	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.5	N39 F88	# P264	鷲柱
K121	タ-7	2×2	N-27°-E	3.3	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.8	3.0	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.5	J P90 F90	# P267	鷲柱 建て替え
K122	タ・レ-10	2×2	N-7.5°-E	4.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.4	4.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.4	K123 F138	# P268	建て替え
K123	レ-10	2×2	N-21.5°-E	3.3	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 1.2	3.0	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.5	K122 H301+302 311	# P269	
K124	タ-10+11	2×2	N-89°-E	4.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.4	3.9	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 1.8	N 8	# P270	建て替え
K125	タ-9	2×2	N-42°-W	4.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.4	3.9	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 2.1	F126 N11	# P271	2×1間?
K126	イ-9+10	3×2	N-6.5°-E	5.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 1.8 1.8 1.5	5.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.7		2巻 P268	建て替え
K127	ロ-9+10	2×2	N-84°-W	3.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8	3.0	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.5		#	建て替え
K128	A+イ-9	2×2	N-83°-W	4.2	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1	3.0	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.5		# P269	建て替え

遺構名	位 置	規模(間)	方 位	面積(m ²)	幅 間(m)	筋(回)	梁 間(m)	重 棚	構 図	備 考
K129	B-9・10	2×2	N-30°-E	3.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8	3.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 1.5	K179・180	# P269	
K130	イ・ロ-5	3×2	N-1°-W	6.0	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.4 1.8 1.8	3.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8	"		間仕切り
K131	A-10	2×2	N-72°-W	3.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8	3.3	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 1.2	F145	# P270	建て替え
K132	A・イ-4・5	2×2	N-1°-W	5.4	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.7 2.7	3.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8	W64	"	
K133	A-5・6	2×2	N-80°-W	3.3	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.5	3.0	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.5	"		
K134	イ-10	2×2	N-12°-E	3.3	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.8	3.3	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.8	H330	"	
K135	ヨ・タ-4	2×2	N-11°-E	5.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.7	4.2	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1	H394 F172	1巻P272	建て替え
K136	ヨ-5	1×1	N-5.5°-E	3.9	P ₁ ~P ₂ 3.9	3.9	P ₁ ~P ₂ 3.9	" P273		
K137	タ-5	2×2	N-16°-E	5.4	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.7 2.7	5.4	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.7 2.7	K138	# P274	南辺は3間 K138と建 て替え関係
K138	タ-5	3×2	N-15.5°-E	8.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 3.3 2.4	5.7	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.7 3.0	K137	# P275	西辺は6間 K137と建 て替え関係
K139	タ-4	3×2	N-8.5°-E	7.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.7 2.4 2.7	5.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.7 2.4	" P276		
K140 I	タ・レ-4	3×3	N-3°-E	6.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.1 2.4 2.1	4.2	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.2 1.8 1.2	K140 II	# P277	独立
K140 II	タ・レ-4	3×2	N-4°-E	5.4	P ₁ ~P ₂ 2.4 2.1 0.9	4.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.1	K140 I	# P278	北辺は3間
K141	レ-4	2×2	N-3.5°-E	4.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.4	4.2	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1	K143	"	
K142	レ-4	2×2	N-3°-E	4.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.4	3.3	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.2 1.2	K143	# P279	西辺は1間
K143	レ-4	2×1	N-79°-W	4.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.4	2.4	P ₁ ~P ₂ 2.4	K141+142	# P280	南辺は1間
K144	レ・ゾ-4	2×2	N-7°-E	4.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.1	4.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.1	" P281		東辺は1間
K145	ヨ-4	3×2	N-3°-E	4.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 1.8 1.2 1.8	3.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 1.2	" P282		北辺は1間
K146	タ・レ-3	2×2	N-7°-E	4.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.4	3.9	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 2.1	K149 H367		
K147	タ-3 レ-2・3	2×2	N-5°-E	4.2	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1	3.9	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 2.1	K148	# P284	建て替え
K148	レ-2・3	2×2	N-14°-E	4.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 2.7	3.9	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 2.1	K147	# P285	不規則
K149	タ・レ-3	3×3	N-9°-E	7.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.7 2.4 2.7	5.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 1.8 1.5 1.8	K146 H367	# P286	
K150	レ-2	2×1	N-89°-W	4.2	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1	3.9	P ₁ ~P ₂ 3.9	W58	# P287	
K151	タ-6	3×2	N-21°-E	5.4	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 1.8 1.8 1.8	4.2	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1	K152	# P288	建て替え
K152	タ-6	2×2	N-11°-E	4.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.4	4.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.4	K151	# P289	西辺は1間
K153	レ-6・7	2×2	N-28°-E	5.4	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 3.0 2.4	5.4	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 3.0	N-9・10	# P290	建て替え
K154	ヨ・タ-7	2×2	N-11°-E	4.2	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1	3.9	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 2.1	" P291		

遺構名	位置	規模(間)	方 位	面積(m)	面 間(m)	面積	深 間(m)	重複	地 号	備 考
K155	タ-6+7	4×2	N-33°-E	9.0	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.1 P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.4 2.1	5.7	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 3.0 2.7	F151+152	1巻 P292	
K156	リ-4	2×2	N-85°-W	4.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.4	4.2	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1	# P293	不規則	
K157	イ・ロ-11	3×2	N-89°-W	6.9	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.1 2.7 2.1	4.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.4		2巻 P271	南辺に廊
K158	ル・ヲ-5	3×2	N-3.5°-E	6.0	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 1.8 1.8 2.4	4.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.4		1巻 P2494	西辺は2間 建て替え
K159	リ・ヌ-101	3×2	N-89°-E	5.4	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 1.8 1.8 1.8	3.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8		# P295	
K160	ワ-101	3×1	N-83°-W	7.2	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.4 2.4 2.4	3.9	P ₁ ~P ₂ 3.9		# P296	
K161	ワ-101	2×2	N-3°-E	5.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.7	4.2	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1	W48	# P297	建て替え
K162	ワ-101	2×2	N-85°-W	4.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.25 2.25	3.0	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.5		# P298	建て替え
K163	ワ-102	3×1	N-85°-W	5.7	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.1 1.8 1.8	3.3	P ₁ ~P ₂ 3.3	W48	#	
K164	ヲ-8	3×2?	N-8.5°-W	5.4	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 1.8 2.1 1.5	4.2	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1	W53	# P301	不規則 建て替え?
K165	ル-9+10	2×2	N-23°-E	3.3	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.65 1.65	3.3	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.65 1.65		# P302	既柱 建て替え
K166	ル-9+10	1×1	N-29°-E	3.9	P ₁ ~P ₂ 3.9	3.9	P ₁ ~P ₂ 3.9		#	東辺は1間
K167	ル-10	3×2	N-29°-E	6.0	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.1 1.8 2.1	4.2	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1		# P303	建て替え
K168 I	ヲ-10	2×2	N-15°-E	4.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.25 2.25	4.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.25 2.25	W53	# P304	
K168 II	ヲ-10	2×2	N-74°-W	3.9	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 1.5 2.1	3.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 1.95 1.95	W53	#	建て替え
K169 I	ヲ-10	3×2	N-79°-W	5.7	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.1 1.5 2.1	4.2	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1	K169 II	# P305	I・IIは 建て替え
K169 II	ヲ-10	1×1	N-27°-E	3.9	P ₁ ~P ₂ 3.9	3.9	P ₁ ~P ₂ 3.9	K169 I	#	
K170	ヲ・ワ-9	3×2	N-15°-E	6.0	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.4 1.5 2.1	3.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8		# P306	建て替え 台形状
K171	ヲ-9	3×2	N-12.5°-E	6.9	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.1 2.1 2.7	4.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.4	II444 W54	# P307	西辺は2間
K172 I	ル-9	2×2	N-11.5°-E	3.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8	3.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8	W54	# P308	K172 I・II は建て替え
K172 II	ル-9	2×1	N-18°-E	3.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8	3.0	P ₁ ~P ₂ 3.0		#	
K173	A-10+11	2×2	N-2°-E	3.3	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.8	3.0	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.5		2巻 P271	東辺は1間
K174	ワ-8	3×2	N-75°-W	4.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 1.35 1.8 1.35	3.3	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.5		1巻 P308	建て替え
K175	ヲ・ワ-8	2×2	N-86.5°-E	5.7	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.7 3.0	4.2	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1	F296	# P309	台形状 西辺は1間
K176	ヲ-6+7	2×1	N-14.5°-E	3.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.8 2.8	3.3	P ₁ ~P ₂ 3.3	H P99 K183+184	# P310	建て替え
K177 I	ル-6	2×2	N-2°-E	5.7	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.7 3.0	3.9	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 2.1	K177 II	# P311	K177 I・II は建て替え
K177 II	ル-6	2×2	N-4°-E	5.7	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 2.4 3.3	4.2	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 2.4	K177 I	#	台形状

遺構名	位 置	規模(間)	方 位	柱高(m)	柱 間(m)	断面	梁 間(m)	重 棚	押 固	備 考
K178 I	ル-6	2×2	N-7'-W	6.3	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 3.0 3.3	4.2	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1	K178 II	1巻 P312	K178 I・II は建て替え 間切り
K178 II	ル-6	2×2	N-7.5'-W	6.3	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 3.9	4.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.25 2.25	K178 I	#	側仕切り
K179	B-9+10	2×2	N-16'-E	3.9	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 1.8	3.0	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.5	K129	2巻 P271	不規則
K180	B-9	3×2	N-12'-E	3.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 1.2 1.2 1.2	3.3	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.8	K129	# P272	
K181	A+イ-5	3×2	N-5'-W	5.1	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 1.5 2.1 1.5	3.3	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.8	W37	#	西辺は1間
K182	カ+ヨ-2+3	2×1	N-11'-W	4.2	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1	3.3	P ₁ ~P ₂ 3.3		1巻 P313	
K183	ヲ-6	2×1	N-8'-E	4.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.4	2.7	P ₁ ~P ₂ 2.7	K176+184	#	
K184	ヲ-6	2×2	N-14'-E	5.7	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.7 3.0	5.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.7 2.7	K176+183	# P314	絶壁 建て替え
K185	ロ+ハ-12	3×2	N-5'-E	6.3	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 1.8 3.0 1.5	4.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.4	H489	2巻 P273	
K186	イ-4	2×2	N-3'-E	4.2	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1	3.0	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.5		#	
K187	ロ-12	1×1	N-2'-E	3.6	P ₁ ~P ₂ 3.6	3.6	P ₁ ~P ₂ 3.6	K194	#	東辺は2間
K188	イ+ロ-12	2×2	N-0'	5.4	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.8 2.7	5.4	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.8 2.7		# P274	
K189	イ-12	2×2	N-1.5'-W	3.9	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.2	3.9	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 2.1		#	絶壁
K190	A+イ-11+12	2×1	N-2'-W	3.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 1.8	3.6	P ₁ ~P ₂ 3.6		#	
K191	B-12	2×2	N-88'-W	4.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.7	3.9	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.8 2.1		#	西辺は1間
K192	B-10	2×2	N-3'-W	3.6	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 2.1	3.3	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.8		# P275	内側に 1×1間の 建物跡
K193	ロ-11	2×2	N-0'	4.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.1	4.2	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.1	W14 H488	# P276	
K194	ロ+ハ-12	2×2	N-8'-E	4.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.4 2.4	4.8	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 2.1 2.7	K187	#	南辺は3間
K195	ル-8+9	3×2	N-85'-W	4.5	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ ~P ₄ 1.9 1.2 1.4	3.0	P ₁ ~P ₂ ~P ₃ 1.5 1.5	W53	1巻 P315	西辺は1間

表-171 穴空遺構一覧表

遺構名	位 置	規 模(m) 長径×短径	柱高(m)	周溝	柱 穴	重 棚	押 固	方 位	備 考	
H1 穴空	J-101	3.7×2.5	7.4	8~18	P ₁ ~P ₂	J P64	2巻 P202	N-40'-W	椭円形	
H2 穴空	イ-7	3.8×2.5	8.9	38~43	周辺にピット2		#	N-77'-W	長方形	
H3 穴空	ヲ-12	2.65×2.1	4.9	30~46	P ₁		1巻 P257	N-75'-W	椭丸長方形	
H4 穴空	タ-9	3.7×3.7	12.4	10~40	有	中央にピット		1巻 P258	N-10'-E	椭丸形
H5 穴空	タ-10	4.07×3.9	15.2	65~92	有		F260	#	N-64'-W	椭丸形張り出し有
H6 穴空	C-10	3.3×2.2	6.9	35~43	P ₁ ~P ₂	J 5	2巻 P203	N-21'-E	長方形	

遺構名	位 置	規 模(m) 長径×短径	面積(m ²)	壁高(cm)	周溝	柱 穴	重複	排 図	方 位	備 考
H 7 頸穴	C-D-21	4.1×3.1	12.4	22~31		P ₁ ~P ₈		2巻P203	N-7°-W	長方形
H 8 頸穴	B-15	3.0×2.6	4.8	10~62		P ₁ ~P ₂		# P204	N-9°-E	
H 9 頸穴	H-7+8	3.4×2.4	7.9	16~25		P ₁	F81+83	#	N-17.5°-W	長方形
H10 頸穴	S-5	3.0×2.8	8.4	7~12			H P31 J 12	3巻P19	N-70° E	方形

表-172 HP土坑・大HP土坑一覧表

遺構名	位 置	形 状	方 位	規 模 長径×短径×高さ×幅	遺 物	重複	排 図	備 考
HP 1	Q-17-23	長方形	N-21°-E	110×88×13 103×78	須恵器片		2巻P283	
HP 2	Q-102-90 Q-101-81	長方形	N-15° W	217×140×52 182×103		J S 3	#	底面近くに木炭片
HP 3	M-1-71+75	橢円形	N-27°-E	140×88×49 112×68		J 24	#	多量の炭化物含
HP 4	M-1-54	橢円形	N-72°-W	160×94×49 134×89		J 24	3巻P35 2巻P283	
HP 5	M-1-61+71	不整円形	N-15° W	86×77×35 28×25			2巻P283	ビット状
HP 6	L-102-29 39	圓丸方形	N-2°-W	120×116×21 94×84		H123+128	#	地上・炭化物含
HP 7	L-102-40	橢円形	N-15° W	157×119×37 146×109		K 5-A	#	炭化物含
HP 8	L-103-37 38	長方形	N-80°-W	150×116×30 117×89		H25+129	#	
HP 9	K-102-100	橢円形	N-14°-W	53×42×28 33×28		K32	#	K32に付随?
HP 10	G-101-19 20	長方形	N-85°-E	163×60×18 151×43		K37+39	#	多量の炭化物
HP 11	C-15-14 15	長円形	N-12°-E	163×76×46 128×62			# P284	多量の炭化物
HP 12	B-16-77	圓丸長方形	N-13°-E	169×98×46 143×73			#	多量の炭化物・焼土
HP 13	B-16-21	長方形	N-6°-E	140×87×26 116×63		K53	#	中央に炭化物 一部焼土
HP 14	B-15-28	圓丸長方形	N-65° E	147×69×18 128×47			#	炭化物含
HP 15	E-14-49	長円形	N-6°-W	135×65×18 127×58			#	炭化物多く、底部焼土化
HP 16	B-17-14	長円形	N-82°-W	131×92×20 105×72		K73	# P284	多量の炭化物、焼土含
HP 17	A-18-19	不整円形	N-23°-W	143×102×18 131×97			#	焼土、多量の炭化物含
HP 18	E-102-34 44	円形	N-16°-E	138×120×36 123×110			#	旧HP29
HP 19	E-101-83	円形	N-47.5°-E	130×112×22 117×93			#	旧HP30 焼土HP18に似る
HP 20 a	E-1-33 34	不整円形	N-2.5° W	128×100×23 112×82		H P20-b	# P285	炭化物、焼土含
HP 20 b	#	長円形	N-17.5° W	128×89×42 102×78		H P20-a	#	#

遺構名	位 置	形 状	方 位	規 模 長径×短径×深・下巻径	遺 物	重 棚	排 因	備 考
H P20c	E-1-33 34	不整円形	N 16°-W	152×119×20 134×102			2巻P285	炭火物・焼土含
H P21	ハ-101-17 27	長円形	N 18°-E	144×105×17 113×76			#	炭化物含
H P22	イ-6-71 61	長円形	N-11°-E	155×90×44 123×62			#	旧5P-88 炭化物若干含
H P23	イ-5-49 59	長円形	N-80°-W	125×62×28 87×24			#	旧5P-86 炭化物若干含
H P24	ロ-5-28 29	長円形	N-83°-W	141×104×28 123×70			#	旧5P-87 炭化物含
H P25	イ-3-70 イ-4-51-61	菱形	N-20°-W	193×105×67 72×58			#	旧5P-88
H P26	イ-5-22	圓丸方形	N-10°-E	132×131×22 108×106	H349	#	旧5P-89	
H P27	A-12-64 65	不整形	N-80°-W	149×104×22 121×88			#	旧5P-282 部分的に深い
H P28	A-12-72 73	長円形	N-13°-E	93×58×18 76×41			#	中央ピット状 旧5P-282
H P29	A-11-4 B-11-94	圓丸長方形	N-63.5°-W	203×77×13 193×66			#	旧5P-284 炭化物・炭化粒含
H P30	イ-11-70	不整方形	N-78°-W	157×82×22 132×80			#	旧5P-288 凹凸有 多量の炭化物含
H P31	S-5-26	長円形	N-88°-E	130×76×21 118×58	J 12 H10壁穴	全体圖		
H P32	L-105-21 31	不整円形	N-12°-W	154×148×77 70×40 98×53			#	底面横穴状
H P33	レ-106-9	長方形	N-28°-E	111×84×59 83×38 76×28			1巻P345	#
H P34	タ-105-65	長方形	N 0°	153×130×109 98×85			#	#
H P35	タ-105-4	円形	N-29°-W	115×84×34 80×71		全体圖		
H P36	レ-106-25	長方形	N-16°-W	141×105×57 123×86			#	#
H P37	V-9-18-19 28-29	長円形	N-28°-E	120×100×70 126×106	J 15A+B	3巻P24	断面袋状	
H P38	ヲ-106-37	円形	N-69°-E	101×83×25 45×31		全体圖	底面中央円窓状	
H P39	ル-106-31-32 41-42	長円形	N-70°-E	190×124×28 158×107			#	円窓形断面 中央部膨らむ
H P40	ヲ-105-65-66 75-76	圓丸方形	N-82°-E	151×147×33 55×43			#	炭化物・焼土含
H P41	ワ-110-1 ワ-111-10	長円形	N-5°-W	240×95×67 195×65	H P42	#	多量のC鉱石・FP含	
H P42	ワ-110-99	長円形	N-79°-E	157×132×67 124×90	H P41	#	C鉱石・ローム粒含	
H P43	ヨ-110-51-52 61-62	長円形	N-19°-W	103×71×15 196×70			#	全形の写残存
H P44	ヲ-12-94	長円形	N-71°-W	195×112×42 167×74			#	旧5P-2 C鉱石・FP含
H P45	カ-13-62	長円形	-	122×55×28 77×25			#	旧5P-6
H P46	カ-11-20	不整円形	N-29°-E	138×117×26 111×105			#	旧5P-8 FP・C鉱石・炭化物含

遺構名	位置	形状	方位	規格 長径×短径×厚×割合	遺物	声類	插圖	備考
H P 47	タ-9-24	長方形	N-5'-W	77×49×1 —			全体図	旧5P-59
H P 48	レ-11-24	不整形	—	70×45×18 —	鉄漆		#	旧5P-66
H P 49	レ-10-48	円形	—	45×35×22 —			#	旧5P-67
H P 51	U-16-93	円形	N-60'-W	134×118×115 171×157		J 17	3巻P26	断面像状
H P 53	Q-1-36 37	方形	N-1'-W	120×103×34 80×80		J 21	# P32	
H P 55	イ-8-94 95	長円形	N-23'-E	187×111×102 126×70		J 42	# P52	
H P 56	日-5-90+100 日-6-81+91	長方形	N-22'-E	252×186×13 229×170			全体図	旧5P-110
H P 57	レ-1-50+60 レ-2-41+51	長方形	N-48'-E	120×90×21 95×62			1巻P345	旧5P-122 焼土粒合、焼けている
H P 58	レ-1-96	長方形	N-5'-E	100×65×11 —			全体図	旧5P-124
H P 59	ソ-2-26	長円形	N-43'-E	70×50×2 —			#	旧5P-126
H P 60	ソ-101-64 65	方形	N-23'-W	203×112×17 189×87	平安期の元和器 須恵器片		1巻P344	旧5P-141 鏡面に小ビット
H P 61	ソ-101-54 55	長方形	N-28'-W	195×132×26 170×100			全体図	旧5P-142
H P 62	ソ-101-46 47	不整形	N-2'-E	280×158×33 270×80			1巻P348	旧5P-143
H P 63	ソ-6-63	長円形	N-55'-W	140×85×28 91×57	鉄漆		# P346	旧5P-148 T4造構に近い
H P 64	ワ-5-88	長円形	N-30'-E	112×58×15 97×38			全体図	旧5P-149 炭化物合
H P 65	ワ-5-88	長円形	N-33'-E	106×62×14 98×52			#	旧5P-150 炭化物合
H P 66	ワ-5-78	長円形	N-4'-W	150×85×20 80×62			#	旧5P-151 炭化物多い
H P 67	ワ-3-58 68	長円形	N-18'-E	102×54×16 94×44	須恵器环 (内輪へラ初)		1巻P346	旧5P-152 炭化物多い
H P 68	ワ-5-57	長円形	N-43'-E	149×83×17 140×72	#		全体図	旧5P-153 焼土・炭化物合
H P 69	ル-4-63 64	長円形	N-16'-E	112×56×9 81×36			#	旧5P-173
H P 70	リ-101-18 28	長方形	N-88'-E	222×167×31 204×152			#	旧5P-193
H P 71	リ-101-92	不整形	—	130×105×60 112×61			#	旧5P-199
H P 72	リ-101-84	長円形	N-81'-E	105×82×26 92×59			#	旧5P-200
H P 73	リ-101-75	長円形	N-80'-W	95×57×53 62×28			#	旧5P-201
H P 74	リ-101-33 43	不整形	N-79'-E	171×136×34 156×124			#	旧5P-203
H P 75	リ-101-76	楕円形	N-71'-W	89×77×53 60×49			#	旧5P-204
H P 76	ル-1-26	長方形	N-33'-W	708×358×53 380×230	上部器蓋	M 1	1巻P342	旧5P-219 右田川期

遺構名	位 置	形 状	方 位	規 模 長径×短径×高・下端径	遺 物	重 量	揮 回	備 考
H P77	ワ - 6 - 54・55 64・65	方形	N - 1° - E	289 × 234 × 28 226 × 177	上飾器・須恵器 ・鉄棒		# P344	旧5 P - 220 平安期
H P78	ナ - 107 - 71・81 108・80・90	長方形	N - 88° - W	395 × 136 × 35 388 × 77	台付器		# P343	旧5 P - 225 石田川期
H P79	ワ - 9 - 76	長方形	N - 24° - E	235 × 172 × 87 220 × 150		H454 W49・50	# P348	旧5 P - 227 平安期か
H P80	ワ - 8 - 55 56	長方形	N - 10° - E	270 × 107 × 40 231 × 91				全体図 旧5 P - 228
H P81	ヲ - 9 - 74	長方形	N - 18° - E	202 × 91 × 24 184 × 80			1巻 P344	旧5 P - 229 平安期か
H P82	ヲ - 9 - 32 33	長方形	N - 7° - E	162 × 88 × 25 131 × 74				全体図 旧5 P - 230
H P83	ム - 107 - 50	方形	N - 23° - E	87 × 73 × 82 80 × 22			1巻 P343	旧5 P - 232 FA降下以前か
H P84	ム - 107 - 50	円形	N - 43° - E	58 × 52 × 45 41 × 38			#	旧5 P - 233 FA降下以前か
H P85	ワ - 9 - 92・93 ワ - 9 - 2 - 3	長方形	N - 23° - E	230 × 120 × 57 187 × 105		H295		全体図 旧5 P - 237
H P86	ワ - 7 - 5	方形	N - 62° - W	123 × 75 × 31 109 × 70			1巻 P346	旧5 P - 238
H P87	ワ - 7 - 36	長円形	N - 72° - W	76 × 59 × 53 40 × 33				全体図 旧5 P - 239
H P88	ワ - 10 - 98 99	長方形	N - 23° - W	184 × 106 × 33 120 × 72				全体図 旧5 P - 240
H P89	ル - 10 - 88	長円形	N - 42° - E	105 × 80 × 28 95 × 44			#	旧5 P - 241
H P90	ル - 9 - 14・15 24・25	長円形	N - 15° - W	184 × 122 × 43 140 × 82			#	旧5 P - 242 底面凸
H P91A	ル - 9 - 46	長円形	N - 60° - W	177 × 71 × 43 62 × 53		H P91B	#	旧5 P - 243
H P91B	ル - 9 - 46	長円形	N - 19° - W	160 × 115 × 111 151 × 108		H P91A	#	#
H P92	ル - 9 - 66	長方形	N - 21° - E	270 × 60 × 15 255 × 45			1巻 P348	旧5 P - 244 平安期か
H P93	ル - 9 - 76	長方形	N - 13° - E	139 × 79 × 14 129 × 65				全体図 旧5 P - 245
H P94	ル - 9 - 65	長円形	N - 32° - W	108 × 101 × 18 85 × 76			#	旧5 P - 246
H P95	ル - 8 - 86	不整形	—	294 × 150 × 56 120 × 98			1巻 P348	旧5 P - 247 平安期か。底面凹凸
H P96	ワ - 7 - 38・39 48・49	不整形	N - 20° - E	137 × 119 × 30 84 × 80	炭化材・クルミ		# P347	旧5 P - 248 底面凹凸
H P97	ヲ - 8 - 65	長円形	N - 82° - E	132 × 103 × 20 85 × 79				全体図 旧5 P - 249 海上面は二段
H P98	ヲ - 10 - 8 9	長円形	N - 84° - W	115 × 65 × 42 80 × 48 32 × 18			#	旧5 P - 251 中央が円形に落ち込む
H P99	ヲ - 6 - 50・60 ヲ - 7 - 51	橢円形	N - 7° - E	142 × 120 × 32 122 × 108		K176	1巻 P347	旧5 P - 252 小ピット有 平安期か
H P100	ヲ - 6 - 50・60 ヲ - 7 - 51	長円形	N - 70° - W	114 × 90 × 100 83 × 34			# P346	旧5 P - 253 平安期か
H P101	ヲ - 6 - 60 70	楕丸方形	N - 28° - E	84 × 78 × 26 72 × 62			# P347	旧5 P - 254 小ピット有 平安期か
H P102	ム - 106 - 31	円形	—	82 × 80 × 94 65 × 58 29 × 27			# P343	旧5 P - 256 底面先細り
H P103	ヌ - 3 - 17	不整形	—	130 × 120 × 76 110 × 53			# P349	旧5 P - 260 底面凹凸 FA降下後

遺構名	位 置	形 状	方 位	幅 横 長径×短径×深・下端径	遺 物	重 観	持 記	備 考
H P104 A	ヌ- 3-24	長円形	N-60'-W	127×109×42 100×76		W60 H P104B	全体図	H 5 P-263
H P104 B	ヌ- 3-24	長円形	N-25'-E	(150)×110×50 50×50		H P104A	"	"
H P105	ヌ- 2-19	不整形	-	122×84×74 44×34 23×13			"	H 5 P-264 木の根跡?
H P107	D- 9-86	長円形	N-76'-W	107×72×27 77×44		J 4	3 卷 P 7	
H P108	R- 4-73	横円形	N-68'-E	76×65×27 50×36		J 10	" P 15	
H P109	R- 4-73	不整方形	N-1'-E	62×49×16 53×22		J 10	"	
H P112	R-101-49	横円形	N-31'-E	50×41×26 28×21		J P27	" P 296	ビット状
H P113	C- 23- 9 10	長円形	N-62'-W	98×58×73 84×52		J P41	3 卷 P 300	
H P116	G- 4- 36+37 46+47	長円形	N-17'-E	118×80×72 —		J P127	全体図	
H P119	N- 1-31	長円形	N-27'-E	226×95×31 164×90		H 156	全体図	H P119 + H 156か
H P120	U-15- 90 100	円形	N-1'-W	126×114×60 113×110		J 17	3 卷 P 26	
H P121	B- 19-92	長円形	N-76'-E	94×79×— 45×27		J P77	" P 306	
H P122	H- 103-57	長円形	N-64'-W	158×99×100 120×73		H 190	"	H 190 + H P122か
H P123	S- 1- 49 59	長円形	N-62'-W	65×45×25 —		J P 8	" P 292	
H P124	S- 2-40	不整形	N-15'-W	125×61×25 64×38 20×18		J 9	" P 14	J 9 の床下
H P125	R- 4- 74 75	不整方形	N- 3'-W	72×68×— 63×58		J 10	" P 15	
H P126	U-16-92	不整形	N-61'-W	100×76×27 92×54		J 17	" P 26	
H P127	T-16-11	円形	N- 1'-W	54×53×93 50×36		J 17	"	
H P128	U-16-82	円形	N-52'-W	46×29×37 22×10		J 17	"	
H P129	N-102-40	円形	—	122×90×62 33×—		J 39+61	" P 49	
H P130	カ-106-48	長円形	N-27'-E	70×50×—			全体図	
H P131	ワ-105-67	長円形	N-10'-E	70×45×—			全体図	
大H P 1	G- 4-33	横円形	N-74'-E	315×273×159 31×24×34	須恵器片 石		2 卷 P 281	鰐斗状断面
大H P 2	Q-101- 76+77 86+86	横円形	N-34'-E	320×312×191 62×51×47		J P 29	"	" B 純層含 縁辺に小ビット
大H P 3	R- 3- 82 83	不整円形	N-25'-E	229×212×134 —			"	断面不規則な袋状 木の根跡か
大H P 4	ハ- 12- 60+70 80 ハ- 13- 51+61 71	円形	N-70'-W	398×364×170 78×55	須恵器捷片	H 142	"	すり鉢状。辺辺に小 ビット
大H P 5	ウ- 8- 77 87	不整円形	N-12'-W	364×360×163 126×120×—	須恵器坏、塊 鐵鉄	J 47	2 卷 P 282	井戸跡か

遺構名	位 置	形 状	方 位	規 模 長径×短径×深・下溝	遺 物	電 複	所 因	備 考
大HP 6	H-9-12	不整円形	N-32°-E	280×278×130 73×65×80	須恵器變・坏 土器器變・坏		2巻 P282	井戸跡か
大HP 7	T-109-26 27	不整円形	N-13°-W	321×260×130 244×200	H271		1巻 P347	大HP 7 → II271の類
大HP 8	C-20-63・64 73・74	円形	N-41°-E	270×260×147 103×93	須恵器片 土器器變・坏		2巻 P282	すり鉢状断面
大HP 9	H-18-100 H-19-91 G-18-10 G-19-1	不整形	N-23°-W	338×248×139 207×74			#	木の根跡か

表-173 J堅穴住居跡一覧表

遺構名	位 置	規 模(m) 南北 東西	面積(m ²)	壁高(cm)	周溝	カマド位置・炉	柱 穴	電 複	所 因	方 位 時	
J 1	C-4	6.3×6.26	34.6	56~99	南西寄り	P ₁ ~P ₄	W1+96	3巻 P4	N-24°-W 諸機 b		
J 2	E+F-4	3.3×5.0	16.2	40~76		P ₁ ~P ₄		# P5	N-88°-W 諸機 b		
J 3	F-5・6	5.0×4.5	19.6	88~106	南西寄り	P ₁ ~P ₃	F279 J P122+123 124	# P6	N-3°-E 諸機 b		
J 4	D-9	5.1×5.5	25.3	9~41			H P107	# P7	N-53°-W 前期初頭		
J 5	C-10	7.7×8.2	57.5	64~84	南東・南寄り	P ₁ ~P ₂	H25 H 6堅穴	# P8	N-77°-E 諸機 b+c		
J 6	P-4	6.5×3.5	16.1	13~23	ほぼ中央	P ₁ ~P ₁₆		# P9	N-25°-E 加曾利 E 4		
J 7	P-8	6.1×6.4	32.9	52~84		P ₁ ~P ₁₆		# P11	N-53°-W 諸機 b		
J 8	R-2+3	3.75×5.5	12.8	13~22	ほぼ中央	P ₁ ~P ₄		# P12	N-77°-W 称名寺 2		
J 9	S-2+3	5.0×5.2	20.3	15~33	中央や南西	P ₁ ~P ₂₂	H P124	# P14	N-64°-W 称名寺 2		
J 10	R-4	7.0×3.6	20.6	24~43	中央や南寄り	P ₁ ~P ₁₃	H P108+109 125	# P15	N-18°-E 称名寺 2		
J 11	S-4	4.25×4.4	20.6	22	ほぼ中央	P ₁ ~P ₁₆	F280	# P17	N-67°-E 加曾利 E 4		
J 12	S-5	4.4×5.4	21.6	20~63	有	P ₁ ~P ₁₆	H P31 H 10堅穴	# P19	N-68°-E 黒浜		
J 13	U+V-8	5.7×4.7	20.3	57	中央南寄り	P ₁ ~P ₁₆		# P20	N-32°-E 加曾利 E 4		
J 14	U-9	5.0×4.9	24.3	55~70	有	P ₁ ~P ₄		# P23	N-2.5°-W 黒浜		
J 15A	V-9	2.5×2.3	5.6	8~42	北西寄り 埋理付近?	P ₁ ~P ₂	J 15B H P37 W 5	# P24	N-30°-E 黒浜		
J 15B	V-9	3.54×3.5	10.0	12~24		P ₁ ~P ₂	J 15A+H P37 W 5+N 40	#	N-55°-W 黒浜		
J 16	R-11+12	6.75×5.8	37.5	23~48		P ₁ ~P ₄		# P25	N-3°-W 黒浜		
J 17	T+U-16	5.2×4.3	21.5	19~50	有	P ₁ ~P ₁₆	H P51+120 126~128 F284+285	# P26	N-22.5°-W 黒浜		
J 18	T-16	3.7×3.3	10.8	33~49	有	中央北壁寄り	P ₁ ~P ₄	H92 F286	# P29	N-7°-E 黒浜	
J 19	R-1	3.6×3.7	11.3	13~25	有	中央南寄りに施 上分布	P ₁ ~P ₄	J 23 W88	# P30	N-88°-E 黒浜	

遺構名	位 置	東 南 北 南 西 東	面積(m ²)	深さ(cm)	周溝	カマド位置・炉	柱・穴	窓・縫	補 闇	方 位 時 期	
J 20	R I + 101	4.6×3.8	16.4	13~40	有	中央 2ヶ所に焼土分布	P ₁ ~P ₂	J P140 F287+288	3巻 P31	N 12.5°-W 黒浜	
J 21	Q - 1	4.0×4.0	15.4	46~68	有		P ₁ ~P ₂	H P53	# P32	N-20°-E 諸磯 a	
J 22	Q-101+102	5.2×4.7	22.4	1~54	北壁寄り		P ₁ ~P ₂		# P34	N-0° 諸磯 a	
J 23	R - 1	4.5×4.8	19.3	25~52			P ₁ ~P ₂	J 19 W88	3巻 P30	N-2°-E 黒浜	
J 24	L + M-1	7.2×8.0	53.0	18~62			P ₁ ~P ₂	H P 3 + 4	# P35	N-78°-E 諸磯 a	
J 25	R-102	4.8×3.7	14.8	18~60		中央北寄りに焼土分布	P ₁ ~P ₂	J P39 W88	# P36	N 12° E 黒浜	
J 26	Q-102	5.0×4.5	19.0					H109+110	# P37	N-3°-W 黒浜	
J 27	N 102	5.5×5.6	26.4	17~43			P ₁ ~P ₂	J 30 J P107	# P38	N-83°-E 諸磯 a	
J 29	M-102	3.9×3.8	14.0	14~52				J 39 J P111	# P40	N-10°-W 諸磯 a	
J 30	N-102	3.8×4.1	14.1	14~31	北壁下 南寄り		P ₁ ~P ₂	J 27	# P38	N-81°-E 不明	
J 31	ニ + ニ 23	6.9×6.1	34.9	23~55	南西隅に燒土分 布			J 32 H1152 W10	# P41	N 2°-W 諸磯 b + c	
J 32	#	5.2×4.8	23.5	6~22	南西隅		P ₁	J 31 H1152 W10	#	N-7°-W 黒浜	
J 33	ホ 23	3.3×2.8	7.5	23~32	中央南東寄りに 焼土分布			J 60 J P118 H1152 W11	# P42	N-5°-W 諸磯 a + b	
J 34	B+C-8 C-9	7.1×1.0	5.7	87~96			P ₁ ~P ₂	K 6	# P43	N-18°-E 黒浜	
J 35	B+C -7+8	4.74×3.8	17.5	45~79	有	中央北寄り	P ₁ ~P ₂	K 7 H148	# P44	N-8.5°-E 圓山	
J 36	植 植	N-102	4.3×4.7	19.0	20~49	有	東壁際	P ₁ ~P ₂	H1126	# P46	N 76° E 黒浜
J 36	植 植後	#	4.8×5.7	23.7	28~32	有		周溝内に 2 本のビット	H1159	#	— 黒浜
J 37	P+N-1+2	5.1×5.2	23.4	24~45			P ₁ ~P ₂		# P47	N-30°-W 称名寺II	
J 38	N-101	4.2×4.3	18.5	20~48			P ₁ ~P ₂	H1156	# P48	N-69°-E 諸磯 a	
J 39	N-101+102	5.1×4.6	22.3	37~48			P ₁ ~P ₂	J 61 J P112 H129	# P49	N 13° W 諸磯 a	
J 40	口+ハ-7	4.5×4.8	17.2	34~52	南内寄り		P ₁ ~P ₂	J 41	# P51	N-83°-W 諸磯 b + c	
J 41	口+ハ-6+7	4.3×3.3	14.1	28~38	中央北寄り			J 40	#	N 29°-E 花輪 II	
J 42	イ-8	4.6×4.8	20.4	73~92	中央部ビット		P ₁ ~P ₂	H237 H P55	# P52	N-84°-E 諸磯 c	
J 43	ハ-6	5.1×4.1	19.5	43×76	北西寄りに燒土 分布		P ₁	J P129~131	# P53	N-11°-E 黒浜	
J 44	ア-8	5.3×4.1	21.8	46~56	中央西寄り				# P54	N-41°-W 黒浜	
J 46	口-9	6.1×5.1	24.3	60~66			P ₁ ~P ₂	H245 J P85	# P55	N-20°-E 諸磯 c	
J 47	口-8	5.4×3.8	19.0	17~40	中央北寄り		P ₁ ~P ₂	H247 大H P 5 K107	# P56	N-11°-W 黒浜	
J 48	口-9	5.3×4.4	21.6	35~62	有	中央北寄り	P ₁ ~P ₂	H246+261	# P57	N 17° E 圓山	

遺構名	位 置	幅 度(m) 南北 東西	面積(m ²)	埋高(cm)	周溝	カマド位置+か 2北寄り 2南寄り	柱 穴	重 棚	掘 囲	方 位 時 期
J 49	ワ・カ— 110° 111	6.2×7.1	37.9	40~85		P ₁ ~P ₁₁			3巻P58	N-62°-E 濃磯c
J 50	ハ—22	6.1×4.2	21.8	19~46		P ₁ ~P ₈	W99~100	# P59		N-20°-E 濃磯c
J 51	カ 13・14	4.8×2.65	12.7	86~96	中央北寄り		H279	# P60		N-17°-W 閑山
J 52	イ 5	6.8×7.4	43.3	57~132		P ₁ ~P ₂	H343 J P138~139	# P61		N-55°-E 濃磯b
J 53	A・イ—10	5.4×3.5	16.8	85~90	中央北寄り	P ₁ ~P ₁₁	H332	# P62		N-16°-E 閑山
J 54	ツ—101	4.0×3.5	12.1	38~63	中央部				# P63	N-33°-W 堀之内2
J 55	A—9	4.7×3.05	13.0	41~65	中央北寄り	P ₁ ~P ₁₁	H328	# P64		N-12°-E 閑山
J 56	ル・ヲ—2	3.85×2.7	8.2	20~22		P ₁ ~P ₂	M1	# P65		N-25°-W 不明
J 57	ワ—7	3.5×3.3	9.5	15~33		P ₁		#		N-22°-E 閑山
J 58	ト・チ—4	3.6×3.4	9.6	22~52	中央北寄りに竪 土分布	P ₁ ~P ₈	W56	# P66		N-11°-E 濃磯b
J 59	M—102	5.0×6.8	28.4	22~27			J29 J P111	# P49		N-69°-W 濃浜
J 60	ホ 23・24	5.9×5.2	21.2	21~44	中央東に燒土分 布		J33 W11 J P115~118 H152	# P42		N-3°-E 濃磯a+b
J 61	N—101~102	4.8×4.0	5.2	9~29	P ₁₁ の位置か	P ₁₁ 位置か	J39 J P60~112 H127 H P129	# P49		N-13°-W 不明

表-174 JP 土坑一覧表

遺構名	位 置	形 状	方 位	規 模(cm) 長径×短径×深・下溝	遺 物	重 棚	掘 囲	備 考	
J P群 I (J 28)	P—3			P ₁ : 43×32×49 P ₂ : 53×43×89 P ₃ : 99×78×49 P ₄ : 99×78×66 P ₅ : 94×76×39 P ₆ : 90×69×53 P ₇ : 88×78×64 P ₈ : 31×24×66 P ₉ : 63×61×73 P ₁₀ : 113×95×39 P ₁₁ : 18×18×53	大半が弥名寺1 その他 堀之内1 加曾利1 石器は、石椎 打・磨製石斧 石錐石器 石頭十多四石		3巻P285		豊穴性層の可能性あり
J P 1	B—3— 4・13	円形	N-17°-E	150×126×110 98×72			# P292	燒土・炭化物含	
J P 2	F—4—3・13	楕丸方形	N-94°-E	212×122×124 90×90×70			#	底面は2つに分かれる	
J P 3	F 6 38・39 48・49	円形	N-67°-E	216×206×150 174×50			# P292	周縁に小ピット 焼土・炭化物含	
J P 4	K—6 52	不規円形	N-15°-W	284×118×86 147×35 77×27	土器 黒瓦	1177	#	横穴状	
J P 5	K—7— 69	長円形	N-29°--W	358×224×116 51×47		W92	#	横鉢状	
J P 6	N—3—9 P—3—99	椭丸方形	N-28°-E	135×118×94 115×101	土器 称名寺1		#	円筒状	
J P 7	R—2—63	長円形	N-38°-W	186×135×131 112×44	土器称名寺1・2 中～後期 石器 打斧他		#	底面は段をなす	

遺構名	位 置	形 状	方 位	規 模(cm) 長径×対径×高・下端径	遺 物	重 棚	傳 因	備 考
J P 8	S 1-49	長円形	N-39°-W	127×86×37 87×50	土器称名寺1・2 中・後期 石器 打斧	H P123	3号P292	
J P 9	R-2-63 64	方形	N-82°-W	76×66×68 54×30	土器加曾利E 4 称名寺1 石器 打斧	J P117	#	J P117→J P 9 円筒形
J P 10	R-7-62	円形	N-36°-W	118×104×102 65×57	土器加曾利E 4 石器 打斧		#	円筒状
J P 11	R 7 52	円形	N-44°-W	120×120×57 108×86			# P294	円筒状
J P 12	R-8-33 34	半円形	N-3°-W	376×176×139 214×174			#	
J P 13	R-8-74 75	不整形	N-32°-W	224×198×36 —			#	底面凹凸、小ピット有
J P 14	U 11-88 89	円形	N-12°-W	104×96×54 91×85	土器 黒浜		#	円筒状 木炭含
J P 15	S-11-41	円形?	N-28°-E				#	
J P 16①	U 11 27 28	円形	N-59°-E	127×100×46 112×84			#	袋状 炭化物含
J P 16②	T-15-21	円形	N-2°-W	129×117×50 80×62			#	炭化物含
J P 17	S-16 49	円形	N-52°-W	171×145×61 127×112	土器 黒浜		#	
J P 18	S 16 50 S 17-41	円形	N-69°-W	124×108×35 78×72		J P108	#	浅い皿状
J P 19	R-17-72 82	円形	N-68°-W	112×98×32 94×78	土器 黒浜 鉄器 a 石器 打斧	H98	#	浅い皿状
J P 20	Q-19-76	円形	N-67°-E	144×129×64 104×97			#	炭化物含
J P 21	R-15-39+58 69	長円形	N-31°-W	264×114×39 203×56			# P296	
J P 22	U-17-85	長円形	N-74°-W	155×116×35 144×110			#	炭化物含
J P 23	Q-16-99 P 16 8+9	長円形	N-23°-W	240×166×63 136×13 125×108			#	炭化物含
J P 24	R-101-67	円形	N-22°-E	120×106×86 84×61	土器鉄器 a 石器 内壁		#	炭化物、浮石含
J P 25	Q-101-7	円形	N-31°-W	131×118×71 107×106	土器 黒浜 鉄器		#	炭化物、焼土含 円筒状
J P 26	Q-1-63 64	円形	N-21°-W	204×172×114 166×159	土器 黒浜 鉄器		#	袋状
J P 27	R-101-49	長円形	N-69°-W	140×110×44 135×91		H P112 W88	#	円筒状
J P 28	Q-101-25	円形	N-41°-E	153×148×41 86×78	土器 黒浜 鉄器 a 石器 打斧		#	皿状
J P 29	Q 101 76 77	方形	N-42°-W	141×126×68 115×113	土器 黑浜 鉄器 a 石器 打斧	大II P 2	#	多量の繊合
J P 30	R-1-52	円形	N-61°-W	158×145×89 134×133	土器鐵器 a + b 石器石皿		#	円筒状 炭化物含
J P 31	R-1-12 22	円形	N-33°-W	141×137×87 124×113	土器鐵器 a + b 石器打斧 + 刨削	# P298	#	円筒状 炭化物含
J P 32	Q-101-67	円形	N-3°-W	115×112×75 128×125	土器 黒浜		#	袋状 炭化物多量

遺構名	位 置	形 状	方 位	規 模(cm) 長径×短径×厚さ(F幅径)	遺 物	重 複	特 徴	備 考
J P33	N-1 89	円形	N-41°-W	170×159×93 154×131	土器 黒漆 諸種		3番P298	円筒状
J P34	N-1-9 P-1 99	円形	N-88°-W	134×121×68 101×98	七唇 諸種			円筒状 炭化物含
J P35	N-1-8	不規形	N-0°	148×137×40 73×69	土器 布名寺1・2	J P109		浅い皿状
J P36	N-1-1	円形	N-27°-E	208×162×90 128×123	土器 黒漆 諸種 石器打斧・擦器			円筒状 炭化物・浮石含
J P37	L-2-14 24	円形	N-53°-E	132×125×83 106×98	石器 多凹口			円筒状 焼石多い
J P38	L-101 24 25	半円形	N-6°-E	266×154×102 73×27	土器 鏽器 a			底部二方向にひろがる 炭化物・焼土含
J P39	R-102-68	長円形	N-71°-W	204×154×158 152×70	土器 黒漆 諸種 a 石器 擦器他	J 25 W88		炭化物含
J P40	L-103 7	円形	N-68°-W	135×128×70 101×84				
J P41	C-23-9 10	半円形	N-29°-E	262×142×98 174×102		J P113 W89	P300	
J P42	H-14-61 71	円形	N-57°-E	123×104×64 109×91	土器 諸種 b 石器 磨削	W66		円筒状 炭化物多量
J P43	D-23 36	円形	N-61°-W	95×71×61 68×16				一部未発
J P44	C-8-39	長円形	N-77°-W	264×168×72 174×91				撰鉢状
J P45	D-8-89+90 99+100	円形	N-13°-E	218×196×138 114×53				撰鉢状
J P46	C-8-79	長方形	N-2°-E	169×87×36 137×67	七唇 黒漆	H147 J P110		上邊はH147前面
J P47	= 24 21	円形	N-65°-W	122×117×44 103×97				円筒状
J P48	M-20 57	円形	N-53°-W	104×93×54 54×47	石器 多凹口			
J P49	M-20-75 85	円形	N-2°-E	140×135×75 58×32				撰鉢状 炭化物・焼土含
J P50	M-20 67	長方形	N-27°-E	126×58×53 116×42				前面凹凸
J P51	K-21-2・3 L-21-92	円形	N-10°-E	176×158×80 92×60				底面中央凹凸 炭化物含
J P52	P-102-64	円形	N-6°-W	136×133×46 116×112				円筒状 炭化物多量
J P53	P-103-73	円形	N-21°-E	208×159×61 189×148	土器 黒漆 花瓶下・諸種 a		P302	円筒状 炭化物含
J P54	P-102 53	円形	N-27°-E	120×114×49 100×94	土器 黑漆			
J P55	P-101-67	円形	N-16°-W	133×113×104 111×83	土器 黑漆 諸種 a 石器 磨削			燒石含
J P56	P-1-62-72	円形	N-27°-W	158×158×69 82×80	土器 黑漆 諸種他 石器 円錐			円筒状 炭化物・焼土多量
J P57	N-103 29	円形	N-52°-W	119×115×55 106×104	土器 黑漆 石器 円錐			円筒状 上層に炭化物
J P58	P-101-44 45	円形	N-25°-E	188×150×37 162×125	土器 黑漆 諸種 a	J P62		円筒状 炭化物若干含

遺構名	位置	形状	方位	規模(cm) 長×幅×高× ^a 葉面	遺物	重複	博団	備考
J P59	P-1-3	円形	N-20°-E	96×94×37 79×70	土器 黒浜 石器 刮削器	中~後期 H127	3番P302	円筒状 炭化物多量、焼土含
J P60	N-102-48	円形	N-29°-W	131×113×35 119×105	土器 黒浜	J 39・61 H156	#	円筒状 炭化物多量、焼土含
J P61	N-101-20	円形	N-89°-W	135×130×114 96×86	土器 黒浜 諸器 a 石器 多凹石	H156	#	円筒状 多量の礫、炭化物含
J P62	P-101-44	円形	N-47°-W	130×115×33 112×93		J P58	#	
J P63	N-1-32 42	長円形	N-37°-W	205×116×81 156×82			#	
J P64	J-101-13	円形	N-23°-W	108×98×74 56×34		H 1号穴	#	摺鉢状
J P65	H-101-23	円形	N-6°-E	86×79×98 61×48		H189 J P104・105	# P304	J P65→104→105の 順。ピット状
J P66	F-1-99 E-1-9	円形	N-31°-W	290×280×152 211×192 136×118			#	焼土含 摺鉢状
J P67	A-17-49 50	円形	N-6°-E	214×188×108 210×200	土器加利E 4 瓶之内	K60	#	円筒状 炭化物、焼土含
J P68	B-17-43	円形	N-0°	288×236×136 192×80 182×63			#	摺鉢状 炭化物含
J P69	G-101-7 H-101-97	円形	N-25°-W	126×91×60 115×70		K39 W18	#	炭化物、焼土含
J P70	G-101-14 15	不整円形	N-48°-E	130×124×70 99×58		W17・18	#	円筒状 炭化物、焼土、浮石含
J P71	G-24-51	長円形	N-39°-W	146×79×84 153×66			#	-部横穴状 炭化物、焼土含
J P72	G-23-80 G-24-71	円形	N-85°-W	98×88×74 78×48			#	-部横穴状に J P73へ つながる
J P73	G-24-83	円形	N-5°-W	65×56×82 50×48			#	-部横穴状に J P72へ つながる
J P74	A-18-26	円形	N-85°-E	150×144×93 154×151	土器 関山 黒浜	H217	# P304	円筒状 炭化物、焼土含
J P75	B-18-66	長円形	N-30°-W	200×136×127 140×51	土器 黒浜 石器刮削・削器		#	円筒状 炭化物、焼土含
J P76	B-18-99 A-18-9	長円形	N-1°-W	282×161×138 158×24	石器 刮削 円盤	K81	# P306	炭化物、焼土含
J P77	B-19-92	円形	N-63°-E	182×132×58 69×35	土器 梅原下 石器打斧・削器	J N 1 H P121	#	摺鉢状 炭化物、焼土含
J P78	G-103-85	円形	N-14°-W	156×154×62 124×124	土器 諸器 b	W72	#	円筒状 炭化物多量
J P79	E-1-17 27	長円形	N-28°-W	204×157×142 140×60			#	炭化物、焼土含
J P80	F-1-75 85	長円形	N-6°-W	201×162×152 123×50			#	円筒状
J P81	F-1-8-9	円形	N-2°-E	256×256×49 230×220			#	浅く広い
J P82	B-17-20 B-18-11	方円形	N-62°-W	146×76×98 60×34		J P83・116	#	J P83→82→116の順
J P83	B-17-29+30 B-18-11+21	長円形	N-40°-W	212×156×142 102×58		J P82 K76	#	摺鉢状
J P84	B-15-17	長円形	N-26°-W	127×103×96 124×68		H207	#	円筒状
J P85	ロ-9-73 83	長円形	N-72°-W	212×149×80 174×123		J 46	#	J 46床面下 円筒状

遺構名	位 置	形 状	方 位	規 模(cm) 長×幅×高×厚・下限	遺 物	電 検	攝 図	備 考
J P86	フ- 108-85	円形	N- 1'-W	140×136×110 113×112			3巻P308	わずか袋状 炭化物含
J P87	フ- 110-33	長円形	N- 23'-E	144×104×40 88×34			#	北半は削平されている
J P88	ニ-22-21	円形	N- 9'-W	106×104×77 82×71			#	円筒状 焼土若干含
J P89	ニ-22 65	円形	N- 36'-W	103×98×61 85×77		W91	#	円筒状 炭化物、焼土含
J P90	タ- 7- 47	円形	N- 13'-W	114×112×96 82×72		K121	1巻P267 3巻P306	旧5P-74 円筒状炭化物 焼土含
J P91	A- 10- 22 32	円形	N- 28'-W	349×334×47 332×304	石器 棒状		3巻P308	旧5P-82 大型浅い 炭化物含
J P92	ロ- 5- 6	円形	N- 40'- E	570×560×68 546×534	石器 円錐・ 敲打		#	旧5P-83 大型 炭化物含
J P93	イ- 12- 5	長円形	N- 4'- E	844×530×111 682×407		H343	#	旧5P-84 大型
J P94	フ- 101- 61-71 フ-102-80	長円形	N- 55'- E	256×168×56 334×226	土器 壺之内1・2他		#	旧5P-140 円筒状 炭化物含若干
J P95	フ- 4- 60 フ- 5- 51	長円形	N- 4'- E	143×56×18 100×36			#	旧5P-156 浅い皿状
J P96	リ- 4- 84 85	円形	N- 70'- E	57×44×18 34×28			#	旧5P-179 浅い皿状
J P97	リ- 5- 77 78	円形	N- 34'-W	409×376×44 390×331			#	旧5P-192 浅い
J P98	フ- 4- 64 65	円形	N- 15'-W	87×84×19 76×74			#	やや円筒状 旧5P-218
J P99	ワ- 7- 6- 7 16- 17	不整円形	N- 62'-W	271×198×71 178×144			# P316	旧5P-231 角底状 炭化物含
J P100	カ- 2- 11- 12 21- 22	木整形	—	322×305×61 —			#	旧5P-258 弧面凸凹
J P101	カ- 3- 1- 2 11- 12 ワ- 3- 91- 92	円形	N- 69'-W	370×302×93 178×139			#	旧5P-266 角底状 焼土含
J P102	ワ- 10- 30- 40 ワ- 11- 21- 31	長円形	N- 11'-W	368×292×35 338×266			#	旧5P-271 大型
J P103	ワ- 9- 27- 28 37- 38	長方形	N- 80'- E	268×82×30 240×156		F250	#	旧5P-273
J P104	H-101-23	不整形	N- 12'-W	183×161×66 160×142		H189 J P65-105	#	炭化物含
J P105	H-101-23	円形	N- 58'-W	52×46×46 32×26		J P65-104	#	炭化物含
J P106	P- 4- 9 Q- 4- 99	長円形	N- 34'- E	98×52×22 73×36			#	上面に縫多い
J P107	N- 102- 57 77	円形	—	298×114×28 228×102		J27	#	約2枚層
J P108	S- 16- 40- 50 S- 17- 31- 41	圓丸長方形	N- 62'-W	224×124×32 180×94		J P18	# P312	
J P109	N- 1- 8	円形	N- 20'- W	38×24×64 27×20		J P35	#	ピット状
J P110	C- 8- 78	長方形	N- 1'- E	179×130×152 133×75		H147 J P46	#	円筒状 深い 木炭質?点在
J P111	M-102-7-8	円形	N- 81'-W	177×149×60 160×132	P40参照	J 29-59	#	住居内構造の可能性あり
J P112	N- 102-58	円形	N- 63'- W	137×106×35 120×91		J 39-61 H127	#	炭化物、焼土含

遺物名	位置	形状	方位	規模(cm) 長×幅×高・下轍	遺物	重複	種別	備考
J P113	B-15-32	円形	N-72°-W	211×189×51 177×149			3巻P312	旧JS-1 上面に焼石含
J P114	イ-1-87	円形	N-23°-E	126×103×31 109×68			#	旧JS-6 縁多い
J P115	ホ-23-48 49	円形		340×135×39 240×72		J 60	#	
J P116	B-17-20	長円形	N-45°-E	175×138×106 76×66		J P82+83	#	
J P117	R-2-63 64	長円形	N-68°-W	131×74×52 105×74		J P9	#	施面段差あり
J P118	ホ-23-38 39	円形	N-87°-W	176×170×52 178×154		J 33+60 W11	#	円筒状 J 33参照
J P119	H-103-67	長円形	N-55°-W	217×135×35 202×123	石器 多目石		#	
J P120	S-3-31	長円形	N-59°-W	105×57×46 44×21			#	
J P122	F-5-30 F-6-21	円形	N-3°-E	86×73×84 61×47		J 3	# P 6	
J P123	F-5-8-9	円形	N-53°-E	179×135×117 164×121		J 3 F279	# P 6	袋状断面
J P124	F-5-18-28	円形	N-90°-E	100×97×106 117×99		J 3	#	#
J P125	S-4-25 26	方形	N-9°-W	86×84×96 43×26			# P312	浅い摺鉢状
J P126	G-4-35 45	長円形	N-45°-E	212×140×46 135×35			#	
J P127	G-4-25 35	円形	N-2°-E	120×95×22 70×60		H P116	#	
J P128	ハ-111-6	円形	N-5°-E	140×136×36 112×109			#	
J P129	ハ-6-15	不整形	N-40°-E	98×91×20 73×69		J 43	# P314	一部袋状 J 43下面下
J P130	ハ-6-15+25 16	円形	N-48°-E	266×232×28 238×206		J 43	#	J 43下面下
J P131	ハ-6-16 26	円形	N-9°-E	151×138×12 116×104		J 43	#	J 43下面下
J P133	ワ-105-45	円形	N-6°-E	-×79×- -×53			#	
J P134	ワ-105-45	円形	N-36°-E	72×60×- 46×34			#	
J P135	ワ-105-41	長円形	N-22°-E	76×52×- 51×24			#	
J P136	ワ-105-81	長円形か	N-19°-E	-×69×- -×34			#	
J P137	カ-106-49	長円形	N-12°-E	103×78×- 70×44			#	
J P138	イ-5-68	長円形	N-84°-E	187×-×91 159×-		J 52	#	
J P139	イ-5-85	円形か	-	-×129×71 -×63	上器 開山 石器 刃器	J 52	#	
J P140	R-101-80	方形	N-73°-W	96×86×32 84×74	石器 刃器	J 20	#	

表-175 JS配石遺構・JN遺構一覧表

遺構名	位 置	形 状	方 位	規 模	遺 物	重 棚	持 因	備 考
JS 1	T-5			2×2Mの範囲			3巻P341	約30個の礫点在
JS 2	R-3			3×3Mの範囲	打斧・磨斧 削器・楔形 敲石・石皿他		〃	若干の大礫と多数の小 礫点在 石器多い
JS 3	Q-101・102			6×4Mの範囲	土器・井草式	HP 2	〃	礫はばらつき、散布す る
JS 4	チ-7			1.5×1.5Mの範囲	打斧3点		〃	約25個の礫集中
JS 5	ハ-7			2×1Mの範囲			〃	約20個の礫集中
JS 6	H-101			2×1.5Mの範囲		W19・20	〃	約50個の礫集中
JS 7	イ-8			1.5×0.5Mの範囲			〃	列状に礫集中
JN 1	B-18・19					J P77	全体図	
JN 2	ロ・ハ-2・3						〃	旧JS 5 石が散布。包含層か

表-176 F土坑一覧表（部分調査の為、規模等は遺存数値を示す）

遺構名	位 置	形 状	方 位	規 模 長径×短径×深さ	遺 物	重 棚	持 因	備 考
F 1	ト-25-29	方形	N-27.5°-E	100×100×55 95×95			付図-4	約半残存
F 2	ホ-26-1	長方形？	—	100×83×40 86×78			〃	
F 3	ホ-26-1	—	—	82×36×40 70×30			〃	
F 4	ホ-26-5	長方形？	N-77°-W	74×42×30~80 54×36			〃	
F 5	ホ-26-5	—	—	74×58×25 54×46			〃	
F 6	ホ-26-27	—	—	85×40×60 80×34			〃	
F 7	ホ-26-27	—	—	60×22×35 50×16	F9	〃		
F 8	ホ-26-27	—	—	65×40×40 60×28	F 6 + 9 + 10	〃		
F 9	ホ-26-27	長方形	N-8°-E	160×65×70 155×55		F 7 + 8 + 10	〃	
F 10	ホ-26-27	—	—	105×—×55 —		F 8 + 9	〃	
F 11	ホ-26-23	方形？	N-27°-E	126×92×50 102×84			〃	
F 12	ホ-26-23	—	—	55×40×40 50×30			〃	
F 13	ホ-26-66 67	長方形	N-24°-E	130×92×60 112×72	寛永通宝3枚		〃	土壤草か
F 14	ホ-26-66+76 77	長方形	N-88°-W	125×88×40 100×64		F13	〃	ほぼ完盤
F 15	ホ-26-65+66 75+76	長方形	N-67°-W	98×72×40 80×66			〃	約半残存
F 16	ホ-26-65	方形	N-28°-E	120×110×20 100×98			〃	ほぼ完盤

遺構名	位 置	形 状	方 位	規 模 長×幅×高×厚×下層厚	遺 物	重 複	博 団	備 考
F17	ホ-26-65 66	長方形	N-11°-E	110×70×40 98×56		F16	付図-4	壁面完盤
F18	ホ-26-89	—	—	90×42×25 76×32		F19	〃	
F19	ホ-26-89	長方形	N-78°-W	162×92×35 150×78		F18	〃	
F20	ホ-26-85	長方形	N-24°-E	158×78×40 150×70			〃	
F21	ヘ-26-21	方形?	N-0°	136×80×40 100×70		F22	〃	
F22	ヘ-26-21	—	—	100×36×45 78×34			〃	
F23	ヘ-26-7	方形?	—	138×136×75 124×126			〃	
F24	ヘ-26-7	—	—	150×35×55 125×28			〃	
F25	ホ-26-99	長方形?	—	150×32×40 140×24			〃	
F26	ホ-26-99	—	—	58×14×13 48×10			〃	
F27	ヘ-26-30	—	—	98×58×35 80×46		W76	〃	
F28	ヘ-26-87	—	—	62×37×45 57×50			〃	
F29	ヘ-26-87	—	—	68×60×45 56×50			〃	
F30	ト-26-9	長方形	N-80°-W	130×74×30 106×50		F31	〃	
F31	ト-26-9	—	—	60×40×70 28×20		F30	〃	
F32	ト-26-9	長方形?	N-80°-E	104×49×40 96×45			〃	
F33	ヘ-27-81	長方形	N-87°-E	182×90×55 94×52		F36+37	〃	
F34	ヘ-27-81	長方形?	N-90°-E	118×44×20 108×32		F37	〃	底面に焼土
F35	ヘ-27-81	—	—	50×40×20 40×32			〃	
F36	ヘ-27-81	—	—	100×55×40 88×46		F33+37	〃	
F37	ヘ-27-81	長方形	N-82°-E	164×70×45 —		F33+34+36	〃	
F38	ト-27-21	—	—	66×60×70 58×54				
F39	ト-27-61	—	—	104×68×50 —		F73		
F40	ト-27-43	—	—	142×78×95 126×66				
F41	ト-27-43	—	—	100×35×13 40×20				
F42	ホ-27-69	—	—	142×108×50 128×96				
F43	ヘ-27-9	—	—	112×90×10 106×80		W82	付図-4	
F44	ヘ-27-49	—	—	90×58×15 82×52			〃	

遺構名	位 置	形 状	方 位	規 模 長径×短径×厚・下端幅	遺 物	重 複	捕 図	備 考
F45	～28-61	—	—	108×30×38 —			付図-4	
F46	～28-65	方形?	—	102×75×55 75×75			〃	
F47	～29-1	—	—	112×48×40 102×52			〃	
F48	～29-23	—	—	50×48×60 42×42			〃	井戸跡の可能性あり やや内形容みか
F49	～28-83	長方形	N-20°-E	126×62×43 —	F50	〃		
F50	～28-83	—	—	100×98×50	F49	〃		
F51	～27-89	—	—	100×64×20 92×52			〃	
F52	～27-89	—	—	80×35×30 60×28			〃	
F53	ト-27-7	長方形	N-85°-W	98×78×35 80×62			〃	
F54	～27-41	長方形	N-78°-W	104×84×50 90×80	F55・56 W76	〃		
F55	～27-41	—	—	60×48×40	F54・56 W76	〃		
F56	～27-41	—	—	130×52×40 104×28	F54・55 W76	〃		
F57	～28-7	—	—	50×45×30 38×38	F58	〃		
F58	～28-7	—	—	74×48×70 56×38	F57	〃		
F59	～28-7	—	—	60×40×25 50×30			〃	
F60	ト-28-5	長方形	N-13°-E	124×98×25 124×80			〃	
F61	ト-28-2 3	長方形	N-14°-E	140×130×55 122×110			〃	
F62	ト-28-1 2	方形	N-29°-E	126×108×47 108×100			〃	
F63	ト-28-22 32	—	—	110×100×30 95×82			〃	
F64	ト-28-23	方形	N-81°-W	108×90×52 84×76			〃	
F65	ト-28-56	—	—	120×80×65 82×46			〃	井戸跡の可能性あり
F66	ト-28-66	長方形?	—	70×62×75 66×58	W79	〃		
F67	チ-28-47	長方形	N-17°-E	194×70×37 180×65			〃	埴土に焼土塊混
F68	チ-28-29	長方形	N-20°-E	86×72×22 76×50			〃	
F69	チ-28-29	長方形	N-17°-E	94×86×40 74×68			〃	
F70	チ-27-45	—	—	48×40×40 38×25			〃	
F71	チ-27-89	長方形	N-87°-W	82×68×60 72×45			〃	
F72	リ-27-7	—	—	86×48×50 64×40			〃	

遺構名	位置	形状	方位	規格 長径×短径×厚さ・下限値	遺物	重複	掃観	備考
F73	ト-27-61	—	—	100×44×53 —		F39	付岡-4	
F74	ト-28-41	—	—	58×44×— 36×24		F274	〃	
F75	B-101-46・47 56・57	長方形	N-27°-E	184×60×24 —			〃	石組遺構 判状をなす
F76	C-20-22 23	長方形	N-25°-E	98×68×25 92×55	人骨片		〃	土壤基
F77	C-20-52 62	長方形	N-25°-E	108×80× 84×72	人骨片 水素鉄3枚		〃	土壤基
F79	D-18-63	長方形	N-11°-E	120×60×37 114×50			〃	
F80	B-19-35 45	長方形	N-18°-E	120×60×37 114×50	骨片出土		〃	土壤基か
F81	ハ-8-12	長方形	N-20°-E	120×72×130 —	骨片出土	H9豊穴	〃	土壤基か
F82	ハ-8-21 22	方形	N-22°-E	68×66×— —			〃	
F83	ハ-8-21	方形	N-20-W	56×56×— —	人骨出土	H9豊穴	〃	圓郭、石をだく
F84	ニ-22-7	円形	N-85°-E	120×100×— 76×40			〃	
F85	ニ-22-6 16	長方形	N-62°-W	154×90× 116×58			〃	
F86	ヌ-9-90	円形	N-86.5°-E	105×102×19 92×90			全体図	旧5P-1
F87	ワ-12-13	方形	N-30°-E	323×173×69 307×158 74×79			〃	南・北に張り出し 2基以上の重複か。 旧5P-4
F88	タ-7-7	長円形	N-5°-E	72×66×23 64×54		K120	〃	旧5P-11
F89	リ-9-92	長方形	N-3°-W	88×56×— —		WS2-1	〃	旧5P-13
F90	タ-7-47・56 57	長方形	N-48°-E	130×85×— —		K121	〃	旧5P-14
F91	タ-7-57 67	円形	N-52°-E	120×118×— —			〃	旧5P-15
F92	タ-7-69 70	長方形	N-52°-E	148×80×— —			全体図	旧5P-16
F93	タ-7-96 レ-7-6	長円形	N-51°-W	117×95×37 82×54			〃	旧5P-17 前面凹凸・根跡?
F94	レ-7-7	円形	N-30°-W	101×99×26 66×59		F95	〃	旧5P-18 根跡?
F95	タ-7-97 レ-7-7	円形	N-11°-W	102×76×28 51×44		F94	〃	旧5P-19 〃
F96	レ-7-7	円形	N-75°-E	70×65×26 37×35			〃	旧5P-20 〃
F97	レ-7-8	長円形	N-32°-W	94×61×15 76×38			〃	旧5P-21 〃
F98	レ-7-8-9	円形	N-32°-W	90×87×26 52×37			〃	旧5P-22 〃
F99	レ-7-18	不整円形	—	95×88×— —			〃	旧5P-23
F100	レ-7-30	方形	N-33°-E	96×70×— 84×57			〃	旧5P-24

遺構名	位 置	形 状	方 位	規 模 長×幅×深×下限	遺 物	重 較	掉 因	備 考
F101	タ-8-52 62	長方形	N-43°-E	145×100×21 128×82			全体通	旧5P-25
F102	タ-8-72 73	長方形	N-43°-E	160×98×28 135×75			#	旧5P-26
F103	タ-8-92	円形	N-20°-E	107×93×29 84×58		F104	#	旧5P-27
F104	タ-8-92 93	円形	N-20°-E	133×131×27 104×104		F103	#	旧5P-28
F105	タ-8-64+65 74+75	長方形	N-38°-E	179×124×24 156×102			#	旧5P-29
F106	タ-8-34	円形	—	187×187×29 160×—			#	旧5P-30 模様?
F107	タ-8-58 68	円形	N-25°-W	114×107×21 —			#	旧5P-31 #
F108	タ-8-60	長円形	N-54°-W	156×75×24 123×—			#	旧5P-32
F109	タ-8-40 50	円形	—	101×101×43 93×93			#	旧5P-33
F110	タ-8-78 88	円形	N-53°-W	115×106×28 85×70			#	旧5P-34
F111	タ-8-76+77 86+87	長方形	N-50°-E	152×86×24 125×79			#	旧5P-35
F112	タ-8-86+87 96+97	長方形	N-54°-E	182×95×26 158×73			#	旧5P-36
F113	レ-8-7+8	長方形	N-45°-E	164×90×46 80×72			#	旧5P-37
F114	レ-8-6+7 16	円形	—	111×111×29 88×87			#	旧5P-38
F115	タ-8-95+96 レ-8-5+6	長方形	N-29°-E	167×54×— —	H317	#	旧5P-39	
F116	レ-8-17+18 27+28	長方形	N-35°-E	191×76×42 160×63			#	旧5P-40
F117	レ-8-15+16 25+26	長円形	N-25°-W	194×151×78 129×100			#	旧5P-41 模様?
F118	レ-8-14+15 25	円形	N-25°-W	147×137×31 125×118			#	旧5P-42
F119	タ-8-90	円形	N-84°-W	112×93×18 78×56			#	旧5P-43 中央に石
F120	タ-8-27	円形	N-32°-E	66×65×— —			#	旧5P-44
F121	タ-8-6	長円形	N-61°-E	116×84×8 91×49			#	旧5P-45 模様?
F122	ヨ-8-97+98 タ-8-7+8	円形	—	100×100×28 —			#	旧5P-46
F123	ヨ-8-98 99	長円形	N-26°-W	158×113×36 140×79			#	旧5P-47
F124	タ-8-9 10	長円形	N-45°-E	130×101×30 —			#	旧5P-48
F125	ヨ-9-91 タ-9-1	円形	N-60°-W	158×129×34 —			#	旧5P-49
F126	タ-9-27 28	長方形	N-65°-E	100×78×44 —	K125	#	旧5P-50	
F127	タ-9-38+39 48+49	長円形	—	100×97×17 —			#	旧5P-51
F128	タ-9-50	円形	—	94×90×35 —			#	旧5P-52

遺構名	位 置	形 状	方 位	規 模 長×幅×高×下角度	述 物	重 量	鉢 図	備 考
F129	ヨー9-52	円形	—	54×54×20 —			全体図	旧5P-53
F130	タ-9-83 84	長円形	N-22° W	176×98×29 —			II	旧5P-55
F131	レ-9-13 23	円形	—	116×106×33 —			II	旧5P-56
F132	レ-9-26 27	円形	—	94×90×33 —			II	旧5P-57
F133	レ-9-37	長円形	N-18°-E	85×56×18 —			II	旧5P-58
F134	タ-10-57 58	不整円形	N-78°-W	110×80×79 24×22			II	旧5P-65
F135	タ-10-59	長円形	N-34°-W	116×60×77 45×18				旧5P-61 F135+137+140で柱穴 判か
F136	タ-10-75+76 85+86	円形	N-30°-E	53×41×82 23×18				旧5P-62 下部横穴状
F137	タ-10-60	満丸刀形	N 6°-W	96×70×66 36×30				旧5P-63
F138	タ-10-86+87 96+97	円形	—	82×78×26 —		K122		旧5P-64
F140	タ-10-39	長円形	—	101×81×71 93×62		H296		旧5P-69
F141	タ-10-48+49 58+59	不整長方形	N-83°-E	156×117×15 151×99			II	旧5P-70 根跡?
F142	ヨー9-96 97	円形	N-0°	133×113×20 116×91			II	旧5P-71
F143	ヨー9-95 96	円形	N-32°-E	92×89×20 66×63		W52-1	II	旧5P-72 根跡?
F144	ヨー9-93 タ-9-3	円形	N 48°-W	133×123×52 103×91			II	旧5P-73
F146	A-10-52+53 62+63	不整形	N-59°-W	149×49×12 141×37		K131	II	旧5P-80 根跡?
F147	B-10-73 83	方形	N 79°-E	97×83×26 89×67			II	旧5P-81
F148	イ-10-65+66 76	長円形	N-81°-W	213×173×50 115×97 92×55			II	旧5P-90
F149	イ-10-95 ロ-10-5	長方形	N-63°-W	154×65×47 135×45		II326	II	旧5P-91
F150	イ-10-50+60 イ-11-41+51	長方形	N-4°-W	172×68×33 130×51 55×19			II	旧5P-92
F151	タ-6-39+40 49+50	長方形	N-30°-E	187×90×21 —		K155	II	旧5P-93
F152	タ-6-38 48	長方形	N-40°-E	146×82×29 134×70		K155	II	旧5P-94
F153	ヨー6-99+100 タ-6-9+10	円形	—	85×85×20 —			II	旧5P-95
F154	タ-6-2+12	円形	—	160×90×12 —			II	旧5P-96
F155	タ-5-24 25	円形	—	106×93×10 88×74			II	旧5P-97
F156	タ-5-42 43	円形	—	107×105×22 —			II	旧5P-98
F157	タ-5-33	円形	—	103×100×27 106×104			II	旧5P-99

遺傳名	位 置	形 状	方 位	規 模 長×幅×厚×底×高×下端面	道 物	重 量	揮 圓	備 考
F158	タ-5-32 33	円形	-	103×98×11 -			全体図	旧5P-100
F159	タ-5-24 34	円形	-	93×92×22 -			"	旧5P-101
F160	タ-5-24+25 34+35	円形	-	95×85×12 -			"	旧5P-102
F161	タ-5-15 16	円形	-	99×99×10 -			"	旧5P-103 根跡?
F162	タ-5-14 15	円形	N-90°-E	100×87×-	F163	"	旧5P-104	
F163	タ-5-4+14 5+15	円形	-	149×107×23 117×111	F162	"	旧5P-105	
F164	タ-5-13 14	円形	-	110×106×17 -			"	旧5P-106
F165	ヨ-5-88+89 98+99	不整形	-	152×95×52			"	旧5P-107
F166	ヨ-5-67+68 69	不整形	-	170×140×55 -			"	旧5P-108
F167	タ-5-1+2 11+12	円形	--	130×110×55 -			"	旧5P-109
F168	ヨ-4-100 ヨ-5-91	長方形	N-15°-E	152×97×23 136×86			"	旧5P-111
F169	ヨ-4-99+100 タ-4-9+10	長方形	N-72°-W	180×85×7 -			"	旧5P-112
F170	ヨ-4-88+89 98+99	長方形	N-75°-W	110×60×6 -			"	旧5P-113
F171	ヨ-4-70	円形	-	80×75×5 -			"	旧5P-114
F172	タ-4-3 ヨ-4-93	長方形	N-81°-W	155×65×12 -	K135	"	旧5P-115	
F173	レ-4-40+50 レ-5-31+41	長方形	N-87°-W	125×67×3 -			"	旧5P-116
F174	タ-3-90	長円形	N-39°-W	110×80×20 -			"	旧5P-117
F175	タ-3-80	長円形	N-64°-W	103×75×20 -			"	旧5P-118
F176	レ-4-19 29	円形	-	90×85×5 -			"	旧5P-119
F177	ヨ-3-73	円形	-	100×100×30 --			"	旧5P-120
F178	レ-3-23 33	長方形	N-74°-W	130×85×8 -			"	旧5P-121
F180	レ-2-19 29	円形	N-44°-E	110×80×5 -			"	旧5P-125
F181	レ-2-40	円形	N-27°-E	90×75×8 -			"	旧5P-127
F182	レ-3-51+52 61+62	長方形	N-10°-E	250×98×49 238×71	灰褐色 網状断面・塊	1巻P349	旧5P-128 平安期	
F183	レ-5-74+75 84	長方形	N-16°-E	100×60×12 -		全体図	旧5P-130	
F184	タ-3-10 20	長方形	N-53°-W	115×105×10 -		"	旧5P-132	
F185	タ-3-18 19	長円形	N-25°-W	180×100×55 -		"	旧5P-133	
F186	タ-3-17 18	長円形	N-42°-W	130×95×10 -		"	旧5P-134	

遺構名	位 置	形 状	方 位	規 模 長さ×幅さ×高さ×下端幅	遺 物	重 複	特 因	備 考
F187	ヨー3-97	円形	—	87×85×21 65×62			全体図	旧5P-135
F188	ヲー3-4 5	長円形	N-78°-W	125×90×14 —			〃	旧5P-136
F189	ヨー3-86 87	円形		112×102×10 —			〃	旧5P-137
F190	レー3-59	方形	N-16°-E	93×87×12 —	H362	〃	旧5P-138	
F191	ヨー3-96	長円形	N-14°-E	130×80×25 —			〃	旧5P-139
F192	レー1-83	円形	—	140×130×16 —			〃	旧5P-144
F193	ワ-102-18-19 28-29	長円形	N-56°-E	112×75×12 —			〃	旧5P-145
F194	ヲ-102-28 29	円形	—	110×109×4 —			〃	旧5P-146
F195	ヲ-5-51 52	円形	—	104×100×11 92×91			〃	旧5P-154
F196	ワ-4-30 ワ-5-21	円形	—	100×100×14 —	H401	〃	旧5P-155	
F197	ヲ-4-48 58	円形	—	125×125×10 —			〃	旧5P-157
F198	ヲ-4-57-58 67-68	円形	—	113×110×16 —			〃	旧5P-158
F199	ヲ-4-27 37	円形	—	100×100×10 —			〃	旧5P-159
F200	ヲ-4-26 27	円形	N-25°-E	144×110×20 122×105	F201	〃	旧5P-160	
F201	ヲ-4-17 27	円形	—	98×96×11 75×71	F200	〃	旧5P-161	
F203	リ-5-65	円形	—	80×75×5 —			〃	旧5P-163
F204	リ-5-66	円形	—	100×100×11 —			〃	旧5P-164
F205	ル-5-33 34	円形	—	123×115×28 78×75			〃	旧5P-165
F206	ル-5-23	円形	—	100×95×8 —			〃	旧5P-166
F207	ル-5-32	円形	—	100×100×7 —			〃	旧5P-167
F208	ル-5-12 22	円形	—	128×120×27 82×68			〃	旧5P-168
F209	ル-5-21 31	円形	—	100×95×6 —			〃	旧5P-169
F210	ル-4-39-40 49-50	円形	—	95×91×6 —			〃	旧5P-170
F211	ル-4-30 40	円形	—	75×70×5 —			〃	旧5P-171
F212	ル-4-48 49	円形	—	118×115×10 —			〃	旧5P-172
F213	ル-4-55 65	円形	—	112×111×7 —			〃	旧5P-174
F214	ル-4-66	円形	—	96×92×3 —			〃	旧5P-175
F215	ル-4-43-44 53-54	方形	N-22°-E	83×67×14 K3×67			〃	旧5P-176

遺構名	位 置	形 状	方 位	規 模 長×幅×高×裏・下限値	遺 物	重 度	攝 図	備 考
F216	リ-5-58 68	円形	—	105×98×5 —			全体図	旧5P-177
F217	リ-5-97 ヌ-5-7	長円形	N 43° W	165×85×20 —			〃	旧5P-178
F218	ヌ-4-12 13	円形	—	110×100×15 —			〃	旧5P-180
F219	リ-4-77 78	円形	—	100×100×13 —			〃	旧5P-181
F220	ヌ-5-87 97	長円形	—	140×95×18 —			〃	旧5P-182
F221	ヌ-5-85 95	長円形	—	200×100×17 —			〃	旧5P-183
F222	ヌ-5-95 ル-5-5	円形	—	109×102×25 98×95			〃	旧5P-184
F223	ヌ-5-54 55	円形	—	120×110×22 —			〃	旧5P-185
F224	ヌ-5-53-54 63-64	円形	—	135×125×29 110×104	F225	〃	旧5P-186	
F225	ヌ-5-53-54 63-64	円形	—	90×87×14 73×72	F224	〃	旧5P-187	
F226	ヌ-5-63-64 73-74	長円形	N-2°-E	154×109×22 137×81			〃	旧5P-186
F227	ヌ-5-71 72	円形	—	130×120×23 —			〃	旧5P-189
F228	ヌ-4-94 95	円形	—	125×120×20 —			〃	旧5P-190
F229	リ-101-62 72	不整形	—	114×95×22 —			〃	旧5P-194
F230	リ-102-79 89	長方形	N-83°-E	210×108×25 157×73	W59	〃	旧5P-195	
F231	リ-101-82 92	長円形	N-30°-E	105×92×21 —			〃	旧5P-198 根跡?
F232	ヌ-102-38-39 48-49	方形	N-7°-E	210×177×15 —			〃	旧5P-202
F233	ヌ-101-68	円形	N 36°-E	75×67×29 45×34			〃	旧5P-205 根跡?
F234	ヌ-101-72 73	長円形	N-28°-E	113×98×38 —			〃	旧5P-206 根跡?
F235	ル-101-22-23 32-33	長方形	N-64°-E	270×145×30 190×112			〃	旧5P-208
F236	ル-101-63	長円形	N 37°-E	113×82×5 102×73			〃	旧5P-209
F237	ル-101-54-55 64-65	方形	N-15°-W	132×121×15 125×109	F238	〃	旧5P-210	
F238	ル-101-54-55 65	円形?	—	115×—×19 —	F237	〃	旧5P-211	
F239	ル-101-65-66 75-76	長方形	N 68°-E	179×116×26 169×95			〃	旧5P-212
F240	ル-101-85	円形	—	116×110×10 —			〃	旧5P-213
F241	ヲ-5-55	長方形	N-67°-W	146×93×59 146×93			〃	旧5P-217
F242	ナ-107-14	長方形	N-85°-E	102×68×35 89×53	H425	〃	旧5P-234	
F243	ヲ-7-93 94	円形	N-78°-E	163×129×25 146×119	W46	〃	旧5P-235 根跡?	

遺構名	位 置	形 状	方 位	規 模 長×幅×深×高	遺 物	重 量	揮 圓	備 考
F244	ヲ-102-88-99 98-99	長円形	N-27-W	150×60×15 80×30	H472	全体図	旧5P-250 根跡?	
F245	ホ-108-71-72 81-82	長方形	N-48-E	245×162×98 191×102			H	旧5P-255
F246	ヌ-3-6-15 16	円形	N-41-E	114×83×39 83×62	F247		H	旧5P-261
F247	ヌ-3-15 16	方形	N-33-E	120×102×42 99×82	F246		H	旧5P-262
F248	リ-1-81-91 99-100	方形	N-54-W	143×125×30 118×102			H	旧5P-265
F249	ヨ-2-98 99	円形	N-86-E	149×127×26 —	W58		H	旧5P-267
F250	ヲ-9-26 27	長方形	N-26-E	180×75×9 —	J P103		H	旧5P-274
F251	イ-12-3-4 13-14	長方形	N-70-W	196×87×24 182×74			H	旧5P-285
F252	ロ-12-26-27 36-37	円形	N-41-E	184×176×40 157×133 79×70			H	旧5P-287
F253	ロ-11-1-2 11-12	長方形	N-20-E	211×67×48 199×57			H	旧5P-289
F254	イ-12-12-13 22-23	長方形	N-17-E	246×73×47 229×57	F255-257 W67		H	旧5P-290 室?
F255	イ-12-3-13	長方形	N-75-W	240×82×61 223×61	F254-257		H	旧5P-291
F256	A-11-83 84	長方形	N-15-E	342×95×61 332×83			H	旧5P-292 H
F257	イ-12-2-3 12-13	長方形	N-72-W	166×76×20 159×66	F254-255 W67		H	旧5P-293
F258	ロ-12-37-38 47-48	円形	—	123×108×43 88×81			H	旧5P-295
F259	ロ-12-47	円形	N-64-E	111×107×33 95×94 71×58			H	旧5P-296
F260	タ-10-55-56 65-66	不整形	N-16-W	104×64×44 95×93	H5 邪穴		H	旧5P-68
F261	ツ-9-63	方形	N-17-E	141×102×85 102×100	鉄製品 J46	H245 J46	H	
F262	ト-28-85	—	—	120×60×— —	石臼		H	
F263	ビ-21-4 C-21-94	円形	N-31-E	125×100×— 105×90	人骨		H	土壤层
F264	ハ-24-24-25 35	円形	N-25-W	99×88×36 105×96			H	旧HP-11
F265	C-17-40-50 C-18-31-41	円形	N-73-E	110×107×26 101×97			H	旧HP-25
F266	ビ-18-46 56	円形	N-32-W	103×76×17 85×78			H	旧HP-26
F267	ニ-26-56-57 66-67	長方形	N-75-W	170×155×— 155×95	A 3-4 W78-84-85 I21	付圖-4		
F268	ニ-26-66	長方形?	N-70-W	160×90×— 138×80	W78-85 A 3		H	
F269	ニ-26-65-76 77	長方形	N-29-E	155×110×36 —	W78-85 A 3		H	
F270	ニ-26-55 65	長方形	N-72-W	150×125×70 —	W84-85 A 3		H	

遺構名	位 置	形 状	方 位	規 模 長×幅×高×深・下輪径	遺 物	重 度	排 因	備 考
F271	ニ-28-61	-	-	220×187×35 186×178			付圖-4	焼土ブロック、灰化物含
F272	ニ-26-63 73	長方形	N-89°-W	110×105×-		W78×85	"	
F273	ニ-26-67+68 77+78	長方形?	N-49°-W	170×120×30 130×90		W78×83×84× 85 A 4	"	
F274	ト-28-41	長方形?	-	112×103×48 102×92		F74×275 277	"	旧F54
F275	ト-28-41	長方形?	-	122×98×31 106×86		F274	"	旧F55
F276	ト-28-41	-	-	42×40×22 30×20		F277	"	旧F56
F277	ト-27-41	-	-	62×50×45 53×40		F274×276	"	旧F57
F278	G-5-98+99 F-5-8	不整形	N-31°-E	161×133×57 124×100		J 3 J P 123	全体図	
F280	S-4-48 58	不整形	-	130×110×70 106×104		J 11	3巻P17	
F281	C-21-86 96	円形	-	105×100×-			全体図	旧H P-10
F282	S-17-85	長方形	N-88°-E	195×84×116 152×72		N31	"	
F283	2+3 S-3-12+13 22	長方形	N-44°-W	356×234×45 336×56			"	旧炭P-1 灰化物含
F284	T-16-10 T-17-1	長円形	N-86°-W	144×67×20 118×41		J 17	3巻P26	
F285	U-16-81 82	長円形	N-45°-E	94×55×31 74×37		J 17	"	
F286	T-16-65	長方形	N-65°-W	93×59×19 74×40		J 18	3巻P29	
F287	R-1-51 52	長方形	N-72°-E	68×50×10 57×40		J 20	" P31	
F288	R-1-61 71	長方形	N-20°-E	90×70×44 80×60		J 20	"	
F289	ヲ-11-78 88	長方形	N-62°-W	90×52×-		H298	全体図	
F290	レ-10-11	長方形	N-74°-W	84×62×-		H310	"	
F291	タ-6-83 93	長方形	N-76°-W	122×80×-		H357	"	
F292	ヨ-3-56	長方形	N-3°-W	120×88×29 --×79		H379	"	
F293	リ-101-63	長方形	N-78°-E	120×98×25 --×79		H411	"	
F294	ホ-26-85	-	-	62×54×50 --			付圖-4	
F295	イ-6-26 36	長方形	N-23°-E	108×80×36 72×54		H231	全体図	
F296	ワ-8-2+3	長円形	N-42°-E	156×102×- 100×81		K175	"	
F297	ヲ-1-54 64	長円形	N-8°-W	72×51×- 48×32		H470	"	
F298	C-24-2 3	長円形	N-22°-E	250×40×50 --		W89	付圖-4	

表-177 I 井戸跡一覧表

遺構名	位 置	形 状	方 位	規 模(cm) 長径×短径×深さ-下限値	遺 物	重 棚	標 因	備 考
I 1	A 9	圓丸方形	N-87°-W	170×148×168			2巻P287	旧5P-78 平安 西側台地
I 2	イ-13	円形	N-71° W	80×75×300			#	旧5P-286 平安 西側台地
I 3	A-10	長円形	N-29°-W	190×150×445			#	旧5P-294 西側台地
I 4	ヘ-26	円形?	—	—			付図-4	深さ150cm以上か 中央台地
I 5	ト-27	—	—	—			#	# 中央台地
I 6	ホ-28	円形	N-38°-W	150×130×150			#	中央台地
I 7	ヘ-28	—	—	—			#	中央台地
I 8	ト-27	—	—	—			#	深さ60cm以上 中央台地
I 9	ト-28	円形?	—	—			#	深さ120cm以上 中央台地
I 10	ヘ-28	円形	N-62°-W	170×140×300			#	中央台地
I 11	ト-27	円形	N-49°-W	200×150×200			#	中央台地
I 12	B 16	円形	N 61° W	150×130×260			全体図	中央台地
I 13	ワ-13・14	長円形	N-18°-E	185×100×250			#	旧5P-5 東側台地
I 14	ソ-5	長円形	N 86° E	270×160×283			#	旧5P-129 東側台地
I 16	ル-4	円形	N-24°-E	160×130×4.3			#	旧5P 東側台地
I 17	カ 101	円形	N-64°-E	97×88×140		H390	1巻P141	旧5P-224 東側台地
I 18	ヲ-9	円形	N-44°-W	175×160×5.7		H446	# P206	旧5P-226 東側台地
I 19	ル-7	方形	N-61°-W	185×170×105			全体図	旧5P-236 東側台地
I 20	ヲ-101	円形	N-39°-E	240×—×100			#	旧5P-268 東側台地
I 21	ニ-26	円形	N-64°-W	180×—×140		A 4 F267 W78+83+84+ R5	#	中央台地
I 22	ヘ-26	円形	N-59°-W	240×220×150		W76	付図-4	旧I 2 中央台地
I 23	ヘ-26	円形?	—	—			#	旧I 3 中央台地 深さ150cm以上
I 24	ニ-23	円形	N-60°-W	—			全体図	旧I 1 中央台地 深さ130cm以上

表-178 W溝跡一覧表

遺構名	位 置	深さ(cm)	幅(cm)	長さ(m)	重 棚	新旧関係	備 考
W1	西側台地 B-2・3 C-1~5 D-5・6・12・13 E-6・7・10~12 F-8~10	14~95	60~400	271	J 1 W 2・3・7 25・96	• J 1→W 1 • W 1→W 2 • W 1→W 3 • W 1→W 7 • W 25→W 1	旧W-1 旧→新 W 4に繋がるか
W2	西側台地 A-1・2 B-2・3 C-3・4 D-4・5 E-3・4 F-3	30~80	30~300	152	W 1	• W 1→W 2	旧W-2
W3	西側台地 B-11~13 C-11・12 D-11 E-10 F-G-10 H-9・10 J-N-9 P-9	18~60	30~180	281	H-30・480 481 W-1・5	• W 5→W 3 • W 1→W 3 • H 30→W 3 • H 481→W 3 • H 480→W 3	旧5W-24 # 53W-3
W4	西側台地 D-20~22 E-20~24	33~48	30~270	97.5			W 1に繋がるか 旧W-5
W5	西側台地 M-N-9 P-V-9	20~47	70~120	172	H P 37 W 3 J 15A・B	• W 5→W 3 • J 15→H P 37→ W 5	旧N-9-85地 旧53W-5
W6	西側台地 イ-11・12 ロ-13	—	70~90	24			旧W-6
W7	西側台地 B-12・13 C-E-12	30~60	40~140	63	W 1	• W 1→W 7	旧W-7
W8	西側台地 E-F-1	33~65	140~200	10			旧W-8
W9	西側台地 K-1	39~104	30~60	7・0	H 99 W 13	• H 99→W 9 • W 9・13不明	旧W-9
W10	中央台地 ニ-23 ホ-22・23	60	70~90	26.5	J 31・32	• J 32→J 31 →W 10	旧W-10
W11	中央台地 ホ-22~24	45~57	90~170	63.5	H 132 J 33・60 J P 118	• J 33→J P 118 →J 60→H 132 →W 11	旧W-11
W12	中央台地 K-1	35~60	30~40	2.5	H 99	• H 99→W 12	旧W-12
W13	中央台地 K-1	不明	30~50	5.0	W 9	• 不明	旧W-13
W14	西側台地 イ・ロ・ハ-11 ハ-12 A-B-11	18~40	40~110	73.5	H 483・488・490 K 193 W 21・62・69	• H 483・488 490・K 193 →W 14 • W 14→W 21 • W 14→W 62 • W 14→W 69	旧5W-28
W15	西側台地 A-B-14 A-15 B-C-13	45~52	80~100	50	H 144	• H 144→W 15	旧W-15
W16	西側台地 D-1・101 E-101・102 F-102・103	20~53	80~180	143	K 44・80・84 88 W 18・26・74	W 18 • W 16→W 26 W 74 • K 44・80 84・88 →W 16	旧W-16
W17	西側台地 F-103 G-101・102・103 H-1・101	8~20	30~70	124	K 34・36・37 39・85・86 89・105A・B W-18・20・22 38 J P 70	• K・J P→W 17 • W 22→W 18・W 17 • W 17→W 38 • W 17→W 20	旧W-17

遺構名	位 置	深さ(cm)	幅(cm)	長さ(m)	重複	新旧関係	備考
W18	西側台地 F-2・3・103 G-1・2・101・102・103 H-1・101	18~80	50~180	172	K37・39・40・41 43・85・86・89 W16・20・33・34 38・74 H185・186・242 J P69・70	・K・H・J P→W18 W18→W20・33 34・38 ・W16→W18 W74	IHW-18
W19	西側台地 J-1・101 H-101	10~35	40~100	37	K38 H188 W20	・K38→W19 ・H188→W19 ・W20→W19	IHW-19
W20	西側台地 G-1・101 H-101	18~35	70~150	435	K37・39 H188 J S 6 W17・18・19	・J S・H・K→W20 ・W17→W20 18 ・W20→W19 ・W20→W24	
W21	西側台地 A 11~13 B・C・D 11 イ 11・12・13	25~80	50~110	105.5	H27・483 493 W14・62・67	・H→W21 W14 ・W62→W21 W67	IHW-25
W22	西側台地 G-102・103	5~80	22~60	25.5	W17・18	W22→W18 →W17	IHW-22 W17の下面
W23	西側台地 A・B-17 C-17~20	10~18	60~150	105	K47・59・62 73 H194・219 W30	・K・H→W23 ・W23→W30	IHW-23
W24	西側台地 H-101	—	40~50	3.0	W20	・W20→W24	IHW-24
W25	西側台地 A 1・101 イ-101 B-1,2 C-2	45	45~200	79	H187 W1	・H187→W25 ・W25→W1	IHW-25 W28に繋がるか
W26	西側台地 F-102・103	4~31	50~100	39	K44・45・46 W16	・K44・45→W26 46 ・W16→W26	IHW-26
W27	西側台地 C-102 D-102・103 E-103	35~45	50~200	57	K92 H200・212・213 216・226 W32	・K・H→W27 W27→W32	IHW-27
W28	西側台地 J-14~15 K 16・17	25	80~120	69			IHW- J-14
W29	西側台地 C-19・20	30~35	40~80	33.5	H221・227 W30	・H221→W29 227 ・W29→W30	IHW-30
W30	西側台地 C-19	36~55	90~120	13.0	H227 W23・29	・H227→W30 ・W23→W30 ・W29→W30	IHW-29
W31	西側台地 S・R-19	22	80~120	33.5			IHW-S 19
W32	西側台地 C-102 D-102・103	22~50	70~210	31.5	H236 K101 W27	・K236・101→W 32 ・W27→W32	IHW-32
W33	西側台地 E-3 F-2・3 G-2	8~18	30~100	50	H242 K104 W18・74	・H242・K104 →W33 ・W18・74→W33	IHW-33
W34	西側台地 E-3 F-3 G-2・3	8~15	40~70	61.5	W18・74	・W18・74→W34	IHW-34
W35	西側台地 イ-101 ロ-1・101 ハ-1 A-102・103 B-103	70~150	170~280	94	H254・256 W36	・H254・256→W35 ・W36→W35	IHW-35

遺構名	位 置	深さ(cm)	幅(cm)	長さ(m)	重 量	新旧関係	備 考
W36	西側台地 イー1・101 ロー101~103	27	80~180	68	W35	・W36→W37	旧W-36
W37	西側台地 A-5 イ-5	23~27	40~80	16	H1350 K181	・H350→W37 ・K181→W37	旧5W-10
W38	西側台地 F-103 G-103	—	70~110	10	W17・18・20 72	・W17 18 20 72	旧W-38
W39-1	東側台地 ヨー105・106 タ 106	40~62	270	43	W98	・W98→W39-1	旧5W-19 W48に繋がるか
W39-2	東側台地 タ-107 ツ-116 レ-107・108 ソ-108~110	5~20	40~70	88			旧5W-19
W40-1	東側台地 レ-105	30	30~68	17			旧5W-18 W52-2に繋がるか
W40-2	東側台地 レ-106・107 ゾ-107~109	6~27	30~70	64			旧5W-18
W41	東側台地 カ 105 ヨ 105・106	30	70~120	28			旧5W-41
W42	西側台地 A-イ-8	60	140~220	21	H241	・H241→W42	旧W-42
W43	中央台地 ニ-22	55	70~100	14	W91	・不明	旧W-43
W44	西側台地 ハ-105・106 ニ-106	30	230~250	13.5			旧W-44
W45	東側台地 ヨ-10 タ-7~12 ル-7・11~14	25~68	50~490	185	W46・50・54	・W45→W46 ・W45・W50 ・W45-W54	旧5W-1
W46	東側台地 チ-リ-6 ヌ-6・7 ル・ヲ-ワ-7	70~100	80~190	107	F243 W45	・W46→F243 ・W45-W46	旧5W-16
W47	東側台地 ヌ-4~6 ル-3・4	45~56	70~110	62			旧5W-13
W48	東側台地 ル-4~6 ヲ-1~4 ワ-1・101・102	22~64	80~230	134	H391 K161・163	H391→W48 Kとの関係不明	旧5W-1~1
W49	東側台地 ウ-7~11 カ-3~7 ヨ-1~3・3・101 タ-101・102	12~40	40~110	227.5	H374・375・383 418・443・454 464・474・478 H P79W構状2 W50・51・61・97	・W97・50・51→W49 ・W49→W61 ・H P79→W49 ・W構状→W49 ・H→W49	旧5W-2
W50	東側台地 リ・ヲ・ル・ヲ-10 ヲ-11 ワ-7~11 カ-3~7 ヨ-1~3・3・101 タ-101	15 80	50~150	296.5	H374・375・383 418・443・454 464・474・478 H P79W構状2 W45・49・51・61	・W45・51→W50 ・W50-W49・61 ・H P79-W50 ・W構状→W50 ・H→W50	旧5W-3
W51	東側台地 カ-3~9 ヨ-1~3・3・8~11・101 タ-11~13・101・102	70~110	40~300	270.5	H294・305・374 375・383・474 478 W49・50・52・61	・W52→W51 ・W51→W49・50 61	旧5W-4
W52-1	東側台地 ヨ-7~13	13~49	50~190	141	H304・306・307 K154 W51 F143・89	・H→W32-1 ・W52-1→W51 ・K154→W52-1 ・Fとの関係不明	旧5W-5
W52-2	東側台地 タ-101 レ-101・102	31	60~80	24			旧5W-5

遺構名	位 置	深さ(cm)	幅(cm)	長さ(m)	重 棚	新旧関係	備 考
W53	東側台地 タ-7~10	17~43	30~70	69	H439 K164・168・195 W54 W溝状1	• H・K→W53 • W54→W53 • W溝状1→W53	IJ5W-6
W54	東側台地 リ・ヌ・ル・ヲ・ワ-9	16~27	50~140	80	H442・444 K171・172 W45・53	• H・K→W54 • W45→W54 • W54→W53	IJ5W-7
W55	東側台地 タ-11 レ-10・11	14~16	80~140	22			
W56	東側台地 ト-4・5 チ-3・4	35~50	80~140	55	H455・457 J58	• H455・457 →W56 • J58→W56	IJ5W-14
W57	東側台地 タ-2	8~12	50~60	5.0	M1	• M1→W57	IJ5W-15
W58	東側台地 ヨ・タ・レ・ソ・ツ-2	70	80~160	75	H380・418 K150 F249	• H380・418 →W58 • K150→W58 • F249→W58	IJ5W-17
W59	東側台地 ト-2・3 チ-1・2・3 リ-1・101・102	26~45	70~170	97	H457・460 463・473 F230	• H→W59 • W59→F230	IJ5W-14 5W-20
W60	東側台地 ヌ・ル-3	6~24	70~130	30.2	H P104A・B	• H P104A・B →W60	IJ5W-21
W61	東側台地 カ-4・5・6	20~26	60~120	28.5	H369・375 383 W49・50・51	• H→W61 • W49・50・51 →W61	IJ5W-21
W62	西側台地 A-11~13 イ-11~13	27	50~80	26	H483・493 W14・21・67	• H→W62 • W62→W14・21 • W67→W62	IJ5W-27・28
W63	西側台地 イ-10・11	18	40~110	20.5			IJ5W-30
W64	西側台地 A・イ-4	12	50~100	13.5	K132	• K132→W64	IHW-64
W65	西側台地 A・イ・ロ-4	11	70~150	32	H352	• H352→W65	IJ5W-11
W66	西側台地 A-13 イ-13 ロ-13・14 ハ-13・14	50	100~200	62	H137・138 141 J P42	• H→W66 • J P42→W66	IJ5W-1
W67	西側台地 A-11・12 B-11 イ-12	25~43	80~120	34	F254・257 W21・61	• W67→F254 257 • W67→W21・62	IJ5W-26
W68	西側台地 ロ・ハ-10	43	160~210	23	H323	• H323→W68	IJ5W-9
W69	西側台地 イ-11・12	40	70~110	145	W14	• W14→W69	IJ5W-31
W70	西側台地 A-13・14 B-13	—	80~100	10			IHW-A-13
W71	西側台地 E・F-1	10	50	25	K94 W74	• K94→W71 • W74との関係不明	IHW-20東
W72	西側台地 G-103	6~13	40~50	11	K86・89 J P78 W38	• K・J→W72 • W72→W38	IHW-31
W73	西側台地 イ-2・3 ロ-3	—	70~150	43			IHW-37
W74	西側台地 D-102 E-101・102 F-1~3・101 G-2	22~80	40~200	106	H185・186・208 213・242 K66・88 W16・18・33・ 34・71	• H・K→W74 • W74→W18 33・34 • W16→W74 • W71との関係不明	IHW-14・21

連続名	位 置	深さ(cm)	幅(cm)	長さ(m)	重 量	新旧関係	備 考
W75	中央台地 ニ-25 ホ-25 ヘ-25・26 ト-26 チ-26・27 リ-26~30	35~105	200~320	155.5	W77・101	• W75→W77 • W75→W101	IJW-12東 IJW-8
W76	中央台地 ヘ-26・27 ト-27 チ-27・28 リ-28	37~100	150~350	136.3	F27・54・55・56 I22 I5	• F・I 5との関係不明 • W76→I22	IJW-9
W77	中央台地 リ-28・29	26~90	100~140	23.5	W75	• W75→W77	IJW-12
W78	中央台地 ニ-25~27	15~38	200~360	28.5	W83・85・84 F267~279・272 I21 A II~IV	• F→W78 • W78→W85 • W83・84→W78 • F273→W78 • W78→F268 • W78→F267	IJW-13 F269との関係不明
W79	中央台地 ト-28	42~45	180~200	14.5	W80 F66	• W80→W79 • W79→F66	IJW-15
W80	中央台地 ヘ・ト-28	—	80~200	11.5	W79 I 7	• W80→W79 • I 7との関係は不明	IJW-80
W81	中央台地 ト-27	28~47	150~220	10			IJW-9北
W82	中央台地 ヘ-27	—	190~230	7	F43	• 不明	IJW-82
W83	中央台地 ニ-26 ホ-26・27	75	70~120	23	W78・84・85 F273 AIV I21	• W84→W83 • W83→W78・85 • F273→W83 • A IV→W83・I 21	IJW-13
W84	中央台地 ニ-25・26	12~30	60~100	22.5	W78・83・85 86 A II~IV F270・I 21 F267	• W84→W78・85 • W84→I 21 • その他の関係は不明	IJW-84
W85	中央台地 ニ-25~27	53~64	120~310	13	W78・83・84 86 A II~IV F267・268 270・272 I 21	• W78・83・84→W85 • A II~IV→W85 • F270・267→W85 • W85→I 21	IJW-13西 • F273→F85 • F269W86との関係は不明
W86	中央台地 ニ-25・26	20~34	45~70	11.5	W84	• 不明	IJW-86
W87	中央台地 ニ・ホ-25	36~61	70~90	12.5	A 1	• 不明	IJW-13
W88	西側台地 R-1・101・102	19~40	40~80	46	J 19・23・27 J P27・39	• J 19・23・27 • J P27・39→W88	IJW-8 8
W89	中央台地 C-23・24 D-24	—	40~120	22.5	F298 J P41	• W89→F298 • J P41→W89	IJW-89
W90	中央台地 M・N-1	18~40	50~90	23	H117・119	• H117・119→W90	IJW-90
W91	中央台地 ニ-21・22	—	50~70	14.5	W43 J P89	• W43→W91 • J P89→W91	IJW-43南
W92	西側台地 H-8 J-7・8 K・L・M-7	—	50~70	76	H115・65~68 J P 5	• H→W92 • J P 5→W92	IJW-92
W93	西側台地 J・K-6	13~26	40~70	21	H74	• H74→W93	IJW-93

遺構名	位 置	深さ(cm)	幅(cm)	長さ(m)	重 棚	新 古 圖 類	備 考
W94	中央台地 ニ-24	-	50~100	15			IIW-94
W95	中央台地 ニ-28・29 ホ-28・29 ハ-29	-	150~250	43			IIW-95
W96	西側台地 C-4	-	300~500	7.5	W1 J1	J1 → W96 → W1	IIW-96
W97	東側台地 フ-11	8	80	4.5	W49	W97 → W49	IIW-97
W98	東側台地 タ-106	-	50~80	12	W39-1	W98 → W39-1	IIW-98
W99	中央台地 ハ-22	55	150	7	J50	J50 → W99	IIW-103
W100	中央台地 ロ-ハ-22	50~58	350~450	9.5	J50	J50 → W100	IIW-102
W101	中央台地 ト-26 チ-26・27 リ-27	40	90~150	51	W75	W75 → W101	IIW-104
W講状 1	東側台地 ル-フ-7	14	50~100	8	H438 W53	H438 → 溝状1 溝状1 → W53	
W講状 2	東側台地 ワ-7	43	60~100	7	W49-50	溝状1 → W49 -50	

表-179 A地下式土坑一覧表

遺構名	位 置	形 状	方 位	規 模 (外径) (cm)	遺 物	重 棚	新 古	備 考
A I	中央台地 ニ-ホ-25	室部 円形	N-85°-E	600×450×90	壁	W87	付図-4	東側に入口部
A II	中央台地 ニ-26	室部 円形	-	410×255×118	壁	W78-84-85	"	室部円筒状断面 東側に入口部か
A III	中央台地 ニ-26	室部 円形	N-71°-W	400×270×158		W78-84-85 F267-270 121	"	東側に入口部 緩い階段状 径140×80cm
A IV	中央台地 ニ-26	室部 円形	-	400×250×100		W78-83-84- 85 F273-267 121	"	未掘・断面からの推定

表-180 N性格不明遺構一覧表

遺構名	位 置	形 状	方 位	規 模 (長径×短径×厚×下端径)	遺 物	重 棚	新 古	備 考
N 1	ヨ-13-46 47	長円形	N-27°-E	148×107×23 127×90			全体図	旧5 P-3
N 2	カ-10-73 83	長方形	N-6°-W	130×70×15			"	旧5 P-7
N 3	ワ-10-88-89 98-99	方形	N-69°-W	130×110×43			"	旧5 P-9
N 4	ヨ-12-63-72 73-74	長円形	N-9°-E	325×185×145			"	旧5 P-10
N 5	レ-10-27 28	長円形	N-4°-E	160×90×-		II300	"	旧5 P-12
N 6	ヨ-9-84	長円形	N-4°-E	80×70×- 60×55			"	旧5 P-54
N 7	タ-10-57 67	円形	N-20°-E	110×100×-			"	旧5 P-60

遺構名	位 置	形 狀	方 位	規 模 長径×幅径×深・下端径	遺 物	重 量	博 団	備 考
N 8	タ-10-90	長円形?	N-77-W	100×40×-		K124	全体図	旧5 P-68
N 9	レ-7-22 23	方形?	-	72×60×27 -		N10 K153	"	旧5 P-75
N 10	レ-7-32	円形	N-9.5'-E	93×87×34 -		K 9 K153	"	旧5 P-76
N 11	タ-9-18	不整方形	N-0'	80×70×		K125	"	旧5 P-79
N 12	リ-102-68-59 78-79	方形?	N-43'-W	90×85×-			"	旧5 P-196
N 13	リ-102-9 ヌ-102-19	方形	N-2'-E	120×115×-			"	旧5 P-197
N 14	ヌ-102-98-99 ル-102-8-9	方形	N-20'-E	100×100×-			"	旧5 P-207
N 15	タ-5-41	円形	-	110×110×-			"	旧5 P-214
N 16	タ-5-33-34 43-44	円形	N-0'	115×105×-			"	旧5 P-215
N 17	タ-5-53 54	長円形	N-6'-E	95×55×-			"	旧5 P-216
N 18	ワ-6-14 24	長円形	N-20'-E	158×110×24 -			"	旧5 P-221
N 19	ヌ-1-24-25 35-36	円形	N-27'-W	100×90×-	M 1	"		旧5 P-222
N 20	ル-1-33 34	長円形	N-8'-W	130×80×75 -			"	旧5 P-223
N 21	ル-10-98 タ 10 8	長方形	N-46'-E	120×80×-			"	旧5 P-269
N 22	タ 10 77 78	長方形	N-60'-W	210×110×-			"	旧5 P-270
N 23	ワ-10-23	不整円形	N-34'-E	100×90×-			"	旧5 P-272
N 24	ワ-8-21-31 ワ-7-30-40	円形	N-78'-E	120×110×-			"	旧5 P-275
N 25	ワ 7 31-41 ワ-6-40-50	橢円形	N-16'-E	150×120×-	N26	"		旧5 P-276
N 26	ワ-7-40-50	橢円形	N-61'-W	170×110×-	N25	"		旧5 P-277
N 27	ワ-7-25	長方形	N-30'-E	180×130×-			"	旧5 P-278
N 28	ワ-7 32-42	橢円形	N-11'-E	120×100×-			"	旧5 P-279
N 29	ワ-7-71-81 ワ-6-80-90	長方形	N-69'-W	220×80×-			"	旧5 P-280
N 30	タ-7-71 タ-6-80	長円形	N-68'-W	160×130×-			"	旧5 P-281
N 31	S 17-83-86 94-96	73-75 ピット群	-	-			"	旧5-17 85號
N 32	E-7-79-80 89-90	長円形	N-23'-W	250×150×-			"	圓錐木状P
N 33	タ-3-64-73 74-83	不整形	N-6'-E	400×320×-			"	旧燒土P-1
N 34	ワ-11-29 39	円形	-	100×100×-			"	旧燒土P-2

遺構名	位 置	形 状	方 位	規 模 長さ×幅さ×深さ・下端性	遺 物	重 複	標 団	備 考
N35	イ 11-51 イ -10-58・67 他	ピット群	-	深さ28~76	-	-	全体同	-
N39	タ 7-28 29	鼓円形	N-78-W	78×30×- -	K120	"	-	-
N40	V- 9-20	不整長円形	N-56'-W	172×48×60 119×19	J15-B	"	-	-

結語

芳賀団地遺跡群発掘調査報告書 第3巻 芳賀東部団地遺跡III（縄文・中近世編）一 を刊行することができた。

本報告書は、芳賀東部団地遺跡「I」「II」（古墳～平安時代編 その1、その2）と合せて3巻となり、芳賀東部団地遺跡の報告書として完結するものである。

芳賀東部団地遺跡は、昭和51～55年までの5ヶ年間で約40haの地の発掘調査を実施したのである。本地域は、前橋市小坂町の畠、水田地帯であり、小さい谷地を挟んで東、西と中央の三つの台地となっている。ここに前橋工業団地造成組合が工業・住宅団地造成を計画した。そこで開発に先立ち埋蔵文化財の事前発掘調査を実施したものである。

本報告書刊行するにあたり幾多の困難に遭遇している。本市にとって最初の大規模発掘調査であり、丘陵（台地）の全面の発掘を実施したため遺構・遺物が膨大であった。それに伴い、3巻を刊行するまで整理期間10年間を要した。

本報告書第3巻において解明できた主なものとして次の事項がある。

- 群馬県内外においても調査事例の少ない縄文時代前期を中心とする60軒におよぶ住居跡・100基以上の土坑・配石遺構の調査ができた。今後における縄文時代の住居跡・住居形態の変遷・占地住居の配置・遺物・住居と遺物との関連等々の研究するにあたって好資料が得られた。そのために上器・石器・住居跡等の図版資料、写真等を多く収録した。
- 縄文の住居跡については、時期別にまとまりがみられ、「集落」の存在が考えられる。また、時期別に住居跡を詳細に分析・検討した結果、住居の形態、住居の面積、周溝、柱穴、炉の位置等についても時期別、時代別に特徴が見られ住居変遷の資料が得られた。
- 土坑は、土坑内の出土遺物からみると住居跡と土坑との関係、占地についても関連があることが認められた。
- 赤城南麓の解析台上における縄文時代前期を中心とした住居跡の変遷を把握することができた。
- 中近世の遺構の中で「城館跡」とみられる堀跡が発見され城館跡の資料を得ることができた。堀の中より明代の青花磁器が出土している。県内の出土例をみると城跡や寺院関連遺跡、廻跡などを中心とした遺跡から出土しており非常に限られた上級階層のみが入手した遺物を出土している。
- 数多くの墓壙とみられる土坑が発見されている。
- 芳賀東部団地遺跡での平安時代以降の占地の利用状況を示す資料が得られ、前橋における赤城南麓の文化の傾向を窺い知れるものと考えられる。

等々の成果をあげることができる。

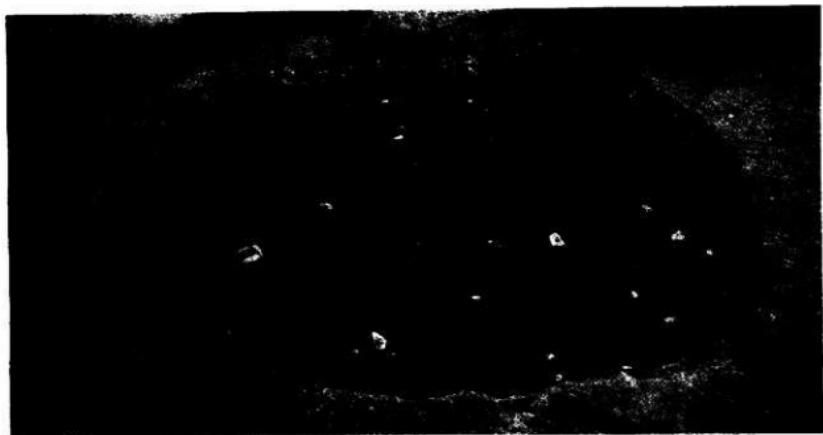
発掘担当者は発掘調査を実施するだけでなく、調査資料の整理、検討、分析、統合、深化をくり返し調査成果をまとめ公表することで発掘調査担当者の一応の責務が完結するものと考えられる。報告書を刊行することで遺跡調査を実施した遺跡に恩返しができるものと考える。遺跡調査を実施するためには多くの関係者、費用負担した機関、調査を支えてくださった機関や作業員等々協力なしでなし得なかつたものであり、その感を深く感ずるものである。

本報告書が今後刊行される芳賀西部、芳賀北部団地遺跡の報告書と合せて、芳賀地区の歴史、前橋の歴史の解明の一助になるものと期待する。また前の2巻と合わせて芳賀東部団地遺跡の報告が斯学の學問的研究の一助になるものと期待する。

報告書が刊行できたことに対して数多くの関係者に深く感謝申し上げます。

(福田)

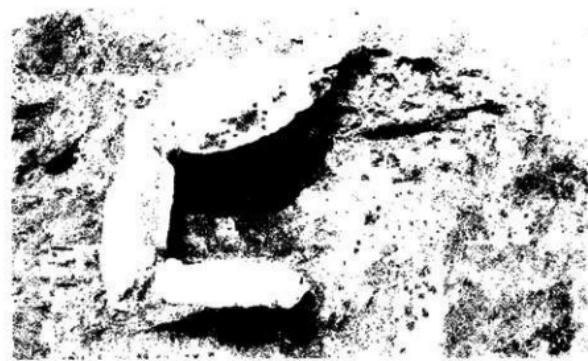
写 真 図 版



J 1号住居跡（南より）



同遺物出土状態（北西より）



同炉跡

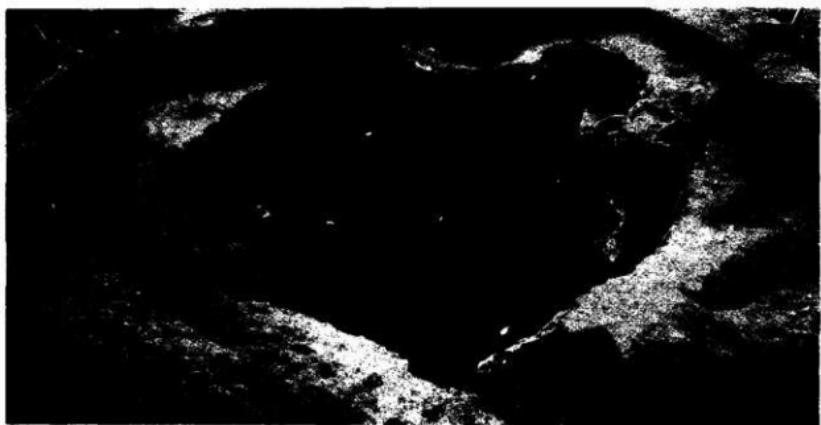
図版 2



J 2号住居跡（東より）



同遺物出土状態（南より）



J 3号住居跡・J P122~124・F279号土坑（北東より）



南西隅出土炭化材



同如跡

図版 4



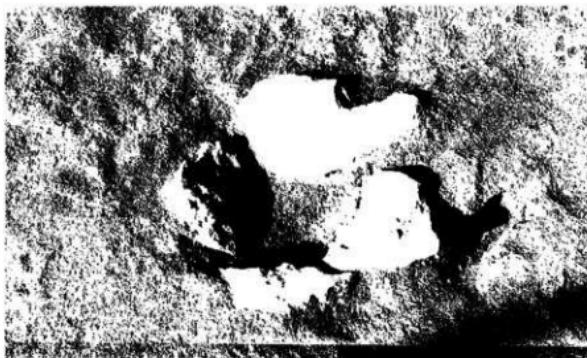
J. 4号住居跡（北夷より）



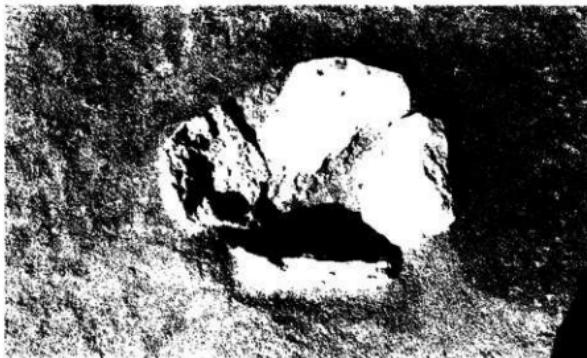
同遺物出土状態



J 5 住居跡（南西より）



同炉跡 1（東側）



同炉跡 2（西側）

図版 6



J 6号住居跡（西より）



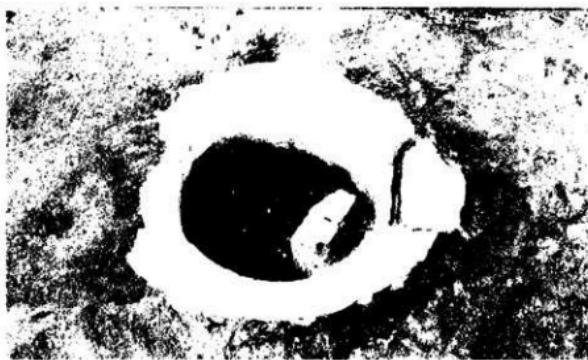
同炉跡



J 7号住居跡（北東より）



同遺物出土状態



同出土埋設土器

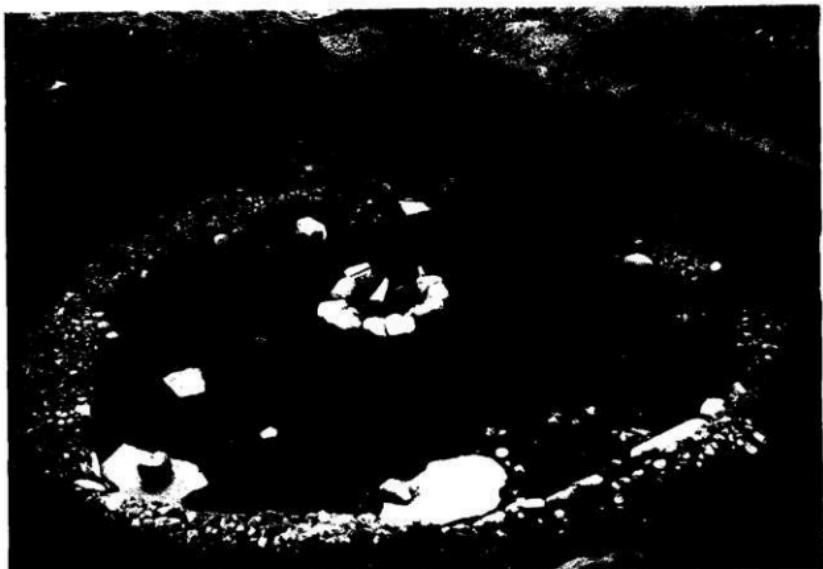
図版 8



J 8号住居跡（北西より）



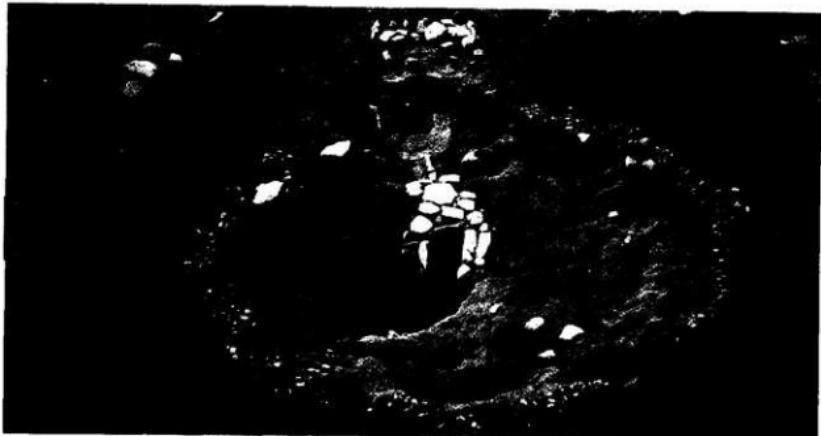
同出土埋設土器



J 9 号住居跡 (北東より)



同跡跡



J 10号住居跡 (南西より)



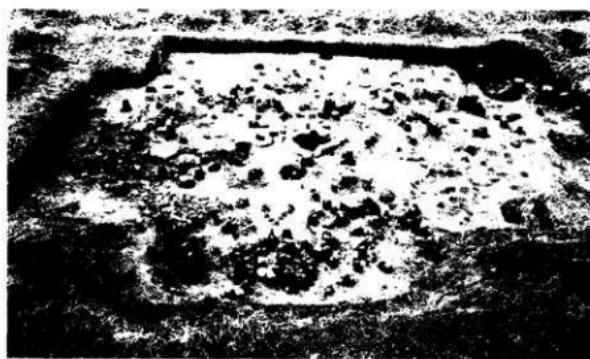
同炉跡・土坑



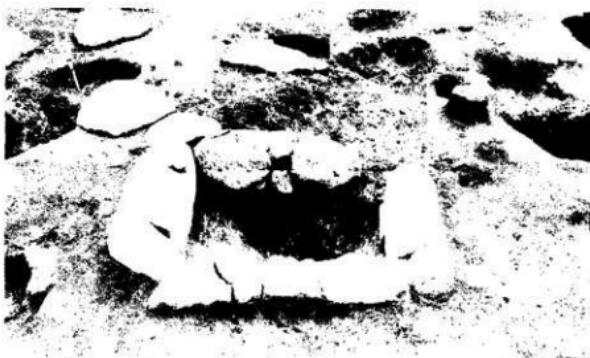
同炉跡



JII号住居跡（北東より）



同遺物出土状態



同炉跡

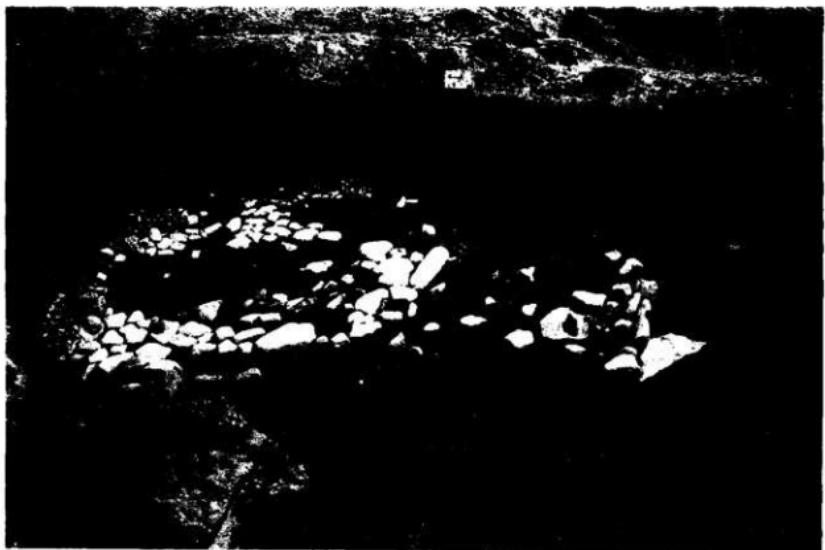
図版12



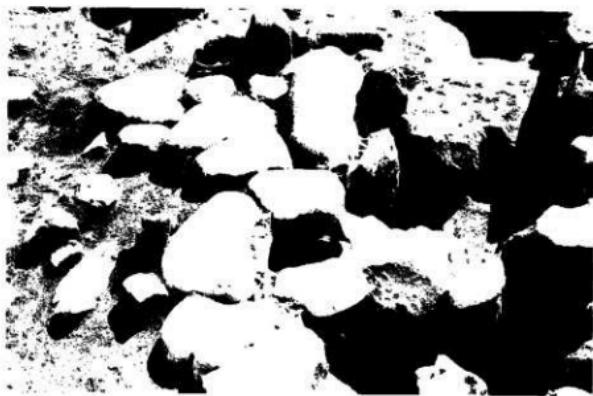
J 12号住居跡（西より）



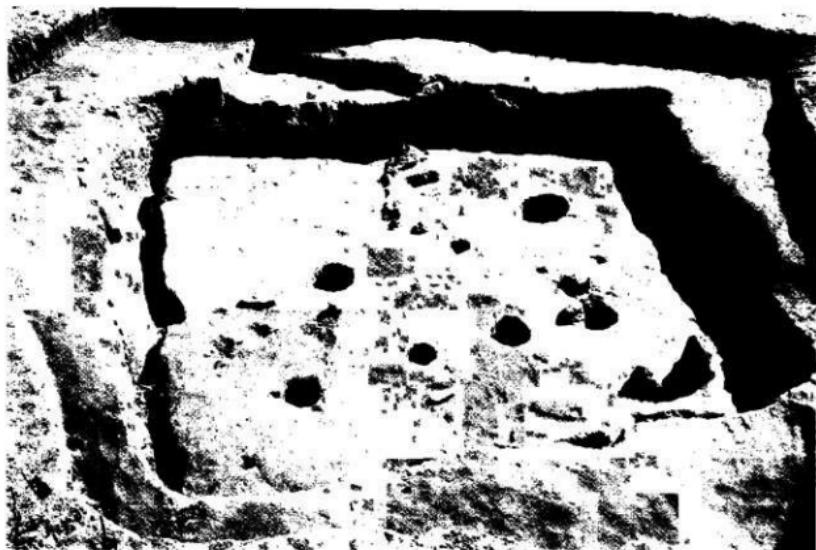
同遺物出土状態



J13号住居跡（北西より）



同前



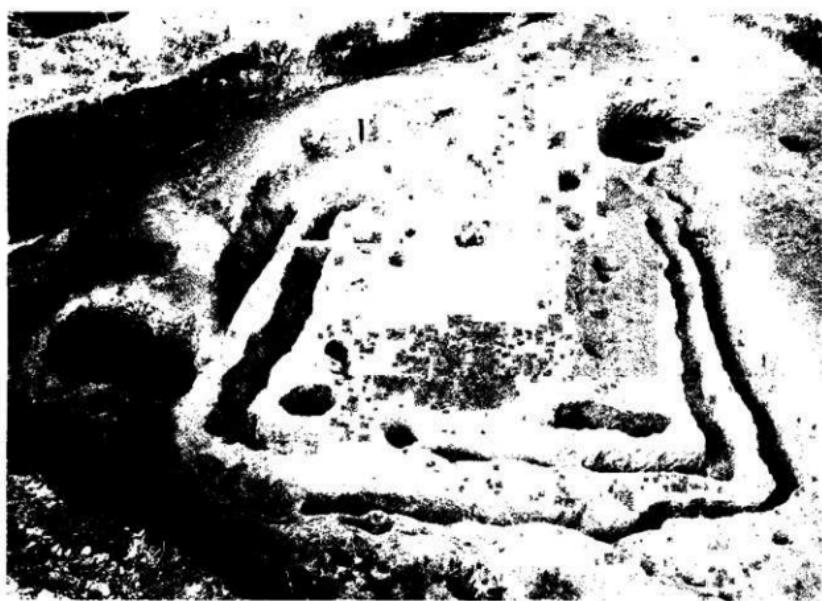
J 14号住居跡（西より）



J 15号住居跡（北より）



J16号住居跡（北西より）



J17号住居跡（南より）

図版16



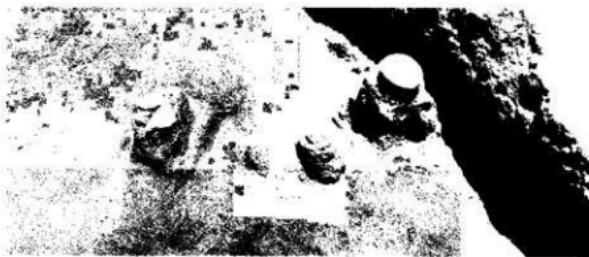
J 18号化層跡（西より）



J 19号生層跡（内側）
(北より)



J 20号住居跡（北より）



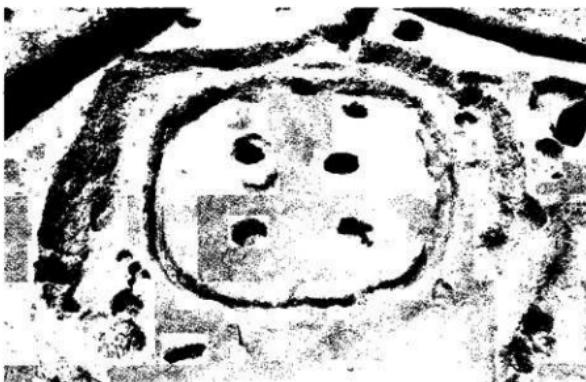
洞遺物出土状態



J 21号住居跡（北より）



J 22号住居跡（東より）



J 23号住居跡（外側）（北より）



J 24号住居跡（北より）



J25号住居跡（北より）



同遺物出土状態



同炉跡



丁26号住居跡（南より）



住居上層断面（東西面）



住居土壙断面（南北面）



J 27(外)・30(内)号住居跡・JP 107号土坑(東より)



同遺物出土状態



J 27号住居跡

図版22



J P群・I (J 28号住) (東より)



同遺物出土状態



J 29・59号住居跡 (南東より)・J P111号土坑 (左上)



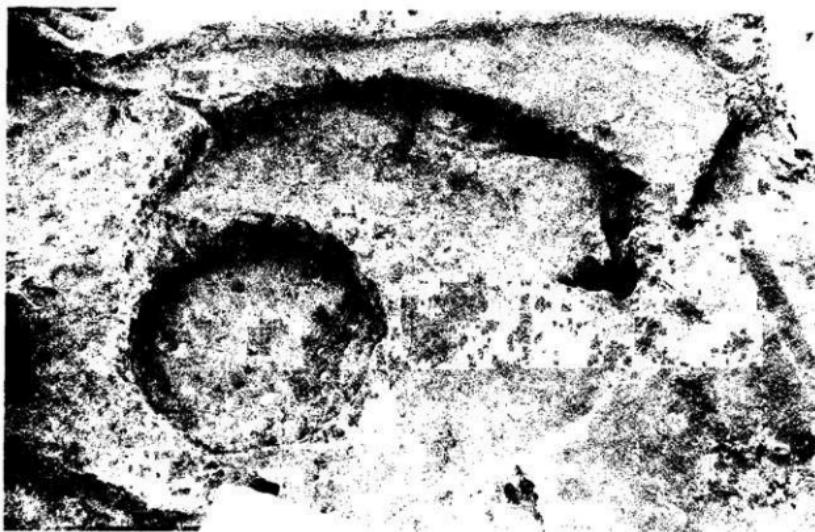
J 31・32号住居跡（北より）



同遺物出土状態



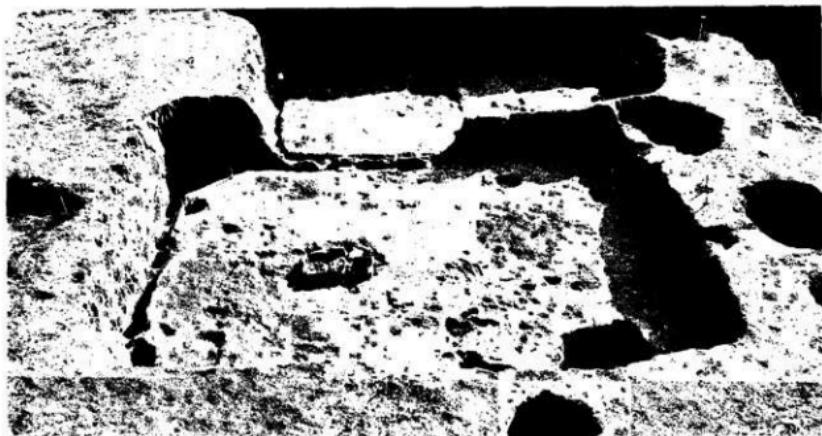
同炉跡



J 33(中央)・J 60(外) 号住居跡・J P 118号土坑(左下)(東北より)



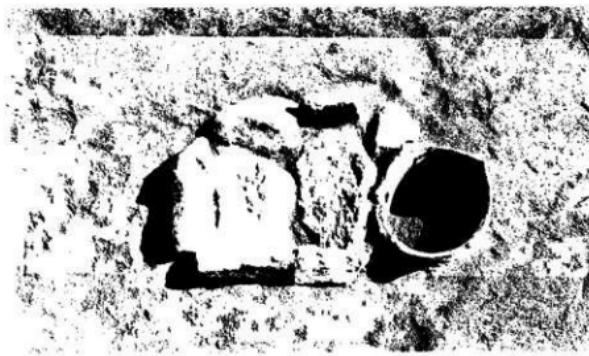
J 34号住居跡(北より)



J 35号住居跡（西より）

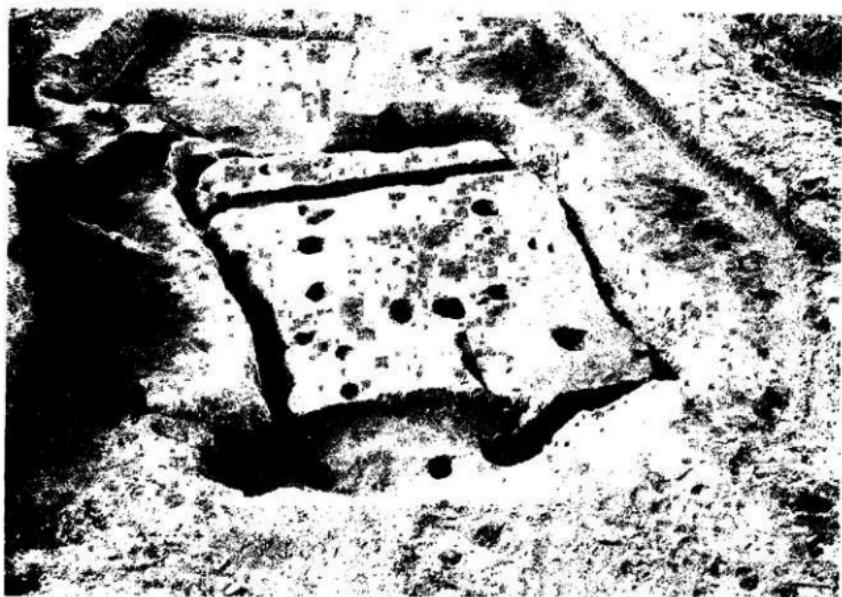


住居東側遺物出土状態



炉跡

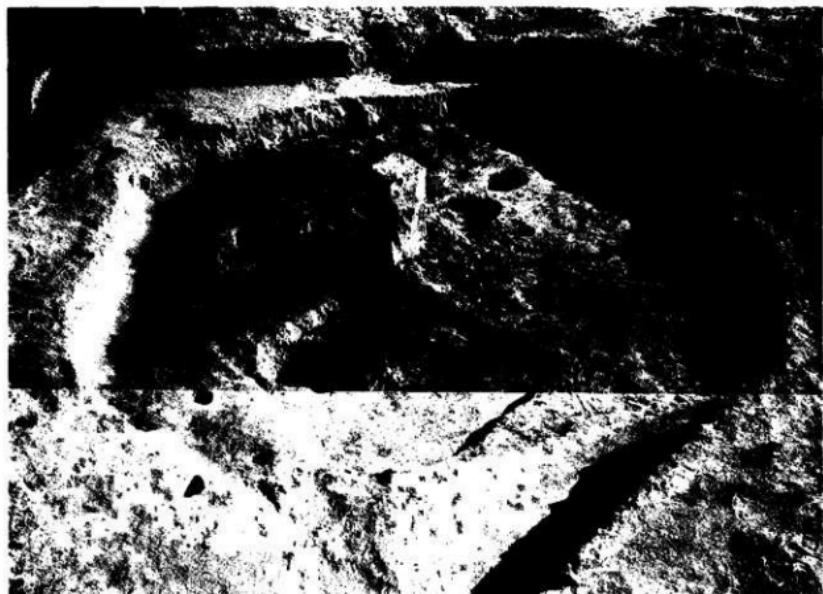
図版26



J36号住居跡（東より）



同遺物出土状態



J 37号住居跡（西南より）



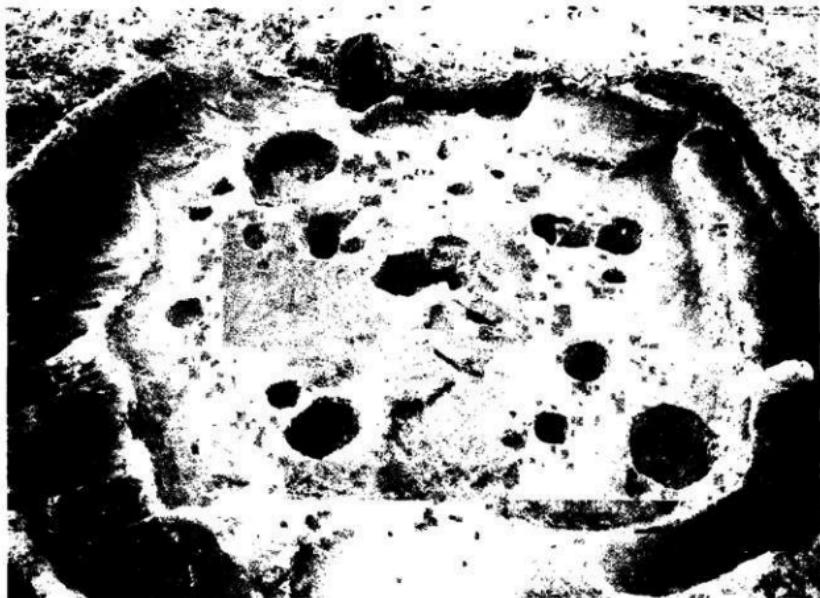
同遺物出土状態



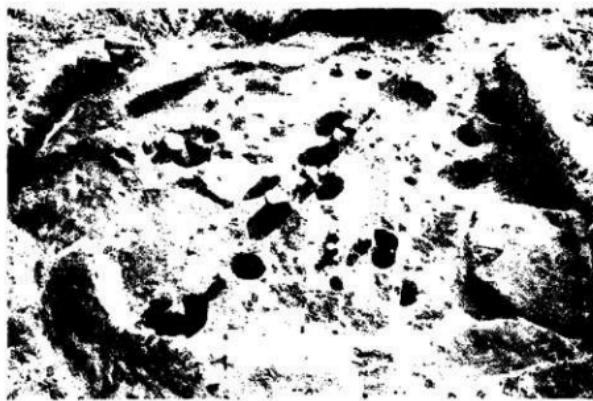
J38号住居跡（南東より）



同遺物出土状態



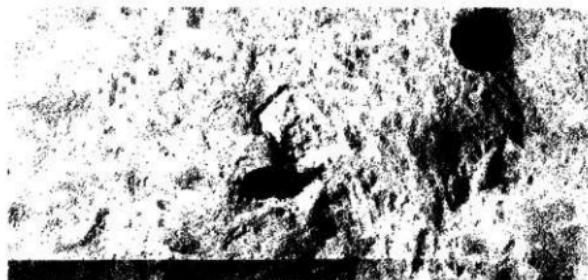
J 39-61号住居跡・J P 60-112号土坑(東より)



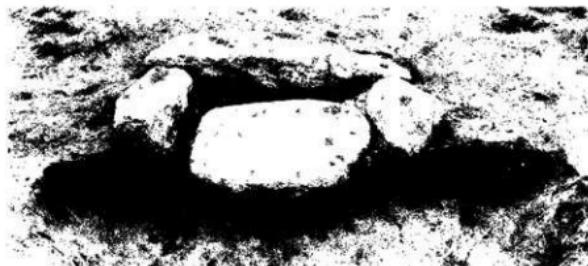
同遺物出土状態



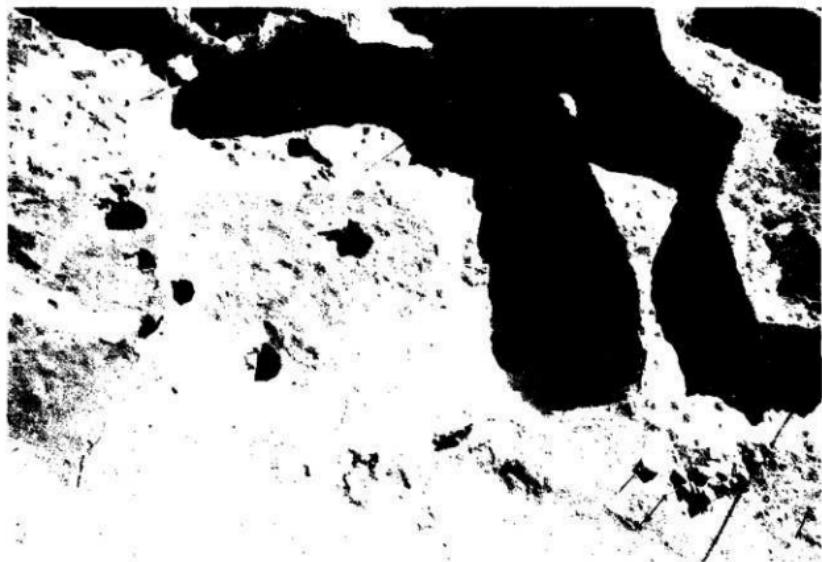
J 40(手前)・J 41(奥)号住居跡 (北より)



J 40号住居跡



J 41号住居跡



J 42号住居跡(南より)



同遺物出土状態



J43号住居跡（東より）



同焼土分布状態



J 44号住居跡（西より）



J 46号住居跡（西より）

図版34



J 47号住居跡（北より）



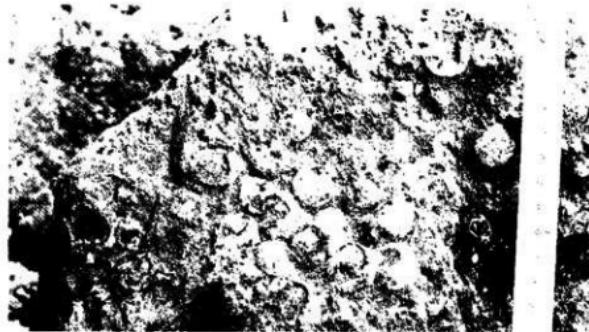
同遺物出土状態



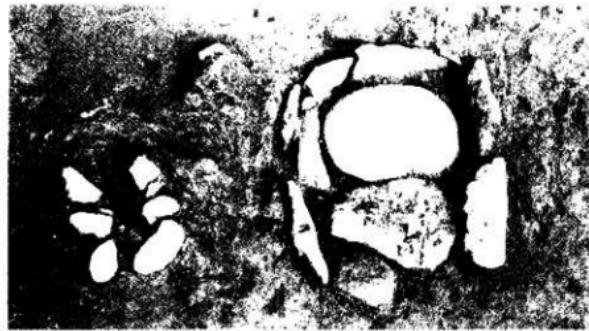
同炉跡



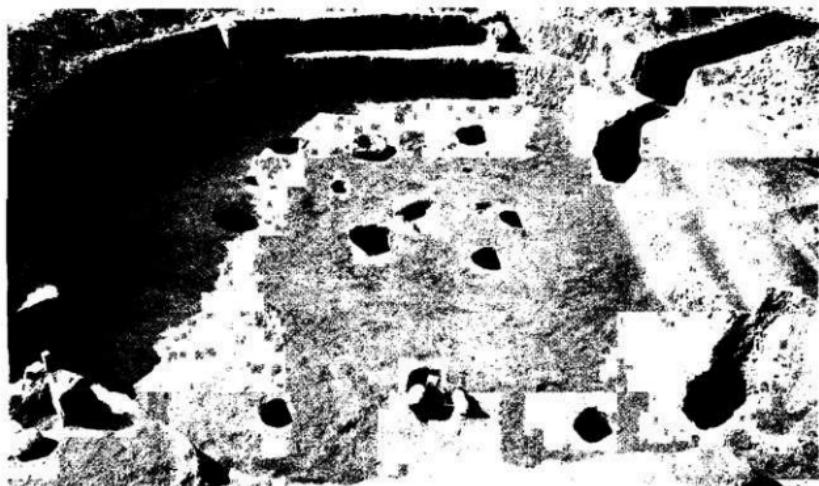
J48号住居跡（西より）



同出土種子



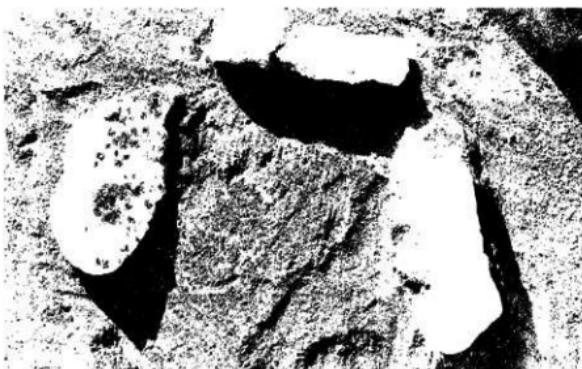
動物骨



J 49号住居跡（東より）



同炉跡 1（奥側）



同炉跡 2（手前側）



J 50号住居跡（西より）



同遺物出土状態



同上器出土状態



J51号住居跡（南より）



司遺物出土状態



同炉跡



J 52号住居跡・J P 138・139号土坑（北西より）



同遺物出土状態



J 53号住居跡（北より）



同戸跡



J 54号住居跡 (東より)



同上跡



J 55号住居跡（西より）



瓦遺物出土状態



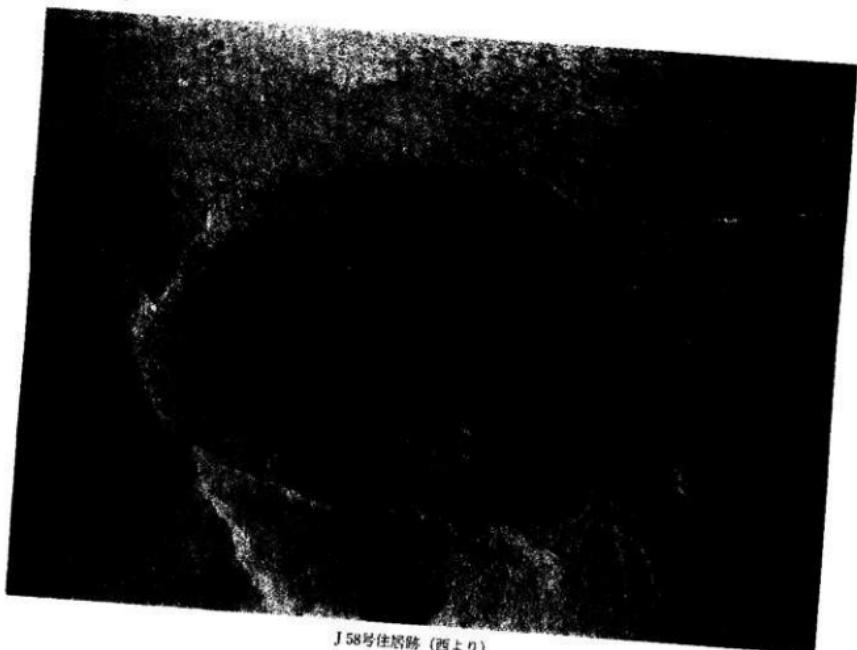
同炉跡



J56号住居跡（西北より）



J57号住居跡（西より）



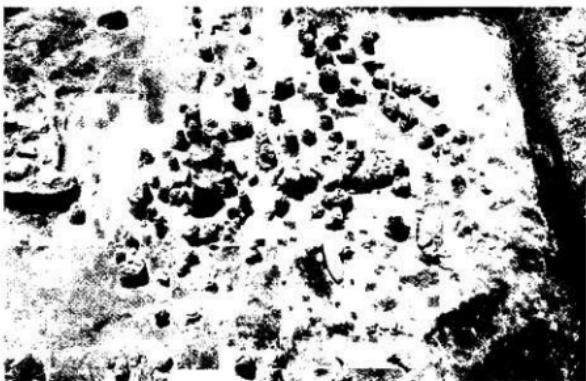
J58号住居跡（西より）



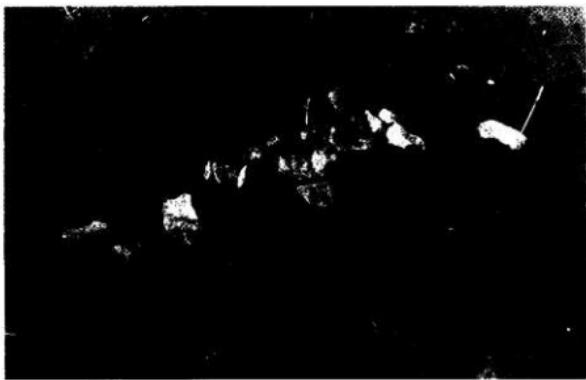
J S 1号配石遺構（北より）



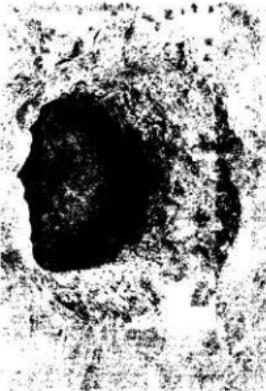
J S 2号配石遺構（北より）



J S 3号配石遺構（東より）



J S 7号配石遺構（南東より）



JP 1号土坑



JP 2号土坑



JP 5号土坑



JP 6号土坑



JP 7号土坑



JP 4号土坑



JP 8号土坑



JP 9(左)·117(右)号土坑



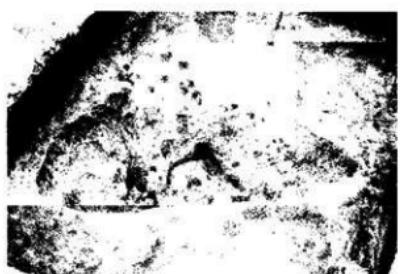
JP 14号土坑



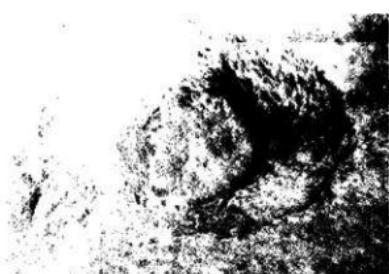
JP 10(左)·11(右)号土坑



JP 15号土坑



JP 12号土坑



JP 16-1号土坑



JP 13号土坑



JP 17号土坑

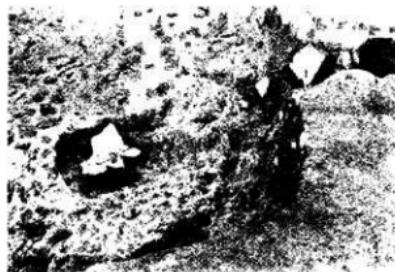
图版48



JP 18(下)·108(上)号土坑



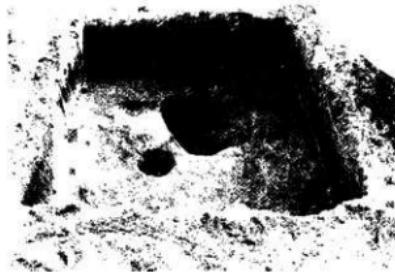
JP 22号土坑



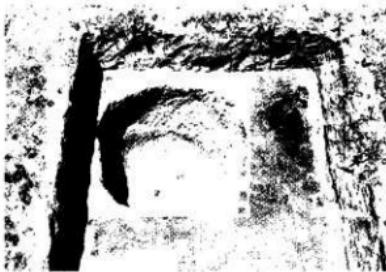
JP 19号土坑



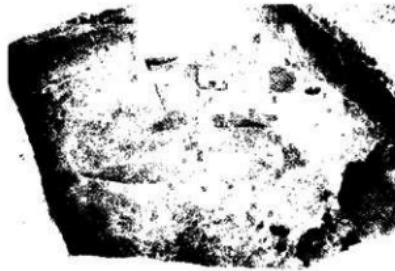
JP 23号土坑



JP 20号土坑



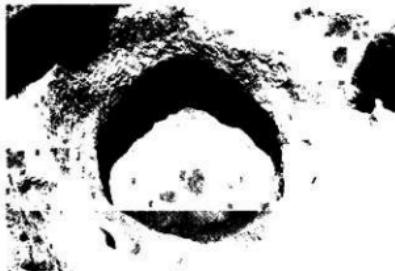
JP 24号土坑



JP 21号土坑



JP 25号土坑



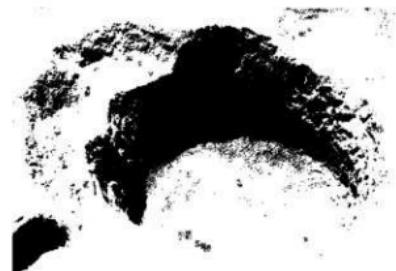
JP 26号土坑



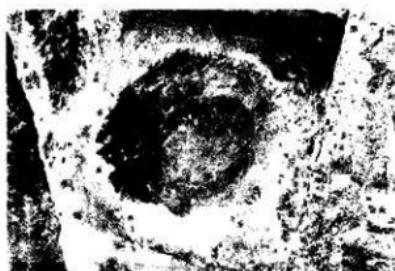
JP 30号土坑



JP 27号土坑



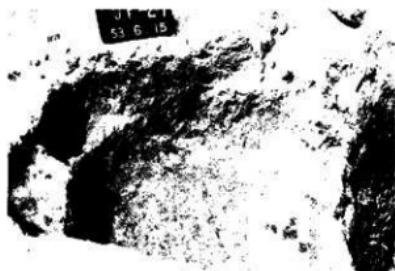
JP 31号土坑



JP 28号土坑



JP 32号土坑



JP 29号土坑

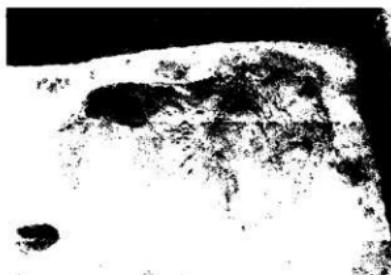


JP 33号土坑

图版50



JP 34号土坑



JP 38号土坑



JP 35(中央)-109(下)号土坑



JP 39号土坑



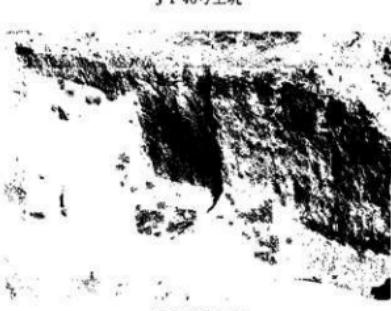
JP 36号土坑



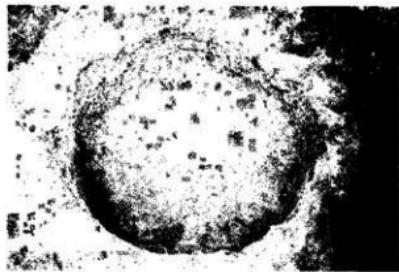
JP 40号土坑



JP 37号土坑



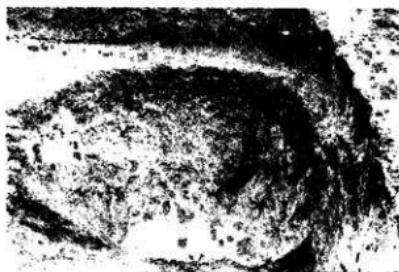
JP 41号土坑



JP 42号土坑



JP 46(上)+110(下)号土坑



JP 43号土坑



JP 47号土坑



JP 44号土坑



JP 48号土坑

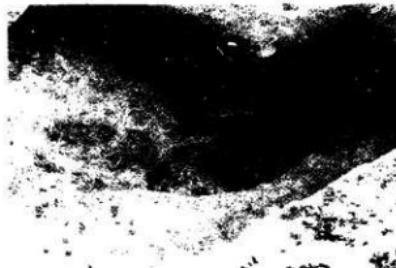


JP 45号土坑



JP 49号土坑

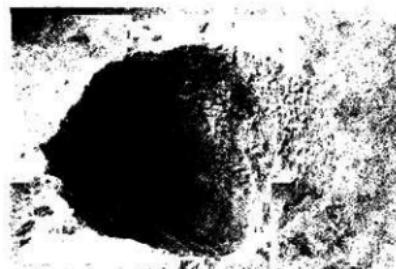
图版52



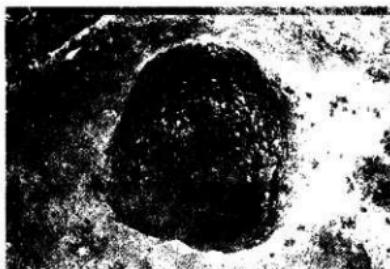
JP50号土坑



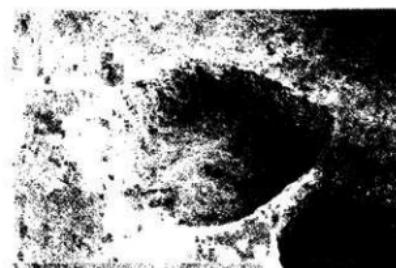
JP54号土坑



JP51号土坑



JP55号土坑



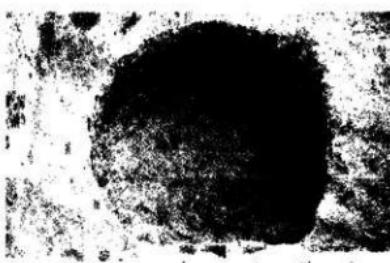
JP52号土坑



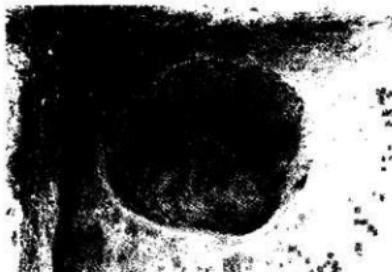
JP56号土坑



JP53号土坑



JP57号土坑



JP59号土坑



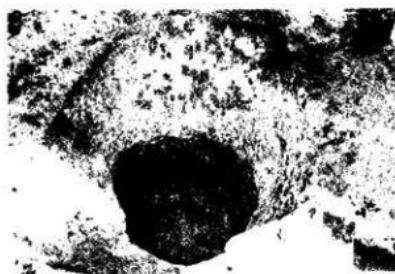
JP63号土坑



JP60号土坑



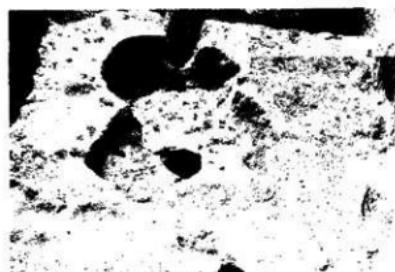
JP64号土坑



JP61号土坑



JP65(中内)•104(中外)•105(右)号土坑



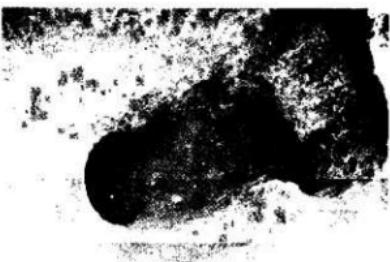
JP58(下)•62(上)号土坑



JP66号土坑



JP 67号土坑



JP 72号土坑



JP 69号土坑



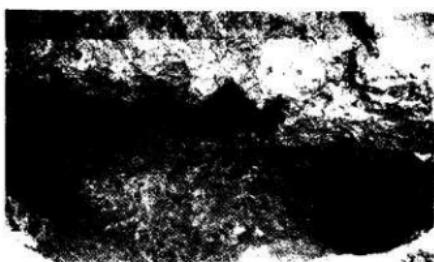
JP 73号土坑



JP 70号土坑



JP 74号土坑



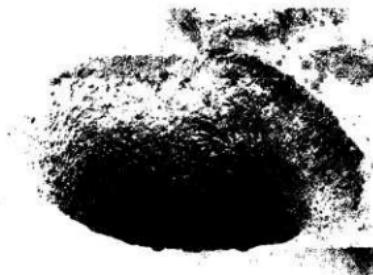
JP 71号土坑



JP 75号土坑



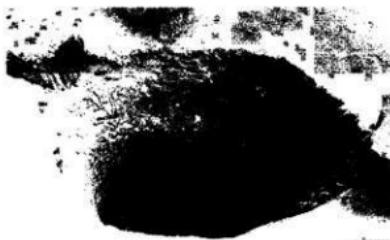
JP 76号土坑



JP 79号土坑



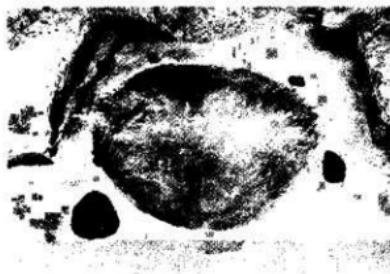
JP 77号土坑



JP 80号土坑



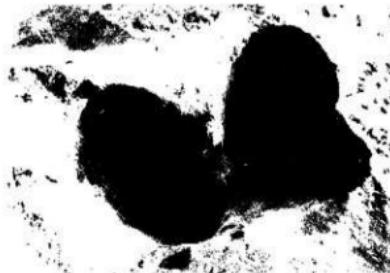
JP 78号土坑



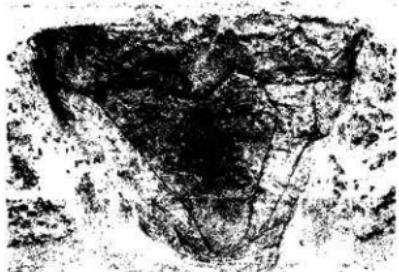
JP 81号土坑



同遗物出土状態



JP 82(右)·83(左)号土坑



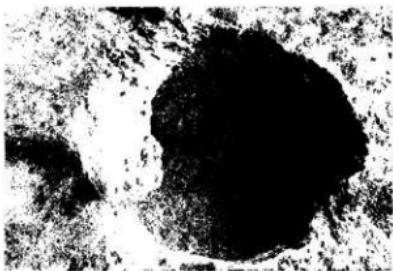
JP 84号土坑



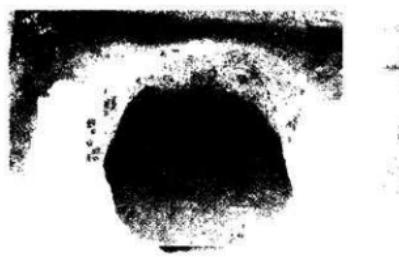
JP 88号土坑



JP 85号土坑



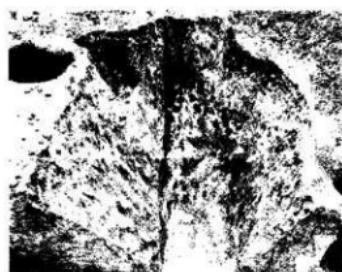
JP 89号土坑



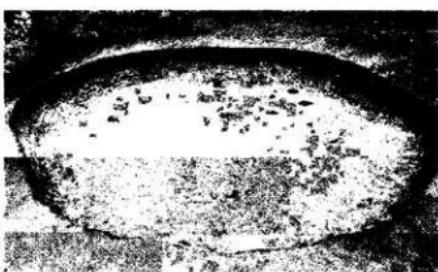
JP 86号土坑



JP 91号土坑



JP 87号土坑



JP 93号土坑



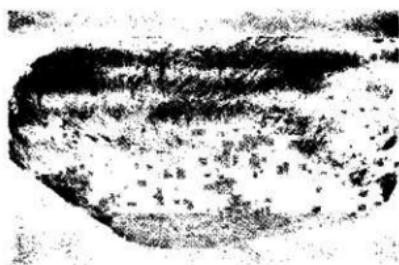
JP 94号土坑



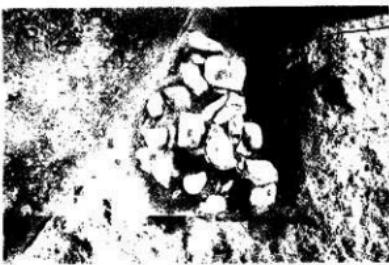
JP 113号土坑



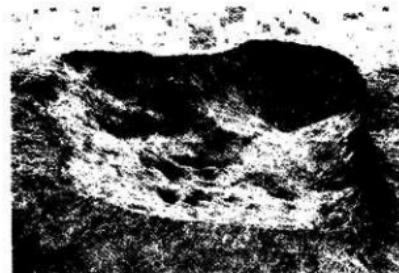
JP 114号土坑



JP 99号土坑



JP 114号土坑



JP 100号土坑



F 13(中央)•14(左)号土坑



JP 101号土坑



F 16(手前)•17(奥)号土坑

图版58



F21(右)•22(左)号土坑



F30(右手前)•31(右奥)•32(左奥)号土坑



F23(左)•24(右)号土坑



F33(左)•37(右奥)号土坑



F27(右)号土坑•I22(左)号井口跡



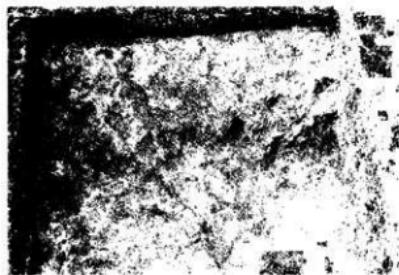
F40(右奥)•41(左手前)号土坑



同遺物の土状態



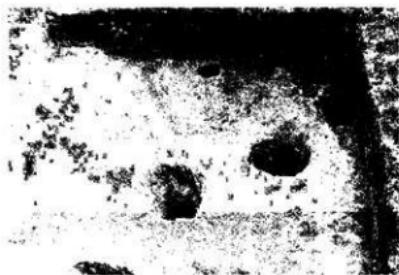
F42号土坑



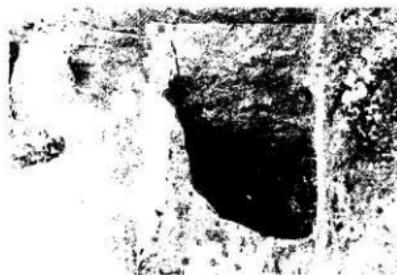
F 43号土坑



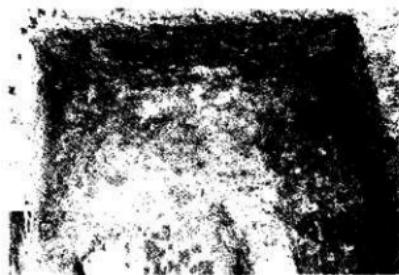
F 47号土坑



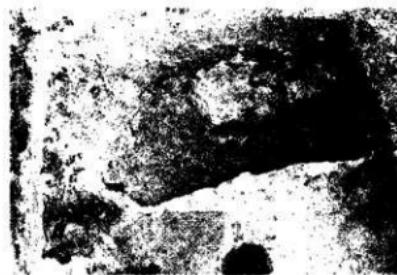
F 44(奥)号土坑



F 48号土坑



F 45(奥断面)号土坑



F 49(中央)-50(左)号土坑



F 46号土坑

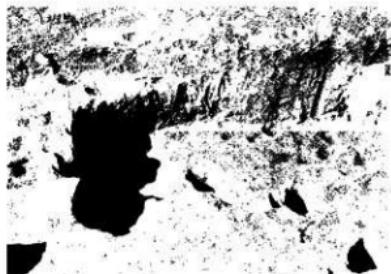


F 51(左奥)-52(右手前)号土坑

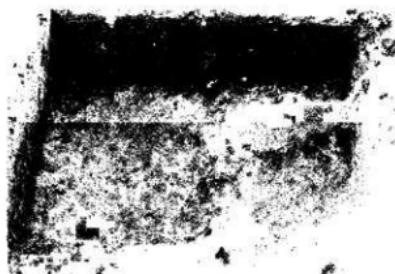
图版60



F53号土坑



F61号土坑



F54(左)·55(中央)·56(右)号土坑



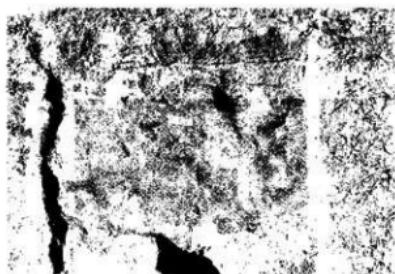
F62号土坑



F57(左手前)·58(左奥)·59(右)号土坑



F63号土坑



F60号土坑



F64号土坑



F 60(左)·61·62(中)·63·64号(右)土坑



F 66号土坑



F 65号土坑



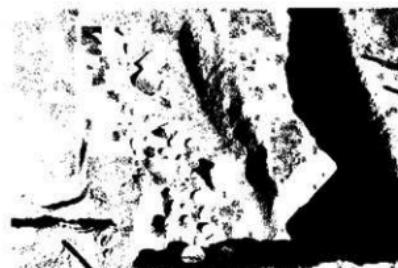
F 67号土坑



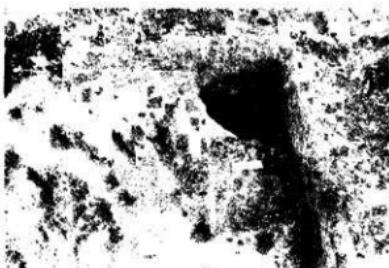
F 65(中央左)·66号(右手前)号土坑·W 15(中央)号溝跡



F 68(右)·69(左)号土坑

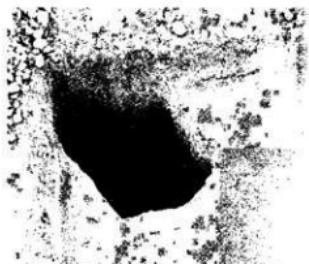


同遗物出土状态

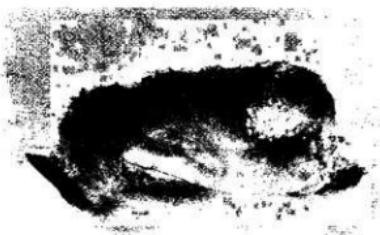


F 70号土坑

图版62



F71号土坑



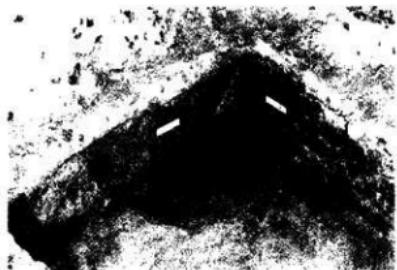
F76号土壤 (人骨出土)



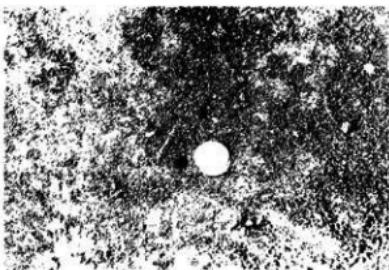
F72号土坑



F77号土壤 (人骨出土)



F39(左)•73(右)号土坑



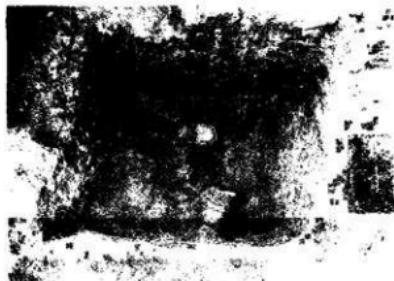
同出土古钱



F75号土坑



F80号土坑



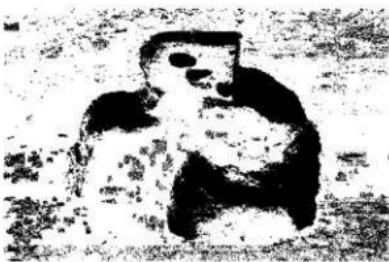
F81号土坑



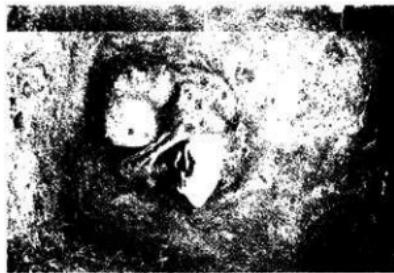
F86号土坑



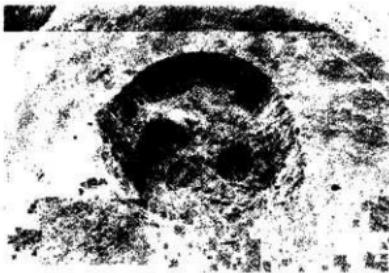
F81号土坑土层断面



F87号土坑



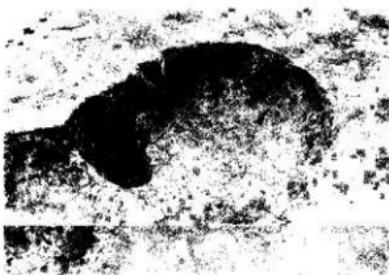
F83号土坑



F93号土坑



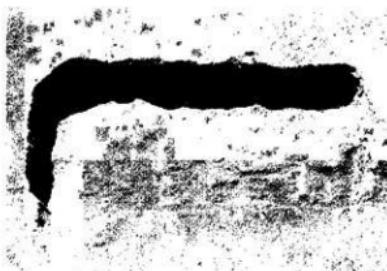
F85号土坑



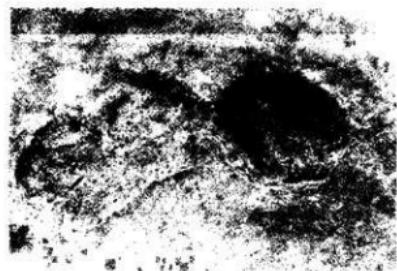
F94号土坑



F 95号土坑



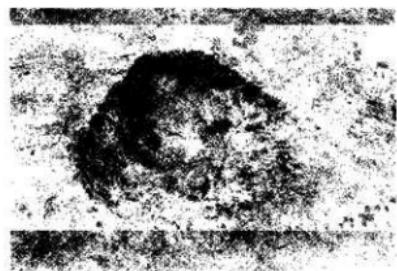
F 112号土坑



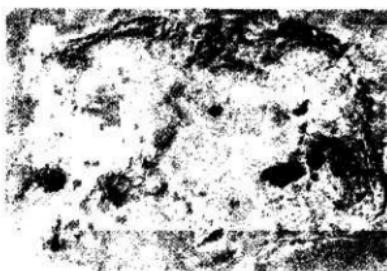
F 96(左)・97(右)号土坑



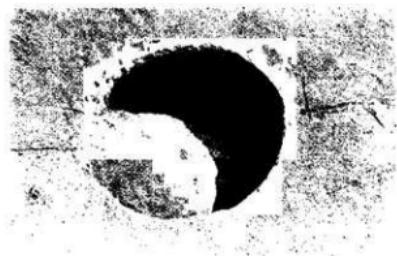
F 116号土坑



F 98号土坑



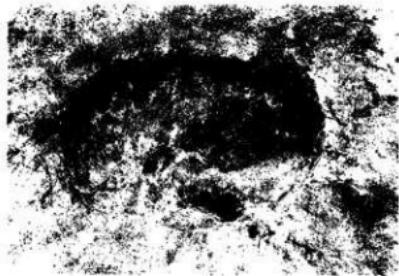
F 117号土坑



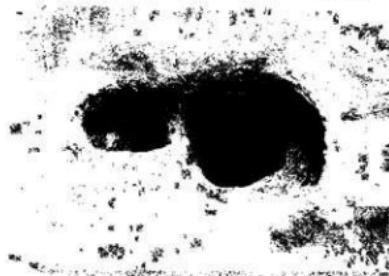
F 109号土坑



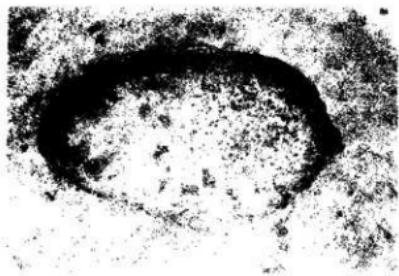
F 118号土坑



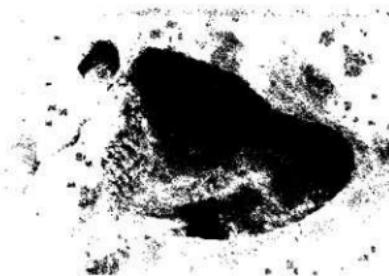
F121号土坑



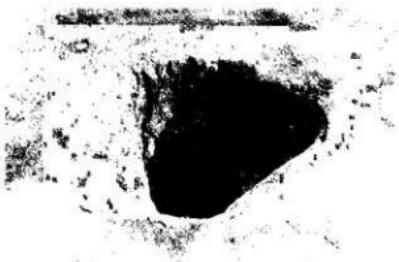
F137号土坑



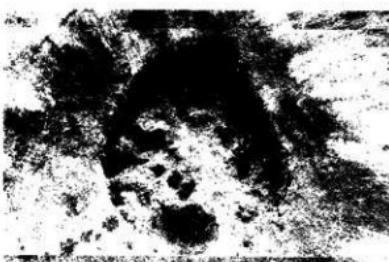
F123号土坑



F140号土坑



F134号土坑



F141号土坑

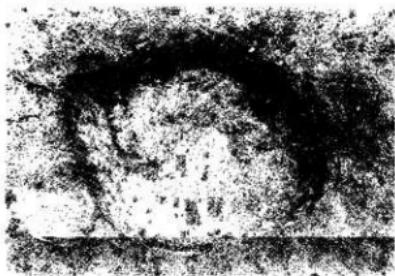


F135号土坑



F142号土坑

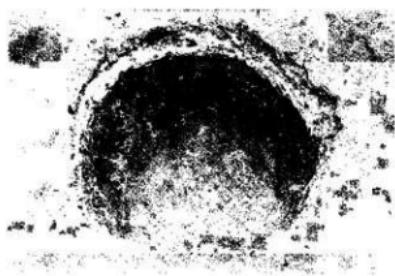
図版66



F 143号土坑



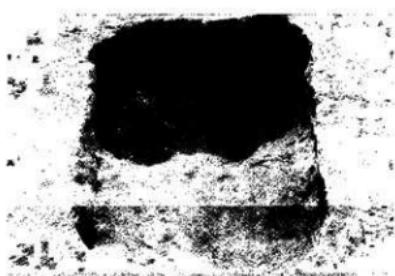
F 149号土坑



F 144号土坑



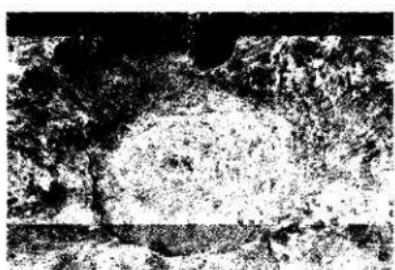
F 150号土坑



F 147号土坑



F 152号土坑



F 148号土坑



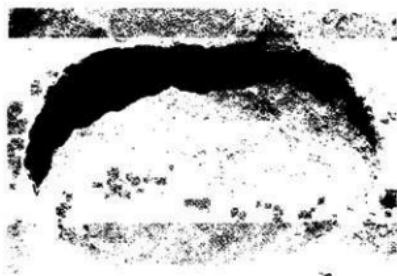
F 157号土坑



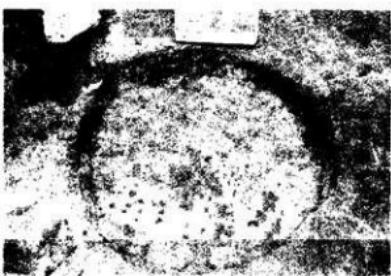
F 162号土坑



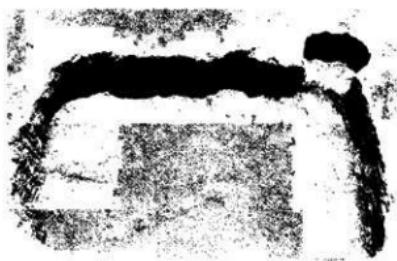
F 187号土坑



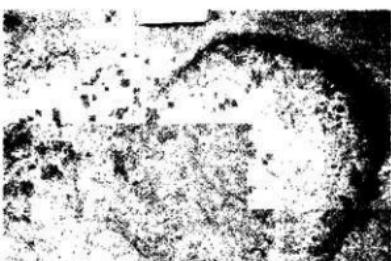
F 163号土坑



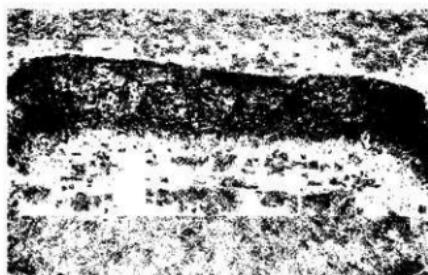
F 195号土坑



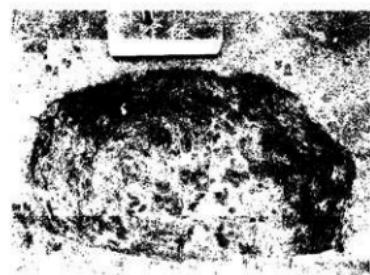
F 168号土坑



F 200(右)•201(左)号土坑

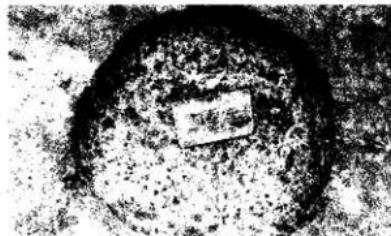


F 185号土坑

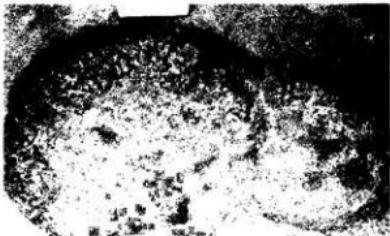


F 202号土坑

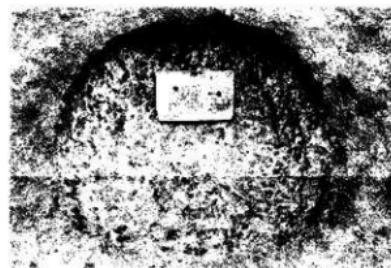
图版68



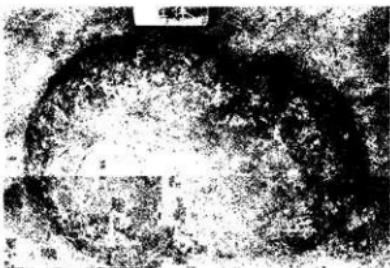
F205号土坑



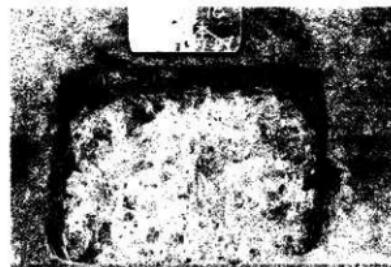
F224(左)·225(右)号土坑



F208号土坑



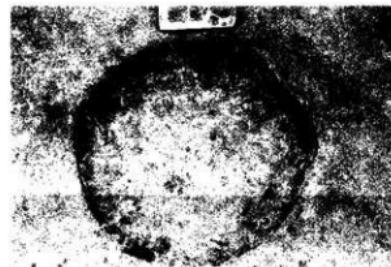
F226号土坑



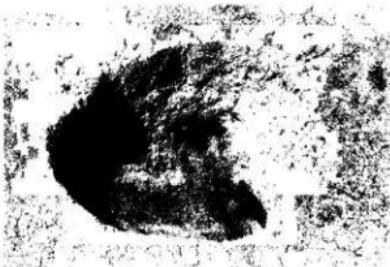
F215号土坑



F231号土坑



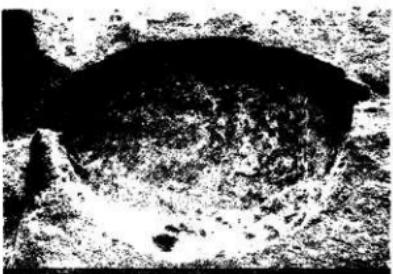
F222号土坑



F233号土坑



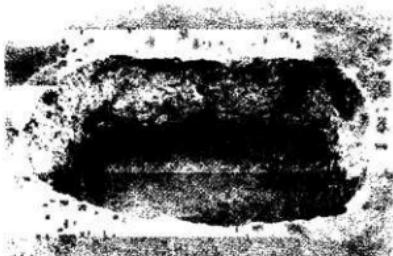
F 234号土坑



F 244号土坑



F 235号土坑



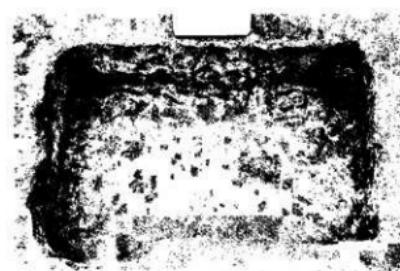
F 245号土坑



F 236号土坑



F 246号土坑



F 241号土坑



F 247号土坑

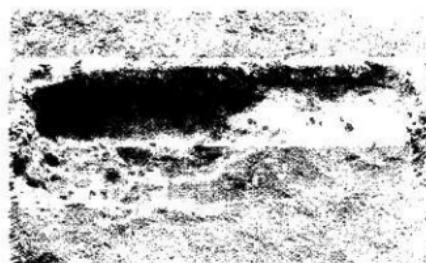
圖版70



F248号土坑



F254(上)•255(左)号土坑



F251号土坑



F256号土坑



F252号土坑



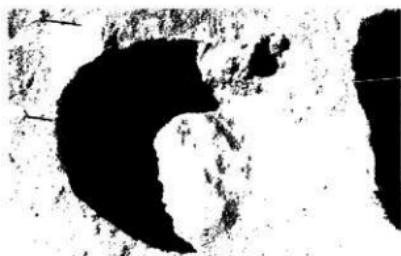
F257号土坑



F253号土坑



F258号土坑



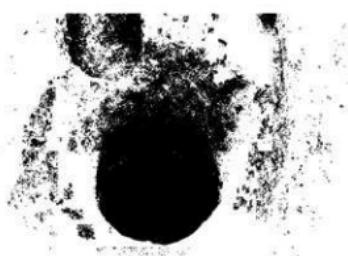
F259号井戸跡



I7号井戸跡



I22号井戸跡



I10号井戸跡



I5(奥)・II(手前)号井戸跡



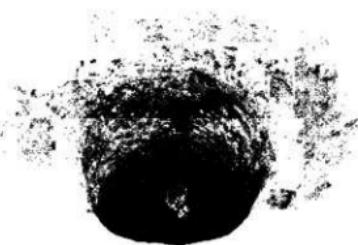
I11号井戸跡



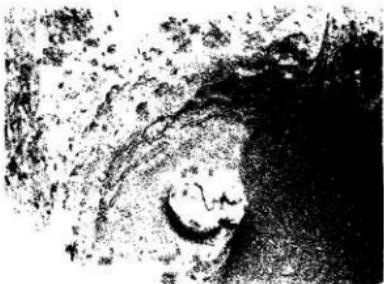
I6号井戸跡



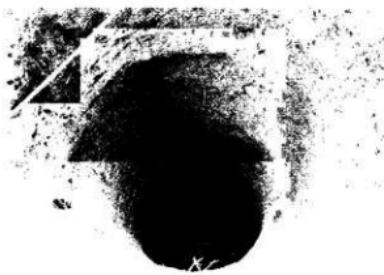
I13号井戸跡



I 14号井戸跡



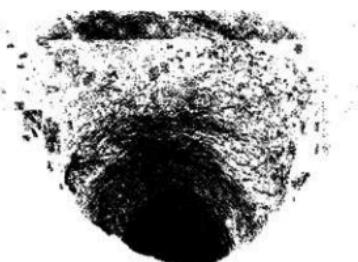
I 19号井戸跡遺物出土状態



I 16号井戸跡



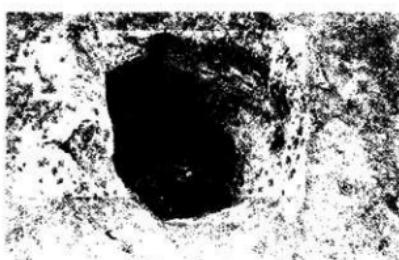
W75号溝跡(犬走り) (ト-26区)



I 18号井戸跡



W75号溝跡 (ト-26区南より)



I 19号井戸跡



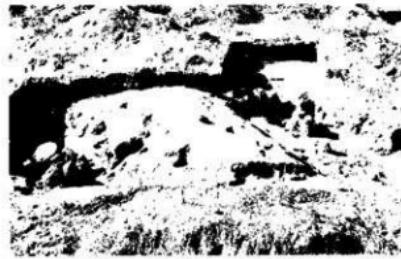
民土層断面



W75号溝跡遺物出土状態



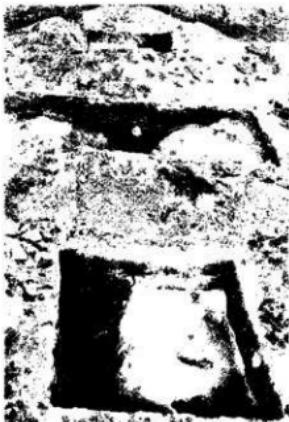
W76号溝跡・A I号地下式土坑 (ニ 25区南より)



W76号溝跡 (ヘー26区東より)



W75号溝跡 (ホー25区東より)



W77号溝跡 (リ 29区南より)



A II号地下式土坑



A III号地下式土坑



7-3区北半部（東より）



7-3区北半部（東より）



7-3区南半部（西より）



7-3区北半部（東より）



7-3区南半部（西より）



13区（北より）



7-3区北半部（北より）



14-2区（北より）



14-3区（南より）



19区 調査風景



14-4区（西より）



19区W 2・3・4号溝跡（南より）



14-5区（西より）



20-1区M 1号墳周濠（北より）



14-5区（南東より）

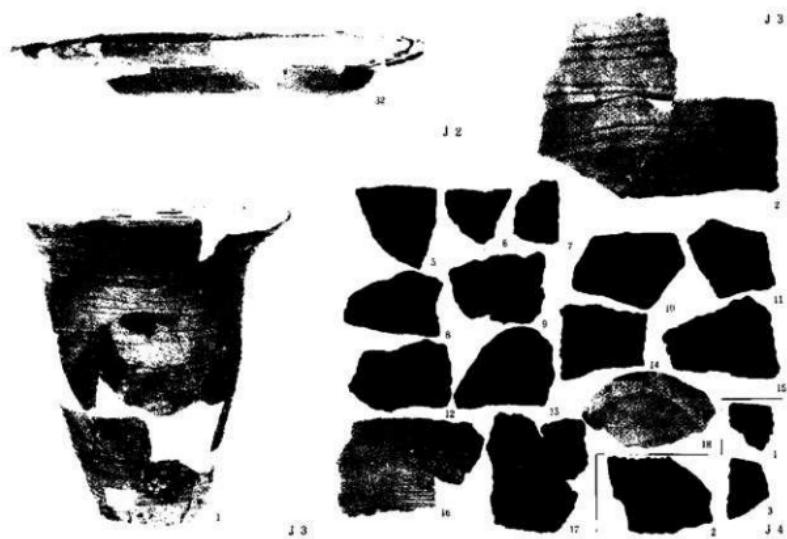


調査風景

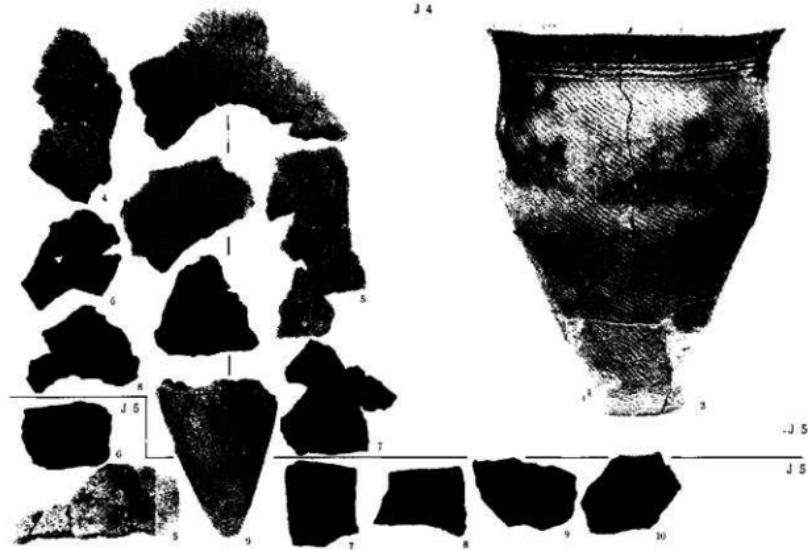
图版76



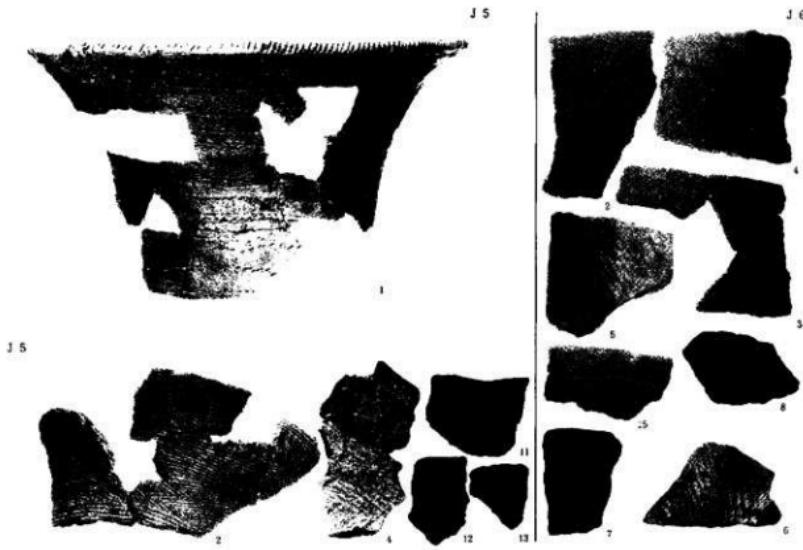
J 1·2·3 号住居跡出土土器



J 2·3·4 号住居跡出土土器



J 4・5号住居跡出土土器

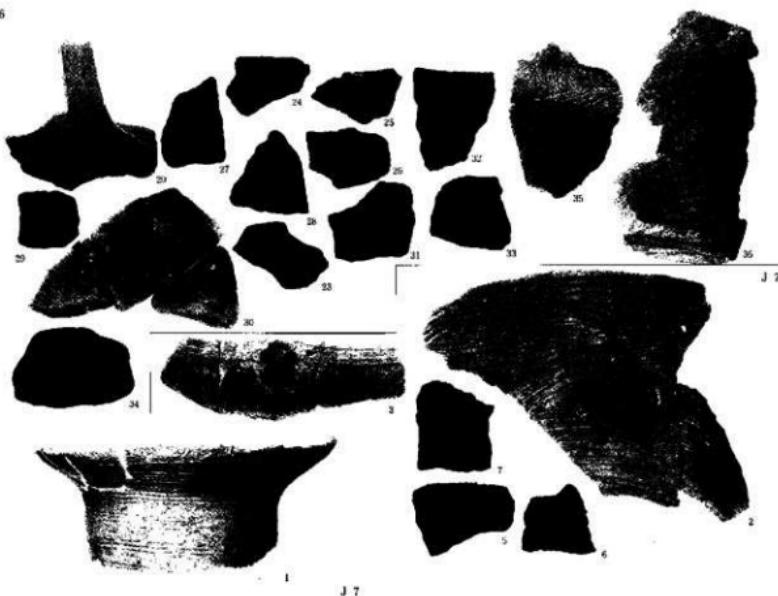


J 5・6号住居跡出土土器



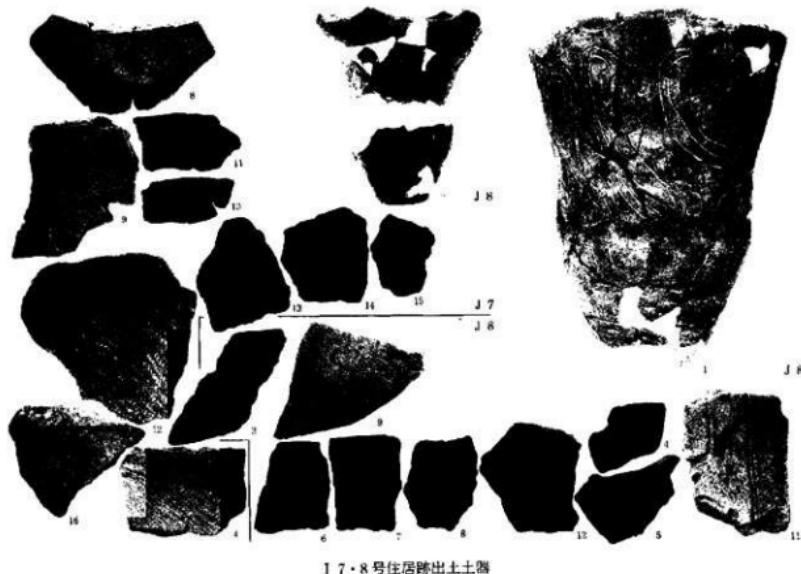
J 6号住居跡出土上器

J 6

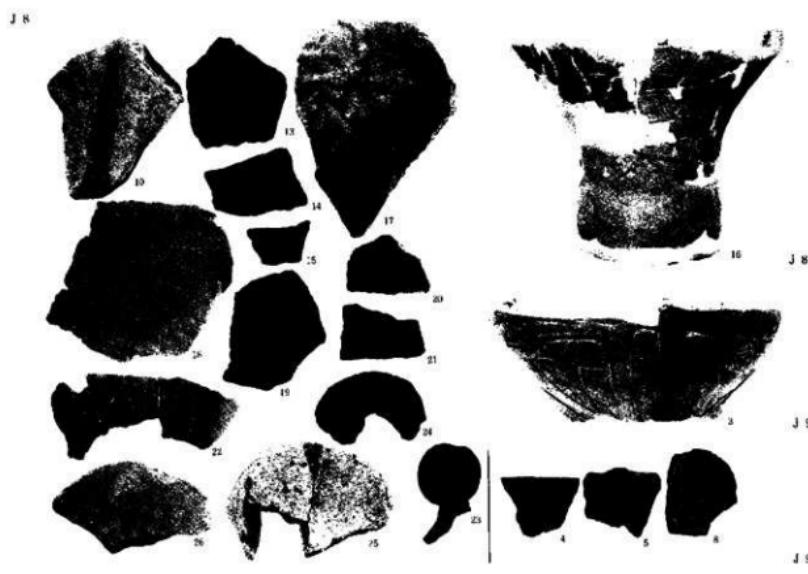


J 7

J 6・7号住居跡出土土器



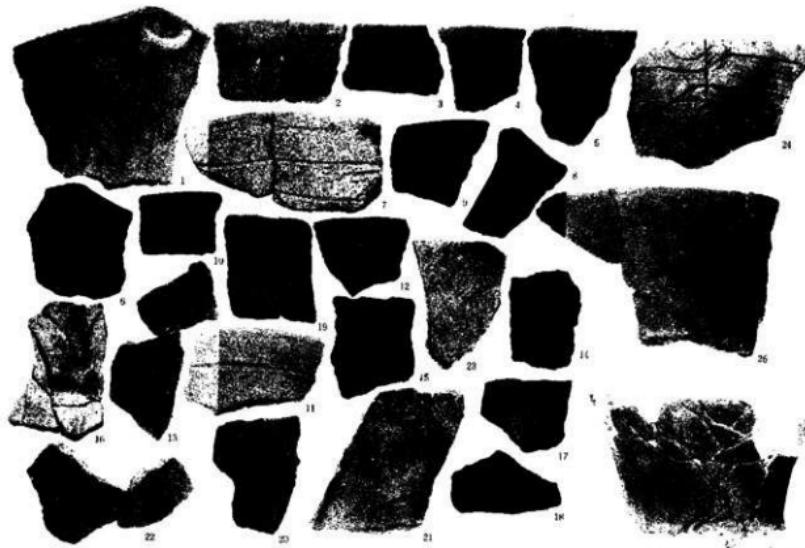
J 7·8号住居跡出土土器



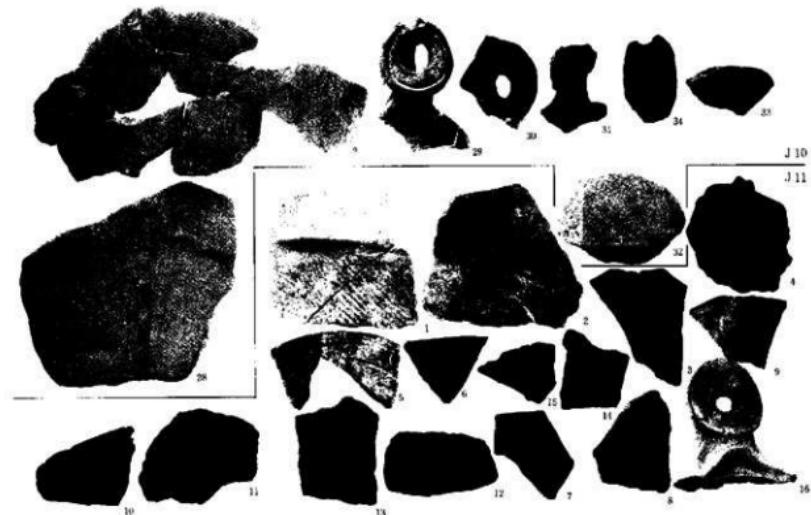
J 8·9号住居跡出土土器



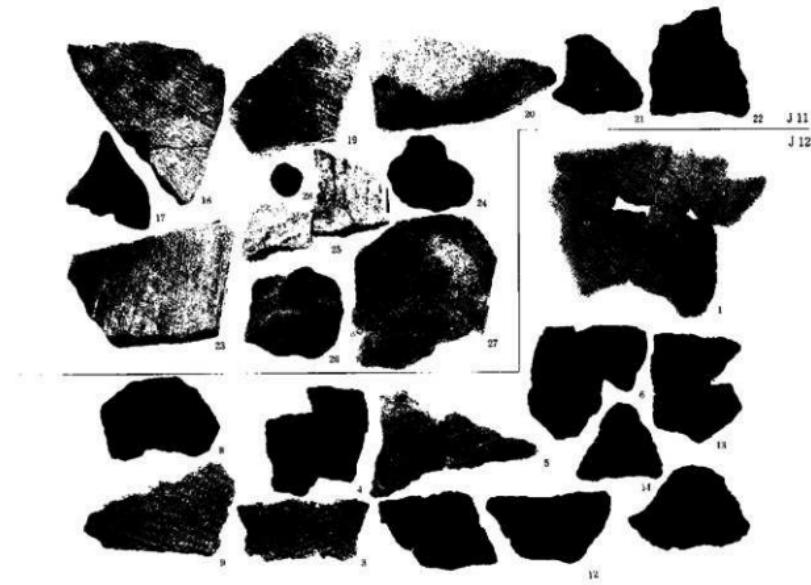
J 9号住居跡出土上層



J 10号住居跡出土上層

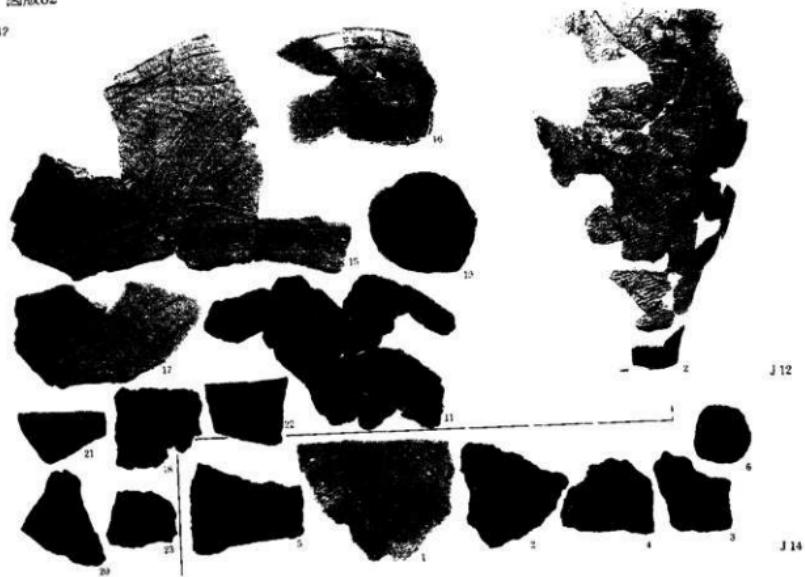


J 10・11号住居跡出土土器



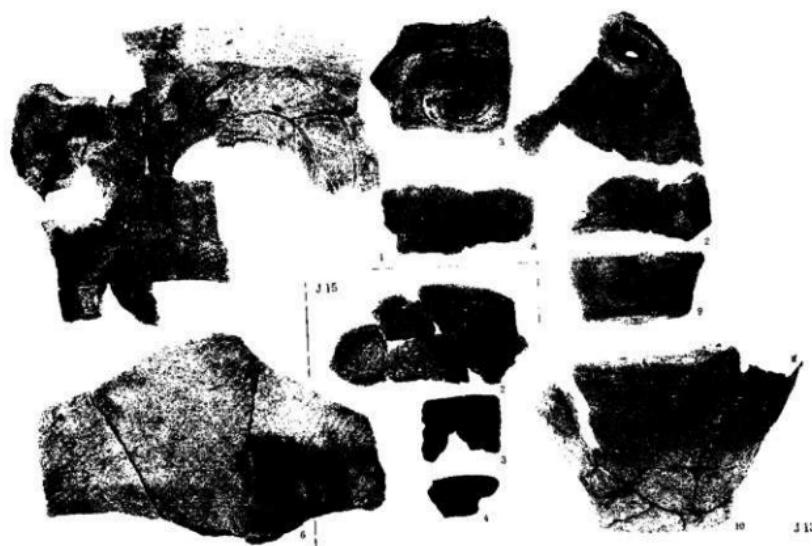
J 11・12号住居跡出土土器

J 12



J12·14号住房断出土器

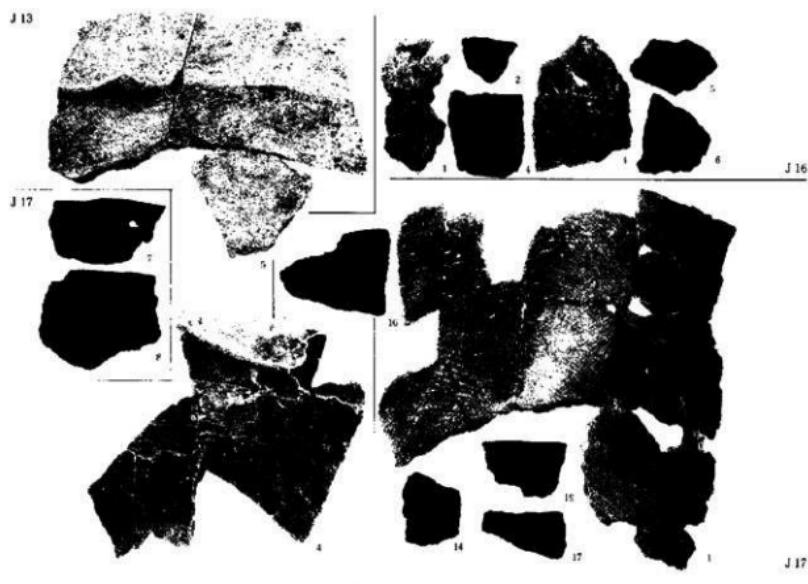
J 13



J 13·15号住房跡出上上器



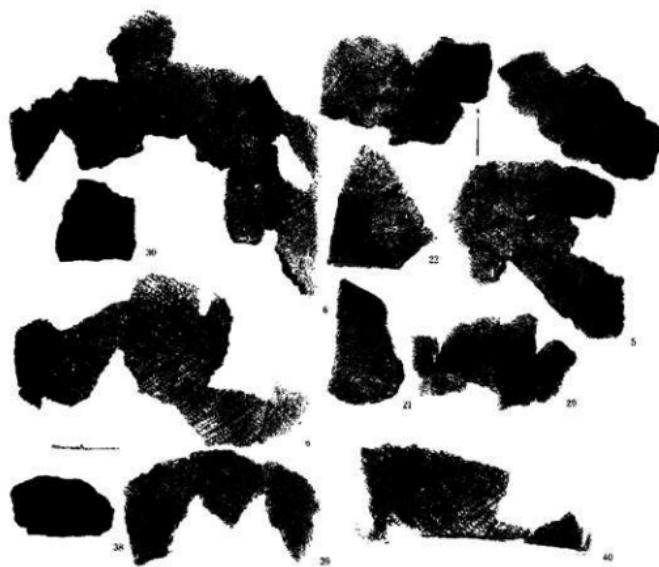
J 13+15号住居跡出土土器



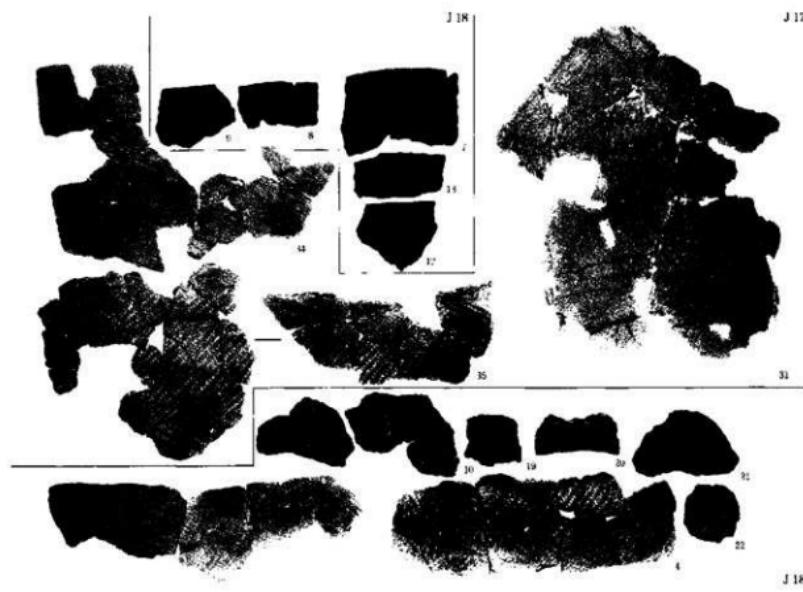
J 13+16+17号住居跡出土土器



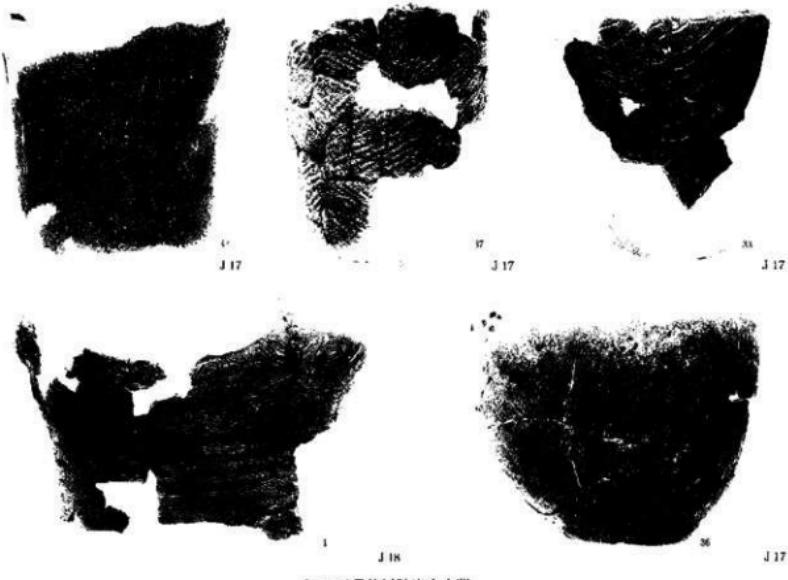
J 17号住居跡出土土器



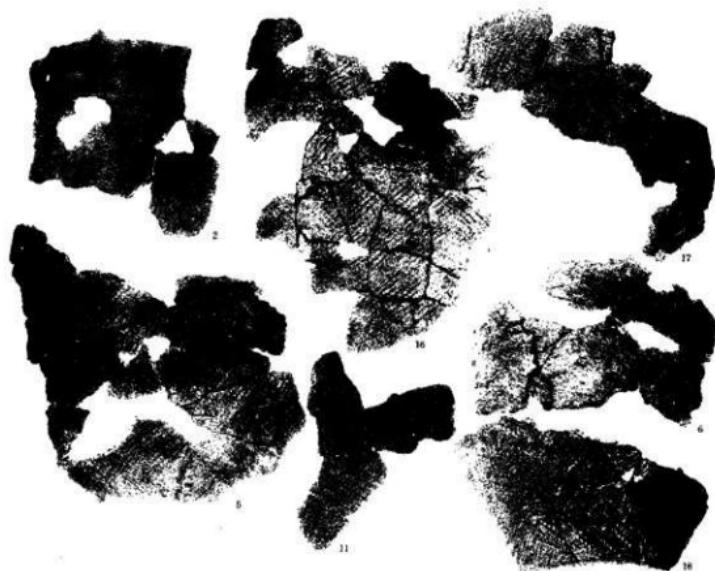
J 17号住居跡出土土器



J 17•18号住居跡出土土器



J 17•18号住居跡出土土器



J 18號住居跡出土土器



J 18-19-23號住居跡出土土器

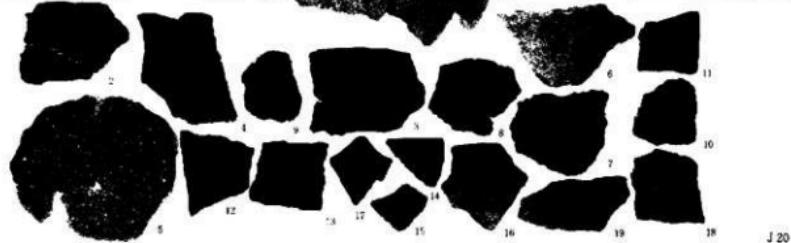


J 19・23号住居跡出土土器



J 19・23号住居跡出土土器

J 19-23

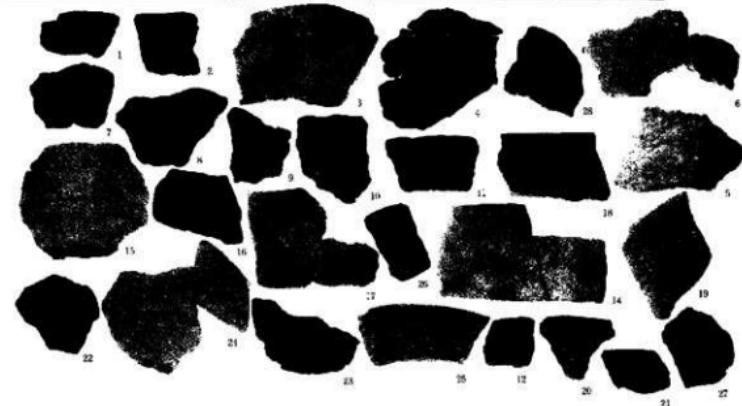


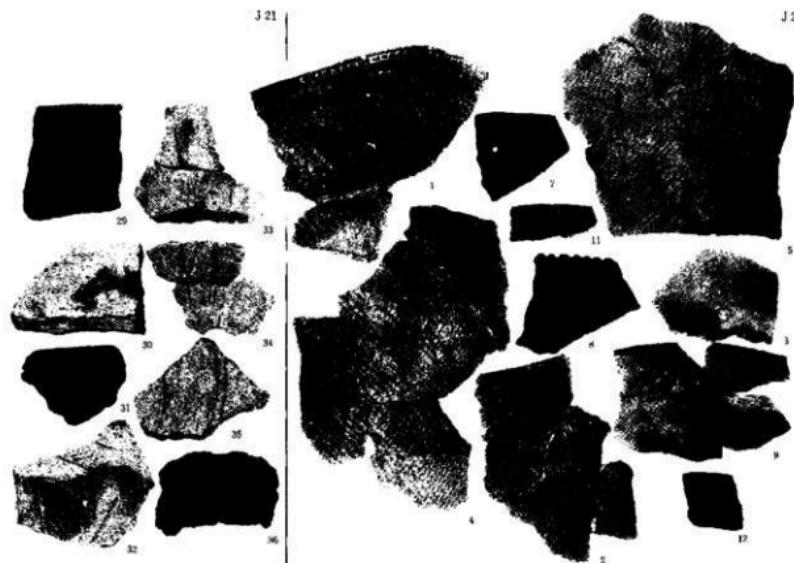
J 20

J 21

20 21 22 23 24 25

13

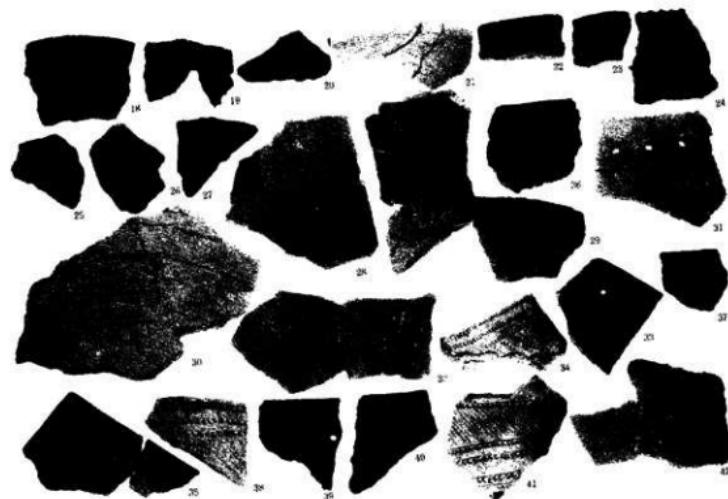




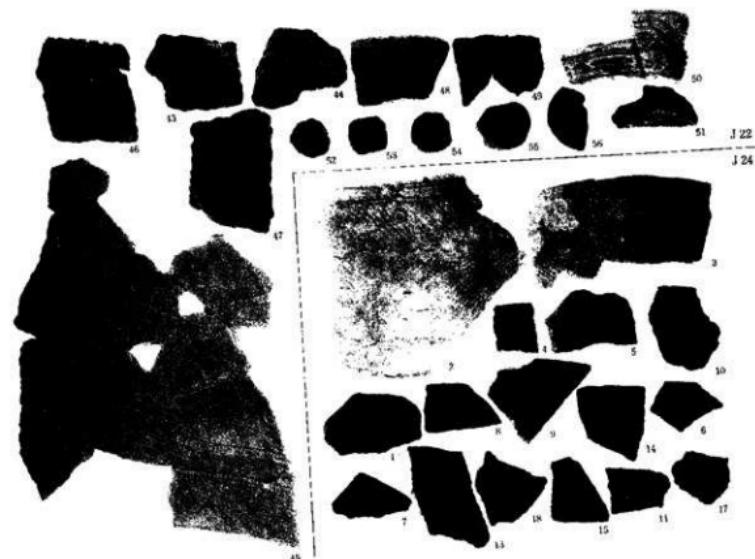
J 21・22号住居跡出土土器



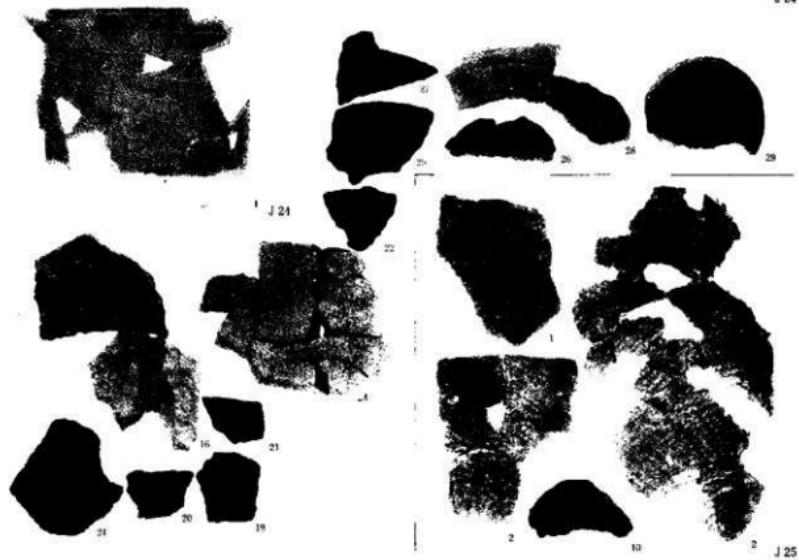
J 22号住居跡出土土器



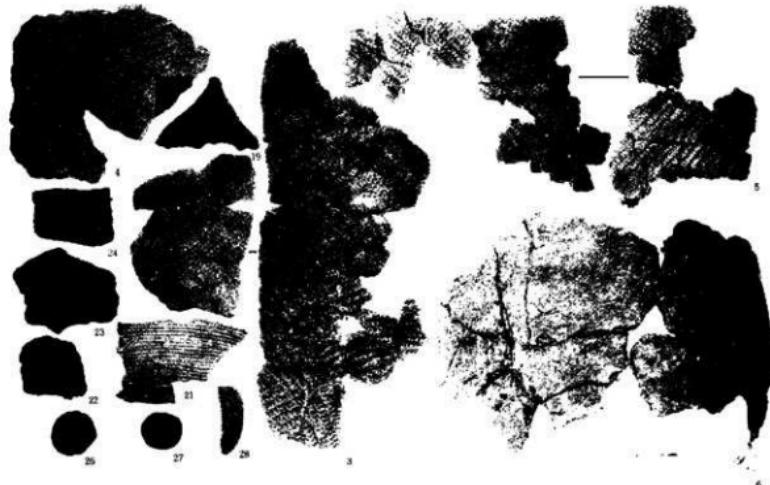
J 22号住居跡出土土器



J 22・24号住居跡出土土器



J 24・25号住居跡出土土器



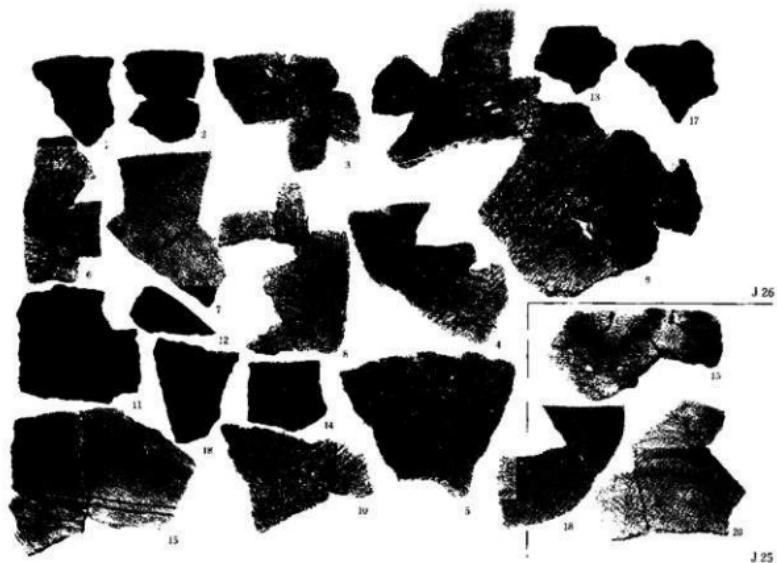
J 25号住居跡出土土器



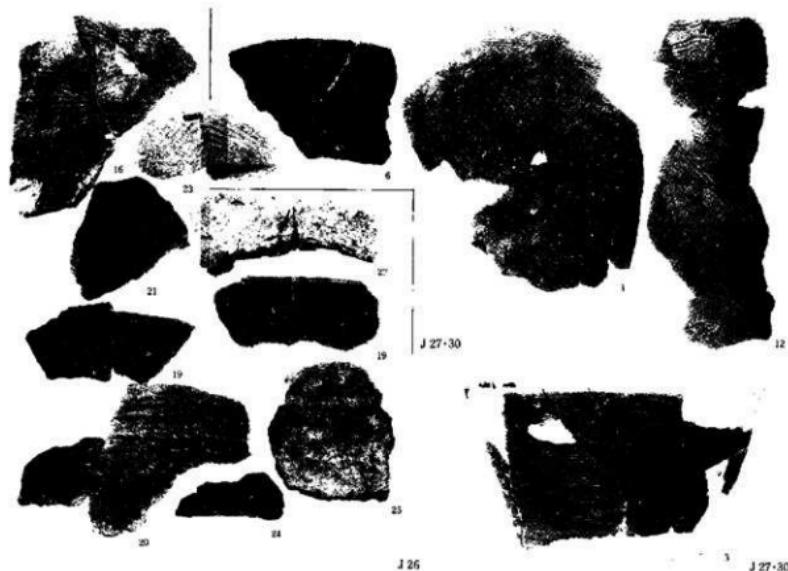
J 25号住居跡出土十器



J 25号住居跡出土十器



J 25・26号住居跡出土上土器



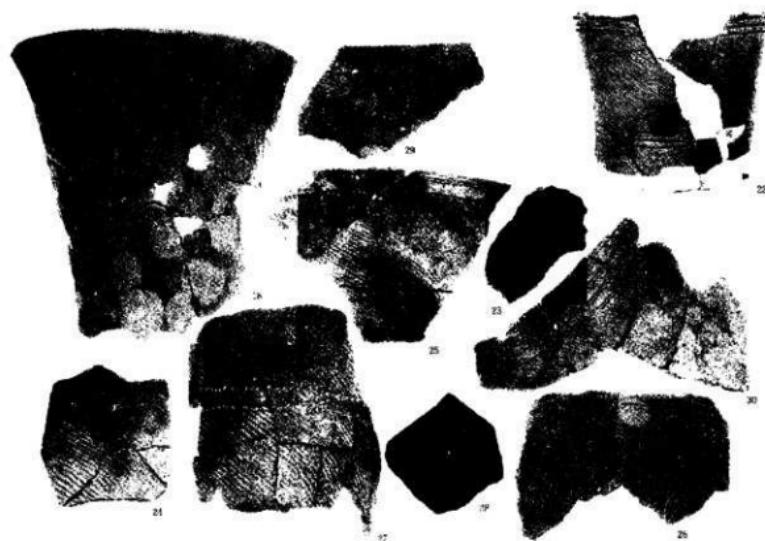
J 26・27・30号住居跡出土上土器



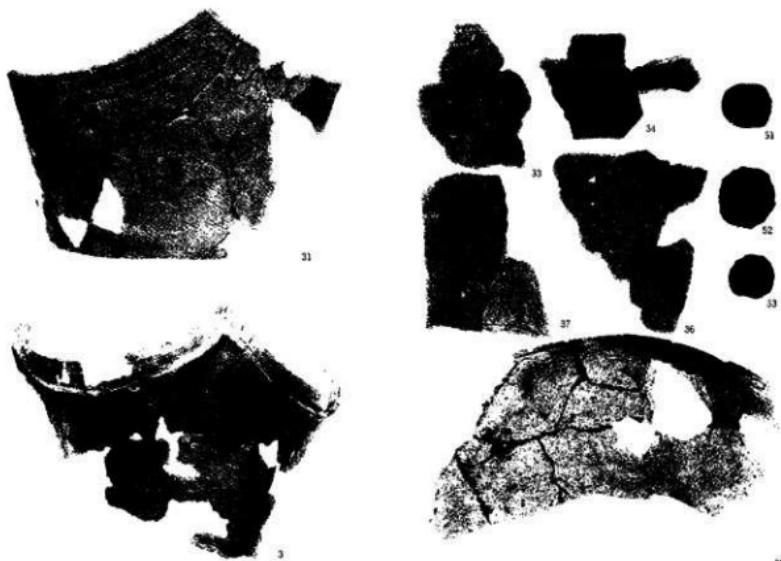
J 27-30号住宅跡出土土器



J 27-30号住宅跡出土土器

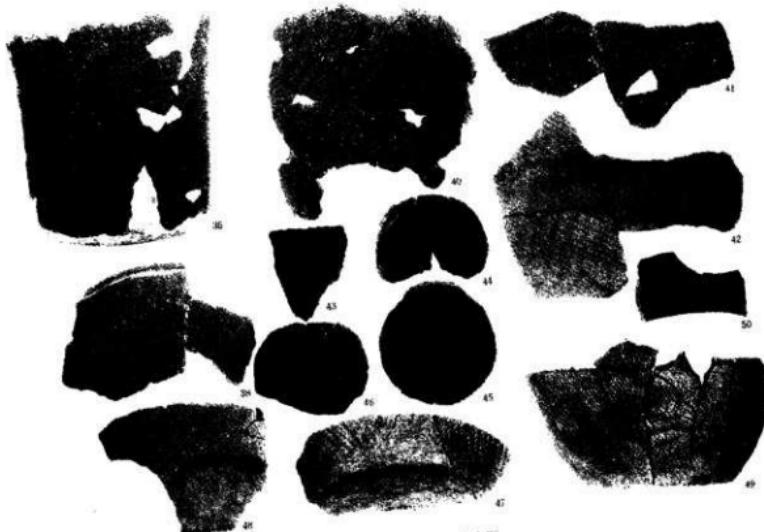


J 27-30号住居跡出土土器

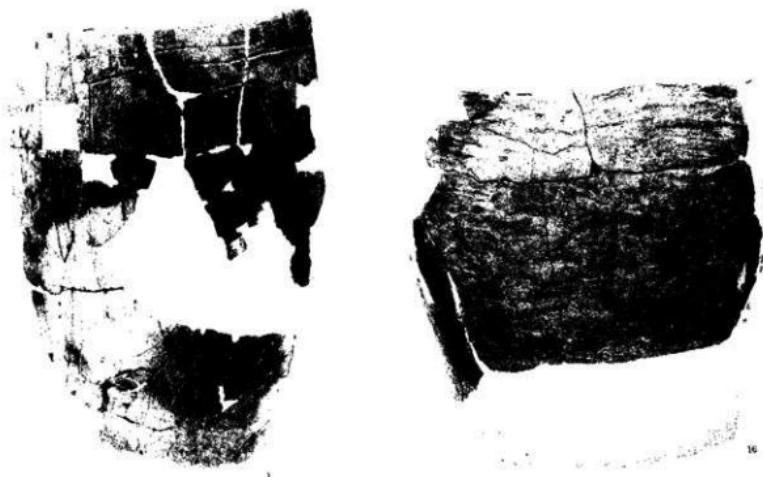


J 27-30号住居跡出土土器

図版96



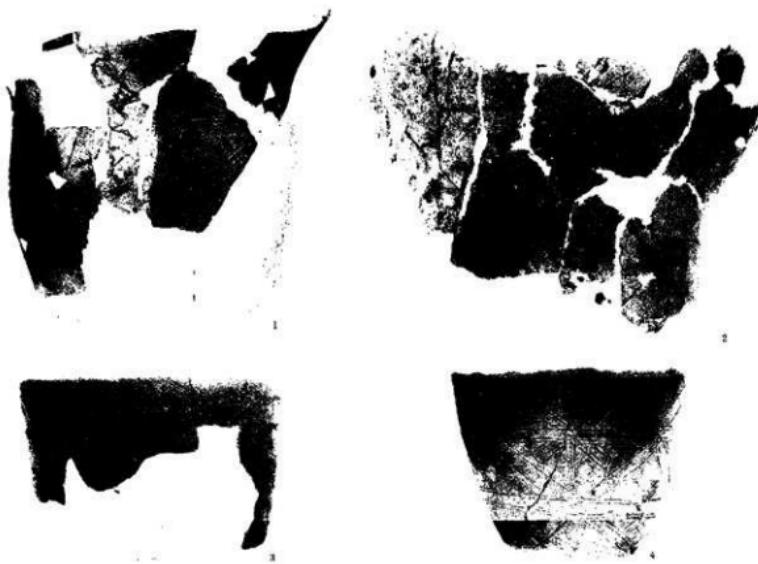
J 27・30号住居跡出土土器



J P群 - I (J 28)出土土器



J P群-I (J 28)出土土器



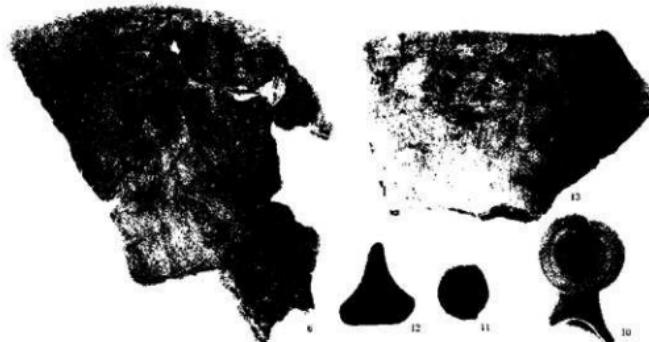
J 29号住居跡出土十七器



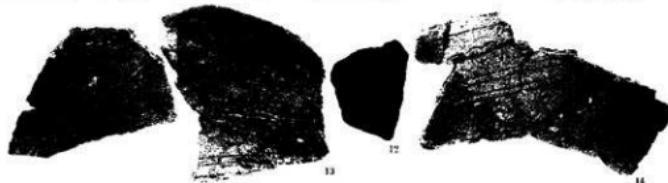
J29号住居跡出土土器



J P群・I・J29号住居跡出土土器

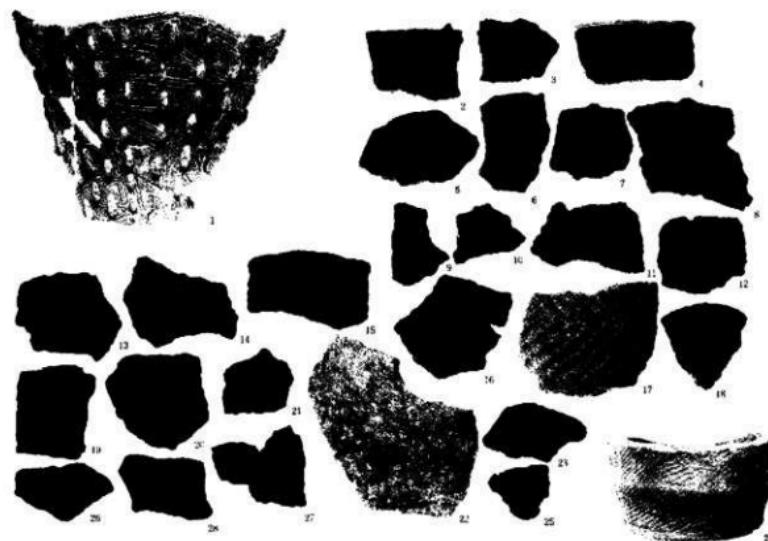


J P群-I

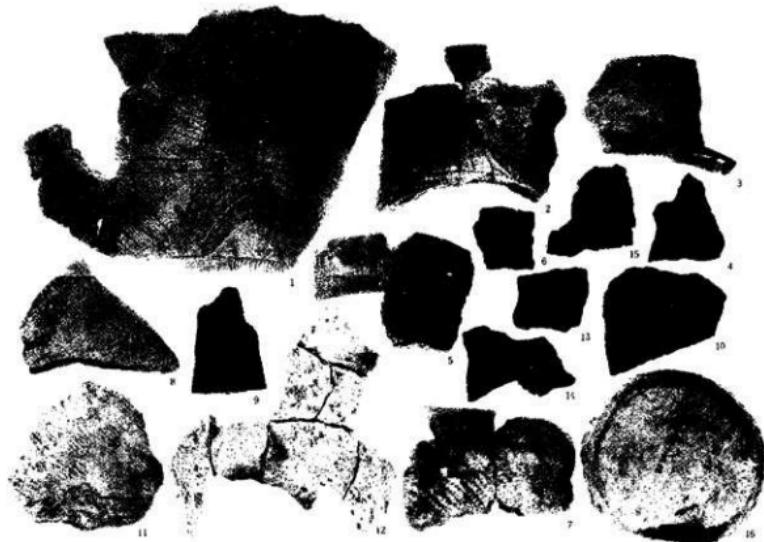


J 29

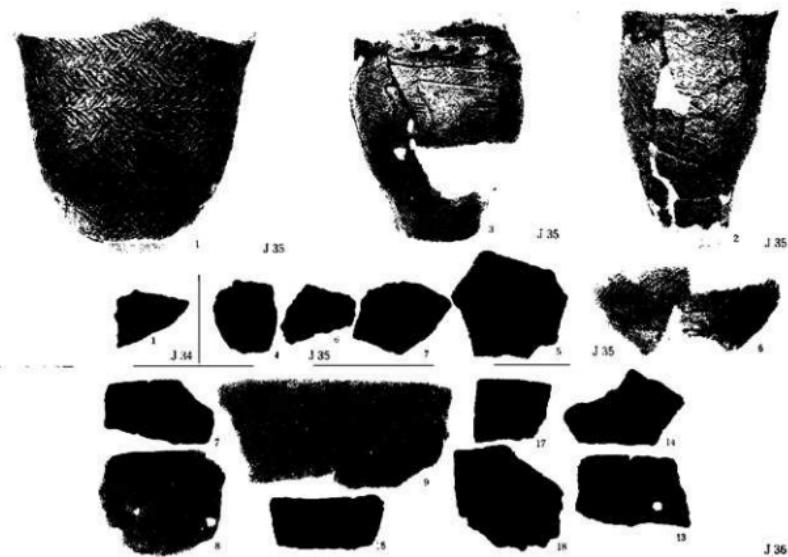
J P群-I・J 29号住居跡出土土器



J 31号住居跡出土土器



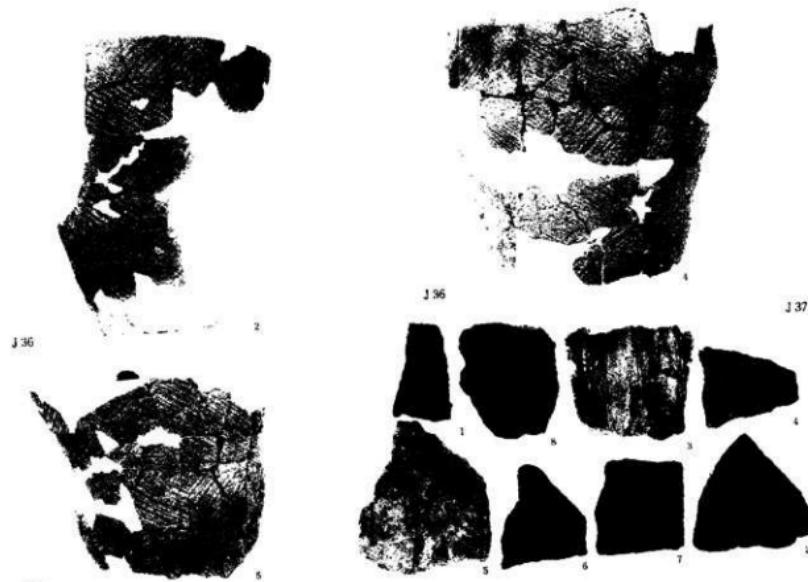
J 33号住居跡出土土器



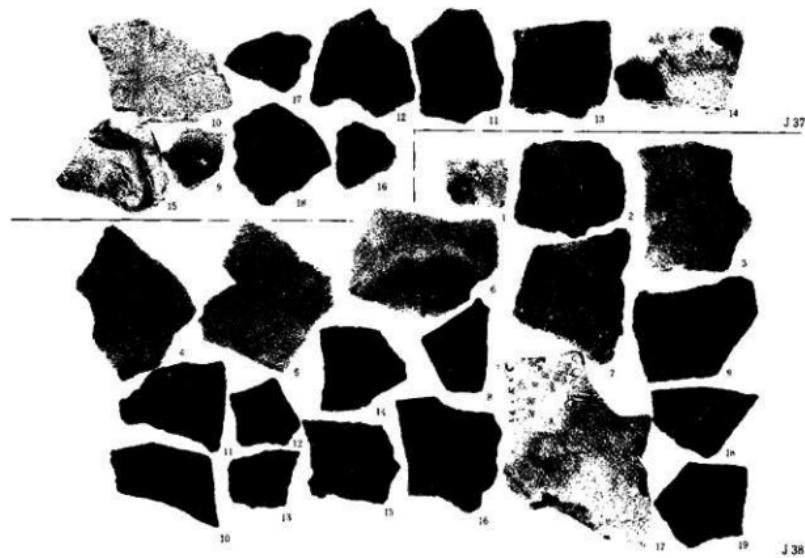
J 34・35・36号住居跡出土土器



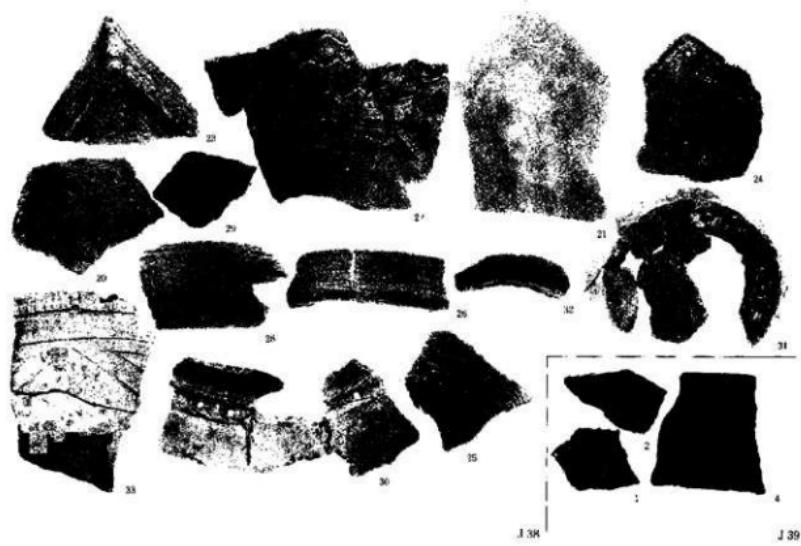
J 36号住居跡出土土器



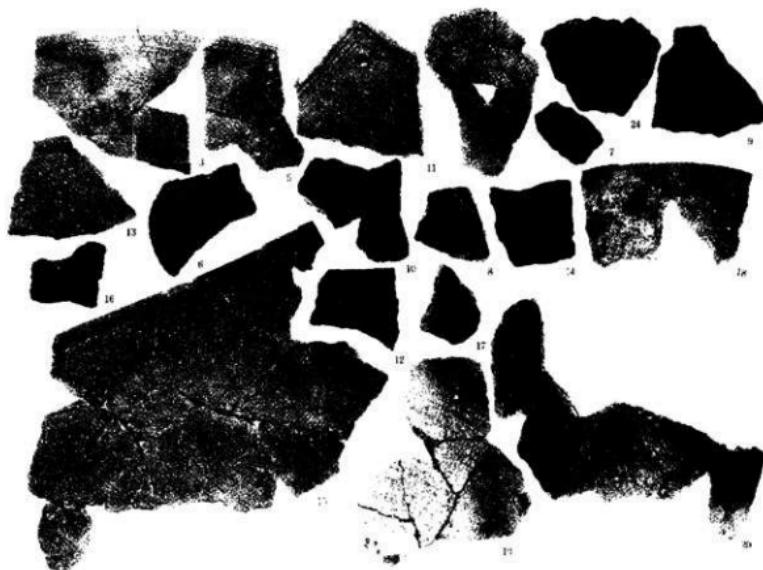
J 36+37号住居跡出土土器



J 37·38号住居跡出土土器



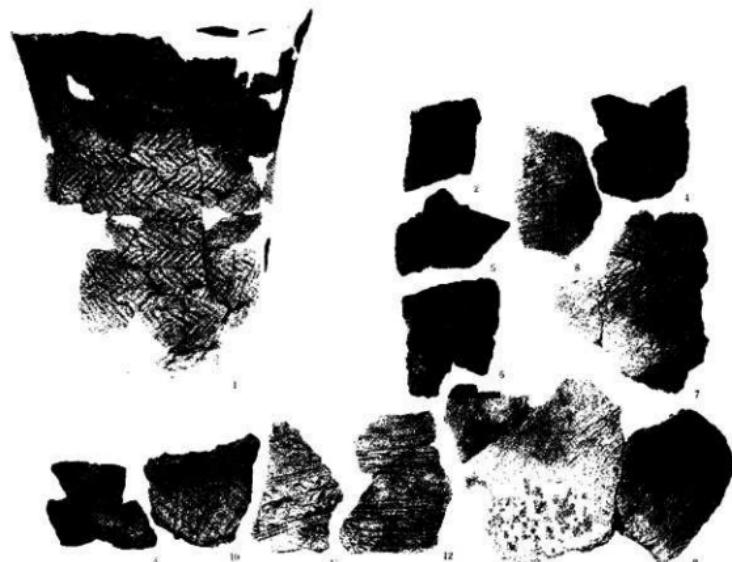
J 38·39号住居跡出土土器



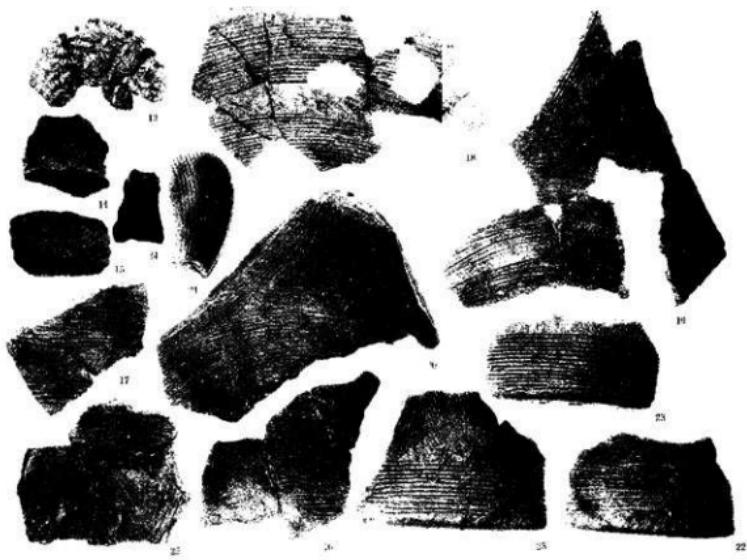
J 39号住居跡出土上器



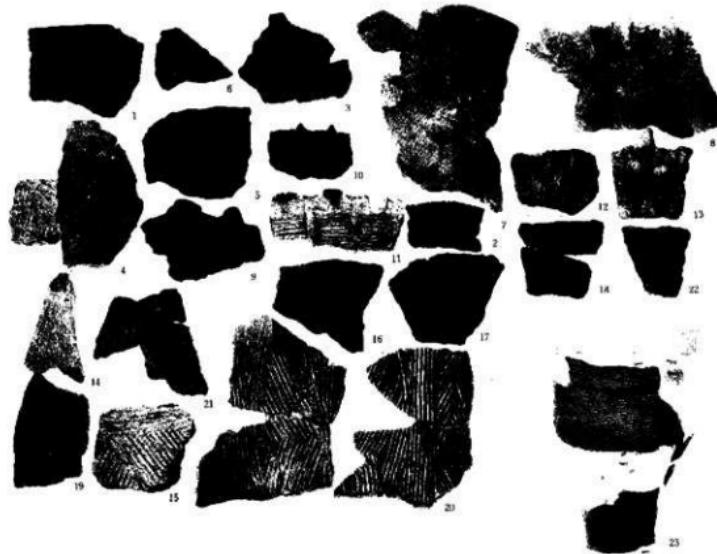
J 39号住居跡出土土器



J 40-41号住居跡出土土器

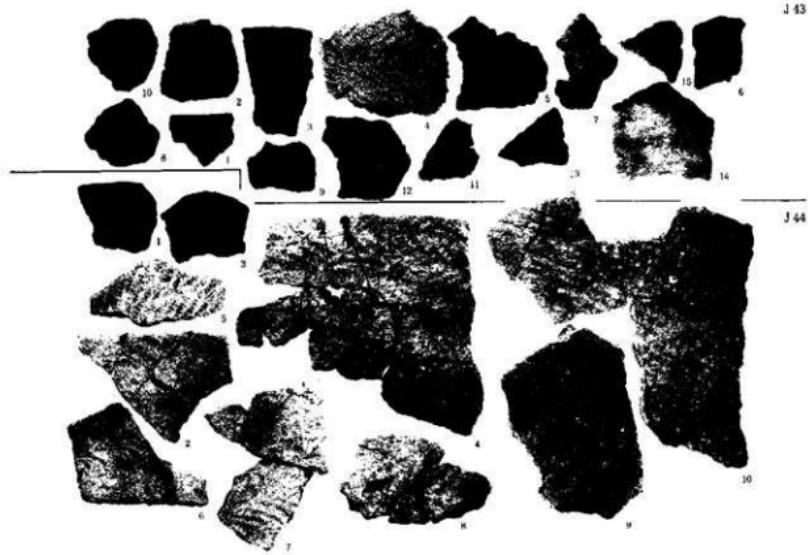


J 40-41号住居跡出土土器



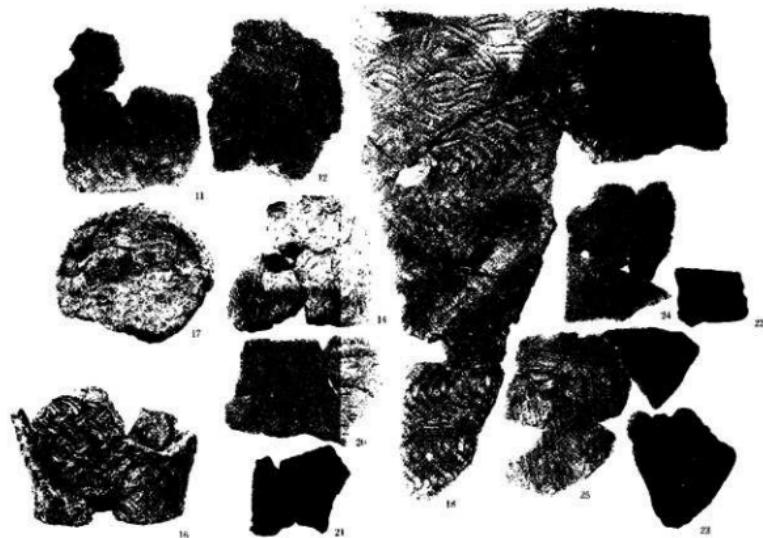
J 42号住居跡出土土器

J 43

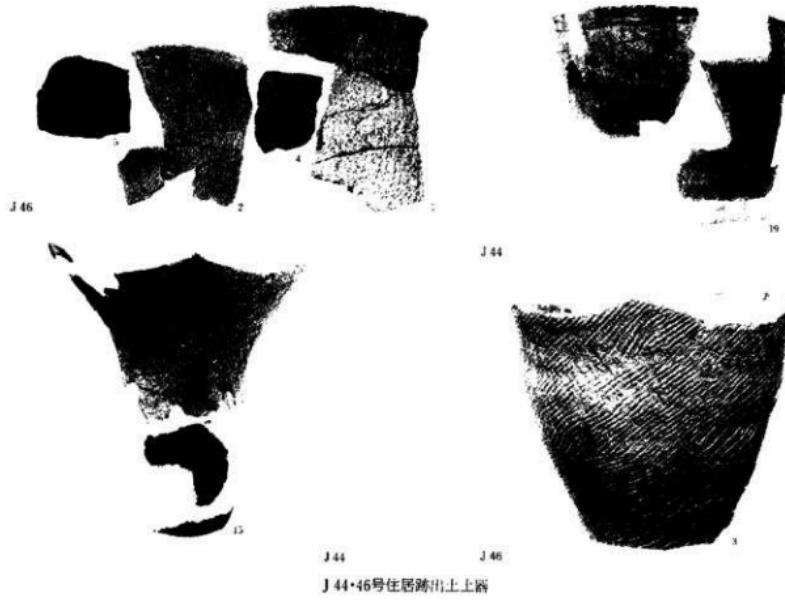


J 43-44号住居跡出土土器

图版106

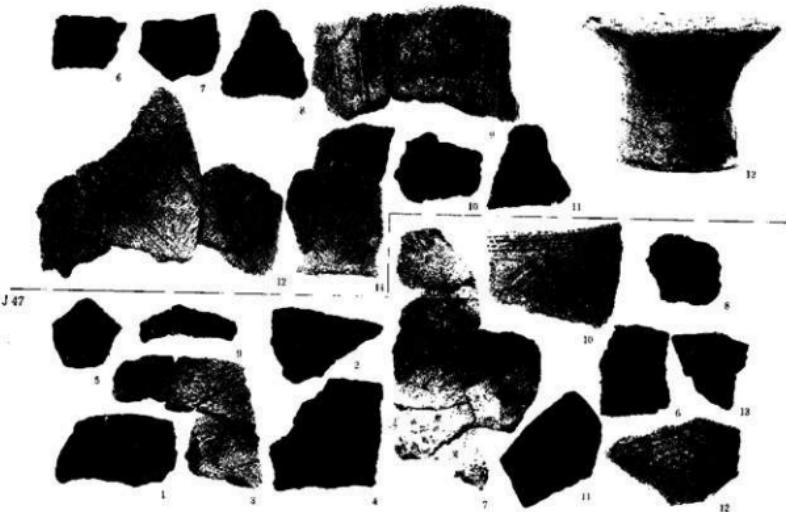


J 44号住居跡陶土器



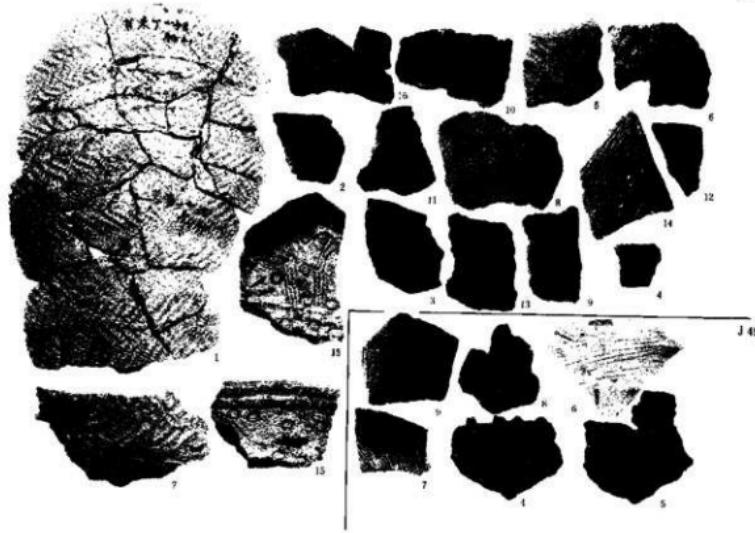
J 44+46号住居跡出上上器

J 46

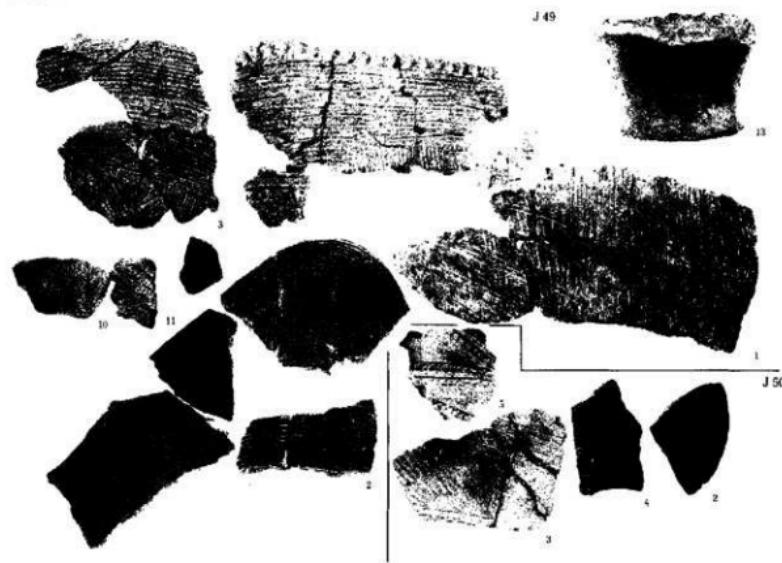


J 46·47号住居跡出土土器

J 48



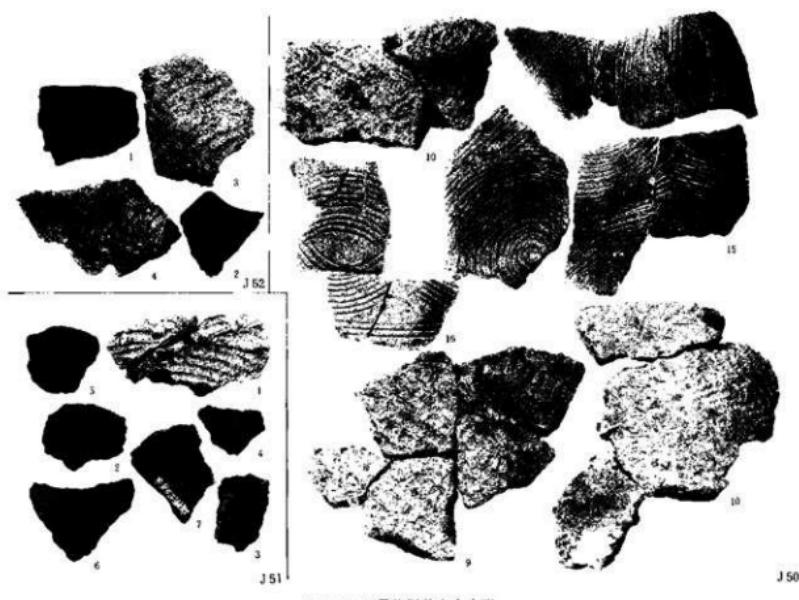
J 48·49号住居跡出土土器



J 49-50号住居跡出土土器



J 50号生居跡出土土器



J 50·51·52号住居跡出土土器



J 52号住居跡出土土器



J 52号住居跡出土土器



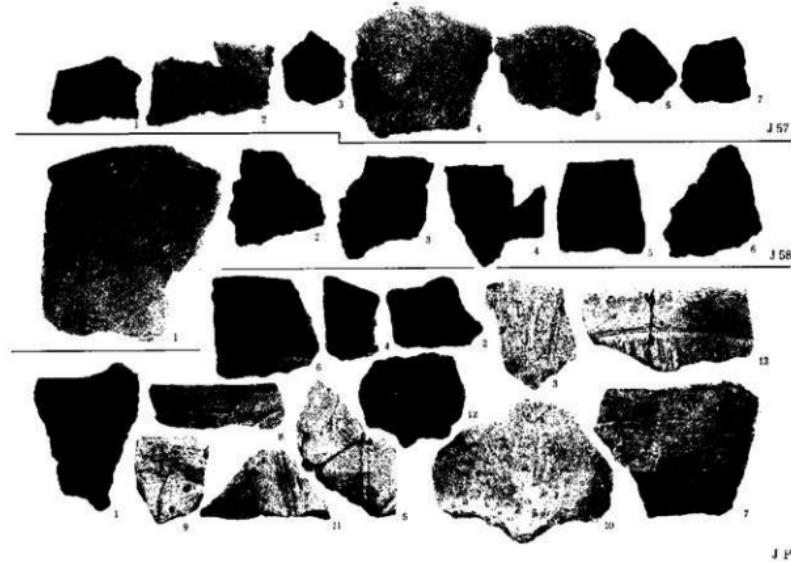
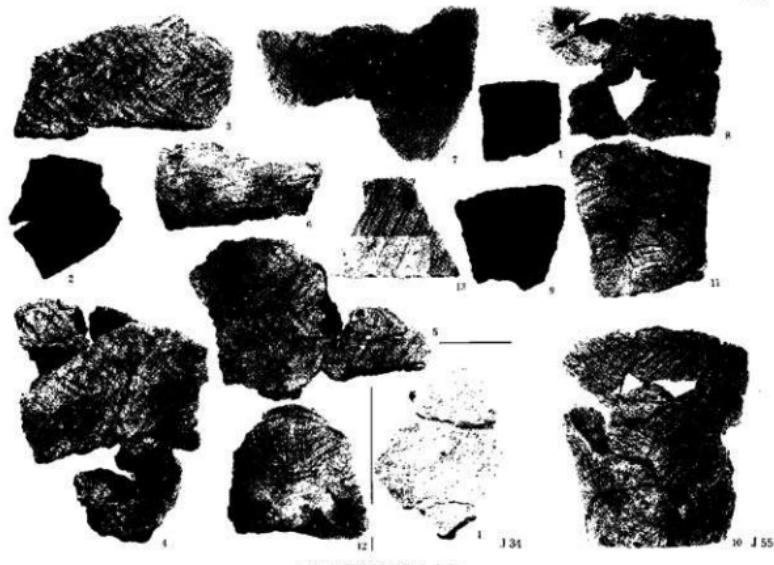
J 53-54号住居跡出土土器



J 53·54号住居跡出土土器

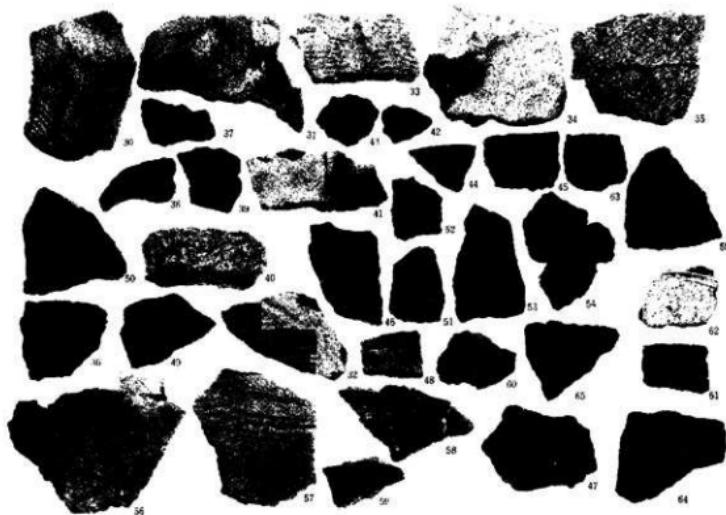


J 54号住居跡出土土器



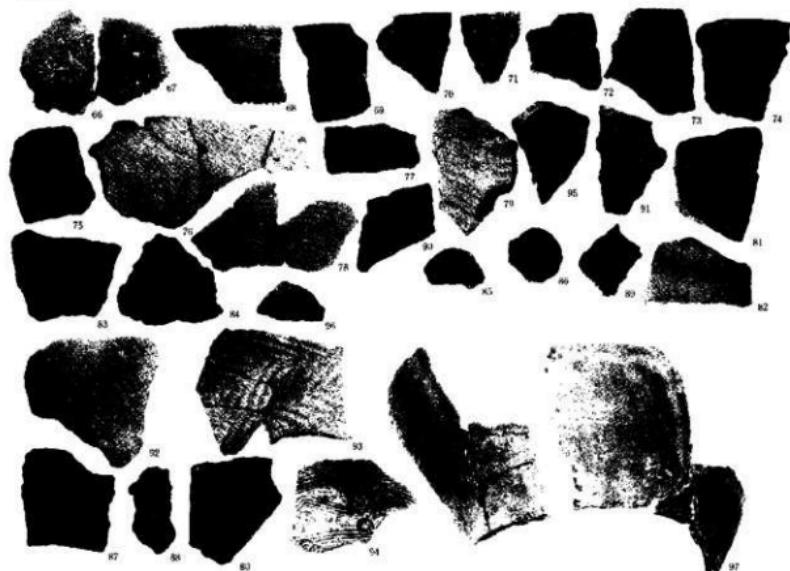


J P 土坑出土土器

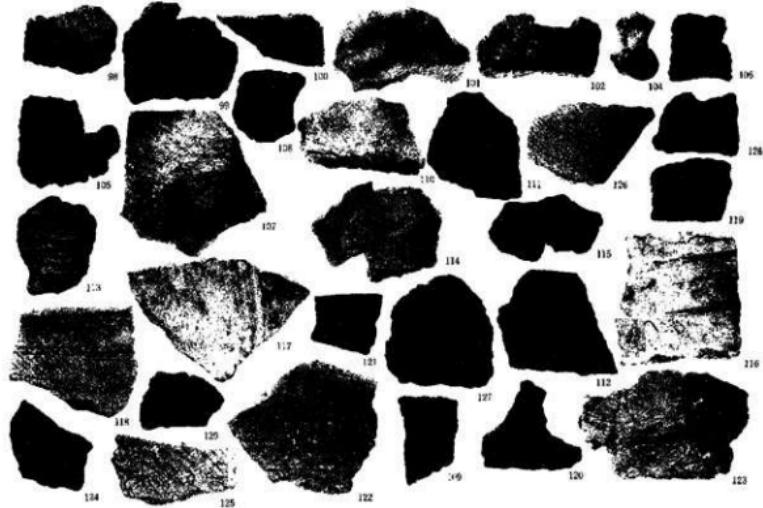


J P 土坑出土土器

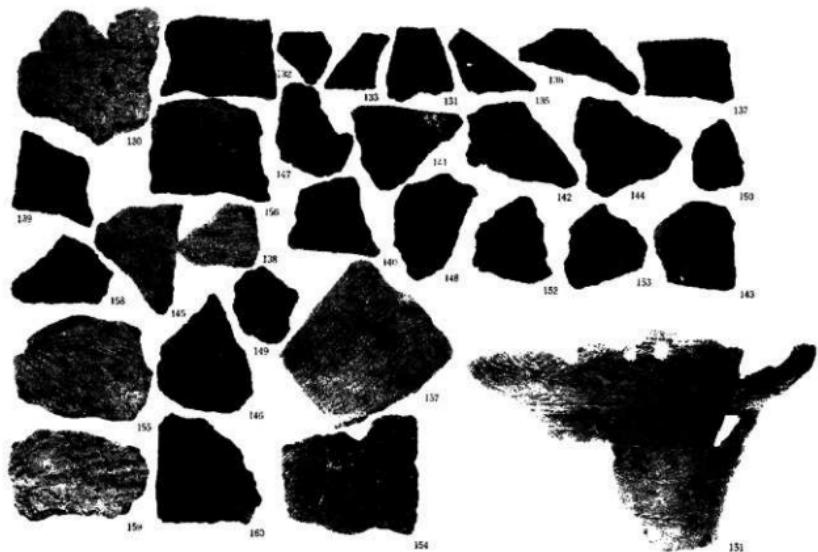
図版114



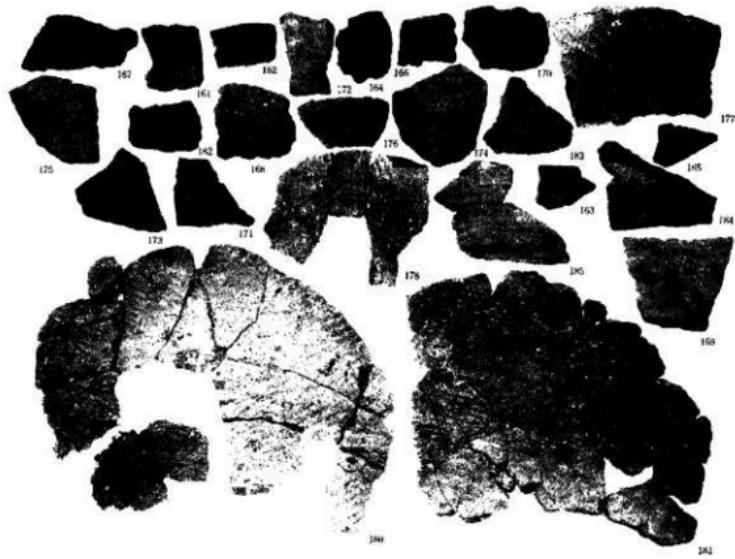
J P 土坑出土土器



J P 上坑出土土器

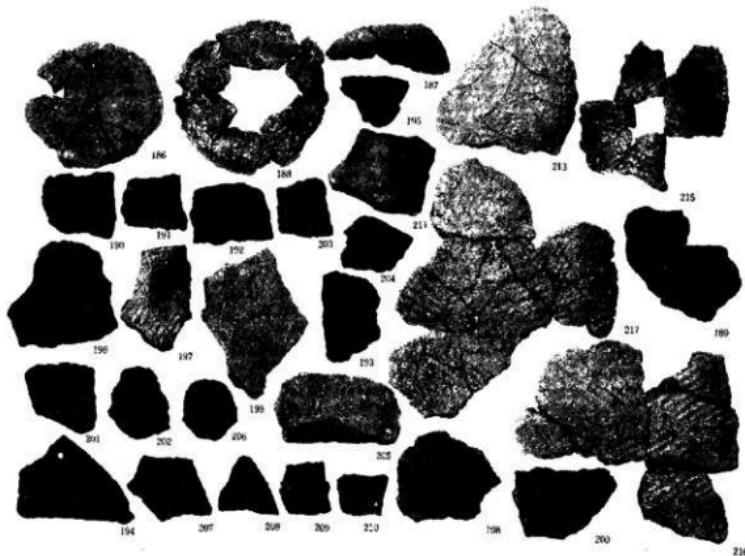


J P 上坑出十十器



J P 土坑出土土器

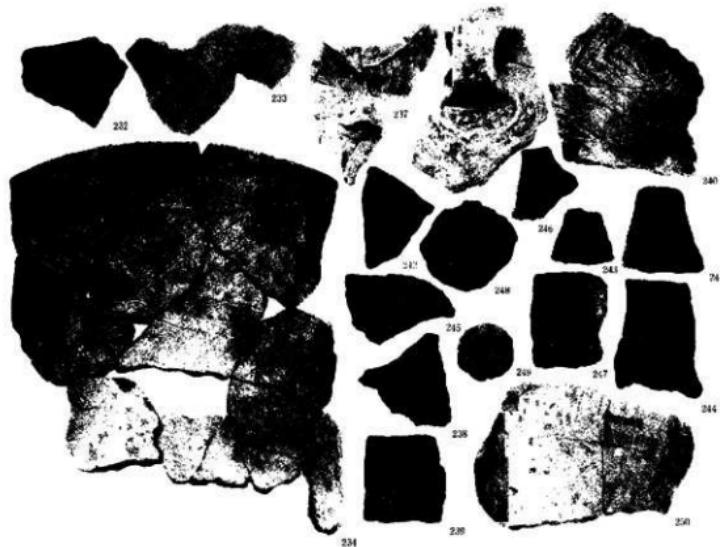
图版116



J P 土坑出土土器



J P 土坑出土土器



J P 土坑出土土器



J P 七坑出土土器



J P 土坑出土土器



J P 土坑出土土器

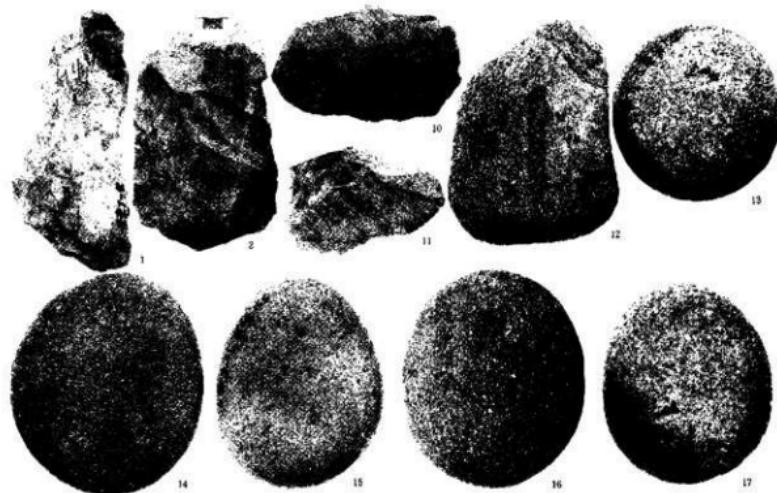


J 1・2号住居跡出土石器

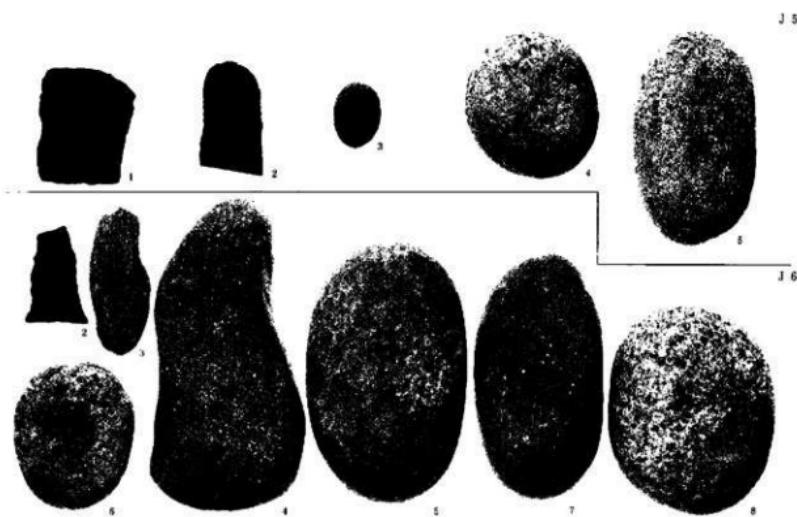


J 3・4号住居跡出土石器

图版120



J 4号住居跡出土石器



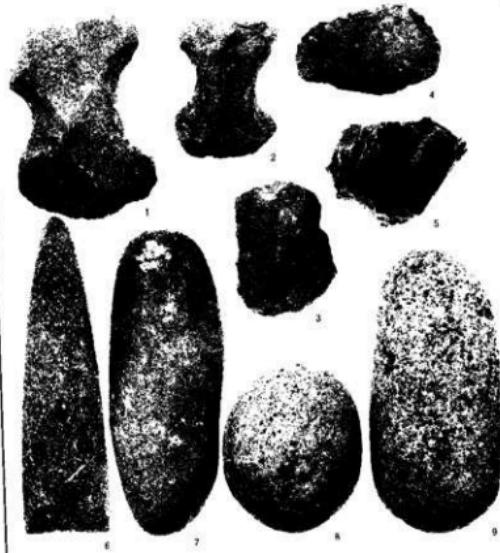
J 5・6号住居跡出土石器

J 6



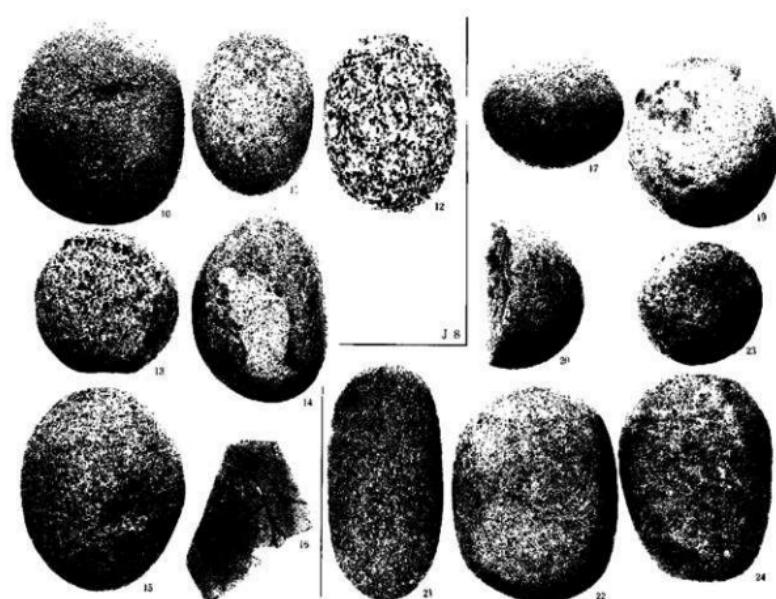
J 6・7号住居跡出土石器

J 7

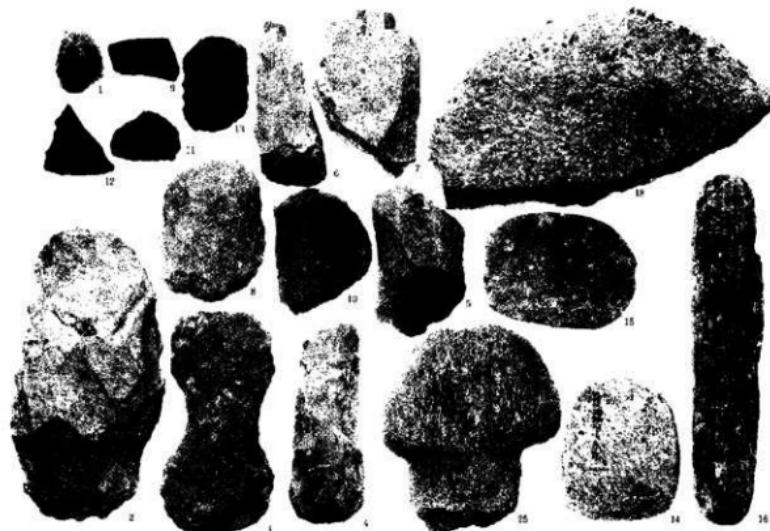


J 7・8号住居跡出土石器

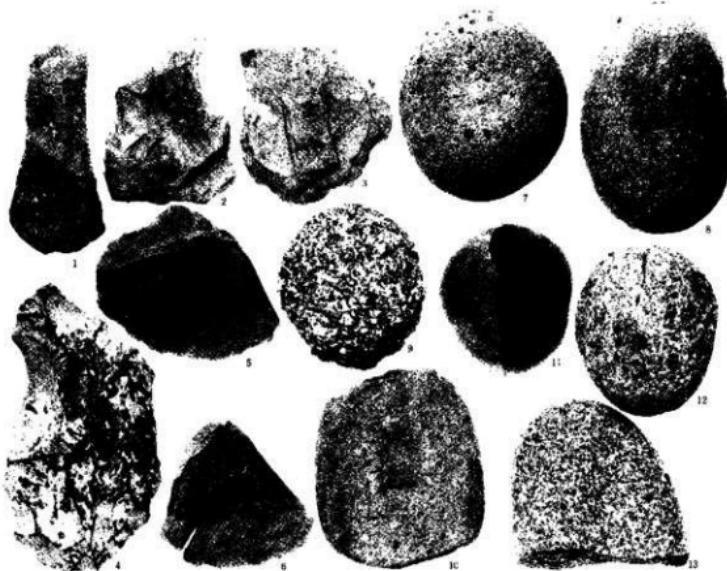
图版122



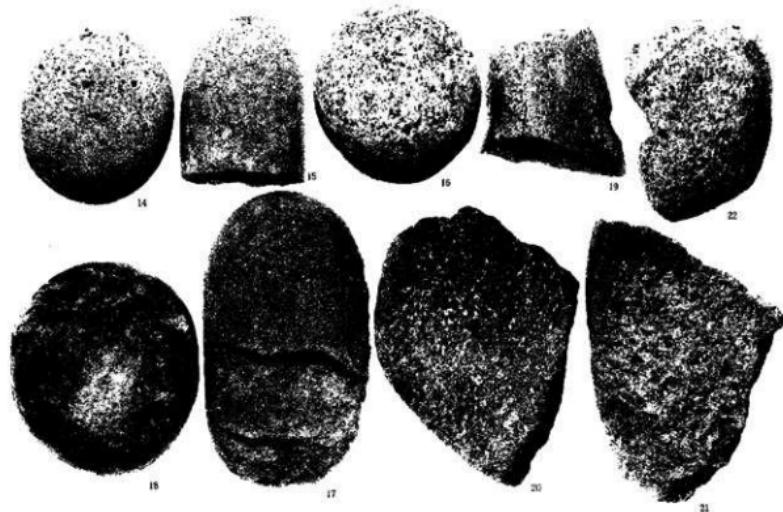
J 8・9号住居跡出土石器



J 9号住居跡出土石器



J 10号住居跡出土石器

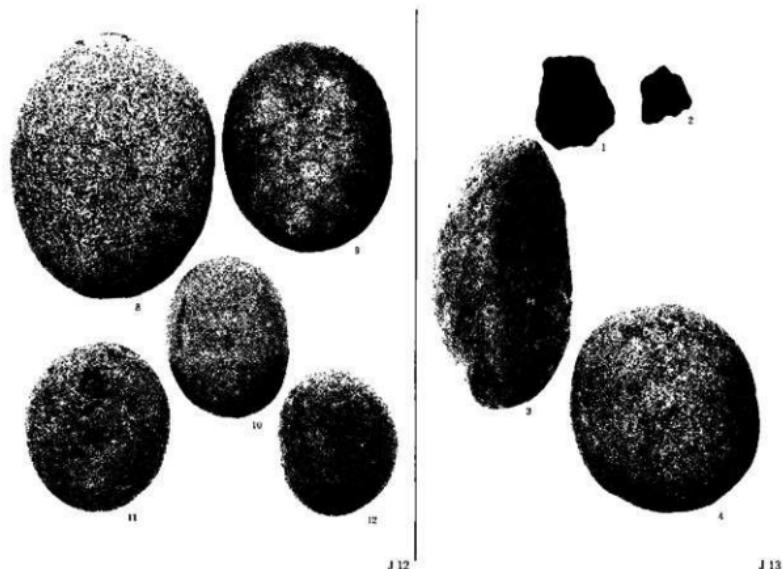


J 10号住居跡出土石器

図版124



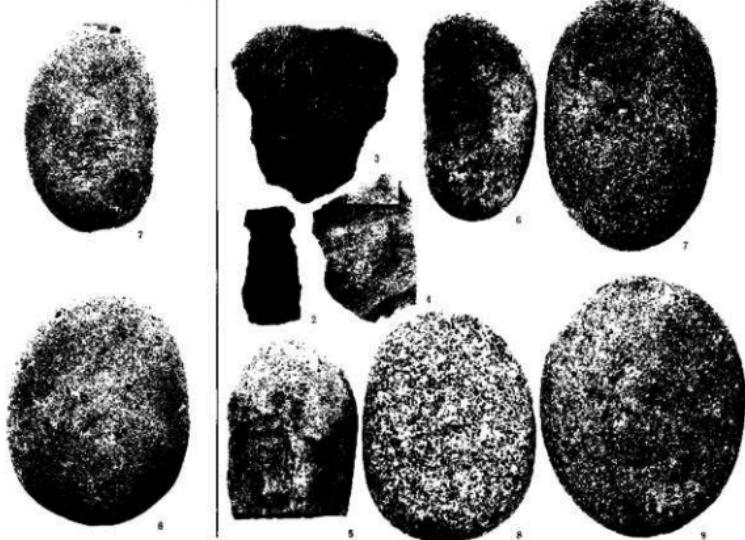
J 11・12 住居跡出土石器



J 12・13号 住居跡出土石器



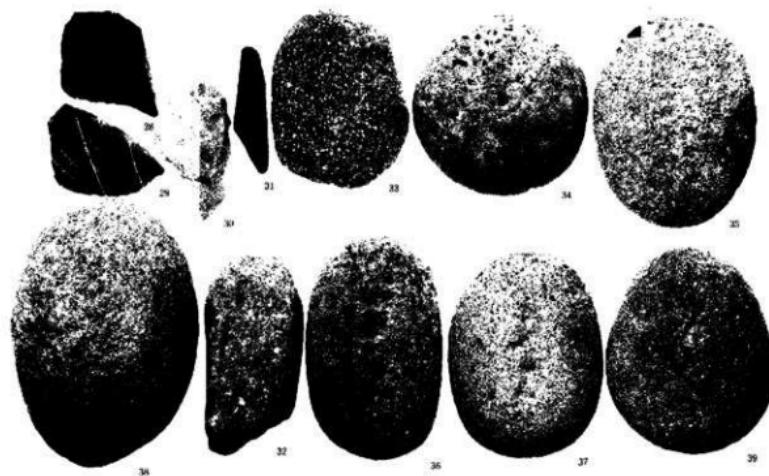
J 14•15號住居跡出土石器



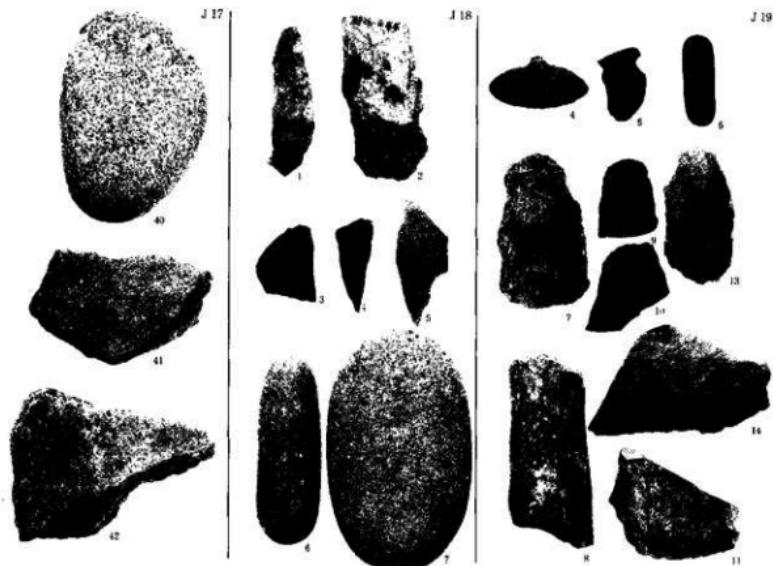
J 15•16號住居跡出土石器



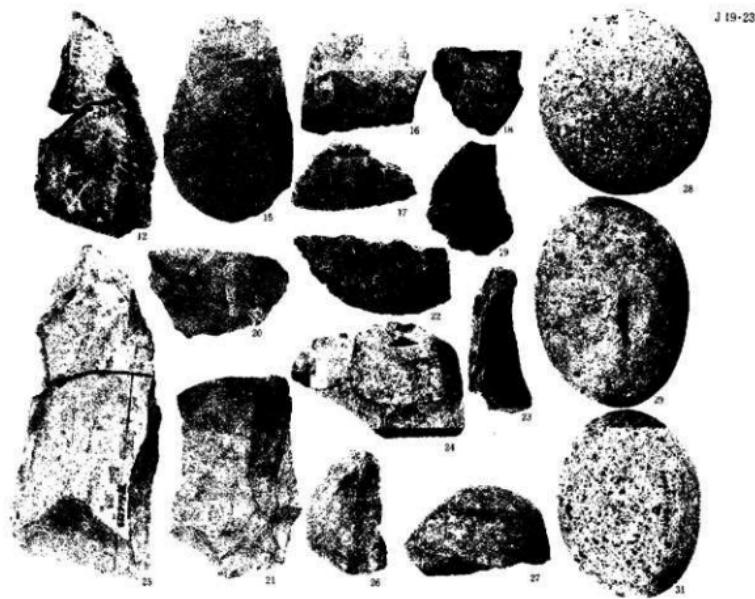
J 17号住居跡出土石器



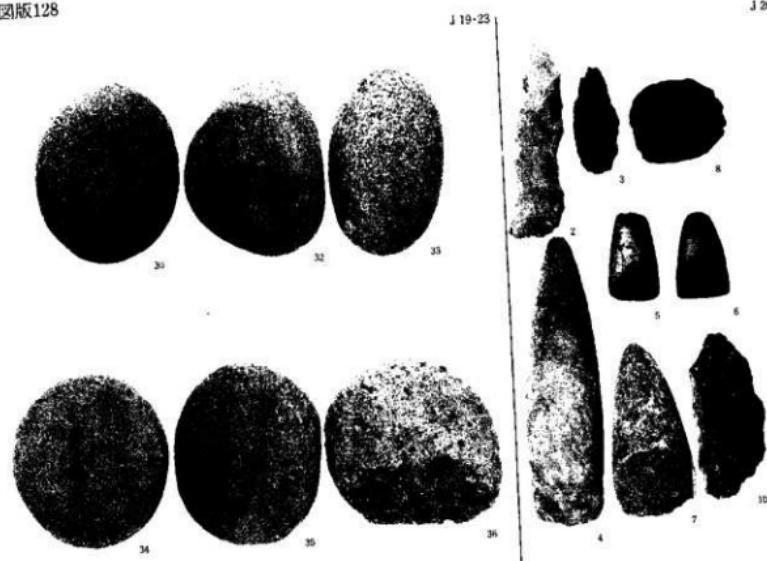
J 17号住居跡出土石器



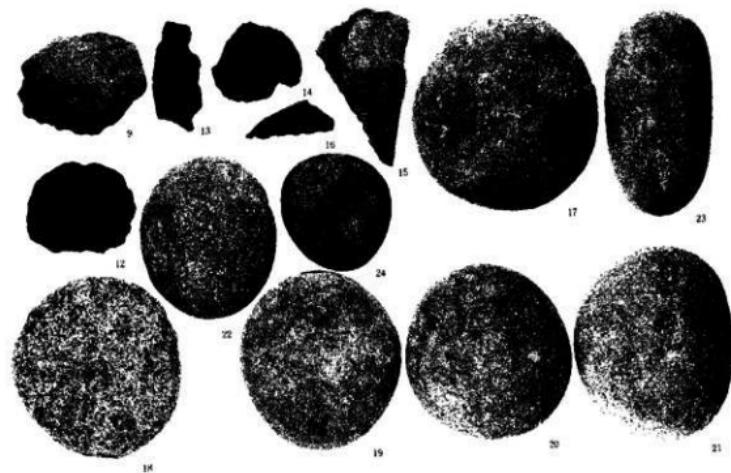
J 17•18•19•23号住居跡出土石器



J 19•23号住居跡出土石器



J 19-23・20号住居跡出土石器

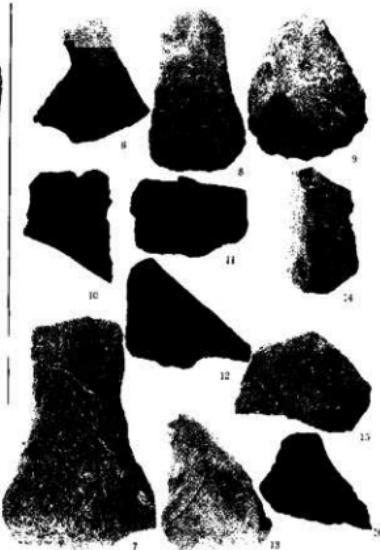


J 20号住居跡出土石器

J 21

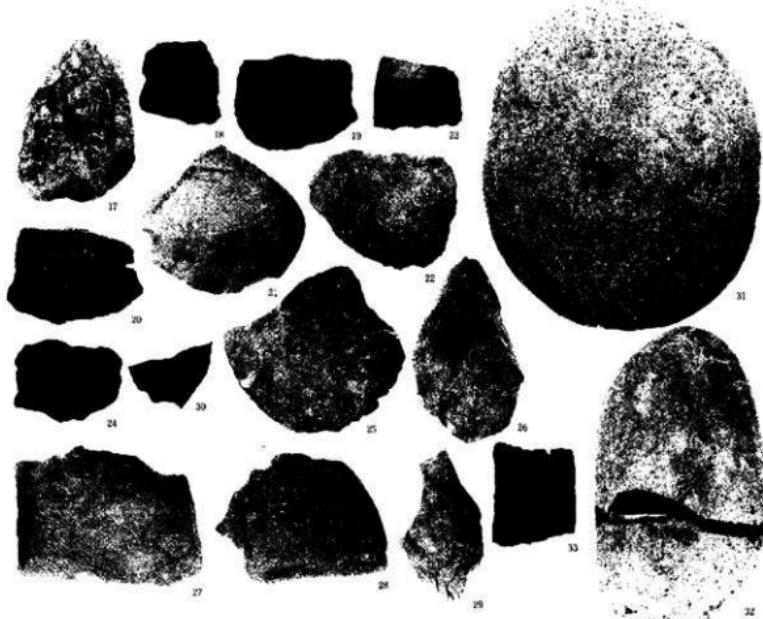


J 22



J 21-22号住居跡出土石器

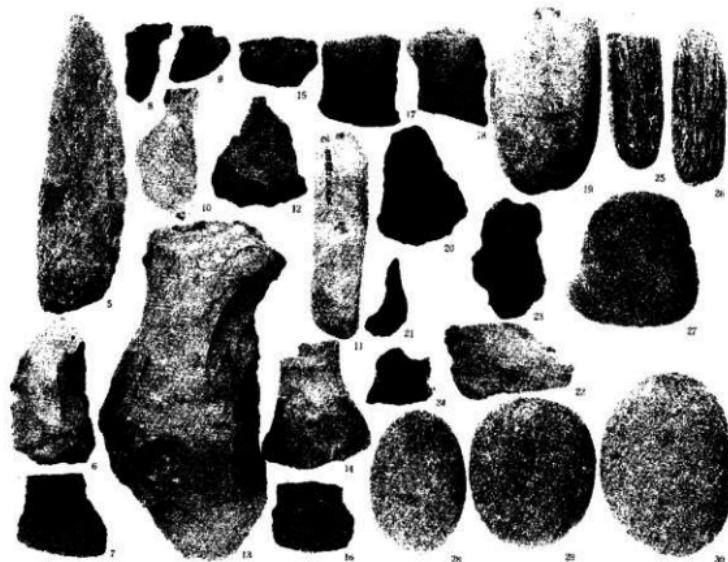
J 22



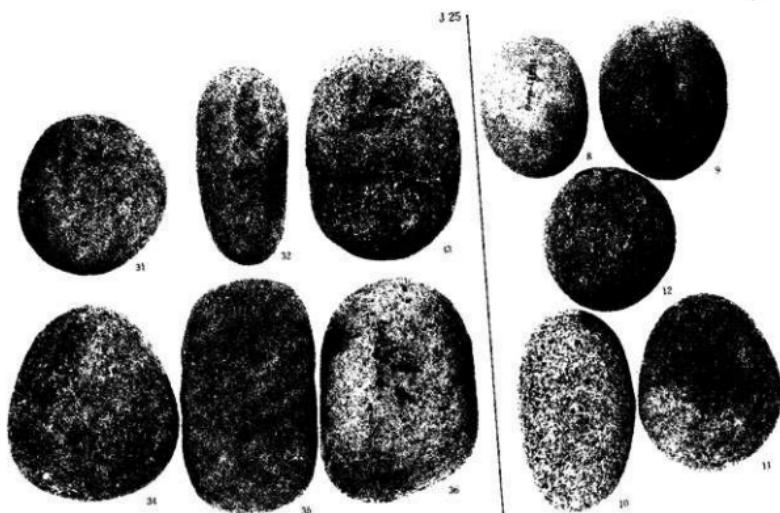
J 22号住居跡出土石器



J 24号住居跡出土石器

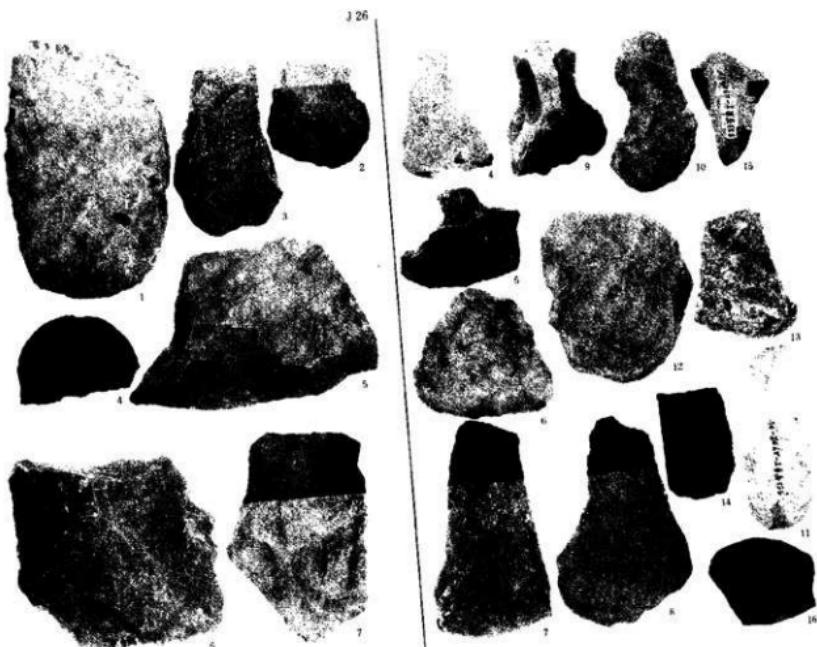


J 25号住居跡出土石器

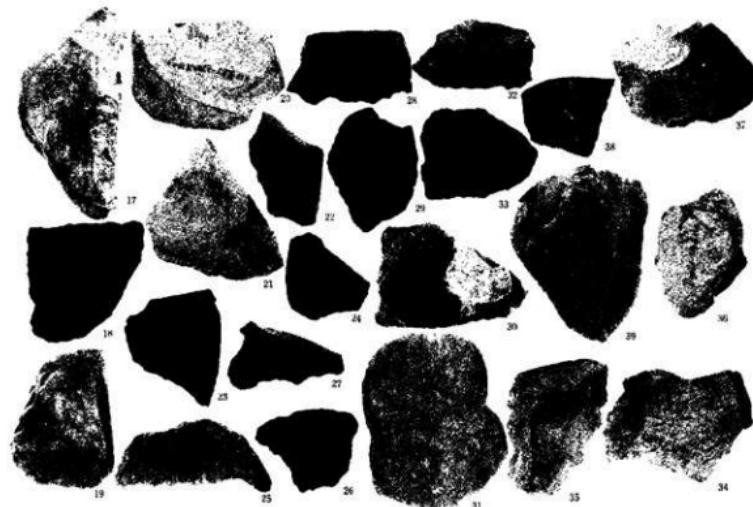


J 25・26号住居跡出土石器

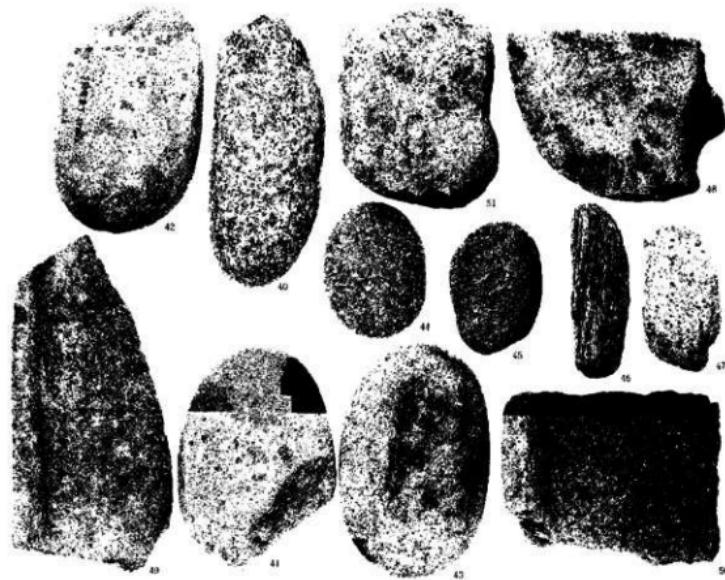
J 27



J 26・27号住居跡出土石器



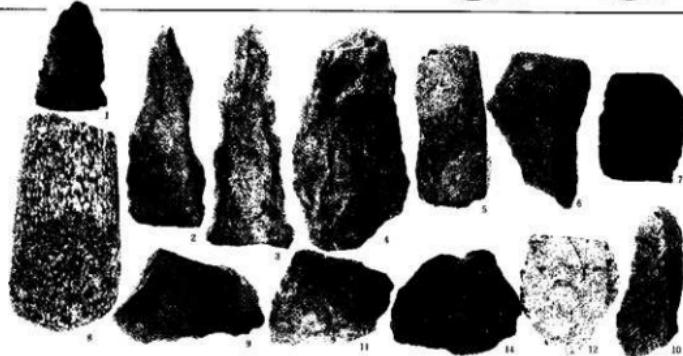
J 27号生居跡出土石器



J 27号住居跡出土石器

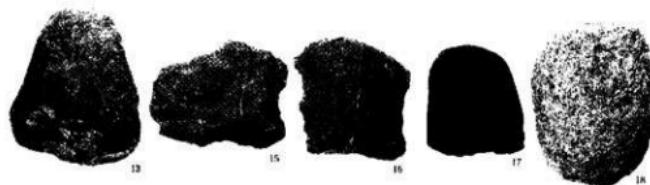


J 29-59



J P群-I (J 28)・J 29-59号住居跡出土石器

J 29-59

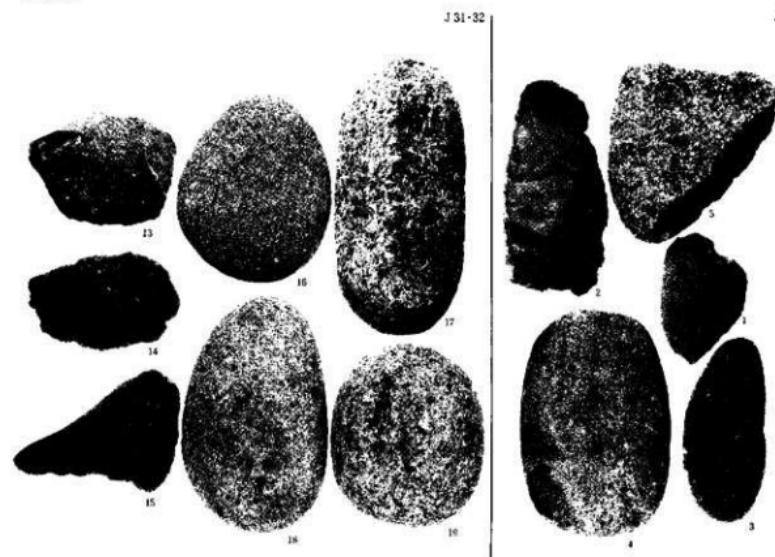


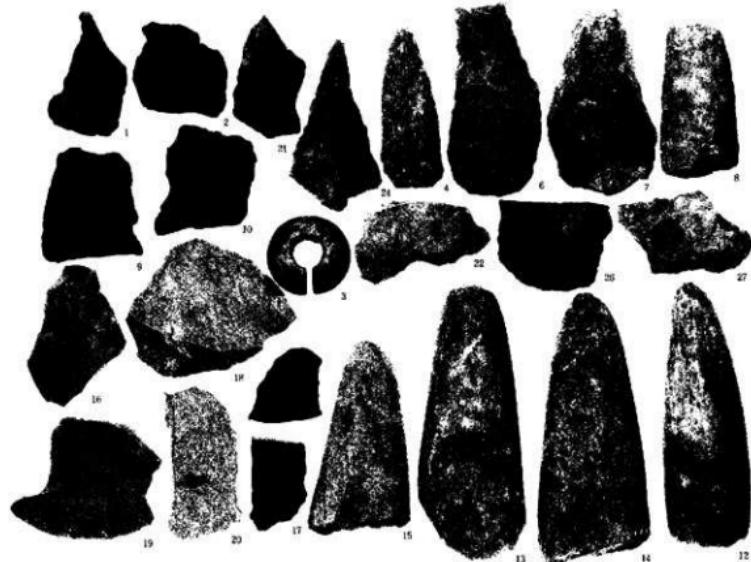
J 31-32



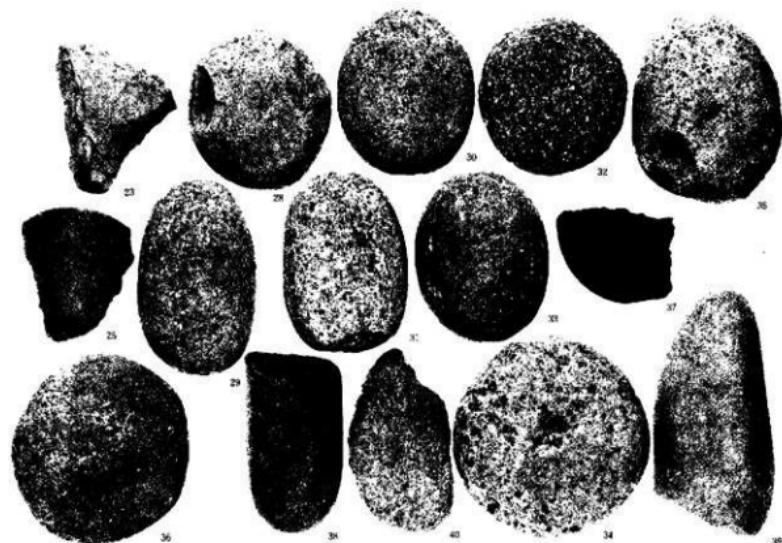
J 29-59・31・32号住居跡出土石器

图版134



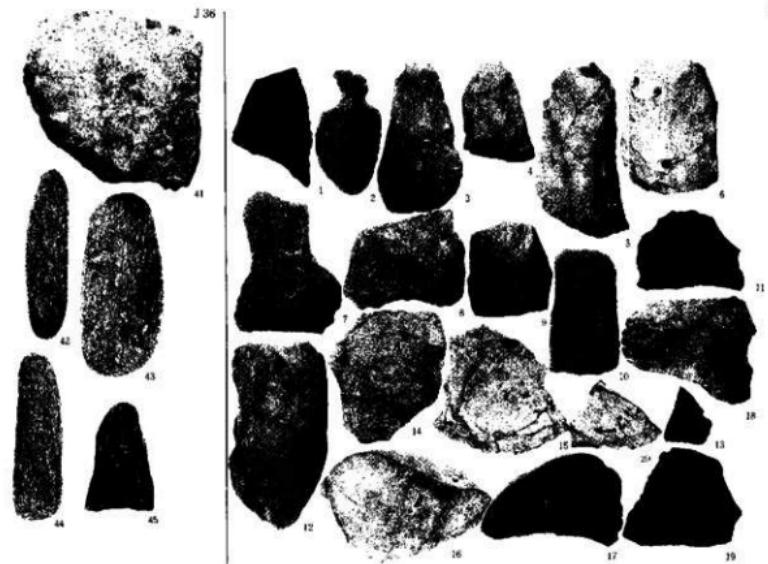


J 36号住居跡出土石器

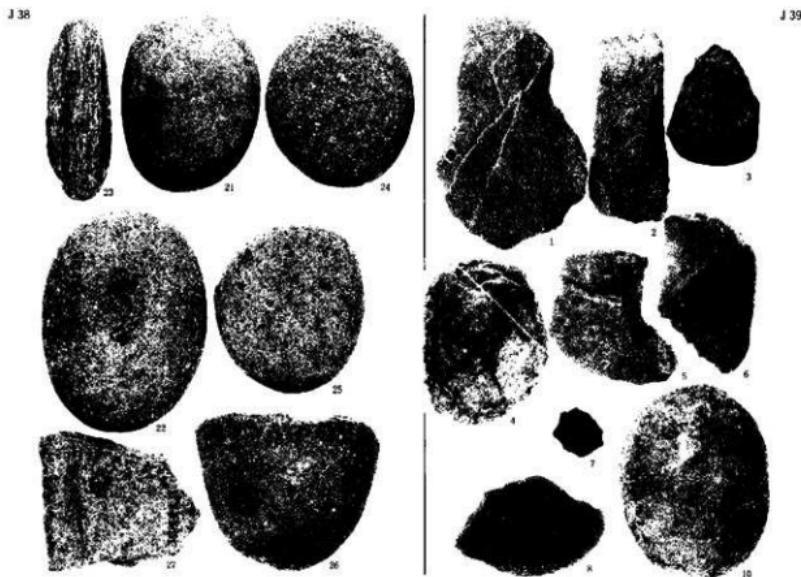


J 36号住居跡出土石器

图版136



J 36·38号住居跡出土石器



J 38·39号住居跡出土石器

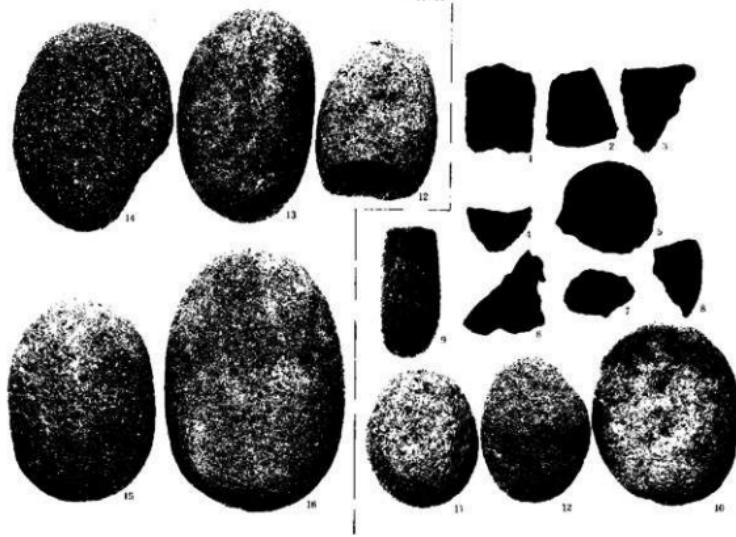
図版137

J 39



J 39·40·41号住居跡出土石器

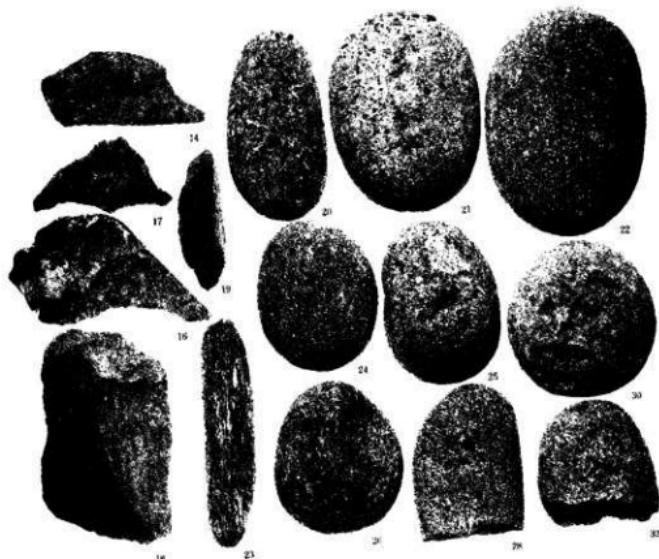
142



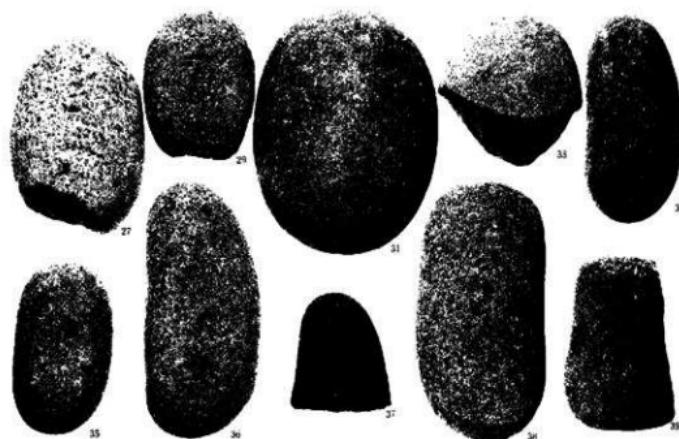
J 40·41·42号住居跡出土石器



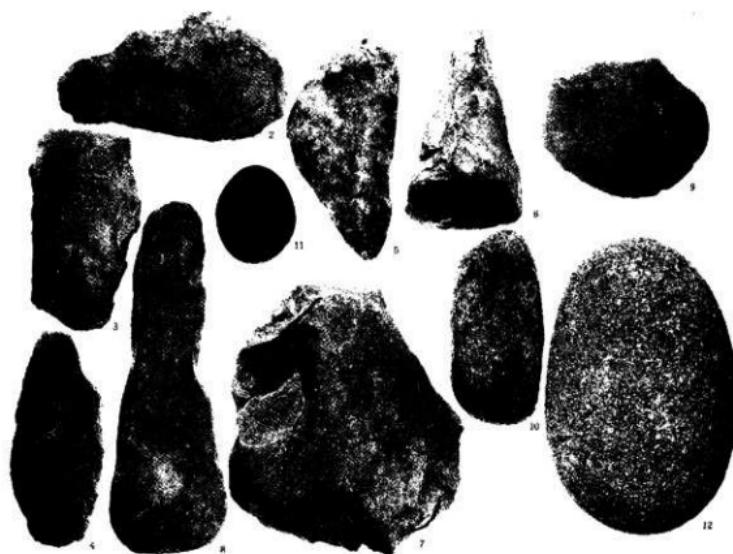
J 43·44号住居跡出土石器



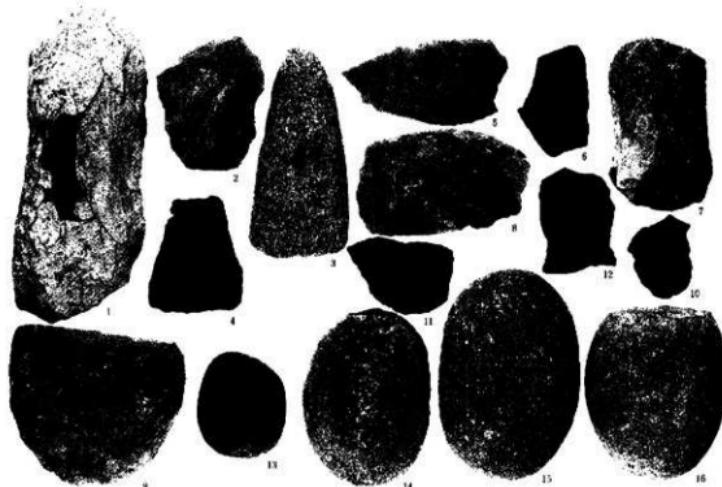
J 44号住居跡出土石器



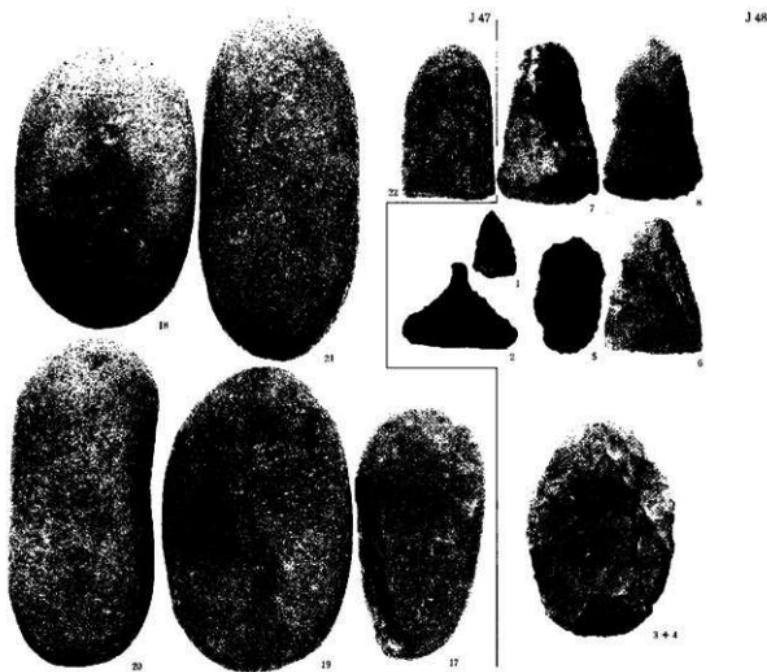
J 44号住居跡出土石器



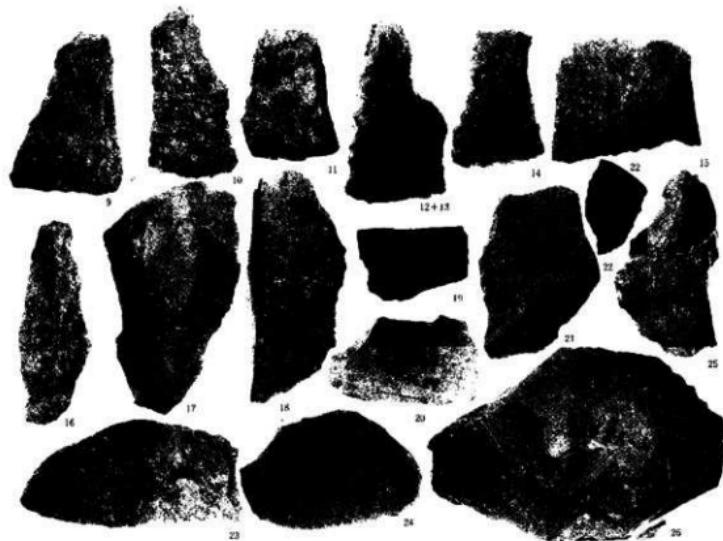
J 46号住居跡出土石器



J 47号住居跡出土石器



J 47-48号住居跡出土石器



J 48号住居跡出土石器

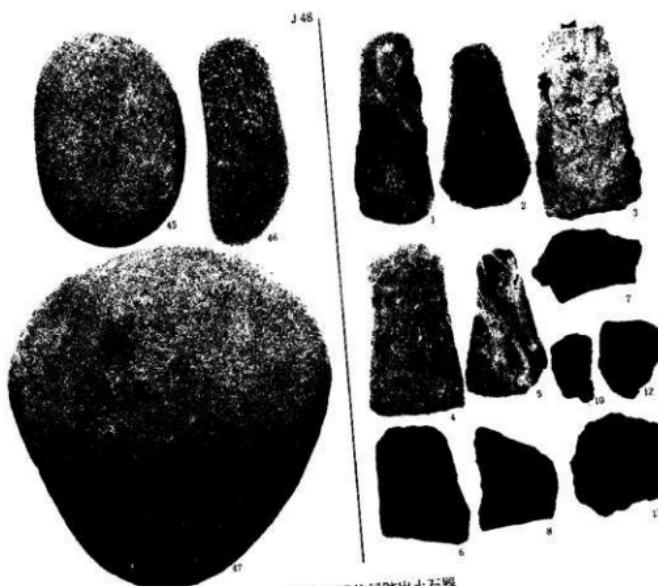


J 48号住居跡出土石器

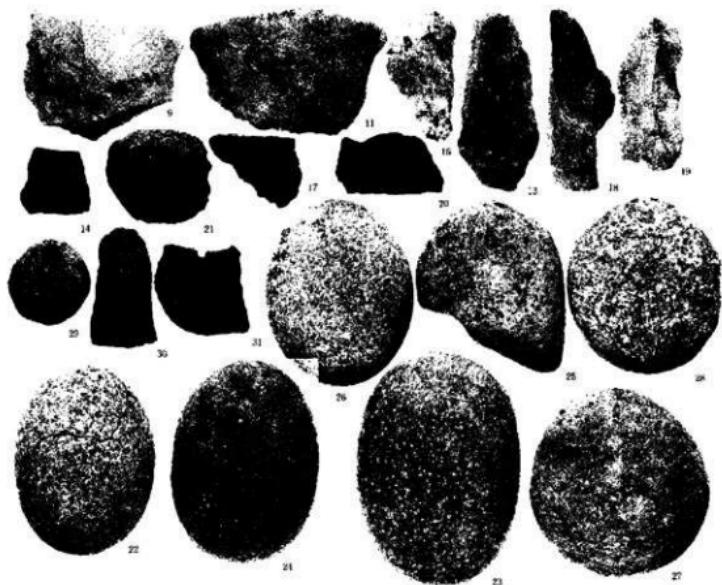


J 48号住居跡出土石器

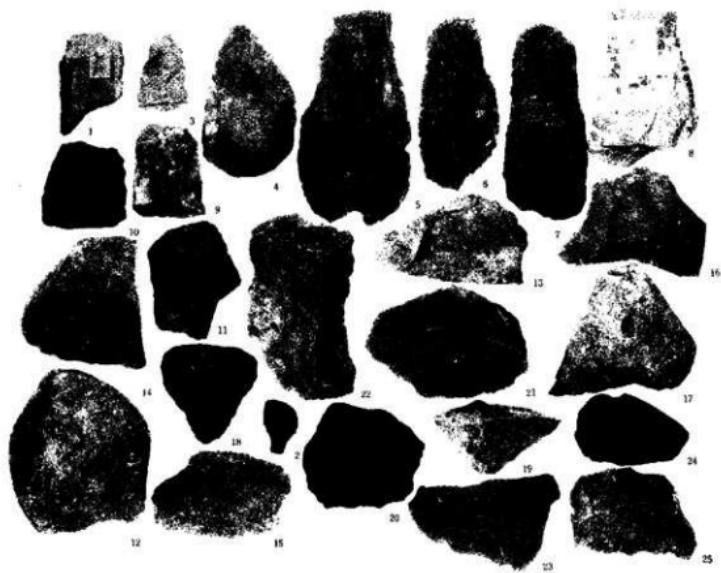
J 49



J 48·49号住居跡出土石器



J 49号住居跡出土石器

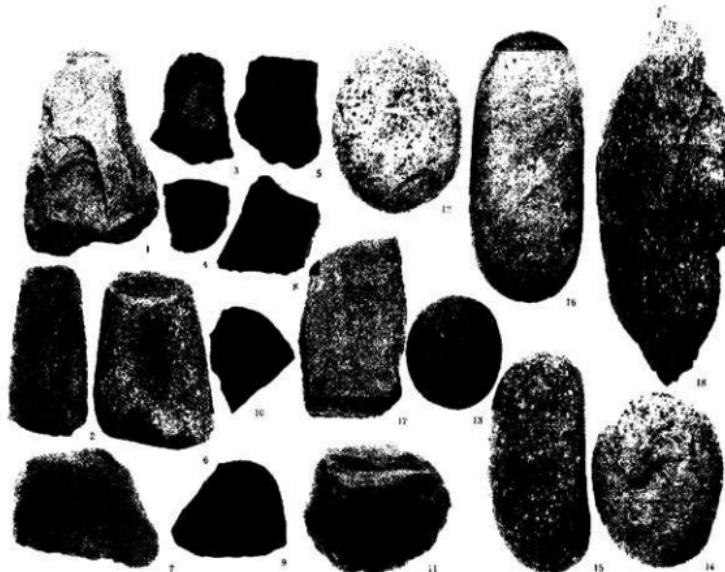


J 50号住居跡出土石器

圖版144



J 50-51-56号住居跡出土石器



J 52号住居跡出土石器

J 55

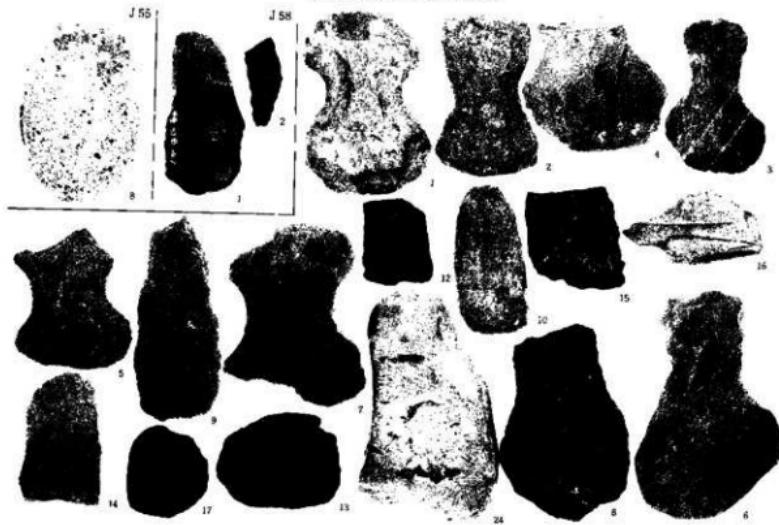


J 53・54・55号住居跡出土石器

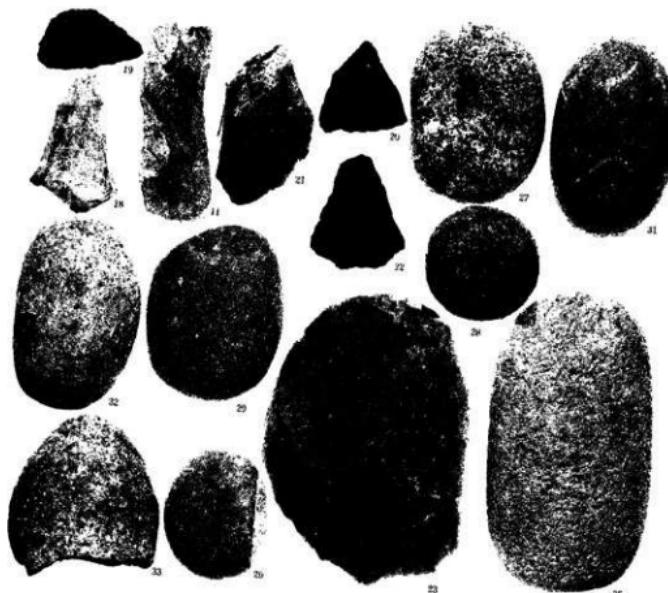
J 55

J 58

J P



J 55・58号住居跡・J P 七坑出土石器



J P

J P.土坑出土石器



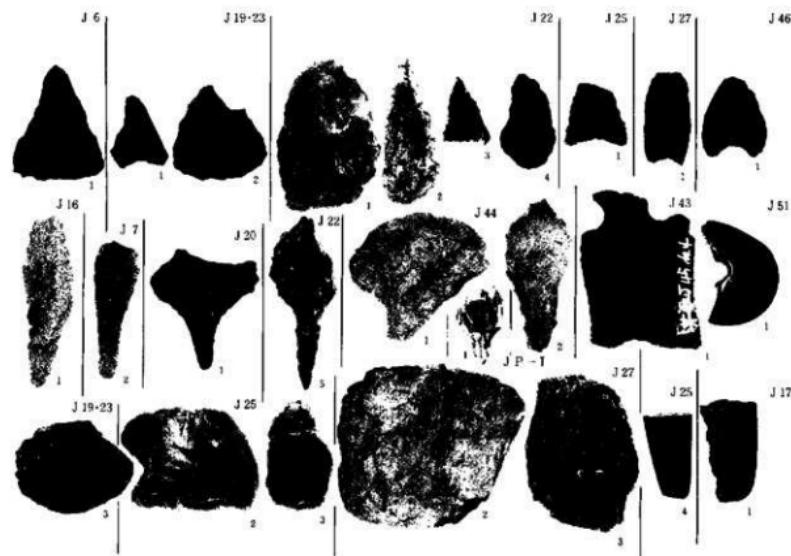
J S

38

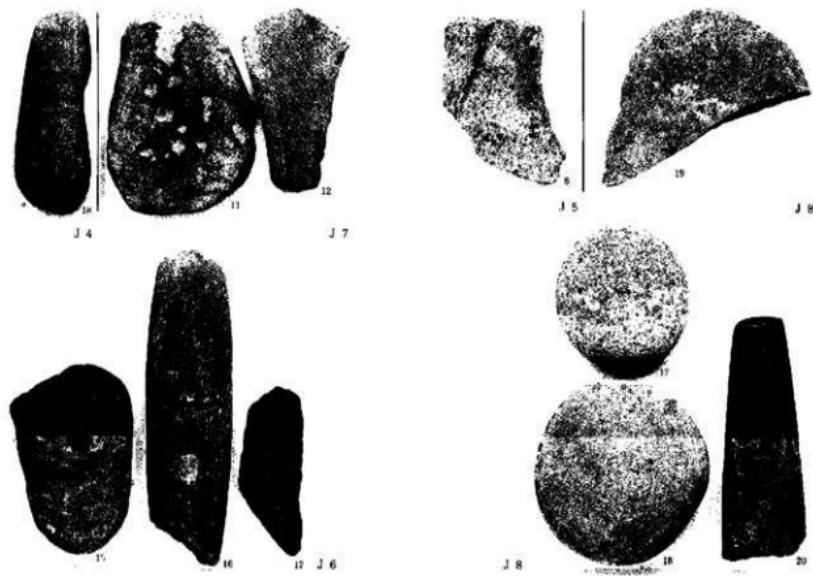
39



J P.土坑・J S.配石遺構出土石器

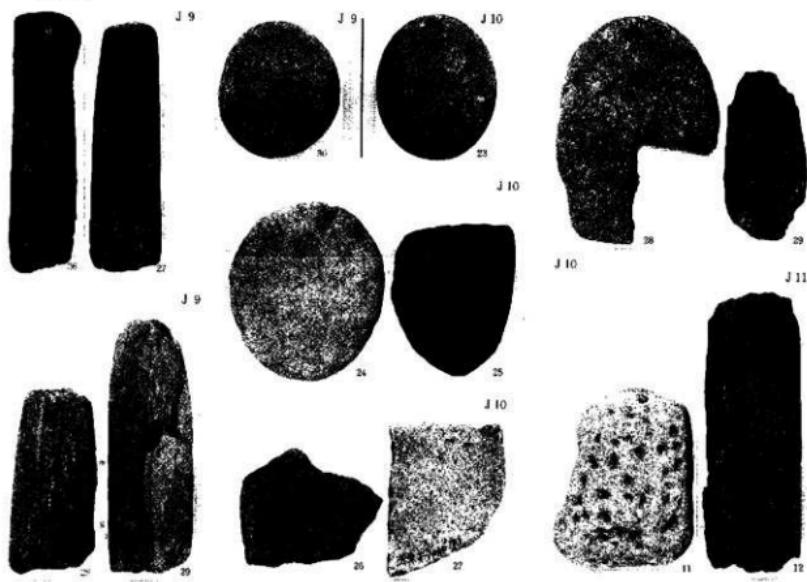


住居跡・土坑出土石器・石錐・石匙・削器・楔形石器・棒状石器
垂飾品・块状耳飾り

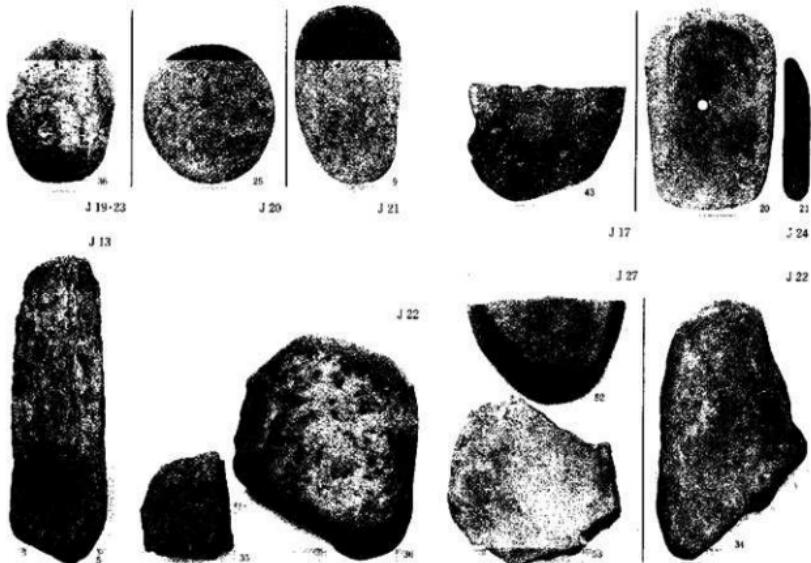


J 4～8号住居跡出土石器

図版148

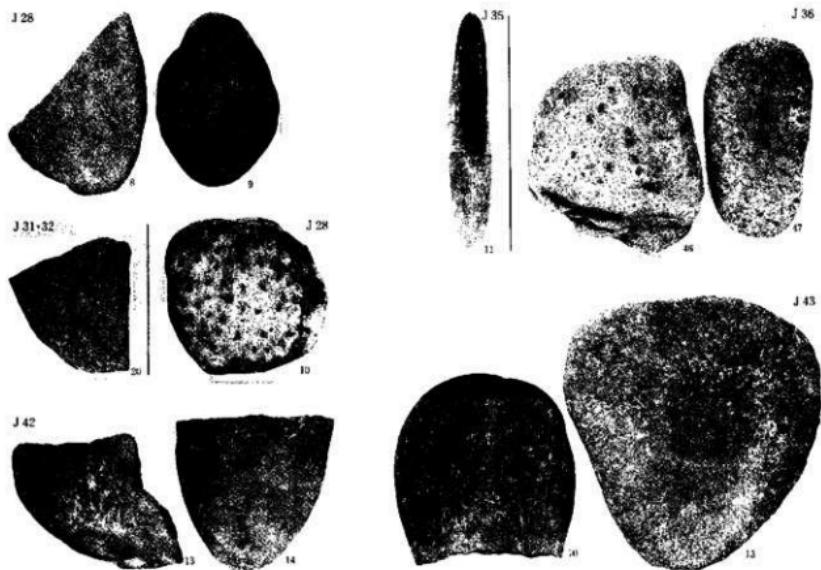


J 9～11号住居跡出土石器

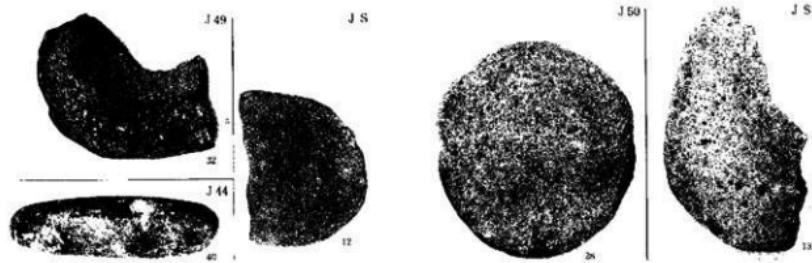
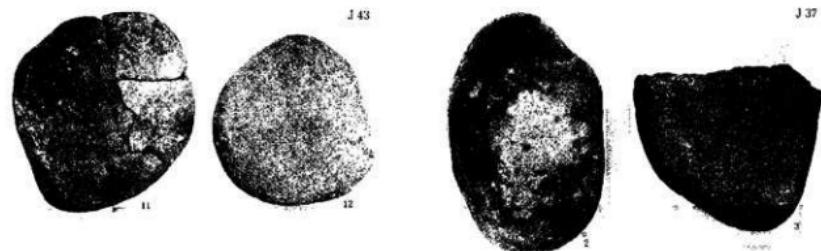


J 13・17・19～24・27号住居跡出土石器

図版149

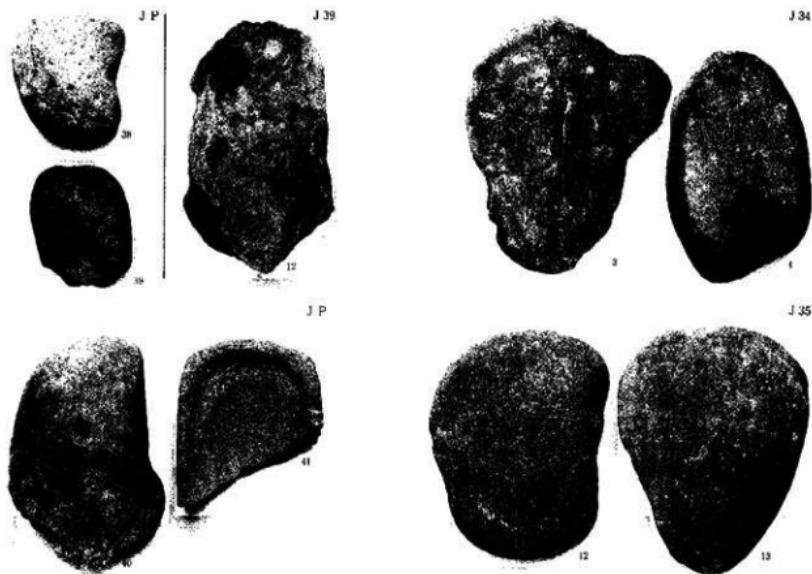


J P群—I・J 31・32・35・36・42・43号住居跡出土石器

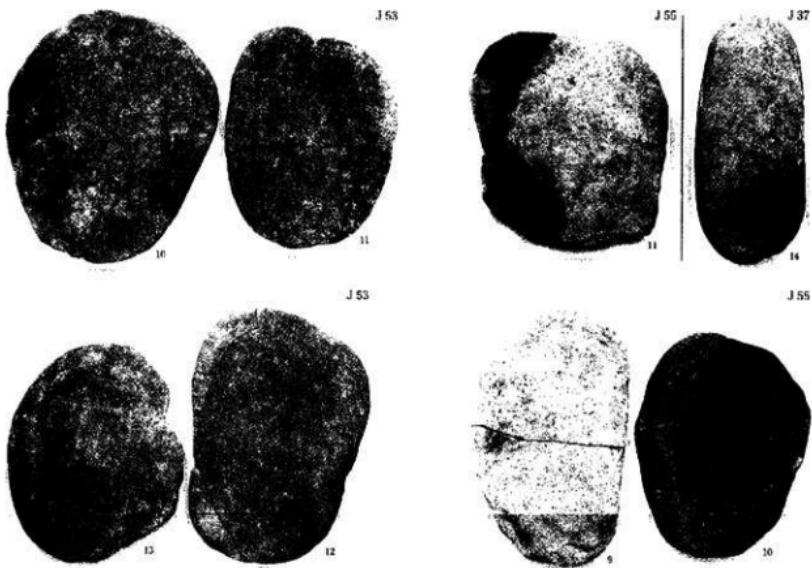


J 37・43・44・49・50号住居跡・J S配石遺構出土石器

図版150



J 34-35-39号住居跡・J P出土石器



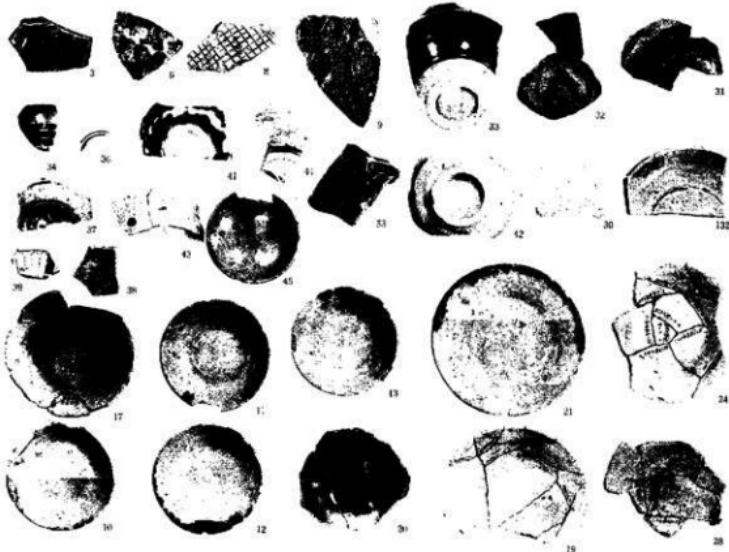
J 37-53-55号住居跡出土石器



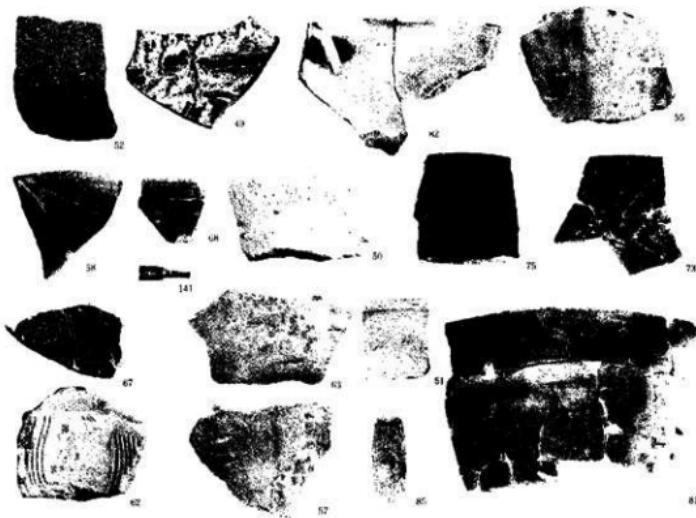
陶磁器(1) 内面



陶磁器(1) 外面



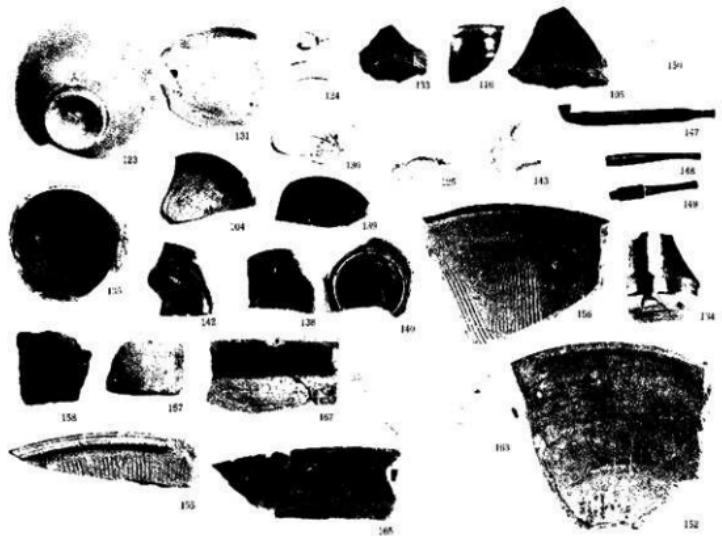
胸磁器(2)



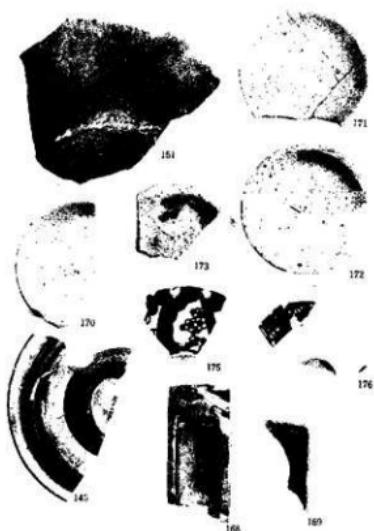
陶磁器(3)



陶磁器(4)



陶磁器(5)



陶器(6)

芳賀団地遺跡群第3巻
芳賀東部団地遺跡Ⅲ（縄文・中近世編）

印刷 平成2年3月26日
発行 平成2年3月31日

発行 前橋市教育委員会
前橋市大手町二丁目12番1号

印刷 朝日印刷工業株式会社
前橋市元経社町67
